



Washington DC リリースノート

最終更新日: **2025年12月17日**

自動翻訳

これらの資料は、翻訳ソフトウェアを使用してお客様の便宜のために翻訳されています。正確な翻訳をご提供できるよう相当な努力を払っておりますが、いかなる自動翻訳も人間の翻訳者に代わることはなく、そのようなことは意図されておりません。翻訳は「現状のまま」提供されています。他言語への翻訳の的確性、信頼性または正確性については、明示または黙示を問わず、いかなる保証も行われません。翻訳ソフトには限界があるため、一部のコンテンツが正確に翻訳されていない場合があります。これらの資料の公用言語は英語です。翻訳の際に生じる相違または不一致は、コンプライアンスまたは履行の目的に関しては拘束力を有さず、法的効力はないものとします。

ここで示したいくつかの例と図は、説明の目的でのみ提供されています。ServiceNow 製品またはサービスへの実際の関連付けやつながりは意図されておらず、推測されるものではありません。

ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の商標または登録商標です。その他の会社名および製品名は、それぞれの所有者の商標です。

下記の ServiceNow ウェブサイト利用規約をお読みください。 www.servicenow.com/terms-of-use.html

自動翻訳

本社
2225 Lawson Lane
Santa Clara, CA 95054
United States
(408) 501-8550

目次

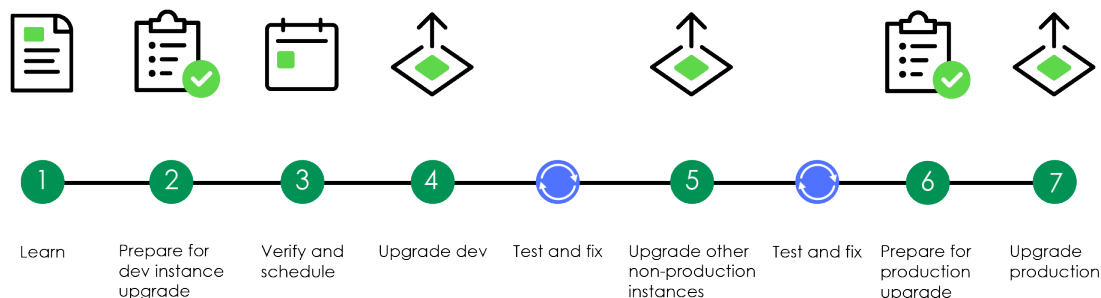
Washington DC リリースノート.....	4
リリースノートの使用.....	6
独自のリリースノートの作成.....	7
Washington DC リリースの詳細.....	10
Vancouver からのアップグレードのリリースノート	10
Utah からのアップグレードのリリースノート.....	529
Tokyo からのアップグレードのリリースノート.....	563
利用可能なパッチとホットフィックス.....	600
ブラウザサポート.....	760
アクセシビリティと適合性.....	761
アップグレードの準備.....	761
ServiceNow アップグレード.....	762
様々な製品に関するアップグレード前後のタスク.....	766
計画立案チェックリストのアップグレード.....	819
アップグレードツールとリソース.....	825
アップグレードと ServiceNow Store.....	827
Washington DC リリースへのアップグレード.....	828
フェーズ 1 - リリースノートを読みアップグレードを計画する.....	830
フェーズ 2 - 開発インスタンスのアップグレードの準備をする.....	832
フェーズ 3 - アップグレード構成を確認し、開発インスタンスのアップグレードをスケ ジュールする - Now Support	833
フェーズ 4 - 開発インスタンスのアップグレードを実行し検証を行う.....	837
フェーズ 5 - 該当する場合、テストインスタンスなど他の非本番インスタンスをアップグ レードして検証する.....	839
フェーズ 6 - 本番インスタンスのアップグレードを準備する.....	840
フェーズ 7 - 本番環境をアップグレードする.....	842

Washington DC リリースノート

ServiceNow® Washington DC リリースには、新しい製品とアプリケーション、および既存の製品の追加機能と修正が含まれています。リリースノートを読んで、リリースについて確認し、アップグレードの準備を行い、インスタンスをアップグレードします。

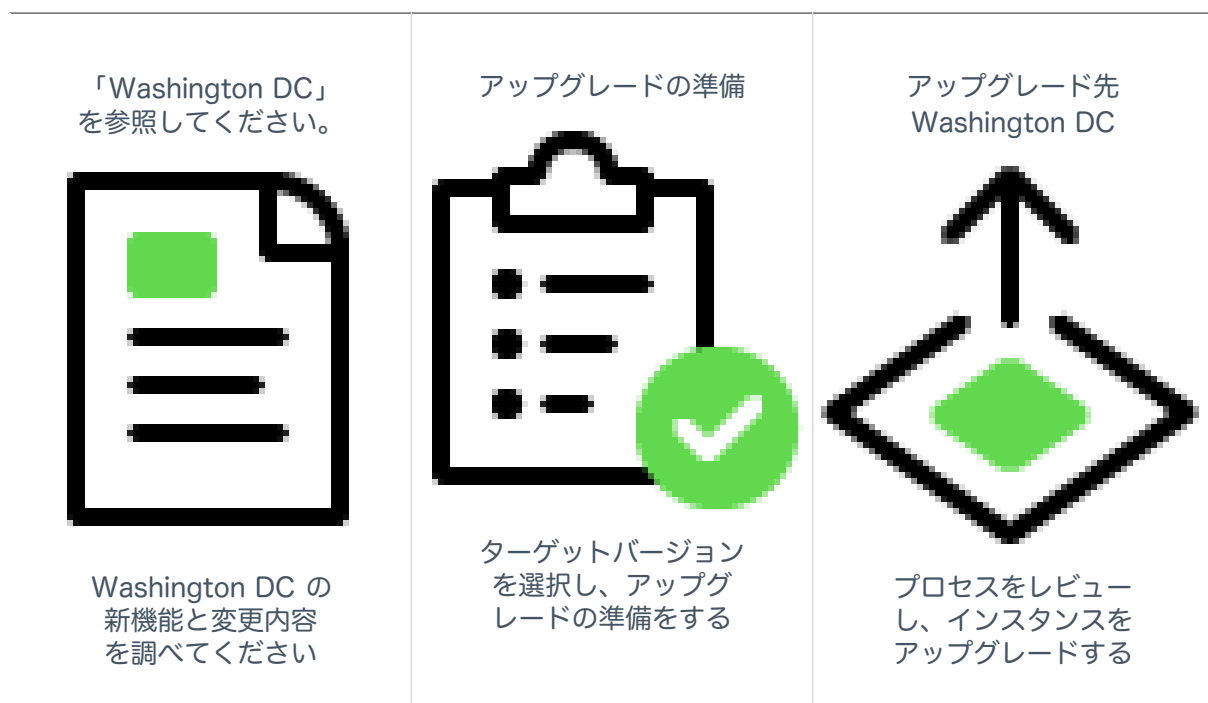
アップグレードを成功させるためのパス

インスタンスのアップグレードには、計画、テスト、および検証が必要です。リリースノートには、アップグレードを成功させるためのすべてのフェーズとタスクが記載されています。



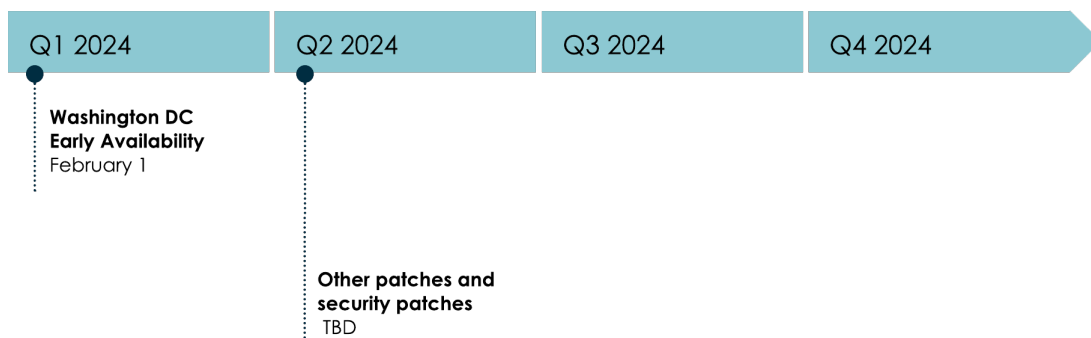
アップグレードジャーニーの開始

アップグレードプロセスでリリースノートを使用するには、開始の準備ができているアップグレードフェーズを選択してください。リストされている順序でフェーズを完了することをお勧めします。再設計されたリリースノートエクスペリエンスのガイドについては、「[リリースノートの使用](#)」を参照してください。



リリースタイムライン

新しい Washington DC リリースバージョンは 1 年を通してリリースされます。Washington DC のパッチおよびセキュリティパッチリリースの現在の日付は次のとおりです。Washington DC リリースバージョンの完全なリストを表示するには、「[利用可能なパッチとホットフィックス](#)」を参照してください。今後のリリース日は変更される可能性があります。



リリースノートの価値を最大化

再設計されたリリースノート进行操作して探している情報を見つける方法を学びます。新しいリリースノートツールを使用して、アップグレードエクスペリエンスを向上させてください。

リリースノートの使用方法

リリースノートのツール

リリースノートレビューし、より迅速かつ効率的にアップグレードするために役立つツールをいくつか作成しています。詳細については、「[独自のリリースノートの作成](#)」を参照してください。

リリースノートの概要

特定のリリースノート情報に関心をお持ちの方向けに、すべての製品のリリースノートをカテゴリ別に表示します。たとえば、すべての Washington DC 製品のブラウザー要件について 1 ページで読むことができます。

カスタマイズされた PRB リリースノート

現在のリリースバージョンから任意の利用可能なターゲットバージョンへのアップグレードで修正されたすべての問題の累積リストを生成します。

ファミリー共通アップグレード向けの統合製品リリースノート

任意の製品のファミリーリリースバージョン間ですべてのリリースノート情報を 1 つのページに表示します。

アップグレードシナリオで利用可能なリリースノートツールを確認するには、Washington DC へのアップグレードパスを選択してください。

- [からのアップグレードのリリースノート Vancouver](#)
- [からのアップグレードのリリースノート Utah](#)
- [からのアップグレードのリリースノート Tokyo](#)
- [Washington DC パッチおよびホットフィックスのリリースノート](#)

Washington DC へのアップグレードパスの選択

- [からのアップグレードのリリースノート Vancouver](#)
- [からのアップグレードのリリースノート Utah](#)
- [からのアップグレードのリリースノート Tokyo](#)
- [Washington DC パッチおよびホットフィックスのリリースノート](#)

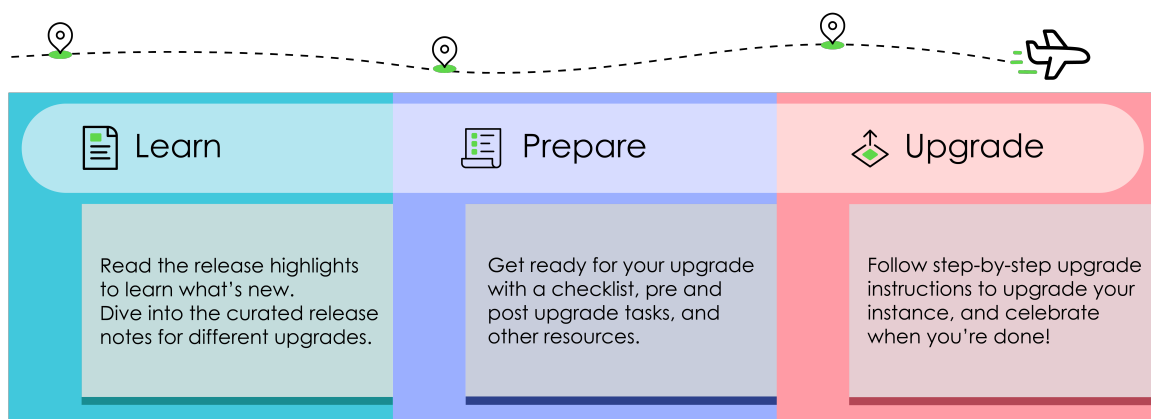
リリースノートの使用

再設計されたリリースノート进行操作して探している情報を見つける方法を学びます。

リリースノートの操作

アップグレードプロセスにより近い段階的なコンテンツを提供するように ServiceNow リリースノートエクスペリエンスを再設計しました。

リリースノートの使用



自動翻訳

リリースノートディレクトリ

アップグレードジャーニーのさまざまなリリースノートの内容を確認してください。

セクション	コンテンツ
Washington DC リリースの詳細	リリースのハイライトを確認して新機能や機能拡張について学び、アップグレードパスに対応するキュレーションされたリリースノートを使用してください。 • Vancouver からのアップグレードのリリースノート • Utah からのアップグレードのリリースノート • Tokyo からのアップグレードのリリースノート キュレーションされた各リリースノートパッケージには、アップグレードの次のステップを把握するのに役立つ次のようなツールが含まれています。 • Washington DC のハイライト • 製品別の機能と変更 (ファミリー共通アップグレード用に統合済み) • プラグインの変更

セクション	コンテンツ
	- カスタマイズされた PRB リリースノート - 利用可能なパッチとホットフィックス - ブラウザーサポート - アクセシビリティとコンプライアンス
アップグレードの準備	アップグレード計画立案チェックリストと、アップグレードの前後に完了する一連のタスクを使用して、アップグレードの準備を開始します。ServiceNow アップグレード製品、ツール、およびベストプラクティスにより、アップグレードエクスペリエンスを向上させます。 - ServiceNow アップグレード - 様々な製品に関するアップグレード前後のタスク - 計画立案チェックリストのアップグレード - アップグレードツールとリソース - アップグレードと ServiceNow Store
ServiceNow アップグレード	アップグレードガイドには、テストガイダンス、アップグレードのスケジュール方法に関する情報などが含まれています。 - フェーズ 1 - リリースノートを読み、アップグレードを計画します。 - フェーズ 2 - 開発インスタンスのアップグレードの準備をします。 - フェーズ 3 - アップグレード構成を確認し、Now Support で開発インスタンスのアップグレードをスケジュールします。 - フェーズ 4 - 開発インスタンスのアップグレードを実行し検証を行いません。 - フェーズ 5 - 該当する場合、テストインスタンスなど他の非本番インスタンスをアップグレードして検証します。 - フェーズ 6 - 本番インスタンスのアップグレードの準備をします。 - フェーズ 7 - 本番環境をアップグレードします。

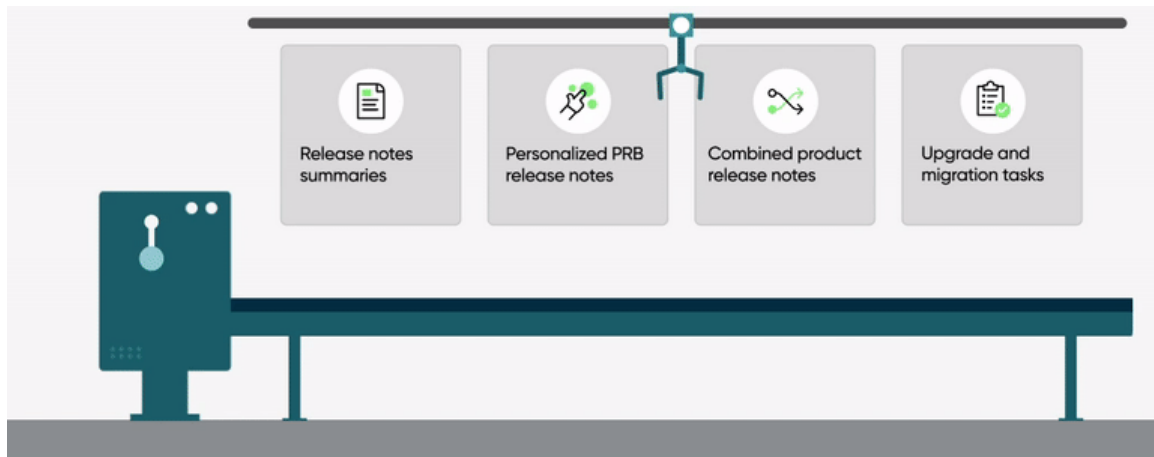
リリースノートツアー

再設計されたリリースノート进行操作して探している情報を見つける方法を学びます。新しいリリースノートツールを使用して、アップグレードエクスペリエンスを向上させてください。

リリースノートの使用方法

独自のリリースノートの作成

独自のアップグレードシナリオに適した構成可能リリースノートを使用して、アップグレードエクスペリエンスを向上させます。ファミリーリリースをスキップする場合でも、製品情報、ターゲットリリースバージョンに含まれる修正、およびアップグレードタスクを収集して、アップグレードの準備を簡素化します。



リリースノートの概要

所有している製品と必要な情報に基づいて、リリースノートを把握します。リリースノートの概要を使用すると、探している情報カテゴリを選択し、所有している製品を指定できます。その後、リリースノートは、読みやすい 1 つの概要にまとめられます。N-1 から N へのアップグレードに関する製品のハイライト、新機能や変更された機能、重要なアップグレード情報などを参照できます。

Browser requirements for all Vancouver features and products

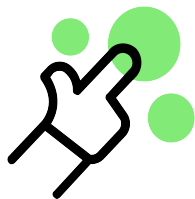
Release version: Vancouver | Updated: Apr 9, 2018 | ⌚ 3 minutes to read | Vancouver Release Notes and Upgrades

Cumulative release notes summary on browser requirements for Vancouver features and products.

Several products have specific browser requirements. Review this information to ensure you are using the correct browsers and browser versions.

Filter by: Application or feature

Application or feature	Details
AI Search	AI Search does not support Internet Explorer.
Advanced Work Assignment	AWA doesn't support mobile devices, Internet Explorer, or Microsoft Edge. Instead, use Microsoft Edge-Chromium or one of the other supported browsers that are listed in Browser support .



カスタマイズされた PRB リリースノート

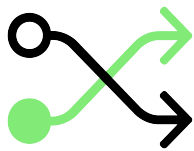
カスタマイズされた PRB リリースノートでは、特定のアップグレードシナリオに合わせて修正のリストを収集します。現在のリリースバージョンとターゲットリリースバージョンを選択すると、アップグレードに含まれるすべての修正のリストが生成されます。このリストをテーブルで表示するか、スプレッドシートをダウンロードして、必要に応じて PRB をソートおよびレビューします。

Personalized PRB release notes for upgrades to Vancouver

Updated: Nov 26, 2023 | ⌚ 35 minutes to read | Vancouver Release Notes and Upgrades

Filter by: Current version Target version

Current version	Target version	View	Download
Vancouver Patch 2	Vancouver Patch 2 Hot Fix 2	html	csv
Vancouver Patch 2	Vancouver Patch 3	html	csv
Vancouver Patch 2	Vancouver Patch 3 Hot Fix 1	html	csv



統合製品リリースノート

アップグレードで 1 つ以上のファミリーリリースをスキップする場合は、統合製品リリースノートでアップグレードの準備に必要なすべての情報を確実に入手できます。利用可能な製品のリストから、関連するリリース全体を対象として特定のアプリケーションの変更や機能をフィルタリングし、すべての情報を 1 つのページに表示できます。

STRY2594649

- [Vancouver から Washington DC へのアップグレードの統合製品リリースノート](#)
- [Utah から Washington DC へのアップグレードの統合製品リリースノート](#)
- [Tokyo から Washington DC へのアップグレードの統合製品リリースノート](#)

New features	
Between your current release family and Vancouver, new features were introduced for Goal Framework.	
Release	Release notes
Tokyo	Import goals and targets data from a spreadsheet Import your existing goals and targets data (that are defined outside Goal Framework) from a spreadsheet to the Goal Framework tables. When you import data from a spreadsheet, the goals and targets data is imported to the Goal [sn_gf_goal] and Target [sn_gf_goal_target] tables, respectively.
Utah	Goal Relationship with SAFe Feature Create a goal relationship with a SAFe feature to identify and associate current or future work through the work item type SAFe Feature.
Vancouver	Qualitative targets Set qualitative targets for your goals by defining a unit of measure. Qualitative targets are interpretation-based, descriptive, and typically of a Yes or No type. The available unit of measure for qualitative targets is Yes/No. You can also define a custom unit of measure for qualitative targets according to your need and set qualitative targets for your goals. Add remarks for a target actual update Add a remark in the Remark field to capture the highlights for business justification when updating the actual value of a target or target breakdown. Set status for a goal

自動翻訳



アップグレードおよび移行のタスク

必要な製品と PRB の情報を準備したら、ジャーニーを完了するために必要なアップグレードと移行のタスクのリストを作成します。製品のアップグレード前後や移行に必要なタスクを表示し、アップグレードプロセスのガイドとなる To Do リストを作成します。

Upgrade and migration tasks		
Important: For any changes in the upgrade procedure for self-hosted customers, see KB0563844 for details.		
Product	Release notes	Family
AI Search	When you upgrade to San Diego from Quebec or Rome, AI Search automatically reindexes all your indexed Japanese content. This one-time reindexing process is required to enable the Japanese search experience improvements in this release. If you enabled Q&A Genius Results in Quebec or Rome, you must reindex your Knowledge content after upgrading to San Diego. This one-time reindexing process is necessary to enable the Q&A improvements in this release.	San Diego
Application Usage Overview dashboard	After upgrading to the San Diego release, you cannot edit the Application Usage Overview homepage.	San Diego

開始するには

リリースノートの作成を開始するには、上記のオプションを選択するか、アップグレード元のファミリーを選択してください。

- Vancouver からのアップグレードのリリースノート
- Utah からのアップグレードのリリースノート
- Tokyo からのアップグレードのリリースノート

Washington DC リリースの詳細

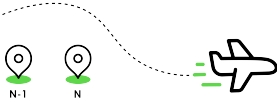
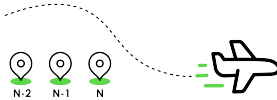
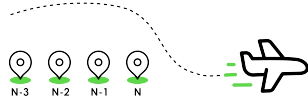
Washington DC リリースには、Now Platform[®] に基づく新しい機能と改善が含まれています。

リリース日

- 早期提供 (Early Availability): 2024 年 2 月 1 日
- 一般提供 (General Availability): 2024 年第 1 四半期後半を予定

アップグレード用リリースノート

アップグレードする前に、現在のバージョンから Washington DC リリースまでのリリースノートを確認してください。これらのリリースノートには、新しい機能、注目すべき変更、利用可能な修正に関する役立つ情報が記載されています。リリースノートを確認することで、アップグレードに必要な機能が含まれているか、インスタンスに影響を与える問題を解決する修正が含まれているかを判断できます。また、リリースノートから、以前カスタマイズしたアイテムがアップグレードされているかどうかを確認できます。

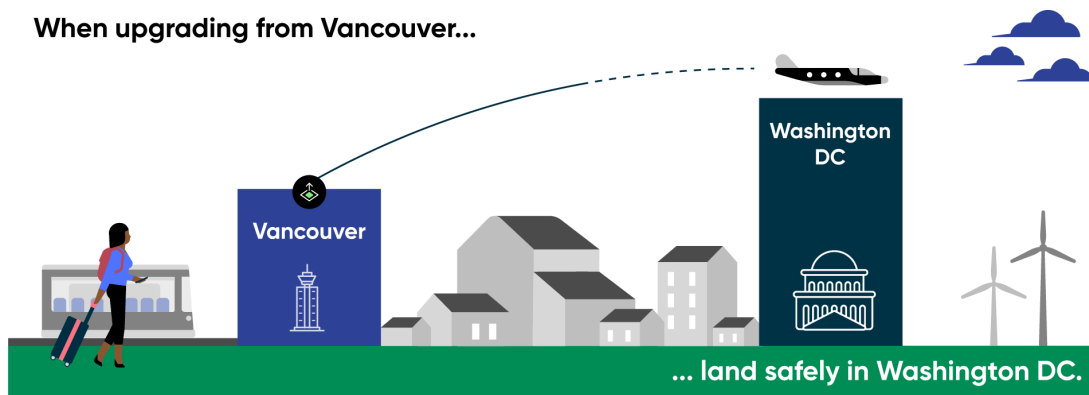
Vancouver からのアップグレード	Utah からのアップグレード	Tokyo からのアップグレード
		
からリリースへの Washington DC アップグレードの Vancouver リリースノート	からリリースへの Washington DC アップグレードの Utah リリースノート	からリリースへの Washington DC アップグレードの Tokyo リリースノート

Vancouver からのアップグレードのリリースノート

Vancouver リリースからアップグレードする場合は、各リリースバージョンの修正、ユーザーインターフェイスの重要な変更、ブラウザーのサポート、プラグインの更新、および各機能のアップグレードと移行のタスク (該当する場合) を把握しておきましょう。

バンクーバーからワシントンDCへのアップグレード

When upgrading from Vancouver...



製品別の機能と変更



新製品と機能の Vancouver
詳細情報 Washington DC

リリースノートの概要



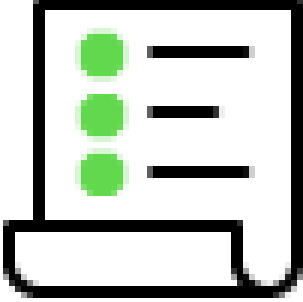
から Vancouver までの
すべての製品の統
合リリースノート情
報 Washington DC

統合製品リリースノート



から までの新製品と機能
Vancouver に関する複
合情報 Washington DC

自動翻訳

カスタマイズされた PRB リリースノート  現在のバージョンと利用可能なターゲットバージョンの間で修正された問題のリストを生成します	Washington DC リリース におけるプラグインの変更  新規、変更、名前変更、廃止されたプラグインのリスト	利用可能なパッチと ホットフィックス  修正された問題の リリースノート
ブラウザサポート  特定の製品でサポートされているブラウザバージョンと追加要件	アクセシビリティと適合性  自主的な製品アクセシビリティテンプレート (VPAT) に基づくアクセシビリティ適合レポート	

Vancouver から Washington DC へのアップグレードの統合製品リリースノート

Vancouver から Washington DC へのアップグレードに役立つ情報として、各製品のファミリー共通リリースノートを 1 ページにまとめました。ご使用の製品を選択して、リリースノートの結果をカスタマイズしてください。

製品を選択して、Vancouver から **Washington DC** へのリリースノートを選択

以下の表には、バンクーバーとワシントンDCの間で利用可能なすべての製品のリストがあります。目的の製品を選択するには、[フィルター基準] 機能を使用します。テーブルがフィルタリングされ、選択した製品の統合リリースノートが表示されます。リンクをクリックすると、各製品の統合リリースノートが表示されます。

製品	統合リリースノート
Accounts Payable Operations	リンク
Admin Center	リンク
Adoption Services	リンク
Advanced Goal Framework	リンク
Advanced Risk	リンク
Advanced Work Assignment	リンク
エージェントチャット	リンク
エージェントチャットおよび Sidebar	リンク
Agent Client Collector	「リンク」
CSM のエージェントエクスペリエンス	「リンク」
Agent Workspace for HR Case Management	リンク
Agile Development 2.0	リンク
AI Search	リンク
Alignment Planner Workspace	リンク
API	リンク
App Engine Studio	リンク
Application Management	リンク
アプリケーションマネージャー	リンク
Application Portfolio Management	リンク

製品	統合リリースノート
アプリケーション使用状況の概要ダッシュボード	リンク
Application Vulnerability Response	リンク
アセスメントとサーベイ	「リンク」
Audit Management	「リンク」
Automated Test Framework	リンク
Benchmarks	リンク
Business Continuity Management	リンク
Career Assessment	リンク
Case and Knowledge Management	リンク
Change Management	リンク
Clinical Device Management	「リンク」
クローンアドミンコンソール	「リンク」
クラウドコスト管理	「リンク」
Cloud Insights	リンク
Cloud Provisioning and Governance	リンク
Coaching	リンク
Commercial Lines Claims	「リンク」
共通の Governance, Risk, and Compliance 機能	「リンク」
共通の GRC 機能	「リンク」
Compliance Case Management	「リンク」

製品	統合リリースノート
Configuration Compliance	リンク
Configuration Management Database (CMDB)	リンク
コンテナ Vulnerability Response	「リンク」
Continuous Authorization and Monitoring	「リンク」
Continuous Authorization and Monitoring (CAM)	リンク
Conversational Interfaces	リンク
Conversational Interfaces のホーム	リンク
Core Now Platform	「リンク」
顧客契約と資格付与	「リンク」
Customer Service Management	「リンク」
Customer Service Management (CSM)	「リンク」
ダッシュボード	リンク
Data Discovery	「リンク」
CSM のデータ管理	「リンク」
Data Privacy	「リンク」
データ分離	リンク
Decision Builder	リンク
デフォルトの管理者ランディングページ	「リンク」
Delegated Development	「リンク」
DevOps	リンク

製品	統合リリースノート
DevOps Change Velocity	リンク
DevOps Config	リンク
Digital Portfolio Management	「リンク」
Visa の異議申し立てルールコンテンツパック	「リンク」
Document Intelligence	リンク
ドキュメントサービス	リンク
ドキュメントテンプレート	「リンク」
Dynamic Translation	リンク
Employee Center	リンク
Employee Document Management	「リンク」
Employee Growth and Development	「リンク」
Employee Growth and Development Activities	リンク
Employee Growth and Development Core	リンク
Employee Journey Management	リンク
Employee Relations	「リンク」
EMR Help	リンク
暗号化とキー管理	「リンク」
暗号化キー管理	リンク
Enterprise Asset Management	リンク
Environmental, Social, and Governance Management	リンク

製品	統合リリースノート
Equifax Spoke	「リンク」
ERP キャンバス	「リンク」
ERP Customization Mining	「リンク」
ESG Management	「リンク」
Event Management	リンク
Export to PowerPoint for Strategic Portfolio Management	リンク
Field Service Management	リンク
Financial Management	リンク
Financial Services Business Deposit Operations	リンク
Financial Services Business Lifecycle	リンク
Financial Services Business Loan Operations	リンク
Financial Services Card Operations	リンク
Financial Services Client Lifecycle	リンク
Financial Services Complaint Management	リンク
Financial Services Credit Operations	リンク
Financial Services Customer Lifecycle Operations	リンク
Financial Services Deposit Operations	リンク
Financial Services Insurance Policy Operations	リンク
Financial Services integration with Jack Henry Associates jXchange	リンク
Financial Services integration with Socure	リンク

製品	統合リリースノート
Financial Services Loan Operations	リンク
Financial Services Operations Core	リンク
Financial Services Operations の FRISS との統合	「リンク」
Financial Services Operations Integration with Guidewire	「リンク」
Financial Services Operations Integration with Jack Henry JXchange	「リンク」
Financial Services Operations の Visa との統合	「リンク」
Financial Services Payment Operations	リンク
Financial Services Personal Deposit Operations	リンク
Financial Services Personal Loan Operations	リンク
Financial Services Treasury Operations	リンク
Flow Designer	「リンク」
生成 AI コントローラー	「リンク」
Goal Framework	リンク
Goal Framework for SPM	リンク
Governance, Risk, and Compliance	リンク
Granular Delegation	リンク
GRC：サードパーティコンテンツとの統合	リンク
Group Life Servicing	「リンク」
Hardware Asset Management 10.0.0	「リンク」

製品	統合リリースノート
Hardware Asset Management 4.0	リンク
Hardware Asset Management 5.0	リンク
Hardware Asset Management 7.0.0	リンク
Hardware Asset Management 8.0.0	リンク
Healthcare and Life Sciences Service Management Core	リンク
Health Log Analytics	リンク
Help Center	リンク
Hermes Messaging Service	リンク
HR Service Delivery	リンク
HR Service Delivery Case and Knowledge Management	リンク
HR Service Delivery Enterprise Onboarding and Transitions	リンク
HR Service Delivery Integration with Magnit	リンク
HR Service Delivery Integration with Workday Learning	リンク
ID と認証	リンク
インポートとエクスポート	リンク
Incident Management	リンク
Individual Life Servicing	リンク
Industrial Process Manager	リンク
Industry 製品	リンク
Instance Data Replication	リンク

製品	統合リリースノート
Instance Scan	リンク
Integration Hub	「リンク」
CSM のインテリジェンス	「リンク」
Intelligent Service Delivery	リンク
Intelligent Servicing for Fraud	リンク
Investment Funding	「リンク」
ITOM クラウドアクセラレート	「リンク」
ITOM Health	リンク
ITOM Optimization	「リンク」
ITOM 最適化 ITOM 最適化	「リンク」
ITOM Visibility	リンク
ITSM Agent Workspace	リンク
ITSM Mobile	「リンク」
ITSM Mobile Agent	「リンク」
ITSM Success Dashboard	「リンク」
ITSM 仮想エージェント	リンク
Journey Designer	リンク
Journey Designer 2.0	リンク
Knowledge Management	リンク
Learning	リンク

製品	統合リリースノート
Legal Service Delivery	リンク
Localization Framework	リンク
Manager Hub	「リンク」
Manufacturing Process Manager	「リンク」
メンタリング	「リンク」
MetricBase	リンク
MID Server	リンク
Mobile	「リンク」
Mobile Platform	「リンク」
Natural Language Query	リンク
Natural Language Understanding	リンク
Next Experience	リンク
Next Experience コンポーネント	リンク
Next Experience 開発者ツール	リンク
Next Experience UI	リンク
Next Experience ユーザーインターフェイス	リンク
Notifications	リンク
Notify	リンク
Now Assist	「リンク」
Customer Service Management (CSM) 向け Now Assist	「リンク」

製品	統合リリースノート
Now Assist for HR Service Delivery (HRSD)	「リンク」 
Now Mobile アプリ	「リンク」 
Omnichannel Callback	リンク 
オンボーディングエクスペリエンス	リンク 
On-Call Scheduling	リンク 
Operational Resilience	リンク 
Operational Technology Change Management	リンク 
Operational Technology Incident Management v2	「リンク」 
オペレーショナルテクノロジー向けナレッジ管理	「リンク」 
Operational Technology Manager	リンク 
Operational Technology Service Management	リンク 
Operational Technology Vulnerability Response	「リンク」 
Order Management	「リンク」 
Order Management for CSM	リンク 
Order Management for Customer Service Management	「リンク」 
Order Management for Telecommunications, Media, and Technology	リンク 
Password Reset	リンク 
Patient Support Services	リンク 
Performance Analytics	リンク 

製品	統合リリースノート
Personal Lines Claims	「リンク」
プラットフォーム分析エクスペリエンス	「リンク」
Platform Analytics ワークスペース	リンク
プラットフォームセキュリティ	「リンク」
Playbook	「リンク」
Policy and Compliance integrator	リンク
Policy and Compliance Management	リンク
Portfolio Planning	リンク
Predictive Intelligence	「リンク」
Pre-Visit Management	リンク
Privacy Management	リンク
助言付きプロンプト	リンク
Proactive Service Experience Workflows	リンク
Proactive Service Experience Workflows (テクノロジー)	リンク
Proactive Service Experience Workflows (電気通信)	リンク
プロアクティブトリガー	リンク
Problem Management	リンク
Process Automation Designer	リンク
Process Mining	リンク
Process Optimization	リンク

製品	統合リリースノート
Procurement Service Management	「リンク」
製品カタログ管理と価格管理	「リンク」
Project Portfolio Management	リンク
プロジェクトワークスペース	リンク
Public Sector Digital Services	「リンク」
見積管理	「リンク」
推奨フレームワーク	リンク
Redox Inbound Integration	リンク
Regulatory Change Management	「リンク」
レポート	「リンク」
リソース管理ワークスペース	「リンク」
レスポンスダッシュボード	「リンク」
Robotic Process Automation (RPA) Hub	リンク
Scaled Agile Framework (SAFe)	リンク
スクリプティング	リンク
検索の管理	リンク
セキュリティセンター	リンク
Security Incident Response	「リンク」
Security Posture Control	「リンク」
CSM のセルフサービスとオムニチャネルエンゲージメント	「リンク」

製品	統合リリースノート
Service Bridge	リンク 
Service Bridge (テクノロジー)	リンク 
Service Bridge (電気通信)	リンク 
Service Builder	リンク 
Service Catalog	リンク 
Service Desk	「リンク」 
IoT 用 Microsoft Defender 向けサービスグラフコネクタ (Azure)	「リンク」 
Service Graph Connector for Microsoft Defender for IoT (オンプレミス管理コンソール)	「リンク」 
Service Graph Connector Integration for Claroty CTD	リンク 
Service Level Management	リンク 
ServiceNow パフォーマンスダッシュボード	リンク 
ServiceNow Studio	リンク 
ServiceNow 音声アシスト機能	リンク 
Service Operations Workspace for ITOM	「リンク」 
Service Operations Workspace for IT Service Management	「リンク」 
Service Operations Workspace for ITSM	リンク 
Service Portal	リンク 
Service Portfolio Management	リンク 
Sidebar	リンク 

製品	統合リリースノート
Sitemap Generator	リンク
Skills Intelligence	リンク
Skills Management	リンク
Software Asset Management	リンク
Sourcing and Procurement Operations	リンク
SPM ベンチマーク	リンク
Store 使用率の概要ダッシュボード	リンク
Strategic Planning	リンク
Studio	リンク
Subscription Management	リンク
Supplier Lifecycle Management	「リンク」
サプライヤーライフサイクルオペレーション	「リンク」
システム管理者ダッシュボード	リンク
システムクローン	リンク
System Diagnostics ホームページ	リンク
Table Builder	リンク
Table Builder for App Engine	リンク
ITSM の Task Intelligence	リンク
Technology Provider Service Management	「リンク」
Telecommunications Network Inventory	リンク

製品	統合リリースノート
Telecommunications Service Management	「リンク」
Telecommunications Service Operations Management	「リンク」
Theme Builder	「リンク」
サードパーティリスク管理	「リンク」
UI Builder	リンク
Universal Request	「リンク」
Upgrade Center	リンク
User Experience Analytics	リンク
Vaccine Administration Management	リンク
Vendor Management Workspace	「リンク」
Vendor Risk Management	リンク
仮想エージェント	「リンク」
Visa スポーク	「リンク」
Visual Task Boards	リンク
Vulnerability Response	「リンク」
Microsoft Defender for IoT の脆弱性対応 (オンプレミス管理コンソール)	「リンク」
Vulnerability Response integrations	リンク
Vulnerability Response Integration with Claroty CTD	リンク
Vulnerability Response Integration with Microsoft Defender for IoT	リンク

製品	統合リリースノート
Walk-up Experience	「リンク」 
ワークフロースタジオ	「リンク」 
Workforce Optimization for Customer Service	リンク 
Workforce Optimization for HR	リンク 
Workforce Optimization for ITSM	リンク 
ワークスペース	「リンク」 
Zing テキストインデックス作成および検索エンジン	「リンク」 

製品別の機能と変更

このリリースの新機能と変更について製品別に紹介します。

Washington DC の新機能と製品

Washington DC リリースには、新しい機能と製品が含まれています。

カスタマーサービス管理 (CSM)

[カスタマー契約とエンタイトルメント リリースノート](#)

従業員サービス管理 (ESM)

[メンタリング リリースノート](#)

ファイナンシャルサービスオペレーション

- [Visa リリースノートの異議申し立てルールコンテンツパック](#)
- [Visa のファイナンシャルサービスオペレーション統合 リリースノート](#)
- [Visa スポーク リリースノート](#)

IT Service Management

[サービスオペレーションワークスペースリリースノート用IT Service Management](#)

ハイパーオートメーションとローコード

[ワークフロースタジオ リリースノート](#)

Operational Technology

- [オペレーショナルテクノロジーのナレッジ管理 リリースノート](#)
- [サービスグラフコネクタ for Microsoft Defender for IoT \(Azure\) リリースノート](#)

セールスと注文管理

- [Opportunity Management リリースノート](#)
- [製品カタログ管理 および Pricing Management リリースノート](#)
- [見積管理 リリースノート](#)

Security Operations

[Security Posture Control リリースノート](#)

Source-to-Pay オペレーション

[買掛金オペレーション リリースノート](#)

更新された機能と製品

他にも Washington DC リリースで変更および更新された製品があります。詳細については、製品領域別にまとめられたリリースノートのトピックを参照してください。

API リリースノート

ServiceNow API を使用すると、カスタムアプリケーションとエクスペリエンスを構築できます。Washington DC リリースでは API の拡張と更新が行われています。

Washington DC リリースでの API の特長

- スクリプトでサーバー側の JavaScript API を使用して、アプリケーションの機能を変更します。
- フォームのロード時、フォームの送信時、フィールド値の変更時など、クライアントベースのイベントが発生するたびにクライアント API を実行します。
- インバウンド REST API を使用して、アプリケーション内のさまざまな ServiceNow 機能とやり取りします。

詳細については、「[API implementation and reference](#)」を参照してください。

Washington DC リリースの新機能

新しいスコープ対象クラスと既存のスコープ対象クラスへの追加メソッド

クラス	メソッド
GlideAggregate - Scoped	setIntervalYearIncluded()
GlideRecord - Scoped	Scoped GlideRecord - updateWithReferences(Object reason)
ProcessMiningForExternalData - Scoped, Global	ProcessMiningForExternalData - scheduleCaseGeneration(String externalDataSysId)
ProductInstance API - Scoped, Global	• generatePID() • getPIDConfig() • isProductInstance()
XMLDocument2 - Scoped, Global	setEnableCDATAReporting()
XMLNode - Scoped, Global	isCDATAANode()

新しいグローバルクラスと既存のグローバルクラスへの追加メソッド

クラス	メソッド
GlideAggregate - Global 🔗	setIntervalYearIncluded() 🔗
GlideRecord - Global 🔗	GlideRecord - addExtraField(String dotWalkedField) 🔗
OnCallContactPrefTemplate - Global 🔗	- OnCallContactPrefTemplate() 🔗 - copyContactPreferences() 🔗 - deleteContactPreferenceAttempts() 🔗
OnCallEscalationTemplateSNC - Global 🔗	- OnCallEscalationTemplateSNC() 🔗 - copyEscalationTemplatetoEscalationSet() 🔗 - deleteEscalationSetSteps() 🔗
ProcessMiningForExternalData - Scoped, Global 🔗	ProcessMiningForExternalData - scheduleCaseGeneration(String externalDataSysId) 🔗
ProductInstance API - Scoped, Global 🔗	- generatePID() 🔗 - getPIDConfig() 🔗 - isProductInstance() 🔗
SPWidgetAccessControl - Global 🔗	hasPublicAccess() 🔗
XMLDocument2 - Scoped, Global 🔗	setEnabledCDATAReporting() 🔗
XMLNode - Scoped, Global 🔗	isCDATAANode() 🔗

このリリースでの変更

変更されたスコープ対象クラス

クラス	メソッド
DecisionTableAPI - Scoped, Global 🔗	createAnswerElements() 🔗 メソッドで、追加の回答要素タイプがサポートされるようになりました。 - Due_date - Glide_date - Glide_date_time - Glide_duration - 長整数
GlideRecord - Scoped 🔗	新しいシステムプロパティ glide.db.forced.chunk.threshold 🔗 を使用すると、deleteMultiple() および updateMultiple() 🔗 メソッドでチャンクレ

変更されたスコープ対象クラス (続く)

クラス	メソッド
	コードの削除と更新をしきい値以上に強制できます。 Scoped GlideRecord - updateMultiple()

変更されたグローバルクラス

クラス	メソッド
DecisionTableAPI - Scoped, Global	createAnswerElements() メソッドで、追加の回答要素タイプがサポートされるようになりました。 • Due_date • Glide_date • Glide_date_time • Glide_duration • 長整数
GlideRecord - Global	新しいシステムプロパティ glide.db.forced.chunk.threshold を使用すると、 deleteMultiple() および updateMultiple() メソッドでチャンクレコードの削除と更新をしきい値以上に強制できます。 GlideRecord - updateMultiple()

変更されたクライアント API

クラス	メソッド
GlideForm (g_form) - Client	addFormMessage() メソッドには、フォームメッセージにボタンを追加するための新しいパラメーター <i>options</i> があります。

変更された REST API

クラス	メソッド
System for Cross-domain Identity Management (SCIM) API	エンドポイントは SCIM - PATCH /scim/Groups/{group_id} 、SCIM UI プロパティ [コンテンツのないグループパッチ API 応答を有効にする (Enable Group Patch API response with No Content)] が成功すると、新しい 204 ステータスメッセージを返します。

アクティベーション情報

デフォルトでは、次の API が利用可能です。

- *DecisionTableAPI*
- *DuplicateTemplate*
- *GlideAggregate*
- *GlideForm*
- *GlideRecord*

- 製品インスタンス
- `SPWidgetAccessControl`
- `XMLDocument2`
- `XMLNode`

次の API はプラグインのアクティブ化が必要です。

- `OnCallContactPrefTemplate` および `OnCallEscalationTemplateSNC` API では、オンコールスケジューリング(`com.snc.on_call_rotation`) プラグインを有効にする必要があります。
- `ProcessMiningForExternalData` API では、プロセスマイニングfor external data (`sn_po_extdata`) プラグインをアクティブ化する必要があります。

アプリケーションポートフォリオ管理 リリースノート

ServiceNow アプリケーションポートフォリオ管理 アプリケーションは、ビジネスアプリケーションの一元化されたインベントリを作成することで、ビジネスアプリケーションを可視化します。アプリケーションポートフォリオ管理 は Washington DC リリースで改善および更新されました。

Washington DC リリースでの アプリケーションポートフォリオ管理 の特長

- エンタープライズアーキテクチャワークスペースダッシュボードページは、ポートフォリオ固有のタブに関連ウィジェットを表示するように再設計されました。
- のビジネスアプリケーションビューエンタープライズアーキテクチャワークスペース内で、(TPM) および テクノロジー参照モデル (TRM) のライフサイクル情報をガントチャート形式で表示しますテクノロジーポートフォリオ管理。
- アプリケーションコストを取り込み、ビジネスアプリケーションを総所有コスト (TCO) で評価します。
- から Strategic Portfolio Workspace エンタープライズアーキテクチャワークスペースでビジネス機能とビジネスアプリケーションのロードマップを表示するアクションが追加されました。
- テクノロジーポートフォリオ管理 (TPM) は、ハードウェアのテクノロジー標準を設定するためのサポートを拡張します。ハードウェア製品と製品ライフサイクルを追加または要求 TRM します。

詳細については、「[Application Portfolio Management](#)」を参照してください。

Washington DC リリースの新機能

Configure application total cost of ownership (TCO) in Enterprise Architecture Workspace

ビジネスアプリケーションのコストを評価し、アプリケーションのコストを活用してアプリケーションポートフォリオに優先順位を付けます。ビジネスアプリケーションをコストで合理化し、組織のビジネス戦略に合わせて調整します。詳細については、[Configure application total cost of ownership \(TCO\) in Enterprise Architecture Workspace](#) [Create a source for an Application TCO](#) [Create a cost type for Application TCO in Enterprise Architecture Workspace](#) [Add or edit a total cost of ownership record](#) を参照してください。

ビジネス機能とビジネスアプリケーションのロードマップを表示

戦略に合わせて、ビジネス機能とアプリケーションの作業を計画し、優先順位を付け、ロードマップを作成します。詳細については、「[View a roadmap of a business capability](#)」と「[View roadmap of a business application](#)」を参照してください。

Lucidchart 図を保存するフォルダーを表示および選択する

ログインに従って、図の作成中に Lucid フォルダをフェッチして Lucidch 図を選択して保存します。詳細については、[ANDCreate a diagram for a business application in the EA Workspace](#) を参照してください [Create a Lucidchart diagram for a business capability in the EA Workspace](#)。

[アプリケーションの合理化] ページで、自分が作成したインジケータを使用してビジネスアプリケーションを分析

の エンタープライズアーキテクチャワークスペース [アプリケーションの合理化] 画面では、カスタムインジケータを使用して、バブルチャートビューまたはリストビューでビジネスアプリケーションを分析できます。アクティブフラグを使用して、合理化に適用するインジケータを選択します。詳細については、「[Bubble chart view of application rationalization](#)」と「[List view of application rationalization](#)」を参照してください。

TPM および TRM ライフサイクルをガントチャートビューで表示する

ビジネスアプリケーションビューの [ライフサイクルタイムライン] タブで、ビジネスアプリケーションの TPM および TRM ライフサイクル情報をガントチャート形式で表示できます。詳細については、「[Gantt view of TPM and TRM lifecycle timelines](#)」を参照してください。

機能とその子機能に関連付けられたすべてのビジネスアプリケーションを合理化する

[アプリケーションの合理化] ページでビジネス機能フィルターを適用すると、親機能の子機能に関連付けられているものも含め、すべてのビジネスアプリケーションが表示されます。

ハードウェア製品の製品またはTRM製品ライフサイクルの追加または要求TRM

TRMエンタープライズアーキテクチャワークスペース内のカタログまたはTRMナビゲーションを使用して、TRMハードウェア製品と製品ライフサイクルを要求します。ユーザロールに応じて、TRM 製品を追加または要求することができます。たとえば、エンタープライズアーキテクトグループのメンバーである場合は、TRM 製品または TRM 製品ライフサイクルを直接追加することができます。詳細については、[Add or edit a TRM product lifecycle request](#) [Request a TRM product using the TRM Catalog](#) および [Request a TRM product lifecycle using the TRM Catalog](#) を参照してください [Add or edit a TRM product request](#)。

Rationalization of business applications

は エンタープライズアーキテクチャワークスペース、アプリケーションの合理化をサポートします。アプリケーションをインジケータで分析してアクションを実行することで、ビジネスアプリケーションを合理化できます。デマンドの作成、計画された処分の設定、ライフサイクルデータの追加、関連するデマンドの表示、アプリケーションに関連付けられた既存のプロジェクトの詳細の更新などのアクションを実行できます。詳細については、「[Bubble chart view of application rationalization](#)」と「[List view of application rationalization](#)」を参照。

Personalize the Enterprise Architecture Workspace home page

ページのカスタマイズ機能を使用して、ホームページに表示する EA ワークスペースセクションをカスタマイズします。

Run a scheduled job to update TRM technical debt data in EA Workspace

スケジュール設定済みジョブ (*Populate TRM technical debts in the EA Workspace*) を実行して、TRM の EA ワークスペース技術的負債データを更新します。詳細については、「」を参照してください。

Open business application form in Core UI from EA Workspace

からEA ワークスペースビジネスアプリケーションフォームコア UIを開くことができます。

UI の変更

エンタープライズアーキテクチャワークスペース ダッシュボードページ

[Dashboard] ページでは、整理しやすいようにウィジェットがさまざまなタブに表示されるようになりました。次のタブが導入されました。

- アプリケーションポートフォリオ
- 技術ポートフォリオ
- 情報ポートフォリオ
- ポートフォリオ **TCO**

詳細については、「」を参照してください。

エンタープライズアーキテクチャワークスペースのアプリケーションの総所有コスト (TCO)

[セットアップ] ページに、アプリケーション TCO のソースとコストタイプを定義する **[TCO]** セクションが追加されます。

[ポートフォリオ] ページに、すべてのビジネスアプリケーションの TCO 情報を表示する **[TCO]** セクションが追加されます。

[アプリケーションの合理化リスト (Application Rationalization List)] ビューページに、アプリケーション TCO インジケータースコアを表示する新しい列が追加されます。既存のアプリケーション TCO インジケーター (古い APM 用) はそのまま残り、新しいインジケーターポートフォリオ TCO がテーブルに追加されることに注意してください。

アプリケーション合理化バブルチャートビューでは、ポートフォリオ TCO スコアがバブルサイズのオプションとして表示されます。

ダッシュボードページに、アプリケーション TCO 固有のウィジェットを表示するポートフォリオ **TCO** ダッシュボードタブが追加されています。

ビジネスアプリケーションフォームで、TCO の新しい関連アイテムが追加されます。

[インサイト] セクションの新しいカードが [アプリケーションポートフォリオ] タブに追加され、コストデータのないビジネスアプリケーションが表示されます。

TRMハードウェアの製品または製品ライフサイクルの追加

ハードウェア製品を選択するための [タイプ] フィールドが製品要求フォームと TRM 製品ライフサイクル要求フォームに追加 TRM されました。

製品ライフサイクルの TRM パブリッシャーの詳細の表示

製品ライフサイクルを作成または要求 TRM するときに、製品の公開者の詳細 TRM を表示できます。詳細については、「[Create new TRM product lifecycle form](#)」と「[Create new TRM product lifecycle request form](#)」を参照してください。

EA ワークスペース ホームページへ。

EA ワークスペースダッシュボードページがホームページから削除されます。別のページとして利用できます。ナビゲーション ウィンドウから [ダッシュボード] アイコンを選択すると、そこに移動できます。

[View a unified map for a business application](#)

内の新しいタブ EA ワークスペースにビジネスアプリケーションの統合マップを表示します。

の新しい EA ワークスペースページ、アプリケーションの合理化に関する情報を表示

アプリケーションの合理化情報を表示する新しいページが追加されます EA ワークスペース。詳細については、「[Rationalization of business applications](#)」を参照してください。

EA ワークスペース 廃止されたビジネスアプリケーションを除外する

ホームページとダッシュボードページでは エンタープライズアーキテクチャワークスペース、[廃止] ステータスのビジネスアプリケーションと、ライフサイクルステージが [提供終了] のビジネスアプリケーションは除外されます。

アクティベーション情報

アプリケーションポートフォリオ管理 は、アプリケーションポートフォリオ管理 (com.snc.apm) プラグインを有効にすると利用できます。詳細については、「[Application Portfolio Management](#)」を参照してください。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

Portfolio Planning in Strategic Planning

ワークスペースを使用すると戦略的計画アプリケーションポートフォリオ管理、ユーザーはビジネス機能とビジネスアプリケーションのロードマップを表示し、戦略に沿って作業を計画、優先順位付け、およびロードマップすることができます。

カスタマーサービス管理 (CSM) リリースノート

Washington DC リリースには、ServiceNow カスタマーサービス管理 (CSM) の新規および更新されたアプリケーションと機能が含まれます。

カスタマーサービス管理 (CSM) リリースノート

この ServiceNow カスタマーサービス管理 (CSM) アプリケーションを使用すると、カスタマーサービス組織とサービスオペレーションは、顧客の問題に積極的に対処してコラボレーションし、問題を解決できます。カスタマーサービス管理 (CSM) このリリースではWashington DC、アプリケーションが拡張および更新されました。

Washington DC リリースでの カスタマーサービス管理 (CSM) の特長

- 音声を含むすべての顧客エンゲージメントチャネルのルーティングルールを作成し、適切なスキル、専門知識、キャパシティを備えた最適なエージェントに作業を自動的にアサインすることで、顧客とのやり取りを簡素化します。
- Customer Service Portal および Consumer Service Portal のガイド付きプロセスにより、ケースの作成から完了までの ライフサイクルを通じて顧客をガイドし、カスタマーエクスペリエンスを向上させます。
- 事業所の包括的なビューを使用して、カスタマーサービスデリバリーを最適化します。ケースを作成し、問題を迅速かつ正確に解決するために必要な場所コンテキストをエージェントに提供します。
- 同じユーザーの内部ペルソナと外部ペルソナをサポートし、1 人の個人に対して複数のユーザーアカウントを作成および管理する必要がなくなります。
- 改善された柔軟なアクティビティストリームレイアウトにより、折りたたみ可能なパネルと最小化されたスクロールによって画面のスペースが最適化され、エージェントの効率が向上します。

詳細については、「[Exploring Customer Service Management](#)」を参照してください。

Washington DC リリースの新機能

サービス定義カテゴリ

提供されるサービスのカテゴリを作成することで、エージェントがサービスを選択する方法を簡素化します。エージェントは、ケースサービスセクターとケースタスクサービスセクターからカテゴリを選択し、そのカテゴリ内で利用可能なサービスを表示および選択して、ケースまたはケースタスクを作成できます。

顧客アクティビティビュー

- 迅速で応答性の高い顧客アクティビティコンポーネント CSM 構成可能ワークスペースを、機能強化には、更新された日付ピッカー、顧客アクティビティ時間グループのヘッダーとカードレイアウト、および新しいアクティビティアイコンが含まれます。
- 完全なトランスクリプトの代わりに、過去のインタラクションの生成 AI 主導のサマリーを表示します。

Quick start tests for Customer Service Management

新しいアプリケーションまたは統合のアップグレードと展開が完了したら、クイックスタートテストを実行して、カスタマーサービス管理 (CSM) が想定どおりに機能していることを確認します。カスタマーサービス管理 (CSM) をカスタマイズした場合は、クイックスタートテストをコピーし、カスタマイズのために設定します。

このリリースでの変更

の動的関連レコード 構成可能ワークスペース

リリース以降 Washington DC、プラグインの動的関連レコード 構成可能ワークスペース (com.snc.uib.sn_dyn_rel_rec) ServiceNow Store は 動的関連レコード機能の新しい拡張機能は、このストアアプリを介して配信されます。

ケースサービスセクターの機能拡張

ケースサービスセクターの製品サービス選択バージョンでキーワード検索とカテゴリフィルターを使用して、利用可能なサービスを検索します。利用可能なサービスをカードビューで表示し、複数のページのサービスを簡単に参照します。

顧客契約およびエンタイトルメントアプリケーション

顧客契約とエンタイトルメントプラグインを有効にすると、契約とエンタイトルメントモジュールがアプリケーションナビゲーター CSM 構成可能ワークスペース に追加され、[アカウント] フォームと [コンシューマー] フォームの [契約] 関連リストから 新規 UI アクションが削除されます。

廃止

このリリース以降 Washington DC、Product Model and Catalog Items Relationship プラグインは展開、拡張、またはサポートされなくなりました。詳細については、ナレッジベースの [推奨プロセス \[KB0867184\] !\[\]\(f60b7a900783ac3fd531bfd9c111be6d_img.jpg\)](#) の記事 Now Support を参照してください。詳細については、「[Product Model and Catalog Items Relationship プラグインの廃止 !\[\]\(fe5cf1978663f480c504f8fc2019fe62_img.jpg\)](#)」を参照してください。

CSM エージェントワークスペース は現在廃止されており、新しいアクティベーションではサポートされていないか、使用できません。 [CSM 構成可能ワークスペース !\[\]\(f1c5da15572e3e09d343161be98f508d_img.jpg\)](#) は、この機能の最新のエクスペリエンスを提供します。詳細については、Now Support ナレッジベースの [Deprecation Process \(廃止プロセス\) \[KB0867184\] !\[\]\(2a30f8f4aa91bd6e751eede05a6a74ad_img.jpg\)](#) の記事を参照してください。

アクティベーション情報

カスタマーサービス管理 (CSM) は、カスタマーサービス管理 (CSM) プラグイン (com.sn_customerservice) をアクティブ化すると利用できる Now Platform の機能です。詳細については、「[Activate Customer Service Management !\[\]\(eabd9f9ababee93effadc3b380fe65fd_img.jpg\)](#)」を参照してください。

追加の カスタマーサービス管理 (CSM) 機能は、他のプラグインをアクティブ化すると利用できます。詳細については、「[Additional plugins for Customer Service Management](#)」を参照してください。

ブラウザー要件

ServiceNow ワークスペースでは、モバイルデバイス、Internet Explorer、または Microsoft Edge をサポートしていません。代わりに、Microsoft Edge - Chromium、または「[ブラウザーサポート](#)」に記載されている他のいずれかのブラウザーを使用してください。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

CSM 向け Now Assist

ServiceNow CSM の Now Assist アプリケーションを使用して、インタラクションでの顧客とのチャット会話を要約し、ケースの詳細を要約して、ケース解決メモを生成します。

Communities

顧客は Customer Service Portal および Consumer Service Portal から Communities アプリケーションを使用して ServiceNow 接続、エンゲージメント、およびコラボレーションを行うことができます。カスタマーサービスエージェントは、コミュニティのディスカッションスレッドからケースを作成し、コミュニティコンテンツを使用してケースを解決できます。

継続的な改善の管理

ServiceNow 継続的改善管理 を使用して、改善の機会を要求します。パフォーマンス目標を達成し、進捗状況を追跡し、成功を測定するためのフェーズとタスクを実装できます。プロセスマイニング アプリケーション内から改善イニシアチブを表示、作成、および関連付けることもできます。

Integrating with Customer Project Management

Customer Project Management プラグイン (com.snc.csm_ppm) を使用すると、ServiceNow ファイナンシャルを備えたプロジェクトポートフォリオスイート アプリケーションを使用して顧客アカウントのプロジェクトを作成できます。また、エンドユーザーは Customer Service Portal からプロジェクトを表示できます。このプラグインには ファイナンシャルを備えたプロジェクトポートフォリオスイート プラグイン (com.snc.financial_planning_pmo) が必要です。

Event Management

カスタマーサービス管理 (CSM) は ServiceNow IT Operations Management (ITOM) イベント管理 との統合を実現します。この統合によって、手動または自動で、事前対応的にアラートからケースを作成できます。カスタマーサービスエージェントは、アラートの影響を受けるアカウントと対応するインストールベースアイテムを追跡できます。エージェントは、顧客の問題をより適切に関連付けして迅速な回答を提供するために、アカウントのインストールベースの運用ステータスも追跡できます。

Field Service Management

カスタマーサービス管理 (CSM) には、ServiceNow フィールドサービス管理 (FSM) アプリケーションとの統合が含まれています。この統合により、ユーザーと顧客は次のタスクを実行できます。

- フィールドサービス技術者は、フィールドサービス管理 (FSM) アプリケーションで、作業指示書および作業指示タスクに関する顧客アカウントおよび連絡先情報を確認できます。
- カスタマーサービスエージェントは、カスタマーサービス管理 (CSM) アプリケーションのケースから作業指示書を作成できます。
- 顧客およびコンシューマーは、Customer Service Portal と Consumer Service Portal からケースに関連する作業指示を表示できます。

Flow Designer

フローデザイナー コンポーネントを使用すると、設計されたフローやサブフローをワークフローの一部として呼び出したり、フローやサブフローの出力または実行ステータスを確認することもできます。

Knowledge Management

顧客は、Customer Service Portal および Consumer Service Portal からアプリケーションを使用して ServiceNow ナレッジ管理 共有情報を検索できます。カスタマーサービスエージェントは、ナレッジコンテンツを使用してケースを解決できます。

Process Automation Designer

カスタマーサービス管理 (CSM) は ServiceNow プレイブック アプリケーションとの統合を実現します。この統合により、Playbook などのプロセスを構成できます。

Process Mining

ServiceNow プロセスマイニング は、アナリストとプロセスオーナーがビジネスプロセスの有効性を分析するのに役立ちます。データから自動化されたビジネスプロセスフローを作成し、プロセスの非効率性を監視し、より迅速に検出できるようにします。

IT Service Management アプリケーション

カスタマーサービス管理 (CSM) には、Incident Management 、Problem Management 、Change Management 、および Request Management  の ServiceNow サービス管理 アプリケーションとの統合が含まれています。この統合を使用すると、カスタマーサービスケースからインシデント、問題、変更、および要求のレコードを作成できます。また顧客は、カスタマーサービス Portal から要求の送信もできます。

Next Experience UI Builder

Next Experience UI ビルダー は、ローコードの Web ユーザーインターフェイスビルダーです。開発者はこのツールを使用してページを構築し、ワークスペースとポータル Web ベースのエクスペリエンスを実現できます。ベースシステムとカスタム Web コンポーネントを使用してページを構築します。

Workforce Optimization for Customer Service

ServiceNow カスタマーサービスのワークフォース最適化 を使用すると、1 つのアプリケーションから人員の生産性を管理および維持できます。このアプリケーションでは、作業をチームに効率的にルーティングし、チームのスキルとスケジュールを管理し、パフォーマンスを監視します。

ワークスペース

ServiceNow Workspace は、エージェントが問題を検索、調査、解決するために使用するツールなど、複数のツールを 1 ページに配置したグラフィカルユーザーインターフェイスです。CSM 構成可能ワークスペース は、階層 1 エージェントが顧客に応答し、ケースを解決するために必要なツールを提供する、カスタマーサービス固有の実装です。

リリースノートの **CSM** エージェントエクスペリエンス[®]

のCSMエージェントエクスペリエンスはServiceNow、カスタマーサービスエージェントが顧客の問題や質問を検索、調査、解決するために必要なツールを提供します。の CSM エージェントエクスペリエンスは、Washington DC リリースで拡張および更新されました。

リリースの特長の**CSM Washington DC**エージェントエクスペリエンス

- プリセット、コントローラー、拡張ポイントなどのロジックを利用するレコードページを使用して、構成を簡素化します CSM 構成可能ワークスペース。
- キーボードショートカットを使用して、ユーザーインターフェイスで一般的なアクションを実行します。
- 適合性の高い構成可能なワークスペースを作成する包括的なアクセシビリティの改善を利用できます。

詳細については、「[Agent experience](#)」を参照してください。

i 重要:

CSM 構成可能ワークスペース は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティビティ情報」セクションを参照してください。

このリリースでの変更

CSM 構成可能ワークスペース レコードページ

次のレコードページは、新規顧客のデフォルトページです。

- CSM デフォルトレコードページ
- CSM インタラクションレコードページ

次のレコードページは、アップグレードユーザーのデフォルトのレコードページのままです。

- [レコード] のデフォルト
- インタラクションレコードページ

の動的関連レコード 構成可能ワークスペース

リリース以降 Washington DC、プラグイン (com.snc.uib.sn_dyn_rel_rec) の動的関連レコード 構成可能ワークスペース は ServiceNow Storeに移動しました。動的関連レコード機能の新しい拡張機能は、このストアアプリを通じて提供されます。

キーボード ショートカット

キーボードショートカットを使用して、さまざまなタスクを完了するために必要な時間を短縮します。詳細については、以下の「[アクセシビリティ情報](#)」セクションを参照してください。

構成可能ワークスペースのリフロー

CSM 構成可能ワークスペース はリフローをサポートしています。これにより、コンテンツや機能を失うことなく、ブラウザー設定を使用してページとコンテンツを最大 400% 拡大できます。詳細については、以下の「[アクセシビリティ情報](#)」セクションを参照してください。

廃止

CSM エージェントワークスペース は現在廃止されており、新しいアクティベーションではサポートされていないか、使用できません。 **CSM 構成可能ワークスペース** は、この機能の最新の工

クスペリエンスを提供します。詳細については、Now Support ナレッジベースの廃止 [プロセス \[KB0867184\]](#) の記事を参照してください。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、CSM 構成可能ワークスペース をインストールします。[ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

ブラウザー要件

ServiceNow ワークスペースでは、モバイルデバイス、Internet Explorer、または Microsoft Edge をサポートしていません。代わりに、Microsoft Edge - Chromium、または「[ブラウザーサポート](#)」に記載されている他のいずれかのブラウザーを使用してください。

アクセシビリティ情報

アクセシビリティの改善

包括的なアクセシビリティの改善が完了し、準拠性の高い構成可能なワークスペースが作成されました。

リフロー

構成可能ワークスペースサポートリフローにより、コンテンツや機能を失うことなく、ブラウザー設定を使用してページとコンテンツを最大 400% 拡大できます。さらに、コンテンツは、320 CSS ピクセルに相当する幅または 256 CSS ピクセルに相当する高さで、2 次元でスクロールせずに拡大できます。ページレイアウトは、ユーザーがブラウザのズームを 400% に拡大すると、自動的に垂直のスタックビューに変換されます。

この機能拡張は、弱視のユーザーや、モニターのサイズ、デバイスの種類、照明の悪さ、またはその他の状況のためにブラウザーで Web コンテンツを見るのが難しいユーザーに役立ちます。リフローは、インスタンス、エクスペリエンスおよびページのシステムプロパティでオフにできます。詳細は、「[Reflow for Configurable Workspace](#)」を参照してください。

キーボード ショートカット

40 個のキーボードショートカットが利用可能になり、マウスを使用せずに構成可能なワークスペースページ間をより迅速かつ効果的に移動できるようになりました。

ショートカットは、現在のページと使用しているオペレーティング システムのコンテキストに依存します。キーボードショートカットモダルを使用して、特定のページで使用するキーボードショートカットを表示します。モダルを開くには、[ユーザー初期設定] メニューから [キーボードショートカット] を選択するか、キーボードショートカット Next Experience (Windows の場合は Control + /、macOS の場合は **Command + /** を使用します) を使用します。

この機能拡張により、マウスとキーボードのみのユーザー以外のユーザーや、運動障害や認知障害のあるユーザーが、さまざまなタスクを完了するために必要な時間を短縮できます。

以前は、[特別なキーボードショートカットを有効にする Next Experience] ユーザー設定をオンにすると、限られた数のキーボードショートカットを使用できました。これらのショートカットは新しいキーボードショートカットフレームワークに含まれ

ており、新しいモデルからアクセスできます。詳細については、「[Configure Next Experience accessibility preferences](#)」を参照してください。

関連 **ServiceNow** アプリケーションと機能

Customer Service Management

カスタマーサービス管理 (CSM) アプリケーションを使用して、外部顧客が必要とするサービスとサポートを提供します。

CSM 向け Now Assist

ServiceNow CSM の Now Assist アプリケーションを使用して、インタラクションでの顧客とのチャット会話を要約し、ケースの詳細を要約して、ケース解決メモを生成します。

Next Experience UI Builder

Next Experience UI ビルダー は、ローコードの Web ユーザーインターフェイスビルダーです。開発者はこのツールを使用してページを構築し、ワークスペースとポータル Web ベースのエクスペリエンスを実現できます。ベースシステムとカスタム Web コンポーネントを使用してページを構築します。

ワークスペース

ServiceNow ワークスペース は、エージェントが問題を検索、調査、解決するためのツールなど、複数のツールを 1 ページに配置したグラフィカルユーザーインターフェイスです。CSM 構成可能ワークスペース は、階層 1 エージェントが顧客に応答し、ケースを解決するために必要なツールを提供する、カスタマーサービス固有の実装です。

カスタマー契約とエンタイトルメント リリースノート

この ServiceNow カスタマー契約とエンタイトルメントアプリケーションは、カスタマーサービス契約と資格付与を保存および管理するための基盤を提供します。はリリースの新しい Washington DC アプリケーションです。カスタマー契約とエンタイトルメント

Washington DC リリースでの カスタマー契約とエンタイトルメント の特長

- 契約とエンタイトルメントの詳細を取得するための、エンドツーエンドの柔軟なデータモデルを開発します。
- 契約および資格付与データを共通データモデルに追加することで、販売済み製品やインストールベースアイテムなどの既存の顧客データとの関係を確立します。
- アカунベースのサポートエンタイトルメントから、複雑なエンタイトルメント範囲のサービスプランを含む契約まで、さまざまな機能を実装することで、顧客のニーズをサポートします。
- 契約と資格付与のエンドツーエンドの注文管理プロセスを有効にします。
- 契約、契約品目、エンタイトルメントを管理および変更します。

詳細については、「[Customer Contracts and Entitlements](#)」を参照してください。

i 重要:

カスタマー契約とエンタイトルメント は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

カスタマー契約とエンタイトルメント 機能

契約の作成と管理

契約を手動で作成し、既存の契約をインポートおよび同期して、更新されたデータを保持します。

Agent Workspace での作業

で契約とエンタイトルメント ServiceNow® CSM エージェントワークスペースを表示、活用、および管理します。

新しい顧客契約および資格付与を生成

オファーの作成から契約の生成まで、カスタマーサービス契約およびエンタイトルメントのライフサイクルを管理します。

オファーから契約サービスへの統合

製品カタログ管理、注文管理、および契約管理を統合して、サービス契約とエンタイトルメントの販売をサポートするシームレスな機能を提供します。

契約とエンタイトルメントの管理

契約とエンタイトルメントの変更を管理して、契約、契約品目、エンタイトルメントの変更オーダーを処理します。アカウント、製品、またはサービスプランの資格付与をサポートします。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求することで、カスタマー契約とエンタイトルメント をインストールします。 [ServiceNow Store](#)  Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#) 」を参照してください。

カスタマー契約とエンタイトルメント は、 カスタマー契約とエンタイトルメント (com.sn_pss_core) プラグインを有効にすると利用できます。これには個別のサブスクリプションが必要です。詳細については、「[Configure Customer Contracts and Entitlements](#) 」を参照してください。

注:

を有効にすると カスタマー契約とエンタイトルメント、新しい契約とエンタイトルメントは新しいデータモデルのみを使用して作成されます。新しいエンタイトルメント検証 API と変更ワークフローは、新しいデータモデルに基づいています。古い契約とエンタイトルメントは引き続き表示できます。

関連 **ServiceNow** アプリケーションと機能

Flow Designer

ServiceNow フローデザイナー コンポーネントを使用すると、ワークフローの一部として設計され、フローまたはサブフローの出力または実行ステータスを確認するために使用されるフローまたはサブフローを呼び出すことができます。

インストールベース管理

ServiceNow インストールベース管理は、アプリケーションを使用する カスタマーサービス管理 (CSM) あらゆる業界の顧客による製品の使用または購入を把握するために使用されます。

Next Experience UI Builder

ServiceNow Next Experience UI ビルダー は、ローコードの Web ユーザーインターフェイスビルダーです。開発者はこのツールを使用してページを構築し、ワークスペースとポータル Web ベースのエクスペリエンスを実現できます。ベースシステムとカスタム Web コンポーネントを使用してページを構築します。

Opportunity Management

ServiceNow Opportunity Management 潜在的な顧客の獲得と管理に役立ちます。Opportunity Management 顧客の準備ができたときに顧客をシームレスに見積管理転送します。

Order Management

ServiceNow 注文管理 - カスタマーサービス管理 (CSM) は、シームレスな注文および履行エクスペリエンスの作成に役立つアプリケーション カスタマーサービス管理 (CSM) です。

製品カタログ管理

ServiceNow 製品カタログ管理 では製品をカタログとカテゴリに整理し、エージェントが製品やサービスを簡単に見つけて見積もりに追加できるようにします。

Pricing Management

ServiceNow Pricing Management 見積もりに追加できる製品やサービスの価格を設定するのに役立ちます。Pricing Management また、エージェントは見積もりに含まれる製品の価格調整を行うこともできます。

ワークスペース

ServiceNow Workspace は、エージェントが問題を検索、調査、解決するために使用するツールなど、複数のツールを 1 ページに配置したグラフィカルユーザーインターフェイスです。CSM 構成可能ワークスペース は、顧客に対応してケースを解決するために使用する必要があるツールを階層 1 エージェントに提供する、CSM エージェントワークスペース カスタマーサービス固有の実装です。

リリースノートのデータ CSM 管理

ServiceNow アプリケーションのデータ管理を使用すると、カスタマーサービス管理 (CSM) 内部ユーザーと外部顧客の両方のデータを整理および管理できます。のデータ カスタマーサービス管理 (CSM) 管理は、Washington DC このリリースで拡張および更新されました。

リリースのデータ Washington DC 管理の特長

- 販売済み製品テーブルの拡張データモデルの変更により、ワークフローをサポートします。
- 販売済み製品としてもモデル化され、階層の一部である契約と資格付与を使用して、販売済み製品とそのサービスに関する完全な情報を得ることができます。
- 製品インスタンス識別子を使用して、新規および既存のインストールベースアイテムを識別して追跡します。
- ユーザーの ID ペルソナを統合して、1 人のユーザーに対して複数のユーザーアカウントを作成および管理する必要がないようにします。この機能を使用すると、企業/消費者間 (B2C) サービスをシームレスにプロビジョニングできます。
- 事業所の問題を包括的に 360 度把握して、エージェントが、報告された問題を効果的に解決するために必要なコンテキストデータを取得できるようにします。

詳細については、「[Data management for Customer Service Management](#)」と「」を参照してください。

Washington DC リリースの新機能

製品インスタンス識別子

製品インスタンス識別子を使用して、新規および既存の製品やサービスを関連する資産および構成に接続します。

[モデルカテゴリ] フィールドを使用して、インストールベースアイテムを資産クラス、構成アイテムクラス、および製品モデルクラスにリンクします。

資産とインストールベース間のライフサイクルステータスの同期

資産クラスとインストールベースクラスの両方で [状態] フィールドを同期して、両方のエンティティ間で状態の一貫性を維持します。[ステータス] フィールドの同期は、ライフサイクルフィールドで選択したステータスによって異なります。

インストールベースフォームの既存の [ステータス] フィールドと新しいライフサイクルフィールドの間にリンクを確立することにより、Common Service Data Model フレームワークに準拠します。

販売済み製品とインストールベースのデータモデル

受注処理時にインストールベースフォームの [仕様] フィールドを使用して、インストールベースアイテムを作成します。

[販売済み製品] テーブルに追加されたフィールドを使用して、販売済み製品のライフサイクル管理ワークフローをサポートします。

Sales and Order Management workflows

エンティティと構成をマッピングして、リードから入金までのエンティティのメタデータを構成します。

インスタンスの作成、インスタンスのコミット、デルタ、効果などのリードから入金までの操作を使用して、エンティティ間のシームレスな情報フローのためのワークフローを作成および構築します。

Customer Life Cycle Management Workflows

Customer Life Cycle Management ワークフロー (com.snc.customer_lifecycle_mgmt_workflows) ストアアプリケーションを有効にして、販売済み製品のライフサイクルを管理します。

販売済み製品の注文フローと注文から販売済み製品へのフローをトリガーすることで、既存の製品とサービスを更新します。このフローをトリガーするには、[アカウント] ページの販売済み製品関連リストで変更、一時停止、再開、および切断の各アクションを使用します。

変更アクションを実行して、コンフィギュレーター UI で販売済み製品の現在の構成を変更します。

中断アクションを使用して、販売済み製品を確定的または無期限に停止します。

再開アクションを使用して、切断または一時停止された販売済み製品のサービスを再起動します。

販売済み製品とその全階層を切断して、販売済み製品を非アクティブにします。

統一されたユーザーとコンシューマーとしての従業員

ログインから製品全体の カスタマーサービス管理 (CSM) すべてのインタラクションまで、内部ペルソナと外部ペルソナの両方をサポートする単一の統合プロファイルを作成します。

事業所 360

エージェントが事業所 360 テンプレートを使用して、報告された事業所の問題を正確に解決できるようにします。エージェントは、データソースを追加し、追加情報を表示し、店舗、政府機関、医療機関、自動車販売店、部門などのエンティティを表して、コンテキストインサイトを強化できます。

事業所スタッフのオムニチャネルサポート

事業所のスタッフが、チャットやメッセージングアプリケーションなどの 仮想エージェントオムニチャネル機能を使用して、各事業所とのすべてのサポートインタラクションをやり取りし、記録できるようにします。

このリリースでの変更

関係者構成をsys_metadataに転送

更新セットを使用して、顧客インスタンス間で関係者構成 [sn_customerservice_related_party_configuration] テーブルをアプリケーション ファイル [sys_metadata] テーブルに転送します。

既存のユーザーをコンシューマーレコードに関連付ける

リリース以降 Washington DC 、管理者のみがユーザーをコンシューマーレコードに関連付けることができます。

[コンシューマー] フォームの [ユーザールックアップ] リストからユーザーを作成する

リリース以降、 Washington DC コンシューマーフォームの [ユーザー] ルックアップリストからsys_usersを直接作成できるようになりました。この機能は、内部 (snc_internal) ユーザーと外部 (snc_external) ユーザーの両方に適用されます。

Service Model Foundation と Request Management の統合

カタログ要求を送信した後、事業所スタッフメンバーとして事業所サービスポータル (BLSP) から直接ケースの進行状況を監視します。

外部事業所 (EBL) スタッフのケース作成のサポート

内部事業所 (IBL) および外部事業所 (EBL) のスタッフが問題を追跡できるようにします。スタッフは、事業所に代わって、事業所に展開された販売済み製品または事業所に展開されたインストールベースアイテムに対してケースを追跡できます。

アクティベーション情報

カスタマーサービス管理 (CSM) は、カスタマーサービス管理 (CSM) プラグイン (com.sn_customerservice) をアクティブ化すると利用できる Now Platform の機能です。詳細については、「[Activate Customer Service Management !\[\]\(b4eeff342f60cc7bcd67d869b4fedca2_img.jpg\)](#)」を参照してください。

追加の カスタマーサービス管理 (CSM) 機能は、他のプラグインをアクティブ化すると利用できます。詳細については、「[Additional plugins for Customer Service Management !\[\]\(4f6bf54ae7e4144a72d78316053e412d_img.jpg\)](#)」を参照してください。

Sales and Order Management は、注文管理 Lead to Cash Core プラグイン (com.snd.l2c.core) を有効にすると利用できる機能です。

ブラウザー要件

このリリース以降 Washington DC 、 ServiceNow データ管理はモバイル デバイスと Internet Explorer. 詳細については、「[ブラウザー サポート !\[\]\(1f56542a42e2413e44a2b2023033aa2e_img.jpg\)](#)」を参照してください。

関連 **ServiceNow** アプリケーションと機能

Communities

顧客は Customer Service Portal および Consumer Service Portal から ServiceNow Communities アプリケーションを使用して接続、エンゲージメント、およびコラボレーションを行うことができます。Customer Service エージェントは、コミュニティのディスカッションスレッドからケースを作成し、コミュニティのコンテンツを使用してケースを解決できます。

Field Service Management

®
 カスタマーサービス管理 (CSM) には、ServiceNow フィールドサービス管理 (FSM) アプリケーションとの統合が含まれています。この統合により、これらのユーザーは次のタスクを実行できます。

- フィールドサービス技術者は、フィールドサービス管理 (FSM) アプリケーションで、作業指示書および作業指示タスクに関する顧客アカウントおよび連絡先情報を確認できます。
- カスタマーサービスエージェントは、カスタマーサービス管理 (CSM) アプリケーションのケースから作業指示書を作成できます。
- 顧客および消費者は、Customer Service Portal と Consumer Service Portal からケースに関連する作業指示を表示できます。

Workforce Optimization for Customer Service ®

を使用して、単一のアプリケーション ServiceNow カスタマーサービスのワークフォース最適化から人員の生産性を管理および維持します。このアプリケーションでは、作業をチームに効率的にルーティングし、チームのスキルとスケジュールを管理し、パフォーマンスを監視します。

ワークスペース ®

ServiceNow Workspace は、エージェントが問題を検索、調査、解決するためのツールなど、複数のツールを 1 ページに配置したグラフィカルユーザーインターフェイスです。CSM Configurable Workspace と CSM Agent Workspace は、階層 1 エージェントが顧客に回答し、ケースを解決するために必要なツールを提供する、カスタマーサービス固有の実装です。

Intelligence for CSM リリースノート

Intelligence for CSM アプリケーションを使用すると、カスタマーサービス組織およびサービスオペレーションは、、、Recommended Actionsおよび Task Intelligence 機能を構成および実装ガイド付きディシジョンできます。CSM アプリケーションのインテリジェンスは、このリリースで Washington DC 拡張および更新されました。

リリースでの Intelligence for CSM の Washington DC 特長

- ドキュメント分類子機能を使用して受信ドキュメントを分類することで、効率と自動化を向上させます。
- モデルトレーニング中に予測パフォーマンスを表示して、予測方法としての自動入力または推奨事項のいずれかの設定を決定します。
- 内部ユーザー向けに意思決定 サービスポータル ツリーを表示します。
- 現在の意思決定ツリーでアクティブ化された子ツリーを再利用することで、意思決定ツリーの再作成の労力を削減します。

詳細については、「[Intelligence !\[\]\(6a9b39b98eb945faa14c645ec99e4eaa_img.jpg\)](#)」を参照してください。

重要:

では、次のアプリケーションを使用できます ServiceNow Store。

- ガイド付きディシジョン エクスペリエンス (sn_ga_exp)
- Recommended Actions (sn_cs_nb_action)
- CSM のタスクインテリジェンス(com.snc.csm_ml_task)の場合カスタマーサービス

詳細については、これらのリリースノートの「アクティベーション情報」セクションを参照してください。

Washington DC リリースの新機能

Task Intelligence for Customer Service - ドキュメント分類子

ドキュメント分類子機能を使用して、受信ドキュメントを適切なドキュメントタイプとして迅速に分類します。

このリリースでの変更

Task Intelligence Admin Console の機能拡張

Task Intelligence Admin Console を使用して、次のタスクを実行します。

- 上位の推奨事項に加えて上位 3 つの推奨事項のモデルパフォーマンスを表示し、データに基づいて予測設定としてオートフィルモードと推奨モードのどちらかを決定します。
- Admin Console ダッシュボードのフィールド別にモデルのパフォーマンスを表示します。
- 非アクティブな選択肢の予測を除外します。

Guided Decisions の機能拡張

Guided Decisions を使用して、次のタスクを実行します。

- で意思決定ツリー サービスポータルをレンダリングして、内部ユーザーのセルフサービスを有効にします。
- 既存の意思決定ツリーを子として現在の意思決定ツリーにリンクします。
- エージェントまたは顧客が、意思決定ツリーランタイムエクスペリエンスで以前の応答に再アクセスまたは変更できるようにします。
- 意思決定ツリーランタイムエクスペリエンスの [却下] ボタンの外観を制御します。

Recommended Actions の機能拡張

上位 N 件の結果機能を使用して、Task Intelligence 分類リソースジェネレーターに返すレコードまたは値の数を定義します。

アクティベーション情報

ガイド付きディジション、Recommended Actions、および Task Intelligence アプリケーションを から要求してインストールしますServiceNow Store。 [ServiceNow Store !\[\]\(7d1d6890825e83a6a4a51febe2dcc7f3_img.jpg\)](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート !\[\]\(5b78f4d8e2942ab203be44f938cc0a7c_img.jpg\)](#)」を参照してください。

アクセシビリティ情報

リフローのサポート

次のコンポーネントはリフローをサポートするように更新されました。これにより、コンテンツや機能を失うことなく、ブラウザー設定を使用してページとコンテンツを最大 400% 拡大できます。さらに、コンテンツは、320 CSS ピクセルに相当する幅または 256 CSS ピクセルに相当する高さで、2 次元でスクロールせずに拡大できます。

バージョン 28.0.0 の Recommended Actions:

- sn-template-modal-worknotes
- sn-component-attach-article-guidance

- sn-next-best-action-list-connected
- sn-guidance-experience-list-connected

バージョン 25.1.0 の ガイド付きディシジョン:

- sn-guided-decision-card
- sn-guided-decision-playbook-card

この機能拡張は、弱視のユーザーや、モニターのサイズ、デバイスの種類、照明の悪さ、またはその他の状況のためにブラウザで Web コンテンツを見るのが難しいユーザーに役立ちます。リフローは、インスタンス、エクスペリエンスおよびページのシステムプロパティでオフにできます。詳細は、「[Reflow for Configurable Workspace](#)」を参照してください。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

Customer Service Management

を使用して外部顧客が必要とする カスタマーサービス管理 (CSM) サービスとサポートを提供します。

CSM 向け Now Assist

アプリケーションを使用して ServiceNow CSM の Now Assist、インタラクションに関する顧客のチャット会話を要約し、ケースの詳細を要約し、ケース解決メモを生成します。

Document Intelligence

人工知能 (AI) ソリューションを使用して、ドキュメントからデータを抽出し、そのデータを自動化ワークフローに統合して、時間とリソースを節約します ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)。

Predictive Intelligence

ケース作成時のフィールドの自動入力、作業の分類とルーティング、人工知能によるケースの解決策の推奨など、プラットフォーム全体のプロセスを改善します 予測インテリジェンス。

CSM の Now Assist リリースノート

ServiceNow CSM の Now Assist アプリケーションは、生成 AI を カスタマーサービス管理 (CSM) にもたらします。より優れたセルフサービスを提供し、アクションを推奨し、回答を提供することで、生産性と効率を向上させることができます。CSM の Now Assist はリリースの新しいアプリケーションです Washington DC。

Washington DC リリースでの CSM の Now Assist の特長

- ケースレコードのフィールドに条件を追加して、ケースのスキルと解決メモの要約がいつ利用可能になるかを決定します。
- ユーザーロールによって、ケースの要約および解決メモ生成スキルの可用性を制限します。
- ケースと解決メモのサマリーのアクティビティにロールを指定して、幻覚を減らし、サマリーの品質を向上させます。

「」を参照してください。 [CSM の Now Assist](#) 詳細。

i 重要:

CSM の Now Assist は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティベーション情報」セクションを参照してください。

Washington DC リリースの新機能

スキルの可用性に条件を追加する

ケースレコードのフィールドに条件を追加して、ケースのスキルと解決メモの要約がいつ利用可能になるかを決定します。

ユーザーロールによるスキルの可用性の制限

ケースの要約および解決メモの要約スキルにアクセスできるロールを指定します。

このリリースでの変更

ケースの要約の最小テキスト要件

ケースアクティビティストリームに最小限の情報量を持つケースのケース概要作成スキルを有効にします。

フォームのリロードなしの AI アイコンのサポート

予測が利用可能になるとすぐに、予測されたフィールドの AI アイコンを表示します。

ケースとインタラクションレコードのデモデータ

改善されたデモデータを使用して、ケースの要約と解決メモ生成のスキルを実演します。

アクティベーション情報

Now Assist 機能は CSM の Now Assist プラグインをアクティブ化すると利用できます。詳細については、「[Install Now Assist plugins](#)」を参照してください。

その他の要件

CSM の Now Assist アプリケーションには、カスタマーサービス管理 (CSM) Pro Plus または Enterprise Plus のライセンスが必要です。

CSM の Now Assist は、Vancouver パッチ 4 以降のリリースでサポートされています。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

Now Assist

組織の生産性と効率を向上させ、より優れたセルフサービスを提供し、アクションを推奨し、回答を提供し、ユーザーがより効果的に検索できるようにします。

Now Assist Admin コンソール

Now Assist Admin コンソールを使用すると、Now Assist アプリケーションと機能のセットアップ、構成、監視に必要な重要な情報にすばやく簡単にアクセスできます。

Now Assist パネル

で CSM 構成可能ワークスペース この会話型インターフェイスを使用してチャット、ケース、または解決メモを要約すると、この情報のコンテキストをより迅速に取得できます。

Now Assist スキル

Now Assist 製品は、ケースまたはインシデントの要約、チャットの要約、解決メモの生成、コード生成など、さまざまなワークフローでユーザーのニーズを満たすように調整された生成 AI スキルを提供します。

Self-Service and Omnichannel Engagement for CSM リリースノート

オムニチャネル サポートを使用すると ServiceNow、顧客はセルフサービス ポータルまたはコンシューマー メッセージング アプリでチャットを使用してビジネスに接続したり、電子メールや電

話を使用して接続したりできます。ServiceNow オムニチャネルおよびセルフサービスアプリケーションは、Washington DC リリースで拡張および更新されました。

リリースの **Washington DC** オムニチャネルとセルフサービスの特長

- ケースビューの改善されたアクティビティストリーム UI を使用して、ケース関連のアクティビティをより効果的に監視します。
- (PAD) プロセスが関連付けられているケースレコード プレイブック のガイド付き取り込みを実装します。
- Playbook のステップをナビゲートして、取り込みプロセスを完了します。さらに、顧客はケースライフサイクルのエンドエンド視覚化を使用してケースを表示できます。
- ルーティングエンジンとして (AWA) を使用して高度なワークアサインメント、インスタンスからの音声通話Amazon Connect のデータ連携を簡素化しますServiceNow 。
- と 仮想エージェント統合することで、より多くのサポートを提供します。

詳細については、「[「](#)」、[「](#)」、[「Self-service for Customer Service Management」](#) および[Playbooks for Portals](#) を参照してください[Omnichannels for communicating with customers](#)。

i 重要:

Engagement Messenger、およびオムニチャネルは、プレイブックServiceNow Storeで使用できます。詳細については、これらのリリースノートの「アクティベーション情報」セクションを参照してください。

Washington DC リリースの新機能

Playbooks for Portals

エージェントと同様のプロセススペースのエクスペリエンスで新規ケースを作成するためのサービスポータルで (CSM) Playbook を顧客に カスタマーサービス管理 (CSM) 提供します。顧客は、Service Portal でケースを表示するときにエンドツーエンドのケースライフサイクルをビジュアル化し、ケースプロセスのコンテキストで処理待ちのタスクを表示して処理できます。

セルフサービスによるオンボーディング

顧客はセルフサービスガイド付き要求を作成し、自分のペースでケースを送信して後で作業を続け、新しい プレイブック (PAD) プロセスであるセルフサービスによるオンボーディングを通じてケースの進捗状況を追跡できます。

チャットのフォントサイズを設定

顧客とのチャットで表示されるチャットヘッダーとチャット本文の 仮想エージェント フォントサイズ (通常、中、大) を変更します。管理者は、チャットのチャット構成を適用する前に、プレビューセクションでフォントサイズをリアルタイムでプレビューできます 仮想エージェント 。

次の新しいウィジェットが利用可能な Configurable Portal ウィジェットに追加されました。

- ポータルオブジェクトウィジェット:レコードのsys_idに基づいて情報を表示するウィジェットに、レコードのクイックアクションと重要な情報を表示します。
- ポータル分類トピックウィジェット:第 1 レベルの分類トピックをウィジェットにカードとして表示します。ユーザーがこれらのカードにアクセスすると、分類トピックに関連するナレッジ記事とカタログアイテムを表示するページにリダイレクトされます。

Set up Engagement Messenger

ケースマネジメント、、、ナレッジAI 検索仮想エージェントライブエージェントチャットなどのセルフサービス機能をモバイルアプリケーションで拡張します。

Tiny MCE エディターの新しいツール

Tiny MCE エディタの次の新しいツールは、ケースの会話ビューに表示されるリッチコンテンツのサポートを強化します。

- 元に戻す
- やり直し
- フォントの色
- テキストの強調表示
- インデント
- インデントを減らす
- ハイパーリンク
- リンクを解除
- テーブル
- イメージ
- コードサンプル

Amazon Connect 向け Advanced Work Assignment (AWA) 音声ルーティング

からAmazon Connect 発信された音声通話をルーティングするために使用します高度なワークアサインメント。

Consumer Service Portal メニューへの統一されたコンシューマープロファイルアクセス

外部 (snc_external) と内部 (snc_internal) の両方のユーザーロールを含む、統一されたコンシューマー機能による統合プロファイルは、Consumer Service Portal のすべてのメニューへのアクセスを提供します。以前は、特定のメニューへのアクセスは、ユーザープロファイルに外部ロールと内部ロールのどちらがあるかに依存していました。

UI の変更

リッチコンテンツエディターのアクティビティストリームビュー

拡張されたアクティビティストリームビューを使用して、ケース関連のアクティビティをより効率的に追跡します。

このリリースでの変更

Portal Mega Menu widget

ポータルメガメニューウィジェットには、次の機能拡張があります。

- ポータルメガメニューウィジェットを使用して、モバイルデバイス上のさまざまなメニューアイテムにアクセスして移動できます。
- 買い物かご、ウィッシュリスト、チュートリアル、または通知、承認、サーベイなどのスクリプト化されたリストをポータルのヘッダーに表示します。

アクティベーション情報

Engagement Messengerから要求ServiceNow Storeして、プレイブック CSM 用、およびオムニチャンネルアプリケーションをインストールします。 [ServiceNow Store !\[\]\(eabd9f9ababee93effadc3b380fe65fd_img.jpg\)](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してくだ

さい。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

その他の要件

リリース以降 Vancouver、チャットクライアントはデフォルトで認証されたユーザーに対してのみ有効になりました。認証されていないユーザーがチャットとチャットにアクセスできるように仮想エージェントするには、および `sn_va_web_client_app_embed` ページをパブリックアクセスで有効に `$sn-va-web-client-app` ライブエージェントする必要があります。詳細については、「[Make UI pages public or private](#)」を参照してください。

ブラウザー要件

Internet Explorer はサポートされていません。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

Field Service Management

アプリケーションとのデータ連携により、貴社と ServiceNow フィールドサービス管理 (FSM) 貴社の顧客は次のタスクを実行できます。

- フィールドサービス技術者は、フィールドサービス管理 (FSM) アプリケーションで、作業指示書および作業指示タスクに関する顧客アカウントおよび連絡先情報を確認できます。
- カスタマーサービスエージェントは、カスタマーサービス管理 (CSM) アプリケーションのケースから作業指示書を作成できます。
- 顧客および消費者は、Customer Service Portal と Consumer Service Portal からケースに関連する作業指示を表示できます。

Knowledge Management

顧客は、Customer Service Portal および Consumer Service Portal から ServiceNow ナレッジ管理 アプリケーションを使用して共有情報を検索できます。カスタマーサービスエージェントは、ナレッジコンテンツを使用してケースを解決できます。

IT Service Management アプリケーション

カスタマーサービス管理 (CSM) には、[Incident Management](#)、[Problem Management](#)、[Change Management](#)、および [Request Management](#) の ServiceNow サービス管理 アプリケーションとの統合が含まれています。この統合を使用すると、カスタマーサービスケースからインシデント、問題、変更、および要求のレコードを作成できます。また顧客は、カスタマーサービス Portal から要求の送信もできます。

カスタマーサービスのワークフォース最適化 リリースノート

ServiceNow カスタマーサービスのワークフォース最適化 アプリケーションは、作業をチームに効率的にルーティングし、チームのスキルとスケジュールを管理し、パフォーマンスを監視します。カスタマーサービスのワークフォース最適化 は、Washington DC リリースで拡張および更新されています。

Washington DC リリースでの カスタマーサービスのワークフォース最適化 の特長

- マネージャとスーパーバイザは、音声キューと主要業績評価指標(KPI)を監視できます。
- マネージャとエージェントは、カレンダーとイベントを Microsoft Outlookと同期できます。
- コンシューマーメッセージングチャンネルのパフォーマンス測定基準を表示します。

詳細については、「[Exploring Workforce Optimization for Customer Service](#)」を参照してください。

i 重要:

カスタマーサービスのワークフォース最適化 は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティベーション情報」セクションを参照してください。

Washington DC リリースの新機能

音声チャンネルのパフォーマンス測定基準

音声キューの正常性を監視および管理します。とAmazon Connect カスタマーサービスのワークフォース最適化の統合により、マネージャは音声チャンネルのエージェントとキューのパフォーマンスをリアルタイムで監視できます。

会話チャンネルのパフォーマンス測定基準

、、、FacebookLINESMS などのWhatsAppコンシューマーメッセージングチャンネルでのカスタマーサービスの健全性を監視および管理します。これらのパフォーマンス測定基準は Channel Management に表示されます。

統合 Microsoft Outlook による カスタマーサービスのワークフォース最適化

チームカレンダーを と同期 カスタマーサービスのワークフォース最適化 させて、マネージャーとエージェントが でスケジュールと Microsoft Outlook イベント Microsoft Outlookを表示できるようにします。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

Advanced Work Assignment

ServiceNow 高度なワークアサインメント を使用して、対応可否、キャパシティ、スキルに基づいて作業アイテムを自動的にエージェントにアサインします。

Skills Management

ServiceNow スキル管理 を使用して、組織が必要とするスキルを評価し、ギャップを特定し、チームの雇用とトレーニングを計画します。

CSM ワークスペース

エージェントは、ServiceNow CSM エージェントワークスペース を使用してシフトを入れ替え、休暇申請と承認を管理し、アサインされたトレーニングを完了することができます。

DevOps リリースノート

Washington DC リリースには、DevOps の新機能と更新された機能が含まれます。

DevOps チェンジベロシティ リリースノート

ServiceNow DevOps チェンジベロシティ アプリケーションは、単一システム内の DevOps データの可視性を向上させ、変更プロセスを自動化して促進し、DevOps 環境のパフォーマンスを測定するためのインサイトを得るのに役立ちます。DevOps チェンジベロシティ は Washington DC リリースで拡張および更新されました。

Washington DC リリースでの DevOps チェンジベロシティ の特長

- 計画機能の一部としてリポジトリ内のGitHub問題を検出GitHubします。
- GitLab パイプラインで、変更要求の作成、Sonar スキャン、アーティファクトの登録、およびパッケージ登録に関連するデータを収集します。
- DevOpsChangeRelationshipHelper スクリプトを使用して、変更要求に関連付けられたデータを取得します。

詳細については、「」を参照してください。

i 重要:

DevOps チェンジベロシティ は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティベーション情報」セクションを参照してください。

Washington DC リリースの新機能

GitHub 問題統合

計画機能の一環としてリポジトリ内のGitHub問題を検出しGitHub、GitHub問題をGitHubコードのコミットにリンクします。

の GitLabカスタムアクションを使用して、GitLab パイプラインでの変更要求の作成、Sonar スキャン、アーティファクトの登録、およびパッケージ登録に関連するデータを収集します。

UI の変更

変更モジュール

変更管理とパイプライン変更要求リストを含む変更モジュールがアプリケーションナビゲーターに追加されました。

リストモジュール

アーティファクト、パッケージ、および処理待ちのパッケージリストを含むリストモジュールがアプリケーションナビゲーターに追加されました。

このリリースでの変更

自動変更作成の拡張

ツールの接続ステータスが原因で、自動変更要求作成のガイド付き手順で発生する可能性のある問題を回避します。

DevOps 変更モデルの新しいステータス移行フロー

変更モデルの [変更 - 新規] および [変更 - DevOpsDevOps スケジュール] ステータス DevOps に追加された移行フローを通じて、変更を移動および追跡します。

DevOps フローのエラー処理

変更要求の手動承認、変更要求の最小限の自動化承認、または変更要求の高度な自動化承認DevOpsフローの変更DevOpsの更新中にビジネスルールまたはDevOpsデータポリシーによって問題が発生した場合は、変更要求の作業メモおよびパイプラインツールのコンソールログで変更要求に対応するエラーを表示します。

変更データを取得する DevOpsChangeRelationshipHelper スクリプト

DevOpsChangeRelationshipHelper スクリプトインクルードを使用して、指定された関係タイプに基づいて変更要求に関連付けられたデータを取得します。

再試行制限を指定する新しいプロパティ

プロパティを使用して *Maximum limit for the number of times the discover action that exceeds the rate limit will be retried*、レート制限に達した後に検出アクションが自動的に再試行される最大回数を指定します。

インポート要求の再開

エラーのために完了できなかったインポート要求レコードからインポート要求を再開します。

リポジトリを自動的に関連付ける

対応するパイプラインがまだ関連付けられていないリポジトリのコミットを識別すると、リポジトリはアプリケーションに自動的に関連付けられます。

GitHub の単体テストタイプのサポート

NUnit、pytest、jest、JUnit、および XUnit タイプの単体テスト結果を、カスタムアプリケーションプログラミングインターフェイス (API) を呼び出すことなくワークフローから GitHub Actions 自動的に公開します。

このリリースでの削除

- デフォルトの変更ハンドラーサブフローは、新規およびアップグレードの顧客に対して削除されました。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求することで、DevOps チェンジベロシティ をインストールします。[ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

Performance Analytics

ServiceNow パフォーマンスアナリティクス は、管理ダッシュボードを作成し、KPI と測定基準に関するレポートを作成し、重要なビジネス上の質問に回答するための、プラットフォーム内のプロセス最適化ソリューションです。このアプリケーションは、品質の向上とサービスコストの削減に役立ちます。

Change Management

ServiceNow 変更管理 アプリケーションは、すべての変更のライフサイクルを制御する体系的なアプローチを提供し、IT サービスの中断を最小限に抑えて有益な変更を容易にします。

Agile Development

ServiceNow Agile Development アプリケーションは、反復的、段階的でかつ柔軟なアプローチを使用してソフトウェア開発ライフサイクルを管理および追跡することで、ソフトウェアプロジェクトをより効率的に提供できるようにします。

Risk Management

ServiceNow ガバナンス、リスク、コンプライアンス リスク管理 アプリケーションは、影響度の高いリスクを継続的に監視して特定し、リスクベースの意思決定を改善し、対応時間を効果的に短縮するのに役立ちます。このアプリケーションは、リスクアセスメント、リスクインジケータ、およびリスク問題を管理するための構造化されたワークフローも提供します。

従業員サービス管理 (ESM) リリースノート

Washington DC リリースには、従業員サービス管理 (ESM) の新機能と更新された機能が含まれます。

HR サービスデリバリー (HRSD) リリースノート

ServiceNow HR サービスデリバリー (HRSD)アプリケーションは、HR とのやり取りを自動化し、すべての HR サービスに単一のプラットフォームを提供することで、従業員のサービスエクスペリエンスを向上します。HR サービスデリバリー (HRSD) は Washington DC リリースで拡張および更新されました。

HR ケース管理のエージェントワークスペース リリースノート

このHR ケース管理のエージェントワークスペースアプリケーションを使用すると、従業員とやり取りし、問い合わせに対応し、問題を迅速に解決できます。はリリースでWashington DC拡張および更新されました。HR ケース管理のエージェントワークスペース

Washington DC リリースでの HR ケース管理のエージェントワークスペース の特長

- ドキュメントを閲覧または編集するユーザーに関する権限要件を追加することで、ケースに添付されたドキュメントのセキュリティを強化します。
- 個人メモを使用して、ケースのケース履歴や作業メモに含めたくない機密情報や急速に変更される情報を追加します。

詳細については、「[Agent Workspace for HR Case Management \(Configurable\)](#)」を参照してください。

i 重要:

HR ケース管理のエージェントワークスペース は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティベーション情報」セクションを参照してください。

Washington DC リリースの新機能

ケース内で会議タスクをスケジュールする

HR ケースの作業中に、従業員の可用性を表示し、会議をスケジュールします。たとえば、オンボーディングプロセスの一環として、新規雇用者との会議をスケジュールすることができます。

Add personal notes

個人メモを使用して、確定しておらず、ケース履歴内で追跡してはならない情報を追加します。作業メモには、ケースを処理しているすべてのエージェントがアクセスできます。場合によっては、エージェントは、ケースに関連する個人的なメモや急速に変更される情報を他のエージェントに見られたくないことがあります。

Using checklists in Agent Workspace for HR Case Management

コンテキストサイドパネルからチェックリストアイテムを追加、編集、並べ替え、または削除します。以前は、 から コア UIのみチェックリスト項目を追加、編集、並べ替え、または削除できました。

Secure documents

ケースにリンクされている添付ファイルにセキュリティの追加レイヤーを追加します。機密データまたはプライベートデータを含む添付ファイルへのアクセス権を、特定のグループ、ユーザー、ユーザー基準、またはロールに付与します。

Page Configurations reference

[構成設定] ページのランディングページ、レコードページ、リストページ、および HR ケース作成ページで、いくつかのコンポーネントを構成します。以前は、これらのコンポーネントは のみを使用して UI ビルダー 構成できました。

HR ケースの解決を簡素化

クラウドコンタクトセンターを HR Agent Workspace と統合し、従業員が音声自動応答を使用して HR ケースを解決できるようにします。ライブエージェントを必要とするケースでは、システムによってコールが対応可能なエージェントにルーティングされ、関連する発信者情報がエージェントに表示され、インタラクションからデータが自動的にキャプチャされます。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求することで、HR ケース管理のエージェントワークスペース をインストールします。 [ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

HR Service Delivery

HR とのやり取りを自動化し、すべての HR サービスに単一のプラットフォームを提供することで、従業員のサービスエクスペリエンスを向上します。手動のサイロ化したプロセスを、部門横断型のデジタルワークフローで置き換えることで、効率を高めることができます。オンボーディング、キャリアの成長、その他の移行など、ビジネス目標を従業員のニーズに合わせて調整します。

HRSD 向け Now Assist

GenAI 機能を使用して、ケース情報を要約し、解決メモを生成し、チャット情報を要約します。エージェントがチャットとケースのコンテキストを理解し、より迅速な解決策を要求者に提案できるようにします。

ドキュメントテンプレート リリースノート

この ドキュメントテンプレート アプリケーションでは、HTML および PDF ドキュメントテンプレートを作成して、標準のレターやドキュメントを生成できます。ドキュメントをオンラインで入力、署名、およびレビューするプロセスを自動化および簡素化できます。ドキュメントテンプレート はリリースで Washington DC 拡張および更新されました。

Washington DC リリースでの ドキュメントテンプレート の特長

- 動的トークンを翻訳するテンプレートの言語を設定します。
- テンプレートの生成出力に日付を表示する日付形式を設定します。

詳細については、「[Document Templates](#)」を参照してください。



重要:

ドキュメントテンプレート は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティベーション情報」セクションを参照してください。

Washington DC リリースの新機能

テンプレートの日付形式

エージェントがドキュメントをプレビューするとき、添付ファイルを生成するとき、または参加者のドキュメントタスクを開始するときに日付を表示する形式を選択します。

テンプレートの言語

エージェントがドキュメントをプレビューするとき、添付ファイルを生成するとき、または参加者のドキュメントタスクを開始するとき動的トークンを翻訳する言語を指定します。

Document template scripts

スクリプトを使用して、HTML テンプレート内の動的トークンを目的の言語に翻訳します。

ドキュメントテンプレートとスマートカードアプリケーションを使用したデジタル署名との統合

デジタル署名を使用して、ドキュメント署名エクスペリエンスをシームレスにし、個人 ID 検証 (PIV) または Common Access Card (CAC) カードを使用して手動による介入を排除します。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、ドキュメントテンプレート をインストールします。

[ServiceNow Store !\[\]\(faf942dc3e59ce8eb64b4ac481eca7e0_img.jpg\)](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート !\[\]\(f6b0299e0b5e4340e509b71914970da0_img.jpg\)](#)」を参照してください。

Journey Designer リリースノート

ServiceNow Journey Designerこのアプリケーションを使用すると、マネージャーと従業員はジャーニーを作成および追跡できます。ジャーニーには、従業員の昇格、退職、オンボーディング、ロール変更などの移行計画が含まれます。Journey Designer はリリースで Washington DC 拡張および更新されました。

Washington DC リリースでの Journey Designer の特長

サポートされているタスクタイプの一括更新が Journey Designerに追加されました。類似のタスクタイプを持つ類似のジャーニータイプが識別され、単一のアクションで更新できます。

詳細については、「[Journey designer !\[\]\(b4eeff342f60cc7bcd67d869b4fedca2_img.jpg\)](#)」を参照してください。

重要:

Journey Designer は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティベーション情報」セクションを参照してください。

Washington DC リリースの新機能

Manage Journey designer task updates in bulk

類似のジャーニーの類似のタスクを 1 回のアクションで更新します。タスクは同じタイプで、同じタイプのジャーニーに含まれている必要があります。一括更新に使用できる現在のタスクタイプは次のとおりです。

- カタログアイテムの送信 [submit_catalog_item]
- 注文ガイド [submit_order_guide] を送信
- 完了時にマーク [mark_when_complete]
- 承認 [sysapproval.approver]

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求することで、Journey Designer をインストールします。 [ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Store/バージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

Learning Posts

この ServiceNow Learning Posts アプリケーションでは、従業員が必要なときに適切な学習にアクセスできるようにするオムニチャネル学習エクスペリエンスを作成します。

Listening Posts

この ServiceNow Listening Posts アプリケーションを使用すると、簡単なパルスサーベイを作成して従業員のタッチポイントを把握し、従業員のフィードバックから理解を深め、全体的な従業員エクスペリエンスを向上させることができます。

Manager Hub

ServiceNow Manager Hub は、チームの成功を促進するための最も緊急かつ重要な事項に関するインサイトと可能なアクションを提供して、マネージャーのセルフサービスとプロアクティブなチームのエンゲージメントを向上させます。それにより、マネージャーは、キュレーションされパーソナライズされたリソースを通じて、リーダーとして成長できるようになります。

Microsoft Exchange Online スポーク

Microsoft Exchange Online スポークは、Microsoft Exchange Online でカレンダーとメールを作成および管理します。ユーザーとグループを作成、管理、または削除するには、スポークを使用します Microsoft Azure AD 。

Manager Hub リリースノート

ServiceNow Manager Hub このアプリケーションを使用すると、マネージャーは、チームの成功を促進するための最も緊急かつ重要なアイテムに関するインサイトと推奨アクションを提供することで、チームメンバーとのセルフサービスのプロアクティブなエンゲージメントを強化できます。マネージャーは、キュレーションされカスタマイズされたリソースを通じてリーダーとして成長できます。Manager Hub は Washington DC リリースで拡張および更新されました。

Washington DC リリースでの Manager Hub の特長

チームの現在のスキルとターゲットスキルを理解します。チームメンバーのスキル、習熟度レベル、スキルギャップの概要を取得します。

詳細については、「[Manager Hub](#)」を参照してください。

重要:

Manager Hub は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティベーション情報」セクションを参照してください。

Washington DC リリースの新機能

Know your team's skills

- 強力なスキルを持つチームメンバーと注意が必要なチームメンバーを表示します。
- チームメンバーが持つさまざまなスキルの概要、各スキルを持つ人数、およびチームメンバー別のスキルを取得します。
- 従業員が学習、成長計画、メンタリングなど、Employee Growth and Development が提供するさまざまなツールを使用して、新しいスキルを構築したり、既存のスキルギャップを埋めたりできるように支援します。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求することで、Manager Hub をインストールします。 [ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

Journey Accelerator

Journey Accelerator テンプレートを使用して、主要な従業員の異動に対応するカスタマイズされた計画を作成および公開します。から従業員センタージャーニー計画Manager Hubを作成してアクセスします。

Journey Designer

さまざまな部門横断型のプロセスや部門間の日常のアクティビティを促進し、新規雇用のオンボーディングなどのプロセスを自動化します。

Enterprise Employee Experience Pack

会社の安全要件に沿った方法で、従業員の職場復帰を管理して調整します。の [マネージャーライブラリ] タブ 従業員センターの [オフィス復帰の管理 (Manage return to office)] リンクをクリックします。

Employee Relations COE

を使用して不適切な行為や配慮を要する問題を 労務 (ER) 報告します。これにより、従業員のプライバシーを保護するための厳格なセキュリティが提供されます。

Human Resources Scoped アプリ

を介して 従業員センター人事担当者に直接連絡します。

コンテンツエクスペリエンス

ピープルリーダーとしてのスキルを高めるのに役立つ記事とリソースを検索します。

Employee Center Core

の 従業員センター[概要] タブManager Hubからタスクを完了し、チーム要求を承認します。チームのタスクと要求は、Employee Center Core アプリケーションがインストールされている場合にのみ表示されます。

助言付きプロンプト

マネージャーまたは従業員が迅速にアクションを実行できるように、プロンプトを表示します Manager Hub 。

Talent Development

チームメンバーの開発計画を確認し、承認を迅速に完了することで、チームが次のキャリアマイルストーンを達成できるようにします。

Learning

コースをアサインし、チームメンバーがキャリアのあらゆる面で成長するためのトレーニングを受けるのを支援します。で学習コースをアサインします Manager Hub。

Skills Intelligence

からチームのスキルセット Manager Hubを確認することで、チームのスキルを深く理解できます。

HR サービスデリバリー (HRSD) の Now Assist リリースノート [®]

このアプリケーションを使用すると、エージェントは ServiceNow HR サービスデリバリー (HRSD) の Now Assist ケース情報を要約し、解決メモを生成し、インタラクションのチャット情報を要約できます。エージェントは、チャットとケースのコンテキストを理解し、より迅速な解決策を顧客に提案できます。HR サービスデリバリー (HRSD) の Now Assist はリリースで Washington DC 拡張および更新されました。

Washington DC リリースでの HRSD の Now Assist の特長

が提供する生成 AI のスキルと機能を使用して HRSD の Now Assist、エージェントがより高いレベルのサービスを顧客に提供できるようにします。

詳細については、「[Now Assist for HR Service Delivery \(HRSD\)](#)」を参照してください。

 重要:

HRSD の Now Assist は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティベーション情報」セクションを参照してください。

Washington DC リリースの新機能

解決メモを生成

- 生成 AI を使用してケース解決メモを生成および更新します。解決メモには、ケースを解決するために実行された手順の概要が記載されています。
- 生成 AI が解決メモを自動的に生成するように、エージェントにケースに最低 200 語の単語を書き込むように要求します。

チャット履歴の要約を作成

チャットインタラクション中にエージェントがケースを作成するときに、生成 AI を使用して [簡単な説明] フィールドと [説明] フィールドに情報を事前入力します。

[store-future: BEGIN review] [ナレッジドラフト](#)  [End]

[store-future: BEGIN review] ケースレコードの説明に基づいてナレッジ記事のドラフトを作成します。生成 AI を使用して記事のコンテンツを生成すると、エージェントはユーザーの懸念事項に対処しながら、より効率的に執筆できます。[End]

Summarize actions while transferring an HR case

ハンドオフまでのアクションを要約して、HR ケースを別のエージェントまたはアサイン先グループに転送します。たとえば、ケースが誤ってアサインされた場合や、別のエージェントやアサイン先グループによるトラブルシューティングが必要な場合、エージェントはケースを別のエージェントに転送できます。

Submit an HR request with Gen AI Virtual Agent

要求者がカタログアイテム要求 仮想エージェントを送信するときに、生成 AI に基づく合理化された会話エクスペリエンスを実現できるようにします。この生成 AI エクスペリエンスを提供することで、組織はセルフサービスを増やし、運用コストを削減できます。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求することで、HRSD の Now Assist をインストールします。

[ServiceNow Store](#)  Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリ

クエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

関連 **ServiceNow** アプリケーションと機能

Agent Workspace for HR Case Management (Configurable)

この HR ケース管理のエージェントワークスペース アプリケーションを使用すると、従業員とやり取りし、問い合わせに対応し、問題を迅速に解決できます。

従業員センター リリースノート

ServiceNow 従業員センター アプリケーションは、複数部門のサービスデリバリーと従業員のエンゲージメントのための標準的な動的ポータルです。従業員センター は Washington DC リリースで拡張および更新されました。

Washington DC リリースでの 従業員センター の特長

- Now Mobile アプリを使用して、ニュース記事を表示し、承認が必要なタスクにアクセスします。
- ビデオホスティングサービスのビデオを使用してコンテンツを構築します。
- リッチコンテンツまたはニュース記事の HTML および CSS ソースコードを編集します。
- 従業員エクスペリエンスフィードバック機能を使用して、ユーザーから関連するフィードバックを取得します。

詳細については、「[Employee Center](#)」を参照してください。

i 重要:

従業員センター は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティベーション情報」セクションを参照してください。

Washington DC リリースの新機能

News articles

従業員は、アプリを使用して Now Mobile モバイルデバイスでニュース記事を表示します。

デフォルトでホームページに表示され 従業員センター、ページネーションを表示するオプションが含まれているニュースフィードウィジェットを使用します。コンテンツマネージャーまたは管理者は、ニュースフィードウィジェットと注目のニュースウィジェットを設定して、ニュース記事をタイルレイアウトで表示できます。

コンテンツマネージャーまたは管理者は、ニュース記事を 1 つ以上のカテゴリ (従業員の福利厚生や業界の最新情報など) に関連付けます。従業員はカテゴリ別にニュース記事を表示できます。

Add content destination

コンテンツ配信先での公開期間を設定し、コンテンツマネージャーが公開場所に基づいてコンテンツを利用できる期間を選択できるようにします。

Rich Content Editor

リッチコンテンツとニュース記事を作成するときは、次の新機能を使用します。

- HTML および CSS ソースコードの編集
- ワンクリックでコンテンツのキャンバス全体をクリア

- セルの境界線の色、幅、およびスタイルを構成する
- 画像とビデオの水平配置の構成
- 箇条書きリスト
- 番号付きリスト
- アコーディオンリスト

Video hosting integrations framework

ストリーミングサービスのビデオを使用して、リッチコンテンツとニュース記事を作成します。さらに、セキュリティで保護されたビデオへのアクセスを承認し、使用可能なビデオのサムネイルやループや自動再生を有効にするチェックボックスなど、コンテンツマネージャーに役立つインターフェイス要素を構成できます。

Create campaign stages (bundles) using Content Experience Builder

次の新しい構成オプションを使用します。

- [ユーザーを含める] フィールドでは、キャンペーンマネージャーが対象者を指定できます。
- [頻度] フィールドには **[1回]** オプションが含まれています。

Approvals in Now Mobile

機能の承認エクスペリエンス Now Mobile を使用して、次のことを行います。

- アプリの [自分のタスク] Now Mobile の下にある 1 か所からすべての承認タスクにアクセスできます。
- タスクの詳細を表示して、要求を承認または却下します。

Workday approvals in Now Mobile

アプリのすべての承認 Workday タスクにアクセスします。タスク Now Mobile を承認または却下するか、ポータルに移動します Workday。

Integrated experience and service feedback

従業員エクスペリエンスのフィードバックを使用して、ユーザーエクスペリエンスとサービスエクスペリエンスに関するユーザーからのフィードバックをすばやく収集します。

Quick start tests for Employee Center

新しいアプリケーションまたは統合をアップグレードして展開したら、クイックスタートテストを実行して、従業員センター 期待どおりに機能していることを確認します。従業員センター をカスタマイズした場合は、クイックスタートテストをコピーし、カスタマイズのために設定します。

UI の変更

コンテンツ分析ダッシュボード

コンテンツ分析ダッシュボードの外観は、Next Experience UI に一致するようにアップグレードされました。

[キャンペーンバンドル] フォーム

[キャンペーンバンドル] フォームのトリガー構成フィールドが 3 つのセクション (頻度、開始、終了) に再編成され、わかりやすくするためにフィールド名が変更されました。

コンテンツライブラリインターフェイス

コンテンツライブラリのインターフェイスが更新され、新しいスタイル、色、アイコン、および画像が追加されました。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求することで、従業員センター をインストールします。ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースメモ情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

スキルインテリジェンス リリースノート

このServiceNow スキルインテリジェンスアプリケーションでは、人工知能 (AI) を使用して、組織が人材管理と従業員開発にスキルデータを活用できるように支援します。は、リリースでWashington DC拡張および更新されています。スキルインテリジェンス

Washington DC リリースでの スキルインテリジェンス の特長

- を使用して、スキルとロールのアーキテクチャデータを 1 か所 スキルインテリジェンスワークスペースから更新および管理します。
- カスタムスキルのオンボーディングフローを使用して、組織内のスキルをインスタンスにインポートしてレビューします ServiceNow 。
- 関連するロールグループを使用して、横方向のキャリアアップをサポートします。
- スキルマトリクスを使用して、ロールグループ内の特定のロールレベルに関連するスキル (習熟度を含む) をすばやく表示、編集、または削除します。
- HCM および ATS データに基づくスキル推奨事項を使用して、ロールアーキテクチャ内でロールを構築および改善します。

詳細については、「Skills Intelligence」を参照してください。

i 重要:

スキルインテリジェンス は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティベーション情報」セクションを参照してください。

Washington DC リリースの新機能

スキルインテリジェンス Guided Setup

ガイド付き設定を使用して会社のジョブアーキテクチャを効率的にセットアップしますスキルインテリジェンス。詳細については、「」を参照してください。

スキルインテリジェンス ランディング ページ

ランディングページのアクション可能なインサイト スキルインテリジェンス を使用して、スキルと会社のジョブアーキテクチャのどの部分に注意が必要なのかに注意してください。詳細については、「Skills Intelligence Workspace」を参照してください。

スキルインテリジェンスワークスペース

スキルと会社のジョブアーキテクチャ関連データ (スキル、ジョブ、ロールなど) に 1 つの場所からアクセスできます。スキルマトリクスを使用して、ロールグループのロールレベルのスキルと習熟度をすばやく表示および変更できます。詳細については、「Skills Intelligence Workspace」を参照してください。

カスタムスキルのオンボーディング

組織に固有のスキルを特定し、ServiceNow インスタンスにインポートします。重複の削除、関連スキルの特定、新規スキルの追加など、スキルのバッチ処理方法に関する

提案を取得します。詳細については、「[Bring in skills through Skills import](#)」を参照してください。

UI の変更

ロールグループフォーム

[役割グループ] 関連リストと [役割グループ] 関連リストが [関連役割グループ] リストに結合されました。

このリリースでの変更

関連するロールグループテーブル

水平方向のキャリアアップをサポートするために、2つの新しい列が追加されました。詳細については、「[Create related role groups](#)」を参照してください。

ジョブレベルの向上

同じ職務レベル間でのキャリアアップはもはや不可能です。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、スキルインテリジェンス をインストールします。 [ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

その他の要件

追加機能については、次の要件に注意してください。

- スキルインテリジェンスワークスペースワークスペースエクスペリエンス用のプラグイン (sn_skills_int_ws) をインストールする必要があります。
- 業界スキルデータにアクセスするには、Skills Industry Data プラグイン (sn_skills_data) が必要です。

従業員の成長と能力開発 リリースノート

ServiceNow 従業員の成長と能力開発このアプリケーションを使用すると、マネージャーと従業員はキャリアの成長と能力開発の機会を特定して追跡できます。会話、論点、継続的な開発の追跡を通じて、キャリアの成長をサポートします。従業員の成長と能力開発 はリリースで Washington DC 拡張および更新されました。

従業員の成長と能力開発 リリースノート

ServiceNow 従業員の成長と能力開発このアプリケーションを使用すると、マネージャーと従業員はキャリアの成長と能力開発の機会を特定して追跡できます。段階的なキャリアガイドと継続的な開発追跡を通じて、キャリアの成長をサポートします。従業員の成長と能力開発 はリリースで Washington DC 拡張および更新されました。

Washington DC リリースでの 従業員の成長と能力開発 の特長

- 従業員が検出できる機会を組織が共有できる単一の統合された場所として、営業案件マーケットプレイスを使用します。
- 従業員の成長と能力開発活動このアプリケーションMicrosoft Outlookを使用すると、会話モジュールを使用して従業員またはマネージャーとの会話を簡単にスケジュールできます。
- 簡素化されたプロセスを使用して会話を作成およびスケジュールする手順を簡素化し、組織全体で会話モジュールの導入を促進します。

- 成長計画を使用して、メンタリング、コーチング、リーダーシップ開発、チームビルディング、および教育給付の機会を開発します。
- 組織内で有意義な関係を構築し、知識、共有、コラボレーションの文化を育むために使用しますメンタリング。

詳細については、「[Talent Development Core](#)」を参照してください。

i 重要:

従業員の成長と能力開発 は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティベーション情報」セクションを参照してください。

Washington DC リリースの新機能

機会マーケットプレイス

従業員が自分のキャリアと組織の成長をサポートする新しい機会を見つけられるように支援します。

会話

アクティビティとともに従業員の成長と能力開発を使用してMicrosoft Outlook、会話をスケジュールおよび管理します。

メンタリング

有意義なメンター関係を構築して、従業員の能力開発を促進し、継続的なキャリアに関する会話とエンゲージメントを促進します。

成長計画

従業員がキャリア活動、教育学習、チームビルディング、ワークライフバランスを管理するのを支援します。

展望

新しいアプリケーションウィジェットを使用して、スキルやキャリア開発に関連する展望を促進します。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求することで、従業員の成長と能力開発 をインストールします。Web サイトにアクセスして、[ServiceNow Store](#) 使用可能なすべてのアプリを表示し、への要求 ServiceNow Storeの送信に関する情報を確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースメモ情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

Skills Intelligence

ServiceNow スキルインテリジェンス アプリケーションは、スキル関連データの管理と使用に関する課題を効果的に解決する、アクセス可能で動的な人工知能 (AI) プラットフォームです。

Learning

ServiceNow Learning アプリケーションを使用すると、キャリア開発コンテンツを検出、管理、および関与できます。これにより、内部および外部の両方の学習システムのコース項目を含む学習カタログを構成できます。

Manager Hub

ServiceNow Manager Hub は、チームの成功を促進するための最も緊急かつ重要な事項に関するインサイトと推奨アクションを提供して、マネージャーのセルフサービス

やチームとのプロアクティブなエンゲージメントを向上させます。それにより、マネージャーは、キュレーションされパーソナライズされたリソースを通じて、リーダーとして成長できるようになります。

メンタリングリリースノート

このServiceNow メンタリングアプリケーションは、メンターシップを求める個人と経験豊富なメンターをつなぐプラットフォームであり、メンティーとメンターの両方にシームレスなエクスペリエンスを提供します。 はリリースの新しいWashington DCアプリケーションです。 メンタリング

Washington DC リリースでの メンタリング の特長

- 組織内で有意義な関係を築き、知識の共有とコラボレーションの文化を育みます。
- メンティーまたはメンターとして簡単に登録し、専門分野、スキル、関心分野などの関連情報でプロフィールをパーソナライズできます。
- メンティーとメンターを目標、興味、専門知識に基づいてペアにする、提供されるインテリジェントなマッチングアルゴリズム メンタリング を活用します。
- 重要なレイヤーとして機能するマッチインサイトカードを使用して、メンターとメンティーの両方に情報を送信します。
- ディスカッション (会話) を活用してエンゲージメントを促進します メンタリング 。

詳細については、「[Mentoring](#)」を参照してください。



重要:

メンタリング は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

[store-future: BEGIN review]

メンタリング 機能

メンターシップ登録

従業員として、スキルと重点分野の中から登録の希望を示し、メンティーまたはメンターのいずれかとして登録するか、またはその両方として登録するかを選択します。

顧客の構成可能性

顧客として、登録に関する質問を構成します。

- スキル:メンティーは、提案されたスキルギャップからメンターシップ登録設定の 1 つ時点のスキルを選択するか、メンターシップが必要なスキルをさらに追加します。メンターは、メンターシップ支援を提供できる検証済みまたは達成済みのスキルから選択します。
- フォーカスエリア:質問と回答のオプションを設定します。
- 言語、タイムゾーン、部門、および役割グループの事前に構築されたオプションから選択します。

メンターマッチ全体に貢献する上での質問の重要性を示すために、各質問の重みを設定します。

従業員エクスペリエンス

ガイド付きウィザードエクスペリエンスを使用して、選択したメンターシップロールの設定を行って登録 メンタリング します。

推奨されるメンター

登録済みメンティーは、登録設定に基づいてメンターの提案をすぐに表示し、適切なメンターを選択する前に追加の一致インサイトを表示します。

メンター検索

メンティーは、名前またはジョブプロファイルでメンターを検索します。追加のフィルターを使用して、メンターのリストから検索することもできます。メンターは、試合スコアを含むいくつかの基準に基づいてソートできます。

[End]

アクティベーション情報

メンタリング は、ServiceNow 従業員の成長と能力開発コアの一部である Employee Connections プラグインの有効化とともにインストールできます。詳細については、「[Talent Development](#)」を参照してください。

[store-future: BEGIN review]

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

Career Conversations

ディスカッションはメンターシップエンゲージメントの重要な部分であるため、ServiceNow EGD アクティビティ アプリケーションをインストールする メンタリング 必要があります。

[End]

ESG Management リリースノート

ServiceNow ESG Management アプリケーションは、Environmental, Social, and Governance (ESG) のすべてのコミットメントの管理に役立ちます。ESG Management は Washington DC リリースで拡張および更新されました。

Washington DC リリースでの ESG Management の特長

- との統合 Microsoft 365 for ServiceNow Reportingにより、包括的な説明文の開示を作成します。開示をローカルシステムまたはリモートストレージにアップロードして、簡単にアクセスできるようにします。
- ダッシュボードの 持続可能な IT [IT フットプリント] タブを使用して、データセンターやオフィスビルなどのカーボンフットプリントを示すグローバルマップを表示し、最もエネルギー効率の高い施設をハイライト表示します。
- 計算済み測定基準の定義で式ビルダーを使用して、必要なデータの計算を実行する独自の式を作成します。
- Advanced Risk アセスメントと統合して、重要なトピックとエンティティに対するリスクを評価します。
- 指定されたグループ内のレコードページ上の関連リストとユーザーインターフェースページの配置を効果的に整理して、ページ全体の読みやすさを向上させます。

詳細については、「[ESG Management](#)」を参照してください。

重要:

ESG Management は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティベーション情報」セクションを参照してください。

Washington DC リリースの新機能

包括的なESGレポートのためのナラティブ開示

と統合 Microsoft 365 for ServiceNow Reporting して、管理されたナラティブ開示を作成します。開示のタイプごとに事前定義されたテンプレートを追加します。開示をローカルで維持するか、簡単にアクセスできるようにクラウドサービス Microsoft OneDrive にリンクするかを選択できます。開示のコラボレーションとレビューを有効にします。開示で使用されている測定基準を追跡し、測定基準の変更を監視しながら、タイムリーな再記述を発行する通知を受信します。

[IT フットプリント] タブで強化された持続可能な IT ダッシュボード

ダッシュボードの 持続可能な IT [IT フットプリント] タブに移動すると、データセンターやオフィスビルなどの二酸化炭素排出量を示すグローバルマップが表示されます。このマップは、最もエネルギー効率の高い施設をハイライト表示します。

計算済み測定基準の定義の計算用に拡張された式ビルダー

計算済み測定基準の定義で式ビルダーを使用して式を構築し、測定基準の定義レベルまたはエンティティレベルのいずれかで構築することができます。式を入力して編集し、プレビューすることができます。Microsoft Excel スプレッドシートに保存されている式を計算済み測定基準の定義に直接インポートすることもできます。このインポートは、計算を実行するための式をすばやく構築するのに役立ちます。

ESG リスクを評価するための Advanced Risk アセスメントとの統合

ESG リスク管理機能を使用して、ビジネスの ESG リスクを評価および評価します。この機能は、Advanced Risk アセスメントとの統合 ESG Management であり、定性的および定量的リスクアセスメント方法の両方をサポートしています。この統合により、エンティティベースのリスクアセスメントと重要なトピックのリスクアセスメントが可能になり、エンティティのリスクスコアがロールアップされます。ESG リスク管理アプリケーションでは、いくつかの新しいロールも追加されます。

拡張測定基準データテーブル

測定基準データテーブルが拡張され、完全な測定基準の定義名が表示されるようになりました。

UI の変更

レコードページの垂直レイアウト

レコードページの関連リストと UI ページをグループ内で効率的に整理して、構成を簡素化します。グループを作成したり、構成中に関連リストや UI ページを組み込んだり、アイテムがページに表示される順序を指定したりすることができます。

このリリースでの変更

ESG Management アプリケーションで更新されたロール

ESG 管理者、ESG データ所有者、ESG プログラムマネージャーなどのいくつかのロールが更新され ESG Management しました。

重要なトピックテーブルが更新されました

sn_esg_material_topic テーブルの [ステータス] フィールドが更新され、リスクアセスメントのステータスが含まれるようになりました。重要なトピックの [レビュー] ステータスも名前が [承認] に変更されました。

Microsoft 365 for ServiceNow Reporting テーブルが更新されました

sn_esg_msoff_intg_o365_reporting_configuration テーブルが **track_configuration** フィールドで更新されました

アプリケーションに追加された ESG Management 新しいテーブル

次の新しいテーブルがアプリケーションに追加されます ESG Management。

- sn_esg_disclosure_detail
- sn_esg_disclosure_related_documents
- sn_esg_disclosure_template
- sn_esg_m2m_disclosure_metric_data_by_entity

アプリケーションに追加された GRC: Metrics 新しいテーブル

sn_grc_metric_md_importテーブルがアプリケーションに追加されます GRC: Metrics。

sn_esg_msoff_intgアプリケーションに追加された新しいテーブル

sn_esg_msoff_intg_document_log テーブルが sn_esg_msoff_intg アプリケーションに追加されます。

sn_esg_sustain アプリケーションに追加された新しいテーブル

次の新しいテーブルが sn_esg_sustain アプリケーションに追加されます

- sn_esg_sustain_map_marker_configuration
- sn_esg_sustain_map_data_range_configuration

sn_esg_risk_mgmt アプリケーションに追加された新しいテーブル

次の新しいテーブルが sn_esg_risk_mgmt アプリケーションに追加されます。

- sn_esg_risk_mgmt_m2m_risk_goal
- sn_esg_risk_mgmt_m2m_risk_statement_goal

sn_rec_pg_vertical アプリケーションに追加された新しいテーブル

次の新しいテーブルが sn_rec_pg_vertical アプリケーションに追加されます

- sn_rec_pg_vertical_view_config
- sn_rec_pg_vertical_view_group_entry
- sn_rec_pg_vertical_view_group
- sn_rec_pg_vertical_view_table

sn-formula-builder-connected アプリケーションに追加された新しいテーブル

sn_fb_connected_configテーブルが sn-formula-builder-connected アプリケーションに追加されます。

sn_grc_metric_base_definitionテーブルで変更された属性

必須属性がsn_grc_metric_base_definitionテーブルの [説明] 列から削除されました。

formula_internal列は読み取り専用になりました。

sn_grc_metric_composite_definitionテーブルに加えられた変更

sn_grc_metric_composite_definitionテーブルでは、[**formula_internal**] フィールドが読み取り専用に設定されています。

廃止

- metric_statusフィールドがsn_grc_metric_base_definitionテーブルから削除されました。
- metric_statusフィールドがsn_grc_metric_metricテーブルから削除されました。
- rollup_formulaフィールドはsn_grc_metric_composite_definitionテーブルから廃止されました。
- 次のテーブルは廃止されました。
 - sn_esg_m2m_risk_goal
 - sn_esg_m2m_risk_statement_goal

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、ESG Management をインストールします。 [ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

ブラウザー要件

新しい式ビルダー機能は、を除く Safariすべてのブラウザーでサポートされています。

フィールドサービス管理 (FSM) リリースノート

ServiceNow フィールドサービス管理 (FSM) アプリケーションを使用すると、場所に基づく作業をより効率的かつ安全に管理できます。フィールドサービス管理 (FSM) は Washington DC リリースで拡張および更新されました。

Washington DC リリースでの フィールドサービス管理 (FSM) の特長

- 正確なフィールドサービス運用のために、構造化されたリニア資産の作業指示書の場所を特定して特定します。
- 在庫管理を簡素化し、類似の作業指示書の説明、モデル、および関連基準を表示することで、適切な部品にタイムリーにアクセスできるようにします。
- マーケットプレイスを探索して、フィールドサービス 請負業者の作業を合理化し、請負業者のタスク割り当てに関する時間とコストに基づいて意思決定を行います。
- スケジューリング条件の変化に応じて、ディスパッチャーが終日オンデマンドで実行 Schedule Optimization できるようにします。

詳細については、「」を参照してください。

Washington DC リリースの新機能

スケジュール最適化機能

Schedule Optimization次のタスクを実行するために使用します。

- エージェントが長いバッチ処理期間にわたって複数のテリトリーを担当する可能性がある、複雑なマルチテリトリーの割り当てをスケジュールします。
- エージェントが単一または複数のテリトリーのプライマリメンバーであるかセカンダリメンバーであるかに関係なく、エージェントにタスクをアサインします。
- エージェントのキャパシティまたは作業タイプを定義して、タスクスケジューリングを最適化します。

- 単一のエージェントが同じ日内または異なるシフトにまたがって複数のテリトリを処理する必要がある場合に、よりスムーズな日中運用と効率的なリソース割り当てを提供します。
- ポリシーを作成するときは、「以前のシフトへのアサインを最大化」、「最も優先度の高いタスク開始時間の最小化」、「**SLA** 違反の最小化」などの新しい目標を使用します。
- バッチおよび日内スケジューリングの改善された構成プロセスを使用します。これにより、必要に応じて特定の構成を維持しながら、両方のタイプに共通の設定が提供されます。このプロセスを使用すると、重複を排除し、効率的なセットアップを確保できます。
- スケジュールの精度と遵守率を向上させ、2 つの新しいシステムプロパティが日中で実行されている場合のスケジュールの変更に削減します。

ディスパッチャークワークスペースの機能

次のタスクを実行するために使用します ディスパッチャークワークスペース。

- スケジューリング条件の変更に応じて、ディスパッチャーが 1 日中実行 Schedule Optimization できるようにします。
- テリトリメンバーシップに基づいてクローを作成します。
- カレンダービューでテリトリ別の請負会社のキャパシティを表示します。
- テリトリ内での対応可能性別にカレンダー上のエージェントを表示します。
- 予約やスケジュールした電話など、作業指示以外の理由でエージェントが利用できないときにエージェントが表示するパーソナルイベント フィールドサービス を作成します。
- カレンダーに表示される時間を 15 分、30 分、45 分、または 60 分の時間間隔に変更します。
- 作業指示タスクについて話し合うメッセージをエージェントに送信します。
- カレンダーの予定を一括更新して時間を節約します。
- 優先倉庫またはアサイン先グループから 1 つ以上の部品を調達し、それを個人の倉庫に転送することで、作業指示タスクを迅速に完了することができます。

旅行見積もりのための Beans.ai マップ統合

動的スケジューリング、ルート最適化、手動タスクアサイン、およびエージェント到着予定時刻の移動時間の見積もりには、新しいマッププロバイダーである beans.ai を使用します。

テリトリ計画機能

テリトリ計画を使用して、次のタスクを実行します。

- テリトリ固有のクローを作成して、テリトリ管理、タスクスケジューリング、およびリソース割り当てを簡素化します。
- 複合地理機能を使用して複数の地域を 1 つのテリトリにリンクすると、複雑なエリアの表現が簡素化され、データ管理の柔軟性が向上します。
- リソースを正確に割り当てられるように、内部エージェントと請負業者のテリトリ、カスタマイズされた時間範囲、タスク、およびエージェントスケジュールを管理します。

請負業者マーケットプレイス

ディスパッチャーが専用の請負業者マーケットプレイスにタスクを投稿できるようにフィールドサービス し、熟練労働者を持つ請負業者会社がコスト見積もりとその可用

性を提供できます。ディスパッチャーは、資格のある請負業者と対話し、タスクに最適な請負業者を選択できます。

Now Assist for Field Service Management (FSM)

作業指示タスクを要約するために使用します FSM の Now Assist。

- 作業指示タスクの任意のステータス中に作業指示タスクサマリーを作成して、進捗状況を追跡します。
- モバイルアプリケーションでタスクを完了するときにタスククローズの概要を作成して、後で参照できるようにメモを提供します。

週の始まりの予約

週の最初の日またはデフォルトの日曜日以外の日に予約を開始できるようにします。

タスクイニシエーターロール

作業指示書のイニシエーターが、ドラフトステータスの作業指示書を新しいタスクイニシエーターロールで認定できるようにします。

タスクイニシエーターロールを持つユーザーは、ドラフトステータスの作業指示書またはタスクに対して次のアクションを実行できます。

- 作業指示書テンプレートの適用
- 作業指示タスクの追加または変更
- 部品要件の追加または変更

部品を予約するためのモバイルエクスペリエンスの強化

部品要求を履行または調達するときの部品の可用性に応じて、部品をパーソナル倉庫で予約するか、別の倉庫から調達するかを選択します。

リニア資産のサポート

作業指示のイニシエーターまたは認定者が次のアクションを実行できるようにします。

- サービスの場所マップで線形資産ジオメトリを表示し、作業場所を特定します。
- マッピングインターフェイスでリニア資産ジオメトリを表示し、リニア資産の開始場所と終了場所を選択して、サービスの場所を作成できるようにします。

リニア資産検査タスクで作業するときに、エージェントが次のアクションを実行できるようにします。

- リニア資産の開始場所と終了場所の詳細を確認します。
- マッピングインターフェイスで資産の開始場所と終了場所を特定します。リニア資産で開始日と作業コンテキストが強調表示されている必要があります。
- 作業が必要なさまざまなリニア資産セグメントを調べます。
- リニア資産またはセグメント上の正確なポイント位置で作業指示タスクを作成します。

で部品を提案 予測インテリジェンス

ソリューションを使用して、作業指示書タスクに必要な部品の自動提案を活用します 予測インテリジェンス。

人員機能

コンテキストサイドパネルに作業指示タスクのタスクとアクションの説明を表示します。新しいイベントのデフォルトの開始時間と終了時間を [**Event Management**] タブで直接設定します。

このリリースでの変更

フィールドサービス管理 (FSM) コア UI Next Experience ダッシュボードへのダッシュボードの移行

次の Next Experience フィールドサービス管理 (FSM) ダッシュボードは、より効率的で効率的な作業方法を提供します。

- フィールドサービス管理 (FSM) の概要
- フィールドサービス 建築 業者
- フィールドサービス 計画メンテナンス
- フィールドサービス パフォーマンス分析

アクティベーション情報

フィールドサービス管理 (FSM) は、Now Platform プラグイン (field_service_management) を有効にすると フィールドサービス管理 (FSM) 利用できる機能です。詳細については、「[Activate Field Service Management](#)」を参照してください。

追加の フィールドサービス管理 (FSM) 機能は、他のプラグインをアクティブ化すると利用できます。詳細については、「[Additional plugins for Field Service Management](#)」を参照してください。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

Financial Management

フィールドサービス管理 (FSM) は ServiceNow ファイナンシャルマネジメント アプリケーションと統合して、組織内で経費を割り当て、追跡、およびレポートします。

注:

Financial Management For CSM プラグイン (com.snc.financial_management_for_csm) は、直接アクティベーションができなくなりました。このプラグインは、Now Support カスタマーサービスから要求できます。

Customer Service Management

Customer Service with Field Service Management プラグイン (com.snc.csm_fsm_integration) を使用すると、およびアプリケーションが統合 フィールドサービス管理 (FSM) され、アプリケーションで作業指示および ServiceNow カスタマーサービス管理 (CSM) 作業指示タスク フィールドサービス管理 (FSM) に関するアカウントおよび連絡先情報を表示できます。

Service Portfolio Management

フィールドサービス管理 (FSM) は Service Portfolio Management アプリケーションと ServiceNow 統合して、プロジェクトタスクから直接作業指示書を作成できるようにします。

ワークスペース

ServiceNow ワークスペース は、エージェントが問題を検索、調査、解決する必要があるツールなど、複数のツールを 1 ページに配置したグラフィカルユーザーインターフェイスです。CSM 構成可能ワークスペース および CSM エージェントワークスペース は、顧客に対応してケースを解決するために必要なツールを階層 1 エージェントに提供する、カスタマーサービス固有の実装です。

ファイナンシャルサービスオペレーションリリースノート

Washington DC リリースには、ファイナンシャルサービスオペレーションの新機能と更新された機能が含まれます。

Visa スポーク リリースノート

によりServiceNow Visa スポーク、Now Platform Visa カード異議申し立てプロセスのための Visa Resolve Online (VROL) で Visa API をシームレスに呼び出すことができます。は、このリリースの新しいWashington DCアプリケーションです。 Visa スポーク

Washington DC リリースでの Visa スポーク の特長

- 拡張トランザクション情報を取得します。
- トランザクション検索を実行します。
- 異議申し立てケースの登録を開始します。
- ビザアンケートを送信します。
- 既存の紛争事件の事前仲裁および仲裁を開始します。

詳細については、「[Visa Spoke](#)」を参照してください。

重要:

Visa スポーク は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

Visa スポーク 機能

スポークのアクション

Visa スポークを使用して、VROL(Visa Resolve Online)システムですべてのカード異議申し立てを管理します。アクションを使用すると Visa スポーク、トランザクションの検索、マーチャントとのコラボレーション、異議申し立ての管理、およびセキュリティが強化されたその他の機能を実行できます。また、異議申し立てを解決したり、データにアクセスしたり、その他の機能を利用したりすることもできます。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

[Integration Hub](#)

[Integration Hub](#) で利用できるスポーク

Visa のファイナンシャルサービスオペレーション統合 リリースノート

このServiceNow Visa のファイナンシャルサービスオペレーション統合アプリケーションでは、Visa スポークアクションを使用して Visa Resolve Online (VROL) API とシームレスに統合し、さまざまな異議申し立てライフサイクルイベントを管理できます。はリリースの新しいWashington DCアプリケーションです。 Visa のファイナンシャルサービスオペレーション統合

Washington DC リリースでの Visa のファイナンシャルサービスオペレーション統合の特長

- 統合レイヤーとサブフローを活用して、Visa スポークをシームレスに使用できます。
- 異議申し立てエージェントの作業負荷を最小限に抑え、全体的な効率を向上させます。
- カード異議申し立てプロセス全体を最初から最後まで効果的に管理します。

詳細については、「[Financial Services Operations Integration with Visa](#)」を参照してください。

i 重要:

Visa のファイナンシャルサービスオペレーション統合 は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

Visa のファイナンシャルサービスオペレーション統合 機能

VROL システムでのクレームの登録

[トランザクションからケースを作成] サブフローを実行して、Visa Resolve Online (VROL) システムで異議申し立てケースを生成します。

トランザクション照会 (TI) または既存のケースから異議申し立てケースを開始する

[トランザクションまたはケースから異議申し立てを開始 (Initiate Dispute from Transaction or Case)] サブフローを実行して、トランザクション照会 (TI) または既存のケースのいずれかから、VROL システムでクレームケースの作成を開始します。

VROL ユーザーに異議申し立てアンケートの送信または保存を許可

異議申し立てアンケートの送信サブフローを実行して、VROL システム内の特定の異議申し立ての異議申し立てアンケートを送信または保存します。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

の Playbook カスタマーサービス管理 (CSM)

の ServiceNow カスタマーサービス管理 (CSM) Playbook は、ビジネスプロセスワークフローをシンプルなタスク指向のビューで視覚化し、よく発生する状況に対する一貫した対応を実現する方法を提供します。

Financial Services Card Operations

この ServiceNow Financial Services Card Operations アプリケーションは、金融機関のカード業務をデジタル化および自動化し、クレジットカード申請やカード取引の紛争を迅速に処理できるようにします。

Financial Services Credit Operations

この ServiceNow Financial Services Credit Operations アプリケーションでは、ワークフローで使用される ServiceNow ファイナンシャルサービスオペレーションクレジットケースおよびタスクの管理を有効にします。

Integration Hub

のコンポーネント ServiceNow フローデザイナーを使用して ServiceNow 統合タスクを自動化するか、カスタム統合を開発します。別の AMIS が必要です。

Integration Hub の可用なスPOーク

スPOークをアクティブ化して、統合専用のコンテンツで フローデザイナー エクスペリエンスを向上させます。事前に構築されたフローとアクションを使用して、統合を自動化するか、または独自に統合の自動化を作成します。

Visa リリースノートの異議申し立てルールコンテンツパック

Visa アプリケーション用の異議申し立てルールコンテンツパックを使用すると、発行者はカード ServiceNow 異議申し立て ケースを開始および調査するための Visa カードネットワークルールに簡単にアクセスできます。Visa の異議申し立てルールコンテンツパック は、このリリースの新しいアプリケーションです Washington DC。

Visa の異議申し立てルールコンテンツパック リリースの **Washington DC** ハイライト

- VROL (Visa Resolve Online) に基づく異議申し立てアンケートを組み込み、異議申し立ての理由コードを特定します。
- 意思決定テーブルを作成して、理由コードと異議申し立てデータに基づいてチャージバック適格性ルールを確立します。

詳細については、「[Dispute Rules Content Pack for Visa](#)」を参照してください。

i 重要:

Visa の異議申し立てルール コンテンツ パック は、ServiceNow Store. 詳細については、これらのリリースノートの「アクティベーション情報」セクションを参照してください。

Visa 機能向け異議申し立てルールコンテンツパック

意思決定ツリー

ビザ固有の質問を含む意思決定ツリーを導入します。この機能により、システムはユーザーの応答を分析して異議申し立て理由コードを判断できます。

チャージバック適格性

Visa チャージバック適格性ルールの構成を有効にする意思決定テーブルを導入します。この機能では、特定された理由コードと異議申し立てデータを考慮して、チャージバックの適格性を判断します。

関連 **ServiceNow** アプリケーションと機能

Financial Services Card Operations

この ServiceNow Financial Services Card Operations アプリケーションは、金融機関のカード業務をデジタル化および自動化し、クレジットカード申請やカード取引の紛争を迅速に処理できるようにします。

Financial Services Credit Operations

この ServiceNow Financial Services Credit Operations アプリケーションでは、ワークフローで使用される ServiceNow ファイナンシャルサービスオペレーション クレジットケースおよびタスクの管理を有効にします。

Customer Service Management

アプリケーションから カスタマーサービス管理 (CSM) Financial Services Card Operations アプリケーションへのテーブルの拡張を有効にします。

の Playbook カスタマーサービス管理 (CSM)

Playbook カスタマーサービス管理 (CSM) を使用して、シンプルなタスク指向のビューでビジネスプロセスワークフローを可視化し、よく発生する状況に対する一貫した対応を確認します。

ファイナンシャルサービスオペレーションコア リリースノート

ServiceNow ファイナンシャルサービスオペレーションコア アプリケーションは、金融機関がビジネスニーズを満たす柔軟なデータ構造を作成できるようにするデータモデルを提供します。ファイナンシャルサービスオペレーションコア は Washington DC リリースで拡張および更新されました。

Washington DC リリースでの ファイナンシャルサービスオペレーションコア の特長

- 更新されたデータモデルと親が変更されたテーブルを利用して、データの配置を強化します。
- 効率的な修正スクリプトを使用して、新しい製品モデルテーブルにデータをシームレスに転送して更新します。

詳細については、「[Financial Services Operations Core](#)」を参照してください。

i 重要:

ファイナンシャルサービスオペレーションコアは、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

ファイナンシャルサービスオペレーションコアを **Washington DC** にアップグレードする際の重要な情報

への Washington DCアップグレード中に、プラグインは次のファイナンシャルサービスオペレーションコア テーブルを再ペアレンディングします。

i 注:

アップグレードされたインスタンスに多数のレコードがある場合は、アップグレードが完了するまでに時間がかかることがあります。

- サービス定義 [sn_bom_service_definition] テーブルは、要求定義 [sn_ind_request_definition] ではなくサービス定義 [sn_case_type_selection] テーブルから拡張されています。
- 財務タスク [sn_bom_task] テーブルは、グローバルタスク [task] テーブルの代わりにカスタマーサービスタスク [sn_customerservice_task] テーブルから拡張されています。
- 保険加入者 [sn_bom_policy_participant] テーブルは、販売済み製品の関連当事者 [sn_install_base_sold_product_related_party] テーブルから拡張されています。

再ペアレント化により、既存のアプリケーションの機能を維持しながら、によって ServiceNow カスタマーサービス管理 (CSM) もたらされる利点と進歩を活用できます。

関連 **ServiceNow** アプリケーションと機能

カスタマーサービス管理 (CSM)

カスタマーサービス管理 (CSM) アプリケーションからファイナンシャルサービスオペレーションコア アプリケーションへのテーブルの拡張を有効にします。

の Playbook カスタマーサービス管理 (CSM)

Playbook カスタマーサービス管理 (CSM) を使用して、シンプルなタスク指向のビューでビジネスプロセスワークフローを可視化し、よく発生する状況に対する一貫した対応を確認します。

関係マネージャーなどのミドルオフィスチームが顧客要求のケースを作成できるようにします。

Financial Services Card Operations リリースノート

このServiceNow Financial Services Card Operationsアプリケーションにより、カード異議申し立てサービスケースの UI エクスペリエンスが強化され、異議申し立てを迅速に処理し、全体的な異議申し立てエクスペリエンスを向上させるために必要なデータを異議申し立てエージェントが取得できるようになります。はリリースでWashington DC拡張および更新されました。 Financial Services Card Operations

Washington DC リリースでの Financial Services Card Operations の特長

- プロセス全体とその中の現在の位置の完全なビューをエージェントに提供する水平 Playbook を実装します。エージェントは、Playbook を利用して、ケースの作業中に全体的な進捗状況を監視できます。
- ケースの詳細やトランザクションのステータスなどの重要な情報をページの左側に記録して、常にアクセスしやすさを確認します。
- リストとフォーム形式を利用する Playbook アクティビティを実装することで、ユーザーエクスペリエンスを向上させます。

詳細については、「[Financial Services Card Operations](#)」を参照してください。

重要:

Financial Services Card Operations は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「[アクティベーション情報](#)」セクションを参照してください。

Washington DC リリースの新機能

User experience enhancements in dispute agent workspace

拡張されたワークスペースを使用すると、異議申し立てエージェントは異議申し立てされたトランザクションの詳細な概要をレビューできます。アップグレードされたインターフェイスにより、エージェントはケースの進行を把握し、別のセクションに移動することなく同じページでフォームを更新できます。さらに、エージェントはさまざまなタブでさまざまなアクティビティの詳細を開くことで、効果的にマルチタスクを実行できます。

UI の変更

異議申し立て Agent Workspace UI

異議申し立て Agent Workspace UI に、異議申し立てされたトランザクションの詳細なサマリーが表示されるようになりました。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

Financial Services Operations Core

カード要求の処理に必要な顧客データを保存します。

Customer Service Management

アプリケーションから ServiceNow カスタマーサービス管理 (CSM) アプリケーションへの Financial Services Card Operations テーブルの拡張を有効にします。

Customer Service Management 用 Playbook

Playbook カスタマーサービス管理 (CSM) を使用して、シンプルなタスク指向のビューでビジネスプロセスワークフローを可視化し、よく発生する状況に対する一貫した対応を確認します。

貢献者ユーザーの構成

リレーションシップマネージャーなどのミドルオフィスチームが顧客要求のケースを作成できます。

ガバナンス、リスク、コンプライアンス リリースノート

Washington DC リリースに含まれる、ガバナンス、リスク、コンプライアンス の新機能と更新された機能

高度なリスク リリースノート

ServiceNow 高度なリスク アプリケーションを使用すると、組織のビジネス目標の達成に影響を与える可能性のあるリスクを特定、分析、評価、処理、および監視できます。高度なリスク は Washington DC リリースで拡張および更新されました。

Washington DC リリースでの 高度なリスク の特長

- 2 次および 3 次のリスクユーザーがレコードをレビューし、フィードバックを提供し、クローズを監視できる、並行レビューおよびフィードバックワークフローを実装します。
- Management Reporting of Risk アプリケーションを介してレコードで利用可能な情報を使用して、管理レポートを直接 Microsoft Word 作成します。
- 自動保存を使用して、ユーザーが行う必要があるクリック数を減らします。
- オブジェクトベースのリスクアセスメント方法論のメンテナンスと柔軟性を向上させます。1 つの方法論で複数のレコードタイプを評価することも、複数の方法論を有効にして同じレコードタイプを評価することもできます。
- 複数のリスクアセスメントを一括で承認して再アサインします。

詳細については、「[Advanced Risk アセスメント](#)」を参照してください。

i 重要:

高度なリスク は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリース ノートの「アクティベーション情報」セクションを参照してください。

Washington DC リリースの新機能

Parallel Review and Feedback in Advanced Risk

レビューとフィードバックのワークフローをデジタル化することで、2 次および 3 次線のマネージャーが第一線の活動に積極的に参加できるようにします。レコードまたはレコード内のフィールドに関するフィードバックを提供して、データの完全性、コンプライアンス、運用手順、および処分や説明責任などの他の領域に関連する改善を推奨できます。たとえば、リスクマネージャーは、第一線のリスクユーザーに根本原因分析タスクを要求することでフィードバックを提供し、同じリスクイベントの追加の損失エントリをキャプチャするように依頼することもできます。並行レビューとフィードバックを使用すると、マネージャーは次のアクションを実行できます。

- ワークフローの任意のステージでフィードバックを提供します。
- サイドパネル機能を使用して、フィードバック応答をソースレコードから直接更新します。
- 一元化されたダッシュボードから、レコードに対して発生するフィードバックワークフローを表示および管理します。
- 変更履歴を表示します。これにより、事前フィードバックと事後フィードバックをすばやく比較できます。
- 応答が不十分であると判断された場合は、フィードバックを再度開きます。
- 直感的なダッシュボードを使用してフィードバックを監視し、レコード所有者をフォローアップします。
- Sidebar ディスカッションチャットを通じて、レビュー担当者、回答者、およびその他のステークホルダーと効果的にコラボレーションします。

- フィードバックの結果として、問題の作成や既存の問題へのリンクなどのアクションを開始してリンクします。
- フィードバックの作成元のテーブルまたはレコードタイプを定義できるカスタムテーブルを含む、任意のレコードタイプのフィードバック統合セットアップを構成します。

i 重要:
並列レビューおよびフィードバック機能は、でのみ使用できます Next Experience。

でのレポートの生成 Microsoft Word

Management Reporting of Risk アプリケーションを使用して、で利用可能なNow Platform情報に基づいたレポートMicrosoft Wordを作成します。リスクマネージャーは、管理者に依存することなく、リアルタイムデータを使用して独立してレポートを作成できます。また、レポートの生成は、からレポートデータをワンクリックで直接Now Platform更新することで有効になります。

リスクヒートマップ情報のエクスポート

必要に応じて、レポートに含めるリスクヒートマップ情報をダウンロードまたはコピーしたり、関連するステークホルダーと共有したりできます。

i 重要:
ヒートマップ情報のコピーとダウンロードは、でのみ Next Experience使用できます。

オブジェクトベースのアセスメントの強化

アセスメントオブジェクトを 1 つだけ選択することなく、複数のオブジェクトのリスクアセスメント方法論 (RAM) を構成します。さまざまなオブジェクトの複数の方法論を管理するための追加の労力を減らすことができます。データを比較およびレポートして、データのアクセシビリティと一貫性を向上させることができます。

リスク管理者は、1 つのオブジェクトに複数の RAM を追加することもできます。たとえば、コンプライアンスケーステーブルは、IT コンプライアンスと企業コンプライアンスの個別の基準を使用して評価できるため、さまざまなドメインにわたるリスクを包括的に理解できます。

リスクおよびコントロールアセスメントフォームの自動保存機能

自動保存を使用して、高度なリスクアセスメントを実行するエクスペリエンスを向上させます。査定人が応答すると、アプリケーションは回答を保存し、全体的なリスクスコアを計算します。必要なクリック数が大幅に削減され、効率と全体的な従業員のエンゲージメントが向上します。

i 重要:
自動保存機能は、でのみ Next Experience使用できます。

リスクアセスメントの一括承認と再アサイン

複数のリスクアセスメントを同時に承認することで、チームが個々の承認に費やす時間を大幅に短縮できます。特に大量のアセスメントを処理する場合に、ワークフローの効率が向上します。承認者または査定人は、複数のリスクアセスメントをさまざまなステークホルダーまたはチームメンバーに簡単に再アサインできます。

ライブラリからのリスクとコントロールの追加

不要なナビゲーションを排除することで、指定されたワークフロー内でリスクとコントロールを作成および管理します。チームは次のタスクを実行できます。

- コントロールアセスメント中に [コントロール目標から作成] オプションを使用して、コントロール分類からコントロールを追加します。
- リスク軽減タスクに対応するときに [コントロールを作成] オプションを使用して、アドホックコントロールを特定して作成します。
- リスク軽減タスクに回答するときに、[コントロール目標から作成] オプションを使用して、コントロール分類からコントロールを追加します。
- リスクアセスメントスコープを定義するときに、[リスクステートメントから作成] オプションを使用して、リスク分類からリスクを特定してマッピングします。

のユーザーエクスペリエンスの向上 高度なリスク

次の機能拡張により、プロセスを簡素化します。

- [コメント] フィールドを使用して、の リスクワークスペースグループ要素に関する簡単な回答を入力します。RAM フォームでグループ要素からのコメントを設定できます。
- 注意が必要な領域を見つけるために、査定人がページ全体を手動でナビゲートする必要がなくなります。リスクアセスメントフォームで次のアセスメントステージに移動すると、アプリケーションは自動的に未回答の要素までスクロールします。
- 現在の査定人がいない場合、進行中のアセスメントを新しい査定人に一括で再アサインします。この機能は、特にリストラや緊急医療休暇の場合にアサインを再配分するのに役立ち、必要に応じて一括再アサインが可能です。
- リスクイベントおよび問題レコードタイプの Sidebar ディスカッションを開始します。チームは、イベントや問題について話し合うための専用スペースを利用できます。このスペースにより、リスク管理プロセスの明確さと効率が向上します。
- リスク対応タスクページの [レビュー担当者] フィールドを使用して、レビュー担当者の詳細について査定人に通知します。
- リスクアセスメントフォームの要素選択肢のドロップダウンオプションを使用して、読みやすくします。
- リスクアセスメントフォームの要素選択で水平レイアウトを有効にして、スクロールを最小限に抑えます。
- Advanced Risk アセスメントホームページからメインページへの単一のブレッドクラム記録による簡素化されたナビゲーションを使用します。チームが複数のタブを開く必要はありません。
- 手動、自動、および計算測定基準の定義レコードには、関連リストによってグループ化された垂直リストビューを使用します。
- Advanced Risk アセスメント内のセクションヘッダーを折りたたんで、[Advanced Risk アセスメント] ページのスクロールを減らし、より多くのコンテンツを収容できるように画面スペースを最適化します。

UI の変更

[承認のため送信] ボタン

リスクアセスメントフォームの [承認のため送信] ボタンは、動的な承認ワークフローをサポートするために [送信] に名前が変更されました。

[アセスメントを表示] および [アセスメントを承認] ボタン

ビジュアルエクスペリエンスを向上させ、必要なクリック数を減らすために、リスクアセスメントフォームの [アセスメントを表示] ボタンと [アセスメントを承認] ボタンが結合され、名前が [送信] に変更されました。

このリリースでの変更

リスク識別構成の機能拡張

リスク識別構成では、リスク管理者は複数のテーブルを追加してそれぞれの RAM にマッピングできます。

GRC ワークスペースから ARA ワークスペースへのコンテンツの移行

すべてのリスクアセスメントワークスペースのコンテンツが、新しい ARA ワークスペースで再作成されました。この変更により、リスクアセスメントのコンテンツを GRC ワークスペースではなく ARA ワークスペースから参照できるようになります。GRC ワークスペースで行われたすべてのカスタマイズが ARA ワークスペースに引き継がれるわけではありません。リスクアセスメント中に表示するには、ARA ワークスペースの利用可能なデフォルトページにこれらのカスタマイズを再適用する必要があります。

このリリースでの削除

- リスクアセスメントフォームの [保存] ボタンが削除されました。リスクアセスメントフォームは自動的に保存されます。
- アセスメントスコープ内に承認が構成されていない場合、リスクアセスメントフォームの [承認] タブからステッパーコンポーネントが削除されました。この削除により、ユーザーエクスペリエンスが簡素化され、インターフェイスが整理されて、より直感的になります。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求することで、高度なリスク をインストールします。 [ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

GRC Risk Management

リスク管理 を ServiceNow 高度なリスク アプリケーションで使用する、影響度の高いリスクを特定して監視し、リスクベースの意思決定を改善し、対応時間を数日から数分に短縮できます。

GRC Risk ワークスペース

リスクワークスペース を ServiceNow 高度なリスク アプリケーションで使用する、すべてのリスク関連アクティビティを単一ペインで表示して、シンプルなユーザーエクスペリエンスを提供します。

Audit Management リリースノート

ServiceNow Audit Management アプリケーションは、監査エンゲージメントの計画、エンゲージメントの実行、監査委員会への結果のレポートに関連するアクティビティをサポートします。エンゲージメントレポートは、組織のリスクおよびコンプライアンス管理戦略が有効であることを主要なステークホルダーに保証するのに役立ちます。Audit Management は Washington DC リリースで拡張および更新されました。

Washington DC リリースでの Audit Management の特長

- ドキュメントとワークシートを Audit Management クラウドファイルとして管理します。
- クラウドファイルを任意の GRC レコードにリンクし、単一のクラウドファイルを複数のレコードと共有します。
- クラウドファイルに対するアクセス許可を管理します。

詳細については、「[Audit Management](#)」を参照してください。



重要:

Audit Management は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティベーション情報」セクションを参照してください。

Washington DC リリースの新機能

Manage your documents and work papers with Audit Management as cloud files

ドキュメントとワークシートを Audit Management クラウドファイルとして管理します。この機能は、のエンゲージメントおよび監査タスクレコードの Audit Workspace 特定のユースケースに対応します。クラウドファイルを任意の GRC レコードにリンクし、単一のクラウドファイルを複数のレコードと共有します。

Create a Cloud file configuration on engagements and audit tasks

クラウドファイルに対するアクセス許可を管理します。クラウドファイル構成モジュールを使用して、クラウドファイルのユーザーに読み取りおよび書き込み権限を割り当てます。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、Audit Management をインストールします。 [ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Store バージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

事業継続性管理 リリースノート

ServiceNow 事業継続性管理 (BCM) アプリケーションにより、停電、異常気象、機器の損傷などの中断イベントでも、組織は許容可能なレベルで製品とサービスを提供し続けることができます。はリリースで Washington DC 拡張および更新されました。 事業継続性管理

Washington DC リリースでの 事業継続性管理 の特長

- のソースデータと関係 構成管理データベース (CMDB) に基づいて、ビジネスインパクトアセスメント (BIA) で依存関係の自動更新をスケジュールします。アプリケーションから BIA 依存関係の更新の詳細を含むメール通知を取得します。
- および BIA のソースデータと関係 CMDB に基づいて、計画内の関連資産の自動更新をスケジュールします。アプリケーションから計画依存関係の更新の詳細を含むメール通知を取得します。
- 影響を受ける資産の依存関係を、BIA、CMDB および計画のイベントと演習に手動で追加します。

詳細については、「[Business Continuity Management](#)」を参照してください。

i 重要:

事業継続性管理 は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティベーション情報」セクションを参照してください。

リリースへの **Washington DC** アップグレードに関する重要な情報

リリースに Washington DC アップグレードする場合は、既存のビジネスインパクト分析、事業継続性計画、およびイベントに関する次の重要な情報に注意する必要があります。

- ビジネスインパクト分析の場合、アップグレード後に手動で追加された依存関係に対して、依存関係アセスメントの [ソース] 列の名前が [プライマリソース] に変更され、**BCM** ソースの名前が [手動] に変更されます。[依存関係を更新] アクション ボタンを選択すると、依存関係が追加されます CMDB。
- 事業継続性計画の場合、[ソース] 列の名前が [アップグレード後の プライマリソース] に変更されます。[依存関係を更新] アクション ボタンを選択すると、BIA 依存関係が追加されます CMDB。以前のリリースとの互換性を維持するために、管理者はソースを構成し、BCM BIA アップストリーム依存関係と BIA ダウンストリーム依存関係のみをソースとして更新構成に保持できます。
- イベントと演習では、[依存関係を更新] アクションボタンを選択すると、アップグレード後に BIA、および Business Continuity Planning (BCP) の依存関係が追加されます CMDB。以前のリリースとの互換性を維持するために、管理者はソースを構成し、BCM BIA アップストリーム依存関係と BIA ダウンストリーム依存関係のみをソースとして更新構成に保持できます。

Washington DC リリースの新機能

Schedule an auto-update of the dependencies

CMDB ビジネスインパクト分析で資産と依存関係を更新します。BCM 管理者は、影響分析の依存関係更新構成モジュールを構成して、自動更新を開始するか、手動レビュープロセスをトリガーすることができます。管理者は、スケジュール設定済みジョブを有効にして、依存関係を継続的に監視し、メール通知を送信できます。

Schedule an auto-update of the related assets

事業継続性計画の CMDB 資産と依存関係を更新します。管理者は BCM、計画依存関係更新構成モジュールを構成して、自動更新を開始するか、手動レビュープロセスをトリガーすることができます。依存関係は、BIA アップストリーム依存関係、BIA ダウンストリーム依存関係 CMDB などのさまざまなソースからフェッチされます。管理者は、スケジュール設定済みジョブを有効にして、依存関係を継続的に監視し、メール通知を送信できます。

Adding the dependencies of the impacted assets

CMDB イベントの資産と依存関係を更新します。管理者は BCM、イベント依存関係ソース構成モジュールを設定して、自動更新を開始するか、手動レビュープロセスをトリガーできます。依存関係は、BIA アップストリーム依存関係、BIA ダウンストリーム依存関係、CMDB 計画プライマリ資産、計画関連資産などのさまざまなソースからフェッチされます。

UI の変更

Configure the Impact analysis dependency update configuration record

影響分析依存関係の更新をインポートするための影響分析依存関係更新構成モジュールを構成します。

Configure the Planning dependency update configuration record

計画依存関係の更新をインポートするための計画依存関係更新構成モジュールを構成します。

Configure the Event dependency source configuration record

イベント依存関係ソース構成モジュールで、イベント依存関係をフェッチするようにソースを構成します。

Format the PDF templates for BIAs, BCPs, and Events

拡張された事業継続性計画テンプレート (デフォルト) を使用して、事業継続性計画の PDF を生成します。このテンプレートは、大きな画像、大きなテーブル、改善された間隔、適切な配置のサポートなど、UI の拡張機能を提供します。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、事業継続性管理 をインストールします。 [ServiceNow Store !\[\]\(a870788d6ed9b8fd294b7654a8c8526b_img.jpg\)](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート !\[\]\(18065afa4ef6662bca9f3f6088f7de30_img.jpg\)](#)」を参照してください。

共通 ガバナンス、リスク、コンプライアンス 機能リリースノート

ServiceNow ガバナンス、リスク、コンプライアンス (GRC) アプリケーションにより、パンデミック、異常気象、ハッキングなどの不利な運用イベントが発生しているときにも、組織はビジネスサービスを提供し続けることができます。 はリリースでWashington DC改善および更新されました。 ガバナンス、リスク、コンプライアンス

Washington DC リリースでの GRC の特長

- [担当者] フィールドでシステム提供の修正提案と潜在的なアサインニーを使用して、修復タスクをアサインします。
- 問題マネージャーロール、問題マネージャーグループロール、担当者ロール、またはアサイン先グループロールのいずれかがある場合は、問題を更新します。

詳細については、「[Governance, Risk, and Compliance !\[\]\(6a9b39b98eb945faa14c645ec99e4eaa_img.jpg\)](#)」を参照してください。

重要:

GRC は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティベーション情報」セクションを参照してください。

Washington DC リリースの新機能

に関するシステム生成の推奨事項 ワークスペース 問題管理

- 問題に関連する修正タスクに対して、システム生成の推奨事項を使用します。ユーザーの応答は、修復タスクのアクション履歴に記録されます。
- 問題の [詳細] タブにリストされているシステム生成の推奨事項を使用します。[担当者] フィールドで問題をアサインするときに、上位 3 つの推奨事項を参照できます。

UI の変更

の問題の強化 ワークスペース

[推奨アクション] セクションが [問題 ワークスペース] ページのサイドバーに追加されます。

このリリースでの変更

問題管理権限

- 問題を管理するために、マネージャーとユーザーに同じレベルの権限が割り当てられ GRC または GRC 。マネージャーロール、ユーザーロール、ビジネスユーザーロール、GRCまたはビジネスユーザー Lite ロールがある場合はGRC、問題を作成できます。
- 自分が問題ペルソナである場合、または修復タスクが自分にアサインされている場合は、修復タスクを作成または更新します。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、GRC をインストールします。 [ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

Compliance Case Management リリースノート

ServiceNow Compliance Case Management アプリケーションは、苦情や違反などのコンプライアンスケースをレポート、調査、および解決するのに役立ちます。アプリケーションでは、ポリシーの変更、説明、照会などのコンプライアンス要求を作成し、コンプライアンスチームに対応させることもできます。Compliance Case Management はリリースで Washington DC 拡張および更新されました。

Washington DC リリースでの Compliance Case Management の特長

- コンプライアンスケースまたは要求からのデータを使用するポータブルドキュメント形式 (PDF) レポートをシームレスに作成します。
- コンプライアンスケースおよび要求レコードページのメール作成機能を使用して、複数のステークホルダーとコミュニケーションします。
- ケースマネージャーが、影響を受ける 1 つまたは複数の領域および関連する領域の範囲を管理できるようにします。

詳細については、「[Compliance Case Management](#)」を参照してください。

重要:

Compliance Case Management は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティベーション情報」セクションを参照してください。

Washington DC リリースの新機能

Export a report to PDF

事前定義されたテンプレートを使用してコンプライアンスケースまたは要求の PDF レポートを作成し、アプリケーションにアクセスできないステークホルダーでもデータにアクセスできるようにします。PDFレポートを使用すると、電子メールで重要な情報をより迅速に共有でき、アプリケーションにアクセスすることなく、監査チーム、パートナー、または内部委員会とのコラボレーションが可能になります。PDF レポートはオフラインレポートとして機能します。これらは、包括的なデータを凝縮された読み取り可能な形式で表示する柔軟性を提供します。事前定義されたテンプレートを選択するか、カスタマイズされたドキュメントテンプレートを作成してレポートを生成することができます。

Compose emails in GRC: Compliance Case Management

組織内外のさまざまなステークホルダーとコミュニケーションを取るためにアプリケーション GRC: Compliance Case Management を使用して、コンプライアンスケースやコンプライアンス要求のメールを作成して送信します。

影響を受ける複数の領域および関連する領域を管理する際のユーザーエクスペリエンスを向上

コンプライアンスケースで影響を受ける複数の領域および関連する領域をより効率的に追加および管理します。[追加] ボタンを選択すると、統合されたダイアログ ボックスを使用できます。このボタンを使用すると、繰り返し操作をなくし、異なる画面間の移動に費やす時間を短縮できます。影響を受ける領域と関連領域を選択すると、バックグラウンドでコンプライアンスケースレコードが可視化され、レコード内の詳細に基づいて情報に基づいた選択を行うことができます。詳細については、「[Add an impacted area to a compliance case](#)」と「[Add a related area to a compliance case](#)」を参照。

複数の影響を受ける領域と関連領域を削除する

コンプライアンスケースフォームに追加された [削除] ボタンを使用して、影響を受ける 1 つまたは複数の領域および関連する領域を削除します。影響を受ける領域や関連する領域は、複数のメニューやセクション間を移動することなく、より便利に削除できます。

UI の変更

ケースタスク関連リスト

コンプライアンスケースフォームの [ケースタスク] タブの名前が [アクションタスク] に変更されました。

このリリースでの削除

- コンプライアンスケースフォームの [影響する] および [関連] 領域の [新規] ボタンが削除され、[追加] ボタンに置き換えられました。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求することで、Compliance Case Management をインストールします。[ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

関連 **ServiceNow** アプリケーションと機能

[Policy and Compliance Management](#)

Compliance Case Management を使用するには、コンプライアンスワークスペースをポリシーとコンプライアンス管理 アプリケーションと統合する必要があります。

[GRC Compliance Workspace](#)

コンプライアンスワークスペースこのCompliance Case Managementアプリケーションを使用して、を使用してコンプライアンス ケースを記録、管理、および調査します。

Continuous Authorization and Monitoring リリースノート

このServiceNow Continuous Authorization and Monitoringアプリケーションは、認証パッケージを定義し、NIST Risk Management Framework (RMF) の 7 つのステージを実行するための標準化されたアプローチを提供します。はリリースでWashington DC拡張および更新されました。Continuous Authorization and Monitoring

Washington DC リリースでの Continuous Authorization and Monitoring の特長

- NIST 800-53 リビジョン 5 に属するコントロールのベースシステムによって出荷される、コントロール要件レベルの詳細なレベルでコントロールの管理を有効にします。
- コントロールのブレークダウンを可能にするコントロール目標レベルで要件を定義し、コントロール要件を自動的に作成します。これは個別に証明することもできます。
- コントロール要件を部分的に継承し、残りの要件を自己実装することで、ハイブリッドコントロールを作成します。
- NIST 800-53A で定義されているアセスメント手順に基づいてコントロールのテストを有効にします。

詳細については、「[継続的な承認と監視について](#)」を参照してください。

i 重要:

Continuous Authorization and Monitoring は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティベーション情報」セクションを参照してください。

Washington DC リリースの新機能

詳細なレベルでのコントロールの管理

NIST 800-53 Risk Management Framework に基づいてコントロール目標レベルでコントロール要件を構成し、詳細なレベルでコントロールを評価します。コントロールがワークフローの [証明] 状態に移行する間、要件レベルで証明書を取得することもできます。コントロールを効果的に監視および追跡し、コントロールの非準拠につながる非準拠の特定の要件を明確に特定できます。

Set up baseline controls to generate controls and implement requirements

一部は継承されたコントロールとして、一部はシステム固有のコントロールとして実装されるコントロールを作成します。これは、共通コントロール プロバイダーからの部分的な要件を採用するのに役立ちます。共通コントロール プロバイダーによって提供される 1 つ以上の要件を継承することもできます。

NIST 800-53Aに基づく評価手順を持つ能力

個々のアセスメント手順の有効性に基づいて、コントロールの有効性を判断します。テストテンプレートのアセスメント手順をカスタマイズして、[有効]、[無効]、または [適用外] としてマークすることができます。

コントロール目標とコントロールフォームの CAM ビューの新しい関連リスト

CAM NIST 800-53 リビジョン 5 のすべてのコントロール目標要件を含むコントロール目標フォームのビューを使用します。同様に、コントロールフォームのビューには、CAMコントロール要件関連リストのコントロールに対して生成されたすべての要件が表示されます。

このリリースでの変更

テスト計画のアセスメント手順計画の生成

テストテンプレートフォームの コントロールテスト セクションが更新され、NIST からコントロールテストガイドラインを取得する [検査]、[面談]、[テスト] などのフィールドが追加されました。

Determine control effectiveness of a control test

コントロール有効性をテストするために、[検査]、[面談]、[テスト] などの新しいフィールドが [テスト計画] および [コントロールテスト] フォームに追加されました。

コントロールの実装ステートメントを文書化

コントロールフォームに、[実装ステートメント] という新しいフィールドが追加されました。これは、コントロールを [評価] ステータスに移行する前に必要です。

コントロール目標およびコントロールフォームのディスカッションフィールド

800-53 コントロールに基づいて、各コントロールに対して NIST によって提供されるディスカッションコンテンツは、ベースシステムによってコントロール目標レベルで出荷されます。これは、コントロールが作成されたときにコントロールフォームでも更新されます。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、Continuous Authorization and Monitoring をインストールします。 [ServiceNow Store !\[\]\(a870788d6ed9b8fd294b7654a8c8526b_img.jpg\)](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート !\[\]\(18065afa4ef6662bca9f3f6088f7de30_img.jpg\)](#)」を参照してください。

Operational Resilience リリースノート

ServiceNow Operational Resilience アプリケーションを使用すると、パンデミック、異常気象、ハッキングなどの事業運営に悪影響を及ぼす事象の発生中でも、組織はビジネスサービスを提供し続けることができます。Operational Resilience は Washington DC リリースで拡張および更新されました。

Washington DC リリースでの Operational Resilience の特長

- 運用の継続性の観点から、エンドツーエンドのビジネスサービスの対障害弾力性を追跡します。
- オペレーショナルリスクとコンプライアンスの観点からエンドツーエンドのビジネスサービスの対障害弾力性を追跡します。
- ペルソナに従ってアプリケーションのホームページに Operational Resilience レポートを表示します。
- のソースとデータの関係 構成管理データベース (CMDB)に基づいて、ビジネスサービスの依存関係マッピングを自動入力します。
- ビジネスインパクトアセスメント (BIA) のソースとデータの関係に基づいて、ビジネスサービスの依存関係マッピングを自動入力します。

詳細については、「[Operational Resilience !\[\]\(6a9b39b98eb945faa14c645ec99e4eaa_img.jpg\)](#)」を参照してください。

重要:

Operational Resilience は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティベーション情報」セクションを参照してください。

Washington DC リリースの新機能

Roles installed with Operational Resilience

運用の継続性の観点からエンドツーエンドのビジネスサービスの対障害弾力性を追跡するには、(BCM) Professional ユーザー用に 事業継続性管理 作成された新しいロールセットを使用します。運用の継続性の観点からエンドツーエンドのビジネスサービスの回復性を追跡するには、Integrated Risk Management (IRM) Professional ユーザー用に作成された新しいロールセットを使用します。

さまざまなロールを持つペルソナに従ってレポートを表示します。アプリケーションのホームページにはOperational Resilience、BCMプロフェッショナルユーザーとプロフェッショナルIRMユーザーに対して別々のレポートが表示されます。

Fetching dependencies from the CMDB and BIA

および BIA のソースとデータの関係 CMDB に基づいて、ビジネスサービスの依存関係マッピングを自動入力します。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求することで、Operational Resilience をインストールします。[ServiceNow Store](#)  Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#) 」を参照してください。

関連 **ServiceNow** アプリケーションと機能

GRC Advanced Risk

高度なリスク アセスメントを使用して統合リスクプラットフォームを作成します。この統合プラットフォームは、さまざまな種類のリスクアセスメント方法をサポートしています。これにより、リスクアセスメントを総合的な意思決定プロセスの一部として統合できます。高度なリスク アプリケーションの詳細については、「[Advanced Risk アセスメント](#) 」を参照してください。

GRC Business Continuity Management

BCMアプリケーションを使用して中断を軽減し、許容可能なレベルで製品とサービスを提供し続けます。これにより、中断への対応、対応、復旧を迅速に行うことができます。BCM アプリケーションの詳細については、「[Setting up Business Continuity Management application \(Business Continuity Management アプリケーションの設定\)](#) 」を参照してください。

Data Relationships Framework

[Data Relationships Framework](#)  アプリケーションを使用して、から依存関係CMDBをフェッチします。

GRC Policy and Compliance Management

エンティティに関連付けられたコントロールを監視し、そのレポートをダッシュボードで公開します。コントロールと GRC: ポリシーとコンプライアンス管理 アプリケーションの詳細については、「[コントロールの管理](#) 」を参照してください。

GRC Risk Management

エンティティに関連付けられたリスクを監視し、そのレポートをダッシュボードで公開します。リスクと リスク管理 アプリケーションの詳細については、「[Risk Management の使用](#) 」を参照してください。

ポリシーとコンプライアンス管理 リリースノート

ServiceNow GRC: ポリシーとコンプライアンス管理 アプリケーションは、外部規制やベンチマークにクロスマッピングされたポリシー、標準、および内部制御手順を作成および管理するための一元化されたプロセスを提供します。GRC: ポリシーとコンプライアンス管理 は Washington DC リリースで拡張および更新されました。

Washington DC リリースでの GRC: ポリシーとコンプライアンス管理 の特長

- と Google ドライブ統合してポリシーを改訂し、ポリシーテキストを定期的に更新します。ポリシー作成とレッドライン機能を使用して、ポリシーオーナーとレビュー担当者がポリシーを共同作業、レビュー、およびレッドラインできるようにします。
- ポリシーレコードで動的承認構成を設定します。ポリシータイプ、ソーステーブル、ステータス、フィルター条件などのさまざまな動的条件に基づいて、承認レベルとルールを定義します。

詳細については、「[Policy and Compliance Management](#)」を参照してください。

i 重要:

GRC: ポリシーとコンプライアンス管理 は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティベーション情報」セクションを参照してください。

Washington DC リリースの新機能

を使用したポリシーの作成 Google ドライブ

組織のポリシーを定期的に監視して修正し、その関連性とコンプライアンスを維持します。を使用すると Google ドライブ、ポリシー所有者、レビュー担当者、および承認者は、ポリシーテキストのさまざまなバージョンを作成、変更、および管理して、その履歴を保持できます。これらのユーザーは、ポリシーの起草およびレビュープロセスで共同作業を行うこともできます。ポリシーテキストは自動的に更新されます。テキストは、ドキュメントから HTML の [ポリシーテキスト] フィールドにコピーし、後で PDF 形式に変換できます。

Set up dynamic approval configuration on a policy record

ポリシーレコードで動的承認構成を設定します。承認構成レコードで、ポリシータイプ、ステータス、所有者などの動的条件の承認レベルを定義します。承認者タイプ、ソーステーブル、およびフィルター条件を選択して、各承認レベルの承認ルールを作成します。レッドラインが有効になっているポリシーで動的承認構成を設定することもできます。

このリリースでの変更

インジケータジョブの処理におけるパフォーマンスの強化

並列処理機能をサポートするために、2 つの追加のカスタム キューが導入されました。1 つはインジケータを処理するためのインジケータデータキューで、もう 1 つはコントロール、リスク、および問題の更新に関連するイベントを処理するためのサポートデータキューです。サポートデータを収集するための新しいジョブが導入され、データ処理プロセスの改善に大きく役立ちます。

パーセンテージサンプリングをサポートするために、[インジケータテンプレート] フォームに新しいフィールドが導入されました。データ処理を合理化するために、サンプルデータを JSON 形式で保存することでデータストレージシステムが更新されています。この新しいアプローチにより、より構造化された効率的なストレージが可能になり、データ検索プロセスと分析が強化されます。インジケータタスクの期日をキャプチャするために、[インジケータテンプレート] および [インジケータ] フォームに [期日期間 (日数)] フィールドが追加されました。この期日に基づいて、インジケータタスクオーナーはリマインダーメールを受信します。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、GRC: ポリシーとコンプライアンス管理 をインストールします。 [ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、スト

アにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

ブラウザー要件

GRC: ポリシーとコンプライアンス管理 には、次のブラウザーの最新の公開リリースと、2 つの旧リリースバージョンが必要です。

- Google Chrome
- Firefox および Firefox 延長サポートリリース (ESR)
- Microsoft Edge クロム
- Safari 12.0 以降のバージョン

プライバシー管理 リリースノート

ServiceNow プライバシー管理 アプリケーションを使用すると、組織のプライバシーリスクとコンプライアンスを管理して、顧客、従業員、およびサプライヤーを保護できます。プライバシー管理は Washington DC リリースで拡張および更新されました。

Washington DC リリースでの プライバシー管理 の特長

- プライバシーケース管理このアプリケーションを使用して、プライバシー侵害や苦情を報告および管理します。
- プライバシーケース管理統合を利用してRadarFirstプライバシーインシデントリスクアセスメントを自動化し、明確で実行可能な通知義務を迅速に取得します。
- プライバシーロールを持つユーザーが処理アクティビティやコントロールなどのフォームを操作する場合は、自動的にプライバシーに設定される [機能ドメイン] フィールドを参照してください。

詳細については、「[Exploring Privacy Management](#)」を参照してください。

i 重要:

プライバシー管理 は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「[アクティベーション情報](#)」セクションを参照してください。

Washington DC リリースの新機能

Privacy Case Management

プライバシーケース管理プライバシー侵害と苦情を報告および管理できるアプリケーションを使用します。このソリューションは、報告された違反の根本原因と主な詳細の調査を支援するさまざまなチームとのコラボレーションを通じて、プライバシー侵害と苦情の効率的な管理を可能にします。

プライバシーケース管理 の統合: RadarFirst

プライバシーケース管理統合を利用してRadarFirstプライバシーインシデントリスクアセスメントを自動化し、明確で実行可能な通知義務を迅速に取得します。データ侵害は、プライバシーチームによって評価され、規制通知義務があるかどうかを理解し、所定の時間内に規制当局にインシデントを報告する必要があります。RadarFirst 違反に関連する規制通知義務を理解するのに役立ちます。

機能ドメイン

[機能ドメイン] フィールドを使用して、プライバシー機能ドメインに関連するデータを分離、関連付け、および表示します。[機能ドメイン] フィールドは、エンティティ、コントロール、コントロール目標、ポリシー、各種法令・基準等、引用、エンティティ

タイプ、エンティティクラス、問題などのフォームで使用できます。[機能ドメイン]
フィールド機能を利用することで、各種法令・基準等およびポリシーでプライバシーを
使用してコンテンツ参照を指定する必要がなくなりました。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、プライバシー管理 をインストールします。 [ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

規制変更管理 リリースノート

アプリケーションではServiceNow 規制変更管理、今後の規制変更を確認し、その影響を評価して、リスクとコンプライアンス関連の変更を実装できます。 がリリースでWashington DC拡張および更新されました。 規制変更管理

Washington DC リリースでの 規制変更管理 の特長

- で ワークスペース規制アラートを手動で作成します。
- Excel ベースのインポートテンプレートを使用して、アラートをアプリケーションに一括 規制変更管理 でインポートします。

詳細については、「[Regulatory Change Management](#)」を参照してください。

i 重要:

規制変更管理 は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティベーション情報」セクションを参照してください。

Washington DC リリースの新機能

Create the regulatory event alerts manually

で規制イベントアラート ワークスペース を手動で作成し、適切な該当分野の専門家にルーティングしてさらに分析できるようにします。

Import the regulatory event alerts in bulk

ワークスペースに独自の規制イベントアラートを設定します。その後、アプリケーションでアラートを一括 規制変更管理 でインポートできます。アラートをインポートするには、データ値を書式設定、整理、および入力されている Excel ベースのインポートテンプレートを使用します。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、規制変更管理 をインストールします。 [ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

サードパーティリスク管理 リリースノート

このServiceNow TPRMアプリケーションは、サードパーティのポートフォリオを管理し、リスクを評価して採点し、修復を実行するための一元化されたプロセスを提供します。 はリリースでWashington DC拡張および更新されました。 TPRM

Washington DC リリースでの サードパーティリスク管理 の特長

- イベント駆動型管理機能を使用してアセスメントを自動化します。
- オンボーディングのための新しいデューデリジェンス要求には、終了したサードパーティを使用します。
- デューデリジェンス管理ダッシュボードで新しいレポートを表示します。
- ライセンス可能なすべてのアクティビティを追跡および検証します。

詳細については、「[Third-party Risk Management](#)」を参照してください。



重要:

サードパーティリスク管理 は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティベーション情報」セクションを参照してください。

Washington DC リリースの新機能

Event-driven management — automate assessment processes

イベント駆動型管理機能を使用して、アンケートとドキュメント要求を自動生成してエンゲージメントやサードパーティに送信するルールを構成します。定義した基準を満たすエンゲージメントとサードパーティの場合は、スケジュール、アンケート、および文書要求テンプレートを指定します。オンボーディングを除くすべてのアセスメントタイプを自動化できます。

新しいユーザーグループ:デューデリジェンス要求アサイナー

デューデリジェンス要求アサイン者グループの各メンバーが、デューデリジェンスの新しい要求のメール通知を受信できるようにします。[新規] または [未アサイン] ステータスの要求の場合、所有者はまだ指定されていません。どのグループメンバーでも所有者を割り当てることができます。

デューデリジェンス管理ダッシュボードの新しいレポート

サードパーティのリスクマネージャーまたは査定人として、デューデリジェンス管理レポートを使用して、責任を追跡、優先順位付け、および管理します。

ライセンス可能なアクティビティの追跡

追跡および検証の目的で、利用状況分析アクティビティ テーブル内のすべての請求可能なアクティビティ (ライセンス可能なアクティビティとも呼ばれます) を表示します。

このリリースでの変更

終了したサードパーティが、オンボーディングの新しい DD 要求に使用できるようになりました。

「終了」ステータスのサードパーティを再有効化できるようになりました。新しいエンゲージメントのオンボーディングのデューデリジェンス要求を作成するときに、終了したサードパーティを選択できます。このような要求が受け入れられてクローズされると、サードパーティのステータスは「アクティブ」に変更されます。

サードパーティリスク査定人ロールの新しい [sn_svdp.allow_assessor_edit] プロパティ

[sn_svdp.allow_assessor_edit] プロパティのデフォルト設定では、サードパーティリスク査定人 [sn_vdr_risk_asmt.vendor_assessor] がサードパーティのアンケートの質問に回答したり、回答を変更したりすることができます。このプロパティの設定方法については、を参照してください [Configure TPRM properties](#)。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求することで、TPRM をインストールします。 [ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

のクイックスタートテスト TPRM. 新しいアプリケーションまたは統合のアップグレードと展開が完了したら、クイックスタートテストを実行して、TPRM が想定どおりに機能していることを確認します。TPRM をカスタマイズした場合は、クイックスタートテストをコピーし、カスタマイズのために設定します。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

GRC Risk Management

リスク管理 を ServiceNow 高度なリスク アプリケーションで使用すると、影響度の高いリスクを特定して監視し、リスクベースの意思決定を改善し、対応時間を数日から数分に短縮できます。

GRC Risk ワークスペース

リスクワークスペース を ServiceNow 高度なリスク アプリケーションで使用すると、すべてのリスク関連アクティビティを単一ペインで表示して、シンプルなユーザーエクスペリエンスを提供します。

ヘルスケアとライフサイエンス リリースノート

Washington DC リリースには、ヘルスケアとライフサイエンス の新機能と更新された機能が含まれます。

ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア リリースノート

ServiceNow ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア アプリケーションは、自動化されたプロセスにより医療業務を簡素化します。ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア は Washington DC リリースで拡張および更新されました。

Washington DC リリースでの ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア の特長

- 要求者が HCLS (医療および生命科学) ケースを作成するための拡張 EMR Help アプリケーション機能を利用できます。
- 医療および生命科学データモデル内の改善されたデータ配置を使用します。
- Now Assist の生成 AI 機能を使用して、自動化されたケースの要約を活用します。

詳細については、「[Exploring Healthcare and Life Sciences Service Management Core](#)」を参照してください。



重要:

ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コアを **Washington DC** にアップグレードする際の重要な情報

への Washington DC アップグレード中に、ヘルスケア販売済み製品 [sn_hcls_sold_product] 親テーブルが、次のテーブルのインストールベースアイテム [sn_install_base_item] に変更されます。

- メンバープラン [sn_hcls_member_plan]
- 薬剤 [sn_hcls_medium]
- 予防接種 [sn_hcls_immunization]
- 登録済みプログラム [sn_hcls_enrolled_program]
- 登録済みプログラムサービス [sn_hcls_enrolled_program]

また、次のテーブルは親テーブルが削除されており、スタンドアロンテーブルになっています。

- 医療機関[sn_hcls_organization]
- 医療機関[sn_hcls_location]
- 開業医所在地[sn_hcls_practitioner_facility]

この親の再指定により、顧客はより広範なユースケースに組織テーブルと場所テーブルを使用できるようになります。

既存のデータは、既存の機能が影響を受けないように、次の方法で移行されます。

1. sn_hcls_immunization の場所フィールドの参照が cmn_location を使用するように更新されました。
2. すべてのデータが、医療販売済み製品テーブルからインストールベースアイテムテーブルに移動されます。
3. 影響を受けるインストールベースアイテムの行は、医療販売済み製品の source_task 値に基づいて入力されます。
4. sn_hcls_enrolled_program と sn_hcls_enrolled_program_service のステータスが hcls_state からコピーされます。
5. すべてのデータは、医療機関、医療機関の場所、および開業医の場所のスタンドアロンテーブルに移動します。
 - a. このスクリプトは、医療機関テーブルの既存のレコードの事業所テーブルにレコードを作成して、1 対 1 の参照を形成します。
 - b. サービス組織を参照するレコードは、適切な事業所への参照で更新されます。
 - c. 施術者の場所を持つ施術者は、適切な事業所とともに [サービス組織メンバー] テーブルにレコードが作成されます。
 - d. 医療の場所データを含むレコードには、その医療の場所の親サービス組織が含まれます。

i 注:

アップグレードされたインスタンスに多数のレコードがある場合は、アップグレードが完了するまでに時間がかかることがあります。

Washington DC リリースの新機能

Case summarization using Now Assist

ケースレコードで選択したフィールドからサマリーを生成し、ワークスペース内のケースサマリーを使用してケースのコンテキストをすばやく把握します。

このリリースでの変更

HCLS ケース作成のための EMR ヘルプの拡張

この EMR Help アプリケーションは、追加の HCLS ケースを作成する機能をリクエスターに提供するように拡張されました。アプリケーションの詳細については EMR Help、次のリンクを参照してください [Exploring EMR Help](#) 。

Customer Service Management (CSM) とさらに連携したデータモデル

内部および外部のアイテムを追跡するコア CSM インストールベースアイテム機能を利用するために、データモデルに次の更新が行われました。

- 次のテーブルでは、ヘルスケア販売済み製品ではなくインストールベースアイテムが拡張されるようになりました。
 - メンバープラン [sn_hcls_member_plan]
 - 薬剤 [sn_hcls_medium]
 - 予防接種 [sn_hcls_immunization]
 - 登録済みプログラム [sn_hcls_enrolled_program]
 - 登録済みプログラムサービス [sn_hcls_enrolled_program]
- この更新プログラムは、次の列に影響します。
 - [登録済みプログラム] テーブルおよび [登録済みプログラムサービス] テーブルの下の hcls_state フィールドは廃止され、[インストールベース] テーブルのステータスフィールドが今後使用されます。データが hcls_state フィールドからステータスフィールドに移動されます。
 - 親列は、適切な親子関係が維持されるように、親インストールベースアイテムを参照するようになりました。
 - [登録済みプログラム] テーブルと [登録済みプログラムサービス] テーブルの下の source_task 列は、影響を受けるインストールベースアイテム m:m テーブルを使用して追跡されるようになりました。

複数業種のケースに対応するために再編成された医療機関と組織

- 医療機関 [sn_hcls_organization] テーブルはスタンドアロンテーブルになり、サービス組織を拡張しません。
 - 場合によっては、カスタムテーブルに医療機関の値を含めることができる会社/サービス組織への参照が含まれている場合があります。カスタム列がサービス組織を参照し、医療機関のデータがあるシナリオでは、移行スクリプトについて [Now Support](#)  にお問い合わせください。
 - 親フィールドは医療機関を参照するようになりました。
- 医療機関所在地 [sn_hcls_location] テーブルはスタンドアロンテーブルになり、サービス組織を拡張しなくなりました。
 - 医療ケース、インストールベースレコード、および販売済み製品のレコードを医療所在地に対して作成できなくなりました。これらのタイプの既存のレコードの場合、医療機関の場所は常に医療機関に関連付けられているため、[医療機関の場所] の値は関連する医療機関のサービス組織の値に置き換えられます。
 - Service_organization_parent フィールドデータが親の場所フィールドにクローンされました。今後は親の場所が使用されます。
 - 親フィールドのデータが組織フィールドにクローンされました。今後は組織が使用されます。

- 開業医の場所 [sn_hcls_practitioner_facility] テーブルはスタンドアロンテーブルであり、サービス組織メンバーを拡張しなくなりました。
- 医療機関と施術者の間にマッピングが存在する場合、医療の場所はスタンドアロンテーブルになり、事業所テーブルを拡張しないため、マッピングは (関連付けられた医療拠点の) 医療機関とその施術者の間になるように更新されます。
- Service_organization フィールドデータが場所フィールドにクローンされました。今後は場所が使用されます。

このリリースでの削除

- 消耗品モデル [cmdb_consumable_product_model] テーブルがデータモデルから削除されました。

廃止

- ヘルスケア販売済み製品 [sn_hcls_sold_product] テーブルは廃止されました。
- 支払人プラン [sn_hcls_payer_plan] テーブルは廃止されました。このテーブルが以前に使用されていた場合、今後は医療保険モデルテーブル [sn_ent_medical_insurance_model] が使用されます。
- 医薬品モデル [sn_hcls_medication_product] テーブルは廃止されました。このテーブルが以前に使用されていた場合、今後は薬剤モデル [sn_ent_medication_model] テーブルが使用されます。
- ワクチン製品 [sn_hcls_vaccine_product] テーブルは廃止されました。このテーブルが以前に使用されていた場合、今後はワクチン接種モデル [sn_ent_vaccination_model] テーブルが使用されます。

廃止されたすべてのテーブルでは、アップグレード時に既存の顧客データが新しいテーブルに移動されます。タイプが薬剤コードおよびフォームコードのコードセットレコードは、HCLS コードセットから耳鼻咽喉科モデル分類にコピーされます。新しいテーブルのレコードは、ENTモデル分類テーブルのコードセットタイプレコードを参照します。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求することで、ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア をインストールします。 [ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

Customer Service Management

アプリケーションは、ServiceNow カスタマーサービス管理 (CSM) アプリケーションの基盤ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア に提供します。内のアプリケーションのヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コアすべての機能ServiceNow カスタマーサービス管理 (CSM)を利用できます。

EMR Help リリースノート

このServiceNow EMR Helpアプリケーションは、電子医療記録 (EMR) システムに関連する要求を送信するプロセスを簡素化および合理化します。 はリリースでWashington DC拡張および更新されました。 EMR Help

Washington DC リリースでの EMR Help の特長

- EMR から医療ケースを直接作成して、解決を迅速化し、臨床効率を高め、患者の転帰を改善します。
- より効率的な解決プロセスのために、ワークスペースで要求を処理し EMR Help ながらコンテキストセッション情報を一目で確認できます。
- ポータルを終了 EMR Help せずに、送信された要求情報の概要を確認します。

詳細については、「[EMR Help](#)」を参照してください。

重要:

EMR Help は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノート「[アクティベーション情報](#)」セクションを参照してください。

Washington DC リリースの新機能

Creating requests within your EMR

ポータルを使用して、EMR Help EMR システムを離れることなくヘルスケアケースを作成します。

UI の変更

EMR セッション情報がコンテキストサイドパネルに表示されるようになりました

EMR セッション情報は、EMR ヘルプポータルから生成された要求レコードのコンテキストサイドパネルに表示されます。

ポータルの EMR Help [追加情報] タブ

要求のポータルには EMR Help、読み取り専用の追加情報タブが含まれています。このタブには、参照用に送信した詳細が表示されます。

このリリースでの変更

EMR Help 今 ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア

リリース以降、をインストールするヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コアと、Washington DCEMR Help もインストールされます。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求することで、EMR Help をインストールします。 [ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

Healthcare and Life Sciences Service Management Core

ServiceNow ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア は、医療および生命科学業界製品の医療および生命科学データモデル、患者情報と医療関連ケースを表示するためのワークスペース、および医療関連ドキュメントを管理するためのドキュメントテンプレートを提供するスコープ対象のアプリケーションです。

ハイパーオートメーションとローコードリリースノート

Washington DC リリースには、Now Platform の新規および更新されたハイパーオートメーションとローコード機能が含まれます。

App Engine Studio リリースノート

ServiceNow App Engine Studio (AES) アプリケーションを使用すると、さまざまなスキルレベルの作成者が、組織の当面のニーズを満たすアプリケーションを簡単に構築できます。はリリースでWashington DC拡張および更新されました。App Engine Studio

Washington DC リリースでの App Engine Studio の特長

- の新しい ワークスペースビルダーモダールにより、ワークスペースに不足しているロールをより迅速に追加できます。
- および ワークスペースビルダーの標準化されたビルダーテーマAESを活用します。

詳細については、「[Build apps using App Engine Studio](#)」を参照してください。

重要:

App Engine Studio は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティベーション情報」セクションを参照してください。

Washington DC リリースの新機能

に必要なロールをすばやく追加 ワークスペースビルダー

新しいモダールを使用して、アクセス制御リスト (ACL) を持たないワークスペースのセキュリティに迅速にアクセスして定義します。新しい [続行するユーザーロールを追加] モダールを使用すると、ロールを追加し、アクセス制御リスト (ACL) をより迅速に自動的に作成できます。その後、ワークスペース設定の [ユーザーアクセス] フィールドでロールを編集できます。

UI の変更

で更新されたテーマの変更 AES および ワークスペースビルダー

一部のビルダー向けの一部のブランディング、レイアウト、およびカラーテーマはAESワークスペースビルダー、より標準的で様式化されたインターフェイスを表示するように更新されました。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求することで、App Engine Studio をインストールします。

[ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

アクセス制御

App Engine Studio のアプリケーションのアクセス制御とロールを操作します。

カタログビルダー

App Engine Studio で作成したカタログアイテムを編集します。

Change Management

体系的なアプローチですべての変更のライフサイクルを管理し、IT サービスの中断を最小限に抑えて変更を容易にします。

Configuration Management Database (CMDB)

組織のインフラストラクチャを構成する資産、サービス、および資産とサービス間の関係の論理的な表現を構築します。

Decision Builder

意思決定ルールを追加し、意思決定テーブルを使用して、意思決定ロジックをコードから切り離すことができます。

メール通知

レコードが作成または更新されたときに自動的に送信されるメール通知を作成および編集します。メール通知は、フローで参照として使用されるか、またはイベントによってトリガーすることもできます。

ERP Canvas

SAP など、SoR の ERP (エンタープライズリソースプランニング) データの使用方法を簡素化できます。

ERP Customization Mining (ERP-CM)

Now Platform への再プラットフォーム化に適したカスタム ERP データを持つアプリケーション候補を見つけ、推奨される次のステップを実行します。

Flow Designer

App Engine Studio で作成したフローを編集します。

Integration Hub - インポート

データを App Engine Studio の既存のテーブルにインポートします。

Mobile App Builder

App Engine Studio でモバイルエクスペリエンスを追加します。

Process Automation Designer

部門横断型プロセスを編集し、自動化されたタスク指向のビューに統合します。

Table Builder

表形式のデータモデルを操作します。テーブルビルダー は App Engine Studio 専用です。

UI Builder

App Engine Studio で作成したエクスペリエンスを編集します。

Workflow Studio

ワークフローの作成、構成、および監視を単一のページエクスペリエンスに統合します。

Workspace Builder

App Engine Studio で構築されたワークスペースを編集およびカスタマイズします。

Delegated Development リリースノート

ServiceNow Delegated Development アプリケーションを使用すると、システム管理者のロールを持たない指定されたユーザーが、.Now Platform Delegated Development はリリースで Washington DC 拡張および更新されました。

リリースでの **Washington DC Delegated Development** の特長

- 代理管理者機能を使用して、委任開発 ロールを簡素化します。
- すべての 委任開発 機能にアクセスできるユーザーの個々のロールを追加する必要がなくなります。

詳細については、「[Delegated development and deployment](#)」を参照してください。

i 重要:

Delegated Development は、ServiceNow Storeで利用できます。詳細については、これらのリリースノートの「アクティベーション情報」セクションを参照してください。

UI の変更

[代理管理者] チェックボックス

[代理管理者] チェックボックスが UI に追加され、選択すると、利用可能なすべてのロールとすべての委任開発者権限へのアクセス権がユーザーに付与されます。

アクティベーション情報

Delegated Development はデフォルトで有効な機能です Now Platform 。

ERP キャンバス リリースノート

このServiceNow ERP キャンバスアプリケーションを使用すると、ERP (Enterprise Resource Planning) 記録システムに接続し、リモートテーブルにクエリを実行し、データモデルを構築して、Now Platformで ERP データを使用できます。は、このリリースでWashington DC拡張および更新されました。ERP キャンバス

Washington DC リリースでの ERP キャンバスの特長

-
-
-

詳細については、「[ERP Canvas](#)」を参照してください。

i 重要:

ERP キャンバス は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

ERP キャンバス を Washington DC にアップグレードする際の重要な情報**Washington DC リリースの新機能****UI の変更****このリリースでの変更**

新しいエクスペリエンス

新しいは、より効率的な最新の操作エクスペリエンスを提供します。アップグレード方法の詳細については、「」を参照してください。はこのリリースでも引き続きサポートされています。

このリリースでの削除

-
-

廃止

-
-

アクティブ化情報

ServiceNow Store から要求して、ERP キャンバス をインストールします。 [ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

その他の要件

SAP ECC と S/4 HANA は、現在、ERP キャンバス と統合できる唯一のシステムです。

関連 **ServiceNow** アプリケーションと機能

[Build apps using App Engine Studio](#)

AES は リモートテーブル を ERP データピルとして消費して、移行候補に基づいてカスタムローコードアプリとフローを作成できるようにします。

[ERP Customization Mining \(ERP-CM\)](#)

Now Platform ローコードアプリを使用して再プラットフォーム化するカスタム ERP アプリケーション候補を SoR から特定します。

[Remote tables](#)

リモートテーブルNow Platformをサードパーティソースまたは別のインスタンスに接続して、外部データを取得し、オプションでメモリにキャッシュできるようにします。

ERP Customization Mining リリースノート

ServiceNow ERP Customization Mining (ERP-CM) 製品により、ERP (Enterprise Resource Planning) のコンサルタントやアーキテクトは、カスタマイズを特定し、ERP システムから Now Platform. は、このリリースでWashington DC拡張および更新されました。 ERP-CM

Washington DC リリースでの **ERP Customization Mining** の特長

-
-
-

i 注:

SAP ECC と S/4 HANA は、現在、ERP-CM と統合できる唯一の SoR です。

詳細については、「[ERP Customization Mining \(ERP-CM\)](#)」を参照してください。

i 重要:

ERP-CM は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

ERP-CM を **Washington DC** にアップグレードする際の重要な情報

Washington DC リリースの新機能

UI の変更

このリリースでの変更

新しいエクスペリエンス

新しいは、より効率的な最新の操作エクスペリエンスを提供します。アップグレード方法の詳細については、「」を参照してください。はこのリリースでも引き続きサポートされています。

このリリースでの削除

-
-

廃止

-
-

アクティブ化情報

ServiceNow Store から要求することで、をインストールします。 [ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Store/バージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

その他の要件

ブラウザー要件

アクセシビリティ情報

ローカライズ情報

関連 **ServiceNow** アプリケーションと機能

[App Engine Studio](#)

AES はリモートテーブルと ERP システムから抽出されたテーブルを消費し、移行候補に基づいてカスタムのローコードアプリとフローを作成できるようにします。

[ERP キャンバス](#)

ERP キャンバス を使用すると、SAP など、SoR の ERP データの使用方法を簡素化できます。Now Platform で抽出テーブルを作成して、データを変換し、ERP モデルを作成することもできます。

[Flow Designer](#)

フローデザイナー では、プロセス所有者が自然言語を使用して、コードを書かずに承認、タスク、通知、レコード操作を自動化できます。

[Playbooks](#)

プレイブックを使用して、プロセスオーナーは、企業間ワークフローを作成し、単一の統一されたプロセスを作成できます。プレイブックを使用して、簡素化されたタスク指向のプロセスのビューをエンドユーザーに提供することもできます。

Remote tables

リモートテーブルNow Platformをサードパーティソースまたは別のインスタンスに接続して、外部データを取得し、オプションでメモリにキャッシュできるようにします。

フローデザイナー リリースノート

ServiceNow フローデザイナー アプリケーションを使用すると、プロセスオーナーはコーディング不要で作業を自動化し、再利用可能なコンポーネントから複数ステップのフローを構築できます。フローデザイナー は Washington DC リリースで拡張および更新されました。

Washington DC リリースでの フローデザイナー の特長

- 生成 AI で複数ステップのフローを作成します。
- 内部ワークフロースタジオから開きますフローデザイナー。
- 作業中のフローを自動的に保存します。
- 条件が満たされたときに パフォーマンスアナリティクス フローを開始します。
- フローの編集集中に行った変更を元に戻します。
- フロー図作成ビューを使用して、注釈と Try フローロジックを追加します。

詳細については、「[Flow Designer](#)」を参照してください。

Washington DC リリースの新機能

作図ビューでの注釈のサポート

作図ビューで注釈を追加および編集します。

フロー実行の詳細に対するコンテンツのフィルタリング

コンテンツフィルタリングルールを使用して、フロー実行の詳細内の機密コンテンツへのアクセスを制限します。

Create an action input from a step input

ステップ入力のデータタイプに基づいてアクション入力を作成します。ステップ入力値を新しいアクション入力にマッピングします。

Exit Loop flow logic

If フローロジックの条件が満たされたら、フローロジックループを終了します。フローロジックループの後の次のステップからフローの実行を続行します。このフローロジックはブレイクとも呼ばれます。

FDIH Dashboard

過去 14 日間のフローの平均実行時間と最大実行時間を表示します。傾向データを使用して、予期せず実行されているフローを特定します。

Flow generation

生成 AI で複数ステップのフローアウトラインを作成します。フローアウトラインには、入力値とデータ参照を追加するための構成が必要です。

Go back to flow logic

フロー内の前のステップに戻り、一連のアクションを繰り返します。

プロアクティブ分析トリガー

インジケータを使用して パフォーマンスアナリティクス フローを開始します。フロー開始条件を一連のプロアクティブ分析 KPI スコアと KPI しきい値として定義します。

編集時にフローを自動的に保存

フローデザイナー は、作業中のフローを自動的に保存します。フローデザイナー フローの編集中に [保存] ボタンが表示されなくなりました。

Skip Iteration flow logic

If フローロジックの条件が満たされた場合、フローロジックループの現在の反復をスキップします。リスト内の次のアイテムを使用してフローロジックループの実行を続行します。このフローロジックは、続行とも呼ばれます。

ダイアグラムビューでサポートを試す

作図ビューで Try フローロジックを追加して構成します。

元に戻す/やり直しのサポート

フローの編集に行った変更を元に戻します。元に戻した変更をやり直します。フローデザイナー はフローの編集中にのみ変更を追跡します。

デフォルトの Flow Designer ビューのユーザー初期設定

フロー図作成ビューをデフォルトの フローデザイナー ビューとして設定します。

UI の変更

フローは読み取り専用の状態で開きます

フローは、偶発的な変更から保護するために、読み取り専用の状態で開きます。フロー作成者は、フローを変更するときに [編集] オプションを使用できます。

必須入力を強調表示

フローデザイナー 必須入力が入力のアクションをハイライト表示します。

[フローの保存] オプションが移動されました

[保存] ボタンがキャンバスから削除 フローデザイナー されました。フローでの作業が完了したら、ブラウザーまたはフロータブを閉じることができます。

元に戻すオプションとやり直しオプション

フローの編集中に [元に戻す] と [やり直し] オプションをキャンバスに追加 フローデザイナー しました。

User preferences for flows

フロー設定の名前が [ユーザー設定] に変更されました。

Workflow Studio のサポート

フローデザイナー 内で ワークフロースタジオ開きます。

アクティベーション情報

フローデザイナー はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

App Engine Studio

ServiceNow App Engine Studio (AES) は、さまざまなスキルレベルの作成者が組織の当面のニーズを満たすアプリケーションを構築するための開発ツールです。

Integration Hub

Integration Hub の可用なスPOーク

MID Server

管理、計測、検出 (MID) サーバーは、ローカルネットワーク内のサーバーで Windows のサービスまたは UNIX のデーモンとして動作する Java アプリケーションです。により ServiceNow MID サーバー、インスタンスと外部のアプリケーション、データソース、サービスの間で ServiceNow 行われるデータの通信や移動が可能になります。

Now Assist

AI 推奨事項を使用してフロー内の次のコンポーネントを選択します。フロー内の現在の位置と、前にリストされたフローコンポーネント名に基づいて、推奨事項が生成されます。

Process Automation Designer

ServiceNow プレイブックを使用して、プロセスオーナーは、企業間ワークフローを作成し、単一の統一されたプロセスを作成できます。プレイブックを使用して、簡素化されたタスク指向のプロセスのビューをエンドユーザーに提供することもできます。

Robotic Process Automation (RPA) Hub

ServiceNow Robotic Process Automation (RPA) Hub を使用して、組織のエンドツーエンドの自動化を有効にします。UI インタラクション、要素ベースの自動化、およびさまざまなビジネスアプリケーション間でやり取りする API を組み合わせて使用することで、ユーザーアクションをエミュレートし、日常の反復的な人的アクティビティをなくすことができます。

統合ハブ リリースノート

ServiceNow 統合ハブ アプリケーションは、インスタンスデータを外部システムのデータと連携できるようにすることで、ServiceNow フローデザイナー ワークフロー自動化機能を拡張します。統合ハブは Washington DC リリースで拡張および更新されました。

Washington DC リリースでの 統合ハブ の特長

- Stream Connect メッセージのレプリケーションを使用してローカル Apache Kafka 環境からデータをレプリケートすることで、Stream Connect の統合を簡素化します。
- 改善された OpenAPI ステップを使用して、サードパーティの REST Web サービスと統合します。
- オンプレミス認証サーバーで OAuth クライアント資格情報権限許可タイプを認証し、認証が成功した後、対応するリソースサーバーと統合します。
- ECC キューに移動する前に、署名するコールスタック内のレコードの多層呼び出し元検査で強化されたコード署名機能を使用します。

詳細については、「[Integration Hub !\[\]\(104fbf564e2e5a8fbd84f31656d114c7_img.jpg\)](#)」を参照してください。

Washington DC リリースの新機能

Stream Connect for Apache Kafka の拡張

- Stream Connect メッセージレプリケーションを使用して、ローカル Apache Kafka 環境と ServiceNow の間でデータを複製します。Stream Connect メッセージレプリケーションを使用すると、サードパーティのレプリケーターは不要になり、インスタンスから ServiceNow メッセージのレプリケーションを管理できます。
- Stream Connect Message Replication を使用して、への接続に必要な Hermes メッセージングサービスアクセス証明書を作成できるようにします MID サーバー。

は MID サーバー 必要な証明書を自動的に生成できるため、手動で構成する必要はありません。

- 更新された [Kafka プロデューサステップ](#) を使用してメッセージを送信します。ドロップダウンリストからトピックを選択し、メッセージヘッダーの値を設定します。

OAuth 2.0 credentials

インスタンスの代わりに OAuth トークンの要求を送信する方法を介して MID サーバー、ファイアウォールの内側に存在するオンプレミスの ServiceNow サードパーティ OAuth 認証サーバーに接続します。この機能は、サードパーティ OAuth プロバイダーのアプリケーションレジストリを作成し、フォームで [権限許可タイプ] を [クライアント資格情報] に設定するときに使用できます。

多層呼び出し元検査によるコード署名のセキュリティ強化

コード署名機能は、レコードのマルチレイヤー呼び出し元検査によって強化されました。レコードまたはエンティティが ECC キューテーブルを更新する前に、複数のレイヤーが相互に呼び出すことができます。これで、各レイヤーに有効な証明書があり、MID Server がレコードまたはエンティティにアクセスする前に検証する必要があります。ServiceNowプラットフォームには、デフォルトで 3 つの問い合わせユーザーレイヤーを検査できるプロパティが用意されています。

このリリースでの変更

オープン API ステップの機能拡張

OpenAPI ステップにはいくつかの改善点があります。これで、次のことができます。

- 要求応答を添付ファイルレコードとして保存します。
- 再試行ポリシーを構成して、前の要求が失敗した場合または問題が発生した場合に要求を再試行します。
- ステップ入力とステップ出力をアクション入力とアクション出力に同期します。必要に応じてステップ出力を編集します。
- 要求のリソースパス、HTTP メソッド、クエリパラメーター、およびヘッダーを変更します。
- アクション入力およびアクション出力のリセット中に、アクションへのエラーマッピングを追加または削除します。
- `anyOf` スキーマでスキーマオブジェクトプロパティを使用します `oneOf`。

ECC キューに送られるレコードのマルチレイヤー発信者検査

以前は、ECC キューに入るレコードまたはエンティティの単一レイヤーの検査が行われていました。現在、相互に呼び出しを行う複数のレイヤーには有効な証明書が必要であり、レコードが ECC キューに入る前に検証する必要があります。デフォルトでは、3 つのレイヤーの検査をサポートできます。

廃止

リリース以降 Washington DC は、[OpenAPI support in the REST step](#) 将来の廃止に備えています。これは非表示になり、有効化できなくなりますが、引き続きサポートされます。詳細については、Now Support ナレッジベースの「[Deprecation Process \(廃止プロセス\) \[KB0867184\]](#)」の記事を参照してください。

アクティベーション情報

統合ハブ は オートメーションエンジン に含まれており、オートメーションエンジン サブスクリプションパッケージをアクティブ化すると利用できます。詳細については、「<https://www.servicenow.com/products/automation-engine.html>」を参照してください。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

Flow Designer

フローデザイナー では、プロセスオーナーが、承認、タスク、通知、およびレコード操作を、コード化することなく自動化できるようになります。デザイン環境を使用してフローデザイナー フローとアクションを作成し、それらが生み出す結果を表示できます。

Build apps using App Engine Studio

ServiceNow App Engine Studio (AES) は、さまざまなスキルレベルの作成者向けの開発ツールで、組織の当面のニーズを満たすアプリケーションの構築に使用されます。

MID Server

管理、計測、検出 (MID) サーバーは、ローカルネットワーク内のサーバーで Windows のサービスまたは UNIX のデーモンとして動作する Java アプリケーションです。ServiceNow MID サーバー は、ServiceNow インスタンスと外部のアプリケーション、データソース、サービスの間のデータの通信や移動を支援します。

Connections and Credentials

ServiceNow ディスカバリー、ServiceNow サービスマッピング、および ServiceNow Cloud Management 用にコンピューターまたはネットワークデバイスへのアクセス権を得る、または ServiceNow オークストレーション を使用して作業を実行するには、資格情報と接続情報が必要です。で共有 ServiceNow 開発者サイト ServiceNow Store するコンテンツを追加する場合、構築されたコンテンツを変更することなく、環境に関連する接続と認証情報を設定できます。

Next Experience 開発者ツールリリースノート

ServiceNow Next Experience Developer Tools アプリケーションは、パフォーマンスを追跡および強化し、全体的な生産性を向上させるためのコンポーネントの作成をサポートします。このリリースでは Washington DC、Next Experience 開発者ツールが拡張および更新されました。

このリリースでの Washington DC Next Experience 開発者ツールの特長

追加の記録オプション、イベントテーブルでの表示、およびデータを表示するためのパースペクティブを使用して、ページのパフォーマンスをテストおよび分析する方法を拡張します。

詳細については、「[Next Experience 開発者ツール](#)」を参照してください。

このリリースでの変更

ページロード時に記録を自動停止

プロファイラーは、ページの読み込み後に記録を自動的に停止して、ページのパフォーマンスをテストできます。

イベントテーブルのコンポーネントビュー

コンポーネントごとにグループ化されたイベントを使用してページのパフォーマンスを分析します。

比較テーブルのすべての行を折りたたむ

比較ビューでは、すべての行を折りたたんで差異のある行のみを表示し、差異のある行のみを表示することで、差異をより迅速に見つけることができます。

アクティベーション情報

Google Chrome ウェブストアから Next Experience 開発者ツール をダウンロードします。

ブラウザー要件

Google Chrome ウェブストアから Next Experience 開発者ツール をダウンロードします。

プレイブック リリースノート

ServiceNow プレイブックアプリケーション内のビルダーを使用すると、ワークフロースタジオ所有者はプレイブックダイアグラムまたはタスクボードインターフェイスで複数フローのプロセスを作成できます。ビルダーは プレイブック リリースで Washington DC 拡張および更新されました。

Washington DC リリースでの プレイブック の特長

- プロセスは、ビルダーと プレイブックエクスペリエンスの両方で呼び出されプレイブックのようになります。
- でビルダーを開くプレイブック [ワークフロースタジオ](#)。ワークフロースタジオ を使用して、ワークフロー所有者は Playbook、フロー、サブフロー、アクション、および意思決定テーブルを 1 つの場所で作成、構成、および監視できます。
- Playbook 全体を[再起動する](#)か、特定のアクティビティまたはステージから再開します。
- [動的入力](#)を使用して、アクティビティの変数を返します。
- 資格付与されたテーブルから Playbook をトリガーします。詳細については、「[このリリースからの削除](#)」セクションを参照してください。
- [自動化のみ](#)のアクティビティを追加するときは、アクティビティ定義の作成をスキップします。

詳細については、「[Exploring Playbooks](#)」を参照してください。



重要:

プレイブック は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「[アクティブ化情報](#)」セクションを参照してください。

プレイブック を Washington DC にアップグレードする際の重要な情報

に Washington DC アップグレードした後、ServiceNow Store のアプリケーションを更新しますプレイブックワークフロースタジオ。

Washington DC リリースの新機能

ワークフロースタジオ

共有アクセスポイントから Playbook、フロー、サブフロー、アクション、および意思決定を構築および管理します。

再起動

Playbook 全体を再起動するか、特定のアクティビティまたはステージから再開します。

プロセスをキャンセルするためのルール

管理者は、pd_adminルールまたは親レコードへの書き込みアクセス権なしで実行中の Playbook をキャンセルできる新しいルールをユーザーに付与できます。

特定のユーザーとしてアクティビティを実行する

次を使用： [フローデザイナー \[実行方法\]](#) [プロパティ](#)  をクリックして、アクティビティを実行するルールを決定します。

動的入力

動的入力を使用して、カタログ要求の送信などのユースケースのアクティビティで変数を返します。

自動化資産

自動化のみのアクティビティを追加するときは、アクティビティピッカーでアクション、サブフロー、またはフローを選択します。代わりにアクティビティ定義を作成します。

フォームビュー の機能拡張

新しいワークフロースタジオタブでフォームビューForm Builderを表示および変更します。

Vancouver 24.2 リリース

の 24.2 の機能を参照してください。 [Vancouver プレイブック リリースノート](#) :

- [意思決定アクティビティ](#) 
- [アーカイブ・プロセス](#) 
- フィールドピッカー

UI の変更

プロセス

プロセスは、 の設計ワークフロースタジオ時と の実行時に プレイブックエクスペリエンスと呼ばれるプレイブックようになりました。

このリリースでの削除

- トリガーライセンス要件が削除され、資格付与された任意のテーブルを使用して Playbook をトリガーできるようになりました。

アクティベーション情報

インターフェイスワークフロースタジオが にある間は、これらは別々のServiceNow Storeアプリです。の一部でありNow Platform 、デフォルトで利用可能です。ワークフロースタジオでアプリServiceNow Storeをダウンロードして、最新の Playbook 機能を取得します。 [ServiceNow Store](#)  Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#) 

関連 **ServiceNow** アプリケーションと機能

ワークフロースタジオ

ServiceNow ワークフロースタジオ は、Process Automation Designer、Flow Designer、Action Designer、Integration Hub 統合、および Decision Builder を 1 つのデザイン環境に統合します。簡素化されたエクスペリエンスですべてのワークフローを作成、構成、および監視します。

Flow Designer

ServiceNow フローデザイナー では、プロセスオーナーが、承認、タスク、通知、およびレコード操作を、コード化することなく自動化できるようになります。フローデザ

イナー 設計環境を使用して、フローとアクションを作成し、作成した結果を表示できます。

Playbook Experience

ServiceNow Playbook Experience を使用すると、デフォルトの Playbook ユーザーエクスペリエンスをカスタマイズして、目的のビジネスプロセスワークフローとやり取りできます。

Robotic Process Automation (RPA) Hub リリースノート

このServiceNow RPA Hubアプリケーションを使用すると、組織のエンドツーエンドの自動化が可能になります。がリリースでWashington DC拡張および更新されました。RPA Hubバージョン8.0.x 以降のアプリケーションをインストールして、RPA Hub 次の機能をアクティブ化します。

Washington DC リリースでの RPA Hub の特長

- 埋め込みタスク自動化機能を使用して、フォーム、Playbook、ワークスペースなどから ServiceNow 有人ボットプロセス (有人自動化とも呼ばれます) をトリガーします。
- の RPA Hub外部資格情報ボルト機能を有効にして、ユーザー名やパスワードなどの機密情報をさまざまな外部ボルトから安全に取得します。
- フラットファイルを使用して、プロセス実行のログを読み取り可能な形式で格納します。
- ボットプロセスアクションのライフサイクルステータスの変更、プロセスアクションの停止、プロセスサブフローの停止などの新しいアクションとサブフローが使用可能フローデザイナーになり、フロー、サブフロー、および API を介した RPA 統合がさらに洗練されます。
- 拡張 Universal App Connector

詳細については、「[Robotic Process Automation \(RPA\) Hub](#)」を参照してください。

i 重要:

RPA Hub は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

RPA Hub を Washington DC にアップグレードする際の重要な情報

RPA アプリケーションをダウンロードして、次の Microsoft ソフトウェアインストーラー (MSI) のいずれかをアップグレードしてください。

- RPA デスクトップデザインスタジオ
- アテンド型ロボット
- 無人ロボット
- 無人ロボット ログインエージェント

詳細については、「[Download the RPA applications from RPA Hub \(RPA ハブからの RPA アプリケーションのダウンロード\)](#)」を参照してください。

次のアップグレード手順は、San Diego または Tokyo から Washington DC にアップグレードする場合にのみ適用されます。

アプリケーションファイルテーブルのレコード数に基づいて、RPA Hub アプリケーションを Tokyo 以前から Washington DC にアップグレードする際に遅延が発生する可能性があります。

RPA Hub を Washington DC にアップグレードする前

に、`glide.rollback.blacklist.TableParentChange.change` システムプロパティの値を **[false]** に設定する必要があります。このプロパティがシステムプロパティ `[sys_properties]` テーブ

ルに存在しない場合は、プロパティを追加し、その値を false に設定します。プロパティの追加方法の詳細については、「」を参照してください [Add a system property](#)。

にアップグレード Washington DCすると、ボットプロセス定義が新しい構造 (ボットプロセス構成) に変更されます。

ボットプロセス構成がボットプロセスを完全に置き換えるわけではありませんが、ほとんどのフィールドはボットプロセスからボットプロセス構成に移動されます。システムプロパティ値を更新せずに Utah バージョンにアップグレードすると、テーブルは [アプリケーションファイル] テーブルを拡張しません。テーブルの変更を手動で更新するには、ナレッジベースの記事「[Restructuring RPA Hub tables to sys_metadata in Utah](#) (Utah で RPA Hub テーブルの再構築)」を参照してください Now Support。

Washington DC リリースの新機能

Embedded Task Automation in RPA Hub

フォーム、Playbook、ワークスペースなどから ServiceNow、有人ボットプロセス (有人自動化とも呼ばれます) をトリガーします。

フォームから ServiceNow このボットプロセスをトリガーするには、有人ボットプロセスフォームの [アクセス] セクションで [埋め込みタスクの自動化を有効にする (**Enable Embedded Task Automation**)] チェックボックスをオンにします。このチェックボックスをオンにすると、[ボットプロセス] フォームで [プロセスフィールドパラメーター] と [有人の構成] の 2 つの追加タブを使用できるようになります。ボットプロセスフォームの詳細については、「」を参照してください [Bot Process form in RPA Hub](#)。

[プロセスフィールドパラメーター] タブで、ボットプロセスで使用する動的パラメーターを作成します。プロセスフィールドパラメーターは、特定のフォームの値を設定したり、フィールド値を取得したりするために使用されます。プロセスフィールドパラメータの作成の詳細については、を参照してください [Create a process field parameter in RPA Hub](#)。[有人構成] メニューの [パラメーターの作成] ボタンを選択して、[フィールドパラメーターマッピング] タブから パラメーター を作成することもできます。詳細については、「[Map a table field to a bot process field parameter in RPA Hub](#)」を参照してください。

RPA Hubワークスペースで、有人構成レコードを作成します。有人構成レコードの作成の詳細については、「」を参照してください [Create an attended configuration record in RPA Hub](#)。

[フィールドパラメーターマッピング] タブで、フォームフィールドを自動化で使用するプロセスフィールドパラメーターにマッピングします。このプロセスにより、ボットプロセスの実行中に簡単なデータフローが可能になります。フィールドパラメータのマッピングの詳細については、以下を参照してください [Map a table field to a bot process field parameter in RPA Hub](#)。

有人構成レコードをアクティブ化して、有人ボットプロセスをトリガーします。詳細については、「[Activate an attended configuration record in RPA Hub](#)」を参照してください。

埋め込みタスク自動化の新しいコンポーネント

次の 4 つの新しいコンポーネントが の新しい [フォーム] セクション RPA デスクトップデザインスタジオに追加されます。これらのコンポーネントは、[ツールボックス] ペインの新しいカテゴリで使用できます ServiceNow。

- **AttendedConfigurations** コンポーネント:単一の自動化プロジェクトで自動化の実行を分離し、呼び出されたアクションに従ってそれぞれのロジックを呼び出します。詳細については、「[Use the AttendedConfigurations component](#)」を参照してください。
- **GetProcessFieldParameters** コンポーネント:でRPA Hub対応する有人構成レコードのフィールドパラメーターマッピングに関連付けられているフォームフィールドの値をServiceNowフェッチします。詳細については、「[Use the GetProcessFieldParameters component](#)」を参照してください。
- **GetRecordContextID** コンポーネント:自動化がトリガーされるフォームsys_id ServiceNow 現在のレコードをフェッチします。詳細については、「[Use the GetRecordContextID component](#)」を参照してください。
- **SetProcessFieldParameters** コンポーネント:の対応する有人構成レコードのRPA Hubフィールドパラメーターマッピングに関連付けられているフォームフィールドの値ServiceNowを更新します。詳細については、「[Use the SetProcessFieldParameters component](#)」を参照してください。

External credential vault in RPA Hub

では RPA Hub、外部資格情報ボルトからロボット資格情報、アプリケーション資格情報、または時間に基づくワンタイムパスワード (TOTP) シードを取得できます。

に RPA Hub 外部資格情報ボルトレコードを作成し、ロボットがさらに使用できるように外部資格情報ボルトを登録します。詳細については、「[Create an external credential vault record in RPA Hub](#)」を参照してください。

新しい [外部資格情報] チェックボックスは、資格情報セットフォーム、アプリケーション資格情報フォーム、および TOTP 認証システムフォームで使用できます。このチェックボックスをオンにすると、設定された外部資格情報ボルトから資格情報または TOTP シードがフェッチされます。TOTP 認証システムフォームでチェックボックスがオンになっている場合、シードは構成済みの外部資格情報ボルトからフェッチされます。これらのフォームの詳細については、[Create an application credential set in RPA Hub](#) および [Create a TOTP authenticator in RPA Hub](#) を参照してください [Create a credential set within a bot process](#)。

アプリケーション資格情報レコードの [外部資格情報] チェックボックスがオンになっている場合、の **SetApplicationCredential** コンポーネント RPA デスクトップデザインスタジオ は資格情報を設定せず、エラーを表示します。**SetApplicationCredential** コンポーネントの詳細については、「[Use the SetApplicationCredential component](#)」を参照してください。

トピックに記載されている [Steps to configure an external credential vault in RPA Hub](#) 手順を使用して、で外部資格情報ボルト RPA Hubを構成するすべてのタスクを順を追って実行します。

フラットファイルへのプロセス実行データの格納

では RPA Hub、出力タイプを、ロボットマシンで生成される実行ログのフラットファイルとして設定できます。

[ボットプロセス] フォームで、[ログ設定 (Log Settings)] セクションの [出力タイプ] フィールドから実行ログファイルの出力タイプを選択します。このフィールドは、[実行ログの追跡] オプションを選択し、[ストレージ] フィールドから [ロボットマシン] を選択すると表示されます。

フラットファイルの場所は、有人ロボットまたは無人ロボットをインストールしたマシンの Users\<Userprofile>\ServiceNow RPA Logs\executionlogs \{InstanceName}\.archive\{ProcessJob number} です。

フラットファイルのサイズが 10 MB を超えると、複数のフラットファイルに分割され、自動化が実行されるまでファイル名にログシーケンスが追加されます。フラットファイルでは、で [機密データとしてマーク]RPA デスクトップデザインスタジオとして選択したコンポーネントまたはメソッドの入力ポートまたは出力ポートのデータは記録されません。

新規 フローデザイナー アクションとサブフロー

で フローデザイナー 次の新しいアクションとサブフローを呼び出します。

- ボットプロセスのライフサイクルステータスの変更 廃止されていないボットプロセスのライフサイクルステータスを変更するアクション。
- 処理の停止 ボットプロセスを停止するためのアクションおよび プロセスの停止 サブフロー。ボットプロセスでロボットプールオプションが有効になっている場合、プールにアサインされているすべてのロボットが停止します。グレースフルストップが有効になっている場合、ロボットは自動化をスムーズに終了できます。グレースフルストップは、ロボットプールオプションが有効になっているボットプロセスには適用されません。

Universal App Connector レベルでいずれかの画面メソッドを待機します

では RPA デスクトップデザインスタジオ、[グローバルオブジェクト (**Global Objects**)] ペインの下にある **Universal App** コネクタオブジェクトをダブルクリックすると、[オブジェクトエクスプローラー (Object Explorer)] ペインに **WaitForAnyScreen** メソッドが表示されます。

WaitForAnyScreen メソッドは、指定した期間内のアプリケーション画面を検索し、その画面を有効にしてコントロールを別のメソッドに渡すことができます。メソッドに順序で表示される複数のアプリケーション画面を設定できます。 **WaitForAnyScreen** メソッドは、画面一致ルールを照合して、最初のアプリケーション画面から始まる画面を見つけようとします。メソッドで画面が見つからない場合は、順番の次の画面が検索されます。ただし、メソッドが画面を見つけた場合は実行を完了し、順序の次の画面には進みません。メソッドが指定された期間内に画面を見つけられない場合は、オプションで有効にして、 **ELSE** ポートを通じてコントロールを別のコンポーネントに渡すことができます。

SetPassword メソッド

では RPA デスクトップデザインスタジオ、 **SetPassword** メソッドは、Web ベース、Java、または Windows アプリケーションのパスワードフィールドにパスワードを安全に入力することを自動化します。パスワードを **SECURE STRING** 型として受け入れ、パスワードフィールドに入力します。

SimulateMouseEvent メソッド

では RPA デスクトップデザインスタジオ、 **SimulateMouseEvent** メソッドは、Web ベースのアプリケーション上の要素に対するマウス イベントのシミュレーションを自動化します。たとえば、ボタンの右クリック マウス イベントを自動化してコンテキストメニューを開きます。マウス イベントが発生する画面要素には、事前に HTML で定義されたマウス イベントが必要です。このメソッドは、マウス イベントとマウス ボタンの種類の一覧をサポートします。

コネクタの IEnumerable データ型ポート

IEnumerable 入力データ型を使用すると、メソッドで配列、配列リスト、およびリストを受け取ることができます。この入力データタイプポートは、複数のコネクタで使用できます。

Universal App Connector はシャドウ DOM 要素をサポート

Web アプリケーションがシャドウ DOM を使用する場合、Universal App Connector の XPath ロケーターと **CssSelector** ロケーターには、シャドウ DOM 要素を含む完全な XPath と CSS パスが表示されます。

UI の変更

プロセスジョブフォームの [トリガー元] フィールドの新しいソースタイプ

有人の自動化がフォームから ServiceNow トリガーされる場合は、新しい 埋め込みタスク自動化 ソースタイプによって決定されます。このソースタイプは、[ジョブを処理] フォームの [トリガー元] フィールドにあります。

外部資格情報ボルト用の新しいフィールド

資格情報セットフォーム、アプリケーション資格情報フォーム、および TOTP 認証システムフォームで利用できる新しい [外部資格情報] チェックボックスをオンにした後、[外部資格情報ボルト] と [サブフロー入力] の 2 つの新しいフィールドが使用可能になります。これらのフォームの詳細については、[Create an application credential set in RPA Hub](#) および [Create a TOTP authenticator in RPA Hub](#) を参照してください [Create a credential set within a bot process](#)。

[要素をキャプチャ] ダイアログの [名前] フィールドに要素名が表示されます

では RPA デスクトップデザインスタジオ、アプリケーション画面を Universal App Connector に構成した後、画面上の要素の上にカーソルを移動すると、デフォルトで要素名が [要素をキャプチャ] ダイアログの [名前] フィールドに表示されます。要素名が利用できない場合は、その ID が [名前] フィールドに表示されます。それ以外の場合は、要素タイプが [名前] フィールドに表示されます。必要に応じて、[名前] フィールドの既定値をカスタム名に置き換えることができます。

このリリースでの変更

1 つの場所からプラグインを管理

RPA デスクトップデザインスタジオで、[プラグインマネージャー (Plugin Manager)] ウィンドウまたは [プロジェクトエクスプローラー (Project Explorer)] ペインの [プラグイン] ノードから、プラグインをインストール、表示、更新、または削除します。

添付ファイルと添付ファイルの新しい場所 フローデザイナー [ツールボックス] ペインのコンポーネント

で RPA デスクトップデザインスタジオ、アタッチメントと フローデザイナー コンポーネントは、[ツールボックス] ペインの新しいカテゴリで使用できます ServiceNow。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求することで、RPA Hub をインストールします。

RPA Hub に関する累積的なリリースノート情報については、「[RPA Hub release notes \(RPA Hub リリースノート\)](#)」を参照してください。

RPA デスクトップデザインスタジオ に関する累積的なリリースノート情報については、「[RPA Plugin Bundle release notes \(RPA プラグインバンドルのリリースノート\)](#)」を参照してください。

RPA サンプルテンプレートに関する累積的なリリースノート情報については、「[RPA sample template release notes \(RPA サンプルテンプレートのリリースノート\)](#)」を参照してください。

以前にアプリケーションをダウンロードしていて、新しいバージョンが利用可能な場合、次のインスタンスでNow Platform更新できます。ServiceNow Store すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション。

その他の要件

無人ロボット アプリケーションを使用するための最小要件：

- Intel プロセッサ (1vCPU)
- 4 GB RAM
- OS、パッチ、およびベースソフトウェアのインストール後に最低 20 GB の空きディスク容量。
- Microsoft Windows 10 Windows またはサーバー2016または Windows サーバー2019。
- .NET Framework 4.7.1 以降
- DPI スケーリング設定を非アクティブ化する必要があります。

無人ロボット アプリケーションを使用するための推奨要件：

- Intel プロセッサ (4vCPU)
- 8 GB RAM
- OS、パッチ、およびベースソフトウェアのインストール後に最低 50 GB の空きディスク容量。
- Microsoft Windows 10 Windows またはサーバー2016または Windows サーバー2019。
- .NET Framework 4.7.1 以降
- DPI スケーリング設定を非アクティブ化する必要があります。

Unattended ロボットは 1 つのマシンのみにマッピングされます。

アプリケーションに使用される 無人ロボット 仮想マシン (VM) は、永続的で常にオンになっている必要があります。

アテンンド型ロボット アプリケーションを使用するための最小要件：

- Intel プロセッサ (1vCPU)
- 4 GB RAM
- OS、パッチ、およびベースソフトウェアのインストール後に 20 GB 以上の空きディスク容量。
- Microsoft Windows 10 Windows またはサーバー2016または Windows サーバー2019。
- .NET Framework 4.7.1 以降
- DPI スケーリング設定を非アクティブ化する必要があります。

アテンンド型ロボット アプリケーションを使用するための推奨要件：

- Intel プロセッサ (4vCPU)
- 8 GB RAM
- OS、パッチ、およびベースソフトウェアのインストール後に最低 50 GB の空きディスク容量。
- Microsoft Windows 10 Windows またはサーバー2016または Windows サーバー2019。
- .NET Framework 4.7.1 以降
- DPI スケーリング設定を非アクティブ化する必要があります。

有人ロボットは 1 人のユーザーのみにマッピングされます。

RPA デスクトップデザインスタジオ アプリケーションを使用するための最小要件：

- Intel プロセッサ (Core i5 以降)
- 4 GB RAM
- 20 GB の空きディスク容量
- Microsoft Windows 10 Windows またはサーバー2016または Windows サーバー2019。
- .NET Framework 4.7.1 以降
- 解像度1920x1080pのモニター。
- DPI スケーリング設定を非アクティブ化する必要があります。

RPA デスクトップデザインスタジオ アプリケーションを使用するための推奨要件：

- Intel プロセッサ (Core i7)
- 8 GB RAM
- 50 GB の空きディスク容量
- Microsoft Windows 10 Windows またはサーバー2016または Windows サーバー2019。
- .NET Framework 4.7.1 以降
- 解像度1920x1080pのモニター。
- DPI スケーリング設定を非アクティブ化する必要があります。

ブラウザ要件

ServiceNow ワークスペースでは、モバイルデバイスをサポートしていません。サポートされているブラウザのリストの詳細については、「[ブラウザのサポート](#)」を参照してください。

ローカライズ情報

RPA Hub は多言語に対応しています。詳細については、「[Internationalization support for RPA Hub \(RPA Hub の国際化のサポート\)](#)²」を参照してください。

関連 **ServiceNow** アプリケーションと機能

Flow Designer²

ServiceNow フローデザイナー を RPA Hub と統合すると、シームレスなロボット実行ができます。デザイン環境を使用して フローデザイナー、フローとアクションを作成したり、生成される結果を表示したりできます。

テーブルビルダー² リリースノート

ServiceNow テーブルビルダーこのアプリケーションでは、テーブル、フォーム、および表示ロジックを一元的に構築できます。 はリリースでWashington DC拡張および更新されました。 テーブルビルダー

Washington DC リリースでの テーブルビルダー の特長

- 、任意のテーブルの Now Platform[関連リンク] セクション、および UI ビルダーからアクセスしますForm Builder。
- で App Engine Studioスプレッドシートからテーブルを作成するときに優先参照テーブルを表示します。
- スキーマビュー、スプレッドシートビュー、フロー、PDF エクストラクターなど、以前は でのみ App Engine のテーブルビルダー使用可能だった機能を使用します。

詳細については、「[Table Builder](#)」を参照してください。

Washington DC リリースの新機能

スタンドアロン Form Builder アクセス

プラットフォーム上の任意のフォームの [他のアクション] メニューから、他のアプリケーション間を移動することなく、Form Builder 簡素化されたスタンドアロンバージョンにアクセスできます。

アクセス先 Form Builder [関連リンク] セクション

任意のテーブルの [関連リンク] セクションから直接Form Builder移動します。は、フォームレイアウトとフォームデザイナーの最も優れた機能を組み合わせた、合理化されたフォーム構築エクスペリエンスです。Form Builder

アクセス Form Builder コピー元 UI ビルダー

ステージから直接UI ビルダーフォームにアクセスしてForm Builder編集します。

スプレッドシートからテーブルを作成するときに優先参照テーブルを表示する

の App Engine Studioスプレッドシートからテーブルを作成すると、参照テーブルが優先順にリストされます。アプリケーション内のテーブルと、一般的に使用される ServiceNow テーブルが、他のすべての利用可能な参照テーブルのリストの前に表示されます。

の新機能 App Engine のテーブルビルダー

以前は でした利用 App Engine のテーブルビルダー でなかったスキーマビュー、スプレッドシートビュー、フロー、PDF エクストラクターなどの機能が、統合 テーブルビルダー アプリケーションで利用できるようになりました。

アクティベーション情報

テーブルビルダー は、Now Platform をインストールする App Engine Studioとデフォルトで有効になる機能です。

ブラウザー要件

Internet Explorer はサポートされていません。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

App Engine Studio

ServiceNow App Engine Studio (AES) はガイド付きのローコードツールで、情報を格納し、ビジネスプロセスを自動化し、ビジネス上の課題を解決するリッチな Web アプリケーションを開発するためのものです。

App Engine のテーブルビルダー リリースノート

これで、ServiceNow App Engine のテーブルビルダーアプリケーションはアプリケーションの一部テーブルビルダーになりました。 がリリースでWashington DC拡張および更新されました。 テーブルビルダー

廃止

App Engine のテーブルビルダーアプリケーションがアプリケーションに統合テーブルビルダーされました。 詳細については、「[テーブルビルダー リリースノート](#)」を参照してください。

UI ビルダー リリースノート

このServiceNow UI ビルダーアプリケーションは、ワークスペースやポータルページ、またはを使用してカスタム Web エクスペリエンスNext Experience コンポーネントを構築するための Web ユーザーインターフェイスビルダーです。 は、リリースでWashington DC拡張および更新されました。 UI ビルダー

Washington DC リリースでの UI ビルダー の特長

- で利用可能ServiceNow Storeになったため、UI ビルダーより頻繁な更新を受信します。
- 改善されたデータバインディングと式オーサリングにより、コンポーネントを動的データに簡単にリンクできます。
- 新しいデータドロワーと改善されたブラウジングエクスペリエンスにより、データリソースをすばやく見つけることができます。
- コンテンツツリーまたはステージから、ページ上の UI ビルダー 列レイアウトと列をすばやく編集します。
- ステージのUI ビルダーフォームコンポーネント内から直接アクセスしますForm Builder。

詳細については、「[UI Builder](#)」を参照してください。

重要:

UI ビルダー は、ServiceNow Store で入手可能です。 詳細については、これらのリリースノートの「[アクティブ化情報](#)」セクションを参照してください。

UI ビルダー を Washington DC にアップグレードする際の重要な情報

に Washington DCアップグレードした後、UI ビルダー からアプリケーション ServiceNow Storeを更新します。

Washington DC リリースの新機能

カスタム画像

アイコンおよび画像コンポーネントでカスタム画像をアップロードします。

モードレス ダイアログ

ページに情報をオーバーレイして、モードレスダイアログを介して UI ビルダー メインコンテンツとウィンドウコンテンツの両方を操作できるようにします。

の統合 UI ビルダー および Form Builder

ステージのUI ビルダーフォームコンポーネント内から直接アクセスしますForm Builder。

このリリースでの変更

列レイアウトの改善

コンテンツツリーとステージから列レイアウトの列を並べ替え、削除、追加、および名前変更します。

コントローラーコンポーネント構成の改善

コントローラープロパティの簡素化されたコンポーネント構成を使用すると、UI Builder ページからデータやスクリプトに簡単に接続できます。

簡素化されたデータバインディング

テーブル、変数、および式を指定するための簡素化されたプロセスを使用して、データを視覚的にバインドします。

データリソース構成の改善

新しいデータドロワーを使用して、データリソースを参照、検索、追加、および構成します。

タブの簡素化された追加

ステージから直接ページにタブ UI ビルダー を追加します。

画像選択プロセスの改善

アイコンコンポーネントで使用する利用可能なプラットフォームアイコンをより簡単に参照します。

の新しいテーマ: UI ビルダー

ツールと管理者の ServiceNow テーマ UI ビルダー が適用され、ビルダーアプリケーション全体で一貫したルックアンドフィールを提供できるようになりました。

アクティベーション情報

UI ビルダー はデフォルトでアクティブです。

ブラウザー要件

Internet Explorer はサポートされていません。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

App Engine Studio

ServiceNow App Engine Studio でアプリを作成し、ServiceNow UI ビルダー でユーザーインターフェイスを作成できます。

ワークフロースタジオ リリースノート

このServiceNow ワークフロースタジオアプリケーションは、すべてのプロセス自動化アプリケーションにアクセスするための単一の場所を提供します。 はリリースの新しいWashington DCアプリケーションです。 ワークフロースタジオ

Washington DC リリースでの ワークフロースタジオ の特長

- からプロセス自動化ワークフロー ワークフロースタジオを作成します。
- 単一の統合されたインターフェイスからすべてのプロセス自動化ワークフローを表示します。
- プロセス自動化ワークフロー全体で作業の詳細を表示します。

詳細については、「[Workflow Studio](#)」を参照してください。

ワークフロースタジオ 機能

からアクセスしますディシジョンビルダーワークフロースタジオ。意思決定ルールを作成および維持するために使用します ディシジョンビルダー。

Flow Designer

からアクセスしますフローデザイナーワークフロースタジオ。コード化することなく、再利用可能なコンポーネントから複数手順のフローを構築するために使用します フローデザイナー。

Integration Hub 接続ダッシュボード

統合ハブから接続ダッシュボードワークフロースタジオにアクセスします。接続ダッシュボードを使用して、統合ハブ 簡単なインターフェイスで接続および資格情報エリヤスを表示および構成します。

Playbooks

からアクセスしますプレイブックワークフロースタジオ。企業間ワークフローを作成し、単一の統一されたプロセスを作成するために使用します プレイブック。

UI の変更

ディシジョンビルダー 内で ワークフロースタジオ開きます。前の ディシジョンビルダー メニューオプションが開きます ワークフロースタジオ。

Flow Designer

フローデザイナー 内で ワークフロースタジオ開きます。前の フローデザイナー メニューオプションが開きます ワークフロースタジオ。

Integration Hub 接続ダッシュボード

接続ダッシュボードが 統合ハブワークフロースタジオで開きます。以前の 統合ハブ 接続ダッシュボードのメニューオプションが開きます ワークフロースタジオ。

Playbooks

プレイブック 内で ワークフロースタジオ開きます。前の プレイブック メニューオプションが開きます ワークフロースタジオ。

アクティベーション情報

ワークフロースタジオ はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。各アプリケーションにはワークフロースタジオ、独自のアクティベーション情報と要件があります。アクティベーションとサブスクリプションの要件の詳細については、各コンポーネントのドキュメントを参照してください。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

ディシジョンビルダー を使用すると、開発者は意思決定ルールを作成して維持することで、意思決定ロジックをコードから切り離すことができます。

Flow Designer

フローデザイナー は、プロセスオーナーが作業を自動化できる Now Platform [®] 機能です。コード化することなく、再利用可能なコンポーネントから複数手順のフローを構築します。

Integration Hub

Integration Hub の可用なスポー

MID Server

管理、計測、検出 (MID) サーバーは、ローカルネットワーク内のサーバーで Windows のサービスまたは UNIX のデーモンとして動作する Java アプリケーションです。により ServiceNow MID サーバー、インスタンスと外部のアプリケーション、データ

ソース、サービスの間で ServiceNow 行われるデータの通信や移動が可能になります。

Process Automation Designer

ServiceNow プレイブックを使用して、プロセスオーナーは、企業間ワークフローを作成し、単一の統一されたプロセスを作成できます。プレイブックを使用して、簡素化されたタスク指向のプロセスのビューをエンドユーザーに提供することもできます。

Robotic Process Automation (RPA) Hub

ServiceNow Robotic Process Automation (RPA) Hub を使用して、組織のエンドツーエンドの自動化を有効にします。UI インタクション、要素ベースの自動化、およびさまざまなビジネスアプリケーション間でやり取りする API を組み合わせて使用することで、ユーザーアクションをエミュレートし、日常の反復的な人的アクティビティをなくすことができます。

Delegated Development リリースノート

ServiceNow Delegated Development アプリケーションを使用すると、システム管理者のロールを持たない指定されたユーザーが、.Now Platform Delegated Development はリリースで Washington DC 拡張および更新されました。

リリースでの **Washington DC Delegated Development** の特長

- 代理管理者機能を使用して、委任開発 ロールを簡素化します。
- すべての 委任開発 機能にアクセスできるユーザーの個々のロールを追加する必要がなくなります。

詳細については、「[Delegated development and deployment !\[\]\(dd161862f9164df98f62b726e9846241_img.jpg\)](#)」を参照してください。

重要:

Delegated Development は、ServiceNow Storeで利用できます。詳細については、これらのリリースノートの「アクティベーション情報」セクションを参照してください。

UI の変更

[代理管理者] チェックボックス

[代理管理者] チェックボックスが UI に追加され、選択すると、利用可能なすべてのロールとすべての委任開発者権限へのアクセス権がユーザーに付与されます。

アクティベーション情報

Delegated Development はデフォルトで有効な機能です Now Platform 。

Next Experience コンポーネント リリースノート

はServiceNow Next Experience コンポーネント、カスタムユーザーインターフェイスを構築するために使用されるコンポーネントです。は、このリリースでWashington DC拡張および更新されました。Next Experience コンポーネント

Washington DC リリースでの **Next Experience** コンポーネントの特長

- 構築済みのシステムまたはカスタムコンポーネントを使用してリッチな UI エクスペリエンスを構築します。API リファレンス、使用ガイダンス、ServiceNow UI ビルダーセットアップに関するドキュメントを表示するにはNext Experience コンポーネント、[開発者サイトの Next Experience コンポーネントに関するドキュメント !\[\]\(0f0f508d296bff693b2b34288b8d91ee_img.jpg\)](#)を参照してください。

- JavaScript フレームワーク、不変データ、シンプルなアクションハンドラーなどの一般的な Web コンポーネントのパターンと原則を使用します。
- 複数のユーザーインターフェイスでコンポーネントを再利用して、エンドユーザーに統一感のあるエクスペリエンスを作成します。
- 事前設定されたプロパティ値を使用して、コンポーネントのプロパティとイベントハンドラーを自動的に設定すると、コンポーネントをページに追加したときに機能できるようになります。プリセットは、コンポーネントのデータリソースとして機能するコントローラーに接続できます。詳細については、「[Automatically configure components using presets](#)」と「[Bind data to UI Builder pages using controllers \(advanced feature\)](#)」を参照。
- アクセシビリティのためのアップグレードされたコンポーネント。詳細については、これらのリリースノートの「アクセシビリティ情報」セクションを参照してください。

Washington DC リリースの新機能

コンポーネント

コンポーネント	説明
カラーセクター	色の検索、選択、保存に使用できるカラーライブラリ。16 進数コード、RGB、および HSL 値が使用でき、カスタム色を使用できます。
関連アイテム	サイドパネルにカードとともに表示され、展開可能なアコーディオンに分類されたケースレコードに関連する情報。必要に応じて、ユーザーは、並べ替えおよびフィルター処理機能を備えた完全な機能のリストとしてデータを表示できます。
相対日時ピッカー	ユーザーが日付と時刻の範囲を選択できるようにするフォームコントロール。カレンダーに表示される日付範囲をカスタマイズするセクションが含まれています。

ページテンプレート

テンプレート	説明
公開モーダルの確認	ユーザーが記事を公開ナレッジベースできるようにするナレッジ管理ページテンプレートとして使用されるモーダル。
レコードページ(垂直)	グループ内のレコードページの関連リストと UI ページを管理するために使用されるページテンプレート。このページテンプレートには、複雑な構成を必要とせずにページを機能させるためのプリセット値が含まれています。
確認の廃止モーダル	ユーザーがナレッジベースから使用停止した記事を廃止し、代替記事を選択できるようにする ナレッジ管理 ページテンプレートとして使用されるモーダル。
標準リスト	レコードリストバンドルとサイズ変更可能なペインコンポーネントに含まれるリストメニューで構築されたページテンプレート。すべてに事前設定された構成値があります。ユーザーは、さまざまな形式でレコードをエクスポートし、カスタムリストを他のユーザーと共有できます。このページテンプレートで使用されるリストコントローラーには、構成可能なプロパティが含まれています。

バンドル

バンドル	説明
レコードリスト	レコードリストバンドルは、リストヘッダー、リスト本文、およびページネーションコンポーネントを含むコンポーネントの組み合わせです。リストコンポーネントのこの新しいイテレーションには、事前設定された構成値とリストコントローラーが含まれています。

このリリースでの変更

コンポーネント

コンポーネント	拡張
アクティビティストリーム	• [ドラフトを破棄]、[ポップアウト] ボタン、[メールを作成]、および [ドラフトを表示] ボタンを非表示にします。 • [メール送信] ボタンのスタイルをプライマリからセカンダリに変更します。 • モードレスダイアログが複数ある場合、または最小化されている場合にメールの件名を表示します。 • モードレスダイアログを使用してメールテンプレートを挿入し、KB リンクを挿入します。
添付ファイル	添付ファイルの最大許容サイズを定義するための新しいプロパティ。
日付 - 時刻	コンポーネントのデフォルトの開始時刻を設定するデフォルトの時刻 [initialTime] プロパティ。設定しない場合、時刻はデフォルトで午前 0 時に設定されます。
メールコンポーザー	• を使用して記事をインラインで添付 ナレッジ するか、PDF として添付します エージェントアシスト。 • 下書きの自動保存、下書きの破棄、保存、下書きの作成を行います。 • ページデザインの密度が向上しました。 • モードレス ダイアログ エクスペリエンスのサポートが追加されました。
メールコンポーザー (ミニ)	• を使用して記事をインラインで添付 ナレッジ するか、PDF として添付します エージェントアシスト。 • 下書きの自動保存、下書きの破棄、保存、下書きの作成を行います。 • ページデザインの密度が向上しました。 • モードレス ダイアログ エクスペリエンスのサポート。

コンポーネント (続く)

コンポーネント	拡張
見出し	- データ密度を高めるために、Workspace のフォントヘッダーサイズを縮小しました。 - 元の大きい見出しサイズを引き続き希望するユーザー向けの、プライマリに代わるヒーロー見出しサイズ。
アイコン	標準の画像形式のカスタムアイコンを使用します。カスタムアイコンはインスタンスのライブラリーに追加されず、キャッシュされません。
イメージ	任意の標準イメージ形式のカスタム イメージを使用します。カスタムアイコンはインスタンスのライブラリーに追加されず、キャッシュされません。
入力	AI インジケーターは、フォームフィールドで AI の推奨事項が使用され、AI 機能に関する詳細情報を提供するときにユーザーに通知します。
カンバンボード	- ボード上のカード間の関係を示す依存関係線を有効にします。 - 行にスイムレーンヘッダーを表示します。
リストセクター	[利用可能なアイテム] リストと [選択したアイテム] リストのアイテムからトリガーされたポップオーバーには、現在のレコードの詳細が表示されます。ポップオーバーのコンテンツを設定し、トリガーアイコンを表示するアイテムを選択できます。 - コンポーネントの表示方法を選択します。選択肢は次のとおりです。 - 圧縮 2 パネル - ドット連結 (デフォルト) - ユーザーが [選択したアイテム] リストのアイテムを並べ替えできないようにします。 - コンポーネント内のすべての非表示のコントロールを表示します。
モードレスダイアログ	- 折り返して 2 行目以降は切り捨てるヘッダーテキストを定義します。 - 初期バリエーション色タイプを、見出しに色を追加するプライマリタイプまたはセカンダリタイプに置き換えます。 - オプションのボタンスロットにアクションをトリガーするボタンアイコンを追加します。 - ユーザーによってトリガーされたときにモードレスダイアログが表示される場所を変更します。デフォルトでは中央に表示されますが、ダイアログを左上または右上、または左下または右下に表示できます。 - キーボード ショートカットを使用して、ダイアログを上下左右に移動します。

コンポーネント (続く)

コンポーネント	拡張
推奨アクション	- 構成可能なパネルタイトルとタブ見出し。 - 設定可能なタブの順序。 - 検索入力フィールドと検索結果のカードを含む新しい [検索] タブ。 - 履歴がタブから、象徴的なボタンからトリガーされた新しいパネルに移動しました。 - 検索結果カードのヒントテキストとアイコンの背景色。
サイズ変更可能なペイン	レイアウトを左ペインのみ、両方のペイン、および右ペインのみに変更するためのキーボードキーの組み合わせ。
選択	フォームフィールドで AI の推奨事項が使用され、AI 機能に関する詳細情報を提供するときにユーザーにシグナルを送信する AI インジケーター。
TextArea	フォームフィールドで AI の推奨事項が使用されるときにユーザーに通知し、AI 機能に関する詳細情報を提供する AI インジケーター。
先行入力	フォームフィールドで AI の推奨事項が使用されるときにユーザーに通知し、AI 機能に関する詳細情報を提供する AI インジケーター。
typeahead-multi	フォームフィールドで AI の推奨事項が使用されるときにユーザーに通知し、AI 機能に関する詳細情報を提供する AI インジケーター。

データビジュアル化チャート

チャート	拡張
棒グラフによるチャート化	棒グラフによるチャート化のパレート図タイプ。パレート図は縦棒グラフに似ていますが、線グラフも含まれています。パレート図には、個々の値 (頻度またはコスト) を降順で表す縦棒と、累積合計を表すデータ ポイントを含む線が表示されます。また、パレート図は、ユーザーが非表示にできる水平線で Y 軸上の 80% の点をマークします。
インジケーター スコアカードによるチャート化	- 最新のインジケーター スコアをグラフィカルに表示するために表示できる最新のスコア バー。スコアが 1 以上の場合は青色のバー、-1 以下の場合はオレンジのバー、スコアが 0 (ゼロ) の場合はバーなしカーソルを合わせるとスコア値が表示されます。 - 制限なしですべてのグループを表示するか、ユーザーが 20 を超える値を表示できるようにします。
時系列の可視化	日付範囲のドロップダウンを追加する日付範囲ピッカー。これを使用して、表示される時間範囲を事前定義された日付範囲の 1 つにすばやく変更できます。

アクティベーション情報

Next Experience コンポーネント はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。

アクセシビリティ情報

Washington DC リリースでは、Next Experience コンポーネント に対して、次のアクセシビリティ機能拡張が行われました。

拡大ソフトウェアとスクリーンリーダーのサポート

プログラムによるラベルをビジュアル ラベルに一致させるために、以下 Next Experience コンポーネント が更新されました。この機能強化により、ZoomText (拡大ソフトウェアの一種) およびその他の種類の支援技術 (スクリーン リーダーなど) のサポートが改善されました。

この機能拡張は、視覚障がいや運動制限などの認知/身体障がいのあるユーザーが ServiceNow プラットフォームを使用する場合にサポートします。

- エージェントチャット [sn-agent-chat]
- エージェント受信ボックス [sn-agent-inbox]
- キャンバスタブ [sn-canvas-tabs]
- チャット入力 [sn-chat-input]
- チャットメンションの提案 [sn-chat-mention-suggestion]
- チェックリスト [now-checklist]
- 日時カレンダー [now-date-time-calendar]
- ドキュメントビューアー [sn-document-viewer]
- ドラッグアンドドロップ [sn-drag-and-drop]
- フィールド選択 [sn-record-field-list-reorder-list]
- リストセクター [sn-list-selector]
- 通知設定ポップオーバーコンテンツ [notification-setting-popover-content]
- プレゼンスポップオーバーコンテンツ [sn-presence-popover-content]

リフローのサポート

次のコンポーネントはリフローをサポートするように更新されました。これにより、コンテンツや機能を失うことなく、ブラウザ設定を使用してページとコンテンツを最大 400% 拡大できます。さらに、コンテンツは、320 CSS ピクセルに相当する幅または 256 CSS ピクセルに相当する高さで、2 次元でスクロールせずに拡大できます。

この機能拡張は、弱視のユーザーや、モニターのサイズ、デバイスの種類、照明の悪さ、またはその他の状況のためにブラウザで Web コンテンツを見るのが難しいユーザーに役立ちます。リフローは、インスタンス、エクスペリエンスおよびページのシステムプロパティでオフにできます。詳細は、「[Reflow for Configurable Workspace](#)」を参照してください。

- アクションバー [now-record-common-uiactionbar]
- エージェントチャット [sn-agent-chat]
- 予約カレンダー [now-appointment-calendar]
- 棒グラフ [now-vis-bar]
- バブルの可視化 [now-vis-bubble-wrapper]
- カレンダー [now-calendar]
- カルーセル [sn-carousel]

- チェックリスト [now-checklist]
- 連絡先カード [sn-contact-card]
- コンテンツツリー [now-content-tree]
- コンテキストサイドバー [now-contextual-sidebar]
- 顧客アクティビティ [sn-customer-activity]
- 日付範囲ピッカー [now-date-range-picker]
- ダイアルチャート [now-vis-dial]
- ドキュメントの表示 [sn-document-display]
- Document Intelligence [sn-docintel-iframe]
- Express List [sn-itom-aiops-list]
- Filter [now-filter]
- フォーム [now-record-form-selection-column-layout]
- ゲージチャート [now-vis-gauge]
- ジオマップの可視化 [now-vis-geomap-wrapper]
- ヒートマップの可視化 [now-vis-heatmap-wrapper]
- ITOM Metric Explorer [sn-itom-metric-explorer]
- カンバンボード [now-visual-board]
- ナレッジブロック [sn-knowledge-blocks-connected-uib]
- ナレッジコンテンツ [sn-knowledge-content]
- リストセクター [sn-list-selector]
- ページネーションコントロール [now-pagination]
- 円/ドーナツ可視化 [now-vis-pie-wrapper]
- ピボットテーブルによるチャート化 [sn-multipivot]
- Playbook アクティビティビューアー [now-playbook-activity-viewer]
- Playbook Experience [now-playbook-experience-connected]
- Playbook モーダル [now-playbook-modals]
- Playbook ステージピッカー [now-playbook-stage-picker]
- サービス健全性ダッシュボード (新規) [sn-itom-service-dashboard]
- 単一スコア [now-score-advanced]
- 時系列の可視化 [now-vis-timeseries-wrapper]

音声テキスト変換のサポート

ビジュアルラベルをアクセス可能なラベルに一致させるために、以下 Next Experience コンポーネント が更新されました。アクセシビリティ対応ラベルがビジュアル ラベルと異なる場合、音声テキスト変換ソフトウェアは対話型要素を識別してアクティブ化できません。一致する視覚的でアクセス可能なラベルにより、Dragon NaturallySpeakingなどの音声テキスト変換ソフトウェアは、音声テキスト変換アシスタントテクノロジーによって提供される低速のグリッドベースのナビゲーションを行うのではなく、ユーザーインターフェイスでこれらのコンポーネントを識別できます。

- ドロップダウン [now-dropdown]
- 入力 [now-input]
- レコードリスト [now-record-list]
- レコード番号 [now-record-number]
- テキストリンク [now-text-link]
- Toggle [now-toggle]
- 先行入力 [now-typeahead]
- 先行入力マルチ [now-typeahead-multi]

一般的なアクセシビリティ機能拡張

国際的に認められたアクセシビリティ標準を満たすために、次のコンポーネントが更新されました。

- 予約カレンダー [now-appointment-calendar]
- カレンダー [now-calendar]
- チェックリスト [now-checklist]
- 連絡先カード [sn-contact-card]
- コンテンツツリー [now-content-tree]
- Kanban [now-visual-board]
- Playbook アクティビティピッカー [now-playbook-activity-picker]
- ラジオグループ [now-radio-group]

関連 **ServiceNow** アプリケーションと機能

UI Builder

UI ビルダー は、ユーザーがワークスペースとポータル Web ベースのエクスペリエンスのためのページを構築できるようにするローコードのツールです。

Configurable Workspace UI

コンポーネントを使用して、内部または外部の顧客の問題を解決するエージェント向けのカスタムワークスペースエクスペリエンスを構築します。

Intelligent Experiences リリースノート

Washington DC リリースには、Intelligent Experiences の新機能と更新された機能が含まれます。

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) リリースノート

ServiceNow ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) アプリケーションは、ドキュメントから情報を迅速かつ正確に分類して抽出する人工知能 (AI) ソリューションです。ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) は Washington DC リリースで拡張および更新されました。

Washington DC リリースでの ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) の特長

- 抽出するドキュメントの領域で描画ツールを使用して、テーブルからデータを簡単に抽出できます。
- ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) との統合を作成して、自動化を活用しますオートメーションセンター。

詳細については、「[Document Intelligence](#)」を参照してください。

i 重要:

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティベーション情報」セクションを参照してください。

Washington DC リリースの新機能

データ抽出用の描画ツール

描画ツールを使用してドキュメント領域を選択し、情報を抽出することで、テーブルからデータを簡単に抽出できます。

UI の変更

テーブル抽出機能の使いやすさの向上

さまざまなテーブル抽出機能が更新され、より一貫性のあるユーザーエクスペリエンスが実現します。

このリリースでの変更

デフォルトの上限まで引き上げる

添付ファイルのファイルサイズ制限が 10 MB に引き上げられました。1 日のインスタンスごとに処理されるドキュメントタスクの最大数が 2,000 に増加します。

請求書の AI 品質の改善

より強力な AI モデル、事前構築済みユースケース構成、ユーザー定義のヒントを活用して、抽出結果を改善します。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求することで、ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) をインストールします。[ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Store バージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) アプリケーション (sn_docintel) は、ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) プラグイン (com.glide.platform_ml)、予測インテリジェンス (com.glide.platform_ml)、および ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) UIB コンポーネント (com.sn_docintel_iframe) に依存します。詳細については、「[Document Intelligence のインストール](#)」を参照してください。

アクセシビリティ情報

[store-future: BEGIN review]リフローのサポート[End]

[store-future: BEGIN review]sn-docintel-iframe コンポーネントはリフローをサポートするように更新されました。これにより、コンテンツや機能を失うことなく、ブラウザ設定を使用してページとコンテンツを最大 400% 拡大できます。さらに、コンテンツは、320 CSS ピクセルに相当する幅または 256 CSS ピクセルに相当する高さで、2 次元でスクロールせずに拡大できます。[End]

[store-future: BEGIN review]

この機能拡張は、弱視のユーザーや、モニターのサイズ、デバイスの種類、照明の悪さ、またはその他の状況のためにブラウザで Web コンテンツを見るのが難しいユーザーに役立ちます。リフローは、インスタンス、エクスペリエンスおよびペー

ジのシステムプロパティでオフにできます。詳細は、「[Reflow for Configurable Workspace](#)」を参照してください。

[End]

一般的なアクセシビリティ機能拡張

さまざまなドキュメントインテリジェンス (DocIntel) 機能が更新され、よりアクセスしやすいユーザーエクスペリエンスが作成されました。

- コントロールとメッセージを更新して、支援技術のユーザー (スクリーンリーダーユーザーなど) に正しいラベルやその他の関連情報を提供しました。
- 情報画像とアイコンの代替テキストを提供して、これらの画像の目的が支援技術のユーザーに伝えられるようにしました。
- テキストと画像の色のコントラストが改善され、最低限の標準ガイドラインを満たすようになりました。
 - 標準サイズのテキストの最小コントラスト比は 4.5:1 以上です。
 - グラフィックスおよびユーザー インターフェイス コンポーネントの最小コントラスト比は、少なくとも 3:1 です。
- スクリーンリーダーの検出を改善するためのコンポーネントの標準化された設計パターン。
- 召喚状(CTA)とツールチップを更新し、マウスやポインターを動かさずにキーボードで閉じることができるようになりました。たとえば、Esc キーを使用します。
- オートフィルモードのチェックボックスコントロールのフォーカス順序の問題を修正しました。
- オートフィルモードのサムネイルサイドバーのフォーカス順序の問題を修正しました。
- 更新された オートフィルモード - カスタム選択 は、情報を伝えるためだけに色を使用するのではなく、選択した状態情報を伝えるための追加の視覚的な手がかりを提供します。
- 更新された オートフィル モード - カスタム **ABC** トグル コントロールの選択状態をプログラムで示す場合に選択します。
- コンテンツや機能を失うことなく、ブラウザー設定を使用してテキストサイズを 200% まで拡大できるように更新されました。
- コンテンツや機能を失うことなくテキスト間隔を変更できるように更新されました。たとえば、読みやすさを向上させるために、カスタムテキスト間隔スタイルをブラウザーコンテンツに適用するユーザーもいます。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

カスタマーサービス管理 (CSM)

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) for カスタマーサービス管理 (CSM) を使用して、メールやケースの添付ファイルから口座番号や顧客の住所などの関連情報を抽出し、その情報をケースに追加します。

ファイナンシャルサービスオペレーション

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) を ファイナンシャルサービスオペレーションアプリケーションのデジタルワークフローと統合して使用すると、ドキュメント処理を迅速に自動化し、ドキュメントから Now Platform に情報を正確に抽出できます。

買掛金オペレーション

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) の 買掛金オペレーション を使用して、メールで添付ファイルとして受信した請求書ドキュメントから情報を迅速かつ正確に抽出し、買掛金オペレーション アプリケーションで請求書レコードを作成します。

Automation Center

for オートメーションセンター を使用して、自動化測定基準を使用したドキュメントインテリジェンス (DocIntel)ドキュメント処理の自動化機会を検出しますドキュメントインテリジェンス (DocIntel)。

生成 AI コントローラー リリースノート

このServiceNow 生成 AI コントローラーアプリケーションを使用すると、上のサードパーティの大規模言語モジュール (LLM) プロバイダーNow Platformで生成 AI 機能を使用すると、コンテンツの生成と要約、ユーザーの感情の分析、および固有のプロンプトの記述によって、複雑さを軽減し、ユーザーエクスペリエンスを向上させることができます。 はリリースでWashington DC拡張および更新されました。 生成 AI コントローラー

Washington DC リリースでの 生成 AI コントローラー の特長

- トークンの最大制限を超える入力を使用して LLM に要求を行う場合は、再帰的要約を使用します。このように、生成 AI 機能を使用しているときにより良い結果を得るために必要な重要なコンテキストが要求に含まれます。

詳細を参照してください [Generative AI Controller !\[\]\(3211b5d1d968fc1665909b34f9f16010_img.jpg\)](#) 。

Washington DC リリースの新機能

大きな入力の再帰的な要約

大規模な言語モデル (LLM) には、要求ごとのトークンの最大数があります。再帰的な要約では、大きな入力を小さな断片に分割し、それらの断片を要約してから、それらを再結合して元の呼び出しを行います。このプロセスにより、LLM に要求を送信するときに重要なコンテキストが失われるのを防ぎ、幻覚を減らしてより正確な応答を得ることができます。

このリリースでの削除

- QnA 機能が削除され、アクションが削除され仮想エージェントデザイナーフローデザイナーしました。

アクティベーション情報

生成 AI コントローラー は、Now Platform 任意の Now Assist アプリケーションをアクティブ化すると利用できる機能です。詳細については、以下を参照してください。 [インストール 生成 AI コントローラー !\[\]\(f1c5da15572e3e09d343161be98f508d_img.jpg\)](#) 。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

Now Assist

Now Assistには、でNow Platformスキルをセットアップ、構成、監視、Now Assist Adminおよび使用Now Assistするためのコンソールが含まれています。このNow Assistパネルを使用すると、ユーザーは のスキルNext Experienceを操作Now Assistできます。

Agent Chat

エージェントチャット は、エージェントと要求者がエージェントとエンドユーザーのチャットエクスペリエンスを簡素化するために使用できるさまざまな機能を備えています。

す。エージェントチャット には、マネージャーがエージェントを監視および支援するために使用できる機能もあります。

Customer Service Management

ServiceNow カスタマーサービス管理 (CSM) アプリケーションを使用すると、外部顧客が必要とするサービスとサポートを提供できます。たとえば、顧客は Web、メール、チャット、電話、ソーシャルメディアを通じてコミュニケーションを取り、サポートを受けることができます。

Field Service Management

フィールドサービス管理 (FSM) を使用すると、作業指示書と関連タスク、リソース、スキル、資産、場所を管理できます。このアプリケーションを使用して、機器の設置、修理、メンテナンスといったあらゆる現場作業を実行するための作業指示書タスクとエージェントを、顧客の現場に派遣できます。

Flow Designer

フローデザイナー は、プロセスオーナーが作業を自動化できる Now Platform 機能です。複数ステップのフローを再利用可能なコンポーネントからコーディングなしに構築できます。

HR Service Delivery

ServiceNow HR サービスデリバリー (HRSD) アプリケーションは、従業員にふさわしいサービスエクスペリエンスを提供します。従業員に対してバックエンドの複雑性を見せず自分の作業ニーズを一元的に管理する場所を提供することで、現代的な人員の需要を満たす優れたエクスペリエンスを提供できます。

IT Service Management

ServiceNow IT Service Management (ITSM) ソリューションが提供するスケーラブルなワークフローでは、1 つのクラウドベースプラットフォームを介して IT サービスを管理し、ユーザーに提供することができます。この ITSM ソリューションは、エージェントの生産性の向上、問題の迅速な解決、およびユーザー満足度の向上に役立ちます。

ワークスペース

ServiceNow ワークスペース は、エージェントが問題を検索、調査、解決するためのツールなど、複数のツールを 1 ページに配置したグラフィカルユーザーインターフェイスです。

自然言語クエリー リリースノート

この機能ServiceNow 自然言語クエリーを使用すると、平易な言語を使用してインスタンス内のデータをクエリできます。 はリリースでWashington DC拡張および更新されました。 NLQ

Washington DC リリースでの NLQ の特長

- 英語検索のグローバル検索に統合 自然言語クエリー します。
- 失敗したクエリには、含まれている Now LLM 代替を使用します。
- ログで NLQ、クエリ結果がどのように生成されたかを追跡します。

詳細については、「[Natural Language Query !\[\]\(5d954b3e270654ad8ab0d5913161c03c_img.jpg\)](#)」を参照してください。

Washington DC リリースの新機能

NLQ グローバル検索

この Washington DC リリースにより、自然言語クエリー 英語検索のグローバル検索に統合できます。この機能を利用するには、Genius 結果でNLQ検索エンジンとして使用するAI 検索ようにグローバル検索を構成する必要があります。

Now LLM フォールバック

NLQには、使用できるすべての場所にNLQフォールバックが含まれていますNow LLM。これは Now LLM クエリを解釈する第 2 の方法で、最初のルールベースの方法が失敗した場合に使用されます。この機能強化により、NLQ クエリの成功率が向上します。代替機能でサポートされている言語は英語のみです。

NLQ ログの出力ソース

NLQ ログには、結果がどのように生成されたかを示す [出力ソース] フィールドが含まれています。詳細については、「[View NLQ logs](#)」を参照してください。

アクティブ化情報

自然言語クエリー はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。

関連 **ServiceNow** アプリケーションと機能

[Genius Result configurations in the base system](#) 入力 AI 検索

Washington DCこのリリースでは、NLQとともに使用してAI 検索グローバル検索結果を拡張できます。

[Intelligent Search for CMDB](#)

自然な英語クエリを有効なCMDBクエリに変換するために使用しますNLQ。

[store-future: BEGIN review]

自然言語理解 (NLU) リリースノート

リリースノートのプレースホルダーコンテンツ。 NLU はリリースでWashington DC拡張および更新ServiceNow 自然言語理解 (NLU)されました。

Washington DC リリースでの 自然言語理解 (NLU) の特長

- プレースホルダーテキスト。

詳細については、「[Natural Language Understanding](#)」を参照してください。

i 重要:

NLU ワークベンチ - 高度な機能は、ServiceNow Storeで利用可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティベーション情報」セクションを参照してください。

Washington DC リリースの新機能

プレースホルダー見出し

プレースホルダー テキスト。

UI の変更

プレースホルダー見出し

プレースホルダー テキスト。

このリリースでの変更

新しい NLU ワークベンチ エクスペリエンス

NLU ワークベンチ はこのリリースでも引き続きサポートされています。

プレースホルダー見出し

プレースホルダー テキスト。

このリリースでの削除

- プレースホルダーテキスト。

廃止

- プレースホルダーテキスト。

アクティベーション情報

自然言語理解 (NLU)は、(com.snc.nlu_studio)、コア (com.glide.nlu)、 NLU ワークベンチ 共通モデル (com.glide.nlu.model)、NLUおよび 予測インテリジェンス (com.glide.platform_ml) プラグインを有効にするとNLU ワークベンチ利用できる Now Platform の機能です。NLU ワークベンチを最大限に活用するには、[NLU Workbench - Advanced Features](#) からアプリケーションServiceNow Storeもインストールします。詳細については、「[Activate the NLU Workbench](#)」を参照してください。

その他の要件

プレースホルダーテキスト。

アクセシビリティ情報

プレースホルダーテキスト。

ローカライズ情報

プレースホルダーテキスト。

関連 **ServiceNow** アプリケーションと機能

Virtual Agent

仮想エージェント管理者は、モデルを使用するようにNLUデザイナーの会話フローを構成して、仮想エージェントエージェントチャットボットが会話内のユーザーのステートメントをよりよく理解できるようにします。

AI Search

NLUモデルは、で使用するAI 検索ように構成できます。

Predictive Intelligence

サービスは NLU Predictive Intelligence プラグインに含まれています。

問題の自動解決

イシュー自動解決モデルのチューニングIARに使用しますNLU ワークベンチ。

NLU Service updates

NLU サービス更新に関するドキュメントを参照して、NLU サービスの変更内容について最新情報を確認してください。

[End]

Now Assist リリースノート

この ServiceNow Now Assist アプリケーションは、生成 AI を組織にもたらしめます。より優れたセルフサービスを提供し、アクションを推奨し、回答を提供し、ユーザーに提供するAI 検索ことに

より、生産性と効率を向上させることができます。は、このリリースでWashington DC拡張および更新されました。Now Assist

Washington DC リリースでの Now Assist の特長

- 製品内のユーザーロール別にスキルを制限 Now Assist して、生成 AI 機能にアクセスできるユーザーを整理します。
- スキルが利用可能になるタイミング Now Assist を制御するフィールドに基づく条件を追加します。
- データスチュワードロールをユーザーに割り当てて、インスタンスでデータ共有と生成 AI に関する意思決定を行えるユーザーを決定します。
- インスタンスで生成 AI を実装する方法については、Now Assist ジャーニーチェックリストを参照してください。

詳細については、「[Now Assist](#)」を参照してください。

重要:

生成 AI 製品を購入した後、ServiceNow Store からインストールできます。現在使用可能な製品はCSM の Now Assist、HR サービスデリバリー (HRSD) の Now Assistフィールドサービス管理 (FSM) の Now AssistIT Service Management (ITSM) の Now AssistおよびNow Assist for Creatorです。詳細については、これらのリリースノートの「アクティベーション情報」セクションを参照してください。

Washington DC リリースの新機能

製品内のユーザーロールによって Now Assist スキルを制限する

フォームやワークスペースなど、製品内でスキルにアクセスできる Now Assist ユーザーに適用されるロールを指定します。指定されたロールのないユーザーはスキルを使用できません。このセキュリティ機能は、パネル内のスキルの実装と一致します Now Assist。

スキルの可用性に条件を追加する

スキルが利用可能になるタイミング Now Assist を製品内およびパネル内で定義します Now Assist。条件は、場所やケースをオープンしたユーザーなど、任意のフィールドと値に基づいて設定できるため、生成 AI の制限に準拠するのに役立ちます。

Assign the data steward role

専用ユーザーを選択して、インスタンスのデータ共有設定を決定します。

このリリースでの変更

Now Assist アイコンに非同期通知が表示されます

アイコン () はNow Assist、パネルが閉じられていて新しいメッセージが使用可能な場合にNow Assist、バッジ数の増加を示します。

Now Assist 過程チェックリスト

コンソールの [Now Assist Admin 概要] ページでは、生成 AI の実装の計画と実行に役立つジャーニーチェックリストを表示できます。詳細な手順には、プラグインのインストール方法、パネルの有効化方法、スキルの Now Assist 有効化方法、アカウント設定の確認方法、スキルパフォーマンスの監視方法が含まれます。

データ共有設定をオプトアウトするための新しいプロセス

ユーザーは、生成 AI コントローラーのアプリケーションスコープ内にあり、インスタンスのデータ共有をオプトアウトするためのdata_stewardロールを持っている必要があります。

アクティベーション情報

Now Assist 機能は任意の Now Assist プラグインをアクティブ化すると利用できます。次のプラグインを使用できます。

- [Now Assist for Customer Service Management \(CSM\)](#)
- [Now Assist for IT Service Management \(ITSM\)](#)
- [Now Assist for HR Service Delivery \(HRSD\)](#)
- [Now Assist for Field Service Management \(FSM\)](#)
- [Now Assist for Creator](#)

i 注:

プラグインで利用できる Now Assist 生成 AI 機能は異なる場合があります。

詳細については、「[Install Now Assist plugins](#)」を参照してください。

その他の要件

Now Assist パネルを使用するには、Next Experience UI フレームワーク を有効にする必要があります。

ブラウザ要件

Now Assistは、次のようなGoogle ChromeMicrosoft Edgeさまざまなブラウザをサポートしています。Now Assist ではサポートされていませんMicrosoft Internet Explorer

ローカライズ情報

Now Assist は現在、英語でのみご利用いただけます。

関連 **ServiceNow** アプリケーションと機能

[Agent Chat](#)

エージェントチャット は、エージェントと要求者がエージェントとエンドユーザーのチャットエクスペリエンスを簡素化するために使用できるさまざまな機能を備えています。エージェントチャット には、マネージャーがエージェントを監視および支援するために使用できる機能もあります。

[Customer Service Management](#)

ServiceNow カスタマーサービス管理 (CSM) アプリケーションを使用すると、外部顧客が必要とするサービスとサポートを提供できます。たとえば、顧客は Web、メール、チャット、電話、ソーシャルメディアを通じてコミュニケーションを取り、サポートを受けることができます。

[Field Service Management](#)

フィールドサービス管理 (FSM) を使用すると、作業指示書と関連タスク、リソース、スキル、資産、場所を管理できます。このアプリケーションを使用して、機器の設置、修理、メンテナンスといったあらゆる現場作業を実行するための作業指示書タスクとエージェントを、顧客の現場に派遣できます。

[Flow Designer](#)

フローデザイナー は、プロセスオーナーが作業を自動化できる Now Platform 機能です。複数ステップのフローを再利用可能なコンポーネントからコーディングなしに構築できます。

[Generative AI Controller](#)

生成 AI コントローラーを使用すると、サードパーティの大規模言語モデル (LLM) をワークフローと統合できます。

HR Service Delivery

この ServiceNow HR サービスデリバリー (HRSD) アプリケーションは、従業員にふさわしいサービスエクスペリエンスを提供します。従業員に対してバックエンドの複雑性を見せず自分の作業ニーズを一元的に管理する場所を提供することで、現代的な人員の需要を満たす優れたエクスペリエンスを提供できます。

IT Service Management

ServiceNow IT Service Management (ITSM) ソリューションが提供するスケーラブルなワークフローでは、1 つのクラウドベースプラットフォームを介して IT サービスを管理し、ユーザーに提供することができます。この ITSM ソリューションは、エージェントの生産性の向上、問題の迅速な解決、およびユーザー満足度の向上に役立ちます。

ワークスペース

ServiceNow ワークスペース は、エージェントが問題を検索、調査、解決するためのツールなど、複数のツールを 1 ページに配置したグラフィカルユーザーインターフェイスです。

Predictive Intelligence リリースノート

この ServiceNow 予測インテリジェンスアプリケーションを使用すると、機械学習モデルを作成およびトレーニングして、システムのパフォーマンス、効率、および柔軟性を向上させることができます。はリリースで Washington DC 拡張および更新されました。予測インテリジェンス

Washington DC リリースでの 予測インテリジェンス の特長

- クラスタリングおよび類似性ソリューションに事前トレーニング済みのモデルを使用して、独自のワードコーパスを必要とせずにソリューションの作成をより効率的にします。
- 既存の回帰ソリューションを編集してトレーニングすることはできますが、最初から Washington DC 新しい回帰ソリューションを作成することはできません。

「」を参照してください。 [予測インテリジェンス !\[\]\(9c2e8d1b5bd77cb5c9f83b7a9cff79fd_img.jpg\)](#) 詳細。

予測インテリジェンス を **Washington DC** にアップグレードする際の重要な情報

に Washington DC アップグレードする場合、新しい回帰ソリューションを作成することはできません。既存のソリューションがある場合、それらは引き続きサポートされ、トレーニングと変更はできますが、新しいソリューションを作成することはできません。

類似性ソリューションおよびクラスタリングソリューションへの変更は、にある Washington DC すべてのインスタンスに適用されます。

このリリースでの変更

類似性 およびクラスタリング ソリューションの事前トレーニング済みモデル

新しい事前トレーニング済みモデルでは、新しいソリューションを作成するときに独自のワードコーパスは必要ありません。

廃止

- 新しい回帰ソリューションの作成のサポートが削除されました。既存のソリューションをトレーニングおよび編集することはできますが、新しいソリューションを作成することはできません。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)

人工知能 (AI) を使用してドキュメントから重要な情報を抽出し、分類するために使用します ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)。

タスクインテリジェンス

機械学習モデルを作成してトレーニングし、タスクの作成、トリアージ、調査を自動化します。

IT Asset Management リリースノート

Washington DC リリースには、IT Asset Management の新機能と更新された機能が含まれます。

ソフトウェア資産管理 リリースノート

アプリケーションは ServiceNow ソフトウェア資産管理、ソフトウェアと SaaS アプリケーションのコスト、使用率、コンプライアンス、最適化を系統的に追跡、評価、管理します。ソフトウェア資産管理 アプリケーション は Washington DC リリースで拡張および更新されました。

Washington DC リリースでの ソフトウェア資産管理 の特長

- の Software Asset ワークスペース Success Portal ダッシュボードを使用して、プログラムの成熟度ソフトウェア資産管理を評価および評価します。
- ブラウザ経由でアクセスされ、(DEX) 製品内で設定されたすべてのSaaSアプリケーションを検出して管理します ServiceNow デジタルエンドユーザーエクスペリエンス。
- 実装を合理化することで、ライセンス使用状況ビューの煩雑さを軽減します ソフトウェア資産管理。
- 強化された自分のライセンスを使用する (BYOL) サポートを介して Microsoft Azure Google Cloud Platform (GCP)、サーバーと SQL Server の Microsoft Windows ライセンスコンプライアンスを判断して紹介します。
- ソフトウェアインストールの詳細な分析を取得し、ライセンスなしステータスの背後にある要因を明らかにし、アクションに必要な手順の概要を説明します。

詳細については、「[Software Asset Management !\[\]\(0d5ec72f61334709c3fc9450209b754f_img.jpg\)](#)」を参照してください。

重要:

ソフトウェア資産管理、グローバルライセンスおよびアドバイザリーサービスのデータ収集 Oracle、ライセンスコンプライアンス、ソフトウェア資産管理 ITAM ヘルスチェック、IBM SaaS ライセンス管理およびソフトウェア資産管理プレイブックガイド付きセットアップおよび入手できます ServiceNow Store。詳細については、これらのリリースノートの「アクティベーション情報」セクションを参照してください。

ソフトウェア資産管理 を Washington DC にアップグレードする際の重要な情報

に Washington DC アップグレードした後は、インスタンスに関連する Adobe すべてのカスタマイズや Microsoft 365 インスタンスと ServiceNow の統合をやり直す必要があります。これらの統合の機能はストア SaaS ライセンス管理アプリケーションに移動するソフトウェア資産管理ためです。

- 影響を受けるファイルをカスタマイズした場合、アップグレードプロセスはファイルをスキップし、競合を示します。競合を手動で解決し、古い既存のファイルが削除されていることを確認する必要があります。
- 影響を受けるファイルをカスタマイズしていない場合、ファイルはアップグレードの一部として削除され、新しい sys_id を含むファイルが作成されます。

Washington DC リリースの新機能

自分の成熟度を測定する ソフトウェア資産管理 Success Portal を介したアプリケーション

Success Portal ダッシュボードを使用して、組織内のアプリケーションの成熟度を測定し、価値リターン ソフトウェア資産管理 を改善します。効率的に使用 ソフトウェア資産管理 するために重点を置く必要がある機能を視覚化、識別、およびレポートできます。

すべてのアプリケーションの使用状況を完全に可視化 SaaS applications

ブラウザを介してアクセスされ、(DEX)製品内でServiceNow デジタルエンドユーザーエクスペリエンス設定されたすべての有料または無料のSaaSアプリケーションを検出して管理します。ブラウザーアクティビティからのシャドウ分析レポートで、これらのアプリケーションにアクセスするすべてのユーザーを表示することで、SaaS シャドウ IT 支出をより効果的に管理します。このレポートには、これらのアプリケーションの使用状況と、各アプリケーションが使用された期間も表示されます。

すべての Okta ユーザーのライセンスを管理

ユーザーのサブスクリプションを作成して、ユーザーライセンスOktaを管理しますOkta。

統合 Salesforce Marketing Cloud OAuth 2.0 資格情報の使用

OAuth 2.0 資格情報を使用して統合 Salesforce Marketing Cloud し、メールとSMS の連絡先数を表示します。

の資格情報セットアップの簡素化 Adobe OAuth サーバー間資格情報を使用した統合

OAuth 資格情報を使用してサービスをインスタンスと統合Adobe Cloudすることで、ServiceNow資格情報のセットアッププロセスを簡素化します。は、サービスアカウント (JWT) 資格情報から OAuth サーバー間資格情報に移行しています。Adobe詳細については、[Adobe 移行ガイド](#)。

ライセンス使用状況ビューの読みやすさを向上させるには、次を段階的に実装します。 ソフトウェア資産管理

最初に管理する少数のソフトウェア製品だけに焦点を当て、フェーズごとの ソフトウェア資産管理 実装を実行します。進捗状況を評価することで、実装過程を徐々に立ち上げることができます。このアプローチにより、[ライセンス使用状況] ビューの煩雑さを軽減し、現在の実装フェーズの一部であるソフトウェア製品についてのみレポートすることができます。

管理 Red Hat コアベースのライセンス製品とその消費を追跡 ソフトウェア資産管理 のパブリッシャーパック Red Hat Enterprise Linux (RHEL)

製品およびRed Hat Enterprise Linux for Virtual Datacenters製品のコアベースのライセンスポジションRHELを管理します。コアベースのライセンス測定基準を使用すると、ホストレベルで権限消費の正確な測定を追跡できます。

のライセンスコンプライアンスの確認 Microsoft Windows 上のサーバー Azure 新しいライセンスルールに従って Microsoft BYOL サポートあり

改善された BYOL サポートを活用して、ライセンスコンプライアンスを評価し、上の Server と SQL Server Azureに必要なMicrosoft Windows修正措置を実装します。このプロセスにより、の Azure ライセンス コンプライアンスが による Microsoft最新のライセンス ルールの変更と一致していることを確認できます。

でのソフトウェアとそのライセンスタイプの検出 Google Cloud Platform (GCP) BYOL サポートの使用

Server および SQL Server のMicrosoft Windows拡張 BYOL サポートを使用して、ソフトウェアとソフトウェアのライセンスタイプを検出しますGCP。の追加サポート GCPにより、オンプレミスとクラウドのハイブリッド インフラストラクチャ全体で Server と SQL Server のソフトウェア コンプライアンス Windows を判断できま

す。ソフトウェアがコンプライアンス違反の場合にも、修復アクションを実行できます。

拡張ソフトウェアライセンス機能を使用して、エディションレベルで製品のライセンス性を管理します [🔗](#)

コンテンツサービスライブラリーからの毎週の更新を活用して、エディションレベルでの製品のライセンス性に対処します。ソフトウェア資産管理。エディションレベルで強化されたソフトウェアライセンス機能を使用すると、ライセンス付与できない製品に対して独自の例外ルールを定義し、コンテンツサービスライブラリに更新できます。

最適化 Microsoft 365 使用状況を追跡する Discovery ソリューションへの依存度が低いサブスクリプション [🔗](#)

最新のアクティビティ日に基づいて、アクティブ、非アクティブ、および未アサインのサブスクリプションの詳細な概要を使用して、サブスクリプションServiceNowを管理しますMicrosoft 365。この機能により、使用状況を追跡するために SCCM などの Microsoft 検出ソリューションを構成する必要がなくなり、アプリケーションの使用状況データを収集 Microsoft 365 できるようになります。リソース使用量が最適化された個々の Microsoft 365 サブスクリプションを取得できます。

拡張されたライセンス使用状況ビューによる詳細度の向上 [🔗](#)

ライセンスのないソフトウェアのインストールにつながる要因、調整中に無視されたソフトウェア、およびソフトウェアのインストールにユーザーのアクションが必要なインスタンスに関する詳細な情報を取得します。実行する手順に関するガイダンスを受け取り、オプションのアクティブ化に寄与する Oracle インジケータに関する洞察を得て、調整結果を完全に理解します。

管理 Microsoft Windows ガイド付き設定によるサーバーライセンス [🔗](#)

ガイド付き設定を使用して、サーバーとライセンスの管理を構成します Microsoft Windows。前提条件の確認とステップバイステップのウォークスルーは、ソフトウェア資産管理アプリケーションを正常にセットアップするのに役立ちます。

製品ライフサイクルの範囲と可視性の向上 [🔗](#)

おおよそのライフサイクル日付の導入により、ライフサイクルレポートの対象範囲を拡大します。ライフサイクルの日付を選択するプロセスの可視性が向上します。透明性の高い包括的なレポートにより、製品の効果的かつ信頼性の高いサポート終了(EOL)管理が可能になります。

UI の変更

成功ポータルビューの [ツアーを表示] ボタン [🔗](#)

Success Portal の [概要] ページで、[**Take a tour**] ボタンを選択して、一連のスライドを通じて Success Portal でサポートされている機能を確認します。

Microsoft 365 [最適化と削減額] ダッシュボードのサブスクリプションの詳細レポート [🔗](#)

Microsoft 365ソフトウェア資産分析ビューの [最適化と削減額] ダッシュボードページでサブスクリプションの詳細レポートを検索します。レポートには、および Power BI のMicrosoft 365Microsoft Office 365アクティブ、非アクティブ、および未割り当てのサブスクリプションの詳細が表示されます。

このリリースでの変更

Adobe および Microsoft 365 統合機能は次に移動されました: ソフトウェア資産管理 – SaaS ライセンス管理 [🔗](#)

機能拡張と修正を迅速に行うために、Adobe統合Microsoft 365機能はストアSaaS ライセンス管理アプリケーションに移動しソフトウェア資産管理しました。

廃止

- Cisco Webex 会議の統合は展開または拡張されなくなりました。代わりに、[Cisco Webex 統合](#) 会議や他のWebexアプリケーションとWebex統合するためのプロファイル。
- このリリース以降 Washington DC、次の 2 つのクイックスタートテストは廃止されました。
 - SAM - カスタム製品の調整を検証
 - SAM：ライセンスワークベンチでの公開者の固定と固定解除
- Microsoft 365資産分析ビューの最適化と節減額ダッシュボードのサブスクリプションレポートに基づくユーザーアクティビティは廃止されました。このレポートは、新しい Microsoft 365 サブスクリプションの詳細レポートに置き換えられました。

アクティベーション情報

ソフトウェア資産管理は、プラグイン (com.sn_samp_master_ws) を含む Software Asset ワークスペースすべてのソフトウェア資産管理プラグインをアクティブ化すると利用できます。このプラグインをアクティブ化すると、Activate all ソフトウェア資産管理プラグイン (com.sn_samp_master) と Software Asset ワークスペース プラグイン (com.sn_sam_workspace) が自動的にアクティブ化されます。新しいプラグインをアクティブ化すると、クラシックユーザーインターフェイスにアクセスできなくなります。プラグインとその要求方法の詳細については、「」を参照してください [Request Software Asset Management](#)。

Now Platform Washington DCこのリリースでは、クラシック ユーザー インターフェイスのサポートソフトウェア資産管理が制限されています。新しいリリースにアップグレードする場合を含め、インスタンス内でアクティブなままになっている間は、新しい Now Platform ワークスペースに移動して、直感的でパーソナライズされたエクスペリエンスを実現できます。

より Utah前のリリースの場合、古い ソフトウェア資産管理プラグイン (com.sn_samp_master) をアクティブ化した場合、プラグイン Software Asset ワークスペース (com.sn_sam_workspace) を有効にすると Software Asset ワークスペース、が利用可能になります。ワークスペースプラグインをアクティブ化した後は、クラシックユーザーインターフェイスに戻すことはできません。プラグインの詳細と要求方法については、「[Software Asset Management プラグインの要求](#)」を参照してください。

を有効にするには Next Experience、`glide.ui.polaris.experience` インスタンスのシステムプロパティが true に設定されていることを確認してください。

からServiceNow Store要求して、次のソフトウェア資産管理アプリケーションをインストールします。[ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

- ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理
- Oracleグローバルライセンスおよびアドバイザリーサービスのデータ収集
- IBM のライセンスコンプライアンス ソフトウェア資産管理
- ITAM 健全性チェック
- ソフトウェア資産管理 Playbook と ガイド付きセットアップ

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

Hardware Asset Management

ServiceNow ハードウェア資産管理 アプリケーションは、資産環境を追跡および管理するための高度なワークフロー、自動化、およびモバイル機能を提供します。

Enterprise Asset Management

ServiceNow エンタープライズ資産管理 アプリケーションを使用すると、接続されているエンタープライズ資産と接続されていないエンタープライズ資産のライフサイクル全体を管理できます。また、エンタープライズ資産を維持し、コストのかかるダウンタイムを最小限に抑え、エンタープライズ資産のユーザビリティを最大化するための包括的なエンドツーエンドのソリューションを提供します。

クラウドコスト管理

ServiceNow クラウドコスト管理アプリケーションを使用すると、クラウド資産に関連付けられているすべてのコストを分析できます。この情報を使用して運用を最適化し、クラウドの消費量を削減できます。

Contract Management

ServiceNow 契約管理 アプリケーションを使用すると、契約の追跡と管理ができます。

Procurement

ServiceNow 調達 アプリケーションは、発注書を作成し、サービスカタログ要求を満たすためのアイテムを取得するのに役立ちます。

ハードウェア資産管理 10.0.0 リリースノート

ServiceNow ハードウェア資産管理 アプリケーションは、テクノロジー資産環境を追跡および管理するための高度なワークフロー、自動化、およびモバイル機能を提供します。ハードウェア資産管理は Washington DC リリースで拡張および更新されました。

Washington DC リリースでの ハードウェア資産管理 の特長

- 資産の総コストに関するインサイトを取得し、その情報を資産一覧内での戦略的計画立案と実行に使用します。
- の成功ハードウェア資産ワークスペースポータルビューを使用して、アプリケーションの成熟度ハードウェア資産管理を評価および評価します。
- から直接受け取ったハードウェア資産の保証の詳細に関する情報 Lenovoが得られます。
- の (TRM) アプリケーションポートフォリオ管理を使用してテクノロジー参照モデルハードウェア製品のオンボーディングを管理します。
- カスタムモデルカテゴリの (HAM) ライセンス方法を簡素化して、ハードウェア資産管理 機能とワークフローにアクセスできるように ハードウェア資産管理 します。

詳細については、「[Hardware Asset Management !\[\]\(95b425611cbd2b8716a140cf67c81822_img.jpg\)](#)」を参照してください。

重要:

ハードウェア資産管理 は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

ハードウェア資産管理 を Washington DC にアップグレードする際の重要な情報

にアップグレード Washington DCした後は、資産の総所有コスト (TCO) について、次のアップグレードシナリオに注意してください。

- アップグレードは、すべての ハードウェア資産管理 フロータスクに対して機能します。
- ワークフロータスクごとにタスク料金表が必要です。
- TCO のアップグレードは、各タスクに対応する経費ラインの資産と経費のカテゴリフィールドに入力します。
- 経費カテゴリは、経費ラインと経費ラインのソースに基づいて入力されます。

- 既存のすべてのモデルの [TCO ベンチマークコスト] と [TCO ベンチマークしきい値] フィールドに手動で入力するか、一括インポート機能を使用して入力する必要があります。
- TCO のアップグレードでは、資産の次のフィールドに値が入力されます。
 - 資産の耐用年数終了:作成日と月単位の有効年限。
 - 資産の最初の使用日:作成日と同じ。
 - 資産 TCO:資産に関連するすべての経費ラインの集計。単純な資産の場合、資産 TCO はその下の経費ラインの合計です。複合資産の場合、資産 TCO は、親資産とその子資産の経費ラインの合計です。

Washington DC リリースの新機能

成功ポータルを通じて Hardware Asset Management アプリケーションの成熟度を測定する

の [成功ポータル] ビューハードウェア資産ワークスペースを使用して、組織内のアプリケーションの成熟度を測定し、価値リターンハードウェア資産管理を向上させます。効率的に使用 ハードウェア資産管理 するために重点を置く必要がある機能を視覚化、識別、およびレポートできます。

資産の総所有コストを理解して分析する

資産の総所有コスト (TCO) を追跡することで、リソースを効率的に管理します。総コストには初期資本コストと運用コストが含まれます。

改善 ハードウェア資産管理 (HAM) カスタムモデルカテゴリのライセンス方法

カスタムモデルカテゴリを、ライセンス可能でオプトインされたリソースカテゴリにリンクされている親モデルカテゴリに関連付けることにより、機能とワークフローにアクセスします ハードウェア資産管理。ITAM ライセンスレポートには、ライセンス可能およびオプトインされたリソースのカテゴリに関連付けられているすべてのカスタムモデルカテゴリが表示されます。ライセンス可能な親モデルカテゴリに関連付けられていないカスタムモデルカテゴリは、ワークフローと機能にアクセスでき ハードウェア資産管理 ません。

から受領した資産保証の詳細の表示と追跡 Lenovo

から Lenovo受け取った保証情報に基づいてハードウェア資産を管理します。ハードウェア資産に関連付けられた保証の詳細を資産フォームで直接表示できます。の [資産運用] ビュー ハードウェア資産ワークスペースを使用して、一元的な場所からすべての保証を表示することもできます。保証の有効期限が近づいているハードウェア資産を追跡し、必要なアクションを実行することもできます。

ハードウェア製品の TRM ライフサイクルフェーズを可視化し、未承認製品を管理する

TRM ライフサイクルフェーズの詳細を使用して、組織内のハードウェア製品を効率的に管理します。これらの詳細により、組織で使用されているいずれかのハードウェア製品が TRM に含まれていないかどうか、または使用が承認されていないかどうかを確認できます。

製品インスタンスを使用して組織の運用資産を管理します

運用資産、構成アイテム (CI)、インストールベースアイテム (IBI) クラスの論理グループである製品インスタンスとして資産を表すことで、アプリケーションおよびワークフローの ハードウェア資産管理 ライフサイクル全体を通じて資産を管理します。一意の製品インスタンス識別子 (PID) は、既存の関連資産、CI、および IBI クラスをリンクします。製品インスタンスでは、資産、CI、および IBI クラスのステータスフィールドが同期されます。

UI の変更

成功ポータルビューの [ツアーを表示] ボタン

[成功ポータルの概要] ページで、[ツアーに参加] ボタンを選択して、一連のスライドを通じて成功ポータルでサポートされている機能を表示します。

資産分析ビューの総所有コストダッシュボード

新しい資産分析ビューの資産総所有コスト (TCO) ダッシュボードには、ベンチマーク TCO に達した、またはそれに近づいている資産の数や、資本計画用の資産などのさまざまなレポートが含まれています。

このリリースでの変更

資産と CI マッピングをキャッシュするシステムプロパティ

システムプロパティを使用すると

`sn_itam_enable_cache_for_asset_ci_mapping`、次のマッピングをキャッシュできます。

- 資産フィールドと CI フィールド
- 資産状態と CI インストールステータス
- 資産ステータスと CI ハードウェアステータス

廃止

廃止は ハードウェア資産管理 コア UI 今後のリリースで予定されています。

このリリース以降 Washington DC、このインターフェイスは限定的なサポートが提供されます ハードウェア資産管理 コア UI。新しい Now Platform リリースにアップグレードする場合を含め、インスタンス内でアクティブなままですが、ワークスペースエクスペリエンスに移行することをお勧めします。詳細については、「[Hardware Asset Workspace !\[\]\(4fe57c3593bf1b21d272ae7ac8dfaf77_img.jpg\)](#)」を参照してください。

アクティブ化情報

ServiceNow Store から要求することで、ハードウェア資産管理 をインストールします。

[ServiceNow Store !\[\]\(7d1d6890825e83a6a4a51febe2dcc7f3_img.jpg\)](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート !\[\]\(5b78f4d8e2942ab203be44f938cc0a7c_img.jpg\)](#)」を参照してください。

関連 **ServiceNow** アプリケーションと機能

IT Asset Management

ServiceNow IT Asset Management には、資産ライフサイクル全体を通じてテクノロジー資産管理の技術、契約、および財務の側面を統合する製品ファミリーが含まれています。

Software Asset Management

ServiceNow ソフトウェア資産管理 アプリケーションにより、ソフトウェアライセンス、ソフトウェアコンプライアンス、およびソフトウェア最適化を追跡、評価、および管理できます。未使用のソフトウェア権限を再利用したり、新しいソフトウェア権限を購入したり、エンタイトルメントの割り当てを管理したりできます。

Enterprise Asset Management

ServiceNow エンタープライズ資産管理 アプリケーションを使用すると、接続されているエンタープライズ資産と接続されていないエンタープライズ資産のライフサイクル全体を管理できます。また、エンタープライズ資産を維持し、コストのかかるダウンタイムを最小限に抑え、エンタープライズ資産のユーザビリティを最大化するための包括的なエンドツーエンドのソリューションを提供します。

Contract Management

ServiceNow[®] 契約管理 アプリケーションを使用すると、契約の追跡と管理ができます。

Procurement[®]

ServiceNow 調達 アプリケーションは、発注書を作成し、サービスカタログ要求を満たすためのアイテムを取得するのに役立ちます。

エンタープライズ資産管理 リリースノート[®]

ServiceNow エンタープライズ資産管理 アプリケーションは、企業の接続されている資産と接続されていない資産のライフサイクル全体を管理します。このエンドツーエンドのソリューションにより、資産の寿命を維持して最大化すると同時に、コストのかかるダウンタイムを最小限に抑えることができます。エンタープライズ資産管理 は Washington DC リリースで拡張および更新されました。

Washington DC リリースでの エンタープライズ資産管理 の特長

- 資産の総コストに関するインサイトを取得し、その情報を資産一覧内での戦略的計画立案と実行に使用します。さらに、経費の内訳の完全な概要にアクセスします。
- アプリケーションを使用して、自分と自分のグループにアサインされた作業指示タスクを表示および管理します ServiceNow モバイルエージェント。
- の改善 Enterprise Asset ワークスペースされた資産フォームを使用して、親子関係を持つ資産のタスクの詳細と階層の可視性を高めます。
- 管理センターは、でのすべての構成および管理タスク Enterprise Asset ワークスペースの中央ハブとして使用します。
- マルチアセットオンボーディング Playbook を使用して、同じモデルの複数の資産を同時にオンボーディングします。単一の Playbook を使用してオンボーディングプロセスをガイドします。

詳細については、「[Enterprise Asset Management](#)」を参照してください。

i 重要:

エンタープライズ資産管理 は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

エンタープライズ資産管理 を Washington DC にアップグレードする際の重要な情報

に Washington DCアップグレードすると、エンタープライズ資産 [sn_ent_asset] テーブルで model_componentフィールドを使用できなくなります。代わりに、資産 [alm_asset] テーブルで新しいmodel_component_idフィールドを使用できます。[ENT - 新しいモデルに移行] コンポーネントスクリプトは、既存のmodel_componentフィールドデータをmodel_component_idフィールドに移動します。

資産の総所有コスト (TCO) について、次のアップグレードシナリオに注意してください。

- アップグレードはすべての エンタープライズ資産管理 フロータスクに対して機能します
- ワークフロータスクごとにタスク料金表が必要です。
- TCO のアップグレードにより、各タスクに対応する経費ラインの [資産] および [経費カテゴリ] フィールドに 入力されます。
- 経費カテゴリは、経費ラインと経費ラインのソースに基づいて入力されます。
- 既存のすべてのモデルの [TCO ベンチマークコスト] と [TCO ベンチマークしきい値] フィールドに手動で入力するか、一括インポート機能を使用して入力する必要があります。
- TCO のアップグレードは、資産フォームの次のフィールドに入力します。

- 資産の耐用年数終了:作成日に月単位の有効年限を加えたもの。
- 資産の最初の使用日:作成日。
- 資産 **TCO**:資産に関連するすべての経費ラインの集計合計。単純な資産の場合、資産 TCO はその下の経費ラインの合計です。複合資産の場合、資産 TCO は、親資産とその子資産の経費ラインの合計です。

Washington DC リリースの新機能

資産の総所有コストを理解して分析する

総コストに初期資本コストが含まれる資産の総所有コスト (TCO) を追跡することで、リソースを効率的に管理します。また、コストを経費カテゴリ別に分類し、各棒をデータソースとする縦棒グラフ形式で比較レポートを表示することもできます。棒グラフのセグメントをクリックすると、各資産の経費が資産名別にグループ化されて表示されます。

® を使用したタスクの管理 ServiceNow モバイルエージェント application

アプリケーションを使用して、自分と自分のグループにアサインされたすべての作業指示タスクを表示および管理します ServiceNow モバイルエージェント。たとえば、次のタスクを実行できます。

- グループタスクを自分に割り当てる
- タスクの完了に要した時間を記録する
- 部品要件の処理
- 資産アクションの管理
- ナレッジ記事へのアクセス

資産フォームでの資産の階層とタスクの詳細の表示

の Enterprise Asset ワークスペースコンテキストサイドバーで資産の階層の詳細を直接可視化します。最大 3 レベルの資産階層をツリー形式で表示し、資産のすべての子を展開して表示できます。資産とその子に関連付けられたタスクを表示することもできます。

一元的な場所からすべての管理タスクを実行する

に簡単にアクセスできるように、の管理センター Enterprise Asset ワークスペースを使用して、すべての管理タスクを実行します。リスクと TCO の構成、モデルカテゴリとリニア資産タイプの作成、モデルと資産の一括インポートなどのタスクを実行します。

マルチアセットオンボーディング Playbook を使用した複数の資産のオンボーディング

マルチアセットオンボーディング Playbook を使用して、複数の資産をすべて同時にオンボーディングします。Playbook の各アクティビティを完了すると、次のアクティビティに移動します。すべてのアクティビティを完了すると、複数の資産が正常にオンボーディングされます。

直感的な Procurement ビューを使用した調達の詳細の表示および管理

調達関連の要求を追跡し、の Procurement ビュー Enterprise Asset ワークスペースを使用して発注書を簡単に管理できます。

作業管理ワークフローを簡素化して生産性を向上

作業指示書タスクの一括クローズ、部品要件の部分的な調達、および作業指示書テンプレートからのチェックリストテンプレートの作成を実行して、作業管理ワークフローを最適化します。

製品インスタンスを使用して組織の運用資産を管理します

運用資産、構成アイテム (CI)、インストールベースアイテム (IBI) クラスの論理グループである製品インスタンスとして資産を表すことにより、アプリケーションおよびワークフローのライフサイクル全体を通じて エンタープライズ資産管理 資産を管理します。

UI の変更

資産運用ビューの調達リスト

[調達] リストが [資産運用] ビューから削除され、の Enterprise Asset ワークスペース [調達] ビューで使えるようになりました。

ドメインフィルター

ドメイン分離を有効にすると、ドメイン フィルターは、Enterprise Asset ワークスペースのすべてのビューの [概要] セクションで使用できます。

Admin Center ビュー

追加された Enterprise Asset ワークスペース [管理者] ビューには、次のオプションが含まれています。

- モデルおよび資産クラスのタブ構成
- モデルカテゴリ
- モデル分類
- リニア資産タイプ
- ストックルーム タイプ
- 一括インポート
- ワークフローアサイン
- TCO 構成
- リスク構成
- 出荷
- 資産ナレッジベース
- 正規化のオプトイン

注:

以前はコア UI インターフェイスにあったリスク構成 UI オプションが、管理センターのビューで利用できるようになりました。

タブの変更

次のタブは別のビューに移動しました。

- [モデル カテゴリ] タブは、[エンタープライズ モデル管理] ビューから [管理センター] ビューに移動されました。
- リニア資産タイプ タブは、エンタープライズ資産一覧ビューから管理センタービューに移動されました。
-

モデル分類リストカテゴリ

モデル分類 リスト カテゴリは、資産運用ビューから管理センター ビューに移動されました。

ストックルームタイプリストカテゴリ

[ストックルームタイプ] リストカテゴリは、[エンタープライズ資産一覧] ビューから [管理センター] ビューに移動されました。

一括インポートリストカテゴリ

一括インポート リスト カテゴリは、資産操作ビューから管理センター ビューに移動されました。

資産分析ビュー

エンタープライズ資産ダッシュボードビューは、資産分析ビューに名前が変更され、エンタープライズ資産ダッシュボードと資産の総所有コストダッシュボードが含まれています。

Knowledge Management アプリケーション

これで、Knowledge Management アプリケーションに の管理ビュー Enterprise Asset ワークスペースからアクセスできるようになりました。

正規化オプトインリストのカテゴリ

正規化オプトインに、の [管理] ビュー Enterprise Asset ワークスペースからアクセスできるようになりました。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求することで、エンタープライズ資産管理 をインストールします。[ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

Field Service Management

この ServiceNow フィールドサービス管理 (FSM) アプリケーションを使用すると、組織は場所に基づく作業をより効率的かつ安全に管理できます。

Contract Management

ServiceNow 契約管理 アプリケーションを使用すると、契約の追跡と管理ができます。

Procurement

この ServiceNow 調達 アプリケーションを使用すると、発注書を作成し、サービスカタログ要求を履行するためのアイテムを取得できます。

Hardware Asset Management

ServiceNow ハードウェア資産管理 アプリケーションは、資産環境を追跡および管理するための高度なワークフロー、自動化、およびモバイル機能を提供します。

クラウドコスト管理 リリースノート

このアプリケーション (旧称 ServiceNow Cloud Insights) を使用するとServiceNow クラウドコスト管理、クラウドリソースのコストを分析して、経費を節約し、組織の運用を最適化する機会を特定して対処できるようになります。 はリリースでWashington DC拡張および更新されました。 クラウドコスト管理

Washington DC リリースでの クラウドコスト管理 の特長

- の クラウドコスト管理ワークスペース支出分析ビューを使用して、Kubernetes クラスターの支出ブレイクダウンに関するインサイトを取得します。
- 共有クラウドのコストを割り当てることで、さまざまなビジネスドメインにわたる Kubernetes クラスターを含む共有クラウドサービスのコストを管理します。

詳細については、「[Cloud Cost Management](#)」を参照してください。

i 重要:

クラウドコスト管理 は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「[アクティベーション情報](#)」セクションを参照してください。

Washington DC リリースの新機能

Kubernetes クラスターの支出ブレイクダウンの分析

クラウド上の Kubernetes クラスターのコストを表示および分析し、期間、コストタイプなどのさまざまなフィルターと、Kubernetes クラスター、Kubernetes 名前空間、タグカテゴリなどのグループ化オプションを使用して結果を絞り込みます。

共有クラウドサービスのコストを管理する

さまざまなビジネスドメインにわたる共有クラウドサービスのコストを表示、分析、および管理し、これらの複数の基幹業務にコストを割り当てます。Kubernetes クラスターの場合、複数の名前空間間でコストを共有できます。

UI の変更

支出分析ページの変更

[支出分析] ページに、クラウド支出分析、Kubernetes 分析、および共有コスト分析情報が含まれるようになりました。

支出ダッシュボードの原価配賦レポート

支出ダッシュボードのコスト割り当てレポートには、クラウドリソースの共有コストと直接コストが表示されます。

運用ビューの共有コスト割り当てポリシー

の「操作」ビュー クラウドコスト管理ワークスペースで共有コスト割り当てポリシーを作成、編集、および表示できるようになりました。

このリリースでの変更

支出分析のシステムプロパティのデフォルト値を更新しました

次のシステムプロパティのデフォルト値が変更されました。

- `sn_cld_spend_core.metricbase_transform_limit`:デフォルト値:20000
- `sn_cld_spend_core.spend_report_per_chunk_workload_size`:デフォルト値:500

廃止

クラウドコスト管理 コア UIインターフェイスとクラウド支出ダッシュボードは、将来的に廃止される予定です。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求することで、クラウドコスト管理 をインストールします。

[ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

このリリース以降 Washington DC、このインターフェイスは限定的なサポートが提供されます クラウドコスト管理 コア UI。新しい Now Platform リリースにアップグレードする場合を含め、インスタンス内でアクティブなままですが、ワークスペースエクスペリエンスに移行することをお勧めします。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

IT Asset Management

ServiceNow IT Asset Management には、資産ライフサイクル全体を通じてテクノロジー資産管理の技術、契約、および財務の側面を統合する製品ファミリーが含まれています。

Software Asset Management

ServiceNow ソフトウェア資産管理 アプリケーションにより、ソフトウェアライセンス、ソフトウェアコンプライアンス、およびソフトウェア最適化を体系的に追跡、評価、および管理できます。未使用のソフトウェア権限を再利用したり、新しいソフトウェア権限を購入したり、エンタイトルメントの割り当てを管理したりできます。

IT Operations Management リリースノート

Washington DC には、IT Operations Management の新機能と更新された機能が含まれます。

ITOM 最適化 リリースノート

ServiceNow ITOM 最適化 アプリケーションは、ライフサイクル全体でクラウドリソースを管理するために使用するクラウドワークフローを自動化します。また、認定されたエンタープライズ準拠のクラウドをデプロイし、コストを可視化し、他のクラウド管理プロセスを管理することもできます。Cloud Provisioning and Governance は、このリリースで拡張および更新されています。

Washington DC リリースでの ITOM 最適化 の特長

- クラウドサービスカタログとともにITOM クラウドアクセラレート使用 はクラウドサービスカタログ、(CPG) のCloud Provisioning and Governance機能を簡素化して拡張します。
- からCloud Provisioning and GovernanceITOM クラウドアクセラレートへの移行時に交換可能なITOM 最適化ライセンスを移動します。
- プラグインを使用したクラウドサービスカタログクラウド管理ポータルからのアクセス従業員センター。従来のクラウドユーザーポータルをスキップして、直接アクセス 従業員センター することもできます。

詳細については、「[ITOM Optimization](#)」を参照してください。

このリリースでの変更

クラウド管理ポータルのリンク

ユーザーポータルへのクラウド管理ポータルリンクが、[Cloud Services Catalog](#) プラグインをインストールしてセットアップしたかどうかを指す従業員センターようになりました。がインストールされている場合 CSC、admin および sn_cmp.cmp_root_admin ロールは、要求ポータルに切り替えながらこの機能にアク

セスできます。Cloud [Services Catalog](#) は、クラウドリソースのライフサイクルを管理するために使用できる ITOM Cloud Accelerate の一部として利用できるようになりました。

ITOM ライセンス

ITOM SU Licensing は ITOM/OT SU Licensing としてリブランドされました。ITOM/OT SU Licensingは、サブスクリプションユニットに基づいて ITOM サブスクリプションの使用率を計算して表示します。アプリケーションと構成アイテム (CI) に割り当てられたライセンスの合計数の包括的な概要にアクセスすると同時に、ライセンスの対象となる特定の CI を可視化する高度な機能セットを提供します。ITOM ヘルス、ITOM ヴィジビリティ、ITOM 最適化、および ITOM クラウドアクセラレート のサブスクリプションブレークダウンを表示できます。詳細については、「[View which CIs have an ITOM license \(ITOM ライセンスを持つ CI の表示\)](#)」を参照してください。

廃止

CAPI およびクラウドの支出と使用状況ダッシュボードの廃止

Washington DC リリース以降：

クラウド API ダッシュボードは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。クラウドサービスカタログアプリケーションでこの機能が提供されるようになりました。

クラウド支出および使用状況ダッシュボードは非表示になり、新しいインスタンスでは有効化されなくなりますが、引き続きサポートされます。Cloud Insights Billing アプリケーションがこの機能を提供するようになりました。

どちらのアプリケーションも、将来の廃止に向けて準備中です。

詳細については、Now Support ナレッジベースの「[アプリケーション/プラグインの廃止プロセス \[KB0867184\]](#)」記事を参照してください。

アクティベーション情報

アプリケーションは Cloud Provisioning and Governance 、CPG (com.snc.cloud.mgmt) プラグインをアクティブ化すると利用できますが、別途サブスクリプションが必要です。詳細については、「[Cloud Provisioning and Governance アプリケーション](#)」を参照してください。

関連 **ServiceNow** アプリケーションと機能

ITOM クラウドアクセラレート

は ServiceNow ITOM クラウドアクセラレート、組織のクラウドの準備状況进行评估し、クラウドアクセラレーションガイドラインを適用するためのワークフローを提供します。

[Cloud Services Catalog](#) は、クラウドリソースにアクセスして管理し、クラウド製品をカタログに簡易的に公開するための 1 つ ITOM クラウドアクセラレート になりました。

[Cloud Configuration Governance](#) は、組織内のクラウドリソースの構成設定を一連のポリシーに照らしてチェックし、違反を特定します。

クラウドアクションライブラリは、すぐに使用できるアクションとサブフローを使用して、組織の [クラウド](#) リソースとやり取りします。

[Cloud Migration Assessment](#) は、エンタープライズ IT リソースと作業負荷をクラウドプラットフォームに再配置するプロセスを計画、整理、および追跡します。

Cloud Operations Workspace

Cloud Operations Workspace は、組織のクラウド操作を管理するための包括的なソリューションを提供します。

ITOM Visibility

ServiceNow ITOM Visibility 製品は、Discovery 、Service Mapping、Tag Governance 、Certificate Inventory and Management、Service  Graph Connectors、CMDB 360、および Firewall Audits and Reporting で構成されています。ディスカバリーとサービスマッピングでは、IT ネットワーク全体と IT ネットワークでサポートされているサービスの統合接続ビューが得られます。

Cloud Provisioning and Governance を備えたサードパーティ製品

次のサードパーティ製品を統合することで、Cloud Provisioning and Governance の機能を拡張します。Cloud Provisioning and Governance:Oracle Cloud (OCI) Terraform Connector 用アドオン 

ITOM クラウドアクセラレート リリースノート

このリリースでは、ServiceNow ITOM Governance の名前が変更され ITOM クラウドアクセラレート ました。製品オフリングは、組織のクラウドの準備状況を評価し、ガイドラインを適用する ITOM クラウドアクセラレート ためのワークフローを提供します。このリリースでは Washington DC 、アプリケーションの機能拡張と更新が行われています。

Washington DC リリースでの ITOM クラウドアクセラレート の特長

- ITOM Cloud Governance は、すべての ServiceNow Cloud Governance 評価アプリケーションに対応するようにITOM クラウドアクセラレートブランド変更されました。
- クラウドリソースにアクセスして管理し、クラウド製品をカタログに公開するための Cloud Services Catalog を体験ServiceNowしてください。
- 改善された新しい要求コンソールを確認して、リソースのライフサイクルと使用状況を制御します。

Washington DC リリースの新機能

クラウドサービスカタログ (CSC) のガイド付き設定

CSC Guided Setup を使用して、Cloud Service Catalog の初期設定を段階的に実行します。プロセスは完了した内容を追跡するため、中断したところから停止して再開できます。

CSC アプリの機能

- すぐに使えるカタログ:クラウドサービスからの要求や自動化には、すぐに使えるさまざまなカタログを使用します。さらに、サポートされているすべてのクラウドプロバイダーに対して独自のカタログアイテムを公開することもできます。従来のカタログアイテムとカスタムカタログアイテムを CPG から Employee Center に公開することもできます。
 - [AWS](#)  すぐに使えるカタログ
 - [Azure](#)  すぐに使えるカタログ
- CSC クラウド サービス要求プロセス: 要求プロセスとページを使用して、クラウドサービスを注文します。
- スタック管理:自分のスタック管理ページを使用して、スタックを表示および操作します。
- リソース管理: [マイ リソース管理] ページを使用して、リソースを表示および操作します。

- 統合: Azure DevOps CI/CD パイプライン統合または Ansible 統合を使用します。
- クラウドセットアップ: クラウドのセットアップには Microsoft Azure または AWS を使用します。

このリリースでの変更

ITOM ライセンス

ITOM SU Licensing は ITOM/OT SU Licensing としてリブランドされました。ITOM/OT SU Licensing は、サブスクリプションユニットに基づいて ITOM サブスクリプションの使用率を計算して表示します。アプリケーションと構成アイテム (CI) に割り当てられたライセンスの合計数の包括的な概要にアクセスすると同時に、ライセンスの対象となる特定の CI を可視化する高度な機能セットを提供します。ITOM ヘルプ、ITOM ヴィジビリティ、ITOM 最適化、および ITOM クラウドアクセラレート のサブスクリプションブレークダウンを表示できます。詳細については、「[View which CIs have an ITOM license \(ITOM ライセンスを持つ CI の表示\)](#)」を参照してください。

アクティベーション情報

Cloud [Service Catalog](#) アプリケーションは、[ITOM Cloud Accelerate](#) エンタイトルメントで利用できます。これらの ITOM クラウドアクセラレート 機能は、[Cloud Accelerate](#) ストアで個別のアプリケーションとして入手できます。

Cloud Services Catalog アプリケーションを起動して使用するための前提条件として Employee Center が必要です ServiceNow 。

注:

Cloud Provisioning and Governance は ITOM エンタイトルメントの一部として既に含まれているため、個別に調達する必要はありません。詳細については、「[Cloud Provisioning and Governance アプリケーション](#)」を参照してください。

ITOM クラウドアクセラレートストアから ServiceNow 要求して機能をインストールします。

これらの ITOM クラウドアクセラレート 機能を使用するには、有効な Cloud Accelerate エンタイトルメントが必要です。ServiceNow 営業担当者に問い合わせ、Cloud Accelerate エンタイトルメントを取得してください。

ライセンスの移行: 交換可能な Cloud Optimization ライセンスをお持ちの場合は、アカウント担当者に連絡して ServiceNow、ライセンス ITOM クラウドアクセラレート を無料で移行してください。

関連 **ServiceNow** アプリケーションと機能

Cloud Configuration Governance

組織内のクラウドリソースの構成設定を一連のポリシーに照らしてチェックし、違反を特定します。

クラウドアクションライブラリ

すぐに使用できるアクションとサブフローを使用して、組織のクラウドリソースとやり取りします。

Cloud Migration Assessment

エンタープライズ IT リソースと作業負荷をクラウドプラットフォームに再配置するプロセスを計画、整理、および追跡します。

ITOM Optimization

ライフサイクル全体でクラウドリソースを管理するために使用されるクラウドワークフローを自動化します。認定およびエンタープライズ準拠のクラウド展開、コストの可視化、およびその他のクラウド管理プロセスを可能にします。

ITOM Visibility

ServiceNow ITOM Visibility 製品は、Discovery、Service Mapping、Tag Governance、Certificate Inventory and Management、Service Graph Connectors、CMDB 360、および Firewall Audits and Reporting で構成されています。ディスカバリーとサービスマッピングでは、IT ネットワーク全体と IT ネットワークでサポートされているサービスの統合接続ビューが得られます。

ライセンス

アプリケーションにアサインされているライセンスの合計数を表示します。

Cloud Services Catalog アプリケーションを使用したサードパーティ製品

Cloud Accelerate とそのコネクタの機能を拡張するには、次のサードパーティ製品を統合します。

- クラウドサービス
 - Amazon Web サービス
 - Microsoft Azure
 - VMware
 - Google Cloud Platform
- Ansible
 - クラウド自動化

ITOM ヴィジビリティ リリースノート

ServiceNow ITOM ヴィジビリティ アプリケーションは、IT ネットワーク全体とそのサポート対象サービスのつながりを統合されたビューで表示します。ITOM ヴィジビリティ は Washington DC リリースで拡張および更新されました。

Washington DC リリースでの ITOM ヴィジビリティ の特長

- 管理者ワークスペースを使用してディスカバリー、提案から予測インテリジェンスアプリケーションを検出して追加します。
- 水平検出およびトップダウン検出には、新規および拡張 ディスカバリーとサービスマッピングパターンを使用します。
- トップダウン検出のネットワークの場所と MID 親和性機能を使用して、アプリケーションサービスに必要なリソースをより適切に識別します。
- 依存関係ビューとサービス マップの両方の機能を組み合わせた一元化されたマップを表示します。
- 新しい Content Service フレームワークを使用して、パターンを使用して検出されないアプリケーションやデバイスを検出します。

詳細については、「IT Operations Management」を参照してください。

i 重要:

ディスカバリーとサービスマッピングパターン は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティベーション情報」セクションを参照してください。

Washington DC リリースの新機能

ディスカバリーとサービスマッピングパターン

以下 ディスカバリーとサービスマッピングパターンを使用して検出機能を更新します。

- [IBM WebSEAL Td !\[\]\(aca6fcc8bd95e8255b9ea1b1d08ef300_img.jpg\)](#)
- [Azure 可用性セット !\[\]\(0083087c61cec498ac803a4aec5bb1bd_img.jpg\)](#)
- [NetApp サーバーとクラスター !\[\]\(2e94242fda9f31152eb2b29146bfce46_img.jpg\)](#)
- [ソフトウェア部品表の生成 \[SBOM\]](#)
- [の自分のライセンスを使用する \(BYOL\) AWS, Azure, GCP !\[\]\(680c68b4e62fe5ec9774c1168e904fbf_img.jpg\)](#)
- [データベース管理者 \(DBA\) レポート !\[\]\(0012cbbec5c5a1cf6c111135ad58ebc0_img.jpg\)](#)
- [Citrix NetScaler ロードバランサー !\[\]\(87f26857125315836dd413b717a8c1ec_img.jpg\)](#)
- [Microsoft SQL Server Integration Services \(SSIS\) !\[\]\(615ec7e7e0f3dea1f20d356589f114f8_img.jpg\)](#)
- [SQL Server Analysis Services \(SSAS\) !\[\]\(4de969360fdb54eeda9f21a7a7358827_img.jpg\)](#)
- [SAP Sybase ASE DB カタログ !\[\]\(a2a9cf2d53e65666524c478455611427_img.jpg\)](#)

毎週更新される新しいコンテンツでフレームワークを通じて、パターンを使用して検出されていないアプリケーションやデバイスを検出し、成長および発展途上のインフラストラクチャを可視化します。

Discovery CLI commands

中央集中型インターフェイスとベースシステムコマンドを使用して、ディスカバリーを実行します。

を使用したディスカバリーパターンの実行 Agent Client Collector

の代わりにを使用して水平検出およびトップダウン検出 Agent Client Collector MID サーバーを実行し、クライアントネットワーク上の CI にアクセスします。

トップダウンでのネットワークの場所と MID の親和性 ディスカバリー

MID 親和性を使用して、ネットワークのアプリケーションサービスを作成するのに適した MID サーバー サービスを特定します。

Quick start tests for Service Mapping

新しいアプリケーションまたは統合のアップグレードと展開が完了したら、クイックスタートテストを実行して、サービスマッピング が想定どおりに機能していることを確認します。サービスマッピング をカスタマイズした場合は、クイックスタートテストをコピーし、カスタマイズのために設定します。

UI の変更

Discovery Admin Workspace 1.2.5

ディスカバリー には、アプリケーションのフィンガープリンティング用のワークスペース UI が用意されています。これにより、アプリケーション提案のステータスを追跡および監視できます。

をご覧ください [ServiceNow Store !\[\]\(84f47badaad7772cd95667a7c387a639_img.jpg\)](#) Discovery Admin Workspace アプリケーションを取得するには

このリリースでの変更

拡張機能 ディスカバリーとサービスマッピングパターン

次の拡張機能 ディスカバリーとサービスマッピングパターンを使用して、検出機能を更新します。

- [Docker コンテナ識別子 !\[\]\(cdf2842d82858164c68c92720a337fb9_img.jpg\)](#)
- [Microsoft SQL Server とクラスター !\[\]\(3973dad7f2f3eafb2c144deb79d5c822_img.jpg\)](#)

Service Mapping 統一マップのサポート

ワークスペースから サービスマッピング 一元化された統合ノードマップにアクセスし、依存関係ビューとサービスマップの両方の機能を表示します。

候補を含むマップされていないサーバー

識別されたアプリケーションサービス候補に沿ったマッピングされていないサーバーを使用して、新しいアプリケーションサービスを作成します。

変更 [ServiceNow ITOM SU Licensing application](#)

変更後の名前は ServiceNow ITOM SU LicensingServiceNow ITOM/OT SU Licensing です。

廃止

CAPI の廃止

リリース以降 Washington DC、クラウド API ディスカバリー は将来の廃止に備えて準備されます。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。パターンベース ディスカバリー は、CAPI 機能の最新のエクスペリエンスを提供します。

詳細については、Now Support ナレッジベースの「[アプリケーション/プラグイン廃止プロセス](#)」の[記事 \[KB0867184\] !\[\]\(a8f9309f944226d1420f5fed22e2b6e6_img.jpg\)](#) を参照してください。

アクティベーション情報

ITOM ヴィジビリティ は、Discovery (com.snc.discovery) プラグインと Service Mapping (com.snc.service-mapping) プラグインのアクティベーションで利用可能ですが、ITOM ヴィジビリティ のサブスクリプションが必要です。詳細については、「[Discovery の要求 !\[\]\(899d8b7697d64725bf017d3296cfcf1b_img.jpg\)](#)」と「[Request Service Mapping \(Service Mapping の要求\) !\[\]\(0ebab762d40f83060a78901ea4d00815_img.jpg\)](#)」を参照してください。ITOM ヴィジビリティ のすべての機能を使用するには、ServiceNow Store から最新の ITOM ヴィジビリティ 帯域外アプリケーションをインストールしてください。リリースされたすべてのアプリの累積リリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

関連 **ServiceNow** アプリケーションと機能

ITOM ヘルス

ServiceNow ITOM ヘルス 製品には、ServiceNow イベント管理 アプリケーションと ServiceNow 測定基準インテリジェンス アプリケーションが含まれています。これらにより、組織内のサービスの健全性を追跡して管理できます。

イベント管理 は、サードパーティの監視ツールおよび ServiceNow 内部エージェントがキャプチャしたインフラストラクチャイベントからアラートを収集します。 イベント管理 は、アラートを構成アイテムにマッピングできるように、ServiceNow ディスカバリー で収集した IT 関連情報を使用します。収集された情報に基づいて、イベント管理 はすべてのサービス影響度イベントの統合ビューを表示するダッシュボードを提供します。

Agent Client Collector アプリケーションでは、次のことができます。

- サービス可用性を監視する。
- 現在の環境の健全性とパフォーマンスを調べる。
- インフラストラクチャとそのアプリケーションが適切に実行されていることを確認する。

Agent Client Collector は、イベントや測定基準を収集します。Windows または Linux の環境で実行されます。

ITOM 最適化

は、ライフサイクル全体でクラウドリソースを管理するために使用されるクラウドワークフローを自動化します。認定およびエンタープライズ準拠のクラウド展開、コストの可視化、およびその他のクラウド管理プロセスを可能にします。

ITOM ライセンス

ITOM SU Licensing は ITOM/OT SU Licensing としてリブランドされました。ITOM/OT SU Licensingは、サブスクリプションユニットに基づいて ITOM サブスクリプションの使用率を計算して表示します。アプリケーションと構成アイテム (CI) に割り当てられたライセンスの合計数の包括的な概要にアクセスすると同時に、ライセンスの対象となる特定の CI を可視化する高度な機能セットを提供します。ITOM ヘルス、ITOM ヴィジビリティ、ITOM 最適化、および ITOM クラウドアクセラレート のサブスクリプションブレークダウンを表示できます。詳細については、「[View which CIs have an ITOM license \(ITOM ライセンスを持つ CI の表示\)](#) 」を参照してください。

ITOM ヘルス [®] リリースノート

ServiceNow ITOM ヘルス 製品には、イベント管理、Agent Client Collector、およびヘルスログアナリティクス アプリケーションが含まれています。ITOM ヘルス を使用すると、組織内のサービスの健全性を追跡して管理できます。ITOM ヘルス は、Washington DC リリースで機能拡張と更新が行われています。

Washington DC リリースでの ITOM ヘルスの特長

Event Management の特長：

- コネクタのルールの所有権と実行がチーム レベルで行われていることを確認します。このようにして、一貫性と階層を維持しながら、チームに柔軟性とカスタマイズオプションを提供できます。
- 本番環境から非本番環境へのイベントのストリームを作成することで、テストサイクルを短縮します。これにより、本番環境を変更することなく、イベントルール、イベントフィールドマッピング、アラート管理ルール、およびアラート相関を直接テストおよび評価できるようになります。

Agent Client Collector の特長：

- 構成データファイルを使用して、インスタンスデータをエージェントに直接提供します。
- クラスター内の Kubernetes リソースを継続的に検出し、リソースの変更が で更新 構成管理データベース (CMDB)されていることを確認します。

Health Log Analytics の特長：

- カタログを介した要求 ヘルスログアナリティクス の Now Support スケーリング。
- 新しいServiceNowインフラストラクチャを使用して、スケーラブルで安定した方法でヘルスログアナリティクスログをストリーミングします。

i 重要:

ITOM ヘルス は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリース ノートの「アクティベーション情報」セクションを参照してください。

Washington DC リリースの新機能**拡張システムプロパティ**

Agent Client Collector エージェントディスカバリー、自動 MID サーバー選択、エラーメッセージログの機能強化など、強化されたポリシー計算とフレームワーク設定のシステムプロパティを使用して、の動作を監視します。

チェックに追加された構成データファイル

インスタンスデータをエージェントと通信することで、Agent Client Collector で のデータ収集を強化します。構成データ・ファイルは、エージェントの関連する MID サーバー。

Kubernetes クラスター内のリソースの継続的な検出

インスタンスに資格情報を入力することなく、オンプレミス環境とクラウド環境に展開されたクラスター内の Kubernetes リソースをほぼリアルタイムで継続的に検出します ServiceNow。リソースの変更をインスタンスに迅速に報告し、構成管理データベース (CMDB)

スケーリング ヘルスログアナリティクス ログ取り込みの増加をサポートするため

高度な ServiceNow インフラストラクチャを使用して、スケーラブルで安定した方法でログデータをストリーミングします。AI エンジン、ヘルスログアナリティクス 組織によるログ取り込みの増加に応じて動的にスケーリングするように拡張されています。

このリリースでの変更**クラウドリソースの測定基準の取得**

ポリシーを使用して Azure、クラウド内の仮想リソースの高パフォーマンス測定基準を取得します。

MID Server の自動選択

- 自動 MID サーバー選択中に代替通信ポイントとして使用する追加情報 MID サーバーを受信します。
- デフォルトでは、自動 MID サーバー 選択はオフになっています。

ITOM ライセンス

ITOM SU Licensing は ITOM/OT SU Licensing としてリブランドされました。ITOM/OT SU Licensing は、サブスクリプションユニットに基づいて ITOM サブスクリプションの使用率を計算して表示します。アプリケーションと構成アイテム (CI) に割り当てられたライセンスの合計数の包括的な概要にアクセスすると同時に、ライセンスの対象となる特定の CI を可視化する高度な機能セットを提供します。ITOM ヘルス、ITOM ヴィジビリティ、ITOM 最適化、および ITOM クラウドアクセラレート のサブスクリプションブレイクダウンを表示できます。詳細については、「[View which CIs have an ITOM license \(ITOM ライセンスを持つ CI の表示\)](#)」を参照してください。

アクティベーション情報

ITOM ヘルス は、イベント管理 プラグイン (com.snc.apm) をアクティブ化すると利用できます。の操作ヘルスログアナリティクスを有効にするには、より包括的な ITOM ヘルスパッケージである

ITOM Predictive AIOps を購入する必要があります。詳細については、「[Event Management setup](#)」を参照してください。

関連 **ServiceNow** アプリケーションと機能

ITOM Visibility

ITOM ヴィジビリティ 製品は、[Discovery](#)、[Service Mapping](#)、証明書インベントリと管理、サービスグラフ コネクタ、CMDB 360、および ファイアウォール監査 およびレポート で構成されています。ディスカバリー および サービスマッピング では、IT ネットワーク全体と IT ネットワークでサポートされているサービスの統合接続ビューが得られます。

ITOM Optimization

ITOM 最適化 製品には、[Cloud Provisioning and Governance](#) 機能が含まれています。この機能を使用して、プライベートとパブリッククラウドインフラストラクチャ およびサービスをプロビジョニングし、一貫した管理とコストの可視化を実現できます。

イベント管理 リリースノート

このServiceNow イベント管理アプリケーションを使用すると、単一の管理コンソールでデータセンター全体の健全性の問題を特定できます。は、検出されたサービス、アプリケーションサービス、および自動アラートグループのアラート集計を提供します。はリリースでWashington DC拡張 および更新されました。 イベント管理イベント管理

Washington DC リリースでの イベント管理 の特長

- チームレベルでコネクタの所有権とルールの実行を確保し、一貫性と階層を維持しながら、チームに柔軟性とカスタマイズオプションを提供します。
- 本番環境から非本番環境へのイベントのストリームを作成することで、テストサイクルを短縮します。これにより、本番環境を変更することなく、イベントルール、イベントフィールドマッピング、アラート管理ルール、アラート相関などを直接テストおよび評価できます。

詳細については、「[Event Management](#)」を参照してください。

Washington DC リリースの新機能

Team-based integrations in Event Management

チームレベルでコネクタの所有権とルールの実行を確保し、一貫性と階層を維持しながら、チームに柔軟性とカスタマイズオプションを提供します。

統合の所有権と構成アイテム (CI) の所有権に基づいてアラートの割り当てを自動化し、統合システムを担当する適切なチームメンバーにアラートがルーティングされるようにします。

Event forwarding

本番環境を変更することなく、非本番環境の 1 つの ServiceNow インスタンスから他のインスタンスにイベントを転送するため、イベント処理テストのライフサイクルを短縮できます。

アクティベーション情報

イベント管理 は、イベント管理 プラグイン (com.snc.apm) をアクティブ化すると利用できます。詳細については、「[Request Event Management](#)」を参照してください。

関連 **ServiceNow** アプリケーションと機能

Metric Explorer

Metric Intelligence  の ServiceNow Agent Workspace は、アラートに関連付けられた CI の健全性を表示できる中央インターフェイスを提供します。CI の健全性の詳細には、コントロール限界を含むさまざまな測定基準グラフと単スコアグラフの集計が含まれます。

Agent Client Collector リリースノート

ServiceNow Agent Client Collector アプリケーションは、システムのサービス可用性、パフォーマンス、およびインフラストラクチャを監視できるツールです。Agent Client Collector は Washington DC リリースで拡張および更新されました。

Washington DC リリースでの **Agent Client Collector** の特長

- エージェント ディスカバリー、自動 MID サーバー 選択、およびエラーメッセージログの拡張 システムプロパティを使用して、ポリシーとフレームワーク構成を監視します Agent Client Collector。
- 構成データファイルを使用して、インスタンスからエージェントに直接データを提供します。
- クラウド内のポリシーの測定基準 Azure を取得します。

詳細については、「[Agent Client Collector !\[\]\(3e2231b1ad3ca8da8658228c00dd08e0_img.jpg\)](#)」を参照してください。

重要:

Agent Client Collector は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティベーション情報」セクションを参照してください。

Washington DC リリースの新機能

測定基準コネクタの機能拡張の使用

エージェントレスの System Center Operations Manager (SCOM) コネクタを使用して、高パフォーマンスの SCOM 測定基準を統合します。

Application patterns for the Agent Client Collector

Agent Client Collector でアプリケーションパターンを実行します。アプリケーションパターンを使用すると、エージェントのホストで実行されているアプリケーションに関する詳細を検出できます。

拡張システムプロパティ

エージェントディスカバリー、自動MID サーバー選択、エラーメッセージログの機能拡張など、拡張されたポリシー計算およびフレームワーク設定システムプロパティを使用して、アプリケーションの動作Agent Client Collectorを監視します。

チェックに追加された構成データファイル

インスタンスデータをエージェントと通信することで、アプリケーションで拡張データ収集 Agent Client Collector を提供します。構成データ・ファイルは、エージェントの関連する MID サーバー。

Mongo DB チェック

メタデータ、メモリ、およびディスク容量に関連する追加の測定基準を使用して、MongoDB リソースを監視します。

Kubernetes クラスター内のリソースを継続的に検出します

可視性に () を使用してCloud Native Operations、クラスター内のKubernetesリソースを継続的に検出します。CNO可視性のために、リソースの変更をインスタンス

に迅速に報告し、.構成管理データベース (CMDB) ヴィジビリティ対応 Agent Client CollectorCNO

クラウドリソースの測定基準の取得

を使用して VMware、クラウド内の仮想リソースの高パフォーマンス測定基準を取得します。

このリリースでの変更

MID Server の自動選択

- 自動MID サーバー選択中に代替通信ポイントとして使用する追加情報MID サーバーを受信します。
- デフォルトでは、自動 MID サーバー 選択はオフになっています。

測定基準ルール

静的しきい値 UI の代わりに測定基準ルール機能を使用して、測定基準アラートを生成するための手動しきい値を設定します。

クラウドリソースの測定基準の取得

チェックとポリシーを使用して Azure、クラウド内の仮想リソースに対する高パフォーマンスの測定基準を取得します。

モニタリングテクノロジーダッシュボード

- およびGCPモニタリングテクノロジーダッシュボードでAWS選択した構成アイテム (CI) で測定基準をフィルタリングします。
- 更新 モニタリングテクノロジーダッシュボード 済み を使用します Azure。ダッシュボードには、インフラストラクチャに関する詳細情報を提供する追加のタブが含まれています Azure。
- モニタリングテクノロジーダッシュボードを表示するには、既存の agent_client_collector_adminロールに加えてdashboard_adminロールが必要です。

エージェントテーブルクリーナー

エージェントテーブルクリーナーを使用して、30 日以上切断されているか非アクティブになっているエージェントレコードを削除します。

SNMP チェック

v3 では、デフォルトで SNMP チェックが機能します。

アクティベーション情報

Agent Client Collector は、イベント管理 がインストールされているインスタンスで Agent Client Collector Framework プラグイン (sn_agent) および Agent Client Collector Monitoring プラグイン (sn_itmon) をアクティブ化すると利用できます。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

Event Management

Agent Client Collector は イベント管理 がインストールされているインスタンス内で機能し、インフラストラクチャコンポーネントを監視します。Agent Client Collector と イベント管理 は、同じデータソースから測定基準データとイベントをプルするコネクタを共有しています。

Health Log Analytics

ヘルスログアナリティクス アプリケーションは、ユーザーに影響を与える前に IT の問題を予測します。このアプリケーションを使用すると、マシンで生成されたログデータをリアルタイムで取り込み、分析し、関連付けることで、問題を迅速に解決できます。

ヘルスログアナリティクス リリースノート

ServiceNow ヘルスログアナリティクス アプリケーションを使用すると、マシンで生成されたログデータをリアルタイムで取り込み、分析し、関連付けることで、IT の問題がユーザーに影響を及ぼす前に予測できます。ヘルスログアナリティクス が通常のパターンからの逸脱を検出すると、潜在的な問題のアラートを発します。ヘルスログアナリティクス は Washington DC リリースで拡張および更新されました。

Washington DC リリースでのヘルスログアナリティクスの特長

- 新しいServiceNowインフラストラクチャを使用して、スケーラブルで安定した方法でヘルスログアナリティクスログをストリーミングします。

詳細については、「[Health Log Analytics](#)」を参照してください。

重要:

ヘルスログアナリティクス は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティベーション情報」セクションを参照してください。

Washington DC リリースの新機能

スケールヘルスログアナリティクス ログ取り込みの増加をサポートするため

高度なServiceNowインフラストラクチャを使用して、スケーラブルで安定した方法でログデータをヘルスログアナリティクスストリーミングします。新しいアーキテクチャでは、認証とログの取り込みに Cloud Services の IT Operations Management (ITOM) キューイング テクノロジーを活用します。

AI エンジン、ヘルスログアナリティクス 組織によるログ取り込みの増加に応じて動的にスケーリングするように拡張されています。

新しいインフラストラクチャに切り替えるには、カタログまたはアカウントマネージャーを介してNow SupportServiceNowスケーリングリクエストを送信します。

このリリースでの変更

Elasticsearch ライブラリで使用する Lucene

Lucene は脆弱性スキャンに表示されることがありますが、悪用される可能性はありません。Lucene は、Elasticsearch データ入力の Health Log Analytics プロジェクトに含まれています。Elasticsearch ライブラリーは Lucene に推移的な依存関係を持っています。ただし、使用されているElasticsearchバージョンには独自の保護手段があり、悪用することはできません。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求することで、ヘルスログアナリティクス をインストールします。[ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

ローカライズ情報

現在利用可能な言語 ヘルスログアナリティクス は、英語 (米国)、英語 (英国)、フランス語、ドイツ語、イタリア語、日本語、スペイン語です。既定の言語は英語 (米国) です。

関連 **ServiceNow** アプリケーションと機能Event Management

イベント管理 アプリケーションは、ヘルスログアナリティクス によって生成されたイベントを使用します。ヘルスログアナリティクス がログデータ内で例外を検出すると、イベント管理 にイベントが送信されます。イベント管理 はイベントを受信し、イベントおよびアラート管理ルールに基づいてアラートを生成します。

Agent Client Collector

バージョン 21.0.1 - 2021 Agent Client Collector 年 9 月以降のヘルスログアナリティクスエージェントデータ入力は、インスタンスにログをServiceNowストリーミングするために使用されます。

MID Server

ヘルスログアナリティクス は ServiceNow MID サーバー 製品を使用して ServiceNow インスタンスにログをストリーミングします。

Service Operations Workspace

ヘルスログアナリティクス は、複数の IT Operations Management (ITOM) ワークフローにおいて統一されたエクスペリエンスを実現する構成可能なワークスペースである ServiceNow サービスオペレーションワークスペース でアラートを生成します。

IT Service Management リリースノート

Washington DC リリースには、IT Service Management の新機能と更新された機能が含まれます。

ベンチマーク リリースノート

このServiceNow ベンチマークアプリケーションでは、重要業績評価指標 (KPI) と傾向を即座に可視化できます。はリリースでWashington DC拡張および更新されました。 ベンチマーク

Washington DC リリースでの ベンチマーク の特長

KPI データ、パフォーマンスの傾向、およびインジケータースコアカードを提供する、ユーザーエクスペリエンスが強化された新しい ベンチマーク ダッシュボードを体験してください。

詳細については、「[Benchmarks !\[\]\(1f56542a42e2413e44a2b2023033aa2e_img.jpg\)](#)」を参照してください。

 重要:

新しい ベンチマーク ダッシュボードは自動的にインストールされ、でも使用できます ServiceNow Store。詳細については、これらのリリースノートの「アクティベーション情報」セクションを参照してください。

廃止

リリース以降 Washington DC、従来のダッシュボードと KPI 詳細ページの推奨事項は、ベンチマーク 将来の廃止に備えて準備されます。従来のダッシュボードは非表示になり、新しいインスタンスにはインストールされなくなりますが、引き続きサポートされます。詳細については、Now Support ナレッジベースの「[Deprecation Process \(廃止プロセス\) \[KB0867184\] !\[\]\(23a2e9ddc7bb0ef55393d38b772a848d_img.jpg\)](#)」の記事を参照してください。

アクティベーション情報

ベンチマーク はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。新しい ベンチマーク ダッシュボードは、とともに自動的にインストール Washington DC され、から ServiceNow Store 利用できます。 [ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Store バージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。詳細については、「[Enable Benchmarks](#)」を参照してください。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

Performance Analytics

ServiceNow パフォーマンスアナリティクス アプリケーションは、組織が管理ダッシュボードを作成し、KPI と測定基準に関するレポートを作成し、重要なビジネス上の質問に回答することで、品質向上とサービスデリバリのコストを削減するのに役立つプラットフォーム内ソリューションです。

Success Dashboard

ServiceNow Success Dashboard を使用すると、リーダーシップチームとプロセスオーナーは、で Now Platform 定義された KPI を使用して、(ITSM) 実装のパフォーマンス ServiceNow IT Service Management に関するインサイトを得ることができます。

Continual Improvement Management

ServiceNow 継続的改善管理 アプリケーションを使用して、改善の機会を要求し、業績目標を達成し、進捗状況を追跡し、成功を評価するためのフェーズとタスクを実装します。

Strategic Portfolio Management

ServiceNow 戦略的ポートフォリオ管理 (SPM) アプリケーションを使用すると、作業をビジネス目標に合わせて、戦略的な優先順位をサポートする方法で製品とサービスを提供できます。

ITSM サクセスダッシュボード リリースノート

この ServiceNow ITSM サクセスダッシュボード アプリケーションは、IT リーダーシップチームとプロセスオーナーにインサイトを提供するため、ITSM 実装のパフォーマンスを測定できます。はリリース Washington DC で拡張および更新されました。ITSM サクセスダッシュボード

Washington DC リリースでの ITSM サクセスダッシュボード の特長

- 運用の成功ダッシュボードを使用して、組織の日常業務の効率と有効性を測定します。
- Now Assist 専用の KPI を使用して、組織のプロセス内のパフォーマンス IT Service Management を追跡します。

詳細については、「[ITSM Success Dashboard indicators](#)」を参照してください。

重要:

ITSM サクセスダッシュボード は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティベーション情報」セクションを参照してください。

Washington DC リリースの新機能

Create an operational success dashboard

リアルタイムの監視、分析、意思決定 ITSM サクセスダッシュボード にアクセスして、ITSM プロセスの効率と有効性を高めます。

ITSM Success Dashboard indicators KPI definitions and formulas

Success Dashboard で の IT Service Management KPI 測定基準Now Assistを分析し、ITSM 実装のパフォーマンスを向上させるためのアクションを実行します。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求することで、ITSM サクセスダッシュボード をインストールします。[ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

関連 **ServiceNow** アプリケーションと機能

Benchmarks

この ServiceNow ベンチマーク アプリケーションでは、主要業績評価指標 (KPI) と傾向を即座に可視化できるほか、同業他社の業界平均や業界のトップパーフォーマーに関連する比較分析情報を得ることができます。

Performance Analytics

ServiceNow パフォーマンスアナリティクス アプリケーションは、組織が管理ダッシュボードを作成し、KPI と測定基準に関するレポートを作成し、重要なビジネス上の質問に回答することで、品質向上とサービスデリバリのコストを削減するのに役立つプラットフォーム内ソリューションです。

HR Success Dashboard indicators

HR Success Dashboard indicators HR リーダーシップチームとプロセスオーナーにパフォーマンスに関するインサイトを提供します。さまざまな KPI を使用して HR 実装のパフォーマンスを測定できます。

コーチング リリースノート

このServiceNow コーチングアプリケーションを使用すると、チームのパフォーマンスを監視し、スキルセットを向上させるために従業員をコーチングできます。 はリリースでWashington DC拡張および更新されました。 コーチング

Washington DC リリースでの コーチング の特長

- のNext Experience UI  ダッシュボードを使用してコーチング分析しますコーチング。
- と統合ServiceNow Universityすることで、ユーザーがスキルを獲得ServiceNowできるようにします。

詳細については、「[Coaching](#)」を参照してください。

重要:

コーチング は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティベーション情報」セクションを参照してください。

Washington DC リリースの新機能

統合 Coaching with Learning による ServiceNow University

と統合Coaching with Learningした後に、 を使用してServiceNow Universityスキルを習得しますServiceNow。

コーチング のダッシュボード Next Experience ユーザーインターフェイス

ダッシュボードを使用してデータを分析しますコーチングNext Experience コーチング。

アクティベーション情報

コーチング は、(com.sn_coaching) プラグインを コーチング アクティブ化すると利用できます。これには個別のサブスクリプションが必要です。詳細については、「[Request Coaching](#)」を参照してください。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

Workforce Optimization for ITSM

を使用して、1 か所 ServiceNow ITSM のワークフォース最適化で人員の生産性を管理および維持します。

Skills Management

スキルを個々のユーザーまたはグループに関連付け、タスクまたはプロジェクトにアサインするために使用します ServiceNow スキル管理。

デジタルポートフォリオ管理 リリースノート

ServiceNow デジタルポートフォリオ管理 アプリケーションを使用すると、サービスとアプリケーションのライフサイクル全体を単一のワークスペースで表示および管理できます。デジタルポートフォリオ管理 (DPM) は Washington DC リリースで拡張および更新されました。

Washington DC リリースでの デジタルポートフォリオ管理 の特長

- 柔軟性を高めるためにホームページを再設計 デジタルポートフォリオ管理 (DPM) しました。これにより、ページのロード速度、ソリューションカードのカスタマイズ、ソリューション要注意属性としきい値の表示ができるようになりました。
- 利用可能なアイテムタイプを更新しました。
- ビジネスアプリケーションのすべてのアプリケーションサービスを表示する重要業績評価指標 (KPI) グループブレイクダウンリストが追加されました。
- KPI グループをコピーして、すべての従属 KPI とマッピングを含む新しい KPI グループを作成する機能が追加されました。
- KPI の詳細を表示し、例外を分析するためDPMに追加されますプロセスマイニング。

詳細については、「[Digital Portfolio Management](#)」を参照してください。

重要:

デジタルポートフォリオ管理 は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティベーション情報」セクションを参照してください。

Washington DC リリースの新機能

Digital Portfolio Management Workspace homepage

- 再設計された DPM ワークスペースホームページで、すべてのソリューションカードを重大度順に表示します。
- に DPM 初めてログインすると、特定のテーブルのユーザー名に基づいて自動生成されたソリューションカードが表示されます。最初のログイン後、ホームページを DPM パーソナライズすることをお勧めします。

i 注:

sn_dpm.dpm_admin ロールを使用すると、ホームページソリューションテーブルを更新して、ワークスペースへの DPM 初回ログイン時 (パーソナライズ前) に表示されるソリューションカードをカスタマイズできます。

Personalize the Digital Portfolio Management Workspace homepage

- ソリューションカードを追加または削除してホームページをカスタマイズします DPM。各ソリューションの [要注意] しきい値を調整して、最も注意が必要なソリューションを確認することもできます。重大度レベルは、良好、中、または重大です。
- ソリューションのカスタマイズリストは、dpm_home_page_item ログインするたびに表示されるようにテーブルに保持されます。このテーブルは、ホームページをカスタマイズするたびに更新されます。

Digital Portfolio Management homepage default solution cards

次のシステムプロパティを使用して、全体的な DPM パフォーマンスを向上させ、ホームページに表示するソリューションカードの数を有効にします。

DPM ホームページソリューションカードのシステムプロパティ

システム プロパティ	ホームページのデフォルトソリューション制限
dpm.homepage.cmdb_ci_service_limit のサービス、サービスオフリング、およびアプリケーションサービスの	750
dpm.homepage.cmdb_ci_business_app_limit ビジネス アプリケーション向け。	250

ソリューション カードは任意の組み合わせで追加および削除できますが、ホームページの DPM ソリューション カードの合計数は 1000 を超えることはできません。

i 注:

sn_dpm.dpm_admin ロールを使用すると、ホームページで DPM システムプロパティの制限を 1000 を超えるソリューションに変更できます。ただし、制限を増やすと、システムのパフォーマンスに悪影響を与える可能性があります。

Configure the Digital Portfolio Management experience

sn_dpm.dpm_admin ロールを持つユーザーは、次のことができます。

- 以下で使用可能なアイテムタイプ DPMを表示または非表示にして、ユーザーエクスペリエンスを設定します。
 - サービス
 - テクニカルサービス

- ビジネスサービス
- アプリケーションサービス
- サービスオフリング
- ビジネスアプリケーション
- 利用可能なアイテムタイプテーブルを更新して、ホームページと個人ポートフォリオでソリューションタイプを表示 DPM または非表示にします。ソリューションタイプの例は、`cmdb_ci_service cmdb_ci_business_app`および です。

i 注:

ソリューションタイプが非表示の場合、そのソリューションは次の DPM 領域から省略されます。

- 自動生成されたソリューションカードの結果。
- アイテムの追加と削除のカスタマイズオプション。
- しきい値更新時のステータス条件を設定します。
- ページがフィルターされます。

View business application details

[実行] タブの KPI グループブレイクダウンリストで、ビジネスアプリケーションのすべてのアプリケーションサービスを確認します。リストには最大 10 個のアプリケーションサービスが表示されますが、ページをめくってさらに詳しく表示することもできます。リストには、ビジネスアプリケーションによってマッピング (または継承) された、最も低い順序の KPI グループの KPI が表示されます。

Copy a KPI group to create a new KPI group in Digital Portfolio Management

に DPM 既存の KPI グループをコピーして、新しい KPI グループを作成します。KPI グループのすべてのレコードとマッピングもコピーされます。KPI グループをコピーした後、新しいグループがニーズに最も合うように、KPI グループのすべての側面を変更できます。

Configure Digital Portfolio Management to integrate with Process Mining

プロセスマイニングを使用して DPM、ソリューションの KPI のステータスを確認し、必要に応じて調整します。for プロセスマイニング には、インシデント、問題、変更、および要求に関するデータをマイニングするためのプロジェクトテンプレートが付属しています。DPMsn_dpm.dpm_admin ロールを使用して、以下で DPM 有効にしますプロセスマイニング。

- ストアから ServiceNow ITSM プロセスマイニング Content Pack をインストールする。
- システムプロパティ `sn_dpm.enable.po.dpm` を true に設定します。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求することで、デジタルポートフォリオ管理 をインストールします。[ServiceNow Store !\[\]\(95b425611cbd2b8716a140cf67c81822_img.jpg\)](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Store バージョン履歴のリリースノート !\[\]\(98475352b625a273242ad989dd0cabc3_img.jpg\)](#)」を参照してください。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

Service Portfolio Management

サービスポートフォリオ管理 (SPM) アプリケーションを使用して、サービスとオフファリングを設定して管理し、ポートフォリオでそれらを整理します。デジタルポートフォリオ管理 アプリケーションでは、これらのポートフォリオの健全性とステータスを表示し、一元的に追跡できます。

Service Builder

デジタルポートフォリオ管理 でサービス情報を表示すると、ServiceNow サービスビルダー アプリケーションにすばやくアクセスしてサービスとサービスオフファリングを作成および編集できます。

重要:

サービスビルダー を使用していて、現在のバージョンの DPM にアップグレードする場合は、同時に サービスビルダー の現在のバージョンにもアップグレードする必要があります。

Performance Analytics

KPI に関するレポートを作成し、測定基準を監視および分析するために使用します ServiceNow パフォーマンスアナリティクス。

Digital Portfolio Management 関連アプリケーションおよびデータソース

その他の関連する ServiceNow アプリケーションは、サービス、サービスオフファリング、ビジネスアプリケーション、およびアプリケーションサービスからデータを取り込み、それらをすべて統合ワークスペースビューに表示します。関連するアプリケーションはすべてオプションであり、デジタルポートフォリオ管理 を使用する必要はありません。

インシデント管理 リリースノート

ServiceNow インシデント管理 は、事業運営に対する影響を最小限に抑え、品質を維持しながら通常のサービス運用状態に戻します。インシデント管理 は Washington DC リリースで拡張および更新されました。

Washington DC リリースでの インシデント管理 の特長

sn_incident_task_assigned_userロールを使用して、エージェントの読み取りおよび書き込みアクセスを管理します。

詳細については、「[Incident Management !\[\]\(f60b7a900783ac3fd531bfd9c111be6d_img.jpg\)](#)」を参照してください。

Washington DC リリースの新機能

インシデントタスクへの読み取りおよび書き込みアクセスのユーザーロール

sn_incident_task_assigned_userロールを持つエージェントに、インシデントタスクレコードの読み取りおよび書き込み操作の権限を増やします。このロールに関連するベースシステム ACL を使用するには、ITSM ロールプラグイン (com.snc.itsm.roles) をインストールして有効にする必要があります。

アクティベーション情報

インシデント管理 は、Incident プラグイン (com.snc.incident) によってデフォルトで有効になります。

オンコールスケジューリング リリースノート

ServiceNow オンコールスケジューリング アプリケーションは、発生した問題を解決するために専任のサポートチームメンバーが対応可能であることを確認できるように支援します。オンコールスケジューリング は Washington DC リリースで拡張および更新されました。

Washington DC リリースでの オンコールスケジューリング の特長

- 委任レコードを別のユーザーにアサインして、エスカレーションポリシーで構成されているオンコールエスカレーション通知を委任します。
- グローバル ユーザーを収容するグループの希望する週の最初の曜日を選択します。
- SSO 認証を使用してカレンダーをダウンロードまたは登録することで、今後のオンコールローテーションに関する通知を受信します。

詳細については、「[On-Call Scheduling](#)」を参照してください。

Washington DC リリースの新機能

Configure preferences for a user group

[週の最初の曜日] フィールドを使用して、グループに希望する週の開始日を選択します。以前は、この設定はシステム全体でのみ使用できました。

Enable users to subscribe to the On-Call calendar

SSO 資格情報を使用してオンコールカレンダーにログインして登録し、今後のオンコールローテーションに関する通知を受け取ります。

Track the progress of an escalation

[ライブエスカレーション追跡] ページの情報アイコン () を使用して、エスカレーションを委任したユーザーを表示します。

アクティベーション情報

オンコールスケジューリング は、プラグイン (com.snc.on_call_rotation) を有効にすると Now Platform オンコールスケジューリング 利用できます。詳細については、「[Activate On-Call Scheduling](#)」を参照してください。プラグインをアクティブ化すると、以下のサードパーティライブラリがアクティブ化されます。

- FullCalendar ライブラリ
- DHTMLX スケジューラ

注:

zboot ユーザーの場合、オンコールスケジューリング (com.snc.on_call_rotation) プラグインがデフォルトで有効になっています。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

Notify

メールに加えて、SMS アラートや音声通話としてオンコールエスカレーション通知を送信できます。ServiceNow 通知 電話会議でオンコールエスカレーションを行います。

ITSM Mobile Agent

アプリでチームメンバー ServiceNow ITSM モバイルエージェント の今後のシフトと休暇要求にアクセスします。エスカレーション通知をモバイルプッシュ通知として送信します オンコールスケジューリング。

Service Operations Workspace for ITSM

で問題を解決するためにServiceNow サービスオペレーションワークスペース問い合わせができるサポートグループの利用可能なオンコールスケジューリングメンバーを特定します。

ITSM モバイルエージェント リリースノート

このServiceNow ITSM モバイルエージェントアプリは、IT エージェントが外出先でインシデントをトリージ、処理、解決できるように設計された、ベースシステムのモバイルファーストエクスペリエンスを提供します。はリリースでWashington DC拡張および更新されました。ITSM モバイルエージェント

Washington DC リリースでの ITSM モバイルエージェント の特長

オンコールメンバーが電話が応答モードの場合でも重要なアラートのプッシュ通知を受信できるように、上書き応答拒否機能を有効にします。この機能は、シフトマネージャーがオンコールメンバーに連絡し、重大なインシデントに対応できることを確認するのに役立ちます。

詳細については、「[ITSM Mobile Agent](#)」を参照してください。

i 重要:

ITSM モバイルエージェント は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティベーション情報」セクションを参照してください。

Washington DC リリースの新機能

Enable Override do not disturb to receive critical alerts

モバイルデバイスが応答不可モードのときに受信する重大なアラートのリストを有効にし、構成するために使用します ITSM モバイルエージェント。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、ITSM モバイルエージェント をインストールします。[ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

サービスビルダー リリースノート

ServiceNow サービスビルダー アプリケーションは、サービスとオファリングを作成および維持するためのガイド付きエクスペリエンスワークフローを提供します。サービスビルダーは、Washington DC リリースで拡張および更新されました。

Washington DC リリースでの サービスビルダー の特長

- Next Experienceテーマを追加しました。
- 承認ワークフローを使用するときに、サービスとサービスオファリングの作成をキャンセルする機能が追加されました。

詳細については、「[Service Builder](#)」を参照してください。

i 重要:

サービスビルダー は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティベーション情報」セクションを参照してください。

Washington DC リリースの新機能

Next Experience UI

Next Experienceで他のアプリケーションNow Platformと一致するServiceNow色、フォント、およびナビゲーションを更新するには、のテーマサービスビルダーを使用します。

Service Builder approval flow

サービスまたはサービスオフリングの作成中または編集集中に [キャンセル] オプションを使用して、レコードに加えた変更をキャンセルします。サービスまたはオフリングの編集集中または作成中に [保存] を選択すると、ドラフトファイルへの編集内容が保存されます。[キャンセル] を選択すると、次の処理が行われます。

- ドラフトレコードに加えられたすべての編集内容を含めて、ドラフトのサービスまたはオフリングレコードが削除されます。
- サービスまたはオフリングがチェックインされ、変更は実装されません。[オフリングの管理] ステップには、「公開済み」ステータスのオフリングが表示されます。
- 承認フローはトリガーされません。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求することで、サービスビルダー をインストールします。 [ServiceNow Store !\[\]\(74d4806277d7e73349d8e8c0897931e9_img.jpg\)](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート !\[\]\(5f42d2cd7ad901bc24e5d35a38c777fd_img.jpg\)](#)」を参照してください。

関連 **ServiceNow** アプリケーションと機能 サービスビルダー

Service Portfolio Management

ServiceNow サービスポートフォリオ管理 (SPM) アプリケーションを使用して、サービスとオフリングを設定して管理し、ポートフォリオでそれらを整理します。ServiceNow デジタルポートフォリオ管理 アプリケーションを使用すると、これらのポートフォリオの健全性とステータスを表示し、一元的に追跡できます。

Digital Portfolio Management

ServiceNow Store から デジタルポートフォリオ管理 (DPM) を追加して、サービスポートフォリオ管理 (SPM) のすべてのデータを 1 か所で表示します。サービスポートフォリオ管理 (SPM) で新しいサービスポートフォリオ構造に移行すると、DPM の重要業績評価指標 (KPI) グループを使用して、サービス、ノード、およびポートフォリオのパフォーマンスについてレポートできます。サービスポートフォリオ管理 (SPM) の新しいサービスポートフォリオ構造は、Utah リリース以降で利用できます。

重要:

DPM を使用していて、現在のバージョンの サービスビルダー にアップグレードする場合は、同時に DPM の現在のバージョンにもアップグレードする必要があります。

Service Catalog

サービスポートフォリオ管理 (SPM) は、アプリケーションのサービスオフリングレベルで ServiceNow サービスカタログ と統合します。既存のカタログからサービスを選択することも、サービスカタログを追加することもできます。

サービスオペレーションワークスペースリリースノート用 **IT Service Management**

ServiceNow サービスオペレーションワークスペース (SOW) アプリケーションは、複数の IT Service Management AND IT Operations Management (ITOM) 機能について統一されたエクスペリエンスを提供する構成可能なワークスペースです。for のインターフェイスサービスオペレーションワークスペースを使用してエージェントエクスペリエンスを構成できます。for ITSMはIT Service ManagementリリースWashington DCで拡張および更新されました。 サービスオペレーションワークスペース

Washington DC リリースでの サービスオペレーションワークスペース for ITSM の特長

- SOW 管理者ユーザーロール (sn_sow_itsm_admin.sow_admin_user) を持つ管理者は、構成にアクセスしてServiceNow インシデント管理表示できますServiceNow アドミンセンター。のアドミンセンターロールの詳細については、「」を参照してください [Admin Center in Service Operations Workspace for ITSM](#)。
- エージェントが、を使用してサイロ ユニバーサル要求で作業するのではなく、部門間のインタラクションを通じてケースまたは要求を効果的に解決できるようにします。
- インシデントフォームでフィールドを選択すると、ドロップダウンリストに複数のフィールドの推奨事項が表示されます。
- ナビゲーションメニューのスケジュールアイコンからスケジュールにアクセスして、オンコールスケジュールを表示および管理します。
- ナビゲーションメニューのチームアイコンからチームにアクセスし、チームを表示および管理します。

詳細については、「[Service Operations Workspace for ITSM](#)」を参照してください。

i 重要:

サービスオペレーションワークスペース for ITSM は ServiceNow Store で入手できます。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

サービスオペレーションワークスペースを **Washington DC** にアップグレードする際の重要な情報

次のアプリケーションに互換性のあるアップグレードバージョンが存在することを確認します。

- サービスオペレーションワークスペース ITSM Applications アプリケーション (sn_sow_itsm_cont)
- サービスオペレーションワークスペース ITOM Applications アプリケーション (sn_sow_itom_cont)

互換性のある **SOW** バージョン

SOW-ITSM (sn_sow_itsm_cont)	SOW-ITOM (sn_sow_itom_cont)
1.1.x	21.0.y
1.2.x	21.1.y
1.3.x	21.2.y、21.5.y、および 21.6.y
2.0.x	22.0.y
2.1.x	22.1.y および 22.y.y
3.1.x	23.y.y
4.0.x	24.y.y

この表で、x はアプリケーションアプリケーション (sn_sow_itsm_cont) のサブバージョン、y はアプリケーションアプリケーション (sn_sow_itom_cont) のサービスオペレーションワークスペース ITSMサービスオペレーションワークスペース ITOMサブバージョンです。

3.0 のアップグレード後、この機能は 推奨フレームワーク 使用できなくなります。代わりに、機能の標準バージョン Recommended Actions for ITSM のみを使用できます。

Washington DC リリースの新機能

Using Universal Request in Service Operations Workspace[®]

ServiceNow ユニバーサル要求このアプリケーションを使用して要求を作成し、他の部門やサービスに接続して要求の解決を支援します。さまざまな部門のチケットステータスとアクティビティストリームを、従業員とエージェント向けに統一され、簡素化されたエクスペリエンスにマッピングできます。

On-Call Scheduling in Service Operations Workspace[®]

ホームページからアプリケーションにアクセスするには ServiceNow オンコールスケジューリング、[スケジュール] メニューを使用します。エージェントは、[スケジュール] メニューを使用して、スケジュールの表示、休暇の申請、通知設定の設定を行うことができます。グループマネージャーは、スケジュールアイコンを使用して、スケジュールと要求を管理し、エスカレーショントリガールールとポリシーを設定し、通知設定の配信チャンネルを作成できます。

チームのアイコンを使用してチームレコードにアクセスします。エージェントは [Teams] メニューを使用してチームのオンコールスケジュールを、グループマネージャーはエスカレーショントリガールール、エスカレーションポリシー、およびチーム設定を設定できます。

アクティベーション情報

サービスオペレーションワークスペースの ITSM はデフォルトでアクティブであり、Washington DC のデフォルトバージョンは 2.1 です。以前のリリースを ServiceNow Store から Washington DC にアップグレードすると、サービスオペレーションワークスペース for ITSM 2.1 が自動的にインストールされます。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

ITSM 向け Now Assist[®]

ServiceNow ITSM の Now Assist アプリケーションを使用して、インシデント情報の要約、解決メモの生成、およびインタラクションのチャット情報を生成します。エージェントがチャットとインシデントのコンテキストを理解し、より迅速な解決策を提案できるようにします。

Change Management[®]

変更のライフサイクルをコントロールし、IT サービスの中断を最小限に抑えて変更を実装します。

Incident Management[®]

ユーザーがシステムを介して インシデント管理 IT の問題を特定し、インシデントを記録できるようにします。インシデントを効率的に追跡、分類、および優先順位付けして、解決に向けて効果的に作業します。

Interaction Management[®]

すべてのコミュニケーションチャンネルに一元的な場所を提供するインタラクションを使用して、着信チャット、電話、ウォークアップ、またはメッセージングインタラクションに迅速に応答します。

On-Call Scheduling[®]

問題を解決するために問い合わせができるサポートグループの対応可能なオンコールメンバーを特定します。

Problem Management[®]

繰り返し発生しているインシデントまたは重大なインシデントの根本原因を特定し、再発を防止します。

Recommended Actions for ITSM in Service Operations Workspace

のインシデントフォーム サービスオペレーションワークスペースのサイドパネルでフィールドの推奨事項とガイダンスを取得します。

Predictive Intelligence

機械学習アルゴリズムは、インシデントを解決するための動的かつコンテキストに応じた推奨事項を提供します。

Task Intelligence for ITSM

機械学習を使用してソリューションベースのモデルを設定、展開、追跡し、重要なビジネス成果を達成します。

Request Management

カタログ要求を使用して、インシデントフローなどの別の IT Service Management フローからカタログ要求フローを開始します。

ServiceNow for Microsoft Teams

サービスオペレーションワークスペース for ITSM が提供する接続エクスペリエンスを介して、ユーザーがコラボレーションできるようにします。

Advanced Work Assignment

可用性に基づいて、インタラクションをエージェントに自動的にアサインします。

Service Level Management

ランITSMディングページとインシデントレコードページでインシデントのサービスレベルアグリーメント (SLA) 情報サービスオペレーションワークスペースにアクセスします。

Walk-up Experience

for を使用してウォークアップインタラクションとキューを簡単に サービスオペレーションワークスペース 管理します ITSM。

Workforce Optimization for ITSM

ITSM のワークフォース最適化 Scheduling を使用してエージェントのスケジュールを管理します。アサインされたトレーニングをレビューおよび完了するために使用します ServiceNow コーチング。

Knowledge Management

セルフヘルプ、トラブルシューティング、およびタスク解決などの情報を含むナレッジ記事をエージェントに提供します。

Notify

プラットフォーム上で SMS および音声チャネルのサポートを提供して、ServiceNow チームや顧客とコミュニケーションをとります。

Service Operations Workspace for ITOM

複数の ServiceNow IT Operations Management (ITOM) ワークフロー用に統一されたインターフェイスを使用して、オペレーターエクスペリエンスを構成します。

Universal Request

ServiceNow ユニバーサル要求 は、エージェントが企業全体でシームレスにケースを解決し、従業員エクスペリエンスを改善できるようにすることで、エンタープライズサービスマネジメント (ESM) またはグローバルビジネスサービス (GBS) に対するカスタマージャーニーを支援します。

ウォークアップエクスペリエンス リリースノート

ServiceNow ウォークアップエクスペリエンス アプリケーションを使用すると、オンサイトサポートチャネルを作成および管理できます。ウォークアップエクスペリエンス は Washington DC リリースで拡張および更新されました。

Washington DC リリースでの ServiceNow® の特長

- インスタンスオプションを使用して、タブの順序を再構成します。
- 15 分のタイムスロットの予約ができます。
- RTL をサポートするサービスポータルテキストの ウォークアップエクスペリエンス 右から左への方向を設定します。

詳細については、「[Walk-up Experience](#)」を参照してください。

アクティベーション情報

ウォークアップエクスペリエンス は、ウォークアップエクスペリエンス プラグイン (com.snc.apm) をアクティブ化すると利用できる Now Platform の機能です。詳細については、「[Activate Walk-up Experience](#)」を参照してください。

ブラウザー要件

からのServiceNow ワークスペースアクセス ウォークアップエクスペリエンス ワークスペースServiceNowでは、モバイル デバイスはサポートされません。

Orlando リリース以降、ServiceNow ワークスペースは Internet Explorer または Microsoft Edge をサポートしません。代わりに、Microsoft Edge Chromium または [ブラウザサポート](#) に記載されている他のサポート対象ブラウザのいずれかを使用してください。

New York またはそれ以前のリリースにおいて、ServiceNow CSM エージェントワークスペースや ServiceNow ベンダー管理ワークスペース などのワークスペースで Internet Explorer 11 または Microsoft Edge を使用している場合は、まず新しいブラウザに移行する必要があります。新しいブラウザにアップグレードした後、少なくとも Orlando リリースにアップグレードできます。詳細については、Now Support ナレッジベースの「[Internet Explorer 11 Performance \(Internet Explorer 11 のパフォーマンス\) \[KB0683275\]](#)」の記事を参照してください。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

ITSM Agent Workspace - Legacy

Walk-up キューの場所にあるインタラクションにアクセスして、インタラクションを完了するために使用しますServiceNow エージェントワークスペース。エージェントをリストから移動し、構成可能なサービスデスクアプリケーションにインタラクションの実行エクスペリエンスを形成します。 エージェントワークスペース

Advanced Work Assignment

個人用の受信ボックスにアクセスします。この受信ボックスでは、を使用してスケジュールとルール構成 ServiceNow 高度なワークアサインメントに基づいて、インタラクションが自動的にアサインにプッシュされます。

ITSM のワークフォース最適化 リリースノート

ServiceNow ITSM のワークフォース最適化 アプリケーションを使用すると、人員の生産性を一元的に管理および維持できます。ITSM のワークフォース最適化 は Washington DC リリースで拡張および更新されました。

Washington DC リリースでの ITSM のワークフォース最適化の特長

と統合ServiceNow Universityすることで、ユーザーがスキルを獲得ServiceNowできるようにします。

詳細については、「[Workforce Optimization for ITSM](#)」を参照してください。

重要:

ITSM のワークフォース最適化 は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティベーション情報」セクションを参照してください。

Washington DC リリースの新機能

統合 [Coaching with Learning](#) による [ServiceNow University](#)

と統合Coaching with Learningした後に、を使用してServiceNow Universityスキルを習得しますServiceNow。

アクティベーション情報

ITSM のワークフォース最適化 (sn_wfo_cfg_itsm) アプリケーションを から要求してインストールしますServiceNow Store。詳細については、「[Activate Workforce Optimization for ITSM](#)」を参照してください。 [ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

関連 **ServiceNow** アプリケーションと機能

[Advanced Work Assignment](#)

ServiceNow 高度なワークアサインメント を使用して、可用性、キャパシティ、スキルによって作業アイテムを自動的にエージェントにアサインします。

[Coaching](#)

ServiceNow コーチング アプリケーションを使用して、従業員のパフォーマンスを監視し、改善します。従業員のスキルを評価し、スキルの向上に必要なトレーニングを受けさせることができます。

[Learning Posts](#)

従業員が適切なタイミングで適切な学習を行えるようにすることで、オムニチャネル学習エクスペリエンスを作成します。

[Performance Analytics](#)

ServiceNow パフォーマンスアナリティクス を使用して重要業績評価指標 (KPI) に関するレポートを作成し、測定基準を監視および分析します。

[Predictive Intelligence](#)

ServiceNow 予測インテリジェンス を使用して、完了した作業に基づいてエージェントにスキルを推奨します。

[Process Mining](#)

ビジネスプロセスを分析し、迅速に最適化します。

[Service Operations Workspace for ITSM](#)

サービスオペレーションワークスペースを使用して、ITSM エージェントのエクスペリエンスを改善し、IT フルフィルメントボリュームをより効率的に管理します。サービスオペレーションワークスペース で ITSM のワークフォース最適化 を使用して、スケジュールを管理し、トレーニングを完了します。

Skills Management

組織が必要とするスキルを評価し、ギャップを特定し、チームの雇用とトレーニングを計画します。

Surveys

基本のサーベイを作成、送信、および回答を収集できます。インストールされている場合は、サーベイ ウィジェットを使用して、内で ServiceNow サービスポータルサーベイを設定することもできます。

Mobile Platform リリースノート

を使用するとServiceNow Mobile Platform、どこからでもインスタンスにアクセスできますServiceNow。 はリリースでWashington DC拡張および更新されました。 ServiceNow Mobile Platform

Washington DC リリースでの Mobile の特長

- モバイル解決メモ生成を使用して作業指示タスクのクローズメモを生成します。
- リアルタイムの条件に基づいて構成可能なポップアップを表示します。
- 強化されたデータビジュアライゼーションのユーザーエクスペリエンスのメリットを活用します。
- 通知設定に関係なく、重大として定義された通知をユーザーに送信します。
- モバイルアプリビルダー と統合 Mobile Publishing されるようになったため、管理者はカスタムブランド化されたアプリ要求を管理し、モバイルアプリを 1 つのツールで構成できます。

詳細については、「[Mobile Platform !\[\]\(faf942dc3e59ce8eb64b4ac481eca7e0_img.jpg\)](#)」を参照してください。

Washington DC リリースの新機能

重大アラートの上書き

モバイルデバイスをサイレントモードまたはサイレントモードに設定している場合でも、ユーザーに重要なアラートを送信します。

動的ポップアップ

リアルタイムの条件に基づいて構成可能なポップアップを表示します。これらのポップアップは、ログインフェーズでも表示できます。たとえば、推定 3 時間の作業で新しいタスクを受け入れたが、作業シフトは 1 時間で終了する予定であることを示すポップアップをユーザーに表示します。

Zero Trust Access のサポート

ゼロトラストアクセスにオプトインして、インスタンスへの ServiceNow エンドユーザーアクセスを制限します。これにより、IP アドレス、場所、ID プロバイダー属性などの要素に基づいて管理者が定義したセキュリティポリシーに従って、ユーザーのロールと権限が調整されます。

起動する追加のエントリーポイントのカスタムマップ画面のサポート 屋内ルート案内

モバイルの埋め込み Web ページまたはプッシュ通知からカスタムマップ画面を起動します。

モバイル解決メモの生成

モバイルで使用 Now Assist し、タスクレコードで提供された情報を使用して、関連する作業指示タスクを要約したクローズメモを生成します。

ServiceNow Store で入手可能な Mobile SDK

ServiceNowモバイルソフトウェア開発キット (SDK) を使用すると、ユーザーは統合開発環境を使用してネイティブ iOS およびAndroidモバイルアプリを開発でき、モバイルアプリから既存のServiceNowデータとワークフローにアクセスできます。

モバイルアプリビルダー

に追加された モバイルアプリビルダー次の機能拡張を使用します。

- すべての Mobile Platform Washington DC 機能のサポート。
- 管理者がカスタムブランド化されたアプリを UI 内でMAB表示できるようにするための統合Mobile Publishing。
- 各モバイルアプリで使用される通知を表示するプッシュ通知管理カテゴリが追加されました。
- 適切な構成を簡素化するためのダウストリームレコードのテーブルフィールドの自動入力。

データビジュアライゼーションのユーザーエクスペリエンス

次の新機能を含む、アップグレードされたデータビジュアル化ユーザーエクスペリエンスを使用します。

- Web-UI とモバイルプラットフォームの両方に対して一元化された構成エクスペリエンス。
- チャートのビジュアライゼーションが強化され、円グラフのビジュアライゼーションが導入されました。
- 、 、 インジケーター、ServiceNow ヘルスログアナリティクスServiceNow パフォーマンスアナリティクスカスタマイズされたデータソースを含むServiceNow ユーザーエクスペリエンスアナリティクス多くのデータソースとの互換性。
- 変数を使用してモバイルダッシュボードのルックアンドフィールをカスタマイズすることにより、ダークテーマを含むテーマ作成オプションを適用する機能。詳細については、これらのリリースノートの「アクセシビリティ情報」セクションを参照してください。

右から左に記述する言語のサポートにアラビア語が追加されました

ServiceNow モバイルアプリでは、右から左に記述する言語の表示がサポートされています。アラビア語は、ヘブライ語に加えて、右から左に記述する言語がサポートされています。テキストとビジュアルコンポーネントは、より一般的な左から右の配置を反映するために右から左に配置されます。

でのオフラインサポート Now Mobile アプリとカスタムアプリ

を使用して構築Mobile Publishingするカスタム アプリを含むServiceNow モバイルエージェント、Now Mobile、およびすべてのアプリのオフライン サポートを構成します。

Now Assist for Mobile 仮想エージェント

ネイティブモバイル仮想エージェントで使用する Now Assist 、生成 AI を使用して、質問に対してより直接的で関連性の高い会話型の応答を提供します。

UI の変更

Mobile Publishing

Mobile Publishing のルックアンドフィールが新しくなりました。これには、埋め込みビデオや、管理者がカスタムブランドアプリを作成する際のガイドとなる前提条件が含まれています。

このリリースでの変更

モバイル Playbook の機能拡張

モバイル Web 画面から、パラメーター化されたスクリプト化された画面、カスタムマップ画面、チャットを含むすべてのネイティブ画面に移動します ServiceNow 仮想エージェント。

Mobile Publishing 機能拡張

で作成された自社用カスタムアプリを使用し、準本番インスタンスで Mobile Publishing 使用します。

このリリースでの削除

モバイルアプリの構成に使用される Mobile Studio はリリース Washington DC から削除されました。モバイル構成はツールとして、Web ベースの UI、モバイルアプリビルダー、モバイルカードビルダー を使用して実行されます。

アクティベーション情報

ServiceNow Mobile Platform はデフォルトで有効な Now Platform[®] の機能です。

アクセシビリティ情報

データの表示方法

データビジュアル化機能のアクセシビリティの改善には、次の更新が含まれます。

- スクリーンリーダーのサポートが強化され、特に VoiceOver 機能に重点が置かれました。この改善により、スクリーンリーダーを使用するユーザーは、データ可視化グラフ内のコンテンツをシームレスにナビゲートして理解できるようになります。
- データビジュアライゼーションチャート内のテキストのサイズを変更できるようになり、読みやすくするために大きなテキストが必要な場合があるユーザーに対応できるようになりました。このサポートにより、コンテンツや機能を失うことなくテキストを大幅に増やすことができます。
- Mobile Platform でダークテーマまたはモードを有効にします。このオプションは一般に、目の疲れを軽減し、読みやすさを向上させるために使用されます。

Now Platform 管理リリースノート [®]

Washington DC リリースでの Now Platform 管理製品の機能拡張と更新について説明します。

Now Platform 管理機能を使用して、組織のビジネスニーズに対応します。管理機能は、すべてのインスタンスでデフォルトで有効です。

AI 検索 リリースノート [®]

このServiceNow AI 検索アプリケーションは、ユーザーにコンシューマーグレードの検索エクスペリエンスNow Platformを提供します。 はリリースでWashington DC拡張および更新されました。

AI 検索

Washington DC リリースでの AI 検索 の特長

- Genius 結果を使用した 自然言語クエリー 平易な言語検索に対して、簡潔で実用的な回答を表示します。
- 検索用語が 2 つある検索に対してクエリーの自動再送信をスキップすることで、検索パフォーマンスを向上させます。
- ストップワードとして定義された検索用語を保持することで、同義語検索の再呼び出しと一貫性が向上します。

詳細については、「[AI Search](#)」を参照してください。

AI 検索 を Washington DC にアップグレードする際の重要な情報

に Washington DCアップグレードすると、AI 検索 新しい Genius 結果を使用するように既存の Genius 結果構成が自動的に更新されます [AI 検索 Genius 結果構成フォーム](#) データを指定しましたこの更新手順では、次の変更が行われます。

- 既存の **Genius** 結果回答タイプ フィールド値を削除します。
- 必要に応じて、**Genius** 結果のロジック フィールドの値を新しい AI 検索 要求 プロセッサー フィールドと AI 検索 応答プロセッサー フィールドに移行します。

インスタンスをにアップグレードした後も、AI 検索以前にシステムプロパティに Washington DC 検索クエリーに複数の用語が含まれている場合に使用するブール検索演算子 (`glide.ais.query.search_operator`) 設定した値は保持されます。複数用語検索で新しい拡張クエリーモードの利点を得るには、このシステムプロパティの値を `AND then OR 2+ key terms` に設定します。システム・プロパティの詳細については AI 検索、「」を参照してください [AI Search system properties](#)。

Washington DC以降、ユーザー [sys_user] テーブルではデフォルトで、インデックス付きレコードはsys_updated_on日付でソートされるのではなく、sys_created_on日付でソートされます。この変更では、のユーザーテーブルのインデックス付きソース AI 検索のインデックスを再作成する必要があります、時間がかかる場合があります。以前のファミリーリリースからアップグレード Washington DC する場合、AI 検索 ユーザーテーブルのインデックス付きソースは自動的にインデックス再作成されません。ユーザーレコードの最新の構成を検索できるようにする必要がある場合は、ユーザーテーブルのインデックス付きソース [のインデックスを手動で再作成](#) できますが、これには時間がかかる場合があります。それ以外の場合は、すべてのレコードのインデックスが再作成されるまで、AI 検索 更新時に個々のユーザーテーブルレコードのインデックスが再作成されます。

Washington DC リリースの新機能

[AND then OR 2+ key terms](#) 複数用語検索クエリーのオプション

システムプロパティの新しい値を使用して、`AND then OR 2+ key terms` 検索クエリーに複数の用語が含まれている場合に使用するブール検索演算子 (`glide.ais.query.search_operator`) 2 つの検索用語を含むクエリーの検索パフォーマンスを向上させます。この値を設定すると、ストップワードの削除後に検索クエリーに 3 つ以上の検索用語が含まれている場合にのみ、AI 検索 [自動クエリー再送信](#) が実行されます。`AND then OR 2+ key terms` は、インスタンス zBoot の Washington DCデフォルト値です。

自然言語クエリー Genius 結果

Genius Results をアプリケーション (NLQ) に追加自然言語クエリーしてAI 検索、大規模なソーステーブルから関連する検索結果を表示します。NLQ Genius 結果では、分かりやすい言葉を使用して検索が解釈され、関連する結果を含むソーステーブルが検索されます。NLQ Genius 結果回答カードには、提案されたソーステーブルが表示され、その結果アナリティクスセンターとCMDBテーブルクエリーが組み合わされ

ます。Genius 結果の回答カードから、提案された各テーブルのレコードを直接プレビューできます。

セマンティック検索

検索用語の意味と意図に一致する結果を検索します。セマンティック検索は、デフォルトの字句検索モードを上書きする代替検索モードです。Now Assist in はセマンティック検索を使用してカタログアイテムとトピックを取得します。in 仮想エージェント AI 検索 はセマンティック検索を使用して、Q&A Genius 結果のキャッシュされた Now Assist 回答を検索します。Now Assist

このリリースでの変更

同義語の一致と拡張では、ストップワードとして定義された用語が保持されます

同義語の一致と拡張を評価するとき、AI 検索 ストップワードとして定義された検索クエリ用語を保持します。この動作により、ユーザーが検索する同義語のバージョンに関係なく、同義語の一致で一貫した結果が返されるようになります。

フィールド変更日 AI 検索 Genius 結果構成フォーム

[AI 検索 Genius 結果構成] フォームで、[**Genius** 結果回答タイプ] 選択肢フィールドが削除されました。**Genius** 結果ロジックスクリプトフィールドは、AI 検索個別の要求プロセッサと AI 検索応答プロセッサスクリプトフィールドに置き換えられました。

アクティベーション情報

AI Search はデフォルトで有効な機能です Now Platform 。

ブラウザー要件

AI 検索 は Internet Explorer をサポートしていません。

ローカライズ情報

AI 検索 は多言語に対応しています。機能別の言語サポートの詳細については、「[Internationalization support for AI Search !\[\]\(799877f5c2f906134441300079881630_img.jpg\)](#)」を参照してください。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

詳細 AI 検索 管理ツール

高度な AI 検索 管理ツール アプリケーションは AI 検索 に新しい機能を追加します。

- 管理者は、AI 検索 の使用状況と構成に関連する測定基準、傾向、およびレポートをダッシュボードで確認できます。
- 管理者は、検索プレビュー UI を使用して検索をテストし、ユーザーの検索結果を把握できます。
- 高セキュリティアクセス権を持つ管理者は、検索プレビュー UI で検索ソースおよびコンテンツセキュリティフィルターをバイパスして、これらのフィルターがユーザーの検索結果にどのように影響するかを確認できます。

Now Assist は次の値のいずれか AI 検索

Now Assist in AI 検索 アプリケーションは、検索機能と生成 AI モデルを組み合わせ、ユーザー検索 Now LLM の質問に、関連記事ナレッジからの実用的な AI 生成回答で回答します。

Knowledge Management

管理者は、ServiceNow ナレッジ管理 Advanced プラグインをアクティブ化して、FAQ [kb_template_faq] テーブルをインストールできます。AI 検索 は、一般的なユーザー検索の質問に対する Q&A Genius 結果の回答として、このテーブルのレコードを返すことができます。

アプリケーションマネージャー リリースノート

この ServiceNow アプリケーションマネージャー アプリケーションを使用すると、アプリ、プラグイン、およびライセンスを管理できます。また、自分が使用できるアプリとプラグインを確認することもできます。アプリケーションマネージャー はリリースで Washington DC 拡張および更新されました。

Washington DC リリースでの アプリケーションマネージャー の特長

- アプリケーションインジケターを使用して、アプリケーションの依存関係のニーズについて学習します。
- アクティビティログの進行状況に基づいてオプションをフィルターします。
- インストール前のモーダルポップアップを使用して、インストール前にアプリケーションについて学習します。
- 依存関係が [ライセンスが必要] 状態の場合、インストールがブロックされているかどうかを検出します。
- 部分検索で検索する条件を満たす可能性があるアプリケーションを見つけます。

詳細については、「[Application Manager](#)」を参照してください。

i 重要:

アプリケーションマネージャー は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティベーション情報」セクションを参照してください。

Washington DC リリースの新機能

Installing applications in Application Manager モーダルポップアップ

追加されたインストール前のモーダルとともに次の情報を表示します。

- アプリケーション構成、主な機能、およびオプション機能の説明。
- AppV2 に関連付けられている主な機能、オプション機能、および依存関係を示します。
- 利用可能な構成と機能を表示します。
- インストールがブロックされている場合、アプリケーション構成にライセンスが付与されていない場合、またはプライマリ機能とオプション機能がライセンスされていない場合のユーザー シナリオを表示します。

インストール後のモーダルの詳細ページでは、互換性、主な機能、およびリリースノートを表示できます。また、インストールまたは更新のオプションも表示されます。

UI の変更

アプリケーションインジケター

ホームページと詳細ページのアプリケーションにインジケターが追加され、依存関係のニーズを通知できるようになりました。

アクティビティログの依存関係のグループ化

依存関係は、インストールの詳細ページを整理するための基準に基づいてグループ化されます。

アクティビティログの進行状況フィルター

進行状況フィルターは、進行状況の状態に基づいてビューに追加されます。

[今すぐ同期] ボタンの更新

[今すぐ同期] ボタンが更新されます。

アプリケーションマネージャー ナビゲーションに追加されました

アプリケーションマネージャー からナビゲーション アドミンセンターに追加されます。

インストール済みでアプリケーションをソート

インストールセクション内に[インストール済みでソート]オプションが追加され、すでにインストールされているアプリケーションを整理できます。

アクティベーション情報

アプリケーションマネージャー はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。

クローン管理コンソール リリースノート

ServiceNow クローン管理コンソールアプリケーションは既存のクローンエンジンに依存しています。これは、インスタンス間でデータをクローンするための統一された管理者エクスペリエンスと強化された可視性を提供します。これは、最もよく使用される自動化の 1 つです。クローン管理コンソール は Washington DC リリースで拡張および更新されました。

Washington DC リリースでの クローン管理コンソール の特長

- 簡素化されたクローン要求エクスペリエンスを体験してください。
- 新しいスケジュールツールでタイミングの競合を防ぐのに役立ちます。
- ダッシュボードを使用して、現在のクローンアクティビティを可視性を高めて表示します。
- ホームページのリストビューで追加のカスタマイズオプションを表示します。
- 国際化は複数の言語で提供されます クローン管理コンソール 。

詳細については、「[Clone Admin Console](#)」を参照してください。

i 重要:

クローン管理コンソール は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティベーション情報」セクションを参照してください。

Washington DC リリースの新機能

Request a clone in Clone Admin Console

このアプリは、さまざまなクローン設定がクローンにどのように影響するかについてのガイダンスと説明を含む、簡素化されたクローン要求ページを備えています。新しい要求ページには、メンテナンス期間とのタイミングの競合を防ぐのに役立つ新しいスケジュール ツールも用意されています。このツールは、インフラストラクチャのメンテナンスと競合するクローンの自動再スケジュールを削減します。

ガイダンス

ガイダンスとユーザーエクスペリエンスに新たな焦点を当て、一部のクローンオプションがクローン時間にどのように影響するかについて追加された新しい情報を使用します。

オンデマンドバックアップオプション

クローンの一部として新しいバックアップを使用します。このオプションは、新しく公開された変更をクローンに含める必要があり、次の夜間バックアップを待ちたくない場合に便利です。

クローンログ

選択すると、[クローンステータス]ページにクローンログを表示するために追加される **[Show Log]** リンクが表示されます。

繰り返しクローン

クローン要求ページのクローン頻度オプションを使用して、繰り返しクローンを作成します。クローン頻度は、週次、4 週間ごと、および **2 週間ごと** です。

i 注:

それぞれが個別のクローン要求として作成されます。変更が必要な場合は、作成される個々のクローン要求を変更する必要があります。

UI の変更

クローンステータス

ホームページでは、コンソールで作成されたクローンのステータスを確認できます。進行中のクローンを選択すると、選択したすべての設定と、クローンが現在存在する正確なステップが表示されます。完了したクローンでは、ロールバックオプションと、クローンをロールバックできる期間が提供されます。この期間は通常 7 日間、共有ダッシュボードの場合は 2 日間です。

このリリースでの削除

クローン要求を配置するためのカスタムクローンプロファイルに少なくとも 1 つのカスタムトリガーを含めるという要件は削除されました。クローン要求を行うためのベースシステムトリガーのみを持つカスタムクローンプロファイルを作成できるようになりました。

アクティベーション情報

クローン管理コンソール はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。

関連 **ServiceNow** アプリケーションと機能

System clone

システムクローンアプリケーションを使用して、データベース内のすべてのものを 1 つのインスタンスから別のインスタンスにコピーします。

Core Now Platform リリースノート

ServiceNow Core Now Platform は、Now Platform のアプリケーションやその他の部分に機能を提供します。Core Now Platform は Washington DC リリースで拡張および更新されました。

Washington DC リリースでの **Core Now Platform** の特長

- フローを作成し、リモートテーブルのトリガーとアクションを設定して、外部ソースからデータを取得します。取得されたデータが大きい場合は、リモートテーブルの拡張キャパシティ機能を使用します。
- GraphQL Explorer で GraphQL API をテストします。

- レコードが変更された直後に監査を作成することで、トランザクションがキャンセルされたときに監査が記録される可能性を低減します。
- 複数レベルの関連レコードをアーカイブするときにカスケードを管理します。

詳細については、「[Administer the ServiceNow AI Platform](#)」を参照してください。

i 重要:

ログエクスポートサービスは、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

AI 検索を Washington DC にアップグレードする際の重要な情報

以前は、トランザクションがキャンセルされた場合に特定の監査可能な操作が記録されませんでした。監査レコードが見つからないこの動作は、レコードの変更と監査の作成前にプラットフォームがレコードの変更の間に一部の操作を実行し、キャンセルされるためです。しかし、現在では、レコードが変更された直後に監査が作成されるため、監査が記録される前にキャンセルされたトランザクションによって操作が中止される可能性が低くなります。この更新を容易にするために、監査はトランザクションと同じスレッドに記録されるようになりました。以前の監査はバックグラウンドスレッドで作成されていました。

この変更により、`glide.db.audit.lazy` プロパティのデフォルト値が `true` から `false` に再定義されます。理想的には、このプロパティはプロパティテーブルで定義されていません。つまり、大部分のインスタンスで、リリースで Washington DC 新しいデフォルト値と動作の使用が開始されるということです。一部のインスタンスでは、このプロパティが値を `true` に設定した状態で挿入されている可能性があります。これは、これらのインスタンスがこの変更を使用して動作を監査できないことを意味します。この更新を利用するには、このプロパティを削除してください。

Washington DC リリースの新機能

GraphQL エクスプローラー

統合された GraphQL テストツールを使用して GraphQL API をテストします。GraphQL Explorer は、GraphQL API の開発とデバッグを容易にします。

での JavaScript モジュールとサードパーティライブラリのサポート ServiceNow SDK

カスタム JavaScript モジュールを作成して、コードの整理と再利用、保守性の向上、SDK によるスコープ対象のアプリケーションでのサードパーティ JavaScript ライブラリの機能の活用を行います ServiceNow。ServiceNow SDK を使用して、カスタムモジュールとサードパーティライブラリ Visual Studio Code を含むスコープ対象のアプリケーションを作成、ダウンロード、変更し、それらのアプリケーションをインスタンスに展開します。

関連レコードのアーカイブの改善

関連レコードを定義するときは、アーカイブ関連レコードごとにアーカイブルールを指定して、カスケードの深さを制御します。アーカイブルールが指定されていない関連レコードはカスケードされません。

カスタムインデックスの削除

テーブルモジュールを使用してカスタムインデックスを削除します。

リモートテーブルのフローロジック

リモートテーブルクエリを取得するフローを構築します。ServiceNow フローデザイナートリガーとアクションの機能を使用して、トリガーに応答し、リモートデータをフェッチします。

ロケールベースの言語ソートを有効にする新しいシステムプロパティ

`guide.ui.condition_builder.sort_labels_by_locale`ロケールベースの言語に従って [表示/非表示] フィルターのフィールドをソートするには、システムプロパティを有効にします。デフォルトでは、システムプロパティは `False` に設定されています。

Syslog レコードの表示 UI アクション

[トランザクション] フォームおよび [アクティブなトランザクション] フォームで新しい **[Syslog レコードを表示]** UI アクションを使用して、トランザクションの実行中に生成されたシステムログエントリを表示します。

このリリースでの変更

プラグインのアップグレードまたはアクティベーションに失敗した場合の警告

プラグインのアップグレード時または有効化時にテーブルの変更または作成操作が失敗した場合に、警告メッセージが表示されるようになりました。

アーカイブルールから除外されたシステムテーブル

特定のテーブルに対してアーカイブルールを作成できなくなりました。

破棄ルールとアーカイブルールのリンク付け

アーカイブ破棄ルールを作成するときに、関連するアーカイブルールを指定する必要があります。アーカイブルールをアーカイブ破棄ルールにリンクすると、アーカイブされたレコードを削除するときのパフォーマンスが向上します。

アーカイブ破棄により削除された周辺機器レコード

ジャーナルエントリ `[sys_journal_field]`、添付ファイル `[sys_attachment]`、およびシステム監査 `[sys_audit]` テーブルの周辺レコードは、アーカイブ破棄中にデータが削除されると自動的に削除されるようになりました。

リモートテーブルの拡張キャパシティ機能

拡張キャパシティを使用すると、取得したデータが 1,000 行を超えた場合に、リモートテーブルに追加の行を格納できます。

キャンセル不可能な監査レコード

新しいデフォルト設定でトランザクションがキャンセルされたときに監査レコードが書き込まれない可能性を低減します。

詳細な委任フォームでの通知と会議への招待の変更

[詳細な委任] フォームの [すべての 通知] オプションと [会議への招待] オプションは、セキュリティ上重要な機密データを含む通知の取得に関する懸念を回避するために、既定で `False` に設定されるようになりました。代理人に委任通知と会議への招待を受信させる場合は、これらのオプションを選択できます。

ログセキュリティの強化

ノードログ行の新しいフィールドを探索して、ログメッセージを生成したスクリプトまたはコンポーネントを特定します。トランザクションの開始行には、行われた要求のタイプを指定する新しいフィールドが含まれています。

廃止

- リリース以降 Washington DC、Internet Explorer と Internet Explorer のモードは Edge サポートされなくなりました。詳細については、Now Support ナレッジベースの [Deprecation Process \(廃止プロセス\) \[KB0867184\]](#)  の記事を参照してください。

アクティベーション情報

Core Now Platform はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。

動的翻訳 リリースノート

Dynamic Translation アプリケーションでは、ServiceNow Dynamic Translation フレームワークで構成された翻訳サービスプロバイダーを使用して、動的に生成されたテキストの翻訳を可能にします。サービスプロバイダーの 1 つが 2024 年に Watson 翻訳サービスの廃止 IBM を発表し、このリリースに影響を与えました Washington DC。

Washington DC リリースでの 動的翻訳 の特長

- Watson Translator サービススポークは IBM、2024 年の廃止の通知を発表しました。

の概要ServiceNow 動的翻訳については、[Dynamic Translation](#) ドキュメントを参照してください。Watson Translator サービススポークに固有の情報については、IBMドキュメントを参照してください[IBM Watson Language Translator Service spoke](#)。

i 重要:

ザ・IBM Watson Translator サービス スポークは、ServiceNow Storeで利用できます。詳細については、これらのリリースノートの「アクティベーション情報」セクションを参照してください。

廃止

- IBM は、すべての地域でクラウド向け IBM Watson Translator サービスの廃止を発表しました。2023 年 6 月 10 日の時点で、新規顧客の [言語翻訳ツール] タイルはクラウド プラットフォームから削除 IBM され、既存の顧客のみが製品にアクセスできるようになります。2024 年 6 月 10 日の時点で、サービスはサポート終了日に達します。2024 年 12 月 10 日をもって、サービスは完全に廃止され、お客様は利用できなくなります。詳細については、「<https://cloud.ibm.com/docs/language-translator?topic=language-translator-release-notes>」を参照してください。

アクティベーション情報

動的翻訳 は、Now Platform プラグイン (com.glide.dynamic_translation) を有効にすると 動的翻訳 利用できる機能です。詳細については、「[Activate Dynamic Translation](#)」を参照してください。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

[Localization Framework](#)

Localization Framework アプリケーションは、構成可能なワークフローを通じて、プラットフォーム全体でアーティファクトの翻訳プロセスを標準化して拡張します。

[Integration Hub](#)

Localization Framework は ServiceNow 統合ハブ スポークを使用して翻訳サービスプロバイダーに接続します。

ローカリゼーションフレームワーク リリースノート

このServiceNow ローカリゼーションフレームワークアプリケーションを使用すると、インスタンス上のテキストを複数の言語に翻訳して、まとまりのあるローカライズされたエクスペリエンスを実現できます。はリリースでWashington DC拡張および更新されました。ローカリゼーションフレームワーク

Washington DC リリースでの ローカリゼーションフレームワーク の特長

- 翻訳要求とフルフィルメントのための新しいハブスポークモデルを使用して、インスタンスをよりスムーズにローカライズします。
- 更新セットを使用してインスタンス間で翻訳を移動し、すべてのユーザーのローカライズエクスペリエンスを標準化します。
- ローカライズされたコンテンツをより詳細に制御するために、スコープ対象のアプリケーション内で翻訳を作成します。

詳細については、「[Localization Framework](#)」を参照してください。

Washington DC リリースの新機能

翻訳要求用の新しいハブスポークモデル

受信した翻訳要求が一元化されたリソースに送信されるように、Localization Framework Hub プラグインを使用してハブインスタンスを構成し、Localization Framework スポークプラグインを使用してスポークインスタンスを構成します。翻訳履行者はハブインスタンスで翻訳を完了でき、それらの翻訳はスポークインスタンスにも適用されるため、翻訳ワークフローが簡素化されます。詳細については、「[Localization Framework Hub and Spoke architecture](#)」を参照してください。

スコープ対象のアプリケーションの翻訳の作成

翻訳はデフォルトでグローバルスコープを使用することがなくなり、スコープ対象のアプリケーションで使用するユーザーエクスペリエンスをカスタマイズできます。

更新セットのあるインスタンス間で翻訳されたテキストを移動する

スコープ翻訳のサポートにより、翻訳されたコンテンツを更新セットのあるインスタンス間で移動できるようになりました。詳細については、「[Localization Framework Properties: Update Set Strategies](#)」を参照してください。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

Dynamic Translation

インスタンス全体でユーザーが生成したテキストのライブ翻訳を有効にして、エージェントの生産性と言語間サポートを向上させます。

Notifications リリースノート

アプリケーションではServiceNow Notifications、重要なイベント、アクション、およびアラートのワークフローでカスタム通知を作成、管理、および送信できます。はリリースでWashington DC拡張および更新されました。 Notifications

Washington DC リリースでの Notifications の特長

- RFC3463に従ってバウンスを生成することがわかっている ID に E メール送信を制限し、管理者がブロックされた ID を制御できるようにします。
- クライアント資格情報フローを使用して、送信メール用の SMTP (簡易メール転送プロトコル) メールアカウントを設定します。
- Eメール送信を、RFC3463に従ってバウンスを生成することがわかっている ID に制限します。

詳細については、「[Notifications](#)」を参照してください。

Washington DC リリースの新機能

SMTP アカウントでのクライアント資格情報フローのサポート

クライアント資格情報フローを使用して、インスタンスで ServiceNow 送信メールの SMTP アカウントを設定します。

メールバウンス管理

既存の静的アクションでイベントパラメーターを使用して、プロバイダー通知でアクションをコンテンツに動的にリンクします。

UI の変更

プロバイダー通知の [カテゴリ] フィールドのアスタリスク。

[カテゴリ] フィールドが必須になりました。

通知アクション可能なコンテンツに新しいフィールドが追加されました

イベントパラメーター **1** にリストされている アクションとイベント パラメーター **2** フィールドにリストされているアクション が追加されました。

このリリースでの変更

プロバイダー通知の動的アクションリンク

プロバイダー通知のアクション可能なコンテンツ作成で、イベントパラメーターと既存の静的アクションを使用して、アクションをコンテンツに動的にリンクします。

プロバイダー通知の必須 カテゴリ フィールド

プロバイダー通知の [カテゴリ] フィールドは必須フィールドです。

アクティベーション情報

Notifications はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。

サブスクリプション管理 リリースノート

このServiceNow サブスクリプション管理アプリケーションを使用すると、サブスクリプションを積極的に管理し、インスタンスでのサブスクリプションの使用状況を監視できます。はリリースでWashington DC拡張および更新されました。 サブスクリプション管理

Washington DC リリースでの サブスクリプション管理 の特長

- 製品サブスクリプションの可視性とコントロールを実現します。
- エンタイトルメントデータのリアルタイムビューにアクセスできます。
- サブスクリプションの使用率を最大化し、サブスクリプションのモニタリングにより十分な情報に基づいて将来の購入について決定を下すことができます。
- サブスクリプションの使用率と割り当てを経時的にトラッキングすることで、予期しないコストを回避します。

詳細については、「[Subscription Management !\[\]\(4c9516d2c24d0d513bc9f84c2e013d65_img.jpg\)](#)」を参照してください。

Washington DC リリースの新機能

サブスクリプションを積極的に管理する

新しいユーザーインターフェイスでは、アクションの対象となるデータに優先順位が付けれ、製品サブスクリプションの概要が表示されます。

サブスクリプションの割り当てに関するインサイトを表示する

サブスクリプションが過剰に割り当てられているタイミングを特定し、割り当て可能なサブスクリプションを表示することで、サブスクリプションの使用率を最大化します。

推奨グループを使用してサブスクリプションを割り当てる

推奨グループを使用してサブスクリプションを割り当てることで、適切なユーザーにエンタイトルメントを付与します。

製品サブスクリプションの問題に対処する

カスタムテーブルとカスタムアプリケーションを製品サブスクリプションにマッピングすることで、コンプライアンスを維持します。

Now Assist 使用状況の監視

エンタイトルメントの概要 Now Assist を表示し、インスタンスの使用状況を追跡 Now Assist します。

サブスクリプション内のアプリケーションへのアクセス権を持つユーザーの表示

アプリケーションにアクセスできるユーザーと、そのユーザーが持つアクセスレベルを決定します。

アプリケーションのインストールステータスの表示

アプリケーションを現在の製品サブスクリプションからインストールできるか、別の製品サブスクリプションからインストールできるかを決定します。

このリリースでの変更

新しい サブスクリプション管理 エクスペリエンス

このリリースでは、従来の サブスクリプション管理 エクスペリエンスは、より効率的で合理化されたインターフェイスに置き換えられました。

このリリースでの削除

- [登録済みユーザー] 関連リストがサブスクリプションフォームから削除されました。
- [登録済みユーザー] 関連リストと [ロールサブスクリプション属性] 関連リストがロールフォームから削除されました。
- [サブスクリプションの管理] 関連リストがグループフォームから削除されました。
- [カスタムアプリケーションインベントリ] モジュールは削除されました。
- App Engine の使用状況ダッシュボードが削除されました。App Engine サブスクリプションの詳細を表示すると、App Engine カスタムテーブル資格付与の詳細にアクセスできます。
- [ドメインコンプライアンスの概要] ダッシュボードが削除されました。サブスクリプション管理ドメイン分離のサポートが終了しました。

アクティベーション情報

サブスクリプション管理 はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。

システムクローン リリースノート

アプリケーションでは ServiceNow システムクローン、本番インスタンスを本番前インスタンスにコピーするなど、データベース内のすべてのものをあるインスタンスから別のインスタンスにコピーできます。

Washington DC リリースでのシステムクローンの特長

- 本番インスタンスを本番前インスタンスにコピーして、本番稼働前に変更をテストします。
- 設定された頻度でクローン作成が自動的に実行されるようにスケジュールして、インスタンスの同期を維持します。
- 除外テーブルとデータブリザーバーを使用して、クローンに必要なテーブルとデータのみが含まれていることを確認します。

詳細については、「[System clone](#)」を参照してください。

廃止

Washington DCリリース以降、従来のシステムクローン要求ページ (clone_instance.do) は将来の廃止に備えて準備されます。Y リリース以降、[要求] ページにアクセスすると (clone_instance.do) にシステムクローンリダイレクト [Clone Admin Console](#) されます。廃止プロセスの詳細については、ナレッジベースの廃止 [プロセス \[KB0867184\]](#) の記事 Now Support を参照してください。

アクティベーション情報

システムクローンはデフォルトで有効な Now Platform の機能です。

関連 **ServiceNow** アプリケーションと機能

[Clone Admin Console](#)

により クローン管理コンソール、統一された管理者エクスペリエンスが提供され、インスタンス間でデータをクローンするための可視性が向上します。

アップグレードセンター リリースノート

ServiceNow アップグレードセンター アプリケーションはアップグレードの計画と管理に役立ちます。アップグレードセンターは Washington DC リリースで拡張および更新されました。

Washington DC リリースでのアップグレードセンターの特長

- 入手可能なさまざまなリリースバージョンをアップグレードプレビューモジュールで確認できます。
- インスタンスを実際にアップグレードすることなく、アップグレードの状況に関するインサイトを得ます。
- アップグレードモニターモジュールで進行中のアップグレードのステータスを監視して最新のアップグレードの概要を表示できます。
- アップグレード履歴モジュールで過去のアップグレードをすべて表示できます。
- プランのアップグレード機能を使用して、アップグレードを加速します。

詳細については、「[Upgrade Center](#)」を参照してください。

Washington DC リリースの新機能

[Managing upgrade risk](#)

スキップされたメタデータファイルのいくつかのカスタマイズが原因で発生する可能性のある競合について通知を受け取り、メタデータファイルのフォームページに新しい UI メッセージを表示します。

[Previous Resolutions related list](#)

[以前の解決策] 関連リストを使用して、選択したスキップ済みレコードの以前のアップグレードからの解決策を表示します。

アクティベーション情報

アップグレードセンター はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。

Zing テキストインデックス作成および検索エンジンのリリースノート

ServiceNow Zing テキストインデックス作成および検索エンジンアプリケーションは、テーブルによるレコードの検索機能を提供します。Zing テキストインデックス作成および検索エンジンは、リリースで Washington DC 拡張および更新されました。

リリースでの Zing テキストインデックス作成と検索エンジンの Washington DC 特長

複数行 サービスカタログ の変数セットのテキストをグローバル検索で検索可能にすることで、検索の再呼び出しを改善します。

詳細については、「[Zing text indexing and search engine](#)」を参照してください。

Washington DC リリースの新機能

複数行の変数セット内のテキストのインデックス作成を有効にする

複数行の変数セットで定義されたコンテンツを持つカタログアイテムを含めるには、グローバル検索リコールを拡張します サービスカタログ。グローバル検索結果に表示するために複数行の変数セットのコンテンツを Zing インデックス作成するようにシステムプロパティを設定します。

アクティベーション情報

Zing テキストインデックス作成および検索エンジンは、Now Platform デフォルトで有効な機能です。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

AI 検索

このServiceNow AI 検索アプリケーションは、およびServiceNow 仮想エージェントのコンシューマグレードの検索エンジンServiceNow サービスポータルServiceNow Now Mobile を提供します。インテリジェントなクエリ機能により、必要な回答をすばやく見つけることができます。

Now Platform 機能リリースノート

Now Platform 機能は Washington DC リリースで機能拡張および更新されました。

System of Action が Now Platform 機能で提供するサービスを展開します。これらのオプション機能を有効にして設定し、カスタムビジネスロジックの作成、データの管理および保護、代替ユーザーインターフェイスの構築を行ないます。

高度なワークアサインメント リリースノート

ServiceNow 高度なワークアサインメント (AWA) アプリケーションは、対応可能性、キャパシティ、およびオプションでスキルに基づいて作業アイテムをエージェントに自動的にアサインします。はリリースでWashington DC拡張および更新されました。AWA

Washington DC リリースでの 高度なワークアサインメント の特長

最大待機時間に達してもpending_acceptアサインがタイムアウトするまでエージェント受信ボックスにステータスの作業アイテムを保持するシステムプロパティが追加されました。

詳細については、「[Advanced Work Assignment](#)」を参照してください。

Washington DC リリースの新機能

システムプロパティを追加しました

システムプロパティは `glide.awa.bypass_max_wait_time.enabled`
`pending_accept` 最大待機時間 に達した場合でも、アサインがタイムアウトするまで
 エージェント受信ボックスにステータス作業アイテムを保持します。このプロパティの
 デフォルトは true です。

アクティベーション情報

高度なワークアサインメント は、Now Platform Glide Advanced Work Assignment プラグイン
 (com.glide.awa) をアクティブ化すると利用できる機能です。詳細については、「[Get started with
 Advanced Work Assignment](#)」を参照してください。

ブラウザー要件

高度なワークアサインメント は、モバイルデバイス、Internet Explorer、または Microsoft Edge
 をサポートしていません。代わりに、Microsoft Edge-Chromium、または「[ブラウザサポート](#)」に
 記載されている他のいずれかのブラウザを使用してください。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

Now Assist

ServiceNow Now Assist は生成 AI を使用します。この AI は会話とプロアクティブ
 なエクスペリエンスを通じてユーザーの生産性と効率性を高めるように設計されていま
 す。

ワークスペース

ServiceNow ワークスペース アプリケーションは、エージェント、ケースマネー
 ジャー、ヘルプデスク担当者、その他マネージャーが、顧客の質問に回答し、顧客の問
 題を解決する際に役立ちます。

エージェントチャット リリースノート

ServiceNow エージェントチャット アプリケーションを使用すると、エージェントはチャットを通
 じてエンドユーザーと直接やり取りできます。エージェントチャット は Washington DC リリース
 で拡張および更新されました。

Washington DC リリースでの エージェントチャット の特長

要求者、仮想エージェント、およびライブエージェント間で転送される会話のチャット要約を自動的
 に生成 エージェントチャット します。

詳細については、「[Exploring Agent Chat](#)」を参照してください。

Washington DC リリースの新機能

Chat summarization

要求者、仮想エージェント、およびライブエージェント間で転送される会話のチャット
 要約を自動的に生成 エージェントチャット します。

アクティベーション情報

エージェントチャット は、エージェントチャット プラグイン (com.glide.interaction.awa) をアクティブ化すると利用できる Now Platform 機能です。詳細については、「[Configuring Agent Chat](#)」を参照してください。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

Agent Chat

エージェントがチャット機能を使用して顧客と直接やり取りできるようにします。

Virtual Agent

人工知能を利用した構築済みの会話機能を備えた、使いやすいメッセージングインターフェイスを従業員と顧客に提供します。

自動テストフレームワーク (ATF) リリースノート

を使用すると ServiceNow 自動テストフレームワーク (ATF)、自動テストを作成して実行し、アップグレード後、アプリケーション開発中、または更新セットを使用してインスタンス構成を展開するときに、変更したインスタンスが機能することを確認できます。失敗したテスト結果を確認して、失敗の原因となった変更と、レビューする必要がある変更を特定します。自動テストフレームワーク (ATF) は、Washington DC リリースで拡張および更新されました。

Washington DC リリースでの 自動テストフレームワーク (ATF) の特長

- 手動テストを自動テストに置き換えることで、アップグレードと開発時間を短縮します。
- テストを一度設計し、さまざまなコンテキストおよびさまざまなテストデータセットでそれらを再利用します。
- テストデータと各テスト実行後に行われた変更をロールバックすることで、テストインスタンスをクリーンに保ちます。
- テストスイートを作成およびスケジュールを設定して、テストをひとまとまりの数量に整理し、実行します。
- クイックスタートテストとテストスイートをコピーして、テスト設計時間を短縮します。カスタムテストステップを作成してテスト範囲を拡大することもできます。

詳細については、「[Test your apps with the ATF](#)」を参照してください。

重要:

ATF テストジェネレーターとクラウドランナー は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティベーション情報」セクションを参照してください。

自動テストフレームワーク (ATF) を Washington DC にアップグレードする際の重要な情報

構成変更を行った後に、Now Platform によって提供されたクイックスタートテストをコピーしてカスタマイズし、インスタンスが機能することを検証します。たとえば、アップグレードを適用するか、アプリケーションを開発する場合です。

カスタマイズを行っていないベースシステム上で、アプリケーションまたは機能プラグインが提供するデフォルトのデモデータを使用してテストを実行した場合にのみ、テストで合格の結果を生成できます。インスタンス固有のデータにクイックスタートテストを適用するには、クイックスタートテストをコピーしてカスタムデータを追加します。詳細については、「[Available quick start tests by application or feature](#)」を参照してください。

Washington DC リリースの新機能

Performance profiling

パフォーマンス プロファイリングは、ボトルネックをより迅速に特定することで、実行時の動作を分析するためのデータ駆動型のアプローチです。パフォーマンスプロファイリングを使用して、インスタンスのアップグレード時にパフォーマンスの低下を検出します。その後、問題を調査して修正できます。

構成可能なワークスペースのサポート

ATF は、より広範なテスト範囲を提供することで回帰リスクを軽減するために、Next Experience UI (フォームと UI アクションに限定) のテストをサポートするようになりました。

宣言アクション可視性テストステップ

フォームテストステップカテゴリの宣言アクション可視性テストステップを使用して、現在のフォームに宣言アクションが表示されているかどうかを検証します。

宣言アクションテストステップをクリックする

フォームテストカテゴリの [宣言アクションをクリック] テストステップを使用して、現在のフォームで宣言アクションをクリックします。

アクティベーション情報

自動テストフレームワーク (ATF) はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。

注:

デフォルトでは、自動テストを実行するためのシステムプロパティは、実稼働システムでは実行できないようにオフになっています。データの破損や機能停止を避けるため、開発、テスト、および他の非本番インスタンスでのみテストを実行してください。詳細については、「[Enable or disable executing Automated Test Framework tests !\[\]\(626ce8ac21792b9405bfddfea8e0c96a_img.jpg\)](#)」を参照してください。

アプリケーションのクイックスタートテストを使用するには、アプリケーションに関連付けられているプラグインをアクティブ化します。詳細については、「[Available quick start tests by application or feature !\[\]\(a8f9309f944226d1420f5fed22e2b6e6_img.jpg\)](#)」を参照してください。

`sn_atf.runner.enabled` プロパティを **[True]** に設定して、ATF テストジェネレーターとクラウドランナー ストアアプリケーションのコンテンツパックをアクティブ化します。

ブラウザー要件

自動テストフレームワーク (ATF) は、デスクトップブラウザからのテストの実行のみをサポートしています。タブレット、モバイルブラウザ、またはモバイル UI からテストまたはテストスイートを実行することはできません。一部のデスクトップブラウザでは、追加の構成が必要です。詳細については、「[Browser recommendations for Automated Test Framework !\[\]\(c1168d6a8b365d11e842ece304635fa7_img.jpg\)](#)」を参照してください。

自動テストフレームワーク (ATF) は、タブレットでのテスト設計のサポートを限定的に提供します。タブレットはコンポーネントを取得できないため、タブレットから新しいカスタム UI テストステップを追加することはできません。代わりに、デスクトップブラウザから追加された既存のカスタム UI テストステップを確認します。

構成管理データベース (CMDB) リリースノート

ServiceNow CMDB アプリケーションは、組織のインフラストラクチャに関するデータを格納します。CMDB は Washington DC リリースで拡張および更新されました。

Washington DC リリースでの CMDB の特長

- CMDB Workspace で CMDB データマネージャーを使用して、ポリシーとタスクを管理および管理し、廃止定義と除外リストを管理します。進行中の CMDB データマネージャープロセスに関する分析を表示して、注意が必要な潜在的な問題を検出することもできます。
- CMDB Workspace で重複排除テンプレートのライブラリーを作成することにより、重複排除タスクを一貫して一括で修正します。
- CMDB Workspace の CMDB 360 ダッシュボードの CMDB [範囲] タイルのデータの範囲を制限することで、クラスに焦点を当てます。
- 参照テーブルに入力されていないフィールドを推奨として指定して識別し、完全性の CMDB 健全性 KPI の推奨測定基準によって追跡されるようにします。

詳細については、「[Configuration Management](#)」を参照してください。

CMDB を Washington DC にアップグレードする際の重要な情報

- この列 `product_instance_id` は、新しい製品インスタンス識別子 (PID) をサポートするためにベース構成アイテム [`cmdb_ci`] テーブルに追加されました。これにより、既存の関連資産、CI、およびインストールベースアイテム (IBI) のルックアップとリンクが可能になります。アップグレード中の変更の影響とその影響を最小限に抑える方法の詳細については、[ワシントンリリースのスキーマ変更によるアップグレードの影響 \[KB1534035\]](#) ナレッジ ベースの記事 `CMDB_CI` を参照してください。
- リリースへの Washington DC アップグレード後に初めて CMDB 360 を有効にする場合、非 CMDB クラス (構成アイテム [`cmdb_ci`] クラスから派生していないクラス) からの CI の CMDB 360 データのキャプチャを有効にするには、`glide.identification_engine.multisource_non_cmdb_ci_enabled` システムプロパティを `true` に設定する必要があります。
- コア UI で従来の Data Certification アプリケーションを使用していた場合、CMDB Workspace でのデータ認定の新しい実装では、関連する定義を使用できません。リリースおよび Washington DC CMDB Workspace バージョン 6.0 にアップグレードした後、従来の Data Certification アプリケーションで作成された定義を CMDB Workspace でドラフトのデータマネージャー認定ポリシーに変換できます。詳細については、「[」を参照してください。](#)

Washington DC リリースの新機能

CMDB Workspace ストアアプリ

- UI Builder (UIB) コンポーネントを使用して構築されている CMDB Workspace から、CMDB データマネージャーにアクセスします。CMDB Data Manager は、CMDB Workspace に完全に統合されました。
- UI Builder (UIB) を使用して構築された CMDB Workspace でデータ認定を使用します。CMDB Workspace の CMDB Data Manager で認定ポリシータイプを使用することで、Data Certification を完全に利用できるようになりました。
- CMDB Workspace で重複排除テンプレートのライブラリーを作成することにより、重複排除タスクを一貫して一括で修正します。現在、重複排除機能は UI Builder (UIB) コンポーネントを使用して構築され、CMDB Workspace に完全に統合されています。

CMDBのクイックスタートテスト

新しいアプリケーションまたは統合のアップグレードと展開が完了したら、クイックスタートテストを実行して、CMDB が想定どおりに機能していることを確認します。

す。CMDB をカスタマイズした場合は、クイックスタートテストをコピーし、カスタマイズのために設定します。

UI の変更

CMDB Workspace のガバナンスビューが [自分の作業] ビューに変更されました

CMDB Workspace の [ガバナンス] ビューの名前が [自分の作業] に変更されました。

CMDB Workspace の統合マップの新しいツールバー

マップの上部にある新しいツールバーは、以前に他の場所で提供されていたいくつかの機能を提供します。

- 検索
- フィルター
- フィルタリングされたアイテムの外観を切り替え
- レベル
- タイムラインの外観を切り替え

このリリースでの変更

CMDB Workspace ストアアプリ

- **Unified Map ** :
 - ライフサイクルステージに従って CI をフィルタリングすることで、マップに表示される CI を構成します。たとえば、すべてのサポート終了 CI をフィルタリングして、運用中の CI のみがマップに表示されるようにすることができます。詳細については、「[Configure operational states of CIs !\[\]\(8b9db310e3bd56ffa44f3d5130ea99e2_img.jpg\)](#)」を参照してください。
 - マップレベルを設定して、アプリケーションサービス CI に表示される階層レベルの数を制限します。たとえば、マップレベルを小さい数値に設定すると、マップ全体のサイズが小さくなり、パフォーマンスが向上します。
 - マップ上のグループメンバー接続要素を選択すると、詳細カードにソース CI とターゲット CI の両方が表示されます。
 - エンドポイントのタイプを含む、すべての Service Mapping エンドポイントのすべての属性を表示します。
 - アプリケーションサービスまたは関連アイテムカードを選択して、カードに関連付けられているすべてのノードをハイライト表示します。
 - 動的 CI グループに関連付けられた各 CI の詳細カードを [属性] ペインに表示します。
 - 最初にプロパティを追加せずにシステムプロパティ `sn_cmdb_ws.unifiedmap.map_search_filter.max_levels` を設定することで、マップに表示するホームノードからのレベルの最大数を構成します。詳細については、「[Components installed with CMDB Workspace !\[\]\(49f66b396e80c47181c1b6b90370748d_img.jpg\)](#)」を参照してください。
- **CMDB Data Manager の CMDB Workspace への統合 **
 - CMDB Data Manager のすべての機能が CMDB Workspace で利用できるようになりました。ポリシーを管理し、タスクを管理し、退職定義と除外リストを管理し、アサインされたタスクをレビューして承認または却下します。
 - 進行中の CMDB データマネージャープロセスの分析をさまざまなチャートとカウントで表示します。

• CMDB Workspace への Data Certification 統合

CMDB Data Manager の認定ポリシータイプを使用することで、CMDB Workspace でデータ認定機能が完全にサポートされるようになりました。選択したテーブルのレコードのフィールド値をレビュー、認定、または編集して、それらの値が組織のタスクをサポートするために必要な値であることを確認します。

進行中のデータ認定プロセスも考慮するさまざまなグラフとカウントで分析を表示します。

• CMDB Workspace への重複排除の統合

- 重複排除テンプレートのライブラリを作成することにより、重複排除タスクを一貫して一括で修正します。
- 中央の場所である重複排除ダッシュボードで重複排除タスクを修正します。1 つ以上のテンプレートを実行して、単一の操作で複数の重複排除タスクを修正します。テンプレートを実行し、修正結果を確認しながら進捗状況を追跡します。
- [重複排除インサイト] ペインを調べて、CMDB 内の重複 CI に関連する統計情報と潜在的な問題領域を確認します。

- **CMDB Workspace での  CMDB 360 の操作:** システムプロパティを使用して、CMDB 360 ダッシュボードの [範囲] タイルのデータの範囲を CMDB クラス `sn_cmdb_ws.ms.calculate_cmdb_only` のみに制限します。詳細については、「[Components related to CMDB 360 !\[\]\(64ef2b19d70b31fbbfce0e0e2aa3d7b4_img.jpg\)](#)」を参照してください。

推奨フィールド選択時のドット連結の CMDB 健全性サポート

ドット連結を使用し、CMDB 推奨フィールド [`cmdb_recommended_fields`] テーブルを直接操作して、CMDB 健全性推奨測定基準の参照テーブルからフィールドを選択することで、参照テーブルに入力されていない推奨フィールドを識別します。

非 CMDB クラスの CMDB 360 データのキャプチャ

システムプロパティの値を

`glide.identification_engine.multisource_non_cmdb_ci_enabled` true に設定して、非 CMDB クラス (構成アイテム [`cmdb_ci`] クラスから派生していないクラス) からの CI の CMDB 360 データのキャプチャを有効にします。

製品インスタンスの CMDB サポート

一意の製品インスタンス識別子 (PID) を使用して、アプリケーションおよびワークフローのハードウェア資産管理 ライフサイクルを通じて組織内の運用資産を管理する際の重複を防止します。

廃止

- Washington DCリリース以降、コア UI (UI 16) 上に構築された CMDB データマネージャーは、将来の廃止に備えて準備されています。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。この機能の最新のエクスペリエンスは [CMDB Workspace !\[\]\(3dc92c626ede9fa1b47e2e010104b5c4_img.jpg\)](#) で提供されます。

アクティベーション情報

CMDB はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。

関連 **ServiceNow** アプリケーションと機能

[Common Services Data Model \(CSDM\)](#)

共通サービスデータモデル (CSDM) (CSDM) は、CMDB 内のサービスモデリングに関する規範的なガイドラインを提供し、CMDB を使用するすべての ServiceNow 製品の標準となります。CSDM は、IT サービスや他の製品から CMDB にデータをマッピングするためのフレームワークを提供します。CSDM フレームワークに従うことで、ServiceNow アプリケーションに必要なデータが適切な CMDB テーブルに正しくマッピングされます。

Service Graph Connector

事前定義された ServiceNow サービスグラフ コネクタを使用して、Microsoft SCCM などのサードパーティアプリケーションから CMDB にデータをインポートします。さらに、[IntegrationHub ETL !\[\]\(4729e517bc6a7cd81c8025b9646574fb_img.jpg\)](#) ストアアプリを使用して、カスタム ETL 変換マップを作成および管理することで、整合性を損なうことなくサードパーティデータを CMDB に統合できます。

CMDB Workspace

CMDB Workspace を使用して、CMDB を検索、探索し、インサイトを得ます。CMDB Workspace は、CMDB を一元的に操作できるストアアプリです。CMDBワークスペースでは、に関連するCMDB健全性と最近のアクティビティを調べたり、組織内のタスクをサポートするためのさまざまなCMDBダッシュボードやツールにアクセスできます。

ディシジョンビルダー リリースノート

ServiceNow ディシジョンビルダー アプリケーションは、意思決定テーブルを作成および管理するために使用できる直感的なインターフェイスを提供します。意思決定テーブルのルールと条件を変更することで、変化するビジネス要件により効率的に対応できます。ディシジョンビルダー は Washington DC リリースで拡張および更新されました。

Washington DC リリースでのディシジョンビルダー の特長

- ディシジョンビルダー が に統合 ワークフロースタジオされました。などの他のフローデザイナープレイブック強力なツールと一緒にアクセスディシジョンビルダーして、意思決定テーブルをワークフローとシームレスに統合します。
- 300 行未満の意思決定テーブル全体を複製するか、より大きな意思決定テーブルの場合は意思決定テーブル構造 (入力と列) のみを複製します。
- 任意のスクリプトから意思決定テーブルを実行し、から ディシジョンビルダーコピーした意思決定テーブルのコードスニペットを挿入することで、ハードコードされたロジックを意思決定に簡単に置き換えられるようにします。
- 意思決定テーブルの行を戦略的に複製することで、意思決定ルールを記述する時間と労力を節約できます。
- 意思決定テーブルが使用されている関連オブジェクトを表示してアクセスします。

詳細については、「[Decision Builder !\[\]\(870f5d5e9c0d57485634be3ecf52f3ca_img.jpg\)](#)」を参照してください。

Washington DC リリースの新機能

ディシジョンビルダー に統合 ワークフロースタジオ

アプリケーションのワークフローの構築に役立つ他の強力なツールとともに、1 つの合理化された環境で意思決定テーブルにアクセスして構築します。

意思決定テーブルのコードスニペット

からテーブルのディシジョンビルダーコードスニペットをコピーして、作成したNow Platformスクリプトに意思決定テーブルを挿入します。

300 行未満の意思決定テーブル全体を複製したり、大規模な意思決定テーブルの場合は意思決定テーブル構造 (入力と列) のみを複製したりすることで、意思決定テーブルを作成する時間を節約できます。

Duplicate rows in a decision table

意思決定テーブルの行を戦略的に複製することで、意思決定ルールを作成する時間と労力を節約できます。

View related objects in a decision table

オープンな意思決定テーブルから、意思決定テーブルが使用されている関連フロー、サブフロー、またはプロセスを簡単に表示してアクセスできます。

UI の変更

ディシジョンビルダー モジュール

ディシジョンビルダースタンドアロンディシジョンビルダーアプリケーションを開くために使用されるメインの [すべて] ナビゲーションのモジュール。これで、ワークフローの構築に役立つ他のアプリケーションと一緒に新しいワークフロースタジオアプリケーションで開きますディシジョンビルダー。

アクティベーション情報

ディシジョンビルダー は、ディシジョンビルダー プラグイン (sn_decision_design) をアクティブ化すると利用できます。詳細については、「[Update to the latest version of Decision Builder !\[\]\(dd161862f9164df98f62b726e9846241_img.jpg\)](#)」を参照してください。

ローカライズ情報

ローカリゼーションフレームワーク はディシジョンビルダー に統合されています。ただし、[Excel での編集 (Edit in Excel)] 機能はローカライズをサポートしていないため、英語を使用しないインスタンスではこの機能を使用できません。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

Workflow Studio

ワークフローの作成、構成、および監視を単一のページエクスペリエンスに統合します。

Flow Designer

フローデザイナー は、プロセスオーナーが作業を自動化できる Now Platform 機能です。コード化することなく、再利用可能なコンポーネントから複数手順のフローを構築します。

Playbooks

アプリケーションのビルダーを使用すると プレイブック、ServiceNow ワークフロースタジオ 所有者は プレイブック 企業間ワークフローを作成し、単一の統一されたプロセスを作成できます。また、を使用して プレイブック、エンドユーザーにプロセスの簡素化されたタスク指向のビューを提供することもできます。

ドキュメントサービス リリースノート

このServiceNow ドキュメントサービスアプリケーションは、作成、メンテナンス、変換、などのサードパーティMicrosoft SharePointとの統合など、ドキュメント管理に関連する幅広いサービスを提供します。は、このリリースでWashington DC拡張および更新されました。ドキュメントサービス

Washington DC リリースでのドキュメントサービスの特長

- 複雑なドキュメントに署名する手動プロセスをなくすことで、署名エクスペリエンスを向上させます。
- ドキュメントで共同作業し、内で Microsoft SharePointホストされている添付ファイルを管理する機能。
- 外部ユーザーが、内でドキュメント サービスポータルを追加および管理するためのエクスペリエンスが向上しました。

詳細については、「[Document Services](#)」を参照してください。

i 重要:

Multi Provider Document Services Framework は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティベーション情報」セクションを参照してください。

Washington DC リリースの新機能

ドキュメントのデジタル署名

スマートカードを使用したデジタル署名用のドキュメントテンプレートと署名ワークフローを定義します。さまざまな参加者が署名する自動入力ドキュメントを生成して送信します。

このリリースでの変更

サービスポータル 外部ユーザーのエクスペリエンス

ドキュメント管理エクスペリエンスを外部ユーザーに拡張して、でドキュメント サービスポータルを作成および管理します。

Microsoft SharePoint とドキュメントサービスの統合

とデータ連携 Microsoft SharePoint して、プラットフォーム内のドキュメントを作成、更新、および共同作業します。

アクティベーション情報

ドキュメントサービス はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。

ドキュメント管理 は、Document Management プラグイン (com.snc.platform_document_management) を有効にすると利用できます。詳細については、「[Activate Document Management](#)」を参照してください。

[Multi Provider Document Services Framework](#)。ServiceNow Store から要求することで、Multi Provider Document Services Framework をインストールします。[ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

アクセシビリティ情報

- プログラムによるラベルをビジュアル ラベルに一致させるように更新 ドキュメントビューアー されました。この機能強化により、ZoomText (拡大ソフトウェアの一種) およびその他の種類の支援技術 (スクリーン リーダーなど) のサポートが改善されました。
- [ページ番号] 入力フィールドに無効なページ番号が入力された場合に、支援技術のユーザーにプログラムで通知するように更新されました。
- に ドキュメントビューアー[ページ番号] 入力フィールドのツールヒントを追加しました。ビジュアル ラベルとプログラム ラベルの両方がユーザーに提供されます。

関連 **ServiceNow** アプリケーションと機能

Document Templates

シームレスなエクスペリエンスを提供するために、ドキュメントのデジタル署名はドキュメントテンプレートを使用して構成されます。

Hermes メッセージングサービス リリースノート

Hermes メッセージングサービスを使用すると、使用する環境をインスタンスとServiceNow 統合Apache Kafkaできます。はリリースでWashington DC拡張および更新されました。Hermes メッセージングサービス

Washington DC リリースでの **Hermes** メッセージングサービスの特長

- ServiceNow インスタンスから Apache Kafka 環境にイベントを公開し、外部システムからの大量の Apache Kafka イベントを低レイテンシで使用します。
- 外部システムからのメッセージボリューム内のスパイクやバーストを効果的に処理して、インスタンスへのパフォーマンスへの影響を最小限に抑えます。
- Hermes 診断ツールを使用して、メッセージ配信の健全性とパフォーマンスを管理します。

詳細については、「[Hermes Messaging Service !\[\]\(cf531ed27e91483460120fcc057b3901_img.jpg\)](#)」を参照してください。

Washington DC リリースの新機能

セキュリティ設定の改善

へのセキュア接続 Hermes メッセージングサービス用の証明書を生成し、証明書を取り消し、Hermes メッセージングサービス 証明書ジェネレーターを使用して証明書に ACL を適用します。

トピックの名前空間の管理

を使用して、Kafka クラスタHermes メッセージングサービス内のHermesトピックの名前空間を作成、更新、および削除します。

トピックを管理

を使用して Hermes メッセージングサービスKafka クラスタでHermesトピックを作成、更新、および削除する。

トピックを再スキャン

インスタンス内のトピックレコードを、Kafka クラスタ内の Hermes 自分に属するトピックと同期します。

アクティベーション情報

Hermes メッセージングサービス は、Now Platform プラグイン (com.glide.hub.flow_trigger.kafka または com.glide.hub.action_step.kafka) を有効にする Apache Kafka 向けストリームコネクト か、アプリケーションをインストールする ログエクスポートサービス と利用できる機能です。詳細については、[を参照してくださいHermes Messaging Service activation](#)。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

Using Stream Connect for Apache Kafka

フローデザイナー を使用して ServiceNow インスタンスから Apache Kafka メッセージを生成し、そのメッセージを外部アプリケーションで消費します。外部アプリケーションから Apache Kafka メッセージを生成し、Apache Kafka 向けストリームコネクト でさまざまなコンシューマーを使用してそのメッセージを ServiceNow インスタンスで消費することもできます。

Log Export Service (LES)

とともにログエクスポートサービスを使用して、レポート、監査、または規制の目的でHermes メッセージングサービスログデータを外部データレイクに安全にエクスポートします。

Instance Data Replication

リリース前に作成したレプリケーションセットを更新して を使用することによりHermes メッセージングサービス、Washington DCのパフォーマンスインスタンスデータレプリケーション (IDR)と処理効率を向上させます。

インスタンスデータレプリケーション (IDR) リリースノート

ServiceNow インスタンスデータレプリケーション (IDR) (IDR) アプリケーションは、インスタンス間のデータレプリケーションプロセスを簡素化します。インスタンスデータレプリケーション (IDR) は Washington DC リリースで拡張されました。

Washington DC リリースでの インスタンスデータレプリケーション (IDR) の特長

- プロデューサーインスタンスから、さまざまな部署や事業部門にまたがる 1 つ以上のコンシューマーインスタンスにデータを複製することで、データの同期を維持します。
- 社内のさまざまな組織間で一貫したデータを維持します。
- プロデューサーインスタンスとコンシューマーインスタンスで sys_id が異なるレコードを簡単に更新します。

詳細については、「[Instance Data Replication](#)」を参照してください。

インスタンスデータレプリケーション (IDR) を Washington DC にアップグレードする際の重要な情報

レプリケーションセットを V2 にアップグレードして Hermes メッセージングサービス を使用すると、インスタンスデータレプリケーション (IDR) (IDR) のパフォーマンスと処理効率を向上します。詳細については、「[Upgrading legacy replication sets to V2 in Instance Data Replication](#)」を参照してください。

アップグレード後に、レプリケーションペイロードエラー [idr_replication_payload_error] テーブルのログローテーションが自動的に有効になります。デフォルトでは、ログローテーションスケジュールは 7 つのシャードで構成され、シャードごとに 5 日間あります。アップグレード前に作成されたこのテーブルのログエントリはすべて自動的に切り捨てられます。

このリリースでの変更

Hermes のみのレプリケーション

新しく作成されたレプリケーションセット Hermes メッセージングサービスでは、レガシーレプリケーションセットを作成できなくなりました。

インスタンス間でレプリケートされたデータの比較

レプリケーションセット内のデータを、データ変換、双方向レプリケーション、および個別レプリケーションと比較します。

アクティベーション情報

インスタンスデータレプリケーション (IDR) Now Platform は IDR (com.glide.idr) プラグインをアクティブ化すると利用できる機能で、別途サブスクリプションが必要です。詳細については、「[Request an Instance Data Replication subscription](#)」を参照してください。

その他の要件

カスタム結合機能をサポートするには、コンシューマーとプロデューサーの両方が少なくとも San Diego リリースを実行している必要があります。

このリリース要件は、同時実行ジョブのサポートにも適用されます。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

Hermes Messaging Service

Hermes メッセージングサービスは、インスタンスで大量の Kafka イベントを安定して生成および使用可能にする、Apache Kafka に構築されたマルチテナント、マルチクラスター、データトランスポート、およびキューイングサービスです。

ナレッジ管理 リリースノート

ServiceNow ナレッジ管理 アプリケーションを使用すると、セルフヘルプ、トラブルシューティング、およびタスク解決のための情報を提供する ナレッジ 記事を共有できます。ナレッジ管理は Washington DC リリースで拡張および更新されました。

Washington DC リリースでの ナレッジ管理 の特長

- Next Experience のダークテーマは、エージェントモバイルアプリケーションで利用できます Now Mobile アプリ。
- ナレッジ管理 内の 構成可能ワークスペース コンポーネントは、アクセシビリティを向上させるためにリフローをサポートしています。

詳細については、「[Knowledge Management](#)」を参照してください。

UI の変更

ナレッジ管理サービス ポータル

ナレッジ管理 v3 ホームページは詳細ナレッジ管理 サービスポータルホームページに置き換えられました。詳細については、「[非推奨](#)」セクションを参照してください。

ダークテーマ

ダークテーマは Next Experience 、エージェントモバイルアプリケーションで利用できます Now Mobile アプリ。

廃止

- リリース以降 Washington DC 、 ナレッジ管理 v3 ホームページ (com.snc.knowledge3) は将来の廃止に備えて準備されます。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。Knowledge Management Service Portal は、この機能の最新のエクスペリエンスを提供します。
- 詳細については、ナレッジベースの廃止 [プロセス \[KB0867184\]](#) の記事 Now Support を参照してください。

アクティベーション情報

ナレッジ管理 はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。ナレッジ管理 サービスポータルは、デフォルトで有効なプラグイン (com.snc.knowledge_serviceportal) で利用できます。

ナレッジ管理 Advanced プラグイン (com.snc.knowledge_advanced) をアクティブ化して、ナレッジ管理 の高度な機能を有効にします。詳細については、「[Knowledge Management Advanced プラグインのアクティブ化](#)」を参照してください。

さまざまな ナレッジ管理 機能を有効にする追加のプラグインを利用できます。詳細については、「[Knowledge Management の追加プラグイン](#)」を参照してください。

プラグイン (sn_ux_seo_sitemap) を有効に Sitemap Generator して、XML サイトマップを定義して自動的に生成し、公開ポータルページの検索エンジン最適化 (SEO) を改善します。サイトマップ構成レコード (sitemap_config_KB) とサイトマップ構成定義もアクティブ化する必要があります。詳細については、「[Sitemap Generator レコードの設定](#)」を参照してください。

アクセシビリティ情報

ダークテーマ

Next ExperienceおよびエージェントモバイルアプリケーションでダークテーマNow Mobile アプリを有効にします。このオプションは一般に、目の疲れを軽減し、読みやすさを向上させるために使用されます。

リフローのサポート

次のコンポーネントはリフローをサポートするように更新されました。これにより、コンテンツや機能を失うことなく、ブラウザー設定を使用してページとコンテンツを最大 400% 拡大できます。さらに、コンテンツは、320 CSS ピクセルに相当する幅または 256 CSS ピクセルに相当する高さで、2 次元でスクロールせずに拡大できます。

- sn-knowledge-content
- sn-related-content
- sn-star-rating
- sn-comparator
- sn-attach-article-guidance
- sn-nested-comments
- sn-knowledge-detail
- sn-knowledge-socialqa-answer
- sn-knowledge-socialqa-detail
- sn-knowledge-discussion-wrapper
- sn-timeago

さらに、次のページがリフローをサポートするように更新されました。

- ナレッジビュー (kb_view)
- ナレッジ記事テンプレートセクターモダリティ
- ナレッジカテゴリピッカー (kb_category_picker)
- 翻訳の比較
- 翻訳を要求
- バージョン比較

この機能拡張は、弱視のユーザーや、モニターのサイズ、デバイスの種類、照明の悪さ、またはその他の状況のためにブラウザで Web コンテンツを見るのが難しいユーザーに役立ちます。リフローは、インスタンス、エクスペリエンスおよびページのシステムプロパティでオフにできます。詳細は、「[Reflow for Configurable Workspace](#)」を参照してください。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

CSM 構成可能ワークスペース

ServiceNow ワークスペース は、エージェントが問題を検索、調査、解決する必要があるツールを 1 ページに集めるグラフィカルユーザーインターフェイスです。ServiceNow CSM 構成可能ワークスペース は、階層 1 エージェントが顧客に回答し、ケースを解決するために必要なツールを提供する、ServiceNow CSM エージェントワークスペース カスタマーサービス固有の実装です。このインターフェイスを使用すると、カスタマーサービスエージェントは、ケースに添付された記事を読み、ナレッジ ケースをより効率的に解決するのに役立つ追加情報を取得できます。

Field Service Management

フィールドサービスエージェントが、オフライン中にエージェントアプリを通じて Now Mobile 作業指示タスクに添付されている記事を読めるナレッジようにします。詳細については、次のリンクを参照してください [Access the information you need using the Now Mobile Agent application](#)。

Communities

コミュニティの投稿から ナレッジ 情報を収集します。質問に関する構造化されていないディスカッションから構造化された ナレッジ 記事を作成します。

Problem Management

問題フォームから生成された情報から、同様の問題の解決に役立つ構造化された ナレッジ 記事を作成します。

Incident Management

インシデントから ナレッジ 記事を検索して問題を解決します。記事のある問題にフラグを立て、インシデントから記事を編集し、インシデントの解決中にナレッジギャップを報告します。記事テンプレートを使用してインシデントからナレッジ記事を作成して、暗黙の知識を形にします。

Employee Service Management

HR ナレッジ管理でナレッジブロックを使用すると、ライターによる HR ナレッジ作成とリーダーによるナレッジ利用が簡単になります。HR エージェントが、[HR ケースのデマンドに関するインサイト] ダッシュボードを使用して、ナレッジの範囲が不十分なケースを特定し、ナレッジギャップを報告できるようにします。詳細については、「[\[人事ケースのデマンドに関するインサイト\] ダッシュボード](#)」を参照してください。

MID サーバー リリースノート

ServiceNow MID サーバー アプリケーションは、ServiceNow インスタンスと外部アプリケーション、データソース、およびサービス間の通信とデータ転送を可能にします。MID サーバー は Washington DC リリースで拡張および更新されました。

Washington DC リリースでの MID サーバー の特長

- Linux で OpenShift を使用してコンテナ化 MID サーバーします。
- モジュールアクセスポリシー (MAP) の新しい「却下」のデフォルトの動作を使用して、不正アクセスを防止します。
- dist-upgrade ラッパーレベルでデバッグログを有効にし、upgrade-wrapper-override.conf を使用して設定を変更して変更をテストします。

詳細については、「[MID Server](#)」を参照してください。

MID サーバー を Washington DC にアップグレードする際の重要な情報

最新の MID サーバー システム要件については、「[MID Server のシステム要件](#)」を参照してください。サポートされている JRE の最小バージョンは 11.0.9 で、推奨バージョンは 11.0.16.1 です。

独自の JRE をインストールした場合、アップグレード・プロセスは以下のアクションを実行して、サポートされている MID サーバー JRE が使用されるようにします。

- MID サーバーアップグレード時にサポートされていないバージョンの JRE を使用している場合、アップグレード・プロセスでは、JRE の最低バージョンと推奨バージョンを示す警告メッセージが表示されます。
- サポートされている JRE がホストで実行されている MID サーバー 場合、アップグレード MID サーバー はそのバージョンを使用します。

自動アップグレードを有効にするには、すべての MID サーバー ホストマシンが install.servicenow.com のダウンロードサイトにアクセスする必要があります。詳細については、システムが管理する方法をお読みください [MID サーバー 設定してください](#)。

実行可能ファイルパスごとに許可されるサービスは 1 つだけ Windows MID サーバー です。同じインストール フォルダーを指す複数のサービスがあるアップグレード Windows MID サーバー は開始できません。「」を参照してください。 [MID サーバー 開始に失敗しました](#) 詳細。

アップグレードの詳細については MID サーバー 、次のトピックを参照してください。

- [MID サーバー アップグレード前のチェック](#) :実際にアップグレードを行う前に、システムでのアップグレード機能を MID サーバー AutoUpgradeモニターでテストする方法を説明しています。
- [のアップグレード MID サーバー 手動](#) :手動でアップグレード MID サーバー する方法について説明します。

Washington DC リリースの新機能

OpenShift のコンテナ化された MID Server サポート

Linux で OpenShift を使用してコンテナ化 MID サーバーします。対応する Linux Docker レシピが更新されました。コンテナ化された MID サーバー ものは、永続ストレージで既存の自動スケーリング機能を使用してルートレスで実行できます。

このリリースでの変更

MID Server Password2 グローバルポリシーの変更

MAP レコードで明示的に宣言されていない限り、モジュール アクセス ポリシー (MAP) の新しい "拒否" 既定の動作を使用して、不正アクセスを防止します。内部アクセスに必要なすべての MAP が提供されます。自動生成された MAP は、外部アクセス用に提供されます。

MID Server の一意のログインユーザー

それぞれ MID サーバーに一意のログインユーザーを使用します。詳細については、「[\(KB1552863\) MID Server の一意のログインユーザー](#)」  を参照してください。

ラッパー構成の上書きの改善

dist-upgrade ラッパーレベルでデバッグログを有効にし、**upgrade-wrapper-override.conf** を使用して設定を変更して変更をテストします。たとえば、デフォルトのタイムアウトは、特定の JVM レベルのコマンドに対して十分に長くない場合があります。dist-upgrade ラッパー構成の **upgrade-wrapper-override.conf** を使用してタイムアウトを増やすことができます。

廃止

- コンテナ化 Windows MID サーバー はサポートされなくなりました。Docker レシピのダウンロード Windows MID サーバー リンクは削除されます。古い Windows MID サーバー Docker レシピは引き続き使用できますが、公式のサポートはありません。詳細については、「[\(KB1559617\) Washington DC で廃止されたコンテナ化された MID Server 機能](#)」を参照してください。
- 自動デプロイと専用デプロイ MID サーバー による自動削除はサポートされなくなりました。デプロイ テンプレートはサポートされなくなり、新しいデプロイ テンプレートを使用または作成することはできません。ただし、既存のテンプレートを使用した既存の展開要求は引き続き機能します。詳細については、「[\(KB1559617\) Washington DC で廃止されたコンテナ化された MID Server 機能](#)」を参照してください。

アクティベーション情報

MID サーバー はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

ディスカバリー

ディスカバリー は MID サーバー を使用して、お使いの環境で実行されているデバイスとアプリケーションに関する情報を CMDB に返すプローブとパターンを起動します。Discovery のスケジュールは、設定された機能と割り当てられた IP 範囲に基づいて適切な MID サーバー を選択します。

オーケストレーション

オーケストレーションMID サーバーを使用して、内部および外部システムで作業を行います。機能と使用が許可されているアプリケーションに基づいて選択しますMID サーバー。オーケストレーション

サービスマッピング

サービスマッピング は MID サーバー を使用して、お使いの環境で実行されているビジネスサービスに関する情報を返すパターンを起動します。

イベント管理

イベント管理 は MID サーバー を使用して、イベントを受信して処理し、根本原因分析 (RCA) 用のデータを収集し、SNMP トラップを収集します。

クラウド管理

クラウド管理 は MID サーバー を使用して VMware イベントを収集し、処理します。

オペレーショナルインテリジェンス

オペレーショナルインテリジェンス は MID サーバー クラスターを使用して、外部データソースから運用評価指標データをキャプチャし、例外がないかどうかを分析します。

ヘルスログアナリティクス

ヘルスログアナリティクス は MID サーバー を使用してインスタンスへのログデータストリーミングを収集し、問題の根本原因を特定するのに役立ちます。

通知 リリースノート

ServiceNow 通知 アプリケーションは、Now Platform で顧客と通信するための SMS および音声チャネルのサポートを提供します。通知 は Washington DC リリースで拡張および更新されました。

Washington DC リリースでの 通知 の特長

通知 を使用して、電話会議を開始したり、タスクレコードで SMS を送信したりできるユーザーを制御します。

詳細については、「[Notify !\[\]\(7d1d6890825e83a6a4a51febe2dcc7f3_img.jpg\)](#)」を参照してください。

このリリースでの変更

Notify にアクセスするために強化されたセキュリティ

notify_view ロールを割り当てることで、タスクレコードの [電話会議の開始] および **[SMS 送信]** UI アクションを表示および選択できるユーザーを制御します。notify_view は、通知 にアクセスするために最低限必要なロールです。

アクティベーション情報

通知 は、通知 (com.snc.notify) プラグインをアクティブ化すると利用できる Now Platform の機能です。詳細については、「[Notify !\[\]\(5d954b3e270654ad8ab0d5913161c03c_img.jpg\)](#)」を参照してください。

関連 **ServiceNow** アプリケーションと機能

Notify connector for Microsoft Teams

次のコネクタ Microsoft Teams を使用すると通知、Microsoft Teams インシデントやタスクなどの任意のレコードから直接会議を管理および開始できます。

パスワードリセット リリースノート

ServiceNow パスワードリセット アプリケーションを使用すると、エンドユーザーはセルフサービスを使用して、またはサービスデスクエージェントのサポートを受けて、パスワードをリセットして変更できます。パスワードリセット は Washington DC リリースで拡張および更新されました。

Washington DC リリースでのパスワードリセットの特長

- 有効期限に準拠したソフト PIN のセキュリティの向上をユーザーに体験してもらいましょう。パスワードリセット管理者は、確実に安全なソフト PIN 登録のためにソフト PIN の有効期限設定を構成します。
- プロセスのセキュリティスコア パスワードリセット を表示します。スコアに基づいて、プロセスの構成が改善される可能性があるという通知を受け取ります。
- `password_reset.request.max_email` このプロパティを使用して、ユーザーが 24 時間以内にメールで「パスワードのリセット」リンクを受信できる最大回数を設定します。

詳細については、「[Password Reset](#)」を参照してください。

Washington DC リリースの新機能

ソフト PIN の有効期限設定が改善されました

セキュリティで保護されたソフト PIN 登録のエクスペリエンスをユーザーに提供します。ソフト PIN 検証に登録している間、ソフト PIN の有効期限が切れる日数を表示できます。ソフト PIN をリセットする際、ユーザーはソフト PIN が準拠する必要があるルールを表示します。また、パスワードの有効期限が近づいたときに、ユーザーにメールと ServiceNow 仮想エージェント 通知が届きます。

パスワードリセット管理者は、パスワードの有効期限が切れる日数、パスワード有効期限リマインダーメールを送信する頻度、ソフト PIN の履歴ポリシーの設定など、ソフト PIN の有効期限を設定できます。

これらの設定は、以前のバージョンからアップグレード パスワードリセット した場合でも既定で有効になっています。

プロセスのセキュリティスコア パスワードリセット を表示する

プロセスのセキュリティスコア パスワードリセット を表示します。スコアに基づいて、プロセスの構成が改善される可能性があるという通知を受け取ります。

プロセスの作成 パスワードリセット 中に、プロセスのセキュリティスコアを表示します。達成可能な最大スコアと現在のスコアの間に乖離がある場合は、構成を改善するための推奨事項のアクション可能なリストが記載されたメールが送信されます。プロセス構成が理想的かどうかを示す情報メッセージが表示されます。

識別および検証手順の構成を評価します。構成の安全性が低い場合は、強度を向上させる方法に関するプロセスごとの実用的な提案を取得します。

廃止

3DES の暗号化と復号化は、パスワードリセット フローとワークフローで廃止されました。

アクティベーション情報

パスワードリセット はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

Virtual Agent

仮想エージェント でのパスワードリセット のサポートについて詳しく説明します。詳細については、「[Password Reset for Virtual Agent](#)」を参照してください。

Password Reset Windows Application

ServiceNow パスワードリセット Windows アプリケーションにより、パスワードを忘れた場合、または Windows コンピューターからロックアウトされた場合に、Windows ログイン画面からパスワードを直接リセットできます。

サービスカタログ リリースノート

ServiceNow サービスカタログ アプリケーションは、組織内の部門が提供する利用可能なサービスと製品の要求者ビューを提供します。サービスカタログ は Washington DC リリースで拡張および更新されました。

Washington DC リリースでの サービスカタログ の特長

- カタログアイテム要求者がカタログアイテムフォームの下書きを保存して、後で下書きを編集できるようにします。
- およびカタログビルダーで Now Platform スクリプトを作成する必要なく、カタログアイテムの質問に値を設定します。
- およびカタログビルダーで Now Platform スクリプトを作成する必要なく、カタログアイテムの質問にフィールドメッセージを設定します。
- カタログ会話の 仮想エージェント 単一チェックボックスのサポートを体験してください。

詳細については、「[Service Catalog](#)」を参照してください。

Washington DC リリースの新機能

カタログアイテムフォームを下書きとして保存

カタログアイテム要求者が、ServiceNow 従業員センターServiceNow サービスポータルNow Mobileポータルやアプリなどのカタログアイテムフォームのドラフトを保存できるようにします。

要求者は、長いフォームや、レコードを送信するのに十分な情報がないがフォームを破棄したくない要求者などの状況に遭遇したときに、ドラフトを保存できます。ドラフトを保存して、中断したところから編集を開始できます。要求者は、新しい [ドラフト] タブの [自分の要求] ウィジェットから、保存されたドラフトにアクセスできます。

カタログアイテムの質問の値の設定

カタログアイテムの質問に対するカタログ UI ポリシーアクションで、スクリプトを必要とせずに値を設定します。質問に設定した値は、指定した条件が満たされたときに表示されます。値は、の Now Platform カタログ UI ポリシーアクションの使用、およびカタログビルダーの動的な動作の使用を使用して設定できます。

たとえば、会社の電話を注文するカタログアイテムで、選択したストレージサイズが 1 TB の場合、使用可能な唯一のオプションであるため、色を自動的に黒に設定することができます。スクリプトを記述せずにこの動作を設定できるようになりました。

カタログアイテムの質問のフィールドメッセージを設定する

カタログアイテムの質問にフィールドメッセージをスクリプトなしで設定します。フィールドメッセージは、指定された条件が満たされたときに役に立つテキストとして質問の下に表示されます。フィールドメッセージは、の Now Platform カタログ UI ポリシーアクションおよびカタログビルダーの動的な動作を使用して設定できます。

たとえば、選択したタイプが [詳細] の場合に、読むラップトップの質問のタイプに警告メッセージを表示するように設定できます。高度なラップトップには部門長の承認が必要です。

UI の変更

値のクリアに使用するチェックボックスの更新

およびカタログビルダーの Now Platform 変数または質問値をクリアするための次のフィールドを更新しました。

- Now Platform:カタログ UI ポリシーアクションフォームに、以前は [変数値をクリア] チェックボックスが表示されていました。[値のクリア] として表示されるように更新され、[値アクション] ドロップダウン リストから選択する値として追加されます。
- カatalogビルダー:質問の動的な動作を定義するために、[アクション] タブには以前は [値をクリア] チェックボックスが表示されていました。[このアクションを実行 (Do this action)] ドロップダウン リストから選択する値として使用するよう更新されました。

これらの UI の変更は、添付ファイル、マスク済み、カスタム、UI ページ、および非入力変数タイプ (ラベルとコンテナー) には適用されません。

アクティベーション情報

サービスカタログ はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。

関連 **ServiceNow** アプリケーションと機能

Service Portal

顧客がサービスや製品オフリングからカタログアイテムを要求できる サービスカタログ を設定するため、サービスポータル をカスタマイズします。サービスカタログ ウィジェットを使用して、ポータルにカタログを構築します。

Employee Center

従業員センター ポータルは、標準的な複数部門の、サービスデリバリーと従業員のエンゲージメントのための動的なポータルです。

Now Mobile app

を使用すると Now Mobile アプリ、ユーザーはモバイルデバイスでアイテムまたはサービスを要求し、要求を追跡または承認できます。

Next Experience UI

Next Experience UI は、Now Platform 全体の生産性向上、エンゲージメント強化、インサイト発出を可能にする、次世代の直観的でパーソナライズされたエクスペリエンスを実現します。

サイドバー リリースノート

ServiceNow サイドバー アプリケーションを使用すると、エージェントと該当分野のエキスパートが協力してユーザーの問題に対処できます。サイドバー は Washington DC リリースで拡張および更新されました。

Washington DC リリースでの サイドバー の特長

既存の会話に参加する参加者を選択すると、サイドバー 顧客の問題の解決に役立つ可能性がある参加者のリストが表示されます。

詳細については、「[Sidebar !\[\]\(bff896c19919791b89ab521f039b410a_img.jpg\)](#)」を参照してください。

i 重要:

サイドバー は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノート
の「アクティベーション情報」セクションを参照してください。

Washington DC リリースの新機能**パートナーの提案**

サイドバー 既存の会話で顧客の問題の解決に役立つ可能性がある参加者のリストを表示します。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、サイドバー をインストールします。 [ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

仮想エージェント リリースノート

ServiceNow 仮想エージェント アプリケーションは、会話型メッセージングインターフェイスを介してユーザーを支援するため、ユーザーが情報を迅速に取得して一般的な作業を実行するのに役立つ自動化された会話を設計して構築できます。仮想エージェント は Washington DC リリースで拡張および更新されました。

Washington DC リリースでの 仮想エージェント の特長

- ()NLU の代わりに自然言語理解 (NLU)ラージ言語モデル (LLM) を使用するトピックを作成してテスト仮想エージェントします。
- 追加の [プロンプト検出] タブと [変数の編集] タブを使用して、LLM 対応トピックをテストします。
- の会話Microsoft TeamsSlackで仮想エージェント実装します。Now Assist
- LLM トピックの場合は、の入力コレクター入力コントロール 仮想エージェントデザイナー を使用して、生成 AI プロンプトを使用してデータを収集します。
- LLM トピックの場合は、の安全なテキスト入力コントロール 仮想エージェントデザイナー を使用して、ユーザーからの機密性の高いテキスト、メール、およびその他のタイプの入力を収集して暗号化します。

詳細については、「[Virtual Agent](#)」を参照してください。

i 注:

アプリとのインタラクションを含むアプリ内アクティビティの集計を追跡することで、パフォーマンスとユーザーエクスペリエンスが向上します。この追跡は、個人情報ではなく、集計された技術情報に焦点を当てています。

Washington DC リリースの新機能**Now Assist in Virtual Agent**

- モバイルチャネルでのMicrosoft Teams会話で仮想エージェント実装しますNow Assist。
- mweb または nowassistpanel チャネルのいずれかでトピックをテストしてプレビューします。

LLM topic discovery in Virtual Agent

- ()NLU の代わりに 自然言語理解 (NLU) LLM を使用するトピックを作成します。
- LLM トピックを LLM アシスタントに関連付けNow Assist仮想エージェントます。
- LLM トピックのテスト中に発言への応答を分析し Now LLM ます。
- 新しい [トピック検出] タブと [変数を編集] タブを使用して、LLM トピックの詳細なテストの詳細を取得します。

仮想エージェントデザイナーの LLM 入力コントロール

- **Input Collector user input control**  :LLM トピックの新しい入力コレクターコントロールを使用して、ユーザーからデータを収集し、生成 AI で指示を作成します。
- **Secure Text user input control**  :LLM トピックで安全なテキストコントロールを使用して、ユーザーからの機密テキスト、メール、およびその他のタイプの入力を収集して暗号化します。

仮想エージェント通知アクションを動的に選択する

トピックを作成するときに 仮想エージェント、単一の静的アクションの代わりに、1 つ以上の通知アクションをパラメーターとして渡すことができます。すべてのアクションが通知に対して事前定義されている必要があります。

Hide or reveal the Show me everything button

`glide.cs.disable_show_me_everything` NLU/キーワードトピック検出のシステムプロパティを設定します。または、LLM トピック検出を使用する挨拶トピックの 仮想エージェント デフォルトのスクリプトアクションユーティリティコントロールにある値を更新します。

システムプロパティ

次の新しいシステムプロパティは、トピックの途中検出の AI Search 結果に影響します。

- `com.glide.cs.gen_ai.enable_mid_topic_ai_search`
- `sn_nowassist_va.enable_mid_topic_ai_search_catalog_result`

UI の変更

仮想エージェントデザイナーの UI の変更

- LLM トピック検出とNow Assistコンポーネントをサポートするためのさまざまな仮想エージェントデザイナー変更。
- 新しいドロップダウンメニューオプションを使用して、Flow Designer とメイン 仮想エージェントデザイナー トピックページで LLM トピックをテストします。これには、パネルと Now AssistMicrosoft Teams。
- [フロー] タブパレットの [コンポーネント] タブと [変数] タブを使用して、会話のコントロールと変数を表示します。

このリリースでの変更

仮想エージェント変更の Now Assist

ガイド付き設定のNow Assist仮想エージェントフローが改善されました。

Web クライアントの公開ページのデフォルトの変更

新規顧客の公開ページのデフォルトを、次のページのアクティブが **True**から**False** に変更しました。

- \$sn-vb-web-client-app
- sn_vb_web_client_app_embed

必要に応じて、でパブリックアクセスを有効にします 対話型インターフェース > 設定 > 全般 ポータルの Web クライアントのみ。

アクティブ化情報

仮想エージェントは Now Platform の機能で、Glide 仮想エージェント プラグイン (com.glide.cs.chatbot) をアクティブ化すると利用できます。これには別途サブスクリプションが必要です。詳細については、「[Activate Virtual Agent](#)」を参照してください。

注:

Glide 仮想エージェント プラグインでは、トピックの推奨事項 および Conversational Analytics アプリが最初にインストールされます。それ以降のこれらのアプリの更新は、ServiceNow Store からインストールする必要があります。

ServiceNow 仮想エージェント Lite は、ServiceNow IT Service Management (ITSM) のお客様が利用できる仮想エージェントプラットフォームのサブセットです。アクティベーションは不要で、顧客も利用できるITSM会話で動作しますITSM 仮想エージェント Lite。

その他の要件

[Now Assist in Virtual Agent](#) 少なくとも 1 つの Now Assist 製品のライセンスが必要です。

- CSM の Now Assist
- HR サービスデリバリー (HRSD) の Now Assist
- IT Service Management (ITSM) の Now Assist
- Now Assist for Creator

Now Assist は、LLM トピック検出を使用するトピックの作成 仮想エージェント には必要ありません。

ブラウザー要件

仮想エージェントは、Google Chrome や Microsoft Edgeなどのさまざまなブラウザーをサポートしています。詳細については、「[ブラウザサポート](#)」を参照してください。

ローカライズ情報

ServiceNow ローカリゼーションフレームワークは仮想エージェントに統合されています。

関連 **ServiceNow** アプリケーションと機能

[Now Assist](#)

Now Assist は生成 AI を使用します。この AI は会話とプロアクティブなエクスペリエンスを通じてユーザーの生産性と効率性を高めるように設計されています。

[Conversational Interfaces Console](#)

ServiceNow 対話型インターフェースのコンソールは、仮想エージェントとライブエージェントをインストール、管理、監視して、チャットを通じてユーザーをサポートできます。

[Natural Language Understanding](#)

仮想エージェントは、自然言語理解 (NLU) モデルを作成するための NLU (NLU) アプリケーションと統合します。はこれらのモデルを使用して、NLU ワークベンチボット会話でのユーザーの発言、_intent、およびエンティティを認識して処理します。仮想エージェント

Prebuilt Virtual Agent topics, topic blocks, and ServiceNow NLU models

次の ServiceNow ビジネスアプリケーションは、事前構築済みの仮想エージェント 会話トピック、モデル、NLU および場合によってはトピックブロックを再利用可能なコンポーネントとして提供します。

- ServiceNow カスタマーサービス管理 (CSM)
- ServiceNow フィールドサービス管理 (FSM)
- ServiceNow HR サービスデリバリー (HRSD)
- ServiceNow Instance Security Center
- ServiceNow IT Service Management
- ServiceNow プロジェクトポートフォリオ管理
- ServiceNow ユニバーサル要求

Now Platform セキュリティリリースノート

Washington DC リリースでの Now Platform セキュリティ製品の機能拡張と更新について説明します。

Now Platform セキュリティを使用して、インスタンスの保護、データの暗号化、ユーザーの認証、およびアプリケーションセキュリティ標準に基づく現在のコンプライアンスレベルの表示を行います。

認証 リリースノート

ServiceNow 認証 アプリケーションは、ユーザーの ID を検証できる多くの認証メカニズムをサポートしています。認証 は Washington DC リリースで拡張および更新されました。

Washington DC リリースでの 認証 の特長

- ServiceNow Access Analyzer V2 ツールを使用して、ユーザーのアクセスを比較し、適切なレベルのアクセス制御がユーザーに提供されているかどうかを判断します。
- ID およびアクセス監査を使用して、ユーザー、グループ、ロール、およびアクセス制御リスト (ACL) に加えられた変更を把握します。
- 適応認証ポリシーフレームワークにセッション検証コンテキストを構成して、認証要求を評価し、セッションまたは Cookie ハイジャックに対する追加の保護レイヤーを提供します。
- 受信 REST API の API キーと HMAC トークンをサポートして、受信 Webhook URL を安全に認証します。
- OIDC ベースのシングルサインオンおよび OAuth ベースのアウトバウンド統合で、秘密鍵 JWT を使用した OAuth 2.0 クライアント認証をサポートします。
- プラットフォームへの ServiceNow インバウンド統合の OAuth クライアント資格情報権限許可タイプをサポートします。
- モバイルのゼロトラストアクセスポリシーで IP、場所、ID 属性などのフィルター基準を使用して、セッションに関連するリスクに基づいて特定のセッションのロールまたは権限を減らすようにセッションアクセスポリシーを構成します。

詳細については、「[ID](#) と [認証](#)」を参照してください。

Washington DC リリースの新機能

アクセスアナライザー[®]

ServiceNow 管理者、開発者、およびサポートエージェント向けに設計されたセルフサービスツールである Access Analyzer V2 を使用して、ユーザーアクセスを比較し、に対するユーザーの Now Platform 適切なアクセスレベルを決定します。

i 重要:

Access Analyzer は ServiceNow Store で利用できます。詳細については、ServiceNow Store を参照してください。

ID とアクセスの監査

ID およびアクセス監査を使用して、ユーザー、グループ、ロール、および ACL に加えられた変更を理解し、ユーザーアカウント、グループ、およびロールで誰が何を、どこで、いつ変更したかに関する重要な情報を理解します。

セッション検証コンテキスト

適応認証ポリシーフレームワークにセッション検証コンテキストを設定して認証要求を評価し、ポリシー条件として有効な範囲内の IP アドレスに基づいてアクセスを拒否または許可します。セッション検証コンテキストは、セッションまたは Cookie のハイジャックに対する追加の保護レイヤーを提供します。

Zero Trust アクセス - モバイル

適応認証ポリシー内のゼロトラストアクセス - セッションアクセスポリシーを使用して、モバイルの特定のセッションのロールまたは権限を減らします。

API キーと HMAC トークン

受信 REST API の API キーと HMAC トークンをサポートして、受信 Webhook URL を安全に認証します。

OAuth の JWT サポート

OIDC ベースのシングルサインオンおよび OAuth ベースのアウトバウンド統合で、秘密鍵 JWT を使用した OAuth 2.0 クライアント認証をサポートします。

インバウンド統合の OAuth クライアント資格情報権限許可タイプ[®]

サードパーティ OAuth クライアントからプラットフォームへの ServiceNow インバウンド統合の OAuth クライアント資格情報権限許可タイプをサポートします。

廃止

- **MultiSSO v1** は廃止されました。MultiSSO v1 から MultiSSO v2 にアップグレードしてください。

詳細については、Now Support ナレッジベースのナレッジ記事「[MultiSSO v2 upgrade instructions \[KB9756504\]](#)」を参照してください。

- SAML 1.1 および SAML 1.1 Single Sign-On - Update 1 プラグインは廃止されました。SAML ベースの ID プロバイダー (IdP) は既に SAML 2.0 に移行されています。SAML 2.0 を使用するには、MultiSSO をインストールし、ID プロバイダーを設定する必要があります。
- OpenID SSO プラグインは廃止されました。OpenID Connect (OIDC) を使用するには、MultiSSO をインストールし、OIDC ベースの ID プロバイダーを設定する必要があります。

アクティブ化情報

認証 はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

プラットフォームセキュリティ

プラットフォームセキュリティは Now Platform のすべてのレベルに組み込まれています。組織に適したセキュリティ機能を実装してください。失敗したログイン、暗号化されたパスワード保護、アクセス制御ルール、および監査ログを管理します。

暗号化キー管理 リリースノート [®]

アプリケーションはServiceNow 暗号化キー管理、暗号化、厳密に制御されたキーアクセス、米国国立標準技術研究所 (NIST) 800-57 ベースのキーライフサイクル管理、および FIPS 140-2-L3 キー保護を使用してデータを保護します。 はリリースで拡張および更新されました。 暗号化キー管理

暗号化キー管理 リリースの特長

- クラウド暗号化のために、プライマリ、セカンダリ、読み取りレプリカ、ゲートウェイ (シャード)、および論理破損保護 (LCP) データベースの PostgreSQL データベースをサポートします。LCP データベースは、読み取りレプリカ データベースの一種です。
- タイムスタンプ付きの Key Management Framework (KMF) 署名 [sn_kmf_record_signature] レコードを使用して署名が発行されたタイミングを表示します。
- 3DES の廃止について改善されたユーザーインターフェイスのガイダンスを使用して、GlideEncrypter を削除します。Security Center の重要な更新アプリ内で、3DES の完全および部分的な廃止に関する情報を確認し、3DES を廃止する前に影響を受けるすべての従来の password2 フィールドを表示できます。

詳細については、「[Encryption and Key Management !\[\]\(3211b5d1d968fc1665909b34f9f16010_img.jpg\)](#)」を参照してください。

暗号化キー管理 を **Washington DC** にアップグレードする際の重要な情報

インスタンス Washington DC をアップグレード MID サーバーしても、シークレット管理認証は失敗します。を MID サーバーWashington DCにアップグレードすることで、認証エラーを回避します。アップグレードできない場合は、認証エラーを回避するために、アップグレードWashington DCされるまでMID サーバー認証をオフにする必要があります。

MID Server のアップグレードの詳細については、「」を参照してください [MID Server upgrades !\[\]\(6a9b39b98eb945faa14c645ec99e4eaa_img.jpg\)](#)。

リリースの新機能

PostgreSQL データベースのサポート

クラウド暗号化のために、プライマリ、セカンダリ、読み取りレプリカ、ゲートウェイ (シャード)、および論理破損保護 (LCP) データベースの PostgreSQL データベースをサポートします。LCP データベースは、読み取りレプリカ データベースの一種です。

コード署名フレームワーク内の信頼できるタイムスタンプ

タイムスタンプ付きの Key Management Framework (KMF) 署名 [sn_kmf_record_signature] レコードを使用して署名が発行されたタイミングを表示します。

エージェント間の資格情報共有用の再利用可能なキー

API 認証用のクライアント側の非対称キーペアを構成します。再利用可能なキー機能を使用すると、すべての概念暗号化モジュールは、クライアント側で生成され、それぞれの公開キーでラップされた、任意の時点でアクティブな概念キーを 1 つだけ持っています。

3DES 廃止の簡素化されたプロセス

3DES の廃止について改善されたユーザーインターフェイスのガイダンスを使用して、GlideEncrypter を削除します。Security Center の重要な更新アプリ内で、3DES の完全および部分的な廃止に関する情報を確認し、3DES を廃止する前に影響を受けるすべての従来の password2 フィールドを表示できます。

コード署名のためのプロパティ駆動型マルチレイヤー呼び出し元検査

セキュリティを向上させるために、ECC キュー公証中に検証する発信者レイヤーの数を増やします。以降 Washington DC、検証される呼び出し元レイヤーの数はシステムプロパティによって決まります。

ServiceNow の信頼の基点 (ROT) と独自の ROT の切り替え

信頼の基点 (ROT) と独自の ROT を ServiceNow 切り替えます。

このリリースでの変更

Web サービスコンシューマープラグインテーブルはデフォルトでアクセスを拒否します

セキュリティを強化するために、Web サービスコンシューマー (com.glide.web_service_consumer) プラグインのテーブルへのデフォルトアクセスは [却下] に設定されています。次のテーブルが影響を受けます。

- sys_rest_message
- sys_rest_message_fn
- sys_auth_profile_basic
- sys_auth_profile_oauth2
- sys_soap_message
- sys_soap_message_function
- ws_security_x509_profile_outbound
- ws_security_username_profile_outbound

外部アプリ認証 (com.glide.external.app) プラグインのテーブルへのデフォルトアクセスも [却下] に設定されます。次のテーブルが影響を受けます。

- token_verification
- hash_message_verification

廃止

このリリース以降 Washington DC、データベース暗号化は将来の廃止に備えて準備されます。Cloud Encryption は、保管データの暗号化に代わるソリューションです。詳細については、「[暗号化とキー管理 !\[\]\(7d1d6890825e83a6a4a51febe2dcc7f3_img.jpg\)](#)」を参照してください。

アクティベーション情報

Platform Encryption サブスクリプションバンドルは、、、クラウド暗号化およびデータベース暗号化を含む列レベル暗号化エンタープライズグループの商用資格付与です。

列レベル暗号化エンタープライズ は 列レベル暗号化 の無制限ライセンスです。Enterprise プラグインは、com.glide.now.platform.encryption プラグインをアクティブ化すると利用できます。詳細については、「[暗号化とキー管理のサブスクリプションバンドル !\[\]\(84f47badaad7772cd95667a7c387a639_img.jpg\)](#)」を参照してください。

関連アプリケーションと機能

暗号化とキー管理

暗号化は、プレーンテキストを暗号テキストに変換する暗号化手順であり、意図した受信者以外の誰もそのデータを読み取ることを防ぐのに役立ちます。

キー管理フレームワーク

キー管理フレームワークを使用すると、インスタンスで暗号化オペレーションを実行する方法を完全にカスタマイズおよび管理できます。

コード署名

コード署名は、データの信頼性と整合性を確認するために後でチェックされるデータのデジタル署名を作成します。コード署名は、Vault のコンポーネントとしてライセンスされるモジュールです。

Edge Encryption

Edge Encryption は、社内の機密データを暗号化してから、インターネット経由でインスタンスに送信し (送信中に暗号化)、インスタンスでは保存時もデータは暗号化されたままです。

Cloud Encryption with Key Management

Cloud Encryption は、拡張キー管理とともに、ブロック暗号化を使用したデータベースの暗号化ストレージを提供します。Cloud Encryption は、Platform Encryption サブスクリプションバンドルで利用できます。

Security Center [®] リリースノート

このServiceNow Security Centerアプリケーションは、セキュリティ体制の向上とコンプライアンスレベルの強化を支援するように設計された複数の異なるツールで構成されており、シームレスなエクスペリエンスを実現しています。 はリリースでWashington DC拡張および更新されました。 Security Center

Washington DC リリースでの Security Center の特長

- 新しい重要な更新プログラム ツールを使用して、システムの推奨される更新プログラムを実装します。
- 新しいハードニング設定ベースライン v2.0 を実装する拡張セキュリティ強化ツールを使用します。

詳細については、「[New hardening settings for baseline version 2.0 !\[\]\(899d8b7697d64725bf017d3296cfcf1b_img.jpg\)](#) Updated hardening settings 、および」を参照してください[Customer Actions !\[\]\(b7dfc460d49846d3c7049ee3fa0df951_img.jpg\)](#) Deleted hardening settings 。

重要:

Washington DC は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティベーション情報」セクションを参照してください。

Washington DC リリースの新機能

Customer Actions

重要な更新の期日が来るタイムラインを表示して、それに応じて計画し優先順位を付けることができるようにします。

Implement steps for customer actions

インスタンス内で重要な更新を実装する方法に関する明確なステップバイステップのガイダンスを表示します。

View Customer Actions

アクティビティを表示して、更新に関連するすべてのログ (各ステップまたは更新のコメント、指示、および作業メモ) を確認します。

このリリースでの変更

新しい ハードニング設定ベースライン v2.0。

新しいベースラインがいくつかの新しい設定で拡張されます。

新しいベースラインでは、一部の既存のハードニング設定が変更されています

いくつかのハードニング設定の簡単な説明と説明が変更されました。

空の ACL スキャンチェックが追加されます

スキャナーツールが更新され、新しいチェックである 空の **ACL** が含まれるようになりました。このチェックは、v1.3.3 で Security Center 監査ツールスイートに追加されました。チェックを実行して、スクリプト、条件、またはロールのない ACL を検出できるようになりました。

このリリースでの削除

- *Enable Code Signing for Application Configuration Data and Scripts* ハードニング設定は削除されました。
- *Enable Glide KMF encrypter* ハードニング設定は削除されました。
- *Disable the Use of Instance Level Encrypter* ハードニング設定は削除されました。
- *Log All Outbound HTTP Request Fields* ハードニング設定は削除されました。
- *Auto Set Content Type Options* ハードニング設定は削除されました。

アクティベーション情報

Security Center はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。

関連 **ServiceNow** アプリケーションと機能

Instance Scan

Security Center ServiceNow インスタンススキャンは、アプリケーションを使用してインスタンスのセキュリティ脆弱性をスキャンします。

Analytics Hub

Security Center は、ServiceNow アナリティクスハブ この機能を使用してイベントを経時的に視覚化および分析します。

データディスカバリー リリースノート

このServiceNow データディスカバリーアプリケーションを使用すると、クレジットカード情報、メール、社会保障番号など、インスタンス内の機密データを特定できます。はリリースでWashington DC拡張および更新されました。 データディスカバリー

Washington DC リリースでの データディスカバリー の特長

- pアーティアルaの匿名化の使用のデータディスカバリーより良い統合
- 新しいデフォルトパターンによるエクスペリエンスの向上

詳細を参照してください [Data Discovery !\[\]\(2088942ccfedc84a0a076c3fee3541aa_img.jpg\)](#)。

Washington DC リリースの新機能

[Create anonymization techniques](#) データディスカバリーP関節匿名化のサポート

検出されたデータを部分的に匿名にできるようになりました。

[Configure a Data Discovery job](#) データパターンサポートには、キーワードとキーワードの近接性が含まれます

データパターンにキーワードとキーワード近接を使用できるようになりました。

このリリースでの変更

デフォルトのデータパターンでは、変更とキーワードがサポートされています

デフォルトのデータパターンを変更し、キーワードを追加できます。

[アクティブなデータパターンとターゲットテーブルの編集](#)

ジョブのアクティブなデータパターンとターゲットテーブルを編集できるようになりました。

Data Privacy リリースノート

ServiceNow Data Privacy アプリケーションを使用すると、機密データを分類し、ユーザーデータおよびクローン環境から個人識別可能情報 (PII) を削除できます。Data Privacy はこのリリースで Washington DC 拡張および更新されました。

リリースでの Data Privacy の Washington DC 特長

- 匿名化ページから直接テストを作成することによるワークフローの高速化
- 強化された Data Privacy UI エクスペリエンスからより多くのインサイトを得る

詳細については、「[Data Privacy](#)」を参照してください。

Washington DC リリースの新機能

[匿名化ページからのテストの作成](#)

匿名化ページから直接テストを作成できるようになりました。

[\[ポリシー\] ページからのパターン手法マッピングの作成](#)

部分匿名化の匿名化手法のデータパターンを [ポリシー] ページから直接作成できるようになりました。

パターンの順序付けのサポート

部分的なデータ匿名化ジョブの実行中にパターンの順序を確認できます。

UI の変更

拡張 Data Privacy UI

データパターンの順序に関するわかりやすい説明。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

[Data Discovery](#)

データディスカバリー 部分的な匿名化がサポートされるようになりました。

Now Platform ユーザーインターフェイスリリースノート

Washington DC リリースでの Now Platform ユーザーインターフェイス製品の機能拡張と更新について説明します。

これらのリリースノートでは、リストやフォームなどのユーザーインターフェイスのコアプラットフォーム機能拡張について説明します。

アダプションサービス リリースノート

この ServiceNow アダプションサービス アプリケーションは、製品と機能の両方を含む一連のソリューションであり、必要に応じてユーザーサポートと重要な情報を提供します。このようなサービスには、ユーザーがインスタンスで表示している UI ページを操作する方法を教える埋め込みヘルプとガイドが含まれます。アダプションサービス はリリースで Washington DC 拡張および更新されました。

Washington DC リリースでの アダプションサービス の特長

- 新機能を開始点として使用して、製品 UI で製品の新規および既存の機能について学習します。
- 製品の新機能コンテンツと、これらの製品に必要なユーザーロールを確認します。
- に表示される [新機能] タブ Help Center を参照して、新機能について学習できます。

詳細については、「[Adoption services](#)」を参照してください。

Washington DC リリースの新機能

最新情報

[最新情報] を使用して、製品の新機能コンテンツと、これらの製品に必要なユーザーロールを確認します。

アクティベーション情報

アダプションサービス はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。

Next Experience リリースノート

ServiceNow Next Experience アプリケーションは、Now Platform を使用して会社の生産性の向上、エンゲージメントの改善、学習意欲の促進を可能にする、直感的なパーソナライズされたエクスペリエンスを提供します。Next Experience は Washington DC リリースで拡張および更新されました。

リリースでの Washington DCNext Experience の特長

- 新しい「言語と地域」ユーザー設定グループが、言語、日付と時刻の形式、およびタイムゾーンの設定に追加されました。
- 統一ナビゲーション領域のアクセシビリティが向上しました。
- ユーザーインターフェイスで一般的なアクションを実行するための新しいキーボードショートカット。
- 代理操作ユーザー UI の機能拡張。

詳細については、「[Next Experience UI](#)」を参照してください。

Washington DC リリースの新機能

キーボード ショートカット

新しいキーボードショートカットを使用して、さまざまなタスクを完了するために必要な時間を短縮します。詳細については、以下の「アクセシビリティ情報」セクションを参照してください。

「表示するレコードがありません」グラフィックを非表示にできます

管理者は、新しいシステムプロパティ `glide.ui.polaris.style.hide_empty_list_image` と呼ばれるを使用して、レコードが見つからない場合に表示されるグラフィックを非表示にすることができます。この機能は、にのみ適用されます コア UI。

ヘルプセンターに追加された最新情報コンテンツ

現在、Help Centerヘルプと新機能の 2 つのタブが含まれています。[新機能] タブには、前回のリリース以降に追加または更新された機能が表示されます。[最新情報] コンテンツが利用可能になると、Help Centerアイコンに青い点が表示されます。

このリリースでの変更

ユーザーの代理操作機能の改善

[ユーザー] メニューの [ユーザーの代理操作を行う] オプションが、ユーザーを複数回代理操作すると展開されるようになりました。スクロール バーが表示される前に、最大 6 つの代理操作が表示されます。

アクティベーション情報

Next Experience は、ユーザーが Washington DC リリースをロードまたはアップグレードしたときにデフォルトでアクティブになる Now Platform 機能です。インスタンスをオンにする Next Experience 際に既知の問題がある場合は、アップグレード前にオプトアウトシステムプロパティを作成できます。

ブラウザー要件

このリリースでは Washington DC 11 はサポート Internet Explorer されなくなりました。そのブラウザからログインすることはできません。iOSのバージョンFirefoxもサポートされていません。

アクセシビリティ情報

の全体的なアクセシビリティ Next Experienceを向上させるために、次の機能が追加されました。

Next Experience keyboard shortcuts

40 個のキーボードショートカットが利用可能になり、マウスを使用せずに構成可能なワークスペースページ間をより迅速かつ効果的に移動できるようになりました。

ショートカットは、現在のページと使用しているオペレーティング システムのコンテキストに依存します。キーボードショートカットモダルを使用して、特定のページで使用するキーボードショートカットを表示します。モダルを開くには、[ユーザー初期設定] メニューから [キーボードショートカット] を選択するか、キーボードショートカットNext Experience (Windows の場合は Control + /、macOS の場合は **Command + /** を使用します) を使用します。

この機能拡張により、マウスとキーボードのみのユーザー以外のユーザーや、運動障害や認知障害のあるユーザーが、さまざまなタスクを完了するために必要な時間を短縮できます。

以前は、[特別なキーボードショートカットを有効にする Next Experience] ユーザー設定をオンにすると、限られた数のキーボードショートカットを使用できました。これらのショートカットは新しいキーボードショートカットフレームワークに含まれ

ており、新しいモデルからアクセスできます。詳細については、「[Configure Next Experience accessibility preferences](#)」を参照してください。

リフロー

Next Experience ではリフローがサポートされています。これにより、コンテンツや機能を失うことなく、ブラウザー設定を使用してページとコンテンツを最大 400% 拡大できます。さらに、コンテンツは、320 CSS ピクセルに相当する幅または 256 CSS ピクセルに相当する高さで、2 次元でスクロールせずに拡大できます。ページレイアウトは、ユーザーがブラウザーのズームを 400% に拡大すると、自動的に垂直のスタックビューに変換されます。

この機能拡張は、弱視のユーザーや、モニターのサイズ、デバイスの種類、照明の悪さ、またはその他の状況のためにブラウザーで Web コンテンツを見るのが難しいユーザーに役立ちます。リフローは、インスタンス、エクスペリエンスおよびページのシステムプロパティでオフにできます。詳細は、「[Reflow for Configurable Workspace](#)」を参照してください。

サービスポータル リリースノート

ServiceNow サービスポータル アプリケーションを使用すると、使いやすいモジュラーポータルフレームワークを使用して、顧客や従業員向けにモバイル対応のセルフサービスエクスペリエンスを構築できます。サービスポータル は、Washington DC リリースで拡張および更新されました。

Washington DC リリースでの サービスポータル の特長

- テーブル入力パラメーターを受け入れる公開ウィジェットを保護します。
- 重要な通知を閉じるまで表示します。
- すべてのプラットフォームインターフェイスに対して 1 回、User Experience Analytics の追跡をオプトインまたはオプトアウトします。
- すべてのポータル通知を一度に消去します。

詳細については、「[Service Portal](#)」を参照してください。

サービスポータル を Washington DC にアップグレードする際の重要な情報

アップグレード後に、テーブル入力パラメーターを受け入れる公開ウィジェットのデータにゲストユーザーがアクセスできるテーブルを指定する必要があります。リリースの Washington DC デフォルトでは、テーブル入力パラメーターを受け入れる公開ウィジェットは、ゲストユーザーのテーブルにアクセスしてデータを返すことはできません。アップグレード前に または `glide.service_portal.widget.allow_list` システムプロパティを追加 `glide.service_portal.widget.table_allow_list` した場合、これらのプロパティの値は、アップグレード後にウィジェットの公開テーブル許可リストに移行されます。詳細については、「[Configure widget security](#)」を参照してください。

ユーザーが以前に、プラットフォームの他の部分とは異なるポータルの User Experience Analytics のユーザーの同意設定を選択した場合、プラットフォーム用に選択された設定はリリースのポータル Washington DC にも使用されます。たとえば、ユーザーがポータルの追跡をオプトアウトし、リリースでは Vancouver プラットフォームの残りの部分の追跡をオプトインした場合、ポータルのユーザーエクスペリエンス分析はリリースで Washington DC 追跡されます。ユーザーは、ポータルのユーザープロフィールページからいつでも選択内容を更新できます。

Washington DC リリースの新機能

ゲストユーザーがアクセスする公開ウィジェットの保護

ウィジェットがゲストユーザーのデータにアクセスして返すことができるテーブルを指定して、テーブル入力パラメーターを受け入れる公開ウィジェットを保護します。

すべてのポータル通知を一度に閉じる

[すべてクリア] を選択して個別に閉じるのではなく、すべての通知を一度に閉じます。ポータル管理者は、`glide.service-portal.notification.threshold` システム プロパティを使用して、[すべてクリア] オプションを表示する前に表示する必要がある通知の数を設定できます。デフォルト値は 5 です。

このリリースでの変更

重要な通知が自動的に却下されない

sn-sticky-notification HTML クラス属性でタグ付けされた重大通知を表示します。システムプロパティで重大でない通知の自動却下が有効になっている場合でも、`glide.service-portal.notification_timeout.seconds` 明確に却下するまで却下します。

User Experience Analytics を追跡するための統一されたユーザーの同意

すべてのプラットフォームインターフェイスに対して 1 回、ユーザーエクスペリエンス分析の追跡をオプトインまたはオプトアウトします。以前は、他のプラットフォームインターフェイスでユーザーエクスペリエンス分析を追跡するためのユーザーの同意の選択に対する変更は、ポータルでは適用されず、その逆も同様でした。この選択は、プラットフォームの他の部分で使用するユーザー同意管理 (UCM) 機能で一元的に保存されるため、1 つのインターフェイスの変更がすべてのインターフェイスに適用されます。ユーザーの同意管理の詳細については、ドキュメントの「[内ユーザーエクスペリエンスアナリティクス](#)」を参照してください [User privacy, tracking, and user consent management in Usage Insights](#)。

アクティベーション情報

サービスポータル はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。

ブラウザー要件

このリリースでは Washington DC 11 はサポートされていません Internet Explorer 。のバージョン Firefox は iOS ページをサポートしサービスポータルしていません。

関連 **ServiceNow** アプリケーションと機能

Sitemap Generator

XML サイトマップを定義して自動的に生成し、公開ポータルページの検索エンジン最適化 (SEO) を改善します。

AI 検索

ServiceNow AI 検索 アプリケーションは、サービスポータル、Now Mobile、および仮想エージェント に最新の検索機能を提供します。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス for サービスポータル を有効にすると、詳細な重要業績評価指標 (KPI) データをダッシュボードとリストビューに表示できます。

認証

インスタンスにアクセスするユーザーの ID を検証し、ユーザーのロールや職務に一致する機能の使用をユーザーに許可します。PIV/CAC カード認証を有効にすることで、ポータルユーザーがパスワードなしでログインできるようにすることができます。

テーマビルダー リリースノート

ServiceNow テーマビルダー アプリケーションを使用すると、ユーザーのビジュアルエクスペリエンスをカスタマイズできるため、外観を更新してブランドの独自色を出すことができます。テーマビルダー は、Washington DCリリースで強化および更新されました。

Washington DC リリースでの テーマビルダー の特長

- 個々のコンポーネントを編集して、ブランドに適合させ、アクセシビリティのコンプライアンス基準を満たします。
- コンポーネント固有のテーマフックを操作して、ニーズに合わせたテーマを作成します。

詳細を参照してください [Working with themes in Next Experience](#)。

i 重要:

テーマビルダー は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティベーション情報」セクションを参照してください。

Washington DC リリースの新機能

コンポーネントの編集

個々のコンポーネントを編集して、ブランドに適合させ、アクセシビリティのコンプライアンス基準を満たします。編集できるテーマフックは、各タイプのコンポーネントに固有です。詳細については、以下の「アクセシビリティ情報」セクションを参照してください。

新機能のメッセージング

の更新バージョンテーマビルダーを初めて起動したときの新機能モダールを使用して、新機能について学びます。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求することで、テーマビルダー をインストールします。 [ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

アクセシビリティ情報

Adjust components to meet accessibility standards

新しいアクセシビリティチェッカー機能を使用して、独自のブランドと色を Web またはモバイルインスタンスに適用するときに、適合する色のコントラストレベルを満たしていることを確認します。詳細は、「[Adjust components to meet accessibility standards](#)」を参照してください。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

App Engine Studio

ServiceNow App Engine Studio を使用して、情報を保存し、ビジネスプロセスを自動化し、ビジネス上の問題を解決するためのリッチな Web アプリケーションを開発します。

ServiceNow UI Builder

UI ビルダー を使用して、App Engine Studio で生成されたワークスペース、または Next Experience コンポーネント とカスタム Web コンポーネントを使用するカスタム Web エクスペリエンスのためのページを構築します。

Workspace リリースノート

ServiceNow ワークスペースアプリケーションは、エージェント、ケースマネージャー、ヘルプデスクプロフェッショナル、およびマネージャーに、顧客の質問に回答し、顧客の問題を解決するためのツールを提供します。ワークスペース はリリースで Washington DC 拡張および更新されました。

リリースでのワークスペースの Washington DC 特長

- ドキュメントと添付ファイルのファイル サイジングを管理します。
- モジュールの暗号化を使用して、ロール別に添付ファイルへのアクセスを整理します。
- ナビゲーター内の統合されたアクション、折りたたまれたタイル付きのアクティビティストリーム エントリ、更新されたナビゲーションメッセージにより、ワークスペースのナビゲーションを簡素化します。
- サポートされているフィールドタイプ、統一されたアクション、メールの自動保存機能により、ワークスペースでの作業中の汎用性を高めます。

詳細については、「[Configurable Workspace UI](#)」を参照してください。

Washington DC リリースの新機能

添付ファイルに許可される最大ファイルサイズ

最大ファイルサイズを設定すると、ワークスペース内の添付ファイルとドキュメントの保存領域を確保できます。

UI の変更

AI フィールドの推奨事項

AI フィールドの推奨事項は、スパークルアイコン (ス ✨) 付きのフィールドに表示されます。

メールに添付ファイルを追加する

添付ファイルアイコン ( アイコン) を選択して、メールに添付ファイルを追加します。

メールドラフトの添付ファイルを展開するか、添付ファイルを非表示にしてメールドラフトで圧縮します。

アクティビティストリームのタイルエントリ

アクティビティストリームにリストされているエントリはタイルとして表示されます。スクロールしなくても、折りたたむと他のエントリを表示できます。エントリを展開してコンテンツを表示します。

スコープを切り替えるリンクを含むナビゲーションメッセージ

スコープ外のアプリケーションを開くと、ナビゲーション メッセージによって正しいスコープへのリンクが提供されます。

の新しいイベントにより UIB 、リンク付きのナビゲーション メッセージが有効になります。

このリリースでの変更

でのレコードプレビュー 構成可能ワークスペース

フィールド内の情報アイコン (情報 ⓘ) を選択して、レコードを開く前にプレビューします。

フォームコンポーネント内のフォームバンドルコンポーネントを使用するか、標準のレコードページテンプレートを使用して、レコードプレビューを利用できます。

フォームに 追加された添付ファイルを暗号化する

フォーム内に添付ファイルを追加するときにモジュールの暗号化を選択して、添付ファイルを表示するためのアクセス権を持つロールを管理します。

メールドラフトの保存

手動 の [保存] ボタンは、メールクライアントで使用できなくなりました。

メールの下書きは、数秒後に自動的に保存されます。

新しいメールドラフトを作成してメールドラフトを表示すると同時に、現在のメールドラフトを自動的に保存します。

システム管理者は、自動保存を無効にするか、プロパティ `glide.email_client.auto_save_enable` を使用して自動保存の更新間隔を変更します。

受信者フィールドにメールアドレスを追加する

メールアドレスをコピーして、メールクライアントの受信者フィールドに貼り付けます。

メールにナレッジ記事へのリンクを挿入

エージェント支援を使用して、要求者にメールでナレッジ記事へのリンクを追加します。

作成 パネルのポップアップダイアログ

ポップアップダイアログから [作成] パネルを操作して、ワークスペースフォームの他の領域を同時に操作します。

UIB のメールコンポーザー

[メール送信] ボタンの設定、メールへのリンクの挿入、[新しいメールの作成]、[破棄]、および [下書きの表示] ボタンの制御、列レイアウトの調整を行うために Email Composer に追加された UIB プロパティ。

UIBメールコンポーザーで、変更後にメールの件名を維持するために追加されたイベント。

フォームでサポートされている フィールドタイプ

ワークスペース は、フォームで Integer_date、XML、スクリプト、Script_plain、Condition_string、スラッシュバケットのフィールドタイプをサポートしています。

宣言アクション構成 の改善

UXF フォームアクションおよび UX フォームアクションレイアウトアイテムレコードの自動作成を含む、宣言アクション構成エクスペリエンスに対処するための改善点のコレクションにより、宣言アクションの設定に必要な手動の異なるステップの数の削減、宣言アクションへのナビゲーションアクセスの更新、アイコンやその他のボタンの色のサポート。

UXF クライアント アクションのペイロードによる翻訳

宣言アクションペイロードで定義されたテキストを翻訳するには、`translate()` 呼び出しの値を一重引用符または二重引用符で囲みます。

フォーム レイアウトでアクションを統一

既存のレイアウトでは、アクションを統一するためのボタンとともにアラートメッセージが表示されます。これにより、フォームアクションが単一のリストに統合され、表示調整が簡単になります。新しいレイアウトは自動的に統合されます。

アクティベーション情報

ワークスペース はデフォルトで有効な機能です Now Platform[®]。

アクセシビリティ情報

キーボード ショートカット

40 個のキーボードショートカットが利用可能になり、マウスデバイスを使用せずに構成可能なワークスペースページ間をより迅速かつ効果的に移動できるようになりました。

ショートカットは、現在のページと使用しているオペレーティング システムのコンテキストに依存します。キーボードショートカットモジュールを使用して、特定のページで使用するキーボードショートカットを表示します。モジュールを開くには、[Next Experience ユーザー初期設定] メニューから [キーボードショートカット] を選択するか、キーボードショートカット (Windows の場合は Control + /、macOS の場合は **Command + /**) を使用します。

この機能拡張により、マウスとキーボードのみのユーザー以外のユーザーや、運動障害や認知障害のあるユーザーが、さまざまなタスクを完了するために必要な時間を短縮できます。

以前は、[Next Experience の特別なキーボードショートカットを有効にする] ユーザー初期設定がオンになっている場合、利用できる キーボードショートカット の数は限られていました。これらのショートカットは新しいキーボードショートカットフレームワークに含まれており、新しいモジュールからアクセスできます。詳細については、「[Configure Next Experience accessibility preferences](#) 

Operational Technology リリースノート

Washington DC リリースには、Operational Technology の新機能と更新された機能が含まれます。

注:

Manufacturing Process Manager アプリケーションは、Industrial Process Manager に名前が変更されました。

産業用プロセスマネージャー リリースノート

ServiceNow 産業用プロセスマネージャー アプリケーションを使用すると、チームは各施設の産業用機器モデルと関連する生産プロセスをマッピングして可視化できます。産業用プロセスマネージャー は Washington DC リリースで拡張および更新されました。

Washington DC リリースでの 産業用プロセスマネージャー の特長

- 機器モデルエンティティレコードが作成された後、1 つ以上の機器モデルエンティティの親を変更します。
- 新しいゾーンベースの IP ネットワークグループ間の自動マッピング (AMAZING) ロールを使用して、OT サブネットマッピングレコードにアクセスできるユーザーおよび編集できるユーザーを制御します。
- 新しいユーザー基準セキュリティモデルを使用して、サイトおよび機器モデルエンティティの表示とアクセスをコントロールおよび編集します。

詳細については、「[Industrial Process Manager](#)」を参照してください。

i 重要:

産業用プロセスマネージャー は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティベーション情報」セクションを参照してください。

Washington DC リリースの新機能

機器モデルエンティティの親の変更

機器モデルエンティティを作成した後、1 つ以上の機器モデルエンティティレコードの親を更新します。

OT サブネットマッピングレコードにアクセスして編集するための追加の AMAZING ロール

Amazing Reader (sn_ot_amazing_read)、Amazing Writer (sn_ot_amazing_write)、Amazing Admin (sn_ot_amazing_admin) のロールを割り当て、OT サブネットマッピングレコードへのアクセス権を持ち、どのユーザーが OT サブネットマッピングレコードを編集できるかを制御します。

Owns::Owned by 関係 (sn_otsm.subnet_mapping.auto_assign_ot_control_modules) システムプロパティに基づいて、すべての OT コントロールモジュールを機器モデルエンティティに自動的にアサインします

OT コントロールモジュールと OT コントロールシステム (または拡張クラス) デバイスとの owns::owned by 関係に基づいて、機器モデルエンティティへの OT コントロールモジュールの自動アサインを有効にします。

ユーザー基準のセキュリティ モデル

ユーザー基準を作成して割り当て、新しいユーザー基準セキュリティモデルを使用して、サイトおよび機器モデルエンティティへのユーザーアクセスの表示と編集を制御します。サイト ユーザー構成からユーザー条件セキュリティ モデルに移行する場合は、ISAEntitySiteUser スクリプトが更新され、ISA ユーザー条件テーブルがクエリされ、既存のすべてのパブリック API に対してユーザー条件 API が呼び出されます。

i 注:

ISA 設備階層モデルアプリケーションのバージョンが 1.0.12 より前の場合でも、ISA 設備階層モデルで利用可能なサイトユーザー構成を使用できます。

UI の変更

マッピングされていない OT デバイスリスト

マッピングされていない OT デバイスリストが、(OT) モジュールの下の Operational Technology リストビューに追加業種別 ワークスペースされました。

マッピングされた OT デバイステーブル

マッピングされた OT デバイステーブルが、モジュールの下の Industrial Workspace 管理者 [Industrial Process Manager] メニュー項目に追加されました。

[依存関係マップを表示] ボタン

[依存関係マップを表示] ボタンが、モジュールの機器モデル - ISA メニューアイテムの下にある機器モデルエンティティテーブルの機器モデルビュー 業種別 ワークスペースに追加されました Industrial Workspace 管理者。

場所フィールド

OT サブネットマッピング中にデバイスに場所を追加する機能が、モジュールの Industrial Process Manager アイテム Industrial Workspace 管理者 の OT サブネットマッピングテーブルに追加されました。

機器モデルエンティティと OT デバイス間の新しい関係の OT サブネットマッピングメッセージ

一致する OT サブネットが見つかり、機器モデルエンティティと OT デバイスの間に新しい関係が作成された場合は、[CI 関係] テーブルに移動するリンクを含むメッセージが表示されます。

機器モデルと OT デバイス間の既存の関係の OT サブネットマッピングメッセージ

一致する OT サブネットが見つかり、機器モデルエンティティと OT デバイスの間に関係が存在する場合、CI 関係テーブルに移動するリンクを含むメッセージが表示されます。

ユーザー基準 - [読込可能] メニューアイテム

機器モデルエンティティビューアクセス [isa_entity_m2m_user_criteria_can_view] テーブルを含む [ユーザー基準 - 読込可能] メニューアイテムが、Now Platform 機器モデル - ISA モジュールに追加されました。

ユーザー基準 - メニューアイテムを編集可能

機器モデルエンティティの編集アクセス [isa_entity_m2m_user_criteria_can_edit] テーブルを含む [ユーザー基準 - 編集可能] メニューアイテムが、Now Platform の機器モデル - ISA モジュールに追加されました。

このリリースでの変更

の機器モデルセクションを管理します 産業用プロセスマネージャー ガイド付きセットアップ

の 産業用プロセスマネージャー ガイド付きセットアップ [機器モデルの管理] セクションに、次の新しい機能拡張があります。

- ユーザーのアサインタスクが削除されました。
- [サイト ユーザーのユーザー条件の作成] タスクが追加されました。
- [サイト ユーザーの割り当て - 読み取り可能] タスクが追加されました。
- [サイト ユーザーのアサイン - 編集可能] タスクが追加されました。

ISA 設備階層モデルの機能拡張

ISA 設備階層モデルのバージョン 1.0.12 にアップグレードすると、サイト ユーザーアクセスからユーザー基準およびグループへの移行が自動的に開始され、次の変更が行われます。

- ユーザー基準を使用して機器モデルエンティティサイトへの読み取りまたは書き込みレベルのユーザーアクセスを定義するサイトレベルのアクセス制御が改善されました。OT ビュアー (cmdb_ot_viewer) または OT エディター (cmdb_ot_editor) ロールの追加アサインにより、それに応じて割り当てられたサイト内の OT デバイスへの表示または編集アクセス権を持つこともできます。
- ISA 設備階層モデルのバージョン 1.0.12 にアップグレードすると、既存のサイトユーザーレコードは、ユーザー基準を使用して改善されたアクセス制御モデルに移行され、同じアクセス許可が保持されます。ISA エンティティサイトユーザーレコードを持つサイトごとに、次の変更が行われます。
 - 閲覧者アクセス権を持つユーザーの場合:
 - 新しいユーザー基準レコードが作成され、[読み取り] という名前が付けられる **<サイト名> サイト [システム生成]**
 - このサイトのすべてのサイト ユーザーを含む新しいユーザー グループが作成され、**<サイト名>の読み取りグループ**という名前が付けられます。 **サイト [システム生成]**
 - 新しい機器モデルエンティティビューアクセステーブル (isa_entity_m2m_user_criteria_can_view) に新しいレコードが作成され、新しいユーザー基準とユーザーグループが作成されます。

- 編集者アクセス権を持つユーザーの場合:
 - 新しいユーザー基準レコードが作成され、[<サイト名] の [ユーザー基準の編集] という名前が付けられます> サイト [システム生成]
 - このサイトのすべてのサイトユーザーを含む新しいユーザーグループが作成され、<サイト名>サイトの編集グループという名前が付けられます。 サイト [システム生成]
 - 新しい機器モデルエンティティの編集アクセステーブル (isa_entity_m2m_user_criteria_can_edit) に新しいレコードが作成され、新しいユーザー基準とユーザーグループが作成されます。
- サイトの機器モデルエンティティレコードの [サイトユーザー] アプリケーションメニューと [サイトユーザー] 関連リストが削除されます。
- すべてのサイトユーザー (isa_entity_site_user) レコードが非アクティブに設定されます。
- [サイト ユーザー - 読み取り可能] および [サイト ユーザー - 編集可能] アプリケーション メニュー項目が Now Platformに追加されます。
- [設備モデルを読み込みます] および [設備モデルを編集可能] 関連リストがサイトの機器モデルエンティティレコードに追加されます。

このリリースでの削除

- ISA エンティティサイトユーザー [isa_entity_site_user] テーブルを含む [サイトユーザー] メニューアイテムが、Now Platformの機器モデル - ISA モジュールから削除されました。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求することで、産業用プロセスマネージャー をインストールします。[ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

Operational Technology Manager

を使用すると ServiceNow Operational Technology Manager、複数のソースから (OT) デバイスデータを集計 Operational Technology できるため、ソリューションで使用される 業種別 基本的なデータ関係を構築できます。

オペレーショナルテクノロジー変更管理

このServiceNow オペレーショナルテクノロジー変更管理アプリケーションを使用すると、エンジニアはオペレーショナルテクノロジー (OT) デバイスと生産プロセスに変更を実装できます。はリリースでWashington DC拡張および更新されました。オペレーショナルテクノロジー変更管理

Washington DC リリースでの オペレーショナルテクノロジー変更管理 の特長

- OT 変更要求と OT 変更タスクのメール通知を有効にして、OT 変更レコードの最新情報を常に把握します。
- 複数の OT デバイスと機器モデルエンティティを OT 変更要求に追加して、より論理的な方法で作業をグループ化できるようにします。

詳細については、「[Operational Technology Change Management](#)」を参照してください。

i 重要:

オペレーショナルテクノロジー変更管理 は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティベーション情報」セクションを参照してください。

Washington DC リリースの新機能

Change email notifications

変更レコードが更新されたときに、関連するステークホルダーにメール通知を送信します。

Edit the related devices and equipment model entities in a change record

[影響を受ける OT デバイス] 関連リストと [影響を受ける機器モデルエンティティ] 関連リストの OT 変更レコードで、複数の OT デバイスと機器モデルエンティティをそれぞれ追加または削除します。

UI の変更

ファームウェアカテゴリ

ファームウェアカテゴリは、OT 変更要求フォームの [カテゴリ] フィールドオプションとして追加されました。

自分のタスクと未アサインリスト

の 業種別 ワークスペース [その他の OT タスク] の下にある [自分のタスク] および [未アサイン] リストが変更され、OT ユーザーにアサインされている変更タスクレコードと、どのユーザーにもアサインされていない変更タスクレコードが含まれるようになりました。

このリリースでの変更

書き込みユーザーロールの変更 (sn_ot_change_write)

変更書き込みユーザーロール (sn_ot_change_write) が更新され、このロールが割り当てられたユーザーに IT 変更タスクをアサインできるようになりました。また、アサインされている IT 変更タスクを更新することもできます。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求することで、オペレーショナルテクノロジー変更管理 をインストールします。 [ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

関連 **ServiceNow** アプリケーションと機能

IT Service Management

オペレーショナルテクノロジーインシデント管理 または オペレーショナルテクノロジー変更管理 アプリケーションと統合すると、ServiceNow IT Service Management アプリケーションを使用してエンジニアは OT の資産と本番プロセスの問題を迅速に解決できます。

オペレーショナルテクノロジーインシデント管理 v2 リリースノート

v2 アプリケーションを使用すると、エンジニアは ServiceNow オペレーショナルテクノロジーインシデント管理 (OT) デバイスと本番プロセスの問題を迅速に解決 Operational Technology できます。v2 はリリースで Washington DC 拡張および更新されました。オペレーショナルテクノロジーインシデント管理

Washington DC リリースでの オペレーショナルテクノロジーインシデント管理 v2 の特長

- アサインルールを作成して、OT インシデントレコードを適切なユーザーまたはユーザーグループに自動的にアサインします。
- インシデント番号と簡単な説明を含む件名フィールドが自動入力された OT インシデントレコードからメールを直接送信することで、時間を節約できます。
- 複数の OT デバイスと機器モデルエンティティを OT インシデントに追加して、より論理的な方法で作業をグループ化できるようにします。

詳細については、「[Operational Technology Incident Management](#)」を参照してください。

i 重要:

オペレーショナルテクノロジーインシデント管理 は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティベーション情報」セクションを参照してください。

Washington DC リリースの新機能

Edit the related devices and equipment model entities in an incident record

[影響を受ける OT デバイス] 関連リストおよび [影響を受ける機器モデルエンティティ] 関連リストの OT インシデントレコードで、複数の OT デバイスと機器モデルエンティティをそれぞれ追加または削除します。

OT インシデントレコードのアサインルールの作成

v2 の オペレーショナルテクノロジーインシデント管理 アサインルールを作成し、アサインルールでの定義に従って、OT インシデントを適切なグループまたはユーザーに自動的にアサインします。

Compose an email from an OT incident record

レコードで利用可能な [メールの作成 (Compose Email)] ボタンを選択して、OT インシデントレコードから直接メールを作成します。件名フィールドには、レコード内のインシデント番号と簡単な説明が自動的に入力されます。

UI の変更

自分のタスクと未アサインリスト

Industrial Workspace の [その他の OT タスク] の下にある [自分のタスク] と [未アサイン] リストが変更され、OT ユーザーにアサインされているインシデントタスクレコードと、どのユーザーにもアサインされていないインシデントタスクレコードが含まれるようになりました。

[メールの作成] ボタン

[メールの作成] ボタンが OT インシデントレコードフォームに追加されました。

アクティベーション情報

オペレーショナルテクノロジーインシデント管理 v2 を ServiceNow Store から要求してインストールします。 [ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表

示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

関連 **ServiceNow** アプリケーションと機能

IT Service Management

オペレーショナルテクノロジーインシデント管理 または オペレーショナルテクノロジー変更管理 アプリケーションと統合すると、ServiceNow IT Service Management アプリケーションを使用してエンジニアは OT の資産と本番プロセスの問題を迅速に解決できます。

オペレーショナルテクノロジーのナレッジ管理 リリースノート

このServiceNow オペレーショナルテクノロジーのナレッジ管理アプリケーションは、同様の問題が発生する可能性のある他のユーザーと共有できるナレッジ記事で、オペレーショナルテクノロジー (OT) システムに関する情報を取得するのに役立ちます。 は、このリリースのWashington DC新機能です。 オペレーショナルテクノロジーのナレッジ管理

Washington DC リリースでの オペレーショナルテクノロジーのナレッジ管理 の特長

- ナレッジマネージャーとナレッジユーザー用の OT ナレッジベースを構成して、ナレッジ記事を追跡します。
- アプリケーションと併用 オペレーショナルテクノロジーインシデント管理 すると、OT インシデントに関連するすべてのナレッジベース記事を参照できます。
- 知識と解決策を記録します。OT インシデントレコードを介して 業種別 ワークスペース、または OT インシデントレコードからナレッジ記事を作成できます。
- 考えられるナレッジギャップを監視します。OT インシデントレコードからナレッジギャップを報告し、関連するフィードバックタスクをユーザーに割り当てることができます。

詳細については、「[Operational Technology Knowledge Management](#)」を参照してください。

オペレーショナルテクノロジーのナレッジ管理 機能

Create an OT knowledge base

OT ナレッジベースを作成して、OT ナレッジユーザーが OT インシデントに関するコンテンツを保存、共有、および管理するためのセルフサービスプラットフォームを提供します。

Create a knowledge article from an OT incident record

OT インシデントレコードから直接ナレッジ記事を作成して、OT インシデントとその解決に関する情報を保存します。

Create a knowledge article in Industrial Workspace

で 業種別 ワークスペース ナレッジ記事を作成し、OT インシデントに直接関連しないニーズとソリューションに記事のコンテンツをポイントできるようにします。

Report a knowledge gap from an OT incident record

インシデントに関連するナレッジ記事が見つからない場合は、OT インシデントからナレッジギャップを報告します。

Approve requests to publish or retire a knowledge article

ナレッジマネージャーとしてナレッジ記事の公開または廃止の要求を承認し、ナレッジベースを最新の状態に保ちます。

ナレッジギャップに関連するフィードバックタスクのアサイン

ナレッジマネージャーとしてフィードバックタスクをアサインし、フィードバックタスクに対処し、関連するナレッジ記事が更新されるようにします。

Find information in the related knowledge articles for an OT incident

コンテキストナレッジ記事を表示して、作業中のインシデントに関する情報と、適用可能な以前の解決策を見つけるのに役立ちます。

UI の変更

ナレッジ モジュール リスト ビュー

ナレッジモジュールリストビューが追加され、業種別 ワークスペース、次のリストが含まれています。

- 自分の未公開記事
- 自分の公開済み記事
- すべてのコンテンツ
- 自分のフィードバックタスク
- すべての OT ナレッジギャップ
- アサイン済みフィードバックタスク
- 未アサインの OT ナレッジギャップ

[ナレッジを作成] ボタン

[ナレッジを作成] ボタンが OT インシデントレコードフォームに追加、業種別 ワークスペース されました。[ナレッジを作成] ボタンを使用すると、OT インシデントレコードから直接ナレッジ記事を作成できます。

アクティベーション情報

オペレーショナルテクノロジーのナレッジ管理 はアプリケーションに含まれています オペレーショナルテクノロジーインシデント管理。オペレーショナルテクノロジーインシデント管理を構成オペレーショナルテクノロジーのナレッジ管理できるように、アプリケーション (バージョン 2.0.2) をインストールして構成する必要があります。追加のプラグインは必要ありません。ServiceNow Store から要求することで、オペレーショナルテクノロジーインシデント管理 をインストールします。ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

Operational Technology Incident Management

この ServiceNow オペレーショナルテクノロジーインシデント管理 アプリケーションにより、エンジニアはオペレーショナルテクノロジー(OT)資産と生産プロセスの問題を迅速に解決できます。

Knowledge Management

ServiceNow ナレッジ管理 (KM) アプリケーションを使用すると、ナレッジベースで情報を共有できます。これらのナレッジベースには、セルフ ヘルプ、トラブルシューティング、およびタスク解決などの情報をユーザーに提供する記事が含まれています。

Operational Technology Manager リリースノート

アプリケーションではServiceNow Operational Technology Manager、複数のソースから (OT) デバイスデータを集計Operational Technologyできるため、ソリューションで基本的なデータ関係を構築できます。はリリースWashington DCで業種別拡張および更新されました。Operational Technology Manager

Washington DC リリースでの Operational Technology Manager の特長

- で 業種別 ワークスペース利用可能な新しい OT デバイスのランディングページタブを使用して、一元的な場所で OT デバイスデータを監視します。
- IT を OT に再アサインするための一括更新ルールセット機能を使用して、スケジュール済みジョブで IT ハードウェアを OT デバイスに自動的に変換します。
- 構成管理データベース (CMDB) OT クラスモデルの更新と UI の拡張機能を使用します。
- OT ワークシートエントリレビュー (POWER) ツールの更新と UI の拡張を事前インポートします。

詳細については、「[Operational Technology Manager](#)」を参照してください。

重要:

Operational Technology Manager は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティベーション情報」セクションを参照してください。

Washington DC リリースの新機能

OT デバイスのランディングページタブ

に追加された 業種別 ワークスペースOT デバイスのランディングページタブを使用して、マルチサイトおよび事業部門のフィルタリングで OT デバイスデータを追跡します。このランディングページタブは で パフォーマンスアナリティクス実行されるようになります。

新しい OT デバイスのランディングページタブでのマルチサイトおよび事業部門のフィルタリングの実装

OT デバイスのランディングページで事業部門とサイトフィルターを使用して、特定の事業部門とサイトに基づいて表示されたデータをフィルタリングします。

IT を OT 機能に再アサインするための一括更新ルールセット

[IT を OT に再割り当てするための一括更新ルールセット] 機能を使用して、IT ハードウェアを OT デバイスに自動的に変換します。

UI の変更

資産からデバイス名への変更

製品ドキュメント業種別 ワークスペースNow Platformで OT 資産または資産への参照が **OT** デバイスまたはデバイスに変更されました。

[OT サブネット] 関連リスト

既存の OT サブネットマッピングは、と 業種別 ワークスペースの両方の Now Platform [OT サブネット] 関連リストの下に OT デバイスレコードで表示できます。

アプリケーションリスト

[アプリケーション] リストが、オペレーショナルテクノロジー (OT) モジュールの下にリストビューに追加 業種別 ワークスペース されました。

情報技術 (IT) モジュール

リストビューの情報 業種別 ワークスペース 技術 (IT) モジュールは、オペレーショナルテクノロジー (OT) モジュールの下に移動されました。

OT タスクモジュール

リストビューの 業種別 ワークスペース OT タスクモジュールのリストは、次の列をこの順序で表示するように標準化されました。

- Number (数値)
- 構成アイテム
- Priority (優先度)
- ステータス
- 担当者
- Short description (簡単な説明)
- タスクタイプ

すべての OT プロパティモジュール

[すべての OT プロパティ] モジュールがメニューアイテムの下にIndustrial Workspace 管理者追加Now Platformされました。

このリリースでの変更

新しい 業種別 ワークスペース ランディングページのエクスペリエンス

業種別 ワークスペース OT デバイスデータと OT 脆弱性データを個別に監視できるように、ランディングページは次のタブに分割されました。

- **OT** デバイスのランディングページ タブ
- **OT** 脆弱性ランディングページ タブ

インポート前 OT ワークシートエントリレビュー (POWER) ツール

配布 Microsoft されたスプレッドシートを使用して OT デバイスをインポートし、管理性を向上させます。

- SGOAssetCustomValidationExtensionPoint 拡張ポイントを使用して、カスタム検証を作成します。
- SG OT Excel ステージングテーブルの [新規] ボタンを使用して、構成管理データベース (CMDB)OT デバイスをに手動で追加します。
- OT ステージングユーザー (ot_staginguser) ロールを使用して、ユーザーが SG OT Excel ステージングテーブルのレコードに対して検証を作成、編集、表示、および実行できるようにします。
- *Equipment model entity path* SG OT Excel ステージングテーブルの属性を使用して、デバイスを機器モデルエンティティにマッピングします。
- [OT 表示名 (OT display name)] 列が SG OT Excel ステージングテーブルに追加されました。
- 制御モジュールの有無にかかわらず、PLCデバイスについて追加の検証および検証メッセージが追加されました。
- スロット属性とラック属性の検証と検証メッセージが SG OT Excel ステージングテーブルに追加されました。
- *Operating system*属性が SG OT Excel ステージングテーブルに追加されました。

- Rack属性が SG OT Excel ステージングテーブルに追加されました。
- 未分類の OT デバイスには、ot_baseデバイスタイプが指定されます。

CMDB OT クラスモデルの更新

OT クラスモデルに対する 構成管理データベース (CMDB) これらの更新により、OT ユーザーエクスペリエンスが向上するか、追加の構成が可能になります。

- ラック が OT コントロールモジュール (cmdb_ci_ot_control_module) CI クラスの識別子として追加されました。
- モジュール付き OT コントロールシステムリストが、オペレーショナルテクノロジー (OT) モジュールとオペレーショナルテクノロジー (OT) モジュールの下のリストビューの両方 業種別 ワークスペース に追加され、利用可能なすべてのコントロールシステムとそのコントロールシステムモジュール Now Platform が表示されました。
- CMDB[360 データ] 関連リストが OT 親クラス構成アイテムフォームと OT コントロールモジュールクラスに追加されました。
- プロトコルコンバータークラスとネットワーク機器クラスにクラスマッピングが追加されました。
- [**OT** リストビューにコントロールモジュールを表示] システムプロパティが追加されました。

このリリースでの削除

- 次のシステムプロパティが Service Graph Connector for Operational Technology (Excel) から削除されました。
 - `sn_otsm_sgc.excel.nested.columns.max.level`
 - `sn_otsm_sgc.excel.nested.column.delimiter`
- SG OT Excel ステージング [sg_ot_excel_staging] テーブルでコントロールモジュールとして分類されている OT デバイスの名前の検証が削除されました。
- Name属性が OT コントロールモジュール識別ルールから削除されました。
- ネットワーク侵入検知システム (NIDS) クラスレコードを手動で作成する機能は削除されました。
- コントロールモジュールは、モジュール付き **OT** コントロールシステムの下を除いて、リストビューに表示されなくなりました。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求することで、Operational Technology Manager をインストールします。 [ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

Configuration Management

Operational Technology Manager アプリケーションは、ServiceNow Store の CMDB CI Class Models アプリケーションで利用可能な Operational Technology (OT) 拡張クラスの最新バージョンを自動的にインストールします。

Operational Technology Vulnerability Response リリースノート

ServiceNow Operational Technology Vulnerability Responseアプリケーションを使用すると、サイトレベルで (OT) 脆弱性に優先順位を付けるOperational Technologyことができます。はリリースでWashington DC拡張および更新されました。Operational Technology Vulnerability Response

Washington DC リリースでの Operational Technology Vulnerability Response の特長

- で利用可能な業種別 ワークスペース新しい OT 脆弱性ランディングページのタブを使用して、一元的な場所で脆弱性データを監視します。
- の新しい 業種別 ワークスペース(PA) ダッシュボードを使用してOperational Technology Vulnerability Response、OT 脆弱性一致アイテム (VI) のボリューム、パフォーマンス、および初期分析と検出から封じ込めまたは修復までの進捗状況を追跡します。

詳細については、「[Operational Technology Vulnerability Response](#)」を参照してください。

i 重要:

Operational Technology Vulnerability Response は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティベーション情報」セクションを参照してください。

Washington DC リリースの新機能

OT 脆弱性ランディングページタブ

の 業種別 ワークスペースOT 脆弱性ランディングページのタブを使用して、マルチサイトおよび事業部門のフィルタリングで **OT** 脆弱性データを追跡します。このランディングページタブは で パフォーマンスアナリティクス実行されるようになりました。

OT 脆弱性ランディングページでのマルチサイトおよび事業部門のフィルタリングの実装

[**OT** 脆弱性] ランディングページ タブの事業部門とサイトフィルターを使用して、特定の事業部門とサイトに基づいてデータをフィルタリングします。

Operational Technology Vulnerability Response (PA) ダッシュボード

(PA) ダッシュボードを使用して Operational Technology Vulnerability Response 、VI の初期分析と検出から封じ込めまたは修復までの OT 脆弱性一致アイテム (VI) のボリューム、パフォーマンス、および進捗状況を追跡します。

UI の変更

OT 脆弱性ランディングページタブ

[**OT** 脆弱性] ランディングページのタブが追加され業種別 ワークスペース、次の機能拡張が行われました。

- 脆弱性リスクテーブルには、機器モデル階層が正しい番号順に表示されます。
- ステータス別の脆弱性一致アイテムのグラフには、ステータスが次の順序で表示されます。
 - オープン
 - 調査中
 - レビュー中
 - 実装待ち
 - 解決済み

ダッシュボードアイコン

 ダッシュボードアイコン。アイコンが (PA) ダッシュボードにアクセスする Operational Technology Vulnerability Response ため業種別 ワークスペースに追加されます。

脆弱性一致アイテムと修復タスクの作業メモ

脆弱性一致アイテムと修復タスクの作業メモとコメントが追加されました 業種別 ワークスペース。修復オーナーとして、これらのタスクを実行できます。

OT 脆弱性一致アイテムリスト

リストビューの OT 脆弱性一致アイテムモジュールの 業種別 ワークスペース 次のリストが変更されました。

- [自分の要求] の名前が [自分の例外要求] に変更されました。
- [自分の例外要求] リストにサイト コンテキストが含まれるようになりました。
- [承認ステータス] 列に [却下] 承認ステータスが含まれるようになりました。

このリリースでの変更

新しい 業種別 ワークスペース ランディングページのエクスペリエンス

業種別 ワークスペース OT デバイスデータと OT 脆弱性データを個別に監視できるように、ランディングページは次のタブに分割されました。

- **OT** デバイスのランディングページ タブ
- **OT** 脆弱性ランディングページ タブ

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求することで、Operational Technology Vulnerability Response をインストールします。 [ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

関連 **ServiceNow** アプリケーションと機能

CMDB CI Class Models store app

CMDB CI Class Models ストアアプリは、クラスの説明、識別ルール、識別子エントリ、および依存関係を含む、CMDB クラス階層を拡張するクラスモデルを追加します。

Vulnerability Response

Operational Technology Vulnerability Response と統合すると、ServiceNow 脆弱性対応 アプリケーションはプロセスの重要度に基づいて OT の脆弱性を優先順位付けして解決するのに役立ちます。

Operational Technology Manager

ServiceNow Operational Technology Manager を使用すると、複数のソースからオペレーショナルテクノロジー (OT) デバイスデータを集計できるため、ソリューションで使用される 業種別 基本的なデータ関係を構築できます。

Industrial Process Manager

ServiceNow 産業用プロセスマネージャー アプリケーションを使用して、ServiceNow 業種別 ソリューションに必要な ISA-95 設備階層モデルデータ基盤

を作成します。これにより、各産業ソリューション現場で独自のバージョンの機器モデルを作成できます。

Claroty CTD のサービスグラフコネクタ統合 リリースノート

ServiceNow Claroty CTD のサービスグラフコネクタ統合アプリケーションは、検出されたデバイスと Claroty CTD サイトのインポートを自動化します。はリリースでWashington DC拡張および更新されました。Claroty CTD のサービスグラフコネクタ統合

Washington DC リリースでの Claroty CTD のサービスグラフコネクタ統合 の特長

- オプションの ガイド付きセットアップ タスクで問題を直接トラブルシューティングします。
- クラス、タイプ、または Purdue レベルでデータをフィルタリングして、Claroty CTD から特定のレコードをインポートします。

詳細については、「[Service Graph Connector Integration for Claroty CTD](#)」を参照してください。

重要:

Claroty CTD のサービスグラフコネクタ統合 は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティベーション情報」セクションを参照してください。

Washington DC リリースの新機能

Service Graph Connector Integration for Claroty CTD のトラブルシューティング

の検証のためにジョブスケジュールを実行し、結果を確認して、の「Service Graph Connector for Claroty CTD のトラブルシューティング」セクション ガイド付きセットアップのオプションの手順を使用して問題をトラブルシューティングします。

Class/Type システムプロパティ

クラス/タイプシステムプロパティ (`filter.asset_type_code`) を使用して、クラスまたはタイプに基づくレコードを Claroty CTD からインポートします。

Purdue Level システムプロパティ

Purdue Level システムプロパティ (`filter.asset_purdue_level`) を使用して、Purdue レベルに基づくレコードを Claroty CTD からインポートします。

オペレーティング システム (OS) に基づく分類をオフにします

利用可能なスクリプトで選択を変更して、ネットワーク機器とモノのインターネット (IoT) デバイスとその拡張クラスの OS に基づく分類をオフにします。

UI の変更

[テスト接続] ボタン

[**20** 件のレコードのテスト ロード] ボタンは、(SGC) の接続サービスグラフコネクタのテストには使用されなくなりました。SGC 用の新しい接続フレームワークでは、[テスト接続] ボタンを使用します。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求することで、Claroty CTD のサービスグラフコネクタ統合 をインストールします。 [ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

CMDB CI Class Models ストアアプリ

Operational Technology クラスは、構成管理データベース (CMDB) 構成アイテム (CI) クラスとともにインポートされます。

Operational Technology Manager

Cloty CTD をアプリケーションに統合して、ServiceNow Operational Technology Manager 検出されたデバイスと Cloty CTD サイト (センサー/NIDS アプライアンス) をインポートします。

サービスグラフコネクタ for Microsoft Defender for IoT (Azure) リリースノート

ServiceNow サービスグラフコネクタ for () アプリケーションは、デバイスとセンサーアプライアンスのインポートを自動化します。for Microsoft Defender for IoT Microsoft Defender for IoT (Azure Azure) は、このリリースの新しい Washington DC アプリケーションです。ServiceNow サービスグラフコネクタ

ServiceNow[®] サービスグラフコネクタ for Microsoft Defender for IoT (Azure) リリースの Washington DC 特長

- オプションの ガイド付きセットアップ タスクで問題を直接トラブルシューティングします。
- インポートプロセス中にフィルターを追加して、インポートするデバイスを制御します。

詳細については、「[Service Graph Connector for Microsoft Defender for IoT \(Azure\) !\[\]\(870f5d5e9c0d57485634be3ecf52f3ca_img.jpg\)](#)」を参照してください。

重要:

ServiceNow サービスグラフコネクタ for Microsoft Defender for IoT (Azure) は、ServiceNow Store. 詳細については、これらのリリースノートの「アクティベーション情報」セクションを参照してください。

ServiceNow[®] サービスグラフコネクタ for Microsoft Defender for IoT (Azure) の機能

Service Graph Connector for Microsoft Defender for IoT (Azure) のトラブルシューティング

の検証のためにジョブスケジュールを実行し、結果を確認して、の「Service Graph Connector for Microsoft Defender for IoT (Azure) のトラブルシューティング」セクション ガイド付きセットアップのオプションの手順を使用して問題をトラブルシューティングします。

システムプロパティのデバイスインポート時にセンサー ID を小文字に変換する

センサー ID の値を小文字に変更し、システムプロパティを使用することで *Convert Sensor Names to lowercase during Devices Import (sn_msftd4iotazsgc.convert_sensor_names_to_lowercase)* インポートプロセスの問題を回避します。

インポート中に特定のデバイスをフィルタリングする

システムのプロパティの [デバイスインポートのフィルター構成] セクションを使用して、インポートするデバイスのタイプを制御します。

コントロールモジュールのインポートのサポート

コントロールモジュールクラスを持つデバイスをに CMDB インポートし、コントロールモジュールの追加クラスマッピングを使用します。

追加のクラスマッピング

次の追加のクラスマッピングを使用して、より多くのデバイスをサポートします。

- ストレージ
- 無線アクセスポイント
- DB サーバー
- IP電話
- マルチキャスト/ブロードキャスト
- ターミナル駅
- ドアコントロールパネル
- IP カメラ

UI の変更

learningMode 属性

learningMode この属性は、デバイスをインポートする準備ができていないセンサーと、パッシブ・モニター・デバイスとして機能するセンサーをキャプチャーするために、NIDS 表に追加されました。

推測されたMACアドレスの防止

推測された MAC アドレスを持つレコードは、cmdb_ci_network_adapterテーブル内に CMDB 作成されなくなります。

[テスト接続] ボタン

[**20** 件のレコードのテスト ロード] ボタンは、(SGC) の接続 サービスグラフコネクタのテストには使用されなくなりました。SGC の新しい接続フレームワークでは、[テスト接続] ボタンを使用します。

アクティベーション情報

() を Azure Microsoft Defender for IoT から ServiceNow Store 要求してインストール ServiceNow サービスグラフコネクタします。 [ServiceNow Store !\[\]\(626ce8ac21792b9405bfddfea8e0c96a_img.jpg\)](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Store バージョン履歴のリリースノート !\[\]\(2b752d244c1fc411d86684a042d55b85_img.jpg\)](#)」を参照してください。

関連 **ServiceNow** アプリケーションと機能

CMDB CI Class Models ストアアプリ

Operational Technology クラスは、構成管理データベース (CMDB) 構成アイテム (CI) クラスとともにインポートされます。

Operational Technology Manager

Cloty CTD をアプリケーションに統合して、ServiceNow Operational Technology Manager 検出されたデバイスと Cloty CTD サイト (センサー/NIDS アプライアンス) をインポートします。

サービスグラフ **Connector for Microsoft Defender for IoT (On-Premises Management Console)** リリースノート

ServiceNow サービスグラフ Connector for (On-Premises Management Console) アプリケーション (以前は Service Graph Connector for Microsoft Defender for Microsoft Defender for IoT IoT (オンプレミス) と呼ばれていました) は、デバイス、接続、およびセンサーアプライアンス

をインポートします。サービスグラフ (オンプレミス管理コンソール) 用の Microsoft Defender for IoT コネクタは、リリースで Washington DC 拡張および更新されました。

サービスグラフリリースの **Washington DC** (オンプレミス管理コンソール) 用 **Microsoft Defender for IoT** コネクタの特長

サービスグラフ(オンプレミス管理コンソール) のMicrosoft Defender for IoTコネクタの名前Washington DCが変更されました。

詳細については、「[Service Graph Connector for Microsoft Defender for IoT \(On-premises Management Console\)](#)」を参照してください。

i 重要:

サービスグラフ (オンプレミス管理コンソール) 用の Microsoft Defender for IoT コネクタは、ServiceNow Store. 詳細については、これらのリリースノートの「アクティベーション情報」セクションを参照してください。

このリリースでの変更

サービスグラフ (オンプレミス管理コンソール) アプリケーション名の変更に用 Microsoft Defender for IoT コネクタ

Service Graph Connector for Microsoft Defender for IoT (オンプレミス) は、Connector for Microsoft Defender for IoT (On-premises Management Console) にサービスグラフ名前が変更されました。

アクティベーション情報

(オンプレミス管理コンソール) 用Microsoft Defender for IoTServiceNow Storeコネクタを から要求してインストールサービスグラフします。 [ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

関連 **ServiceNow** アプリケーションと機能

CMDB CI Class Models ストアアプリ

Operational Technology クラスは、構成管理データベース (CMDB) 構成アイテム (CI) クラスとともにインポートされます。

Operational Technology Manager

Cloty CTD をアプリケーションに統合して、ServiceNow Operational Technology Manager 検出されたデバイスと Cloty CTD サイト (センサー/NIDS アプライアンス) をインポートします。

脆弱性対応 **for Microsoft Defender for IoT (On-Premises Management Console)** リリースノート

ServiceNow 脆弱性対応 for (オンプレミス管理コンソール) アプリケーションは、Microsoft Defender for IoT (オンプレミス) から (オンプレミス) にServiceNow Operational Technology Vulnerability Response脆弱性をインポートし、本番プロセスコンテキストでリスクベースのアクションを実行します。 for Microsoft Defender for IoTMicrosoft Defender for IoT (オンプレミス管理コンソール) は、リリースでWashington DC拡張および更新されました。 脆弱性対応

脆弱性対応 リリースの **Microsoft Defender for IoT** Washington DC (オンプレミス管理コンソール) の特長

脆弱性対応以前は Microsoft Defender for IoT Vulnerability Response Integration with Microsoft Defender for IoT (オンプレミス) と呼ばれていた for (On-Premises Management Console) アプリケーションは、に Washington DC 名前が変更されました。

詳細については、「[Vulnerability Response for Microsoft Defender for IoT \(On-premises Management Console\)](#)」を参照してください。



重要:

脆弱性対応 for Microsoft Defender for IoT (オンプレミス管理コンソール) は、ServiceNow Store. 詳細については、これらのリリースノートの「アクティベーション情報」セクションを参照してください。

このリリースでの変更

脆弱性対応 for Microsoft Defender for IoT (オンプレミス管理コンソール) アプリケーション名の変更

Vulnerability Response Integration with Microsoft Defender for IoT (On-Premises) アプリケーションは、脆弱性対応 for Microsoft Defender for IoT (On-Premises Management Console) アプリケーションの名前が変更されました。

アクティベーション情報

Microsoft Defender for IoT (脆弱性対応オンプレミス管理コンソール) のインストールを ServiceNow Store から要求して、[ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Store バージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

関連 **ServiceNow** アプリケーションと機能

CMDB CI Class Models ストアアプリ

CMDB CI Class Models ストアアプリは、クラスの説明、識別ルール、識別子エントリ、および依存関係を含む、CMDB クラス階層を拡張するクラスモデルを追加します。

Vulnerability Response

と統合 Operational Technology Vulnerability Response すると、脆弱性対応 プロセスの重要度に基づいて OT の脆弱性の優先順位付けと解決に役立ちます。

Manufacturing Process Manager

ServiceNow 産業用プロセスマネージャー アプリケーションを使用して、ServiceNow 製造業 ソリューションに必要な ISA-95 機器モデルデータ基盤を作成します。これにより、各製造現場で独自のバージョンの機器モデルを作成できます。

Service Graph Connector for Microsoft Defender for IoT (On-premises Management Console)

サービスグラフアプリケーションで (オンプレミス管理コンソール) ServiceNow Operational Technology Manager 用コネクタ Microsoft Defender for IoT を使用して、OT 資産デバイス、接続、およびセンサーアプライアンスをインポートします。

Platform Analytics リリースノート

Washington DC リリースには、Platform Analytics の新機能と更新された機能が含まれます。

パフォーマンスアナリティクス リリースノート

ServiceNow パフォーマンスアナリティクス アプリケーションは、プラットフォーム内のプロセス最適化ソリューションです。これを使用することで、組織は目標に向けた進捗状況を設定、追跡、および分析できます。パフォーマンスアナリティクス は Washington DC リリースで拡張および更新されました。

Washington DC リリースでの パフォーマンスアナリティクスの 特長

- 重要なプロセスの測定基準と傾向を追跡します。
- 組織のターゲットに対してプロセスの健全性と動作を測定します。
- プロセスパターンと潜在的なボトルネックを発生前に特定します。

詳細については、「[Performance Analytics](#)」を参照してください。

パフォーマンスアナリティクス を **Washington DC** にアップグレードする際の重要な情報

従来の PA スコア [pa_scores] テーブルは廃止されます。PA スコアテーブルにキャプチャされたインジケータスコアがまだある場合、そのようなスコアの数 が 4,300 万未満の場合、これらのスコアはアップグレード時に pa_scores_l1 テーブルと pa_scores_l2 テーブルに自動的に移行されます。アップグレードに追加される予定時間は約 2 時間です。詳細については、「[KB1294371](#)」または [Migrating Performance Analytics scores](#)」を参照してください。

注:

PA スコア [pa_scores] テーブルは、データベースのインスタンス Oracle では廃止されません。これらのインスタンスは新しいテーブル構造をサポートしていないため、自動移行は適用されません。

アクティベーション情報

インシデント管理の無料版パフォーマンスアナリティクス はデフォルトでアクティブです。この無料のアプリケーションでは、インジケーターやブレイクダウンを作成することはできません。

サブスクリプションにより、パフォーマンスアナリティクスの全機能を利用できます。サブスクリプションに一致する パフォーマンスアナリティクス Premium プラグインをアクティブ化します。詳細については、「[Activating your Performance Analytics subscription](#)」を参照してください。

プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスリリースノート

ServiceNow Platform Analytics エクスペリエンスは、すべてのプラットフォームアナリティクス製品のデータを使用するための単一のセンターを提供します。このリリースでは、Washington DC Platform Analytics エクスペリエンスが拡張および更新されました。

リリースでの **Washington DC Platform Analytics Experience** の特長

- エクスペリエンスをアクティブ化 プラットフォームアナリティクス することで、分析の使用を最新化して簡素化します。
- 分析データから意味のあるインサイトを明らかにして、視聴者が直接意思決定できるようにします。
- 時系列に日付範囲を設定し、チャートで値が選択されたときの動作をカスタマイズする機能により、ビューアーの対話性が向上します。

詳細については、「[Platform Analytics experience](#)」を参照してください。

Platform Analytics エクスペリエンスを にアップグレードする際の重要な情報 Washington DC

プラットフォームアナリティクス エクスペリエンス機能は、以前はワークスペースに配置され プラットフォームアナリティクス ていました。機能はコア Now Platformの一部になりました、から Next Experience 統一ナビゲーションアクセスできます。で作成されたコア UIダッシュボード、レポート、およびパフォーマンスアナリティクスウィジェットをこの機能に移行できます。

Washington DC リリースの新機能

Platform Analytics エクスペリエンスへのダッシュボードの移行

すべてのダッシュボードを新しいエクスペリエンスに移行するか、プラットフォームアナリティクス ダッシュボードのサブセットをエクスペリエンスに移行します。この移行には、レポートやパフォーマンスアナリティクスウィジェットなどの他の分析アーティファクトが含まれますコア UI。

統一ナビゲーションでの Platform Analytics

ワークスペースでのみアクセスするのではなく、モジュールから通常の機能としてアクセス プラットフォームアナリティクス します 統一ナビゲーション プラットフォームアナリティクス。メニューアイテムの可視性は、ユーザーに割り当てられているロールによって異なります。この機能は、すべてのダッシュボード プラットフォームアナリティクス をエクスペリエンスに移行した場合にのみ有効になります。

Proactive analytics insights on dashboards

自動化されたインサイトと、ダッシュボードカードを介してコンテキストに応じて配信される予測アラートを使用して意思決定を改善し、情報に基づいたタイムリーなアクションを簡単に実行できるようにします。履歴イベントと予測イベントの両方が表示されます。

プロアクティブ分析ワークフロートリガー

で フローデザイナー、プロアクティブな分析イベントによってトリガーされる自動ワークフローを作成します。

Pareto 可視化

降順の列と、各列の累積寄与率を示す線が上にある棒グラフを表示します。このチャート化を使用して、プロセス内の問題や結果の頻度を分析し、最も重要なものを表示します。

UI の変更

Platform Analytics ワークスペースの分析センターが別のページに変更されました

以前のリリースでは、の アナリティクスセンター コントロールを使用して、ダッシュボード、データのビジュアル化、および KPI のさまざまなタブを開くことができました。これらのタブは、統一ナビゲーション プラットフォームアナリティクス ライブラリモジュールから利用できるようになりました。ダッシュボードとデータのビジュアル化を表示および作成するための一部のリンクは、から引き続き使用できます アナリティクスセンター。

閲覧者向けに追加された日付範囲の選択

時系列のビジュアル化のビューアーは、チャートに表示する日付範囲を選択できます。使用可能な日付範囲は、インジケータの頻度と時系列集計 ([月別合計] など) によって異なります。この機能は、テーブルデータソースでは使用できません。

一部のデータ可視化リストコントロールを削除

レポートとパフォーマンスアナリティクスウィジェットのコア UI 移行をサポートするために、データ可視化リストの列を変更したりフィルターを表示したりすることはできなくなりました。

このリリースでの変更

多対多フィルター

統合フィルターで多対多の関係がサポートされるようになりました。フィルターソーステーブルの値がターゲットテーブルの複数の値と一致することも、その逆も可能です。

ピボットテーブルの改善

- 複数の列がサポートされ、最大 3 つのグループバイ値が列として選択されます。
- 複数のデータソースを持つグループバイ値として、さまざまな選択フィールドを選択できます。この機能は、棒グラフの視覚化でも使用できます。
- ヘッダーの配置が列のコンテンツの配置と一致するようになりました。

インジケータスコアカードの改善

- これで、インジケータのブレイクダウン分布を表示できるようになりました。表示するインジケータを 1 つだけ選択した場合は、最大 2 つのブレイクダウンの要素全体のスコアの分布を表示できます。ビューアーが、表示されるブレイクダウンを変更できるようにすることもできます。
- リスト タイプのスコアカードの測定基準に、最新のスコア バーが含まれるようになりました。
- ピボット タイプのスコアカードの行と列の間に分割線を追加できるようになりました。

カスタマイズ可能なダッシュボードの背景色

ダッシュボードエディターは、ダッシュボード全体または個々のダッシュボードタブの背景色を設定できます。

データの可視化は、可視化デザイナーからダッシュボードに追加できます

編集権限を持つビジュアルイゼーション エディターは、作業 可視化デザイナー中のビジュアルイゼーションを、

ダッシュボードの手動更新と自動更新

どのダッシュボード閲覧者も、ダッシュボード上のデータを更新できます。ダッシュボード管理者は、自動ダッシュボード更新をスケジュールできます。

所有者情報

所有者と所有者グループを、ダッシュボード、保存されたデータの可視化、および保存されたフィルターの詳細に追加できます。

カスタマイズ可能なチャートの相互作用

データビジュアル化では、ビューアーがチャートのセグメントを選択したときのナビゲーションを設定できます。ビューアーがデータにドリルダウンしたり、内部 URL や外部 URL を開いたりできるようにすることができます。

棒グラフと円グラフによるビジュアル化のサポート フィルターとして機能

円グラフと棒グラフのビジュアルイゼーション (パレート図を除く) をフィルターとして機能するように構成できます。その後、ビューアーが円グラフまたは棒グラフの列を選択すると、そのダッシュボード タブの他のすべてのビジュアルイゼーションで、一致する値がフィルタリングされます。

データの可視化における手動データの測定基準書式設定のサポート

手動 JSON データソースで測定基準の書式設定を使用できるようになりました。この機能は、以前はテーブルやインジケーターなどの事前定義されたデータソースでのみ使用できました。

アクティベーション情報

プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスはデフォルトで有効な機能です Now Platform 。このバージョンには、プラットフォームアナリティクスリリース以降 Vancouver に ServiceNow Store リリースされたコンポーネントに対するすべての更新が含まれています。リリース後の Washington DC 更新プログラムは、.ServiceNow Store

アクセシビリティ情報

ダッシュボードのキーボードナビゲーションの変更

キーボードナビゲーションボタンは、フォーカスのあるダッシュボードウィジェットから削除されました。フォーカスのあるウィジェットで Space キーを押すと、矢印キーでウィジェットを移動できます。

時系列データの可視化における色のコントラスト

時系列ビジュアライゼーションのコントラストが改善されました。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

Performance Analytics

パフォーマンスアナリティクス 組織が目標に向けた進捗状況を設定、追跡、分析できるようにするインジケーターとブレイクダウンを提供します。これらのインジケーターとブレイクダウンは、自分のワークスペース内および Platform Analytics エクスペリエンス 独自のワークスペースで表示できます。独自のインジケーターとブレイクダウンを作成するには、パフォーマンスアナリティクス へのサブスクリプションが必要です。

Process Mining

データ プロセスマイニング から自動化されたビジネスプロセスフローを作成し、プロセスの非効率性を監視し、より迅速に検出できるようにするために使用します。を取得するには プロセスマイニング、から Now Support サービスカタログ要求します。

プロセスマイニング リリースノート

ServiceNow プロセスマイニング アプリケーションを使用すると、アナリストとプロセスオーナーはビジネスプロセスを表示して分析し、プロセスを改善する意思決定を行うことができます。プロセスマイニング は Washington DC リリースで拡張および更新されました。

Washington DC リリースでの プロセスマイニング の特長

- プロジェクトビルダ導入
- 新しい自動検出検出器が導入されました
- [サマリーとインサイト] ページの機能拡張
- Process Mining グラフの機能拡張
- マイニングサマリーの導入

詳細については、「[Process Mining !\[\]\(4436e6b00b9d5e62c2a161129eb3e4d0_img.jpg\)](#)」を参照してください。

Washington DC リリースの新機能

プロジェクトビルダ導入

プロジェクト構成全体を明確に定義されたセクションに分割し、ガイドとして機能するコンテキスト情報を提供する包括的なプロジェクトビルダーセットアップを使用して、プロジェクト構成を作成および表示します。

分析している目標またはプロセスに類似したテンプレートを使用してプロジェクトを作成し、基本的な詳細を自動的に追加してプロセスを容易にします。

新しい自動検出検出器が導入されました

次の新しい自動検出検出機能に注意してください。

- 繰り返しパターン: ステップの不要な繰り返しシーケンスを検出します。
- 極端な期間: あるステップから別のステップに移行する一般的な時間範囲外にあるレコードを分析するための外れ値を識別します。
- 極端な繰り返し: 外れ値を特定して、同じステップ内の一般的な繰り返しの範囲外にあるレコードを分析します。
- 遅い期間: レコードのクラスターの期間が類似しており、平均期間が他のレコードグループと比較して長い状況を識別します。この検出器は、特定されたクラスターの重要性の内訳も提供し、根本原因へのさらなる洞察を提供します。

Summary and Insights dashboard

- 改善の機会に関連するメモを直接キャプチャして共有する機能。メモには、すばやく共有できる改善の機会を参照するタグなどのコンテキスト情報が事前に入力されています。
- メモ、CIM、自動化要求、保存されたフィルターセットなど、改善の機会に対して実行されたすべてのアクションを表示します。
- 焦点を絞ったプロジェクト測定基準ダッシュボードで、トレンドラインを通じてプロジェクトの効率 (完了までの平均期間) を経時的に追跡し、ヒストグラムを通じてプロセスの完了に要した時間に対するレコードの分布を追跡します。

Process Mining グラフの機能拡張

- 特定のノードから、前のステージから到着したすべてのレコードと次のステージに進むすべてのレコードの統計を表示できます。これにより、巨大なグラフの円弧スライダーとノードスライダーを調整することなく、レコードの即時の流入と流出を特定できます。

Process Mining ダッシュボード

個別ビューまたは複合ビューで、グラフをノードのノード星図に変換することにより、レコード(作業)の流入と流出の分析を表示します。構成されているダッシュボードのフィルターに従うことができます。ダッシュボードでトランジションフィルターを有効にして、グラフ上の特定のボトルネックをさらにドリルダウンします。

プロジェクトステータスをドラフト、公開、および廃止に設定する機能

プロジェクトのステータスを追跡して、より良いデータクリーンアップ戦略のためにプロジェクトのステータスを管理します。プロジェクトは、特に選択しない限り、非アクティブに基づいて自動的に廃止されます。

マイニングサマリーの導入

マイニング後、マイニングの失敗を分析および理解するための貴重なツールとして機能するサマリーを表示します。これには、エラーで終了した定義、ルール基準に一致しなかった定義、またはプロジェクトの範囲外の定義が含まれる可能性があります。

アクティビティ定義のドットウォークの導入

ドット連結フィールドをアクティビティ定義として有効にすることでプロセスグラフ分析の範囲を拡大し、プロセス で変更が発生したときに特定の参照フィールドのステータスを分析できるようにしました。

変更された複数のアクティビティのグループ化の導入

プロジェクトの複合アクティビティを設定することで、プロジェクトで変更されたフィールドの依存フィールドの値を自動的に更新します。この機能により、フィールドを手動で更新する必要がなくなります。

アーカイブされたデータをマイニングする機能

メイン (アクティブな) テーブルから頻繁に移動されるアーカイブされたデータテーブルにプロセスマイニングを適用して、巨大なデータのクエリパフォーマンスを有効にします。

アクティベーション情報

プロセスマイニング は、sn_po プラグインを有効にすると利用できます。

User Experience Analytics リリースノート

ServiceNow ユーザーエクスペリエンスアナリティクス アプリケーションを使用すると、インタラクティブダッシュボードで測定基準とインタラクションを可視化することで、ユーザーの Web およびモバイルエクスペリエンスを理解できます。ユーザーエクスペリエンスアナリティクス は Washington DC リリースで拡張および更新されました。

Washington DC リリースでの ユーザーエクスペリエンスアナリティクス の特長

- ユーザーは、ダッシュボードで ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 作成されたじょうごグラフを表示できます
- 統合： プラットフォームアナリティクス

詳細については、「[Usage Insights old landing page !\[\]\(9c2e8d1b5bd77cb5c9f83b7a9cff79fd_img.jpg\)](#)」を参照してください。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス を **Washington DC** にアップグレードする際の重要な情報

- ユーザーは基本追跡をオプトアウトできます。
- データソースでは ユーザーエクスペリエンスアナリティクス、じょうごグラフのデータビジュアル化を使用できます。

Washington DC リリースの新機能

プラットフォームアナリティクス の統合

統合のための プラットフォームアナリティクス 改善されたクエリ機能

じょうごグラフ UIB コンポーネント

ユーザーがダッシュボードに ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 作成されたじょうごグラフを表示できるようにします。

このリリースでの変更

基本 トラッキング

ユーザーがオプトアウトすると、基本追跡は無効になります。

このリリースでの削除

User Experience Analytics API バージョン 2.1.4 はストアから廃止されました。

アクティベーション情報

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。

ブラウザー要件

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス を最適化するには、Google Chrome または Apple Safari ブラウザを使用します。

関連 **ServiceNow** アプリケーションと機能

Service Portal

ServiceNow サービスポータル は、管理者が Web とモバイルの両方に適したセルフサービスエクスペリエンスを構築できるようにするポータルフレームワークです。インスタンスの測定基準を監視できます。ユーザーエクスペリエンスアナリティクス ダッシュボードとレポートツールを使用して、ユーザーのジャーニーを表示します。

Mobile Agent

ServiceNow モバイルエージェントを使用して、モバイルデバイスからインターネット接続なしでレコードの更新、同僚との調整、位置の追跡、および作業を行います。

Virtual Agent

ServiceNow 仮想エージェント は、人工 intelligence を利用した構築済みの会話機能を備えた、使いやすいメッセージングインターフェイスを従業員と顧客に提供します。ユーザーエクスペリエンスアナリティクス から 仮想エージェント 分析と 仮想エージェント ダッシュボードを表示してアクセスします。

公共機関デジタルサービス リリースノート

このServiceNow 公共機関デジタルサービスアプリケーションを使用すると、政府機関は、市民、企業、およびその他の機関に、公的記録、ライセンス、許可、社会サービスなどの重要なサービスを提供できます。はリリースでWashington DC拡張および更新されました。 公共機関デジタルサービス

Washington DC リリースでの 公共機関デジタルサービス の特長

- サードパーティのソフトウェアを使用せずに、Playbook 内の 1 つのモジュールから発行されたライセンスまたは許可ドキュメントのコピーを作成します。
- 構成員が、Government Service Portal の ライセンスと許可プレイブックアプリケーション プロキシと。
- 要求に連絡先を追加して、複数の関係者をライセンスと許可のアプリケーションに関連付けます。
- 手数料概要カードを使用して、ライセンスまたは許可要求に関連付けられているすべての手数料明細の累計を表示します。
- 申請者が検査に合格するために必要な変更を行えるように、Playbook から直接追加の検査を要求します。

詳細については、「[Public Sector Digital Services !\[\]\(5d954b3e270654ad8ab0d5913161c03c_img.jpg\)](#)」を参照してください。



重要:

公共機関デジタルサービス は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

公共機関デジタルサービスを **Washington DC** にアップグレードする際の重要な情報

アップグレード後、CSM 構成可能ワークスペース 内の特定の公共部門メニューおよびメニューアイテムは、元の CSM ラベル名に戻ります。公共部門用のこれらのアイテムに再レベル付けするには、顧客およびサービス組織の UX リストカテゴリを更新します。再レベル付けの詳細については、すべて > 構成員サービス > 管理 > **Guided Setup** をクリックし、**Public Sector Digital Services** の構成可能ワークスペース > ワークスペースラベルを手動でカスタマイズします。

Washington DC リリースの新機能

他の人の代わりにライセンスと許可申請書を提出する

アプリケーション プロキシ機能を使用して、他のユーザーの代わりにライセンスと許可アプリケーションを準備します。構成員またはビジネス連絡先は、受益者またはその他の関係者（登録ユーザーのみ）を検索し、進行中のアプリケーションにリンクする権限のある担当者として機能します。エージェントは、認可済み担当者によって開始されたアプリケーションを作成および処理できます。また、他の登録済みユーザーをケースにリンクすることもできます。

でライセンスと許可のデジタルコピーを作成する ライセンスと許可プレイブック

発行されたライセンスまたは許可 ライセンスと許可プレイブック 証のデジタルコピーを直接作成し、受領済みアイテムレコードに添付して、印刷、メール送信、および要求者と共有できるようにします。

仮想エージェントを使用したライセンスと許可要求の送信

構成員とビジネスオーナーが、次のようなサポートされているチャットおよびメッセージングチャネル Engagement Messenger で実行される構築済みの仮想エージェント ライセンスまたは許可要求会話トピックを使用して、ライセンスと許可要求を送信できるようにします。

でのライセンスまたは許可要求に必要な追加の検査の要求 ライセンスと許可プレイブック

申請者が検査に合格してライセンスまたは許可を受けるために必要な変更を加えることができるように、エージェントは最初の検査の結果を確認した後に追加の検査を要求できます。エージェントは、の [結果を記録] アクティビティ ライセンスと許可プレイブックを使用して、各ラウンドの検査結果を記録できます。

UI の変更

で複数の関係者を単一のアプリケーションに関連付ける ライセンスと許可プレイブック

構成員は、行政サービスポータル の [追加の関係者] フィールドを使用して、ライセンスまたは許可ケースに複数のビジネス連絡先を追加できます。エージェントは、取り込みステージの [関係者を追加] Playbook アクティビティを使用して、ライセンスと許可プレイブック ワークスペースから直接、複数のビジネス連絡先をライセンスまたは許可ケースに追加できます。

の承認ワークフローの UI の改善 ライセンスと許可プレイブック

の決定 ライセンスと許可プレイブック 提案アクティビティワークフローが簡素化されてエージェントのコラボレーションが向上し、ライセンスを付与するか許可するかを決定するエージェントがより直感的に操作できるようになりました。

行政サービスポータルの強化された料金サマリーウィジェットと ライセンスと許可プレイブック

政府サービスポータルの更新された手数料概要ウィジェットを使用して、構成員がすべての手数料明細アイテムの累計を表示できるようにします。料金概要ウィジェットには、基本料金、項目別の追加コスト（選択したオプションによる）、ライセンスまたは許可要求の合計料金の概要が表示されます。エージェントは、ワークスペースで ライセン

スと許可プレイブック 手数料を提案する際に、拡張された手数料概要ウィジェットを使用して手数料ブレイクダウンを表示することもできます。

の [ドキュメントのアップロード] および [手数料のレビュー] アクティビティのデザインが強化されました。 [ライセンスと許可プレイブック](#)

の ライセンスと許可プレイブック [ドキュメントのアップロード] および [手数料のレビュー] アクティビティが更新され、詳細情報を含むファイルのアップロードや提案された手数料のレビューなど、ケースタスクで保留中の構成員アクションによってケースがブロックされた場合にエージェントに通知されます。ケースタスクは、フィールドではなく読み取り専用カードとして表示されます。

アクティベーション情報

公共機関デジタルサービス アプリケーションを ServiceNow Store から要求してインストールします。アプリケーションのインストールの詳細については、「[Configuring Public Sector Digital Services](#)」を参照してください。 [ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

Customer Service Management

この ServiceNow カスタマーサービス管理 (CSM) アプリケーションを使用すると、カスタマーサービス組織とサービスオペレーションが協力して顧客の問題を解決できます。

CSM 構成可能ワークスペース

この CSM 構成可能ワークスペース アプリケーションは、情報を調査し、一般からの質問に回答し、ケースを解決する必要があるツールを政府機関に提供します。

セールスと注文管理 リリースノート

ServiceNow セールスと注文管理 は、このリリースの Washington DC 新規および更新されたアプリケーションと機能のセットです。これらのアプリケーションを使用すると、プリセールス機会、営業見積りの生成、注文のキャプチャ、受注処理、ポストセールスエンゲージメントなど、組織内の製品販売ライフサイクルを管理できます。

注:

セールスと注文管理 には、Customer Lifecycle Operations (Customer Lifecycle Management) と カスタマー契約とエンタイトルメントのワークフローが含まれています。リリースに含まれる Washington DC これらの機能の詳細については、リリースノートの「」および「[リリースノートのデータ CSM 管理](#)」 [カスタマー契約とエンタイトルメント リリースノート](#) を参照してください カスタマーサービス管理 (CSM)。

Opportunity Management リリースノート

この ServiceNow Opportunity Management アプリケーションを使用すると、営業エージェントとアカウント担当役員は機会を作成および管理できます。これらの機会は、特定された顧客のニーズに基づいて潜在的な売上を特定して追跡します。Opportunity Management はリリースの新しいアプリケーションです Washington DC。

Washington DC リリースでの Opportunity Management の特長

- ニーズ分析アンケートを通じて顧客のニーズと要件を把握し、製品の推奨事項を生成します。
- プラットフォームで機会を作成するか、ServiceNow 他のサードパーティシステムから機会データを取得します。
- 営業案件を営業見積もりに簡単に変換できます。

詳細については、「[Opportunity Management](#)」を参照してください。

重要:

Opportunity Management は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

Opportunity Management 機能

機会ニーズ分析

顧客に製品の推奨事項を提供する一連の質問をガイドするアンケートに回答します。

機会の創出

推奨製品の営業案件ヘッダーと明細を作成します。

かんばんボード

計画中、進行中、または完了した営業案件を示すカンバンビューを使用して、営業案件のステータスを監視します。

営業案件からの見積もりの生成

アプリケーションを使用している場合は、ServiceNow 見積管理 営業案件を営業見積もりに変換します。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、Opportunity Management をインストールします。

[ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

ブラウザー要件

ServiceNow ワークスペースでは、モバイルデバイス、Internet Explorer、または Microsoft Edge をサポートしていません。代わりに、Microsoft Edge - Chromium、または「[ブラウザーサポート](#)」に記載されている他のいずれかのブラウザーを使用してください。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

Customer Service Management

Opportunity Management アプリケーションは、ServiceNow カスタマーサービス管理 (CSM) アカウント、コンシューマー、および製品インベントリデータモデルを使用します。カスタマーサービスエージェントは、を使用して作成された Opportunity Management機会を完全に把握できます。

Quote Management

この ServiceNow 見積管理 アプリケーションを使用すると、販売代理店は顧客の販売見積もりを生成および管理できます。顧客の準備ができたら、販売機会を見積もりにシームレスに変換できます。

Product Catalog Management

製品カタログ管理のセールスと注文管理この機能を使用すると、カタログ管理者は、エージェントが簡単にナビゲートし、機会に追加する製品やサービスを見つけることができるカテゴリを使用して製品カタログを作成できます。

Pricing Management

Pricing Managementのこの機能を使用すると、価格設定管理者は、さまざまなセールスと注文管理アプリケーションで使用される製品やサービスのセールスと注文管理価格設定を設定できます。

見積管理 リリースノート

このServiceNow 見積管理アプリケーションを使用すると、販売代理店は顧客の販売見積もりを生成および管理できます。は、このリリースの新しいWashington DCアプリケーションです。 見積管理

Washington DC リリースでの 見積管理 の特長

- 関連する価格設定を含む製品カタログから製品オファリングを選択して構成することにより、販売見積もりを作成します。
- 見積もりの複数のリビジョンを作成して、顧客からの変更を追跡します。
- 見積もり内の価格を調整して、販売を促進します。
- 見積もりを受注に簡単に変換できます。

詳細については、「[Quote Management !\[\]\(6059a5aa8b4ca7bb793408023d6c6e42_img.jpg\)](#)」と「[Sales and Order Management !\[\]\(d293b9aef7d8767760396289fbc64e8a_img.jpg\)](#)」を参照してください。

見積管理 の機能

見積もり作成

顧客が購入を希望する製品やサービスの正式なオファーである販売見積もりを作成します。見積もりの作成中に、営業エージェントはを使用して 製品コンフィギュレータ製品オプションを構成し、価格を調整できます。

見積もりリビジョン

顧客の要件や好みの変更を反映するために、見積もりの複数のバージョンを生成して表示します。エージェントは、リビジョンを確認して見積もり履歴を追跡できます。

見積もりからの注文の生成

顧客の承認後に、アクティブな見積もりを製品注文に変換します。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求することで、見積管理 をインストールします。 [ServiceNow Store !\[\]\(83bbbd261710c59db0214aa27b2edc0d_img.jpg\)](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート !\[\]\(d6bd620f45f20291c3c3dab29f2286e8_img.jpg\)](#)」を参照してください。

ブラウザー要件

ServiceNow ワークスペースでは、モバイルデバイス、Internet Explorer、または Microsoft Edge をサポートしていません。代わりに、Microsoft Edge - Chromium、または「[ブラウザーサポート !\[\]\(291e070cef6c4d5e78fefe4696ef53be_img.jpg\)](#)」に記載されている他のいずれかのブラウザーを使用してください。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

Customer Service Management

見積管理 アプリケーションは、ServiceNow カスタマーサービス管理 (CSM) アカウント、コンシューマー、および製品インベントリデータモデルを使用します。カスタマーサービスエージェントは、を使用して作成された 見積管理見積もりを完全に把握できます。

機会管理

この ServiceNow Opportunity Management アプリケーションは、ニーズ分析に基づいて、営業エージェントとアカウント担当役員に、顧客向けの製品推奨事項を提供します。顧客の準備ができれば、販売機会を見積もりにシームレスに変換できます。

Product Catalog Management

の製品カタログ管理セールスと注文管理この機能を使用すると、カタログ管理者は、エージェントが製品やサービスを検索して販売見積もりに追加できる価格設定を含む製品カタログを作成できます。

Pricing Management

のセールスと注文管理この機能Pricing Managementを使用すると、価格設定管理者は、見積もりで使用される製品とサービスの価格設定を設定できます。価格設定管理者は、販売代理店が見積もり内の複雑な製品オファーの価格を調整できるようにするコントロールも設定します。

Order Management

注文および履行エージェントは見積管理、アプリケーションから作成された顧客の注文を履行するために使用できますServiceNow 注文管理。

注文管理 リリースノート

このServiceNow 注文管理アプリケーションを使用すると、企業顧客からの注文をキャプチャ、管理、および履行できます。は、リリースでWashington DC拡張および更新されました。注文管理

Washington DC リリースでの 注文管理 の特長

- 注文タイムラインビューを使用して、ドメイン注文と注文タスクのステータスを一元的に追跡します。
- 受注処理を開始する前に注文をキャプチャして追加の注文情報で拡張することで、注文のフォールアウトを回避し、該当する注文と発注書明細の拡張タスクを作成するワークフローをトリガーします。

詳細については、「[Order Management !\[\]\(b64b40baaee5acddc1eab8538ba84754_img.jpg\)](#)」を参照してください。

重要:

注文管理 は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

注文管理 を Washington DC にアップグレードする際の重要な情報

この Washington DC リリースで導入された新機能は、の 注文管理以前のリリースではサポートされていません。

Washington DC リリースの新機能

注文タイムラインビュー

ドメイン注文と注文タスクのステータスを示すガントチャートのタイムラインを表示し、注文タスク間の依存関係を示し、危険にさらされているタスクを特定します。

Product Catalog ナビゲーションおよび製品コンフィギュレーター

SKUまたは製品コードごとに製品カタログを検索し、製品オファーをすばやく見つけます。エージェントは、製品コンフィギュレーターを使用することもできます。これは、カスタム注文と価格設定を構成するための合理化されたインターフェイスです。

このリリースでの変更

注文の拡張手順による注文キャプチャエクスペリエンスの強化

注文のキャプチャ後、エージェントが注文の履行を開始する前に追加の注文情報で注文を拡張できるようにして、フォールアウトを回避します。この拡張プロセスは、該当する注文および注文品目の拡張関連の注文タスクを作成するワークフローをトリガーします。

廃止

Vancouver リリース以降、注文管理 - カスタマーサービス管理 (CSM) は将来の廃止に備えて準備されます。これは非表示になり、新しいインスタンスにはインストールされなくなりますが、引き続きサポートされます。詳細については、Now Support ナレッジベースの [Deprecation Process \(廃止プロセス\) \[KB0867184\]](#)  の記事を参照してください。

アクティブ化情報

ServiceNow Store から要求して、注文管理 をインストールします。 [ServiceNow Store](#)  Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#) 

ブラウザー要件

ServiceNow ワークスペースでは、モバイルデバイス、Internet Explorer、または Microsoft Edge をサポートしていません。代わりに、Microsoft Edge - Chromium、または「[ブラウザーサポート](#) 

関連 **ServiceNow** アプリケーションと機能

Configuration Management Database (CMDB)

注文管理 アプリケーションは、必要な CI (構成アイテム) を作成し、顧客に提供されるサービスとリソースのベースアイテムをインストールします。これにより、注文が履行されたときにサービスが開始されることが保証されます。

Customer Service Management

注文管理 アプリケーションは、ServiceNow カスタマーサービス管理 (CSM) アカウント、コンシューマー、および製品インベントリデータモデルを使用します。カスタマーサービスエージェントは、注文管理 を使用して顧客に提供された製品とサービスを完全に把握できます。

製品カタログの管理

の製品カタログ管理セールスと注文管理この機能を使用すると、カタログ管理者は、エージェントが製品やサービスを検索して注文に追加するために使用する製品カタログを作成できます。

価格設定管理

のセールスと注文管理この機能Pricing Managementを使用すると、価格設定管理者は注文で使用される製品とサービスの価格設定を設定できます。価格設定管理者は、販売代理店が注文の製品価格設定を調整できるようにするコントロールも設定します。

見積管理

この ServiceNow 見積管理 アプリケーションを使用すると、営業エージェントとアカウント担当役員は、顧客の営業見積もりを生成および管理できます。顧客の準備ができたら、販売見積もりを注文にシームレスに変換できます。

Flow Designer

フローデザイナー コンポーネントを使用すると、オーケストレーションワークフローなどのワークフローの一部として設計されたフローまたはサブフローを呼び出すことができます。これらのコンポーネントを使用すると、フローまたはサブフローの出力または実行ステータスを確認することもできます。

Customer Service Management with Field Service Management

Customer Service with Field Service Management プラグイン (com.snc.csm_fsm_integration) を使用すると、およびアプリケーションが統合 フィールドサービス管理 (FSM) され、アプリケーションで作業指示および ServiceNow カスタマーサービス管理 (CSM) 作業指示タスク フィールドサービス管理 (FSM) に関するアカウントおよび連絡先情報を表示できます。

Order Management for Telecommunications, Media, and Technology リリースノート

アプリケーション ServiceNow Order Management for Telecommunications, Media, and Technology には、通信製品とサービスのためのアプリケーションと ServiceNow、ServiceNow 注文管理 Telemanagement Forum (TMF) API の実装が含まれています。Order Management for Telecommunications, Media, and Technology アプリケーション は Washington DC リリースで拡張および更新されました。

Washington DC リリースでの Order Management for Telecommunications, Media, and Technology の特長

- 注文タイムラインビューを使用して、ドメイン注文と注文タスクのステータスを一元的に追跡します。
- 受注処理を開始する前に注文をキャプチャして追加の注文情報で拡張することで、注文のフォールアウトを回避し、該当する注文と発注書明細の拡張タスクを作成するワークフローをトリガーします。
- 製品およびサービス注文 API を使用してコンシューマー注文を作成し、で履行します Order Management for Telecommunications, Media, and Technology。

詳細については、「[Order Management](#)」を参照してください。

重要:

注文管理 は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

Order Management for Telecommunications, Media, and Technology を Washington DC にアップグレードする際の重要な情報

この Washington DC リリースで導入された新機能は、の Order Management for Telecommunications, Media, and Technology 以前のリリースではサポートされていません。

リリース以降 Washington DC、製品オフリングと製品属性特性に設定された 毎月の定期料金 (MRC) と 非定期料金 (NRC) セットは、製品オフリングデータモデルではなく、価格リストと価格明細の価格設定データモデルに保存されます。にアップグレード Washington DC した後に価格表を使用するように価格情報をアップグレードする場合は、Now Support ナレッジベースの記事「[Washington \[KB1585863\] にアップグレードする電気通信、メディア、テクノロジーのお客様向けの Price Management プラグイン \(com.sn_csm_pricing\) の取り込み](#)」を参照してください。

リリースに Washington DC アップグレードすると、修正スクリプトが自動的に実行され、未完了の注文のキャプチャを再開するために不要になった特定の電気通信リストレコードが非アクティブになります。これらのレコードの詳細と、必要に応じて以前の注文キャプチャプロセスの使用については、Now Support ナレッジベースの記事「[注文キャプチャの電話会社リストの廃止 \[KB1586538\]](#)」を参照してください。

に Washington DC アップグレードした後、製品コンフィギュレータの使用中に、新しい変更管理または切断、一時停止、または再開アクションを含むオーダーを処理するための再構成の回避策を確認します。詳細については、Now Support ナレッジベースの記事「[Order Capture UI を使用する場合の Washington での注文明細の再構成の問題](#)」[KB1585976] を参照してください。

Washington DC リリースの新機能

注文タイムラインビュー

ドメイン注文と注文タスクの注文ステータスを表示し、注文タスク間の依存関係を示し、危険にさらされているタスクを特定するガントチャートのタイムラインを表示します。

Product Catalog ナビゲーションおよび製品コンフィギュレーター

SKUまたは製品コードごとに製品カタログを検索し、製品オファーを見つけます。エージェントは、合理化されたインターフェイスである productconfigurator を使用して、カスタム注文と価格設定を構成することもできます。

このリリースでの変更

注文拡張タスクによる注文キャプチャエクスペリエンスの強化

注文のキャプチャ後、エージェントが注文の履行を開始する前に追加の注文情報で注文を拡張できるようにして、フォールアウトを回避します。この拡張プロセスは、該当する注文および注文品目の拡張関連の注文タスクを作成するワークフローをトリガーします。

毎月の定期料金と非定期料金

リリース以降 Washington DC、注文管理は製品オフリングデータモデルではなく価格設定データモデルを使用して、価格設定課金を価格リストと価格明細に保存します。この変更により、製品または注文明細行に対して毎月の定期料金 (MRC) または非定期料金 (NRC) のいずれかを指定できるようになりましたが、両方を指定することはできません。

の機能拡張 ServiceNow TMF API

次の ServiceNow TMF API は、次で Order Management for Telecommunications, Media, and Technology 履行できるコンシューマー注文をサポートするように更新されました。

- 製品注文オープン API (TMF622)
- サービスオーダーオープン API (TMF641)
- 製品在庫オープン API (TMF637)
- テクニカルサービス認定オープン API (TMF645)

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、Order Management for Telecommunications, Media, and Technology をインストールします。[ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Store バージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

ブラウザー要件

ServiceNow ワークスペースでは、モバイルデバイス、Internet Explorer、または Microsoft Edge をサポートしていません。代わりに、Microsoft Edge - Chromium、または「[ブラウザーサポート](#)」に記載されている他のいずれかのブラウザーを使用してください。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

Configuration Management Database (CMDB)

注文管理アプリケーションは、必要な構成アイテム (CI) を作成し、顧客に提供されるサービスとリソースのベースアイテムをインストールします。これにより、注文が履行されたときにサービスが開始されることが保証されます。

Service Exchange

通信サービス管理サブスクリプションをお持ちの場合は、アプリケーションを使用して ServiceNow Service Bridge、プロバイダーと顧客がカスタム統合を構成して維持しなくても、インスタンス間で直接サービスに接続して追跡できるようにすることができます。

Customer Service Management

注文管理 アプリケーションは、ServiceNow カスタマーサービス管理 (CSM) アカウント、コンシューマー、および製品インベントリデータモデルを使用します。カスタマーサービスエージェントは、注文管理を使用して顧客に提供された製品とサービスを完全に把握できます。

製品カタログの管理

の製品カタログ管理セールスと注文管理この機能を使用すると、カタログ管理者は、エージェントが製品やサービスを検索して注文に追加するために使用する製品カタログを作成できます。

価格設定管理

のセールスと注文管理この機能 Pricing Management を使用すると、価格設定管理者は注文で使用される製品とサービスの価格設定を設定できます。価格設定管理者は、販売代理店が注文の製品価格設定を調整できるようにするコントロールも設定します。

見積管理

この ServiceNow 見積管理 アプリケーションを使用すると、営業エージェントとアカウント担当役員は、顧客の営業見積もりを生成および管理できます。顧客の準備ができれば、販売見積もりを注文にシームレスに変換できます。

Flow Designer

フローデザイナー コンポーネントを使用すると、オーケストレーションワークフローなどのワークフローの一部として設計されたフローまたはサブフローを呼び出すことができます。これらのコンポーネントを使用すると、フローまたはサブフローの出力または実行ステータスを確認することもできます。

Customer Service Management with Field Service Management

Customer Service with Field Service Management プラグイン (com.snc.csm_fsm_integration) を使用すると、アプリケーション ServiceNow カスタマーサービス管理 (CSM) とアプリケーションが統合フィールドサービス管理 (FSM) され、作業指示書および作業指示タスクフィールドサービス管理 (FSM) のアカウント情報と連絡先情報をアプリケーションで表示できます。

製品カタログ管理 および Pricing Management リリースノート

アプリケーションセールスと注文管理には製品カタログ管理 Pricing Management、組織で使用する製品オフファリング、カタログ、価格設定を作成および管理するための機能とが含まれています。販売および注文エージェントは、販売機会、見積もり、契約、および資格付与を作成し、注文をキャプ

チャするときに、これらの機能を使用します。これらの基本的な機能は、Washington DC このリリースで拡張および更新されました。

Washington DC リリースでの 製品カタログ管理 と Pricing Management の特長

- 価格設定が関連付けられている販売可能なエンティティである製品オフリングを含む商業カタログを作成します。
- エージェントに、販売見積もりと製品注文の構成と価格設定を簡素化するインターフェイスを提供します。
- アカウントベースの価格設定をサポートします。これにより、選択した顧客アカウントの価格リストを作成できます。
- 価格マトリクスを使用して、製品および製品以外の属性ベースの価格設定を含む、複雑な製品オフリングの価格設定を管理します。

詳細については、「[Product Catalog Management](#)」と「[Pricing Management](#)」を参照してください。

製品カタログ管理 と Pricing Management 機能

製品カタログ

製品カタログ、製品属性、および製品画像に製品オファー階層と関連する価格設定がある、シンプルで構成可能な製品バンドルを定義します。製品カタログカテゴリを使用して、製品オフリングをカタログ内で整理します。

Product Catalog インターフェイス

カタログを参照してカテゴリ別に製品を検索するか、SKU、名前、または業界別製品コードでカタログで製品を検索します。

エンタイトルメントオフリング

製品オフリングに加えてエンタイトルメントオフリングを作成します。保証、延長保証、ライセンス、サブスクリプションなど、さまざまなエンタイトルメントサブタイプを定義します。また、サービス契約につながるエンタイトルメントオファーを設定することもできます。

製品コンフィギュレーター

顧客が要求した製品属性を選択するための直感的なインターフェイスを提供する製品コンフィギュレーターを使用して、販売見積もりと注文を構成します。エージェントが注文オプションを選択すると、価格が自動的に計算されます。製品カタログ管理者は、製品オファーの構成状態に応じて、インターフェイスに表示される構成オプションの編集と可視性を制御するルールを定義できます。

テンプレートが必要

エージェントが顧客の製品ニーズを判断し、営業機会に適切な製品推奨事項を取得するために使用するアンケートを含むテンプレートを作成します。

見積もりと注文の価格リストの選択

通貨に基づく既定の価格表を使用するか、顧客アカウントに基づく既定の価格表を設定して、特定の顧客に対して事前に交渉された価格を有効にします。

価格の延長

デフォルトの価格リストを上書きし、拡張ポイントを介してアクセスされる外部価格リストを使用します。

価格マトリクス

価格設定管理者が、適用される属性条件を制御する意思決定テーブルを使用して、属性ベースの価格戦略を作成できるようにします。

アクティベーション情報

および製品カタログ管理Pricing Management機能は各セールスと注文管理ストアアプリケーションに含まれており、アクティブ化する必要はありません。

Security Operations リリースノート

Washington DC リリースには、Security Operations の新機能と更新された機能が含まれます。

セキュリティインシデントレスポンスリリースノート

ServiceNow セキュリティインシデントレスポンス (SIR) アプリケーションは、セキュリティチームと IT チームの連携、脅威に対する迅速かつ効率的な対応、会社のセキュリティ体制の確認に役立ちます。セキュリティインシデントレスポンス は Washington DC リリースで拡張および更新されました。

Washington DC リリースでの セキュリティインシデントレスポンス の特長

- 顧客の問題を解決するために、チームメンバー、顧客、およびその他の利害関係者を含む電話会議を行います。
- セキュリティインシデントの使用状況と定義の測定基準を使用して MTTR (平均修理時間) 情報をキャプチャします。
- スキャン要求を監視し、からセキュリティインシデントをリスクイベントとして Risk Management チーム セキュリティインシデントレスポンスワークスペースに報告します。
- からセキュリティインシデントのカスタマーサービスケースを直接 セキュリティインシデントレスポンスワークスペース作成します。これは、Customer Service Management (CSM) チームによって追跡されます。
- VirusTotal 統合には、脅威のルックアップのハッシュとして URL を送信するオプションが提供され、統合時のユーザーのプライバシーが保護されます。

i 重要:

セキュリティインシデントレスポンス は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティベーション情報」セクションを参照してください。

Washington DC リリースの新機能

Major Security Incident Management

電話会議を通じて顧客やピアエージェントとコラボレーションし、Zoomまたは Webexを使用して顧客の問題を解決Microsoft Teamsします。通話後のチャット、録音、参加者情報をキャプチャすることもできます。

Flow-based Playbooks

を使用して、手動または文書化されていない Playbook から、自動化された反復可能な Playbook に簡単に移行できます。では、次の新しい Playbook フローデザイナーがサポートされるようになりました。セキュリティインシデントレスポンス

- [Playbook for Office 365 - Malicious File Detected !\[\]\(3292f5442e3b4027aa0bb60988f9fc82_img.jpg\)](#)
- [Playbook for Repeat Detection !\[\]\(705a9285b25462d2e675759828e0d2ed_img.jpg\)](#)
- [Playbook for Spoofed Emails \(using the same Display name\) !\[\]\(655843b308847eeb6852edac6d504d04_img.jpg\)](#)
- [Playbook for Endpoint Detection !\[\]\(cb72e677ea66ed00d67ca3b62400c9b7_img.jpg\)](#)
- [Playbook for Possible Password Spray !\[\]\(366866399f654ff6b6bc8c1ad01fa5eb_img.jpg\)](#)
- [Playbook for T1003 - Detect Credential Dumping Tools !\[\]\(aa7fe9126ad5a709b9522d502923ce44_img.jpg\)](#)
- [Playbook for Email Domain Spoofing Detection !\[\]\(0f99bbff007ad56b319a8d84f2b4b910_img.jpg\)](#)

- [Playbook for Typo Squatted Domain](#)
- [Playbook for Credential Sniffing](#)
- [Playbook for T1070 - Windows Events Logs Cleared](#)
- [Playbook for OSquery of External Address in /etc/hosts file](#)
- [Playbook for User Deleting Bash History - Cloud](#)
- [Playbook for Successful VPN Attempts from the Service Accounts - Corp/Cloud](#)
- [Playbook for Attempted Access to Deactivated Accounts](#)
- [Playbook for T1003 - Defense Evasion - Mimikatz DCShadow](#)
- [Playbook for T1003 - Credential Dumping - Mimikatz DCSync](#)
- [Playbook for Okta User Login Failures from Multiple IPs](#)
- [Playbook for ModSec Brute force by IP Burst](#)

セキュリティインシデントレスポンス は次の機能をサポートするようになりました。

- MTTR (平均修理時間) をキャプチャするためのセキュリティインシデントの使用状況と定義の測定基準。
- 子セキュリティインシデントのインシデントの事後レビュー (PIR) レポートの生成を有効または無効にします。

Security Incident Response Workspace

これで セキュリティインシデントレスポンスワークスペース、で次のタスクを実行できます。

- スキャン要求の監視
- セキュリティインシデントをリスクイベントとして報告します。リスクイベントはリスク管理チームによって追跡されます
- セキュリティインシデントのカスタマーサービスケースを作成します。このケースは、Customer Service Management (CSM) チームが追跡します

Activate and configure the VirusTotal integration

統合時にユーザーのプライバシーを保護するために、脅威をルックアップするためのハッシュとして URL を送信します。

このリリースでの変更

Microsoft Azure Sentinel の統合

- で Microsoft Azure Sentinel 新規変更または更新された変更を行うと、フィールドのマッピング Microsoft Azure Sentinel 中にそれぞれの SIR インシデントデータが自動的に更新されます。詳細については、「」を参照してください。
- 最大 6 か月間のオープンおよびクローズ済みのすべての Azure Sentinel インシデントをプルします。詳しくは、「」を参照してください。

廃止

ServiceNow セキュリティインシデントレスポンス では、次の統合はサポートされなくなりました。

- Recorded Future
- Trusted Security Circles

これらの非推奨の詳細については、ナレッジ ベースの非 [推奨プロセス \[KB0867184\]](#) の記事 Now Support を参照してください。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求することで、セキュリティインシデントレスポンス をインストールします。 [ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

Vulnerability Response

脆弱性対応 は Security Operations アプリケーションスイートの一部です。これらのアプリケーションを組み合わせることで、セキュリティと IT 部門が連携し、対応の速度と効率が向上し、セキュリティ体制を明確に把握できます。

Threat Intelligence

ServiceNow Threat Intelligence アプリケーションを使用すると、セキュリティ侵害のインジケータ (IoC) を見つけ、脅威インテリジェンスデータでセキュリティインシデントを強化できます。

Security Operations common functionality

Security Operations のメインのアプリケーション (Security Incident Response、Vulnerability Response、Threat Intelligence、または Configuration Compliance) のいずれかのプラグインがアクティブ化されると、Security Support Common プラグインがアクティブ化されます。

コンフィグレーションコンプライアンス リリースノート

アプリケーション ServiceNow コンフィグレーションコンプライアンス を使用すると、環境内の最も重要な構成関連の脆弱性に優先順位を付けて、迅速かつ効率的に修正できます。バージョン 14.11 の コンフィグレーションコンプライアンス リリースで Washington DC 拡張および更新されました。

Washington DC リリースでの コンフィグレーションコンプライアンス の特長

- Security Posture Control アプリケーションによって検出されたエンタープライズ環境のセキュリティギャップに対処するには、アプリケーションワークフローを使用して コンフィグレーションコンプライアンス 自動的に優先順位を付け、割り当て、解決します。セキュリティ体制コントロールアプリケーションには、別のサブスクリプションが必要です。
- 新しい Vulnerability Manager Workspace ランディングページで、すべてまたは事前にフィルタリングされたアクティブなテスト結果のサマリービジュアル化を使用して、テスト結果の全体的な影響を分析します。

詳細については、「[Configuration Compliance](#)」を参照してください。



重要:

コンフィグレーションコンプライアンス は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティベーション情報」セクションを参照してください。

Washington DC リリースの新機能

脆弱性マネージャーワークスペースでの脆弱性の状況の分析

のホームページ Vulnerability Manager Workspaceで、リスク評価、修復の進捗状況、アサイン先グループの作業負荷、および修復タスクのレコードを視覚的に表示して、アクティブなテスト結果の全体的な概要を取得します。

フィルターを使用した一連のテスト結果のサマリーの取得

のホームページ Vulnerability Manager Workspaceでテスト結果をフィルタリングして、アクティブな一連のテスト結果の概要を取得します。

メール通知のリンクをクリックしたときにワークスペースのレコードを表示する

メール通知でリンクがクリックされると、ユーザーのロールに基づいてレコードが OR IT 修復ワークスペース でVulnerability Manager Workspace開きます。

誤検出および例外要求に関する通知

承認ルールに承認有効期限とリマインダー日を設定することで、誤検出や例外要求を含む変更承認レコードの通知とリマインダーを受信します。

コンフィグレーションコンプライアンス の Quick start tests

新しいアプリケーションまたは統合のアップグレードと展開が完了したら、クイックスタートテストを実行して、コンフィグレーションコンプライアンス がまだ機能していることを確認します。コンフィグレーションコンプライアンス をカスタマイズした場合は、クイックスタートテストをコピーし、カスタマイズのために設定します。

アクティベーション情報

から要求してServiceNow Store、Configuration Compliance をインストールします。
[ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

コンテナ脆弱性対応 リリースノート

この ServiceNow コンテナ脆弱性対応 アプリケーションは、セキュリティと IT を統合し、最も重大な脆弱性をより迅速かつ効率的に修正できるようにします。バージョン v2.5 の コンテナ脆弱性対応 リリースで Washington DC 拡張および更新されました。

i 重要:

コンテナ脆弱性対応 は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティベーション情報」セクションを参照してください。

Washington DC リリースの新機能

脆弱性マネージャーワークスペースでの脆弱性の状況の分析

のホームページ Vulnerability Manager Workspaceで、リスク評価、修復の進捗状況、アサイン先グループの作業負荷、および修復タスクのレコードを視覚的に表示して、アクティブなコンテナの脆弱性の全体的な概要を取得します。

フィルターを使用した一連のコンテナ脆弱性のサマリーの取得

のホームページ Vulnerability Manager Workspaceでこれらの脆弱性をフィルタリングすることで、一連のアクティブなコンテナの脆弱性のサマリーを取得します。

メール通知のリンクをクリックしたときにワークスペースのレコードを表示する

メール通知でリンクがクリックされると、ユーザーのロール内 Vulnerability Manager Workspace または IT 修復ワークスペース ロールに基づいてレコードが開きます。

誤検出および例外要求に関する通知

承認ルールに承認有効期限とリマインダーの日付を設定することで、誤検出および例外要求の変更承認レコードに関する通知とリマインダーを受信します。

コンテナ脆弱性対応 用の Quick start tests

新しいアプリケーションまたは統合のアップグレードと展開が完了したら、クイックスタートテストを実行して、コンテナ脆弱性対応 が想定どおりに機能していることを確認します。コンテナ脆弱性対応 をカスタマイズした場合は、クイックスタートテストをコピーし、カスタマイズのために設定します。

アクティブ化情報

ServiceNow Store から要求して、コンテナ脆弱性対応 をインストールします。 [ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Store/バージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

アプリケーション脆弱性対応 リリースノート

このServiceNow アプリケーション脆弱性対応アプリケーションは、セキュリティと IT を統合し、最も重大な脆弱性をより迅速かつ効率的に修正できるようにします。 はアプリケーションの一部として脆弱性対応含まれています。 アプリケーション脆弱性対応バージョン v21.0 の アプリケーション脆弱性対応 リリースで Washington DC 拡張および更新されました。

Washington DC リリースでの アプリケーション脆弱性対応 の特長

- 新しい Vulnerability Manager Workspace ランディングページの [アプリケーションの脆弱性] タブで、アクティブなアプリケーションの脆弱性をすべてまたは事前にフィルタリングして視覚化して、アクティブなアプリケーションの脆弱性の全体的な概要を取得します。
- Invicti脆弱性統合を使用して、インタラクティブアプリケーションセキュリティテスト(IAST)および動的アプリケーションセキュリティテスト(DAST)データをインポートします。

詳細を参照してください [Application Vulnerability Response](#)。 詳細を参照してください。

重要:

アプリケーション脆弱性対応 は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティベーション情報」セクションを参照してください。

Washington DC リリースの新機能

脆弱性マネージャーワークスペースでの脆弱性の状況の分析

のホームページ Vulnerability Manager Workspaceでリスク評価、修正の進捗状況、アサイン先グループの作業負荷、および修復タスクのレコードを視覚的に表示して、アクティブなアプリケーションの脆弱性の全体的な概要を取得します。

フィルターを使用した一連のアプリケーション脆弱性のサマリーの取得

のホームページ Vulnerability Manager Workspaceでこれらの脆弱性をフィルタリングすることで、アクティブなアプリケーションの脆弱性のサマリーを取得します。

Define Vulnerability Response email notifications

メール通知でリンクがクリックされると、ユーザーのロール内 Vulnerability Manager Workspace または IT 修復ワークスペース ロールに基づいてレコードが開きます。

Invicti Vulnerability Integration

Invicti脆弱性統合を使用して、インタラクティブアプリケーションセキュリティテスト(IAST)および動的アプリケーションセキュリティテスト(DAST)データをインポートし

ます。このデータにより、カスタムソフトウェアアプリケーションの欠陥の影響度と優先度を判断できます。次の Invicti 統合を使用して、脆弱性データを拡張します。

- Invictiアプリケーションリストアプリケーション:Invictiによってスキャンされたアプリケーションをインポートします。
- Invicti スキャンリスト統合 - スキャンが実行された日時に関するデータをインポートします。
- Invicti アプリケーション脆弱性一致アイテム統合 - Invicti 脆弱性一致アイテムデータをインポートします。

Veracode を使用したソフトウェア部品表 (SBOM) ファイルのインポート

専用の Veracode API を使用して CycloneDx JSON 形式の SBOM ファイルをアップロードします。ソフトウェア プロジェクトで使用しているコンポーネントと、それらのリリース、バージョン、および関連する脆弱性に関する情報を特定します。この統合により、SBOM が CycloneDx JSON 形式で生成され、解析のためにインスタンスにアップロードされます。ソフトウェア部品表アプリケーションが必要です。詳細については、「[ServiceNow ソフトウェア部品表アプリケーション](#)」を参照してください。

Software Bill of Materials

ソフトウェア部品表 (SBOM) 製品でサポートされているアプリケーションに次の機能拡張が行われました。

- OSV.dev 統合の PURL 検証が追加されました。無効な PURL は、ファイル処理中に無視されます。
- 利用可能な場合は、OSV.dev 修正バージョン情報が AVIT レコードの関連リストに表示されます。
- SBOM アプリケーション脆弱性一致アイテム (AVIT) は、拡張 SBOM ワークスペースビューにコンポーネント情報を表示します。
- SBOM ワークスペースで SBOM AVIT の無効化された修復タスクルール。SBOM 脆弱性対応AVIT のルールは、の脆弱性マネージャーワークスペースで編集できます。
- 拡張された SBOM ワークスペースアクセス権により、SBOM Core アプリケーションで SBOM インベントリを表示できます。

Reapplying CI Lookup rules in Application Vulnerability Response

構成アイテム (CI) ルックアップルールを再適用して、スキャンされたアプリケーションおよび製品モデルの既存の CI を更新します。

手動での修復タスクの作成

[グループ設定] タブの修復タスクレコードから、アプリケーション脆弱性一致アイテム (AVIT) の修復タスク (AVUL) を手動で作成します。

誤検出および例外要求に関する通知

承認ルールに承認有効期限とリマインダーの日付を設定することで、誤検出および例外要求の変更承認レコードに関する通知とリマインダーを受信します。

アプリケーション脆弱性対応 用の Quick start tests

新しいアプリケーションまたは統合のアップグレードと展開が完了したら、クイックスタートテストを実行して、アプリケーション脆弱性対応 が想定どおりに機能していることを確認します。アプリケーション脆弱性対応 をカスタマイズした場合は、クイックスタートテストをコピーし、カスタマイズのために設定します。

アクティベーション情報

から要求脆弱性対応ServiceNow Storeしてインストールアプリケーション脆弱性対応します。アプリケーションは脆弱性対応アプリケーションの一部として含まれています。アプリケーション脆弱性対応 [ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

脆弱性対応 統合リリースノート

サードパーティとアプリケーションとの統合は、ServiceNow 脆弱性対応 脆弱性データの拡張に役立ちます。脆弱性対応 アプリケーションと互換性のある ServiceNow アプリケーションおよびサードパーティ統合は、Washington DC リリースで拡張および更新されました。

Washington DC リリースの 脆弱性対応 統合の特長

- CISA Known Exploited Vulnerabilities (KEV) カタログとの統合を使用して 脆弱性対応 、積極的に悪用されている脆弱性に関する重要な情報を取り込むことで、脆弱性に優先順位を付けて効率的に対処し、全体的な脆弱性管理戦略を強化します。この統合には、現在悪用されているソフトウェアの脆弱性に焦点を当てた FIRST.org からのEPSSデータも組み込まれています。
- Cybersecurity & Infrastructure Security Agency (CISA) Known Exploited Vulnerabilities (KEV) カタログから脆弱性対応、ランサムウェアキャンペーンで使用されることがわかっている新しく導入されたフィールドを取り込みます。

詳細については、「[Vulnerability Response integrations](#)」を参照してください。

重要:

サポートされている と 脆弱性対応 の統合は、で利用できます ServiceNow Store。詳細については、これらのリリースノートの「アクティベーション情報」セクションを参照してください。

脆弱性対応 を Washington DC にアップグレードする際の重要な情報

- アプリケーションのリリース済みバージョン脆弱性対応、およびそのリリースと互換性のあるWashington DCサードパーティおよびServiceNowアプリケーションの詳細については、ナレッジベースの記事Now Support「[Vulnerability Response 互換性マトリクスおよびリリーススキーマの変更 \[KB0856498\]](#)」を参照してください。
- の 脆弱性対応新機能については、「」を参照してください [脆弱性対応 リリースノート](#)。

Washington DC リリースの新機能

脆弱性の優先順位付けに Exploit Prediction Scoring System (EPSS) スコアを活用する

Exploit Prediction Scoring System (EPSS) 統合を使用して、一般的な脆弱性とエクスポート (CVE) に関連する EPSS データを FIRST.org からインポートすることで、インスタンスの NVD データを拡張して脆弱性に優先順位を付けて修正します。

ランサムウェアキャンペーンで使用されることがわかっている取り込み

の v21.0.5 脆弱性対応以降、Cybersecurity & Infrastructure Security Agency (CISA) の既知の悪用された脆弱性 (KEV) カタログから、ランサムウェアキャンペーンで使用されることが知られている新しいフィールドが取り込まれます。

アクティベーション情報

から要求ServiceNow Storeして、サポートされているサードパーティ統合アプリケーション脆弱性対応をインストールします。 [ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

脆弱性対応 リリースノート

この ServiceNow 脆弱性対応 アプリケーションは、セキュリティと IT を統合し、最も重大な脆弱性をより迅速かつ効率的に修正できるようにします。バージョン v21.0 の脆弱性対応 リリースで Washington DC 拡張および更新されました。

Washington DC リリースでの 脆弱性対応 の特長

- 脆弱性危機管理ワークフローを通じて脆弱性危機イベントを処理します。
- サイバーセキュリティのリスクとイニシアチブのエグゼクティブレベルの監視を通じて、業界およびグローバルベンチマークを使用して脆弱性、構成ミス、セキュリティインシデントに関する主要なメトリックにアクセスし、新しいサイバーセキュリティエグゼクティブダッシュボードを介してターゲットを設定します。
- 新しい Vulnerability Manager Workspace ランディングページで、すべての脆弱性または事前にフィルタリングされたアクティブな脆弱性を可視化して、脆弱性の全体的なサマリーを取得します。
- 特定の脆弱性セットに対する例外要求のアンケートをカスタマイズします。
- XML/JSON ファイルをインポートして Common Security Advisory Framework (CSAF) 形式をインポートし、関連する脆弱性にソリューションをマッピングします。

詳細については、「[Vulnerability Crisis Management](#)」を参照してください。

重要:

Vulnerability Emergency Response は、から ServiceNow Store入手できます。詳細については、これらのリリースノートの「アクティベーション情報」セクションを参照してください。

Washington DC リリースの新機能

条件に基づく例外要求のアンケートの設定

例外要求の条件に基づいてアンケートを設定します。

メール通知のリンクをクリックしたときにワークスペースのレコードを表示する

メール通知でリンクがクリックされると、ユーザーのロール内 Vulnerability Manager Workspace または IT 修復ワークスペース ロールに基づいてレコードが開きます。

脆弱性マネージャーワークスペースでの脆弱性の状況の分析

リスク評価、修復の進捗状況、アサイン先グループの作業負荷、および修復タスクのレコードを視覚的に表示して、アクティブな脆弱性の全体的な概要を表示します。

フィルターを使用した一連の脆弱性のサマリーの取得

のホームページ Vulnerability Manager Workspaceでアクティブな脆弱性をフィルタリングすることにより、一連のアクティブな脆弱性の概要を表示します。

脆弱性マネージャーワークスペースでのリスク削減のための CVE および TPE への補完コントロールの関連付け

関連する補完コントロールを共通脆弱性エントリ (CVE) およびサードパーティエントリ (TPE) に関連付けます。これは、Vulnerability Manager Workspaceのリスクを軽減するために使用できます。

脆弱性マネージャーワークスペースで CVE または TPE に関連する脆弱性のリスク低減要求を無効化または有効にする 

の CVE または TPE Vulnerability Manager Workspaceに関連する脆弱性に対するリスク削減要求を有効または無効にします。

脆弱性マネージャーワークスペースでの一括編集の使用

では Vulnerability Manager Workspace、複数のホスト脆弱性一致アイテムと修復タスクに対して、次のタスクを同時に実行できます。

- 脆弱性一致アイテムのステータスの更新
- 脆弱性一致アイテムの優先ソリューションを更新
- 修復のために修復オーナーまたはアサイン先グループにレコードをアサインする
- 脆弱性一致アイテムのアサインの削除

誤検出および例外要求に関する通知の受信 

承認ルールに承認有効期限とリマインダーの日付を設定することで、誤検出および例外要求の変更承認レコードに関する通知とリマインダーを受信します。

Vulnerability Crisis Management 

タイムスタンプを表示して、イベントの最後のアセスメントを確認します。ワークスペースの [アセスメント] タブは、新しいアセスメントが作成された場合にのみ表示されます。脆弱性一致アイテムの重大なセキュリティインシデント Vulnerability Manager Workspace へのリンクを表示します。

CISA Known Exploit Vulnerability (KEV) Integration 

XML/JSON ファイルのインポート、API 呼び出し、またはアドバイザリを使用して Common Security Advisory Framework (CSAF) 形式をインポートし、関連する脆弱性にソリューションをマッピングします。

Cybersecurity Executive Dashboard 

スイート内のさまざまな製品のデータを統合できるサイバーセキュリティ担当役員ダッシュボードを使用して、組織のセキュリティランドスケープの ServiceNow Security Operations 統一されたビューにアクセスします。

脆弱性対応の Quick start tests 

新しいアプリケーションまたは統合のアップグレードと展開が完了したら、クイックスタートテストを実行して、脆弱性対応がまだ機能していることを確認します。脆弱性対応をカスタマイズした場合は、クイックスタートテストをコピーし、カスタマイズのために設定します。

UI の変更

脆弱性マネージャーワークスペースの [監視トピック] ページ 

ウォッチトピックは [ウォッチトピック] ページには表示されませんが、Vulnerability Manager Workspaceの [ホーム] ページには表示されません。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、脆弱性対応をインストールします。 [ServiceNow Store](#)  Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方

法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

Security Posture Control リリースノート

ServiceNow Security Posture Control アプリケーションを使用すると、サイバーセキュリティチームは、セキュリティツールの範囲でのギャップや、エンタープライズ資産のセキュリティツール構成からの逸脱を可視化できます。セキュリティ体制コントロール は、このリリースの新しいアプリケーションです Washington DC。

リリースにおけるセキュリティ体制コントロールのWashington DC特長

- アプリケーションに含まれるポリシーを使用するか、独自のポリシーを作成して、セキュリティツールの範囲、セキュリティツールの内部構成標準への準拠、脆弱性を含む重要な組み合わせ、およびインターネットエクスポージャーの可能性について資産を監査および監視します。
- ダッシュボードでカスタムインサイトを作成し、資産のセキュリティ体制の重要な測定基準を監視します。
- リスク算出と修復ターゲットルールのセキュリティ体制コントロール 脆弱性対応 からのインサイトを通じて、優先度の高い脆弱性を特定し、解決を促進します。
- セキュリティ体制コントロールポリシー コンフィグレーションコンプライアンスの検出結果を に公開することで、セキュリティギャップの修正ワークフローを自動化します。

詳細については、「[セキュリティ体制制御](#)」を参照してください。

重要:

セキュリティ体制コントロール は、ServiceNow Storeで利用できます。詳細については、これらのリリースノートの「アクティベーション情報」セクションを参照してください。

セキュリティ体制コントロール 機能

ポリシー

資産とクラウド資産 (AWS のみ) を監視して、不足しているエンドポイント保護エージェント、管理されていないデバイス、脆弱性がスキャンされていないデバイス、および提供されたポリシーを持つ脆弱性との重要な組み合わせを探します。

- 資産メタデータ、セキュリティツール構成データ、および脆弱性に基づいてカスタムポリシーを定義し、内部セキュリティ標準への資産のコンプライアンスを監視します。
- ポリシーを連鎖させて、階層カテゴリの資産を監視できるようにします。
- ポリシーの CMDB CI クラスのカスタムフィールドを使用して資産をフィルタリングします。
- 他のポリシーに一致する資産、または (IRM) で Integrated Risk Management 承認された例外がある資産を監査および監視から除外します。

Service Graph Connector

このアプリケーションは、企業内のさまざまなセキュリティおよび IT ツール用の 31 の Service Graph Connector をサポートしており、資産データをインポートおよび統合して、セキュリティ体制に関するインサイトを提供します。

主要なインサイトとカスタムインサイト

カスタムインサイトを作成して、資産のセキュリティ体制とセキュリティツールの範囲に関する重要な測定基準を監視します。

UI の変更

セキュリティ体制コントロールワークスペース

セキュリティ体制コントロールポリシーの検出結果を [セキュリティ体制コントロール] コンフィグレーションコンプライアンス ワークスペースに公開して表示することで、特定されたセキュリティギャップの修復ワークフローを自動化します。

アクティベーション情報

から要求 ServiceNow Storeして、セキュリティ体制コントロール用の Security Posture Control Core アプリケーションおよび Asset Security Posture Management (ASPM) アプリケーションをインストールします。 [ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

Source-to-Pay オペレーション リリースノート

Washington DC リリースには、Source-to-Pay オペレーション の新機能と更新された機能が含まれます。

買掛金オペレーション リリースノート

このServiceNow 買掛金オペレーションアプリケーションでは、請求書、請求書例外、請求書承認、サプライヤー照会を管理できます。 はリリースでWashington DC拡張および更新されました。買掛金オペレーション

Washington DC リリースでの 買掛金オペレーション の特長

- 請求書処理ワークフローによる自動発注書照合を活用します。
- サードパーティアプリケーションを と統合して、受信請求書と 買掛金オペレーション 送信請求書を処理し、統合フレームワークを使用して請求書支払を承認できます。
- 異なる通貨と数値形式の複数のロケールからの請求書を効率的に処理します。 買掛金オペレーション は、ユーザーのシステムロケールに基づいて請求書をグループ化します。
- 請求書のサプライヤー名をサプライヤーテーブルと照合することで、重複する請求書 のサプライヤーに通知を送信します。

i 重要:

買掛金オペレーション は Washington DC リリースで利用可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティベーション情報」セクションを参照してください。

買掛金オペレーション 機能

Using invoice integration

この ServiceNow 買掛金オペレーション アプリケーションは、統合フレームワークを使用して、サードパーティアプリケーションでの請求書の取り込み、請求書の転記、請求書の支払いを容易にします。

スケジュール設定済みジョブを使用して、請求書および請求書明細行データの一括インポートを実行します。

Invoice data transformation logic

請求書および請求書明細行の通貨グループ化は、ユーザーシステムのロケール設定に基づいて決定されます。

ステージングテーブルに存在する着信請求書と請求書明細行は、小数点と千の区切り記号の位置に基づいて変換されます。

サプライヤー詳細ルックアップロジックが拡張されました。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、買掛金オペレーション をインストールします。 [ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

ソーシングと調達オペレーション リリースノート

ServiceNow ソーシングと調達オペレーション アプリケーションは、従業員が仕事に必要な商品やサービスの購入に使用できるシンプルな自動化ツールを従業員に提供できます。ソーシングと調達オペレーション は Washington DC リリースで拡張および更新されました。

Washington DC リリースでの ソーシングと調達オペレーション の特長

- 従業員が仕事に必要なアイテムの注文に使用できる、商品とサービスのカタログを管理します。
- 従業員が商品やサービスを調達する際に支援を要求する方法を効率化および簡素化します。
- 定期的な更新により、透明性の高い調達プロセスを提供します。
- 調達から要求、受注処理、受領、支払いに至るまで、エンドツーエンドの調達プロセスを自動化します。
- 調達スペシャリストが、組織の商品やサービスのソーシング、交渉、調達、調達を実行し、調達タスクを処理できるようにします。

詳細については、「[Sourcing and Procurement Operations](#)」を参照してください。

i 重要:

ソーシングと調達オペレーション は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

このリリースでの変更

[Sourcing and Procurement Operations integration with Project Management](#)

従業員または要求者が Strategic Portfolio Management (SPM) 製品とのデータ連携エクスペリエンスでキャプチャされるプロジェクトの詳細を入力する問診票フォームにコンテンツ変更を実装しました。

i 注:

これらのプロジェクトの質問は、従業員または要求者が SPM にアクセスできる場合にのみ、問診票フォームで利用できます。既存のお客様への影響はありません。

[Complete sourcing checkout](#)

Employee Center のカタログ外エクスペリエンスの同じ問診票の質問に合わせて、Shopping Hub 製品カタログの価格設定のないアイテムの調達チェックアウトフォーム内にコンテンツの変更を実装しました。Shopping Hub と Employee Center の両方を使用している既存のお客様には、両方のエクスペリエンスで一貫した質問が表示されます。

要求者は、価格設定が必要なカタログアイテムの取り込み時に、連携に関心のあるサプライヤーの連絡先の詳細を入力します。サプライヤー連絡先レコードが保存されて作成

され、調達履行者が調達または購入の詳細を確認するときに使用できます。既存のお客様と新規のお客様の両方に、これらの変更が表示されます。

Requesting for products or services that you don't see on ShoppingHub

Employee Center から複数の物品またはサービス、あるいはその両方を要求する要求者または従業員の問診票エクスペリエンスが変更されました。これらには、「私は良いものがが必要です」および「私はサービスが必要です」の問診票またはレコードプロデューサーが含まれます。

さらに、Employee Center 内には、送信とアイテムの詳細を確認するための新しいサマリーページがあります。既存の顧客がこの新機能を利用する場合は、変更されたレコードプロデューサーペイロードを適用して複数の物品またはサービス、あるいはその両方をキャプチャする必要があります。

デフォルトの問診票フォームが変更され、各物品またはサービス、あるいはその両方に、同じまたは異なる配送先住所またはサービスの住所と日付を設定できるようになりました。既存の顧客は、このエクスペリエンスを独自の質問を含む独自の問診票に適用できます。

Sourcing and Procurement Operations integration with third-party sourcing solutions

サードパーティ調達ツールが入札終了日までに入札をクローズするタイミングを知るための追加機能を統合フレームワーク内に実装しました。また、サードパーティの調達ツールでサプライヤー認定が行われた場合、認定応答は ServiceNow に返されます。

注:

現在、ServiceNow に返すことができるサプライヤー応答は 1 つのみです。

デフォルトのメールコンテンツと製品内アラートメッセージが実装されており、サードパーティの調達ツールで見積もり依頼 (RFQ) が作成されたとき、および ServiceNow でサプライヤー認定を作成できるときに、従業員または要求者と調達マネージャーまたは履行者に通知します。

既存の顧客は、サードパーティ調達ツールの統合をトリガーするために使用される意思決定テーブルの統合によってさらに影響を受けます。1 つは非推奨ですが、もう 1 つはアクティブで使用されています。既存の顧客は、アクティブな意思決定テーブルのみを使用していることを確認する必要があります。

Landing page for Sourcing and Procurement Operations in Source-to-Pay Workspace

Source-to-Pay(S2P)製品スイート全体、またはS2Pスイート内の個々の製品を持つ顧客は、ワークスペース内のコンテンツがロールベースである同じワークスペースを共有するようになりました。履行者には、複数または単一のランディングページが表示され、ロールに基づいてさまざまなリストにアクセスできます。SPO、SLO、またはAPO用に独自のワークスペースランディングページを構築した既存のお客様には、1つのワークスペース内にランディングページが表示されます。

Create a procurement task

履行者は、調達から支払までのワークスペースページから特定のアクションタイプの調達タスクを作成し、従業員または購入者にアサインできます。サポートされているアクションタイプは、[フォームを送信]、[ドキュメントに署名]、および [ドキュメントをアップロード] です。これは、購入者がタスクを完了するために何が期待されているかを理解するのに役立ちます。既に作成されたタスクについて既存の顧客に影響を与えることはありません。これらの新しい変更はアップグレードによって影響を受けます。

Shopper to-dos

買い物客は、Shopping Hub の To Do リストで [フォームの送信]、[ドキュメントに署名]、[ドキュメントのアップロード] などのタスクを確認できます。

Sourcing and Procurement Operations integration with Employee Center

従業員は、Employee Center のタスクページで [フォームの送信]、[ドキュメントに署名]、[ドキュメントのアップロード] などのタスクを表示できます。Employee Center のタスクページの [完了] タブで、完了したタスクを表示することもできます。

Order a product with quick checkout

要求者または従業員は、問診票エクスペリエンス内で過去の日付の物品またはサービスの購入要求を送信できます。これらの要求は、引き続き事後購入としてマークされます。既存の顧客には過去の日付の検証が問診票フォームから削除されているため、過去の日付が取得され、有効な応答としてデータベースに渡されます。

Using ShoppingHub

Shopping Hub に追加のユーザーエクスペリエンス分析を実装して、[購入 (My Purchases)] 内のユーザーセッション、ページアクティビティ、ナビゲーションを追跡し、製品の使用状況とユーザーエクスペリエンスをよりよく理解しました。ユーザーエクスペリエンス アプリケーションを使用する既存の顧客と新規のお客様は、このイベント トラッキングを表示して、ユーザーのショッピング ハブの使用状況を把握できます。

Sourcing and Purchasing Automation

調達および購入ワークフロー内のステータスが自動化をバイパスして手動で変更され、ダウストリームワークフローとユーザビリティの問題が発生する可能性がある、ワークフローコンプライアンスの問題に対処しました。ステータスフローが設計されたワークフローと自動化に準拠できるように、[状態] フィールドは読み取り専用になります。既存の顧客は、調達要求、購入明細、交渉イベント、交渉、および購買要求書テーブルのステータスを手動で変更できなくなりました。

Spendint API

共通統合フレームワークが拡張され、次のものが追加されました。

- 発注書、受領書、およびコスト割り当ての受信テーブル。入力されると、テーブルに発注書、受領書、およびコスト割り当て ソーシングと調達オペレーション が作成されます。
- ERP システムからデータをフェッチするジョブを開発するためにパートナーが使用できる、スケジュール済みジョブのプライマリフロー。
- 任意の ERP と統合するための標準フレームワークとして使用できる、共通のエラー処理フレームワーク。

i 注:

既存のお客様への影響はなく、これらの変更はこのアップグレードでのみ有効になります。

履行者は、新しい統合フレームワーク構造の一部として生成されている統合エラータスクを表示します。

Components installed with Sourcing and Procurement Operations

[サプライヤー] フィールドをサービスタスク (sn_spend_sdc_service_task) テーブルに再スコープすることで、すべての Source-to-Pay (S2P) 製品間の整合性を確保し、より一般的に使用されるデータポイントをエンドユーザーに公開します。これにより、サービスタスクテーブルを拡張するすべてのテーブルが [サプライヤー] フィールドを取り込んで、タスクエクスペリエンスを向上させることができます。既存のお客様の場合は、サプライヤータスクテーブルから廃止された サプライヤー フィールドが、固定スクリプトによってサービスタスクテーブルで利用できることを確認できます。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、ソーシングと調達オペレーション をインストールします。

ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリ

クエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

サプライヤーライフサイクルオペレーション リリースノート

ServiceNow サプライヤーライフサイクルオペレーション アプリケーションでは、迅速なオンボーディング、サプライヤーとのコラボレーション、サプライヤーとの関係の管理、サプライヤーのライフサイクル全体でのリスク、コンプライアンス、およびパフォーマンスの監視ができます。サプライヤーライフサイクルオペレーション は、Washington DC リリースで拡張および更新されました。

Washington DC リリースでの サプライヤーライフサイクルオペレーション の特長

- サプライヤーライフサイクルオペレーションの代わりに を使用しますSource-to-Pay ワークスペースサプライヤー管理ワークスペース。
- サプライヤーケースを完了するためのアクティビティの承認を必要とせずに、ケース Playbook を完了し、サプライヤープライマリデータを確認します。
- (TPRM) との統合 サードパーティリスク管理 を提供する拡張サプライヤーオンボーディングプレイブックを使用してサプライヤーをオンボーディングし、新規サプライヤーをオンボーディングする際にリスクアセスメントを実施します。

詳細については、「[Supplier Lifecycle Operations](#)」を参照してください。

i 重要:

サプライヤーライフサイクルオペレーション は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

サプライヤーライフサイクルオペレーション を Washington DC にアップグレードする際の重要な情報

このリリースからリリースにVancouverWashington DCアップグレードすると、[All] ナビゲーションタブのみSource-to-Pay ワークスペースが表示されます。を引き続き使用すること Source-to-Pay ワークスペースを選択した場合は、何もする必要はありません。

ただし、[ワークスペース] タブには と サプライヤー管理ワークスペース の両方Source-to-Pay ワークスペースが表示されます。デフォルトの代わりにを使用する場合はサプライヤー管理ワークスペース、リリースにWashington DCアップグレードした後に fixscript_migrate_workspace_to_smw.xml 修正スクリプトを実行してください。Source-to-Pay ワークスペースfixscript_migrate_workspace_to_smw.xml ファイルは、からServiceNow Storeダウンロードできます。修正スクリプトの実行方法の詳細については、以下を参照してください [Run fix scripts](#)。

を再び使用する場合 Source-to-Pay ワークスペースは、 fixscript_migrate_workspace_to_s2p.xml 修正スクリプトを実行します。fixscript_migrate_workspace_to_smw.xml ファイルは、からServiceNow Storeダウンロードできます。修正スクリプトの実行方法の詳細については、以下を参照してください [Run fix scripts](#)。

Washington DC リリースの新機能

Supplier Lifecycle Operations のリスクアセスメントプラグインの導入

新しいプラグインである Risk Assessments for Supplier Lifecycle Operations (sn_supplier_tprm) が追加され、サードパーティのリスクアセスメントアプリケーションとの統合により、サプライヤーオンボーディング Playbook を使用して新規サプライヤーをオンボーディングする際にリスクアセスメントを実施できるようになりました。

詳細については、を参照してください。 [Using the supplier onboarding playbook to onboard suppliers](#)

Using the supplier onboarding playbook to onboard suppliers

サプライヤーオンボーディング Playbook には、インストールしたプラグインに応じて、サプライヤーリスクアセスメントを実施するための 2 つの異なるフローをトリガーする新しいリスクアセスメントの実行プレイブックが含まれるようになりました。

- Risk Assessments Integration for Supplier Lifecycle Operations [sn_supplier_tprm] プラグインのみをインストールしている場合は、[リスクアセスメントを実行] Playbook によって、リスクアセスメントを作成してサプライヤーの適格性を確認するアクティビティを含むフローがトリガーされます。
- Supplier Lifecycle Operations [sn_supplier_tprm] のリスクアセスメントと GRC: Third-party Risk Due Diligence [sn_tprm_dd] プラグインの両方がインストールされている場合、[リスクアセスメントを実行] Playbook は、デューデリジェンス要求を作成し、固有リスクアンケート (IRQ) アセスメントを完了し、サードパーティまたはエンゲージメントのリスクアセスメントを実行するアクティビティを含むフローをトリガーします。

Create a case on behalf of a supplier from the Source-to-Pay Workspace

サプライヤーマネージャーは、Source-to-Pay ワークスペースでサプライヤーの代わりにケースを作成できます。

このリリースでの変更

Source-to-Pay Workspace

Washington DC リリース以降、サプライヤー管理ワークスペース は将来の廃止に備えて準備されます。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。Source-to-Pay ワークスペース は、この機能の最新のエクスペリエンスを提供します。

Case playbook for specific supplier case types

ケース Playbook が更新され、次のサプライヤーケースタイプを完了するための承認アクティビティが含まれなくなりました。

- サプライヤーサポート要求
- 一般照会

Playbook for updating the supplier primary data

サプライヤープライマリデータのレビュー Playbook が更新され、次のサプライヤーケースタイプを完了するための承認アクティビティが含まれなくなりました。

- 銀行情報の変更要求
- サプライヤー情報の変更要求
- サプライヤーの場所の変更要求

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、サプライヤーライフサイクルオペレーション をインストールします。 [ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

戦略的ポートフォリオ管理 (SPM) リリースノート

Washington DC リリースには、戦略的ポートフォリオ管理 (SPM) (以前の IT Business Management) の新機能と更新された機能が含まれます。

ポートフォリオ計画 リリースノート

ServiceNow ポートフォリオ計画 アプリケーションは、組織の目標に沿った作業を可視化することで、従来の製品およびポートフォリオ管理を強化するのに役立ちます。ポートフォリオ計画 は Washington DC リリースで拡張および更新されました。

Washington DC リリースでの ポートフォリオ計画 の特長

- 新しいカスタマイズ可能なウィジェットを使用して、予算、EAC、差異、および経費タイプ別の計画コストと実績コストのブレイクダウンなどの財務情報を表示します。
- 財務情報を Excel または CSV 形式でビジネスステークホルダーと共有するためのエクスポートオプション。
- 経費明細を作成して、予定コストに関連しない作業要件を満たす予定外の経費を記録および管理します。
- 優先順位付け Microsoft のリストビューからポートフォリオ計画アイテムのデータを Excel または CSV ファイルにエクスポートして、データを共有し、ビジネスステークホルダーと共同作業を行います。

詳細については、「[Portfolio Planning](#)」を参照してください。

重要:

ポートフォリオ計画 は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

ポートフォリオ計画 を Washington DC にアップグレードする際の重要な情報

v8.0.0 以降、() プロライセンス機能にはワークスペースでのみ戦略的計画アクセスできます戦略的ポートフォリオ管理 (SPM) SPM。Pro ライセンスを所有し SPM においても、Workspace で SPM ポートフォリオ計画 Pro ライセンスの機能 (目標、製品フィードバック、ハイブリッドポートフォリオ計画、追加レンズなど) を引き続き使用している場合は、そのような機能にアクセスするにはインストールする 戦略的計画 必要があります。ワークスペースでのみ 戦略的計画 アクセスできる機能の詳細については、「[Portfolio Planning と Strategic Planning の比較](#)」を参照してください。

Washington DC リリースの新機能

Financial planning for Projects and Demands

- 割り当てられた予算、合計最新コスト (EAC)、差異 (予算と EAC の差)、コストタイプ別の計画コストと現在までの実績のブレイクダウンなど、財務の詳細を表示するカスタマイズ可能なウィジェット。
- コストまたはベースラインの比較情報を Excel 形式または CSV 形式でエクスポートします。これらのファイルを使用すると、インスタンスにアクセスできない ServiceNow 場合でも、プロジェクトまたはデマンドの財務実績に関連するビジネスステークホルダーと共有できます。
- [経費ラインを作成して](#) 、予測された計画コストに関連付けることなく、作業要件を満たす予定外コストをキャプチャします。

- 行コンテキストメニューアイコン (行 ) を使用してスコープ外されたコスト計画を削除し、財務を効率的に管理します。
- 列の表示/非表示、時間スコープの表示などに加えたカスタマイズを保持するためのユーザー初期設定を保存するためのエクスペリエンスが強化されました。

優先順位付けのリストビューからポートフォリオ計画アイテムのデータをエクスポート

[優先順位付け] タブ Microsoft のリストビューからポートフォリオ計画アイテムのデータを Excel ファイルまたは CSV ファイルにエクスポートして、データを共有したり、ビジネスステークホルダーと共同作業したりします。フィルターがビューに適用されると、フィルターされたデータがエクスポートされます。

優先順位付けの機能拡張

- 行コンテキストメニューアイコン (行コンテキストメニューアイコン) の [一番上に移動] および [一番下に移動] オプションをそれぞれ使用して、計画立案アイテムに最高ランクと最低ランクをアサインします 
- 行コンテキストメニューアイコン (行 ) の [削除] オプションを使用して計画立案アイテムを削除します。

UI の変更

財務 UI の変更

- コストや差異などの財務情報を表示する新しいウィジェット
- 新しい [エクスポート] ボタン ([エクスポート] ボタン。) をクリックして、財務の  オプションにアクセスします。
- よりカスタマイズ可能なフォームフィールドにアクセスして、コスト計画と経費明細を管理するための幅広いサイドパネル。
- 予定外の経費を記録するための新しい経費ラインボタン。

優先順位付け UI の変更

- MoSCoW 値に基づいて計画立案アイテムをすばやく識別してソートできるように、[必須]、[必要]、[可能性]、[なし] (MoSCoW) にラベルと色を追加しました。また、既存の MoSCoW 値は、重要度に基づいてデータを並べ替えるために、それぞれ **[1 - 必須]**、**[2 - 必要]**、**[3 - 可能性]**、**[4 - なし]** にそれぞれ更新されました。
- リストビューの列を水平方向にドラッグして並べ替えます。
- リストビューの [カスタマイズ] サイドパネルでは、選択した列が上部に積み重ねられ、選択されていない列は選択した列の下にアルファベット順に表示されます。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、ポートフォリオ計画 をインストールします。 [ServiceNow Store !\[\]\(4b7a79268f6ba26c1471d4232fffa85a_img.jpg\)](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート !\[\]\(87d978583253c9bde1db2d6dfafe8de0_img.jpg\)](#)」を参照してください。

アクセシビリティ情報

切り捨てられたテキストのサポート

ワークスペースの ポートフォリオ計画 次のビューが更新され、[切り捨てられたテキストにキーボードフォーカスを有効にする] アクセシビリティユーザー初期設定がオンになっている場合に、非インタラクティブ要素の切り捨てられたテキストが表示されるようになります。

- 優先順位付けのリストビューと階層ビュー
- ポートフォリオ計画とフリーフォームロードマップのタイムラインビュー
- キャパシティ計画立案

この機能拡張は、視力があり ServiceNow プラットフォームを使用するためにキーボードのみを使用するユーザーをサポートします。詳細については、「[Configure Next Experience accessibility preferences](#)」を参照してください。

非表示コントロール

ワークスペースの ポートフォリオ計画 次のビューが更新され、[ホバーせずにすべてのボタンを表示] アクセシビリティユーザー初期設定がオンになっている場合、通常は表示されないコントロールが自動的に表示されるようになりました。

- 優先順位付けのリストビューと階層ビュー
- ポートフォリオ計画とフリーフォームロードマップのタイムラインビュー
- キャパシティ計画立案

この機能拡張は、視覚障がいや運動制限などの認知/身体障がいのあるユーザーが ServiceNow プラットフォームを使用する場合にサポートします。詳細については、「[Configure Next Experience accessibility preferences](#)」を参照してください。

プロジェクトポートフォリオ管理 リリースノート

このServiceNow プロジェクトポートフォリオ管理アプリケーションを使用すると、少数の小さなタスクから大規模なプロジェクトのポートフォリオまで、幅広いプロジェクトを作成および管理できます。はリリースでWashington DC拡張および更新されました。プロジェクトポートフォリオ管理

Washington DC リリースでのプロジェクトポートフォリオ管理の特長

- リソース計画をプロジェクトとデマンドのリソースアサインに移行し、を使用して ServiceNow プロジェクトワークスペースリソース割り当てを処理します。
- コスト計画をプロジェクトとデマンドの属性ベースの人件費に移行します。
- アジャイルエピックの人件費を生成します。

詳細については、「[Explore Project Portfolio Management](#)」を参照してください。

Washington DC リリースの新機能

強化されたプロジェクト計画と管理

新しいインタラクティブな UI を使用してプロジェクトを計画および管理します。このリリース以降 Vancouver、新しい プロジェクトワークスペース。詳細については、「[プロジェクトワークスペース リリースノート](#)」を参照してください。

リソース割り当てを表示および管理するための新しいエクスペリエンス

アプリケーションで次のレベルを体験リソース管理ServiceNow リソース管理ワークスペースしてください。これにより、リソースマネージャー専用の一元化されたワークスペースが提供され、リソースの割り当て済み、承認済み、または保留中の作業をすば

やく表示し、リソース割り当て要求を管理できます。作業要求をフィルターして優先度を特定します。

リソース計画と運用リソース計画を属性ベースのリソースアサインに移行する

プロジェクトとデマンドのリソース計画を属性ベースのリソースアサインに移行し、次を使用してリソース割り当てを処理する [プロジェクトワークスペース](#)。

属性ベースのコスト計画へのコスト計画の移行

プロジェクトとデマンドのコスト計画をリソース計画とともに属性ベースの人件費に迅速に移行し、を使用して作業Next Experienceプロジェクトワークスペースします。

エピックの人件費の生成

エピックのリソース割り当てに基づいて人件費を生成します。

アクティベーション情報

Project Portfolio Management は、PPM Standard (com.snc.financial_planning_pmo) プラグインを有効化すると利用できます。アクティブ化の詳細については、「」を参照してください [Activate PPM Standard \(Project Portfolio Management\)](#)。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

Project Workspace

このプロジェクトワークスペース アプリケーションは、プロジェクトマネージャーが単一の場所からプロジェクトを定義、計画、追跡、および監視できるインタラクティブな UI を提供します。のリスク プロジェクトワークスペース、問題、意思決定、アクション、および変更要求 (RIDAC) を 1 か所 (RIDAC ページ) で作成および管理します。

プロジェクトワークスペース リリースノート

このServiceNow プロジェクトワークスペースアプリケーションは、プロジェクトマネージャーがプロジェクトを計画および管理できるようにするインタラクティブな UI 要素を使用して、直感的なユーザーエクスペリエンスを提供します。はリリースでWashington DC拡張および更新されました。プロジェクトワークスペース

Washington DC リリースでのプロジェクトワークスペースの特長

- 割り当てられた予算、EAC、差異、計画コストと実績のブレイクダウンなどの財務の詳細を表示するカスタマイズ可能なウィジェット。
- 財務コストまたはベースラインの比較情報を Excel または CSV ファイルとしてエクスポートして、財務情報をビジネスステークホルダーと共有します。
- 予測された計画コストに関連しない予定外の経費に対応するための経費ラインを作成します。
- スコープ解除されたコスト計画を削除して、財務を効率的に管理します。
- 購買要求経費をプロジェクトにリンクし、財務と調達運用の間の統合ソリューションを使用して財務をキャプチャします。

詳細については、「[Strategic Planning](#)」を参照してください。



重要:

プロジェクトワークスペース は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティベーション情報」セクションを参照してください。

Washington DC リリースの新機能

Update the project details from Project Workspace

[詳細] ページからプロジェクトの詳細に直接アクセスして変更するため、複数のビュー間を移動する必要がなくなります。

Update a resource assignment from Project Workspace

ロールアップおよびロールダウンプロセスを使用して、グループと子リソースのアサイン間でステータス変更を調整し、リソースのアサインワークフローを最適化します。

ナビゲーションエクスペリエンスの最適化

[ホーム] アイコンを選択すると表示されるリストを使用して、[計画]、[詳細]、[RIDAC]、および [財務] へのアクセスと管理を行います。このリストはレベル 2 (L2) メニューとも呼ばれ、1 つの場所からナビゲーション エクスペリエンスを最適化します。

プロジェクトの財務計画立案

- 割り当てられた予算、合計最新コスト (EAC)、差異 (予算と EAC の差)、計画コストとコストタイプ別の現在までの実績のブレイクダウンなど、財務の詳細を表示するためのカスタマイズ可能なウィジェット。
- プロジェクトのコストまたはベースラインの比較情報を Excel 形式または CSV 形式でエクスポートします。インスタンスにアクセスできない場合でも ServiceNow、これらのファイルを使用して、プロジェクトの財務実績を関連するビジネスステークホルダーと共有します。
- [経費ラインを作成して](#)、プロジェクト要件を満たすための予定外コストを、計画コストに関連付けずにキャプチャします。
- 行コンテキストメニュー (行 ) を使用してスコープ外されたコスト計画を削除し、財務を効率的に管理します。
- Financials with Sourcing and Procurement Operations のデータ連携ソリューションを使用して、プロジェクトの購買要求とその経費を表示、追跡、およびリンクします。
- 列の表示/非表示、時間スコープの表示などに加えたカスタマイズを保持するためのユーザー初期設定を保存するためのエクスペリエンスが強化されました。

UI の変更

プロジェクトワークスペース UI の変更

- 計画、詳細、財務、および RIDAC へのアクセスを提供するリストまたはレベル 2 (L2) メニューが追加されました。
- プロジェクトの詳細を 1 つのビューで管理するための [詳細] ページが追加されました。
- プロジェクトマネージャーがショッピングハブに直接移動するためのその他のアクションの一部として、[購買要求の作成] オプションが追加されました。
- 購買要求を表示および追跡するための [購入明細] 関連リストが追加されました。
- 要求の発注書を表示するための [発注明細] 関連リストが追加されました。

プロジェクトの財務計画立案

- コストや差異などの財務情報を表示するウィジェットを追加しました。
- 財務のエクスポートオプションにアクセスするための [エクスポート] ボタン ([) を追加しました。
- よりカスタマイズ可能なフォームフィールドにアクセスして、コスト計画と経費明細を管理するための幅広いサイドパネル。
- 予定外の経費を記録するための [新しい経費明細] ボタンを追加しました。

このリリースでの変更

ナビゲーションの変更

[計画] ドロップダウンは、単一のビューから計画、詳細、財務、および RIDAC にアクセスするためのレベル 2 (l2) メニューに置き換えられました。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求することで、プロジェクトワークスペース をインストールします。

関連 **ServiceNow** アプリケーションと機能

Portfolio Management

複数の個別アプリケーションを組み合わせることで、Project Portfolio Management および IT 開発に簡素化されたチーム指向アプローチを使用します。

リソース管理ワークスペース リリースノート

ServiceNow リソース管理ワークスペースこのアプリケーションを使用すると、リソースマネージャーは、リソースのアサインを表示および管理するための専用ワークスペースをより効率的に操作できます。 はリリースでWashington DC拡張および更新されました。 リソース管理ワークスペース

Washington DC リリースでの リソース管理ワークスペース の特長

- リソースカードを作成してリソースボードを構築し、すべてのリソース作業と未割り当てタスクを表示します。
- カスタムクエリを作成し、フィルターを使用して未アサインの作業をフィルタリングします。
- ビューを離れずにリソースのアサイン作業 リソース管理ワークスペース を行います。
- 統合を使用してタスク所有者とコラボレーションします Microsoft Teams 。
- 警告アイコンを使用して、過剰に使用されているリソースを特定します。

詳細については、「[Resource Management Workspace !\[\]\(799877f5c2f906134441300079881630_img.jpg\)](#)」を参照してください。

重要:

リソース管理 は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティベーション情報」セクションを参照してください。

Washington DC リリースの新機能

リソースカードを作成

リソースカードを作成して、カスタム永続ポートフォリオ間のリソースアサインを作成、ナビゲート、および処理します。

未アサインタスクのフィルタリング

未アサインタスクをフィルタリングすることで、優先度の高いアイテムのリソースのアサインを効率的に処理できます。

リソース割り当てとヒートマップモダールを表示するための新しいアイコン

リソース割り当ての不均衡アイコン () を使用して、過剰に割り当てられたリソースの概要を把握します。

リソース割り当てアイコン (リソース ) を使用して、使用可能な帯域幅内で割り当てられたリソースを特定します。

ヒートマップモダールを使用して、リソースにアサインされたタスクと割り当ての詳細のリストを表示します。

UI の変更

[新しいリソースカード] ボタン

カスタムボードを作成するための新しいリソースカードボタンが導入されました。

リソースカード検索

リソースカードをフィルタリングして見つけるためのクイック検索が導入されました。

フィルター オプション

未アサインタスクをフィルタリングするためのカスタムクエリを作成するための新しいフィルターオプションが導入されました。

アクティベーション情報

リソース管理ワークスペース はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

Project Workspace

期間やタスクなどのプロジェクトの詳細は ServiceNow プロジェクトワークスペース、リソースの割り当てに取り組む際にリソースマネージャーにより良い視点を提供するのに役立ちます。」

戦略的計画 リリースノート

ServiceNow 戦略的計画 アプリケーションは、単一のワークスペースを使用してエンドツーエンドの計画立案を実現するのに役立ちます。戦略的計画 は Washington DC リリースで拡張および更新されました。

Washington DC リリースでの 戦略的計画 の特長

- 作業の進捗状況をリアルタイムで可視化し、コミュニケーションを合理化し、チーム間の効率的な調整を行うことで、組織のアジャイル計画を拡張します。
- ウィジェットをカスタマイズして、予算、EAC、差異、経費タイプ別の計画コストと実際のコストのブレイクダウンなどの財務情報を表示します。
- 経費明細を作成して、予定外の経費を記録および管理し、計画コストに関連しない作業要件を満たします。

- ビジネス機能レンズを使用して、戦略に合わせてビジネス機能またはビジネスアプリケーションに基づいて作業を計画、優先順位付け、およびロードマップします。
- [スコアリング] ページと [優先順位付け] タブのリストビューからポートフォリオ計画アイテムのデータ、および財務情報を Microsoft Excel または CSV ファイルにエクスポートして、データを共有し、ビジネスステークホルダーと共同作業を行います。

詳細については、「[Strategic Planning](#)」を参照してください。

i 重要:

戦略的計画 は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノート「[アクティブ化情報](#)」セクションを参照してください。

戦略的計画 を **Washington DC** にアップグレードする際の重要な情報

v4.0.2以降、ワークスペースSPMでのみ戦略的計画()プロライセンス機能にアクセスできます戦略的ポートフォリオ管理 (SPM)。Pro ライセンスを所有し SPM においても、Workspace で SPMポートフォリオ計画 Pro ライセンスの機能 (目標、製品フィードバック、ハイブリッドポートフォリオ計画、追加レンズなど) を引き続き使用している場合は、そのような機能にアクセスするには をインストールする 戦略的計画 必要があります。ワークスペースでのみ 戦略的計画 アクセスできる機能の詳細については、「[Portfolio Planning と Strategic Planning の比較](#)」を参照してください。

Washington DC リリースの新機能

Enterprise Agile Planning in Strategic Planning

- 柔軟な作業とチーム階層を使用して、単一のインスタンス内で複数のアジャイルチームとそのスケールアップニーズをサポートします。
- 新しい計画ボードを使用して、依存関係に関するインサイトを使用して、チーム全体の作業を計画、視覚化、および追跡します。
- 作業項目に優先順位を付け、新しいバックログを使用して、計画間隔やスプリントなどの反復にスケジュールします。
- アジャイル構成を柔軟にアップグレードすることで、組織の進化するニーズとの整合性を確認します。

フィードバックまたは製品アイデアのリストビューの機能拡張

- インライン編集を使用して、リアルタイムの更新を可能にし、フィードバックまたは製品アイデアの詳細を変更します。
- 一度に複数の行を編集することで、各レコードを個別に変更する必要がなくなります。

フィードバックに対する投票数を追跡する

投票フィールドを使用してフィードバックの人気度を把握し、フィードバックに優先順位を付けて情報に基づいた意思決定を行います。これらの投票は、アイデアポータルから直接受信されます。

追加の事前定義済みレンズで効率的に計画

ビジネス機能レンズを使用すると、エンタープライズアーキテクトは、戦略に合わせて調整することで、ビジネス機能とビジネスアプリケーションに基づいてワークスペースでの 戦略的計画 作業を計画、優先順位付け、およびロードマップできます。

優先順位付けの機能拡張

- 行コンテキストメニューアイコン (行コンテキストメニューアイコン) の [一番上に移動] および [一番下に移動] オプションをそれぞれ使用して、計画立案アイテムに最高ランクと最低ランクをアサインします 
- 行コンテキストメニューアイコン (行 ) の [削除] オプションを使用して計画立案アイテムを削除します。

Financial planning for planning items

- 割り当てられた予算、合計最新コスト (EAC)、差異 (予算と EAC の差)、計画コストのブレイクダウン、コストタイプ別の現在までの実績など、財務の詳細を表示するカスタマイズ可能なウィジェット。
- コストまたはベースラインの比較情報を Excel 形式または CSV 形式でエクスポートします。これらのファイルを使用すると、インスタンスにアクセスできない ServiceNow 場合でも、計画立案アイテムの財務実績を関連するビジネスステークホルダーと共有できます。
- **経費ラインを簡単に作成**  して、予測された計画コストに関連付けることなく、作業要件を満たすための予定外コストをキャプチャします。
- 行コンテキストメニューアイコン (行 ) を使用してスコープ外されたコスト計画を削除し、財務を効率的に管理します。
- 列の表示/非表示、時間スコープの表示などに加えたカスタマイズを保持するためのユーザー初期設定を保存するためのエクスペリエンスが強化されました。

採点のフィルター

[スコアリング] ページでフィルターを適用して、必要なデータセットを表示します。これらのフィルターはユーザー初期設定として保存されます。これは、同じデータセットを表示し、再度ログインしたときに計画を続行するのに役立ちます。

採点または優先順位付けからポートフォリオ計画アイテムのデータをエクスポート

[スコアリング] ページ  または [優先順位付け] タブ  Microsoft のリストビューからポートフォリオ計画アイテムのデータを Excel ファイルまたは CSV ファイルにエクスポートして、データを共有したり、ビジネスステークホルダーと共同作業したりします。フィルターがビューに適用されると、フィルターされたデータがエクスポートされます。

UI の変更

製品フィードバック UI の変更

- アイデアポータルからのフィードバックに対して受け取った投票数を表示する [投票] フィールドが追加されました。
- リストビュー内にフィードバックまたは製品アイデアの詳細を表示するプレビューレコードアイコンが追加されました。

財務 UI の変更

- コストや差異などの財務情報を表示するウィジェットを追加しました。
- 財務のエクスポートオプションにアクセスするための [エクスポート] ボタン () を追加しました。

- よりカスタマイズ可能なフォームフィールドにアクセスして、コスト計画と経費明細を管理するための幅広いサイドパネル。
- 予定外の経費を記録するための 新しい経費ライン ボタンを追加しました。

優先順位付け UI の変更

- MoSCoW 値に基づいて計画立案アイテムをすばやく識別してソートできるように、[必須]、[必要]、[可能性]、[なし] (MoSCoW) にラベルと色を追加しました。また、既存の MoSCoW 値は、重要度に基づいてデータを並べ替えるために、それぞれ **[1 - 必須]**、**[2 - 必要]**、**[3 - 可能性]**、**[4 - なし]** にそれぞれ更新されました。
- リストビューの列を水平方向にドラッグして並べ替えます。
- リストビューの [カスタマイズ] サイドパネルでは、選択した列が上部に積み重ねられ、選択されていない列は選択した列の下にアルファベット順に表示されます。

スコアリング UI の変更

- RICE フレームワークの自信と労力の属性に色を追加して、高い信頼性と低い労力に基づいて計画立案アイテムをすばやく表示し、それに応じてアイテムに優先順位を付けました。
- **ポートフォリオ計画を作成または編集** するときに、[スコアリングフレームワーク] ウィンドウからスコアリングフレームワークを簡単に検索して選択します。
- **スコアリングフレームワーク属性フォーム** の詳細ビューには、デフォルトでアクセスできます。
- 列を水平方向にドラッグして並べ替えます。
- [カスタマイズ] サイドパネルでは、選択した列が上部に積み重ねられ、選択されていない列は選択した列の下にアルファベット順に表示されます。

目標 UI の変更

- ターゲットの測定単位の記号が、ターゲットの測定単位を識別するために、目標のリストタブに追加されました。[基準値]、[ターゲット値]、および [実績値] フィールドの値は、その測定単位記号と共に 目標の [リスト] タブに表示されます。
- [リスト] タブと [階層] タブの [カスタマイズ] サイドパネルでは、選択した列が上部に積み重ねられ、選択されていない列は選択した列の下にアルファベット順に表示されます。

このリリースでの変更

採点フレームワークを有効または無効にする

必要に応じて、ベースシステム採点フレームワークを有効または無効にします。採点フレームワークの有効化または無効化は、管理者のみが実行できます。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、戦略的計画 をインストールします。 [ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

アクセシビリティ情報

切り捨てられたテキストのサポート

ワークスペースの 戦略的計画 次のビューが更新され、[切り捨てられたテキストにキーボードフォーカスを有効にする] アクセシビリティユーザー初期設定がオンになっている場合に、非インタラクティブ要素の切り捨てられたテキストが表示されるようになりました。

- 優先順位付けと目標のリストビューと階層ビュー
- ポートフォリオ計画とフリーフォームロードマップのタイムラインビュー
- 採点
- キャパシティ計画立案

この機能拡張は、視力があり ServiceNow プラットフォームを使用するためにキーボードのみを使用するユーザーをサポートします。詳細については、「[Configure Next Experience accessibility preferences](#)」を参照してください。

非表示コントロール

ワークスペースの 戦略的計画 次のビューが更新され、[ホバーせずにすべてのボタンを表示] アクセシビリティユーザー初期設定がオンになっている場合、通常は表示されないコントロールが自動的に表示されるようになりました。

- 優先順位付けと目標のリストビューと階層ビュー
- ポートフォリオ計画とフリーフォームロードマップのタイムラインビュー
- 採点
- キャパシティ計画立案

この機能拡張は、視覚障がいや運動制限などの認知/身体障がいのあるユーザーが ServiceNow プラットフォームを使用する場合にサポートします。詳細については、「[Configure Next Experience accessibility preferences](#)」を参照してください。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

Enterprise Architecture Workspace for Application Portfolio Management

戦略的計画ワークスペースアプリケーションは、ユーザー（エンタープライズアーキテクト）がビジネス機能とビジネスアプリケーションに基づいて作業を計画、優先順位付け、およびロードマップするのに役立ちますServiceNow エンタープライズアーキテクチャワークスペース。

Telecommunications, Media, and Technology リリースノート

Washington DC リリースには、ServiceNow Telecommunications, Media, and Technology の新規および更新されたアプリケーションと機能が含まれます。

電気通信 製品とアプリケーション：

電気通信 業種別ソリューションには、次のアプリケーションが含まれています。

- 通信サービス管理 は、ネットワークから顧客までの電気通信運用全体を 1 つのプラットフォームに統合し、積極的なケアを提供して、サービスの可用性と品質を最大化します。これには次のアプリケーションが含まれています。
 - Service Bridge
 - Proactive Service Experience Workflows
 - アカウントライフサイクルイベント

- Order Management for Telecommunications, Media, and Technology。 「セールスと注文管理 リリースノート」 を参照してください。
- Telecommunications Network Inventory

テクノロジー 業種別ソリューションには、次のアプリケーションが含まれています。

- テクノロジーサービス管理 は、ネットワークから顧客までのテクノロジー運用全体を 1 つのプラットフォームに統合し、積極的なケアを提供して、サービスの可用性と品質を最大化します。これには次のアプリケーションが含まれています。
 - Service Bridge
 - Proactive Service Experience Workflows
 - アカウントライフサイクルイベント
- Order Management for Telecommunications, Media, and Technology。 「セールスと注文管理 リリースノート」 を参照してください。

Telecommunications Network Inventory リリースノート

ServiceNow Telecommunications Network Inventory このアプリケーションを使用すると、ネットワーク計画者は物理ネットワーク、論理ネットワーク、または仮想ネットワークをモデル化し、それらのネットワークモデルに基づいてサービスを設計および割り当てることができます。 はリリースでWashington DC拡張および更新されました。 Telecommunications Network Inventory

Washington DC リリースでの Telecommunications Network Inventory の特長

- 占有機器とシェルフがあるラックの正面図と背面図を、ラックユニット使用率 KPI とともに視覚化します。
- [リビジョン] を使用して、接続を変更、運用化、および使用停止します。 TNI デザイン割り当てを使用して、リビジョンの有無にかかわらずエンドポイントの追加または削除など、接続を変更します。
- 機器、接続、インターフェイスなどのネットワークトポロジを視覚的に表示して、すべてがどのように編成され、接続されているかを理解します。
- キャパシティ管理機能を使用して、ネットワーク内の物理エンティティのキャパシティを計算します。 [インベントリ管理] ビューを確認して、機器情報やネットワーク サイトのラック、ポート、スロットの可用性などのネットワーク インベントリの詳細を取得します。
- 構成アイテム (CI) を追跡および管理するために、ケーブル、ストランド、チャネルを定義します。

詳細については、「Telecommunications Network Inventory」を参照してください。

重要:

Telecommunications Network Inventory は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティベーション情報」セクションを参照してください。

Washington DC リリースの新機能

Visualization of rack

前面または背面の機器の配置、利用可能および占有されているラックスロット、占有されている機器またはシェルフの詳細など、ラックの詳細を視覚化します。

Revision, operationalization, and decommission of a Configuration Item

CI を改訂して、属性、接続、関係などの関連テーブルの変更を含めます。運用化ではこれらの変更を元の CI と結合でき、廃止では CI を廃止するか運用から削除することができます。

Visualization of network topology

ネットワーク トポロジ ビューを使用して、ネットワーク内のノード (機器)、エッジ (接続)、および終端点 (インターフェイス) を確認し、それらがどのように編成および接続されているかを理解します。検索オプションを使用して、複数のトポロジを同時に視覚化できます。

Capacity management

キャパシティ管理を使用して、ネットワーク資産の容量を計算してレポートします。これには、関数と測定基準を使用して、電気通信ネットワーク内の最大リソース、占有リソース、および利用可能なリソース (ポート、スロット、ラックなど) の計算が含まれます。

Inventory management view

[在庫管理] ビューをチェックして、モデル、メーカー、ライフサイクルステータス別にグループ化された機器の合計数など、在庫の詳細を把握します。さらに、ネットワークサイト内のラック、ポート、およびスロットの可用性を確認することもできます。

Define the cable details

次のネットワークインベントリインスタンスを定義します。

- ケーブル - 光ファイバケーブルは、オープンエンドポイントを持つサイトをリンクし、機器に直接終端しないことを示します。
- スtrand - スtrandは、ケーブル内の個々のワイヤです。
- チャネル - チャネルライゼーションでは、使用可能な帯域幅をより小さな帯域幅にサブレーティングします。

Create a change request from Network Inventory Workspace

(TNI) 設計割り当てを使用して Telecommunications Network Inventory、物理接続エンドポイントと論理接続エンドポイントの詳細を変更したり、リンク アグリゲーション グループ (LAG) のメンバーを追加または削除したりします。

アクティベーション情報

本 Telecommunications Network Inventory アプリケーションは、Now Platform Network Inventory Advanced プラグイン (sn_ni_adv) をアクティブ化すると利用できる機能です。詳細については、「[Install Telecommunications Network Inventory !\[\]\(f60b7a900783ac3fd531bfd9c111be6d_img.jpg\)](#)」を参照してください。

関連 ServiceNow アプリケーションと機能

Configuration Management Database (CMDB)

Configuration Management Database (CMDB)  アプリケーションでは、組織のインフラストラクチャを構成する資産、サービス、および資産とサービスの関係の論理表現を作成します。これらのコンポーネントに関する詳細は、CMDB に格納されます。これを使用して次のインフラストラクチャを監視し、完全性、安定性、および連続的なサービスオペレーションを確実にできます。

Service Bridge リリースノート

ServiceNow Service Bridge このアプリケーションを使用すると、プロバイダーとコンシューマーは、カスタムデータ連携を構成して維持しなくても、インスタンス間で直接サービスに接続して追跡できます。はリリースでWashington DC拡張および更新されました。Service Bridge

Washington DC リリースでの Service Bridge の特長

- 一元化されたエラーレポートテーブルにより、エラー処理と追跡が改善されます。
- 自動的に解決できない追跡対象の問題のメール通知を受信します。
- リモートレコードプロデューサーで変数セットと複数行の変数セットを使用します。

詳細については、「[Service Exchange](#)」を参照してください。

i 重要:

Service Bridge は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティベーション情報」セクションを参照してください。

Washington DC リリースの新機能

トランスポート診断によるエラー処理

最近のトランザクションのエラーを追跡し、接続ステータスを提供し、健全性チェックを実行し、推奨事項を提供します。

リモートレコードプロデューサーの変数セットのサポート

リモートレコードプロデューサーで変数セットと複数行の変数セットを使用して、複数のカタログアイテムで再利用できる変数のコレクションを作成します。

アクティベーション情報

ServiceNow Store から要求して、Service Bridge をインストールします。 [ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

Proactive Service Experience Workflows リリースノート

このServiceNow Proactive Service Experience Workflowsアプリケーションにより、テクニカルサポートチームはインサイトとツールを使用して、迅速かつ透明性の高いプロアクティブなサービスを顧客に提供できます。 はリリースでWashington DC拡張および更新されました。 Proactive Service Experience Workflows

Washington DC リリースでの Proactive Service Experience Workflows の特長

電気通信トラブルチケット通知機能を使用して作成されたトラブルチケットインシデントまたはケースのステータスについて顧客に通知します。

詳細については、「[Proactive Service Experience Workflows](#)」を参照してください。

i 重要:

Proactive Service Experience Workflows は、ServiceNow Store で入手可能です。詳細については、これらのリリースノートの「アクティブ化情報」セクションを参照してください。

Proactive Service Experience Workflows を Washington DC にアップグレードする際の重要な情報

トラブルチケット通知を受信したくないお客様は、インシデントテーブルとケーステーブルに関連するビジネスルールを無効にすることができます。トラブルチケット通知のビジネスルールを無効にする方法の詳細については、「」を参照してください [Deactivate trouble ticket notification](#)。

Washington DC リリースの新機能

Handling trouble ticket notifications

TMF エコシステムのルーブルチケットは、顧客から報告された問題、ネットワーク停止、またはその他の問題を追跡して解決するためのインシデントまたはケースです。トラブルチケットは、事後対応型または事前対応型のいずれかの方法で作成できます。顧客が好むメッセージングシステムに応じて、Hermes Kafka や Open Message Bus などのイベント駆動型アーキテクチャを通じて、これらのインシデントのステータスを外部システムに通知できます。

アクティベーション情報

Telecommunications トラブルチケット通知機能は、API 通知管理 (sn_notif_api_mgmt) プラグインをアクティブ化すると使用できます [Proactive Service Experience Workflows !\[\]\(23d9fc146e83b5c3013cfa32c784f8d5_img.jpg\)](#)。から要求ServiceNow Storeすることによって、インストールします。 [Proactive Service Experience Workflows !\[\]\(f5c463b8c1554ac5049d611bd8e33a51_img.jpg\)](#) [ServiceNow Store !\[\]\(54f1390f33a36173a1b97c4b6eb40204_img.jpg\)](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート !\[\]\(1301e78e125668a3a0cedabdef0db7f3_img.jpg\)](#)」を参照してください。

関連 **ServiceNow** アプリケーションと機能

Field Service Management

ServiceNow フィールドサービス管理 (FSM) アプリケーションは、現場で実行する作業タスクを管理する組織を支援します。スキル、地理的なテリトリーのアサイン、および利用可能なインベントリに基づいて、タスクとエージェントをマッチングします。エージェントは、完了ステータス、ジョブへの移動時間、所要時間など、アサインされたタスクの詳細を記録できます。

Incident Management

ServiceNow インシデント管理 は、事業運営に対する影響を最小限に抑え、品質を維持しながら通常のサービス運用状態に戻します。どのユーザーも、インシデントを記録することができ、サービスが回復して問題が解決されるまで、インシデントのライフサイクル全体を通じてインシデントを追跡できます。

Change Management

ServiceNow 変更管理 アプリケーションは、すべての変更のライフサイクルを制御する体系的なアプローチを提供し、事業運営の中断を最小限に抑えて有益な変更を容易にします。

Process Mining

ServiceNow プロセスマイニング は、アナリストとプロセスオーナーがビジネスプロセスを迅速に分析して最適化するのに役立ちます。データから自動化されたビジネスプロセスフローを作成し、プロセスの非効率性を監視し、より迅速に検出できるようにします。

ServiceNow Telecommunications Service Operations Management (TSOM) は、Event Management などのモニタリングツールと統合して運用を簡素化し、通信テクノロジードメイン全体にわたるエンドツーエンドのサービスビューを提供します。TSOM は、TM Forum Alarm Management API を使用して、異種ドメインにまたがる膨大なネットワーク・イベント・データの収集、相関、および分析を自動化します。フロントオフィスチームとバックオフィスチームに、単一のエンドツーエンドのサービス健全性ビューを提供します。

Washington DC 機能のリリースノートの概要

新規および更新された Washington DC 機能の統合されたリリースノート情報。

複数の **Washington DC** 製品の特定のテーマについて

Washington DC ファミリーでは、ServiceNow[®] の機能と製品が導入または更新されました。新規または更新されたすべての機能および製品には、個別に独自のリリースノートトピックがあり、アップグレードタスク、新機能、変更された機能、ブラウザー要件、その他の仕様などの情報が含まれています。これらの製品固有のリリースノートは「[製品別の機能と変更](#)」にリストされています。

ユーザーがさまざまなクラスの情報を一目で確認できるように、各リリースノートセクションには独自の概要トピックがあります。たとえば、「[」](#)には、Washington DC で導入または更新された機能のすべてのブラウザー要件が集約されています。

Washington DC のすべての機能と製品のハイライト

Washington DC の機能と製品のハイライトに関する累積的なリリースノートの概要。

Washington DC の最新情報については、製品のハイライトを確認してください。

アプリケーションまたは機能	詳細
AI Search	- Genius 結果を使用した 自然言語クエリー 平易な言語検索に対して、簡潔で実用的な回答を表示します。 - 検索用語が 2 つある検索に対してクエリーの自動再送信をスキップすることで、検索パフォーマンスを向上させます。 - ストップワードとして定義された検索用語を保持することで、同義語検索の再呼び出しと一貫性が向上します。 詳細については、「AI Search」を参照してください。
API	- スクリプトでサーバー側の JavaScript API を使用して、アプリケーションの機能を変更します。 - フォームのロード時、フォームの送信時、フィールド値の変更時など、クライアントベースのイベントが発生するたびにクライアント API を実行します。 - インバウンド REST API を使用して、アプリケーション内のさまざまな ServiceNow 機能とやり取りします。 詳細については、「API implementation and reference」を参照してください。
Accounts Payable Operations	- 請求書処理ワークフローによる自動発注書照合を活用します。 - サードパーティアプリケーションを と統合して、受信請求書と 買掛金オペレーション 送信請求書処理し、統合フレームワークを使用して請求書支払を承認できます。 - 異なる通貨と数値形式の複数のロケールからの請求書を効率的に処理します。買掛金オペレーション は、ユーザーのシステムロケールに基づいて請求書をグループ化します。 - 請求書のサプライヤー名をサプライヤーテーブルと照合することで、重複する請求書 のサプライヤーに通知を送信します。

アプリケーションまたは機能	詳細
Adoption Services	• 新機能を開始点として使用して、製品 UI で製品の新規および既存の機能について学習します。 • 製品の.new機能コンテンツと、これらの製品に必要なユーザーロールを確認します。 • に表示される [新機能] タブ Help Center を参照して、新機能について学習できます。 詳細については、「Adoption services」を参照してください。
Advanced Risk	• 2 次および 3 次のリスクユーザーがレコードをレビューし、フィードバックを提供し、クローズを監視できる、並行レビューおよびフィードバックワークフローを実装します。 • Management Reporting of Risk アプリケーションを介してレコードで利用可能な情報を使用して、管理レポートを直接 Microsoft Word 作成します。 • 自動保存を使用して、ユーザーが行う必要があるクリック数を減らします。 • オブジェクトベースのリスクアセスメント方法論のメンテナンスと柔軟性を向上させます。1 つの方法論で複数のレコードタイプを評価することも、複数の方法論を有効にして同じレコードタイプを評価することもできます。 • 複数のリスクアセスメントを一括で承認して再アサインします。 詳細については、「Advanced Risk アセスメント」を参照してください。
Advanced Work Assignment	最大待機時間に達してもpending_acceptアサインがタイムアウトするまでエージェント受信ボックスにステータスの作業アイテムを保持するシステムプロパティが追加されました。 詳細については、「Advanced Work Assignment」を参照してください。
エージェントチャット	要求者、仮想エージェント、およびライブエージェント間で転送される会話のチャット要約を自動的に生成 エージェントチャット します。 詳細については、「Exploring Agent Chat」を参照してください。
Agent Client Collector	• エージェント ディスカバリー、自動 MID サーバー 選択、およびエラーメッセージログの拡張システムプロパティを使用して、ポリシーとフレームワーク構成を監視します Agent Client Collector 。 • 構成データファイルを使用して、インスタンスからエージェントに直接データを提供します。 • クラウド内のポリシーの測定基準 Azure を取得します。

アプリケーションまたは機能	詳細
	詳細については、「 Agent Client Collector 」を参照してください。
Agent Workspace for HR Case Management	- ドキュメントを閲覧または編集するユーザーに関する権限要件を追加することで、ケースに添付されたドキュメントのセキュリティを強化します。 - 個人メモを使用して、ケースのケース履歴や作業メモに含めたくない機密情報や急速に変更される情報を追加します。 詳細については、「Agent Workspace for HR Case Management (Configurable)」を参照してください。
CSM のエージェントエクスペリエンス	- プリセット、コントローラー、拡張ポイントなどのロジックを利用するレコードページを使用して、構成を簡素化します CSM 構成可能ワークスペース。 - キーボードショートカットを使用して、ユーザーインターフェイスで一般的なアクションを実行します。 - 適合性の高い構成可能なワークスペースを作成する包括的なアクセシビリティの改善を利用できます。 詳細については、「Agent experience」を参照してください。
App Engine Studio	- の新しい ワークスペースビルダーモダリティにより、ワークスペースに不足しているロールをより迅速に追加できます。 - および ワークスペースビルダーの標準化されたビルダーテーマAESを活用します。 詳細については、「Build apps using App Engine Studio」を参照してください。
アプリケーションマネージャー	- アプリケーションインジケターを使用して、アプリケーションの依存関係のニーズについて学習します。 - アクティビティログの進行状況に基づいてオプションをフィルターします。 - インストール前のモダリティポップアップを使用して、インストール前にアプリケーションについて学習します。 - 依存関係が [ライセンスが必要] 状態の場合、インストールがブロックされているかどうかを検出します。 - 部分検索で検索する条件を満たす可能性があるアプリケーションを見つけます。 詳細については、「Application Manager」を参照してください。

アプリケーションまたは機能	詳細
アプリケーションポートフォリオ管理	- エンタープライズアーキテクチャワークスペースダッシュボードページは、ポートフォリオ固有のタブに関連ウィジェットを表示するように再設計されました。 - のビジネスアプリケーションビューエンタープライズアーキテクチャワークスペース内で、(TPM) および テクノロジー参照モデル (TRM) のライフサイクル情報をガントチャート形式で表示しますテクノロジーポートフォリオ管理。 - アプリケーションコストを取り込み、ビジネスアプリケーションを総所有コスト (TCO) で評価します。 - から Strategic Portfolio Workspace エンタープライズアーキテクチャワークスペースでビジネス機能とビジネスアプリケーションのロードマップを表示するアクションが追加されました。 - テクノロジーポートフォリオ管理 ()TPM は、ハードウェアのテクノロジー標準を設定するためのサポートを拡張します。ハードウェア製品と製品ライフサイクルを追加または要求 TRM します。 詳細については、「Application Portfolio Management」を参照してください。
Application Vulnerability Response	- 新しい Vulnerability Manager Workspace ランディングページの [アプリケーションの脆弱性] タブで、アクティブなアプリケーションの脆弱性をすべてまたは事前にフィルタリングして視覚化して、アクティブなアプリケーションの脆弱性の全体的な概要を取得します。 - Invicti脆弱性統合を使用して、インタラクティブアプリケーションセキュリティテスト(IAST)および動的アプリケーションセキュリティテスト(DAST)データをインポートします。 詳細を参照してくださいApplication Vulnerability Response。詳細を参照してください。
Audit Management	- ドキュメントとワークシートを Audit Management クラウドファイルとして管理します。 - クラウドファイルを任意の GRC レコードにリンクし、単一のクラウドファイルを複数のレコードと共有します。 - クラウドファイルに対するアクセス許可を管理します。 詳細については、「Audit Management」を参照してください。
Automated Test Framework	- 手動テストを自動テストに置き換えることで、アップグレードと開発時間を短縮します。 - テストを一度設計し、さまざまなコンテキストおよびさまざまなテストデータセットでそれらを再利用します。 - テストデータと各テスト実行後に行われた変更をロールバックすることで、テストインスタンスをクリーンに保ちます。

アプリケーションまたは機能	詳細
	• テストスイートを作成およびスケジュールを設定して、テストをひとまとまりの数量に整理し、実行します。 • クイックスタートテストとテストスイートをコピーして、テスト設計時間を短縮します。カスタムテストステップを作成してテスト範囲を拡大することもできます。 詳細については、「Test your apps with the ATF」を参照してください。
Benchmarks	KPI データ、パフォーマンスの傾向、およびインジケータスコアカードを提供する、ユーザーエクスペリエンスが強化された新しいベンチマークダッシュボードを体験してください。 詳細については、「Benchmarks」を参照してください。
Business Continuity Management	• のソースデータと関係 構成管理データベース (CMDB)に基づいて、ビジネスインパクトアセスメント (BIA) で依存関係の自動更新をスケジュールします。アプリケーションから BIA 依存関係の更新の詳細を含むメール通知を取得します。 • および BIA のソースデータと関係 CMDB に基づいて、計画内の関連資産の自動更新をスケジュールします。アプリケーションから計画依存関係の更新の詳細を含むメール通知を取得します。 • 影響を受ける資産の依存関係を、BIA、CMDBおよび計画のイベントと演習に手動で追加します。 詳細については、「Business Continuity Management」を参照してください。
クローンアドミンコンソール	• 簡素化されたクローン要求エクスペリエンスを体験してください。 • 新しいスケジュールツールでタイミングの競合を防ぐのに役立ちます。 • ダッシュボードを使用して、現在のクローンアクティビティを可視性を高めて表示します。 • ホームページのリストビューで追加のカスタマイズオプションを表示します。 • 国際化は複数の言語で提供されます クローン管理コンソール。 詳細については、「Clone Admin Console」を参照してください。
クラウドコスト管理	• の クラウドコスト管理ワークスペース支出分析ビューを使用して、Kubernetes クラスターの支出ブレイクダウンに関するインサイトを取得します。 • 共有クラウドのコストを割り当てることで、さまざまなビジネスドメインにわたる Kubernetes クラスターを含む共有クラウドサービスのコストを管理します。

アプリケーションまたは機能	詳細
	詳細については、「Cloud Cost Management」を参照してください。
Coaching	• のNext Experience UI ダッシュボードを使用してコーチング分析しますコーチング。 • と統合ServiceNow Universityすることで、ユーザーがスキルを獲得ServiceNowできるようにします。 詳細については、「Coaching」を参照してください。
共通の Governance, Risk, and Compliance 機能	• [担当者] フィールドでシステム提供の修正提案と潜在的なアサインニーを使用して、修復タスクをアサインします。 • 問題マネージャーロール、問題マネージャーグループロール、担当者ロール、またはアサイン先グループロールのいずれかがある場合は、問題を更新します。 詳細については、「Governance, Risk, and Compliance」を参照してください。
Compliance Case Management	• コンプライアンスケースまたは要求からのデータを使用するポータブルドキュメント形式 (PDF) レポートをシームレスに作成します。 • コンプライアンスケースおよび要求レコードページのメール作成機能を使用して、複数のステークホルダーとコミュニケーションします。 • ケースマネージャーが、影響を受ける 1 つまたは複数の領域および関連する領域の範囲を管理できるようにします。 詳細については、「Compliance Case Management」を参照してください。
Configuration Compliance	• Security Posture Control アプリケーションによって検出されたエンタープライズ環境のセキュリティギャップに対処するには、アプリケーションワークフローを使用して コンフィグレーションコンプライアンス自動的に優先順位を付け、割り当て、解決します。セキュリティ体制コントロールアプリケーションには、別のサブスクリプションが必要です。 • 新しい Vulnerability Manager Workspace ランディングページで、すべてまたは事前にフィルタリングされたアクティブなテスト結果のサマリービジュアル化を使用して、テスト結果の全体的な影響を分析します。 詳細については、「Configuration Compliance」を参照してください。

アプリケーションまたは機能	詳細
Configuration Management Database (CMDB)	• CMDB Workspace で CMDB データマネージャーを使用して、ポリシーとタスクを管理および管理し、廃止定義と除外リストを管理します。進行中の CMDB データマネージャープロセスに関する分析を表示して、注意が必要な潜在的な問題を検出することもできます。 • CMDB Workspace で重複排除テンプレートのライブラリーを作成することにより、重複排除タスクを一貫して一括で修正します。 • CMDB Workspace の CMDB 360 ダッシュボードの CMDB [範囲] タイルのデータの範囲を制限することで、クラスに焦点を当てます。 • 参照テーブルに入力されていないフィールドを推奨として指定して識別し、完全性の CMDB 健全性 KPI の推奨測定基準によって追跡されるようにします。 詳細については、「Configuration Management」を参照してください。
Continuous Authorization and Monitoring	• NIST 800-53 リビジョン 5 に属するコントロールのベースシステムによって出荷される、コントロール要件レベルの詳細なレベルでコントロールの管理を有効にします。 • コントロールのブレークダウンを可能にするコントロール目標レベルで要件を定義し、コントロール要件を自動的に作成します。これは個別に証明することもできます。 • コントロール要件を部分的に継承し、残りの要件を自己実装することで、ハイブリッドコントロールを作成します。 • NIST 800-53A で定義されているアセスメント手順に基づいてコントロールのテストを有効にします。 詳細については、「継続的な承認と監視について」を参照してください。
Core Now Platform	• フローを作成し、リモートテーブルのトリガーとアクションを設定して、外部ソースからデータを取得します。取得されたデータが大きい場合は、リモートテーブルの拡張キャパシティ機能を使用します。 • GraphQL Explorer で GraphQL API をテストします。 • レコードが変更された直後に監査を作成することで、トランザクションがキャンセルされたときに監査が記録される可能性を低減します。 • 複数レベルの関連レコードをアーカイブするときにカスケードを管理します。 詳細については、「Administer the ServiceNow AI Platform」を参照してください。

アプリケーションまたは機能	詳細
顧客契約と資格付与	• 契約とエンタイトルメントの詳細を取得するための、エンドツーエンドの柔軟なデータモデルを開発します。 • 契約および資格付与データを共通データモデルに追加することで、販売済み製品やインストールベースアイテムなどの既存の顧客データとの関係を確立します。 • アカ운トベースのサポートエンタイトルメントから、複雑なエンタイトルメント範囲のサービスプランを含む契約まで、さまざまな機能を実装することで、顧客のニーズをサポートします。 • 契約と資格付与のエンドツーエンドの注文管理プロセスを有効にします。 • 契約、契約品目、エンタイトルメントを管理および変更します。 詳細については、「Customer Contracts and Entitlements」を参照してください。
Customer Service Management (CSM)	• 音声を含むすべての顧客エンゲージメントチャネルのルーティングルールを作成し、適切なスキル、専門知識、キャパシティを備えた最適なエージェントに作業を自動的にアサインすることで、顧客とのやり取りを簡素化します。 • Customer Service Portal および Consumer Service Portal のガイド付きプロセスにより、ケースの作成から完了までの ライフサイクルを通じて顧客をガイドし、カスタマーエクスペリエンスを向上させます。 • 事業所の包括的なビューを使用して、カスタマーサービスデリバリーを最適化します。ケースを作成し、問題を迅速かつ正確に解決するために必要な場所コンテキストをエージェントに提供します。 • 同じユーザーの内部ペルソナと外部ペルソナをサポートし、1 人の個人に対して複数のユーザーアカウントを作成および管理する必要がなくなります。 • 改善された柔軟なアクティビティストリームレイアウトにより、折りたたみ可能なパネルと最小化されたスクロールによって画面のスペースが最適化され、エージェントの効率が向上します。 詳細については、「Exploring Customer Service Management」を参照してください。
Data Discovery	• pアーティファクトの匿名化の使用のデータディスカバリーより良い統合 • 新しいデフォルトパターンによるエクスペリエンスの向上 詳細を参照してください Data Discovery。

アプリケーションまたは機能	詳細
Data Privacy	- 匿名化ページから直接テストを作成することによるワークフローの高速化 - 強化された Data Privacy UI エクスペリエンスからより多くのインサイトを得る 詳細については、「Data Privacy」を参照してください。
CSM のデータ管理	- 販売済み製品テーブルの拡張データモデルの変更により、ワークフローをサポートします。 - 販売済み製品としてもモデル化され、階層の一部である契約と資格付与を使用して、販売済み製品とそのサービスに関する完全な情報を得ることができます。 - 製品インスタンス識別子を使用して、新規および既存のインストールベースアイテムを識別して追跡します。 - ユーザーの ID ペルソナを統合して、1 人のユーザーに対して複数のユーザーアカウントを作成および管理する必要がないようにします。この機能を使用すると、企業/消費者間 (B2C) サービスをシームレスにプロビジョニングできます。 - 事業所の問題を包括的に 360 度把握して、エージェントが、報告された問題を効果的に解決するために必要なコンテキストデータを取得できるようにします。 詳細については、「Data management for Customer Service Management」と「」を参照してください。
Decision Builder	- ディシジョンビルダー が に統合 ワークフロースタジオされました。などの他のフローデザイナープレイブック強力なツールと一緒にアクセスディシジョンビルダーして、意思決定テーブルをワークフローとシームレスに統合します。 300 行未満の意思決定テーブル全体を複製するか、より大きな意思決定テーブルの場合は意思決定テーブル構造 (入力と列) のみを複製します。 - 任意のスクリプトから意思決定テーブルを実行し、から ディシジョンビルダーコピーした意思決定テーブルのコードスニペットを挿入することで、ハードコードされたロジックを意思決定に簡単に置き換えられるようにします。 - 意思決定テーブルの行を戦略的に複製することで、意思決定ルールを記述する時間と労力を節約できます。 - 意思決定テーブルが使用されている関連オブジェクトを表示してアクセスします。 詳細については、「Decision Builder」を参照してください。

アプリケーションまたは機能	詳細
Delegated Development	• 代理管理者機能を使用して、委任開発 ロールを簡素化します。 • すべての 委任開発 機能にアクセスできるユーザーの個々のロールを追加する必要がなくなります。 詳細については、「Delegated development and deployment」を参照してください。 • 代理管理者機能を使用して、委任開発 ロールを簡素化します。 • すべての 委任開発 機能にアクセスできるユーザーの個々のロールを追加する必要がなくなります。 詳細については、「Delegated development and deployment」を参照してください。
DevOps Change Velocity	• 計画機能の一部としてリポジトリ内のGitHub問題を検出GitHubします。 • GitLab パイプラインで、変更要求の作成、Sonar スキャン、アーティファクトの登録、およびパッケージ登録に関連するデータを収集します。 • DevOpsChangeRelationshipHelper スクリプトを使用して、変更要求に関連付けられたデータを取得します。 詳細については、「」を参照してください。
Digital Portfolio Management	• 柔軟性を高めるためにホームページを再設計 デジタルポートフォリオ管理 (DPM) しました。これにより、ページのロード速度、ソリューションカードのカスタマイズ、ソリューション要注意属性としきい値の表示ができるようになりました。 • 利用可能なアイテムタイプを更新しました。 • ビジネスアプリケーションのすべてのアプリケーションサービスを表示する重要業績評価指標 (KPI) グループブレイクダウンリストが追加されました。 • KPI グループをコピーして、すべての従属 KPI とマッピングを含む新しい KPI グループを作成する機能が追加されました。 • KPI の詳細を表示し、例外を分析するためDPMに追加されますプロセスマイニング。 詳細については、「Digital Portfolio Management」を参照してください。
Visa の異議申し立てルールコンテンツパック	• VROL (Visa Resolve Online) に基づく異議申し立てアンケートを組み込み、異議申し立ての理由コードを特定します。 • 意思決定テーブルを作成して、理由コードと異議申し立てデータに基づいてチャージバック適格性ルールを確立します。

アプリケーションまたは機能	詳細
	詳細については、「Dispute Rules Content Pack for Visa」を参照してください。
Document Intelligence	- 抽出するドキュメントの領域で描画ツールを使用して、テーブルからデータを簡単に抽出できます。 - ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) との統合を作成して、自動化を活用しますオートメーションセンター。 詳細については、「Document Intelligence」を参照してください。
ドキュメントサービス	- 複雑なドキュメントに署名する手動プロセスをなくすことで、署名エクスペリエンスを向上させます。 - ドキュメントで共同作業し、内で Microsoft SharePoint ホストされている添付ファイルを管理する機能。 - 外部ユーザーが、内でドキュメント サービスポータルを追加および管理するためのエクスペリエンスが向上しました。 詳細については、「Document Services」を参照してください。
ドキュメントテンプレート	- 動的トークンを翻訳するテンプレートの言語を設定します。 - テンプレートの生成出力に日付を表示する日付形式を設定します。 詳細については、「Document Templates」を参照してください。
動的翻訳	Watson Translator サービススポークは IBM、2024 年の廃止の通知を発表しました。 の概要ServiceNow 動的翻訳については、Dynamic Translation ドキュメントを参照してください。Watson Translator サービススポークに固有の情報については、IBMドキュメントを参照してくださいIBM Watson Language Translator Service spoke。
EMR Help	- EMR から医療ケースを直接作成して、解決を迅速化し、臨床効率を高め、患者の転帰を改善します。 - より効率的な解決プロセスのために、ワークスペースで要求を処理し EMR Help ながらコンテキストセッション情報を一目で確認できます。 - ポータルを終了 EMR Help せずに、送信された要求情報の概要を確認します。 詳細については、「EMR Help」を参照してください。

アプリケーションまたは機能	詳細
ESG Management	• との統合 Microsoft 365 for ServiceNow Reportingにより、包括的な説明文の開示を作成します。開示をローカルシステムまたはリモートストレージにアップロードして、簡単にアクセスできるようにします。 • ダッシュボードの 持続可能な IT [IT フットプリント] タブを使用して、データセンターやオフィスビルなどのカーボンフットプリントを示すグローバルマップを表示し、最もエネルギー効率の高い施設をハイライト表示します。 • 計算済み測定基準の定義で式ビルダーを使用して、必要なデータの計算を実行する独自の式を作成します。 • Advanced Risk アセスメントと統合して、重要なトピックとエンティティに対するリスクを評価します。 • 指定されたグループ内のレコードページ上の関連リストとユーザーインターフェースページの配置を効果的に整理して、ページ全体の読みやすさを向上させます。 詳細については、「ESG Management」を参照してください。
従業員センター	• Now Mobile アプリを使用して、ニュース記事を表示し、承認が必要なタスクにアクセスします。 • ビデオホスティングサービスのビデオを使用してコンテンツを構築します。 • リッチコンテンツまたはニュース記事の HTML および CSS ソースコードを編集します。 • 従業員エクスペリエンスフィードバック機能を使用して、ユーザーから関連するフィードバックを取得します。 詳細については、「Employee Center」を参照してください。
Employee Growth and Development	• 従業員が検出できる機会を組織が共有できる単一の統合された場所として、営業案件マーケットプレイスを使用します。 • 従業員の成長と能力開発活動このアプリケーションMicrosoft Outlookを使用すると、会話モジュールを使用して従業員またはマネージャーとの会話を簡単にスケジュールできます。 • 簡素化されたプロセスを使用して会話を作成およびスケジュールする手順を簡素化し、組織全体で会話モジュールの導入を促進します。 • 成長計画を使用して、メンタリング、コーチング、リーダーシップ開発、チームビルディング、および教育給付の機会を開発します。 • 組織内で有意義な関係を構築し、知識、共有、コラボレーションの文化を育むために使用します メンタリング。 詳細については、「Talent Development Core」を参照してください。

アプリケーションまたは機能	詳細
暗号化キー管理	- クラウド暗号化のために、プライマリ、セカンダリ、読み取りレプリカ、ゲートウェイ (シャード)、および論理破損保護 (LCP) データベースの PostgreSQL データベースをサポートします。LCP データベースは、読み取りレプリカ データベースの一種です。 - タイムスタンプ付きの Key Management Framework (KMF) 署名 [sn_kmf_record_signature] レコードを使用して署名が発行されたタイミングを表示します。 3DES の廃止について改善されたユーザーインターフェイスのガイダンスを使用して、GlideEncrypter を削除します。Security Center の重要な更新アプリ内で、3DES の完全および部分的な廃止に関する情報を確認し、3DES を廃止する前に影響を受けるすべての従来の password2 フィールドを表示できます。 詳細については、「Encryption and Key Management」を参照してください。
Enterprise Asset Management	- 資産の総コストに関するインサイトを取得し、その情報を資産一覧内での戦略的計画立案と実行に使用します。さらに、経費の内訳の完全な概要にアクセスします。 - アプリケーションを使用して、自分と自分のグループにアサインされた作業指示タスクを表示および管理します ServiceNow モバイルエージェント。 - の改善 Enterprise Asset ワークスペースされた資産フォームを使用して、親子関係を持つ資産のタスクの詳細と階層の可視性を高めます。 - 管理センターは、でのすべての構成および管理タスク Enterprise Asset ワークスペースの中央ハブとして使用します。 - マルチアセットオンボーディング Playbook を使用して、同じモデルの複数の資産を同時にオンボーディングします。単一の Playbook を使用してオンボーディングプロセスをガイドします。 詳細については、「Enterprise Asset Management」を参照してください。
Event Management	- チームレベルでコネクタの所有権とルールの実行を確保し、一貫性と階層を維持しながら、チームに柔軟性とカスタマイズオプションを提供します。 - 本番環境から非本番環境へのイベントのストリームを作成することで、テストサイクルを短縮します。これにより、本番環境を変更することなく、イベントルール、イベントフィールドマッピング、アラート管理ルール、アラート相関などを直接テストおよび評価できます。 詳細については、「Event Management」を参照してください。

アプリケーションまたは機能	詳細
Field Service Management	• 正確なフィールドサービス運用のために、構造化されたリニア資産の作業指示書の場所を特定して特定します。 • 在庫管理を簡素化し、類似の作業指示書の説明、モデル、および関連基準を表示することで、適切な部品にタイムリーにアクセスできるようにします。 • マーケットプレイスを探索して、フィールドサービス 請負業者の作業を合理化し、請負業者のタスク割り当てに関する時間とコストに基づいて意思決定を行います。 • スケジューリング条件の変化に応じて、ディスパッチャーが終日オンデマンドで実行 Schedule Optimization できるようにします。 詳細については、「」を参照してください。
Financial Services Card Operations	• プロセス全体とその中の現在の位置の完全なビューをエージェントに提供する水平 Playbook を実装します。エージェントは、Playbook を利用して、ケースの作業中に全体的な進捗状況を監視できます。 • ケースの詳細やトランザクションのステータスなどの重要な情報をページの左側に記録して、常にアクセスしやすさを確認します。 • リストとフォーム形式を利用する Playbook アクティビティを実装することで、ユーザーエクスペリエンスを向上させます。 詳細については、「Financial Services Card Operations」を参照してください。
Financial Services Operations Core	• 更新されたデータモデルと親が変更されたテーブルを利用して、データの配置を強化します。 • 効率的な修正スクリプトを使用して、新しい製品モデルテーブルにデータをシームレスに転送して更新します。 詳細については、「Financial Services Operations Core」を参照してください。
Financial Services Operations の Visa との統合	• 統合レイヤーとサブフローを活用して、Visa スポークをシームレスに使用できます。 • 異議申し立てエージェントの作業負荷を最小限に抑え、全体的な効率を向上させます。 • カード異議申し立てプロセス全体を最初から最後まで効果的に管理します。 詳細については、「Financial Services Operations Integration with Visa」を参照してください。

アプリケーションまたは機能	詳細
フローデザイナー	- 生成 AI で複数ステップのフローを作成します。 - 内部ワークフロースタジオから開きますフローデザイナー。 - 作業中のフローを自動的に保存します。 - 条件が満たされたときに パフォーマンスアナリティクス フローを開始します。 - フローの編集集中に行った変更を元に戻します。 - フロー図作成ビューを使用して、注釈と Try フローロジックを追加します。 詳細については、「Flow Designer」を参照してください。
生成 AI コントローラー	トークンの最大制限を超える入力を使用して LLM に要求を行う場合は、再帰的要約を使用します。このように、生成 AI 機能を使用しているときにより良い結果を得るために必要な重要なコンテキストが要求に含まれます。 詳細を参照してください Generative AI Controller。
Hardware Asset Management 10.0.0	- 資産の総コストに関するインサイトを取得し、その情報を資産一覧内での戦略的計画立案と実行に使用します。 - の成功ハードウェア資産ワークスペースポータルビューを使用して、アプリケーションの成熟度ハードウェア資産管理を評価および評価します。 - から直接受け取ったハードウェア資産の保証の詳細に関する情報 Lenovoが得られます。 - の (TRM) アプリケーションポートフォリオ管理を使用してテクノロジー参照モデルハードウェア製品のオンボーディングを管理します。 - カスタムモデルカテゴリの (HAM) ライセンス方法を簡素化して、ハードウェア資産管理 機能とワークフローにアクセスできるようにハードウェア資産管理 します。 詳細については、「Hardware Asset Management」を参照してください。
健全性ログ分析	新しいServiceNowインフラストラクチャを使用して、スケーラブルで安定した方法でヘルスログアナリティクスログをストリーミングします。 詳細については、「Health Log Analytics」を参照してください。

アプリケーションまたは機能	詳細
Healthcare and Life Sciences Service Management Core	• 要求者が HCLS (医療および生命科学) ケースを作成するための拡張 EMR Help アプリケーション機能を利用できます。 • 医療および生命科学データモデル内の改善されたデータ配置を使用します。 • Now Assist の生成 AI 機能を使用して、自動化されたケースの要約を活用します。 詳細については、「Exploring Healthcare and Life Sciences Service Management Core」を参照してください。
Hermes Messaging Service	• ServiceNow インスタンスから Apache Kafka 環境にイベントを公開し、外部システムからの大量の Apache Kafka イベントを低レイテンシで使用します。 • 外部システムからのメッセージボリューム内のスパイクやバーストを効果的に処理して、インスタンスへのパフォーマンスへの影響を最小限に抑えます。 • Hermes 診断ツールを使用して、メッセージ配信の健全性とパフォーマンスを管理します。 詳細については、「Hermes Messaging Service」を参照してください。
ITOM クラウドアクセラレート	• ITOM Cloud Governance は、すべての ServiceNow Cloud Governance 評価アプリケーションに対応するように ITOM クラウドアクセラレートブランド変更されました。 • クラウドリソースにアクセスして管理し、クラウド製品をカタログに公開するための Cloud Services Catalog を体験ServiceNowしてください。 • 改善された新しい要求コンソールを確認して、リソースのライフサイクルと使用状況を制御します。
ITOM 健全性	Event Management の特長： • コネクタのルール所有権と実行がチームレベルで行われていることを確認します。このようにして、一貫性と階層を維持しながら、チームに柔軟性とカスタマイズオプションを提供できます。 • 本番環境から非本番環境へのイベントのストリームを作成することで、テストサイクルを短縮します。これにより、本番環境を変更することなく、イベントルール、イベントフィールドマッピング、アラート管理ルール、およびアラート相関を直接テストおよび評価できるようになります。 Agent Client Collector の特長：

アプリケーションまたは機能	詳細
	- 構成データファイルを使用して、インスタンスデータをエージェントに直接提供します。 - クラスター内の Kubernetes リソースを継続的に検出し、リソースの変更が で更新 構成管理データベース (CMDB)されていることを確認します。 Health Log Analytics の特長： - カタログを介した要求 ヘルスログアナリティクス の Now Support スケーリング。 - 新しいServiceNowインフラストラクチャを使用して、スケーラブルで安定した方法でヘルスログアナリティクスログをストリーミングします。
ITOM Optimization	- クラウドサービスカタログとともにITOM クラウドアクセラレート使用 はクラウドサービスカタログ、(CPG) のCloud Provisioning and Governance機能を簡素化して拡張します。 - からCloud Provisioning and GovernanceITOM クラウドアクセラレートへの移行時に交換可能なITOM 最適化ライセンスを移動します。 - プラグインを使用したクラウドサービスカタログクラウド管理ポータルからのアクセス従業員センター。従来のクラウドユーザーポータルをスキップして、直接アクセス 従業員センター することもできます。 詳細については、「ITOM Optimization」を参照してください。
ITOM 可視性	- 管理者ワークスペースを使用してディスカバリー、提案から予測インテリジェンスアプリケーションを検出して追加します。 - 水平検出およびトップダウン検出には、新規および拡張 ディスカバリーとサービスマッピングパターン を使用します。 - トップダウン検出のネットワークの場所と MID 親和性機能を使用して、アプリケーションサービスに必要なリソースをより適切に識別します。 - 依存関係ビューとサービス マップの両方の機能を組み合わせた一元化されたマップを表示します。 - 新しい Content Service フレームワークを使用して、パターンを使用して検出されないアプリケーションやデバイスを検出します。 詳細については、「IT Operations Management」を参照してください。
ITSM Mobile Agent	オンコールメンバーが電話が応答モードの場合でも重要なアラートのプッシュ通知を受信できるように、上書き応答拒否機能を有効にします。この機能は、シフトマネージャーがオンコールメンバーに連絡し、重大なインシデントに対応できることを確認するのに役立ちます。 詳細については、「ITSM Mobile Agent」を参照してください。

アプリケーションまたは機能	詳細
ITSM Success Dashboard	• 運用の成功ダッシュボードを使用して、組織の日常業務の効率と有効性を測定します。 • Now Assist専用の KPI を使用して、組織のプロセス内のパフォーマンス IT Service Managementを追跡します。 詳細については、「ITSM Success Dashboard indicators」を参照してください。
ID と認証	• ServiceNow Access Analyzer V2 ツールを使用して、ユーザーのアクセスを比較し、適切なレベルのアクセス制御がユーザーに提供されているかどうかを判断します。 • ID およびアクセス監査を使用して、ユーザー、グループ、ロール、およびアクセス制御リスト (ACL) に加えられた変更を把握します。 • 適応認証ポリシーフレームワークにセッション検証コンテキストを構成して、認証要求を評価し、セッションまたは Cookie ハイジャックに対する追加の保護レイヤーを提供します。 • 受信 REST API の API キーと HMAC トークンをサポートして、受信 Webhook URL を安全に認証します。 • OIDC ベースのシングルサインオンおよび OAuth ベースのアウトバウンド統合で、秘密鍵 JWT を使用した OAuth 2.0 クライアント認証をサポートします。 • プラットフォームへの ServiceNow インバウンド統合の OAuth クライアント資格情報権限許可タイプをサポートします。 • モバイルのゼロトラストアクセスポリシーで IP、場所、ID 属性などのフィルター基準を使用して、セッションに関連するリスクに基づいて特定のセッションのロールまたは権限を減らすようにセッションアクセスポリシーを構成します。 詳細については、「ID と 認証」を参照してください。
Incident Management	sn_incident_task_assigned_userロールを使用して、エージェントの読み取りおよび書き込みアクセスを管理します。 詳細については、「Incident Management」を参照してください。
Industrial Process Manager	• 機器モデルエンティティレコードが作成された後、1 つ以上の機器モデルエンティティの親を変更します。 • 新しいゾーンベースの IP ネットワークグループ間の自動マッピング (AMAZING) ロールを使用して、OT サブネットマッピングレコードにアクセスできるユーザーおよび編集できるユーザーを制御します。 • 新しいユーザー基準セキュリティモデルを使用して、サイトおよび機器モデルエンティティの表示とアクセスをコントロールおよび編集します。

アプリケーションまたは機能	詳細
	詳細については、「Industrial Process Manager」を参照してください。
Instance Data Replication	- プロデューサーインスタンスから、さまざまな部署や事業部門にまたがる 1 つ以上のコンシューマーインスタンスにデータを複製することで、データの同期を維持します。 - 社内のさまざまな組織間で一貫したデータを維持します。 - プロデューサーインスタンスとコンシューマーインスタンスで sys_id が異なるレコードを簡単に更新します。 詳細については、「Instance Data Replication」を参照してください。
統合ハブ	- Stream Connect メッセージのレプリケーションを使用してローカル Apache Kafka 環境からデータをレプリケートすることで、Stream Connect の統合を簡素化します。 - 改善された OpenAPI ステップを使用して、サードパーティの REST Web サービスと統合します。 - オンプレミス認証サーバーで OAuth クライアント資格情報権限許可タイプを認証し、認証が成功した後、対応するリソースサーバーと統合します。 - ECC キューに移動する前に、署名するコールスタック内のレコードの多層呼び出し元検査で強化されたコード署名機能を使用します。 詳細については、「Integration Hub」を参照してください。
CSM のインテリジェンス	- ドキュメント分類子機能を使用して受信ドキュメントを分類することで、効率と自動化を向上させます。 - モデルトレーニング中に予測パフォーマンスを表示して、予測方法としての自動入力または推奨事項のいずれかの設定を決定します。 - 内部ユーザー向けに意思決定 サービスポータル ツリーを表示します。 - 現在の意思決定ツリーでアクティブ化された子ツリーを再利用することで、意思決定ツリーの再作成の労力を削減します。 詳細については、「Intelligence」を参照してください。
Journey Designer	サポートされているタスクタイプの一括更新が Journey Designer に追加されました。類似のタスクタイプを持つ類似のジャーニータイプが識別され、単一のアクションで更新できます。 詳細については、「Journey designer」を参照してください。

アプリケーションまたは機能	詳細
Knowledge Management	• Next Experience のダークテーマは、エージェントモバイルアプリケーションで利用できます Now Mobile アプリ。 • ナレッジ管理 内の 構成可能ワークスペース コンポーネントは、アクセシビリティを向上させるためにリフローをサポートしています。 詳細については、「Knowledge Management」を参照してください。
Localization Framework	• 翻訳要求とフルフィルメントのための新しいハブスポークモデルを使用して、インスタンスをよりスムーズにローカライズします。 • 更新セットを使用してインスタンス間で翻訳を移動し、すべてのユーザーのローカライズエクスペリエンスを標準化します。 • ローカライズされたコンテンツをより詳細に制御するために、スコープ対象のアプリケーション内で翻訳を作成します。 詳細については、「Localization Framework」を参照してください。
MID Server	• Linux で OpenShift を使用してコンテナ化 MID サーバーします。 • モジュールアクセスポリシー (MAP) の新しい「却下」のデフォルトの動作を使用して、不正アクセスを防止します。 • dist-upgrade ラッパーレベルでデバッグログを有効にし、upgrade-wrapper-override.conf を使用して設定を変更して変更をテストします。 詳細については、「MID Server」を参照してください。
Manager Hub	チームの現在のスキルとターゲットスキルを理解します。チームメンバーのスキル、習熟度レベル、スキルギャップの概要を取得します。 詳細については、「Manager Hub」を参照してください。
メンタリング	• 組織内で有意義な関係を築き、知識の共有とコラボレーションの文化を育みます。 • メンティーまたはメンターとして簡単に登録し、専門分野、スキル、関心分野などの関連情報でプロフィールをパーソナライズできます。 • メンティーとメンターを目標、興味、専門知識に基づいてペアにする、提供されるインテリジェントなマッチングアルゴリズム メンタリングを活用します。 • 重要なレイヤーとして機能するマッチインサイトカードを使用して、メンターとメンティーの両方に情報を送信します。 • ディスカッション (会話) を活用してエンゲージメントを促進します メンタリング。

アプリケーションまたは機能	詳細
	詳細については、「 Mentoring 」を参照してください。
Mobile Platform	- モバイル解決メモ生成を使用して作業指示タスクのクローズメモを生成します。 - リアルタイムの条件に基づいて構成可能なポップアップを表示します。 - 強化されたデータビジュアライゼーションのユーザーエクスペリエンスのメリットを活用します。 - 通知設定に関係なく、重大として定義された通知をユーザーに送信します。 - モバイルアプリビルダー と統合 Mobile Publishing されるようになったため、管理者はカスタムブランド化されたアプリ要求を管理し、モバイルアプリを 1 つのツールで構成できます。 詳細については、「Mobile Platform」を参照してください。
Natural Language Query	- 英語検索のグローバル検索に統合 自然言語クエリー します。 - 失敗したクエリには、含まれている Now LLM 代替を使用します。 - ログで NLQ 、クエリ結果がどのように生成されたかを追跡します。 詳細については、「Natural Language Query」を参照してください。
Next Experience	- 新しい「言語と地域」ユーザー設定グループが、言語、日付と時刻の形式、およびタイムゾーンの設定に追加されました。 - 統一ナビゲーション領域のアクセシビリティが向上しました。 - ユーザーインターフェイスで一般的なアクションを実行するための新しいキーボードショートカット。 - 代理操作ユーザー UI の機能拡張。 詳細については、「Next Experience UI」を参照してください。
Next Experience コンポーネント	- 構築済みのシステムまたはカスタムコンポーネントを使用してリッチな UI エクスペリエンスを構築します。API リファレンス、使用ガイドンス、ServiceNow UI ビルダーセットアップに関するドキュメントを表示するにはNext Experience コンポーネント、開発者サイトの Next Experience コンポーネントに関するドキュメントを参照してください。 - JavaScript フレームワーク、不変データ、シンプルなアクションハンドラーなどの一般的な Web コンポーネントのパターンと原則を使用します。 - 複数のユーザーインターフェイスでコンポーネントを再利用して、エンドユーザーに統一感のあるエクスペリエンスを作成します。

アプリケーションまたは機能	詳細
	- 事前設定されたプロパティ値を使用して、コンポーネントのプロパティとイベントハンドラーを自動的に設定すると、コンポーネントをページに追加したときに機能できるようになります。プリセットは、コンポーネントのデータリソースとして機能するコントローラーに接続できます。詳細については、「Automatically configure components using presets」と「Bind data to UI Builder pages using controllers (advanced feature)」を参照。 - アクセシビリティのためのアップグレードされたコンポーネント。詳細については、これらのリリースノートの「アクセシビリティ情報」セクションを参照してください。
Next Experience 開発者ツール	追加の記録オプション、イベントテーブルでの表示、およびデータを表示するためのパースペクティブを使用して、ページのパフォーマンスをテストおよび分析する方法を拡張します。 詳細については、「Next Experience 開発者ツール」を参照してください。
Notifications	- RFC3463に従ってバウンスを生成することがわかっている ID に Eメールの送信を制限し、管理者がブロックされた ID を制御できるようにします。 - クライアント資格情報フローを使用して、送信メール用の SMTP (簡易メール転送プロトコル) メールアカウントを設定します。 - Eメールの送信を、RFC3463に従ってバウンスを生成することがわかっている ID に制限します。 詳細については、「Notifications」を参照してください。
Notify	通知を使用して、電話会議を開始したり、タスクレコードで SMS を送信したりできるユーザーを制御します。 詳細については、「Notify」を参照してください。
Now Assist	- 製品内のユーザーロール別にスキルを制限 Now Assist して、生成 AI 機能にアクセスできるユーザーを整理します。 - スキルが利用可能になるタイミング Now Assist を制御するフィールドに基づく条件を追加します。 - データスチュワードロールをユーザーに割り当てて、インスタンスでデータ共有と生成 AI に関する意思決定を行えるユーザーを決定します。 - インスタンスで生成 AI を実装する方法については、Now Assist ジャーニーチェックリストを参照してください。 詳細については、「Now Assist」を参照してください。

アプリケーションまたは機能	詳細
Customer Service Management (CSM) 向け Now Assist	• ケースレコードのフィールドに条件を追加して、ケースのスキルと解決メモの要約がいつ利用可能になるかを決定します。 • ユーザーロールによって、ケースの要約および解決メモ生成スキルの可用性を制限します。 • ケースと解決メモのサマリーのアクティビティにロールを指定して、幻覚を減らし、サマリーの品質を向上させます。 「」を参照してください。 CSM の Now Assist 詳細。
Now Assist for HR Service Delivery (HRSD)	が提供する生成 AI のスキルと機能を使用して HRSD の Now Assist、エージェントがより高いレベルのサービスを顧客に提供できるようにします。 詳細については、「Now Assist for HR Service Delivery (HRSD)」を参照してください。
On-Call Scheduling	• 委任レコードを別のユーザーにアサインして、エスカレーションポリシーで構成されているオンコールエスカレーション通知を委任します。 • グローバル ユーザーを収容するグループの希望する週の最初の曜日を選択します。 • SSO 認証を使用してカレンダーをダウンロードまたは登録することで、今後のオンコールローテーションに関する通知を受信します。 詳細については、「On-Call Scheduling」を参照してください。
Operational Resilience	• 運用の継続性の観点から、エンドツーエンドのビジネスサービスの対障害弾力性を追跡します。 • オペレーショナルリスクとコンプライアンスの観点からエンドツーエンドのビジネスサービスの対障害弾力性を追跡します。 • ペルソナに従ってアプリケーションのホームページに Operational Resilience レポートを表示します。 • のソースとデータの関係 構成管理データベース (CMDB)に基づいて、ビジネスサービスの依存関係マッピングを自動入力します。 • ビジネスインパクトアセスメント (BIA) のソースとデータの関係に基づいて、ビジネスサービスの依存関係マッピングを自動入力します。 詳細については、「Operational Resilience」を参照してください。

アプリケーションまたは機能	詳細
Operational Technology Incident Management v2	• アサインルールを作成して、OT インシデントレコードを適切なユーザーまたはユーザーグループに自動的にアサインします。 • インシデント番号と簡単な説明を含む件名フィールドが自動入力された OT インシデントレコードからメールを直接送信することで、時間を節約できます。 • 複数の OT デバイスと機器モデルエンティティを OT インシデントに追加して、より論理的な方法で作業をグループ化できるようにします。 詳細については、「Operational Technology Incident Management」を参照してください。
オペレーショナルテクノロジー向けナレッジ管理	• ナレッジマネージャーとナレッジユーザー用の OT ナレッジベースを構成して、ナレッジ記事を追跡します。 • アプリケーションと併用 オペレーショナルテクノロジーインシデント管理 すると、OT インシデントに関連するすべてのナレッジベース記事を参照できます。 • 知識と解決策を記録します。OT インシデントレコードを介して 業種別 ワークスペース、または OT インシデントレコードからナレッジ記事を作成できます。 • 考えられるナレッジギャップを監視します。OT インシデントレコードからナレッジギャップを報告し、関連するフィードバックタスクをユーザーに割り当てることができます。 詳細については、「Operational Technology Knowledge Management」を参照してください。
Operational Technology Manager	• で 業種別 ワークスペース利用可能な新しい OT デバイスのランディングページタブを使用して、一元的な場所で OT デバイスデータを監視します。 • IT を OT に再アサインするための一括更新ルールセット機能を使用して、スケジュール済みジョブで IT ハードウェアを OT デバイスに自動的に変換します。 • 構成管理データベース (CMDB) OT クラスモデルの更新と UI の拡張機能を使用します。 • OT ワークシートエントリレビュー (POWER) ツールの更新と UI の拡張を事前インポートします。 詳細については、「Operational Technology Manager」を参照してください。

アプリケーションまたは機能	詳細
Operational Technology Vulnerability Response	• で利用可能な業種別 ワークスペース新しい OT 脆弱性ランディングページのタブを使用して、一元的な場所で脆弱性データを監視します。 • の新しい 業種別 ワークスペース(PA) ダッシュボードを使用し、Operational Technology Vulnerability Response、OT 脆弱性一致アイテム (VI) のボリューム、パフォーマンス、および初期分析と検出から封じ込めまたは修復までの進捗状況を追跡します。 詳細については、「Operational Technology Vulnerability Response」を参照してください。
Order Management	• 注文タイムラインビューを使用して、ドメイン注文と注文タスクのステータスを一元的に追跡します。 • 受注処理を開始する前に注文をキャプチャして追加の注文情報で拡張することで、注文のフォールアウトを回避し、該当する注文と発注書明細の拡張タスクを作成するワークフローをトリガーします。 詳細については、「Order Management」を参照してください。
Password Reset	• 有効期限に準拠したソフト PIN のセキュリティの向上をユーザーに体験してもらいましょう。パスワードリセット管理者は、確実に安全なソフト PIN 登録のためにソフト PIN の有効期限設定を構成します。 • プロセスのセキュリティスコア パスワードリセット を表示します。スコアに基づいて、プロセスの構成が改善される可能性があるという通知を受け取ります。 • <code>password_reset.request.max_email</code>このプロパティを使用して、ユーザーが 24 時間以内にメールで「パスワードのリセット」リンクを受信できる最大回数を設定します。 詳細については、「Password Reset」を参照してください。
Performance Analytics	• 重要なプロセスの測定基準と傾向を追跡します。 • 組織のターゲットに対してプロセスの健全性と動作を測定します。 • プロセスパターンと潜在的なボトルネックを発生前に特定します。 詳細については、「Performance Analytics」を参照してください。
プラットフォーム分析 エクスペリエンス	• エクスペリエンスをアクティブ化 プラットフォームアナリティクス することで、分析の使用を最新化して簡素化します。 • 分析データから意味のあるインサイトを明らかにして、視聴者が直接意思決定できるようにします。 • 時系列に日付範囲を設定し、チャートで値が選択されたときの動作をカスタマイズする機能により、ビューアーの対話性が向上します。

アプリケーションまたは機能	詳細
	詳細については、「Platform Analytics experience」を参照してください。
Playbook	• プロセスは、ビルダーと プレイブックエクスペリエンスの両方で呼び出されプレイブックのようになります。 • でビルダーを開くプレイブック ワークフロースタジオ . ワークフロースタジオ を使用して、ワークフロー所有者は Playbook、フロー、サブフロー、アクション、および意思決定テーブルを 1 つの場所で作成、構成、および監視できます。 • Playbook 全体を再起動する か、特定のアクティビティまたはステージから再開します。 • 動的入力 を使用して、アクティビティの変数を返します。 • 資格付与されたテーブルから Playbook をトリガーします。詳細については、「このリリースからの削除」セクションを参照してください。 • 自動化のみ のアクティビティを追加するときは、アクティビティ定義の作成をスキップします。 詳細については、「Exploring Playbooks」を参照してください。
Policy and Compliance Management	• と Google ドライブ統合してポリシーを改訂し、ポリシーテキストを定期的に更新します。ポリシー作成とレッドライン機能を使用して、ポリシーオーナーとレビュー担当者がポリシーを共同作業、レビュー、およびレッドラインできるようにします。 • ポリシーレコードで動的承認構成を設定します。ポリシータイプ、ソーステーブル、ステータス、フィルター条件などのさまざまな動的条件に基づいて、承認レベルとルールを定義します。 詳細については、「Policy and Compliance Management」を参照してください。
ポートフォリオ計画立案	• 新しいカスタマイズ可能なウィジェットを使用して、予算、EAC、差異、および経費タイプ別の計画コストと実績コストのブレイクダウンなどの財務情報を表示します。 • 財務情報を Excel または CSV 形式でビジネスステークホルダーと共有するためのエクスポートオプション。 • 経費明細を作成して、予定コストに関連しない作業要件を満たす予定外の経費を記録および管理します。 • 優先順位付け Microsoft のリストビューからポートフォリオ計画アイテムのデータを Excel または CSV ファイルにエクスポートして、データを共有し、ビジネスステークホルダーと共同作業を行います。 詳細については、「Portfolio Planning」を参照してください。

アプリケーションまたは機能	詳細
Predictive Intelligence	・クラスタリングおよび類似性ソリューションに事前トレーニング済みのモデルを使用して、独自のワードコーパスを必要とせずにソリューションの作成をより効率的にします。 ・既存の回帰ソリューションを編集してトレーニングすることはできませんが、最初から Washington DC 新しい回帰ソリューションを作成することはできません。 「」を参照してください。 予測インテリジェンス 詳細。
Privacy Management	・プライバシーケース管理このアプリケーションを使用して、プライバシー侵害や苦情を報告および管理します。 ・プライバシーケース管理統合を利用してRadarFirstプライバシーインシデントリスクアセスメントを自動化し、明確で実行可能な通知義務を迅速に取得します。 ・プライバシーロールを持つユーザーが処理アクティビティやコントロールなどのフォームを操作する場合は、自動的にプライバシーに設定される [機能ドメイン] フィールドを参照してください。 詳細については、「Exploring Privacy Management」を参照してください。
Proactive Service Experience Workflows	電気通信トラブルチケット通知機能を使用して作成されたトラブルチケットインシデントまたはケースのステータスについて顧客に通知します。 詳細については、「Proactive Service Experience Workflows」を参照してください。
プロセスマイニング	・プロジェクトビルダ導入 ・新しい自動検出検出器が導入されました ・[サマリーとインサイト] ページの機能拡張 ・Process Mining グラフの機能拡張 ・マイニングサマリーの導入 詳細については、「Process Mining」を参照してください。
製品カタログ管理と価格管理	・価格設定が関連付けられている販売可能なエンティティである製品オフリングを含むコマーシャルカタログを作成します。 ・エージェントに、販売見積もりと製品注文の構成と価格設定を簡素化するインターフェイスを提供します。

アプリケーションまたは機能	詳細
	• アカ운ベースの価格設定をサポートします。これにより、選択した顧客アカウントの価格リストを作成できます。 • 価格マトリクスを使用して、製品および製品以外の属性ベースの価格設定を含む、複雑な製品オフリングの価格設定を管理します。 詳細については、「Product Catalog Management」と「Pricing Management」を参照してください。
Project Portfolio Management	• リソース計画をプロジェクトとデマンドのリソースアサインに移行し、を使用して ServiceNow プロジェクトワークスペースリソース割り当てを処理します。 • コスト計画をプロジェクトとデマンドの属性ベースの人件費に移行します。 • アジャイルエピックの人件費を生成します。 詳細については、「Explore Project Portfolio Management」を参照してください。
プロジェクトワークスペース	• 割り当てられた予算、EAC、差異、計画コストと実績のブレイクダウンなどの財務の詳細を表示するカスタマイズ可能なウィジェット。 • 財務コストまたはベースラインの比較情報を Excel または CSV ファイルとしてエクスポートして、財務情報をビジネスステークホルダーと共有します。 • 予測された計画コストに関連しない予定外の経費に対応するための経費ラインを作成します。 • スコープ解除されたコスト計画を削除して、財務を効率的に管理します。 • 購買要求経費をプロジェクトにリンクし、財務と調達運用の間の統合ソリューションを使用して財務をキャプチャします。 詳細については、「Strategic Planning」を参照してください。
Public Sector Digital Services	• サードパーティのソフトウェアを使用せずに、Playbook 内の 1 つのモジュールから発行されたライセンスまたは許可ドキュメントのコピーを作成します。 • 構成員が、Government Service Portal の ライセンスと許可プレイブックアプリケーション プロキシと。 • 要求に連絡先を追加して、複数の関係者をライセンスと許可のアプリケーションに関連付けます。 • 手数料概要カードを使用して、ライセンスまたは許可要求に関連付けられているすべての手数料明細の累計を表示します。 • 申請者が検査に合格するために必要な変更を行えるように、Playbook から直接追加の検査を要求します。

アプリケーションまたは機能	詳細
	詳細については、「Public Sector Digital Services」を参照してください。
見積管理	- 関連する価格設定を含む製品カタログから製品オフリングを選択して構成することにより、販売見積もりを作成します。 - 見積もりの複数のリビジョンを作成して、顧客からの変更を追跡します。 - 見積もり内の価格を調整して、販売を促進します。 - 見積もりを受注に簡単に変換できます。 詳細については、「Quote Management」と「Sales and Order Management」を参照してください。
Regulatory Change Management	- で ワークスペース規制アラートを手動で作成します。 - Excel ベースのインポートテンプレートを使用して、アラートをアプリケーションに一括 規制変更管理 でインポートします。 詳細については、「Regulatory Change Management」を参照してください。
リソース管理ワークスペース	- リソースカードを作成してリソースボードを構築し、すべてのリソース作業と未割り当てタスクを表示します。 - カスタムクエリを作成し、フィルターを使用して未アサインの作業をフィルタリングします。 - ビューを離れずにリソースのアサイン作業 リソース管理ワークスペース を行います。 - 統合を使用してタスク所有者とコラボレーションします Microsoft Teams。 - 警告アイコンを使用して、過剰に使用されているリソースを特定します。 詳細については、「Resource Management Workspace」を参照してください。
Robotic Process Automation (RPA) Hub	- 埋め込みタスク自動化機能を使用して、フォーム、Playbook、ワークスペースなどから ServiceNow 有人ボットプロセス (有人自動化とも呼ばれます) をトリガーします。 - の RPA Hub外部資格情報ボルト機能を有効にして、ユーザー名やパスワードなどの機密情報をさまざまな外部ボルトから安全に取得します。 - フラットファイルを使用して、プロセス実行のログを読み取り可能な形式で格納します。 - ボットプロセスアクションのライフサイクルステータスの変更、プロセスアクションの停止、プロセスサブフローの停止などの新

アプリケーションまたは機能	詳細
	しいアクションとサブフローが使用可能フローデザイナーになり、フロー、サブフロー、および API を介した RPA 統合がさらに洗練されます。 • 拡張 Universal App Connector 詳細については、「Robotic Process Automation (RPA) Hub」を参照してください。
セキュリティセンター	• 新しい重要な更新プログラム ツールを使用して、システムの推奨される更新プログラムを実装します。 • 新しいハードニング設定ベースライン v2.0 を実装する拡張セキュリティ強化ツールを使用します。 詳細については、「New hardening settings for baseline version 2.0 Updated hardening settings」、および「Customer Actions Deleted hardening settings」を参照してください。
Security Incident Response	• 顧客の問題を解決するために、チームメンバー、顧客、およびその他の利害関係者を含む電話会議を行います。 • セキュリティインシデントの使用状況と定義の測定基準を使用して MTTR (平均修理時間) 情報をキャプチャします。 • スキャン要求を監視し、からセキュリティインシデントをリスクイベントとして Risk Management チーム セキュリティインシデントレスポンスワークスペースに報告します。 • からセキュリティインシデントのカスタマーサービスケースを直接 セキュリティインシデントレスポンスワークスペース作成します。これは、Customer Service Management (CSM) チームによって追跡されます。 • VirusTotal 統合には、脅威のルックアップのハッシュとして URL を送信するオプションが提供され、統合時のユーザーのプライバシーが保護されます。
Security Posture Control	• アプリケーションに含まれるポリシーを使用するか、独自のポリシーを作成して、セキュリティツールの範囲、セキュリティツールの内部構成標準への準拠、脆弱性を含む重要な組み合わせ、およびインターネットエクスポージャーの可能性について資産を監査および監視します。 • ダッシュボードでカスタムインサイトを作成し、資産のセキュリティ体制の重要な測定基準を監視します。 • リスク算出と修復ターゲットルールのセキュリティ体制コントロール脆弱性対応 からのインサイトを通じて、優先度の高い脆弱性を特定し、解決を促進します。 • セキュリティ体制コントロールポリシー コンフィグレーションコンプライアンスの検出結果を に公開することで、セキュリティギャップの修正ワークフローを自動化します。

アプリケーションまたは機能	詳細
	詳細については、「セキュリティ体制制御」を参照してください。
CSM のセルフサービスとオムニチャネルエンゲージメント	• ケースビューの改善されたアクティビティストリーム UI を使用して、ケース関連のアクティビティをより効果的に監視します。 • (PAD) プロセスが関連付けられているケースレコード プレイブック のガイド付き取り込みを実装します。 • Playbook のステップをナビゲートして、取り込みプロセスを完了します。さらに、顧客はケースライフサイクルのエンドエンド視覚化を使用してケースを表示できます。 • ルーティングエンジンとして (AWA) を使用して高度なワークアサインメント、インスタンスからの音声通話 Amazon Connect のデータ連携を簡素化します ServiceNow 。 • と 仮想エージェント統合することで、より多くのサポートを提供します。 詳細については、「」、「」、「Self-service for Customer Service Management」およびPlaybooks for Portalsを参照してください Omnichannels for communicating with customers。
Service Bridge	• 一元化されたエラーレポートテーブルにより、エラー処理と追跡が改善されます。 • 自動的に解決できない追跡対象の問題のメール通知を受信します。 • リモートレコードプロデューサーで変数セットと複数行の変数セットを使用します。 詳細については、「Service Exchange」を参照してください。
Service Builder	• Next Experienceテーマを追加しました。 • 承認ワークフローを使用するときに、サービスとサービスオフリングの作成をキャンセルする機能が追加されました。 詳細については、「Service Builder」を参照してください。
Service Catalog	• カタログアイテム要求者がカタログアイテムフォームの下書きを保存して、後で下書きを編集できるようにします。 • およびカタログビルダーで Now Platform スクリプトを作成する必要なく、カタログアイテムの質問に値を設定します。 • およびカタログビルダーで Now Platform スクリプトを作成する必要なく、カタログアイテムの質問にフィールドメッセージを設定します。 • カタログ会話の 仮想エージェント 単一チェックボックスのサポートを体験してください。 詳細については、「Service Catalog」を参照してください。

アプリケーションまたは機能	詳細
Service Graph Connector Integration for Claroty CTD	• オプションの ガイド付きセットアップ タスクで問題を直接トラブルシューティングします。 • クラス、タイプ、または Purdue レベルでデータをフィルタリングして、Claroty CTD から特定のレコードをインポートします。 詳細については、「Service Graph Connector Integration for Claroty CTD」を参照してください。
IoT 用 Microsoft Defender 向けサービスグラフコネクタ (Azure)	• オプションの ガイド付きセットアップ タスクで問題を直接トラブルシューティングします。 • インポートプロセス中にフィルターを追加して、インポートするデバイスを制御します。 詳細については、「Service Graph Connector for Microsoft Defender for IoT (Azure)」を参照してください。
Service Graph Connector for Microsoft Defender for IoT (オンプレミス管理コンソール)	サービスグラフ(オンプレミス管理コンソール) のMicrosoft Defender for IoTコネクタの名前Washington DCが変更されました。 詳細については、「Service Graph Connector for Microsoft Defender for IoT (On-premises Management Console)」を参照してください。
Service Operations Workspace for IT Service Management	• SOW 管理者ユーザーロール (sn_sow_itsm_admin、sow_admin_user) を持つ管理者は、構成にアクセスしてServiceNow インシデント管理表示できますServiceNow アドミンセンター。の アドミンセンターロールの詳細については、「」を参照してください Admin Center in Service Operations Workspace for ITSM。 • エージェントが、を使用してサイロ ユニバーサル要求で作業するのではなく、部門間のインタラクションを通じてケースまたは要求を効果的に解決できるようにします。 • インシデントフォームでフィールドを選択すると、ドロップダウンリストに複数のフィールドの推奨事項が表示されます。 • ナビゲーションメニューのスケジュールアイコンからスケジュールにアクセスして、オンコールスケジュールを表示および管理します。 • ナビゲーションメニューのチームアイコンからチームにアクセスし、チームを表示および管理します。 詳細については、「Service Operations Workspace for ITSM」を参照してください。
Service Portal	• テーブル入力パラメーターを受け入れる公開ウィジェットを保護します。 • 重要な通知を閉じるまで表示します。

アプリケーションまたは機能	詳細
	- すべてのプラットフォームインターフェイスに対して 1 回、User Experience Analytics の追跡をオプトインまたはオプトアウトします。 - すべてのポータル通知を一度に消去します。 詳細については、「Service Portal」を参照してください。
サイドバー	既存の会話に参加する参加者を選択すると、サイドバー 顧客の問題の解決に役立つ可能性がある参加者のリストが表示されます。 詳細については、「Sidebar」を参照してください。
Skills Intelligence	- を使用して、スキルとロールのアーキテクチャデータを 1 か所 スキル インテリジェンスワークスペースから更新および管理します。 - カスタムスキルのオンボーディングフローを使用して、組織内のスキルをインスタンスにインポートしてレビューします ServiceNow。 - 関連するロールグループを使用して、横方向のキャリアアップをサポートします。 - スキルマトリクスを使用して、ロールグループ内の特定のロールレベルに関連するスキル (習熟度を含む) をすばやく表示、編集、または削除します。 - HCM および ATS データに基づくスキル推奨事項を使用して、ロールアーキテクチャ内でロールを構築および改善します。 詳細については、「Skills Intelligence」を参照してください。
Software Asset Management	- の Software Asset ワークスペースSuccess Portal ダッシュボードを使用して、プログラムの成熟度ソフトウェア資産管理を評価および評価します。 - ブラウザ経由でアクセスされ、(DEX) 製品内で設定されたすべてのSaaSアプリケーションを検出して管理しますServiceNow デジタル エンドユーザーエクスペリエンス。 - 実装を合理化することで、ライセンス使用状況ビューの煩雑さを軽減します ソフトウェア資産管理。 - 強化された自分のライセンスを使用する (BYOL) サポートを介してMicrosoft AzureGoogle Cloud Platform (GCP)、サーバーと SQL Server のMicrosoft Windowsライセンスコンプライアンスを判断して紹介します。 - ソフトウェアインストールの詳細な分析を取得し、ライセンスなしステータスの背後にある要因を明らかにし、アクションに必要な手順の概要を説明します。 詳細については、「Software Asset Management」を参照してください。

アプリケーションまたは機能	詳細
ソーシングおよび調達オペレーション	- 従業員が仕事に必要なアイテムの注文に使用できる、商品とサービスのカタログを管理します。 - 従業員が商品やサービスを調達する際に支援を要求する方法を効率化および簡素化します。 - 定期的な更新により、透明性の高い調達プロセスを提供します。 - 調達から要求、受注処理、受領、支払いに至るまで、エンドツーエンドの調達プロセスを自動化します。 - 調達スペシャリストが、組織の商品やサービスのソーシング、交渉、調達、調達を実行し、調達タスクを処理できるようにします。 詳細については、「Sourcing and Procurement Operations」を参照してください。
戦略的計画	- 作業の進捗状況をリアルタイムで可視化し、コミュニケーションを合理化し、チーム間の効率的な調整を行うことで、組織のアジャイル計画を拡張します。 - ウィジェットをカスタマイズして、予算、EAC、差異、経費タイプ別の計画コストと実際のコストのブレイクダウンなどの財務情報を表示します。 - 経費明細を作成して、予定外の経費を記録および管理し、計画コストに関連しない作業要件を満たします。 - ビジネス機能レンズを使用して、戦略に合わせてビジネス機能またはビジネスアプリケーションに基づいて作業を計画、優先順位付け、およびロードマップします。 [スコアリング] ページと [優先順位付け] タブのリストビューからポートフォリオ計画アイテムのデータ、および財務情報を Microsoft Excel または CSV ファイルにエクスポートして、データを共有し、ビジネスステークホルダーと共同作業を行います。 詳細については、「Strategic Planning」を参照してください。
サブスクリプション管理	- 製品サブスクリプションの可視性とコントロールを実現します。 - エンタイトルメントデータのリアルタイムビューにアクセスできます。 - サブスクリプションの使用率を最大化し、サブスクリプションのモニタリングにより十分な情報に基づいて将来の購入について決定を下すことができます。 - サブスクリプションの使用率と割り当てを経時的にトラッキングすることで、予想しないコストを回避します。 詳細については、「Subscription Management」を参照してください。

アプリケーションまたは機能	詳細
サプライヤーライフサイクルオペレーション	• サプライヤーライフサイクルオペレーションの代わりに Source-to-Pay ワークスペース サプライヤー管理ワークスペース。 • サプライヤーケースを完了するためのアクティビティの承認を必要とせずに、ケース Playbook を完了し、サプライヤープライマリデータを確認します。 • (TPRM) との統合 サードパーティリスク管理 を提供する拡張サプライヤーオンボーディングプレイブックを使用してサプライヤーをオンボーディングし、新規サプライヤーをオンボーディングする際にリスクアセスメントを実施します。 詳細については、「Supplier Lifecycle Operations」を参照してください。
システムクローン	• 本番インスタンスを本番前インスタンスにコピーして、本番稼働前に変更をテストします。 • 設定された頻度でクローン作成が自動的に実行されるようにスケジューリングして、インスタンスの同期を維持します。 • 除外テーブルとデータプリザーバーを使用して、クローンに必要なテーブルとデータのみが含まれていることを確認します。 詳細については、「System clone」を参照してください。
テーブルビルダー	• 、任意のテーブルの Now Platform[関連リンク] セクション、および UI ビルダーからアクセスします Form Builder。 • App Engine Studio スプレッドシートからテーブルを作成するときに優先参照テーブルを表示します。 • スキーマビュー、スプレッドシートビュー、フロー、PDF エキストラクターなど、以前は Now のみ App Engine のテーブルビルダー使用可能だった機能を使用します。 詳細については、「Table Builder」を参照してください。
Telecommunications Network Inventory	• 占有機器とシェルフがあるラックの正面図と背面図を、ラックユニット使用率 KPI とともに視覚化します。 • [リビジョン] を使用して、接続を変更、運用化、および使用停止します。TNI デザイン割り当てを使用して、リビジョンの有無にかかわらずエンドポイントの追加または削除など、接続を変更します。 • 機器、接続、インターフェイスなどのネットワークポロジを視覚的に表示して、すべてがどのように編成され、接続されているかを理解します。 • キャパシティ管理機能を使用して、ネットワーク内の物理エンティティのキャパシティを計算します。[インベントリ管理] ビューを確認して、

アプリケーションまたは機能	詳細
	機器情報やネットワーク サイトのラック、ポート、スロットの可用性などのネットワーク インベントリの詳細を取得します。 構成アイテム (CI) を追跡および管理するために、ケーブル、ストランド、チャンネルを定義します。 詳細については、「Telecommunications Network Inventory」を参照してください。
Theme Builder	- 個々のコンポーネントを編集して、ブランドに適合させ、アクセシビリティのコンプライアンス基準を満たします。 - コンポーネント固有のテーマフックを操作して、ニーズに合わせたテーマを作成します。 詳細を参照してください Working with themes in Next Experience。
サードパーティリスク管理	- イベント駆動型管理機能を使用してアセスメントを自動化します。 - オンボーディングのための新しいデューデリジェンス要求には、終了したサードパーティを使用します。 - デューデリジェンス管理ダッシュボードで新しいレポートを表示します。 - ライセンス可能なすべてのアクティビティを追跡および検証します。 詳細については、「Third-party Risk Management」を参照してください。
UI ビルダー	- で利用可能ServiceNow Storeになったため、UI ビルダーより頻繁な更新を受信します。 - 改善されたデータバインディングと式オーサリングにより、コンポーネントを動的データに簡単にリンクできます。 - 新しいデータドロワーと改善されたブラウジングエクスペリエンスにより、データリソースをすばやく見つけることができます。 - コンテンツツリーまたはステージから、ページ上の UI ビルダー 列レイアウトと列をすばやく編集します。 - ステージのUI ビルダーフォームコンポーネント内から直接アクセスしますForm Builder。 詳細については、「UI Builder」を参照してください。
Upgrade Center	- 入手可能なさまざまなリリースバージョンをアップグレードプレビューモジュールで確認できます。 - インスタンスを実際にアップグレードすることなく、アップグレードの状況に関するインサイトを得ます。

アプリケーションまたは機能	詳細
	• アップグレードモニターモジュールで進行中のアップグレードのステータスを監視して最新のアップグレードの概要を表示できます。 • アップグレード履歴モジュールで過去のアップグレードをすべて表示できます。 • ブランのアップグレード機能を使用して、アップグレードを加速します。 詳細については、「Upgrade Center」を参照してください。
ユーザーエクスペリエンス分析	• ユーザーは、ダッシュボードで ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 作成されたじょうごグラフを表示できます • 統合： プラットフォームアナリティクス 詳細については、「Usage Insights old landing page」を参照してください。
仮想エージェント	• (NLU の代わりに自然言語理解 (NLU) ラージ言語モデル (LLM) を使用するトピックを作成してテスト仮想エージェントします。 • 追加の [プロンプト検出] タブと [変数の編集] タブを使用して、LLM 対応トピックをテストします。 • の会話Microsoft TeamsSlackで仮想エージェント実装します。Now Assist • LLM トピックの場合は、の入力コレクター入力コントロール 仮想エージェントデザイナー を使用して、生成 AI プロンプトを使用してデータを収集します。 • LLM トピックの場合は、の安全なテキスト入力コントロール 仮想エージェントデザイナー を使用して、ユーザーからの機密性の高いテキスト、メール、およびその他のタイプの入力を収集して暗号化します。 詳細については、「Virtual Agent」を参照してください。 注: アプリとのインタラクションを含むアプリ内アクティビティの集計を追跡することで、パフォーマンスとユーザーエクスペリエンスが向上します。この追跡は、個人情報ではなく、集計された技術情報に焦点を当てています。
Visa スポーク	• 拡張トランザクション情報を取得します。 • トランザクション検索を実行します。 • 異議申し立てケースの登録を開始します。 • ビザアンケートを送信します。 • 既存の紛争事件の事前仲裁および仲裁を開始します。 詳細については、「Visa Spoke」を参照してください。

アプリケーションまたは機能	詳細
Vulnerability Response	- 脆弱性危機管理ワークフローを通じて脆弱性危機イベントを処理します。 - サイバーセキュリティのリスクとイニシアチブのエグゼクティブレベルの監視を通じて、業界およびグローバルベンチマークを使用して脆弱性、構成ミス、セキュリティインシデントに関する主要なメトリックにアクセスし、新しいサイバーセキュリティエグゼクティブダッシュボードを介してターゲットを設定します。 - 新しい Vulnerability Manager Workspace ランディングページで、すべての脆弱性または事前にフィルタリングされたアクティブな脆弱性を可視化して、脆弱性の全体的なサマリーを取得します。 - 特定の脆弱性セットに対する例外要求のアンケートをカスタマイズします。 - XML/JSON ファイルをインポートして Common Security Advisory Framework (CSAF) 形式をインポートし、関連する脆弱性にソリューションをマッピングします。 詳細については、「Vulnerability Crisis Management」を参照してください。
Microsoft Defender for IoT の脆弱性対応 (オンプレミス管理コンソール)	脆弱性対応以前は Microsoft Defender for IoT Vulnerability Response Integration with Microsoft Defender for IoT (オンプレミス) と呼ばれていた for (On-Premises Management Console) アプリケーションは、に Washington DC 名前が変更されました。 詳細については、「Vulnerability Response for Microsoft Defender for IoT (On-premises Management Console)」を参照してください。
Vulnerability Response integrations	- CISA Known Exploited Vulnerabilities (KEV) カタログとの統合を使用して脆弱性対応、積極的に悪用されている脆弱性に関する重要な情報を取り込むことで、脆弱性に優先順位を付けて効率的に対処し、全体的な脆弱性管理戦略を強化します。この統合には、現在悪用されているソフトウェアの脆弱性に焦点を当てた FIRST.org からの EPSS データも組み込まれています。 - Cybersecurity & Infrastructure Security Agency (CISA) Known Exploited Vulnerabilities (KEV) カタログから脆弱性対応、ランサムウェアキャンペーンで使用されることがわかっている新しく導入されたフィールドを取り込みます。 詳細については、「Vulnerability Response integrations」を参照してください。
Walk-up Experience	- インスタンスオプションを使用して、タブの順序を再構成します。 15 分のタイムスロットの予約ができます。 - RTL をサポートするサービスポータルテキストのウォークアップエクスペリエンス 右から左への方向を設定します。

アプリケーションまたは機能	詳細
	詳細については、「 Walk-up Experience 」を参照してください。
ワークフロースタジオ	- からプロセス自動化ワークフロー ワークフロースタジオを作成します。 - 単一の統合されたインターフェイスからすべてのプロセス自動化ワークフローを表示します。 - プロセス自動化ワークフロー全体で作業の詳細を表示します。 詳細については、「Workflow Studio」を参照してください。
Workforce Optimization for Customer Service	- マネージャとスーパーバイザは、音声キューと主要業績評価指標(KPI)を監視できます。 - マネージャとエージェントは、カレンダーとイベントを Microsoft Outlookと同期できます。 - コンシューマーメッセージングチャネルのパフォーマンス測定基準を表示します。 詳細については、「Exploring Workforce Optimization for Customer Service」を参照してください。
Workforce Optimization for ITSM	と統合ServiceNow Universityすることで、ユーザーがスキルを獲得ServiceNowできるようにします。 詳細については、「Workforce Optimization for ITSM」を参照してください。
ワークスペース	- ドキュメントと添付ファイルのファイル サイズングを管理します。 - モジュールの暗号化を使用して、ロール別に添付ファイルへのアクセスを整理します。 - ナビゲーター内の統合されたアクション、折りたたまれたタイル付きのアクティビティストリームエントリ、更新されたナビゲーションメッセージにより、ワークスペースのナビゲーションを簡素化します。 - サポートされているフィールドタイプ、統一されたアクション、メールの自動保存機能により、ワークスペースでの作業中の汎用性を高めます。 詳細については、「Configurable Workspace UI」を参照してください。
Zing テキストインデックス作成および検索エンジン	複数行 サービスカタログ の変数セットのテキストをグローバル検索で検索可能にすることで、検索の再呼び出しを改善します。 詳細については、「Zing text indexing and search engine」を参照してください。

Washington DC のすべての機能と製品のアップグレード情報

Washington DC の機能と製品のアップグレード情報に関する累積的なリリースノートの概要。

Washington DC にアップグレードする前に、使用しているすべての製品のアップグレード情報を確認してください。一部の製品では、アップグレードする前に特定のタスクを完了する必要があります。

アプリケーションまたは機能	詳細
AI Search	に Washington DCアップグレードすると、AI 検索 新しい Genius 結果を使用するように既存の Genius 結果構成が自動的に更新されます AI 検索 Genius 結果構成フォーム データを指定しましたこの更新手順では、次の変更が行われます。 - 既存の Genius 結果回答タイプ フィールド値を削除します。 - 必要に応じて、Genius 結果のロジック フィールドの値を新しい AI 検索 要求 プロセッサーフィールドと AI 検索 応答プロセッサーフィールドに移行します。 インスタンスをにアップグレードした後も、AI 検索以前にシステムプロパティにWashington DC 検索クエリに複数の用語が含まれている場合に使用するブール検索演算子 (<code>glide.ais.query.search_operator</code>) 設定した値は保持されます。複数用語検索で新しい拡張クエリモードの利点を得るには、このシステムプロパティの値を <code>AND then OR 2+ key terms</code> に設定します。システム・プロパティの詳細については AI 検索、「」を参照してください AI Search system properties。 Washington DC以降、ユーザー [sys_user] テーブルではデフォルトで、インデックス付きレコードはsys_updated_on日付でソートされるのではなく、sys_created_on日付でソートされます。この変更では、のユーザーテーブルのインデックス付きソース AI 検索のインデックスを再作成する必要があります、時間がかかる場合があります。以前のファミリーリリースからアップグレード Washington DC する場合、AI 検索 ユーザーテーブルのインデックス付きソースは自動的にインデックス再作成されません。ユーザーレコードの最新の構成を検索できるようにする必要がある場合は、ユーザーテーブルのインデックス付きソース のインデックスを手動で再作成 できますが、これには時間がかかる場合があります。それ以外の場合は、すべてのレコードのインデックスが再作成されるまで、AI 検索 更新時に個々のユーザーテーブルレコードのインデックスが再作成されます。
Automated Test Framework	構成変更を行った後に、Now Platform[®] によって提供されたクイックスタートテストをコピーしてカスタマイズし、インスタンスが機能することを検証します。たとえば、アップグレードを適用するか、アプリケーションを開発する場合です。 カスタマイズを行っていないベースシステム上で、アプリケーションまたは機能プラグインが提供するデフォルトのデモデータを使用してテストを実行した場合にのみ、テストで合格の結果を生成できます。インスタンス固有のデータにクイックスタートテストを適用するには、クイックスタートテストをコピーしてカスタムデータを追加します。詳細については、「Available quick start tests by application or feature」を参照してください。

アプリケーションまたは機能	詳細
Business Continuity Management	リリースに Washington DC アップグレードする場合は、既存のビジネスインパクト分析、事業継続性計画、およびイベントに関する次の重要な情報に注意する必要があります。 • ビジネスインパクト分析の場合、アップグレード後に手動で追加された依存関係に対して、依存関係アセスメントの [ソース] 列の名前が [プライマリソース] に変更され、BCM ソースの名前が [手動] に変更されます。[依存関係を更新] アクション ボタンを選択すると、依存関係が追加されます CMDB。 • 事業継続性計画の場合、[ソース] 列の名前が [アップグレード後の プライマリソース] に変更されます。[依存関係を更新] アクション ボタンを選択すると、BIA 依存関係が追加されます CMDB。以前のリリースとの互換性を維持するために、管理者はソースを構成し、BCM BIA アップストリーム依存関係と BIA ダウンストリーム依存関係のみをソースとして更新構成に保持できます。 • イベントと演習では、[依存関係を更新] アクションボタンを選択すると、アップグレード後に BIA、および Business Continuity Planning (BCP) の依存関係が追加されます CMDB。以前のリリースとの互換性を維持するために、管理者はソースを構成し、BCM BIA アップストリーム依存関係と BIA ダウンストリーム依存関係のみをソースとして更新構成に保持できます。
Configuration Management Database (CMDB)	• この列 <i>product_instance_id</i> は、新しい製品インスタンス識別子 (PID) をサポートするためにベース構成アイテム [cmdb_ci] テーブルに追加されました。これにより、既存の関連資産、CI、およびインストールベースアイテム (IBI) のルックアップとリンクが可能になります。アップグレード中の変更の影響とその影響を最小限に抑える方法の詳細については、ワシントン リリースのスキーマ変更によるアップグレードの影響 [KB1534035] ナレッジ ベースの記事CMDB_CIを参照してください。 • リリースへの Washington DC アップグレード後に初めて CMDB 360 を有効にする場合、非 CMDB クラス (構成アイテム [cmdb_ci] クラスから派生していないクラス) からの CI の CMDB 360 データのキャプチャを有効にするには、<i>glide.identification_engine.multisource_non_cmdb_ci_enabled</i> システムプロパティを true に設定する必要があります。 • コア UI で従来の Data Certification アプリケーションを使用していた場合、CMDB Workspace でのデータ認定の新しい実装では、関連する定義を使用できません。リリースおよび Washington DC CMDB Workspace バージョン 6.0 にアップグレードした後、従来の Data Certification アプリケーションで作成された定義を CMDB Workspace でドラフトのデータマネージャー認定ポリシーに変換できます。詳細については、「」を参照してください。
Core Now Platform	以前は、トランザクションがキャンセルされた場合に特定の監査可能な操作が記録されませんでした。監査レコードが見つからないこの動作は、レコードの変更と監査の作成前にプラットフォームがレコードの変更の間に一部の操作を実行し、キャンセルされるためです。しかし、現在では、レコードが変更された直後に監査が作成されるため、監査が記録される前にキャンセルされたトランザクションによって操作が中止され

アプリケーションまたは機能	詳細
	る可能性が低くなります。この更新を容易にするために、監査はトランザクションと同じスレッドに記録されるようになりました。以前の監査はバックグラウンドスレッドで作成されていました。 この変更により、 <code>glide.db.audit.lazy</code> プロパティのデフォルト値が <code>true</code> から <code>false</code> に再定義されます。理想的には、このプロパティはプロパティテーブルで定義されていません。つまり、大部分のインスタンスで、リリースで Washington DC 新しいデフォルト値と動作の使用が開始されるということです。一部のインスタンスでは、このプロパティが値を <code>true</code> に設定した状態で挿入されている可能性があります。これは、これらのインスタンスがこの変更を使用して動作を監査できないことを意味します。この更新を利用するには、このプロパティを削除してください。
暗号化キー管理	インスタンス Washington DC をアップグレード MID サーバーしても、シークレット管理認証は失敗します。を MID サーバー Washington DC にアップグレードすることで、認証エラーを回避します。アップグレードできない場合は、認証エラーを回避するために、アップグレード Washington DC されるまで MID サーバー認証をオフにする必要があります。 MID Server のアップグレードの詳細については、「」を参照してください MID Server upgrades。
Enterprise Asset Management	に Washington DC アップグレードすると、エンタープライズ資産 <code>[sn_ent_asset]</code> テーブルで <code>model_component</code> フィールドを使用できなくなります。代わりに、資産 <code>[alm_asset]</code> テーブルで新しい <code>model_component_id</code> フィールドを使用できます。[ENT - 新しいモデルに移行] コンポーネントスクリプトは、既存の <code>model_component</code> フィールドデータを <code>model_component_id</code> フィールドに移動します。 資産の総所有コスト (TCO) について、次のアップグレードシナリオに注意してください。 • アップグレードはすべての エンタープライズ資産管理 フロータスクに対して機能します • ワークフロータスクごとにタスク料金表が必要です。 • TCO のアップグレードにより、各タスクに対応する経費ラインの [資産] および [経費カテゴリ] フィールドに 入力されます。 • 経費カテゴリは、経費ラインと経費ラインのソースに基づいて入力されます。 • 既存のすべてのモデルの [TCO ベンチマークコスト] と [TCO ベンチマークしきい値] フィールドに手動で入力するか、一括インポート機能を使用して入力する必要があります。 • TCO のアップグレードは、資産フォームの次のフィールドに入力します。

アプリケーションまたは機能	詳細
	- 資産の耐用年数終了:作成日に月単位の有効年限を加えたもの。 - 資産の最初の使用日:作成日。 - 資産 TCO:資産に関連するすべての経費ラインの集計合計。単純な資産の場合、資産 TCO はその下の経費ラインの合計です。複合資産の場合、資産 TCO は、親資産とその子資産の経費ラインの合計です。
Financial Services Operations Core	への Washington DCアップグレード中に、プラグインは次の ファイナンスサービスオペレーションコア テーブルを再ペアレンティングします。 i 注: アップグレードされたインスタンスに多数のレコードがある場合は、アップグレードが完了するまでに時間がかかることがあります。 - サービス定義 [sn_bom_service_definition] テーブルは、要求定義 [sn_ind_request_definition] ではなくサービス定義 [sn_case_type_selection] テーブルから拡張されています。 - 財務タスク [sn_bom_task] テーブルは、グローバルタスク [task] テーブルの代わりにカスタマーサービスタスク [sn_customerservice_task] テーブルから拡張されています。 - 保険加入者 [sn_bom_policy_participant] テーブルは、販売済み製品の関連当事者 [sn_install_base_sold_product_related_party] テーブルから拡張されています。 再ペアレント化により、既存のアプリケーションの機能を維持しながら、によって ServiceNow カスタマーサービス管理 (CSM) もたらされる利点と進歩を活用できます。
Hardware Asset Management 10.0.0	にアップグレード Washington DCした後は、資産の総所有コスト (TCO) について、次のアップグレードシナリオに注意してください。 - アップグレードは、すべての ハードウェア資産管理 フロータスクに対して機能します。 - ワークフロータスクごとにタスク料金表が必要です。 - TCO のアップグレードは、各タスクに対応する経費ラインの資産と経費のカテゴリフィールドに入力します。 - 経費カテゴリは、経費ラインと経費ラインのソースに基づいて入力されます。 - 既存のすべてのモデルの [TCO ベンチマークコスト] と [TCO ベンチマークしきい値] フィールドに手動で入力するか、一括インポート機能を使用して入力する必要があります。 - TCO のアップグレードでは、資産の次のフィールドに値が入力されます。

アプリケーションまたは機能	詳細
	- 資産の耐用年数終了:作成日と月単位の有効年限。 - 資産の最初の使用日:作成日と同じ。 - 資産 TCO:資産に関連するすべての経費ラインの集計。単純な資産の場合、資産 TCO はその下の経費ラインの合計です。複合資産の場合、資産 TCO は、親資産とその子資産の経費ラインの合計です。
Healthcare and Life Sciences Service Management Core	への Washington DCアップグレード中に、ヘルスケア販売済み製品 [sn_hcls_sold_product] 親テーブルが、次のテーブルのインストールベースアイテム [sn_install_base_item] に変更されます。 - メンバープラン [sn_hcls_member_plan] - 薬剤 [sn_hcls_medium] - 予防接種 [sn_hcls_immunization] - 登録済みプログラム [sn_hcls_enrolled_program] - 登録済みプログラムサービス [sn_hcls_enrolled_program] また、次のテーブルは親テーブルが削除されており、スタンドアロンテーブルになっています。 - 医療機関[sn_hcls_organization] - 医療機関[sn_hcls_location] - 開業医所在地[sn_hcls_practitioner_facility] この親の再指定により、顧客はより広範なユースケースに組織テーブルと場所テーブルを使用できるようになります。 既存のデータは、既存の機能が影響を受けないように、次の方法で移行されます。 - sn_hcls_immunizationの場所フィールドの参照がcmn_locationを使用するように更新されました。 - すべてのデータが、医療販売済み製品テーブルからインストールベースアイテムテーブルに移動されます。 - 影響を受けるインストールベースアイテムの行は、医療販売済み製品のsource_task値に基づいて入力されます。 - sn_hcls_enrolled_programとsn_hcls_enrolled_program_serviceのステータスがhcls_stateからコピーされます。 - すべてのデータは、医療機関、医療機関の場所、および開業医の場所のスタンドアロンテーブルに移動します。 - このスクリプトは、医療機関テーブルの既存のレコードの事業所テーブルにレコードを作成して、1 対 1 の参照を形成します。 - サービス組織を参照するレコードは、適切な事業所への参照で更新されます。 - 施術者の場所にレコードを持つ施術者は、適切な事業所とともに [サービス組織メンバー] テーブルにレコードが作成されます。 - 医療の場所データを含むレコードには、その医療の場所の親サービス組織が含まれます。

アプリケーションまたは機能	詳細
	注: アップグレードされたインスタンスに多数のレコードがある場合は、アップグレードが完了するまでに時間がかかることがあります。
Instance Data Replication	レプリケーションセットを V2 にアップグレードして Hermes メッセージングサービスを使用すると、インスタンスデータレプリケーション (IDR) (IDR) のパフォーマンスと処理効率を向上します。詳細については、「Upgrading legacy replication sets to V2 in Instance Data Replication」を参照してください。 アップグレード後に、レプリケーションペイロードエラー [idr_replication_payload_error] テーブルのログローテーションが自動的に有効になります。デフォルトでは、ログローテーションスケジュールは 7 つのシャードで構成され、シャードごとに 5 日間あります。アップグレード前に作成されたこのテーブルのログエントリはすべて自動的に切り捨てられます。
MID Server	最新の MID サーバー システム要件については、「MID Server のシステム要件」を参照してください。サポートされている JRE の最小バージョンは 11.0.9 で、推奨バージョンは 11.0.16.1 です。 独自の JRE をインストールした場合、アップグレード・プロセスは以下のアクションを実行して、サポートされている MID サーバー JRE が使用されるようにします。 • MID サーバーアップグレード時にサポートされていないバージョンの JRE を使用している場合、アップグレード・プロセスでは、JRE の最低バージョンと推奨バージョンを示す警告メッセージが表示されます。 • サポートされている JRE がホストで実行されている MID サーバー 場合、アップグレード MID サーバー はそのバージョンを使用します。 自動アップグレードを有効にするには、すべての MID サーバー ホストマシンが install.service-now.com のダウンロードサイトにアクセスする必要があります。詳細については、システムが管理する方法をお読みください MID サーバー 設定してください。 実行可能ファイルパスごとに許可されるサービスは 1 つだけ Windows MID サーバー です。同じインストール フォルダを指す複数のサービスがあるアップグレード Windows MID サーバー は開始できません。「」を参照してください。 MID サーバー 開始に失敗しました 詳細。 アップグレードの詳細については MID サーバー、次のトピックを参照してください。 • MID サーバー アップグレード前のチェック :実際にアップグレードを行う前に、システムでのアップグレード機能を MID サーバー AutoUpgradeモニターでテストする方法を説明しています。 • のアップグレード MID サーバー 手動 :手動でアップグレード MID サーバー する方法について説明します。
Order Management	この Washington DC リリースで導入された新機能は、の 注文管理以前のリリースではサポートされていません。

アプリケーションまたは機能	詳細
Performance Analytics	従来の PA スコア [pa_scores] テーブルは廃止されます。PA スコア テーブルにキャプチャされたインジケータースコアがまだある場合、そのようなスコアの数 が 4,300 万未満の場合、これらのスコアはアップグレード時にpa_scores_l1テーブルとpa_scores_l2テーブルに自動的に移行されます。アップグレードに追加される予定時間は約 2 時間です。詳細については、「 KB1294371 」または Migrating Performance Analytics scores 」を参照してください。
プラットフォーム分析 エクスペリエンス	プラットフォームアナリティクス エクスペリエンス機能は、以前はワークスペースに配置され プラットフォームアナリティクス ていました。機能はコア Now Platformの一部になりました、から Next Experience 統一ナビゲーションアクセスできます。で作成されたコア UIダッシュボード、レポート、およびパフォーマンスアナリティクスウィジェットをこの機能に移行できます。
Playbook	にWashington DCアップグレードした後、ServiceNow Store のアプリケーションを更新しますプレイブックワークフロースタジオ。
ポートフォリオ計画立案	v8.0.0 以降、() プロライセンス機能にはワークスペースでのみ戦略的計画アクセスできます戦略的ポートフォリオ管理 (SPM)SPM。Pro ライセンスを所有し SPM ていても、Workspace で SPMポートフォリオ計画 Pro ライセンスの機能 (目標、製品フィードバック、ハイブリッドポートフォリオ計画、追加レンズなど) を引き続き使用している場合は、そのような機能にアクセスするには をインストールする 戦略的計画 必要があります。ワークスペースでのみ 戦略的計画 アクセスできる機能の詳細については、「 Portfolio Planning と Strategic Planning の比較 」を参照してください。
Predictive Intelligence	に Washington DCアップグレードする場合、新しい回帰ソリューションを作成することはできません。既存のソリューションがある場合、それらは引き続きサポートされ、トレーニングと変更はできますが、新しいソリューションを作成することはできません。 類似性ソリューションおよびクラスタリングソリューションへの変更は、にある Washington DCすべてのインスタンスに適用されます。
Proactive Service Experience Workflows	トラブルチケット通知を受信したくないお客様は、インシデントテーブルとケーステーブルに関連するビジネスルールを無効にすることができます。トラブルチケット通知のビジネスルールを無効にする方法の詳細については、「」を参照してください Deactivate trouble ticket notification 。
Public Sector Digital Services	アップグレード後、CSM 構成可能ワークスペース 内の特定の公共部門メニューおよびメニューアイテムは、元の CSM ラベル名に戻ります。公共部門用のこれらのアイテムに再レベル付けするには、顧客およびサービス組織の UX リストカテゴリを更新します。再ラベル付けの詳細については、すべて > 構成員サービス > 管理 > Guided Setup をクリック

アプリケーションまたは機能	詳細
	クシ、 Public Sector Digital Services の構成可能ワークスペース > ワークスペースラベルを手動でカスタマイズします。 .
Robotic Process Automation (RPA) Hub	RPA アプリケーションをダウンロードして、次の Microsoft ソフトウェアインストーラー (MSI) のいずれかをアップグレードしてください。 • RPA デスクトップデザインスタジオ • アテンド型ロボット • 無人ロボット • 無人ロボット ログインエージェント 詳細については、「Download the RPA applications from RPA Hub (RPA ハブからの RPA アプリケーションのダウンロード)」を参照してください。 次のアップグレード手順は、San Diego または Tokyo から Washington DC にアップグレードする場合にのみ適用されます。 アプリケーションファイルテーブルのレコード数に基づいて、RPA Hub アプリケーションを Tokyo 以前から Washington DC にアップグレードする際に遅延が発生する可能性があります。 RPA Hub を Washington DC にアップグレードする前に、<code>glide.rollback.blacklist.TableParentChange.change</code> システムプロパティの値を [false] に設定する必要があります。このプロパティがシステムプロパティ [sys_properties] テーブルに存在しない場合は、プロパティを追加し、その値を false に設定します。プロパティの追加方法の詳細については、「」を参照してください Add a system property。 にアップグレード Washington DCすると、ボットプロセス定義が新しい構造 (ボットプロセス構成) に変更されます。 ボットプロセス構成がボットプロセスを完全に置き換えるわけではありませんが、ほとんどのフィールドはボットプロセスからボットプロセス構成に移動されます。システムプロパティ値を更新せずに Utah バージョンにアップグレードすると、テーブルは [アプリケーションファイル] テーブルを拡張しません。テーブルの変更を手動で更新するには、ナレッジベースの記事「Restructuring RPA Hub tables to sys_metadata in Utah (Utah で RPA Hub テーブルの再構築)」を参照してください Now Support。
Service Operations Workspace for IT Service Management	次のアプリケーションに互換性のあるアップグレードバージョンが存在することを確認します。 • サービスオペレーションワークスペース ITSM Applications アプリケーション (sn_sow_itsm_cont) • サービスオペレーションワークスペース ITOM Applications アプリケーション (sn_sow_itom_cont)

アプリケーションまたは機能	詳細																
	互換性のある SOW バージョン <table border="1"> <thead> <tr> <th>SOW-ITSM (sn_sow_itsm_cont)</th><th>SOW-ITOM (sn_sow_itom_cont)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.1.x</td><td>21.0.y</td></tr> <tr> <td>1.2.x</td><td>21.1.y</td></tr> <tr> <td>1.3.x</td><td>21.2.y、21.5.y、および 21.6.y</td></tr> <tr> <td>2.0.x</td><td>22.0.y</td></tr> <tr> <td>2.1.x</td><td>22.1.y および 22.y.y</td></tr> <tr> <td>3.1.x</td><td>23.y.y</td></tr> <tr> <td>4.0.x</td><td>24.y.y</td></tr> </tbody> </table> この表で、x はアプリケーションアプリケーション (sn_sow_itsm_cont) のサブバージョン、y はアプリケーションアプリケーション (sn_sow_itom_cont) のサービスオペレーションワークスペース ITSMサービスオペレーションワークスペース ITOMサブバージョンです。 3.0 のアップグレード後、この機能は 推奨フレームワーク 使用できなくなります。代わりに、機能の標準バージョン Recommended Actions for ITSM のみを使用できます。	SOW-ITSM (sn_sow_itsm_cont)	SOW-ITOM (sn_sow_itom_cont)	1.1.x	21.0.y	1.2.x	21.1.y	1.3.x	21.2.y、21.5.y、および 21.6.y	2.0.x	22.0.y	2.1.x	22.1.y および 22.y.y	3.1.x	23.y.y	4.0.x	24.y.y
SOW-ITSM (sn_sow_itsm_cont)	SOW-ITOM (sn_sow_itom_cont)																
1.1.x	21.0.y																
1.2.x	21.1.y																
1.3.x	21.2.y、21.5.y、および 21.6.y																
2.0.x	22.0.y																
2.1.x	22.1.y および 22.y.y																
3.1.x	23.y.y																
4.0.x	24.y.y																
Service Portal	アップグレード後に、テーブル入力パラメーターを受け入れる公開ウィジェットのデータにゲストユーザーがアクセスできるテーブルを指定する必要があります。リリースの Washington DC デフォルトでは、テーブル入力パラメーターを受け入れる公開ウィジェットは、ゲストユーザーのテーブルにアクセスしてデータを返すことはできません。アップグレード前に または <code>glide.service_portal.widget.allow_list</code> システムプロパティを追加 <code>glide.service_portal.widget.table_allow_list</code> した場合、これらのプロパティの値は、アップグレード後にウィジェットの公開テーブル許可リストに移行されます。詳細については、「Configure widget security」を参照してください。 ユーザーが以前に、プラットフォームの他の部分とは異なるポータルの User Experience Analytics のユーザーの同意設定を選択した場合、プラットフォーム用に選択された設定はリリースのポータル Washington DC にも使用されます。たとえば、ユーザーがポータルの追跡をオプトアウトし、リリースでは Vancouver プラットフォームの残りの部分の追跡をオプトインした場合、ポータルのユーザーエクスペリエンス分析はリリースで Washington DC 追跡されます。ユーザーは、ポータルのユーザープロフィールページからいつでも選択内容を更新できます。																
Software Asset Management	に Washington DC アップグレードした後は、インスタンスに関連する Adobe すべてのカスタマイズや Microsoft 365 インスタンスと ServiceNow の統合をやり直す必要があります。これらの統合の機能は																

アプリケーションまたは機能	詳細
	ストアSaaS ライセンス管理アプリケーションに移動するソフトウェア資産管理ためです。 - 影響を受けるファイルをカスタマイズした場合、アップグレードプロセスはファイルをスキップし、競合を示します。競合を手動で解決し、古い既存のファイルが削除されていることを確認する必要があります。 - 影響を受けるファイルをカスタマイズしていない場合、ファイルはアップグレードの一部として削除され、新しいsys_idを含むファイルが作成されます。
Strategic Planning	v4.0.2以降、ワークスペースSPMでのみ戦略的計画()プロライセンス機能にアクセスできます戦略的ポートフォリオ管理 (SPM)。Pro ライセンスを所有し SPM ていても、Workspace で SPMポートフォリオ計画 Pro ライセンスの機能 (目標、製品フィードバック、ハイブリッドポートフォリオ計画、追加レンズなど) を引き続き使用している場合は、そのような機能にアクセスするには をインストールする 戦略的計画 必要があります。ワークスペースでのみ 戦略的計画 アクセスできる機能の詳細については、「Portfolio Planning と Strategic Planning の比較」を参照してください。
サプライヤーライフサイクルオペレーション	このリリースからリリースにVancouverWashington DCアップグレードすると、[All] ナビゲーションタブのみSource-to-Pay ワークスペースが表示されます。を引き続き使用すること Source-to-Pay ワークスペースを選択した場合は、何もする必要はありません。 ただし、[ワークスペース] タブには と サプライヤー管理ワークスペース の両方Source-to-Pay ワークスペースが表示されます。デフォルトの代わりにを使用する場合はサプライヤー管理ワークスペース、リリースにWashington DCアップグレードした後に fixscript_migrate_workspace_to_smw.xml 修正スクリプトを実行してください。Source-to-Pay ワークスペースfixscript_migrate_workspace_to_smw.xml ファイルは、からServiceNow Storeダウンロードできます。修正スクリプトの実行方法の詳細については、以下を参照してください Run fix scripts。 を再び使用する場合 Source-to-Pay ワークスペースは、fixscript_migrate_workspace_to_s2p.xml 修正スクリプトを実行します。fixscript_migrate_workspace_to_smw.xml ファイルは、からServiceNow Storeダウンロードできます。修正スクリプトの実行方法の詳細については、以下を参照してください Run fix scripts。
UI ビルダー	に Washington DCアップグレードした後、UI ビルダー からアプリケーション ServiceNow Storeを更新します。
ユーザーエクスペリエンス分析	- ユーザーは基本追跡をオプトアウトできます。 - データソースでは ユーザーエクスペリエンスアナリティクス、じょうごグラフのデータビジュアル化を使用できます。

アプリケーションまたは機能	詳細
Vulnerability Response integrations	- アプリケーションのリリース済みバージョン脆弱性対応、およびそのリリースと互換性のあるWashington DCサードパーティおよびServiceNowアプリケーションの詳細については、ナレッジベースの記事Now Support「Vulnerability Response 互換性マトリクスおよびリリーススキーマの変更 [KB0856498]」を参照してください。 - 脆弱性対応新機能については、「」を参照してください 脆弱性対応リリースノート。

Washington DC の新機能と製品

Washington DC の新機能と製品に関する累積的なリリースノートの概要。

Washington DC では新しい製品が導入され、既存の製品に機能が追加されました。

アプリケーションまたは機能	詳細
AI Search	AND then OR 2+ key terms 複数用語検索クエリのオプション システムプロパティの新しい値を使用して、<i>AND then OR 2+ key terms</i> 検索クエリに複数の用語が含まれている場合に使用するブール検索演算子 (<i>glide.ais.query.search_operator</i>) 2 つの検索用語を含むクエリの検索パフォーマンスを向上させます。この値を設定すると、ストップワードの削除後に検索クエリに 3 つ以上の検索用語が含まれている場合にのみ、AI 検索 自動クエリ再送信 が実行されます。<i>AND then OR 2+ key terms</i> は、インスタンス zBoot の Washington DC デフォルト値です。 自然言語クエリー Genius 結果 Genius Results をアプリケーション (NLQ) に追加自然言語クエリーして AI 検索、大規模なソーステーブルから関連する検索結果を表示します。NLQ Genius 結果では、分かりやすい言葉を使用して検索が解釈され、関連する結果を含むソーステーブルが検索されます。NLQ Genius 結果回答カードには、提案されたソーステーブルが表示され、その結果アナリティクスセンターと CMDB テーブルクエリが組み合わせられます。Genius 結果の回答カードから、提案された各テーブルのレコードを直接プレビューできます。 セマンティック検索 検索用語の意味と意図に一致する結果を検索します。セマンティック検索は、デフォルトの字句検索モードを上書きする代替検索モードです。Now Assist in はセマンティック検索を使用してカタログアイテムとトピックを取得します。in 仮想エージェント AI 検索 はセマンティック検索を使用して、Q&A Genius 結果のキャッシュされた Now Assist 回答を検索します。Now Assist

アプリケーションまたは機能

API

詳細

新しいスコープ対象クラスと既存のスコープ対象クラスへの追加メソッド

クラス	メソッド
GlideAggregate - Scoped	setIntervalYearIncluded()
GlideRecord - Scoped	Scoped GlideRecord - updateWithReferences(Object reason)
ProcessMiningForExternalData - Scoped, Global	ProcessMiningForExternalData - scheduleCaseGeneration(String externalDataSysId)
ProductInstance API - Scoped, Global	generatePID() getPIDConfig() isProductInstance()
XMLDocument2 - Scoped, Global	setEnableCDATAReporting()
XMLNode - Scoped, Global	isCDATANode()

新しいグローバルクラスと既存のグローバルクラスへの追加メソッド

クラス	メソッド
GlideAggregate - Global	setIntervalYearIncluded()
GlideRecord - Global	GlideRecord - addExtraField(String dotWalkedField)
OnCallContactPrefTemplate - Global	OnCallContactPrefTemplate() copyContactPreferences() deleteContactPreferenceAttenuation()
OnCallEscalationTemplateSNC - Global	OnCallEscalationTemplateSNC() copyEscalationTemplateToEscalationSet() deleteEscalationSetSteps()

アプリケーションまたは機能	詳細												
	<table> <tr> <th data-bbox="518 191 946 243">クラス</th><th data-bbox="946 191 1394 243">メソッド</th></tr> <tr> <td data-bbox="518 243 946 380">ProcessMiningForExternalData - Scoped, Global 🔗</td><td data-bbox="946 243 1394 380">ProcessMiningForExternalData - scheduleCaseGeneration(String externalDataSysId) 🔗</td></tr> <tr> <td data-bbox="518 380 946 611">ProductInstance API - Scoped, Global 🔗</td><td data-bbox="946 380 1394 611"> • generatePID() 🔗 • getPIDConfig() 🔗 • isProductInstance() 🔗 </td></tr> <tr> <td data-bbox="518 611 946 716">SPWidgetAccessControl - Global 🔗</td><td data-bbox="946 611 1394 716">hasPublicAccess() 🔗</td></tr> <tr> <td data-bbox="518 716 946 810">XMLDocument2 - Scoped, Global 🔗</td><td data-bbox="946 716 1394 810">setEnabledCDATAReporting() 🔗</td></tr> <tr> <td data-bbox="518 810 946 884">XMLNode - Scoped, Global 🔗</td><td data-bbox="946 810 1394 884">isCDATANode() 🔗</td></tr> </table>	クラス	メソッド	ProcessMiningForExternalData - Scoped, Global 🔗	ProcessMiningForExternalData - scheduleCaseGeneration(String externalDataSysId) 🔗	ProductInstance API - Scoped, Global 🔗	• generatePID() 🔗 • getPIDConfig() 🔗 • isProductInstance() 🔗	SPWidgetAccessControl - Global 🔗	hasPublicAccess() 🔗	XMLDocument2 - Scoped, Global 🔗	setEnabledCDATAReporting() 🔗	XMLNode - Scoped, Global 🔗	isCDATANode() 🔗
クラス	メソッド												
ProcessMiningForExternalData - Scoped, Global 🔗	ProcessMiningForExternalData - scheduleCaseGeneration(String externalDataSysId) 🔗												
ProductInstance API - Scoped, Global 🔗	• generatePID() 🔗 • getPIDConfig() 🔗 • isProductInstance() 🔗												
SPWidgetAccessControl - Global 🔗	hasPublicAccess() 🔗												
XMLDocument2 - Scoped, Global 🔗	setEnabledCDATAReporting() 🔗												
XMLNode - Scoped, Global 🔗	isCDATANode() 🔗												
Accounts Payable Operations	Using invoice integration 🔗 この ServiceNow 買掛金オペレーション アプリケーションは、統合フレームワークを使用して、サードパーティアプリケーションでの請求書の取り込み、請求書の転記、請求書の支払いを容易にします。 スケジュール設定済みジョブを使用して、請求書および請求書明細行データの一括インポートを実行します。 Invoice data transformation logic 🔗 請求書および請求書明細行の通貨グループ化は、ユーザーシステムのロケール設定に基づいて決定されます。 ステージングテーブルに存在する着信請求書と請求書明細行は、小数点と千の区切り記号の位置に基づいて変換されます。 サプライヤー詳細ルックアップロジックが拡張されました。												
Adoption Services	最新情報 [最新情報] を使用して、製品の新機能コンテンツと、これらの製品に必要なユーザーロールを確認します。												
Advanced Risk	Parallel Review and Feedback in Advanced Risk 🔗 レビューとフィードバックのワークフローをデジタル化することで、2 次および 3 次線のマネージャーが第一線の活動に積極的に参加できるようにします。レコードまたはレコード内のフィールドに関するフィードバックを提供して、データの完全性、コンプライアンス、運用手順、および処分や												

アプリケーションまたは機能	詳細
	説明責任などの他の領域に関連する改善を推奨できます。たとえば、リスクマネージャーは、第一線のリスクユーザーに根本原因分析タスクを要求することでフィードバックを提供し、同じリスクイベントの追加の損失エントリをキャプチャするように依頼することもできます。並行レビューとフィードバックを使用すると、マネージャーは次のアクションを実行できます。 - ワークフローの任意のステージでフィードバックを提供します。 - サイドパネル機能を使用して、フィードバック応答をソースレコードから直接更新します。 - 一元化されたダッシュボードから、レコードに対して発生するフィードバックワークフローを表示および管理します。 - 変更履歴を表示します。これにより、事前フィードバックと事後フィードバックをすばやく比較できます。 - 応答が不十分であると判断された場合は、フィードバックを再度開きます。 - 直感的なダッシュボードを使用してフィードバックを監視し、レコード所有者をフォローアップします。 - Sidebar ディスカッションチャットを通じて、レビュー担当者、回答者、およびその他のステークホルダーと効果的にコラボレーションします。 - フィードバックの結果として、問題の作成や既存の問題へのリンクなどのアクションを開始してリンクします。 - フィードバックの作成元のテーブルまたはレコードタイプを定義できるカスタムテーブルを含む、任意のレコードタイプのフィードバック統合セットアップを構成します。 i 重要: 並列レビューおよびフィードバック機能は、でのみ使用できます Next Experience。 でのレポートの生成 Microsoft Word Management Reporting of Risk アプリケーションを使用して、で利用可能なNow Platform情報に基づいたレポートMicrosoft Wordを作成します。リスクマネージャーは、管理者に依存することなく、リアルタイムデータを使用して独立してレポートを作成できます。また、レポートの生成は、からレポートデータをワンクリックで直接 Now Platform更新することで有効になります。 リスクヒートマップ情報のエクスポート 必要に応じて、レポートに含めるリスクヒートマップ情報をダウンロードまたはコピーしたり、関連するステークホルダーと共有したりできます。 i 重要: ヒートマップ情報のコピーとダウンロードは、でのみNext Experience使用できます。

アプリケーションまたは機能	詳細
	オブジェクトベースのアセスメントの強化 アセスメントオブジェクトを 1 つだけ選択することなく、複数のオブジェクトのリスクアセスメント方法論 (RAM) を構成します。さまざまなオブジェクトの複数の方法論を管理するための追加の労力を減らすことができます。データを比較およびレポートして、データのアクセシビリティと一貫性を向上させることができます。 リスク管理者は、1 つのオブジェクトに複数の RAM を追加することもできます。たとえば、コンプライアンスケーステーブルは、IT コンプライアンスと企業コンプライアンスの個別の基準を使用して評価できるため、さまざまなドメインにわたるリスクを包括的に理解できます。 リスクおよびコントロールアセスメントフォームの自動保存機能  自動保存を使用して、高度なリスクアセスメントを実行するエクスペリエンスを向上させます。査定人が応答すると、アプリケーションは回答を保存し、全体的なリスクスコアを計算します。必要なクリック数が大幅に削減され、効率と全体的な従業員のエンゲージメントが向上します。 i 重要: 自動保存機能は、でのみ Next Experience使用できます。 リスクアセスメントの一括承認と再アサイン 複数のリスクアセスメントを同時に承認することで、チームが個々の承認に費やす時間を大幅に短縮できます。特に大量のアセスメントを処理する場合に、ワークフローの効率が向上します。承認者または査定人は、複数のリスクアセスメントをさまざまなステークホルダーまたはチームメンバーに簡単に再アサインできます。 ライブラリからのリスクとコントロールの追加 不要なナビゲーションを排除することで、指定されたワークフロー内でリスクとコントロールを作成および管理します。チームは次のタスクを実行できます。 • コントロールアセスメント中に [コントロール目標から作成] オプションを使用して、コントロール分類からコントロールを追加します。 • リスク軽減タスクに対応するときに [コントロールを作成] オプションを使用して、アドホックコントロールを特定して作成します。 • リスク軽減タスクに応答するときに、[コントロール目標から作成] オプションを使用して、コントロール分類からコントロールを追加します。 • リスクアセスメントスコープを定義するときに、[リスクステートメントから作成] オプションを使用して、リスク分類からリスクを特定してマッピングします。 のユーザーエクスペリエンスの向上 高度なリスク

アプリケーションまたは機能	詳細
	次の機能拡張により、プロセスを簡素化します。 • [コメント] フィールドを使用して、 の リスクワークスペースグループ要素に関する簡単な回答を入力します。RAM フォームでグループ要素からのコメントを設定できます。 • 注意が必要な領域を見つけるために、査定人がページ全体を手動でナビゲートする必要がなくなります。リスクアセスメントフォームで次のアセスメントステージに移動すると、アプリケーションは自動的に未応答の要素までスクロールします。 • 現在の査定人がいない場合、進行中のアセスメントを新しい査定人に一括で再アサインします。この機能は、特にリストラや緊急医療休暇の場合にアサインを再配分するのに役立ち、必要に応じて一括再アサインが可能です。 • リスクイベントおよび問題レコードタイプの Sidebar ディスカッションを開始します。チームは、イベントや問題について話し合うための専用スペースを利用できます。このスペースにより、リスク管理プロセスの明確さと効率性が向上します。 • リスク対応タスクページの [レビュー担当者] フィールドを使用して、レビュー担当者の詳細について査定人に通知します。 • リスクアセスメントフォームの要素選択肢のドロップダウンオプションを使用して、読みやすくします。 • リスクアセスメントフォームの要素選択で水平レイアウトを有効にして、スクロールを最小限に抑えます。 • Advanced Risk アセスメントホームページからメインページへの単一のブレッドクラム記録による簡素化されたナビゲーションを使用します。チームが複数のタブを開く必要はありません。 • 手動、自動、および計算測定基準の定義レコードには、関連リストによってグループ化された垂直リストビューを使用します。 • Advanced Risk アセスメント内のセクションヘッダーを折りたたんで、[Advanced Risk アセスメント] ページのスクロールを減らし、より多くのコンテンツを収容できるように画面スペースを最適化します。
Advanced Work Assignment	システムプロパティを追加しました  システムプロパティは <code>glide.awa.bypass_max_wait_time.enabled</code> <code>pending_accept</code> 最大待機時間 に達した場合でも、アサインがタイムアウトするまでエージェント受信ボックスにステータス作業アイテムを保持します。このプロパティのデフォルトは <code>true</code> です。
エージェントチャット	Chat summarization 

アプリケーションまたは機能	詳細
	要求者、仮想エージェント、およびライブエージェント間で転送される会話のチャット要約を自動的に生成 エージェントチャット します。
Agent Client Collector	測定基準コネクタの機能拡張の使用  エージェントレスの System Center Operations Manager (SCOM) コネクタを使用して、高パフォーマンスの SCOM 測定基準を統合します。 Application patterns for the Agent Client Collector  Agent Client Collector でアプリケーションパターンを実行します。アプリケーションパターンを使用すると、エージェントのホストで実行されているアプリケーションに関する詳細を検出できます。 拡張システムプロパティ  エージェントディスカバリー、自動MID サーバー選択、エラーメッセージログの機能拡張など、拡張されたポリシー計算およびフレームワーク設定システムプロパティを使用して、アプリケーションの動作Agent Client Collectorを監視します。 チェックに追加された構成データファイル  インスタンスデータをエージェントと通信することで、アプリケーションで拡張データ収集 Agent Client Collector を提供します。構成データ・ファイルは、エージェントの関連する MID サーバー。 Mongo DB チェック  メタデータ、メモリ、およびディスク容量に関連する追加の測定基準を使用して、MongoDB リソースを監視します。 Kubernetes クラスター内のリソースを継続的に検出します  可視性に () を使用してCloud Native Operations、クラスター内のKubernetesリソースを継続的に検出します。CNO可視性のために、リソースの変更をインスタンスに迅速に報告し、.構成管理データベース (CMDB)ヴィジビリティ対応 Agent Client CollectorCNO クラウドリソースの測定基準の取得  を使用して VMware、クラウド内の仮想リソースの高パフォーマンス測定基準を取得します。
Agent Workspace for HR Case Management	ケース内で会議タスクをスケジュールする  HR ケースの作業中に、従業員の可用性を表示し、会議をスケジュールします。たとえば、オンボーディングプロセスの一環として、新規雇用者との会議をスケジュールすることができます。 Add personal notes  個人メモを使用して、確定しておらず、ケース履歴内で追跡してはならない情報を追加します。作業メモには、ケースを処理しているすべてのエージェントがアクセスできます。場合によっては、エージェントは、ケースに関連する個人的な

アプリケーションまたは機能	詳細
	メモや急速に変更される情報を他のエージェントに見られないことがあります。 Using checklists in Agent Workspace for HR Case Management コンテキストサイドパネルからチェックリストアイテムを追加、編集、並べ替え、または削除します。以前は、 から コア UIのみチェックリスト項目を追加、編集、並べ替え、または削除できました。 Secure documents ケースにリンクされている添付ファイルにセキュリティの追加レイヤーを追加します。機密データまたはプライベートデータを含む添付ファイルへのアクセス権を、特定のグループ、ユーザー、ユーザー基準、またはロールに付与します。 Page Configurations reference [構成設定] ページのランディングページ、レコードページ、リストページ、および HR ケース作成ページで、いくつかのコンポーネントを構成します。以前は、これらのコンポーネントは のみを使用して UI ビルダー 構成できました。 HR ケースの解決を簡素化 クラウドコンタクトセンターを HR Agent Workspace と統合し、従業員が音声自動応答を使用して HR ケースを解決できるようにします。ライブエージェントを必要とするケースでは、システムによってコールが対応可能なエージェントにルーティングされ、関連する発信者情報がエージェントに表示され、インタラクションからデータが自動的にキャプチャされます。
App Engine Studio	に必要なロールをすばやく追加 ワークスペースビルダー 新しいモダリティを使用して、アクセス制御リスト (ACL) を持たないワークスペースのセキュリティに迅速にアクセスして定義します。新しい [続行するユーザーロールを追加] モダリティを使用すると、ロールを追加し、アクセス制御リスト (ACL) をより迅速に自動的に作成できます。その後、ワークスペース設定の [ユーザーアクセス] フィールドでロールを編集できます。
アプリケーションマネージャー	Installing applications in Application Manager モーダルポップアップ 追加されたインストール前のモダリティとともに次の情報を表示します。 - アプリケーション構成、主な機能、およびオプション機能の説明。 - AppV2 に関連付けられている主な機能、オプション機能、および依存関係を示します。 - 利用可能な構成と機能を表示します。

アプリケーションまたは機能	詳細
	インストールがブロックされている場合、アプリケーション構成にライセンスが付与されていない場合、またはプライマリ機能とオプション機能がライセンスされていない場合のユーザー シナリオを表示します。 インストール後のモーダルの詳細ページでは、互換性、主な機能、およびリリースノートを表示できます。また、インストールまたは更新のオプションも表示されます。
アプリケーションポートフォリオ管理	Configure application total cost of ownership (TCO) in Enterprise Architecture Workspace ビジネスアプリケーションのコストを評価し、アプリケーションのコストを活用してアプリケーションポートフォリオに優先順位を付けます。ビジネスアプリケーションをコストで合理化し、組織のビジネス戦略に合わせて調整します。詳細については、Configure application total cost of ownership (TCO) in Enterprise Architecture Workspace Create a source for an Application TCO Create a cost type for Application TCO in Enterprise Architecture Workspace Add or edit a total cost of ownership record を参照してください。 ビジネス機能とビジネスアプリケーションのロードマップを表示 戦略に合わせて、ビジネス機能とアプリケーションの作業を計画し、優先順位を付け、ロードマップを作成します。詳細については、「View a roadmap of a business capability」と「View roadmap of a business application」を参照してください。 Lucidchart 図を保存するフォルダーを表示および選択する ログインに従って、図の作成中に Lucid フォルダーをフェッチして Lucidch 図を選択して保存します。詳細については、ANDCreate a diagram for a business application in the EA Workspace を参照してください Create a Lucidchart diagram for a business capability in the EA Workspace。 [アプリケーションの合理化] ページで、自分が作成したインジケータを使用してビジネスアプリケーションを分析 の エンタープライズアーキテクチャワークスペース [アプリケーションの合理化] 画面では、カスタムインジケータを使用して、バブルチャートビューまたはリストビューでビジネスアプリケーションを分析できます。アクティブフラグを使用して、合理化に適用するインジケータを選択します。詳細については、「Bubble chart view of application rationalization」と「List view of application rationalization」を参照してください。 TPM および TRM ライフサイクルをガントチャートビューで表示する ビジネスアプリケーションビューの [ライフサイクルタイムライン] タブで、ビジネスアプリケーションの TPM お

アプリケーションまたは機能	詳細
	よび TRM ライフサイクル情報をガントチャート形式で表示できます。詳細については、「Gantt view of TPM and TRM lifecycle timelines」を参照してください。 機能とその子機能に関連付けられたすべてのビジネスアプリケーションを合理化する [アプリケーションの合理化] ページでビジネス機能フィルターを適用すると、親機能の子機能に関連付けられているものも含め、すべてのビジネスアプリケーションが表示されます。 ハードウェア製品の製品またはTRM製品ライフサイクルの追加または要求TRM TRMエンタープライズアーキテクチャワークスペース内のカタログまたはTRMナビゲーションを使用して、TRMハードウェア製品と製品ライフサイクルを要求します。ユーザロールに応じて、TRM 製品を追加または要求することができます。たとえば、エンタープライズアーキテクトグループのメンバーである場合は、TRM 製品または TRM 製品ライフサイクルを直接追加することができます。詳細については、Add or edit a TRM product lifecycle request Request a TRM product using the TRM Catalog および Request a TRM product lifecycle using the TRM Catalog を参照してください Add or edit a TRM product request。 Rationalization of business applications は エンタープライズアーキテクチャワークスペース、アプリケーションの合理化をサポートします。アプリケーションをインジケータで分析してアクションを実行することで、ビジネスアプリケーションを合理化できます。デマンドの作成、計画された処分の設定、ライフサイクルデータの追加、関連するデマンドの表示、アプリケーションに関連付けられた既存のプロジェクトの詳細の更新などのアクションを実行できます。詳細については、「Bubble chart view of application rationalization」と「List view of application rationalization」を参照。 Personalize the Enterprise Architecture Workspace home page ページのカスタマイズ機能を使用して、ホームページに表示する EA ワークスペース セクションをカスタマイズします。 Run a scheduled job to update TRM technical debt data in EA Workspace スケジュール設定済みジョブ (<i>Populate TRM technical debts in the EA workspace</i>) を実行して、TRM の EA ワークスペース技術的負債データを更新します。詳細については、「」を参照してください。 Open business application form in Core UI from EA Workspace からEA ワークスペースビジネスアプリケーションフォームコア UIを開くことができます。

アプリケーションまたは機能	詳細
Application Vulnerability Response	脆弱性マネージャーワークスペースでの脆弱性の状況の分析  のホームページ Vulnerability Manager Workspaceでリスク評価、修正の進捗状況、アサイン先グループの作業負荷、および修復タスクのレコードを視覚的に表示して、アクティブなアプリケーションの脆弱性の全体的な概要を取得します。 フィルターを使用した一連のアプリケーション脆弱性のサマリーの取得  のホームページ Vulnerability Manager Workspaceでこれらの脆弱性をフィルタリングすることで、アクティブなアプリケーションの脆弱性のサマリーを取得します。 Define Vulnerability Response email notifications  メール通知でリンクがクリックされると、ユーザーのロール内 Vulnerability Manager Workspace または IT 修復ワークスペース ロールに基づいてレコードが開きます。 Invicti Vulnerability Integration  Invicti脆弱性統合を使用して、インタラクティブアプリケーションセキュリティテスト(IAST)および動的アプリケーションセキュリティテスト(DAST)データをインポートします。このデータにより、カスタムソフトウェアアプリケーションの欠陥の影響度と優先度を判断できます。次のInvicti 統合を使用して、脆弱性データを拡張します。 • Invictiアプリケーションリストアプリケーション:Invictiによってスキャンされたアプリケーションをインポートします。 • Invicti スキャンリスト統合 - スキャンが実行された日時に関するデータをインポートします。 • Invicti アプリケーション脆弱性一致アイテム統合 - Invicti 脆弱性一致アイテムデータをインポートします。 Veracode を使用したソフトウェア部品表 (SBOM) ファイルのインポート  専用の Veracode API を使用して CycloneDx JSON 形式の SBOM ファイルをアップロードします。ソフトウェアプロジェクトで使用しているコンポーネントと、それらのリリース、バージョン、および関連する脆弱性に関する情報を特定します。この統合により、SBOM が CycloneDx JSON 形式で生成され、解析のためにインスタンスにアップロードされます。ソフトウェア部品表アプリケーションが必要です。詳細については、「ServiceNow ソフトウェア部品表アプリケーション」を参照してください。 Software Bill of Materials  ソフトウェア部品表 (SBOM) 製品でサポートされているアプリケーションに次の機能拡張が行われました。

アプリケーションまたは機能	詳細
	- OSV.dev 統合の PURL 検証が追加されました。無効な PURL は、ファイル処理中に無視されます。 - 利用可能な場合は、OSV.dev 修正バージョン情報が AVIT レコードの関連リストに表示されます。 - SBOM アプリケーション脆弱性一致アイテム (AVIT) は、拡張 SBOM ワークスペースビューにコンポーネント情報を表示します。 - SBOM ワークスペースで SBOM AVIT の無効化された修復タスクルール。SBOM 脆弱性対応 AVIT のルールは、の脆弱性マネージャーワークスペースで編集できます。 - 拡張された SBOM ワークスペースアクセス権により、SBOM Core アプリケーションで SBOM インベントリを表示できます。 Reapplying CI Lookup rules in Application Vulnerability Response 構成アイテム (CI) ルックアップルールを再適用して、スキャンされたアプリケーションおよび製品モデルの既存の CI を更新します。 手動での修復タスクの作成 [グループ設定] タブの修復タスクレコードから、アプリケーション脆弱性一致アイテム (AVIT) の修復タスク (AVUL) を手動で作成します。 誤検出および例外要求に関する通知 承認ルールに承認有効期限とリマインダーの日付を設定することで、誤検出および例外要求の変更承認レコードに関する通知とリマインダーを受信します。 アプリケーション脆弱性対応 用の Quick start tests 新しいアプリケーションまたは統合のアップグレードと展開が完了したら、クイックスタートテストを実行して、アプリケーション脆弱性対応 が想定どおりに機能していることを確認します。アプリケーション脆弱性対応 をカスタマイズした場合は、クイックスタートテストをコピーし、カスタマイズのために設定します。
Audit Management	Manage your documents and work papers with Audit Management as cloud files ドキュメントとワークシートを Audit Management クラウドファイルとして管理します。この機能は、のエンゲージメントおよび監査タスクレコードの Audit Workspace 特定のユースケースに対応します。クラウドファイルを任意の GRC レコードにリンクし、単一のクラウドファイルを複数のレコードと共有します。 Create a Cloud file configuration on engagements and audit tasks

アプリケーションまたは機能	詳細
	クラウドファイルに対するアクセス許可を管理します。クラウドファイル構成モジュールを使用して、クラウドファイルのユーザーに読み取りおよび書き込み権限を割り当てます。
Automated Test Framework	Performance profiling  パフォーマンス プロファイリングは、ボトルネックをより迅速に特定することで、実行時の動作を分析するためのデータ駆動型のアプローチです。パフォーマンスプロファイリングを使用して、インスタンスのアップグレード時にパフォーマンスの低下を検出します。その後、問題を調査して修正できます。 構成可能なワークスペースのサポート  ATF は、より広範なテスト範囲を提供することで回帰リスクを軽減するために、Next Experience UI (フォームと UI アクションに限定) のテストをサポートするようになりました。 宣言アクション可視性テストステップ  フォームテストステップカテゴリの宣言アクション可視性テストステップを使用して、現在のフォームに宣言アクションが表示されているかどうかを検証します。 宣言アクションテストステップをクリックする  フォームテストカテゴリの [宣言アクションをクリック] テストステップを使用して、現在のフォームで宣言アクションをクリックします。
Business Continuity Management	Schedule an auto-update of the dependencies  CMDBビジネスインパクト分析で資産と依存関係を更新します。BCM管理者は、影響分析の依存関係更新構成モジュールを構成して、自動更新を開始するか、手動レビュープロセスをトリガーすることができます。管理者は、スケジュール設定済みジョブを有効にして、依存関係を継続的に監視し、メール通知を送信できます。 Schedule an auto-update of the related assets  事業継続性計画の CMDB 資産と依存関係を更新します。管理者は BCM 、計画依存関係更新構成モジュールを構成して、自動更新を開始するか、手動レビュープロセスをトリガーすることができます。依存関係は、BIA アップストリーム依存関係、BIA ダウンストリーム依存関係 CMDBなどのさまざまなソースからフェッチされます。管理者は、スケジュール設定済みジョブを有効にして、依存関係を継続的に監視し、メール通知を送信できます。 Adding the dependencies of the impacted assets  CMDBイベントの資産と依存関係を更新します。管理者は BCM 、イベント依存関係ソース構成モジュールを設定して、自動更新を開始するか、手動レビュープロセスをトリガーできます。依存関係は、BIA アップストリーム依存関係、BIA ダウンストリーム依存関係、CMDB計画プライマ

アプリケーションまたは機能	詳細
	リ資産、計画関連資産などのさまざまなソースからフェッチされます。
クローンアドミンコンソール	Request a clone in Clone Admin Console このアプリは、さまざまなクローン設定がクローンにどのように影響するかについてのガイダンスと説明を含む、簡素化されたクローン要求ページを備えています。新しい要求ページには、メンテナンス期間とのタイミングの競合を防ぐのに役立つ新しいスケジュール ツールも用意されています。このツールは、インフラストラクチャのメンテナンスと競合するクローンの自動再スケジュールを削減します。 ガイダンス ガイダンスとユーザーエクスペリエンスに新たな焦点を当て、一部のクローンオプションがクローン時間にどのように影響するかについて追加された新しい情報を使用します。 オンデマンドバックアップオプション クローンの一部として新しいバックアップを使用します。このオプションは、新しく公開された変更をクローンに含める必要があり、次の夜間バックアップを待ちたくない場合に便利です。 クローンログ 選択すると、[クローンステータス]ページにクローンログを表示するために追加される [Show Log] リンクが表示されます。 繰り返しクローン クローン要求ページのクローン頻度オプションを使用して、繰り返しクローンを作成します。クローン頻度は、週次、4 週間ごと、および 2 週間ごと です。 注: それぞれが個別のクローン要求として作成されます。変更が必要な場合は、作成される個々のクローン要求を変更する必要があります。
クラウドコスト管理	Kubernetes クラスターの支出ブレイクダウンの分析 クラウド上の Kubernetes クラスターのコストを表示および分析し、期間、コストタイプなどのさまざまなフィルターと、Kubernetes クラスター、Kubernetes 名前空間、タグカテゴリなどのグループ化オプションを使用して結果を絞り込みます。 共有クラウドサービスのコストを管理する さまざまなビジネスドメインにわたる共有クラウドサービスのコストを表示、分析、および管理し、これらの複数の基幹業務にコストを割り当てます。Kubernetes クラスターの場合、複数の名前空間間でコストを共有できます。
Coaching	統合 Coaching with Learning による ServiceNow University

アプリケーションまたは機能	詳細
	と統合Coaching with Learningした後に、 を使用してServiceNow Universityスキルを習得しますServiceNow。 コーチング のダッシュボード Next Experience ユーザーインターフェイス ダッシュボードを使用してデータを分析しますコーチングNext Experience コーチング。
共通の Governance, Risk, and Compliance 機能	に関するシステム生成の推奨事項 ワークスペース 問題管理 - 問題に関連する修正タスクに対して、システム生成の推奨事項を使用します。ユーザーの応答は、修復タスクのアクション履歴に記録されます。 - 問題の [詳細] タブにリストされているシステム生成の推奨事項を使用します。[担当者] フィールドで問題をアサインするときに、上位 3 つの推奨事項を参照できます。
Compliance Case Management	Export a report to PDF 事前定義されたテンプレートを使用してコンプライアンスケースまたは要求の PDF レポートを作成し、アプリケーションにアクセスできないステークホルダーでもデータにアクセスできるようにします。PDFレポートを使用すると、電子メールで重要な情報をより迅速に共有でき、アプリケーションにアクセスすることなく、監査チーム、パートナー、または内部委員会とのコラボレーションが可能になります。PDF レポートはオフラインレポートとして機能します。これらは、包括的なデータを凝縮された読み取り可能な形式で表示する柔軟性を提供します。事前定義されたテンプレートを選択するか、カスタマイズされたドキュメントテンプレートを作成してレポートを生成することができます。 Compose emails in GRC: Compliance Case Management 組織内外のさまざまなステークホルダーとコミュニケーションを取るためにアプリケーション GRC: Compliance Case Management を使用して、コンプライアンスケースやコンプライアンス要求のメールを作成して送信します。 影響を受ける複数の領域および関連する領域を管理する際のユーザーエクスペリエンスを向上 コンプライアンスケースで影響を受ける複数の領域および関連する領域をより効率的に追加および管理します。[追加] ボタンを選択すると、統合されたダイアログ ボックスを使用できます。このボタンを使用すると、繰り返し操作をなくし、異なる画面間の移動に費やす時間を短縮できます。影響を受ける領域と関連領域を選択すると、バックグラウンドでコンプライアンスケースレコードが可視化され、レコード内の詳細に基づいて情報に基づいた選択を行うことができます。詳細については、「Add an impacted area to a compliance case」と「Add a related area to a compliance case」を参照。

アプリケーションまたは機能	詳細
	複数の影響を受ける領域と関連領域を削除する コンプライアンスケースフォームに追加された [削除] ボタンを使用して、影響を受ける 1 つまたは複数の領域および関連する領域を削除します。影響を受ける領域や関連する領域は、複数のメニューやセクション間を移動することなく、より便利に削除できます。
Configuration Compliance	脆弱性マネージャーワークスペースでの脆弱性の状況の分析  のホームページ Vulnerability Manager Workspaceで、リスク評価、修復の進捗状況、アサイン先グループの作業負荷、および修復タスクのレコードを視覚的に表示して、アクティブなテスト結果の全体的な概要を取得します。 フィルターを使用した一連のテスト結果のサマリーの取得  のホームページ Vulnerability Manager Workspaceでテスト結果をフィルタリングして、アクティブな一連のテスト結果の概要を取得します。 メール通知のリンクをクリックしたときにワークスペースのレコードを表示する  メール通知でリンクをクリックされると、ユーザーのロールに基づいてレコードが OR IT 修復ワークスペースでVulnerability Manager Workspace開きます。 誤検出および例外要求に関する通知  承認ルールに承認有効期限とリマインダー日を設定することで、誤検出や例外要求を含む変更承認レコードの通知とリマインダーを受信します。 コンフィグレーションコンプライアンス の Quick start tests  新しいアプリケーションまたは統合のアップグレードと展開が完了したら、クイックスタートテストを実行して、コンフィグレーションコンプライアンス がまだ機能していることを確認します。コンフィグレーションコンプライアンスをカスタマイズした場合は、クイックスタートテストをコピーし、カスタマイズのために設定します。
Configuration Management Database (CMDB)	CMDB Workspace ストアアプリ  - UI Builder (UIB) コンポーネントを使用して構築されている CMDB Workspace から、CMDB データマネージャーにアクセスします。CMDB Data Manager は、CMDB Workspace に完全に統合されました。 - UI Builder (UIB) を使用して構築された CMDB Workspace でデータ認定を使用します。CMDB Workspace の CMDB Data Manager で認定ポリシータイプを使用することで、Data Certification を完全に利用できるようになりました。 - CMDB Workspace で重複排除テンプレートのライブラリーを作成することにより、重複排除タスクを一貫し

アプリケーションまたは機能	詳細
	を一括で修正します。現在、重複排除機能は UI Builder (UIB) コンポーネントを使用して構築され、CMDB Workspace に完全に統合されています。 CMDBのクイックスタートテスト 新しいアプリケーションまたは統合のアップグレードと展開が完了したら、クイックスタートテストを実行して、CMDB が想定どおりに機能していることを確認します。CMDB をカスタマイズした場合は、クイックスタートテストをコピーし、カスタマイズのために設定します。
コンテナ Vulnerability Response	脆弱性マネージャーワークスペースでの脆弱性の状況の分析  のホームページ Vulnerability Manager Workspaceで、リスク評価、修復の進捗状況、アサイン先グループの作業負荷、および修復タスクのレコードを視覚的に表示して、アクティブなコンテナの脆弱性の全体的な概要を取得します。 フィルターを使用した一連のコンテナ脆弱性のサマリーの取得  のホームページ Vulnerability Manager Workspaceでこれらの脆弱性をフィルタリングすることで、一連のアクティブなコンテナの脆弱性のサマリーを取得します。 メール通知のリンクをクリックしたときにワークスペースのレコードを表示する  メール通知でリンクがクリックされると、ユーザーのロール内 Vulnerability Manager Workspace または IT 修復ワークスペース ロールに基づいてレコードが開きます。 誤検出および例外要求に関する通知  承認ルールに承認有効期限とリマインダーの日付を設定することで、誤検出および例外要求の変更承認レコードに関する通知とリマインダーを受信します。 コンテナ脆弱性対応 用の Quick start tests  新しいアプリケーションまたは統合のアップグレードと展開が完了したら、クイックスタートテストを実行して、コンテナ脆弱性対応 が想定どおりに機能していることを確認します。コンテナ脆弱性対応 をカスタマイズした場合は、クイックスタートテストをコピーし、カスタマイズのために設定します。
Continuous Authorization and Monitoring	詳細なレベルでのコントロールの管理  NIST 800-53 Risk Management Framework に基づいてコントロール目標レベルでコントロール要件を構成し、詳細なレベルでコントロールを評価します。コントロールがワークフローの [証明] 状態に移行する間、要件レベルで証明書を取得することもできます。コントロールを効果的に監視および追跡し、コントロールの非準拠につながる非準拠の特定の要件を明確に特定できます。 Set up baseline controls to generate controls and implement requirements 

アプリケーションまたは機能	詳細
	一部は継承されたコントロールとして、一部はシステム固有のコントロールとして実装されるコントロールを作成します。これは、共通コントロール プロバイダーからの部分的な要件を採用するのに役立ちます。共通コントロール プロバイダーによって提供される 1 つ以上の要件を継承することもできます。 NIST 800-53Aに基づく評価手順を持つ能力 個々のアセスメント手順の有効性に基づいて、コントロールの有効性を判断します。テストテンプレートのアセスメント手順をカスタマイズして、[有効]、[無効]、または [適用外] としてマークすることができます。 コントロール目標とコントロールフォームの CAM ビューの新しい関連リスト CAM NIST 800-53 リビジョン 5 のすべてのコントロール目標要件を含むコントロール目標フォームのビューを使用します。同様に、コントロールフォームのビューには、CAMコントロール要件関連リストのコントロールに対して生成されたすべての要件が表示されます。
Core Now Platform	GraphQL エクスプローラー 統合された GraphQL テストツールを使用して GraphQL API をテストします。GraphQL Explorer は、GraphQL API の開発とデバッグを容易にします。 での JavaScript モジュールとサードパーティライブラリのサポート ServiceNow SDK カスタム JavaScript モジュールを作成して、コードの整理と再利用、保守性の向上、SDK によるスコープ対象のアプリケーションでのサードパーティ JavaScript ライブラリの機能の活用を行います ServiceNow。ServiceNow SDK を使用して、カスタムモジュールとサードパーティライブラリ Visual Studio Codeを含むスコープ対象のアプリケーションを作成、ダウンロード、変更し、それらのアプリケーションをインスタンスに展開します。 関連レコードのアーカイブの改善 関連レコードを定義するときは、アーカイブ関連レコードごとにアーカイブルールを指定して、カスケードの深さを制御します。アーカイブルールが指定されていない関連レコードはカスケードされません。 カスタムインデックスの削除 テーブルモジュールを使用してカスタムインデックスを削除します。 リモートテーブルのフローロジック リモートテーブルクエリのデータを取得するフローを構築します。ServiceNow フローデザイナートリガーとアクションの機能を使用して、トリガーに応答し、リモートデータをフェッチします。 ロケールベースの言語ソートを有効にする新しいシステムプロパティ

アプリケーションまたは機能	詳細
	<code>guide.ui.condition_builder.sort_labels_by_locale</code>□ ケールベースの言語に従って [表示/非表示] フィルターのフィールドをソートするには、システムプロパティを有効にします。デフォルトでは、システムプロパティは False に設定されています。 Syslog レコードの表示 UI アクション  [トランザクション] フォームおよび [アクティブなトランザクション] フォームで新しい [Syslog レコードを表示] UI アクションを使用して、トランザクションの実行中に生成されたシステムログエントリを表示します。
顧客契約と資格付与	契約の作成と管理  契約を手動で作成し、既存の契約をインポートおよび同期して、更新されたデータを保持します。 Agent Workspace での作業  で契約とエンタイトルメント ServiceNow CSM エージェントワークスペースを表示、活用、および管理します。 新しい顧客契約および資格付与を生成  オファーの作成から契約の生成まで、カスタマーサービス契約およびエンタイトルメントのライフサイクルを管理します。 オファーから契約サービスへの統合  製品カタログ管理、注文管理、および契約管理を統合して、サービス契約とエンタイトルメントの販売をサポートするシームレスな機能を提供します。 契約とエンタイトルメントの管理  契約とエンタイトルメントの変更を管理して、契約、契約品目、エンタイトルメントの変更オーダーを処理します。アカウント、製品、またはサービスプランの資格付与をサポートします。
Customer Service Management (CSM)	サービス定義カテゴリ  提供されるサービスのカテゴリを作成することで、エージェントがサービスを選択する方法を簡素化します。エージェントは、ケースサービスセクターとケースタスクサービスセクターからカテゴリを選択し、そのカテゴリ内で利用可能なサービスを表示および選択して、ケースまたはケースタスクを作成できます。 顧客アクティビティビュー  - 迅速で応答性の高い顧客アクティビティコンポーネント CSM 構成可能ワークスペースを . 機能強化には、更新された日付ピッカー、顧客アクティビティ時間グループのヘッダーとカードレイアウト、および新しいアクティビティアイコンが含まれます。 - 完全なトランスクリプトの代わりに、過去のインタラクションの生成 AI 主導のサマリーを表示します。

アプリケーションまたは機能	詳細
	Quick start tests for Customer Service Management 新しいアプリケーションまたは統合のアップグレードと展開が完了したら、クイックスタートテストを実行して、カスタマーサービス管理 (CSM) が想定どおりに機能していることを確認します。カスタマーサービス管理 (CSM) をカスタマイズした場合は、クイックスタートテストをコピーし、カスタマイズのために設定します。
Data Discovery	Create anonymization techniques データディスカバリーP関節匿名化のサポート 検出されたデータを部分的に匿名にできるようになりました。 Configure a Data Discovery job データパターンサポートには、キーワードとキーワードの近接性が含まれます データパターンにキーワードとキーワード近接を使用できるようになりました。
Data Privacy	匿名化ページからのテストの作成 匿名化ページから直接テストを作成できるようになりました。 [ポリシー] ページからのパターン手法マッピングの作成 部分匿名化の匿名化手法のデータパターンを [ポリシー] ページから直接作成できるようになりました。 パターンの順序付けのサポート 部分的なデータ匿名化ジョブの実行中にパターンの順序を確認できます。
CSM のデータ管理	製品インスタンス識別子 製品インスタンス識別子を使用して、新規および既存の製品やサービスを関連する資産および構成に接続します。 [モデルカテゴリ] フィールドを使用して、インストールベースアイテムを資産クラス、構成アイテムクラス、および製品モデルクラスにリンクします。 資産とインストールベース間のライフサイクルステータスの同期 資産クラスとインストールベースクラスの両方で [状態] フィールドを同期して、両方のエンティティ間で状態の一貫性を維持します。[ステータス] フィールドの同期は、ライフサイクルフィールドで選択したステータスによって異なります。 インストールベースフォームの既存の [ステータス] フィールドと新しいライフサイクルフィールドの間にリンクを確立することにより、Common Service Data Model フレームワークに準拠します。 販売済み製品とインストールベースのデータモデル

アプリケーションまたは機能	詳細
	受注処理時にインストールベースフォームの [仕様] フィールドを使用して、インストールベースアイテムを作成します。 [販売済み製品] テーブルに追加されたフィールドを使用して、販売済み製品のライフサイクル管理ワークフローをサポートします。 Sales and Order Management workflows  エンティティと構成をマッピングして、リードから入金までのエンティティのメタデータを構成します。 インスタンスの作成、インスタンスのコミット、デルタ、効果などのリードから入金までの操作を使用して、エンティティ間のシームレスな情報フローのためのワークフローを作成および構築します。 Customer Life Cycle Management Workflows  Customer Life Cycle Management ワークフロー (com.snc.customer_lifecycle_mgmt_workflows) ストアアプリケーションを有効にして、販売済み製品のライフサイクルを管理します。 販売済み製品の注文フローと注文から販売済み製品へのフローをトリガーすることで、既存の製品とサービスを更新します。このフローをトリガーするには、[アカウント] ページの販売済み製品関連リストで変更、一時停止、再開、および切断の各アクションを使用します。 変更アクションを実行して、コンフィギュレーター UI で販売済み製品の現在の構成を変更します。 中断アクションを使用して、販売済み製品を確定的または無期限に停止します。 再開アクションを使用して、切断または一時停止された販売済み製品のサービスを再起動します。 販売済み製品とその全階層を切断して、販売済み製品を非アクティブにします。 統一されたユーザーとコンシューマーとしての従業員  ログインから製品全体の カスタマーサービス管理 (CSM) すべてのインタラクションまで、内部ペルソナと外部ペルソナの両方をサポートする単一の統合プロフィールを作成します。 事業所 360  エージェントが事業所 360 テンプレートを使用して、報告された事業所の問題を正確に解決できるようにします。エージェントは、データソースを追加し、追加情報を表示し、店舗、政府機関、医療機関、自動車販売店、部門などのエンティティを表して、コンテキストインサイトを強化できます。 事業所スタッフのオムニチャネルサポート 

アプリケーションまたは機能	詳細
	事業所のスタッフが、チャットやメッセージングアプリケーションなどの 仮想エージェントオムニチャネル機能を使用して、各事業所とのすべてのサポートインタラクションをやり取りし、記録できるようにします。
Decision Builder	ディシジョンビルダー に統合 ワークフロースタジオ アプリケーションのワークフローの構築に役立つ他の強力なツールとともに、1 つの合理化された環境で意思決定テーブルにアクセスして構築します。 意思決定テーブルのコードスニペット からテーブルのディシジョンビルダーコードスニペットをコピーして、作成したNow Platformスクリプトに意思決定テーブルを挿入します。 300 行未満の意思決定テーブル全体を複製したり、大規模な意思決定テーブルの場合は意思決定テーブル構造 (入力と列) のみを複製したりすることで、意思決定テーブルを作成する時間を節約できます。 Duplicate rows in a decision table 意思決定テーブルの行を戦略的に複製することで、意思決定ルールを作成する時間と労力を節約できます。 View related objects in a decision table オープンな意思決定テーブルから、意思決定テーブルが使用されている関連フロー、サブフロー、またはプロセスを簡単に表示してアクセスできます。
DevOps Change Velocity	GitHub 問題統合 計画機能の一環としてリポジトリ内のGitHub問題を検出しGitHub、GitHub問題をGitHubコードのコミットにリンクします。 の GitLabカスタムアクションを使用して、GitLab パイプラインでの変更要求の作成、Sonar スキャン、アーティファクトの登録、およびパッケージ登録に関連するデータを収集します。
Digital Portfolio Management	Digital Portfolio Management Workspace homepage - 再設計された DPM ワークスペースホームページで、すべてのソリューションカードを重大度順に表示します。 - に DPM 初めてログインすると、特定のテーブルのユーザー名に基づいて自動生成されたソリューションカードが

アプリケーションまたは機能	詳細						
	表示されます。最初のログイン後、ホームページを DPM パーソナライズすることをお勧めします。 i 注: sn_dpm.dpm_admin ロールを使用すると、ホームページソリューションテーブルを更新して、ワークスペースへの DPM 初回ログイン時 (パーソナライズ前) に表示されるソリューションカードをカスタマイズできます。 Personalize the Digital Portfolio Management Workspace homepage - ソリューションカードを追加または削除してホームページをカスタマイズします DPM 。各ソリューションの [要注意] しきい値を調整して、最も注意が必要なソリューションを確認することもできます。重大度レベルは、良好、中、または重大です。 - ソリューションのカスタマイズリストは、<i>dpm_home_page_item</i> ログインするたびに表示されるようにテーブルに保持されます。このテーブルは、ホームページをカスタマイズするたびに更新されます。 Digital Portfolio Management homepage default solution cards 次のシステムプロパティを使用して、全体的な DPM パフォーマンスを向上させ、ホームページに表示するソリューションカードの数を有効にします。 DPM ホームページソリューションカードのシステムプロパティ <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="598 1287 1246 1671">システムプロパティ</th><th data-bbox="1246 1287 1353 1671">ホームページのデフォルトソリューション制限</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="598 1692 1246 1850"><i>dpm.homepage.cmdb_ci_service_limit</i> のサービス、サービスオフリング、およびアプリケーションサービスの</td><td data-bbox="1246 1692 1353 1850">750</td></tr> <tr> <td data-bbox="598 1871 1246 1948"><i>dpm.homepage.cmdb_ci_business_app_limit</i> ビジネスアプリケーション向け。</td><td data-bbox="1246 1871 1353 1948">250</td></tr> </tbody> </table>	システムプロパティ	ホームページのデフォルトソリューション制限	<i>dpm.homepage.cmdb_ci_service_limit</i> のサービス、サービスオフリング、およびアプリケーションサービスの	750	<i>dpm.homepage.cmdb_ci_business_app_limit</i> ビジネスアプリケーション向け。	250
システムプロパティ	ホームページのデフォルトソリューション制限						
<i>dpm.homepage.cmdb_ci_service_limit</i> のサービス、サービスオフリング、およびアプリケーションサービスの	750						
<i>dpm.homepage.cmdb_ci_business_app_limit</i> ビジネスアプリケーション向け。	250						

アプリケーションまたは機能	詳細
	ソリューション カードは任意の組み合わせで追加および削除できますが、ホームページの DPM ソリューション カードの合計数は 1000 を超えることはできません。 i 注: sn_dpm.dpm_admin ロールを使用すると、ホームページで DPM システムプロパティの制限を 1000 を超えるソリューションに変更できます。ただし、制限を増やすと、システムのパフォーマンスに悪影響を与える可能性があります。 Configure the Digital Portfolio Management experience sn_dpm.dpm_admin ロールを持つユーザーは、次のことができます。 - 以下で使用可能なアイテムタイプ DPMを表示または非表示にして、ユーザーエクスペリエンスを設定します。 - サービス - テクニカルサービス - ビジネスサービス - アプリケーションサービス - サービスオフリング - ビジネスアプリケーション - 利用可能なアイテムタイプテーブルを更新して、ホームページと個人ポートフォリオでソリューションタイプを表示 DPM または非表示にします。ソリューションタイプの例は、<code>cmdb_ci_service</code> <code>cmdb_ci_business_app</code>および です。 i 注: ソリューションタイプが非表示の場合、そのソリューションは次の DPM領域から省略されます。 - 自動生成されたソリューションカードの結果。 - アイテムの追加と削除のカスタマイズオプション。 - しきい値更新時のステータス条件を設定します。 - ページがフィルターされます。 View business application details [実行] タブの KPI グループブレイクダウンリストで、ビジネスアプリケーションのすべてのアプリケーションサービスを確認します。リストには最大 10 個のアプリケーションサービスが表示されますが、ページをめくってさらに詳しく表示することもできます。リストには、ビジネスアプリケーションによってマッピング (または継承) された、最も低い順序の KPI グループの KPI が表示されます。 Copy a KPI group to create a new KPI group in Digital Portfolio Management

アプリケーションまたは機能	詳細
	に DPM 既存の KPI グループをコピーして、新しい KPI グループを作成します。KPI グループのすべてのレコードとマッピングもコピーされます。KPI グループをコピーした後、新しいグループがニーズに最も合うように、KPI グループのすべての側面を変更できます。 Configure Digital Portfolio Management to integrate with Process Mining プロセスマイニングを使用して DPM、ソリューションの KPI のステータスを確認し、必要に応じて調整します。for プロセスマイニングには、インシデント、問題、変更、および要求に関するデータをマイニングするためのプロジェクトテンプレートが付属しています。DPMsn_dpm.dpm_admin ロールを使用して、以下で DPM 有効にしますプロセスマイニング。 • ストアから ServiceNow ITSM プロセスマイニング Content Pack をインストールする。 • システムプロパティ <code>sn_dpm.enable.po.dpm</code> を <code>true</code> に設定します。
Visa の異議申し立てルールコンテンツパック	意思決定ツリー ビザ固有の質問を含む意思決定ツリーを導入します。この機能により、システムはユーザーの応答を分析して異議申し立て理由コードを判断できます。 チャージバック適格性 Visa チャージバック適格性ルールの構成を有効にする意思決定テーブルを導入します。この機能では、特定された理由コードと異議申し立てデータを考慮して、チャージバックの適格性を判断します。
Document Intelligence	データ抽出用の描画ツール 描画ツールを使用してドキュメント領域を選択し、情報を抽出することで、テーブルからデータを簡単に抽出できます。
ドキュメントサービス	ドキュメントのデジタル署名 スマートカードを使用したデジタル署名用のドキュメントテンプレートと署名ワークフローを定義します。さまざまな参加者が署名する自動入力ドキュメントを生成して送信します。
ドキュメントテンプレート	テンプレートの日付形式 エージェントがドキュメントをプレビューするとき、添付ファイルを生成するとき、または参加者のドキュメントタスクを開始するときに日付を表示する形式を選択します。 テンプレートの言語 エージェントがドキュメントをプレビューするとき、添付ファイルを生成するとき、または参加者のドキュメントタ

アプリケーションまたは機能	詳細
	スクを開始するときに動的トークンを翻訳する言語を指定します。 Document template scripts スクリプトを使用して、HTML テンプレート内の動的トークンを目的の言語に翻訳します。 ドキュメントテンプレートとスマートカードアプリケーションを使用したデジタル署名との統合 デジタル署名を使用して、ドキュメント署名エクスペリエンスをシームレスにし、個人 ID 検証 (PIV) または Common Access Card (CAC) カードを使用して手動による介入を排除します。
EMR Help	Creating requests within your EMR ポータルを使用して、EMR Help EMR システムを離れることなくヘルスケアケースを作成します。
ESG Management	包括的なESGレポートのためのナラティブ開示 と統合 Microsoft 365 for ServiceNow Reporting して、管理されたナラティブ開示を作成します。開示のタイプごとに事前定義されたテンプレートを追加します。開示をローカルで維持するか、簡単にアクセスできるようにクラウドサービス Microsoft OneDrive にリンクするかを選択できます。開示のコラボレーションとレビューを有効にします。開示で使用されている測定基準を追跡し、測定基準の変更を監視しながら、タイムリーな再記述を発行する通知を受信します。 [IT フットプリント] タブで強化された持続可能な IT ダッシュボード ダッシュボードの 持続可能な IT [IT フットプリント] タブに移動すると、データセンターやオフィスビルなどの二酸化炭素排出量を示すグローバルマップが表示されます。このマップは、最もエネルギー効率の高い施設をハイライト表示します。 計算済み測定基準の定義の計算用に拡張された式ビルダー 計算済み測定基準の定義で式ビルダーを使用して式を構築し、測定基準の定義レベルまたはエンティティレベルのいずれかで構築することができます。式を入力して編集し、レビューすることができます。Microsoft Excel スプレッドシートに保存されている式を計算済み測定基準の定義に直接インポートすることもできます。このインポートは、計算を実行するための式をすばやく構築するのに役立ちます。 ESG リスクを評価するための Advanced Risk アセスメントとの統合 ESG リスク管理機能を使用して、ビジネスの ESG リスクを評価および評価します。この機能は、Advanced Risk アセスメントとの統合 ESG Management であり、定性的および定量的リスクアセスメント方法の両方をサポートしています。この統合により、エンティティベースのリスクアセスメントと重要なトピックのリスクアセスメントが可能に

アプリケーションまたは機能	詳細
	なり、エンティティのリスクスコアがロールアップされます。ESG リスク管理アプリケーションでは、いくつかの新しいロールも追加されます。 拡張測定基準データテーブル 測定基準データテーブルが拡張され、完全な測定基準の定義名が表示されるようになりました。
従業員センター	News articles 従業員は、アプリを使用して Now Mobile モバイルデバイスでニュース記事を表示します。 デフォルトでホームページに表示され 従業員センター、ページネーションを表示するオプションが含まれているニュースフィードウィジェットを使用します。コンテンツマネージャーまたは管理者は、ニュースフィードウィジェットと注目のニュースウィジェットを設定して、ニュース記事をタイルレイアウトで表示できます。 コンテンツマネージャーまたは管理者は、ニュース記事を 1 つ以上のカテゴリ (従業員の福利厚生や業界の最新情報など) に関連付けます。従業員はカテゴリ別にニュース記事を表示できます。 Add content destination コンテンツ配信先での公開期間を設定し、コンテンツマネージャーが公開場所に基づいてコンテンツを利用できる期間を選択できるようにします。 Rich Content Editor リッチコンテンツとニュース記事を作成するときは、次の新機能を使用します。 • HTML および CSS ソースコードの編集 • ワンクリックでコンテンツのキャンバス全体をクリア • セルの境界線の色、幅、およびスタイルを構成する • 画像とビデオの水平配置の構成 • 箇条書きリスト • 番号付きリスト • アコーディオンリスト Video hosting integrations framework ストリーミングサービスのビデオを使用して、リッチコンテンツとニュース記事を作成します。さらに、セキュリティで保護されたビデオへのアクセスを承認し、使用可能なビデオのサムネイルやループや自動再生を有効にするチェックボックスなど、コンテンツマネージャーに役立つインターフェイス要素を構成できます。 Create campaign stages (bundles) using Content Experience Builder

アプリケーションまたは機能	詳細
	次の新しい構成オプションを使用します。 • [ユーザーを含める] フィールドでは、キャンペーンマネージャーが対象者を指定できます。 • [頻度] フィールドには [1 回] オプションが含まれています。 Approvals in Now Mobile 機能の承認エクスペリエンス Now Mobile を使用して、次のことを行います。 • アプリの [自分のタスク] Now Mobile の下にある 1 か所からすべての承認タスクにアクセスできます。 • タスクの詳細を表示して、要求を承認または却下します。 Workday approvals in Now Mobile アプリのすべての承認 Workday タスクにアクセスします。タスク Now Mobile を承認または却下するか、ポータルに移動します Workday 。 Integrated experience and service feedback 従業員エクスペリエンスのフィードバックを使用して、ユーザーエクスペリエンスとサービスエクスペリエンスに関するユーザーからのフィードバックをすばやく収集します。 Quick start tests for Employee Center 新しいアプリケーションまたは統合をアップグレードして展開したら、クイックスタートテストを実行して、従業員センター 期待どおりに機能していることを確認します。従業員センター をカスタマイズした場合は、クイックスタートテストをコピーし、カスタマイズのために設定します。
暗号化キー管理	PostgreSQL データベースのサポート クラウド暗号化のために、プライマリ、セカンダリ、読み取りレプリカ、ゲートウェイ (シャード)、および論理破壊保護 (LCP) データベースの PostgreSQL データベースをサポートします。LCP データベースは、読み取りレプリカデータベースの一種です。 コード署名フレームワーク内の信頼できるタイムスタンプ タイムスタンプ付きの Key Management Framework (KMF) 署名 [sn_kmf_record_signature] レコードを使用して署名が発行されたタイミングを表示します。 エージェント間の資格情報共有用の再利用可能なキー API 認証用のクライアント側の非対称キーペアを構成します。再利用可能なキー機能を使用すると、すべての概念暗号化モジュールは、クライアント側で生成され、それぞれの公開キーでラップされた、任意の時点でアクティブな概念キーを 1 つだけ持っています。 3DES 廃止の簡素化されたプロセス

アプリケーションまたは機能	詳細
	3DES の廃止について改善されたユーザーインターフェースのガイダンスを使用して、GlideEncrypter を削除します。Security Center の重要な更新アプリ内で、3DES の完全および部分的な廃止に関する情報を確認し、3DES を廃止する前に影響を受けるすべての従来の password2 フィールドを表示できます。 コード署名のためのプロパティ駆動型マルチレイヤー呼び出し元検査 セキュリティを向上させるために、ECC キュー公証中に検証する発信者レイヤーの数を増やします。以降 Washington DC、検証される呼び出し元レイヤーの数はシステムプロパティによって決まります。 ServiceNow の信頼の基点 (ROT) と独自の ROT の切り替え 信頼の基点 (ROT) と独自の ROT を ServiceNow 切り替えます。
Enterprise Asset Management	資産の総所有コストを理解して分析する 総コストに初期資本コストが含まれる資産の総所有コスト (TCO) を追跡することで、リソースを効率的に管理します。また、コストを経費カテゴリ別に分類し、各棒をデータソースとする縦棒グラフ形式で比較レポートを表示することもできます。棒グラフのセグメントをクリックすると、各資産の経費が資産名別にグループ化されて表示されます。 を使用したタスクの管理 ServiceNow モバイルエージェント application アプリケーションを使用して、自分と自分のグループにアサインされたすべての作業指示タスクを表示および管理します ServiceNow モバイルエージェント。たとえば、次のタスクを実行できます。 • グループタスクを自分に割り当てる • タスクの完了に要した時間を記録する • 部品要件の処理 • 資産アクションの管理 • ナレッジ記事へのアクセス 資産フォームでの資産の階層とタスクの詳細の表示 の Enterprise Asset ワークスペースコンテキストサイドバーで資産の階層の詳細を直接可視化します。最大 3 レベルの資産階層をツリー形式で表示し、資産のすべての子を展開して表示できます。資産とその子に関連付けられたタスクを表示することもできます。 一元的な場所からすべての管理タスクを実行する に簡単にアクセスできるように、の管理センター Enterprise Asset ワークスペース を使用して、すべての管理タスクを実行します。リスクと TCO の構成、モデルカテ

アプリケーションまたは機能	詳細
	ゴリとリニア資産タイプの作成、モデルと資産の一括インポートなどのタスクを実行します。 マルチアセットオンボーディング Playbook を使用した複数の資産のオンボーディング  マルチアセットオンボーディング Playbook を使用して、複数の資産をすべて同時にオンボーディングします。Playbook の各アクティビティを完了すると、次のアクティビティに移動します。すべてのアクティビティを完了すると、複数の資産が正常にオンボーディングされます。 直感的な Procurement ビューを使用した調達の詳細の表示および管理  調達関連の要求を追跡し、の Procurement ビュー Enterprise Asset ワークスペースを使用して発注書を簡単に管理できます。 作業管理ワークフローを簡素化して生産性を向上  作業指示書タスクの一括クローズ、部品要件の部分的な調達、および作業指示書テンプレートからのチェックリストテンプレートの作成を実行して、作業管理ワークフローを最適化します。 製品インスタンスを使用して組織の運用資産を管理します  運用資産、構成アイテム (CI)、インストールベースアイテム (IBI) クラスの論理グループである製品インスタンスとして資産を表すことにより、アプリケーションおよびワークフローのライフサイクル全体を通じて エンタープライズ資産管理 資産を管理します。
Event Management	Team-based integrations in Event Management  チームレベルでコネクタの所有権とルールの実行を確保し、一貫性と階層を維持しながら、チームに柔軟性とカスタマイズオプションを提供します。 統合の所有権と構成アイテム (CI) の所有権に基づいてアラートの割り当てを自動化し、統合システムを担当する適切なチームメンバーにアラートがルーティングされるようにします。 Event forwarding  本番環境を変更することなく、非本番環境の 1 つの ServiceNow インスタンスから他のインスタンスにイベントを転送するため、イベント処理テストのライフサイクルを短縮できます。
Field Service Management	スケジュール最適化機能  Schedule Optimization 次のタスクを実行するために使用します。

アプリケーションまたは機能	詳細
	• エージェントが長いバッチ処理期間にわたって複数のテリトリーを担当する可能性がある、複雑なマルチテリトリーの割り当てをスケジュールします。 • エージェントが単一または複数のテリトリーのプライマリメンバーであるかセカンダリメンバーであるかに関係なく、エージェントにタスクをアサインします。 • エージェントのキャパシティまたは作業タイプを定義して、タスクスケジューリングを最適化します。 • 単一のエージェントが同じ日内または異なるシフトにまたがって複数のテリトリを処理する必要がある場合に、よりスムーズな日中運用と効率的なリソース割り当てを提供します。 • ポリシーを作成するときは、「以前のシフトへのアサインを最大化」、「最も優先度の高いタスク開始時間の最小化」、「SLA 違反の最小化」などの新しい目標を使用します。 • バッチおよび日内スケジューリングの改善された構成プロセスを使用します。これにより、必要に応じて特定の構成を維持しながら、両方のタイプに共通の設定が提供されます。このプロセスを使用すると、重複を排除し、効率的なセットアップを確保できます。 • スケジュールの精度と遵守率を向上させ、2 つの新しいシステムプロパティが日中で実行されている場合のスケジュールの変更も削減します。 ディスパッチャークワークスペースの機能 次のタスクを実行するために使用します ディスパッチャークワークスペース。 • スケジューリング条件の変更に応じて、ディスパッチャーが 1 日中実行 Schedule Optimization できるようにします。 • テリトリーメンバーシップに基づいてクルーを作成します。 • カレンダービューでテリトリー別の請負会社のキャパシティを表示します。 • テリトリー内での対応可能性別にカレンダー上のエージェントを表示します。 • 予約やスケジュールした電話など、作業指示以外の理由でエージェントが利用できないときにエージェントが表示するパーソナルイベント フィールドサービス を作成します。 • カレンダーに表示される時間を 15 分、30 分、45 分、または 60 分の時間間隔に変更します。 • 作業指示タスクについて話し合うメッセージをエージェントに送信します。

アプリケーションまたは機能	詳細
	• カレンダーの予定を一括更新して時間を節約します。 • 優先倉庫またはアサイン先グループから 1 つ以上の部品を調達し、それを個人の倉庫に転送することで、作業指示タスクを迅速に完了することができます。 旅行見積もりのための Beans.ai マップ統合 動的スケジュールリング、ルート最適化、手動タスクアサイン、およびエージェント到着予定時刻の移動時間の見積もりには、新しいマッププロバイダーである beans.ai を使用します。 テリトリー計画機能 テリトリー計画を使用して、次のタスクを実行します。 • テリトリー固有のクルーを作成して、テリトリー管理、タスクスケジュールリング、およびリソース割り当てを簡素化します。 • 複合地理機能を使用して複数の地域を 1 つのテリトリーにリンクすると、複雑なエリアの表現が簡素化され、データ管理の柔軟性が向上します。 • リソースを正確に割り当てられるように、内部エージェントと請負業者のテリトリー、カスタマイズされた時間範囲、タスク、およびエージェントスケジュールを管理します。 請負業者マーケットプレイス ディスパッチャーが専用の請負業者マーケットプレイスにタスクを投稿できるように フィールドサービス し、熟練労働者を持つ請負業者会社がコスト見積もりとその可用性を提供できます。ディスパッチャーは、資格のある請負業者と話し、タスクに最適な請負業者を選択できます。 Now Assist for Field Service Management (FSM) 作業指示タスクを要約するために使用します FSM の Now Assist 。 • 作業指示タスクの任意のステータス中に作業指示タスクサマリーを作成して、進捗状況を追跡します。 • モバイルアプリケーションでタスクを完了するときにタスククローズの概要を作成して、後で参照できるようにメモを提供します。 週の始まりの予約 週の最初の日またはデフォルトの日曜日以外の日に予約を開始できるようにします。 タスクイニシエーターロール 作業指示書のイニシエーターが、ドラフトステータスの作業指示書を新しいタスクイニシエーターロールで認定できるようにします。

アプリケーションまたは機能	詳細
	タスクイニシエーターロールを持つユーザーは、ドラフトステータスの作業指示書またはタスクに対して次のアクションを実行できます。 • 作業指示書テンプレートの適用 • 作業指示タスクの追加または変更 • 部品要件の追加または変更 部品を予約するためのモバイルエクスペリエンスの強化 部品要求を履行または調達するときの部品の可用性に応じて、部品をパーソナル倉庫で予約するか、別の倉庫から調達するかを選択します。 リニア資産のサポート 作業指示のイニシエーターまたは認定者が次のアクションを実行できるようにします。 • サービスの場所マップで線形資産ジオメトリを表示し、作業場所を特定します。 • マップインターフェイスでリニア資産ジオメトリを表示し、リニア資産の開始場所と終了場所を選択して、サービスの場所を作成できるようにします。 リニア資産検査タスクで作業するときに、エージェントが次のアクションを実行できるようにします。 • リニア資産の開始場所と終了場所の詳細を確認します。 • マップインターフェイスで資産の開始場所と終了場所を特定します。リニア資産で開始日と作業コンテキストが強調表示されている必要があります。 • 作業が必要なさまざまなリニア資産セグメントを調べます。 • リニア資産またはセグメント上の正確なポイント位置で作業指示タスクを作成します。 で部品を提案 予測インテリジェンス ソリューションを使用して、作業指示書タスクに必要な部品の自動提案を活用します 予測インテリジェンス。 人員機能 コンテキストサイドパネルに作業指示タスクのタスクとアクションの説明を表示します。新しいイベントのデフォルトの開始時間と終了時間を [Event Management] タブで直接設定します。
Financial Services Card Operations	User experience enhancements in dispute agent workspace 拡張されたワークスペースを使用すると、異議申し立てエージェントは異議申し立てされたトランザクションの詳細な概要をレビューできます。アップグレードされたインターフェイスにより、エージェントはケースの進行を把握し、別のセクションに移動することなく同じページでフォームを

アプリケーションまたは機能	詳細
	更新できます。さらに、エージェントはさまざまなタブでさまざまなアクティビティの詳細を開くことで、効果的にマルチタスクを実行できます。
Financial Services Operations の Visa との統合	VROL システムでのクレームの登録  [トランザクションからケースを作成] サブフローを実行して、Visa Resolve Online (VROL) システムで異議申し立てケースを生成します。 トランザクション照会 (TI) または既存のケースから異議申し立てケースを開始する  [トランザクションまたはケースから異議申し立てを開始 (Initiate Dispute from Transaction or Case)] サブフローを実行して、トランザクション照会 (TI) または既存のケースのいずれかから、VROL システムでクレームケースの作成を開始します。 VROL ユーザーに異議申し立てアンケートの送信または保存を許可  異議申し立てアンケートの送信サブフローを実行して、VROL システム内の特定の異議申し立ての異議申し立てアンケートを送信または保存します。
フローデザイナー	作図ビューでの注釈のサポート  作図ビューで注釈を追加および編集します。 フロー実行の詳細に対するコンテンツのフィルタリング  コンテンツフィルタリングルールを使用して、フロー実行の詳細内の機密コンテンツへのアクセスを制限します。 Create an action input from a step input  ステップ入力のデータタイプに基づいてアクション入力を作成します。ステップ入力値を新しいアクション入力にマッピングします。 Exit Loop flow logic  If フローロジックの条件が満たされたら、フローロジックループを終了します。フローロジックループの後の次のステップからフローの実行を続行します。このフローロジックはブレークとも呼ばれます。 FDIH Dashboard  過去 14 日間のフローの平均実行時間と最大実行時間を表示します。傾向データを使用して、予期せず実行されているフローを特定します。 Flow generation  生成 AI で複数ステップのフローアウトラインを作成します。フローアウトラインには、入力値とデータ参照を追加するための構成が必要です。 Go back to flow logic  フロー内の前のステップに戻り、一連のアクションを繰り返します。

アプリケーションまたは機能	詳細
	プロアクティブ分析トリガー  インジケーターを使用して パフォーマンスアナリティクス フローを開始します。フロー開始条件を一連のプロアクティブ分析 KPI スコアと KPI しきい値として定義します。 編集時にフローを自動的に保存  フローデザイナー は、作業中のフローを自動的に保存します。フローデザイナー フローの編集集中に [保存] ボタンが表示されなくなりました。 Skip Iteration flow logic  If フローロジックの条件が満たされた場合、フローロジックループの現在の反復をスキップします。リスト内の次のアイテムを使用してフローロジックループの実行を続行します。このフローロジックは、続行とも呼ばれます。 ダイアグラムビューでサポートを試す  作図ビューで Try フローロジックを追加して構成します。 元に戻す/やり直しのサポート  フローの編集集中に行った変更を元に戻します。元に戻した変更をやり直します。フローデザイナー はフローの編集集中にのみ変更を追跡します。 デフォルトの Flow Designer ビューのユーザー初期設定  フロー図作成ビューをデフォルトの フローデザイナー ビューとして設定します。
生成 AI コントローラー	大きな入力の再帰的な要約  大規模な言語モデル (LLM) には、要求ごとのトークンの最大数があります。再帰的な要約では、大きな入力を小さな断片に分割し、それらの断片を要約してから、それらを再結合して元の呼び出しを行います。このプロセスにより、LLM に要求を送信するときに重要なコンテキストが失われるのを防ぎ、幻覚を減らしてより正確な応答を得ることができます。
Hardware Asset Management 10.0.0	成功ポータルを通じて Hardware Asset Management アプリケーションの成熟度を測定する  の [成功ポータル] ビューハードウェア資産ワークスペースを使用して、組織内のアプリケーションの成熟度を測定し、価値リターンハードウェア資産管理を向上させます。効率的に使用 ハードウェア資産管理 するために重点を置く必要がある機能を視覚化、識別、およびレポートできます。 資産の総所有コストを理解して分析する  資産の総所有コスト (TCO) を追跡することで、リソースを効率的に管理します。総コストには初期資本コストと運用コストが含まれます。 改善 ハードウェア資産管理 (HAM) カスタムモデルカテゴリのライセンス方法  カスタムモデルカテゴリを、ライセンス可能でオプトインされたリソースカテゴリにリンクされている親モデルカ

アプリケーションまたは機能	詳細
	カテゴリに関連付けることにより、機能とワークフローにアクセスします ハードウェア資産管理。ITAM ライセンスレポートには、ライセンス可能およびオプトインされたリソースのカテゴリに関連付けられているすべてのカスタムモデルカテゴリが表示されます。ライセンス可能な親モデルカテゴリに関連付けられていないカスタムモデルカテゴリは、ワークフローと機能にアクセスでき ハードウェア資産管理 ません。 から受領した資産保証の詳細の表示と追跡 Lenovo から Lenovo 受け取った保証情報に基づいてハードウェア資産を管理します。ハードウェア資産に関連付けられた保証の詳細を資産フォームで直接表示できます。の [資産運用] ビュー ハードウェア資産ワークスペース を使用して、一元的な場所からすべての保証を表示することもできます。保証の有効期限が近づいているハードウェア資産を追跡し、必要なアクションを実行することもできます。 ハードウェア製品の TRM ラifecycleフェーズを可視化し、未承認製品を管理する TRM ラifecycleフェーズの詳細を使用して、組織内のハードウェア製品を効率的に管理します。これらの詳細により、組織で使用されているいずれかのハードウェア製品が TRM に含まれていないかどうか、または使用が承認されていないかどうかを確認できます。 製品インスタンスを使用して組織の運用資産を管理します 運用資産、構成アイテム (CI)、インストールベースアイテム (IBI) クラスの論理グループである製品インスタンスとして資産を表すことで、アプリケーションおよびワークフローの ハードウェア資産管理 Lifecycle全体 を通じて資産を管理します。一意の製品インスタンス識別子 (PID) は、既存の関連資産、CI、および IBI クラスをリンクします。製品インスタンスでは、資産、CI、および IBI クラスのステータスフィールドが同期されます。
健全性ログ分析	スケール ヘルスログアナリティクス ログ取り込みの増加をサポートするため 高度なServiceNowインフラストラクチャを使用して、スケーラブルで安定した方法でログデータをヘルスログアナリティクスストリーミングします。新しいアーキテクチャでは、認証とログの取り込みに Cloud Services の IT Operations Management (ITOM) キューイング テクノロジーを活用します。 AI エンジン、ヘルスログアナリティクス 組織によるログ取り込みの増加に応じて動的にスケーリングするように拡張されています。 新しいインフラストラクチャに切り替えるには、カタログまたはアカウントマネージャーを介してNow SupportServiceNowスケーリングリクエストを送信します。

アプリケーションまたは機能	詳細
Healthcare and Life Sciences Service Management Core	Case summarization using Now Assist  ケースレコードで選択したフィールドからサマリーを生成し、ワークスペース内のケースサマリーを使用してケースのコンテキストをすばやく把握します。
Hermes Messaging Service	セキュリティ設定の改善  へのセキュア接続 Hermes メッセージングサービス用の証明書を生成し、証明書を取り消し、Hermes メッセージングサービス 証明書ジェネレーターを使用して証明書に ACL を適用します。 トピックの名前空間の管理  を使用して、Kafka クラスターHermes メッセージングサービス内のHermesトピックの名前空間を作成、更新、および削除します。 トピックを管理  を使用して Hermes メッセージングサービスKafka クラスターでHermesトピックを作成、更新、および削除する。 トピックを再スキャン  インスタンス内のトピックレコードを、Kafka クラスター内の Hermes 自分に属するトピックと同期します。
ITOM クラウドアクセラレート	クラウドサービスカタログ (CSC) のガイド付き設定 CSC Guided Setup を使用して、Cloud Service Catalog の初期設定を段階的に実行します。プロセスは完了した内容を追跡するため、中断したところから停止して再開できます。 CSC アプリの機能 • すぐに使えるカタログ:クラウドサービスからの要求や自動化には、すぐに使えるさまざまなカタログを使用します。さらに、サポートされているすべてのクラウドプロバイダーに対して独自のカタログアイテムを公開することもできます。従来のカタログアイテムとカスタムカタログアイテムを CPG から Employee Center に公開することもできます。 ◦ Aws  すぐに使えるカタログ ◦ Azure  すぐに使えるカタログ • CSC クラウド サービス要求プロセス: 要求プロセスとページを使用して、クラウド サービスを注文します。 • スタック管理:自分のスタック管理ページを使用して、スタックを表示および操作します。 • リソース管理: [マイ リソース管理] ページを使用して、リソースを表示および操作します。

アプリケーションまたは機能	詳細
	- 統合: Azure DevOps CI/CD パイプライン統合または Ansible 統合を使用します。 - クラウドセットアップ: クラウドのセットアップには Microsoft Azure または AWS を使用します。
ITOM 健全性	拡張システムプロパティ  Agent Client Collector エージェントディスカバリー、自動 MID サーバー選択、エラーメッセージログの機能強化など、強化されたポリシー計算とフレームワーク設定のシステムプロパティを使用して、の動作を監視します。 チェックに追加された構成データファイル  インスタンスデータをエージェントと通信することで、Agent Client Collector でのデータ収集を強化します。構成データ・ファイルは、エージェントの関連する MID サーバー。 Kubernetes クラスター内のリソースの継続的な検出  インスタンスに資格情報を入力することなく、オンプレミス環境とクラウド環境に展開されたクラスター内の Kubernetes リソースをほぼリアルタイムで継続的に検出します ServiceNow。リソースの変更をインスタンスに迅速に報告し、構成管理データベース (CMDB) スケーリング ヘルスログアナリティクス ログ取り込みの増加をサポートするため  高度な ServiceNow インフラストラクチャを使用して、スケーラブルで安定した方法でログデータをストリーミングします。AI エンジン、ヘルスログアナリティクス 組織によるログ取り込みの増加に応じて動的にスケーリングするように拡張されています。
ITOM 可視性	ディスカバリーとサービスマッピングパターン  以下 ディスカバリーとサービスマッピングパターンを使用して検出機能を更新します。 - IBM WebSEAL Td  - Azure 可用性セット  - NetApp サーバーとクラスター  - ソフトウェア部品表の生成 [SBOM] - の自分のライセンスを使用する (BYOL) AWS, Azure, GCP  - データベース管理者 (DBA) レポート  - Citrix NetScaler ロードバランサー  - Microsoft SQL Server Integration Services (SSIS)  - SQL Server Analysis Services (SSAS)  - SAP Sybase ASE DB カタログ 

アプリケーションまたは機能	詳細
	毎週更新される新しいコンテンツでフレームワークを通じて、パターンを使用して検出されていないアプリケーションやデバイスを検出し、成長および発展途上のインフラストラクチャを可視化します。 Discovery CLI commands 中央集中型インターフェイスとベースシステムコマンドを使用して、ディスカバリーを実行します。 を使用したディスカバリーパターンの実行 Agent Client Collector の代わりにを使用して水平検出およびトップダウン検出 Agent Client CollectorMID サーバーを実行し、クライアントネットワーク上の CI にアクセスします。 トップダウンでのネットワークの場所と MID の親和性 ディスカバリー MID 親和性を使用して、ネットワークのアプリケーションサービスを作成するのに適した MID サーバー サービスを特定します。 Quick start tests for Service Mapping 新しいアプリケーションまたは統合のアップグレードと展開が完了したら、クイックスタートテストを実行して、サービスマッピング が想定どおりに機能していることを確認します。サービスマッピング をカスタマイズした場合は、クイックスタートテストをコピーし、カスタマイズのために設定します。
ITSM Mobile Agent	Enable Override do not disturb to receive critical alerts モバイルデバイスが応答不可モードのときに受信する重大なアラートのリストを有効にし、構成するために使用します ITSM モバイルエージェント。
ITSM Success Dashboard	Create an operational success dashboard リアルタイムの監視、分析、意思決定 ITSM サクセスダッシュボード にアクセスして、ITSM プロセスの効率と有効性を高めます。 ITSM Success Dashboard indicators KPI definitions and formulas Success Dashboard で の IT Service Management KPI 測定基準Now Assistを分析し、ITSM 実装のパフォーマンスを向上させるためのアクションを実行します。
ID と認証	アクセスアナライザー ServiceNow 管理者、開発者、およびサポートエージェント向けに設計されたセルフサービスツールである Access Analyzer V2 を使用して、ユーザーアクセスを比較し、に対するユーザーのNow Platform適切なアクセスレベルを決定します。

アプリケーションまたは機能	詳細
	i 重要: Access Analyzer は ServiceNow Store で利用できます。詳細については、ServiceNow Store を参照してください。 ID とアクセスの監査 ID およびアクセス監査を使用して、ユーザー、グループ、ロール、および ACL に加えられた変更を理解し、ユーザーアカウント、グループ、およびロールで誰が何を、どこで、いつ変更したかに関する重要な情報を理解します。 セッション検証コンテキスト 適応認証ポリシーフレームワークにセッション検証コンテキストを設定して認証要求を評価し、ポリシー条件として有効な範囲内の IP アドレスに基づいてアクセスを拒否または許可します。セッション検証コンテキストは、セッションまたは Cookie のハイジャックに対する追加の保護レイヤーを提供します。 Zero Trust アクセス - モバイル 適応認証ポリシー内のゼロトラストアクセス - セッションアクセスポリシーを使用して、モバイルの特定のセッションのロールまたは権限を減らします。 API キーと HMAC トークン 受信 REST API の API キーと HMAC トークンをサポートして、受信 Webhook URL を安全に認証します。 OAuth の JWT サポート OIDC ベースのシングルサインオンおよび OAuth ベースのアウトバウンド統合で、秘密鍵 JWT を使用した OAuth 2.0 クライアント認証をサポートします。 インバウンド統合の OAuth クライアント資格情報権限許可タイプ サードパーティ OAuth クライアントからプラットフォームへの ServiceNow インバウンド統合の OAuth クライアント資格情報権限許可タイプをサポートします。
Incident Management	インシデントタスクへの読み取りおよび書き込みアクセスのユーザーロール sn_incident_task_assigned_userロールを持つエージェントに、インシデントタスクレコードの読み取りおよび書き込み操作の権限を増やします。このロールに関連するベースシステム ACL を使用するには、ITSM ロールプラグイン (com.snc.itsm.roles) をインストールして有効にする必要があります。
Industrial Process Manager	機器モデルエンティティの親の変更 機器モデルエンティティを作成した後、1 つ以上の機器モデルエンティティレコードの親を更新します。 OT サブネットマッピングレコードにアクセスして編集するための追加の AMAZING ロール

アプリケーションまたは機能	詳細
	Amazing Reader (sn_ot_amazing_read)、Amazing Writer (sn_ot_amazing_write)、Amazing Admin (sn_ot_amazing_admin) のロールを割り当てて、OT サブネットマッピングレコードへのアクセス権を持ち、どのユーザーが OT サブネットマッピングレコードを編集できるかを制御します。 Owns::Owned by 関係 (sn_otsm.subnet_mapping.auto_assign_ot_control_modules) システムプロパティに基づいて、すべての OT コントロールモジュールを機器モデルエンティティに自動的にアサインします 🔗 OT コントロールモジュールと OT コントロールシステム (または拡張クラス) デバイスとの owns::owned by 関係に基づいて、機器モデルエンティティへの OT コントロールモジュールの自動アサインを有効にします。 ユーザー基準のセキュリティ モデル 🔗 ユーザー基準を作成して割り当て、新しいユーザー基準セキュリティモデルを使用して、サイトおよび機器モデルエンティティへのユーザーアクセスの表示と編集を制御します。サイト ユーザー構成からユーザー条件セキュリティ モデルに移行する場合は、ISAEntitySiteUser スクリプトが更新され、ISA ユーザー条件テーブルがクエリされ、既存のすべてのパブリック API に対してユーザー条件 API が呼び出されます。 注: ISA 設備階層モデルアプリケーションのバージョンが 1.0.12 より前の場合でも、ISA 設備階層モデルで利用可能なサイトユーザー構成を使用できます。
統合ハブ	Stream Connect for Apache Kafka の拡張 🔗 - Stream Connect メッセージレプリケーションを使用して、ローカル Apache Kafka 環境と ServiceNowの間でデータを複製します。Stream Connect メッセージレプリケーションを使用すると、サードパーティのレプリケーターは不要になり、インスタンスから ServiceNow メッセージのレプリケーションを管理できます。 - Stream Connect Message Replication を使用して、への接続に必要なHermes メッセージングサービスアクセス証明書を作成できるようにしますMID サーバー。はMID サーバー 必要な証明書を自動的に生成できるため、手動で構成する必要はありません。 - 更新された Kafka プロデューサステップ 🔗 を使用してメッセージを送信します。ドロップダウンリストからトピックを選択し、メッセージヘッダーの値を設定します。 OAuth 2.0 credentials 🔗 インスタンスの代わりに OAuth トークンの要求を送信する方法を介して MID サーバー、ファイアウォールの内側に存在するオンプレミスの ServiceNow サードパーティ OAuth 認証サーバーに接続します。この機能は、サード

アプリケーションまたは機能	詳細
	パーティ OAuth プロバイダーのアプリケーションレジストリを作成し、フォームで [権限許可タイプ] を [クライアント資格情報] に設定するときに使用できます。 多層呼び出し元検査によるコード署名のセキュリティ強化 コード署名機能は、レコードのマルチレイヤー呼び出し元検査によって強化されました。レコードまたはエンティティが ECC キューテーブルを更新する前に、複数のレイヤーが相互に呼び出すことができます。これで、各レイヤーに有効な証明書があり、MID Server がレコードまたはエンティティにアクセスする前に検証する必要があります。ServiceNowプラットフォームには、デフォルトで 3 つの問い合わせユーザーレイヤーを検査できるプロパティが用意されています。
CSM のインテリジェンス	Task Intelligence for Customer Service - ドキュメント分類子 📄 ドキュメント分類子機能を使用して、受信ドキュメントを適切なドキュメントタイプとして迅速に分類します。
Journey Designer	Manage Journey designer task updates in bulk 📄 類似のジャーニーの類似のタスクを 1 回のアクションで更新します。タスクは同じタイプで、同じタイプのジャーニーに含まれている必要があります。一括更新に使用できる現在のタスクタイプは次のとおりです。 • カタログアイテムの送信 [submit_catalog_item] • 注文ガイド [submit_order_guide] を送信 • 完了時にマーク [mark_when_complete] • 承認 [sysapproval.approver]
Localization Framework	翻訳要求用の新しいハブスポークモデル 受信した翻訳要求が一元化されたリソースに送信されるように、Localization Framework Hub プラグインを使用してハブインスタンスを構成し、Localization Framework スポークプラグインを使用してスポークインスタンスを構成します。翻訳履行者はハブインスタンスで翻訳を完了でき、それらの翻訳はスポークインスタンスにも適用されるため、翻訳ワークフローが簡素化されます。詳細については、「Localization Framework Hub and Spoke architecture 📄」を参照してください。 スコープ対象のアプリケーションの翻訳の作成 翻訳はデフォルトでグローバルスコープを使用することがなくなり、スコープ対象のアプリケーションで使用するユーザーエクスペリエンスをカスタマイズできます。 更新セットのあるインスタンス間で翻訳されたテキストを移動する スコープ翻訳のサポートにより、翻訳されたコンテンツを更新セットのあるインスタンス間で移動できるようになりました。詳細については、「Localization Framework

アプリケーションまたは機能	詳細
	Properties: Update Set Strategies 」を参照してください。
MID Server	OpenShift のコンテナ化された MID Server サポート Linux で OpenShift を使用してコンテナ化 MID サーバーします。対応する Linux Docker レシピが更新されました。コンテナ化された MID サーバー ものは、永続ストレージで既存の自動スケーリング機能を使用してルートレスで実行できます。
Manager Hub	Know your team's skills - 強力なスキルを持つチームメンバーと注意が必要なチームメンバーを表示します。 - チームメンバーが持つさまざまなスキルの概要、各スキルを持つ人数、およびチームメンバー別のスキルを取得します。 - 従業員が学習、成長計画、メンタリングなど、Employee Growth and Development が提供するさまざまなツールを使用して、新しいスキルを構築したり、既存のスキルギャップを埋めたりできるように支援します。
Mobile Platform	重大アラートの上書き モバイルデバイスをサイレントモードまたはサイレントモードに設定している場合でも、ユーザーに重要なアラートを送信します。 動的ポップアップ リアルタイムの条件に基づいて構成可能なポップアップを表示します。これらのポップアップは、ログインフェーズでも表示できます。たとえば、推定 3 時間の作業で新しいタスクを受け入れたが、作業シフトは 1 時間で終了する予定であることを示すポップアップをユーザーに表示します。 Zero Trust Access のサポート ゼロトラストアクセスにオプトインして、インスタンスへの ServiceNow エンドユーザーアクセスを制限します。これにより、IP アドレス、場所、ID プロバイダー属性などの要素に基づいて管理者が定義したセキュリティポリシーに従って、ユーザーのロールと権限が調整されます。 起動する追加のエントリーポイントのカスタムマップ画面のサポート 屋内ルート案内 モバイルの埋め込み Web ページまたはプッシュ通知からカスタムマップ画面を起動します。 モバイル解決メモの生成 モバイルで使用 Now Assist し、タスクレコードで提供された情報を使用して、関連する作業指示タスクを要約したクローズメモを生成します。 ServiceNow Store で入手可能な Mobile SDK

アプリケーションまたは機能	詳細
	ServiceNowモバイルソフトウェア開発キット (SDK) を使用すると、ユーザーは統合開発環境を使用してネイティブ iOS およびAndroidモバイルアプリを開発でき、モバイルアプリから既存のServiceNowデータとワークフローにアクセスできます。 モバイルアプリビルダー  に追加された モバイルアプリビルダー次の機能拡張を使用します。 • すべての Mobile Platform Washington DC 機能のサポート。 • 管理者がカスタムブランド化されたアプリを UI 内でMAB表示できるようにするための統合Mobile Publishing。 • 各モバイルアプリで使用される通知を表示するプッシュ通知管理カテゴリが追加されました。 • 適切な構成を簡素化するためのダウストリームレコードのテーブルフィールドの自動入力。 データビジュアライゼーションのユーザーエクスペリエンス  次の新機能を含む、アップグレードされたデータビジュアライゼーションユーザーエクスペリエンスを使用します。 • Web-UI とモバイルプラットフォームの両方に対して一元化された構成エクスペリエンス。 • チャートのビジュアライゼーションが強化され、円グラフのビジュアライゼーションが導入されました。 • 、インジケーター、ServiceNow ヘルスログアナリティクスServiceNow パフォーマンスアナリティクスカスタマイズされたデータソースを含むServiceNow ユーザーエクスペリエンスアナリティクス多くのデータソースとの互換性。 • 変数を使用してモバイルダッシュボードのルックアンドフィールをカスタマイズすることにより、ダークテーマを含むテーマ作成オプションを適用する機能。詳細については、これらのリリースノートの「アクセシビリティ情報」セクションを参照してください。 右から左に記述する言語のサポートにアラビア語が追加されました  ServiceNow モバイルアプリでは、右から左に記述する言語の表示がサポートされています。アラビア語は、ヘブライ語に加えて、右から左に記述する言語がサポートされています。テキストとビジュアルコンポーネントは、より一般的な左から右の配置を反映するために右から左に配置されます。 でのオフラインサポート Now Mobile アプリとカスタムアプリ  を使用して構築Mobile Publishingするカスタム アプリを含むServiceNow モバイルエージェント、Now Mobile、およびすべてのアプリのオフライン サポートを構成します。

アプリケーションまたは機能	詳細
	Now Assist for Mobile 仮想エージェント ネイティブモバイル仮想エージェントで使用する Now Assist、生成 AI を使用して、質問に対してより直接的で関連性の高い会話型の応答を提供します。
Natural Language Query	NLQ グローバル検索 この Washington DC リリースにより、自然言語クエリ英語検索のグローバル検索に統合できます。この機能を利用するには、Genius 結果で NLQ 検索エンジンとして使用する AI 検索ようにグローバル検索を構成する必要があります。 Now LLM フォールバック NLQ には、使用できるすべての場所に NLQ フォールバックが含まれています Now LLM。これは Now LLM クエリを解釈する第 2 の方法で、最初のルールベースの方法が失敗した場合に使用されます。この機能強化により、NLQ クエリの成功率が向上します。代替機能でサポートされている言語は英語のみです。 NLQ ログの出力ソース NLQ ログには、結果がどのように生成されたかを示す [出力ソース] フィールドが含まれています。詳細については、「View NLQ logs」を参照してください。
Next Experience	キーボード ショートカット 新しいキーボードショートカットを使用して、さまざまなタスクを完了するために必要な時間を短縮します。詳細については、以下の「アクセシビリティ情報」セクションを参照してください。 「表示するレコードがありません」グラフィックを非表示にできます 管理者は、新しいシステムプロパティ <code>glide.ui.polaris.style.hide_empty_list_image</code> と呼ばれるを使用して、レコードが見つからない場合に表示されるグラフィックを非表示にすることができます。この機能は、にのみ適用されます コア UI。 ヘルプセンターに追加された最新情報コンテンツ 現在、Help Center ヘルプと新機能の 2 つのタブが含まれています。[新機能] タブには、前回のリリース以降に追加または更新された機能が表示されます。[最新情報] コンテンツが利用可能になると、Help Center アイコンに青い点が表示されます。

アプリケーションまたは機能

詳細

Next Experience コンポーネント

コンポーネント

コンポーネント	説明
カラーセレクト	色の検索、選択、保存に使用できるカラーライブラリ。16 進数コード、RGB、および HSL 値が使用でき、カスタム色を使用できます。
関連アイテム	サイドパネルにカードとともに表示され、展開可能なアコーディオンに分類されたケースレコードに関連する情報。必要に応じて、ユーザーは、並べ替えおよびフィルター処理機能を備えた完全な機能のリストとしてデータを表示できます。
相対日時ピッカー	ユーザーが日付と時刻の範囲を選択できるようにするフォームコントロール。カレンダーに表示される日付範囲をカスタマイズするセクションが含まれています。

ページテンプレート

テンプレート	説明
公開モーダルの確認	ユーザーが記事を公開ナレッジベースできるようにするナレッジ管理ページテンプレートとして使用されるモーダル。
レコードページ(垂直)	グループ内のレコードページの関連リストと UI ページを管理するために使用されるページテンプレート。このページテンプレートには、複雑な構成を必要とせずにページを機能させるためのプリセット値が含まれています。
確認の廃止モーダル	ユーザーがナレッジベースから使用停止した記事を廃止し、代替記事を選択できるようにする ナレッジ管理 ページテンプレートとして使用されるモーダル。
標準リスト	レコードリストバンドルとサイズ変更可能なペインコンポーネントに含まれるリストメニューで構築されたページテンプレート。すべてに事前設定された構成値があります。ユーザーは、さまざまな形式でレコードをエクスポートし、カスタムリストを他のユーザーと共有できます。このページテンプレートで使用されるリストコントローラーには、構成可能なプロパティが含まれています。

アプリケーションまたは機能	詳細				
	バンドル <table> <tr> <th>バンドル</th><th>説明</th></tr> <tr> <td>レコードリスト</td><td>レコードリストバンドルは、リストヘッダー、リスト本文、およびページネーションコンポーネントを含むコンポーネントの組み合わせです。リストコンポーネントのこの新しいイテレーションには、事前設定された構成値とリストコントローラーが含まれています。</td></tr> </table>	バンドル	説明	レコードリスト	レコードリストバンドルは、リストヘッダー、リスト本文、およびページネーションコンポーネントを含むコンポーネントの組み合わせです。リストコンポーネントのこの新しいイテレーションには、事前設定された構成値とリストコントローラーが含まれています。
バンドル	説明				
レコードリスト	レコードリストバンドルは、リストヘッダー、リスト本文、およびページネーションコンポーネントを含むコンポーネントの組み合わせです。リストコンポーネントのこの新しいイテレーションには、事前設定された構成値とリストコントローラーが含まれています。				
Notifications	SMTP アカウントでのクライアント資格情報フローのサポート  クライアント資格情報フローを使用して、インスタンスで ServiceNow 送信メールの SMTP アカウントを設定します。 メールバウンス管理  既存の静的アクションでイベントパラメーターを使用して、プロバイダー通知でアクションをコンテンツに動的にリンクします。				
Now Assist	製品内のユーザーロールによって Now Assist スキルを制限する  フォームやワークスペースなど、製品内でスキルにアクセスできる Now Assist ユーザーに適用されるロールを指定します。指定されたロールのないユーザーはスキルを使用できません。このセキュリティ機能は、パネル内のスキルの実装と一致します Now Assist。 スキルの可用性に条件を追加する  スキルが利用可能になるタイミング Now Assist を製品内およびパネル内で定義します Now Assist。条件は、場所やケースをオープンしたユーザーなど、任意のフィールドと値に基づいて設定できるため、生成 AI の制限に準拠するのに役立ちます。 Assign the data steward role  専用ユーザーを選択して、インスタンスのデータ共有設定を決定します。				
Customer Service Management (CSM) 向け Now Assist	スキルの可用性に条件を追加する  ケースレコードのフィールドに条件を追加して、ケースのスキルと解決メモの要約がいつ利用可能になるかを決定します。 ユーザーロールによるスキルの可用性の制限  ケースの要約および解決メモの要約スキルにアクセスできるロールを指定します。				

アプリケーションまたは機能	詳細
Now Assist for HR Service Delivery (HRSD)	解決メモを生成  - 生成 AI を使用してケース解決メモを生成および更新します。解決メモには、ケースを解決するために実行された手順の概要が記載されています。 - 生成 AI が解決メモを自動的に生成するように、エージェントにケースに最低 200 語の単語を書き込むように要求します。 チャット履歴の要約を作成  チャットインタラクション中にエージェントがケースを作成するときに、生成 AI を使用して [簡単な 説明] フィールドと [説明] フィールドに情報を事前入力します。 [store-future: BEGIN review]ナレッジドラフト  [End] [store-future: BEGIN review]ケースレコードの説明に基づいてナレッジ記事のドラフトを作成します。生成 AI を使用して記事のコンテンツを生成すると、エージェントはユーザーの懸念事項に対処しながら、より効率的に執筆できます。[End] Summarize actions while transferring an HR case  ハンドオフまでのアクションを要約して、HR ケースを別のエージェントまたはアサイン先グループに転送します。たとえば、ケースが誤ってアサインされた場合や、別のエージェントやアサイン先グループによるトラブルシューティングが必要な場合、エージェントはケースを別のエージェントに転送できます。 Submit an HR request with Gen AI Virtual Agent  要求者がカタログアイテム要求 仮想エージェントを送信するときに、生成 AI に基づく合理化された会話エクスペリエンスを実現できるようにします。この生成 AI エクスペリエンスを提供することで、組織はセルフサービスを増やし、運用コストを削減できます。
On-Call Scheduling	Configure preferences for a user group  [週の最初の曜日] フィールドを使用して、グループに希望する週の開始日を選択します。以前は、この設定はシステム全体でのみ使用できました。 Enable users to subscribe to the On-Call calendar  SSO 資格情報を使用してオンコールカレンダーにログインして登録し、今後のオンコールローテーションに関する通知を受け取ります。 Track the progress of an escalation  [ライブエスカレーション追跡] ページの情報アイコン (ⓘ) を使用して、エスカレーションを委任したユーザーを表示します。

アプリケーションまたは機能	詳細
Operational Resilience	Roles installed with Operational Resilience 運用の継続性の観点からエンドツーエンドのビジネスサービスの対障害弾力性を追跡するには、(BCM) Professional ユーザー用に 事業継続性管理 作成された新しいロールセットを使用します。運用の継続性の観点からエンドツーエンドのビジネスサービスの回復性を追跡するには、Integrated Risk Management (IRM) Professional ユーザー用に作成された新しいロールセットを使用します。 さまざまなロールを持つペルソナに従ってレポートを表示します。アプリケーションのホームページにはOperational Resilience、BCMプロフェッショナルユーザーとプロフェッショナルIRMユーザーに対して別々のレポートが表示されます。 Fetching dependencies from the CMDB and BIA および BIA のソースとデータの関係 CMDB に基づいて、ビジネスサービスの依存関係マッピングを自動入力します。
Operational Technology Incident Management v2	Edit the related devices and equipment model entities in an incident record [影響を受ける OT デバイス] 関連リストおよび [影響を受ける機器モデルエンティティ] 関連リストの OT インシデントレコードで、複数の OT デバイスと機器モデルエンティティをそれぞれ追加または削除します。 OT インシデントレコードのアサインルールの作成 v2 の オペレーショナルテクノロジーインシデント管理 アサインルールを作成し、アサインルールでの定義に従って、OT インシデントを適切なグループまたはユーザーに自動的にアサインします。 Compose an email from an OT incident record レコードで利用可能な [メールの作成 (Compose Email)] ボタンを選択して、OT インシデントレコードから直接メールを作成します。件名フィールドには、レコード内のインシデント番号と簡単な説明が自動的に入力されます。
オペレーショナルテクノロジー向けナレッジ管理	Create an OT knowledge base OT ナレッジベースを作成して、OT ナレッジユーザーが OT インシデントに関するコンテンツを保存、共有、および管理するためのセルフサービスプラットフォームを提供します。 Create a knowledge article from an OT incident record OT インシデントレコードから直接ナレッジ記事を作成して、OT インシデントとその解決に関する情報を保存します。 Create a knowledge article in Industrial Workspace

アプリケーションまたは機能	詳細
	で 業種別 ワークスペース ナレッジ記事を作成し、OT インシデントに直接関連しないニーズとソリューションに記事のコンテンツをポイントできるようにします。 Report a knowledge gap from an OT incident record インシデントに関連するナレッジ記事が見つからない場合は、OT インシデントからナレッジギャップを報告します。 Approve requests to publish or retire a knowledge article ナレッジマネージャーとしてナレッジ記事の公開または廃止の要求を承認し、ナレッジベースを最新の状態に保ちます。 ナレッジギャップに関連するフィードバックタスクのアサイン ナレッジマネージャーとしてフィードバックタスクをアサインし、フィードバックタスクに対処し、関連するナレッジ記事が更新されるようにします。 Find information in the related knowledge articles for an OT incident コンテキストナレッジ記事を表示して、作業中のインシデントに関する情報と、適用可能な以前の解決策を見つけるのに役立ちます。
Operational Technology Manager	OT デバイスのランディングページタブ に追加された 業種別 ワークスペースOT デバイスのランディングページタブを使用して、マルチサイトおよび事業部門のフィルタリングで OT デバイスデータを追跡します。このランディングページタブは で パフォーマンスアナリティクス実行されるようになりました。 新しい OT デバイスのランディングページタブでのマルチサイトおよび事業部門のフィルタリングの実装 OT デバイスのランディングページで事業部門とサイトフィルターを使用して、特定の事業部門とサイトに基づいて表示されたデータをフィルタリングします。 IT を OT 機能に再アサインするための一括更新ルールセット [IT を OT に再割り当てするための一括更新ルールセット] 機能を使用して、IT ハードウェアを OT デバイスに自動的に変換します。
Operational Technology Vulnerability Response	OT 脆弱性ランディングページタブ の 業種別 ワークスペースOT 脆弱性ランディングページタブを使用して、マルチサイトおよび事業部門のフィルタリングで OT 脆弱性データを追跡します。このランディングページタブは で パフォーマンスアナリティクス実行されるようになりました。 OT 脆弱性ランディングページでのマルチサイトおよび事業部門のフィルタリングの実装

アプリケーションまたは機能	詳細
	[OT 脆弱性] ランディングページ タブの事業部門とサイト フィルターを使用して、特定の事業部門とサイトに基づいてデータをフィルタリングします。 Operational Technology Vulnerability Response (PA) ダッシュボード (PA) ダッシュボードを使用して Operational Technology Vulnerability Response、VI の初期分析と検出から封じ込めまたは修復までの OT 脆弱性一致アイテム (VI) のボリューム、パフォーマンス、および進捗状況を追跡します。
Order Management	注文タイムラインビュー ドメイン注文と注文タスクのステータスを示すガントチャートのタイムラインを表示し、注文タスク間の依存関係を示し、危険にさらされているタスクを特定します。 Product Catalog ナビゲーションおよび製品コンフィギュレーター SKUまたは製品コードごとに製品カタログを検索し、製品オファーをすばやく見つけます。エージェントは、製品コンフィギュレーターを使用することもできます。これは、カスタム注文と価格設定を構成するための合理化されたインターフェイスです。
Password Reset	ソフト PIN の有効期限設定が改善されました セキュリティで保護されたソフト PIN 登録のエクスペリエンスをユーザーに提供します。ソフト PIN 検証に登録している間、ソフト PIN の有効期限が切れる日数を表示できます。ソフト PIN をリセットする際、ユーザーはソフト PIN が準拠する必要があるルールを表示します。また、パスワードの有効期限が近づいたときに、ユーザーにメールと ServiceNow 仮想エージェント 通知が届きます。 パスワードリセット管理者は、パスワードの有効期限が切れる日数、パスワード有効期限リマインダーメールを送信する頻度、ソフト PIN の履歴ポリシーの設定など、ソフト PIN の有効期限を設定できます。 これらの設定は、以前のバージョンからアップグレード パスワードリセット した場合でも既定で有効になっています。 プロセスのセキュリティスコア パスワードリセット を表示する プロセスのセキュリティスコア パスワードリセット を表示します。スコアに基づいて、プロセスの構成が改善される可能性があるという通知を受け取ります。 プロセスの作成 パスワードリセット 中に、プロセスのセキュリティスコアを表示します。達成可能な最大スコアと現在のスコアの間に乖離がある場合は、構成を改善するための推奨事項のアクション可能なリストが記載されたメールが送信されます。プロセス構成が理想的かどうかを示す情報メッセージが表示されます。

アプリケーションまたは機能	詳細
	識別および検証手順の構成を評価します。構成の安全性が低い場合は、強度を向上させる方法に関するプロセスごとの実用的な提案を取得します。
プラットフォーム分析 エクスペリエンス	Platform Analytics エクスペリエンスへのダッシュボードの移行  すべてのダッシュボードを新しいエクスペリエンスに移行するか、プラットフォームアナリティクス ダッシュボードのサブセットをエクスペリエンスに移行します。この移行には、レポートやパフォーマンスアナリティクスウィジェットなどの他の分析アーティファクトが含まれますコア UI。 統一ナビゲーションでの Platform Analytics  ワークスペースでのみアクセスするのではなく、モジュールから通常の機能としてアクセス プラットフォームアナリティクス します 統一ナビゲーション プラットフォームアナリティクス 。メニューアイテムの可視性は、ユーザーに割り当てられているロールによって異なります。この機能は、すべてのダッシュボード プラットフォームアナリティクス をエクスペリエンスに移行した場合にのみ有効になります。 Proactive analytics insights on dashboards  自動化されたインサイトと、ダッシュボードカードを介してコンテキストに応じて配信される予測アラートを使用して意思決定を改善し、情報に基づいたタイムリーなアクションを簡単に実行できるようにします。履歴イベントと予測イベントの両方が表示されます。 プロアクティブ分析ワークフロートリガー  で フローデザイナー、プロアクティブな分析イベントによってトリガーされる自動ワークフローを作成します。 Pareto 可視化  降順の列と、各列の累積寄与率を示す線が上にある棒グラフを表示します。このチャート化を使用して、プロセス内の問題や結果の頻度を分析し、最も重要なものを表示します。
Playbook	ワークフロースタジオ  共有アクセスポイントから Playbook、フロー、サブフロー、アクション、および意思決定を構築および管理します。 再起動  Playbook 全体を再起動するか、特定のアクティビティまたはステージから再開します。 プロセスをキャンセルするためのロール  管理者は、pd_adminロールまたは親レコードへの書き込みアクセス権なしで実行中の Playbook をキャンセルできる新しいロールをユーザーに付与できます。 特定のユーザーとしてアクティビティを実行する  次を使用： フローデザイナー [実行方法] プロパティ  をクリックして、アクティビティを実行するロールを決定します。

アプリケーションまたは機能	詳細
	動的入力  動的入力を使用して、カタログ要求の送信などのユースケースのアクティビティで変数を返します。 自動化資産  自動化のみのアクティビティを追加するときは、アクティビティピッカーでアクション、サブフロー、またはフローを選択します。代わりにアクティビティ定義を作成します。 フォームビュー  の機能拡張 新しいワークフロースタジオタブでフォームビューForm Builderを表示および変更します。 Vancouver 24.2 リリース の 24.2 の機能を参照してください。 Vancouver プレイブック リリースノート  : • 意思決定アクティビティ  • アーカイブ・プロセス  • フィールドピッカー
Policy and Compliance Management	を使用したポリシーの作成 Google ドライブ  組織のポリシーを定期的に監視して修正し、その関連性とコンプライアンスを維持します。を使用すると Google ドライブ、ポリシー所有者、レビュー担当者、および承認者は、ポリシーテキストのさまざまなバージョンを作成、変更、および管理して、その履歴を保持できます。これらのユーザーは、ポリシーの起草およびレビュープロセスで共同作業を行うこともできます。ポリシーテキストは自動的に更新されます。テキストは、ドキュメントから HTML の [ポリシーテキスト] フィールドにコピーし、後で PDF 形式に変換できます。 Set up dynamic approval configuration on a policy record  ポリシーレコードで動的承認構成を設定します。承認構成レコードで、ポリシータイプ、ステータス、所有者などの動的条件の承認レベルを定義します。承認者タイプ、ソーステーブル、およびフィルター条件を選択して、各承認レベルの承認ルールを作成します。レッドラインが有効になっているポリシーで動的承認構成を設定することもできます。
Portfolio Planning	Financial planning for Projects and Demands  • 割り当てられた予算、合計最新コスト (EAC)、差異 (予算と EAC の差)、コストタイプ別の計画コストと現在までの実績のブレイクダウンなど、財務の詳細を表示するカスタマイズ可能なウィジェット。 • コストまたはベースラインの比較情報を Excel 形式または CSV 形式でエクスポートします。これらのファイルを使用すると、インスタンスにアクセスできない ServiceNow 場合でも、プロジェクトまたはデマンドの

アプリケーションまたは機能	詳細
	財務実績に関連するビジネスステークホルダーと共有できます。 - 経費ラインを作成して 、予測された計画コストに関連付けることなく、作業要件を満たす予定外コストをキャプチャします。 - 行コンテキストメニューアイコン (行 ) を使用してスコープ外されたコスト計画を削除し、財務を効率的に管理します。 - 列の表示/非表示、時間スコープの表示などに加えたカスタマイズを保持するためのユーザー初期設定を保存するためのエクスペリエンスが強化されました。 優先順位付けのリストビューからポートフォリオ計画アイテムのデータをエクスポート  [優先順位付け] タブ Microsoft のリストビューからポートフォリオ計画アイテムのデータを Excel ファイルまたは CSV ファイルにエクスポートして、データを共有したり、ビジネスステークホルダーと共同作業したりします。フィルターがビューに適用されると、フィルターされたデータがエクスポートされます。 優先順位付けの機能拡張  - 行コンテキストメニューアイコン (行コンテキストメニューアイコン) の [一番上に移動] および [一番下に移動] オプションをそれぞれ使用して、計画立案アイテムに最高ランクと最低ランクをアサインします  - 行コンテキストメニューアイコン (行 ) の [削除] オプションを使用して計画立案アイテムを削除します。
Privacy Management	Privacy Case Management  プライバシーケース管理プライバシー侵害と苦情を報告および管理できるアプリケーションを使用します。このソリューションは、報告された違反の根本原因と主な詳細の調査を支援するさまざまなチームとのコラボレーションを通じて、プライバシー侵害と苦情の効率的な管理を可能にします。 プライバシーケース管理 の統合: RadarFirst  プライバシーケース管理統合を利用してRadarFirstプライバシーインシデントリスクアセスメントを自動化し、明確で実行可能な通知義務を迅速に取得します。データ侵害は、プライバシーチームによって評価され、規制通知義務があるかどうかを理解し、所定の時間内に規制当局にインシデントを報告する必要があります。RadarFirst 違反に関連する規制通知義務を理解するのに役立ちます。 機能ドメイン  [機能ドメイン] フィールドを使用して、プライバシー機能ドメインに関連するデータを分離、関連付け、および表示します。[機能ドメイン] フィールドは、エンティティ、コ

アプリケーションまたは機能	詳細
	ントロール、コントロール目標、ポリシー、各種法令・基準等、引用、エンティティタイプ、エンティティクラス、問題などのフォームで使用できます。[機能ドメイン] フィールド機能を利用することで、各種法令・基準等およびポリシーでプライバシーを使用してコンテンツ参照を指定する必要がなくなりました。
Proactive Service Experience Workflows	Handling trouble ticket notifications  TMF エコシステムのルーブルチケットは、顧客から報告された問題、ネットワーク停止、またはその他の問題を追跡して解決するためのインシデントまたはケースです。トラブルチケットは、事後対応型または事前対応型のいずれかの方法で作成できます。顧客が好むメッセージングシステムに応じて、Hermes Kafka や Open Message Bus などのイベント駆動型アーキテクチャを通じて、これらのインシデントのステータスを外部システムに通知できます。
プロセスマイニング	プロジェクトビルダ導入 プロジェクト構成全体を明確に定義されたセクションに分割し、ガイドとして機能するコンテキスト情報を提供する包括的なプロジェクトビルダーセットアップを使用して、プロジェクト構成を作成および表示します。 分析している目標またはプロセスに類似したテンプレートを使用してプロジェクトを作成し、基本的な詳細を自動的に追加してプロセス を容易にします。 新しい自動検出検出器が導入されました  次の新しい自動検出検出機能に注意してください。 • 繰り返しパターン:ステップの不要な繰り返しシーケンスを検出します。 • 極端な期間:あるステップから別のステップに移行する一般的な時間範囲外にあるレコードを分析するための外れ値を識別します。 • 極端な繰り返し:外れ値を特定して、同じステップ内の一般的な繰り返しの範囲外にあるレコードを分析します。 • 遅い期間:レコードのクラスターの期間が類似しており、平均期間が他のレコードグループと比較して長い状況を識別します。この検出器は、特定されたクラスターの重要性の内訳も提供し、根本原因へのさらなる洞察を提供します。 Summary and Insights dashboard  • 改善の機会に関連するメモを直接キャプチャして共有する機能。メモには、すばやく共有できる改善の機会を参照するタグなどのコンテキスト情報が事前に入力されています。

アプリケーションまたは機能	詳細
	• メモ、CIM、自動化要求、保存されたフィルターセットなど、改善の機会に対して実行されたすべてのアクションを表示します。 • 焦点を絞ったプロジェクト測定基準ダッシュボードで、トレンドラインを通じてプロジェクトの効率 (完了までの平均期間) を経時的に追跡し、ヒストグラムを通じてプロセスの完了に要した時間に対するレコードの分布を追跡します。 Process Mining グラフの機能拡張 • 特定のノードから、前のステージから到着したすべてのレコードと次のステージに進むすべてのレコードの統計を表示できます。これにより、巨大なグラフの円弧スライダーとノードスライダーを調整することなく、レコードの即時の流入と流出を特定できます。 Process Mining ダッシュボード 個別ビューまたは複合ビューで、グラフをノードのノード星図に変換することにより、レコード(作業)の流入と流出の分析を表示します。構成されているダッシュボードのフィルターに従うことができます。ダッシュボードでトランジションフィルターを有効にして、グラフ上の特定のボトルネックをさらにドリルダウンします。 プロジェクトステータスをドラフト、公開、および廃止に設定する機能 プロジェクトのステータスを追跡して、より良いデータクリーンアップ戦略のためにプロジェクトのステータスを管理します。プロジェクトは、特に選択しない限り、非アクティブに基づいて自動的に廃止されます。 マイニングサマリーの導入 マイニング後、マイニングの失敗を分析および理解するための貴重なツールとして機能するサマリーを表示します。これには、エラーで終了した定義、ルール基準に一致しなかった定義、またはプロジェクトの範囲外の定義が含まれる可能性があります。 アクティビティ定義のドットウォークの導入 ドット連結フィールドをアクティビティ定義として有効にすることでプロセスグラフ分析の範囲を拡大し、プロセスで変更が発生したときに特定の参照フィールドのステータスを分析できるようにしました。 変更された複数のアクティビティのグループ化の導入 プロジェクトの複合アクティビティを設定することで、プロジェクトで変更されたフィールドの依存フィールドの値を自動的に更新します。この機能により、フィールドを手動で更新する必要がなくなります。 アーカイブされたデータをマイニングする機能 メイン (アクティブな) テーブルから頻繁に移動されるアーカイブされたデータテーブルにプロセスマイニングを適用

アプリケーションまたは機能	詳細
	して、巨大なデータのクエリパフォーマンスを有効にします。
製品カタログ管理と価格管理	製品カタログ 製品カタログ、製品属性、および製品画像に製品オファー階層と関連する価格設定がある、シンプルで構成可能な製品バンドルを定義します。製品カタログカテゴリを使用して、製品オフリングをカタログ内で整理します。 Product Catalog インターフェイス  カタログを参照してカテゴリ別に製品を検索するか、SKU、名前、または業界別製品コードでカタログで製品を検索します。 エンタイトルメントオフリング 製品オフリングに加えてエンタイトルメントオフリングを作成します。保証、延長保証、ライセンス、サブスクリプションなど、さまざまなエンタイトルメントサブタイプを定義します。また、サービス契約につながるエンタイトルメントオファーを設定することもできます。 製品コンフィギュレーター  顧客が要求した製品属性を選択するための直感的なインターフェイスを提供する製品コンフィギュレーターを使用して、販売見積もりと注文を構成します。エージェントが注文オプションを選択すると、価格が自動的に計算されます。製品カタログ管理者は、製品オファーの構成状態に応じて、インターフェイスに表示される構成オプションの編集と可視性を制御するルールを定義できます。 テンプレートが必要  エージェントが顧客の製品ニーズを判断し、営業機会に適切な製品推奨事項を取得するために使用するアンケートを含むテンプレートを作成します。 見積もりと注文の価格リストの選択 通貨に基づく既定の価格表を使用するか、顧客アカウントに基づく既定の価格表を設定して、特定の顧客に対して事前に交渉された価格を有効にします。 価格の延長 デフォルトの価格リストを上書きし、拡張ポイントを介してアクセスされる外部価格リストを使用します。 価格マトリクス 価格設定管理者が、適用される属性条件を制御する意思決定テーブルを使用して、属性ベースの価格戦略を作成できるようにします。
Project Portfolio Management	強化されたプロジェクト計画と管理  新しいインタラクティブな UI を使用してプロジェクトを計画および管理します。このリリース以降 Vancouver、新しいプロジェクトワークスペース. 詳細については、「プロ

アプリケーションまたは機能	詳細
	プロジェクトワークスペース リリースノート」を参照してください。 リソース割り当てを表示および管理するための新しいエクスペリエンス アプリケーションで次のレベルを体験リソース管理ServiceNow リソース管理ワークスペースしてください。これにより、リソースマネージャー専用の一元化されたワークスペースが提供され、リソースの割り当て済み、承認済み、または保留中の作業をすばやく表示し、リソース割り当て要求を管理できます。作業要求をフィルターして優先度を特定します。 リソース計画と運用リソース計画を属性ベースのリソースアサインに移行する プロジェクトとデマンドのリソース計画を属性ベースのリソースアサインに移行し、次を使用してリソース 割り当てを処理する プロジェクトワークスペース。 属性ベースのコスト計画へのコスト計画の移行 プロジェクトとデマンドのコスト計画をリソース計画とともに属性ベースの件費に迅速に移行し、を使用して作業Next Experienceプロジェクトワークスペースします。 エピックの件費の生成 エピックのリソース割り当てに基づいて件費を生成します。
プロジェクトワークスペース	Update the project details from Project Workspace [詳細] ページからプロジェクトの詳細に直接アクセスして変更するため、複数のビュー間を移動する必要がなくなります。 Update a resource assignment from Project Workspace ロールアップおよびロールダウンプロセスを使用して、グループと子リソースのアサイン間でステータス変更を調整し、リソースのアサインワークフローを最適化します。 ナビゲーションエクスペリエンスの最適化 [ホーム] アイコンを選択すると表示されるリストを使用して、[計画]、[詳細]、[RIDAC]、および [財務] へのアクセスと管理を行います。このリストはレベル 2 (L2) メニューとも呼ばれ、1 つの場所からナビゲーション エクスペリエンスを最適化します。 プロジェクトの財務計画立案 • 割り当てられた予算、合計最新コスト (EAC)、差異 (予算と EAC の差)、計画コストとコストタイプ別の現在までの実績のブレイクダウンなど、財務の詳細を表示するためのカスタマイズ可能なウィジェット。 • プロジェクトのコストまたはベースラインの比較情報を Excel 形式または CSV 形式でエクスポートします。インスタンスにアクセスできない場合でも ServiceNow、こ

アプリケーションまたは機能	詳細
	これらのファイルを使用して、プロジェクトの財務実績を関連するビジネスステークホルダーと共有します。 - 経費ラインを作成して 、プロジェクト要件を満たすための予定外コストを、計画コストに関連付けずにキャプチャします。 - 行コンテキストメニュー (行 ) を使用してスコープ外されたコスト計画を削除し、財務を効率的に管理します。 - Financials with Sourcing and Procurement Operations のデータ連携ソリューションを使用して、プロジェクトの購買要求とその経費を表示、追跡、およびリンクします。 - 列の表示/非表示、時間スコープの表示などに加えたカスタマイズを保持するためのユーザー初期設定を保存するためのエクスペリエンスが強化されました。
Public Sector Digital Services	他の人の代わりにライセンスと許可申請書を提出する  アプリケーション プロキシ機能を使用して、他のユーザーの代わりにライセンスと許可アプリケーションを準備します。構成員またはビジネス連絡先は、受益者またはその他の関係者 (登録ユーザーのみ) を検索し、進行中のアプリケーションにリンクする権限のある担当者として機能します。エージェントは、認可済み担当者によって開始されたアプリケーションを作成および処理できます。また、他の登録済みユーザーをケースにリンクすることもできます。 でライセンスと許可のデジタルコピーを作成する ライセンスと許可プレイブック  発行されたライセンスまたは許可 ライセンスと許可プレイブック 証のデジタルコピーを直接作成し、受領済みアイテムレコードに添付して、印刷、メール送信、および要求者と共有できるようにします。 仮想エージェントを使用したライセンスと許可要求の送信  構成員とビジネスオーナーが、次のようなサポートされているチャットおよびメッセージングチャネル Engagement Messenger で実行される構築済みの仮想エージェント ライセンスまたは許可要求会話トピックを使用して、ライセンスと許可要求を送信できるようにします。 でのライセンスまたは許可要求に必要な追加の検査の要求 ライセンスと許可プレイブック  申請者が検査に合格してライセンスまたは許可を受けるために必要な変更を加えることができるように、エージェントは最初の検査の結果を確認した後に追加の検査を要求できます。エージェントは、の [結果を記録] アクティビティ ライセンスと許可プレイブックを使用して、各ラウンドの検査結果を記録できます。
見積管理	見積もり作成  顧客が購入を希望する製品やサービスの正式なオファーである販売見積もりを作成します。見積もりの作成中に、営業

アプリケーションまたは機能	詳細
	エージェントはを使用して 製品コンフィギュレータ製品オプションを構成し、価格を調整できます。 見積もりリビジョン 顧客の要件や好みの変更を反映するために、見積もりの複数のバージョンを生成して表示します。エージェントは、リビジョンを確認して見積もり履歴を追跡できます。 見積もりからの注文の生成 顧客の承認後に、アクティブな見積もりを製品注文に変換します。
Regulatory Change Management	Create the regulatory event alerts manually で規制イベントアラート ワークスペース を手動で作成し、適切な該当分野の専門家にルーティングしてさらに分析できるようにします。 Import the regulatory event alerts in bulk ワークスペースに独自の規制イベントアラートを設定します。その後、アプリケーションでアラートを一括 規制変更管理 でインポートできます。アラートをインポートするには、データ値を書式設定、整理、および入力されている Excel ベースのインポートテンプレートを使用します。
リソース管理ワークスペース	リソースカードを作成 リソースカードを作成して、カスタム永続ポートフォリオ間のリソースアサインを作成、ナビゲート、および処理します。 未アサインタスクのフィルタリング 未アサインタスクをフィルタリングすることで、優先度の高いアイテムのリソースのアサインを効率的に処理できます。 リソース割り当てとヒートマップモダルを表示するための新しいアイコン リソース割り当ての不均衡アイコン () を使用して、過剰に割り当てられたリソースの概要を把握します。 リソース割り当てアイコン (リソース ) を使用して、使用可能な帯域幅内で割り当てられたリソースを特定します。 ヒートマップモダルを使用して、リソースにアサインされたタスクと割り当ての詳細のリストを表示します。
Robotic Process Automation (RPA) Hub	Embedded Task Automation in RPA Hub フォーム、Playbook、ワークスペースなどから ServiceNow 、有人ボットプロセス (有人自動化とも呼ばれます) をトリガーします。 フォームから ServiceNow このボットプロセスをトリガーするには、有人ボットプロセスフォームの [アクセス] セクションで [埋め込みタスクの自動化を有効にする (Enable

アプリケーションまたは機能	詳細
	Embedded Task Automation]] チェックボックスをオンにします。このチェックボックスをオンにすると、[ボットプロセス] フォームで [プロセスフィールドパラメーター] と [有人の構成] の 2 つの追加タブを使用できるようになります。ボットプロセスフォームの詳細については、「」を参照してください Bot Process form in RPA Hub。 [プロセスフィールドパラメーター] タブで、ボットプロセスで使用する動的パラメーターを作成します。プロセスフィールドパラメーターは、特定のフォームの値を設定したり、フィールド値を取得したりするために使用されます。プロセスフィールドパラメーターの作成の詳細については、を参照してください Create a process field parameter in RPA Hub。[有人構成] メニューの [パラメーターの作成] ボタンを選択して、[フィールドパラメーターマッピング] タブから パラメーター を作成することもできます。詳細については、「Map a table field to a bot process field parameter in RPA Hub」を参照してください。 RPA Hubワークスペースで、有人構成レコードを作成します。有人構成レコードの作成の詳細については、「」を参照してください Create an attended configuration record in RPA Hub。 [フィールドパラメーターマッピング] タブで、フォームフィールドを自動化で使用するプロセスフィールドパラメーターにマッピングします。このプロセスにより、ボットプロセスの実行中に簡単なデータフローが可能になります。フィールドパラメーターのマッピングの詳細については、以下を参照してください Map a table field to a bot process field parameter in RPA Hub。 有人構成レコードをアクティブ化して、有人ボットプロセスをトリガーします。詳細については、「Activate an attended configuration record in RPA Hub」を参照してください。 埋め込みタスク自動化の新しいコンポーネント]] 次の 4 つの新しいコンポーネントが の新しい [フォーム] セクション RPA デスクトップデザインスタジオに追加されます。これらのコンポーネントは、[ツールボックス] ペインの新しいカテゴリで使用できます ServiceNow。 • AttendedConfigurations コンポーネント:単一の自動化プロジェクトで自動化の実行を分離し、呼び出されたアクションに従ってそれぞれのロジックを呼び出します。詳細については、「Use the AttendedConfigurations component」を参照してください。 • GetProcessFieldParameters コンポーネント:でRPA Hub対応する有人構成レコードのフィールドパラメーターマッピングに関連付けられているフォームフィールドの値をServiceNowフェッチします。詳細については、「Use the GetProcessFieldParameters component」を参照してください。

アプリケーションまたは機能	詳細
	• GetRecordContextID コンポーネント:自動化がトリガーされるフォームsys_id ServiceNow 現在のレコードをフェッチします。詳細については、「Use the GetRecordContextID component」を参照してください。 • SetProcessFieldParameters コンポーネント:の対応する有人構成レコードのRPA Hubフィールドパラメーターマッピングに関連付けられているフォームフィールドの値ServiceNowを更新します。詳細については、「Use the SetProcessFieldParameters component」を参照してください。 External credential vault in RPA Hub では RPA Hub、外部資格情報ボールドからロボット資格情報、アプリケーション資格情報、または時間に基づくワンタイムパスワード (TOTP) シードを取得できます。 に RPA Hub 外部資格情報ボールドレコードを作成し、ロボットがさらに使用できるように外部資格情報ボールドに登録します。詳細については、「Create an external credential vault record in RPA Hub」を参照してください。 新しい [外部資格情報] チェックボックスは、資格情報セットフォーム、アプリケーション資格情報フォーム、および TOTP 認証システムフォームで使用できます。このチェックボックスをオンにすると、設定された外部資格情報ボールドから資格情報または TOTP シードがフェッチされます。TOTP 認証システムフォームでチェックボックスがオンになっている場合、シードは構成済みの外部資格情報ボールドからフェッチされます。これらのフォームの詳細については、Create an application credential set in RPA Hub および Create a TOTP authenticator in RPA Hub を参照してください Create a credential set within a bot process。 アプリケーション資格情報レコードの [外部資格情報] チェックボックスがオンになっている場合、の SetApplicationCredential コンポーネント RPA デスクトップデザインスタジオ は資格情報を設定せず、エラーを表示します。SetApplicationCredential コンポーネントの詳細については、「」を参照してください Use the SetApplicationCredential component。 トピックに記載されている Steps to configure an external credential vault in RPA Hub 手順を使用して、で外部資格情報ボールド RPA Hubを構成するすべてのタスクを順を追って実行します。 フラットファイルへのプロセス実行データの格納 では RPA Hub、出力タイプを、ロボットマシンで生成される実行ログのフラットファイルとして設定できます。

アプリケーションまたは機能	詳細
	[ボットプロセス] フォームで、[ログ設定 (Log Settings)] セクションの [出力タイプ] フィールドから実行ログファイルの出力 タイプ を選択します。このフィールドは、[実行ログの追跡] オプションを選択し、[ストレージ] フィールドから [ロボットマシン] を選択すると表示されます。 フラットファイルの場所は、有人ロボットまたは無人ロボットをインストールしたマシンの Users \&lt;Userprofile>\ServiceNow RPA Logs\executionlogs \{InstanceName}\.archive\{ProcessJob number} です。 フラットファイルのサイズが 10 MB を超えると、複数のフラットファイルに分割され、自動化が実行されるまでファイル名にログシーケンスが追加されます。フラットファイルでは、で [機密データとしてマーク]RPA デスクトップデザインスタジオとして選択したコンポーネントまたはメソッドの入力ポートまたは出力ポートのデータは記録されません。 新規 フローデザイナー アクションとサブフロー で フローデザイナー次の新しいアクションとサブフローを呼び出します。 • ボットプロセスのライフサイクルステータスステータスの変更 廃止されていないボットプロセスのライフサイクルステータスを変更するアクション。 • 処理の停止 ボットプロセスを停止するためのアクションおよび プロセスの停止 サブフロー。ボットプロセスでロボットプールオプションが有効になっている場合、プールにアサインされているすべてのロボットが停止します。グレースフルストップが有効になっている場合、ロボットは自動化をスムーズに終了できます。グレースフルストップは、ロボットプールオプションが有効になっているボットプロセスには適用されません。 Universal App Connector レベルでいずれかの画面メソッドを待機します ではRPA デスクトップデザインスタジオ、[グローバルオブジェクト (Global Objects)] ペインの下にある Universal App コネクタオブジェクトをダブルクリックすると、[オブジェクトエクスプローラー (Object Explorer)] ペインに WaitForAnyScreen メソッドが表示されます。 WaitForAnyScreen メソッドは、指定した期間内のアプリケーション画面を検索し、その画面を有効にしてコントロールを別のメソッドに渡すことができます。メソッドに順序で表示される複数のアプリケーション画面を設定できます。WaitForAnyScreen メソッドは、画面一致ルールを照合して、最初のアプリケーション画面から始まる画面を見つけようとします。メソッドで画面が見つからない場合は、順番の次の画面が検索されます。ただし、メソッドが画面を見つけた場合は実行を完了し、順序の次の画面には進みません。メソッドが指定された期間内に画面を見つけられない

アプリケーションまたは機能	詳細
	場合は、オプションで有効にして、ELSE ポートを介してコントロールを別のコンポーネントに渡すことができます。 SetPassword メソッド では RPA デスクトップデザインスタジオ、SetPassword メソッドは、Web ベース、Java、または Windows アプリケーションのパスワードフィールドにパスワードを安全に入力することを自動化します。パスワードを SECURE STRING 型として受け入れ、パスワードフィールドに入力します。 SimulateMouseEvent メソッド では RPA デスクトップデザインスタジオ、SimulateMouseEvent メソッドは、Web ベースのアプリケーション上の要素に対するマウス イベントのシミュレーションを自動化します。たとえば、ボタンの右クリック マウス イベントを自動化してコンテキスト メニューを開きます。マウス イベントが発生する画面要素には、事前に HTML で定義されたマウス イベントが必要です。このメソッドは、マウス イベントとマウス ボタンの種類の一覧をサポートします。 コネクタの IEnumerable データ型ポート IEnumerable 入力データ型を使用すると、メソッドで配列、配列リスト、およびリストを受け取ることができます。この入力データタイプポートは、複数のコネクタで使用できます。 Universal App Connector はシャドウ DOM 要素をサポート Web アプリケーションがシャドウ DOM を使用する場合、Universal App Connector の XPath ロケーターと CssSelector ロケーターには、シャドウ DOM 要素を含む完全な XPath と CSS パスが表示されます。
セキュリティセンター	Customer Actions 重要な更新の期日が来るタイムラインを表示して、それに応じて計画し優先順位を付けることができますようにします。 Implement steps for customer actions インスタンス内で重要な更新を実装する方法に関する明確なステップバイステップのガイダンスを表示します。 View Customer Actions アクティビティを表示して、更新に関連するすべてのログ (各ステップまたは更新のコメント、指示、および作業メモ) を確認します。
Security Incident Response	Major Security Incident Management 電話会議を通じて顧客やピアエージェントとコラボレーションし、Zoom または Webex を使用して顧客の問題を解決 Microsoft Teams します。通話後のチャット、録音、参加者情報をキャプチャすることもできます。 Flow-based Playbooks

アプリケーションまたは機能	詳細
	を使用して、手動または文書化されていない Playbook から、自動化された反復可能な Playbook に簡単に移行できます。では、次の新しい Playbook フローデザイナーがサポートされるようになりました。セキュリティインシデントレスポンス • Playbook for Office 365 - Malicious File Detected • Playbook for Repeat Detection • Playbook for Spoofed Emails (using the same Display name) • Playbook for Endpoint Detection • Playbook for Possible Password Spray • Playbook for T1003 - Detect Credential Dumping Tools • Playbook for Email Domain Spoofing Detection • Playbook for Typo Squatted Domain • Playbook for Credential Sniffing • Playbook for T1070 - Windows Events Logs Cleared • Playbook for OSquery of External Address in /etc/hosts file • Playbook for User Deleting Bash History - Cloud • Playbook for Successful VPN Attempts from the Service Accounts - Corp/Cloud • Playbook for Attempted Access to Deactivated Accounts • Playbook for T1003 - Defense Evasion - Mimikatz DCShadow • Playbook for T1003 - Credential Dumping - Mimikatz DCSync • Playbook for Okta User Login Failures from Multiple IPs • Playbook for ModSec Brute force by IP Burst セキュリティインシデントレスポンス は次の機能をサポートするようになりました。 • MTTR (平均修理時間) をキャプチャするためのセキュリティインシデントの使用状況と定義の測定基準。 • 子セキュリティインシデントのインシデントの事後レビュー (PIR) レポートの生成を有効または無効にします。 Security Incident Response Workspace

アプリケーションまたは機能	詳細
	これで セキュリティインシデントレスポンスワークスペース、で次のタスクを実行できます。 • スキャン要求の監視 • セキュリティインシデントをリスクイベントとして報告します。リスクイベントはリスク管理チームによって追跡されます • セキュリティインシデントのカスタマーサービスケースを作成します。このケースは、Customer Service Management (CSM) チームが追跡します Activate and configure the VirusTotal integration 統合時にユーザーのプライバシーを保護するために、脅威をルックアップするためのハッシュとして URL を送信します。
Security Posture Control	ポリシー 資産とクラウド資産 (AWS のみ) を監視して、不足しているエンドポイント保護エージェント、管理されていないデバイス、脆弱性がスキャンされていないデバイス、および提供されたポリシーを持つ脆弱性との重要な組み合わせを探します。 • 資産メタデータ、セキュリティツール構成データ、および脆弱性に基づいてカスタムポリシーを定義し、内部セキュリティ標準への資産のコンプライアンスを監視します。 • ポリシーを連鎖させて、階層カテゴリの資産を監視できるようにします。 • ポリシーの CMDB CI クラスのカスタムフィールドを使用して資産をフィルタリングします。 • 他のポリシーに一致する資産、または (IRM) で Integrated Risk Management 承認された例外がある資産を監査および監視から除外します。 Service Graph Connector このアプリケーションは、企業内のさまざまなセキュリティおよび IT ツール用の 31 の Service Graph Connector をサポートしており、資産データをインポートおよび統合して、セキュリティ体制に関するインサイトを提供します。 主要なインサイトとカスタムインサイト カスタムインサイトを作成して、資産のセキュリティ体制とセキュリティツールの範囲に関する重要な測定基準を監視します。
CSM のセルフサービスとオムニチャネルエンゲージメント	Playbooks for Portals エージェントと同様のプロセスベースのエクスペリエンスで新規ケースを作成するためのサービスポータルで (CSM) Playbook を顧客に カスタマーサービス管理 (CSM) 提供します。顧客は、Service Portal でケースを表示するときに

アプリケーションまたは機能	詳細
	エンドツーエンドのケースライフサイクルをビジュアル化し、ケースプロセスのコンテキストで処理待ちのタスクを表示して処理できます。 セルフサービスによるオンボーディング  顧客はセルフサービスガイド付き要求を作成し、自分のペースでケースを送信して後で作業を続け、新しい プレイブック (PAD) プロセスであるセルフサービスによるオンボーディングを通じてケースの進捗状況を追跡できます。 チャットのフォントサイズを設定  顧客とのチャットで表示されるチャットヘッダーとチャット本文の 仮想エージェント フォントサイズ (通常、中、大) を変更します。管理者は、チャットのチャット構成を適用する前に、プレビューセクションでフォントサイズをリアルタイムでプレビューできます 仮想エージェント。 次の新しいウィジェットが利用可能な Configurable Portal ウィジェットに追加されました。 - ポータルオブジェクトウィジェット:レコードのsys_idに基づいて情報を表示するウィジェットに、レコードのクイックアクションと重要な情報を表示します。 - ポータル分類トピックウィジェット:第 1 レベルの分類トピックをウィジェットにカードとして表示します。ユーザーがこれらのカードにアクセスすると、分類トピックに関連するナレッジ記事とカタログアイテムを表示するページにリダイレクトされます。 Set up Engagement Messenger  ケースマネジメント、、、 ナレッジAI 検索仮想エージェントライブエージェントチャットなどのセルフサービス機能をモバイルアプリケーションで拡張します。 Tiny MCE エディターの新しいツール Tiny MCE エディタの次の新しいツールは、ケースの会話ビューに表示されるリッチコンテンツのサポートを強化します。 - 元に戻す - やり直し - フォントの色 - テキストの強調表示 - インデント - インデントを減らす - ハイパーリンク - リンクを解除 - テーブル - イメージ - コードサンプル

アプリケーションまたは機能	詳細
	Amazon Connect 向け Advanced Work Assignment (AWA) 音声ルーティング  からAmazon Connect 発信された音声通話をルーティングするために使用します高度なワークアサインメント。 Consumer Service Portal メニューへの統一されたコンシューマープロファイルアクセス 外部 (snc_external) と内部 (snc_internal) の両方のユーザーロールを含む、統一されたコンシューマー機能による統合プロファイルは、Consumer Service Portal のすべてのメニューへのアクセスを提供します。以前は、特定のメニューへのアクセスは、ユーザープロファイルに外部ロールと内部ロールのどちらがあるかに依存していました。
Service Bridge	トランスポート診断によるエラー処理  最近のトランザクションのエラーを追跡し、接続ステータスを提供し、健全性チェックを実行し、推奨事項を提供します。 リモートレコードプロデューサーの変数セットのサポート  リモートレコードプロデューサーで変数セットと複数行の変数セットを使用して、複数のカタログアイテムで再利用できる変数のコレクションを作成します。
Service Builder	Next Experience UI  Next Experienceで他のアプリケーションNow Platformと一致するServiceNow色、フォント、およびナビゲーションを更新するには、のテーマサービスビルダーを使用します。 Service Builder approval flow  サービスまたはサービスオフリングの作成中または編集中に [キャンセル] オプションを使用して、レコードに加えた変更をキャンセルします。サービスまたはオフリングの編集または作成中に [保存] を選択すると、ドラフトファイルへの編集内容が保存されます。[キャンセル] を選択すると、次の処理が行われます。 • ドラフトレコードに加えられたすべての編集内容を含めて、ドラフトのサービスまたはオフリングレコードが削除されます。 • サービスまたはオフリングがチェックインされ、変更は実装されません。[オフリングの管理] ステップには、「公開済み」ステータスのオフリングが表示されます。 • 承認フローはトリガーされません。
Service Catalog	カタログアイテムフォームを下書きとして保存  カタログアイテム要求者が、ServiceNow® 従業員センターServiceNow サービスポータルNow Mobileポータル

アプリケーションまたは機能	詳細
	やアプリなどのカタログアイテムフォームのドラフトを保存できるようにします。 要求者は、長いフォームや、レコードを送信するのに十分な情報がないがフォームを破棄したくない要求者などの状況に遭遇したときに、ドラフトを保存できます。ドラフトを保存して、中断したところから編集を開始できます。要求者は、新しい [ドラフト] タブの [自分の要求] ウィジェットから、保存されたドラフトにアクセスできます。 カタログアイテムの質問の値の設定  カタログアイテムの質問に対するカタログ UI ポリシーアクションで、スクリプトを必要とせずに値を設定します。質問に設定した値は、指定した条件が満たされたときに表示されます。値は、の Now Platform カatalog UI ポリシーアクションの使用、およびカタログビルダーの動的な動作の使用を使用して設定できます。 たとえば、会社の電話を注文するカタログアイテムで、選択したストレージサイズが 1 TB の場合、使用可能な唯一のオプションであるため、色を自動的に黒に設定することができます。スクリプトを記述せずにこの動作を設定できるようになりました。 カタログアイテムの質問のフィールドメッセージを設定する  カタログアイテムの質問にフィールドメッセージをスクリプトなしで設定します。フィールドメッセージは、指定された条件が満たされたときに役に立つテキストとして質問の下に表示されます。フィールドメッセージは、の Now Platform カatalog UI ポリシーアクションおよびカタログビルダーの動的な動作を使用して設定できます。 たとえば、選択したタイプが [詳細] の場合に、読むラップトップの質問のタイプに警告メッセージを表示するように設定できます。高度なラップトップには部門長の承認が必要です。
Service Graph Connector Integration for Claroty CTD	Service Graph Connector Integration for Claroty CTD のトラブルシューティング  の検証のためにジョブスケジュールを実行し、結果を確認して、の「Service Graph Connector for Claroty CTD のトラブルシューティング」セクション ガイド付きセottoアップのオプションの手順を使用して問題をトラブルシューティングします。 Class/Type システムプロパティ  クラス/タイプシステムプロパティ (<code>filter.asset_type_code</code>) を使用して、クラスまたはタイプに基づくレコードを Claroty CTD からインポートします。 Purdue Level システムプロパティ  Purdue Level システムプロパティ (<code>filter.asset_purdue_level</code>) を使用して、Purdue レ

アプリケーションまたは機能	詳細
	ベルに基づくレコードを Claroty CTD からインポートします。 オペレーティング システム (OS) に基づく分類をオフにします 利用可能なスクリプトで選択を変更して、ネットワーク機器とモノのインターネット (IoT) デバイスとその拡張クラスの OS に基づく分類をオフにします。
IoT 用 Microsoft Defender 向けサービスマニファースト (Azure)	Service Graph Connector for Microsoft Defender for IoT (Azure) のトラブルシューティング の検証のためにジョブスケジュールを実行し、結果を確認して、の「Service Graph Connector for Microsoft Defender for IoT (Azure) のトラブルシューティング」セクション ガイド付きセットアップのオプションの手順を使用して問題をトラブルシューティングします。 システムプロパティのデバイスインポート時にセンサー ID を小文字に変換する センサー ID の値を小文字に変更し、システムプロパティを使用することで <i>Convert Sensor Names to lowercase during Devices Import</i> (<code>sn_msftd4iotazsgc.convert_sensor_names_to_lowercase</code>) インポートプロセスの問題を回避します。 インポート中に特定のデバイスをフィルタリングする システムのプロパティの [デバイスインポートのフィルター構成] セクションを使用して、インポートするデバイスのタイプを制御します。 コントロールモジュールのインポートのサポート コントロールモジュールクラスを持つデバイスをに CMDB インポートし、コントロールモジュールの追加クラスマッピングを使用します。 追加のクラスマッピング 次の追加のクラスマッピングを使用して、より多くのデバイスをサポートします。 • ストレージ • 無線アクセスポイント • DB サーバー • IP電話 • マルチキャスト/ブロードキャスト • ターミナル駅 • ドアコントロールパネル • IP カメラ
Service Portal	ゲストユーザーがアクセスする公開ウィジェットの保護

アプリケーションまたは機能	詳細
	ウィジェットがゲストユーザーのデータにアクセスして返すことができるテーブルを指定して、テーブル入力パラメーターを受け入れる公開ウィジェットを保護します。 すべてのポータル通知を一度に閉じる [すべてクリア] を選択して個別に閉じるのではなく、すべての通知を一度に閉じます。ポータル管理者は、<code>glide.service-portal.notification.threshold</code> システム プロパティを使用して、[すべてクリア] オプションを表示する前に表示する必要がある通知の数を設定できます。デフォルト値は 5 です。
サイドバー	パートナーの提案 サイドバー 既存の会話で顧客の問題の解決に役立つ可能性がある参加者のリストを表示します。
Skills Intelligence	スキルインテリジェンス Guided Setup ガイド付き設定を使用して会社のジョブアーキテクチャを効率的にセットアップします スキルインテリジェンス。詳細については、「」を参照してください。 スキルインテリジェンス ランディング ページ ランディングページのアクション可能なインサイト スキルインテリジェンス を使用して、スキルと会社のジョブアーキテクチャのどの部分に注意が必要に注意してください。詳細については、「Skills Intelligence Workspace」を参照してください。 スキルインテリジェンスワークスペース スキルと会社のジョブアーキテクチャ関連データ (スキル、ジョブ、ロールなど) に 1 つの場所からアクセスできます。スキルマトリクスを使用して、ロールグループのロールレベルのスキルと習熟度をすばやく表示および変更できます。詳細については、「Skills Intelligence Workspace」を参照してください。 カスタムスキルのオンボーディング 組織に固有のスキルを特定し、ServiceNow インスタンスにインポートします。重複の削除、関連スキルの特定、新規スキルの追加など、スキルのバッチ処理方法に関する提案を取得します。詳細については、「Bring in skills through Skills import」を参照してください。
Software Asset Management	自分の成熟度を測定する ソフトウェア資産管理 Success Portal を介したアプリケーション Success Portal ダッシュボードを使用して、組織内のアプリケーションの成熟度を測定し、価値リターン ソフトウェア資産管理 を改善します。効率的に使用 ソフトウェア資産管理 するために重点を置く必要がある機能を視覚化、識別、およびレポートできます。 すべてのアプリケーションの使用状況を完全に可視化 SaaS applications

アプリケーションまたは機能	詳細
	ブラウザを介してアクセスされ、(DEX)製品内でServiceNow デジタルエンドユーザーエクスペリエンス設定されたすべての有料または無料のSaaSアプリケーションを検出して管理します。ブラウザーアクティビティからのシャドウ分析レポートで、これらのアプリケーションにアクセスするすべてのユーザーを表示することで、SaaS シャドウ IT 支出をより効果的に管理します。このレポートには、これらのアプリケーションの使用状況と、各アプリケーションが使用された期間も表示されます。 すべての Okta ユーザーのライセンスを管理 ユーザーのサブスクリプションを作成して、ユーザーライセンスOktaを管理しますOkta。 統合 Salesforce Marketing Cloud OAuth 2.0 資格情報の使用 OAuth 2.0 資格情報を使用して統合 Salesforce Marketing Cloud し、メールと SMS の連絡先数を表示します。 の資格情報セットアップの簡素化 Adobe OAuth サーバー間資格情報を使用した統合 OAuth 資格情報を使用してサービスをインスタンスと統合Adobe Cloudすることで、ServiceNow資格情報のセットアッププロセスを簡素化します。は、サービスアカウント (JWT) 資格情報から OAuth サーバー間資格情報に移行しています。Adobe詳細については、Adobe 移行ガイド。 ライセンス使用状況ビューの読みやすさを向上させるには、次を段階的に実装します。 ソフトウェア資産管理 最初に管理する少数のソフトウェア製品だけに焦点を当てて、フェーズごとの ソフトウェア資産管理 実装を実行します。進捗状況を評価することで、実装過程を徐々に立ち上げることができます。このアプローチにより、[ライセンス使用状況] ビューの煩雑さを軽減し、現在の実装フェーズの一部であるソフトウェア製品についてのみレポートすることができます。 管理 Red Hat コアベースのライセンス製品とその消費を追跡 ソフトウェア資産管理 のパブリッシャーパック Red Hat Enterprise Linux (RHEL) 製品およびRed Hat Enterprise Linux for Virtual Datacenters製品のコアベースのライセンスポジションRHELを管理します。コアベースのライセンス測定基準を使用すると、ホストレベルで権限消費の正確な測定を追跡できます。 のライセンスコンプライアンスの確認 Microsoft Windows 上のサーバー Azure 新しいライセンスルールに従って Microsoft BYOL サポートあり 改善された BYOL サポートを活用して、ライセンスコンプライアンスを評価し、上の Server と SQL Server Azureに必要なMicrosoft Windows修正措置を実装します。このプロセスにより、の Azure ライセンス コンプライ

アプリケーションまたは機能	詳細
	Ansible による Microsoft 最新のライセンス ルールの変更と一致していることを確認できます。 でのソフトウェアとそのライセンスタイプの検出 Google Cloud Platform (GCP) BYOL サポートの使用 Server および SQL Server の Microsoft Windows 拡張 BYOL サポートを使用して、ソフトウェアとソフトウェアのライセンスタイプを検出します GCP。の追加サポート GCP により、オンプレミスとクラウドのハイブリッド インフラストラクチャ全体で Server と SQL Server のソフトウェア コンプライアンス Windows を判断できます。ソフトウェアがコンプライアンス違反の場合にも、修復アクションを実行できます。 拡張ソフトウェアライセンス機能を使用して、エディションレベルで製品のライセンス性を管理します コンテンツ サービス ライブラリーからの毎週の更新を活用して、エディションレベルでの製品のライセンス性に対処します ソフトウェア資産管理 。エディション レベルで強化されたソフトウェア ライセンス機能を使用すると、ライセンス付与できない製品に対して独自の例外ルールを定義し、コンテンツ サービス ライブラリーに更新できます。 最適化 Microsoft 365 使用状況を追跡する Discovery ソリューションへの依存度が低いサブスクリプション 最新のアクティビティ日に基づいて、アクティブ、非アクティブ、および未アサインのサブスクリプションの詳細な概要を使用して、サブスクリプション ServiceNow を管理します Microsoft 365。この機能により、使用状況を追跡するために SCCM などの Microsoft 検出ソリューションを構成する必要がなくなり、アプリケーションの使用状況データを収集 Microsoft 365 できるようになります。リソース使用量が最適化された個々の Microsoft 365 サブスクリプションを取得できます。 拡張されたライセンス使用状況ビューによる詳細度の向上 ライセンスのないソフトウェアのインストールにつながる要因、調整中に無視されたソフトウェア、およびソフトウェアのインストールにユーザーのアクションが必要なインストールに関する詳細な情報を取得します。実行する手順に関するガイダンスを受け取り、オプションのアクティブ化に寄与する Oracle インジケータに関する洞察を得て、調整結果を完全に理解します。 管理 Microsoft Windows ガイド付き設定によるサーバーライセンス ガイド付き設定を使用して、サーバーとライセンスの管理を構成します Microsoft Windows 。前提条件の確認とステップバイステップのウォークスルーは、ソフトウェア資産管理 アプリケーションを正常にセットアップするのに役立ちます。 製品ライフサイクルの範囲と可視性の向上 おおよそのライフサイクル日付の導入により、ライフサイクルレポートの対象範囲を拡大します。ライフサイクルの日

アプリケーションまたは機能	詳細
	付を選択するプロセスの可視性が向上します。透明性の高い包括的なレポートにより、製品の効果的かつ信頼性の高いサポート終了(EOL)管理が可能になります。
戦略的計画	Enterprise Agile Planning in Strategic Planning  - 柔軟な作業とチーム階層を使用して、単一のインスタンス内で複数のアジャイルチームとそのスケーリングニーズをサポートします。 - 新しい計画ボードを使用して、依存関係に関するインサイトを使用して、チーム全体の作業を計画、視覚化、および追跡します。 - 作業項目に優先順位を付け、新しいバックログを使用して、計画間隔やスプリントなどの反復にスケジュールします。 - アジャイル構成を柔軟にアップグレードすることで、組織の進化するニーズとの整合性を確認します。 フィードバックまたは製品アイデアのリストビューの機能拡張  - インライン編集を使用して、リアルタイムの更新を可能にし、フィードバックまたは製品アイデアの詳細を変更します。 - 一度に複数の行を編集することで、各レコードを個別に変更する必要がなくなります。 フィードバックに対する投票数を追跡する  投票フィールドを使用してフィードバックの人気度を把握し、フィードバックに優先順位を付けて情報に基づいた意思決定を行います。これらの投票は、アイデアポータルから直接受信されます。 追加の事前定義済みレンズで効率的に計画  ビジネス機能レンズを使用すると、エンタープライズアーキテクトは、戦略に合わせて調整することで、ビジネス機能とビジネスアプリケーションに基づいてワークスペースでの 戦略的計画 作業を計画、優先順位付け、およびロードマップできます。 優先順位付けの機能拡張  - 行コンテキストメニューアイコン (行コンテキストメニューアイコン) の [一番上に移動] および [一番下に移動] オプションをそれぞれ使用して、計画立案アイテムに最高ランクと最低ランクをアサインします  - 行コンテキストメニューアイコン (行 ) の [削除] オプションを使用して計画立案アイテムを削除します。 Financial planning for planning items 

アプリケーションまたは機能	詳細
	• 割り当てられた予算、合計最新コスト (EAC)、差異 (予算と EAC の差)、計画コストのブレイクダウン、コストタイプ別の現在までの実績など、財務の詳細を表示するカスタマイズ可能なウィジェット。 • コストまたはベースラインの比較情報を Excel 形式または CSV 形式でエクスポートします。これらのファイルを使用すると、インスタンスにアクセスできない ServiceNow 場合でも、計画立案アイテムの財務実績に関連するビジネスステークホルダーと共有できます。 • 経費ラインを簡単に作成  して、予測された計画コストに関連付けることなく、作業要件を満たすための予定外コストをキャプチャします。 • 行コンテキストメニューアイコン (行 ) を使用してスコープ外されたコスト計画を削除し、財務を効率的に管理します。 • 列の表示/非表示、時間スコープの表示などに加えたカスタマイズを保持するためのユーザー初期設定を保存するためのエクスペリエンスが強化されました。 採点のフィルター  [スコアリング] ページでフィルターを適用して、必要なデータセットを表示します。これらのフィルターはユーザー初期設定として保存されます。これは、同じデータセットを表示し、再度ログインしたときに計画を続行するのにも役立ちます。 採点または優先順位付けからポートフォリオ計画アイテムのデータをエクスポート  [スコアリング] ページ  または [優先順位付け] タブ  Microsoft のリストビューからポートフォリオ計画アイテムのデータを Excel ファイルまたは CSV ファイルにエクスポートして、データを共有したり、ビジネスステークホルダーと共同作業したりします。フィルターがビューに適用されると、フィルターされたデータがエクスポートされます。
サブスクリプション管理	サブスクリプションを積極的に管理する  新しいユーザーインターフェイスでは、アクションの対象となるデータに優先順位が付けられ、製品サブスクリプションの概要が表示されます。 サブスクリプションの割り当てに関するインサイトを表示する  サブスクリプションが過剰に割り当てられているタイミングを特定し、割り当て可能なサブスクリプションを表示することで、サブスクリプションの使用率を最大化します。 推奨グループを使用してサブスクリプションを割り当てる  推奨グループを使用してサブスクリプションを割り当てることで、適切なユーザーにエンタイトルメントを付与します。

アプリケーションまたは機能	詳細
	製品サブスクリプションの問題に対処する カスタムテーブルとカスタムアプリケーションを製品サブスクリプションにマッピングすることで、コンプライアンスを維持します。 Now Assist 使用状況の監視 エンタイトルメントの概要 Now Assist を表示し、インスタンスの使用状況を追跡 Now Assist します。 サブスクリプション内のアプリケーションへのアクセス権を持つユーザーの表示 アプリケーションにアクセスできるユーザーと、そのユーザーが持つアクセスレベルを決定します。 アプリケーションのインストールステータスの表示 アプリケーションを現在の製品サブスクリプションからインストールできるか、別の製品サブスクリプションからインストールできるかを決定します。
サプライヤーライフサイクルオペレーション	Supplier Lifecycle Operations のリスクアセスメントプラグインの導入 新しいプラグインである Risk Assessments for Supplier Lifecycle Operations (sn_supplier_tprm) が追加され、サードパーティのリスクアセスメントアプリケーションとの統合により、サプライヤーオンボーディング Playbook を使用して新規サプライヤーをオンボーディングする際にリスクアセスメントを実施できるようになりました。 詳細については、を参照してください。 Using the supplier onboarding playbook to onboard suppliers Using the supplier onboarding playbook to onboard suppliers サプライヤーオンボーディング Playbook には、インストールしたプラグインに応じて、サプライヤーリスクアセスメントを実施するための 2 つの異なるフローをトリガーする新しいリスクアセスメントの実行プレイブックが含まれるようになりました。 • Risk Assessments Integration for Supplier Lifecycle Operations [sn_supplier_tprm] プラグインのみをインストールしている場合は、[リスクアセスメントを実行] Playbook によって、リスクアセスメントを作成してサプライヤーの適格性を確認するアクティビティを含むフローがトリガーされます。 • Supplier Lifecycle Operations [sn_supplier_tprm] のリスクアセスメントと GRC: Third-party Risk Due Diligence [sn_tprm_dd] プラグインの両方がインストールされている場合、[リスクアセスメントを実行] Playbook は、デューデリジェンス要求を作成し、固有リスクアンケート (IRQ) アセスメントを完了し、サードパーティまたはエンゲージメントのリスクアセスメントを実行するアクティビティを含むフローをトリガーします。

アプリケーションまたは機能	詳細
	Create a case on behalf of a supplier from the Source-to-Pay Workspace サプライヤーマネージャーは、Source-to-Pay ワークスペースでサプライヤーの代わりにケースを作成できます。
テーブルビルダー	スタンドアロン Form Builder アクセス プラットフォーム上の任意のフォームの [他のアクション] メニューから、他のアプリケーション間を移動することなく、Form Builder 簡素化されたスタンドアロンバージョンにアクセスできます。 アクセス先 Form Builder [関連リンク] セクション 任意のテーブルの [関連リンク] セクションから直接Form Builder移動します。は、フォームレイアウトとフォームデザイナーの最も優れた機能を組み合わせた、合理化されたフォーム構築エクスペリエンスです。Form Builder アクセス Form Builder コピー元 UI ビルダー ステージから直接UI ビルダーフォームにアクセスしてForm Builder編集します。 スプレッドシートからテーブルを作成するときに優先参照テーブルを表示する の App Engine Studioスプレッドシートからテーブルを作成すると、参照テーブルが優先順にリストされます。アプリケーション内のテーブルと、一般的に使用される ServiceNow テーブルが、他のすべての利用可能な参照テーブルのリストの前に表示されます。 の新機能 App Engine のテーブルビルダー 以前は、ではしか利用 App Engine のテーブルビルダー できなかったスキーマビュー、スプレッドシートビュー、フロー、PDF エクストラクターなどの機能が、統合 テーブルビルダー アプリケーションで利用できるようになりました。
Telecommunications Network Inventory	Visualization of rack 前面または背面の機器の配置、利用可能および占有されているラックスロット、占有されている機器またはシェルフの詳細など、ラックの詳細を視覚化します。 Revision, operationalization, and decommission of a Configuration Item CI を改訂して、属性、接続、関係などの関連テーブルの変更を含めます。運用化ではこれらの変更を元の CI と結合でき、廃止では CI を廃止するか運用から削除することができます。 Visualization of network topology ネットワーク トポロジ ビューを使用して、ネットワーク内のノード (機器)、エッジ (接続)、および終端点 (インターフェイス) を確認し、それらがどのように編成および接続さ

アプリケーションまたは機能	詳細
	れているかを理解します。検索オプションを使用して、複数のトポロジを同時に視覚化できます。 Capacity management キャパシティ管理を使用して、ネットワーク資産の容量を計算してレポートします。これには、関数と測定基準を使用して、電気通信ネットワーク内の最大リソース、占有リソース、および利用可能なリソース (ポート、スロット、ラックなど) の計算が含まれます。 Inventory management view [在庫管理] ビューをチェックして、モデル、メーカー、ライフサイクルステータス別にグループ化された機器の合計数など、在庫の詳細を把握します。さらに、ネットワークサイト内のラック、ポート、およびスロットの可用性を確認することもできます。 Define the cable details 次のネットワークインベントリインスタンスを定義します。 • ケーブル - 光ファイバケーブルは、オープンエンドポイントを持つサイトをリンクし、機器に直接終端しないことを示します。 • スtrand - スtrandは、ケーブル内の個々のワイヤです。 • チャネル - チャネルライゼーションでは、使用可能な帯域幅をより小さな帯域幅にサブレーティングします。 Create a change request from Network Inventory Workspace (TNI) 設計割り当てを使用して Telecommunications Network Inventory、物理接続エンドポイントと論理接続エンドポイントの詳細を変更したり、リンク アグリゲーション グループ (LAG) のメンバーを追加または削除したりします。
Theme Builder	コンポーネントの編集 個々のコンポーネントを編集して、ブランドに適合させ、アクセシビリティのコンプライアンス基準を満たします。編集できるテーマフックは、各タイプのコンポーネントに固有です。詳細については、以下の「アクセシビリティ情報」セクションを参照してください。 新機能のメッセージング の更新バージョンテーマビルダーを初めて起動したときの新機能モダールを使用して、新機能について学びます。
サードパーティリスク管理	Event-driven management — automate assessment processes イベント駆動型管理機能を使用して、アンケートとドキュメント要求を自動生成してエンゲージメントやサードパーティに送信するルールを構成します。定義した基準を満たすエン

アプリケーションまたは機能	詳細
	ゲージメントとサードパーティの場合は、スケジュール、アンケート、および文書要求テンプレートを指定します。オンボーディングを除くすべてのアセスメントタイプを自動化できます。 新しいユーザーグループ:デューデリジェンス要求アサイナー  デューデリジェンス要求アサイン者グループの各メンバーが、デューデリジェンスの新しい要求のメール通知を受信できるようにします。[新規] または [未アサイン] ステータスの要求の場合、所有者はまだ指定されていません。どのグループメンバーでも所有者を割り当てることができます。 デューデリジェンス管理ダッシュボードの新しいレポート  サードパーティのリスクマネージャーまたは査定人として、デューデリジェンス管理レポートを使用して、責任を追跡、優先順位付け、および管理します。 ライセンス可能なアクティビティの追跡 追跡および検証の目的で、利用状況分析アクティビティテーブル内のすべての請求可能なアクティビティ (ライセンス可能なアクティビティとも呼ばれます) を表示します。
UI ビルダー	カスタム画像  アイコンおよび画像コンポーネントでカスタム画像をアップロードします。 モードレス ダイアログ  ページに情報をオーバーレイして、モードレスダイアログを介して UI ビルダー メインコンテンツとウィンドウコンテンツの両方を操作できるようにします。 の統合 UI ビルダー および Form Builder  ステージのUI ビルダーフォームコンポーネント内から直接アクセスしますForm Builder。
Upgrade Center	Managing upgrade risk  スキップされたメタデータファイルのいくつかのカスタマイズが原因で発生する可能性のある競合について通知を受け取り、メタデータファイルのフォームページに新しい UI メッセージを表示します。 Previous Resolutions related list  [以前の解決策] 関連リストを使用して、選択したスキップ済みレコードの以前のアップグレードからの解決策を表示します。
ユーザーエクスペリエンス分析	プラットフォームアナリティクス の統合 統合のための プラットフォームアナリティクス 改善されたクエリ機能 じょうごグラフ UIB コンポーネント

アプリケーションまたは機能	詳細
	ユーザーがダッシュボードに ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 作成されたじょうごグラフを表示できるようにします。
仮想エージェント	Now Assist in Virtual Agent - モバイルチャネルでのMicrosoft Teams会話で仮想エージェント実装しますNow Assist。 - mweb または nowassistpanel チャネルのいずれかでトピックをテストしてプレビューします。 LLM topic discovery in Virtual Agent ()NLU の代わりに 自然言語理解 (NLU) LLM を使用するトピックを作成します。 - LLM トピックを LLM アシスタントに関連付けNow Assist仮想エージェントます。 - LLM トピックのテスト中に発言への応答を分析し Now LLM ます。 - 新しい [トピック検出] タブと [変数を編集] タブを使用して、LLM トピックの詳細なテストの詳細を取得します。 仮想エージェントデザイナーの LLM 入力コントロール Input Collector user input control :LLM トピックの新しい入力コレクターコントロールを使用して、ユーザーからデータを収集し、生成 AI で指示を作成します。 Secure Text user input control :LLM トピックで安全なテキストコントロールを使用して、ユーザーからの機密テキスト、メール、およびその他のタイプの入力を収集して暗号化します。 仮想エージェント通知アクションを動的に選択する トピックを作成するときに 仮想エージェント、単一の静的アクションの代わりに、1 つ以上の通知アクションをパラメーターとして渡すことができます。すべてのアクションが通知に対して事前定義されている必要があります。 Hide or reveal the Show me everything button <code>glide.cs.disable_show_me_everything</code> NLU/キーワードトピック検出のシステムプロパティを設定します。または、LLM トピック検出を使用する挨拶トピックの 仮想エージェント デフォルトのスクリプトアクションユーティリティコントロールにある値を更新します。 システムプロパティ 次の新しいシステムプロパティは、トピックの途中検出の AI Search 結果に影響します。

アプリケーションまたは機能	詳細
	• <code>com.glide.cs.gen_ai.enable_mid_topic_ai_search</code> • <code>sn_nowassist_va.enable_mid_topic_ai_search_catalog_result</code>
Visa スポーク	スポークのアクション Visa スポークを使用して、VROL(Visa Resolve Online)システムですべてのカード異議申し立てを管理します。アクションを使用すると Visa スポーク、トランザクションの検索、マーチャントとのコラボレーション、異議申し立ての管理、およびセキュリティが強化されたその他の機能を実行できます。また、異議申し立てを解決したり、データにアクセスしたり、その他の機能を利用したりすることもできます。
Vulnerability Response	条件に基づく例外要求のアンケートの設定 例外要求の条件に基づいてアンケートを設定します。 メール通知のリンクをクリックしたときにワークスペースのレコードを表示する メール通知でリンクをクリックされると、ユーザーのロール内 Vulnerability Manager Workspace または IT 修復ワークスペース ロールに基づいてレコードが開きます。 脆弱性マネージャーワークスペースでの脆弱性の状況の分析 リスク評価、修復の進捗状況、アサイン先グループの作業負荷、および修復タスクのレコードを視覚的に表示して、アクティブな脆弱性の全体的な概要を表示します。 フィルターを使用した一連の脆弱性のサマリーの取得 のホームページ Vulnerability Manager Workspace でアクティブな脆弱性をフィルタリングすることにより、一連のアクティブな脆弱性の概要を表示します。 脆弱性マネージャーワークスペースでのリスク削減のための CVE および TPE への補完コントロールの関連付け 関連する補完コントロールを共通脆弱性エントリ (CVE) およびサードパーティエントリ (TPE) に関連付けます。これは、Vulnerability Manager Workspace のリスクを軽減するために使用できます。 脆弱性マネージャーワークスペースで CVE または TPE に関連する脆弱性のリスク低減要求を無効化または有効にする の CVE または TPE Vulnerability Manager Workspace に関連する脆弱性に対するリスク削減要求を有効または無効にします。 脆弱性マネージャーワークスペースでの一括編集の使用 では Vulnerability Manager Workspace、複数のホスト脆弱性一致アイテムと修復タスクに対して、次のタスクを同時に実行できます。 • 脆弱性一致アイテムのステータスの更新 • 脆弱性一致アイテムの優先ソリューションを更新

アプリケーションまたは機能	詳細
	- 修復のために修復オーナーまたはアサイン先グループにレコードをアサインする - 脆弱性一致アイテムのアサインの削除 誤検出および例外要求に関する通知の受信 承認ルールに承認有効期限とリマインダーの日付を設定することで、誤検出および例外要求の変更承認レコードに関する通知とリマインダーを受信します。 Vulnerability Crisis Management タイムスタンプを表示して、イベントの最後のアセスメントを確認します。ワークスペースの [アセスメント] タブは、新しいアセスメントが作成された場合にのみ表示されます。脆弱性一致アイテムの重大なセキュリティインシデント Vulnerability Manager Workspace へのリンクを表示します。 CISA Known Exploit Vulnerability (KEV) Integration XML/JSON ファイルのインポート、API 呼び出し、またはアドバイザリを使用して Common Security Advisory Framework (CSAF) 形式をインポートし、関連する脆弱性にソリューションをマッピングします。 Cybersecurity Executive Dashboard スイート内のさまざまな製品のデータを統合できるサイバーセキュリティ担当役員ダッシュボードを使用して、組織のセキュリティランドスケープの ServiceNow Security Operations 統一されたビューにアクセスします。 脆弱性対応の Quick start tests。 新しいアプリケーションまたは統合のアップグレードと展開が完了したら、クイックスタートテストを実行して、脆弱性対応がまだ機能していることを確認します。脆弱性対応をカスタマイズした場合は、クイックスタートテストをコピーし、カスタマイズのために設定します。
Vulnerability Response integrations	脆弱性の優先順位付けに Exploit Prediction Scoring System (EPSS) スコアを活用する Exploit Prediction Scoring System (EPSS) 統合を使用して、一般的な脆弱性とエクスపోージャー (CVE) に関連する EPSS データを FIRST.org からインポートすることで、インスタンスの NVD データを拡張して脆弱性に優先順位を付けて修正します。 ランサムウェアキャンペーンで使用されることがわかっている取り込み の v21.0.5 脆弱性対応以降、Cybersecurity & Infrastructure Security Agency (CISA) の既知の悪用された脆弱性 (KEV) カタログから、ランサムウェアキャンペーンで使用されることが知られている新しいフィールドが取り込まれます。

アプリケーションまたは機能	詳細
ワークフロースタジオ	からアクセスしますディシジョンビルダーワークフロースタジオ。意思決定ルールを作成および維持するために使用します ディシジョンビルダー。 Flow Designer からアクセスしますフローデザイナーワークフロースタジオ。コード化することなく、再利用可能なコンポーネントから複数手順のフローを構築するために使用します フローデザイナー。 Integration Hub 接続ダッシュボード 統合ハブから接続ダッシュボードワークフロースタジオにアクセスします。接続ダッシュボードを使用して、統合ハブ簡単なインターフェイスで接続および資格情報エイリアスを表示および構成します。 Playbooks からアクセスしますプレイブックワークフロースタジオ。企業間ワークフローを作成し、単一の統一されたプロセスを作成するために使用します プレイブック。
Workforce Optimization for Customer Service	音声チャネルのパフォーマンス測定基準 音声キューの正常性を監視および管理します。とAmazon Connect カスタマーサービスのワークフォース最適化の統合により、マネージャは音声チャネルのエージェントとキューのパフォーマンスをリアルタイムで監視できます。 会話チャネルのパフォーマンス測定基準 、、、FacebookLINESMS などのWhatsAppコンシューマーメッセージングチャネルでのカスタマーサービスの健全性を監視および管理します。これらのパフォーマンス測定基準は Channel Management に表示されます。 統合 Microsoft Outlook による カスタマーサービスのワークフォース最適化 チームカレンダーを と同期 カスタマーサービスのワークフォース最適化 させて、マネージャーとエージェントがスケジュールと Microsoft Outlook イベント Microsoft Outlookを表示できるようにします。
Workforce Optimization for ITSM	統合 Coaching with Learning による ServiceNow University と統合Coaching with Learningした後に、を使用してServiceNow Universityスキルを習得しますServiceNow。
ワークスペース	添付ファイルに許可される最大ファイルサイズ 最大ファイルサイズを設定すると、ワークスペース内の添付ファイルとドキュメントの保存領域を確保できます。

アプリケーションまたは機能	詳細
Zing テキストインデックス作成および検索エンジン	複数行の変数セット内のテキストのインデックス作成を有効にする  複数行の変数セットで定義されたコンテンツを持つカタログアイテムを含めるには、グローバル検索リコールを拡張します サービスカタログ。グローバル検索結果に表示するために複数行の変数セットのコンテンツを Zing インデックス作成するようにシステムプロパティを設定します。

Washington DC の機能と製品への変更

Washington DC の機能と製品に対する変更に関する累積的なリリースノートの概要。

Washington DC では既存の 製品が更新および変更されました。これには、特定のボタンまたは機能の名称変更が含まれます。

アプリケーションまたは機能	詳細				
AI Search	同義語の一致と拡張では、ストップワードとして定義された用語が保持されます  同義語の一致と拡張を評価するとき、AI 検索 ストップワードとして定義された検索クエリ用語を保持します。この動作により、ユーザーが検索する同義語のバージョンに関係なく、同義語の一致で一貫した結果が返されるようになります。 フィールド変更日 AI 検索 Genius 結果構成フォーム  [AI 検索 Genius 結果構成] フォームで、[Genius 結果回答タイプ] 選択肢フィールドが削除されました。Genius 結果ロジックスクリプトフィールドは、AI 検索個別の要求プロセッサとAI 検索応答プロセッサスクリプトフィールドに置き換えられました。				
API	変更されたスコープ対象クラス <table border="1"> <thead> <tr> <th>クラス</th><th>メソッド</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>DecisionTableAPI - Scoped, Global </td><td> createAnswerElements()  メソッドで、追加の回答要素タイプがサポートされるようになりました。 • Due_date • Glide_date • Glide_date_time • Glide_duration • 長整数 </td></tr> </tbody> </table>	クラス	メソッド	DecisionTableAPI - Scoped, Global 	createAnswerElements()  メソッドで、追加の回答要素タイプがサポートされるようになりました。 • Due_date • Glide_date • Glide_date_time • Glide_duration • 長整数
クラス	メソッド				
DecisionTableAPI - Scoped, Global 	createAnswerElements()  メソッドで、追加の回答要素タイプがサポートされるようになりました。 • Due_date • Glide_date • Glide_date_time • Glide_duration • 長整数				

アプリケーションまたは機能	詳細																		
	<table> <tr> <th>クラス</th><th>メソッド</th></tr> <tr> <td>GlideRecord - Scoped </td><td>新しいシステムプロパティ <code>glide.db.forced.chunk.threshold</code>  を使用すると、<code>deleteMultiple()</code> および <code>updateMultiple()</code>  メソッドでチャンクレコードの削除と更新をしきい値以上に強制できます。 Scoped GlideRecord - updateMultiple() </td></tr> </table> 変更されたグローバルクラス <table> <tr> <th>クラス</th><th>メソッド</th></tr> <tr> <td>DecisionTableAPI - Scoped, Global </td><td><code>createAnswerElements()</code>  メソッドで、追加の回答要素タイプがサポートされるようになりました。 • Due_date • Glide_date • Glide_date_time • Glide_duration • 長整数 </td></tr> <tr> <td>GlideRecord - Global </td><td>新しいシステムプロパティ <code>glide.db.forced.chunk.threshold</code>  を使用すると、<code>deleteMultiple()</code> および <code>updateMultiple()</code>  メソッドでチャンクレコードの削除と更新をしきい値以上に強制できます。 GlideRecord - updateMultiple() </td></tr> </table> 変更されたクライアント API <table> <tr> <th>クラス</th><th>メソッド</th></tr> <tr> <td>GlideForm (g_form) - Client </td><td><code>addFormMessage()</code>  メソッドには、フォームメッセージにボタンを追加するための新しいパラメーター <code>options</code> があります。</td></tr> </table> 変更された REST API <table> <tr> <th>クラス</th><th>メソッド</th></tr> <tr> <td>System for Cross-domain Identity Management</td><td>エンドポイントは SCIM - PATCH /scim/Groups/{group_id}  、SCIM UI プロパティ [コンテンツのないグループパッチ API 応答を有効にする (Enable Group Patch API response with No</td></tr> </table>	クラス	メソッド	GlideRecord - Scoped 	新しいシステムプロパティ <code>glide.db.forced.chunk.threshold</code>  を使用すると、 <code>deleteMultiple()</code> および <code>updateMultiple()</code>  メソッドでチャンクレコードの削除と更新をしきい値以上に強制できます。 Scoped GlideRecord - updateMultiple() 	クラス	メソッド	DecisionTableAPI - Scoped, Global 	<code>createAnswerElements()</code>  メソッドで、追加の回答要素タイプがサポートされるようになりました。 • Due_date • Glide_date • Glide_date_time • Glide_duration • 長整数	GlideRecord - Global 	新しいシステムプロパティ <code>glide.db.forced.chunk.threshold</code>  を使用すると、 <code>deleteMultiple()</code> および <code>updateMultiple()</code>  メソッドでチャンクレコードの削除と更新をしきい値以上に強制できます。 GlideRecord - updateMultiple() 	クラス	メソッド	GlideForm (g_form) - Client 	<code>addFormMessage()</code>  メソッドには、フォームメッセージにボタンを追加するための新しいパラメーター <code>options</code> があります。	クラス	メソッド	System for Cross-domain Identity Management	エンドポイントは SCIM - PATCH /scim/Groups/{group_id}  、SCIM UI プロパティ [コンテンツのないグループパッチ API 応答を有効にする (Enable Group Patch API response with No
クラス	メソッド																		
GlideRecord - Scoped 	新しいシステムプロパティ <code>glide.db.forced.chunk.threshold</code>  を使用すると、 <code>deleteMultiple()</code> および <code>updateMultiple()</code>  メソッドでチャンクレコードの削除と更新をしきい値以上に強制できます。 Scoped GlideRecord - updateMultiple() 																		
クラス	メソッド																		
DecisionTableAPI - Scoped, Global 	<code>createAnswerElements()</code>  メソッドで、追加の回答要素タイプがサポートされるようになりました。 • Due_date • Glide_date • Glide_date_time • Glide_duration • 長整数																		
GlideRecord - Global 	新しいシステムプロパティ <code>glide.db.forced.chunk.threshold</code>  を使用すると、 <code>deleteMultiple()</code> および <code>updateMultiple()</code>  メソッドでチャンクレコードの削除と更新をしきい値以上に強制できます。 GlideRecord - updateMultiple() 																		
クラス	メソッド																		
GlideForm (g_form) - Client 	<code>addFormMessage()</code>  メソッドには、フォームメッセージにボタンを追加するための新しいパラメーター <code>options</code> があります。																		
クラス	メソッド																		
System for Cross-domain Identity Management	エンドポイントは SCIM - PATCH /scim/Groups/{group_id}  、SCIM UI プロパティ [コンテンツのないグループパッチ API 応答を有効にする (Enable Group Patch API response with No																		

アプリケーションまたは機能	詳細	
	クラス	メソッド
	(SCIM) API 	Content)] が成功すると、新しい 204 ステータスメッセージを返します。
Advanced Risk	リスク識別構成の機能拡張 リスク識別構成では、リスク管理者は複数のテーブルを追加してそれぞれの RAM にマッピングできます。 GRC ワークスペースから ARA ワークスペースへのコンテンツの移行  すべてのリスクアセスメントワークスペースのコンテンツが、新しい ARA ワークスペースで再作成されました。この変更により、リスクアセスメントのコンテンツを GRC ワークスペースではなく ARA ワークスペースから参照できるようになります。GRC ワークスペースで行われたすべてのカスタマイズが ARA ワークスペースに引き継がれるわけではありません。リスクアセスメント中に表示するには、ARA ワークスペースの利用可能なデフォルトページにこれらのカスタマイズを再適用する必要があります。	
Agent Client Collector	MID Server の自動選択  - 自動MID サーバー選択中に代替通信ポイントとして使用する追加情報MID サーバーを受信します。 - デフォルトでは、自動 MID サーバー 選択はオフになっています。 測定基準ルール  静的しきい値 UI の代わりに測定基準ルール機能を使用して、測定基準アラートを生成するための手動しきい値を設定します。 クラウドリソースの測定基準の取得  チェックとポリシーを使用してAzure、クラウド内の仮想リソースに対する高パフォーマンスの測定基準を取得します。 モニタリングテクノロジーダッシュボード  - およびGCPモニタリングテクノロジーダッシュボードでAWS選択した構成アイテム (CI) で測定基準をフィルタリングします。 - 更新 モニタリングテクノロジーダッシュボード 済み を使用します Azure。ダッシュボードには、インフラストラクチャに関する詳細情報を提供する追加のタブが含まれています Azure。 - モニタリングテクノロジーダッシュボードを表示するには、既存のagent_client_collector_adminロールに加え dashboard_adminロールが必要です。 エージェントテーブルクリーナー 	

アプリケーションまたは機能	詳細
	エージェントテーブルクリーナーを使用して、30 日以上切断されているか非アクティブになっているエージェントレコードを削除します。 SNMP チェック v3 では、デフォルトで SNMP チェックが機能します。
CSM のエージェントエクスペリエンス	CSM 構成可能ワークスペース レコードページ 次のレコードページは、新規顧客のデフォルトページです。 • CSM デフォルトレコードページ • CSM インタラクシヨンレコードページ 次のレコードページは、アップグレードユーザーのデフォルトのレコードページのままです。 • [レコード] のデフォルト • インタラクシヨンレコードページ の動的関連レコード 構成可能ワークスペース リリース以降 Washington DC 、プラグイン (com.snc.uib.sn_dyn_rel_rec) の動的関連レコード 構成可能ワークスペース は ServiceNow Storeに移動しました。動的関連レコード機能の新しい拡張機能は、このストアアプリを通じて提供されます。 キーボード ショートカット キーボードショートカットを使用して、さまざまなタスクを完了するために必要な時間を短縮します。詳細については、以下の「アクセシビリティ情報」セクションを参照してください。 構成可能ワークスペースのリフロー CSM 構成可能ワークスペース はリフローをサポートしています。これにより、コンテンツや機能を失うことなく、ブラウザ設定を使用してページとコンテンツを最大 400% 拡大できます。詳細については、以下の「アクセシビリティ情報」セクションを参照してください。
クラウドコスト管理	支出分析のシステムプロパティのデフォルト値を更新しました 次のシステムプロパティのデフォルト値が変更されました。 • <code>sn_cld_spend_core.metricbase_transform_limit</code>: デフォルト値:20000 • <code>sn_cld_spend_core.spend_report_per_chunk_workload_size</code>: デフォルト値:500
共通の Governance, Risk, and Compliance 機能	問題管理権限

アプリケーションまたは機能	詳細
	- 問題を管理するために、マネージャーとユーザーに同じレベルの権限が割り当てられ GRC または GRC 。マネージャーロール、ユーザーロール、ビジネスユーザーロール、GRCまたはビジネスユーザー Lite ロールがある場合はGRC、問題を作成できます。 - 自分が問題ペルソナである場合、または修復タスクが自分にアサインされている場合は、修復タスクを作成または更新します。
Configuration Management Database (CMDB)	CMDB Workspace ストアアプリ  Unified Map  : - ライフサイクルステージに従って CI をフィルタリングすることで、マップに表示される CI を構成します。たとえば、すべてのサポート終了 CI をフィルタリングして、運用中の CI のみがマップに表示されるようにすることができます。詳細については、「Configure operational states of CIs 」を参照してください。 - マップレベルを設定して、アプリケーションサービス CI に表示される階層レベルの数を制限します。たとえば、マップ レベルを小さい数値に設定すると、マップ全体のサイズが小さくなり、パフォーマンスが向上します。 - マップ上のグループメンバー接続要素を選択すると、詳細カードにソース CI とターゲット CI の両方が表示されます。 - エンドポイントのタイプを含む、すべての Service Mapping エンドポイントのすべての属性を表示します。 - アプリケーションサービスまたは関連アイテムカードを選択して、カードに関連付けられているすべてのノードをハイライト表示します。 - 動的 CI グループに関連付けられた各 CI の詳細カードを [属性] ペインに表示します。 - 最初にプロパティを追加せずにシステムプロパティ <code>sn_cmdb_ws.unifiedmap.map_search_filter.max_levels</code> を設定することで、マップに表示するホームノードからのレベルの最大数を構成します。詳細については、「Components installed with CMDB Workspace 」を参照してください。 CMDB Data Manager の CMDB Workspace への統合  - CMDB Data Manager のすべての機能が CMDB Workspace で利用できるようになりました。ポリシーを管理し、タスクを管理し、退職定義と除外リストを

アプリケーションまたは機能	詳細
	管理し、アサインされたタスクをレビューして承認または却下します。 ○ 進行中の CMDB データマネージャプロセスの分析をさまざまなチャートとカウントで表示します。 • CMDB Workspace への Data Certification 統合  CMDB Data Manager の認定ポリシータイプを使用することで、CMDB Workspace でデータ認定機能が完全にサポートされるようになりました。選択したテーブルのレコードのフィールド値をレビュー、認定、または編集して、それらの値が組織のタスクをサポートするために必要な値であることを確認します。 進行中のデータ認定プロセスも考慮するさまざまなグラフとカウントで分析を表示します。 • CMDB Workspace への重複排除の統合  ○ 重複排除テンプレートのライブラリを作成することにより、重複排除タスクを一貫して一括で修正します。 ○ 中央の場所である重複排除ダッシュボードで重複排除タスクを修正します。1 つ以上のテンプレートを実行して、単一の操作で複数の重複排除タスクを修正します。テンプレートを実行し、修正結果を確認しながら進捗状況を追跡します。 ○ [重複排除インサイト] ペインを調べて、CMDB 内の重複 CI に関連する統計情報と潜在的な問題領域を確認します。 • CMDB Workspace での  CMDB 360 の操作: システムプロパティを使用して、CMDB 360 ダッシュボードの [範囲] タイルのデータの範囲を CMDB クラス <code>sn_cmdb_ws.ms.calculate_cmdb_only</code> のみに制限します。詳細については、「Components related to CMDB 360  推奨フィールド選択時のドット連結の CMDB 健全性サポート  ドット連結を使用し、CMDB 推奨フィールド [<code>cmdb_recommended_fields</code>] テーブルを直接操作して、CMDB 健全性推奨測定基準の参照テーブルからフィールドを選択することで、参照テーブルに入力されていない推奨フィールドを識別します。 非 CMDB クラスの CMDB 360 データのキャプチャ  システムプロパティの値を <code>glide.identification_engine.multisource_non_cmdb_ci_enabled</code> <code>true</code> に設定して、非 CMDB クラス (構成アイテム [<code>cmdb_ci</code>] クラスから派生していないクラス) からの CI の CMDB 360 データのキャプチャを有効にします。 製品インスタンスの CMDB サポート  一意の製品インスタンス識別子 (PID) を使用して、アプリケーションおよびワークフローのハードウェア資産管理ラ

アプリケーションまたは機能	詳細
	ライフサイクルを通じて組織内の運用資産を管理する際の重複を防止します。
Continuous Authorization and Monitoring	テスト計画のアセスメント手順計画の生成  テストテンプレートフォームの コントロールテスト セクションが更新され、NIST からコントロールテストガイドラインを取得する [検査]、[面談]、[テスト] などのフィールドが追加されました。 Determine control effectiveness of a control test  コントロール有効性をテストするために、[検査]、[面談]、[テスト] などの新しいフィールドが [テスト計画] および [コントロールテスト] フォームに追加されました。 コントロールの実装ステートメントを文書化  コントロールフォームに、[実装ステートメント] という新しいフィールドが追加されました。これは、コントロールを [評価] ステータスに移行する前に必要です。 コントロール目標およびコントロールフォームのディスカッションフィールド  800-53 コントロールに基づいて、各コントロールに対して NIST によって提供されるディスカッションコンテンツは、ベースシステムによってコントロール目標レベルで出荷されます。これは、コントロールが作成されたときにコントロールフォームでも更新されます。
Core Now Platform	プラグインのアップグレードまたはアクティベーションに失敗した場合の警告  プラグインのアップグレード時または有効化時にテーブルの変更または作成操作が失敗した場合に、警告メッセージが表示されるようになりました。 アーカイブルールから除外されたシステムテーブル  特定のテーブルに対してアーカイブルールを作成できなくなりました。 破棄ルールとアーカイブルールのリンク付け  アーカイブ破棄ルールを作成するときに、関連するアーカイブルールを指定する必要があります。アーカイブルールをアーカイブ破棄ルールにリンクすると、アーカイブされたレコードを削除するときのパフォーマンスが向上します。 アーカイブ破棄により削除された周辺機器レコード  ジャーナルエントリ [sys_journal_field]、添付ファイル [sys_attachment]、およびシステム監査 [sys_audit] テーブルの周辺レコードは、アーカイブ破棄中にデータが削除されると自動的に削除されるようになりました。 リモートテーブルの拡張キャパシティ機能  拡張キャパシティを使用すると、取得したデータが 1,000 行を超えた場合に、リモートテーブルに追加の行を格納できます。 キャンセル不可能な監査レコード 

アプリケーションまたは機能	詳細
	新しいデフォルト設定でトランザクションがキャンセルされたときに監査レコードが書き込まれない可能性を低減します。 詳細な委任フォームでの通知と会議への招待の変更  [詳細な委任] フォームの [すべての 通知] オプションと [会議への招待] オプションは、セキュリティ上重要な機密データを含む通知の取得に関する懸念を回避するために、既定で False に設定されるようになりました。代理人に委任通知と会議への招待を受信させる場合は、これらのオプションを選択できます。 ログセキュリティの強化  ノードログ行の新しいフィールドを探索して、ログメッセージを生成したスクリプトまたはコンポーネントを特定します。トランザクションの開始行には、行われた要求のタイプを指定する新しいフィールドが含まれています。
Customer Service Management (CSM)	の動的関連レコード 構成可能ワークスペース  リリース以降 Washington DC 、プラグインの動的関連レコード 構成可能ワークスペース (com.snc.uib.sn_dyn_rel_rec) ServiceNow Store は 動的関連レコード機能の新しい拡張機能は、このストアアプリを介して配信されます。 ケースサービスセクターの機能拡張  ケースサービスセクターの製品サービス選択バージョンでキーワード検索とカテゴリフィルターを使用して、利用可能なサービスを検索します。利用可能なサービスをカードビューで表示し、複数のページのサービスを簡単に参照します。 顧客契約およびエンタイトルメントアプリケーション  顧客契約とエンタイトルメントプラグインを有効にすると、契約とエンタイトルメントモジュールがアプリケーションナビゲーター CSM 構成可能ワークスペース に追加され、[アカウント] フォームと [コンシューマー] フォームの [契約] 関連リストから 新規 UI アクションが削除されます。
Data Discovery	デフォルトのデータパターンでは、変更とキーワードがサポートされています  デフォルトのデータパターンを変更し、キーワードを追加できます。 アクティブなデータパターンとターゲットテーブルの編集  ジョブのアクティブなデータパターンとターゲットテーブルを編集できるようになりました。
CSM のデータ管理	関係者構成をsys_metadataに転送  更新セットを使用して、顧客インスタンス間で関係者構成 [sn_customerservice_related_party_configuration] テー

アプリケーションまたは機能	詳細
	ブルをアプリケーションファイル [sys_metadata] テーブルに転送します。 既存のユーザーをコンシューマーレコードに関連付ける  リリース以降 Washington DC 、管理者のみがユーザーをコンシューマーレコードに関連付けることができます。 [コンシューマー] フォームの [ユーザールックアップ] リストからユーザーを作成する  リリース以降、 Washington DC コンシューマーフォームの [ユーザー] ルックアップリストからsys_usersを直接作成できるようになりました。この機能は、内部 (snc_internal) ユーザーと外部 (snc_external) ユーザーの両方に適用されます。 Service Model Foundation と Request Management の統合  カタログ要求を送信した後、事業所スタッフメンバーとして事業所サービスポータル (BLSP) から直接ケースの進行状況を監視します。 外部事業所 (EBL) スタッフのケース作成のサポート  内部事業所 (IBL) および外部事業所 (EBL) のスタッフが問題を追跡できるようにします。スタッフは、事業所に代わって、事業所に展開された販売済み製品または事業所に展開されたインストールベースアイテムに対してケースを追跡できます。
DevOps Change Velocity	自動変更作成の拡張 ツールの接続ステータスが原因で、自動変更要求作成のガイド付き手順で発生する可能性のある問題を回避します。 DevOps 変更モデルの新しいステータス移行フロー 変更モデルの [変更 - 新規] および [変更 - DevOpsDevOps スケジュール] ステータス DevOps に追加された移行フローを通じて、変更を移動および追跡します。 DevOps フローのエラー処理 変更要求の手動承認、変更要求の最小限の自動化承認、または変更要求の高度な自動化承認DevOpsフローの変更DevOpsの更新中にビジネスルールまたはDevOpsデータポリシーによって問題が発生した場合は、変更要求の作業メモおよびパイプラインツールのコンソールログで変更要求に対応するエラーを表示します。 変更データを取得する DevOpsChangeRelationshipHelper スクリプト DevOpsChangeRelationshipHelper スクリプトインクルードを使用して、指定された関係タイプに基づいて変更要求に関連付けられたデータを取得します。 再試行制限を指定する新しいプロパティ プロパティを使用して <i>Maximum limit for the number of times the discover action that exceeds the rate limit will be retried</i>、レー

アプリケーションまたは機能	詳細
	ト制限に達した後に検出アクションが自動的に再試行される最大回数を指定します。 インポート要求の再開 エラーのために完了できなかったインポート要求レコードからインポート要求を再開します。 リポジトリを自動的に関連付ける 対応するパイプラインがまだ関連付けられていないリポジトリのコミットを識別すると、リポジトリはアプリケーションに自動的に関連付けられます。 GitHub の単体テストタイプのサポート NUnit、pytest、jest、JUnit、および XUnit タイプの単体テスト結果を、カスタムアプリケーションプログラミングインターフェイス (API) を呼び出すことなくワークフローから GitHub Actions 自動的に公開します。
Document Intelligence	デフォルトの上限まで引き上げる 📌 添付ファイルのファイルサイズ制限が 10 MB に引き上げられました。1 日のインスタンスごとに処理されるドキュメントタスクの最大数が 2,000 に増加します。 請求書の AI 品質の改善 📌 より強力な AI モデル、事前構築済みユースケース構成、ユーザー定義のヒントを活用して、抽出結果を改善します。
ドキュメントサービス	サービスポータル 外部ユーザーのエクスペリエンス 📌 ドキュメント管理エクスペリエンスを外部ユーザーに拡張して、でドキュメント サービスポータルを作成および管理します。 Microsoft SharePoint とドキュメントサービスの統合 📌 とデータ連携 Microsoft SharePoint して、プラットフォーム内のドキュメントを作成、更新、および共同作業します。
EMR Help	EMR Help 今 ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コアリリース以降、をインストールするヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コアと、Washington DCEMR Help もインストールされます。
ESG Management	ESG Management アプリケーションで更新されたロール ESG 管理者、ESG データ所有者、ESG プログラムマネージャーなどのいくつかのロールが更新され ESG Management しました。 重要なトピックテーブルが更新されました sn_esg_material_topic テーブルの [ステータス] フィールドが更新され、リスクアセスメントのステータスが含めるようになりました。重要なトピックの [レビュー] ステータスも名前が [承認] に変更されました。

アプリケーションまたは機能	詳細
	Microsoft 365 for ServiceNow Reporting テーブルが更新されました sn_esg_msoff_intg_o365_reporting_configuration テーブルが track_configuration フィールドで更新されました アプリケーションに追加された ESG Management 新しいテーブル 次の新しいテーブルがアプリケーションに追加されます ESG Management。 • sn_esg_disclosure_detail • sn_esg_disclosure_related_documents • sn_esg_disclosure_template • sn_esg_m2m_disclosure_metric_data_by_entity アプリケーションに追加された GRC: Metrics 新しいテーブル sn_grc_metric_md_import テーブルがアプリケーションに追加されます GRC: Metrics。 sn_esg_msoff_intg アプリケーションに追加された新しいテーブル sn_esg_msoff_intg_document_log テーブルが sn_esg_msoff_intg アプリケーションに追加されます。 sn_esg_sustain アプリケーションに追加された新しいテーブル 次の新しいテーブルが sn_esg_sustain アプリケーションに追加されます • sn_esg_sustain_map_marker_configuration • sn_esg_sustain_map_data_range_configuration sn_esg_risk_mgmt アプリケーションに追加された新しいテーブル 次の新しいテーブルが sn_esg_risk_mgmt アプリケーションに追加されます。 • sn_esg_risk_mgmt_m2m_risk_goal • sn_esg_risk_mgmt_m2m_risk_statement_goal sn_rec_pg_vertical アプリケーションに追加された新しいテーブル 次の新しいテーブルが sn_rec_pg_vertical アプリケーションに追加されます • sn_rec_pg_vertical_view_config • sn_rec_pg_vertical_view_group_entry • sn_rec_pg_vertical_view_group • sn_rec_pg_vertical_view_table sn-formula-builder-connected アプリケーションに追加された新しいテーブル sn_fb_connected_config テーブルが sn-formula-builder-connected アプリケーションに追加されます。 sn_grc_metric_base_definition テーブルで変更された属性

アプリケーションまたは機能	詳細
	必須属性がsn_grc_metric_base_definitionテーブルの [説明] 列から削除されました。 formula_internal列は読み取り専用になりました。 sn_grc_metric_composite_definitionテーブルに加えられた変更 sn_grc_metric_composite_definitionテーブルでは、[formula_internal] フィールドが読み取り専用を設定されています。
暗号化キー管理	Web サービスコンシューマープラグインテーブルはデフォルトでアクセスを拒否します  セキュリティを強化するために、Web サービスコンシューマー (com.glide.web_service_consumer) プラグインのテーブルへのデフォルトアクセスは [却下] に設定されています。次のテーブルが影響を受けます。 • sys_rest_message • sys_rest_message_fn • sys_auth_profile_basic • sys_auth_profile_oauth2 • sys_soap_message • sys_soap_message_function • ws_security_x509_profile_outbound • ws_security_username_profile_outbound 外部アプリ認証 (com.glide.external.app) プラグインのテーブルへのデフォルトアクセスも [却下] に設定されます。次のテーブルが影響を受けます。 • token_verification • hash_message_verification
Field Service Management	フィールドサービス管理 (FSM) コア UI Next Experience ダッシュボードへのダッシュボードの移行 次の Next Experience フィールドサービス管理 (FSM) ダッシュボードは、より効率的で効率的な作業方法を提供します。 • フィールドサービス管理 (FSM) の概要 • フィールドサービス 建築 業者 • フィールドサービス 計画メンテナンス • フィールドサービス パフォーマンス分析
Hardware Asset Management 10.0.0	資産と CI マッピングをキャッシュするシステムプロパティ 

アプリケーションまたは機能	詳細
	システムプロパティを使用すると <code>sn_itam_enable_cache_for_asset_ci_mapping</code>、次のマッピングをキャッシュできます。 • 資産フィールドと CI フィールド • 資産状態と CI インストールステータス • 資産ステータスと CI ハードウェアステータス
健全性ログ分析	Elasticsearch ライブラリで使用する Lucene Lucene は脆弱性スキャンに表示されることがありますが、悪用される可能性はありません。Lucene は、Elasticsearch データ入力の Health Log Analytics プロジェクトに含まれています。Elasticsearch ライブラリは Lucene に推移的な依存関係を持っています。ただし、使用されているElasticsearchバージョンには独自の保護手段があり、悪用することはできません。
Healthcare and Life Sciences Service Management Core	HCLS ケース作成のための EMR ヘルプの拡張  この EMR Help アプリケーションは、追加の HCLS ケースを作成する機能をリクエスターに提供するように拡張されました。アプリケーションの詳細については EMR Help、次のリンクを参照してください Exploring EMR Help . Customer Service Management (CSM) とさらに連携したデータモデル  内部および外部のアイテムを追跡するコア CSM インストールベースアイテム機能を利用するために、データモデルに次の更新が行われました。 • 次のテーブルでは、ヘルスケア販売済み製品ではなくインストールベースアイテムが拡張されるようになりました。 ◦ メンバープラン [sn_hcls_member_plan] ◦ 薬剤 [sn_hcls_medium] ◦ 予防接種 [sn_hcls_immunization] ◦ 登録済みプログラム [sn_hcls_enrolled_program] ◦ 登録済みプログラムサービス [sn_hcls_enrolled_program] • この更新プログラムは、次の列に影響します。 ◦ [登録済みプログラム] テーブルおよび [登録済みプログラムサービス] テーブルの下の hcls_state フィールドは廃止され、[インストールベース] テーブルのステータスフィールドが今後使用されます。データが hcls_state フィールドからステータスフィールドに移動されます。

アプリケーションまたは機能	詳細
	○ 親列は、適切な親子関係が維持されるように、親インストールベースアイテムを参照するようになりました。 ○ [登録済みプログラム] テーブルと [登録済みプログラム サービス] テーブルの下 source_task 列は、影響を受けるインストールベースアイテム m:m テーブルを使用して追跡されるようになりました。 複数業種のケースに対応するために再編成された医療機関と組織 • 医療機関 [sn_hcls_organization] テーブルはスタンドアロンテーブルになり、サービス組織を拡張しません。 ○ 場合によっては、カスタムテーブルに医療機関の値を含めることができる会社/サービス組織への参照が含まれている場合があります。カスタム列がサービス組織を参照し、医療機関のデータがあるシナリオでは、移行スクリプトについて Now Support にお問い合わせください。 ○ 親フィールドは医療機関を参照するようになりました。 • 医療機関所在地 [sn_hcls_location] テーブルはスタンドアロンテーブルになり、サービス組織を拡張しなくなりました。 ○ 医療ケース、インストールベースレコード、および販賣済み製品のレコードを医療所在地に対して作成できなくなりました。これらのタイプの既存のレコードの場合、医療機関の場所は常に医療機関に関連付けられているため、[医療機関の場所] の値は関連する医療機関のサービス組織の値に置き換えられます。 ○ Service_organization_parent フィールドデータが親の場所フィールドにクローンされました。今後は親の場所が使用されます。 ○ 親フィールドのデータが組織フィールドにクローンされました。今後は組織が使用されます。 • 開業医の場所 [sn_hcls_practitioner_facility] テーブルはスタンドアロンテーブルであり、サービス組織メンバーを拡張しなくなりました。 ○ 医療機関と施術者の間にマッピングが存在する場合、医療の場所はスタンドアロンテーブルになり、事業所テーブルを拡張しないため、マッピングは (関連付けられた医療拠点の) 医療機関とその施術者の間になるように更新されます。 ○ Service_organization フィールドデータが場所フィールドにクローンされました。今後は場所が使用されます。
ITOM クラウドアクセラレート	ITOM ライセンス ITOM SU Licensing は ITOM/OT SU Licensing としてリブランドされました。ITOM/OT SU Licensingは、サブス

アプリケーションまたは機能	詳細
	クリプションユニットに基づいて ITOM サブスクリプションの使用率を計算して表示します。アプリケーションと構成アイテム (CI) に割り当てられたライセンスの合計数の包括的な概要にアクセスすると同時に、ライセンスの対象となる特定の CI を可視化する高度な機能セットを提供します。ITOM ヘルス、ITOM ヴィジビリティ、ITOM 最適化、および ITOM クラウドアクセラレート のサブスクリプションブレークダウンを表示できます。詳細については、「View which CIs have an ITOM license (ITOM ライセンスを持つ CI の表示)」を参照してください。
ITOM 健全性	クラウドリソースの測定基準の取得 ポリシーを使用して Azure、クラウド内の仮想リソースの高パフォーマンス測定基準を取得します。 MID Server の自動選択 - 自動MID サーバー選択中に代替通信ポイントとして使用する追加情報MID サーバーを受信します。 - デフォルトでは、自動 MID サーバー 選択はオフになっています。 ITOM ライセンス ITOM SU Licensing は ITOM/OT SU Licensing としてリブランドされました。ITOM/OT SU Licensingは、サブスクリプションユニットに基づいて ITOM サブスクリプションの使用率を計算して表示します。アプリケーションと構成アイテム (CI) に割り当てられたライセンスの合計数の包括的な概要にアクセスすると同時に、ライセンスの対象となる特定の CI を可視化する高度な機能セットを提供します。ITOM ヘルス、ITOM ヴィジビリティ、ITOM 最適化、および ITOM クラウドアクセラレート のサブスクリプションブレークダウンを表示できます。詳細については、「View which CIs have an ITOM license (ITOM ライセンスを持つ CI の表示)」を参照してください。
ITOM Optimization	クラウド管理ポータルへのリンク ユーザーポータルへのクラウド管理ポータルリンクが、Cloud Services Catalog プラグインをインストールしてセットアップしたかどうかを指す従業員センターようになりました。がインストールされている場合 CSC、admin および sn_cmp.cmp_root_admin ロールは、要求ポータルに切り替えながらこの機能にアクセスできます。Cloud Services Catalog は、クラウドリソースのライフサイクルを管理するために使用できる ITOM Cloud Accelerate の一部として利用できるようになりました。 ITOM ライセンス ITOM SU Licensing は ITOM/OT SU Licensing としてリブランドされました。ITOM/OT SU Licensingは、サブスクリプションユニットに基づいて ITOM サブスクリプションの使用率を計算して表示します。アプリケーションと構成

アプリケーションまたは機能	詳細
	成アイテム (CI) に割り当てられたライセンスの合計数の包括的な概要にアクセスすると同時に、ライセンスの対象となる特定の CI を可視化する高度な機能セットを提供します。ITOM ヘルス、ITOM ヴィジビリティ、ITOM 最適化、および ITOM クラウドアクセラレート のサブスクリプションブレークダウンを表示できます。詳細については、「View which CIs have an ITOM license (ITOM ライセンスを持つ CI の表示)」を参照してください。
ITOM 可視性	拡張機能 ディスカバリーとサービスマッピングパターン 次の拡張機能 ディスカバリーとサービスマッピングパターンを使用して、検出機能を更新します。 • Docker コンテナ識別子 • Microsoft SQL Server とクラスター Service Mapping 統一マップのサポート ワークスペースから サービスマッピング 一元化された統合ノードマップにアクセスし、依存関係ビューとサービスマップの両方の機能を表示します。 候補を含むマップされていないサーバー 識別されたアプリケーションサービス候補に沿ったマッピングされていないサーバーを使用して、新しいアプリケーションサービスを作成します。 変更 ServiceNow ITOM SU Licensing application 変更後の名前は ServiceNow ITOM SU LicensingServiceNow ITOM/OT SU Licensingです。
Industrial Process Manager	の機器モデルセクションを管理します 産業用プロセスマネージャーガイド付きセットアップ の 産業用プロセスマネージャー ガイド付きセットアップ [機器モデルの管理] セクションに、次の新しい機能拡張があります。 • ユーザーのアサインタスクが削除されました。 • [サイト ユーザーのユーザー条件の作成] タスクが追加されました。 • [サイト ユーザーの割り当て - 読み取り可能] タスクが追加されました。 • [サイト ユーザーのアサイン - 編集可能] タスクが追加されました。 ISA 設備階層モデルの機能拡張 ISA 設備階層モデルのバージョン 1.0.12 にアップグレードすると、サイト ユーザー アクセスからユーザー基準およびグループへの移行が自動的に開始され、次の変更が行われます。

アプリケーションまたは機能	詳細
	• ユーザー基準を使用して機器モデルエンティティサイトへの読み取りまたは書き込みレベルのユーザーアクセスを定義するサイトレベルのアクセス制御が改善されました。OT ビューアー (cmdb_ot_viewer) または OT エディター (cmdb_ot_editor) ロールの追加アサインにより、それに応じて割り当てられたサイト内の OT デバイスへの表示または編集アクセス権を持つこともできます。 • ISA 設備階層モデルのバージョン 1.0.12 にアップグレードすると、既存のサイトユーザーレコードは、ユーザー基準を使用して改善されたアクセス制御モデルに移行され、同じアクセス許可が保持されます。ISA エンティティサイトユーザーレコードを持つサイトごとに、次の変更が行われます。 ○ 閲覧者アクセス権を持つユーザーの場合: ▪ 新しいユーザー基準レコードが作成され、[読み取り] という名前が付けられる &lt;サイト名> サイト [システム生成] ▪ このサイトのすべてのサイト ユーザーを含む新しいユーザー グループが作成され、&lt;サイト名>の読み取りグループという名前が付けられます。 サイト [システム生成] ▪ 新しい機器モデルエンティティビューアクセステーブル (isa_entity_m2m_user_criteria_can_view) に新しいレコードが作成され、新しいユーザー基準とユーザーグループが作成されます。 ○ 編集者アクセス権を持つユーザーの場合: ▪ 新しいユーザー基準レコードが作成され、[&lt;サイト名] の [ユーザー基準の編集] という名前が付けられます > サイト [システム生成] ▪ このサイトのすべてのサイトユーザーを含む新しいユーザーグループが作成され、&lt;サイト名>サイトの編集グループという名前が付けられます。 サイト [システム生成] ▪ 新しい機器モデルエンティティの編集アクセステーブル (isa_entity_m2m_user_criteria_can_edit) に新しいレコードが作成され、新しいユーザー基準とユーザーグループが作成されます。 • サイトの機器モデルエンティティレコードの [サイトユーザー] アプリケーションメニューと [サイトユーザー] 関連リストが削除されます。 • すべてのサイトユーザー (isa_entity_site_user) レコードが非アクティブに設定されます。

アプリケーションまたは機能	詳細
	• [サイト ユーザー - 読み取り可能] および [サイト ユーザー - 編集可能] アプリケーション メニュー項目が Now Platformに追加されます。 • [設備モデルを読み込みます] および [設備モデルを編集可能] 関連リストがサイトの機器モデルエンティティレコードに追加されます。
Instance Data Replication	Hermes のみのレプリケーション 新しく作成されたレプリケーションセット Hermes メッセージングサービスでは、レガシーレプリケーションセットを作成できなくなりました。 インスタンス間でレプリケートされたデータの比較 レプリケーションセット内のデータを、データ変換、双方向レプリケーション、および個別レプリケーションと比較します。
統合ハブ	オープン API ステップの機能拡張 OpenAPI ステップにはいくつかの改善点があります。これで、次のことができます。 • 要求応答を添付ファイルレコードとして保存します。 • 再試行ポリシーを構成して、前の要求が失敗した場合または問題が発生した場合に要求を再試行します。 • ステップ入力とステップ出力をアクション入力とアクション出力に同期します。必要に応じてステップ出力を編集します。 • 要求のリソースパス、HTTP メソッド、クエリパラメーター、およびヘッダーを変更します。 • アクション入力およびアクション出力のリセット中に、アクションへのエラーマッピングを追加または削除します。 • <i>anyOf</i>スキーマでスキーマオブジェクトプロパティを使用します<i>oneOf</i>。 ECC キューに送られるレコードのマルチレイヤー発信者検査 以前は、ECC キューに入るレコードまたはエンティティの単一レイヤーの検査が行われていました。現在、相互に呼び出しを行う複数のレイヤーには有効な証明書が必要であり、レコードが ECC キューに入る前に検証する必要があります。デフォルトでは、3 つのレイヤーの検査をサポートできます。
CSM のインテリジェンス	Task Intelligence Admin Console の機能拡張 Task Intelligence Admin Console を使用して、次のタスクを実行します。

アプリケーションまたは機能	詳細
	• 上位の推奨事項に加えて上位 3 つの推奨事項のモデルパフォーマンスを表示し、データに基づいて予測設定としてオートフィルモードと推奨モードのどちらかを決定します。 • Admin Console ダッシュボードのフィールド別にモデルのパフォーマンスを表示します。 • 非アクティブな選択枝の予測を除外します。 Guided Decisions の機能拡張 Guided Decisions を使用して、次のタスクを実行します。 • で意思決定ツリー サービスポータルをレンダリングして、内部ユーザーのセルフサービスを有効にします。 • 既存の意思決定ツリーを子として現在の意思決定ツリーにリンクします。 • エージェントまたは顧客が、意思決定ツリーランタイムエクスペリエンスで以前の応答に再アクセスまたは変更できるようにします。 • 意思決定ツリーランタイムエクスペリエンスの [却下] ボタンの外観を制御します。 Recommended Actions の機能拡張 上位 N 件の結果機能を使用して、Task Intelligence 分類リソースジェネレーターに返すレコードまたは値の数を定義します。
MID Server	MID Server Password2 グローバルポリシーの変更 MAP レコードで明示的に宣言されていない限り、モジュール アクセス ポリシー (MAP) の新しい “拒否” 既定の動作を使用して、不正アクセスを防止します。内部アクセスに必要なすべての MAP が提供されます。自動生成された MAP は、外部アクセス用に提供されます。 MID Server の一意のログインユーザー それぞれ MID サーバーに一意のログインユーザーを使用します。詳細については、「(KB1552863) MID Server の一意のログインユーザー」を参照してください。 ラッパー構成の上書きの改善 dist-upgrade ラッパーレベルでデバッグログを有効にし、upgrade-wrapper-override.conf を使用して設定を変更して変更をテストします。たとえば、デフォルトのタイムアウトは、特定の JVM レベルのコマンドに対して十分に長くない場合があります。dist-upgrade ラッパー構成の upgrade-wrapper-override.conf を使用してタイムアウトを増やすことができます。
Mobile Platform	モバイル Playbook の機能拡張

アプリケーションまたは機能	詳細										
	モバイル Web 画面から、パラメーター化されたスクリプト化された画面、カスタムマップ画面、チャットを含むすべてのネイティブ画面に移動します ServiceNow 仮想エージェント。 Mobile Publishing 機能拡張 で作成された自社用カスタムアプリを使用し、準本番インスタンスで Mobile Publishing 使用します。										
Next Experience	ユーザーの代理操作機能の改善 [ユーザー] メニューの [ユーザーの代理操作を行う] オプションが、ユーザーを複数回代理操作すると展開されるようになりました。スクロール バーが表示される前に、最大 6 つの代理操作が表示されます。										
Next Experience コンポーネント	コンポーネント <table border="1"> <thead> <tr> <th>コンポーネント</th><th>拡張</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アクティビティストリーム</td><td> • [ドラフトを破棄]、[ポップアウト] ボタン、[メールを作成]、および [ドラフトを表示] ボタンを非表示にします。 • [メール送信] ボタンのスタイルをプライマリからセカンダリに変更します。 • モードレスダイアログが複数ある場合、または最小化されている場合にメールの件名を表示します。 • モードレスダイアログを使用してメールテンプレートを挿入し、KB リンクを挿入します。 </td></tr> <tr> <td>添付ファイル</td><td>添付ファイルの最大許容サイズを定義するための新しいプロパティ。</td></tr> <tr> <td>日付 - 時刻</td><td>コンポーネントのデフォルトの開始時刻を設定するデフォルトの時刻 [initialTime] プロパティ。設定しない場合、時刻はデフォルトで午前 0 時に設定されます。</td></tr> <tr> <td>メールコンポーザー</td><td> • を使用して記事をインラインで添付 ナレッジ するか、PDF として添付します エージェントアシスト。 • 下書きの自動保存、下書きの破棄、保存、下書きの作成を行います。 • ページデザインの密度が向上しました。 • モードレス ダイアログ エクスペリエンスのサポートが追加されました。 </td></tr> </tbody> </table>	コンポーネント	拡張	アクティビティストリーム	• [ドラフトを破棄]、[ポップアウト] ボタン、[メールを作成]、および [ドラフトを表示] ボタンを非表示にします。 • [メール送信] ボタンのスタイルをプライマリからセカンダリに変更します。 • モードレスダイアログが複数ある場合、または最小化されている場合にメールの件名を表示します。 • モードレスダイアログを使用してメールテンプレートを挿入し、KB リンクを挿入します。	添付ファイル	添付ファイルの最大許容サイズを定義するための新しいプロパティ。	日付 - 時刻	コンポーネントのデフォルトの開始時刻を設定するデフォルトの時刻 [initialTime] プロパティ。設定しない場合、時刻はデフォルトで午前 0 時に設定されます。	メールコンポーザー	• を使用して記事をインラインで添付 ナレッジ するか、PDF として添付します エージェントアシスト。 • 下書きの自動保存、下書きの破棄、保存、下書きの作成を行います。 • ページデザインの密度が向上しました。 • モードレス ダイアログ エクスペリエンスのサポートが追加されました。
コンポーネント	拡張										
アクティビティストリーム	• [ドラフトを破棄]、[ポップアウト] ボタン、[メールを作成]、および [ドラフトを表示] ボタンを非表示にします。 • [メール送信] ボタンのスタイルをプライマリからセカンダリに変更します。 • モードレスダイアログが複数ある場合、または最小化されている場合にメールの件名を表示します。 • モードレスダイアログを使用してメールテンプレートを挿入し、KB リンクを挿入します。										
添付ファイル	添付ファイルの最大許容サイズを定義するための新しいプロパティ。										
日付 - 時刻	コンポーネントのデフォルトの開始時刻を設定するデフォルトの時刻 [initialTime] プロパティ。設定しない場合、時刻はデフォルトで午前 0 時に設定されます。										
メールコンポーザー	• を使用して記事をインラインで添付 ナレッジ するか、PDF として添付します エージェントアシスト。 • 下書きの自動保存、下書きの破棄、保存、下書きの作成を行います。 • ページデザインの密度が向上しました。 • モードレス ダイアログ エクスペリエンスのサポートが追加されました。										

アプリケーションまたは機能	詳細	
	コンポーネント	拡張
	メールコンポーザー (ミニ)	• を使用して記事をインラインで添付 ナレッジ するか、PDF として添付します エージェントアシスト。 • 下書きの自動保存、下書きの破棄、保存、下書きの作成を行います。 • ページデザインの密度が向上しました。 • モードレス ダイアログ エクスペリエンスのサポート。
	見出し	• データ密度を高めるために、Workspace のフォントヘッダーサイズを縮小しました。 • 元の大きい見出しサイズを引き続き希望するユーザー向けの、プライマリに代わるヒーロー見出しサイズ。
	アイコン	標準の画像形式のカスタムアイコンを使用します。カスタムアイコンはインスタンスのライブラリーに追加されず、キャッシュされません。
	イメージ	任意の標準イメージ形式のカスタム イメージを使用します。カスタムアイコンはインスタンスのライブラリーに追加されず、キャッシュされません。
	入力	AI インジケーターは、フォームフィールドで AI の推奨事項が使用され、AI 機能に関する詳細情報を提供するときにユーザーに通知します。
	カンバンボード	• ボード上のカード間の関係を示す依存関係線を有効にします。 • 行にスвимレーンヘッダーを表示します。
	リストセレクト	• [利用可能なアイテム] リストと [選択したアイテム] リストのアイテムからトリガーされたポップオーバーには、現在のレコードの詳細が表示されます。ポップオーバーのコンテンツを設定し、トリガーアイコンを表示するアイテムを選択できます。 • コンポーネントの表示方法を選択します。選択肢は次のとおりです。 ○ 圧縮 ○ 2 パネル ○ ドット連結 (デフォルト)

アプリケーションまたは機能	詳細	
	コンポーネント	拡張
	モードレスダイアログ	• ユーザーが [選択したアイテム] リストのアイテムを並べ替えできないようにします。 • コンポーネント内のすべての非表示のコントロールを表示します。
	推奨アクション	• 構成可能なパネルタイトルとタブ見出し。 • 設定可能なタブの順序。 • 検索入力フィールドと検索結果のカードを含む新しい [検索] タブ。 • 履歴がタブから、象徴的なボタンからトリガーされた新しいパネルに移動しました。 • 検索結果カードのヒントテキストとアイコンの背景色。
	サイズ変更可能なペイン	レイアウトを左ペインのみ、両方のペイン、および右ペインのみに変更するためのキーボードキーの組み合わせ。
	選択	フォームフィールドで AI の推奨事項が使用され、AI 機能に関する詳細情報を提供するときにユーザーにシグナルを送信する AI インジケーター。
	TextArea	フォームフィールドで AI の推奨事項が使用されるときにユーザーに通知し、AI 機能に関する詳細情報を提供する AI インジケーター。

アプリケーションまたは機能	詳細														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="518 193 719 243">コンポーネント</th><th data-bbox="719 193 1380 243">拡張</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="518 260 719 373">先行入力</td><td data-bbox="719 260 1380 373">フォームフィールドで AI の推奨事項が使用されるときにユーザーに通知し、AI 機能に関する詳細情報を提供する AI インジケータ。</td></tr> <tr> <td data-bbox="518 390 719 504">typeahead-multi</td><td data-bbox="719 390 1380 504">フォームフィールドで AI の推奨事項が使用されるときにユーザーに通知し、AI 機能に関する詳細情報を提供する AI インジケータ。</td></tr> </tbody> </table> データビジュアル化チャート <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="518 625 719 676">チャート</th><th data-bbox="719 625 1380 676">拡張</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="518 693 719 940">棒グラフによるチャート化</td><td data-bbox="719 693 1380 940">棒グラフによるチャート化のパレート図タイプ。パレート図は縦棒グラフに似ていますが、線グラフも含まれています。パレート図には、個々の値 (頻度またはコスト) を降順で表す縦棒と、累積合計を表すデータ ポイントを含む線が表示されます。また、パレート図は、ユーザーが非表示にできる水平線で Y 軸上の 80% の点をマークします。</td></tr> <tr> <td data-bbox="518 957 719 1339">インジケータ スコア カードによるチャート化</td><td data-bbox="719 957 1380 1339"> - 最新のインジケータ スコアをグラフィカルに表示するために表示できる最新のスコア バー。スコアが 1 以上の場合は青色のバー、-1 以下の場合はオレンジのバー、スコアが 0 (ゼロ) の場合はバーなしカーソルを合わせるとスコア値が表示されます。 - 制限なしですべてのグループを表示するか、ユーザーが 20 を超える値を表示できるようにします。 </td></tr> <tr> <td data-bbox="518 1356 719 1507">時系列の可視化</td><td data-bbox="719 1356 1380 1507">日付範囲のドロップダウンを追加する日付範囲ピッカー。これを使用して、表示される時間範囲を事前定義された日付範囲の 1 つにすばやく変更できます。</td></tr> </tbody> </table>	コンポーネント	拡張	先行入力	フォームフィールドで AI の推奨事項が使用されるときにユーザーに通知し、AI 機能に関する詳細情報を提供する AI インジケータ。	typeahead-multi	フォームフィールドで AI の推奨事項が使用されるときにユーザーに通知し、AI 機能に関する詳細情報を提供する AI インジケータ。	チャート	拡張	棒グラフによるチャート化	棒グラフによるチャート化のパレート図タイプ。パレート図は縦棒グラフに似ていますが、線グラフも含まれています。パレート図には、個々の値 (頻度またはコスト) を降順で表す縦棒と、累積合計を表すデータ ポイントを含む線が表示されます。また、パレート図は、ユーザーが非表示にできる水平線で Y 軸上の 80% の点をマークします。	インジケータ スコア カードによるチャート化	- 最新のインジケータ スコアをグラフィカルに表示するために表示できる最新のスコア バー。スコアが 1 以上の場合は青色のバー、-1 以下の場合はオレンジのバー、スコアが 0 (ゼロ) の場合はバーなしカーソルを合わせるとスコア値が表示されます。 - 制限なしですべてのグループを表示するか、ユーザーが 20 を超える値を表示できるようにします。	時系列の可視化	日付範囲のドロップダウンを追加する日付範囲ピッカー。これを使用して、表示される時間範囲を事前定義された日付範囲の 1 つにすばやく変更できます。
コンポーネント	拡張														
先行入力	フォームフィールドで AI の推奨事項が使用されるときにユーザーに通知し、AI 機能に関する詳細情報を提供する AI インジケータ。														
typeahead-multi	フォームフィールドで AI の推奨事項が使用されるときにユーザーに通知し、AI 機能に関する詳細情報を提供する AI インジケータ。														
チャート	拡張														
棒グラフによるチャート化	棒グラフによるチャート化のパレート図タイプ。パレート図は縦棒グラフに似ていますが、線グラフも含まれています。パレート図には、個々の値 (頻度またはコスト) を降順で表す縦棒と、累積合計を表すデータ ポイントを含む線が表示されます。また、パレート図は、ユーザーが非表示にできる水平線で Y 軸上の 80% の点をマークします。														
インジケータ スコア カードによるチャート化	- 最新のインジケータ スコアをグラフィカルに表示するために表示できる最新のスコア バー。スコアが 1 以上の場合は青色のバー、-1 以下の場合はオレンジのバー、スコアが 0 (ゼロ) の場合はバーなしカーソルを合わせるとスコア値が表示されます。 - 制限なしですべてのグループを表示するか、ユーザーが 20 を超える値を表示できるようにします。														
時系列の可視化	日付範囲のドロップダウンを追加する日付範囲ピッカー。これを使用して、表示される時間範囲を事前定義された日付範囲の 1 つにすばやく変更できます。														
Next Experience 開発者ツール	ページロード時に記録を自動停止  プロファイラーは、ページの読み込み後に記録を自動的に停止して、ページのパフォーマンスをテストできます。 イベントテーブルのコンポーネントビュー  コンポーネントごとにグループ化されたイベントを使用してページのパフォーマンスを分析します。 比較テーブルのすべての行を折りたたむ  比較ビューでは、すべての行を折りたたんで差異のある行のみを表示し、差異のある行のみを表示することで、差異をより迅速に見つけることができます。														

アプリケーションまたは機能	詳細
Notifications	プロバイダー通知の動的アクションリンク プロバイダー通知のアクション可能なコンテンツ作成で、イベントパラメーターと既存の静的アクションを使用して、アクションをコンテンツに動的にリンクします。 プロバイダー通知の必須 カテゴリ フィールド プロバイダー通知の [カテゴリ] フィールドは必須フィールドです。
Notify	Notify にアクセスするために強化されたセキュリティ notify_viewロールを割り当てることで、タスクレコードの [電話会議の開始] および [SMS 送信] UI アクションを表示および選択できるユーザーを制御します。notify_view は、通知 にアクセスするために最低限必要なロールです。
Now Assist	Now Assist アイコンに非同期通知が表示されます アイコン () はNow Assist、パネルが閉じられていて新しいメッセージが使用可能な場合にNow Assist、バッジ数の増加を示します。 Now Assist 過程チェックリスト コンソールの [Now Assist Admin 概要] ページでは、生成 AI の実装の計画と実行に役立つジャーニーチェックリストを表示できます。詳細な手順には、プラグインのインストール方法、パネルの有効化方法、スキルの Now Assist 有効化方法、アカウント設定の確認方法、スキルパフォーマンスの監視方法が含まれます。 データ共有設定をオプトアウトするための新しいプロセス ユーザーは、生成 AI コントローラーのアプリケーションスコープ内にあり、インスタンスのデータ共有をオプトアウトするためのdata_stewardロールを持っている必要があります。
Customer Service Management (CSM) 向け Now Assist	ケースの要約の最小テキスト要件 ケースアクティビティストリームに最小限の情報量を持つケースのケース概要作成スキルを有効にします。 フォームのリロードなしの AI アイコンのサポート 予測が利用可能になるとすぐに、予測されたフィールドの AI アイコンを表示します。 ケースとインタラクションレコードのデモデータ 改善されたデモデータを使用して、ケースの要約と解決メモ生成のスキルを実演します。
Operational Technology Manager	新しい 業種別 ワークスペース ランディングページのエクスペリエンス

アプリケーションまたは機能	詳細
	業種別 ワークスペース OT デバイスデータと OT 脆弱性データを個別に監視できるように、ランディングページは次のタブに分割されました。 • OT デバイスのランディングページ タブ • OT 脆弱性ランディングページ タブ インポート前 OT ワークシートエントリレビュー (POWER) ツール  配布 Microsoft されたスプレッドシートを使用して OT デバイスをインポートし、管理性を向上させます。 • SGOTAssetCustomValidationExtensionPoint 拡張ポイントを使用して、カスタム検証を作成します。 • SG OT Excel ステージングテーブルの [新規] ボタンを使用して、 構成管理データベース (CMDB)OT デバイスをに手動で追加します。 • OT ステージングユーザー (ot_staginguser) ロールを使用して、ユーザーが SG OT Excel ステージングテーブルのレコードに対して検証を作成、編集、表示、および実行できるようにします。 • <i>Equipment model entity path</i> SG OT Excel ステージングテーブルの属性を使用して、デバイスを機器モデルエンティティにマッピングします。 • [OT 表示名 (OT display name)] 列が SG OT Excel ステージングテーブルに追加されました。 • 制御モジュールの有無にかかわらず、PLCデバイスについて追加の検証および検証メッセージが追加されました。 • スロット属性とラック属性の検証と検証メッセージが SG OT Excel ステージングテーブルに追加されました。 • <i>Operating system</i>属性が SG OT Excel ステージングテーブルに追加されました。 • <i>Rack</i>属性が SG OT Excel ステージングテーブルに追加されました。 • 未分類の OT デバイスには、ot_baseデバイスタイプが指定されます。 CMDB OT クラスモデルの更新  OT クラスモデルに対する 構成管理データベース (CMDB) これらの更新により、OT ユーザーエクスペリエンスが向上するか、追加の構成が可能になります。 • ラック が OT コントロールモジュール (cmdb_ci_ot_control_module) CI クラスの識別子として追加されました。 • モジュール付き OT コントロールシステムリストが、オペレーショナルテクノロジー (OT) モジュールとオペレーショナルテクノロジー (OT) モジュールの下でのレビューの両方 業種別 ワークスペース に追加され、利用

アプリケーションまたは機能	詳細
	可能なすべてのコントロールシステムとそのコントロールシステムモジュール Now Platform が表示されました。 • CMDB[360 データ] 関連リストが OT 親クラス構成アイテムフォームと OT コントロールモジュールクラスに追加されました。 • プロトコルコンバータークラスとネットワーク機器クラスにクラスマッピングが追加されました。 • [OT リストビューにコントロールモジュールを表示] システムプロパティが追加されました。
Operational Technology Vulnerability Response	新しい 業種別 ワークスペース ランディングページのエクスペリエンス 業種別 ワークスペース OT デバイスデータと OT 脆弱性データを個別に監視できるように、ランディングページは次のタブに分割されました。 • OT デバイスのランディングページ タブ • OT 脆弱性ランディングページ タブ
Order Management	注文の拡張手順による注文キャプチャエクスペリエンスの強化 注文のキャプチャ後、エージェントが注文の履行を開始する前に追加の注文情報で注文を拡張できるようにして、フォールアウトを回避します。この拡張プロセスは、該当する注文および注文品目の拡張関連の注文タスクを作成するワークフローをトリガーします。
プラットフォーム分析エクスペリエンス	多対多フィルター  統合フィルターで多対多の関係がサポートされるようになりました。フィルターソーステーブルの値がターゲットテーブルの複数の値と一致することも、その逆も可能です。 ピボットテーブルの改善  • 複数の列がサポートされ、最大 3 つのグループバイ値が列として選択されます。 • 複数のデータソースを持つグループバイ値として、さまざまな選択フィールドを選択できます。この機能は、棒グラフの視覚化でも使用できます。 • ヘッダーの配置が列のコンテンツの配置と一致するようになりました。 インジケータースコアカードの改善  • これで、インジケータのブレイクダウン分布を表示できるようになりました。表示するインジケータを 1 つだけ選択した場合は、最大 2 つのブレイクダウンの要素全体のスコアの分布を表示できます。ビューアーが、表示されるブレイクダウンを変更できるようにすることもできます。

アプリケーションまたは機能	詳細
	• リスト タイプのスコアカードの測定基準に、最新のスコアバーが含まれるようになりました。 • ピボット タイプのスコアカードの行と列の間に分割線を追加できるようになりました。 カスタマイズ可能なダッシュボードの背景色 ダッシュボードエディターは、ダッシュボード全体または個々のダッシュボードタブの背景色を設定できます。 データの可視化は、可視化デザイナーからダッシュボードに追加できます 編集権限を持つビジュアライゼーション エディターは、作業 可視化デザイナー中のビジュアライゼーションを、 ダッシュボードの手動更新と自動更新 どのダッシュボード閲覧者も、ダッシュボード上のデータを更新できます。ダッシュボード管理者は、自動ダッシュボード更新をスケジュールできます。 所有者情報 所有者と所有者グループを、ダッシュボード、保存されたデータの可視化、および保存されたフィルターの詳細に追加できます。 カスタマイズ可能なチャートの相互作用 データビジュアル化では、ビューアーがチャートのセグメントを選択したときのナビゲーションを設定できます。ビューアーがデータにドリルダウンしたり、内部 URL や外部 URL を開いたりできるようにすることができます。 棒グラフと円グラフによるビジュアル化のサポート フィルターとして機能 円グラフと棒グラフのビジュアライゼーション (パレート図を除く) をフィルターとして機能するように構成できます。その後、ビューアーが円グラフまたは棒グラフの列を選択すると、そのダッシュボード タブの他のすべてのビジュアライゼーションで、一致する値がフィルタリングされます。 データの可視化における手動データの測定基準書式設定のサポート 手動 JSON データソースで測定基準の書式設定を使用できるようになりました。この機能は、以前はテーブルやインジケーターなどの事前定義されたデータソースでのみ使用できました。
Policy and Compliance Management	インジケータージョブの処理におけるパフォーマンスの強化 並列処理機能をサポートするために、2 つの追加のカスタム キューが導入されました。1 つはインジケーターを処理するためのインジケーターデータキューで、もう 1 つはコントロール、リスク、および問題の更新に関連するイベントを処理するためのサポートデータキューです。サポートデータを収集するための新しいジョブが導入され、データ処理プロセスの改善に大きく役立ちます。

アプリケーションまたは機能	詳細
	パーセンテージサンプリングをサポートするために、[インジケータテンプレート] フォームに新しいフィールドが導入されました。データ処理を合理化するために、サンプルデータをJSON形式で保存することでデータストレージシステムが更新されています。この新しいアプローチにより、より構造化された効率的なストレージが可能になり、データ検索プロセスと分析が強化されます。インジケータタスクの期日をキャプチャするために、[インジケータテンプレート] および [インジケータ] フォームに [期日期間 (日数)] フィールドが追加されました。この期日に基づいて、インジケータタスクオーナーはリマインダーメールを受信します。
Predictive Intelligence	類似性 および クラスタリング ソリューションの事前トレーニング済みモデル 新しい事前トレーニング済みモデルでは、新しいソリューションを作成するときに独自のワードコーパスは必要ありません。
プロジェクトワークスペース	ナビゲーションの変更 [計画] ドロップダウンは、単一のビューから計画、詳細、財務、および RIDAC にアクセスするためのレベル 2 (I2) メニューに置き換えられました。
Robotic Process Automation (RPA) Hub	1 つの場所からプラグインを管理 RPA デスクトップデザインスタジオで、[プラグインマネージャー (Plugin Manager)] ウィンドウまたは [プロジェクトエクスプローラー (Project Explorer)] ペインの [プラグイン] ノードから、プラグインをインストール、表示、更新、または削除します。 添付ファイルと添付ファイルの新しい場所 フローデザイナー [ツールボックス] ペインのコンポーネント で RPA デスクトップデザインスタジオ、アタッチメントとフローデザイナー コンポーネントは、[ツールボックス] ペインの新しいカテゴリで使用できます ServiceNow 。
セキュリティセンター	新しい ハードニング設定ベースライン v2.0。 新しいベースラインがいくつかの新しい設定で拡張されます。 新しいベースラインでは、一部の既存のハードニング設定が変更されています いくつかのハードニング設定の簡単な説明と説明が変更されました。 空の ACL スキャンチェックが追加されます スキャナーツールが更新され、新しいチェックである空の ACL が含まれるようになりました。このチェックは、v1.3.3 で Security Center 監査ツールスイートに追加

アプリケーションまたは機能	詳細
	されました。チェックを実行して、スクリプト、条件、またはロールのない ACL を検出できるようになりました。
Security Incident Response	Microsoft Azure Sentinel の統合 • で Microsoft Azure Sentinel 新規変更または更新された変更を行うと、フィールドのマッピング Microsoft Azure Sentinel 中にそれぞれの SIR インシデントデータが自動的に更新されます。詳細については、「 」を参照してください。 • 最大 6 か月間のオープンおよびクローズ済みのすべての Azure Sentinel インシデントをプルします。詳しくは、「 」を参照してください。
CSM のセルフサービスとオムニチャネルエンゲージメント	Portal Mega Menu widget ポータルメガメニューウィジェットには、次の機能拡張があります。 • ポータルメガメニューウィジェットを使用して、モバイルデバイス上のさまざまなメニューアイテムにアクセスして移動できます。 • 買い物かご、ウィッシュリスト、チュートリアル、または通知、承認、サーベイなどのスクリプト化されたリストをポータルのヘッダーに表示します。
Service Graph Connector for Microsoft Defender for IoT (オンプレミス管理コンソール)	サービスグラフ (オンプレミス管理コンソール) アプリケーション名の変更用の Microsoft Defender for IoT コネクタ Service Graph Connector for Microsoft Defender for IoT (オンプレミス) は、Connector for Microsoft Defender for IoT (On-premises Management Console) にサービスグラフ名前が変更されました。
Service Portal	重要な通知が自動的に却下されない sn-sticky-notification HTML クラス属性でタグ付けされた重大通知を表示します。システムプロパティで重大でない通知の自動却下が有効になっている場合でも、<code>glide.service-portal.notification_timeout.seconds</code> 明確に却下するまで却下します。 User Experience Analytics を追跡するための統一されたユーザーの同意 すべてのプラットフォームインターフェイスに対して 1 回、ユーザーエクスペリエンス分析の追跡をオプトインまたはオプトアウトします。以前は、他のプラットフォームインターフェイスでユーザーエクスペリエンス分析を追跡するためのユーザーの同意の選択に対する変更は、ポータルでは適用されず、その逆も同様でした。この選択は、プラットフォームの他の部分で使用するユーザー同意管理 (UCM) 機能で一元的に保存されるため、1 つのインターフェイスの変更がすべてのインターフェイスに適用されま

アプリケーションまたは機能	詳細
	す。ユーザーの同意管理の詳細については、ドキュメントの「内ユーザーエクスペリエンスアナリティクス」を参照してくださいUser privacy, tracking, and user consent management in Usage Insights。
Skills Intelligence	関連するロールグループテーブル 水平方向のキャリアアップをサポートするために、2つの新しい列が追加されました。詳細については、「Create related role groups」を参照してください。 ジョブレベルの向上 同じ職務レベル間でのキャリアアップはもはや不可能です。
Software Asset Management	Adobe および Microsoft 365 統合機能は次に移動されました: ソフトウェア資産管理 – SaaS ライセンス管理 機能拡張と修正を迅速に行うために、Adobe統合Microsoft 365機能はストアSaaS ライセンス管理アプリケーションに移動しソフトウェア資産管理しました。
ソーシングおよび調達オペレーション	Sourcing and Procurement Operations integration with Project Management 従業員または要求者が Strategic Portfolio Management (SPM) 製品とのデータ連携エクスペリエンスでキャプチャされるプロジェクトの詳細を入力する問診票フォームにコンテンツ変更を実装しました。 i 注: これらのプロジェクトの質問は、従業員または要求者が SPM にアクセスできる場合にのみ、問診票フォームで利用できます。既存のお客様への影響はありません。 Complete sourcing checkout Employee Center のカタログ外エクスペリエンスの同じ問診票の質問に合わせて、Shopping Hub 製品カタログの価格設定のないアイテムの調達チェックアウトフォーム内にコンテンツの変更を実装しました。Shopping Hub と Employee Center の両方を使用している既存のお客様には、両方のエクスペリエンスで一貫した質問が表示されます。 要求者は、価格設定が必要なカタログアイテムの取り込み時に、連携に関心のあるサプライヤーの連絡先の詳細を入力します。サプライヤー連絡先レコードが保存されて作成され、調達履行者が調達または購入の詳細を確認するときに使用できます。既存のお客様と新規のお客様の両方に、これらの変更が表示されます。 Requesting for products or services that you don't see on ShoppingHub Employee Center から複数の物品またはサービス、あるいはその両方を要求する要求者または従業員の問診票エクス

アプリケーションまたは機能	詳細
	ペリエンスが変更されました。これらには、「私は良いものが必要です」および「私はサービスが必要です」の問診票またはレコードプロデューサーが含まれます。 さらに、Employee Center 内には、送信とアイテムの詳細を確認するための新しいサマリーページがあります。既存の顧客がこの新機能を利用する場合は、変更されたレコードプロデューサーペイロードを適用して複数の物品またはサービス、あるいはその両方をキャプチャする必要があります。 デフォルトの問診票フォームが変更され、各物品またはサービス、あるいはその両方に、同じまたは異なる配送先住所またはサービスの住所と日付を設定できるようになりました。既存の顧客は、このエクスペリエンスを独自の質問を含む独自の問診票に適用できます。 Sourcing and Procurement Operations integration with third-party sourcing solutions サードパーティ調達ツールが入札終了日までに入札をクローズするタイミングを知るための追加機能を統合フレームワーク内に実装しました。また、サードパーティの調達ツールでサプライヤー認定が行われた場合、認定応答は ServiceNow に返されます。 i 注: 現在、ServiceNow に返すことができるサプライヤー応答は 1 つのみです。 デフォルトのメールコンテンツと製品内アラートメッセージが実装されており、サードパーティの調達ツールで見積もり依頼 (RFQ) が作成されたとき、および ServiceNow でサプライヤー認定を作成できるときに、従業員または要求者と調達マネージャーまたは履行者に通知します。 既存の顧客は、サードパーティ調達ツールの統合をトリガーするために使用される意思決定テーブルの統合によってさらに影響を受けます。1 つは非推奨ですが、もう 1 つはアクティブで使用されています。既存の顧客は、アクティブな意思決定テーブルのみを使用していることを確認する必要があります。 Landing page for Sourcing and Procurement Operations in Source-to-Pay Workspace Source-to-Pay(S2P)製品スイート全体、またはS2Pスイート内の個々の製品を持つ顧客は、ワークスペース内のコンテンツがロールベースである同じワークスペースを共有するようになりました。履行者には、複数または単一のランディングページが表示され、ロールに基づいてさまざまなリストにアクセスできます。SPO、SLO、または APO 用に独自のワークスペース ランディング ページを構築した既存のお客様には、1 つのワークスペース内にランディング ページが表示されます。 Create a procurement task

アプリケーションまたは機能	詳細
	履行者は、調達から支払までのワークスペースページから特定のアクションタイプの調達タスクを作成し、従業員または購入者にアサインできます。サポートされているアクションタイプは、[フォームを送信]、[ドキュメントに署名]、および [ドキュメントをアップロード] です。これは、購入者がタスクを完了するために何が期待されているかを理解するのに役立ちます。既に作成されたタスクについて既存の顧客に影響を与えることはありません。これらの新しい変更はアップグレードによって影響を受けます。 Shopper to-dos 買い物客は、Shopping Hub の To Do リストで [フォームの送信]、[ドキュメントに署名]、[ドキュメントのアップロード] などのタスクを確認できます。 Sourcing and Procurement Operations integration with Employee Center 従業員は、Employee Center のタスクページで [フォームの送信]、[ドキュメントに署名]、[ドキュメントのアップロード] などのタスクを表示できます。Employee Center のタスクページの [完了] タブで、完了したタスクを表示することもできます。 Order a product with quick checkout 要求者または従業員は、問診票エクスペリエンス内で過去の日付の物品またはサービスの購入要求を送信できます。これらの要求は、引き続き事後購入としてマークされます。既存の顧客には過去の日付の検証が問診票フォームから削除されているため、過去の日付が取得され、有効な応答としてデータベースに渡されます。 Using ShoppingHub Shopping Hub に追加のユーザーエクスペリエンス分析を実装して、[購入 (My Purchases)] 内のユーザーセッション、ページアクティビティ、ナビゲーションを追跡し、製品の使用状況とユーザーエクスペリエンスをよりよく理解しました。ユーザー エクスペリエンス アプリケーションを使用する既存の顧客と新規のお客様は、このイベント トラッキングを表示して、ユーザーのショッピング ハブの使用状況を把握できます。 Sourcing and Purchasing Automation 調達および購入ワークフロー内のステータスが自動化をバイパスして手動で変更され、ダウンストリームのワークフローとユーザビリティの問題が発生する可能性がある、ワークフローコンプライアンスの問題に対処しました。ステータスフローが設計されたワークフローと自動化に準拠できるように、[状態] フィールドは読み取り専用になります。既存の顧客は、調達要求、購入明細、交渉イベント、交渉、および購買要求書テーブルのステータスを手動で変更できなくなりました。 Spendint API 共通統合フレームワークが拡張され、次のものが追加されました。

アプリケーションまたは機能	詳細
	• 発注書、受領書、およびコスト割り当ての受信テーブル。入力されると、テーブルに発注書、受領書、およびコスト割り当てソーシングと調達オペレーションが作成されます。 • ERP システムからデータをフェッチするジョブを開発するためにパートナーが使用できる、スケジュール済みジョブのプライマリフロー。 • 任意の ERP と統合するための標準フレームワークとして使用できる、共通のエラー処理フレームワーク。 i 注: 既存のお客様への影響はなく、これらの変更はこのアップグレードでのみ有効になります。 履行者は、新しい統合フレームワーク構造の一部として生成されている統合エラータスクを表示します。 Components installed with Sourcing and Procurement Operations [サプライヤー] フィールドをサービスタスク (sn_spend_sdc_service_task) テーブルに再スコープすることで、すべての Source-to-Pay (S2P) 製品間の整合性を確保し、より一般的に使用されるデータポイントをエンドユーザーに公開します。これにより、サービスタスクテーブルを拡張するすべてのテーブルが [サプライヤー] フィールドを取り込んで、タスクエクスペリエンスを向上させることができます。既存のお客様の場合は、サプライヤータスクテーブルから廃止された サプライヤー フィールドが、固定スクリプトによってサービスタスクテーブルで利用できることを確認できます。
戦略的計画	採点フレームワークを有効または無効にする 必要に応じて、ベースシステム採点フレームワークを有効または無効にします。採点フレームワークの有効化または無効化は、管理者のみが実行できます。
サブスクリプション管理	新しい サブスクリプション管理 エクスペリエンス このリリースでは、従来の サブスクリプション管理 エクスペリエンスは、より効率的で合理化されたインターフェイスに置き換えられました。
サプライヤーライフサイクルオペレーション	Source-to-Pay Workspace Washington DC リリース以降、サプライヤー管理ワークスペース は将来の廃止に備えて準備されます。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。Source-to-Pay ワークスペース は、この機能の最新のエクスペリエンスを提供します。 Case playbook for specific supplier case types

アプリケーションまたは機能	詳細
	ケース Playbook が更新され、次のサプライヤーケースタイプを完了するための承認アクティビティが含まれなくなりました。 • サプライヤーサポート要求 • 一般照会 Playbook for updating the supplier primary data サプライヤープライマリデータのレビュー Playbook が更新され、次のサプライヤーケースタイプを完了するための承認アクティビティが含まれなくなりました。 • 銀行情報の変更要求 • サプライヤー情報の変更要求 • サプライヤーの場所の変更要求
サードパーティリスク管理	終了したサードパーティが、オンボーディングの新しい DD 要求に使用できるようになりました 「終了」ステータスのサードパーティを再有効化できるようになりました。新しいエンゲージメントのオンボーディングのデューデリジェンス要求を作成するときに、終了したサードパーティを選択できます。このような要求が受け入れられてクローズされると、サードパーティのステータスは「アクティブ」に変更されます。 サードパーティリスク査定人ロールの新しい [sn_svdpr.allow_assessor_edit] プロパティ [sn_svdpr.allow_assessor_edit] プロパティのデフォルト設定では、サードパーティリスク査定人 [sn_vdr_risk_asmt.vendor_assessor] がサードパーティのアンケートの質問に回答したり、回答を変更したりすることができます。このプロパティの設定方法については、を参照してください Configure TPRM properties。
UI ビルダー	列レイアウトの改善 コンテンツツリーとステージから列レイアウトの列を並べ替え、削除、追加、および名前変更します。 コントローラーコンポーネント構成の改善 コントローラープロパティの簡素化されたコンポーネント構成を使用すると、UI Builder ページからデータやスクリプトに簡単に接続できます。 簡素化されたデータバインディング テーブル、変数、および式を指定するための簡素化されたプロセスを使用して、データを視覚的にバインドします。 データリソース構成の改善 新しいデータドロワーを使用して、データリソースを参照、検索、追加、および構成します。 タブの簡素化された追加

アプリケーションまたは機能	詳細
	ステージから直接ページにタブ UI ビルダー を追加します。 画像選択プロセスの改善  アイコンコンポーネントで使用する利用可能なプラットフォームアイコンをより簡単に参照します。 の新しいテーマ: UI ビルダー  [®] ツールと管理者の ServiceNow テーマ UI ビルダー が適用され、ビルダーアプリケーション全体で一貫したルックアンドフィールを提供できるようになりました。
User Experience Analytics	基本 トラッキング ユーザーがオプトアウトすると、基本追跡は無効になります。
仮想エージェント	仮想エージェント変更の Now Assist  ガイド付き設定のNow Assist仮想エージェントフローが改善されました。 Web クライアントの公開ページのデフォルトの変更  新規顧客の公開ページのデフォルトを、 次のページのアクティブ が TrueからFalse に変更しました。 • \$sn-va-web-client-app • sn_va_web_client_app_embed 必要に応じて、 でパブリックアクセス を有効にします 対話型インターフェース > 設定 > 全般 ポータルの Web クライアントのみ。
Microsoft Defender for IoT の脆弱性対応 (オンプレミス管理コンソール)	脆弱性対応 for Microsoft Defender for IoT (オンプレミス管理コンソール) アプリケーション名の変更  Vulnerability Response Integration with Microsoft Defender for IoT (On-Premises) アプリケーションは、 脆弱性対応 for Microsoft Defender for IoT (On-Premises Management Console) アプリケーションの名前が変更されました。
ワークスペース	でのレコードプレビュー 構成可能ワークスペース フィールド内の情報アイコン (情報 ) を選択して、レコードを開く前にプレビューします。 フォームコンポーネント内のフォームバンドルコンポーネントを使用するか、標準のレコードページテンプレートを使用して、レコードプレビューを利用できます。 フォームに 追加された添付ファイルを暗号化する フォーム内に添付ファイルを追加するときにモジュールの暗号化を選択して、添付ファイルを表示するためのアクセス権を持つロールを管理します。

アプリケーションまたは機能	詳細
	メールドラフトの保存  手動の [保存] ボタンは、メールクライアントで使用できなくなりました。 メールの下書きは、数秒後に自動的に保存されます。 新しいメールドラフトを作成してメールドラフトを表示すると同時に、現在のメールドラフトを自動的に保存します。 システム管理者は、自動保存を無効にするか、プロパティ <code>glide.email_client.auto_save_enable</code> を使用して自動保存の更新間隔を変更します。 受信者フィールドにメールアドレスを追加する  メールアドレスをコピーして、メールクライアントの受信者フィールドに貼り付けます。 メールにナレッジ記事へのリンクを挿入  エージェント支援を使用して、要求者にメールでナレッジ記事へのリンクを追加します。 作成 パネルのポップアップダイアログ  ポップアップダイアログから [作成] パネルを操作して、ワークスペースフォームの他の領域を同時に操作します。 UIB のメールコンポーザー  [メール送信] ボタンの設定、メールへのリンクの挿入、[新しいメールの作成]、[破棄]、および [下書きの表示] ボタンの制御、列レイアウトの調整を行うために Email Composer に追加された UIB プロパティ。 UIB メールコンポーザーで、変更後にメールの件名を維持するために追加されたイベント。 フォームでサポートされている フィールドタイプ ワークスペース は、フォームで Integer_date、XML、スクリプト、Script_plain、Condition_string、スラッシュバケットのフィールドタイプをサポートしています。 宣言アクション構成 の改善  UXF フォームアクションおよび UX フォームアクションレイアウトアイテムレコードの自動作成を含む、宣言アクション構成エクスペリエンスに対処するための改善点のコレクションにより、宣言アクションの設定に必要な手動の異なるステップの数の削減、宣言アクションへのナビゲーションアクセスの更新、アイコンやその他のボタンの色のサポート。 UXF クライアント アクションのペイロードによる翻訳  宣言アクションペイロードで定義されたテキストを翻訳するには、<code>translate()</code> 呼び出しの値を一重引用符または二重引用符で囲みます。 フォーム レイアウトでアクションを統一

アプリケーションまたは機能	詳細
	既存のレイアウトでは、アクションを統一するためのボタンとともにアラートメッセージが表示されます。これにより、フォームアクションが単一のリストに統合され、表示調整が簡単になります。新しいレイアウトは自動的に統合されます。

Washington DC の削除された機能と製品

Washington DC の機能と製品から削除された機能に関する累積的なリリースノートの概要。

Washington DC 製品の更新の一部として一部の機能が削除されました。

アプリケーションまたは機能	詳細
Advanced Risk	- リスクアセスメントフォームの [保存] ボタンが削除されました。リスクアセスメントフォームは自動的に保存されます。 - アセスメントスコープ内に承認が構成されていない場合、リスクアセスメントフォームの [承認] タブからステッパーコンポーネントが削除されました。この削除により、ユーザーエクスペリエンスが簡素化され、インターフェイスが整理されて、より直感的になります。
クローンアドミンコンソール	クローン要求を配置するためのカスタムクローンプロファイルに少なくとも 1 つのカスタムプリザーバーを含めるという要件は削除されました。クローン要求を行うためのベースシステムプリザーバーのみを持つカスタムクローンプロファイルを作成できるようになりました。
Compliance Case Management	コンプライアンスケースフォームの [影響する] および [関連] 領域の [新規] ボタンが削除され、[追加] ボタンに置き換えられました。
DevOps Change Velocity	デフォルトの変更ハンドラーサブフローは、新規およびアップグレードの顧客に対して削除されました。
生成 AI コントローラー	QnA 機能が削除され、アクションが削除され仮想エージェントデザイナーフローデザイナーになりました。
Healthcare and Life Sciences Service Management Core	消耗品モデル [cmdb_consumable_product_model] テーブルがデータモデルから削除されました。
Industrial Process Manager	ISA エンティティサイトユーザー [isa_entity_site_user] テーブルを含む [サイトユーザー] メニューアイテムが、Now Platformの機器モデル - ISA モジュールから削除されました。
Mobile Platform	モバイルアプリの構成に使用される Mobile Studio はリリース Washington DC から削除されました。モバイル構成はツールとし

アプリケーションまたは機能	詳細
	て、Web ベースの UI、モバイルアプリビルダー、モバイルカードビルダー を使用して実行されます。
Operational Technology Manager	- 次のシステムプロパティが Service Graph Connector for Operational Technology (Excel) から削除されました。 <code>sn_otsm_sgc.excel.nested.columns.max.level</code> <code>sn_otsm_sgc.excel.nested.column.delimiter</code> - SG OT Excel ステージング [sg_ot_excel_staging] テーブルでコントロールモジュールとして分類されている OT デバイスの名前の検証が削除されました。 - Name属性が OT コントロールモジュール識別ルールから削除されました。 - ネットワーク侵入検知システム (NIDS) クラスレコードを手動で作成する機能は削除されました。 - コントロールモジュールは、モジュール付き OT コントロールシステムの下を除いて、リストビューに表示されなくなりました。
Playbook	トリガーライセンス要件が削除され、資格付与された任意のテーブルを使用して Playbook をトリガーできるようになりました。
セキュリティセンター	<i>Enable Code Signing for Application Configuration Data and Scripts</i>ハードニング設定は削除されました。 <i>Enable Glide KMF encrypter</i>ハードニング設定は削除されました。 <i>Disable the Use of Instance Level Encrypter</i>ハードニング設定は削除されました。 <i>Log All Outbound HTTP Request Fields</i>ハードニング設定は削除されました。 <i>Auto Set Content Type Options</i> ハードニング設定は削除されました。
サブスクリプション管理	[登録済みユーザー] 関連リストがサブスクリプションフォームから削除されました。 [登録済みユーザー] 関連リストと [ロールサブスクリプション属性] 関連リストがロールフォームから削除されました。 [サブスクリプションの管理] 関連リストがグループフォームから削除されました。 [カスタムアプリケーションインベントリ] モジュールは削除されました。

アプリケーションまたは機能	詳細
	- App Engine の使用状況ダッシュボードが削除されました。App Engine サブスクリプションの詳細を表示すると、App Engine カスタムテーブル資格付与の詳細にアクセスできます。 [ドメインコンプライアンスの概要] ダッシュボードが削除されました。サブスクリプション管理 ドメイン分離のサポートが終了しました。
ユーザーエクスペリエンス分析	User Experience Analytics API バージョン 2.1.4 はストアから廃止されました。

Washington DC のすべての機能と製品の廃止情報

Washington DC の機能と製品の廃止情報に関する累積的なリリースノートの概要。

Washington DC のプラグインの詳細については、「」および「」を参照してください。

アプリケーションまたは機能	Details (詳細)
CSM のエージェントエクスペリエンス	CSM エージェントワークスペース は現在廃止されており、新しいアクティベーションではサポートされていないか、使用できません。 CSM 構成可能ワークスペース は、この機能の最新のエクスペリエンスを提供します。詳細については、Now Support ナレッジベースの廃止 プロセス [KB0867184] の記事を参照してください。
Benchmarks	リリース以降 Washington DC 、従来のダッシュボードと KPI 詳細ページの推奨事項は、ベンチマーク 将来の廃止に備えて準備されます。従来のダッシュボードは非表示になり、新しいインスタンスにはインストールされなくなりますが、引き続きサポートされます。詳細については、Now Support ナレッジベースの「 Deprecation Process (廃止プロセス) [KB0867184] 」の記事を参照してください。
クラウドコスト管理	クラウドコスト管理 コア UI インターフェイスとクラウド支出ダッシュボードは、将来的に廃止される予定です。
Configuration Management Database (CMDB)	Washington DC リリース以降、コア UI (UI 16) 上に構築された CMDB データマネージャーは、将来の廃止に備えて準備されています。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。この機能の最新のエクスペリエンスは CMDB Workspace で提供されます。
Core Now Platform	リリース以降 Washington DC 、 Internet Explorer と Internet Explorer のモードは Edge サポートされなくなりました。詳細については、Now Support ナレッジベースの Deprecation Process (廃止プロセス) [KB0867184] の記事を参照してください。

アプリケーションまたは機能	Details (詳細)
Customer Service Management (CSM)	このリリース以降 Washington DC 、Product Model and Catalog Items Relationship プラグインは展開、拡張、またはサポートされなくなりました。詳細については、ナレッジベースの非推奨プロセス [KB0867184] の記事 Now Support を参照してください。詳細については、「Product Model and Catalog Items Relationship プラグインの廃止」を参照してください。 CSM エージェントワークスペース は現在廃止されており、新しいアクティベーションではサポートされていないか、使用できません。CSM 構成可能ワークスペース は、この機能の最新のエクスペリエンスを提供します。詳細については、Now Support ナレッジベースの Deprecation Process (廃止プロセス) [KB0867184] の記事を参照してください。
動的翻訳	IBM は、すべての地域でクラウド向け IBM Watson Translator サービスの廃止を発表しました。2023 年 6 月 10 日の時点で、新規顧客の [言語翻訳ツール] タイルはクラウド プラットフォームから削除され、既存の顧客のみが製品にアクセスできるようになります。2024 年 6 月 10 日の時点で、サービスはサポート終了日に達します。2024 年 12 月 10 日をもって、サービスは完全に廃止され、お客様は利用できなくなります。詳細については、「https://cloud.ibm.com/docs/language-translator?topic=language-translator-release-notes」を参照してください。
ESG Management	- metric_status フィールドが sn_grc_metric_base_definition テーブルから削除されました。 - metric_status フィールドが sn_grc_metric_metric テーブルから削除されました。 - rollup_formula フィールドは sn_grc_metric_composite_definition テーブルから廃止されました。 - 次のテーブルは廃止されました。 - sn_esg_m2m_risk_goal - sn_esg_m2m_risk_statement_goal
暗号化キー管理	このリリース以降 Washington DC 、データベース暗号化は将来の廃止に備えて準備されます。Cloud Encryption は、保管データの暗号化に代わるソリューションです。詳細については、「暗号化とキー管理」を参照してください。
Hardware Asset Management 10.0.0	廃止は ハードウェア資産管理 コア UI 今後のリリースで予定されています。 このリリース以降 Washington DC 、このインターフェイスは限定的なサポートが提供されます ハードウェア資産管理 コア UI 。新しい Now Platform リリースにアップグレードする場合を含め、インスタンス内でアクティブなままですが、ワークスペースエクスペリエンス

アプリケーションまたは機能	Details (詳細)
	に移行することをお勧めします。詳細については、「Hardware Asset Workspace」を参照してください。
Healthcare and Life Sciences Service Management Core	- ヘルスケア販売済み製品 [sn_hcls_sold_product] テーブルは廃止されました。 - 支払人プラン [sn_hcls_payer_plan] テーブルは廃止されました。このテーブルが以前に使用されていた場合、今後は医療保険モデルテーブル [sn_ent_medical_insurance_model] が使用されます。 - 医薬品モデル [sn_hcls_medication_product] テーブルは廃止されました。このテーブルが以前に使用されていた場合、今後は薬剤モデル [sn_ent_medication_model] テーブルが使用されます。 - ワクチン製品 [sn_hcls_vaccine_product] テーブルは廃止されました。このテーブルが以前に使用されていた場合、今後はワクチン接種モデル [sn_ent_vaccination_model] テーブルが使用されます。 廃止されたすべてのテーブルでは、アップグレード時に既存の顧客データが新しいテーブルに移動されます。タイプが薬剤コードおよびフォームコードのコードセットレコードは、HCLS コードセットから耳鼻咽喉科モデル分類にコピーされます。新しいテーブルのレコードは、ENTモデル分類テーブルのコードセットタイプレコードを参照します。
ITOM Optimization	CAPI およびクラウドの支出と使用状況ダッシュボードの廃止 Washington DC リリース以降： クラウド API ダッシュボードは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。クラウドサービスカタログアプリケーションでこの機能が提供されるようになりました。 クラウド支出および使用状況ダッシュボードは非表示になり、新しいインスタンスでは有効化されなくなりますが、引き続きサポートされます。Cloud Insights Billing アプリケーションがこの機能を提供するようになりました。 どちらのアプリケーションも、将来の廃止に向けて準備中です。 詳細については、Now Support ナレッジベースの「アプリケーション/プラグインの廃止プロセス [KB0867184]」記事を参照してください。
ITOM Visibility	CAPI の廃止 リリース以降 Washington DC 、クラウド API ディスカバリー は将来の廃止に備えて準備されます。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。パターンベース ディ

アプリケーションまたは機能	Details (詳細)
	スカバリー は、CAPI 機能の最新のエクスペリエンスを提供します。 詳細については、Now Support ナレッジベースの「アプリケーション/プラグイン廃止プロセス」の記事 [KB0867184] を参照してください。
ID と認証	• MultiSSO v1 は廃止されました。MultiSSO v1 から MultiSSO v2 にアップグレードしてください。 詳細については、Now Support ナレッジベースのナレッジ記事「MultiSSO v2 upgrade instructions [KB9756504]」を参照してください。 • SAML 1.1 および SAML 1.1 Single Sign-On - Update 1 プラグインは廃止されました。SAML ベースの ID プロバイダー (IdP) は既に SAML 2.0 に移行されています。SAML 2.0 を使用するには、MultiSSO をインストールし、ID プロバイダーを設定する必要があります。 • OpenID SSO プラグインは廃止されました。OpenID Connect (OIDC) を使用するには、MultiSSO をインストールし、OIDC ベースの ID プロバイダーを設定する必要があります。
統合ハブ	リリース以降 Washington DC は、OpenAPI support in the REST step 将来の廃止に備えています。これは非表示になり、有効化できなくなりますが、引き続きサポートされます。詳細については、Now Support ナレッジベースの「Deprecation Process (廃止プロセス) [KB0867184]」の記事を参照してください。
Knowledge Management	• リリース以降 Washington DC 、 ナレッジ管理 v3 ホームページ (com.snc.knowledge3) は将来の廃止に備えて準備されます。これは非表示になり、新しいインスタンスではアクティブ化されなくなりますが、引き続きサポートされます。Knowledge Management Service Portal は、この機能の最新のエクスペリエンスを提供します。 • 詳細については、ナレッジベースの廃止 プロセス [KB0867184] の記事 Now Support を参照してください。
MID Server	• コンテナ化 Windows MID サーバー はサポートされなくなりました。Docker レシピのダウンロード Windows MID サーバー リンクは削除されます。古い Windows MID サーバー Docker レシピは引き続き使用できますが、公式のサポートはありません。詳細については、「(KB1559617) Washington DC で廃止されたコンテナ化された MID Server 機能」を参照してください。 • 自動デプロイと専用デプロイ MID サーバー による自動削除はサポートされなくなりました。デプロイ テンプレートはサポートされなくなり、新しいデプロイ テンプレートを使用または作成することはできません。ただし、既存のテンプレートを使用した既存の展開要求は引

アプリケーションまたは機能	Details (詳細)
	引き続き機能します。詳細については、「 (KB1559617) Washington DC で廃止されたコンテナ化された MID Server 機能 」を参照してください。
Order Management	Vancouver リリース以降、注文管理 - カスタマーサービス管理 (CSM) は将来の廃止に備えて準備されます。これは非表示になり、新しいインスタンスにはインストールされなくなりますが、引き続きサポートされます。詳細については、Now Support ナレッジベースの Deprecation Process (廃止プロセス) [KB0867184] の記事を参照してください。
Predictive Intelligence	新しい回帰ソリューションの作成のサポートが削除されました。既存のソリューションをトレーニングおよび編集することはできますが、新しいソリューションを作成することはできません。
Security Incident Response	ServiceNow セキュリティインシデントレスポンス では、次の統合はサポートされなくなりました。 - Recorded Future - Trusted Security Circles これらの非推奨の詳細については、ナレッジ ベースの非 推奨プロセス [KB0867184] の記事 Now Support を参照してください。
Software Asset Management	- Cisco Webex 会議の統合は展開または拡張されなくなりました。代わりに、Cisco Webex 統合 会議や他の Webex アプリケーションと Webex 統合するためのプロファイル。 - このリリース以降 Washington DC 、次の 2 つのクイックスタートテストは廃止されました。 - SAM - カスタム製品の調整を検証 - SAM：ライセンスワークベンチでの公開者の固定と固定解除 - Microsoft 365 資産分析ビューの最適化と節減額ダッシュボードのサブスクリプションレポートに基づくユーザーアクティビティは廃止されました。このレポートは、新しい Microsoft 365 サブスクリプションの詳細レポートに置き換えられました。
システムクローン	Washington DC リリース以降、従来のシステムクローン要求ページ (clone_instance.do) は将来の廃止に備えて準備されます。Y リリース以降、[要求] ページにアクセスすると (clone_instance.do) にシステムクローンリダイレクト Clone Admin Console されます。廃止プロセスの詳細については、ナレッジベースの廃止 プロセス [KB0867184] の記事 Now Support を参照してください。
Table Builder for App Engine	App Engine のテーブルビルダーアプリケーションがアプリケーションに統合テーブルビルダーされました。詳細については、「 テーブルビルダー リリースノート 」を参照してください。

Washington DC のすべての機能と製品のアクティベーション情報

Washington DC の機能と製品のアクティベーション情報に関する累積的なリリースノートの概要。

一部の製品および機能には、特定のサブスクリプション、ロール、またはライセンスが必要です。その他の機能はの一部であり、デフォルトで有効になっています。

アプリケーションまたは機能	詳細
AI Search	AI Search はデフォルトで有効な機能です Now Platform 。
API	デフォルトでは、次の API が利用可能です。 • <i>DecisionTableAPI</i> • <i>DuplicateTemplate</i> • <i>GlideAggregate</i> • <i>GlideForm</i> • <i>GlideRecord</i> • 製品インスタンス • <i>SPWidgetAccessControl</i> • <i>XMLDocument2</i> • <i>XMLNode</i> 次の API はプラグインのアクティブ化が必要です。 • <i>OnCallContactPrefTemplate</i> および <i>OnCallEscalationTemplateSNC</i> API では、オンコールスケジューリング(<code>com.snc.on_call_rotation</code>) プラグインを有効にする必要があります。 • <i>ProcessMiningForExternalData</i> API では、プロセスマイニング for external data (<code>sn_po_extdata</code>) プラグインをアクティブ化する必要があります。
Accounts Payable Operations	ServiceNow Store から要求して、買掛金オペレーション をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
Adoption Services	アダプションサービス はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。
Advanced Risk	ServiceNow Store から要求することで、高度なリスク をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情

アプリケーションまたは機能	詳細
	報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
Advanced Work Assignment	高度なワークアサインメント は、Now Platform Glide Advanced Work Assignment プラグイン (com.glide.awa) をアクティブ化すると利用できる機能です。詳細については、「 Get started with Advanced Work Assignment 」を参照してください。
エージェントチャット	エージェントチャット は、エージェントチャット プラグイン (com.glide.interaction.awa) をアクティブ化すると利用できる Now Platform 機能です。詳細については、「 Configuring Agent Chat 」を参照してください。
Agent Client Collector	Agent Client Collector は、イベント管理 がインストールされているインスタンスで Agent Client Collector Framework プラグイン (sn_agent) および Agent Client Collector Monitoring プラグイン (sn_itmon) をアクティブ化すると利用できます。
Agent Workspace for HR Case Management	ServiceNow Store から要求することで、HR ケース管理のエージェントワークスペース をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
CSM のエージェントエクスペリエンス	ServiceNow Store から要求して、CSM 構成可能ワークスペース をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
App Engine Studio	ServiceNow Store から要求することで、App Engine Studio をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
アプリケーションマネージャー	アプリケーションマネージャー はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。
アプリケーションポートフォリオ管理	アプリケーションポートフォリオ管理 は、アプリケーションポートフォリオ管理 (com.snc.apm) プラグインを有効にすると利用できます。詳細については、「 Application Portfolio Management 」を参照してください。

アプリケーションまたは機能	詳細
Application Vulnerability Response	から要求脆弱性対応ServiceNow Storeしてインストールアプリケーション脆弱性対応します。アプリケーションは脆弱性対応アプリケーションの一部として含まれています。 アプリケーション脆弱性対応 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。
Audit Management	ServiceNow Store から要求して、Audit Management をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。
Automated Test Framework	自動テストフレームワーク (ATF) はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。 注: デフォルトでは、自動テストを実行するためのシステムプロパティは、実稼働システムでは実行できないようにオフになっています。データの破損や機能停止を避けるため、開発、テスト、および他の非本番インスタンスでのみテストを実行してください。詳細については、「Enable or disable executing Automated Test Framework tests」を参照してください。 アプリケーションのクイックスタートテストを使用するには、アプリケーションに関連付けられているプラグインをアクティブ化します。詳細については、「Available quick start tests by application or feature」を参照してください。 <code>sn_atf.runner.enabled</code> プロパティを [True] に設定して、ATF テストジェネレーターとクラウドランナー ストアアプリケーションのコンテナツバックスをアクティブ化します。
Benchmarks	ベンチマーク はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。新しいベンチマーク ダッシュボードは、とともに自動的にインストール Washington DC され、から ServiceNow Store利用できます。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。詳細については、「Enable Benchmarks」を参照してください。
Business Continuity Management	ServiceNow Store から要求して、事業継続性管理 をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報に

アプリケーションまたは機能	詳細
	については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
クローンアドミンコンソール	クローン管理コンソール はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。
クラウドコスト管理	ServiceNow Store から要求することで、クラウドコスト管理 をインストールします。ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。 このリリース以降 Washington DC 、このインターフェイスは限定的なサポートが提供されます クラウドコスト管理 コア UI 。新しい Now Platform リリースにアップグレードする場合を含め、インスタンス内でアクティブなままですが、ワークスペースエクスペリエンスに移行することをお勧めします。
Coaching	コーチング は、(com.sn_coaching) プラグインを コーチング アクティビ化すると利用できます。これには個別のサブスクリプションが必要です。詳細については、「 Request Coaching 」を参照してください。
共通の Governance, Risk, and Compliance 機能	ServiceNow Store から要求して、GRC をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
Compliance Case Management	ServiceNow Store から要求することで、Compliance Case Management をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
Configuration Compliance	から要求してServiceNow Store、Configuration Compliance をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
Configuration Management Database (CMDB)	CMDB はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。

アプリケーションまたは機能	詳細
コンテナ Vulnerability Response	ServiceNow Store から要求して、コンテナ脆弱性対応 をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
Continuous Authorization and Monitoring	ServiceNow Store から要求して、Continuous Authorization and Monitoring をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
Core Now Platform	Core Now Platform はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。
顧客契約と資格付与	ServiceNow Store から要求することで、カスタマー契約とエンタイトルメント をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。 カスタマー契約とエンタイトルメント は、 カスタマー契約とエンタイトルメント (com.sn_pss_core) プラグインを有効にすると利用できます。これには個別のサブスクリプションが必要です。詳細については、「Configure Customer Contracts and Entitlements」を参照してください。 注: を有効にすると カスタマー契約とエンタイトルメント、新しい契約とエンタイトルメントは新しいデータモデルのみを使用して作成されます。新しいエンタイトルメント検証 API と変更ワークフローは、新しいデータモデルに基づいています。古い契約とエンタイトルメントは引き続き表示できます。
Customer Service Management (CSM)	カスタマーサービス管理 (CSM) は、カスタマーサービス管理 (CSM) プラグイン (com.sn_customerservice) をアクティブ化すると利用できる Now Platform の機能です。詳細については、「Activate Customer Service Management」を参照してください。 追加の カスタマーサービス管理 (CSM) 機能は、他のプラグインをアクティブ化すると利用できます。詳細については、「Additional plugins for Customer Service Management」を参照してください。
CSM のデータ管理	カスタマーサービス管理 (CSM) は、カスタマーサービス管理 (CSM) プラグイン (com.sn_customerservice) をアクティブ化すると利用できる Now Platform の機能です。詳細については、「 Activate Customer Service Management 」を参照してください。

アプリケーションまたは機能	詳細
	追加の カスタマーサービス管理 (CSM) 機能は、他のプラグインをアクティブ化すると利用できます。詳細については、「Additional plugins for Customer Service Management」を参照してください。 Sales and Order Management は、注文管理 Lead to Cash Core プラグイン (com.snd.l2c.core) を有効にすると利用できる機能です。
Decision Builder	ディシジョンビルダー は、ディシジョンビルダー プラグイン (sn_decision_design) をアクティブ化すると利用できます。詳細については、「Update to the latest version of Decision Builder」を参照してください。
Delegated Development	Delegated Development はデフォルトで有効な機能です Now Platform 。 Delegated Development はデフォルトで有効な機能です Now Platform 。
DevOps Change Velocity	ServiceNow Store から要求することで、DevOps チェンジベロシティをインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。
Digital Portfolio Management	ServiceNow Store から要求することで、デジタルポートフォリオ管理をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。
Document Intelligence	ServiceNow Store から要求することで、ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) アプリケーション (sn_docintel) は、ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) プラグイン (com.glide.platform_ml)、予測インテリジェンス (com.glide.platform_ml)、および ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) UIB コンポーネント (com.sn_docintel_iframe) に依存します。詳細については、「Document Intelligence のインストール」を参照してください。
ドキュメントサービス	ドキュメントサービス はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。

アプリケーションまたは機能	詳細
	ドキュメント管理 は、 Document Management プラグイン (com.snc.platform_document_management) を有効にすると利用できます。詳細については、「Activate Document Management」を参照してください。 Multi Provider Document Services Framework。ServiceNow Store から要求することで、Multi Provider Document Services Framework をインストールします。ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。
ドキュメントテンプレート	ServiceNow Store から要求して、ドキュメントテンプレート をインストールします。ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。
動的翻訳	動的翻訳 は、 Now Platform プラグイン (com.glide.dynamic_translation) を有効にすると 動的翻訳 利用できる機能です。詳細については、「Activate Dynamic Translation」を参照してください。
EMR Help	ServiceNow Store から要求することで、EMR Help をインストールします。ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。
ESG Management	ServiceNow Store から要求して、ESG Management をインストールします。ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。
従業員センター	ServiceNow Store から要求することで、従業員センター をインストールします。ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースメモ情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。
Employee Growth and Development	ServiceNow Store から要求することで、従業員の成長と能力開発 をインストールします。Web サイトにアクセスして、ServiceNow Store 使用可能なすべてのアプリを表示し、への要求 ServiceNow Storeの送信に関する情報を確認してください。リリースされたすべてのアプリの

アプリケーションまたは機能	詳細
	リリースメモ情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
暗号化キー管理	Platform Encryption サブスクリプションバンドルは、、、クラウド暗号化およびデータベース暗号化を含む列レベル暗号化エンタープライズグループの商用資格付与です。 列レベル暗号化エンタープライズ は 列レベル暗号化 の無制限ライセンスです。Enterprise プラグインは、com.glide.now.platform.encryption プラグインをアクティブ化すると利用できます。詳細については、「暗号化とキー管理のサブスクリプションバンドル」を参照してください。
Enterprise Asset Management	ServiceNow Store から要求することで、エンタープライズ資産管理 をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
Event Management	イベント管理 は、イベント管理 プラグイン (com.snc.apm) をアクティブ化すると利用できます。詳細については、「 Request Event Management 」を参照してください。
Field Service Management	フィールドサービス管理 (FSM) は、Now Platform プラグイン (field_service_management) を有効にすると フィールドサービス管理 (FSM) 利用できる機能です。詳細については、「Activate Field Service Management」を参照してください。 追加の フィールドサービス管理 (FSM) 機能は、他のプラグインをアクティブ化すると利用できます。詳細については、「Additional plugins for Field Service Management」を参照してください。
フローデザイナー	フローデザイナー はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。
生成 AI コントローラー	生成 AI コントローラー は、Now Platform 任意の Now Assist アプリケーションをアクティブ化すると利用できる機能です。詳細については、以下を参照してください。 インストール 生成 AI コントローラー 。
Hardware Asset Management 10.0.0	ServiceNow Store から要求することで、ハードウェア資産管理 をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
健全性ログ分析	ServiceNow Store から要求することで、ヘルスログアナリティクス をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセス

アプリケーションまたは機能	詳細
	して利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
Healthcare and Life Sciences Service Management Core	ServiceNow Store から要求することで、ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
Hermes Messaging Service	Hermes メッセージングサービス は、 Now Platform プラグイン (com.glide.hub.flow_trigger.kafka または com.glide.hub.action_step.kafka) を有効にする Apache Kafka 向けストリームコネクタ か、アプリケーションをインストールする ログエクスポートサービス と利用できる機能です。詳細については、 Hermes Messaging Service activation を参照してください。
ITOM クラウドアクセラレート	Cloud Service Catalog アプリケーションは、 ITOM Cloud Accelerate エンタイトルメントで利用できます。これらの ITOM クラウドアクセラレート 機能は、 Cloud Accelerate ストアで個別のアプリケーションとして入手できます。 ITOM クラウドアクセラレートストアからServiceNow要求して機能をインストールします。 これらの ITOM クラウドアクセラレート 機能を使用するには、有効な Cloud Accelerate エンタイトルメントが必要です。ServiceNow営業担当者に問い合わせ、Cloud Accelerate エンタイトルメントを取得してください。
ITOM 健全性	ITOM ヘルス は、イベント管理 プラグイン (com.snc.apm) をアクティブ化すると利用できます。の操作ヘルスログアナリティクスを有効にするには、より包括的なITOM ヘルスパッケージである ITOM Predictive AIOps を購入する必要があります。詳細については、「 Event Management setup 」を参照してください。
ITOM Optimization	アプリケーションは Cloud Provisioning and Governance 、CPG (com.snc.cloud.mgmt) プラグインをアクティブ化すると利用できますが、別途サブスクリプションが必要です。詳細については、「 Cloud Provisioning and Governance アプリケーション 」を参照してください。
ITOM 可視性	ITOM ヴィジビリティ は、Discovery (com.snc.discovery) プラグインと Service Mapping (com.snc.service-mapping) プラグインのアクティベーションで利用可能ですが、ITOM ヴィジビリティ のサブスクリプションが必要です。詳細については、「 Discovery の要求 」と「 Request Service Mapping (Service Mapping の要求) 」を参照してください。ITOM ヴィジビリティ のすべての機能を使用するには、

アプリケーションまたは機能	詳細
	ServiceNow Store から最新の ITOM ヴィジビリティ 帯域外アプリケーションをインストールしてください。リリースされたすべてのアプリの累積リリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。
ITSM Mobile Agent	ServiceNow Store から要求して、ITSM モバイルエージェント をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
ITSM Success Dashboard	ServiceNow Store から要求することで、ITSM サクセスダッシュボードをインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
ID と認証	認証 はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。
Incident Management	インシデント管理 は、Incident プラグイン (com.snc.incident) によってデフォルトで有効になります。
Industrial Process Manager	ServiceNow Store から要求することで、産業用プロセスマネージャーをインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
Instance Data Replication	インスタンスデータレプリケーション (IDR)Now Platformは IDR (com.glide.idr) プラグインをアクティブ化すると利用できる機能で、別途サブスクリプションが必要です。詳細については、「 Request an Instance Data Replication subscription 」を参照してください。
統合ハブ	統合ハブ は オートメーションエンジン に含まれており、オートメーションエンジン サブスクリプションパッケージをアクティブ化すると利用できます。詳細については、「 https://www.servicenow.com/products/automation-engine.html 」を参照してください。
CSM のインテリジェンス	ガイド付きディシジョン、Recommended Actions、および Task Intelligence アプリケーションを から要求してインストールしますServiceNow Store。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリ

アプリケーションまたは機能	詳細
	リリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
Journey Designer	ServiceNow Store から要求することで、Journey Designer をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
Knowledge Management	ナレッジ管理 はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。ナレッジ管理 サービスポータルは、デフォルトで有効なプラグイン (com.snc.knowledge_serviceportal) で利用できます。 ナレッジ管理 Advanced プラグイン (com.snc.knowledge_advanced) をアクティブ化して、ナレッジ管理 の高度な機能を有効にします。詳細については、「Knowledge Management Advanced プラグインのアクティブ化」を参照してください。 さまざまな ナレッジ管理 機能を有効にする追加のプラグインを利用できます。詳細については、「Knowledge Management の追加プラグイン」を参照してください。 プラグイン (sn_ux_seo_sitemap) を有効に Sitemap Generator し、XML サイトマップを定義して自動的に生成し、公開ポータルページの検索エンジン最適化 (SEO) を改善します。サイトマップ構成レコード (sitemap_config_KB) とサイトマップ構成定義もアクティブ化する必要があります。詳細については、「Sitemap Generator レコードの設定」を参照してください。
MID Server	MID サーバー はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。
Manager Hub	ServiceNow Store から要求することで、Manager Hub をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
メンタリング	メンタリング は、ServiceNow 従業員の成長と能力開発コアの一部である Employee Connections プラグインの有効化とともにインストールできます。詳細については、「 Talent Development 」を参照してください。
Mobile Platform	ServiceNow Mobile Platform はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。
Natural Language Query	自然言語クエリー はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。

アプリケーションまたは機能	詳細
Next Experience	Next Experience は、ユーザーが Washington DC リリースをロードまたはアップグレードしたときにデフォルトでアクティブになる Now Platform 機能です。インスタンスをオンにする Next Experience 際に既知の問題がある場合は、アップグレード前にオプトアウトシステムプロパティを作成できます。
Next Experience コンポーネント	Next Experience コンポーネント はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。
Next Experience 開発者ツール	Google Chrome ウェブストアから Next Experience 開発者ツール をダウンロードします。
Notifications	Notifications はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。
Notify	通知 は、通知 (com.snc.notify) プラグインをアクティブ化すると利用できる Now Platform の機能です。詳細については、「 Notify 」を参照してください。
Now Assist	Now Assist 機能は任意の Now Assist プラグインをアクティブ化すると利用できます。次のプラグインを使用できます。 • Now Assist for Customer Service Management (CSM) • Now Assist for IT Service Management (ITSM) • Now Assist for HR Service Delivery (HRSD) • Now Assist for Field Service Management (FSM) • Now Assist for Creator i 注: プラグインで利用できる Now Assist 生成 AI 機能は異なる場合があります。 詳細については、「Install Now Assist plugins」を参照してください。
Customer Service Management (CSM) 向け Now Assist	Now Assist 機能は CSM の Now Assist プラグインをアクティブ化すると利用できます。詳細については、「 Install Now Assist plugins 」を参照してください。
Now Assist for HR Service Delivery (HRSD)	ServiceNow Store から要求することで、HRSD の Now Assist をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。

アプリケーションまたは機能	詳細
On-Call Scheduling	オンコールスケジューリング は、プラグイン (com.snc.on_call_rotation) を有効にすると Now Platform オンコールスケジューリング 利用できます。詳細については、「Activate On-Call Scheduling」を参照してください。プラグインをアクティブ化すると、以下のサードパーティライブラリがアクティブ化されます。 • FullCalendar ライブラリ • DHTMLX スケジューラ i 注: zboot ユーザーの場合、オンコールスケジューリング (com.snc.on_call_rotation) プラグインがデフォルトで有効になっています。
Operational Resilience	ServiceNow Store から要求することで、Operational Resilience をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。
Operational Technology Incident Management v2	オペレーショナルテクノロジーインシデント管理 v2 を ServiceNow Store から要求してインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。
オペレーショナルテクノロジー向けナレッジ管理	オペレーショナルテクノロジーのナレッジ管理 はアプリケーションに含まれています オペレーショナルテクノロジーインシデント管理。オペレーショナルテクノロジーインシデント管理を構成オペレーショナルテクノロジーのナレッジ管理できるように、アプリケーション (バージョン 2.0.2) をインストールして構成する必要があります。追加のプラグインは必要ありません。ServiceNow Store から要求することで、オペレーショナルテクノロジーインシデント管理 をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。
Operational Technology Manager	ServiceNow Store から要求することで、Operational Technology Manager をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

アプリケーションまたは機能	詳細
Operational Technology Vulnerability Response	ServiceNow Store から要求することで、Operational Technology Vulnerability Response をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
Order Management	ServiceNow Store から要求して、注文管理 をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
Password Reset	パスワードリセット はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。
Performance Analytics	インシデント管理の無料版パフォーマンスアナリティクス はデフォルトでアクティブです。この無料のアプリケーションでは、インジケータやブレイクダウンを作成することはできません。 サブスクリプションにより、パフォーマンスアナリティクスの全機能を利用できます。サブスクリプションに一致する パフォーマンスアナリティクス Premium プラグインをアクティブ化します。詳細については、「 Activating your Performance Analytics subscription 」を参照してください。
プラットフォーム分析エクスペリエンス	プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスはデフォルトで有効な機能です Now Platform 。このバージョンには、プラットフォームアナリティクスリリース以降VancouverにServiceNow Storeリリースされたコンポーネントに対するすべての更新が含まれています。リリース後のWashington DC更新プログラムは、.ServiceNow Store
Playbook	インターフェイスワークフロースタジオが にある間は、これらは別々のServiceNow Storeアプリです。 の一部でありNow Platform 、デフォルトで利用可能です。 ワークフロースタジオでアプリServiceNow Storeをダウンロードして、最新の Playbook 機能を取得します。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
Policy and Compliance Management	ServiceNow Store から要求して、GRC: ポリシーとコンプライアンス管理 をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。

アプリケーションまたは機能	詳細
Portfolio Planning	ServiceNow Store から要求して、ポートフォリオ計画 をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
Privacy Management	ServiceNow Store から要求して、プライバシー管理 をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
Proactive Service Experience Workflows	Telecommunications トラブルチケット通知機能は、API 通知管理 (sn_notif_api_mgmt) プラグインをアクティブ化すると使用できます Proactive Service Experience Workflows 。から要求ServiceNow Storeすることによって、インストールします。 Proactive Service Experience Workflows ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
プロセスマイニング	プロセスマイニング は、sn_po プラグインを有効にすると利用できます。
製品カタログ管理と価格管理	および製品カタログ管理Pricing Management機能は各セールスと注文管理ストアアプリケーションに含まれており、アクティブ化する必要はありません。
Project Portfolio Management	Project Portfolio Management は、PPM Standard (com.snc.financial_planning_pmo) プラグインを有効化すると利用できます。アクティブ化の詳細については、「」を参照してください Activate PPM Standard (Project Portfolio Management) 。
プロジェクトワークスペース	ServiceNow Store から要求することで、プロジェクトワークスペースをインストールします。
Public Sector Digital Services	公共機関デジタルサービス アプリケーションを ServiceNow Store から要求してインストールします。アプリケーションのインストールの詳細については、「 Configuring Public Sector Digital Services 」を参照してください。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。

アプリケーションまたは機能	詳細
見積管理	ServiceNow Store から要求することで、見積管理 をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
Regulatory Change Management	ServiceNow Store から要求して、規制変更管理 をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
リソース管理ワークスペース	リソース管理ワークスペース はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。
Robotic Process Automation (RPA) Hub	ServiceNow Store から要求することで、RPA Hub をインストールします。 RPA Hub に関する累積的なリリースノート情報については、「RPA Hub release notes (RPA Hub リリースノート)」を参照してください。 RPA デスクトップデザインスタジオ に関する累積的なリリースノート情報については、「RPA Plugin Bundle release notes (RPA プラグインバンドルのリリースノート)」を参照してください。 RPA サンプルテンプレートに関する累積的なリリースノート情報については、「RPA sample template release notes (RPA サンプルテンプレートのリリースノート)」を参照してください。 以前にアプリケーションをダウンロードしていて、新しいバージョンが利用可能な場合、次のインスタンスでNow Platform更新できます。ServiceNow Store すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション。
セキュリティセンター	Security Center はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。
Security Incident Response	ServiceNow Store から要求することで、セキュリティインシデントレスポンス をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
Security Posture Control	から要求 ServiceNow Storeして、セキュリティ体制コントロール用の Security Posture Control Core アプリケーションおよび Asset Security Posture Management (ASPM) アプリケーションをインス

アプリケーションまたは機能	詳細
	ツールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。
CSM のセルフサービスとオムニチャネルエンゲージメント	Engagement Messengerから要求ServiceNow Storeして、プレイブック CSM 用、およびオムニチャネルアプリケーションをインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。
Service Bridge	ServiceNow Store から要求して、Service Bridge をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。
Service Builder	ServiceNow Store から要求することで、サービスビルダー をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。
Service Catalog	サービスカタログ はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。
Service Graph Connector Integration for Claroty CTD	ServiceNow Store から要求することで、Claroty CTD のサービスグラフコネクタ統合 をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。
IoT 用 Microsoft Defender 向けサービスグラフコネクタ (Azure)	() をAzureMicrosoft Defender for IoT からServiceNow Store要求してインストールServiceNow サービスグラフコネクタします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。
Service Graph Connector for Microsoft Defender	(オンプレミス管理コンソール) 用Microsoft Defender for IoTServiceNow Storeコネクタを から要求してインストールサービスグラフします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法につ

アプリケーションまたは機能	詳細
for IoT (オンプレミス管理コンソール)	いて確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
Service Operations Workspace for IT Service Management	サービスオペレーションワークスペースの ITSM はデフォルトでアクティブであり、Washington DC のデフォルトバージョンは 2.1 です。以前のリリースを ServiceNow Store から Washington DC にアップグレードすると、サービスオペレーションワークスペース for ITSM 2.1 が自動的にインストールされます。
Service Portal	サービスポータルはデフォルトで有効な Now Platform の機能です。
サイドバー	ServiceNow Store から要求して、サイドバーをインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
Skills Intelligence	ServiceNow Store から要求して、スキルインテリジェンスをインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
Software Asset Management	ソフトウェア資産管理は、プラグイン (com.sn_samp_master_ws) を含む Software Asset ワークスペースすべてのソフトウェア資産管理プラグインをアクティブ化すると利用できます。このプラグインをアクティブ化すると、Activate all ソフトウェア資産管理プロ プラグイン (com.sn_samp_master) と Software Asset ワークスペース プラグイン (com.sn_sam_workspace) が自動的にアクティブ化されます。新しいプラグインをアクティブ化すると、クラシックユーザーインターフェイスにアクセスできなくなります。プラグインとその要求方法の詳細については、「」を参照してください Request Software Asset Management。 Now Platform Washington DCこのリリースでは、クラシック ユーザー インターフェイスのサポートソフトウェア資産管理が制限されています。新しいリリースにアップグレードする場合を含め、インスタンス内でアクティブなままになっている間は、新しい Now Platform ワークスペースに移動して、直感的でパーソナライズされたエクスペリエンスを実現できます。 より Utah前のリリースの場合、古い ソフトウェア資産管理プロ プラグイン (com.sn_samp_master) をアクティブ化した場合、プラグイン Software Asset ワークスペース (com.sn_sam_workspace) を有効にすると Software Asset ワークスペース、 が利用可能になります。ワークスペースプラグインをアクティブ化した後は、クラシックユーザーインターフェイスに戻すことはできません。プラグインの詳細と要求方法に

アプリケーションまたは機能	詳細
	については、「Software Asset Management プラグインの要求」を参照してください。 を有効にするには Next Experience、<code>glide.ui.polaris.experience</code> インスタンスのシステムプロパティが <code>true</code> に設定されていることを確認してください。 からServiceNow Store要求して、次のソフトウェア資産管理アプリケーションをインストールします。ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。 • ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 • Oracleグローバルライセンスおよびアドバイザリーサービスのデータ収集 • IBM のライセンスコンプライアンス ソフトウェア資産管理 • ITAM 健全性チェック • ソフトウェア資産管理 Playbook と ガイド付きセットアップ
ソーシングおよび調達オペレーション	ServiceNow Store から要求して、ソーシングと調達オペレーション をインストールします。ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。
戦略的計画	ServiceNow Store から要求して、戦略的計画 をインストールします。ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。
サブスクリプション管理	サブスクリプション管理 はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。
サプライヤーライフサイクルオペレーション	ServiceNow Store から要求して、サプライヤーライフサイクルオペレーション をインストールします。ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。
システムクローン	システムクローンはデフォルトで有効な Now Platform の機能です。

アプリケーションまたは機能	詳細
テーブルビルダー	テーブルビルダー は、Now Platform をインストールする App Engine Studioとデフォルトで有効になる機能です。
Telecommunications Network Inventory	本 Telecommunications Network Inventory アプリケーションは、Now Platform Network Inventory Advanced プラグイン (sn_ni_adv) をアクティブ化すると利用できる機能です。詳細については、「 Install Telecommunications Network Inventory 」を参照してください。
Theme Builder	ServiceNow Store から要求することで、テーマビルダー をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
サードパーティリスク管理	ServiceNow Store から要求することで、TPRM をインストールします。ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。 のクイックスタートテスト TPRM. 新しいアプリケーションまたは統合のアップグレードと展開が完了したら、クイックスタートテストを実行して、TPRM が想定どおりに機能していることを確認します。TPRM をカスタマイズした場合は、クイックスタートテストをコピーし、カスタマイズのために設定します。
UI ビルダー	UI ビルダー はデフォルトでアクティブです。
Upgrade Center	アップグレードセンター はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。
ユーザーエクスペリエンス分析	ユーザーエクスペリエンスアナリティクス はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。
仮想エージェント	仮想エージェント は Now Platform の機能で、Glide 仮想エージェント プラグイン (com.glide.cs.chatbot) をアクティブ化すると利用できます。これには別途サブスクリプションが必要です。詳細については、「Activate Virtual Agent」を参照してください。 注: Glide 仮想エージェント プラグインでは、トピックの推奨事項 および Conversational Analytics アプリが最初にインストールされます。それ以降のこれらのアプリの更新は、ServiceNow Store からインストールする必要があります。

アプリケーションまたは機能	詳細
	ServiceNow 仮想エージェント Lite は、ServiceNow IT Service Management (ITSM) のお客様が利用できる 仮想エージェント プラットフォームのサブセットです。アクティベーションは不要で、顧客も利用できるITSM会話で動作しますITSM 仮想エージェント Lite。
Vulnerability Response	ServiceNow Store から要求して、脆弱性対応 をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
Microsoft Defender for IoT の脆弱性対応 (オンプレミス管理コンソール)	Microsoft Defender for IoT (脆弱性対応オンプレミス管理コンソール) のインストールを ServiceNow Storeから要求して。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
Vulnerability Response integrations	から要求ServiceNow Storeして、サポートされているサードパーティ統合アプリケーション脆弱性対応をインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
Walk-up Experience	ウォークアップエクスペリエンス は、ウォークアップエクスペリエンス プラグイン (com.snc.apm) をアクティブ化すると利用できる Now Platform の機能です。詳細については、「 Activate Walk-up Experience 」を参照してください。
ワークフロースタジオ	ワークフロースタジオ はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。各アプリケーションには ワークフロースタジオ、独自のアクティベーション情報と要件があります。アクティベーションとサブスクリプションの要件の詳細については、各コンポーネントのドキュメントを参照してください。
Workforce Optimization for ITSM	ITSM のワークフォース最適化 (sn_wfo_cfg_itsm) アプリケーションをから要求してインストールしますServiceNow Store。詳細については、「 Activate Workforce Optimization for ITSM 」を参照してください。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「 ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。

アプリケーションまたは機能	詳細
ワークスペース	ワークスペース はデフォルトで有効な機能です Now Platform [®] 。
Zing テキストインデックス作成および検索エンジン	Zing テキストインデックス作成および検索エンジンは、Now Platform デフォルトで有効な機能です。

Washington DC のすべての機能と製品の追加要件

Washington DC の機能と製品の追加要件に関する累積的なリリースノートの概要。

一部の製品を使用するには、特定のセットアップまたはサードパーティの要件が必要です。

アプリケーションまたは機能	詳細
Instance Data Replication	カスタム結合機能をサポートするには、コンシューマーとプロデューサーの両方が少なくとも San Diego リリースを実行している必要があります。 このリリース要件は、同時実行ジョブのサポートにも適用されます。
Now Assist	Now Assist パネルを使用するには、Next Experience UI フレームワークを有効にする必要があります。
Customer Service Management (CSM) 向け Now Assist	CSM の Now Assist アプリケーションには、カスタマーサービス管理 (CSM) Pro Plus または Enterprise Plus のライセンスが必要です。 CSM の Now Assist は、Vancouver パッチ 4 以降のリリースでサポートされています。
Robotic Process Automation (RPA) Hub	無人口ロボット アプリケーションを使用するための最小要件： • Intel プロセッサ (1vCPU) • 4 GB RAM • OS、パッチ、およびベースソフトウェアのインストール後に最低 20 GB の空きディスク容量。 • Microsoft Windows 10 Windows またはサーバー2016または Windows サーバー2019。 • .NET Framework 4.7.1 以降 • DPI スケーリング設定を非アクティブ化する必要があります。 無人口ロボット アプリケーションを使用するための推奨要件： • Intel プロセッサ (4vCPU) • 8 GB RAM • OS、パッチ、およびベースソフトウェアのインストール後に最低 50 GB の空きディスク容量。

アプリケーションまたは機能	詳細
	• Microsoft Windows 10 Windows またはサーバー2016または Windows サーバー2019。 • .NET Framework 4.7.1 以降 • DPI スケーリング設定を非アクティブ化する必要があります。 Unattended ロボットは 1 つのマシンのみにマッピングされます。 アプリケーションに使用される 無人ロボット 仮想マシン (VM) は、永続的で常にオンになっている必要があります。 アテンド型ロボット アプリケーションを使用するための最小要件： • Intel プロセッサー (1vCPU) • 4 GB RAM • OS、パッチ、およびベースソフトウェアのインストール後に 20 GB 以上の空きディスク容量。 • Microsoft Windows 10 Windows またはサーバー2016または Windows サーバー2019。 • .NET Framework 4.7.1 以降 • DPI スケーリング設定を非アクティブ化する必要があります。 アテンド型ロボット アプリケーションを使用するための推奨要件： • Intel プロセッサー (4vCPU) • 8 GB RAM • OS、パッチ、およびベースソフトウェアのインストール後に最低 50 GB の空きディスク容量。 • Microsoft Windows 10 Windows またはサーバー2016または Windows サーバー2019。 • .NET Framework 4.7.1 以降 • DPI スケーリング設定を非アクティブ化する必要があります。 有人ロボットは 1 人のユーザーのみにマッピングされます。 RPA デスクトップデザインスタジオ アプリケーションを使用するための最小要件： • Intel プロセッサー (Core i5 以降) • 4 GB RAM • 20 GB の空きディスク容量 • Microsoft Windows 10 Windows またはサーバー2016または Windows サーバー2019。 • .NET Framework 4.7.1 以降 • 解像度1920x1080pのモニター。 • DPI スケーリング設定を非アクティブ化する必要があります。

アプリケーションまたは機能	詳細
	RPA デスクトップデザインスタジオ アプリケーションを使用するための推奨要件： • Intel プロセッサ (Core i7) • 8 GB RAM • 50 GB の空きディスク容量 • Microsoft Windows 10 Windows またはサーバー2016または Windows サーバー2019。 • .NET Framework 4.7.1 以降 • 解像度1920x1080pのモニター。 • DPI スケーリング設定を非アクティブ化する必要があります。
CSM のセルフサービスとオムニチャネルエンゲージメント	リリース以降 Vancouver 、チャットクライアントはデフォルトで認証されたユーザーに対してのみ有効になりました。認証されていないユーザーがチャットとチャットにアクセスできるように仮想エージェントするには、および <code>sn_va_web_client_app_embed</code> ページをパブリックアクセスで有効に <code>\$sn-va-web-client-app</code> ライブエージェントする必要があります。詳細については、「Make UI pages public or private」を参照してください。
Skills Intelligence	追加機能については、次の要件に注意してください。 • スキルインテリジェンスワークスペースワークスペースエクスペリエンス用のプラグイン (<code>sn_skills_int_ws</code>) をインストールする必要があります。 • 業界スキルデータにアクセスするには、Skills Industry Data プラグイン (<code>sn_skills_data</code>) が必要です。
仮想エージェント	Now Assist in Virtual Agent 少なくとも 1 つの Now Assist 製品のライセンスが必要です。 • CSM の Now Assist • HR サービスデリバリー (HRSD) の Now Assist • IT Service Management (ITSM) の Now Assist • Now Assist for Creator Now Assist は、LLM トピック検出を使用するトピックの作成 仮想エージェント には必要ありません。

Washington DC のすべての機能と製品のブラウザー要件

Washington DC の機能と製品のブラウザー要件に関する累積的なリリースノートの概要。

いくつかの製品には特定のブラウザー要件があります。この情報を確認して、正しいブラウザーとブラウザーバージョンを使用していることを確認してください。

アプリケーションまたは機能	詳細
AI Search	AI 検索 は Internet Explorer をサポートしていません。
Advanced Work Assignment	高度なワークアサインメント は、モバイルデバイス、Internet Explorer、または Microsoft Edge をサポートしていません。代わりに、Microsoft Edge-Chromium、または「 ブラウザサポート 」に記載されている他のいずれかのブラウザを使用してください。
CSM のエージェントエクスペリエンス	ServiceNow ワークスペースでは、モバイルデバイス、Internet Explorer、または Microsoft Edge をサポートしていません。代わりに、Microsoft Edge - Chromium、または「 ブラウザサポート 」に記載されている他のいずれかのブラウザを使用してください。
Automated Test Framework	自動テストフレームワーク (ATF) は、デスクトップブラウザからのテストの実行のみをサポートしています。タブレット、モバイルブラウザ、またはモバイル UI からテストまたはテストスイートを実行することはできません。一部のデスクトップブラウザでは、追加の構成が必要です。詳細については、「Browser recommendations for Automated Test Framework」を参照してください。 自動テストフレームワーク (ATF) は、タブレットでのテスト設計のサポートを限定的に提供します。タブレットはコンポーネントを取得できないため、タブレットから新しいカスタム UI テストステップを追加することはできません。代わりに、デスクトップブラウザから追加された既存のカスタム UI テストステップを確認します。
Customer Service Management (CSM)	ServiceNow ワークスペースでは、モバイルデバイス、Internet Explorer、または Microsoft Edge をサポートしていません。代わりに、Microsoft Edge - Chromium、または「 ブラウザサポート 」に記載されている他のいずれかのブラウザを使用してください。
CSM のデータ管理	このリリース以降 Washington DC [®] 、ServiceNow データ管理はモバイル デバイスと Internet Explorer. 詳細については、「 ブラウザ サポート 」を参照してください。
ESG Management	新しい式ビルダー機能は、を除く Safariすべてのブラウザでサポートされています。
Next Experience	このリリースでは Washington DC 11 はサポート Internet Explorer されなくなりました。そのブラウザからログインすることはできません。iOSのバージョンFirefoxもサポートされていません。
Next Experience 開発者ツール	Google Chrome ウェブストアから Next Experience 開発者ツール をダウンロードします。

アプリケーションまたは機能	詳細
Now Assist	Now Assistは、次のようなGoogle ChromeMicrosoft Edgeさまざまなブラウザをサポートしています。Now Assist ではサポートされていませんMicrosoft Internet Explorer
Order Management	ServiceNow ワークスペースでは、モバイルデバイス、Internet Explorer、または Microsoft Edge をサポートしていません。代わりに、Microsoft Edge - Chromium、または「 ブラウザサポート 」に記載されている他のいずれかのブラウザを使用してください。
Policy and Compliance Management	GRC: ポリシーとコンプライアンス管理 には、次のブラウザの最新の公開リリースと、2 つの旧リリースバージョンが必要です。 • Google Chrome • Firefox および Firefox 延長サポートリリース (ESR) • Microsoft Edge クロム • Safari 12.0 以降のバージョン
見積管理	ServiceNow ワークスペースでは、モバイルデバイス、Internet Explorer、または Microsoft Edge をサポートしていません。代わりに、Microsoft Edge - Chromium、または「 ブラウザサポート 」に記載されている他のいずれかのブラウザを使用してください。
Robotic Process Automation (RPA) Hub	ServiceNow ワークスペースでは、モバイルデバイスをサポートしていません。サポートされているブラウザのリストの詳細については、「 ブラウザのサポート 」を参照してください。
CSM のセルフサービスとオムニチャネルエンゲージメント	Internet Explorer はサポートされていません。
Service Portal	このリリースでは Washington DC 11 はサポートされていません Internet Explorer 。のバージョンFirefoxはiOSページをサポートしサービスポータルしていません。
テーブルビルダー	Internet Explorer はサポートされていません。
UI ビルダー	Internet Explorer はサポートされていません。
User Experience Analytics	ユーザーエクスペリエンスアナリティクス を最適化するには、Google Chrome または Apple Safari ブラウザを使用します。
仮想エージェント	仮想エージェント は、Google Chrome や Microsoft Edgeなどのさまざまなブラウザをサポートしています。詳細については、「 ブラウザサポート 」を参照してください。

アプリケーションまたは機能	詳細
Walk-up Experience	からのServiceNow ワークスペースアクセス ウォークアップエクスペリエンス ワークスペースServiceNowでは、モバイル デバイスはサポートされません。 Orlando リリース以降、ServiceNow ワークスペースは Internet Explorer または Microsoft Edge をサポートしません。代わりに、Microsoft Edge Chromium または ブラウザサポート に記載されている他のサポート対象ブラウザのいずれかを使用してください。 New York またはそれ以前のリリースにおいて、ServiceNow CSM エージェントワークスペース や ServiceNow ベンダー管理ワークスペース などのワークスペースで Internet Explorer 11 または Microsoft Edge を使用している場合は、まず新しいブラウザに移行する必要があります。新しいブラウザにアップグレードした後、少なくとも Orlando リリースにアップグレードできます。詳細については、Now Support ナレッジベースの「Internet Explorer 11 Performance (Internet Explorer 11 のパフォーマンス) [KB0683275]」の記事を参照してください。

Washington DC のすべての機能と製品のアクセシビリティ情報

Washington DC の機能と製品のアクセシビリティ情報に関する累積的なリリースノートの概要。一部の製品には、特定のアクセシビリティ情報または例外があります。

重要:

ServiceNow 製品のアクセシビリティ機能に関するドキュメントを探すには、「[Product documentation for accessibility \(アクセシビリティに関する製品ドキュメント\)](#)」を参照してください。

現在サポートされているリリースのアクセシビリティ適合レポート (ACR) を表示するには、「[Accessibility conformance reports \(アクセシビリティ適合レポート\)](#)」を参照してください。

アプリケーションまたは機能	Details (詳細)
CSM のエージェントエクスペリエンス	アクセシビリティの改善 包括的なアクセシビリティの改善が完了し、準拠性の高い構成可能なワークスペースが作成されました。 リフロー 構成可能ワークスペースサポートリフローにより、コンテンツや機能を失うことなく、ブラウザ設定を使用してページとコンテンツを最大 400% 拡大できます。さらに、コンテンツは、320 CSS ピクセルに相当する幅または 256 CSS ピクセルに相当する高さで、2 次元でスクロールせずに拡大できます。ページレイアウトは、ユーザーがブラウザのズームを 400% に拡大すると、自動的に垂直のスタックビューに変換されます。

アプリケーションまたは機能	Details (詳細)
	この機能拡張は、弱視のユーザーや、モニターのサイズ、デバイスの種類、照明の悪さ、またはその他の状況のためにブラウザで Web コンテンツを見るのが難しいユーザーに役立ちます。リフローは、インスタンス、エクスペリエンスおよびページのシステムプロパティでオフにできます。詳細は、「Reflow for Configurable Workspace」を参照してください。 キーボード ショートカット 40 個のキーボードショートカットが利用可能になり、マウスを使用せずに構成可能なワークスペースページ間をより迅速かつ効果的に移動できるようになりました。 ショートカットは、現在のページと使用しているオペレーティング システムのコンテキストに依存します。キーボードショートカットモジュールを使用して、特定のページで使用できるキーボードショートカットを表示します。モジュールを開くには、[ユーザー初期設定] メニューから [キーボードショートカット] を選択するか、キーボードショートカット Next Experience (Windows の場合は Control + /、macOS の場合は Command + / を使用します) を使用します。 この機能拡張により、マウスとキーボードのみのユーザー以外のユーザーや、運動障害や認知障害のあるユーザーが、さまざまなタスクを完了するために必要な時間を短縮できます。 以前は、[特別なキーボードショートカットを有効にする Next Experience] ユーザー設定をオンにすると、限られた数のキーボードショートカットを使用できました。これらのショートカットは新しいキーボードショートカットフレームワークに含まれており、新しいモジュールからアクセスできます。詳細については、「Configure Next Experience accessibility preferences」を参照してください。
Document Intelligence	[store-future: BEGIN review]リフローのサポート[End] [store-future: BEGIN review]sn-docintel-iframe コンポーネントはリフローをサポートするように更新されました。これにより、コンテンツや機能を失うことなく、ブラウザ設定を使用してページとコンテンツを最大 400% 拡大できます。さらに、コンテンツは、320 CSS ピクセルに相当する幅または 256 CSS ピクセルに相当する高さで、2 次元でスクロールせずに拡大できます。[End] [store-future: BEGIN review] この機能拡張は、弱視のユーザーや、モニターのサイズ、デバイスの種類、照明の悪さ、またはその他の状況のためにブラウザで Web コンテンツを見るのが難しいユーザーに役立ちます。リフローは、インスタンス、エクスペリエンスおよびページのシステムプロパティでオフにできます。詳細

アプリケーションまたは機能	Details (詳細)
	は、「Reflow for Configurable Workspace」を参照してください。 [End] 一般的なアクセシビリティ機能拡張 さまざまな ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) 機能が更新され、よりアクセスしやすいユーザーエクスペリエンスが作成されました。 • コントロールとメッセージを更新して、支援技術のユーザー (スクリーン リーダー ユーザーなど) に正しいラベルやその他の関連情報を提供しました。 • 情報画像とアイコンの代替テキストを提供して、これらの画像の目的が支援技術のユーザーに伝えられるようにしました。 • テキストと画像の色のコントラストが改善され、最低限の標準ガイドラインを満たすようになりました。 ◦ 標準サイズのテキストの最小コントラスト比は 4.5:1 以上です。 ◦ グラフィックスおよびユーザー インターフェイス コンポーネントの最小コントラスト比は、少なくとも 3:1 です。 • スクリーンリーダーの検出を改善するためのコンポーネントの標準化された設計パターン。 • 召喚状(CTA)とツールチップを更新し、マウスやポインターを動かさずにキーボードで閉じることができるようにしました。たとえば、Esc キーを使用します。 • オートフィルモードのチェックボックスコントロールのフォーカス順序の問題を修正しました。 • オートフィルモードのサムネイルサイドバーのフォーカス順序の問題を修正しました。 • 更新された オートフィルモード - カスタム選択 は、情報を伝えるためだけに色を使用するのではなく、選択した状態情報を伝えるための追加の視覚的な手がかりを提供します。 • 更新された オートフィル モード - カスタム ABC トグル コントロールの選択状態をプログラムで示す場合に選択します。 • コンテンツや機能を失うことなく、ブラウザー設定を使用してテキストサイズを 200% まで拡大できるように更新されました。 • コンテンツや機能を失うことなくテキスト間隔を変更できるように更新されました。たとえば、読みやすさを向上させるために、カスタムテキスト間隔スタイルをブラウザーコンテンツに適用するユーザーもいます。

アプリケーションまたは機能	Details (詳細)
ドキュメントサービス	• プログラムによるラベルをビジュアル ラベルに一致させるように更新 ドキュメントビューアー されました。この機能強化により、ZoomText (拡大ソフトウェアの一種) およびその他の種類の支援技術 (スクリーン リーダーなど) のサポートが改善されました。 • [ページ番号] 入力フィールドに無効なページ番号が入力された場合に、支援技術のユーザーにプログラムで通知するように更新されました。 • に ドキュメントビューアー[ページ番号] 入力フィールドのツールヒントを追加しました。ビジュアル ラベルとプログラム ラベルの両方がユーザーに提供されます。
CSM のインテリジェンス	リフローのサポート 次のコンポーネントはリフローをサポートするように更新されました。これにより、コンテンツや機能を失うことなく、ブラウザ設定を使用してページとコンテンツを最大 400% 拡大できます。さらに、コンテンツは、320 CSS ピクセルに相当する幅または 256 CSS ピクセルに相当する高さで、2 次元でスクロールせずに拡大できます。 バージョン 28.0.0 の Recommended Actions: • sn-template-modal-worknotes • sn-component-attach-article-guidance • sn-next-best-action-list-connected • sn-guidance-experience-list-connected バージョン 25.1.0 の ガイド付きディシジョン: • sn-guided-decision-card • sn-guided-decision-playbook-card この機能拡張は、弱視のユーザーや、モニターのサイズ、デバイスの種類、照明の悪さ、またはその他の状況のためにブラウザで Web コンテンツを見るのが難しいユーザーに役立ちます。リフローは、インスタンス、エクスペリエンスおよびページのシステムプロパティでオフにできます。詳細は、「Reflow for Configurable Workspace」を参照してください。
Knowledge Management	ダークテーマ Next ExperienceおよびエージェントモバイルアプリケーションでダークテーマNow Mobile アプリを有効にします。このオプションは一般に、目の疲れを軽減し、読みやすさを向上させるために使用されます。 リフローのサポート 次のコンポーネントはリフローをサポートするように更新されました。これにより、コンテンツや機能を失うことな

アプリケーションまたは機能	Details (詳細)
	く、ブラウザ設定を使用してページとコンテンツを最大 400% 拡大できます。さらに、コンテンツは、320 CSS ピクセルに相当する幅または 256 CSS ピクセルに相当する高さで、2 次元でスクロールせずに拡大できます。 • sn-knowledge-content • sn-related-content • sn-star-rating • sn-comparator • sn-attach-article-guidance • sn-nested-comments • sn-knowledge-detail • sn-knowledge-socialqa-answer • sn-knowledge-socialqa-detail • sn-knowledge-discussion-wrapper • sn-timeago さらに、次のページがリフローをサポートするように更新されました。 • ナレッジビュー (kb_view) • ナレッジ記事テンプレートセクターモーダル • ナレッジカテゴリピッカー (kb_category_picker) • 翻訳の比較 • 翻訳を要求 • バージョン比較 この機能拡張は、弱視のユーザーや、モニターのサイズ、デバイスの種類、照明の悪さ、またはその他の状況のためにブラウザで Web コンテンツを見るのが難しいユーザーに役立ちます。リフローは、インスタンス、エクスペリエンスおよびページのシステムプロパティでオフにできます。詳細は、「Reflow for Configurable Workspace」を参照してください。
Mobile Platform	データの表示方法 データビジュアル化機能のアクセシビリティの改善には、次の更新が含まれます。 • スクリーンリーダーのサポートが強化され、特に VoiceOver 機能に重点が置かれました。この改善により、スクリーンリーダーを使用するユーザーは、データ可視化グラフ内のコンテンツをシームレスにナビゲートして理解できるようになります。 • データビジュアライゼーションチャート内のテキストのサイズを変更できるようになり、読みやすくするために

アプリケーションまたは機能	Details (詳細)
	大きなテキストが必要な場合があるユーザーに対応できるようになりました。このサポートにより、コンテンツや機能を失うことなくテキストを大幅に増やすことができます。 • Mobile Platform でダークテーマまたはモードを有効にします。このオプションは一般に、目の疲れを軽減し、読みやすさを向上させるために使用されます。
Next Experience	の全体的なアクセシビリティ Next Experienceを向上させるために、次の機能が追加されました。 Next Experience keyboard shortcuts 40 個のキーボードショートカットが利用可能になり、マウスを使用せずに構成可能なワークスペースページ間をより迅速かつ効果的に移動できるようになりました。 ショートカットは、現在のページと使用しているオペレーティング システムのコンテキストに依存します。キーボードショートカットモダルを使用して、特定のページで使用するキーボードショートカットを表示します。モダルを開くには、[ユーザー初期設定] メニューから [キーボードショートカット] を選択するか、キーボードショートカット Next Experience (Windows の場合は Control + /、macOS の場合は Command + / を使用します) を使用します。 この機能拡張により、マウスとキーボードのみのユーザー以外のユーザーや、運動障害や認知障害のあるユーザーが、さまざまなタスクを完了するために必要な時間を短縮できます。 以前は、[特別なキーボードショートカットを有効にする Next Experience] ユーザー設定をオンにすると、限られた数のキーボードショートカットを使用できました。これらのショートカットは新しいキーボードショートカットフレームワークに含まれており、新しいモダルからアクセスできます。詳細については、「Configure Next Experience accessibility preferences」を参照してください。 リフロー Next Experience ではリフローがサポートされています。これにより、コンテンツや機能を失うことなく、ブラウザー設定を使用してページとコンテンツを最大 400% 拡大できます。さらに、コンテンツは、320 CSS ピクセルに相当する幅または 256 CSS ピクセルに相当する高さで、2 次元でスクロールせずに拡大できます。ページレイアウトは、ユーザーがブラウザのズームを 400% に拡大すると、自動的に垂直のスタックビューに変換されます。 この機能拡張は、弱視のユーザーや、モニターのサイズ、デバイスの種類、照明の悪さ、またはその他の状況のためにブラウザーで Web コンテンツを見るのが難しいユーザーに

アプリケーションまたは機能	Details (詳細)
	役立ちます。リフローは、インスタンス、エクスペリエンスおよびページのシステムプロパティでオフにできます。詳細は、「Reflow for Configurable Workspace」を参照してください。
Next Experience コンポーネント	Washington DC リリースでは、Next Experience コンポーネント に対して、次のアクセシビリティ機能拡張が行われました。 拡大ソフトウェアとスクリーンリーダーのサポート プログラムによるラベルをビジュアル ラベルに一致させるために、以下 Next Experience コンポーネント が更新されました。この機能強化により、ZoomText (拡大ソフトウェアの一種) およびその他の種類の支援技術 (スクリーン リーダーなど) のサポートが改善されました。 この機能拡張は、視覚障がいや運動制限などの認知/身体障がいのあるユーザーが ServiceNow プラットフォームを使用する場合にサポートします。 • エージェントチャット [sn-agent-chat] • エージェント受信ボックス [sn-agent-inbox] • キャンバスタブ [sn-canvas-tabs] • チャット入力 [sn-chat-input] • チャットメンションの提案 [sn-chat-mention-suggestion] • チェックリスト [now-checklist] • 日時カレンダー [now-date-time-calendar] • ドキュメントビューアー [sn-document-viewer] • ドラッグアンドドロップ [sn-drag-and-drop] • フィールド選択 [sn-record-field-list-reorder-list] • リストセクター [sn-list-selector] • 通知設定ポップオーバーコンテンツ [notification-setting-popover-content] • プレゼンスポップオーバーコンテンツ [sn-presence-popover-content] リフローのサポート 次のコンポーネントはリフローをサポートするように更新されました。これにより、コンテンツや機能を失うことなく、ブラウザ設定を使用してページとコンテンツを最大 400% 拡大できます。さらに、コンテンツは、320 CSS ピクセルに相当する幅または 256 CSS ピクセルに相当する高さで、2 次元でスクロールせずに拡大できます。 この機能拡張は、弱視のユーザーや、モニターのサイズ、デバイスの種類、照明の悪さ、またはその他の状況のためにブラウザで Web コンテンツを見るのが難しいユーザーに

アプリケーションまたは機能	Details (詳細)
	役立ちます。リフローは、インスタンス、エクスペリエンスおよびページのシステムプロパティでオフにできます。詳細は、「Reflow for Configurable Workspace」を参照してください。 • アクションバー [now-record-common-uiactionbar] • エージェントチャット [sn-agent-chat] • 予約カレンダー [now-appointment-calendar] • 棒グラフ [now-vis-bar] • バブルの可視化 [now-vis-bubble-wrapper] • カレンダー [now-calendar] • カルーセル [sn-carousel] • チェックリスト [now-checklist] • 連絡先カード [sn-contact-card] • コンテンツツリー [now-content-tree] • コンテキストサイドバー [now-contextual-sidebar] • 顧客アクティビティ [sn-customer-activity] • 日付範囲ピッカー [now-date-range-picker] • ダイアルチャート [now-vis-dial] • ドキュメントの表示 [sn-document-display] • Document Intelligence [sn-docintel-iframe] • Express List [sn-itom-aiops-list] • Filter [now-filter] • フォーム [now-record-form-selection-column-layout] • ゲージチャート [now-vis-gauge] • ジオマップの可視化 [now-vis-geomap-wrapper] • ヒートマップの可視化 [now-vis-heatmap-wrapper] • ITOM Metric Explorer [sn-itom-metric-explorer] • カンバンボード [now-visual-board] • ナレッジブロック [sn-knowledge-blocks-connected-uib] • ナレッジコンテンツ [sn-knowledge-content] • リストセクター [sn-list-selector] • ページネーションコントロール [now-pagination] • 円/ドーナツ可視化 [now-vis-pie-wrapper] • ピボットテーブルによるチャート化 [sn-multipivot] • Playbook アクティビティビューアー [now-playbook-activity-viewer]

アプリケーションまたは機能	Details (詳細)
	• Playbook Experience [now-playbook-experience-connected] • Playbook モーダル [now-playbook-modals] • Playbook ステージピッカー [now-playbook-stage-picker] • サービス健全性ダッシュボード (新規) [sn-itom-service-dashboard] • 単一スコア [now-score-advanced] • 時系列の可視化 [now-vis-timeseries-wrapper] 音声テキスト変換のサポート ビジュアルラベルをアクセス可能なラベルに一致させるために、以下 Next Experience コンポーネント が更新されました。アクセシビリティ対応ラベルがビジュアル ラベルと異なる場合、音声テキスト変換ソフトウェアは対話型要素を識別してアクティブ化できません。一致する視覚的にアクセス可能なラベルにより、Dragon NaturallySpeakingなどの音声テキスト変換ソフトウェアは、音声テキスト変換アシスタントテクノロジーによって提供される低速のグリッドベースのナビゲーションを行うのではなく、ユーザーインターフェイスでこれらのコンポーネントを識別できます。 • ドロップダウン [now-dropdown] • 入力 [now-input] • レコードリスト [now-record-list] • レコード番号 [now-record-number] • テキストリンク [now-text-link] • Toggle [now-toggle] • 先行入力 [now-typeahead] • 先行入力マルチ [now-typeahead-multi] 一般的なアクセシビリティ機能拡張 国際的に認められたアクセシビリティ標準を満たすために、次のコンポーネントが更新されました。 • 予約カレンダー [now-appointment-calendar] • カレンダー [now-calendar] • チェックリスト [now-checklist] • 連絡先カード [sn-contact-card] • コンテンツツリー [now-content-tree] • Kanban [now-visual-board]

アプリケーションまたは機能	Details (詳細)
	• Playbook アクティビティピッカー [now-playbook-activity-picker] • ラジオグループ [now-radio-group]
プラットフォーム分析エクスペリエンス	ダッシュボードのキーボードナビゲーションの変更 キーボードナビゲーションボタンは、フォーカスのあるダッシュボードウィジェットから削除されました。フォーカスのあるウィジェットで Space キーを押すと、矢印キーでウィジェットを移動できます。 時系列データの可視化における色のコントラスト 時系列ビジュアライゼーションのコントラストが改善されました。
ポートフォリオ計画立案	切り捨てられたテキストのサポート ワークスペースの ポートフォリオ計画 次のビューが更新され、[切り捨てられたテキストにキーボードフォーカスを有効にする] アクセシビリティユーザー初期設定がオンになっている場合に、非インタラクティブ要素の切り捨てられたテキストが表示されるようになりました。 • 優先順位付けのリストビューと階層ビュー • ポートフォリオ計画とフリーフォームロードマップのタイムラインビュー • キャパシティ計画立案 この機能拡張は、視力があり ServiceNow プラットフォームを使用するためにキーボードのみを使用するユーザーをサポートします。詳細については、「Configure Next Experience accessibility preferences」を参照してください。 非表示コントロール ワークスペースの ポートフォリオ計画 次のビューが更新され、[ホバーせずにすべてのボタンを表示] アクセシビリティユーザー初期設定がオンになっている場合、通常は表示されないコントロールが自動的に表示されるようになりました。 • 優先順位付けのリストビューと階層ビュー • ポートフォリオ計画とフリーフォームロードマップのタイムラインビュー • キャパシティ計画立案 この機能拡張は、視覚障がいや運動制限などの認知/身体障がいのあるユーザーが ServiceNow プラットフォームを使用する場合にサポートします。詳細については、「Configure Next Experience accessibility preferences」を参照してください。

アプリケーションまたは機能	Details (詳細)
戦略的計画	切り捨てられたテキストのサポート ワークスペースの 戦略的計画 次のビューが更新され、[切り捨てられたテキストにキーボードフォーカスを有効にする] アクセシビリティユーザー初期設定がオンになっている場合に、非インタラクティブ要素の切り捨てられたテキストが表示されるようになりました。 - 優先順位付けと目標のリストビューと階層ビュー - ポートフォリオ計画とフリーフォームロードマップのタイムラインビュー - 採点 - キャパシティ計画立案 この機能拡張は、視力があり ServiceNow プラットフォームを使用するためにキーボードのみを使用するユーザーをサポートします。詳細については、「Configure Next Experience accessibility preferences」を参照してください。 非表示コントロール ワークスペースの 戦略的計画 次のビューが更新され、[ホバーせずにすべてのボタンを表示] アクセシビリティユーザー初期設定がオンになっている場合、通常は表示されないコントロールが自動的に表示されるようになりました。 - 優先順位付けと目標のリストビューと階層ビュー - ポートフォリオ計画とフリーフォームロードマップのタイムラインビュー - 採点 - キャパシティ計画立案 この機能拡張は、視覚障がいや運動制限などの認知/身体障がいのあるユーザーが ServiceNow プラットフォームを使用する場合にサポートします。詳細については、「Configure Next Experience accessibility preferences」を参照してください。
Theme Builder	Adjust components to meet accessibility standards 新しいアクセシビリティチェッカー機能を使用して、独自のブランドと色を Web またはモバイルインスタンスに適用するときに、適合する色のコントラストレベルを満たしていることを確認します。詳細は、「Adjust components to meet accessibility standards」を参照してください。
ワークスペース	キーボード ショートカット 40 個のキーボードショートカットが利用可能になり、マウスデバイスを使用せずに構成可能なワークスペースページ間をより迅速かつ効果的に移動できるようになりました。

アプリケーションまたは機能	Details (詳細)
	ショートカットは、現在のページと使用しているオペレーティング システムのコンテキストに依存します。キーボードショートカット モデルを使用して、特定のページで使用するキーボードショートカットを表示します。モデルを開くには、[Next Experience ユーザー初期設定] メニューから [キーボードショートカット] を選択するか、キーボードショートカット (Windows の場合は Control + /、macOS の場合は Command + /) を使用します。 この機能拡張により、マウスとキーボードのみのユーザー以外のユーザーや、運動障害や認知障害のあるユーザーが、さまざまなタスクを完了するために必要な時間を短縮できます。 以前は、[Next Experience の特別なキーボードショートカットを有効にする] ユーザー初期設定がオンになっている場合、利用できる キーボードショートカット の数は限られていました。これらのショートカットは新しいキーボードショートカットフレームワークに含まれており、新しいモデルからアクセスできます。詳細については、「Configure Next Experience accessibility preferences」を参照してください。

Washington DC の製品ローカライズ情報

Washington DC の新機能と製品に関する累積的なリリースノートの概要。

一部の製品には、Washington DC で特定のローカライズ要件または動作があります。

アプリケーションまたは機能	詳細
AI Search	AI 検索 は多言語に対応しています。機能別の言語サポートの詳細については、「 Internationalization support for AI Search 」を参照してください。
Decision Builder	ローカリゼーションフレームワーク は ディジジョンビルダー に統合されています。ただし、[Excel での編集 (Edit in Excel)] 機能はローカライズをサポートしていないため、英語を使用しないインスタンスではこの機能を使用できません。
健全性ログ分析	現在利用可能な言語 ヘルスログアナリティクス は、英語 (米国)、英語 (英国)、フランス語、ドイツ語、イタリア語、日本語、スペイン語です。既定の言語は英語 (米国) です。
Now Assist	Now Assist は現在、英語でのみご利用いただけます。

アプリケーションまたは機能	詳細
Robotic Process Automation (RPA) Hub	RPA Hub は多言語に対応しています。詳細については、「 Internationalization support for RPA Hub (RPA Hub の国際化のサポート) 」を参照してください。
仮想エージェント	ServiceNow ローカリゼーションフレームワーク は 仮想エージェントに統合されています。

Washington DC リリースにおけるプラグインの変更

この表には、廃止済み、廃止予定、名前変更、または何らかの変更があった既存のプラグインがリストされています。

- 廃止予定：将来の廃止のために準備中です。アプリケーションは将来の廃止に向けて準備されます。プラグインは非表示になり、アクティブ化できなくなりますが、引き続きサポートされます。詳細については、Now Support ナレッジベースの「[Deprecation Process \(廃止プロセス\) \[KB0867184\]](#)」の記事を参照してください。
- 廃止済み：アプリケーションは今後、展開、拡張、またはサポートがされません。詳細については、Now Support ナレッジベースの「[Deprecation Process \(廃止プロセス\) \[KB0867184\]](#)」の記事を参照してください。
- メンテナンスモード：アプリケーションには、新しい機能拡張やアクティブ化はありませんが、引き続きサポートされます。

廃止されたプラグイン

この表は、および Vancouverで廃止Washington DCされた既存のプラグインを示しています。

プラグイン	ステータス	説明	Details (詳細)
Cloud Native Operations [sn_k8s]	使用廃止 Washington DC	Cloud Native Operations を使用して、Kubernetes プラットフォームの継続的な検出と監視を実行します。	から ServiceNow Store Agent Client Collector for Visibility (ACC-V) アプリケーションをインストールし、ドキュメントを確認します。
アイテムデザイナー [com.glideapp.servicecatalog.itemdesigner]	使用廃止 Washington DC	Service Catalog アイテムデザイナーでは、管理者ではないユーザーがカタログアイテムを作成、保守、公開できます。構造化されたデザインと公開プロセスが使用され、一貫性のある使用が確保されます。	カタログビルダープラグインは、デフォルトですべてのインスタンス (com.glideapp.servicecatalog.catalogbuilder) で有効になっています。

プラグイン	ステータス	説明	Details (詳細)
CSM エージェントワークスペース [com.snc.agent_workspace.csm]	使用廃止 Washington DC	CSM Agent Workspace を使用すると、Customer Service Management を他のアプリケーションと統合できます。	ServiceNow Store から CSM Configurable Workspace アプリケーションをインストールします。
注文の Customer Service Management [com.snc.csm.order]	使用廃止 Washington DC	Customer Service Management for Orders 機能は、注文および注文明細のサポートを Customer Service Management アプリケーションに追加します。	Order Management ストアアプリケーションをインストールします。
製品モデルとカタログアイテムの関係 [com.snc.product_catalog_relationship]	使用廃止 Washington DC	顧客が製品モデルとカタログアイテム間で関係を作成することにより、製品のサービスを要求するセルフサービスを有効にします。	Customer Service Case Types プラグイン (com.snc.csm_case_types) をインストールし、サービス定義機能を使用します。
セントラルディスパッチ [com.snc.central_dispatch]	使用廃止 Washington DC	未アサインタスクのリストビューとカレンダービューの両方を提供します。	Dispatcher Workspace プラグイン (com.snc.uib.fsm_dispatcher_work) をインストールして構成します。
Journey Accelerator v4.0.3 以前 [com.sn_ja]	使用廃止 Washington DC	計画や To-Do タスク用のテンプレートを作成できます。マネージャーはテンプレートを使用して、主要な従業員の移行に対応するカスタマイズされた計画を作成および公開します。マネージャー、従業員、メンターは、Employee Center (EC) から計画にアクセスできます。	代替の Journey Designer アプリケーションに移行します。Journey Designer は、Journey Designer でサポートされているバージョンである Journey Accelerator v5.0+ を自動的にインストールします。
モバイルスタジオ [com.glide.sg-studio]	使用廃止 Washington DC	Mobile Studio を使用して、任意の ServiceNow モバイルアプリで使用するモバイルコンポーネントを作成および変更します。	代替の Mobile App Builder に移行します。

プラグイン	ステータス	説明	Details (詳細)
HTML プロセッサ [該当なし]	使用廃止 Washington DC		インスタンスでこの機能を無効にする手順については、KB1119956を確認してください。
Badge Reader Integration for Walk-up Experience (com.snc.badge_reader から削除)	使用廃止 Washington DC	オンサイト Walk-up キューの場所で Badge Reader Integration アプリケーションを使用して、Walk-up Experience のユーザー満足度を向上させます。	顧客ベードリーダークライアントを構築するためのガイダンスを確認します。
ITSM Agent Workspace と CMDB Agent Workspace [com.snc.agent_workspace.itsm、com.snc.agent_workspace.cmdb-agent_workspace]	使用廃止 Washington DC	ITSM Agent Workspace を使用して ITSM エージェントエクスペリエンスを改善し、IT フルフィルメントボリュームをより効率的に管理します。	ServiceNow Store から Service Operations Workspace for ITSM アプリケーションをインストールします。
オペレーターワークスペースおよび CMDB Agent Workspace [com.itom-noc-app、com.oi-scoped-app、com.sn-em-ai-action、com.sn-em-hidden-component com.sn-em-ai-overview、com.sn-em-metric、com.sn_log_viewer com.cmdb-workspace]	使用廃止 Washington DC		ServiceNow Store から Service Operations Workspace for ITOM アプリケーションをインストールします。
CMDB Search [com.snc.cmdb_search]	Vancouver で使用 廃止。	CMDB を検索するための拡張機能を提供します。	CMDB Workspace に移行します。
Conversational Integration with Google Assistant [com.sn.va.google.assistant]	Vancouver で使用 廃止。	仮想エージェントが、仮想エージェントトピックを使用して Google の音声インターフェイスで要求者とやり取りできるようにします。	Google は、2023 年 6 月 13 日をもって会話型アクション機能を廃止しました。この廃止された機能への依存関係により、「Conversational Integration with Google Assistant」ストアアプリケーションのサポートも終了します。
DevOps Config Insights [com.snc.devops.config.insights]	Vancouver で使用 廃止。	構成エラーをすばやく特定してアクションを実行するための	以前に DevOps Config Insights アプリケーション

プラグイン	ステータス	説明	Details (詳細)
		レポートを表示します。	でリリースされた DevOps Config Insights ダッシュボードは、DevOps Config アプリケーションではリリースされなくなりました。この変更に伴って必要な顧客アクションはありません。
Field Service Management モバイル (従来) [com.snc.work_management_m]	Vancouver で使用 廃止。	組織が場所に基づく作業をより効率的かつ安全に管理するのに役立ちます。	Field Service Management モバイルのすべての機能を提供する新しい Field Service Mobile アプリケーション (com.sn_fsm_mobile) に移行すると、ネイティブエクスペリエンスとオフライン機能が向上します。
Google Hangouts スポーク [com.sn.ghangouts.spoke]	Vancouver で使用 廃止。	ServiceNow でイベントが発生したときに Google Hangouts タスクを実行するアクションが提供されます。	カレンダーのスケジュール設定に Google Hangouts スポークを使用している場合は、 移行ガイド [KB1288254] で、ServiceNow Store での Google カレンダーアプリケーションのインストールと構成に関するガイダンスを参照してください。
仮想エージェントの IE11 サポート [com.glide.cs.chatbot、com.glide.cs.chatbot.lite]	IE11 ブラウザーのサポートは終了しました。		
ITSM Workforce Optimization [sn_wfo_itsm、sn_wfo_itsm_cnt]	Vancouver で使用 廃止。	1 か所で人員の生産性を管理および維持できます。	ServiceNow Store で Workforce Optimization for ITSM Configurable Workspace アプリケーションをインストールします。
Map プラグイン [com.snc.fsm_map]	Vancouver で使用 廃止。	エージェント、タスク、およびエージェントルートを表示	Dispatcher Workspace プラグイン

プラグイン	ステータス	説明	Details (詳細)
		るためのディスパッチマップを表示します。	[com.snc.uib.fsm_dispatcher_work] をアクティブ化します。
Service Management Geolocation Mobile [com.snc.service_management_m]	Vancouver で使用 廃止。	Service Management 位置情報管理のモバイル UI のメニューを提供します。	Service Management 位置情報管理のすべての機能を提供する新しい Field Service Mobile アプリケーションに移行すると、ネイティブエクスペリエンスが向上します。
標準化された情報収集 (SIG) アセスメント [com.snc.sig_asmt_core]	Vancouver で使用 廃止。	Excel シートを介して SIG Questionnaire に回答をインポートするために必要なプロセッサ。	GRC: SIG Questionnaire Integration [com.sn_sig_asmt] ストアアプリケーションに移行します。
標準化された情報収集 (SIG) アンケート [com.sn_sig_app]	Vancouver で使用 廃止。	2018 および 2019 SIG Questionnaire コンテンツで配布されたストアアプリケーション。このコンテンツは ServiceNow によりサポートされなくなりました。	サポートされているバージョンの SIG Questionnaire (2023、2022、2021) を含む GRC: SIG Questionnaire Integration [com.sn_sig_asmt] ストアアプリケーションに移行します。
Tanium Integration V2 for Security Operations [com.snc.secops.tanium.v2]	Vancouver で使用 廃止。	Tanium 機能の拡張ユースケースをサポートします。	Tanium からリリースされた Tanium Integration for Security Operations を ServiceNow Store でインストールします。
Workforce Optimization for CSM (従来) [com_snc_wfo_csm]	Vancouver で使用 廃止。	マネージャー、スーパーバイザー、およびチームリーダーに Channel Management、チームパフォーマンス、スケジューリング、スキル決定、および Coaching 機能を提供し、カスタマーサービスチームの品質と効率を向上	ServiceNow Store で入手可能な Workforce Optimization for CSM アプリケーションに移行します。UI Builder を使用して Workforce Optimization for Customer Service を構成することができます。

プラグイン	ステータス	説明	Details (詳細)
		させ、チームの満足度を高めます。	
Workforce Optimization for ITSM (従来) [com.snc.wfo_itsm]	Vancouver で使用廃止。	従来のワークスペースの 1 つの場所から人員の生産性を管理および維持できます。	ServiceNow Store で入手可能な Workforce Optimization for ITSM (sn_wfo_cfg_itsm) アプリケーションに移行します。UI Builder を使用して Workforce Optimization for IT Service Management を構成することができます。

廃止予定のプラグイン

この表は、将来のリリースで廃止が予定されている既存のプラグインを示しています。

プラグイン	ステータス	説明	Details (詳細)
ITSM 用 Predictive Intelligence Workbench [com.sn_piwb_itsm_content]	Y リリースで廃止予定	顧客がドメイン固有のコンテンツをシードして、Predictive Intelligence Workbench で作成されたユースケースの実装ガイダンスを提供できるようにします	から ServiceNow Store Task Intelligence for ITSM アプリケーションをインストールし、Task Intelligence Admin Console を使用します。詳細については、 Task Intelligence for ITSM のドキュメントを参照してください。
Legal Counsel Center クラシック版 [com.sn_lg_workspace] および Legal Counsel Center Components [com.sn_lg_ws_comps]	Y リリースで廃止予定	Legal Counsel Center Classic を使用すると、法務部門のメンバーは、法務問題を分類、優先順位付けし、効率的に対処することができます。	から ServiceNow Store Legal Counsel Center アプリケーションをインストールし、ドキュメントを確認します Legal Counsel Center 。
Order Management for Customer Service Management [com.sn_csm_order_mgmt]	2028 年 9 月に廃止予定または Order Management サブスクリプション期	Order Management は、注文を作成、管理、および追跡する機能を提供します。	から ServiceNow Store 新しい Order Management アプリケーションをインストール

プラグイン	ステータス	説明	Details (詳細)
	間終了日 (いずれか早い方)		し、 Install and configure Order Management 構成ガイドランスのドキュメントを確認します。
IBM Dynamic Translation [com.glide.ibm_translation_spoke]	2024 年 12 月に廃止予定	このスポークはストアで入手でき、ServiceNow の Dynamic Translation プラグインと連携します。代替翻訳サービス (Google、Microsoft) が利用可能です。	IBM は Watson Language Translator のサポート終了と 2024 年 6 月 10 日のサポート終了、2024 年 12 月 10 日の完全な削除を発表しました。 Dynamic Translation ドキュメントを確認して、Google および Microsoft で利用可能な Dynamic Translation サービスを確認してください。
Site Reliability Metrics および [com.sn_srm]	Y リリースで廃止予定	一般にサービスレベルインジケター (SLI) と呼ばれる Application Performance Management (APM) ツールからのアプリケーションパフォーマンスシグナルをキャプチャします。SRM アプリケーションでは、サービスレベル目標 (SLO)、エラー予算 (EB)、およびポリシーベースのアクションを作成できます。	から ServiceNow Store Service Reliability Management アプリケーションをインストールし、 起動ブログ を確認して、アプリケーションと機能の詳細を確認してください。
Site Reliability Operations [com.sn_srops]	Y リリースで廃止予定	チームをオンボーディングし、数分でサービスを登録することで、単一のワークスペース内のマイクロサービスの可視性を向上させます。Webhook 統合を介してテレメトリにすばやく接続することで可観測性を向	から ServiceNow Store Service Reliability Management アプリケーションをインストールし、 起動ブログ を確認して、アプリケーションと機能の詳細を確認してください。

プラグイン	ステータス	説明	Details (詳細)
		上させ、アラートの自動化によってインシデントをより迅速に解決します。	
Knowledge Management v3 [com.snc.knowledge3]	Y リリースで廃止 予定	Knowledge Management v3 ホームページは、ワシントン DC リリース以降、展開もアクティブ化もされなくなります。	の Configuring Knowledge Management ガイダンスを使用して Knowledge Management Service Portal プラグイン (com.snc.knowledge_serviceportal) をインストールして構成し、システムプロパティ sn_km_portal.glide.knowman.servi を true に設定して、v3 ホームページからポータルへのリダイレクトをアクティブ化します。
Central Dispatch [com.snc.central_dispatch]	W リリースで廃止 予定。	未アサインタスクのリストビューとカレンダービューの両方を提供します。	FSM ディスパッチワークスペース [com.snc.uib.fsm_dispatcher_work] に移行します。
従来の Cloud Discovery を使用した Cloud Discovery のセットアップ	X リリースで廃止 予定。	クラウド検出を実行するための Cloud Discovery を設定し、検出されたクラウドリソースを管理するために Cloud Provisioning and Governance を使用できるようにします。	ServiceNow Store で Cloud Operations Workspace (COW) をインストールします。
Cloud Spend Dashboard [sn_sam_cld_spend]	X リリースで廃止 予定。	単一のダッシュボードで、ソフトウェア、プラットフォーム、およびインフラストラクチャを含むすべてのクラウド支出を表示できます。	ServiceNow Store で Asset Executive Workspace をインストールします。
Employee Campaigns for Workplace from Facebook [com.snc.sn_fb_wp_campaigns]	X リリースで廃止 予定。	コンテンツをキャンペーンにパッケージ化し、Workplace from Facebook のグループにコンテンツを公開できます。	代替品はありません。このアプリケーションを使用している場合は、サポートされていないアプリケーションをカスタムコードとして維持するオプションがあります。

プラグイン	ステータス	説明	Details (詳細)
Facilities Service Management [com.snc.facilities_service_automation]	2025 年 3 月または最後のサブスクリプション期間の終了時に廃止予定。	施設要求を管理し、ユーザーが場所別に要求を報告および追跡できるようにします。フロアプランの要求を表示するには、Facilities Visualization Workbench (com.snc.facilities_service_automation.fvw) プラグインが必要です。 Facilities Visualization Workbench (com.snc.facilities_service_automation.fvw) プラグインもインストールされるときにインストールされる統合ファイル。 本番インスタンスでこのプラグインを有効化するには、別のライセンスが必要です。詳細については、ServiceNow にお問い合わせください。	Workplace Service Delivery に移行します。
施設ビジュアル化ワークベンチ [com.snc.facilities_service_automation.fvw]	2025 年 3 月に廃止またはサブスクリプション期間が終了する予定です。	インタラクティブなフロアプラン機能を有効にします。	Workplace Service Delivery に移行します。
Field Service Map [com.snc.fsm_map]	X リリースで廃止予定。	エージェント、タスク、およびエージェントルートを表示するためのディスパッチマップを表示します。	フィールドサービスディスパッチャーワークスペースをインストールして構成します。ガイドンスについては、「 Configuring Dispatcher Workspace 」を参照してください。
Finance Service Management [com.snc.finance_service_automation]	2023 年 2 月または最後のサブスクリプション期間の終了時に廃止予定。	Finance Service Automation およびその他のサービス管理アプリケーションを起動できます。本番インスタンスでこのプラグインを有効化するには、別のライセンスが	

プラグイン	ステータス	説明	Details (詳細)
		必要になる場合があります。詳細については、ServiceNow にお問い合わせください。	
FSM Agent クラシックワークスペース [com.snc.agent_workspace.fsm]	X リリースで廃止予定。		フィールドサービスディスパッチャーワークスペースをインストールして構成します。ガイドンスについては、「 Configuring Dispatcher Workspace 」を参照してください。
Global Reporting Initiative (GRI) Content Accelerator for ESG [com.sn_esg_gri]	X リリースで廃止予定。	各種法令・基準等および引用などの ESG フレームワークを提供し、関連する測定基準の定義を提供します。これにより、顧客は ESG 規制コンプライアンスの過程を促進し、規制コンプライアンスの状況の最前線に立つことができます。	ServiceNow Store から ESG Content Accelerator アプリケーションをインストールします。ガイドンスについては、「 Unified content management 」を参照してください。
HR エージェントモバイル [com.sn_hr_mobile_agent]	X リリースで廃止予定。		代替品はありません。このプラグインを使用している場合は、サポートされていないプラグインをカスタムコードとして維持するオプションがあります。
HR Agent Workspace [com.sn_hr_agent_workspace]	X リリースで廃止予定。	HR Service Delivery Agent Workspace を使用して、迅速に従業員とやり取りし、問い合わせに対応し、問題を解決することができます。	ケースマネジメント用の HRSD 構成可能な Agent Workspace をインストールして構成します。ガイドンスについては、「 Agent Workspace for HR Case Management (Configurable) 」および コミュニティの記事 を参照してください。
HR Service Delivery v1.0 (従来)	X リリースで廃止予定。	エンタープライズの生産性を向上させ、	Human Resources Core v2.0 ス

プラグイン	ステータス	説明	Details (詳細)
[com.snc.hr.core.cms、com.snc.hr.core、com.snc.hr.hrconnect、com.snc.hr.pa、com.snc.hr.service_portal]		従業員に対して適切なセルフサービスエクスペリエンスを提供します。	コア対象のアプリケーション [com.sn_hr_core]に移行します。
Instance Security Center [sn_isc_core, sn_isc_nlu, sn_isc_va]	X リリースで廃止予定。	インスタンスセキュリティコントロールのコンプライアンスレベルの監視、セキュリティイベントモニタリング測定基準の表示、インスタンスセキュリティ設定の構成と維持はすべて、Instance Security Center 内から行います。	ServiceNow Store で ServiceNow Security Center をインストールします。ガイドランスについては、「 Security Center 」を参照してください。
ITSM Pro - Service Owner Workspace [com.spm_owner_workspace]	サブスクリプション期間の終了時または Digital Portfolio Management への移行時に廃止予定。	プレミアムな Service Portfolio Management エクスペリエンスを提供します。ポートフォリオマネージャーとサービスオーナーは、直観的に操作できる統合されたグラフィカルユーザーインターフェイスを利用して、ポートフォリオとサービスの管理や監視を行います。	ServiceNow Store の Digital Portfolio Management に移行します。
MaestroRS [app-irm-bcm]	顧客固有の MaestroRS アプリケーション契約終了期間に廃止予定。		ServiceNow Store の 4 つの Business Continuity Management 代替アプリケーションをアクティブ化します。 • GRC: Business Continuity Management – Core • GRC: Business Continuity Planning • GRC: Business Impact Analysis

プラグイン	ステータス	説明	Details (詳細)
			GRC: Business Continuity Management – Components
マーケティング Service Management [com.snc.marketing_service_automation]	2023 年 2 月または最後のサブスクリプション期間の終了時に廃止予定。	Marketing Service Automation およびその他のサービス管理アプリケーションを起動できます。本番インスタンスでこのプラグインを有効化するには、別のライセンスが必要になる場合があります。詳細については、ServiceNow にお問い合わせください。	
IntegrationHub 用 Microsoft AD スポーク [com.sn.ad.spoke]	契約終了日または 2028 年 3 月 (いずれか早い方) に廃止予定。	プロセスアナリストがフローをデザインするときに使用できるアクションを提供します。これらのアクションにより、AD のユーザー、グループ、コンピューターおよびオブジェクトの管理を自動化できます。	ServiceNow Store で Microsoft Active Directory v2 スポークアプリケーションをインストールします。ガイドランスについては、「 移行ガイド [KB1284583] 」を参照してください。
ソーシャル Q&A [com.sn_kb_social_qa]	将来のリリースで廃止予定。	ユーザーによる質問と回答、および質問と回答に対する投票を可能にします。ソーシャル Q&A はナレッジアプリケーションを拡張し、ユーザー基準や複数のナレッジベースなどの既存のナレッジ機能を使用します。デフォルトでは、このプラグインは Paris リリースにアップグレードする既存顧客に対して有効です。Paris 以降、このプラグインは新規顧客に対して無効になっています。	

プラグイン	ステータス	説明	Details (詳細)
Service Graph Connector for ExtraHop [com.snc.cmdb.extrahop_integration]	X リリースで廃止予定。	ExtraHop アプリケーションから ServiceNow インスタンスにデータをプルする機能を提供します。	ServiceNow Store で Service Graph Connector for ExtraHop Reveal(x) アプリケーションをインストールします。このアプリケーションは ExtraHop が所有しています。
Sustainability Accounting Standards Board (SASB) Content Accelerator for ESG [com.sn_esg_sasb]	X リリースで廃止予定。	SASB Accelerator は、ESG Management and Reporting アプリケーションで使用するよう設計されているため、顧客は SASB フレームワークを簡単に採用して ESG 開示を作成できます。	ServiceNow Store から ESG Content Accelerator アプリケーションをインストールします。ガイダンスについては、「 Unified content management 」を参照してください。
Trusted Security Circles [sn_ti]、[sn_tis_a]	2023 年 9 月または最後のサブスクリプション期間の終了時に廃止予定。		
Vendor Performance Management [com.snc.vendor_performance]、 [com.snc.vendor_ticket]	2024 年 3 月またはサブスクリプション期間終了時に廃止予定。	ベンダーデータを測定、管理、追跡し、独自のグラフィカルビューでパフォーマンス特性を比較する機能を提供します。	ITSM Pro v2 サブスクリプションパッケージに含まれる Vendor Manager Workspace に移行します。

名前変更および変更されたプラグイン

この表は、または Washington DC で Vancouver 名前が変更されたか、変更された既存のプラグインを示しています。

プラグイン	ステータス	説明	Details (詳細)
Manufacturing Common [com.sn_mfg_common]	Vancouver で名前が変更されました。	Operational Technology ソリューションを使用できるようにする一般的な依存関係。	変更後の名前は Industrial Workspace Common です。
Manufacturing Process Manager [com.sn_otsm]	Vancouver で名前が変更されました。	チームは各施設の産業用設備階層モデルと関連する生産プロセスをマッピングして可視化できます。	変更後の名前は Industrial Process Manager です。

プラグイン	ステータス	説明	Details (詳細)
Process Optimization Content Pack for FSM [com.snc.fsm_process_optimization]	Vancouver で名前が変更されました。	監査記録の作業指示タスクデータからビジネスプロセスフローを作成します。これによって、プロセスオーナーがプロセスの詳細な分析を行い、インサイトを発見して、ビジネスの成果を向上させることが可能になります。	変更後の名前は Process Mining Content Pack for FSM です。
Software Asset Management Playbook [com.sn_sam_playbook]	Vancouver で名前が変更されました。	Playbook および Guided Setup は、毎日のソフトウェア管理アクティビティのタスクを完了するためのステップバイステップのガイダンスを提供します。	変更後の名前は Software Asset Management 用 Playbooks および Guided Setup です。
Virtual Agent API (sn_va_as_service)	Washington DC で変更されました。	チャットインターフェイスやボットを仮想エージェントまたはエージェントチャットと統合します。	com.sn.omnichannel.callback プラグインは削除され、com.sn_ext_agent_management プラグインは依存関係になりました。
Workplace Safety Management [sn_wsd_core]	Vancouver で名前が変更されました。	職場の従業員のために、安全でシームレスな管理されたプロセスを作成するのに役立ちます。	変更後の名前は Workplace Core です。

メンテナンスモードのプラグイン

次の表は、メンテナンスモードの既存のプラグインを示しています。

プラグイン	ステータス	説明	詳細
CSM 向け Advanced Work Assignment [com.sn_csm.awa]	メンテナンスモードのみ。	Customer Service (com.sn_customerservice) プラグインをアクティブ化すると、このプラグインが有効になります。	
CMS User Interface - Service Management Core [com.snc.service_management.core.cms]	メンテナンスモードのみ。	コア IT セルフサービスアプリケーションを参照するために使用されるすべてのコンテンツ管理システムアイテム (ブロック、ページ、およびメニュー) は、このプラグインに	

プラグイン	ステータス	説明	詳細
		パッケージ化されています。また、すべての Service Management アプリケーションのコア基盤でもあります。	
Content Management [com.glide.cms]	メンテナンスモードのみ。		
Content Management Extended Types [com.glide.cms.types]	メンテナンスモードのみ。	iFrames と Flash フレームを追加する Content Management の拡張。 コンテンツ管理システム (CMS) アプリケーションは、ServiceNow 担当者を介して要求する必要があります。CMS をアクティブ化するのではなく、サービスポータルを使用して新しい開発を行います。サービスポータルは CMS の代替となるもので、ユーザーエクスペリエンスが向上しています。デフォルトでは、これがベースシステムで有効になっています。「Service Portal」および「Content Management and Service Portal」を参照してください。	
Content Management IFrame タイプ [com.glide.cms.type.iframe]	メンテナンスモードのみ。		
Content Management Flash Type [com.glide.cms.type.flash]	メンテナンスモードのみ。		

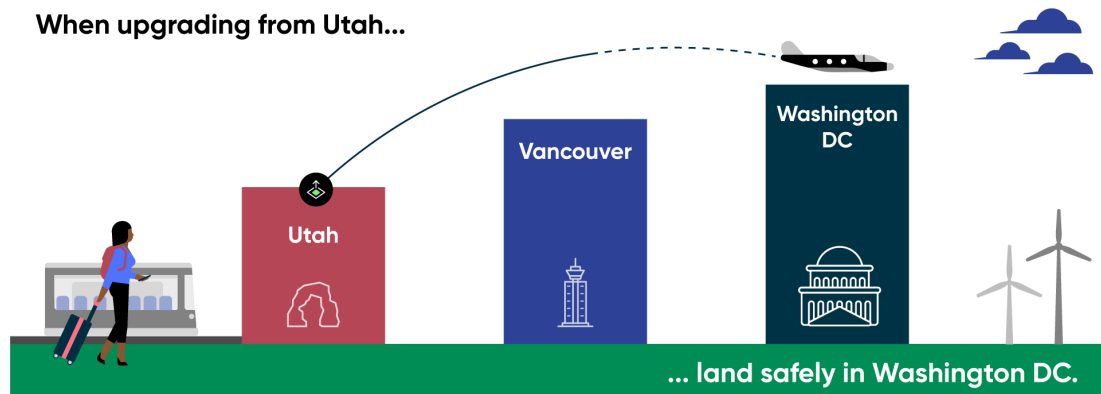
プラグイン	ステータス	説明	詳細
CSM アカウント階層 [com.snc.sn_csm_account_hierarchy]	メンテナンスモードのみ。		
CSM ルックアップおよび検証 [com.snc.sn_csm_lookup_verify]	メンテナンスモードのみ。		
CSM Workspace - Components [com.csm_workspace_components]	メンテナンスモードのみ。		
施設移動管理 [com.snc.facilities_service_automation.move]	メンテナンスモードのみ。 2025 年 3 月に廃止またはサブスクリプション期間が終了する予定です。	単一ユーザーの移動機能と、エンタープライズ移動および移動計画機能が有効になります。	Workplace Service Delivery に移行します。
Facilities Service Management CMS Portal [com.snc.facilities_service_automation.cms]	メンテナンスモードのみ。		
Facilities Service Management Mobile [com.snc.facilities_service_automation_m]	メンテナンスモードのみ。	施設サービス管理モバイルコンポーネントを管理します。	
Field Service Management CMS Portal [com.snc.work_management.cms]	メンテナンスモードのみ。	Field Service Automation およびその他のサービス管理アプリケーションを単一の CMS ページから起動できます。	
Human Resources Application: Core CMS [com.snc.hr.core.cms]	メンテナンスモードのみ。	HR のケースおよびナレッジ管理を提供します。従業員の問い合わせと要求の文書化、やり取り、および実行を標準化すると同時に、受信するケースの数とタイプを可視化します。	
ルックアップおよび検証 [com.snc.sn_lookup_and_verify_config]	メンテナンスモードのみ。		
Service Catalog CMS Extension [com.glideapp.servicecatalog.cms]	メンテナンスモードのみ。	CMS 内でカタログエクスペリエンスを定義する機能を提供します。	

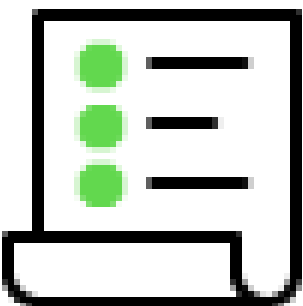
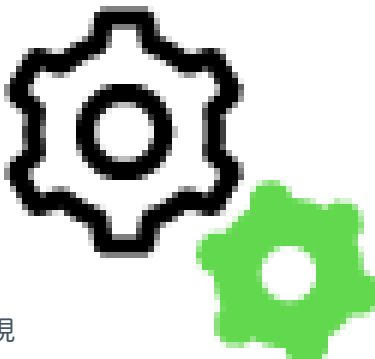
Utah からアップグレードのリリースノート

Utah リリースからアップグレードする場合は、各リリースバージョンの修正、ユーザーインターフェイスの重要な変更、ブラウザーのサポート、プラグインの更新、および各機能のアップグレードと移行のタスク (該当する場合) を把握しておきましょう。

Utah から Washington DC へのアップグレード

When upgrading from Utah...



統合製品リリースノート	カスタマイズされた PRB リリースノート	Utah から Washington DC へのプラグインの変更
 新製品と機能の Utah 詳細情報 Washington DC	 在のバージョンと利用可能なターゲットバージョンの間で修正された問題のリストを生成します	 新規、変更、名前変更、廃止されたプラグインのリスト

自動翻訳

アクセシビリティと適合性	利用可能なパッチと ホットフィックス	ブラウザサポート
 自主的な製品アクセシビリティテンプレート (VPAT) に基づくアクセシビリティ適合レポート	 修正された問題のリリースノート	 特定の製品でサポートされているブラウザバージョンと追加要件

Utah から Washington DC へのアップグレードの統合製品リリースノート

Utah から Washington DC へのアップグレードに役立つ情報として、各製品のファミリー共通リリースノートを 1 ページにまとめました。ご使用の製品を選択して、リリースノートの結果をカスタマイズしてください。

製品を選択して、Utah から **Washington DC** へのリリースノートを選択

以下の表には、ユタ州とワシントンDCで使用可能な全製品が一覧表示されています。目的の製品を選択するには、[フィルター基準] 機能を使用します。テーブルがフィルタリングされ、選択した製品の統合リリースノートが表示されます。リンクをクリックすると、各製品の統合リリースノートが表示されます。

製品	統合リリースノート
Accounts Payable Operations	リンク
Admin Center	リンク
Adoption Services	リンク
Advanced Goal Framework	リンク
Advanced Risk	リンク
Advanced Work Assignment	リンク
エージェントチャット	リンク

製品	統合リリースノート
エージェントチャットおよび Sidebar	リンク
Agent Client Collector	「リンク」
CSM のエージェントエクスペリエンス	「リンク」
Agent Workspace for HR Case Management	リンク
Agile Development 2.0	リンク
AI Search	リンク
Alignment Planner Workspace	リンク
API	リンク
App Engine Studio	リンク
Application Management	リンク
アプリケーションマネージャー	リンク
Application Portfolio Management	リンク
アプリケーション使用状況の概要ダッシュボード	リンク
Application Vulnerability Response	リンク
アセスメントとサーベイ	「リンク」
Audit Management	「リンク」
Automated Test Framework	リンク
Benchmarks	リンク
Business Continuity Management	リンク
Career Assessment	リンク

製品	統合リリースノート
Case and Knowledge Management	リンク
Change Management	リンク
Clinical Device Management	「リンク」
クローンアドミンコンソール	「リンク」
クラウドコスト管理	「リンク」
Cloud Insights	リンク
Cloud Provisioning and Governance	リンク
Coaching	リンク
Commercial Lines Claims	「リンク」
共通の Governance, Risk, and Compliance 機能	「リンク」
共通の GRC 機能	「リンク」
Compliance Case Management	「リンク」
Configuration Compliance	リンク
Configuration Management Database (CMDB)	リンク
コンテナ Vulnerability Response	「リンク」
Continuous Authorization and Monitoring	「リンク」
Continuous Authorization and Monitoring (CAM)	リンク
Conversational Interfaces	リンク
Conversational Interfaces のホーム	リンク
Core Now Platform	「リンク」

製品	統合リリースノート
顧客契約と資格付与	「リンク」
Customer Service Management	「リンク」
Customer Service Management (CSM)	「リンク」
ダッシュボード	リンク
Data Discovery	「リンク」
CSM のデータ管理	「リンク」
Data Privacy	「リンク」
データ分離	リンク
Decision Builder	リンク
デフォルトの管理者ランディングページ	「リンク」
Delegated Development	「リンク」
DevOps	リンク
DevOps Change Velocity	リンク
DevOps Config	リンク
Digital Portfolio Management	「リンク」
Visa の異議申し立てルールコンテンツパック	「リンク」
Document Intelligence	リンク
ドキュメントサービス	リンク
ドキュメントテンプレート	「リンク」
Dynamic Translation	リンク

製品	統合リリースノート
Employee Center	リンク
Employee Document Management	「リンク」
Employee Growth and Development	「リンク」
Employee Growth and Development Activities	リンク
Employee Growth and Development Core	リンク
Employee Journey Management	リンク
Employee Relations	「リンク」
EMR Help	リンク
暗号化とキー管理	「リンク」
暗号化キー管理	リンク
Enterprise Asset Management	リンク
Environmental, Social, and Governance Management	リンク
Equifax Spoke	「リンク」
ERP キャンバス	「リンク」
ERP Customization Mining	「リンク」
ESG Management	「リンク」
Event Management	リンク
Export to PowerPoint for Strategic Portfolio Management	リンク
Field Service Management	リンク
Financial Management	リンク

製品	統合リリースノート
Financial Services Business Deposit Operations	リンク
Financial Services Business Lifecycle	リンク
Financial Services Business Loan Operations	リンク
Financial Services Card Operations	リンク
Financial Services Client Lifecycle	リンク
Financial Services Complaint Management	リンク
Financial Services Credit Operations	リンク
Financial Services Customer Lifecycle Operations	リンク
Financial Services Deposit Operations	リンク
Financial Services Insurance Policy Operations	リンク
Financial Services integration with Jack Henry Associates jXchange	リンク
Financial Services integration with Socure	リンク
Financial Services Loan Operations	リンク
Financial Services Operations Core	リンク
Financial Services Operations の FRISS との統合	「リンク」
Financial Services Operations Integration with Guidewire	「リンク」
Financial Services Operations Integration with Jack Henry jXchange	「リンク」
Financial Services Operations の Visa との統合	「リンク」
Financial Services Payment Operations	リンク

製品	統合リリースノート
Financial Services Personal Deposit Operations	リンク
Financial Services Personal Loan Operations	リンク
Financial Services Treasury Operations	リンク
Flow Designer	「リンク」
生成 AI コントローラー	「リンク」
Goal Framework	リンク
Goal Framework for SPM	リンク
Governance, Risk, and Compliance	リンク
Granular Delegation	リンク
GRC：サードパーティコンテンツとの統合	リンク
Group Life Servicing	「リンク」
Hardware Asset Management 10.0.0	「リンク」
Hardware Asset Management 4.0	リンク
Hardware Asset Management 5.0	リンク
Hardware Asset Management 7.0.0	リンク
Hardware Asset Management 8.0.0	リンク
Healthcare and Life Sciences Service Management Core	リンク
Health Log Analytics	リンク
Help Center	リンク
Hermes Messaging Service	リンク

製品	統合リリースノート
HR Service Delivery	リンク
HR Service Delivery Case and Knowledge Management	リンク
HR Service Delivery Enterprise Onboarding and Transitions	リンク
HR Service Delivery Integration with Magnit	リンク
HR Service Delivery Integration with Workday Learning	リンク
ID と認証	リンク
インポートとエクスポート	リンク
Incident Management	リンク
Individual Life Servicing	リンク
Industrial Process Manager	リンク
Industry 製品	リンク
Instance Data Replication	リンク
Instance Scan	リンク
Integration Hub	「リンク」
CSM のインテリジェンス	「リンク」
Intelligent Service Delivery	リンク
Intelligent Servicing for Fraud	リンク
Investment Funding	「リンク」
ITOM クラウドアクセラレート	「リンク」
ITOM Health	リンク

製品	統合リリースノート
ITOM Optimization	「リンク」 
ITOM 最適化 ITOM 最適化	「リンク」 
ITOM Visibility	リンク 
ITSM Agent Workspace	リンク 
ITSM Mobile	「リンク」 
ITSM Mobile Agent	「リンク」 
ITSM Success Dashboard	「リンク」 
ITSM 仮想エージェント	リンク 
Journey Designer	リンク 
Journey Designer 2.0	リンク 
Knowledge Management	リンク 
Learning	リンク 
Legal Service Delivery	リンク 
Localization Framework	リンク 
Manager Hub	「リンク」 
Manufacturing Process Manager	「リンク」 
メンタリング	「リンク」 
MetricBase	リンク 
MID Server	リンク 
Mobile	「リンク」 

製品	統合リリースノート
Mobile Platform	「リンク」
Natural Language Query	リンク
Natural Language Understanding	リンク
Next Experience	リンク
Next Experience コンポーネント	リンク
Next Experience 開発者ツール	リンク
Next Experience UI	リンク
Next Experience ユーザーインターフェイス	リンク
Notifications	リンク
Notify	リンク
Now Assist	「リンク」
Customer Service Management (CSM) 向け Now Assist	「リンク」
Now Assist for HR Service Delivery (HRSD)	「リンク」
Now Mobile アプリ	「リンク」
Omnichannel Callback	リンク
オンボーディングエクスペリエンス	リンク
On-Call Scheduling	リンク
Operational Resilience	リンク
Operational Technology Change Management	リンク
Operational Technology Incident Management v2	「リンク」

製品	統合リリースノート
オペレーショナルテクノロジー向けナレッジ管理	「リンク」 
Operational Technology Manager	リンク 
Operational Technology Service Management	リンク 
Operational Technology Vulnerability Response	「リンク」 
Order Management	「リンク」 
Order Management for CSM	リンク 
Order Management for Customer Service Management	「リンク」 
Order Management for Telecommunications, Media, and Technology	リンク 
Password Reset	リンク 
Patient Support Services	リンク 
Performance Analytics	リンク 
Personal Lines Claims	「リンク」 
プラットフォーム分析エクスペリエンス	「リンク」 
Platform Analytics ワークスペース	リンク 
プラットフォームセキュリティ	「リンク」 
Playbook	「リンク」 
Policy and Compliance integrator	リンク 
Policy and Compliance Management	リンク 
Portfolio Planning	リンク 

製品	統合リリースノート
Predictive Intelligence	「リンク」 
Pre-Visit Management	リンク 
Privacy Management	リンク 
助言付きプロンプト	リンク 
Proactive Service Experience Workflows	リンク 
Proactive Service Experience Workflows (テクノロジー)	リンク 
Proactive Service Experience Workflows (電気通信)	リンク 
プロアクティブトリガー	リンク 
Problem Management	リンク 
Process Automation Designer	リンク 
Process Mining	リンク 
Process Optimization	リンク 
Procurement Service Management	「リンク」 
製品カタログ管理と価格管理	「リンク」 
Project Portfolio Management	リンク 
プロジェクトワークスペース	リンク 
Public Sector Digital Services	「リンク」 
見積管理	「リンク」 
推奨フレームワーク	リンク 
Redox Inbound Integration	リンク 

製品	統合リリースノート
Regulatory Change Management	「リンク」 
レポート	「リンク」 
リソース管理ワークスペース	「リンク」 
レスポンスダッシュボード	「リンク」 
Robotic Process Automation (RPA) Hub	リンク 
Scaled Agile Framework (SAFe)	リンク 
スクリプティング	リンク 
検索の管理	リンク 
セキュリティセンター	リンク 
Security Incident Response	「リンク」 
Security Posture Control	「リンク」 
CSM のセルフサービスとオムニチャネルエンゲージメント	「リンク」 
Service Bridge	リンク 
Service Bridge (テクノロジー)	リンク 
Service Bridge (電気通信)	リンク 
Service Builder	リンク 
Service Catalog	リンク 
Service Desk	「リンク」 
IoT 用 Microsoft Defender 向けサービスグラフコネクタ (Azure)	「リンク」 

製品	統合リリースノート
Service Graph Connector for Microsoft Defender for IoT (オンプレミス管理コンソール)	「リンク」 
Service Graph Connector Integration for Claroty CTD	リンク 
Service Level Management	リンク 
ServiceNow パフォーマンスダッシュボード	リンク 
ServiceNow Studio	リンク 
ServiceNow 音声アシスト機能	リンク 
Service Operations Workspace for ITOM	「リンク」 
Service Operations Workspace for IT Service Management	「リンク」 
Service Operations Workspace for ITSM	リンク 
Service Portal	リンク 
Service Portfolio Management	リンク 
Sidebar	リンク 
Sitemap Generator	リンク 
Skills Intelligence	リンク 
Skills Management	リンク 
Software Asset Management	リンク 
Sourcing and Procurement Operations	リンク 
SPM ベンチマーク	リンク 
Store 使用率の概要ダッシュボード	リンク 

製品	統合リリースノート
Strategic Planning	リンク
Studio	リンク
Subscription Management	リンク
Supplier Lifecycle Management	「リンク」
サプライヤーライフサイクルオペレーション	「リンク」
システム管理者ダッシュボード	リンク
システムクローン	リンク
System Diagnostics ホームページ	リンク
Table Builder	リンク
Table Builder for App Engine	リンク
ITSM の Task Intelligence	リンク
Technology Provider Service Management	「リンク」
Telecommunications Network Inventory	リンク
Telecommunications Service Management	「リンク」
Telecommunications Service Operations Management	「リンク」
Theme Builder	「リンク」
サードパーティリスク管理	「リンク」
UI Builder	リンク
Universal Request	「リンク」
Upgrade Center	リンク

製品	統合リリースノート
User Experience Analytics	リンク
Vaccine Administration Management	リンク
Vendor Management Workspace	「リンク」
Vendor Risk Management	リンク
仮想エージェント	「リンク」
Visa スポーク	「リンク」
Visual Task Boards	リンク
Vulnerability Response	「リンク」
Microsoft Defender for IoT の脆弱性対応 (オンプレミス管理コンソール)	「リンク」
Vulnerability Response integrations	リンク
Vulnerability Response Integration with Claroty CTD	リンク
Vulnerability Response Integration with Microsoft Defender for IoT	リンク
Walk-up Experience	「リンク」
ワークフロースタジオ	「リンク」
Workforce Optimization for Customer Service	リンク
Workforce Optimization for HR	リンク
Workforce Optimization for ITSM	リンク
ワークスペース	「リンク」
Zing テキストインデックス作成および検索エンジン	「リンク」

Utah から Washington DC へのプラグインの変更

Utah から Washington DC にアップグレードする前に、新規プラグインおよび廃止済み、名前変更済み、または何らかの変更があった既存のプラグインに関する情報をリリースノートで確認してください。

Utah および Vancouver プラグインの変更

詳細については、「[Utah plugin changes \(Utah でのプラグインの変更\)](#)」を参照してください。

詳細については、「[Vancouver プラグインの変更](#)」を参照してください。

Utah から Washington DC で廃止されたプラグイン

この表は、または Utah で Vancouver で廃止された既存のプラグインを示しています。

プラグイン	ステータス	説明	Details (詳細)
Badge Reader Integration for Walk-up Experience (com.snc.badge_reader から削除)	使用廃止 Washington DC	オンサイト Walk-up キューの場所で Badge Reader Integration アプリケーションを使用して、Walk-up Experience のユーザー満足度を向上させます。	顧客ベードリーダークライアントを構築するためのガイダンスを確認します。
セントラルディスパッチ [com.snc.central_dispatch]	使用廃止 Washington DC	未アサインタスクのリストビューとカレンダービューの両方を提供します。	Dispatcher Workspace プラグイン (com.snc.uib.fsm_dispatcher_work) をインストールして構成します。
Cloud Native Operations [sn_k8s]	使用廃止 Washington DC	Cloud Native Operations を使用して、Kubernetes プラットフォームの継続的な検出と監視を実行します。	から ServiceNow Store Agent Client Collector for Visibility (ACC-V) アプリケーションをインストールし、ドキュメントを確認します。
Cloud Provisioning and Governance - Terraform Connector for IBM Cloud	Utah で使用廃止。		
CMDB: IT Fundamentals [com.sn_apphealth]	Utah で使用廃止。		CMDB Data Workspace/ Insights and Data Foundation Dashboard に移行します。
CMDB の検索 [com.snc.cmdb_search]	Vancouver で使用廃止。	CMDB を検索するための拡張機能を提供します。	CMDB Workspace に移行します。

プラグイン	ステータス	説明	Details (詳細)
Connect サポート [com.glide.connect.support]	Utah で使用廃止。	Connect メッセージングプラットフォームをベースに構築されており、キューを使用してサポートエージェントがリアルタイムのサポートをエンドユーザーに提供できるようにします。	Advanced Work Assignment と Agent Workspace 上のエージェントチャットに移行します。
Conversational Integration with Google Assistant [com.sn.va.google.assistant]	Vancouver で使用廃止。	仮想エージェントが、仮想エージェントトピックを使用して Google の音声インターフェイスで要求者とやり取りできるようにします。	Google は、2023 年 6 月 13 日をもって会話型アクション機能を廃止しました。この廃止された機能への依存関係により、「Conversational Integration with Google Assistant」ストアアプリケーションのサポートも終了します。
CSM エージェントワークスペース [com.snc.agent_workspace.csm]	使用廃止 Washington DC	CSM Agent Workspace を使用すると、Customer Service Management を他のアプリケーションと統合できます。	ServiceNow Store から CSM Configurable Workspace アプリケーションをインストールします。
注文の Customer Service Management [com.snc.csm.order]	使用廃止 Washington DC	Customer Service Management for Orders 機能は、注文および注文明細のサポートを Customer Service Management アプリケーションに追加します。	Order Management ストアアプリケーションをインストールします。
DevOps Config Insights [com.snc.devops.config.insights]	Vancouver で使用廃止。	構成エラーをすばやく特定してアクションを実行するためのレポートを表示します。	以前に DevOps Config Insights アプリケーションでリリースされた DevOps Config Insights Dashboard が、DevOps Config アプリケーションでリリースされるようになりました。この変更に伴って必要な顧客ア

プラグイン	ステータス	説明	Details (詳細)
			クシオンはありません。
Field Service Management モバイル (従来) [com.snc.work_management_m]	Vancouver で使用廃止。	組織が場所に基づく作業をより効率的かつ安全に管理するのに役立ちます。	Field Service Management モバイルのすべての機能を提供する新しい Field Service Mobile アプリケーション (com.sn_fsm_mobile) に移行すると、ネイティブエクスペリエンスとオフライン機能が向上します。
Google Hangouts スポーク [com.sn.ghangouts.spoke]	Vancouver で使用廃止。	ServiceNow でイベントが発生したときに Google Hangouts タスクを実行するアクションが提供されます。	カレンダーのスケジュール設定に Google Hangouts スポークを使用している場合は、 移行ガイド [KB1288254] で、ServiceNow Store での Google カレンダーアプリケーションのインストールと構成に関するガイダンスを参照してください。
HTML プロセッサ [該当なし]	使用廃止 Washington DC		インスタンスでこの機能を無効にする手順については、KB1119956を確認してください。
IBM Connector [com.sn.cmp.ibm]	Utah で使用廃止。		代替機能である Integrations Hub または Integrations with Anisble を選択してアクティブ化します。
仮想エージェントの IE11 サポート [com.glide.cs.chatbot、com.glide.cs.chatbot.lite]	IE11 ブラウザーのサポートは終了しました。		
アイテムデザイナー [com.glideapp.servicecatalog.itemdesigner]	使用廃止 Washington DC	Service Catalog アイテムデザイナーでは、管理者ではないユーザーがカタログアイテムを作成、保守、公開できます。構造化されたデザインと公開プロセスが	カタログビルダープラグインは、デフォルトですべてのインスタンス (com.glideapp.servicecatalog.catalog) で有効になっています。

プラグイン	ステータス	説明	Details (詳細)
		使用され、一貫性のある使用が確保されます。	
ITSM Agent Workspace と CMDB Agent Workspace [com.snc.agent_workspace.itsm、com.snc.agent_workspace.cmdb、com.snc.agent_workspace.workspace]	使用廃止 Washington DC	ITSM Agent Workspace を使用して ITSM Landing ジェントエクスペリエンスを改善し、IT フルフィルメントボリュームをより効率的に管理します。	ServiceNow Store から Service Operations com.snc.agent_workspace Workspace for ITSM アプリケーションをインストールします。
ITSM Workforce Optimization [sn_wfo_itsm、sn_wfo_itsm_cnt]	Vancouver で使用 廃止。	1 か所で人員の生産性を管理および維持できます。	ServiceNow Store で Workforce Optimization for ITSM Configurable Workspace アプリケーションをインストールします。
Journey Accelerator v4.0.3 以前 [com.sn_ja]	使用廃止 Washington DC	計画や To-Do タスク用のテンプレートを作成できます。マネージャーはテンプレートを使用して、主要な従業員の移行に対応するカスタマイズされた計画を作成および公開します。マネージャー、従業員、メンターは、Employee Center (EC) から計画にアクセスできます。	代替の Journey Designer アプリケーションに移行します。Journey Designer は、Journey Designer でサポートされているバージョンである Journey Accelerator v5.0+ を自動的にインストールします。
法務 Service Management [com.snc.legal_service_automation、com.snc.marketing_service_automation、com.snc.finance_service_automation]	Utah で使用廃止。	Legal Service Automation およびその他のサービス管理アプリケーションを起動できます。本番インスタンスでこのプラグインを有効化するには、別のライセンスが必要になる場合があります。詳細については、ServiceNow にお問い合わせください。	顧客が代替テクノロジーを見つける必要はありません。
Map プラグイン [com.snc.fsm_map]	Vancouver で使用 廃止。	エージェント、タスク、およびエージェントルートを表示するためのディスパッチャー	Dispatcher Workspace プラグイン [com.snc.uib.fsm_dispatcher_work

プラグイン	ステータス	説明	Details (詳細)
		チマップを表示します。	をアクティブ化します。
モバイルスタジオ [com.glide.sg-studio]	使用廃止 Washington DC	Mobile Studio を使用して、任意の ServiceNow モバイルアプリで使用するモバイルコンポーネントを作成および変更します。	代替の Mobile App Builder に移行します。
OpenID Single Sign-On [com.snc.integrations.sso.openid]	Utah で使用廃止。		「Integration - Multiple Provider Single Sign-On Installer」プラグイン (com.snc.integration.sso.multi.inst) に移行し、SSO 機能を使用するように IDP を設定します。
オペレーターワークスペースおよび CMDB Agent Workspace [com.itom-noc-app、com.oi-scoped-app、com.sn-em-ai-action、com.sn-em-hidden-component com.sn-em-ai-overview、com.sn-em-metric、com.sn_log_viewer com.cmdb-workspace]	使用廃止 Washington DC		ServiceNow Store から Service Operations Workspace for ITOM アプリケーションをインストールします。
製品モデルとカタログアイテムの関係 [com.snc.product_catalog_relationship]	使用廃止 Washington DC	顧客が製品モデルとカタログアイテム間で関係を作成することにより、製品のサービスを要求するセルフサービスを有効にします。	Customer Service Case Types プラグイン (com.snc.csm_case_types) をインストールし、サービス定義機能を使用します。
SAML 1.1 Single Sign-on - Update 1 [com.snc.sso.saml11.update1] SAML 1.1 Single Sign-On [com.snc.sso.saml11] Integration - OpenID SSO [com.snc.integration.sso.openid]	Utah で使用廃止。	外部 OpenID プロバイダー (OP) で使用される従来のバージョンのシングルサインオン。OpenID Connect は London で提供されていますが、Web サービスに限定されています。	「Integration - Multiple Provider Single Sign-On Installer」プラグイン (com.snc.integration.sso.multi.inst) に移行し、OIDC ベースの SSO 機能を使用するように IDP を設定します。
Service Management Geolocation Mobile [com.snc.service_management_m]	Vancouver で使用廃止。	Service Management 位置情報管理のモバイル UI のメニューを提供します。	Service Management 位置情報管理のすべての機能を提供する新しい Field Service Mobile アプリケー

プラグイン	ステータス	説明	Details (詳細)
			ションに移行すると、ネイティブエクスペリエンスが向上します。
Software Asset Management クラシック UI	Utah で使用廃止。	Software Asset Management (com.snc.software_asset_management) のクラシックユーザーインターフェイス。	新しいユーザーインターフェイスを使用するには、ソフトウェア資産ワークスペース (com.sn_sam_workspace) に移行します。
標準化された情報収集 (SIG) アセスメント [com.snc.sig_asmt_core]	Vancouver で使用廃止。	Excel シートを介して SIG Questionnaire に回答をインポートするために必要なプロセッサ。	GRC: SIG Questionnaire Integration [com.sn_sig_asmt] ストアアプリケーションに移行します。
標準化された情報収集 (SIG) アンケート [com.sn_sig_app]	Vancouver で使用廃止。	2018 および 2019 SIG Questionnaire コンテンツで配布されたストアアプリケーション。このコンテンツは ServiceNow によりサポートされなくなりました。	サポートされているバージョンの SIG Questionnaire (2023、2022、2021) を含む GRC: SIG Questionnaire Integration [com.sn_sig_asmt] ストアアプリケーションに移行します。
Tanium Integration V2 for Security Operations [com.snc.secops.tanium.v2]	Vancouver で使用廃止。	Tanium 機能の拡張ユースケースをサポートします。	Tanium からリリースされた Tanium Integration for Security Operations を ServiceNow Store でインストールします。
Vendor Manager Workspace (従来版) [com.snc.vlm.vmw]	Utah で使用廃止。	Vendor Manager Workspace にアクセスします。	ServiceNow Store の新しいワークスペース Vendor Management Workspace に移行します。
Workforce Optimization for CSM (従来) [com_snc_wfo_csm]	Vancouver で使用廃止。	マネージャー、スーパーバイザー、およびチームリーダーに Channel Management、チームパフォーマンス、スケジューリング、スキル決定、および Coaching 機	ServiceNow Store で入手可能な Workforce Optimization for CSM アプリケーションに移行します。UI Builder を使用して Workforce

プラグイン	ステータス	説明	Details (詳細)
		能を提供し、カスタマーサービスチームの品質と効率を向上させ、チームの満足度を高めます。	Optimization for Customer Service を構成することができます。
Workforce Optimization for ITSM (従来) [com.snc.wfo_itsm]	Vancouver で使用廃止。	従来のワークスペースの 1 つの場所から人員の生産性を管理および維持できます。	ServiceNow Store で入手可能な Workforce Optimization for ITSM (sn_wfo_cfg_itsm) アプリケーションに移行します。UI Builder を使用して Workforce Optimization for IT Service Management を構成することができます。

廃止予定のプラグイン

この表は、将来のリリースで廃止が予定されている既存のプラグインを示しています。

プラグイン	ステータス	説明	Details (詳細)
ITSM 用 Predictive Intelligence Workbench [com.sn_piwb_itsm_content]	Y リリースで廃止予定	顧客がドメイン固有のコンテンツをシードして、Predictive Intelligence Workbench で作成されたユースケースの実装ガイダンスを提供できるようにします	から ServiceNow Store Task Intelligence for ITSM アプリケーションをインストールし、Task Intelligence Admin Console を使用します。詳細については、 Task Intelligence for ITSM のドキュメントを参照してください。
Legal Counsel Center クラシック版 [com.sn_lg_workspace] および Legal Counsel Center Components [com.sn_lg_ws_comps]	Y リリースで廃止予定	Legal Counsel Center Classic を使用すると、法務部門のメンバーは、法務問題を分類、優先順位付けし、効率的に対処することができます。	から ServiceNow Store Legal Counsel Center アプリケーションをインストールし、ドキュメントを確認します Legal Counsel Center 。
Order Management for Customer	2028 年 9 月に廃止予定または Order	Order Management は、注文を作成、管理、	から ServiceNow Store 新しい Order

プラグイン	ステータス	説明	Details (詳細)
Service Management [com.sn_csm_order_mgmt]	Management サブスクリプション期間終了日 (いずれか早い方)	および追跡する機能を提供します。	Management アプリケーションをインストールし、 Install and configure Order Management 構成ガイドランスのドキュメントを確認します。
IBM Dynamic Translation [com.glide.ibm_translation_spoke]	2024 年 12 月に廃止予定	このスポークはストアで入手でき、ServiceNow の Dynamic Translation プラグインと連携します。代替翻訳サービス (Google、Microsoft) が利用可能です。	IBM は 、Watson Language Translator のサポート終了と 2024 年 6 月 10 日のサポート終了、2024 年 12 月 10 日の完全な削除を発表しました。 Dynamic Translation ドキュメントを確認して、Google および Microsoft で利用可能な Dynamic Translation サービスを確認してください。
Site Reliability Metrics および [com.sn_srm]	Y リリースで廃止予定	一般にサービスレベルインジケター (SLI) と呼ばれる Application Performance Management (APM) ツールからのアプリケーションパフォーマンスシグナルをキャプチャします。SRM アプリケーションでは、サービスレベル目標 (SLO)、エラー予算 (EB)、およびポリシーベースのアクションを作成できます。	から ServiceNow Store Service Reliability Management アプリケーションをインストールし、 起動ブログ を確認して、アプリケーションと機能の詳細を確認してください。
Site Reliability Operations [com.sn_srops]	Y リリースで廃止予定	チームをオンボーディングし、数分でサービスを登録することで、単一のワークスペース内のマイクロサービスの可視性を向上させます。Webhook 統合	から ServiceNow Store Service Reliability Management アプリケーションをインストールし、 起動ブログ を確認して、アプリケーション

プラグイン	ステータス	説明	Details (詳細)
		を介してテレメトリにすばやく接続することで可観測性を向上させ、アラートの自動化によってインシデントをより迅速に解決します。	ンと機能の詳細を確認してください。
Knowledge Management v3 [com.snc.knowledge3]	Y リリースで廃止 予定	Knowledge Management v3 ホームページは、ワシントン DC リリース以降、展開もアクティブ化もされなくなります。	の Configuring Knowledge Management ガイダンスを使用して Knowledge Management Service Portal プラグイン (com.snc.knowledge_serviceportal) をインストールして構成し、システムプロパティ sn_km_portal.glide.knowman.servi を true に設定して、v3 ホームページからポータルへのリダイレクトをアクティブ化します。
Central Dispatch [com.snc.central_dispatch]	W リリースで廃止 予定。	未アサインタスクのリストビューとカレンダービューの両方を提供します。	FSM ディスパッチワークスペース [com.snc.uib.fsm_dispatcher_work] に移行します。
従来の Cloud Discovery を使用した Cloud Discovery のセットアップ	X リリースで廃止 予定。	クラウド検出を実行するための Cloud Discovery を設定し、検出されたクラウドリソースを管理するために Cloud Provisioning and Governance を使用できるようにします。	ServiceNow Store で Cloud Operations Workspace (COW) をインストールします。
Cloud Spend Dashboard [sn_sam_cld_spend]	X リリースで廃止 予定。	単一のダッシュボードで、ソフトウェア、プラットフォーム、およびインフラストラクチャを含むすべてのクラウド支出を表示できます。	ServiceNow Store で Asset Executive Workspace をインストールします。
Employee Campaigns for Workplace from Facebook [com.snc.sn_fb_wp_campaigns]	X リリースで廃止 予定。	コンテンツをキャンペーンにパッケージ化し、Workplace from Facebook のグループにコンテンツを公開できます。	代替品はありません。このアプリケーションを使用している場合は、サポートされていないアプリケーションをカスタ

プラグイン	ステータス	説明	Details (詳細)
			ムコードとして維持するオプションがあります。
Facilities Service Management [com.snc.facilities_service_automation.fvw]	2025 年 3 月または最後のサブスクリプション期間の終了時に廃止予定。	施設要求を管理し、ユーザーが場所別に要求を報告および追跡できるようにします。フロアプランの要求を表示するには、Facilities Visualization Workbench (com.snc.facilities_service_automation.fvw) プラグインが必要です。 Facilities Visualization Workbench (com.snc.facilities_service_automation.fvw) プラグインもインストールされるときにインストールされる統合ファイル。 本番インスタンスでこのプラグインを有効化するには、別のライセンスが必要になる場合があります。詳細については、ServiceNow にお問い合わせください。	Workplace Service Delivery に移行します。
施設ビジュアル化ワークベンチ [com.snc.facilities_service_automation.fvw]	2025 年 3 月に廃止またはサブスクリプション期間が終了する予定です。	インタラクティブなフロアプラン機能を有効にします。	Workplace Service Delivery に移行します。
Field Service Map [com.snc.fsm_map]	X リリースで廃止予定。	エージェント、タスク、およびエージェントルートを表示するためのディスパッチマップを表示します。	フィールドサービスディスパッチャーワークスペースをインストールして構成します。ガイドンスについては、「 Configuring Dispatcher Workspace 」を参照してください。
Finance Service Management [com.snc.finance_service_automation.fvw]	2023 年 2 月または最後のサブスクリプション期間の終了時に廃止予定。	Finance Service Automation およびその他のサービス管理アプリケーションを起動できます。本番インスタンスで	

プラグイン	ステータス	説明	Details (詳細)
		このプラグインを有効化するには、別のライセンスが必要になる場合があります。詳細については、ServiceNow にお問い合わせください。	
FSM Agent クラシックワークスペース [com.snc.agent_workspace.fsm]	X リリースで廃止予定。		フィールドサービスディスパッチャーワークスペースをインストールして構成します。ガイドンスについては、「 Configuring Dispatcher Workspace 」を参照してください。
Global Reporting Initiative (GRI) Content Accelerator for ESG [com.sn_esg_gri]	X リリースで廃止予定。	各種法令・基準等および引用などの ESG フレームワークを提供し、関連する測定基準の定義を提供します。これにより、顧客は ESG 規制コンプライアンスの過程を促進し、規制コンプライアンスの状況の最前線に立つことができます。	ServiceNow Store から ESG Content Accelerator アプリケーションをインストールします。ガイドンスについては、「 Unified content management 」を参照してください。
HR エージェントモバイル [com.sn_hr_mobile_agent]	X リリースで廃止予定。		代替品はありません。このプラグインを使用している場合は、サポートされていないプラグインをカスタムコードとして維持するオプションがあります。
HR Agent Workspace [com.sn_hr_agent_workspace]	X リリースで廃止予定。	HR Service Delivery Agent Workspace を使用して、迅速に従業員とやり取りし、問い合わせに対応し、問題を解決することができます。	ケースマネジメント用の HRSD 構成可能な Agent Workspace をインストールして構成します。ガイドンスについては、「 Agent Workspace for HR Case Management (Configurable) 」および コミュニティの記事 を参照してください。

プラグイン	ステータス	説明	Details (詳細)
HR Service Delivery v1.0 (従来) [com.snc.hr.core.cms、com.snc.hr.core、com.snc.hr.hr-connect、com.snc.hr.pa- [com.snc.hr.service_portal	X リリースで廃止予定。	エンタープライズの生産性を向上させ、従業員に対して適切なリソースを提供します。	Human Resources Core v2.0 スコープ対象のアプリケーション [com.sn_hr_core]に移行します。
Instance Security Center [sn_isc_core, sn_isc_nlu, sn_isc_va]	X リリースで廃止予定。	インスタンスセキュリティコントロールのコンプライアンスレベルの監視、セキュリティイベントモニタリング測定基準の表示、インスタンスセキュリティ設定の構成と維持はすべて、Instance Security Center 内から行います。	ServiceNow Store で ServiceNow Security Center をインストールします。ガイドランスについては、「 Security Center 」を参照してください。
ITSM Pro - Service Owner Workspace [com.spm_owner_workspace]	サブスクリプション期間の終了時または Digital Portfolio Management への移行時に廃止予定。	プレミアムな Service Portfolio Management エクスペリエンスを提供します。ポートフォリオマネージャーとサービスオーナーは、直観的に操作できる統合されたグラフィカルユーザーインターフェイスを利用して、ポートフォリオとサービスの管理や監視を行います。	ServiceNow Store の Digital Portfolio Management に移行します。
MaestroRS [app-irm-bcm]	顧客固有の MaestroRS アプリケーション契約終了期間に廃止予定。		ServiceNow Store の 4 つの Business Continuity Management 代替アプリケーションをアクティブ化します。 • GRC: Business Continuity Management – Core • GRC: Business Continuity Planning • GRC: Business Impact Analysis

プラグイン	ステータス	説明	Details (詳細)
			GRC: Business Continuity Management – Components
マーケティング Service Management [com.snc.marketing_service_automation]	2023 年 2 月または最後のサブスクリプション期間の終了時に廃止予定。	Marketing Service Automation およびその他のサービス管理アプリケーションを起動できます。本番インスタンスでこのプラグインを有効化するには、別のライセンスが必要になる場合があります。詳細については、ServiceNow にお問い合わせください。	
IntegrationHub 用 Microsoft AD スポーク [com.sn.ad.spoke]	契約終了日または 2028 年 3 月 (いずれか早い方) に廃止予定。	プロセスアナリストがフローをデザインするときに使用できるアクションを提供します。これらのアクションにより、AD のユーザー、グループ、コンピューターおよびオブジェクトの管理を自動化できます。	ServiceNow Store で Microsoft Active Directory v2 スポークアプリケーションをインストールします。ガイドランスについては、「移行ガイド [KB1284583]」を参照してください。
ソーシャル Q&A [com.sn_kb_social_qa]	将来のリリースで廃止予定。	ユーザーによる質問と回答、および質問と回答に対する投票を可能にします。ソーシャル Q&A はナレッジアプリケーションを拡張し、ユーザー基準や複数のナレッジベースなどの既存のナレッジ機能を使用します。デフォルトでは、このプラグインは Paris リリースにアップグレードする既存顧客に対して有効です。Paris 以降、このプラグインは新規顧客に対して無効になっています。	

プラグイン	ステータス	説明	Details (詳細)
Service Graph Connector for ExtraHop [com.snc.cmdb.extrahop_integration]	X リリースで廃止予定。	ExtraHop アプリケーションから ServiceNow インスタンスにデータをプルする機能を提供します。	ServiceNow Store で Service Graph Connector for ExtraHop Reveal(x) アプリケーションをインストールします。このアプリケーションは ExtraHop が所有しています。
Sustainability Accounting Standards Board (SASB) Content Accelerator for ESG [com.sn_esg_sasb]	X リリースで廃止予定。	SASB Accelerator は、ESG Management and Reporting アプリケーションで使用するよう設計されているため、顧客は SASB フレームワークを簡単に採用して ESG 開示を作成できます。	ServiceNow Store から ESG Content Accelerator アプリケーションをインストールします。ガイダンスについては、「 Unified content management 」を参照してください。
Trusted Security Circles [sn_ti]、[sn_tis_a]	2023 年 9 月または最後のサブスクリプション期間の終了時に廃止予定。		
Vendor Performance Management [com.snc.vendor_performance]、 [com.snc.vendor_ticket]	2024 年 3 月またはサブスクリプション期間終了時に廃止予定。	ベンダーデータを測定、管理、追跡し、独自のグラフィカルビューでパフォーマンス特性を比較する機能を提供します。	ITSM Pro v2 サブスクリプションパッケージに含まれる Vendor Manager Workspace に移行します。

Utah から Washington DC に名前変更および変更されたプラグイン

この表は、Utah、Vancouver、または Washington DC で名前が変更されたか、変更された既存のプラグインを示しています。

プラグイン	ステータス	説明	Details (詳細)
Virtual Agent API (sn_va_as_service)	Washington DC で変更されました。	チャットインターフェイスやボットを仮想エージェントまたはエージェントチャットと統合します。	com.sn.omnichannel.callback プラグインは削除され、com.sn_ext_agent_management プラグインは依存関係になりました。
Advanced Goal Framework [sn_gfa]	Utah で名前が変更されました。	Now Platform にある任意のソースからターゲットの実際の値を自動的に導き出すことで目標の進捗状況をリアルタイム	変更後の名前は SPM のゴールフレームワークです。

プラグイン	ステータス	説明	Details (詳細)
		で監視する機能を提供します。	
Alignment Planner Workspace [sn_align_ws]	Utah で名前が変更されました。	従来のウォーターフォールアプローチの優先順位付け、ロードマップ、および追跡を行い、プロジェクトおよびデマンド管理を強化します。	変更後の名前はポートフォリオ計画です。
Cloud Insights [sn_clin]	Utah で名前が変更されました。	運用を最適化しコストを削減する機会を特定してアクションを実行できるように、クラウド資産に関連するあらゆるコストの分析を可能にします。	変更後の名前はクラウドコスト管理です。
Lenses for Alignment Planner Workspace [sn_apw_advanced]	Utah で名前が変更されました。	Agile、ウォーターフォール、またはハイブリッドアプローチを使用するときに、すべての作業に優先順位を付け、目標を視覚的にロードマップし、進捗状況を追跡します。	変更後の名前は 戦略的計画 です。
Manufacturing Common [com.sn_mfg_common]	Vancouver で名前が変更されました。	Operational Technology ソリューションを使用できるようにする一般的な依存関係。	変更後の名前は Industrial Workspace Common です。
Manufacturing Process Manager [com.sn_otsm]	Vancouver で名前が変更されました。	チームは各施設の産業用設備階層モデルと関連する生産プロセスをマッピングして可視化できます。	変更後の名前は Industrial Process Manager です。
Process Optimization Content Pack for FSM [com.snc.fsm_process_optimization]	Vancouver で名前が変更されました。	監査記録の作業指示タスクデータからビジネスプロセスフローを作成します。これによって、プロセスオーナーがプロセスの詳細な分析を行い、インサイトを発見して、ビジネスの成果を向上させることが可能になります。	変更後の名前は Process Mining Content Pack for FSM です。

プラグイン	ステータス	説明	Details (詳細)
Software Asset Management Playbook [com.sn_sam_playbook]	Vancouver で名前が変更されました。	Playbook および Guided Setup は、毎日のソフトウェア管理アクティビティのタスクを完了するためのステップバイステップのガイダンスを提供します。	変更後の名前は Software Asset Management 用 Playbooks および Guided Setup です。
Workplace Safety Management [sn_wsd_core]	Vancouver で名前が変更されました。	職場の従業員のために、安全でシームレスな管理されたプロセスを作成するのに役立ちます。	変更後の名前は Workplace Core です。

メンテナンスモードのプラグイン

次の表は、メンテナンスモードの既存のプラグインを示しています。

プラグイン	ステータス	説明	詳細
CSM 向け Advanced Work Assignment [com.sn_csm.awa]	メンテナンスモードのみ。	Customer Service (com.sn_customerservice) プラグインをアクティブ化すると、このプラグインが有効になります。	
CMS User Interface - Service Management Core [com.snc.service_management.core.cms]	メンテナンスモードのみ。	コア IT セルフサービスアプリケーションを参照するために使用されるすべてのコンテンツ管理システムアイテム (ブロック、ページ、およびメニュー) は、このプラグインにパッケージ化されています。また、すべての Service Management アプリケーションのコア基盤でもあります。	
Content Management [com.glide.cms]	メンテナンスモードのみ。		
Content Management Extended Types [com.glide.cms.types]	メンテナンスモードのみ。	iFrames と Flash フレームを追加する Content Management の拡張。 コンテンツ管理システム (CMS) アプリケーション	

プラグイン	ステータス	説明	詳細
		は、ServiceNow 担当者を介して要求する必要があります。CMS をアクティブ化するのではなく、サービスポータルを使用し新しい開発を行います。サービスポータルは CMS の代替となるもので、ユーザーエクスペリエンスが向上しています。デフォルトでは、これがベースシステムで有効になっています。「 Service Portal 」および「 Content Management and Service Portal 」を参照してください。	
Content Management IFrame タイプ [com.glide.cms.type.iframe]	メンテナンスモードのみ。		
Content Management Flash Type [com.glide.cms.type.flash]	メンテナンスモードのみ。		
CSM アカウント階層 [com.snc.sn_csm_account_hierarchy]	メンテナンスモードのみ。		
CSM ルックアップおよび検証 [com.snc.sn_csm_lookup_verify]	メンテナンスモードのみ。		
CSM Workspace - Components [com.csm_workspace_components]	メンテナンスモードのみ。		
施設移動管理 [com.snc.facilities_service_automation.move]	メンテナンスモードのみ。 2025 年 3 月に廃止またはサブスクリプション期間が終了する予定です。	単一ユーザーの移動機能と、エンタープライズ移動および移動計画機能が有効になります。	Workplace Service Delivery に移行します。

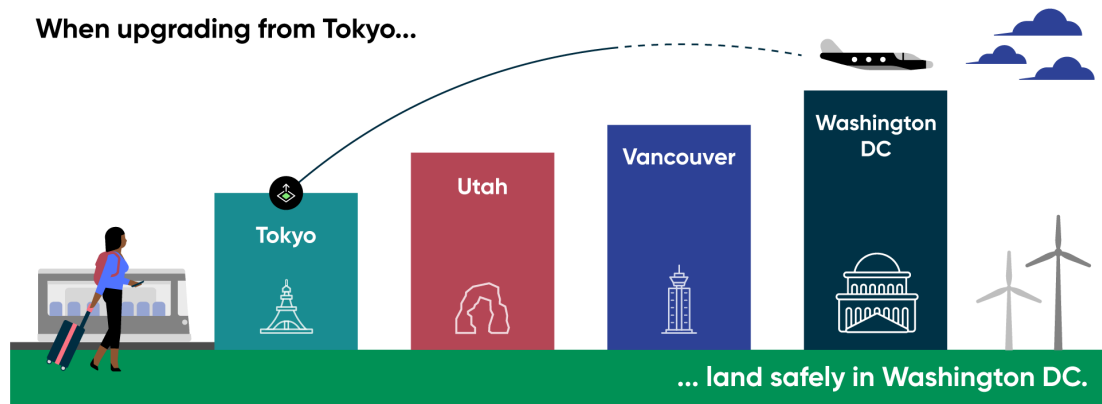
プラグイン	ステータス	説明	詳細
Facilities Service Management CMS Portal [com.snc.facilities_service_automation.cms]	メンテナンスモードのみ。		
Facilities Service Management Mobile [com.snc.facilities_service_automation_m]	メンテナンスモードのみ。	施設サービス管理モバイルコンポーネントを管理します。	
Field Service Management CMS Portal [com.snc.work_management.cms]	メンテナンスモードのみ。	Field Service Automation およびその他のサービス管理アプリケーションを単一の CMS ページから起動できます。	
Human Resources Application: Core CMS [com.snc.hr.core.cms]	メンテナンスモードのみ。	HR のケースおよびナレッジ管理を提供します。従業員の問い合わせと要求の文書化、やり取り、および実行を標準化すると同時に、受信するケースの数とタイプを可視化します。	
ルックアップおよび検証 [com.snc.sn_lookup_and_verify_config]	メンテナンスモードのみ。		
Service Catalog CMS Extension [com.glideapp.servicecatalog.cms]	メンテナンスモードのみ。	CMS 内でカタログエクスペリエンスを定義する機能を提供します。	

Tokyo からのアップグレードのリリースノート

Tokyo リリースからアップグレードする場合は、各リリースバージョンの修正、ユーザーインターフェイスの重要な変更、ブラウザーのサポート、プラグインの更新、および各機能のアップグレードと移行のタスク (該当する場合) を把握しておきましょう。

Tokyo から Washington DC へのアップグレード

When upgrading from Tokyo...

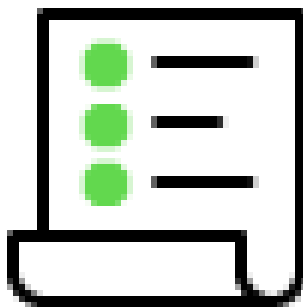


統合製品リリースノート



新製品と機能の Tokyo 詳細情報 Washington DC

カスタマイズされた
PRB リリースノート



現在のバージョンと利用可能なターゲットバージョンの間で修正された問題のリストを生成します

Tokyo から Washington DC へのプラグインの変更



新規、変更、名前変更、廃止されたプラグインのリスト

アクセシビリティと適合性



自主的な製品アクセシビリティテンプレート (VPAT) に基づくアクセシビリティ適合レポート

利用可能なパッチと
ホットフィックス



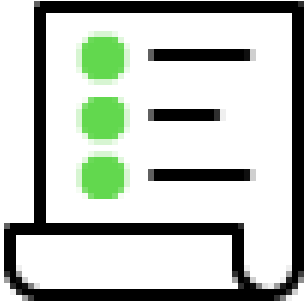
修正された問題の
リリースノート

ブラウザサポート



特定の製品でサポートされているブラウザバージョンと追加要件

自動翻訳

	カスタマイズされた PRB リリースノート  現在のバージョンと利用可能なターゲットバージョンの間で修正された問題のリストを生成します	

Tokyo から Washington DC へのアップグレードの統合製品リリースノート

Tokyo から Washington DC へのアップグレードに役立つ情報として、各製品のファミリー共通リリースノートを 1 ページにまとめました。ご使用の製品を選択して、リリースノートの結果をカスタマイズしてください。

製品を選択して、Tokyo から Washington DC へのリリースノートを表示

以下の表は、東京-ワシントンDC間で利用可能なすべての製品のリストです。目的の製品を選択するには、[フィルター基準] 機能を使用します。テーブルがフィルタリングされ、選択した製品の統合リリースノートが表示されます。リンクをクリックすると、各製品の統合リリースノートが表示されます。

製品	統合リリースノート
Accounts Payable Operations	リンク
Admin Center	リンク
Adoption Services	リンク
Advanced Goal Framework	リンク
Advanced Risk	リンク
Advanced Work Assignment	リンク
エージェントチャット	リンク

自動翻訳

製品	統合リリースノート
エージェントチャットおよび Sidebar	リンク
Agent Client Collector	「リンク」
CSM のエージェントエクスペリエンス	「リンク」
Agent Workspace for HR Case Management	リンク
Agile Development 2.0	リンク
AI Search	リンク
Alignment Planner Workspace	リンク
API	リンク
App Engine Studio	リンク
Application Management	リンク
アプリケーションマネージャー	リンク
Application Portfolio Management	リンク
アプリケーション使用状況の概要ダッシュボード	リンク
Application Vulnerability Response	リンク
アセスメントとサーベイ	「リンク」
Audit Management	「リンク」
Automated Test Framework	リンク
Benchmarks	リンク
Business Continuity Management	リンク
Career Assessment	リンク

製品	統合リリースノート
Case and Knowledge Management	リンク
Change Management	リンク
Clinical Device Management	「リンク」
クローンアドミンコンソール	「リンク」
クラウドコスト管理	「リンク」
Cloud Insights	リンク
Cloud Provisioning and Governance	リンク
Coaching	リンク
Commercial Lines Claims	「リンク」
共通の Governance, Risk, and Compliance 機能	「リンク」
共通の GRC 機能	「リンク」
Compliance Case Management	「リンク」
Configuration Compliance	リンク
Configuration Management Database (CMDB)	リンク
コンテナ Vulnerability Response	「リンク」
Continuous Authorization and Monitoring	「リンク」
Continuous Authorization and Monitoring (CAM)	リンク
Conversational Interfaces	リンク
Conversational Interfaces のホーム	リンク
Core Now Platform	「リンク」

製品	統合リリースノート
顧客契約と資格付与	「リンク」
Customer Service Management	「リンク」
Customer Service Management (CSM)	「リンク」
ダッシュボード	リンク
Data Discovery	「リンク」
CSM のデータ管理	「リンク」
Data Privacy	「リンク」
データ分離	リンク
Decision Builder	リンク
デフォルトの管理者ランディングページ	「リンク」
Delegated Development	「リンク」
DevOps	リンク
DevOps Change Velocity	リンク
DevOps Config	リンク
Digital Portfolio Management	「リンク」
Visa の異議申し立てルールコンテンツパック	「リンク」
Document Intelligence	リンク
ドキュメントサービス	リンク
ドキュメントテンプレート	「リンク」
Dynamic Translation	リンク

製品	統合リリースノート
Employee Center	リンク
Employee Document Management	「リンク」
Employee Growth and Development	「リンク」
Employee Growth and Development Activities	リンク
Employee Growth and Development Core	リンク
Employee Journey Management	リンク
Employee Relations	「リンク」
EMR Help	リンク
暗号化とキー管理	「リンク」
暗号化キー管理	リンク
Enterprise Asset Management	リンク
Environmental, Social, and Governance Management	リンク
Equifax Spoke	「リンク」
ERP キャンバス	「リンク」
ERP Customization Mining	「リンク」
ESG Management	「リンク」
Event Management	リンク
Export to PowerPoint for Strategic Portfolio Management	リンク
Field Service Management	リンク
Financial Management	リンク

製品	統合リリースノート
Financial Services Business Deposit Operations	リンク
Financial Services Business Lifecycle	リンク
Financial Services Business Loan Operations	リンク
Financial Services Card Operations	リンク
Financial Services Client Lifecycle	リンク
Financial Services Complaint Management	リンク
Financial Services Credit Operations	リンク
Financial Services Customer Lifecycle Operations	リンク
Financial Services Deposit Operations	リンク
Financial Services Insurance Policy Operations	リンク
Financial Services integration with Jack Henry Associates jXchange	リンク
Financial Services integration with Socure	リンク
Financial Services Loan Operations	リンク
Financial Services Operations Core	リンク
Financial Services Operations の FRISS との統合	「リンク」
Financial Services Operations Integration with Guidewire	「リンク」
Financial Services Operations Integration with Jack Henry jXchange	「リンク」
Financial Services Operations の Visa との統合	「リンク」
Financial Services Payment Operations	リンク

製品	統合リリースノート
Financial Services Personal Deposit Operations	リンク
Financial Services Personal Loan Operations	リンク
Financial Services Treasury Operations	リンク
Flow Designer	「リンク」
生成 AI コントローラー	「リンク」
Goal Framework	リンク
Goal Framework for SPM	リンク
Governance, Risk, and Compliance	リンク
Granular Delegation	リンク
GRC：サードパーティコンテンツとの統合	リンク
Group Life Servicing	「リンク」
Hardware Asset Management 10.0.0	「リンク」
Hardware Asset Management 4.0	リンク
Hardware Asset Management 5.0	リンク
Hardware Asset Management 7.0.0	リンク
Hardware Asset Management 8.0.0	リンク
Healthcare and Life Sciences Service Management Core	リンク
Health Log Analytics	リンク
Help Center	リンク
Hermes Messaging Service	リンク

製品	統合リリースノート
HR Service Delivery	リンク
HR Service Delivery Case and Knowledge Management	リンク
HR Service Delivery Enterprise Onboarding and Transitions	リンク
HR Service Delivery Integration with Magnit	リンク
HR Service Delivery Integration with Workday Learning	リンク
ID と認証	リンク
インポートとエクスポート	リンク
Incident Management	リンク
Individual Life Servicing	リンク
Industrial Process Manager	リンク
Industry 製品	リンク
Instance Data Replication	リンク
Instance Scan	リンク
Integration Hub	「リンク」
CSM のインテリジェンス	「リンク」
Intelligent Service Delivery	リンク
Intelligent Servicing for Fraud	リンク
Investment Funding	「リンク」
ITOM クラウドアクセラレート	「リンク」
ITOM Health	リンク

製品	統合リリースノート
ITOM Optimization	「リンク」
ITOM 最適化 ITOM 最適化	「リンク」
ITOM Visibility	リンク
ITSM Agent Workspace	リンク
ITSM Mobile	「リンク」
ITSM Mobile Agent	「リンク」
ITSM Success Dashboard	「リンク」
ITSM 仮想エージェント	リンク
Journey Designer	リンク
Journey Designer 2.0	リンク
Knowledge Management	リンク
Learning	リンク
Legal Service Delivery	リンク
Localization Framework	リンク
Manager Hub	「リンク」
Manufacturing Process Manager	「リンク」
メンタリング	「リンク」
MetricBase	リンク
MID Server	リンク
Mobile	「リンク」

製品	統合リリースノート
Mobile Platform	「リンク」
Natural Language Query	リンク
Natural Language Understanding	リンク
Next Experience	リンク
Next Experience コンポーネント	リンク
Next Experience 開発者ツール	リンク
Next Experience UI	リンク
Next Experience ユーザーインターフェイス	リンク
Notifications	リンク
Notify	リンク
Now Assist	「リンク」
Customer Service Management (CSM) 向け Now Assist	「リンク」
Now Assist for HR Service Delivery (HRSD)	「リンク」
Now Mobile アプリ	「リンク」
Omnichannel Callback	リンク
オンボーディングエクスペリエンス	リンク
On-Call Scheduling	リンク
Operational Resilience	リンク
Operational Technology Change Management	リンク
Operational Technology Incident Management v2	「リンク」

製品	統合リリースノート
オペレーショナルテクノロジー向けナレッジ管理	「リンク」 
Operational Technology Manager	リンク 
Operational Technology Service Management	リンク 
Operational Technology Vulnerability Response	「リンク」 
Order Management	「リンク」 
Order Management for CSM	リンク 
Order Management for Customer Service Management	「リンク」 
Order Management for Telecommunications, Media, and Technology	リンク 
Password Reset	リンク 
Patient Support Services	リンク 
Performance Analytics	リンク 
Personal Lines Claims	「リンク」 
プラットフォーム分析エクスペリエンス	「リンク」 
Platform Analytics ワークスペース	リンク 
プラットフォームセキュリティ	「リンク」 
Playbook	「リンク」 
Policy and Compliance integrator	リンク 
Policy and Compliance Management	リンク 
Portfolio Planning	リンク 

製品	統合リリースノート
Predictive Intelligence	「リンク」 
Pre-Visit Management	リンク 
Privacy Management	リンク 
助言付きプロンプト	リンク 
Proactive Service Experience Workflows	リンク 
Proactive Service Experience Workflows (テクノロジー)	リンク 
Proactive Service Experience Workflows (電気通信)	リンク 
プロアクティブトリガー	リンク 
Problem Management	リンク 
Process Automation Designer	リンク 
Process Mining	リンク 
Process Optimization	リンク 
Procurement Service Management	「リンク」 
製品カタログ管理と価格管理	「リンク」 
Project Portfolio Management	リンク 
プロジェクトワークスペース	リンク 
Public Sector Digital Services	「リンク」 
見積管理	「リンク」 
推奨フレームワーク	リンク 
Redox Inbound Integration	リンク 

製品	統合リリースノート
Regulatory Change Management	「リンク」 
レポート	「リンク」 
リソース管理ワークスペース	「リンク」 
レスポンスダッシュボード	「リンク」 
Robotic Process Automation (RPA) Hub	リンク 
Scaled Agile Framework (SAFe)	リンク 
スクリプティング	リンク 
検索の管理	リンク 
セキュリティセンター	リンク 
Security Incident Response	「リンク」 
Security Posture Control	「リンク」 
CSM のセルフサービスとオムニチャネルエンゲージメント	「リンク」 
Service Bridge	リンク 
Service Bridge (テクノロジー)	リンク 
Service Bridge (電気通信)	リンク 
Service Builder	リンク 
Service Catalog	リンク 
Service Desk	「リンク」 
IoT 用 Microsoft Defender 向けサービスグラフコネクタ (Azure)	「リンク」 

製品	統合リリースノート
Service Graph Connector for Microsoft Defender for IoT (オンプレミス管理コンソール)	「リンク」 
Service Graph Connector Integration for Claroty CTD	リンク 
Service Level Management	リンク 
ServiceNow パフォーマンスダッシュボード	リンク 
ServiceNow Studio	リンク 
ServiceNow 音声アシスト機能	リンク 
Service Operations Workspace for ITOM	「リンク」 
Service Operations Workspace for IT Service Management	「リンク」 
Service Operations Workspace for ITSM	リンク 
Service Portal	リンク 
Service Portfolio Management	リンク 
Sidebar	リンク 
Sitemap Generator	リンク 
Skills Intelligence	リンク 
Skills Management	リンク 
Software Asset Management	リンク 
Sourcing and Procurement Operations	リンク 
SPM ベンチマーク	リンク 
Store 使用率の概要ダッシュボード	リンク 

製品	統合リリースノート
Strategic Planning	リンク 
Studio	リンク 
Subscription Management	リンク 
Supplier Lifecycle Management	「リンク」 
サプライヤーライフサイクルオペレーション	「リンク」 
システム管理者ダッシュボード	リンク 
システムクローン	リンク 
System Diagnostics ホームページ	リンク 
Table Builder	リンク 
Table Builder for App Engine	リンク 
ITSM の Task Intelligence	リンク 
Technology Provider Service Management	「リンク」 
Telecommunications Network Inventory	リンク 
Telecommunications Service Management	「リンク」 
Telecommunications Service Operations Management	「リンク」 
Theme Builder	「リンク」 
サードパーティリスク管理	「リンク」 
UI Builder	リンク 
Universal Request	「リンク」 
Upgrade Center	リンク 

製品	統合リリースノート
User Experience Analytics	リンク
Vaccine Administration Management	リンク
Vendor Management Workspace	「リンク」
Vendor Risk Management	リンク
仮想エージェント	「リンク」
Visa スポーク	「リンク」
Visual Task Boards	リンク
Vulnerability Response	「リンク」
Microsoft Defender for IoT の脆弱性対応 (オンプレミス管理コンソール)	「リンク」
Vulnerability Response integrations	リンク
Vulnerability Response Integration with Claroty CTD	リンク
Vulnerability Response Integration with Microsoft Defender for IoT	リンク
Walk-up Experience	「リンク」
ワークフロースタジオ	「リンク」
Workforce Optimization for Customer Service	リンク
Workforce Optimization for HR	リンク
Workforce Optimization for ITSM	リンク
ワークスペース	「リンク」
Zing テキストインデックス作成および検索エンジン	「リンク」

Tokyo から Washington DC へのプラグインの変更

Tokyo から Washington DC にアップグレードする前に、新規プラグインおよび廃止済み、名前変更済み、または何らかの変更があった既存のプラグインに関する情報をリリースノートで確認してください。

Tokyo、Utah、Vancouver のプラグインの変更

詳細については、「[Tokyo plugin changes \(Tokyo でのプラグインの変更\)](#)」を参照してください。

詳細については、「[Utah plugin changes \(Utah でのプラグインの変更\)](#)」を参照してください。

詳細については、「[Vancouver プラグインの変更](#)」を参照してください。

廃止されたプラグイン

この表は、Vancouver、Utah、または Tokyo で廃止された既存のプラグインを示しています。

プラグイン	ステータス	説明	Details (詳細)
Cloud Native Operations [sn_k8s]	使用廃止 Washington DC	Cloud Native Operations を使用して、Kubernetes プラットフォームの継続的な検出と監視を実行します。	から ServiceNow Store Agent Client Collector for Visibility (ACC-V) アプリケーションをインストールし、ドキュメントを確認します。
アイテムデザイナー [com.glideapp.servicecatalog.itemdesigner]	使用廃止 Washington DC	Service Catalog アイテムデザイナーでは、管理者ではないユーザーがカタログアイテムを作成、保守、公開できます。構造化されたデザインと公開プロセスが使用され、一貫性のある使用が確保されます。	カタログビルダープラグインは、デフォルトですべてのインスタンス (com.glideapp.servicecatalog.catalogbuilder) で有効になっています。
CSM エージェントワークスペース [com.snc.agent_workspace.csm]	使用廃止 Washington DC	CSM Agent Workspace を使用すると、Customer Service Management を他のアプリケーションと統合できます。	ServiceNow Store から CSM Configurable Workspace アプリケーションをインストールします。
注文の Customer Service Management [com.snc.csm.order]	使用廃止 Washington DC	Customer Service Management for Orders 機能は、注文および注文明細のサポートを Customer Service Management アプ	Order Management ストアアプリケーションをインストールします。

プラグイン	ステータス	説明	Details (詳細)
		リケーションに追加します。	
製品モデルとカタログアイテムの関係 [com.snc.product_catalog_relationship]	使用廃止 Washington DC	顧客が製品モデルとカタログアイテム間で関係を作成することにより、製品のサービスを要求するセルフサービスを有効にします。	Customer Service Case Types プラグイン (com.snc.csm_case_types) をインストールし、サービス定義機能を使用します。
セントラルディスパッチ [com.snc.central_dispatch]	使用廃止 Washington DC	未アサインタスクのリストビューとカレンダービューの両方を提供します。	Dispatcher Workspace プラグイン (com.snc.uib.fsm_dispatcher_work) をインストールして構成します。
Journey Accelerator v4.0.3 以前 [com.sn_ja]	使用廃止 Washington DC	計画や To-Do タスク用のテンプレートを作成できます。マネージャーはテンプレートを使用して、主要な従業員の移行に対応するカスタマイズされた計画を作成および公開します。マネージャー、従業員、メンターは、Employee Center (EC) から計画にアクセスできます。	代替の Journey Designer アプリケーションに移行します。Journey Designer は、Journey Designer でサポートされているバージョンである Journey Accelerator v5.0+ を自動的にインストールします。
モバイルスタジオ [com.glide.sg-studio]	使用廃止 Washington DC	Mobile Studio を使用して、任意の ServiceNow モバイルアプリで使用するモバイルコンポーネントを作成および変更します。	代替の Mobile App Builder に移行します。
HTML プロセッサ [該当なし]	使用廃止 Washington DC		インスタンスでこの機能を無効にする手順については、KB1119956を確認してください。
Badge Reader Integration for Walk-up Experience (com.snc.badge_reader から削除)	使用廃止 Washington DC	オンサイト Walk-up キューの場所で Badge Reader Integration アプリケーションを使用して、Walk-up Experience のユーザー満足度を向上させます。	顧客ベードリーダークライアントを構築するためのガイダンスを確認します。

プラグイン	ステータス	説明	Details (詳細)
ITSM Agent Workspace と CMDB Agent Workspace [com.snc.agent_workspace.itsm、com.snc.agent_workspace.cmdb-agent_workspace]	使用廃止 Washington DC	ITSM Agent Workspace を使用して、ITSM Landing ジェントエクスペリエンスを改善し、IT フルフィルメントボリュームをより効率的に管理します。	ServiceNow Store から Service Operations Workspace for ITSM アプリケーションをインストールします。
オペレーターワークスペースおよび CMDB Agent Workspace [com.itom-noc-app、com.oi-scoped-app、com.sn-em-ai-action、com.sn-em-hidden-component com.sn-em-ai-overview、com.sn-em-metric、com.sn_log_viewer com.cmdb-workspace]	使用廃止 Washington DC		ServiceNow Store から Service Operations Workspace for ITOM アプリケーションをインストールします。
Cloud Provisioning and Governance - Terraform Connector for IBM Cloud	Utah で使用廃止。		
CMDB: IT Fundamentals [com.sn_apphealth]	Utah で使用廃止。		CMDB Data Workspace/ Insights and Data Foundation Dashboard に移行します。
CMDB の検索 [com.snc.cmdb_search]	Vancouver で使用廃止。	CMDB を検索するための拡張機能を提供します。	CMDB Workspace に移行します。
Connect サポート [com.glide.connect.support]	Utah で使用廃止。	Connect メッセージングプラットフォームをベースに構築されており、キューを使用してサポートエージェントがリアルタイムのサポートをエンドユーザーに提供できるようにします。	Advanced Work Assignment と Agent Workspace 上のエージェントチャットに移行します。
Conversational Integration with Google Assistant [com.sn.va.google.assistant]	Vancouver で使用廃止。	仮想エージェントが、仮想エージェントトピックを使用して Google の音声インターフェイスで要求者とやり取りできるようにします。	Google は、2023 年 6 月 13 日をもって会話型アクション機能を廃止しました。この廃止された機能への依存関係により、「Conversational Integration with Google Assistant」ストアアプリケーションの

プラグイン	ステータス	説明	Details (詳細)
			サポートも終了します。
DevOps Config Insights [com.snc.devops.config.insights]	Vancouver で使用 廃止。	構成エラーをすばやく特定してアクションを実行するためのレポートを表示します。	以前に DevOps Config Insights アプリケーションでリリースされた DevOps Config Insights Dashboard が、DevOps Config アプリケーションでリリースされるようになりました。この変更に伴って必要な顧客アクションはありません。
Field Service Management モバイル (従来) [com.snc.work_management_m]	Vancouver で使用 廃止。	組織が場所に基づく作業をより効率的かつ安全に管理するのに役立ちます。	Field Service Management モバイルのすべての機能を提供する新しい Field Service Mobile アプリケーション (com.sn_fsm_mobile) に移行すると、ネイティブエクスペリエンスとオフライン機能が向上します。
Google Hangouts スポーク [com.sn.ghangouts.spoke]	Vancouver で使用 廃止。	ServiceNow でイベントが発生したときに Google Hangouts タスクを実行するアクションが提供されます。	カレンダーのスケジュール設定に Google Hangouts スポークを使用している場合は、 移行ガイド [KB1288254] で、ServiceNow Store での Google カレンダーアプリケーションのインストールと構成に関するガイダンスを参照してください。
GRC: GDPR DPIA Accelerator [com.sn_irm_gdpr_dpia]	Tokyo で使用 廃止。	欧州連合 (EU) 内外の個人の個人データを保護するためのデータ保護影響度評価 (DPIA) を実行できます。	Privacy Management に移行します。
IBM Connector [com.sn.cmp.ibm]	Utah で使用 廃止。		代替機能である Integrations Hub または

プラグイン	ステータス	説明	Details (詳細)
			Integrations with Anisble を選択してアクティブ化します。
Investment Funding [com.snc.investment_planning]、 [com.snc.investment_planning_pmo]	Tokyo で使用廃止。	優先度と戦略的目標に基づいて、資金調達エンティティのための継続的かつ柔軟な投資資金調達ができます。これは、トップダウンおよびボトムアップのエンティティの資金調達と資金引き上げのオプションを提供します。	ServiceNow Store の Investment Funding をアクティブ化します (2021 年 9 月に Store でリリース予定)。
iText5 PDF ジェネレーター [com.snc.pdf_generator]	Tokyo で使用廃止。	PDF ドキュメントを生成するためのツール。	これは iText7 PDF ジェネレーターに置き換えられました。
ITSM Workforce Optimization [sn_wfo_itsm、sn_wfo_itsm_cnt]	Vancouver で使用廃止。	1 か所で人員の生産性を管理および維持できます。	ServiceNow Store で Workforce Optimization for ITSM Configurable Workspace アプリケーションをインストールします。
法務 Service Management [com.snc.legal_service_automation、com.snc.marketing_service_automation、com.snc.financial_service_automation]	Utah で使用廃止。	Legal Service Automation およびその他のサービス管理アプリケーションを起動できます。本番インスタンスでこのプラグインを有効化するには、別のライセンスが必要になる場合があります。詳細については、ServiceNow にお問い合わせください。	顧客が代替テクノロジーを見つける必要はありません。
Map プラグイン [com.snc.fsm_map]	Vancouver で使用廃止。	エージェント、タスク、およびエージェントルートを表示するためのディスパッチマップを表示します。	Dispatcher Workspace プラグイン [com.snc.uib.fsm_dispatcher_workspace] をアクティブ化します。
Mobile Classic	Tokyo で使用廃止。	iOS 6 以降または Android 4 以降で Chrome ブラウザを実行しているモバイルデバイス用	ServiceNow モバイルに移行します。移行のガイダンスについては、「 移行ガイド 」

プラグイン	ステータス	説明	Details (詳細)
		のユーザーインターフェイス。	「 イド 」を参照してください。
Multi SSO (v1) com.snc.integration.sso.multi.installer	Tokyo で使用廃止。		Multi SSO (v2) プラグインに移行します。
Onboarding Mobile [com.sn_hr_onboarding]	Tokyo で使用廃止。		NOW Mobile アプリケーションの HR Mobile プラグインに移行します。
OpenID Single Sign-On [com.snc.integrations.sso.openid]	Utah で使用廃止。		「Integration - Multiple Provider Single Sign-On Installer」プラグイン (com.snc.integration.sso.multi.installer) に移行し、SSO 機能を使用するように IDP を設定します。
Service Watch Insight 用 Performance Analytics プレミアム版 [com.snc.pa.premium.swi]	Tokyo で使用廃止。	Service Watch Insight および Performance Analytics を含むサブスクリプションで自分が資格を付与された Performance Analytics 機能を有効にします。	
Security Operations 用 Recorded Future 統合 [com.snc.threat.recordedfuture]	Tokyo で使用廃止。		ServiceNow Store の Security Incident Response および Threat Intelligence に移行します。
SAML 1.1 Single Sign-on - Update 1 [com.snc.sso.saml11.update1] SAML 1.1 Single Sign-On [com.snc.sso.saml11] Integration - OpenID SSO [com.snc.integration.sso.openid]	Utah で使用廃止。	外部 OpenID プロバイダー (OP) で使用される従来のバージョンのシングルサインオン。OpenID Connect は London で提供されていますが、Web サービスに限定されています。	「Integration - Multiple Provider Single Sign-On Installer」プラグイン (com.snc.integration.sso.multi.installer) に移行し、OIDC ベースの SSO 機能を使用するように IDP を設定します。
SCCM プラグイン [com.snc.integration.sccm2007]、 [com.snc.integration.sccm2012v2]、 [com.snc.integration.sccm2016]	Tokyo で使用廃止。		ServiceNow Store の代替プラグイン Service Graph Connector for SCCM をアクティブ化します。

プラグイン	ステータス	説明	Details (詳細)
Service Management Application Designer [com.snc.service_management.core]	Tokyo で使用廃止。	類似のサービスマネジメントワークフローを使用するカスタムアプリケーションを作成できます。	この機能は、App Engine Studio (com.snc.app-engine-studio) を使用して有効にできます。
Software Asset Management クラシック UI	Utah で使用廃止。	Software Asset Management (com.snc.software_asset_management) のクラシックユーザーインターフェイス。	新しいユーザーインターフェイスを使用するには、ソフトウェア資産ワークスペース (com.sn_sam_workspace) に移行します。
Service Management 位置情報管理モバイル [com.snc.service_management_m]	Vancouver で使用廃止。	Service Management 位置情報管理のモバイル UI のメニューを提供します。	Service Management 位置情報管理のすべての機能を提供する新しい Field Service Mobile アプリケーションに移行すると、ネイティブエクスペリエンスが向上します。
標準化された情報収集 (SIG) アセスメント [com.snc.sig_asmt_core]	Vancouver で使用廃止。	Excel シートを介して SIG Questionnaire に回答をインポートするために必要なプロセッサ。	GRC: SIG Questionnaire Integration [com.sn_sig_asmt] ストアアプリケーションに移行します。
標準化された情報収集 (SIG) アンケート [com.sn_sig_app]	Vancouver で使用廃止。	2018 および 2019 SIG Questionnaire コンテンツで配布されたストアアプリケーション。このコンテンツは ServiceNow によりサポートされなくなりました。	サポートされているバージョンの SIG Questionnaire (2023、2022、2021) を含む GRC: SIG Questionnaire Integration [com.sn_sig_asmt] ストアアプリケーションに移行します。
Tanium Integration V2 for Security Operations [com.snc.secops.tanium.v2]	Vancouver で使用廃止。	Tanium 機能の拡張ユースケースをサポートします。	Tanium からリリースされた Tanium Integration for Security Operations を ServiceNow Store でインストールします。

プラグイン	ステータス	説明	Details (詳細)
Vaccine Administration Management (VAM) 5.0 for CSM [sn_vaccine_sm]	Tokyo で使用廃止。	感染症のワクチン接種を最初から最後まで管理する機能を提供します。	Healthcare and Life Sciences Service Management に移行します。
Vendor Manager Workspace (従来版) [com.snc.vlm.vmw]	Utah で使用廃止。	Vendor Manager Workspace にアクセスします。	ServiceNow Store の新しいワークスペース Vendor Management Workspace に移行します。
仮想エージェント分析ダッシュボード [com.glide.cs.pa]	Tokyo で使用廃止。	チャットボットをレビューするための、すぐに利用可能な仮想エージェント分析ダッシュボード。	ServiceNow Store の代替テクノロジー Conversational Analytics v1.0 に移行します。
Workforce Optimization for CSM (従来) [com_snc_wfo_csm]	Vancouver で使用廃止。	マネージャー、スーパーバイザー、およびチームリーダーに Channel Management、チームパフォーマンス、スケジュールリング、スキル決定、および Coaching 機能を提供し、カスタマーサービスチームの品質と効率を向上させ、チームの満足度を高めます。	ServiceNow Store で入手可能な Workforce Optimization for CSM アプリケーションに移行します。UI Builder を使用して Workforce Optimization for Customer Service を構成することができます。
Workforce Optimization for ITSM (従来) [com.snc.wfo_itsm]	Vancouver で使用廃止。	従来のワークスペースの 1 つの場所から人員の生産性を管理および維持できます。	ServiceNow Store で入手可能な Workforce Optimization for ITSM (sn_wfo_cfg_itsm) アプリケーションに移行します。UI Builder を使用して Workforce Optimization for IT Service Management を構成することができます。
仮想エージェントの IE11 サポート [com.glide.cs.chatbot、com.glide.cs.chatbot.lite]	IE11 ブラウザーのサポートは終了しました。		

廃止予定のプラグイン

この表は、将来のリリースで廃止が予定されている既存のプラグインを示しています。

プラグイン	ステータス	説明	Details (詳細)
ITSM 用 Predictive Intelligence Workbench [com.sn_piwb_itsm_content]	Y リリースで廃止予定	顧客がドメイン固有のコンテンツをシードして、Predictive Intelligence Workbench で作成されたユースケースの実装ガイダンスを提供できるようにします	から ServiceNow Store Task Intelligence for ITSM アプリケーションをインストールし、Task Intelligence Admin Console を使用します。詳細については、 Task Intelligence for ITSM のドキュメントを参照してください。
Legal Counsel Center クラシック版 [com.sn_lg_workspace] および Legal Counsel Center Components [com.sn_lg_ws_comps]	Y リリースで廃止予定	Legal Counsel Center Classic を使用すると、法務部門のメンバーは、法務問題を分類、優先順位付けし、効率的に対処することができます。	から ServiceNow Store Legal Counsel Center アプリケーションをインストールし、ドキュメントを確認します Legal Counsel Center 。
Order Management for Customer Service Management [com.sn_csm_order_mgmt]	2028 年 9 月に廃止予定または Order Management サブスクリプション期間終了日 (いずれか早い方)	Order Management は、注文を作成、管理、および追跡する機能を提供します。	から ServiceNow Store 新しい Order Management アプリケーションをインストールし、 Install and configure Order Management 構成ガイダンスのドキュメントを確認します。
IBM Dynamic Translation [com.glide.ibm_translation_spoke]	2024 年 12 月に廃止予定	このスポークはストアで入手でき、ServiceNow の Dynamic Translation プラグインと連携します。代替翻訳サービス (Google、Microsoft) が利用可能です。	IBM は 、Watson Language Translator のサポート終了と 2024 年 6 月 10 日のサポート終了、2024 年 12 月 10 日の完全な削除を発表しました。 Dynamic Translation ドキュメントを確認して、Google および Microsoft で利

プラグイン	ステータス	説明	Details (詳細)
			用可能な Dynamic Translation サービスを確認してください。
Site Reliability Metrics および [com.sn_srm]	Y リリースで廃止予定	一般にサービスレベルインジケータ (SLI) と呼ばれる Application Performance Management (APM) ツールからのアプリケーションパフォーマンスシグナルをキャプチャします。SRM アプリケーションでは、サービスレベル目標 (SLO)、エラー予算 (EB)、およびポリシーベースのアクションを作成できます。	から ServiceNow Store Service Reliability Management アプリケーションをインストールし、 起動ブログ を確認して、アプリケーションと機能の詳細を確認してください。
Site Reliability Operations [com.sn_srops]	Y リリースで廃止予定	チームをオンボーディングし、数分でサービスを登録することで、単一のワークスペース内のマイクロサービスの可視性を向上させます。Webhook 統合を介してテレメトリにすばやく接続することで可観測性を向上させ、アラートの自動化によってインシデントをより迅速に解決します。	から ServiceNow Store Service Reliability Management アプリケーションをインストールし、 起動ブログ を確認して、アプリケーションと機能の詳細を確認してください。
Knowledge Management v3 [com.snc.knowledge3]	Y リリースで廃止予定	Knowledge Management v3 ホームページは、ワシントン DC リリース以降、展開もアクティブ化もされなくなります。	の Configuring Knowledge Management ガイダンスを使用して Knowledge Management Service Portal プラグイン (com.snc.knowledge_serviceportal) をインストールして構成し、システムプロパティ sn_km_portal.glide.knowman.servi を true に設定して、v3 ホームページからポータルへの

プラグイン	ステータス	説明	Details (詳細)
			リダイレクトをアクティブ化します。
Central Dispatch [com.snc.central_dispatch]	W リリースで廃止予定。	未アサインタスクのリストビューとカレンダービューの両方を提供します。	FSM ディスパッチワークスペース [com.snc.uib.fsm_dispatcher_work] に移行します。
従来の Cloud Discovery を使用した Cloud Discovery のセットアップ	X リリースで廃止予定。	クラウド検出を実行するための Cloud Discovery を設定し、検出されたクラウドリソースを管理するために Cloud Provisioning and Governance を使用できるようにします。	ServiceNow Store で Cloud Operations Workspace (COW) をインストールします。
Cloud Spend Dashboard [sn_sam_cld_spend]	X リリースで廃止予定。	単一のダッシュボードで、ソフトウェア、プラットフォーム、およびインフラストラクチャを含むすべてのクラウド支出を表示できます。	ServiceNow Store で Asset Executive Workspace をインストールします。
Employee Campaigns for Workplace from Facebook [com.snc.sn_fb_wp_campaigns]	X リリースで廃止予定。	コンテンツをキャンペーンにパッケージ化し、Workplace from Facebook のグループにコンテンツを公開できます。	代替品はありません。このアプリケーションを使用している場合は、サポートされていないアプリケーションをカスタムコードとして維持するオプションがあります。
Facilities Service Management [com.snc.facilities_service_automation]	2025 年 3 月または最後のサブスクリプション期間の終了時に廃止予定。	施設要求を管理し、ユーザーが場所別に要求を報告および追跡できるようにします。フロアプランの要求を表示するには、Facilities Visualization Workbench (com.snc.facilities_service_automation.fvw) プラグインが必要です。 Facilities Visualization Workbench (com.snc.facilities_service_automation.fvw) プラグインもインストールされるときに	Workplace Service Delivery に移行します。

プラグイン	ステータス	説明	Details (詳細)
		インストールされる統合ファイル。 本番インスタンスでこのプラグインを有効化するには、別のライセンスが必要になる場合があります。詳細については、ServiceNow にお問い合わせください。	
施設ビジュアル化ワークベンチ [com.snc.facilities_service_automation.fv]	2025 年 3 月に廃止またはサブスクリプション期間が終了する予定です。	インタラクティブなフロアプラン機能を有効にします。	Workplace Service Delivery に移行します。
Field Service Map [com.snc.fsm_map]	X リリースで廃止予定。	エージェント、タスク、およびエージェントルートを表示するためのディスパッチマップを表示します。	フィールドサービスディスパッチャーワークスペースをインストールして構成します。ガイドランスについては、「 Configuring Dispatcher Workspace 」を参照してください。
Finance Service Management [com.snc.finance_service_automation]	2023 年 2 月または最後のサブスクリプション期間の終了時に廃止予定。	Finance Service Automation およびその他のサービス管理アプリケーションを起動できます。本番インスタンスでこのプラグインを有効化するには、別のライセンスが必要になる場合があります。詳細については、ServiceNow にお問い合わせください。	
FSM Agent クラシックワークスペース [com.snc.agent_workspace.fsm]	X リリースで廃止予定。		フィールドサービスディスパッチャーワークスペースをインストールして構成します。ガイドランスについては、「 Configuring Dispatcher Workspace 」を参照してください。
Global Reporting Initiative (GRI) Content Accelerator for ESG	X リリースで廃止予定。	各種法令・基準等および引用などの ESG フレームワー	ServiceNow Store から ESG Content Accelerator ア

プラグイン	ステータス	説明	Details (詳細)
[com.sn_esg_gri]		クを提供し、関連する測定基準の定義を提供します。これにより、顧客は ESG 規制コンプライアンスの過程を促進し、規制コンプライアンスの状況の最前線に立つことができます。	アプリケーションをインストールします。ガイダンスについては、「 Unified content management 」を参照してください。
HR エージェントモバイル [com.sn_hr_mobile_agent]	X リリースで廃止予定。		代替品はありません。このプラグインを使用している場合は、サポートされていないプラグインをカスタムコードとして維持するオプションがあります。
HR Agent Workspace [com.sn_hr_agent_workspace]	X リリースで廃止予定。	HR Service Delivery Agent Workspace を使用して、迅速に従業員とやり取りし、問い合わせに対応し、問題を解決することができます。	ケースマネジメント用の HRSD 構成可能な Agent Workspace をインストールして構成します。ガイダンスについては、「 Agent Workspace for HR Case Management (Configurable) 」および コミュニティの記事 を参照してください。
HR Service Delivery v1.0 (従来) [com.snc.hr.core.cms、com.snc.hr.core、com.snc.hr.connect、com.snc.hr.pa、com.snc.hr.service_portal]	X リリースで廃止予定。	エンタープライズの生産性を向上させ、従業員に対して適切なエンゲージメントとリソースを提供します。	Human Resources Core v2.0 スコープ対象のアプリケーションをインストールし、[com.sn_hr_core] に移行します。
Instance Security Center [sn_isc_core, sn_isc_nlu, sn_isc_va]	X リリースで廃止予定。	インスタンスセキュリティコントロールのコンプライアンスレベルの監視、セキュリティイベントモニタリング測定基準の表示、インスタンスセキュリティ設定の構成と維持はすべて、Instance Security Center 内から行います。	ServiceNow Store で ServiceNow Security Center をインストールします。ガイダンスについては、「 Security Center 」を参照してください。
ITSM Pro - Service Owner Workspace	サブスクリプション期間の	プレミアムな Service Portfolio	ServiceNow Store の Digital Portfolio

プラグイン	ステータス	説明	Details (詳細)
[com.spm_owner_workspace]	終了時または Digital Portfolio Management への移行時に廃止予定。	Management エクスペリエンスを提供します。ポートフォリオマネージャーとサービスオーナーは、直観的に操作できる統合されたグラフィカルユーザーインターフェイスを利用して、ポートフォリオとサービスの管理や監視を行います。	Management に移行します。
MaestroRS [app-irm-bcm]	顧客固有の MaestroRS アプリケーション契約終了期間に廃止予定。		ServiceNow Store の 4 つの Business Continuity Management 代替アプリケーションをアクティブ化します。 • GRC: Business Continuity Management – Core • GRC: Business Continuity Planning • GRC: Business Impact Analysis • GRC: Business Continuity Management – Components
マーケティング Service Management [com.snc.marketing_service_automation]	2023 年 2 月または最後のサブスクリプション期間の終了時に廃止予定。	Marketing Service Automation およびその他のサービス管理アプリケーションを起動できます。本番インスタンスでこのプラグインを有効化するには、別のライセンスが必要になる場合があります。詳細については、ServiceNow にお問い合わせください。	
IntegrationHub 用 Microsoft AD スポーク	契約終了日または 2028 年 3 月 (いずれか早い方) に廃止予定。	プロセスアナリストがフローをデザインするときに使用できるアクショ	ServiceNow Store で Microsoft Active Directory v2 スポークアプリ

プラグイン	ステータス	説明	Details (詳細)
[com.sn.ad.spoke]		ンを提供します。これらのアクションにより、AD のユーザー、グループ、コンピュータおよびオブジェクトの管理を自動化できます。	ケーションをインストールします。ガイドンスについては、「移行ガイド [KB1284583]」を参照してください。
ソーシャル Q&A [com.sn_kb_social_qa]	将来のリリースで廃止予定。	ユーザーによる質問と回答、および質問と回答に対する投票を可能にします。ソーシャル Q&A はナレッジアプリケーションを拡張し、ユーザー基準や複数のナレッジベースなどの既存のナレッジ機能を使用します。デフォルトでは、このプラグインは Paris リリースにアップグレードする既存顧客に対して有効です。Paris 以降、このプラグインは新規顧客に対して無効になっています。	
Service Graph Connector for ExtraHop [com.snc.cmdb.extrahop_integration]	X リリースで廃止予定。	ExtraHop アプリケーションから ServiceNow インスタンスにデータをプルする機能を提供します。	ServiceNow Store で Service Graph Connector for ExtraHop Reveal(x) アプリケーションをインストールします。このアプリケーションは ExtraHop が所有しています。
Sustainability Accounting Standards Board (SASB) Content Accelerator for ESG [com.sn_esg_sasb]	X リリースで廃止予定。	SASB Accelerator は、ESG Management and Reporting アプリケーションで使用するよう設計されているため、顧客は SASB フレームワークを簡単に採用して ESG 開示を作成できます。	ServiceNow Store から ESG Content Accelerator アプリケーションをインストールします。ガイドンスについては、「Unified content management」を参照してください。
Trusted Security Circles [sn_ti]、[sn_tis_a]	2023 年 9 月または最後のサブスクリプション期間		

プラグイン	ステータス	説明	Details (詳細)
	の終了時に廃止予定。		
Vendor Performance Management [com.snc.vendor_performance], [com.snc.vendor_ticket]	2024 年 3 月またはサブスクリプション期間終了時に廃止予定。	ベンダーデータを測定、管理、追跡し、独自のグラフィカルビューでパフォーマンス特性を比較する機能を提供します。	ITSM Pro v2 サブスクリプションパッケージに含まれる Vendor Manager Workspace に移行します。

Tokyo から Washington DC にプラグインの名前変更と変更

この表は、Tokyo、Utah、Vancouver、または Washington DC で名前が変更されたか、変更された既存のプラグインを示しています。

プラグイン	ステータス	説明	Details (詳細)
Virtual Agent API (sn_va_as_service)	Washington DC で変更されました。	チャットインターフェイスやボットを仮想エージェントまたはエージェントチャットと統合します。	com.sn.omnichannel.callback プラグインは削除され、com.sn_ext_agent_management プラグインは依存関係になりました。
Advanced Goal Framework [sn_gfa]	Utah で名前が変更されました。	Now Platform にある任意のソースからターゲットの実際の値を自動的に導き出すことで目標の進捗状況をリアルタイムで監視する機能を提供します。	変更後の名前は SPM のゴールフレームワークです。
Alignment Planner Workspace [sn_align_ws]	Utah で名前が変更されました。	従来のウォーターフォールアプローチの優先順位付け、ロードマップ、および追跡を行い、プロジェクトおよびデマンド管理を強化します。	変更後の名前はポートフォリオ計画です。
Cloud Insights [sn_clin]	Utah で名前が変更されました。	運用を最適化しコストを削減する機会を特定してアクションを実行できるように、クラウド資産に関連するあらゆるコストの分析を可能にします。	変更後の名前はクラウドコスト管理です。
Lenses for Alignment Planner Workspace [sn_apw_advanced]	Utah で名前が変更されました。	Agile、ウォーターフォール、またはハイブリッドアプローチを使用するときに、すべての作業に優先順位を付け、目	変更後の名前は戦略的計画です。

プラグイン	ステータス	説明	Details (詳細)
		標を視覚的にロードマップし、進捗状況を追跡します。	
Manufacturing Common [com.sn_mfg_common]	Vancouver で名前が変更されました。	Operational Technology ソリューションを使用できるようにする一般的な依存関係。	変更後の名前は Industrial Workspace Common です。
Manufacturing Process Manager [com.sn_otsm]	Vancouver で名前が変更されました。	チームは各施設の産業用設備階層モデルと関連する生産プロセスをマッピングして可視化できます。	変更後の名前は Industrial Process Manager です。
Process Optimization Content Pack for FSM [com.snc.fsm_process_optimization]	Vancouver で名前が変更されました。	監査記録の作業指示タスクデータからビジネスプロセスフローを作成します。これによって、プロセスオーナーがプロセスの詳細な分析を行い、インサイトを発見して、ビジネスの成果を向上させることが可能になります。	変更後の名前は Process Mining Content Pack for FSM です。
Software Asset Management Playbook [com.sn_sam_playbook]	Vancouver で名前が変更されました。	Playbook および Guided Setup は、毎日のソフトウェア管理アクティビティのタスクを完了するためのステップバイステップのガイダンスを提供します。	変更後の名前は Software Asset Management 用 Playbooks および Guided Setup です。
Workplace Safety Management [sn_wsd_core]	Vancouver で名前が変更されました。	職場の従業員のために、安全でシームレスな管理されたプロセスを作成するのに役立ちます。	変更後の名前は Workplace Core です。

メンテナンスモードのプラグイン

次の表は、メンテナンスモードの既存のプラグインを示しています。

プラグイン	ステータス	説明	詳細
CSM 向け Advanced Work Assignment [com.sn_csm.awa]	メンテナンスモードのみ。	Customer Service (com.sn_customerservice) プラグインをアクティブ化すると、このプラグインが有効になります。	

プラグイン	ステータス	説明	詳細
CMS User Interface - Service Management Core [com.snc.service_management.core.cms]	メンテナンスモードのみ。	コア IT セルフサービスアプリケーションを参照するために使用されるすべてのコンテンツ管理システムアイテム (ブロック、ページ、およびメニュー) は、このプラグインにパッケージ化されています。また、すべての Service Management アプリケーションのコア基盤でもあります。	
Content Management [com.glide.cms]	メンテナンスモードのみ。		
Content Management Extended Types [com.glide.cms.types]	メンテナンスモードのみ。	iFrames と Flash フレームを追加する Content Management の拡張。 コンテンツ管理システム (CMS) アプリケーションは、ServiceNow 担当者を介して要求する必要があります。CMS をアクティブ化するのではなく、サービスポータルを使用して新しい開発を行います。サービスポータルは CMS の代替となるもので、ユーザーエクスペリエンスが向上しています。デフォルトでは、これがベースシステムで有効になっています。「 Service Portal 」および「 Content Management and Service Portal 」を参照してください。	
Content Management IFrame タイプ	メンテナンスモードのみ。		

プラグイン	ステータス	説明	詳細
[com.glide.cms.type.iframe]			
Content Management Flash Type [com.glide.cms.type.flash]	メンテナンスモードのみ。		
CSM アカウント階層 [com.snc.sn_csm_account_hierarchy]	メンテナンスモードのみ。		
CSM ルックアップおよび検証 [com.snc.sn_csm_lookup_verify]	メンテナンスモードのみ。		
CSM Workspace - Components [com.csm_workspace_components]	メンテナンスモードのみ。		
施設移動管理 [com.snc.facilities_service_automation.move]	メンテナンスモードのみ。 2025 年 3 月に廃止またはサブスクリプション期間が終了する予定です。	単一ユーザーの移動機能と、エンタープライズ移動および移動計画機能が有効になります。	Workplace Service Delivery に移行します。
Facilities Service Management CMS Portal [com.snc.facilities_service_automation.cms]	メンテナンスモードのみ。		
Facilities Service Management Mobile [com.snc.facilities_service_automation_m]	メンテナンスモードのみ。	施設サービス管理モバイルコンポーネントを管理します。	
Field Service Management CMS Portal [com.snc.work_management.cms]	メンテナンスモードのみ。	Field Service Automation およびその他のサービス管理アプリケーションを単一の CMS ページから起動できます。	
Human Resources Application: Core CMS [com.snc.hr.core.cms]	メンテナンスモードのみ。	HR のケースおよびナレッジ管理を提供します。従業員の問い合わせと要求の文書化、やり取り、および実行を標準化すると同時に、受信するケースの数とタイプを可視化します。	

プラグイン	ステータス	説明	詳細
ルックアップおよび検証 [com.snc.sn_lookup_and_verify_config]	メンテナンスモードのみ。		
Service Catalog CMS Extension [com.glideapp.servicecatalog.cms]	メンテナンスモードのみ。	CMS 内でカタログエクスペリエンスを定義する機能を提供します。	

利用可能なパッチとホットフィックス

Washington DC ファミリーには、パッチとホットフィックスが含まれています。

i 重要:
インスタンスのアップグレード方法の詳細については、「[ServiceNow アップグレード](#)」を参照してください。

リリースサイクルの詳細については、「[ServiceNow リリースサイクル](#)」を参照してください。

i 注:
このバージョンは、ServiceNow 政府機関向けコミュニティクラウド (GCC) 環境での使用が評価されています。

2024 年第 1 四半期のパッチ適用プログラムのターゲット

ターゲットはパッチ適用前に変更される可能性があります。ターゲットバージョンは、絶対に必要な場合にのみ変更されます。

リリース	パッチターゲットオプション	リリースノート
Vancouver	Vancouver パッチ 4 ホットフィックス 1a	Vancouver
ユタ	Utah パッチ 9 ホットフィックス 1a	Utah
東京	Tokyo パッチ 10 ホットフィックス 2b	Tokyo

利用可能なバージョン

セキュリティパッチおよびセキュリティホットフィックスのリリースノートを表示するには、support.servicenow.com (以前の HI) にログインしてください。

リリースバージョン	リリースタイプ	リリース日	可用性
Washington DC のセキュリティと注目すべき修正 Washington DC におけるその他のすべての修正	機能 早期提供 (Early Availability)	2024/02/01	利用可能

- 利用可能：すべてのユーザーがこのバージョンにアップグレードできます。「利用可能」バージョンが に表示されます。

ServiceNow パッチプログラムのターゲットとパッチはすぐに提供されます。ユーザーは、これらのバージョンへのアップグレードをスケジュールするためにエンタイトルメントを要求する必要はありません。

- 要求により利用可能： [担当者 カスタマーサービス & サポート](#) このバージョンへのアップグレードの承認が必要です。
- 利用不可能：このリリースバージョンは利用できません。

MetricBase リリース

最新の MetricBase オンプレミスリリースノートについては、[KB0748185](#) を参照してください。

補足ソフトウェアリリース

ServiceNow Store からダウンロード可能な最新の Password Reset Windows アプリケーション、ODBC ドライバー、およびその他のすべての補足ソフトウェアの詳細については、「[ServiceNow Store のリリースノート](#)」を参照してください。

Washington DC のセキュリティと注目すべき修正

Washington DC リリースには、重要な問題の修正が含まれています。

Washington DC は 2024 年 2 月 1 日にリリースされました。

- ビルド日:01-25-2024_1625
- ビルドタグ:グライドワシントンDC-12-20-2023_patch0-01-17-2024



重要:

インスタンスのアップグレード方法の詳細については、「[ServiceNow アップグレード](#)」を参照してください。

リリースサイクルの詳細については、「[ServiceNow リリースサイクル](#)」を参照してください。



注:

このバージョンは、ServiceNow 政府機関向けコミュニティクラウド (GCC) 環境での使用が評価されています。

このリリースで修正された問題のダウンロード可能でソート可能なバージョンについては、[ここ](#) をクリックしてください。

セキュリティ関連の修正

Washington DC には、特定の ServiceNow アプリケーションと Now Platform に影響を与えるセキュリティ関連の問題の修正が含まれています。最も安全で最新の機能を使用するために、このリリースにアップグレードすることをお勧めします。で Washington DC修正されたセキュリティ問題の詳細については、「[KB1584420](#)」を参照してください。

注目の修正

問題	簡単な説明	説明	再現手順
アクティビティストリーム PRB1628950	構成可能な Agent Workspace で、メールレコードが本文なしで複製される		
アクティビティストリーム PRB1673239 KB1430596	文字列フィールドに入力すると、カーソルがちらつき、バウンスし、配置の問題が発生する	これは、Agent Workspace の [説明]、[追加コメント]、[作業メモ] などのフィールドに影響します。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
アクティビティストリーム PRB1675128	ワークスペースのアクティビティストリームで、[メールの差出人] フィールドに sysID が表示される	sysID は、メールがインタラクションに添付されるとワークスペースの [差出人] フィールドに表示され、アクティビティストリームに表示されません。	1. 任意のワークスペースでインシデントを開きます。 2. メールを作成して送信します。 3. sys_email テーブルを開き、送信したばかりの電子メールを見つけて、送信者の sys ID が含まれるようにユーザーフィールドを編集します。 4. メールのステータスを編集し、[送信準備完了] から [送信済み] に変更します。 予想される動作:元のインシデントのアクティビティストリームで表示すると、メールの詳細の [差出人] フィールドにユーザーのメールアドレスが含まれている必要があります。 実際の動作:元のインシデントのアクティビティストリームで表示すると、メールの詳細の [差出人] フィールドには、sys_email の [ユーザー] フィールドのユーザーの sysID が含まれています。
アクティビティストリーム PRB1694062 KB1573051	関連 sys_activity レコードが大量にあるレコードが構成可能なワークスペースにロードされない	CI レコードのロードがスタックします。ログファイルには、大きな結果セットの処理に関するステートメントがあります。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
アクティビティストリーム PRB1694286	[インシデント] フォームのフィールドを更新すると、アクティビティストリームの要求者名が置き換えられる		1. 任意のワークスペースに移動します。 2. 任意のユーザーとしてインシデントを作成します。 最初のフィールドはレコードを変更します。これはユーザーによって作成されます。 3. 別のユーザーとしてログインするか、別のユーザーとして操作します。 4. インシデントのフィールドを変更します (short_description など)。 最初のフィールド変更が現在のユーザーに変更されました。 5. ページを更新します。 最初のフィールドはまだ変更されていません。
アクティビティストリーム PRB1711517 KB1578730	ワークスペースで [担当者] フィールドの変更が正しく表示されない	[アサイン先] の変更フィールドは、以前にアサイン先グループを変更したユーザーによって行われたことが表示されません。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
エージェントチャット PRB1666831	AWA チャットの日付/時刻の形式に関する問題	チャットウィンドウには 12 時間制が表示されますが、フォームには 24 時間制が表示されます。	1. Tokyo インスタンスにログインします。 2. セッション 1 で、エージェントを代理操作してエージェントを利用可能にします。 3. セッション 2 では、エンドユーザーの代理操作を行い、サービスポータルに移動します。 4. セッション 1 で、Agent Workspace を起動し、[オンラインチャット] に移動します。 5. セッション 2 で、Service Portal から新しいチャットセッションを開始します。 6. チャットで前後に会話をします。 予想される動作:チャットのタイムスタンプとフォームの両方に同じ日付形式で表示される必要があります。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
			実際の動作:チャットウィンドウの日時には 12 時間形式が表示されますが、フォームには 24 時間形式が表示されます。
エージェント チャット PRB1707170	絵文字を有効にしてチャット入力を入力すると、エージェントチャットのパフォーマンスが低下する	エージェントチャットで絵文字が有効になっている場合、文字入力ごとに EMOJI_INPUT_LISTENER が呼び出され、スペースか「:」が照合されて入力に絵文字が含まれているかどうかを確認し、絵文字に変換できるようにします。エージェントが高速に入力している場合、リスナーが同じミリ秒に複数回呼び出されるため、パフォーマンスが低下します。	
Agent Workspace PRB1662150	デフォルトモードでケースを作成すると不整合がある		詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
Agent Workspace PRB1677964	HR Agent Workspace で「Customer 360」リボンコンポーネントにドットフィールドが表示されない	ユーザーがリボン「Customer 360」を HR Agent Workspace に追加すると、ドットフィールドが表示されません。	1. Tokyo インスタンスにログインします。 2. [HR Agent Workspace] に移動します。 3. sn_hr_core_caseを開きます。 4. リボンを観察します。 5. [プライマリ] フィールドの [リボン] 設定にドットフィールドを追加します。 リボンにはドット フィールドが表示されないことに注意してください。
Agent Workspace PRB1682768	UI ポリシーがワークスペースフォームに適用されない		1. Utah インスタンスにログインします。 2. インシデントテーブルに UI ポリシーを作成し、ステータスがキャンセルされたときに [解決メモ] フィールドを必須としてマークするようにします。 3. ネイティブ UI の標準フォームで同じ構成をテストします。 予想される動作:ステータスがキャンセルされると、UI ポリシーにより解決メモフィールドが必須になります。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
			実際の動作: UI ポリシーはワークスペース UI には適用されません。
Agent Workspace PRB1706356 KB1565692	ユーザーが Agent Workspace の必須フィールドに入力した後でも、「必須フィールド」の警告メッセージが引き続き表示される	従来のワークスペースとカスタムワークスペースも影響を受けます。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
AI Search PRB1677163 KB1549264	AI Search の提案ボックスで、外部コンテンツタイプのカatalog アイテムを処理できない	AI Search 提案ボックスで content_type = 「外部コンテンツ」のカatalog アイテムをクリックすると、誤って「sc_cat_item」ページではなく「kb_article」ページに移動します。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
AI Search PRB1678541 KB1445778	レコードの最初の検索で何も実行されないが、glide.ui.polaris.ais_ready が true に設定されてロードがスタックする	インスタンスで glide.ui.polaris.ais_ready を有効にすると、ユーザーが最初のレコードを検索したときに URL は変更されますが、それ以外は何も起こりません。ユーザーがページを更新すると、レコードが表示されます。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
AI Search PRB1696149 KB1552472	管理者が ais_publish_history の読み取りアクセス権を失ったため、未公開のプロファイルバナーとアイコンが予期せず表示される	プロファイルが既公開されている (state=published) 場合でも、プロファイルが公開されていないことを示すアイコン (三角形) とバナーメッセージが表示されます。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
AI Search PRB1705847 KB1584581	Vancouver にアップグレードした後、ポータル [完全一致] がオフにならない	ポータルにアクセスできるユーザーは、sys_search_context_definition テーブルで設定された構成に従って [完全一致] 提案のオンとオフを切り替える必要があります。ただし、「完全一致」は自動的に有効になります。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
AI Search	Employee Center アプリ	「最近の表示」ナビゲーションの問題では、	問題 1: [最近表示] ナビゲーション

問題	簡単な説明	説明	再現手順
PRB1707587 KB1557015	アップグレードした後、ESC ポータルで AI Search の [提案] および [最近の表示] ナビゲーションが機能しない	「sys_id=未定義」が URL に追加され、レコードに移動しません。[検索提案] ナビゲーションの問題の場合は、フォームページでレコードが開きます。	1. ESC ポータルを開きます。 2. 検索入力を入力します。 3. 電子メール。 4. 「最近表示した」項目からエントリを選択します。 問題 2: [検索候補] ナビゲーション 1. ESC ポータルの EVAM 定義を開きます。 2. テーブルに異なる順序で 1 つ以上の EVAM ビュー構成があることを確認します。各ビュー構成には、異なる宣言アクションがアサインされている必要があります。 3. ステップ 2 の EVAM ビュー構成の宣言アクションを最小順序の順に使用して、テーブルに対して AI Search 結果アクションを 1 つだけ作成します。 4. ESC ポータルを開きます。 5. 検索入力を入力します。 6. KB またはカタログ検索提案の結果を選択します。
分析ハブ PRB1666661 KB1336388	Performance Analytics ベンチマークインジケータの分析ハブに誤ったスコアが表示される		詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
アプリケーションインストールエンジン PRB1719784	sys_app_customization レコードのないカスタマイズ済みアプリケーションが更新されない		
アプリケーションマネージャー PRB1685456	ユーザーが [アプリケーションマネージャー] ビューからアプリをインストールできない	ベースアプリに [アプリケーションマネージャー] ビューからのアプリのカスタマイズバージョンがある場合、ユーザーはベースアプリをインストールできません。	1. プラグインに移動します。 2. Service Builder をインストールします。 エラーが表示されます。ユーザーがビューを [クラシック] に変更した場合、期待どおりに動作しています。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
アプリ ケーショ ンポート フォリオ 管理 PRB1709920 KB1567820	com.snc.sams (SAM Foundation) プラグインは、アップグレード時に com.snc.apm (APM) プラグインによって自動的にアクティブ化されます	この問題により、インスタンス全体で会社テーブルに問題が発生する可能性があります。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
Approvals PRB1714382	一般ユーザーの場合、グループ承認を [承認済み] に設定する必要がある	現在、一般的でないユーザー シナリオでは、グループ承認レコードが承認済みに設定されます。既存のビジネスルールのため、グループの残りのメンバーの承認ステータスが「不要」に変更されるため、グループ承認レコードを承認済みに設定することはできません。	
ATG - Glide イン ターフェ イス PRB1709048 KB1574610	PI プラグインにより、AI スケジューラーに分散型サービス拒否 (DDoS) が発生する	PI プラグインは、すべてのユーザーインスタンスのジョブスケジューラーを同時に実行することで、DDoS to AI Scheduler を生成します。また、時間の初めにジョブを作成する傾向があり、1 日を通して要求がピークに達し、AI Scheduler が圧倒されます。	
認証 PRB1664966	ユーザーが適応認証でマルチファクター認証 (MFA) ログメッセージをオフにすることができない	ユーザーは、ユーザーのシングルサインオン (SSO) ログインするたびに取得される MFA ログ記録をオフにしたいと考えています。メッセージには、「ポリシーに従って MFA セットアップが必要です (次のポリシーに従って MFA セットアップが必要ですか : false?)」と表示されます。ユーザーが適応認証をオンにしました。	1. 適応認証をオンにします。 2. MFA コンテキストレコードで、ポリシーをアクティブ化せずに、「ステップアップ」ポリシーが非アクティブであることを確認してください。 3. テストユーザーアカウントの SSO ログインを使用して、ログインを試みます。 4. syslog.list に移動します。 5. 最新のログを表示するには、[本日作成] フィルターを追加します。 「ポリシーに従って MFA セットアップが必要です:false」というメッセージがソースとともに「AuthPolicy」として表示されることを確認します。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
認証 PRB1725399	BasicAuth および BearerAuth スクリプトの 「getHeader()」 呼び出しが期待 どおりに機能し ない	これは、API キーと Hmac プラグインがすぐ に有効になっているため です。	- ワシントンDCリリースのインスタンス を開きます。 - basicAuth スクリプトで、var header = this.request.getHeader (「認証」) の行を追加します。 予想される動作:正しい資格情報を使用し た BasicAuth が機能するはずで す。 実際の動作:正しい認証情報を使用し た BasicAuth は失敗します。
Benchmarks PRB1705193 KB1556636	Vancouver に アップグレード した後、ベンチ マークダッシュ ボードが機能し ない	以前のバージョン から Vancouver に アップグレードする と、Benchmarks ダッ シュボードが正しく 機能しません。以前 に本番インスタンス が Benchmarks を 使用するようにオプ トインしていたとし ても、Vancouver に アップグレードする と、「sn_bm_client _configuration」テー ブルの「opt_in_status」 プロパティが 「not_opted_in」に変 更されます。したがっ て、Benchmarks ダッ シュボードが影響を受け ます。	詳細については、リストの KB 記事を参 照してください。
キャッ シュ PRB1683372 KB1506244	SegmentedPathCache が過剰なサイ ズに増大し、ア プリケーション ロードでメモリ 競合の原因にな る可能性がある	SegmentedPathCache の最大サイズは、変換さ れるインポートセットの サイズや複雑さに関係な く、現在よりも小さい値 に制限する必要があります。	詳細については、リストの KB 記事を参 照してください。
CMDB データ マネー ジャー PRB1673154 KB1367296	CMDB データ マネージャーポ リシー「依存 CI の削除」の sys_triggerレ コードが、場合 によっては欠落 している	sys_triggerレコード 「依存 CI の削除」が機 能しない場合 (ベースシ ステムでアクティブに なっている)。	詳細については、リストの KB 記事を参 照してください。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
CMDB クエリビルダー PRB1703575 KB1543414	ネストされたサービスマッピングクエリによって生成されるクエリステータスとクエリ結果が多すぎます	「クエリベースのサービスの更新」ジョブを実行するたびに (10 分)、ネストされたクエリの 5 倍が作成され、レプリケーション遅延が発生します。クエリ結果のクリーンアップではこの量のデータに追いつくことができないため、クエリ結果テーブルに大量のデータが生成されます。パフォーマンスに問題がある。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
CMDB クエリビルダー PRB1715869 KB1575252	Vancouver のアップグレード後に、CMDB クエリビルダーの [レポートを作成] UI ボタンを選択できない	Vancouver のアップグレード後、[レポートの作成] ボタンは無効のままです。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
共通サービスデータモデル (CSDM) PRB1669965 KB1433675	CSDM ライフサイクルを有効にすると、ハードウェア資産の [ステータス] の値が [消費済み] に変更されることがある	CSDM ライフサイクルプラグインを有効にすると、[資産ハードウェア] [alm_hardware] テーブルの多数のレコードの [ステータス] の値が [消費済み] に更新されます。	1. ライフサイクルマッピングを有効化します。 2. [alm_hardware] リストに移動します。 3. install_status が「消費済み」であり、「稼働中/使用中」に正しく表示されている「ライフサイクルステージ/ステータス」と矛盾していることを確認してください。
条件ビルダー PRB1678395	レポート条件ビルダーの演算子「次の値のいずれか」では、ユーザーが文字列値の垂直リストを入力できない	ユーザーが Enter キーを使用して複数の値を入力することはできません。これはリストレベルでは機能しますが、レポートビルダーでは機能しません。	1. sys_user テーブルにレポートを作成します。 2. フィルターで、条件を「は次の値のいずれかを含む」として追加してみてください。
条件ビルダー PRB1710545	条件ビルダーを使用して脆弱性アサインルールを作成すると、タイプ = リストのフィールドを持つテーブルへのドット連結参照で sys_id が	脆弱性アサインルールの条件を作成しようとしたときに、リストタイプのフィールドを持つテーブルを参照するように条件が作成されている場合、sys_id が短時間表示され、条件を保存しようとするフィールドが空白になります。	1. sys_report_source テーブルに移動します。 2. テーブルを「変更要求 [change_request]」に設定します。 3. フィールドセクターで、[リスト] タイプのフィールド (ウォッチリストなど) を選択します。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
	表示されてから空白になる		4. 演算子は「Contains」のままにして、値を「Abel Tuter」に設定します。 5. レコードを保存します。 予想される動作:[条件] タイプフィールドの値部分に「Abel Tuter」と表示されます。 実際の動作:[条件] タイプフィールドの値部分で、Abel Tuter のsys_userレコードのsys_idが短時間点滅した後、空として表示されます。
Configuration Management Database (CMDB) PRB1513486	CMDB クエリビルダーのクエリ実行が別のスコープから失敗する	CMDB クエリビルダークエリの実行が「構文またはアクセスルール違反が検出されました」エラーで失敗する。	1. システム管理者としてインスタンスにログインします。 2. インスタンスのスコープをグローバル以外に変更してください。 3. cmdb_query_builderロールを持つユーザーの代理操作を行います。 4. CMDB クエリビルダーを開きます。 5. クエリーを作成します。 6. クエリを保存します。 7. それを実行します。 実行はエラーで失敗します。
Configuration Management Database (CMDB) PRB1655549 KB1448793	(各レベルで) 大量の関係があるCIと、CMDBUtil.generateServiceMapでパフォーマンスの問題が発生します	CI のレベルごとに 500 ~ 1000+ の関係がある場合は、メモリー使用率が高くなります。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
Configuration Management Database (CMDB) PRB1667748	影響を受けるCIの通知により、スケジュールに過度の負荷がかかり、フローが妨げられる可能性があります	ビジネスルール (BR) の「影響を受ける CI 通知」は、「影響を受ける CI 通知」の sysevent を作成します。これは、複数のレベルの関係を通じて計算されます。デフォルトは 5 レベルです。BR の各実行では少なくとも 5 つの CMDB クエリーが実行され、通知を作成するための多数の CI が収集される可能性があります。	1. 多数の関係性を持つ CI を選択します (5 つのレベルをカウントする場合は、数百の関係性があることが想定されます)。 2. CI をタスクにリンクする。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
Configuration Management Database (CMDB) PRB1671037	関連アイテム数の task_ci.swapped の遅いクエリを改善する	タスクを修復するための制限付きモードを追加して、重複レメディエーターの遅いクエリを修正します。	1. task_ci テーブルに 100 万件以上のレコードがあります。 2. Incident Service Management プラグイン/アプリをインストールして、[swapped_ci] 列が task_ci テーブルに追加されるようにします。 3. 重複排除タスクに移動します。 4. [修復] をクリックします。 予想される動作: /merge_duplicate//task/cis REST 呼び出しに関連する遅いクエリはありません。 実際の動作: /merge_duplicate//task/cis REST 呼び出しに関連する遅いクエリがあります。
Configuration Management Database (CMDB) PRB1671906 KB1362327	[ポリシーの廃止のレビューが必要] フィールドが false に設定されている場合でも、CMDB データ管理タスクには承認が必要です	cmdb_policy_typeの一部の行には、「False」ではなく「NULL」値が has_manual_process列に格納されています。	1. 「廃止」タイプ (または任意のタイプ) のデータ管理ポリシーを作成します。 2. このポリシーを作成するときに、「Needs Review」フラグがオフになっていることを確認します。 3. ジョブスケジュール「CMDB データマネージャーの廃止ポリシープロセッサ」を実行します。 予想される動作:[Needs Review] フラグが false に設定されているため、タスクは[対応中] ステータスで作成する必要があります。 実際の動作:新しいタスクが approval=requested の「オープン」ステータスで作成されます。
Configuration Management Database (CMDB) PRB1682098 KB1444123	ジョブスケジュールから非同期キューでの作業をスケジュールすると、コードの複数のインスタンスが容易に発生する	ジョブスケジュールから非同期キューでの作業をスケジュールすると、コードの複数のインスタンスが容易に発生し、その他の非同期ジョブの実行が遅延する原因になります。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
Core Platform PRB1603521	ユーザー初期設定レコードが多数ある場合、フォームやリストのロード時間が遅くなる	個々のユーザー初期設定の数が多い (1000 を超える) と、そのユーザーの速度が低下する可能性があります。速度低下が見られる場合	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
KB1273125 		は、通常、SQL時間が長くなりますが、これは特定の設定について sys_user_preference テーブルに何度も何度もクエリを実行することに起因する可能性があります。これは、プラットフォーム内のキャッシュが異なるため、一貫して再現されない場合があります。この問題は、Next Experience UI とは直接関係ありません。	
Core Platform PRB1701867 KB1532483 	ノード・ログ・ファイル・ブラウザ・モジュールが原因でガーベッジ・コレクションが頻繁に発生する	トランザクション '/ui_page_process.do' は強制終了できません。これは、異なるバージョンとデータセンターで発生します。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
Core Platform PRB1717962 KB1582715 	Vancouver または Utah でアップグレードした後の新しいインスタンスで資格情報認証の問題が発生する	インスタンスにアクセスしようすると 401 エラーが表示されます。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
Core Platform PRB729853	行が更新されると、current.worknotes.problem_task は、更新された行の後にあるスクリプトでクエリーされるすべての行に対して true を返す	スクリプトインクルード内の problem_task レコードをループして work_notes を更新すると、すべてのレコードに対して problem_task.worknoted イベントがトリガーされます。Current.work_notes.changes() は、後続のレコードの実際の作業メモ更新がない場合でも、後続のすべてのレコードに対して true を返します。その結果、問題のタスクが更新されていないのに更新されたことを示すメールがユーザーに送信されます。[コメント] フィールドでも同じことが起こり	

問題	簡単な説明	説明	再現手順
		ます。どちらも ジャーナル フィールドです。	
Customer Self-service and Omnichannel Engagement PRB1686180 KB1445219	アップグレード時に [csp_registration] ページをカスタマイズするポータルページのカスタマイズが元に戻る	ユーザーが通常 [csp_registration] ページをカスタマイズすると、レイアウト、またはその中にあるウィジェットが変更されます。これにより、sp_page の子テーブルレコードのみが変更され、メイン sp_page レコードは変更されません。DELETE レコードが適用されて削除され、後続の子レイアウトテーブルレコードがカスケードルールにより削除されます。その結果、ページ全体が削除され、ページの新しい場所である /if フォルダーから再適用されます。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
データベースの永続性 - データアクセス PRB1649391	関数フィールドで TPC を使用するデータベースビューでエラーが生成される		
データベースの永続性 - データ管理 PRB1663018	GlideRecord.insert() が com.glide.stats.physical_tableStatsGathererJob の sys_physical_table_stats の既存のレコードを更新しない	行の正しく挿入されますが、更新できません。	
データベースの永続性 - データ管理 PRB1685705	TableSizer に よってユーザー インスタンスで キャッシュがフラッシュされる	全体的な影響は軽微ですが、正確なサイズクラスを維持しながら、影響を受けるコンポーネントのキャッシュフラッシュを防ぐために、的を絞ったソリューションが必要です。	1. インスタンスでテーブル化ジョブを強制します。 2. sys_cache_flushを守ってください。
データベースの永続性 - データ管理	sn_clone。Clone API は物理的に存在しないアイテムを返します	DB API() getPreserveStatements API は物理的に存在しない論理列を返します。	

問題	簡単な説明	説明	再現手順
PRB1690633			
データ ベースの 永続性 PRB1389598	アップグレード中にテーブルサイズが大きいため、オンライン変更がサイレントスキップされる	通常、テーブルが特定の行数を超えると、テーブルのオンライン変更はスキップされます。ただし、サイレントスキップです。これにより、このスキッププロセスに気付いていないユーザーのフィールドが欠落します。	
データ ベースの 永続性 PRB1593961	sys_mutex で競合が発生すると、データ操作言語 (DML) 操作が遅延し、インスタンスが不安定になる	sys_mutex でのインデックス ロックの付与に遅延が生じる可能性があります。これにより、DML 操作に関連する sys_mutex テーブルの競合とダウンストリームへの影響が発生し、インスタンスが不安定になります。	
データ ベースの 永続性 PRB1638779 KB1442165	addEncodedQuery を使用してクエリを実行すると、GlideRecord の getRowCount() が誤った値を返す	フィルターと 160+ sys_ids を区切るカンマを含む sys_ids を含む addEncodedQuery を使用してクエリを実行すると、GlideRecord の getRowCount() が誤った値を返す。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
データ ベースの 永続性 PRB1684737	100 万レコード後に「ハイブリッド」モードでタスクを拡張する現在のロックでは、システム的に遅い JOIN クエリが不必要に作成されます	タスクテーブルは、デフォルトで「階層別テーブル」(TPH)モードに保存されます。タスクのすべての拡張は、データベース内の 1 つの物理テーブルに格納されます。TPH は、子テーブル レコードをクエリするときに JOIN 操作を必要としないため、パフォーマンスに最適です。ただし、タスクに 100 万件のレコードがある場合、プラットフォームのデフォルトの動作では、「ハイブリッド」モードでタスクの拡張が作成されます。つまり、タスクの各子は個別の物理テーブルに格納されます。パフォーマンスが最適ではない状況が	

問題	簡単な説明	説明	再現手順
		発生します。個別の物理データベース テーブルからレコードを取得するには、JOIN クエリを使用する必要があります。	
データベースの永続性 PRB1696243	TableDescriptorProviderの #createSchema() 実行中に TableDescriptor (TD) キャッシュロードが中断されたときの一貫性のない動作	Provider のキャッシュの構築がキャンセルされると、キャッシュが再構築されるか、ノードが再起動されるまで、テーブルの動作に一貫性がなくなる可能性があります。	
データベースの永続性 PRB1706695	読み込みレプリカへのルーティング時にドット連結フィールドの null 表示値を取得する		
Data Certification PRB1554479	認定タスク要素フィルターで「すべて」をクリックすると、関連のないレコードが読み込まれます	この問題は、ローマ版とケベック版で再現されています。	
Data Certification PRB1569210 KB1564607	データ認定レコードが完全に認定されると、要素ごとに 2 つの緑色のチェックボックス (1 つではなく) が表示されます	この問題は、フレームがナビゲーション バー付きである場合にのみ表示されます。レコードがナビゲーションバーなしで開かれている場合は、正常に機能します。	1. 「データ認定」プラグインをインストールします。 2. 移動先 Data Certification > タスク > すべてのタスク。 3. ステータスが「オープン」、「処理待ち」、「対応中」のいずれかであるレコードを選択します。 4. レコードの各要素について、開いているすべてのチェック ボックスをオンにします。 5. [チェック済みの要素を認定] を選択します。 6. [すべてのレコードを表示] メニューを選択します。 予想される動作:チェックボックスを 1 つだけオンにする必要があります。 実際の動作:レコードの各要素に 2 つの緑色のチェック ボックスがあります。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
Discovery and Service Mapping Patterns PRB1691159 KB1516840	変更が異なるサービスアカウントからのものであるが、同じ論理データセンター (LDC) リージョンがある場合、Azure 変更処理イベントが IRE 例外で失敗する	sn_cmp_event_trail テーブルのフィールドには、イベントの失敗に役立つ情報は提供されません。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
Discovery PRB1575724 KB158119	異なるスケジュールで複数のデータセンターの VM を更新すると、仮想マシン (VM) のインストールステータスがフリップフロップされる		詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
Discovery PRB1651345	L3マッピングのパフォーマンスの向上		- 大規模な CMDB を含むインスタンスを開きます。 - サーバーを検出します。 discovery.device.complete のイベント処理時間を確認します。
Discovery PRB1671260 KB1500117	同じsys_idを持つ重複 CI が itom_lu_licensable テーブルに表示されます	[ライセンス可能な CI を表示] をクリックし、[構成アイテム] フィールドにフィルターを追加すると、同じsys_idを持つ複数の行が繰り返されます。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
Discovery PRB1677364	スタックスイッチで「ペイロードの IP アドレスが null です」というエラーが発生する	水平検出センサーで、新しい SncCredentiallessDeviceDiscovery().reconcile(apiPayload) が呼び出されます。メッセージは CredentiallessDeviceDiscovery.reconcile() に記録されます。	- スタック構成の Cisco ネットワークスイッチの検出を実行します。 - Discovery ログで検出ステータスを確認します。
Discovery PRB1684730 KB1446113	Discovery 「SNMP - APC UPS」プローブが unsIdentModel オブジェクト識別子 (OID) からモデルを	プローブ「SNMP - APC UPS」には SNMP フィールドが含まれています。センサーにこれらの値を処理するためのコードが欠落しています。つまり、CI モデル	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
	フェッチするが、センサーはそれに対して何もしない	が正確に更新されていません。	
ディスカバリースケジュール PRB1639913 KB1263232	クラウドスケジュールで [今すぐ検出] で [検出ステータスにリダイレクトできません] が表示される	ユーザーが [今すぐ検出] を使用してクラウドスケジュールを実行しようとすると、エラーメッセージが表示されます。検出ステータスがバックエンドで作成されます。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
Dynamic Translation API PRB1621716 KB1550490	Dynamic Translation はプラグインのインストールをチェックしないため、プラグインを使用するすべてのユーザーに 400 ネットワークエラーが発生します	実行時に、is_enabled rest エンドポイントに 400 エラーがあります。UI Builder では、appshell がモジュールにエラーを表示することもあります。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
メール通知 PRB1682145 KB1434765	複雑な正規表現が sys_email_reply_to_address テーブルで構成されている場合、イベント処理に時間がかかる	断続的に、email.read イベントの処理時間は長くなる場合があります。場合によっては 30 分にも及ぶことがあります。ユーザーが長時間処理される email.read イベントに関連付けられた受信メールのメールログを確認すると、2 ～ 3 件の受信アクションが評価されます。その後、1 ～ 6 分の時間差が続き、さらに 2 ～ 3 回の受信アクションが評価され、さらに 1 ～ 6 分の時間差が評価されます。これは、すべての受信アクションが評価されるか、処理の停止が設定されるまで繰り返されます。ノードログには、受信メール処理時にこれらのエラーが表示されます。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
メール通知	Vancouver にアップグレードした後、メールは送信されるが	ユーザーが Vancouver にアップグレードすると、送信メールが送信され、そのタイプは [送	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
PRB1705462 KB1556696	送信トレイには残る	信済み] に設定されますが、送信トレイには残り、アクティビティストリームはメールの詳細で更新されません。この問題は、sys_emailテーブルがシャードされている場合にのみ発生します。	
イベント管理 PRB1683396	大規模な追加情報を含むイベントを処理するための保護を追加する	[追加情報] フィールドが約 600,000 文字と大きい場合があります。イベントがメモリに読み込まれると、EventData オブジェクトは 2.3M のメモリを使用します。1 回の実行中に、イベント処理ジョブは最大 500 件のイベントをメモリにロードします。これは、最悪の場合、1Gを超えるメモリが使用されます。	1. 600,000文字の「追加情報」サイズで 500を超えるイベントを送信します。 2. Java メモリ消費量のピークを観察します。
フローデザイナー PRB1523909 KB0996546	複合オブジェクトアレイ出力を持つ Flow Designer (FD) アクションで、空のアレイがアサインされると、1 つのオブジェクトを含むアレイが誤って出力される	複合オブジェクト配列出力を持つFDアクションで、空の配列が割り当てられているときに1つのオブジェクトを含む配列が誤って出力される	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
フローデザイナー PRB1683738 KB1449357	MID に移動するフローが「For Each」ループでスタックする	最初の反復でフローが固執するため、MID ステップは実行されません。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
フローデザイナー PRB1689243 KB1503771	Flow Designer で「フローが見つかりません。フロー sys_id:An'	フロー/アクションを再公開して更新セットを介してフローを移動する場合、「複合オブジェクト」はキャプチャされません。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
フローデザイナー	Flow Designer のスクリプトエディターのオートコンプ		詳細については、リストの KB 記事を参照してください。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
PRB1696950 KB153314	ポート/提案 がフローデザ イナースクリ プティングで機 能しなくなった Flow Designer スクリプト エディター (fd_data、ドッ ト連結)		
フローデ ザイナー PRB1697732	「ExecutionStatsCollector.open() ログ警告メッ セージをデバッ グメッセージに 変更する必要が ある	「ExecutionStatsCollector.open() が呼び出されました が、既に利用可能な IExecutionStats があり ます。今すぐリセットさ れます」というメッセ ージがログにあります。	
フローデ ザイナー PRB1698257 KB1552354	「このフロー のロード中に エラーが発生 しました」とい うエラーが原因 で、ユーザーが Flow Designer でフローアク ションを展開で きない	ユーザーがフローアク ションを開こうとする と、エラーが発生しま す。この問題により、 ユーザーはフローアク ションを編集できませ ん。	詳細については、リストの KB 記事を参 照してください。
フローデ ザイナー PRB1702792 KB1540179	ステージがフ ローにリンク されている場 合、[ステー ジ] 列を含む sc_req_item.list のロードが遅く なる	Vancouver リリー スでは、「要求ア イテム」テーブル [sc_req_item_list] の ロード速度が低下する 可能性があります。これ は、sc_req_item.list の リストビューに、フロ ーに接続されている「ス テージ」列が含まれて いる場合に発生します。 これにより、個々のユー ザーに対して重大なパ フォーマンスの問題が 発生する可能性があります。 複数のユーザーが ステージフィールド を 使用してリストをロー ドしている場合、インス タンスへのアクセスのパ フォーマンスが全体的に 影響を受ける可能性もあ ります。	詳細については、リストの KB 記事を参 照してください。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
フォームテンプレート PRB1653898	ACL 評価テンプレートで、現在のオブジェクトに関連して「ワークスペース」と「UI16 フォーム (ネイティブ)」の間で異なる動作がある	ワークスペースでは、特に現在のオブジェクトが含まれている場合、フィールドレベルの ACL 内のスクリプトがワークスペースと「UI16 フォーム (ネイティブ)」で異なる方法で評価されます。	1. フィールド incident.urgency で ACL を無効にします。 2. フィールド incident.urgency の書き込み ACL を作成します。 3. 同じロールと条件を追加します。 4. 'current.isNewRecord()' & "answer = current.isNewRecord();" を含むスクリプトを追加します。 5. ユーザーの [インシデント] テーブルにテンプレート [sys_template] を作成し、[緊急度] フィールドを [2 - 中] に更新します。 6. ユーザーの代理操作を行います。 7. Service Operations Workspace を開きます。 8. [+ > 新しいインシデント] をクリックします。 9. 右側のサイドバーで [テンプレート] をクリックします。 10. 手順 5 で作成したテンプレートを選択します。 予想される動作: テンプレートが正常に適用されます。 実際の動作: 「テンプレートが適用されていません。フィールドを設定: フィールドの緊急度を更新できません (Template not Applied, Set Fields: Unable to update field Urgency)」というエラーメッセージが表示されます。
ガイド付きツアーデザイナー PRB1678853	親の基準と同じ基準元を持つ iFrame を持つページのチュートリアルが「要素が見つかりません」として終了する	複数の iFrame のオリジンが同じであるため、チュートリアルでは、ステップを検索するための適切な iFrame を確定することはできません。	1. サービスポータルでチュートリアルを作成します。 2. Tiny MCE またはリッチテキストが存在する任意のフォームを開きます。 3. iFrame の原点がページの原点と同じである要素にステップを作成します。 4. ツアーをプレビューします。 5. 新しいタブでプレーヤーを確認します。 予想される動作: ツアーは作成されたとおりに機能します。 実際の動作: そのページの最初のステップが開始されると、ツアーは終了します。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
HR サービスデリバリ PRB1689640 KB1564044	Utah アップグレード以降、HR ケースの説明に特殊文字の HTML タグが含まれる	Utah では、一部の人事ケースの説明に HTML タグが含まれています。hr_servicesUTIL はhr_caseUTILSスクリプトインクルードを呼び出し、それによって rich_description フィールドに質問が入力され、ビジネスルールがトリガーされて 2 つのフィールドが同期され、HTML タグが公開されます。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
HTML エディター PRB1609720 KB1281445	Ctrl キーを押さずに Tokyo の TinyMCE フィールドを右クリックして貼り付けることができない	Tokyo へのアップグレード以降、メールクライアントから送信されたメールの HTML フィールドに、インシデントや変更などから貼り付けることができなくなりました。kb_knowledge レコードの記事本文など、他の HTML/TinyMCE フィールドでも同じ動作が発生します。	1. 既存のchange_requestまたはインシデントレコードを開きます。 2. ページ上部の 3 つのドット (その他のオプション) をクリックします。 3. [メール] を選択してメールクライアントを開きます。 4. メールの本文は HTML フィールドです。 5. 切り取り/コピーしてランダムなテキストをキャプチャし、フィールドに貼り付けます。 6. フィールドを右クリックして、このフィールドに内容を貼り付けます。 このフィールドから切り取り/コピー/貼り付けを行うオプションはありません。CTRL + V を使用して、このフィールドにコンテンツを貼り付けることができます。
HTML エディター PRB1663740 KB1515234	HTML フィールドにテーブル要素があり、ユーザーがテーブルの書式設定後に Enter キーを押すと、2 番目のタグが追加されます	新しいタグがスクリプトエディターから削除されます。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
インポートセット API PRB717095	日本語を含む Excel ファイルをインポートするときに、日本語の仮名が追加される	日本語を含む Excel (xlsx) ファイルをインポートするときに、日本語の仮名 (日本語の五十音) が追加されます。インポートされた漢字の日本語カタカナ文字である	1. 日本語を含むExcelファイルをダウンロードします。 2. Excel ファイルを開きます。 3. インスタンスにログインします。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
KB0598407 		日本語の仮名は追加しないでください。	[System Import Sets] > [Load Data] に移動します。 [テーブルの作成] をクリックします。 - ラベルを入力します。 「ファイル」を選択します。 [ファイルの選択] をクリックします。 - 手順 1 でダウンロードした Excel ファイルに移動します。 [送信] をクリックします。 [データのロード] をクリックします。 [行] 列のいずれかの番号をクリックします。 [組織名] フィールドに日本語の仮名が追加されていることを確認します。
受信メール PRB1698243 KB1527779 	システムプロパティ (com.glide.attachment.max_size) で添付ファイルの制限が 10 GB に設定されている場合、メールの添付ファイルが破棄される	Vancouver で導入された問題により、One Email Reside がメールの添付ファイルを保存できなくなります。これは、システムプロパティ com.glide.attachment.max_size の値が 2048 より大きい、適切な整数値でない場合に発生します。受信メールの添付ファイルは sys_email_attachment レコードとして表示され、添付ファイルが破棄されると、それらのレコードの列は「破棄済み」に設定されます。ただし、UI またはテーブル API を介してアップロードされた添付ファイルはデータベースに保存されます。	- システムプロパティ com.glide.attachment.max_size を 10240/10 GB に追加/更新します。 - インスタンスが添付ファイル付きの受信メールを処理しないことを確認します。 予想される動作: 10 GB 未満の添付ファイル処理する必要があります。 実際の動作: サイズに関係なく、すべての添付ファイルが破棄されます。
Incident Communications Management PRB1712935 KB1573295 	メールテンプレートの [コミュニケーション] タブで、[宛先]、[CC]、および [BCC] フィールドが壊れている	重大なインシデントワークベンチでは、バンクーバーで [宛先]、[CC]、および [BCC] フィールドが分割されています。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
Instance Data Replication (IDR) PRB1721309 KB1584955	アプリノードが java.io.IOException をスローしています: 「IDR/ Kafka の問題により、開いているファイルが多すぎます」	ノードが応答しないか、サイドドアに空のページが表示され、xmlstats.do 出力が断続的であるなど、奇妙な動作をします。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
インスタンスセキュリティセンター PRB1685173 KB1499709	週次ダイジェストで、[ウイルスの種類の数] セクションに誤った数が表示される	感染したウイルスがインスタンスに存在しない場合でも、ウイルスタイプに対してカウントを 1 つ表示します。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
インタラクティブフィルター PRB1701903	Vancouver にアップグレードした後、ダッシュボードにブレークダウンソースの値が表示されない	Vancouver へのアップグレード後、ダッシュボードにインタラクティブフィルター値が表示されません。ユーザーにはチェックボックスのみが表示されます。	1. Utah インスタンスにログインします。 2. セルフサービスダッシュボードを作成し、いくつかのブレークダウンソース (Reports.Type と Reports.Source Type など) を含めるように設定します。 3. ダッシュボードで使えるようになったブレークダウン ソース フィルターからいくつかの値を選択し、[適用] をクリックします。 4. Vancouver 以降のリリースにアップグレードします。 5. データを消去せずに、同じブラウザでダッシュボードを再度開きます。 6. ブレークダウンソースフィルターの使用を試みます。 チェック ボックスのみを確認し、値はありません。
Key Management Framework (KMF) PRB1676054	[KMF サービスのチェック] の実行に時間がかかりすぎる	チェック対象のサービスが時間内に応答しない場合、「KMF サービスの確認」はすぐにタイムアウトします (5 秒)。一部のコードパスにはタイムアウトがまったくないようです。	[KMF サービスのチェック] 実行時間を確認します。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
Key Management Framework (KMF) PRB171797	Context.getCurrentContext() が null の場合、Studio での MAP 評価中に NullPointerException が発生する		1. Vancouver インスタンスにログインします。 2. 移動先 システムアプリケーション > Studio. 3. [ソース管理から インポート] をクリックします。 4. URL と資格情報には github.com を使用します (Studio の外部で新しい SSH 資格情報を作成する必要がある場合があります)。 5. スタッシュのスタッシュの変更。 予想される動作: Studio で認証情報が正常に復号化され、接続されます。 実際の動作: Studio が null ポインター例外で資格情報の復号化に失敗します。
Knowledge Management PRB1705456	公開されたナレッジ中心サービス (KCS) の記事をチェックアウトすると、空のフィールドに「null」という単語が追加される	たとえば、ユーザーが記事を公開するときに kb_issue 空のままにして、チェックアウト後にチェックアウトすると、[kb_issue] フィールドに「null」が入力されます。	1. 「Knowledge Management Advanced Installer」プラグインをアクティブ化します。 2. 「ナレッジブロック」 [com.snc.knowledge_blocks] プラグインを有効にします。 3. KCS 記事 [kb_template_kcs_article] を作成します。 4. 必須フィールドのみを入力して保存します。 5. 記事を公開します。 6. [kb_issue]、[kb_cause]、[kb_kb_environment]、および [kb_resolution] フィールドが空であることを確認します。 7. 記事をチェックしてください。 予想される動作: kb_issue、kb_cause、kb_kb_environment、および kb_resolution フィールドは空のままである必要があります。 実際の動作: kb_issue、kb_cause、kb_kb_environment、および kb_resolution フィールドに「null」が入力されます。
言語と翻訳	英語以外の言語でインスタンスを使用すると、ブールフィールド	これは、スペイン語とフランス語のユーザーに影響を与える断続的な問題です。	1. インスタンスを開きます。 2. スペイン語/フランス語プラグインをインストールします。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
PRB1644613	リストが翻訳されない		3. incident.list を開きます。 4. リストレイアウトに [アクティブ] 列を追加します。 5. インスタンス言語をスペイン語/フランス語に切り替えます。 予想される動作:[アクティブ] 列の値はスペイン語/フランス語に翻訳する必要があります。 実際の動作:代わりに「true」/「false」の値を設定します。
リスト管理 PRB1652417	特定のシナリオのリストレイアウトが壊れている	リストの [ワークスペースのすべてを選択] では、すべての行が空でレンダリングされます。	1. 「Impersonate a user」を参照してください。 2. 優先度が「重大」または「中」の「自分のリスト」を作成します。 3. 保存。 4. [共有する URL をコピー] をクリックします。 5. 別のブラウザで、管理者としてログインします。 6. 手順 4 の URL を貼り付けます。 7. [フィルター] アイコンをクリックします。 8. [既定値に戻す] をクリックします。 予想される動作:リストのレイアウトが正しくレンダリングされます。 実際の動作:リストのレイアウトが壊れています。
リスト管理 PRB1667673	Utah アップグレード後、ユーザーが Agent Workspace または HR Workspace で [プレビュー] ペインを効率的に使用できない	ユーザーが Agent Workspace のリストからすべてのインシデントを選択すると、[編集] をクリックした後に [プレビュー] ペインが空として表示されます。	
リスト管理 PRB1673541 KB1519513	Service Operations Workspace (SOW) の共有フィルターリンクで、ユーザーがページを変更	次のページをクリックすると、リストは空として表示されます。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
	してさらにエントリを表示できない		
リスト管理 PRB1683844 KB1517240	[傾向] レポートのリストビューから開いたレポートを切り替えると、[次へ]/[前へ] ボタンが機能しない	次のレコードをロードする必要がありますが、同じレコードをロードします。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
リスト管理 PRB1688076	Vancouver で、UI Builder でページあたりの行数を変更すると、セキュリティ制限メッセージが表示される	ユーザーが Tokyo または Utah でページあたりの行数を変更して更新すると、ページあたり 20 にリセットされ、このエラーは表示されません。	1. UI Builder で、ページあたりの行数を 50 または 100 に変更します。 2. すべての行が期待どおりに表示されることを確認します。 3. ページを更新します。 「セキュリティ上の制約により、このリストから 21 行が削除されました」というエラーメッセージが表示されることに注意してください。 4. ページあたりの行数を再び 50 または 100 に変更します。 すべての行が再び期待どおりに表示され、エラーメッセージが消えます。
リスト管理 PRB1692410	ユーザーがリストから複数の列を編集できない	ユーザーが複数の列を選択しようとして、最初に選択した列がビューポートにない場合、値を入力するためのボックスが編集画面に表示されません。	1. ログインします。 2. 任意のリストを開きます。 3. リストにページあたり 20 件を超えるレコードがあることを確認します。 4. 複数の列を選択します。 5. 最初に選択した列がビューポートにないことを確認します。 6. Enter キーを押します。 予想される動作:列を更新するためのボックスが編集用に表示されます。 実際の動作:列を編集するためのボックスがビューポートに表示されません。
リスト管理 PRB1694488	構成可能ワークスペースでリストのカスタマイズが機能しない		

問題	簡単な説明	説明	再現手順
リスト管理 PRB627852 KB0717350	リスト見出し列検索を使用した数値フィールド(整数、10進数)で予期しない結果が発生する		- タスクリストビューに移動します。 - リストビューに [順序] フィールドを追加します。 - リストメカニクの横にある虫眼鏡をクリックして、列検索ボックスを表示します。 「100」と入力します。 結果は返されません。 - 手順 3 と 4 を '*100' で繰り返します。 結果は返されません。 '=100' を試してください。 正しいレコードが返されます。
リストエディタ PRB1689003	ダッシュボードリストのインライン編集入力ウィジェットの外側の誤った場所 (場合によっては画面外) に表示される		- Utah または Vancouver インスタンスにアクセスします。 [インシデントの概要] ダッシュボードを開きます。 [Add Widgets] を表す [+] アイコンを選択します。 - 下にスクロールして、[Incidents per week] ウィジェットを編集します。 - サイドバーで、[タイプ]を選択します。 [その他] セクションまで下にスクロールし、[リスト] タイプを選択します。 - 変更内容を保存します。 - ダッシュボードで、[Incidents per week] ウィジェットを一番上にドラッグアンドドロップします。 - ウィジェット内を下にスクロールして、最初の 5 ～ 10 件のインシデントが表示されないようにします。 - リストの最初のセルをリスト編集します。 リストエディターは表示されているページに表示されず、フィールドを変更できないことに注意してください。
メモリ: ヒープ領域	.iix トランザクションの開始中に「java.lang.OutOfMemoryError」	.iix トランザクションの実行時にメモリー不足ヒープエラーが発生 発生日時: 2023-07-07 01:23:42	

問題	簡単な説明	説明	再現手順
PRB168510	Java ヒープスペース」エラーが発生する	12:59:45 (599) http-19 システム 重大 *** エラー *** GlideTransactionProcessor.doRequest(): java.lang.OutOfMemoryError: Java ヒープスペース」 でキャッチされない例外。	
MetricBase PRB159390	Clotho が応答しなくなると、Clotho XMLStats 要求が返されなくなり、Glide でセマフォが使い果たされる	クライアントが接続した後、接続エンドポイントの応答が送信される前に Clotho が応答しなくなると、応答が返されるのを待っているときに XML 統計情報が停止します。要求は毎分再試行されるため、Glide 側のセマフォが使い果たされ、Glide が応答しなくなります。	
MetricBase PRB1634353 KB1290495	Hermes がインストールされていない場合、例外が繰り返しログに記録される		詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
Microsoft 調整 PRB1712246 KB1570200	Vancouver へのアップグレード後に Microsoft の調整が失敗する、または停止する	ユーザーは、Microsoft Publisher の調整を実行しているときにエラーが発生していることを確認しました。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
MID Server PRB1707499	ユーザー「ユーザー ID」に MID Server に関連付けられていない mid_server ロールがあることを示す誤ったエラーが発生する	MID Server のログインユーザーのユーザー名の大文字/小文字が sys_user レコードと config.xml ファイルで同じでない場合は、正しくない MID Server の問題レコードが作成されます。ユーザー名では大文字と小文字が区別されないため、問題が発生することはなく、それ以外は MID Server は正常に動作しています。	
Mobile Platform	Flow Designer ステージレンダラーを使用するステージフィー		1. アイテム ビューのセルの 1 つがステージ フィールドである ItemView を使用するように画面 (FormScreen など) を

問題	簡単な説明	説明	再現手順
PRB1713100	ワークフローセルを含む画面を開くときに、内部サーバーエラーが発生しました		構成します (たとえば、sc_req_item テーブルを Dataltem のテーブルとして使用します)。ステージフィールドは、ワークフローレンダラーの代わりにフローデザイナーレンダラーを使用するように設定する必要があります。 2. モバイルアプリ (エージェントアプリまたは Now Mobile アプリ) から画面を開いてみます。 予想される動作: エラーなしで画面が開きます。 実際の動作: 「内部サーバーエラー」が表示されます。
Next Experience UI16 のテーマ作成 PRB1667498 KB1365000	Next Experience UI のフィールドに [グループ] が適用されている場合、[合計リストの計算] がリストの正しい列からオフセットされる	Next Experience がオンになっている場合、[グループ] だけでなく [合計リストの計算] も適用されている場合、各グループの正しい列に合計が表示されません。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
Next Experience 統一ナビゲーション PRB1560621	水平スクロールバーが [レポート] ウィジェットの下部にのみ表示される	Next Experience UI で発生します。	
Next Experience 統一ナビゲーション PRB1609636 KB1501269	[すべて] メニューが固定され、複数のアプリケーションメニューが展開されている場合、最初のロード時に API 呼び出しの実行に時間がかかる	展開されたメニューは、「menu.<sysID_of_sys_app>_application>.expanded」の形式で sys_user_preference として保存されます。これらを削除すると、初期ロードが完了した後のロード時間が短縮されます。展開されたメニューが存在すると、トランザクションの SQL カウントと CPU 時間が増加します。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
Next Experience 統一ナビゲーション PRB1634712	翻訳 UX バナーのお知らせが翻訳されていない	システム言語を変更すると、バナーのお知らせのsys_translated_textテーブルに翻訳を作成できない。	- 英語のsys_us_banner_announcementでバナーのお知らせを作成します。 - お知らせ構成関連リストに [統一ナビゲーション] を追加します。 - sys_translated_textテーブルに、値をフランス語として翻訳を作成します。 - インスタンスに再度ログインします。 - 言語をフランス語に変更します。 予想される動作:お知らせはフランス語に翻訳する必要があります。 実際の動作:アナウンスは英語で表示され、debug i18はアナウンスを認識しません。
Next Experience 統一ナビゲーション PRB1644299	リストエディターの「お気に入り」がコンテンツからオーバーフローする	これは、スクロールバーのテーマ設定作業の副作用です。より具体的には、「メニューアップパー」クラスでの「表示:インライングリッド」の使用です。	- 複数のお気に入りを追加します。 - いくつかのお気に入りのラベルが長いことを確認します。 - エディターを開きます。 「X」は切り取られます。コンテンツは境界内にある必要があります。
Next Experience 統一ナビゲーション PRB1681051	ホームページのスクロールバーが表示されない		
Next Experience 統一ナビゲーション PRB1686416	「複数のエクスペリエンス」フラグがオフのときにワークスペースから [移動元 (Navigating from)] メニューを開くと「about:blank」が開く		- 統一ナビゲーションの親アプリケーションレコードの「複数のエクスペリエンス」フラグの設定を解除します。 - ワークスペースを開きます。 [All] メニューを開き、次のようなモジュールをクリックします。セルフサービス > ダッシュボード (標準 URL) または セルフサービス > 従業員センター (外部リンクの URL)。 予想される動作:新しいタブが開き、統一ナビゲーション内に適切なリンクが読み込まれます。 実際の動作:「about:blank」の新しいタブが開きます。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
Next Experience 統一ナビゲーション PRB1688044	「現在の開始ページ」プロパティが Next Experience の UI で機能せず、最後に開いたダッシュボードによって上書きされる	「現在のスタートページ」ユーザー初期設定が期待どおりに機能していません。最後に開いたダッシュボードによって上書きされます。URL には、ユーザー初期設定として設定されたページが引き続き表示されますが、開かれるダッシュボードは URL のダッシュボードとは異なります。	1. インスタンスを 2 つのウィンドウで開き、1 つをシークレットモードで開きます。 2. シークレットモードでないウィンドウで、sys_user テーブルから任意のユーザーの代理操作を行います。 3. 代理操作されたら、ランディングページから [ダッシュボード] をクリックします。 4. いずれかのダッシュボードを開きます。 5. 右上のアバターをクリックします。 6. [設定] をクリックします。 7. [表示] をクリックします。 8. 設定「現在のスタートページ」に移動します。 9. 「現在表示しているページを使用する」に設定します。 10. sys_user_preference.list に移動します。 これに関連付けられている 3 つの設定は、期待どおりに変更されます。 11. ダッシュボードを [概要の変更] から別のダッシュボードに変更します。 12. ブラウザタブまたはセッションを閉じます。 13. シークレットウィンドウに移動します。 14. 同じユーザーの代理操作を行います。 これが新しいセッション/シークレットセッションであることを考えると、技術的には偽装に関するホームページを開く必要があります。代わりに、最後に開いたダッシュボードがこのユーザーの最初のページとして開かれます。URL にはユーザー初期設定に記載されているダッシュボードが正しく表示されますが、開かれたダッシュボードは最後に開かれたダッシュボードです。
Next Experience 統一ナビゲーション PRB1691934	Utah/Tokyo インスタンスで Next Experience を使用すると、ビジネスルールによって重複する	この問題は、リスト/フォームがバナーフレーム内で開いている場合にのみ発生します。	

問題	簡単な説明	説明	再現手順
	情報メッセージが生成される		
Next Experience 統一ナビゲーション PRB1698258 KB1531357	Next Experience がオンになっているコア UI で要求の URL を新しいタブで開くと、ページがハングする	「task.list」テーブルからコピー/貼り付けされた URL を開くことができない。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
通知設定 PRB1688687	フォームの保存後、通知設定フィルターが適用されない	ユーザーが [スケジュール] モーダルを開き、[スケジュール] フィールドを追加せずに変更を加えてフォームを保存すると、インスタンスは cmn_notif_message レコードへの変更を保持します。ただし、ユーザーがページを更新し、スケジュールを編集するために同じモーダルを開いた場合、UI の問題により変更は表示されません。	1. 移動先 設定 > 通知 > システム通知 > 新規ウィンドウ > [システム通知] の下。 2. 通知を探します。 3. 通知の [スケジュール] をクリックします。 4. [詳細フィルター] に移動します。 5. 条件を追加します ([スケジュール (なし)] で値を選択しません)。 6. レコードを保存します。 7. ページをリロードします。 8. 通知に移動します。 フィルター情報はキャプチャされません。
Now コードエディター PRB1665513 KB1319600	スクリプト アクションスクリプト フィールドに「イベント」が廃止として表示される	イベントプロパティ (主に処理中の sysevent の GlideRecord のインスタンスを参照) は、ユーザーがスクリプトフィールドエディターのいずれかでプロパティを使用しようとする、非推奨としてマークされるか取り消し線が引かれて表示されます。	1. 任意のスクリプトエディターに移動します。 2. 「イベント」と入力します。 イベントプロパティが「使用廃止」または取り消し線付きで表示されます。
Now Experience コンポーネントライブラリ PRB1670953	ワークスペースで [作業時間] フィールドの下にテキストがちらつく/一時的に空になる	この問題は、Windows マシンでより頻繁に発生するようです。	1. Windows コンピューターからインスタンスにログインします。 2. テーブルのワークスペースフォームレイアウトに [作業時間] フィールドを追加する。 3. ワークスペースにフィールドが含まれているレコードに移動します。 4. [作業時間] フィールドとその下のテキストを監視します。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
			予想される動作:ちらつきは見られません。 実際の動作:テキストが一時的にクリアされ、レイアウトがちらつきます。
Now Experience コンポーネントライブラリ PRB1680115	iFrame がモーダルの内側に配置されている場合、フォーカスがトラップされない	g_modal.showFrame を使用すると、ポップアップに追加の [閉じる] ボタンが表示されません。	1. 空の UI ページを作成します。 2. UI アクションを作成します。 3. 次のフィールドを true に設定します。 ○ アクティブ ○ レコード作成時に表示 ○ レコード更新時に表示 ○ クライアント ○ リスト v2 互換 ○ フォームボタン 4. 関連リスト [ワークスペース] で、[ワークスペースフォームボタン] を true に設定します。 5. 「ワークスペースクライアントスクリプト」を追加して、手順 1 の UI ページを開きます。 6. 新しい UI アクションをトリガーします。 7. UI アクションを確認します。 予想される動作:iFrame の下に [閉じる] ボタンは表示されません。 実際の動作:Tokyo 以降のバージョンのインスタンスに表示される [閉じる] ボタンがあります。
Now Experience コンポーネントライブラリ PRB1682900	[エンティティ] リストがロードされない	ポートフォリオ計画を作成または編集するときに、バンクーバーの Portfolio Planning/ Strategic Planning Workspace の [エンティティを選択] ステップで [エンティティ] リストがロードされない。	
Performance Analytics ダッシュボード PRB1568913	インタラクティブフィルターで別の言語で検索しても結果が得られない	インタラクティブフィルター、およびインタラクティブフィルターとして機能するブレイクダウンは、翻訳されたテキストを検索するときに「検索	1. [sys_dictionary] に移動します。 2. sys_user_group テーブルの [名前] フィールドを変更します。 3. フィールドタイプを [文字列] から [翻訳されたテキスト] に変更します。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
KB1117278 		に一致する要素はありません」を返します。	- ダッシュボード/ホームページ内で、インタラクティブフィルター [Change Group] を追加します。 - フィルター内のレコードの場合は、次の値で「sys_translated_text」レコードを作成します。 - テーブル名:sys_user_group - ドキュメント:グループ: 分析設定マネージャー (sys_id:019ad92ec7230010393d265c95c260dd) - フィールド名: 名前 - 値:テスト 翻訳 fr - 言語:FR(他の言語で十分です)。 - 手順 4 で使用するダッシュボード/ホームページ内で、「App Service アサイン先グループ」という用語を検索します 結果が表示されます。 - 言語をFR(または選択した他の言語)に変更します。 - インタラクティブフィルター内で「Test Translation fr」という用語を検索します。 - 結果が返されていないことを確認します。 - まだフランス語で、「App Service アサイン先グループ」という用語を検索します。 - 結果が存在することを確認します。
Performance Analytics ダッシュボード PRB1708674	追加の [グループ] があり、[グループ化] の選択された値が [なし] の場合、ダッシュボードのリストレポートウィジェットで列ヘッダーがレンダリングされない	Vancouver では、レポートに対して追加の [グループ] が選択されており、選択したグループ化基準がウィジェットで [なし] の場合、リストレポートウィジェットの列ヘッダーは表示されません。[グループ] を実際のフィールドに変更すると、リストレポートウィジェットが更新され、列ヘッダーが表示されます。	- Vancouver で、データを返す任意のテーブルに「リスト」タイプのレポートを作成します。 [Additional Group By] にいくつかのフィールドを追加します。 - レポートを保存します。 - 新しく作成したレポートを任意のダッシュボードに追加します。 - ダッシュボードのリストレポートウィジェットでグループ化の基準として [なし] を選択します。 - レポートの列ヘッダーが表示されないことを確認します。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
			7. [グループ] の値を、ドロップダウンで選択したフィールドのいずれかに変更します。 8. 更新時にレポートの列ヘッダーが表示されることを確認します。 予想される動作:列ヘッダーは [グループ] の値に関係なくレンダリングされます。 実際の動作:選択した [グループ] の値が [なし] の場合、列ヘッダーがレンダリングされません。
Performance Analytics PRB1658715 KB1507189	スクロールするレポートの列がずれる	Utahで問題が発生。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
Performance Analytics PRB1681209 KB1436544	多数の要素を含むブレークダウンソースが大量のメモリを消費し、メモリとパフォーマンスの問題が発生する	これにより、メモリの問題が発生し、ノードが再起動する可能性があります。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
プラットフォーム PRB1541236 KB1124245	piwb.instance_eligible_for_updates プロパティを頻繁に変更するとキャッシュがフラッシュされる	このプロパティを変更すると、インスタンス全体のキャッシュがフラッシュされます。これはパフォーマンスの問題につながる可能性があります。インスタンスによっては、このプロパティはほぼ毎日変更されます。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
Project Management PRB1599847	[プロジェクトタスク] ビューを [計画立案コンソール] ビューが正しくなくなり、ボタンが消える		1. [承認された開始日] が [2022 年 7 月] のプロジェクトを作成します。 2. [時間の制約] が [以下以降に開始] で、[開始予定日] が [2022 年 8 月] のプロジェクトタスクを作成します。 プロジェクト自体の制約日は 7 月に設定され、予定日は 8 月です。 3. 計画立案コンソールに移動します。 4. ガントチャートのタイムスケールを [日] に切り替えて、ガントチャートに

問題	簡単な説明	説明	再現手順
			7 月の日付が表示されないようにします。 5. プロジェクトタスクを追加してみてください (クライアント側の計画が有効)。 表示されません。これは、ガントが「7 月」をレンダリングするため、ユーザーがタイムスケールを「年」または「四半期ごと」に設定した場合に機能します。
レポート PRB1657330	スタイルのデフォルトの色が黒に設定されている単一スコアレポートで、ダークテーマで値が正しく表示されない	この現象は、ダッシュボードでのみ発生し、ユーザーがダッシュボードページを読み込んだ後にテーマを切り替えた場合にのみ発生します。	
レポート PRB1659173 KB1429987	Utah で、マルチレベルピボットレポートの PDF をエクスポートすると、ダッシュボードのヘッダーと「分析を有効にする」メッセージが重複する	ダッシュボードを PDF にエクスポートする場合も、同じ問題が発生する可能性があります。	1. インスタンスを開きます。 2. 管理者として操作します。 3. マルチレベルピボットレポート > レポートを表示 > 実行。 4. クリック 共有 > PDF にエクスポート > 生成 > 今 > エクスポート > ダウンロード。 5. ダウンロードしたレポートを開きます。 レポート PDF では、「分析を有効にする」メッセージと重なってレポートヘッダーが表示されます。
レポート PRB1686288	ダッシュボードのクラシックレポートからのドリルダウンにリストビューのタイトルがない		1. クラシック レポートを作成します。 2. [データソース] を [テーブル] に設定します。 3. 「タスク」を選択します。 4. [タイプ] を [垂直バー] に設定します。 5. タイトルを選択します。 6. [スタイル] 構成で [常に表示] に設定します。 7. レポートにリスト ブレークダウンを追加します。 8. リストブレークダウンのタイトルを設定します。 9. スタイル構成で [常に表示] に設定します。 10. リストブレークダウンを保存します。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
			11. レポートを保存します。 12. ダッシュボードを作成します。 13. 作成したレポートをウィジェットとして追加します。
スケ ジュール PRB1673996	測定基準タイムラインに itil ユーザーのコンテツが表示されない	itil の ACL ロールがないため、GlideRecordSecure は測定基準テーブルへのアクセスをブロックします。既存の ACL に基づくと、Utah より前の測定基準タイムライン機能は、これらのテーブルの管理者専用 ACL をバイパスしていました。	1. itil ロールを持ち、admin、itil_admin、metric_admin ロールを持たないユーザーの代理操作を行います。 2. インシデントレコードを開きます。 3. コンテキストメニューをクリックします。 4. [測定基準タイムライン] を選択します。 測定基準のタイムラインウィンドウがポップアップしても、期待されるデータが表示されないことを確認します。
サービス マッピング PRB1690152	チェックポイントリーパーのメモリ使用率が高すぎます	「Checkpoint Reaper」ジョブは大量のメモリを使用するため、大規模なインスタンスで「高メモリ使用率」警告が発生する可能性があります。	1. アプリケーションサービスを作成して設定します。 2. サービスの上に変更を加えて、チェックポイントを作成します。 3. com.snc.sw.mapping.reaper.month_interval プロパティを 0 に設定します。 4. チェックポイントリーパージョブを実行します。 「メモリ使用率が高い」という警告を確認します。
ServiceNow for Teams - コア (ファミリー) PRB1711515	認証後、ユーザーが Web 上で Word アドインを開くことができない	エラーがスローされます。	1. Word オンラインで O365 アドインをサイドロードします。 2. ESG アドインを起動します。 3. ログインしてみてください。 ユーザーは ESG アドインページを表示できません。
Service Portal PRB1681349 KB1553151	[リンクボタン] ウィジェット内のハッシュタグが原因で、別のページに正しくリダイレクトされない	Utahで問題が発生。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
Service Portal PRB1703032 KB1547736	Vancouver インスタンスのポータルで change_calendar レポートをロードすると、エラーメッセージが表示される	Vancouver インスタンスのポータルで change_calendar レポートをロードすると、「ブラウザコンソールに JavaScript があります (There have a javaScript on the browser console)」というエラーメッセージが表示されます。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
Service Portal PRB1710546	ページの更新時に仮想エージェントに表示される未読メッセージ	仮想エージェントとの会話の終了後にユーザーがページを更新すると、仮想エージェントは新しい会話を自動的に開始します。これにより、チャットに未読メッセージが残ります。	1. 任意の Vancouver インスタンスで、Service Portal に移動します。 2. 仮想エージェントとのチャットを開始します。 3. チャットを終了し、チャットウィンドウを最小化します。 4. ブラウザーページを更新します。 仮想エージェントは、ユーザーが開始していない新しい会話を通じて新しいメッセージを表示します。
Service Portal PRB1714519	サービスポータルで、カタログ変数「単純な行テキスト」がエラーをスローする	この問題は、Vancouver インスタンスで確認されています。	1. カタログアイテムを作成します。 2. 単純な行テキストカタログ変数を作成します。 3. サービスポータルでカタログアイテムを開きます システムログを確認し、エラーを確認します。
Sidebar (ファミリーリース) PRB1686838	アクティビティストリームでユーザー @mentioning と、ユーザーがログアウトされる	これは、多数のユーザーがいる場合に発生します。	1. 任意のタスクレコードに移動します。 2. [ディスカッション] ボタンをクリックします。 3. [ディスカッション] ボタンが表示されていない場合は、次のようになります。 a. フォームのコンテキストメニューをクリックします。 b. [URL をコピー] を選択します。 c. その URL に移動します。 4. 少なくとも 1 人の参加者をディスカッションに追加します。 5. [ディスカッションの開始] をクリックします。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
			6. 開いたサイドバーディスカッションポップアップで、@ 記号に続けて姓と名を入力して、追加された参加者の @mentionを開始します。 7. メッセージを送信しないでください。 8. 入力した姓/名に基づいて、ユーザー結果のリストが表示されていないことを確認します。 9. 約20秒待ちます。 予想される動作:レコードは想定されるユーザーをロードします。 実際の動作:数秒後に「セッションの有効期限が切れました」または「セッションの有効期限が切れました (401)」というポップアップメッセージが表示され、セッションがタイムアウトします。
SOAP Web サービス PRB1680193 KB1515233	ログに SOAP NullPointerException (NPE) エラーが記録されている	SOAP 要求が認証されなかった場合や失敗した場合など、一部の状況で NPE がスローおよびログに記録されないようにするためのチェックが必要です。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
Software Asset Management PRB1455478	コンテンツデータサービス (CDS) に、コンテンツを追加または更新するための顧客要求を送信および処理するためのツールがありません	現在、ユーザーがこれらの要求を送信し、CDS チームにタスクが作成されます。この要求の処理には時間がかかり、ユーザーとサポートの間で多くのやり取りが行われます。ケースは解決するまで数週間オープンのままになります。テクニカルサポートはプロセスの一部である必要はありません。	
Software Asset Management PRB1671151	テーブルの列への無効な参照により、リストが Software Asset Management (SAM) ワークスペースにロードされない	cmdb_sam_sw_install テーブルの [プロセッサマッピング] 列に空の参照があるため、ページが SAM ワークスペースビューに表示されません。	

問題	簡単な説明	説明	再現手順
ソフトウェア資産の概要 PRB1681356	Software Asset Management ワークスペースのライセンスワークベンチで真の SaaS 公開者を識別するロジックが正しくない	License Workbench (ワークスペースビュー) では、そのパブリッシャーの製品結果で利用可能なすべての製品をトラバースして、真の SaaS 公開者を決定します。いずれかの製品が真の SaaS である場合、公開者は真の SaaS と見なされます。ただし、その逆は必ずです。さらに、ユーザーがライセンスワークベンチで製品レベルにドリルダウンしても、そのロジックを使用して公開者が真の SaaS であるかどうかを判断しようとします。	
ソフトウェア資産値ビルダー PRB1676345	Software Asset Management (SAM) の値ビルダーのコンテンツに問題がある	ソフトウェア値ビルダータスクコンテンツのテーブル (samp_sp_value_builder) の一部のレコードが正しくないため、ジョブスケジュール「SAM - 値ビルダー使用状況の更新」が失敗する原因となっています。	
Survey Management PRB1584846 KB1277522	サーベイと質問の依存関係が San Diego で Service Portal と Employee Center で機能しない	バックエンド UI 内でのサーベイのテストは正常に機能します。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
System Events PRB1683928	「イベントプロセス 0」ジョブが数日間実行され、スタックに system.upgraded イベントの実行が表示される	「イベントプロセス 0」ジョブが数日間実行され、アップグレードが正常に完了したと表示されているにもかかわらず、スタックで「system.upgraded」イベントがスタックとして表示され続ける。	
システム Export Sets PRB1685206	Utah では URL エクスポート (CSV) の実行が Tokyo より遅い	com.glide.generators.AbstractGridExporter#isDiskBufferedStream() は 2 つのメソッドから呼び出され、1 つではデフォルト設定を true にする必要があり、もう 1	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
KB1449172		つではデフォルト設定を false にする必要があります。	
Table Administration とデータ管理 PRB1603647	TableChunkCopy が長時間実行されると、OnlineAlter のフェーズコピーによってメモリが枯渇する可能性があります	OnlineAlter のログ記録は、20 万行の transaction.max_logs プロパティに依存しないでください。代わりに、過剰なロギングを許可する必要があります。	
テーブルクリーナー PRB1678154	内部システムテーブルのテーブルクリーナーは、重大な影響を与える可能性があります	テーブルクリーナーは、sys_flow_*_chunk テーブルでは許可しないでください。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
KB1441282			
テーブルクリーナー PRB1687769	Utah では、クエリが 30 秒を超えると、テーブルクリーナーが多数のテーブルをスキップする	これにより、クエリが調整済み/調整可能でない限りデータがクリーンアップされないため、不要なデータが蓄積される可能性があります。ユーザーは、テーブルが大きすぎてクリーンアップされていない限り、インスタンスで何かが起こっていることに気付かない可能性があります。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
KB1496723			
UI フィールド管理 PRB1673906	sys_documentation、sys_db_object、sys_security_acl、sys_security_acl_role および sys_user_role に多数のレコードがある場合、[テーブル名] フィールドのロードに時間がかかる		1. ベースインスタンスに多くの言語をインストールします。 2. 数千のテーブルを作成します。 3. 20,000 個の ACL と、それらの ACL 用の 20,000 件の sys_security_acl_role レコードを作成します。 4. item_option_new.do を読み込みます。 予想される動作: ページは他のページと同様に約 5 秒で読み込まれます。 実際の動作: [テーブル名] フィールドがすべてのテーブルラベルをロードして ACL を実行する必要があるため、ページのロードに最大 1 分かかります。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
UI フィールド管理 PRB1706249 KB1550638	Next Experience が無効になっている場合、参照フィールドの検索結果リストがフィールドをブロックする		1. 任意の Vancouver インスタンスにアクセスし、Next Experience を無効にします。 2. Agent Workspace に移動し、任意のインシデントを開きます。 3. 構成アイテムフィールドをクリックし、文字を入力します。 予想される動作: 検索テキストと検索結果を含むリストは、フィールドの末尾から開始する必要があります。 実際の動作: 検索/表示テキストを含むリストがフィールドをカバーします。
UI フィールド管理 PRB1709330	読み取り専用のブールフィールドがかるうじて表示される		1. incident.list に移動します。 2. レコードを開きます。 3. フォームのレイアウトを設定します。 4. フォームに True/False フィールドを追加します。 5. フォーム辞書を設定します。 6. フィールドを読み取り専用に変更します。 フィールドはほとんど表示されません。
UI フォーム管理 PRB1672711 KB1539784	「固定リンクのコピー」通知の問題があります	ユーザーが一番上までスクロールしない限り、[固定リンクのコピー] ポップアップウィンドウは Utah で表示されません。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
UI フォーム管理 PRB1699456	attachment_entry への変更が期待どおりに機能しない	ユーザーが UI マクロ「attachment_entry」を変更すると、そのマクロは機能なくなり、システムログに「_ref_ 変数についてアクセス不能エラー」が生成されます。	1. attachment_entry UI マクロを開きます。 2. 行番号 40 を更新して、jvar_is_state_closed 変数がレコードの From と To のアクティブなフィールドに基づいて評価されるようにします。 3. アクティブな問題を開くか、レコードを変更してファイルを添付します。 4. レコードを閉じます。 予想される動作: マクロは [名前の変更] オプションを非表示にします。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
			実際の動作:名前の変更オプションは引き続き表示されます。
アップグレードセンター PRB1651743 KB1367203	ユーザーがログで複数のエラーを確認する		詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
アップグレードセンター PRB1694520 KB1516821	デモデータの削除に失敗すると、自動化でインスタンスの一時停止ステータスからの復帰に失敗する	これにより、ターゲットインスタンスでイベントキューが一時停止されるという問題が発生します。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
プランのアップグレード PRB1672398	アップグレードプレビューの生成時にアップグレード計画が使用されない	アップグレードプレビューでは、インストールされているアップグレード計画がターゲットバージョンを使用して識別されます。アップグレード計画の対象バージョンは .zip で終わり、アップグレードプレビュー (upgrade_preview_version 表) は .war で終わります。拡張子の不一致が原因で、アップグレードプレビューではインストールされているアップグレード計画を見つけることができず、アップグレード計画を考慮せずにプレビューが生成されます。	
UX フレームワーク PRB1644981 KB1580637	Service Operations Workspace (SOW) の言語を [基本設定] から切り替えると、言語環境が混在する	これはキャッシュの問題です。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
UX フレームワーク PRB1673498	「動的タブ」 として設定されたタブセットで、タブ間をすばやくクリックすると、タブが行ったり来たりジャンプする	ワークスペースで開いているレコードのタブをすばやくクリックすると、タブはインタラクションなしで行ったり来たりジャンプします。	1. Customer Service Management Demo Data (com.snc.customerservice.demo) をインストールします。 2. Demo Data とともに Customer Central (com.sn_csm_customer_central) をインストールします。 3. 連絡先を含む CSM/FSM ワークスペースレコードを開きます。 4. 矢印キーを使用してタブをすばやく切り替え、タブが無限に切り替わる状況を再現します。
UX フレームワーク PRB1679691	Agent Workspace で、コンテキストサイドパネルの翻訳に一貫性がない	コンテキストサイドパネルアイコンのツールヒントが、一部の Tokyo と Utah のインスタンスで予期しない翻訳を行う。	1. CSM ワークスペースと複数の言語がインストールされているインスタンスに移動します。 2. CSM/FSM 構成可能ワークスペースを開きます。 3. ケースをオープンします。 4. コンテキストサイドパネル内の画面右側のアイコンにマウスデバイスを合わせます。 5. ヘッダーバー内の右上のメニューからセッション言語を変更します。 6. ページが更新されたら、ツールヒントの言語を確認します。 それらは翻訳されています。 7. セッションの言語を再度変更します。 8. ページが更新されたら、ツールヒントをもう一度確認します。 それらは翻訳されません。 予想される動作:セッション言語が変更されるたびにツールヒントが変更されます。 実際の動作:ツールヒントが言語でスタックします。後でそれらを変更する唯一の方法は cache.do です。
UX フレームワーク	ユーザーがワークスペースを開くと、BucketStats エラーが /		1. 任意のワークスペースを開きます。 2. /xmlstats.do を開きます。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
PRB1681506	stats.do からのログに表示される		3. 問題が断続的に発生するため、必要に応じて手順 2 を繰り返します。 4. ログでエラーを確認します。
UX フレームワーク PRB1683588	「SOW インシデントの概要」など、UI Builder ページのレイアウトとスタイリングに問題がある	[SOW インシデントの概要] ページのレイアウトとスタイリングが Vancouver で正しく機能しません。コンテナのコンテンツが溢れているようで、ページ全体が乱れています。	
UX フレームワーク PRB1685563 KB1517574	キャンバスエラーポップアップがレコードに表示され、フォームのロード速度が遅くなる	スクリプト化されたルート条件ペイロードが大きすぎるため、すべての親マクロコンポーネントプロパティが取り込まれません。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
UX フレームワーク PRB1686283	新しいタブを開くと、非アクティブなタブから複数の SnFormDataConnected を呼び出しが発生する	ユーザーが新しいタブ (L1 タブまたは子タブ) でレコードを開くと、そのレコードのデータをフェッチするために SnFormDataConnected を呼び出しを 1 回だけ行う必要があります。ただし、複数の SnFormDataConnected を呼び出しが同時に行われるため、アプリケーションの処理速度が低下します。	
UX フレームワーク PRB1696803 KB1575391	アップグレード後、ユーザーが作成したカスタムワークスペースにレコードの [詳細] タブがロードされない	断続的に、ワークスペースの [詳細] ページが空として表示され、フィールドが入力されません。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
仮想エージェント PRB1673994 KB1370199	Utah で、com.glide.csda.chatbot チャットポップオーバーが true に設定されている場合、仮想エージェント	アイコンにはアップロードされた画像が表示されますが、代わりにデフォルトのアイコンが表示されます。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。

問題	簡単な説明	説明	再現手順
	トアイコンが上書きされる		
仮想エージェント PRB1689593 KB1521548	va_language_detection_subflow のログ記録時のコンパイル前のエラー	新機能として作成された Vancouver インスタンスで、「事前コンパイル済みフロー global.va_language_detection_subflow コンパイルに失敗しました」というエラーが定期的にスローされます。	詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
Virtual Agent Web Client PRB1676768 KB1580320	Web クライアントで、[すべて表示] ボタンと [上に新しいメッセージを表示] ボタンが重複する		詳細については、リストの KB 記事を参照してください。
Visual Task Boards PRB1659764	レコードのポップアップアップウィンドウにボタンまたはブレッドクラムが正しく表示されず、長い場合は簡単な説明が折り返される	この問題はビジュアルタスクボード (VTB) に関連している。[Visual Task Boards を表示] コンテキストメニューを開くと、VTB が表示されます。CSTSK リンクをクリックすると、ポップアップフォームが開きます。このフォームは正しく表示されていません。ボタンが重なっているか、ボックスの端から部分的に表示されています。ブレッドクラムが互いに重なり合っています。	
ビジュアルタスクガイド付きボード PRB1696462	ガイド付きボードでは、ボードの所有者がシステムにいないと、一部のカードがボードのメンバーに表示されません	ボードの所有者がシステムから削除されると、ボードの他のメンバーにカードの一部が表示されなくなります。この問題は、所有者がいなくなった場合でもすべてのカードが表示される Tokyo バージョンでは発生しません。	
ウォークアップエクスペリエンス	Utah ベースインスタンスでのタイムゾーンの動作に一貫性がない	GlideDateTime API を使用しているときに、Walk-up ベースインスタンスウィジェットの日付形式が「dd/	

問題	簡単な説明	説明	再現手順
PRB1689071		mm/yyyy」形式で正しく機能しません。	

その他のすべての修正

Washington DC で修正された他のすべての PRB のリストを表示するには、「[Washington DC におけるその他のすべての修正](#)」を参照してください。

Washington DC におけるその他のすべての修正

Washington DC リリースには、重要な問題の修正が含まれています。

Washington DC は 2024 年 2 月 1 日にリリースされました。

- ビルド日:01-25-2024_1625
- ビルドタグ:グライドワシントンDC-12-20-2023__patch0-01-17-2024

i 重要:
インスタンスのアップグレード方法の詳細については、「[ServiceNow アップグレード](#)」を参照してください。

リリースサイクルの詳細については、「[ServiceNow リリースサイクル](#)」を参照してください。

i 注:
このバージョンは、ServiceNow 政府機関向けコミュニティクラウド (GCC) 環境での使用が評価されています。

このリリースで修正された問題のダウンロード可能でソート可能なバージョンについては、[ここ](#)をクリックしてください

その他のすべての修正

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
アクセス制御	PRB1684884	フィールド値は、フォームに表示されていて もリストに表示されない
アクセス制御	PRB1554832	ACL チェックが多すぎる と、sc_cat_item_producerおよび item_option_newレコードを開くのが遅くなる
アクセス制御	PRB1666896	[データ条件] セクションが ACL フォームに 2 回表示される
アクセス制御	PRB1680060	対象基準でグループを使用する場合、データ フィルタリングが適用されない

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
アクセス制御	PRB1681837	Agent Workspace の一部のフィールドでリスト編集が機能しない
アクセス制御	PRB1690950	ワークスペースのダッシュボードで「テーブルナレッジ」のフィルターを追加できない
アクセス制御	PRB1665562	継承されたロールはユーザーグループから削除されるが、別のロールには継承されたロールが残っている
アクセス制御	PRB1699381	snc_internalロールが非アクティブなユーザーに誤って割り当てられている
アクセス制御リスト (ACL) ルール	PRB1683744	データフィルタリングシステム プロパティがオンになっている場合、sys_ux_lib_component_attr内にレコードが作成されない
アクセス制御リスト (ACL) ルール	PRB1708039	KB1553688で指摘したように、単純なリストウィジェットの構成に誤りがありました
アクティビティストリーム	PRB1704891	構成可能なワークスペースの [作成] セクションに入力すると、アクティビティストリームがちらつく
アクティビティストリーム	PRB1690236	Activity Stream でシステム更新が誤ってシステム管理者として表示される
アクティビティストリーム	PRB1669417	CLE が Agent Workspace のリッチテキストエディター (HTML タイプのフィールド) でインラインで暗号化されない
アクティビティストリーム	PRB1687498	システムプロパティ glide.ui.mentions.default_limitを介して10 +ユーザーを表示するように構成されている場合、@mentionポップアップにはスクロールバーがありません
アクティビティストリーム	PRB1703685	監査されていないフィールドを変更すると、ブラウザで無限ループが発生する可能性があります

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
アクティビティストリーム	PRB1671185	Mac Chrome で表示すると、[ジャーナル] フィールドの書式設定済みテキストがワークスペースで正しくレンダリングされない
アクティビティストリーム	PRB1675461	インシデントの作成後、作業メモがアクティビティストリームに追加されない
アクティビティストリーム	PRB1680020	ライブフォームが無効でダークテーマが有効になっている場合、メールコンテンツがアクティビティストリームに表示されない
アクティビティストリーム	PRB1688395	アクティビティストリームのフィルター機能のクリック可能領域が小さすぎます
アクティビティストリーム	PRB1633747	問題リンクがワークスペースではなくバックエンドにリダイレクトされる
アクティビティストリーム	PRB1635413	
アクティビティストリーム	PRB1668203	MIME タイプが大文字の場合、画像の添付ファイルがワークスペースアクティビティストリームに実際のプレビューを表示しない
アクティビティストリーム	PRB1671855	構成可能ワークスペースで「timeago」設定が優先されない
アクティビティストリーム	PRB1678530	[作成/アクティビティ] セクションの [投稿] ボタンがペインの半分の幅に拡大されます
アクティビティストリーム	PRB1691632	Vancouver に更新した後、ワークスペースの [詳細] タブの [構成] フィールドが小さすぎる
アクティビティストリーム	PRB1700282	[概要] をクリックすると、[成功] 管理コンソールで毎回新しいタブが開きます
適応認証	PRB1701019	場所ヘッダーの編集により IH フローが失敗する
Advanced Work Assignment	PRB1679606	isLiveAgentAvailable が、要求者とエージェントが異なるドメインに存在するドメイン分離インスタンスで機能しない

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
Advanced Work Assignment	PRB1669604	あるエージェントから別のエージェントにインタラクションを転送すると、システムログに代理操作ログが記録される
Advanced Work Assignment	PRB1692554	転送キューでエージェントによって自動承認されると、「エージェントが参加しました」メッセージが重複する
Advanced Work Assignment	PRB1665222	新しいインタラクションを作成すると、interaction_related_recordテーブルに予期しないレコードが作成される
Advanced Work Assignment	PRB1687719	最大待機時間の Advanced Work Assignment キュートリガーが、定義された最大時間が経過しても実際にはトリガーされない
Advanced Work Assignment	PRB1687760	レコードが異なるチャンネルに一致する場合、「awa_document_size」レコードが更新されない
Advanced Work Assignment	PRB1707250	AWA 作業アイテムリポジトリ「getWorkItemsForAgent」からのクエリが遅い
Advanced Work Assignment	PRB1699640	Advanced Work Assignment (AWA) ログがメモリ割り当てに貢献している
エージェント支援	PRB1694369	Service Operations Workspace (SOW) で、管理者権限を持つユーザーのエージェント支援で [ナレッジの添付を解除] が機能しない
エージェント支援	PRB1700049	[Search for Predictive Intelligence] タイプの検索リソースでテキストを検索すると、エージェント支援の検索が機能しない
エージェント支援	PRB1699556	Service Operations Workspace で、エージェント支援の「フラグ」記事に誤ったカナダフランス語の翻訳がある
エージェント支援	PRB1708691	エージェント支援で解決策をコピーする場合、HTML フィールドはサポートされない

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
エージェントカレンダー [従来]	PRB1690207	[作成時にエージェントスケジュールユーザーを制限する (restrict agent schedule user on create)] ビジネスルールの結果として、オンコールスケジュールが機能しない
エージェントチャット	PRB1662258	エージェントがワークスペースで新しいインタラクションを保存すると、ログにエラーが記録される (/GlideInteraction_Mutation/exit_chat - インタラクション -1 が見つかりません)
エージェントチャット	PRB1683331	[ワークスペース] ビューで、第 3 のユーザーから表示すると、エージェントチャットのアバターが正しく表示されない
エージェントチャット	PRB1692841	メッセージでリンクが送信されたときにコンソールに表示され、会話処理が中断される
エージェントチャット	PRB1612416	仮想エージェントチャットで、「0」を含むリンクを貼り付けるとリンクが壊れる
エージェントチャット	PRB1664303	ユーザーが CSM ワークスペースで「コンポーネントが構成されていません」というメッセージが表示される
エージェントチャット	PRB1692876	転送後にモバイルでエージェントの名前が変更されない
エージェントチャット	PRB1698155	[KB を検索] クイックアクションで、エージェントではなく要求者の言語で記事のプレビューが表示される
エージェントチャット	PRB1699486	チャット前のサーベイで、応答サマリーがエージェント側にずれている
エージェントチャット	PRB1700232	エージェントが開始するメッセージングは、sys_userを拡張するテーブルの非同期メッセージング (mweb=messaging) をサポートする必要があります
エージェントチャット	PRB1719479	エージェントとしてチャットを受け入れ、ブラウザーウィンドウを最大化した後、ワークスペースの下部に空白がある

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
エージェントチャット	PRB1717322	「com.glide.awa.client_logging.enabled」プロパティがオンになっている場合、自動アサインの [card_and_tab] オプションでタブが開かない
エージェントチャット	PRB1541718	プロパティは受信トレイの Macroponent に渡されないため、タブの上限に達した場合でもインタラクションがエージェントに割り当てられる
Agent Workspace	PRB1655580	問題レコード関連リスト [影響を受ける CI] で、ユーザーが [追加] をクリックすると、結果が表示される前に「0 個のアイテムが選択されました」というメッセージが表示されたロード画面が表示される
Agent Workspace	PRB1685827	Agent Workspace ビューとプラットフォームビューの参照フィールドのオートコンプリートソートに違いがある
Agent Workspace	PRB1687303	Microsoft EDGE ブラウザーで [作成] セクションと [アクティビティ] セクションのワークスペースビューが切り替わり続ける
Agent Workspace	PRB1686037	platform-analytics-workspace では、ダッシュボードにステータスの選択肢が数字で表示されます
Agent Workspace	PRB1688116	Utah で、Agent Workspace ビューの最初のクリックで [フォームを全画面表示] トグルボタンが機能しない
Agent Workspace	PRB1701171	Agent Workspace ケースの「クリックしてダイアル」で、ケースへの参照を含む taskID が追加されない
Agent Workspace	PRB1710214	HR Agent Workspace の複数選択フィールドの折り返しに問題がある
Agent Workspace	PRB1721347	UI ポリシーを適用してセクションを表示すると、セクションの下にセクションヘッダーやフィールドが表示されない

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
Agent Workspace	PRB1715584	ユーザーが Agent Workspace にリダイレクトされたときに情報メッセージが表示されない
Agent Workspace	PRB1664989	ワークスペースで、「クエリ前」ビジネスルールの setLimit が、参照フィールドルックアップのリストレコード数とページネーションに反映されない
アジャイルボード	PRB1684677	新しく作成されたスプリントをクリックすると、空のページに戻ります
Agile Development	PRB1684682	Safe Board チームの値のテキストが折り返されない
Agile Development	PRB1675608	SAFe ART スプリントには、[親] フィールドを参照する [SAFe スプリント] 関連リストがあります
Agile Development	PRB1701283	欠陥が [対応中] から [テスト/QA] に移行すると、[完了率] が 0 に変わる
AI Search	PRB1676568	sys_user テーブルを頻繁に更新すると、ais_index イベントで大量の流入が発生する
AI Search	PRB1658914	Utah にアップグレードした後の syslog でエラーが発生しました。「ERR011:テーブル ml_trainer_glide_ais_search_signals のデータセットには最低 10000 レコードが必要です」
AI Search	PRB1706747	EC ポータルで、AIS トピック検索ウィジェットに関連のない検索結果がある
AI Search	PRB1625004	テーブルに関連のないスクリプト化された UC が多数ある場合、KB テーブルと sc_cat_item テーブルの検索でパフォーマンスの問題が発生する
AI Search	PRB1689009	Vancouver インスタンスで ais_connection の書き込みがゼロになると、アプリノードがダウンする

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
AI Search	PRB1657278	グローバル検索の完全一致クリックと GR クリックで、ユーザーがページを更新するまでレコードが開かない
AI Search	PRB1681635	Next Experience グローバル検索で、注文ガイドの検索提案を選択すると、ユーザーがカタログのページに移動する
AI Search	PRB1683618	インデックス付きソースの URL フィールドマッピングが機能しない
AI Search	PRB1687717	3 か月後にインデックス条件が更新されると、インデックス作成プロセスがスタックする
AI Search	PRB1693120	Q&A Genius 結果の非常に長い回答が「もっと表示」で切り捨てられる
AI Search	PRB1672756	言語がドイツ語またはフランス語に設定されている場合、Genius 結果のツールヒントの「for」という単語が翻訳されない
AI Search	PRB1676047	追加のインデックス作成データソースまたは完全なテーブルインデックスデータソースイベントは、既に進行中の場合はブロックする必要があります
AI Search	PRB1677989	2 つのテーブルのプリフィックスと番号が同じ場合、グローバル検索では 2 つではなく 1 つのレコードのみが取得されます
AI Search	PRB1685095	新しいレコードが挿入されたときの AI Search (AIS) への「クエリによるカスケード更新をスキップ」呼び出し
AI Search	PRB1688120	レコードがデータソースフィルターに一致しないため、不要な「updateByQuery」操作がトリガーされる
AI Search	PRB1663151	グローバル検索で、検索結果と「最近表示した」アイテムが別の言語に表示される

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
AI Search	PRB1663905	応答サイズを小さくするために、検索イベントをサーバー側で非同期的にログに記録する必要がある
AI Search	PRB1676535	暗いバナーを使用すると、グローバル検索アイコンの色が正しくない
AI Search	PRB1686636	AI Search インデックス付きソースの子テーブルがフィールド設定とマッピングレコードに「map_to_raw」属性を使用しているため、エラーが発生する
AI Search	PRB1690789	すべてのドキュメントが英語以外の言語である場合、AI Search Glide が古いインデックス付きドキュメントを削除するための deleteByQuery を発行しない
AI Search	PRB1691379	カスタムテーブルのクリック数を記録する場合、ラベルにはais_search_teaser_titleが使用され、エンコードされた文字が含まれています
AI Search	PRB1693595	ユーザーがログインしていない場合、AI Search 検索イベントがログに記録されない
AI Search	PRB1694456	強制された色が検索結果カードに正しく適用されない
AI Search	PRB1696318	AI Search で、ユーザーが Genius 結果の 3 番目のボタンにテーマを設定できない
AI Search	PRB1698373	AI Search データブローカー呼び出しは、グローバル検索が Zing の場合でも実行されます
AI Search	PRB1704173	トピックページの検索リソースが英語以外の言語で機能しない
AI Search	PRB1711447	アップグレード後、AI Search の [提案] および [最近の表示] ナビゲーションが期待どおりに機能しない
AI Search	PRB1716626	「glide.ais.enabled」を切り替えても「AisQueryExtender CacheLoadWorker」および

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
		「PartitionHealth StatusProcessor」 スレッドが再作成されない
AI Search	PRB1692136	「ListConditionConverter」 が動的フィルターをスキップする
AI Search	PRB1730209	Employee Center の検索結果で記事にカーソルを合わせると、記事の本文全体が表示される
AI Search	PRB1717120	ポータルアプリシエルで、searchContextConfigId の以前の値が空であるため、完全一致構成が呼び出されない
AI Search	PRB1722030	複数のソースがある場合、ファセットが正しくエンコードされない
AI Search	PRB1685337	シグナルテーブルに ACL がない
AI Search Assist	PRB1687550	プロパティ glide.knowman.search.show_published を「true」に設定した後でも、AI Search Assist ウィジェットに更新日が表示されない
Service Portal の AI Search	PRB1673799	画像が正方形でない場合、検索結果画像は圧縮されます
AI Search Glide	PRB1653832	アプリノードの再起動/アップグレード中にフェイルオーバーが中断されると、glide.ais.server_writableが false のままになることがあります
AI Search Glide	PRB1588410	ケースフローで最初の AIS クエリがタイムアウトする
分析ハブ	PRB1685560	分析ハブカレンダーで週番号が正しく表示されない
アプリケーションの コラボレーション	PRB1690602	委任開発者ロールはグローバルスコープ対象のアプリに付与できますが、これは想定されていません

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
アプリケーションインストールエンジン	PRB1708406	自動インストールで条件付きコンテンツのインストールに失敗する
アプリケーションインストールエンジン	PRB1716980	アプリ パッケージの UI フォーム セクションは、ターゲット ビューを削除する代わりに既定のビューを削除します
アプリケーションインストールエンジン	PRB1714586	キュープロパティ「sn_appclient.use_queued_installation」が true に設定されている場合のアプリのインストールに関する問題
アプリケーションマネージャー	PRB1709260	カスタムアプリ「Vocus Service Order Management」に、Vocuscommunicationstest に関する My Company アプリケーションで問題があります
アプリケーションマネージャー	PRB1694876	アップデートのないアプリが [アップデート] タブに表示される
アプリケーションマネージャー	PRB1686321	プラグインがインストールのためにキューに入れられ、ノードが再起動すると、ロックされたままになり、他のプラグインをインストールできなくなります
アプリケーションマネージャー	PRB1695699	Admin Center でアプリケーションが誤って推奨として表示される
アプリケーションマネージャー	PRB1687065	「インストール済みタブ」でページネーションが正しく機能しない
アプリケーションマネージャー	PRB1695342	sys_metadata_link.tablename フィールドの最大長は 40 で、sys_db_object.name の max_length は 80 であるため、「アプリケーションの作成中」ファイルで値が切り捨てられる
アプリケーションマネージャー	PRB1685012	アプリケーションマネージャーのハードコードされた文字列「インストールされたバージョン{0}」に関する問題
Application Navigator	PRB1683254	固定されたメニューヘッダーのメニューアイテム (ラベル) が一時的に「未定義」と表示される

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
アプリケーション ポートフォリオ管理	PRB1682705	ビジネスサービスはAPM機能マップでどのようにアップしていないか
アプリケーション ポートフォリオ管理	PRB1683307	Software Asset Management (SAM) 基盤、次に Application Portfolio Management (APM) がこの順序でインスタンスにインストールされている場合、ソフトウェア製品への参照は含まれません
アプリケーション ポートフォリオ管理	PRB1641084	新しいビジネスアプリケーションレコードの作成時にアプリケーションカテゴリが空の場合、エラーがスローされる
アプリケーション ポートフォリオ管理	PRB1652997	ユーザーは会計期間の APM インジケータースコアを生成できません
アプリケーション ポートフォリオ管理	PRB1683294	ビジネスアプリケーション (cmdb_ci_business_app) のreport_view ACL は必要ありません
アプリケーションス コーピング	PRB1687716	sys_store_appライセンスの変更以降、ユーザーはプライベートスコープのメタデータを編集できます
アポイントメントの 予約	PRB1683239	他の変数で Enter キーを押すと、予約の選択ウィンドウが表示されます
アポイントメントの 予約	PRB1685007	テリトリーを使用した予約が、スクリプト化された可用性メソッドで機能しない
アポイントメントの 予約	PRB1686530	Walk-up ポータルに実行タイミングバージョンのアップグレードが必要
アポイントメントの 予約	PRB1696311	複数行の変数セット (MRVS) がレコードプロデューサーに存在する場合、予約レコードが作成されない
アポイントメントの 予約	PRB1709073	ポータルで、[詳細カレンダー] ビューで週と月が翻訳されない
Approvals	PRB1662479	レコード監視を呼び出すときに (読み取り ACL を介して) ApproverUtils がエラーをスローする

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
Approvals	PRB1693263	「承認イベント (タスク)」ビジネスルールで、sysapproval 値が空であると、不要な approval.rejected.by.other イベントが発生することがある
Approvals	PRB1700744	承認が拒否されると、エスカレーションレコードの [作業メモ] と [状態] が 2 回更新される
アプリテンプレート フレームワーク	PRB1680801	メタデータにsys_kmf_crypto_caller_policy ファイルが含まれている場合、ユーザーはテンプレートを保存できません
アプリテンプレート フレームワーク	PRB1703068	テンプレートからアプリを作成するとき、sys_ui_formスキャンペイロードでエラーが発生する
アーカイブルール	PRB1693969	Glide.db.archiving.max_consumer_workers が減少しても、すぐには適用されない
アーカイブルール	PRB1669506	アーカイブ破棄ルールが機能せず、常に 0 件のレコードが表示される
アーカイブルール	PRB1673868	参照保持フラグが間違ったアーカイブ関連レコードから取得される可能性がある
アーカイブルール	PRB1683971	UI リストビューのリストメニューからアーカイブされた場合、sys_archive_runレコードがアクティブステータスのままになる
アーカイブルール	PRB1687706	このエンティティにアーカイブルールが設定されていない場合、辞書エンティティに対してアーカイブレコードリンクを作成しないでください
アーカイブルール	PRB1705332	メインレコードがアーカイブされても、回転されたテーブルの関連レコードが削除されない
アセスメント	PRB1690951	ベースインスタンスの「アセスメントを Test Management に同期」ビジネスルールが実行され、asmt_assessable_recordテーブルで大規模なテーブル処理がトリガーされる

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
アセスメント	PRB1698857	Vendor Risk Management TPCRM スコアリングの問題
アセスメント	PRB1708119	印刷可能な評価に問題がある
Asset Management	PRB1682604	Hardware Asset Management のインストール後に、資産/ハードウェア資産のアクティビティストリームフィールドプロパティを変更できない
Asset Management	PRB1657495	ベースインスタンステーブルに「display=true」の複数のフィールドがある
Asset Management	PRB1650760	親にユーザーがアサインされていない場合、消耗資産がユーザーに割り当てられます
Asset Management	PRB1686040	転送オーダー/TOL がキャンセルされた場合、資産の [予約目的] フィールドが空ではない
Asset Management	PRB1690480	資産ワークスペースの [資産運用] で、在庫注文メニューが機能しない
Asset Management	PRB1690937	選択したレコードとは異なり、転送オーダーライン (TOL) の一括更新に時間がかかりすぎてバッチで更新が実行される
Asset Management	PRB1700035	資産が転送オーダーにリンクされていない場合、[予約目的] フィールドが空でない
Asset Management	PRB1704734	固定資産で、[合計残余価値] を使用すると、[総コスト]、[残余価値]、および [固定資産の減価償却合計] に誤った通貨が表示される
Asset Management	PRB1709605	alm_assetテーブルの「減価償却」列の孤立参照が原因で、「DepreciationUtils」スクリプトインクルードが CI を更新する
Asynchronous Message Bus (AMB)	PRB1696132	AMBSessionMessageQueue が大きくなりすぎ、送信メッセージを拒否する

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
Asynchronous Message Bus (AMB)	PRB1685886	AMBPublishCacheManager の初期化エラーは、sys_amb_messageから最大メッセージ番号を取得するときに整数オーバーフローによって発生する
ATG - Glide インターフェイス	PRB1717972	予測結果は、ml_predictor_results_task テーブルではなく ml_predictor_results テーブルに保持されます
レコードの添付ファイル	PRB1668669	公開テーブルから添付ファイルを取得すると、ログインページにリダイレクトされずにセキュリティ例外が表示される
レコードの添付ファイル	PRB1700242	ユーザーが削除した添付ファイルの URL をクリックすると、「????????????????」と表示される
レコードの添付ファイル	PRB1687437	テーブルスコープが、スコープレベルの添付ファイルタイプのセッションスコープと一致しない
レコードの添付ファイル	PRB1718623	拡張子の名前を .pdf から .PDFに変更し、インシデントレコードに添付し、添付ファイルをダウンロードして PDF ファイルを更新しようとする、PDF.pdf拡張子が表示される
監査履歴	PRB1587381	レコードが削除され、保留中のトランザクションがキャンセルされた場合、sys_audit_deleteエントリは記録されません
監査履歴	PRB1620927	英語以外の言語に設定されている場合は、新しい SNC.SeismicEmbeddedHelpContentDownloader().downloadSeismicContents(gs.getProperty('glide.sys.language'));動作しません
監査履歴	PRB1689518	アレイタイプ値を持つテーブルに対する追加の SQL クエリ
監査履歴	PRB1714316	「監査」が true に設定されているアレイタイプフィールドに対して監査が作成されない
認証	PRB1685451	glide.product .image.light で無効な画像が参照されると、MFA 画面が Next

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
		Experience に再び表示され、ユーザーがログインの一部として MFA コードを検証できない
認証	PRB1705828	[REST API アクセスポリシーの優先順位付け] の情報リンクが誤ったドキュメントサイトにリダイレクトされる
認証	PRB1685577	インスタンスで ACR が有効になっている場合、OAuth トークンがアクセストークンを取得できない
認証	PRB1689313	MFA 用に生成されたバーコードが Google Authenticator で「QR コードを解釈できません」というエラーが表示される
認証	PRB1622442	MFA セットアップページが Now Mobile の Next Experience UI に正しく表示されない
認証	PRB1687990	OAuth 認証コードの URL エンコードが、特殊文字「 」を含むクライアント ID で機能しない
認証	PRB1692654	トークンが最初の使用時にエラーをスローする：「ServiceNow SCIM API に対する Oauth 2.0 プロビジョニング (Oauth 2.0 provisioning against ServiceNow SCIM API)」
認証	PRB1697762	WWW 認証ヘッダーが正しくない
自動テストフレームワーク (ATF)	PRB1669047	Next Experience アプリシェルにロードされるページをテストするときに、「テスト中」バナーがクライアントテストランナーに表示される
自動テストフレームワーク (ATF)	PRB1673916	ユーザーがサーベイフォームで「参照」データタイプの質問の値を設定すると、ATF ページインスペクター/テストが失敗する
自動テストフレームワーク (ATF)	PRB1679608	テストが読み取り専用ユーザー (snc_read_only) を代理操作すると、ATF スクリーンショットが取得されない

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
自動テストフレームワーク (ATF)	PRB1687511	ATF の「ページ上のテキストのアサート」ステップが失敗したときにユーザーに通知するのに非常に長い時間がかかる
自動テストフレームワーク (ATF)	PRB1690443	Agent Workspace での代理操作を使用した Automated Test Framework (ATF) テストがエラーで失敗する
自動テストフレームワーク (ATF)	PRB1692861	Automated Test Framework (ATF) で、ロックアウトされたユーザーの代理操作によってランナーがクラッシュする
自動テストフレームワーク (ATF)	PRB1692974	Automated Test Framework (ATF) の進捗状況バーに「アクセスが拒否されました」というメッセージが表示される
自動テストフレームワーク (ATF)	PRB1697997	Automated Test Framework (ATF) の .nil() テストで予期しない結果が返される
自動テストフレームワーク (ATF)	PRB1700270	[複数行変数セット (SP) に行を追加] を実行した後、ページ全体をキャプチャできない
Benchmarks	PRB1686559	JavaScript 評価中にエラーがスローされ、「返された JavaScript 評価:スクリプト内の NaN」
自分のライセンスを使用する (BYOL) - Microsoft	PRB1694277	Amazon Web Services (AWS) の Windows サーバーは、BYOL ではないものの、「自分のライセンスを使用する」(BYOL) とマークされている
キャッシュ	PRB1650345	タグベースのマッピングがロードされない
キャッシュ	PRB1667793	大量のためにモジュールアクセスポリシーのキャッシュに失敗する
キャッシュ	PRB1709933	ノードの再起動タイムスタンプ後に更新されるカタログの再起動済みノードでキャッシュ同期が機能しない
キャッシュ	PRB1688294	ActionLayoutProvider が GlideRecords をキャッシュして、不要なメモリ使用が発生する

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
キャパシティと予約の管理	PRB1685237	キャパシティタイプが [エージェントスケジュール] で、アサインが DST 日より前に開始され、それ以降に終了する場合、アサインは機能せず、すべてのエージェントのキャパシティがいっぱいである则表示される
HR Service Delivery の Case and Knowledge Management	PRB1714187	委任ルールの簡単な説明が [詳細な委任リスト] ウィジェットで翻訳されていない
ケース API	PRB1655776	sn_customerserviceケースの REST API で番号によるソートが機能しない
Case Management	PRB1684221	ユーザーに割り当てられた sn_customerservice.case_viewer ロールが原因で、ケースに対して特定のアクションを実行できない
Case Management	PRB1685638	重大なケースのキャンセルによって誤った値が設定される
Case Management	PRB1687905	Performance Analytics (PA) インジケータソース「Cases.Open」に再オープンされたケースが含まれていない
Case Management	PRB1715605	拡張ポイント 'sn_cs_sm_request.CSMRequestIntegrations に、すぐに利用可能な実装の関数が欠落している
Case Management	PRB1717695	Vancouver アップグレード後、ユーザーサービスケースが解決されると、アクションボタンが表示されない
変更諮問委員会 (CAB) ワークベンチ	PRB1705727	CAB 会議出席者の出席ステータスが受信メールで更新されない
変更諮問委員会 (CAB) ワークベンチ	PRB1710186	却下モデルの変更諮問委員会 (CAB) ワークベンチで、必須アイコンがアスタリスクではない
Change Management	PRB1714904	変更リスクアセスメント定義が変更要求と一致しなくなった場合、[完了した変更リスク

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
		アセスメント] UI アクションは表示されません
Change Management	PRB1683525	構成クラスのテーブル名が「cmdb_」で始まっていない場合、影響を受ける CI を変更要求に追加してもスクロールバーが表示されない
Change Management	PRB1696980	変更 (CHG) レコードを開くと、速度が低下したり、ノードが応答しなくなったりする可能性があります
Change Management	PRB1676190	許可されていない変更のプロパティ「CI クラス包含」スラッシュバケットリストのクリーンアップが必要です
Change Management	PRB1688208	Flow Designer の [標準的な変更の要求を作成] アクションが、標準的な変更の要求ではなく通常タイプの 変更要求を作成 している
Change Management	PRB1671604	gs.getMessage() はアポストロフィの前にバックスラッシュまたはエスケープ文字を表示します
Change Management	PRB1686593	変更タスクがクローズされたときに [実終了日] が設定されない
Change Management	PRB1690943	CHG フォームで動的グループを展開すると、動的 CI グループクエリのすべての CI が取得される
Change Management	PRB1692419	ChangeRiskDetailsHelper が非グローバルコールを受け入れない
Change Management	PRB1696126	変更諮問委員会 (CAB) カレンダーで、[カレンダー] ビューで別のアジェンダアイテムに切り替えると、誤った日の関連スケジュールが取得される
Change Management	PRB1697868	変更モデルを使用した変更の作成が機能せず、「414 要求 URI が大きすぎます」と表示される
Change Management	PRB1699111	変更リスクアセスメントで添付ファイルがコピーされない

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
Change Management	PRB1704265	一部のオブジェクトでは、ITSM きめ細かなロール「Change Management」ではなく、itil ロールが依然として使用されている
Change Management	PRB1704268	一部のオブジェクトでは、ITSM きめ細かなロール「task.approval_set」の代わりに itil ロールが引き続き使用される
Change Management	PRB1712494	[標準的な変更テンプレート] 関連リストでフィルターフィールドが部分的に非表示になる
Change Management	PRB1716432	ベースインスタンスオブジェクト受信メールアクション「変更の更新」および「変更タスクの更新」で、ITSM/CMDB きめ細かなロールの代わりに「itil」ロールを使用するか、組み合わせた条件が引き続き使用される
Change Management Collision Detector	PRB1700503	[Clear Conflicts] ビジネスルールが競合レコードに対して null クエリを実行できる
Classic HR Service Delivery Agent Workspace	PRB1689816	従業員関係ケースで、「申し立ての対象」タイプの関係者が削除されても、その変更は「申し立て」レコードに反映されない
クライアントスクリプト	PRB1700827	console.log() ステートメントを使用するため、クライアントスクリプトの「書き換えエンドポイントリンク」が HealthScan 結果に表示される
クライアントスクリプト	PRB1685901	コントローラー上のスクリプト化されたイベントハンドラーによってページが表示されない
Cloud Provisioning and Governance	PRB1670143	AWS の CPG Day2 操作が CyberArk で機能しない
Cloud Provisioning and Governance	PRB1675504	route_result列に Utah の CAPI 応答が入力されない
Cloud Provisioning and Governance	PRB1511493	タブ間でのクラウドユーザーポータルカタログ変数 UI の複製

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
Cloud Provisioning and Governance	PRB1641341	MID Server 選択は CPG でサポートされています
Cloud Provisioning and Governance	PRB1658891	イベントとレスポンスのマッピングによって作成された AWS のロードバランサーの名前は object_id に設定されますが、object_id として ARN を取得する必要があります
Cloud Provisioning and Governance	PRB1690795	Cloud Provisioning and Governance では、セキュアシェル (SSH) 秘密鍵をダウンロードできない
Cloud Provisioning and Governance	PRB1706665	クラウドで CI をカスケード廃止すると、ハードウェアタイプのレコードも廃止される
CMDB 360	PRB1715750	クラスの切り替えが CMDB 360 データで機能しない
CMDB CI クラスマネージャー	PRB1675347	ユーザーがクラスマネージャーで既存の調整ルールを更新しようとすると、新しい調整ルールが作成されます
CMDB データマネージャー	PRB1678210	廃止が定義されている場合の依存 CI の廃止の問題
CMDB データマネージャー	PRB1693549	CMDB データマネージャーポリシーの実行が Vancouver でスタックし、「cmdb_data_management_task」テーブルに「has_manual_process」列がない
CMDB データマネージャー	PRB1706339	管理者以外のユーザーによって作成された場合、証明書ポリシーの作成と実行が失敗する
CMDB クエリビルダー	PRB1679946	qb_query_statusのルールに「テーブルクリーナーを使用して QBStatusRecordsToDelete する」スクリプトインクルードが原因でメモリ不足 (OOM) エラーが発生する
CMDB から CSDM へのデータ同期	PRB1683245	「提供終了」および「廃止」を含む構成アイテムのレコードが非アクティブである
コード署名	PRB1666452	一括署名ジョブのテーブルリストにあいまいなエントリがある

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
Column Level Encryption Enterprise	PRB1699051	「glide.attachment.extensions」プロパティがオンで、特定の拡張子が許可されている場合、ユーザー指定のキーをアップロードできない
Communities	PRB1675757	[CSM コミュニティ] ページで、ユーザーが「互換性のない単位が見つかりました: '\$csm-primary-text-size': no throw error」というエラーが表示される
Communities	PRB1699520	コミュニティで、イベントの「ゲストリストをダウンロード」でゲストリストがダウンロードされない
Communities	PRB1700381	コミュニティポータルの下の [プロファイルの編集] をクリックすると、空のページが表示されます
Communities	PRB1718840	コミュニティポータルのウィンドウの左下に検索結果に URL が表示されない
条件ビルダー	PRB1705187	Vancouver では、動的フィルター条件がラベルに変換されず、フィルター入力ボックスにコード形式で残る
条件ビルダー	PRB1679541	フィルターオペランドが他の glide_list フィールドと一致しない
条件ビルダー	PRB1684887	「除外」 および 「持たない」 演算子に値が表示されない
条件ビルダー	PRB1694603	特定のフィルター条件を保存すると、[インジケータソースのプレビュー] ボタンでコンソールエラーがスローされる
条件ビルダー	PRB1685048	カタログタスクテーブルの SOW で、変数値のドット連結でフィルタリングしても結果が返されない
条件ビルダー	PRB1568097	条件ビルダーで一部のフィールドに数値演算子がありません (sys_query_pattern.count や cmdb_ci_host_cluster.totalmemory など)

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
条件ビルダー	PRB1596573	[テンプレートタイプ] フィールドに、子テーブルのフィールドを表示/非表示にするオプションがない
条件ビルダー	PRB1665743	条件ビルダーで javascript を表示するダッシュボードのウィジェットをフィルター
条件ビルダー	PRB1671262	「OR」条件で、前の「OR」選択が記憶されない
条件ビルダー	PRB1686623	ユーザーは、ポータルの参照変数でプレフィックスとして ** を含む参照フィールドを検索できません
条件ビルダー	PRB1688018	テキストエリア値エディターを展開すると、フィールドのリスト矢印がずれる
条件ビルダー	PRB1688860	暗号化フィールド構成 (EFC) で暗号化されたフィールドは、ワークスペース内のすべての検索演算子を使用してフィルタリングできません
条件ビルダー	PRB1689206	ドット連結展開リストを開くには、右矢印を押すようにユーザーに通知する必要があります
条件ビルダー	PRB1697333	Platform Analytics ワークスペースで、[次の値未満/より大きい] 演算子が結果を返さない
条件ビルダー	PRB1700651	sys_id以外の参照キーを持つ参照フィールドのフィルターをワークスペースで構成することはできません ([ビジネスアプリケーション] リストの [ライフサイクルステージ] や [ライフサイクルステージのステータス] など)
条件ビルダー	PRB1715042	スクリプト化されたフィルタースクリプトは、リンクタイプが URL のモジュールのフィルターに表示されます ([引数] から)
Configuration Management Database (CMDB)	PRB1662657	ノードが頻繁に再起動するか、CiModelClassHierarchy にガードレールがないため、970k のサービスがブルされると OOM になる

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
Configuration Management Database (CMDB)	PRB1706975	CI 関係フォーマッターは、存在しない cmdb_rel_ci レコードへのcmdb_rel_person およびcmdb_rel_group関係をリンクする
Configuration Management Database (CMDB)	PRB1651705	インシデントで [影響を受けるサービスのリフレッシュ] が実行されている場合、クエリベースのサービス「ダイナミック CI グループ」が影響を受けるサービスとして識別されない
Configuration Management Database (CMDB)	PRB1664488	古い CSDM クラスラベルがアップグレード中に更新されない
Configuration Management Database (CMDB)	PRB1666504	添付ファイルが CI に追加されると、その CI は [ライフサイクルステージ] と [ライフサイクルステージステータス] の値をクリアします
Configuration Management Database (CMDB)	PRB1669248	Next Experience が有効になっている場合、依存関係ビューで欠落している仮想リンクの数
Configuration Management Database (CMDB)	PRB1688309	マルチソースの更新により一意のキー違反の例外が発生する
Configuration Management Database (CMDB)	PRB1666821	ページがロードされるときに CI ダッシュボードウィジェットがデータをロードしない
Configuration Management Database (CMDB)	PRB1671222	重複排除タスク 完了してクローズしたタスクに対して [修復] ボタンが有効になっています
Configuration Management Database (CMDB)	PRB1686435	IRE は、これらの属性に調整ルールが定義されていない場合でも、属性の更新をブロックします
Configuration Management Database (CMDB)	PRB1688328	エラーが 0 の場合、CMDB 健全性スコアカードウィジェットに誤った時間が表示される

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
Configuration Management Database (CMDB)	PRB1692085	cmdb_recommended_fieldsに新しいレコードを追加しても、非グローバルアプリケーションスコープで機能しない
Configuration Management Database (CMDB)	PRB1700177	[関連アイテム] セクションで、ヘッダーが表示されない
Configuration Management Database (CMDB)	PRB1708364	CMDB 廃止定義を編集するフォームでユーザーが無効なフィルター条件を挿入できる
Configuration Management Database (CMDB)	PRB1544268	エラー、「テーブル [cmdb_ci_hardware] の ID ルールにクラス [cmdb_serial_number] のルックアップ ルールがありません」は、エラーを解決するのに十分な情報を提供しません
Configuration Management Database (CMDB)	PRB1625832	CMDB データマネージャーの \$ci_lifecycle.do がテキストを翻訳しない
Configuration Management Database (CMDB)	PRB1648312	CI ライフサイクルステージを更新しても、資産ステータスに同期されない
Configuration Management Database (CMDB)	PRB1676488	強力なインポートセットトランスフォーマー複数の挿入 API を介して呼び出されたときに、OnBefore / OnAfter ログステートメントが出力されない
Configuration Management Database (CMDB)	PRB1687756	(取得)インスタンスに CMDB が含まれている場合、クエリー属性と関係情報は異なるリンクを返します
Configuration Management Database (CMDB)	PRB1689097	[ciModel.do] ページで選択したアイテムの色のコントラストエラーが発生する
Configuration Management Database (CMDB)	PRB1692782	CmdbHealthScore ユーティリティ .getIncidentsForCI がtask_ciテーブルを介してリンクされたインシデントを返さない

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
Configuration Management Database (CMDB)	PRB1696703	「ライフサイクルコントロール」ACL のテーブルには 2 つのロールが含まれていますが、昇格された権限を持つユーザーのみにする必要があります
Configuration Management Database (CMDB)	PRB1703647	「CMDB 廃止定義」テーブルに ACL がない
Configuration Management Database (CMDB)	PRB1682626	重複する CSDM の非アクティブなライフサイクルマッピングレコードが作成される
Configuration Management Database (CMDB)	PRB1715377	[CMDB システムオブジェクトソースのクリーンアップ] ジョブがsys_object_source上のすべての孤立レコードをクリーンアップしない
Configuration Management Database (CMDB)	PRB1718567	ユーザーがクエリビルダーページを更新すると、CMDB クエリビルダー、関連アイテムが表示されなくなる
Configuration Management Database (CMDB)	PRB1670737	「健全性」グループに関連付けられた cmdb_group_contains_encoded_queryの条件を更新すると、インスタンスログにエラーがスローされる
Connect チャット	PRB1692098	live_group_member(member,state) および live_group_profile (type) にインデックスがないと、クエリが非効率的になり、DB サーバーの CPU 負荷が高くなります
コンテンツ管理システム	PRB1719952	ページタイトルにアンパサンドがある場合、コンテンツ管理システムのページレンダリングが中断する
Content Publishing	PRB1715677	ホームページの [情報を表示] ボタンと [詳細を読む] ボタンを選択すると拡大されます
Contextual Search	PRB1680585	UI16 のコンテキスト検索結果が null を返す
Contextual Search	PRB1669458	不完全な HTML タグを検索ソースとして設定すると、「添付」機能が壊れる

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
Contextual Search	PRB1670948	Contextual Search iFrame にカタログアイテムのコンテンツが表示されない
Contextual Search	PRB1694595	AI Search Assist ウィジェットで表示するときに、ナレッジベース記事の展開可能なセクションが表示されない
Continual Improvement Management	PRB1680302	スクロールバーは、改善イニシアチブレコードのスコアカードには表示されません
Core Platform	PRB1670224	署名済みドキュメントが雇用証明ケースに添付されていない
Core Platform	PRB1668254	レコードの400 + MBを持つ CollisionDetectorは、メモリの問題とアプリケーションのインストールの失敗を引き起こす
Core Platform	PRB1668655	クライアントコール可能スクリプトインクルードの初期化関数は、スクリプトインクルードがフォームに表示されたときに評価される
Core Platform	PRB1710538	NowMQ changeStuckEvents メソッドは 1 時間あたり 1.6-K の遅いクエリを実行し、他のセッションをブロックする
Core Platform	PRB1625721	glide.system.locale プロパティを EN 以外の値に設定した後、負のステータス値に更新するステータスの更新が失敗する
Core Platform	PRB1708747	sys_dictionaryテーブルをエクスポートすると、var__テーブル (GlideVars) が原因で TableDescriptorCache が大きくなる
Core Platform	PRB1693008	リストアイテム構成テーブル (sys_sg_master_item) を使用してレコードを編集または作成できない場合があります
Core Platform	PRB1559233	カウンターが整数制限の 2,147,483,647 に達した場合の数値メンテナンスに関する問題
Core Platform	PRB1595168	GlideRecord.get API で fValid フラグが false に設定されていても true に戻されない

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
		い場合があるため、更新時に一意キー違反エラーが発生する可能性がある
Core Platform	PRB1632821	サンドボックスでサポートされている API が製品ドキュメントに誤って記載されている (RN から除外?)
Core Platform	PRB1662307	[システム] が選択されていて、有効なユーザーがいるユーザー初期設定は、引き続きすべてのユーザーに適用されます
Core Platform	PRB1674748	標準カタログアイテムを作成するための AES のテーブル選択リスト - テーブル数が多いため質問の作成に時間がかかる
Core Platform	PRB1677954	レコードに添付された画像プレビューがポータルに表示されない
Core Platform	PRB1685146	ログメッセージを 1 秒以内に正しい順序でソートできない
Core Platform	PRB1685207	形式が dd/MM/yyyy の場合、GlideDate のエンコードされたクエリ表示値が正しくない
Core Platform	PRB1686244	Process Automation Designer で、フィールドに改行が含まれている場合、アクティビティの実行条件が失敗する
Core Platform	PRB1691282	ビジネスルールが、ユーザーが「システム」という名前のユーザーを作成することを阻止していない
Core Platform	PRB1692271	フィールドの前の値が既存の sys_attachment レコードと一致しない場合、[ファイルの添付] フィールドにファイルを追加すると、ログエラーが生成される可能性がある
CSM エンゲージメントセンター API	PRB1710265	OpenFrame ウィンドウのサイズを全画面表示に戻してもスクロールバーが消えない
Customer Service Management	PRB1609935	「workspace_admin」は CSM ロールを継承し、ユーザーをコンプライアンス違反にする

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
Customer Service Management	PRB1676538	CSM ポータルの検索が非常に遅い
Customer Service Management	PRB1685491	システムプロパティ 「com.snc.cs_base.last」の値。 多くのアカウントが作成されると、generated.code.tree.path' が予期せず「!!!」に戻る
Customer Service Management	PRB1683017	[重複レコードの作成を回避する] sn_customer service_related_partyテーブルのビジネスルールは、ユーザー sys_idsが異なり、名前が同じ 2 つのレコードを受け入れることはできません
Customer Service Management	PRB1699440	sys_db_object.number_ref が空であるため、customer_account の自動番号チェックボックスが false になる
Customer Service Management	PRB1717674	ターゲットコミュニケーションで新しい公開物を公開するときの通知が CSM なしで機能しない
Field Service Management の Customer Service Management	PRB1665882	Agent Workspace リボンのタイトルが間違っている
Customer Service Management ワークスペース	PRB1713862	mandatory=true の sn_customerservice_escalation .de_escalation_justification の UI ポリシーアクションが [ケースのエスカレーションを解除] モーダルで強制されない
Data Archiving	PRB1652439	復元されたレコードを再アーカイブする場合、元のテーブルの行 (例 hr_case) が削除されない
Data Archiving	PRB1684880	ArchiveProducerJob .queryArchiveTargets および ArchiveStatus が原因で、 アーカイブジョブからのクエリが遅い。getRecordCount
データベースインデックス	PRB1642852	com.snc.cmdb プラグインのロード時間と テーブルの変更中に実行task_ci遅いクエリは

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
		アップグレード時間に影響し、Tokyo のアップグレードに遅延が発生する
データベースの永続性	PRB1653946	データベースによって検出された一意キー違反
データベースの永続性	PRB1707102	DBI へのマルチスレッド アクセスを検出する必要があります
データベースの永続性	PRB1676639	QueryUnionizer は、順序/制限節を使用して内部クエリを生成します
データベースの永続性	PRB1703666	RLQuery 結合条件が最後の結合に追加され、誤った結果セットが生成されることがある
データベースの永続性	PRB1704688	ロールバックまたは自動コミットコールが失敗すると、トランザクションがオープンステータスのままになる可能性がある
データベースの永続性	PRB1636262	重要なゲートウェイ化されたテーブルにアクセスできるようになるまで、Glide は開始すべきではない
データベースの永続性	PRB1676739	sys_db_table_checkpointの動的カテゴリにより、セカンダリ DB プールが存在しない場合でもチェックポイントが入力される
データベースの永続性	PRB1605677	ゲートウェイデータベースのテーブルの列ビューに「タグ」を追加するとエラーがスローされる
データベースの永続性	PRB1621491	Incident.caller's dictionary のデフォルト値が自動的に上書きされる
データベースの永続性	PRB1637946	複数のフィールドに一意のインデックスを持つアプリをインストールすると、それらのフィールドに重複するインデックスが作成されます
データベースの永続性	PRB1645421	単一の SQL ステートメントがトランザクションでラップされている

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
データベースの永続性	PRB1670286	クエリは、長いテーブル名を持つテーブルのゲートウェイデータベースにユーザーを誘導しません
データベースの永続性	PRB1670751	sys_metadata のフィールドに数式がある場合、Glide のスタートアップにスタックオーバーフローが発生する
データベースの永続性	PRB1671343	TSConnectionPool がリサイクルされない場合、無効な状態になることがある
データベースの永続性	PRB1708491	親インシデントにエイリアスがあり、ユーザーがインシデントの孫にアクセスしようとすると、メッセージ構文エラーまたはアクセスルール違反がデータベースによって検出される
データベースの永続性	PRB1672320	ユーザーがインスタント変更を使用できない
データベースの永続性 - データアクセス	PRB1682093	IN 句に存在しないsys_idsが含まれていて、LIMIT 句が存在する場合、ワンパスリストの最適化が壊れる
データベースの永続性 - データアクセス	PRB1682827	「重複キー更新時に挿入」ステートメントを書き換えると、BatchStatementRewriter が無効な SQL を生成する
データベースの永続性 - データアクセス	PRB1675015	動的ルーティングチェックポイントにより、ホスティングステートメントの更新レコード数が損なわれる
データベースの永続性 - データアクセス	PRB1648025	Oracle に対して翻訳されたテキスト結合を有効にする必要がある
データベースの永続性 - データ管理	PRB1664635	sys_archive_log.to_table に保存された無効なテーブル名により、アーカイブされたレコードへの参照がデータセットに含まれている場合に NullPointerException が発生する
データベースの永続性 - データ管理	PRB1726689	インシデントが残っている場合でも、Destroyer が復元されたインシデントから添付ファイルとアーカイブログを削除している

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
データベースの永続性 - データスケール	PRB1706194	レプリケーションのスタンバイに遅延がある
データベースの永続性 - データスケール	PRB1718003	Utah for Oracle インスタンスの UNION ステートメントの変更が実行時間に影響する
Database Rotation	PRB1710555	「Database Rotation」プラグインを修復すると、syslog_cancellationがベースインスタンス設定に戻り、カスタマイズが上書きされる
Data Certification	PRB1695994	sys_templateテーブルレコードに対して認定タスクが作成されない
日付ピッカー	PRB1693518	DateTime フィールドにインスタンスタイムゾーンで値が表示されない
宣言アクション	PRB1686862	フォームアクションレイアウトで、「名前」が DA の「アクション名」と重複している
宣言アクション	PRB1712112	作業アイテムが受け入れられた場合にのみ、構成可能ワークスペースのインタラクションの右側に空の領域が表示されます
委任開発と展開	PRB1671566	グループにアサインされた委任開発者権限は、他のグループの権限を変更します
削除されたレコードモジュール	PRB1691877	問題が「リスト」ビューから削除および復元され、glide.sys.audit_inserts が true の場合に監査が重複する
Demand Management	PRB1673510	アクションへの変換時に [担当者] フィールドを変更できない
Demand Management	PRB1667667	デマンドフォームの開始日と期日を更新すると、いくつかのフィールドが保存されない
Demand Management	PRB1669360	デマンドの送信 UI アクションのアクション名が誤ってsysverb_insertとして指定されているのに、sysverb_updateされているはずです

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
Demand Management	PRB1700160	ユーザーがデマンドのカスタム「アセスメント」タイプを作成できない
Discovery	PRB1651938	クラウド検出の削除戦略が AWS、GCP、および Azure で機能しない
Discovery	PRB1670415	VMRemovedEvent はステータスを空としてマークするが、削除された VM の検出はステータスを「終了」としてマークする
Discovery	PRB1576239	glide.discovery.enforce_ip_syncプロパティとその関連ロジックは冗長であり、検出結果に影響を及ぼさなくなった
Discovery	PRB1611097	「discovery_multi_page_optimistic_lock」への更新の競合状態により、不正な更新と検出がハングする
Discovery	PRB1669053	パターンの起動が断続的に失敗し、「パターンPATTERN_NAMEの実行中にエラーが発生しました」
Discovery	PRB1671626	CloudServiceAccountInfo のデッドロック (クラウド検出が原因)
Discovery	PRB1675309	OSQuery が空の値を返し、古い「last_used」の日付を空の値で上書きする
Discovery	PRB1690380	\$discovery_result_homepage.do ダッシュボードのロードに予想外に時間がかかる
Discovery	PRB1599071	スタック構成 IP スイッチのデバイス [discovery_device_history] レコードの分割
Discovery	PRB1658049	非 IP ベースの検出によって作成されたレコードのテーブルクリーンアップ discovery_active_error
Discovery	PRB1666598	Windows ファイルベースの検出 (FBD) の PS スクリプトの署名が無効である

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
Discovery	PRB1668938	vCenter 検出では、カスタムスクリプトロジックではなく IRE 識別プロセスが行われます
Discovery	PRB1675942	ウィザードを使用してクラウド検出スケジュールを作成するときに、サブアカウントの更新時に特定の MID Server クラスターが指定されていない場合、検出が失敗する
Discovery	PRB1679212	AIX - アクティブ接続で、Netstat の生の出力と ECC キューのペイロードに大きな違いがある
Discovery	PRB1681149	ストレージサーバー (SMIStorageServer) プロンプトにより MID Server のメモリ不足エラーが発生する
Discovery	PRB1682792	UNIX の記録対象ファイルで、アクセス権に最後のドットが含まれている場合、またはユーザー名にドットが含まれている場合、ファイルは最後に変更された値を取得しません
Discovery	PRB1698492	SNMP 検出は、V2 デバイスとの資格情報親和性にかかわらず、V1/V2 に移行する前に V3 資格情報の使用を試行する
Discovery	PRB1647808	CIM ID センサーがリモートデバイスに誤った IP アドレスと場所を設定しないようにする
Discovery	PRB1657407	ポストセンサーがミューテックスの取得に失敗し、サブネット検出がキャンセルされる
Discovery	PRB1658804	スコープ「sn_cloud_ops_ws」からの「discovery_log」に対する読み取り操作は、テーブルのクロススコープアクセスポリシーが原因で拒否されます
Discovery	PRB1662848	Kubernetes MID Server の再起動後、パターンのロードに時間がかかり、パターンの実行が失敗する

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
Discovery	PRB1665919	「DeviceL3Mapping」 がルーター/スイッチとサーバー間に無効な「IP 接続::IP 接続」関係を作成する
Discovery	PRB1666035	サービスアカウントを設定するために UI で許可されている構成の誤りにより、AWS 検出で重複リソースが作成される
Discovery	PRB1676183	SNC.IPAddressV4 が isPrivateAddress() をサポートしなくなった
Discovery	PRB1679310	AIX サーバーに LSOF がない場合、アクティブな接続プローブは Netstat を使用しない
Discovery	PRB1681108	ファイルベースの検出が AIX インストールで機能しない
Discovery	PRB1684175	MID クラスタで実行するように作成されたクラウド検出スケジュールが、MID クラスタがダウンしても一時停止しない
Discovery	PRB1684981	SAP DI アプリケーションサーバーをホストする Linux サーバーを検出するときに、作成される関係が想定どおりではありません
Discovery	PRB1685097	イベント駆動型のクラウド検出で、イベントが作成されたドメインの MID Server が取得されない
Discovery	PRB1686881	追跡された設定ファイル(Windows)を取得すると、無効な結果(stdout)が返されることがありますが、それでも有効な設定ファイル名として処理されます
Discovery	PRB1687759	ファイル名の形式が原因で、ファイル Discovery プローブパラメーター script.sh AIX サーバー上の SWIDTAG を識別できない
Discovery	PRB1692810	検出スケジュールで [場所] フィールドが設定されている状況では、デバイス履歴レコードカウントが正しくないことがあります

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
Discovery	PRB1701888	9443 ポートが開いておらず、443 ポートが開いている場合、vCenter 検出が失敗する
Discovery	PRB1703354	Linux 6.xで「実行中のプロセス」に「接続中」がない
Discovery	PRB1707696	PowerShell セッションの作成時に資格情報タグが正しく渡されないため、すべての Windows の資格情報が試行される
Discovery	PRB1715250	文書化されていないsys_auto_flushレコードがバンクーバーのインスタンスに追加され、cmdb_ci_storage_volumeレコードが失われる
Discovery	PRB1719271	CIM プローブが Vancouver で起動しない
Discovery	PRB1723194	Vancouver では、定期的に行われる検出スケジュールにより、検出スケジュールが実行されるたびにバージョンが作成されます
Discovery プローブとセンサー	PRB1670947	[検出 - ファイル検出ホワイトリスト更新通知 (Discovery - File Discovery Whitelist Update Notification)] ジョブスケジュールが、カスタムファイル名 [samp_file_name] テーブルに新しいレコードが作成された場合にのみ「script.sh」を再構築する
Document Intelligence 統一バックエンド	PRB1697937	DE PDF 結果の処理中に、イメージはコンテンツタイプ image/JPEG で添付されます
Document Intelligence 統一バックエンド	PRB1700456	DI 2.4 を使用した APO 1.0 を DI 3.1 を使用した APO 3.0 にアップグレードした後、ドキュメントが処理されない
ドキュメント管理	PRB1690681	アップグレードの一環として修正スクリプト「sys_script_fix_2aa8cfafa3c621104daa21be36fcdada」を実行すると、Vancouver アップグレードでインスタンス全体の機能が中断される
ドキュメント管理	PRB1614162	HTML から PDF への変換 API を使用すると、レンダリングされた PDF ファイルでカスタムフォントが選択されない

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
ドキュメント管理	PRB1686469	日本語フォントを含むファイルが原因で、構成可能ワークスペースのコンテキストサイドバーが正しく表示されない
ドキュメント管理	PRB1683025	ドキュメントビューアーの [ダウンロード] アイコンが MacOS 上の Safari で 0 バイトのファイルをダウンロードする
ドキュメント管理サービス	PRB1620999	HTML フィールドを PDF にエクスポートすると、一部の文字が除外される
ドキュメント管理サービス	PRB1694507	HR Agent Workspace で、ユーザーが添付ファイルを移動すると、ドキュメントタイプリストのロードに時間がかかり、検索中に「結果が見つかりません」と表示される
ドキュメント管理サービス	PRB1671472	Utah アップグレード後に HR ドキュメントテンプレートにロゴ画像が表示されない
ドキュメント管理サービス	PRB1686988	iText5 API のフォントフォルダーを分離する
Domain Separation	PRB1685950	ビジネスルールが新しいドメインでトリガーされない
動的翻訳	PRB1659930	Dynamic Translation は読み取り専用 HTML フィールドでは機能しません
動的翻訳	PRB1688806	翻訳されたテキストがテキストエリアボックスから溢れている
Edge Encryption	PRB1676078	AskaQuestion ルールにより servicenow2 署名キーの問題が発生する
Edge Encryption	PRB1676611	wrapper.conf は、プロパティ wrapper.ignore_sequence_gaps=true を介して連続していない数値を許可する必要があります
Edge Encryption	PRB1680574	90%+ CPU 使用率はすべての Edge プロキシで確認できます

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
メール通知	PRB1688710	sys_email_reply_separatorテーブルの正規表現を元に戻す必要があります
メール通知	PRB1683658	ユーザーがアクティビティストリーム内の受信メールに [全員に返信] をクリックしたときにメールアドレスとともに入力される Sys ID
メール通知	PRB1708962	sys_emailローテーションが有効になっている場合、MultilingualSMTPSenderJob がメールを配信しない
メール通知	PRB1644212	受信したメールが文字セット = iso-8859-8-i の場合、文字エンコードがサポートされない
メール通知	PRB1658441	システム通知が翻訳されない
メール通知	PRB1705668	使用後に接続が解放されないため、接続がロックされる
メール通知	PRB1711335	Agent Workspace で、件名のないメールをユーザーが開いても [返信]/[転送] ボタンが表示されない
メール通知	PRB1646258	mail_toトークンでは翻訳サポートを利用できません
メール通知	PRB1661547	com.glide.attachment.max_size が原因で破棄される添付ファイルがメールの添付ファイルに記録されない
メール通知	PRB1679409	件名のサイズが大きい場合、ワークスペースのメールフォームのボタンサイズが変わる
メール通知	PRB1680561	ワークスペースのメールフィールドで有効なメールアドレスが許可されていません
メール通知	PRB1681210	受信メールの MIME コンテンツに返信先アドレスが含まれている場合でも、sys_email テーブルの reply_to フィールドが空白である

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
メール通知	PRB1681359	「許可されたドメインがありません」というメール検証メッセージが Agent Workspace で翻訳されない
メール通知	PRB1683312	Javascript コンパイラー例外により、関数に複数のパラメーターを送信する Javascript 呼び出しを使用する Email Client テンプレートが失敗する
メール通知	PRB1700735	sys_emailフォームの [戻る] ボタンをクリックしてもsys_emailリストに戻らない
メール通知	PRB1705239	「メールに返信」受信アクションの [条件] フィールドで「メール」オブジェクトを使用できない
メール通知	PRB1709604	Vancouver でメールクライアントテンプレートが歪んでいる
埋め込みヘルプ	PRB1405274	埋め込みヘルプメッセージが「このビューに関連付けられたヘルプ記事はありません。ユーザーは、[ヘルプ記事の追加] ボタンをクリックして、このビューに記事を追加できます。
Employee Service Center	PRB1690610	承認レコードに対するチェックが原因で、アクティブな単一レコード委任が正しく委任されないことがある
Employee Service Center	PRB1692620	ポータルで、ユーザーが代理操作を終了できない
Employee Taxonomy Framework	PRB1663804	ネイティブ UI アクションが翻訳されていません
暗号化のサポート	PRB1598297	管理者以外のユーザーがタスクテーブルリストでチケットを検索し、データを含む暗号化フィールドが存在する場合に問題
エンタープライズ CMDB	PRB1666726	ITIL ユーザーがインシデントレコード間に作成された関係を削除できない

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
Entity View Action Mapper (EVAM)	PRB1688972	最新の Glide バージョンにアップグレードした後、Genius 結果 (GR) 構成で URL フィールドが欠落し、GR カードが表示されない
イベント管理	PRB1687096	Zabbixのメトリックがありません
イベント管理	PRB1624349	System Center Operations Manager (SCOM) 2019 コネクタが、SCOM コンソールで誤アラームを引き起こしている SCOM アラートをクローズしようとする
イベント管理	PRB1664508	親em_connector_instanceレコードが除外されていても、孤立したem_connector_instance_valueレコードが更新セットに含まれる
イベント管理	PRB1653896	仮想アラートのプロトタイプを再度開くと、ステータス値が親にコピーされます
イベント管理	PRB1668354	em_alert_historyにロードするレコードの数には制限がある必要がある
イベント管理	PRB1669148	「edge_encryption」属性と「no_text_index=true」属性が同時に設定されると、イベントが誤って作成される
イベント管理	PRB1680120	サービスダッシュボードからサービスマップを開くと、マップ表示設定のモーダルが開かない
イベント管理	PRB1688635	システム センター操作マネージャー (SCOM) は、最初の 540 文字に 'コンテキスト' の値を削減します。
イベント管理	PRB1689377	ビジネスルールの一部のアラート作業メモが翻訳可能ではない
イベント管理	PRB1699131	「ASYNC:イベントルールのグループ化の計算」ジョブが原因でメモリ不足エラーが発生しました
イベント管理	PRB1705724	Event Management で、単一の行のみを必要とする場合、影響ツリービルダーが無制限のクエリーを作成する

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
イベント登録	PRB1721551	Vancouver で [テーブル] フィールドが 40 文字を超える場合、新しいイベント転送プロセスが原因で転送されたイベントを処理できず、「エラー」ステータスに設定される
フィールドサービス 請負会社ポータル	PRB1708999	特定のビューが設定されている場合、作業指示タスク (WOT) に 2 つの [自分にアサイン] ボタンが表示される
フィールドサービス データ連携	PRB1718784	ステータスフローフレーム作業のセキュリティルールチェックで、テーブルレベルのアクセスではなく行レベルのアクセスをチェックする必要がある
フィルター条件	PRB1650880	sys_user で新しい動的フィルターオプションを作成すると、45 件の辞書エントリのデフォルト値が更新される
Financial Management	PRB1670002	ユーザーがコストモデルのワークベンチを実行すると、[調整済み総勘定元帳データ] テーブルに一部のレコードが正しく作成されない
フローデザイナー	PRB1705741	Vancouver のフローロジックで変換ピッカーが機能しない
フローデザイナー	PRB1697156	エラーハンドラーが一部のサブフローで正しく機能しない
フローデザイナー	PRB1707643	Studio 内でサブフローをアクティブ化中にエラーが発生しました
フローデザイナー	PRB1708834	Vancouver にアップグレードした後、デザインソースのsys_flow_context列でエラーがスローされる
フローデザイナー	PRB1705888	「承認を求める」アクションシステムプロパティで、非アクティブなユーザーの承認レコードを生成する必要がある
フローデザイナー	PRB1707077	「DB でイベントが見つかりませんでした」というエラーメッセージが表示される

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
フローデザイナー	PRB1674554	サブフローデザイナーで図に切り替えると、 [公開] ボタンが [アクティブ化] に変わります
フローデザイナー	PRB1692524	Val Listener が Tokyo から Utah へのアップグレード時に名前を誤って翻訳する
フローデザイナー	PRB1701804	Utah にアップグレードした後、次のエラーメッセージでエラーが表示されるページ
フローデザイナー	PRB1682045	global.WorkflowApprovalUtils().reset がパラメーターを検証しない
フローデザイナー	PRB1688871	'com.glide.flow_design .helpers による高いメモリ使用量とメモリ競合。ComplexObjectHelper'
フローデザイナー	PRB1691078	削除されたsys_flow_plan_context_binding の大量のsys_auditレコードにより、肥大化したsys_auditテーブル/シャードが作成される
フローデザイナー	PRB1694241	fd_dataオブジェクトへのインラインスクリプト参照は、アクションの番号が付け直されても増加しない
フローデザイナー	PRB1631006	フロー/サブフローの日付フィールドを比較の条件として使用すると、「解析不能な日付」エラーがログに記録される
フローデザイナー	PRB1634583	Flow Designer の月/日/時間の変換で、PST タイムゾーンの [実行開始日時] が誤って評価される
フローデザイナー	PRB1640673	アクション入力でエラーが発生した場合、アクションステータスが設定されない
フローデザイナー	PRB1657150	「文字列 UTF-8」のフローアクション入力フィールドの長さが不足している
フローデザイナー	PRB1663864	AES を介した Flow Designer Logic のロードには 40 秒かかる

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
フローデザイナー	PRB1666223	複合オブジェクトはスクリプトステップでは使用できません
フローデザイナー	PRB1671602	Flow Designer の警告に「Op の Record Watcher ID val が見つかりません」が表示される
フローデザイナー	PRB1674573	推奨事項とフローロジックに関する問題
フローデザイナー	PRB1677453	sys_flow_plan_context_bindingテーブルの保持/クリーンアップポリシーが必要
フローデザイナー	PRB1677725	「+」記号が「Do the following until」ループの正しい場所に表示されない
フローデザイナー	PRB1679184	フローのキャンセル後、フローステージはスキップ済みとしてマークされます
フローデザイナー	PRB1680409	サブフローの入力が表示されなくなる
フローデザイナー	PRB1681362	一連のアクション/サブフローボタンをフローに追加すると、フローを保存して開けない
フローデザイナー	PRB1684382	Flow Designer で新しく作成されたアクションの [その他のアクション] メニューが Safari で機能しない
フローデザイナー	PRB1686209	フロー実行アイテムは、最初の 4 つのレコードを番号で表示し、その後は Sys ID とともに残ります
フローデザイナー	PRB1686788	サブフローのスクリプトの番号付けが更新されない
フローデザイナー	PRB1686876	フローレポートにデータストリームアクションの誤ったランタイムが表示される
フローデザイナー	PRB1690350	ユーザーがフローデザイナーにアクションを追加しようとすると、IntegrationHub はインストール済みとして表示される

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
フローデザイナー	PRB1690579	[テスト] ボタンを使用すると、Flow Designer アクションのレコードリストのオプションの入力がオプションとして扱われない
フローデザイナー	PRB1691666	フロー変数で変換関数を使用してフロー変数を追加すると、フロー変数が空になる
フローデザイナー	PRB1693363	Vancouver でフローの条件ピルを変更するとエラーが発生する
フローデザイナー	PRB1706247	[サブフローに変換] アクションがスクリプトのサブフロー入力を処理できない
フローデザイナー	PRB1711327	Flow Designer で一部のフローが壊れている
フローデザイナー	PRB1686755	フロー反復が運用ビューに正しく表示されない
フローデザイナー	PRB1716186	Tokyo から Utah にアップグレードすると、sys_hub_flowテーブルの名前フィールドタイプが「文字列」ではなく「翻訳されたテキスト」になる
フローデザイナー	PRB1684483	フローシステムレコードでは、フローパフォーマンスに重大な影響を与えるため、テーブルクリーナーをブロックする必要があります
フローデザイナー	PRB1679612	[操作] ビューの [ステージステータス] UI リボンに [キャンセルされた] ステージステータスの画像が表示されない
フローデザイナー	PRB1710881	入力技術名とフロー変数技術名の間の名前が一致する場合、サブフローに埋め込まれたフロー変数はデータピルからのフィールドの出力に失敗します
フローデザイナー	PRB1696143	サブフロー入力でオートコンプリートが機能しない
フローエンジン	PRB1725467	孤立したsys_flow_report_docレコードが原因でフロー操作ビューがタイムアウトする

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
フローエンジン	PRB1714675	レポートドキュメントを削除すると、sys_flow_contextレコードの削除が遅くなる
フローエンジン	PRB1717152	競合状態により、フロージョブが削除されて挿入されないことがある
Form Designer	PRB1714202	ロードマップコンポーネント内のフォームコンポーネントで [セクションナビゲーターにジャンプ] が機能しない
Form Designer	PRB1700070	Automated Test Framework で、仮想エージェントテストでは変更されていても、テストステップではtopic_IDが変更されない
フォームテンプレート	PRB1694516	Workspace でテンプレートを使用すると、[HTML コメントと作業メモ] セクションにコードタグが表示されます
フォームテンプレート	PRB1665622	ワークスペースで [テーブル名] フィールドの値が翻訳されていない
フォームテンプレート	PRB1648299	特定の設定で Firefox にテンプレートフォームレコードを保存すると、重複するテンプレートフィールドが作成される
フォームテンプレート	PRB1653776	チェックリストが記載されたレコードのロード中にチェックリストテンプレートを取得すると、パフォーマンスの問題が発生することがある
GlideRecord	PRB1665822	オペレーションビューでフローコンテキストを開くと、「要求の実行中に例外が発生しました:null (Exception while running request: null)」というエラーが表示される
GlideRecord	PRB1685224	ScopedGlideRecord #setWorkflow のログメッセージや誤解を招くメッセージが正しくない
GlideRecord	PRB1695610	ループで、誤った changes() が「ジャーナル」フィールドの値を返す

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
Google Maps OOB 統合	PRB1630997	Google マップ 日本語の文字を含む住所のジオコーディングに失敗し、「要求が無効です。入力パラメータの 1 つに UTF-8 以外の文字列が含まれています
GraphQL API	PRB1689955	GraphQLDynamicSchema.Builder が入力されたキャッシュで呼び出される
GRC Platform プラグイン	PRB1670472	アセスメントのセクションを折りたたんで再度展開すると質問が失われる
GRC Platform プラグイン	PRB1689205	ベンダーリスクアセスメントデザイナーで、コンソールエラーをスローする、ウィンドウのサイズ変更の問題が発生する
GRC Platform プラグイン	PRB1698233	glide.knowman.versioning.enabled プロパティが true に設定されている場合、ポリシーはナレッジカテゴリを更新しない
ガイド付きツアーデザイナー	PRB1685731	チュートリアル of 自動起動カードのテキストがダークテーマに表示されない
ガイド付きツアーデザイナー	PRB1691242	チュートリアルで、バナー画像をクリックしてホームページに移動し、ツアーを再開できない
Guided Tours	PRB1682323	エラー 'ツアーが見つかりません。ユーザーがデザイナーでガイド付きツアーをプレビュー/再生するときに、ツアー ID を確認します。
Health Log Analytics (ファミリー)	PRB1687551	Elastic DI の場合、成功したインデックスからのログのプルは続行されます
Health Log Analytics (ファミリー)	PRB1690187	Hermes 構成後に、「開いているファイルが多すぎます」というエラーがスローされる
カスタマーサービス用の水平ポータル機能	PRB1680657	ゲストはウォークアップ予約を再スケジュールできません

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
HR サービスデリバリー	PRB1673673	委任者と委任者のタイムゾーンが異なる場合、詳細な委任承認が [自分の承認] に表示されない
HR サービスデリバリー	PRB1680871	分析センターからダッシュボードにアクセスすると「ページが見つかりません」
HR サービスデリバリー	PRB1688745	詳細な委任では、委任で指定されたタスク以外のタスクの通知がユーザーに送信されます
HR サービスデリバリー	PRB1618612	従業員関係ケースに対して [対象者に表示] フラグが期待どおりに機能しない
HR サービスデリバリー	PRB1671909	HR サービスの「退職承認要求」ケースが Tokyo 以降に自動的にクローズされない
HR サービスデリバリー	PRB1677991	システム発信者通信の問題
HR サービスデリバリー	PRB1678566	sysapproval_approver ACL が sys_class_name をドット連結して取得できない
HR サービスデリバリー	PRB1683102	ACL には、snc_internal ユーザーにアクセス権を付与することが記載されているが、付与されていない
HR サービスデリバリー	PRB1683642	関係と変数の履歴レコードへの ACL アクセスの評価中にエラーが発生しました
HR サービスデリバリー	PRB1684447	[新規ドキュメントを作成] UI ページのフィールド (有効期限、有効日) が自動入力される
HR サービスデリバリー	PRB1685498	[サービスステابلフィールド] のフィールドが HR サービス定義に表示されない
HR サービスデリバリー	PRB1687195	HR サービスのケース作成サービス設定フィールドにオープンフィールドまたは opened_at フィールドを追加すると、レコードに誤ったタイムスタンプが適用される

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
HR サービスデリバリー	PRB1687779	[呼び出し元タスクのステータスをリセット] ビジネスルールで、非アクティブな HR タスクのステータスが更新されない
HR サービスデリバリー	PRB1692199	一括ケースインポートで、[詳細を表示] ボタンがホームページにリダイレクトされ、URL に「.do」サフィックスがない
HR サービスデリバリー	PRB1692575	[履歴データ収集] ジョブがエラーをスローする
HR サービスデリバリー	PRB1708383	「アカウント通知」ワークフローの基本インスタンスに問題がある
HR サービスデリバリー	PRB1687302	com.sn_hr_core 内の AI Search インデックス付きソースは、com.sn_hr_agent_wsまたはcom.sn_hr_wfoがインストールされている場合にのみオフにしてアクティブにする必要があります
ライフサイクルイベント用の HR Service Delivery ケースマネジメント	PRB1689962	HR ケースの [フォロー] ボタンでベルアイコンに通知が表示されない
ライフサイクルイベント用の HR Service Delivery ケースマネジメント	PRB1686434	エンドユーザーが HR タスクのコメントフィールドを読み取れない
ライフサイクルイベント用の HR Service Delivery ケースマネジメント	PRB1712418	設定値のないリストフィールドが含まれている場合、応答テンプレートは空として表示されます
HTML エディター	PRB1686259	[リンクの挿入/編集] アイコンと [リンクを削除] アイコンがsn_lf_comparison_uiページのツールバーに表示されない
HTML エディター	PRB1696322	ワークスペースの HTML エディターで添付された画像は、完全なドメイン URL で sys_attachmentへのリンクを生成する
HTML エディター	PRB1649126	[HTML] フィールド内をマウスでクリックすると、レコードが初めて更新されます

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
HTML エディター	PRB1705260	HTML タイプのフィールドで、XML の形式が正しくありません
HTML Sanitizer	PRB1699810	有効なカスタム CSS スタイルが保持されない
HTML Sanitizer	PRB1576544	HTMLSanitizer は、すべきでないときにログをトリガーします
識別および調整 API	PRB1653235	CMDB IRE 例外メッセージ「無効な GlideRecord による優先順位付け」がユーザーに重要な情報を提供しない
ID	PRB1714336	report_view ACL 分析では、アクセス権がない場合でも合格になります
ID	PRB1714118	ログイン履歴テーブルの権限フラグが正しく設定されていない
インポートセット API	PRB1678633	ユーザーが SFTP サーバーから zip ファイルをインポートできない
インポートセット API	PRB1690319	Java Database Connectivity (JDBC) エラー再試行ロジックが SQL 確定メディアライブラリ (DML) ステートメントを再試行している
受信メール	PRB1691195	有効な透かしを持つ一部の「返信」メールは「新規」として分類されます
Incident Communications Management	PRB1694097	Tokyo から Utah にアップグレードした後、重大なインシデントワークベンチ (MIB) の [コミュニケーションタスク] パネルと [通信] タブでコミュニケーション計画タスクがロードされない
Incident Management	PRB1698276	インシデントが重大なインシデントに昇格すると、インシデントはアサインされますが、[ステータス] の値は [新規] のままになります。
Incident Management	PRB1707692	クエリビジネスルールが [子インシデント 作業メモ/コメントの更新 (Update child incidents worknotes/comments)] フローアクションで reference.incident への入力を

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
		ブロックし、すべてのインシデントを更新させることができる
Incident Management	PRB1687883	読み取り専用セルがヘブライ語で右から左に読むのに適切に配置されない
Incident Management	PRB1701345	子インシデントのポップアップを開くのに 11+ 秒かかります
Incident Management	PRB1704908	トランザクションが null の場合、「incident.state/write」 ACL でエラーが生成される
インライン編集	PRB1633578	インラインエディターダッシュボードで、変更を保存しても「ダッシュボードを保存できませんでした」というエラーがスローされる
Innovation Management	PRB1673323	アイデアポータルの改行はクローズメモフィールドの保持されません
Innovation Management	PRB1688450	[上位の投票済みアイデア/関連するアイデア] で提供されるアイデアのグループ化は利用できません
Instance Data Replication (IDR)	PRB1670529	レプリケーションセットに親子テーブルエントリがあるとレプリケーションが壊れる
Instance Data Replication (IDR)	PRB1684673	レプリケーションセットがリモートでない場合、IDR リモートジョブによってエラーが発生する
統合ハブ	PRB1679969	プロパティ 「com.snc.process_flow .reporting.serialized.val_size_limit」の最大値には制限があります
統合ハブ	PRB1667801	OAuth プロバイダー Boomi 用に作成された競合条件
統合ハブ	PRB1692445	リモートファイルへのハンドルを開く際に問題が発生しました
統合ハブ	PRB1621471	入力値がスクリプトによって指定されている場合、クエリパラメーターとヘッダーのデータピッカーが機能しない

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
統合ハブ	PRB1702214	JSON ファイルのアップロード時に「添付ファイル」API から「http 500」エラーが返される
統合ハブ	PRB1589241	証明書の失効の確認時に不要な検証が行われる
Interaction Management	PRB1655345	多数のタスクレコードを持つユーザーの場合、ユーザーのタスク関連リストのネットワークタブでコールのロードに過度の時間がかかる
Interactive Analysis	PRB1703020	インタラクティブ分析により、処理されていない空のインスタンス値を持つ report.view イベントが作成される
インタラクティブフィルター	PRB1677936	ダッシュボードインタラクティブフィルターの非アクティブなレコードの問題
インタラクティブフィルター	PRB1691250	ダッシュボードからインタラクティブフィルター値を削除またはリセットしても、ドリルダウンレポートがリセットされない
ITOM SU ライセンス	PRB1688452	ITOM ライセンスはストアアプリ用に調整する必要がある
大規模な JVM	PRB1698028	インクルード zipfile_metrics を指定した XMLStats が例外をスローする
Key Management Framework (KMF)	PRB1660387	自動化中に Oracle インスタンスがデータセンターインスタンスとして認識されないため、KMF ワークフローが失敗する
Key Management Framework (KMF)	PRB1659199	ソースとターゲット間のキー交換のすべてまたは 1 つに問題があります
Key Management Framework (KMF)	PRB1668571	KMF 証明書の検証で RSASSA-PSS 署名を処理できない場合がある
ナレッジベースセルフサービスポータル	PRB1693991	ベースインスタンスで、ページのリロード後にユーザーのソート設定が保持されない

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
Knowledge Management	PRB1697252	「x% さんが役に立ったと回答」が 100% を超えています
Knowledge Management	PRB1680507	ナレッジ記事の KB 記事数に一貫性がなく、正しくない
Knowledge Management	PRB1688200	ITIL ユーザーは、San Diego インスタンスでは表示できない廃止された記事を Utah インスタンスで表示できます
Knowledge Management	PRB1690558	ナレッジ記事を取り消した後も「予定公開日」検証の問題が解決しない
Knowledge Management	PRB1690655	AI Search が Manager Hub で機能しない
Knowledge Management	PRB1697857	スケジュールの「公開日」の動作が期待どおりに機能していないことを検証
Knowledge Management	PRB1680224	ナレッジ記事の言語タグが正しくない
Knowledge Management	PRB1693839	ナレッジ記事で [挿入と維持] 操作が実行されると、最新の AQI がコピーされる
Knowledge Management	PRB1694490	RN から除外
Knowledge Management	PRB1667578	モバイルビューでは「添付ファイル」という単語が翻訳できません
Knowledge Management	PRB1672587	ユーザーが [非認証ユーザーがアクセスできるナレッジベースを表示] 関連リンクをクリックすると空白のページが表示される
Knowledge Management	PRB1675472	ナレッジベースの値がレビューステータスで変更されると、複数のアクティビティが記録される
Knowledge Management	PRB1677632	KB バージョンの変換中に一部のフィールドに誤った値が入力される

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
Knowledge Management	PRB1684099	Word アドインのドキュメント URL が自動的に入力されない
Knowledge Management	PRB1686634	AWS 翻訳機能が失敗する
Knowledge Management	PRB1695208	ナレッジ記事で、削除 UI アクションに「ブロック」という単語を含む確認メッセージが表示される
Knowledge Management	PRB1695247	ユーザーが動的サイトマップを Google 検索コンソールに送信できない
Knowledge Management	PRB1695391	ナレッジベース検索パネルフィルターが、展開または折りたたまれた状態を反映するようにマークされていない
Knowledge Management	PRB1696201	スクリーンリーダーユーザーが [ページネーション] ウィジェットで選択したページを識別できない
Knowledge Management	PRB1697223	Next Experience のヘブライ語 UI で [ブロックを追加] サイドパネルが空の空白としてロードされる
Knowledge Management	PRB1702939	スクリーンリーダーの JAWS で、ナレッジベース検索の結果を取得した後に [ソート基準] が明示的に指定されない
Knowledge Management	PRB1714027	ポータルで、ナレッジ記事の URL を含むクイックアクションに添付ファイルが表示されない
言語と翻訳	PRB1618473	ドイツ語の時刻形式の翻訳が正しくないことについて
言語と翻訳	PRB1615848	Tokyo アップグレード後のフィンランド語翻訳にバグがある
言語と翻訳	PRB1622532	%d ago がノルウェー語で誤って翻訳されています

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
言語と翻訳	PRB1657482	sys_documentationテーブルの「購入済み」の日本語訳が正しくない
言語と翻訳	PRB1687679	言語プラグインを有効にしても、フィールドラベル (sys_documentation) テーブルの言語の [クラス] フィールドに値が設定されない
言語と翻訳	PRB1620902	cmdb_ci_shipテーブルの日本語ラベルが正しく翻訳されない
言語と翻訳	PRB1622319	HR To Do の解決ケース受け入れで、テキストにアポストロフィが含まれていると翻訳が切り捨てられる
言語と翻訳	PRB1623669	cmdb_ci_trainテーブルの日本語ラベルが正しく翻訳されない
言語と翻訳	PRB1632416	スウェーデン語のブレッドクラムが誤って翻訳される
言語と翻訳	PRB1633133	検索ページの [要求] ボタンのドイツ語訳が正しくない
言語と翻訳	PRB1633499	ベースインスタンスコンポーネントがカナダフランス語に翻訳されていない
言語と翻訳	PRB1660415	1 つのカテゴリの KB カテゴリのラベルを使用すると、英語と日本語の 2 つの異なるラベルがユーザーに表示されます
言語と翻訳	PRB1675927	Tokyo 以降、[簡単な説明] フィールドラベルのオランダ語翻訳が正しくないか、切り捨てられる
言語と翻訳	PRB1686697	日本語訳で「大なり」記号が正しく表示されない
言語と翻訳	PRB1693661	「レポートスタイルオプション>チャートタイトル>表示しない (Report style options Show chart title Never)」の日本語訳が UI と製品ドキュメントの間で一致しない

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
言語と翻訳	PRB1715030	アラビア語の文字に関するモバイル翻訳の問題
言語と翻訳	PRB1715779	ユーザーがシステム言語を変更しても、ダッシュボードのブレークダウンのデフォルト値は変更されない
言語と翻訳	PRB1719394	「Conversational Analytic」プラグインバージョン 6.0.2 以降、仮想エージェントダッシュボードの左側のメニューバーが日本語に翻訳されない
LDAP 統合	PRB1341018	MID Server を介した LDAP リスナーを処理する SoapProcessor スレッドがアップグレード中にスタックし、タイムアウトしない
レガシー - ベンダー スコア測定基準モデル	PRB1692243	core_companyテーブルに数百万のレコードがある場合は、ベンダースコアインジケータにcore_companyテーブルに条件が設定されていないため、メモリの競合が発生します
ライセンス使用	PRB1662288	ユーザーがウィジェットをクリックできない
ライフサイクルイベント	PRB1678573	LifecycleNotificationUtils.getEvent クエリに予想よりも時間がかかることがある
ライフサイクルイベント	PRB1698966	ライフサイクルイベントで、今後のタスクで [テンプレート] フィールドが空の場合、「エラー 'TypeError:オブジェクトに関数 indexOf が見つかりません' 」というエラーが発生する
ライフサイクルイベント	PRB1700595	ライフサイクルイベントでテンプレートを使用すると、canRead が削除される
ライフサイクルイベント	PRB1684646	ベースインスタンスフロー「開始日の変更」でエラーが発生する
ライフサイクルイベント	PRB1696210	カスタム角度バージョンがグローバルに利用可能な場合、LE Builder が機能しない
ライフサイクルイベント	PRB1703254	sn_hr_core.manager ロールのレポートがロードされない

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
ライフサイクルイベント	PRB1709564	[ライフサイクルイベント] のアクティビティの 1 つが順番にトリガーされていません
リスト管理	PRB1721133	sys_ux_list のビューが、子ドメインにある間は構成可能ワークスペースで優先されない
リスト管理	PRB1660533	時刻と日付の形式を設定するための個人設定が期待どおりに機能しない
リスト管理	PRB1681585	「sys_popup」ビューで、複数行の読み取り専用テキストフィールドの高さが小さすぎて、表示されるテキストが 3 行未満である
リスト管理	PRB660645	埋め込みリストでワードラップが機能しない
リスト管理	PRB1618694	ユーザーがレポートのリストレイアウトをカスタマイズした場合、レポートでは (ワークスペースビューではなく) デフォルトビューとしてリストレイアウトが使用されます
リスト管理	PRB1644034	リストプレビューレコードモーダルウィンドウが正しく表示されない
リスト管理	PRB1685839	ワークスペースで英語以外の言語でフィルタリングすると、True/False タイプのフィールドが誤った結果を返す (レガシーと構成可能の両方)
リスト管理	PRB1686692	Shift + ↓ キーがsys_m2m_templateで複数の値を選択しない
リスト管理	PRB1704160	カレンダーを使用している場合、[リスト] ビューから [保証の有効期限] フィールドに入力できない
リスト管理	PRB1622567	Agent Workspace で、[すべて] を選択すると [リスト] ページタイトルがあいまいになる
リスト管理	PRB1633777	UI Builder リスト内の DB ビューテーブルの列名を区別しにくい
リスト管理	PRB1653752	Next Experience ページの [リスト] タイプコンポーネントの [更新] ボタンは、更新さ

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
		れたレコードがフィルターに一致しない場合にインクリメントされる
リスト管理	PRB1661614	スクリーンリーダーは、セルデータ情報を 2 回読み上げます
リスト管理	PRB1664197	リスト上の RTL アライメントの問題
リスト管理	PRB1668627	参照と追加の修飾子を使用すると、参照リストのルックアップに一貫性がない
リスト管理	PRB1670550	[ページネーションを削除] = true の場合、[すべて更新] 確認メッセージに誤ったレコード数が含まれる
リスト管理	PRB1672117	列ヘッダーのその他のオプションリストを呼び出した後、スクリーンリーダー (NVDA) でステータスが [展開/折りたたみ] として読み上げられない
リスト管理	PRB1674339	NVDA が新しいレコードの作成中に [消耗品] タブで列名に関する誤った情報を通知する
リスト管理	PRB1675390	ユーザーがワークスペースでインライン編集を使用する場合、上書きされた選択肢フィールドに正しい値が反映されない
リスト管理	PRB1675696	Agent Workspace の親インシデントに 100 を超える子インシデントを追加することはできません。
リスト管理	PRB1682600	ハイライト表示/選択/ホバーページがリストのページネーションで区別できない
リスト管理	PRB1683077	言語をヘブライ語に切り替えるとリストビューの位置がずれる
リスト管理	PRB1685160	リストコントロールの [編集] ボタンに設定されたデフォルトのフィルターでは、[次のいずれかを含む] の結果が生成されません

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
リスト管理	PRB1685720	Enter キーを使用して簡易リストコンポーネントによってレンダリングされたエントリを開くことができません
リスト管理	PRB1687517	ページごとの設定がカスタムワークスペースの子関連リストに適用されない
リスト管理	PRB1687953	Next Experience の UI リストビューで「%」記号をフィルタリングすると、空のページにリダイレクトするリンクが生成される
リスト管理	PRB1689078	リストのハイライト表示されたフィールドで複数選択が機能しない
リスト管理	PRB1689221	ITSM ワークスペースで、ユーザーが [パーソナルリスト] ビューのすべてのアクションを表示できないことがある
リスト管理	PRB1690949	ハードウェア資産ワークスペースで、フィルターリストアイテムが展開されたときにスクリーンリーダーで読み上げられない
リスト管理	PRB1697784	ダッシュボードからケースとケースタスクを開くと、URL に「タスク」テーブルを含むレコードがロードされます
リスト管理	PRB1698199	Ctrl / Commandキーを押してリスト内の複数のレコードをクリックして新しいタブで開くと、空のページが一時的に表示される
リスト管理	PRB1700133	Customer Service Management のワークスペースでは、レコードを開く方法によってフィールドの高さが異なる
リスト管理	PRB1713002	UI16/Next Experience フレームセットで、[クエリ前] ビジネスルールがグループ化されたリストに対して 2 回実行される
リスト管理	PRB1694117	sys_highlighted_value_conditionリストの言語翻訳は、キャッシュがクリアされるまで機能しない
リスト管理	PRB1705780	ブール値でグループ化されたリストでは、null グループに「false」のグループが追

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
		加で存在する可能性があり、これは「false」と表示されます
リスト管理	PRB1662462	SlushBucketViewRules.js が、委任開発者のスコープ対象のビュー/テーブルのリストビューレイアウトを正しく処理しない
リスト管理	PRB1699721	Internet Explorer (IE) 経由でログインすると、UI16 で Navframe が機能しない
リスト管理	PRB1683377	リストで編集したハイライト表示されたフィールドには、新しく更新された値が反映されない
リスト管理	PRB1644901	ワークスペースで、[リストをカスタマイズ]ビュー内の [リストを編集] に問題がある
リスト管理	PRB1661521	Tab キーと Shift-Tab キーを使用すると、キーボードのフォーカスがフィルターダイアログの外に移動する
リスト管理	PRB1664309	リストアイテム間を移動するときに、スクリーンリーダーがリストアイテムの数またはインデックス作成を読み上げない
リスト管理	PRB1696761	Agent Workspace で、シフト選択を使用すると、グループ化されたレコードリストにより不要なレコードが選択される
リスト管理	PRB1715014	タイプが「システムクラス名」(sys_class_name) から「選択肢」に変更されると、リストのパンくずリストにフィールドタスクタイプの適切なラベルが表示されない
リストエディタ	PRB1693862	複数選択のレコード数が、ワークスペース内のリストで同じタブを使用する場合、それらのリスト間で保持される
リストフィルター	PRB1672171	タスクタイプに対して詳細フィルターを作成すると、リストリストは常にすべての結果を返します
リストフィルター	PRB1689579	ワークスペースリストのフィルター条件「除外」がドット連結フィールドで機能しない

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
リストフィルター	PRB1706587	構成可能ワークスペースの関連リストのフィルターが、コア UI のフィルターとは異なる動作をする
Machine Learning API	PRB1653604	Service Operations Workspace 推奨フレームワークの機械学習 API 予測が断続的にタイムアウトする
重大なインシデントの管理	PRB1681905	重大なインシデントの問題のトリガールール
重大なインシデントの管理	PRB1683228	言語が英語に設定されていない場合、コミュニケーションタスクが重大なインシデントワークベンチに表示されない
Managed Documents	PRB1667189	関係レコード「承認者」は、テーブル [approval_sequence] に存在しないフィールドをクエリします
Managed Documents	PRB1667232	ベースインスタンス関係レコード「リビジョンの承認」クエリで、「sysapproval_approver」テーブルの有効なフィールドではないフィールド「table」が使用されています
メモリ:ヒープ領域	PRB1673604	「GlideUxComponentDefProvider.java」コンポーネントによるメモリ枯渇
Microsoft 調整	PRB1671385	MarkInstallsAfterAssignmentForCluster は、ReconciliationConstants.BATCHSIZE より大きいエンタイトルメントのインストールのみをマークするため、一部のインストールがライセンスなしになる
MID Server	PRB1708634	修正スクリプト/ビジネスルールによってチェックサム値が追加された後、インスタンス/アプリのアップグレードで MID Server スクリプトファイルがスキップされる
MID Server	PRB1671317	MID Server がそれ自体で検出を実行する場合、ユーザーの資格情報をローカル接続に使用することはできません

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
MID Server	PRB1674231	GetMidInfo のフラッディングによるセマフォの枯渇がインスタンスのパフォーマンスに影響する
MID Server	PRB1682726	[エージェント] フィールドの MID Server 名の大文字/小文字が入力とまったく同じでない場合、ECC キュー入力が「処理中」または「処理済み」としてマークされない
MID Server	PRB1702682	MID Server の Windows MSI インストーラーが失敗する インスタンスとユーザーが WS-Security 用にセットアップされている場合に接続のテスト
MID Server	PRB1678911	SNMPPProviderImpl の extendShortPassword 関数が原因で、MID Server スレッドが無限ループでスタックすることがある
MID Server	PRB1700537	ベースインスタンスのセキュアファイル転送プロトコル (SFTP) で、[ファイルリストを取得] が次のエラーで失敗する: 「タスクを作成できません... (Cannot create task...)」
MID Server	PRB1705773	削除、再起動、開始、または停止時に vCenter イベントコレクターが停止する
MID Server	PRB1707308	Internet Explorer のプロキシ設定が原因で、MID Server インストーラーの.msiファイルがインスタンスに接続できないというエラーをスローする
MID Server	PRB1713816	[クエリウィンドウをリセット] コマンドでクエリウィンドウが変更されない
MID Server	PRB1629502	MID スタートアップシーケンサースレッドが例外をスローしても MID Server の起動を停止せず、エージェントログの代わりにラッパーログに記録する
MID Server	PRB1670586	[すべての MID ログを取得] ビジネスルールエラーが発生すると、MID Server が保存ログを複数回送信しようとする

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
MID Server	PRB1672698	しばらくすると MID サービス状態 start_pendingが開始される
MID Server	PRB1675589	MID Server プロパティの変更がすべての MID Server にブロードキャストされない
MID Server	PRB1695543	MID ファイルクリーナーをオフにしてもログに情報が記録される
MID Server	PRB1696516	MID Server は、ファイルシステムに表示される前に、.tmpファイルの名前を ECCSender フォルダ内の .xml に変更しようとする可能性があり、失敗した場合は再試行できない
MID Server	PRB1698599	ECC キューの出力レコードが [処理済み] に更新されない
MID Server	PRB1700534	起動エラー メッセージには、重複する sys_idsを含める必要があります
MID Server	PRB1702502	アップグレード中にインスタンスが遅すぎて MID Server レコードを「停止」とマークできない場合、MID アップグレードが失敗する
MID Server	PRB1706762	「ECC キュー:プロセス構成ファイル」ビジネスルールの実行中に label_entry テーブルへのクエリを実行すると、セマフォが使い果たされることがある
MID Server	PRB1711976	負荷分散された MID クラスタで構成された検出が、新しいビジネスルール「他の MID のレコード作成を制限する」が原因で失敗する
MID Server	PRB1712052	[アクセサーを使用したマスターのアカウントの追加 (Add Account for Master with Accessor)] で一時的な資格情報の生成に失敗する
MID Server	PRB1712191	ECC キューメッセージが「処理中」に設定されていないため、メッセージが取得され、再度実行される

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
Mobile Platform	PRB1687416	アクションアイテムスクリプトエディターが機能しない
Mobile Platform	PRB1696904	階層テーブルに [sys_sg_class_name] フィールドが含まれていない場合、Agent Mobile でオフラインキャッシュが期待どおりに機能しない
Mobile Platform	PRB1636326	モバイルオフラインペイロードには、ユーザーがトップレベル画面からは表示できない画面からの追加のメタデータ/データが含まれています
Mobile Platform	PRB1666119	sys_sg_ui_parameter field_name列は、40文字を超える列名を含めるのに十分な大きさではありません
Mobile Platform	PRB1678361	RecordsManager を使用してモバイルアプリでレコード数を取得するためのコード。java.getRowCount0() は最適ではなく、パフォーマンスの問題を引き起こす
Mobile Platform	PRB1682866	リスト画面から戻った場合、詳細画面で機能条件を自動的に更新できない
Mobile Platform	PRB1711983	「モバイルカラーデフォルト」 UX スタイルはグローバルスコープで作成されるため、編集可能である
Mobile Platform	PRB1717693	[未アサインのインシデント] リストアプレットが Agent Mobile アプリにロードされない
Mobile Platform	PRB1629288	オフラインとオンラインでのリスト画面でアイテムのソートに一貫性がない
Mobile Platform	PRB1711719	Agent Mobile アプリで、[保存されたビュー] リストに最初の 20 件のレコードのみがロードされる
複数プロバイダーの Single Sign-on (SSO)	PRB1689720	Vancouver へのアップグレード中、マルチ SSO インストールが一時的に終了し、非アクティブになる

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
Next Experience UI16 のテーマ作成	PRB1688513	sys_gaugeウィジェットがダークモードテーマに完全には準拠していない
Next Experience UI16 のテーマ作成	PRB1683427	スキーママップの下でフィールドが互いに重なり合う
Next Experience UI16 のテーマ作成	PRB1673275	Next Experience がアクティブな場合、プロセスフローフォーマッターが切り捨てられる
Next Experience UI16 のテーマ作成	PRB1684209	一部のユーザーがリストビューに予期しないコンテンツを表示する
Next Experience UI16 のテーマ作成	PRB1624304	ダークモードでタイムゾーンの選択が表示されない
Next Experience UI16 のテーマ作成	PRB1666025	ログインページのフランス語のテキストがカードの外側に表示される
Next Experience UI16 のテーマ作成	PRB1670272	Next Experience で、ユーザーがダークテーマを選択すると、ダッシュボードに時計コンポーネントが表示されない
Next Experience UI16 のテーマ作成	PRB1680171	[リストレポート] の [グループ] リストが表示されず、スクロールバーが固定される
Next Experience UI16 のテーマ作成	PRB1723262	ユーザーが Google Chrome v121.0.6167.8 を使用してフォーム内のテキストをハイライト表示できない
Next Experience UI16 のテーマ作成	PRB1649140	複数の Ajax 呼び出しが原因で、ページタイミング UI に 110n のギャップとパフォーマンスの問題がある
Next Experience UI16 のテーマ作成	PRB1688276	Next Experience でレンダリングされた UI16 ページで WCAG 2.1 AA 準拠のテーマを選択できない
Next Experience 統一ナビゲーション	PRB1670549	固定メニューのパフォーマンスが遅い
Next Experience 統一ナビゲーション	PRB1702118	com.glide.polaris .admin.configuration のディレクトリ構造が正しくありません

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
Next Experience 統一ナビゲーション	PRB1683691	ドメインピッカーが正しく表示されない
Next Experience 統一ナビゲーション	PRB1703111	ユーザーがコンコースピッカーをオフにしている場合、[ユーティリティオーバーフロー]メニューが移動しない
Next Experience 統一ナビゲーション	PRB1673090	代理操作失敗メッセージに役に立つ説明が含まれていません
Next Experience 統一ナビゲーション	PRB1687188	Safari では、英語が選択されていてもメニューがヘブライ語で表示される
Next Experience 統一ナビゲーション	PRB1669358	ブラウザーウィンドウを最大化すると、UI のサイズが正しく変更されない
Next Experience 統一ナビゲーション	PRB1670838	HR Agent Workspace で、[モジュールの編集] をクリックしてもレコードが見つからないと表示される
Next Experience 統一ナビゲーション	PRB1675452	Next Experience が有効になっていて、ユーザーがお気に入り編集すると、お気に入りの順序とネストが予期せず再配置される
Next Experience 統一ナビゲーション	PRB1682476	次の UI エクスペリエンスがオンの場合、Utah で ID の [センタープロフィール] リンクが壊れる
Next Experience 統一ナビゲーション	PRB1683469	Next Experience を有効にすると、関連リストの列と行を移動するための Tab キーが最後の列に移動せず、フォーカスもされない
Next Experience 統一ナビゲーション	PRB1685438	Next Experience で、キーワードでフィルタリングした後に [すべての結果] を展開しても機能しない
Next Experience 統一ナビゲーション	PRB1687216	Utah の Next Experience で、「代理操作」機能の応答時間が長くなる
Next Experience 統一ナビゲーション	PRB1672489	glide.product.name 値が、ナビゲーションヘッダーのホームページタイトルの初期ロードに反映されない

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
Next Experience 統一ナビゲーション	PRB1674875	glide.ui.can_searchプロパティの値に大文字が含まれていると、許可されたユーザーに対して「グローバル」検索入力が表示されないことがある
Next Experience 統一ナビゲーション	PRB1676045	ナビゲーションヘッダーリストのメニューとメニューアイテムがスクリーンリーダーによって正確に指定されない
Next Experience 統一ナビゲーション	PRB1679939	Next Experience ヘッダーのメニューアイテムが古くなり、リフレッシュアクションが必要になることがある
Next Experience 統一ナビゲーション	PRB1683894	インターネット接続が切断されると、「接続が復元されました」というメッセージが表示されます
Next Experience 統一ナビゲーション	PRB1686540	代理操作のキーボードショートカット
Next Experience 統一ナビゲーション	PRB1687318	スタートページの [現在表示しているページを使用] に完全なワークスペース URL が含まれていない
Next Experience 統一ナビゲーション	PRB1690263	Next Experience では、[通知] 環境設定内のプッシュ通知を切り替えることができます
Next Experience 統一ナビゲーション	PRB1693152	ブートストラップナビゲーションピルにフォーカスインジケーターがない
Next Experience 統一ナビゲーション	PRB1694100	ダッシュボードタブを切り替えると、ブラウザータブの表示がダッシュボード名から「統一ナビゲーションアプリ ServiceNow'
Next Experience 統一ナビゲーション	PRB1694566	リファラーとして「navigator.do」を含むカスタム URL で問題が発生する
Next Experience 統一ナビゲーション	PRB1697117	Next Experience の UI の幅によって、システムメッセージの単語が切り取られる
Next Experience 統一ナビゲーション	PRB1704769	Next Experience を使用している場合、管理者以外のユーザーの代理操作中に管理者ユーザーの代理操作を行うことはできません

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
Next Experience 統一ナビゲーション	PRB1706986	アバターの メニュー ボタンでキーボードのフォーカスが 2 回移動する
Next Experience 統一ナビゲーション	PRB1707839	ダーティフォームにハイフンが含まれていると名前が完全に表示されないポップアップ警告が表示される
Next Experience 統一ナビゲーション	PRB1729720	URL パラメーター sysparm_notificationが原因で、通知設定ページを含む新しいタブが開く
Next Experience 統一ナビゲーション	PRB1716406	複数選択 OR の場合、クロステーブルファセットフィルターが期待どおりに機能しない
Next Experience 統一ナビゲーション	PRB1715288	Next Experience がオンになっているときに、Windows マシンでハイコントラストモードをオンにすると、チェックボックスが正しく表示されない
Next Experience 統一ナビゲーション	PRB1690199	ユーザー初期設定のいずれかのカテゴリでユーザーが「i」 情報アイコンにカーソルを合わせたときに情報が表示されない
Next Experience 統一ナビゲーション	PRB1605772	ページにランディングした後、埋め込みヘルプのコンテンツ番号/インジケーターが表示されない
Next Experience 統一ナビゲーション	PRB1671320	OpenFrame ウィンドウは、固定されたメニューの上にドラッグできる必要があります
Next Experience 統一ナビゲーション	PRB1708696	固定および固定解除時に、サイズ変更時にコンテキストメニューが正しく配置されない
NLU サービス - Glide	PRB1712500	ML 予測サーバーからのピア例外によって接続がリセットされた場合に、再試行間の遅延時間を増やす
NLU Workbench	PRB1693001	選択できる NLU モデル (セットアップトピックモデル) は 1 つだけで、その他はすべて「未分類」です
正規化データサービス	PRB1657385	CMDB メーカーの正規化とドメイン分離に問題がある

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
正規化データサービス	PRB1697805	com.glide.data_services _canonicalization.client プラグインと 関連する修正スクリプトadd_hash_to_ core_company.xmlのアップグレードに約 17 分かかる
正規化データサービス	PRB1714526	「正規会社を作成」ビジネスルールのデフォ ルトのログ記録は過剰で断片化されており、 デバッグ時以外は役に立ちません
通知設定	PRB1694894	管理者レベルの権限を持たないユーザーは、 新しいデバイスを追加できません
通知設定	PRB1689661	[事前通知] 設定の [スケジュール] フィール ドに未ソートのデータがある
通知設定	PRB1690794	[通知設定] の [新規 SMS チャンネルを作成] に、非アクティブ化されたサービスプロバイ ダーが表示される
通知設定	PRB1704100	[通知設定] ウィジェット (notify_pref) で、 個々の通知の SMS チャンネルをオンまたはオ フにするオプションを見つけることができない
通知設定	PRB1718633	通知カテゴリを選択するときにスクロール バーがないため、通知の次世代設定 UI が 5 件の通知に制限される
通知設定	PRB1718627	スケジュールが選択されていない場合、詳細 フィルターは入力されません
Notify	PRB1688800	「アクティブな電話会議のクリーンアップ」 を非同期にする必要がある
Notify	PRB1715306	フローアクションへの入力が文字列形式であ ることを確認する
Now コードエディ ター	PRB1626711	プロセッサスクリプトエディターがオート コンプリートしない ScriptedProcessor グ ローバル
Now コードエディ ター	PRB1631011	スクリプトエディターで、コードの書式設定 後に誤った閉じ括弧がハイライト表示される

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
Now コードエディター	PRB1684216	UI Builder クライアントスクリプトでカーソルが不規則に移動する
Now Experience コンポーネントライブラリ	PRB1703860	Vancouver にアップグレードすると、チェックボックスが色あせて表示され、「インシデント」などのフォームで明確に表示されない
Now Experience コンポーネントライブラリ	PRB1671275	フォームにアラートが存在する場合、フォーカスが検索から移動する
Now Experience コンポーネントライブラリ	PRB1682133	チャットメニュー内の VA トグルホバー効果は、Utah では利用できなくなりました
Now Experience コンポーネントライブラリ	PRB1682953	Theme Builder は、[お気に入りの編集] で現在選択されているアイテムのテキストを判読不能にする CSS を生成します
Now Experience コンポーネントライブラリ	PRB1691645	角かっこ内の文字列にスペースがある場合、プロフィールアバターのイニシャルが正しく入力されない
Now Experience コンポーネントライブラリ	PRB1717509	スクリーンリーダーが Vendor Management Workspace フォームの詳細を読み上げない
Now Experience コンポーネントライブラリ	PRB1718359	ツールヒント情報が呼び出されたときにスクリーンリーダーによって読み取られない
Now Experience コンポーネントライブラリ	PRB1688868	TypeAheadMulti コンポーネントの入力がオーバーフローしています
Now Platform Security	PRB1586923	テーブル API で、複数の列を持つ大きなテーブルで ACL のパフォーマンスが低下する
Now Platform Security	PRB1578304	syscache_sys_certificate キャッシュの過剰なフラッシュ
Now ユーザーエクスペリエンス	PRB1688494	ホームページメニューの [設定] オプションの言語翻訳が正しく機能しない

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
Now ユーザーエクスペリエンス	PRB1672107	スクリーンリーダー (NVDA) がダイアログボックスを開いた後、その名前を読み上げない
Now ユーザーエクスペリエンス	PRB1683668	Next Experience ヘッダーによってロードされたユーティリティ UI からナビゲーションが機能しない
On-Call Scheduling	PRB1702806	「オンコールのギャップと競合」レポートが、レポート内のすべてのアサイン先グループマネージャーに送信されない
On-Call Scheduling	PRB1677343	Utah にアップグレードすると、オンコールのギャップ競合レポートが機能しなくなる
On-Call Scheduling	PRB1689939	On-Call Scheduling モジュールで、エスカレーションポリシーに新しいステップを追加できない
On-Call Scheduling	PRB1692713	[勤務表ごとの確認応答によるアサイン (Assign by Acknowledgment per Rota)] ワークフローがエラーで失敗する
On-Call Scheduling	PRB1698256	オンコールカレンダーには、エスカレーション計画の一環として休暇中の従業員が表示されます
On-Call Scheduling	PRB1710430	グループに延長時間が提供されるとオンコールランディングページが中断される
Orchestration	PRB1667547	JDBC 資格情報の [資格情報をテスト] UI アクションで、資格情報のテストの失敗の原因がログに記録されない
Password Reset	PRB1709661	ユーザー言語がフランス語の場合、パスワード変更フォームが表示されない (ただし、ユーザー言語が英語またはスペイン語の場合は表示される)
Password Reset	PRB1669917	システムイベント「sys_user.insert」および「sys_user.delete」のイベントの説明が誤解を招く

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
Password Reset	PRB1683051	一部のユーザーのパスワード リセット アプリケーションでは、ユーザーが登録時に選択したものとは異なる質問が表示されます
Password Reset	PRB1685517	パスワードルールチェックのビジュアル化が機能しない
Password Reset	PRB1710481	[パスワードのリセット] ボタンは、言語がフランス語の場合はグレー表示されますが、英語に設定されている場合は機能します
Password Reset	PRB1714465	[パスワードポリシー] がオフになっている場合、Windows アプリでパスワードのリセットが機能しない
Password Reset	PRB1686397	Password Reset 時に、[パスワードの変更] ページのフィールドがスクリーンリーダーによって要求どおりに読み上げられない
Performance Analytics	PRB1665235	移行されたダッシュボードで X 軸のソートが正しくない
Performance Analytics	PRB1688646	Platform Analytics ワークスペースでは、管理者以外のユーザーは、ビジュアル化のデータソースとしてタスクテーブルを使用できません
Performance Analytics	PRB1684177	Performance Analytics ダッシュボードウィジェットで、値が列の下に正しく配置されない
Performance Analytics	PRB1681667	ダッシュボードビューで「ウィジェットカテゴリ」が翻訳されていない
Performance Analytics	PRB1685606	Next Experience が有効になっているウィジェットサイズが小さい場合でも、目盛りとスピードメーターのラベルが大きい
Performance Analytics	PRB1685951	「Deflection Metric.Channel」スクリプトにsp_logのケースがなく、エラーをスローする
Performance Analytics	PRB1670330	カーソルを合わせると移動するダッシュボードのレポートのタイトル

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
Performance Analytics	PRB1674873	レコードの削除後、フィルターに間違った数の選択された値が表示される
Performance Analytics	PRB1677470	トランザクション要求を強制終了しないためsys_quotaレポートを表示が 10 分以内にロードされない
Performance Analytics	PRB1678961	ダッシュボードデータの構成の [空の値を 1 つとして表示] オプションが機能しない
Performance Analytics	PRB1681921	[日付範囲] セレクターは、毎月の頻度インジケータにすべての月の現在の月を表示します
Performance Analytics	PRB1687988	要求を実行すると、「不明なタイムゾーン ID: EAT. 不明なタイムゾーン ID」
Performance Analytics	PRB1692342	重複する名前を持つダッシュボードは、タブで翻訳の問題が発生する可能性がある
Performance Analytics	PRB1697943	Next Experience をオンにすると、pa_diagnosticテーブルの [すべて実行] UI アクションが期待どおりに機能せず、ページが壊れる
Performance Analytics	PRB1705451	非グローバルドメインから要素を取得するフィルターを使用してグローバルドメインからブレークダウンを追加しようとすると、グローバルドメインから式インジケータを作成するとエラーが発生する
Performance Analytics	PRB1716316	ユーザーが同じダッシュボードに 2 つのテキスト ウィジェットを追加すると、両者が異なるインジケータで作成されていても、同じインジケータ名が表示されます
Performance Analytics	PRB1679715	分析センターで、ユーザーが KPI をブックマークできない
パフォーマンス分析 API	PRB1692290	UIB のデータ可視化コンポーネントが言語によって動作が異なる

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
Performance Analytics ダッシュボード	PRB1615708	[ヘッダーを表示] が無効になっている場合、ダッシュボードにデータがないウィジェットにヘッダーが表示されない
Performance Analytics ダッシュボード	PRB1680436	Utah にアップグレードした後、ダッシュボードタブが正しく表示されない
Performance Analytics ダッシュボード	PRB1679738	Utah で Next Experience テーマのウィジェットアイコンがユーザーに表示されない
Performance Analytics ダッシュボード	PRB1680300	Next Experience が有効になっているときにウィジェットがロードされない場合、エラーメッセージが明確に表示されない
Performance Analytics ダッシュボード	PRB1688858	Field Service Management (FSM) Performance Analytics ダッシュボードがワークスペースのディスパッチャーにロードされない
Performance Analytics ダッシュボード	PRB1691853	Performance Analytics のピボットヒートマップウィジェットがダッシュボードにロードされず、ユーザーの UX スタイルで NullPointerException (NPE) が発生する
Performance Analytics ダッシュボード	PRB1702417	プラットフォーム分析ワークスペースの [ダッシュボード通信チャンネル] の情報メッセージが過剰に記録される
Performance Analytics ウィジェット	PRB1684180	ブレイクダウンラインウィジェットの日付が翻訳されない
Performance Analytics ウィジェット	PRB1677783	YTD 日付範囲が選択されている場合、ブラウザのタイムゾーン (使用中のコンピューターのシステムタイムゾーン) が最初の日付ラベルの表示に影響を与える
Performance Dashboards	PRB1687740	ダークモードテーマを使用すると、ベースインスタンスのパフォーマンスダッシュボードでウィジェットテキストが判読できない
Performance Dashboards	PRB1703658	遅いパターンの時系列グラフに誤ったデータが表示されるか、データがない

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
プラットフォームライセンス	PRB1693403	GlideEntitlement.entitlementExists および GlideEntitlement.has LicenseEntitlementForApp のログ記録が削減されます
ポータルアプリシェ ル	PRB1694619	ユーザーの初回ログイン時に ShoppingHub のメニューが表示されない
ポータルアプリシェ ル	PRB1678326	コンテキストサイドペインはデフォルトでリ スクワークスペースで展開されるが、リスク ポータルでは表示されません
ポータルアプリシェ ル	PRB1718428	ヘッダーセクションの繰り返し要素をスキッ プするための [メインコンテンツへスキップ] リンクがアプリケーションに用意されていな い
Predictive Intelligence	PRB1686877	ml_cluster_sol_updateの大きなテーブル処 理により、ClusteringService クラスのラン タイムが増加する
Predictive Intelligence	PRB1579574	トレーナーがソリューションのステー タスを更新しているときに Glide が NullPointerException をスローする
Predictive Intelligence	PRB1615019	入力フィールドの 1 つが出力フィールドと同 じである場合、トレーニングが失敗する
Predictive Intelligence	PRB1686525	ドット連結がベースインスタンスのクラ イアントスクリプト「ケース値を予測」 でサポートされていないため、Predictive Intelligence をケースフォームから予測でき ません
Predictive Intelligence	PRB1688335	類似性ソリューションは、完全一致に対して 予想よりも低い信頼スコアを返します
Predictive Intelligence	PRB1694556	予測サービスを呼び出すと、次のエラーで失 敗します: '人事の送信 http への不正アクセ ス: コア。非同期ビジネスルールを使用して 送信 HTTP 要求を実行
Predictive Intelligence	PRB1694969	table_name ml_update_setを含む孤立した sys_attachmentレコードを削除する必要が ある

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
Predictive Intelligence	PRB1702892	特定のトレーナーが使用されている場合、「ケース値を予測」スクリプトでサポートされているケースフォームから Predictive Intelligence を予測できない
Predictive Intelligence Workbench	PRB1692201	「PIWBMigrator」スクリプトインクルードがすべてのユースケーステンプレートを考慮していない
Problem Management	PRB1687268	既知のエラーナレッジベースに存在しないデータポリシーが表示される
Process Automation Designer (ファミリーチャネル)	PRB1699994	CI バインディングがドメイン分離で期待どおりに機能しない
Process Automation Designer (ファミリーチャネル)	PRB1677912	ドメイン分離アクションで PAD 検証が失敗する
Process Automation Designer (ファミリーチャネル)	PRB1685532	古い Sys ID を参照すると、プロセスの重複が解除されます
Process Automation Designer (ファミリーチャネル)	PRB1697879	アップグレードされたプロセスをアクティブ化できない
Process Automation Designer (ファミリーチャネル)	PRB1674927	sys_pd_license_trigger テーブルが、トリガーテーブルの選択をコントロールするために使用されている
Process Automation Designer (ファミリーチャネル)	PRB1705201	テンプレートポップアップモダルの作成時に「トランザクションがキャンセルされました」という例外エラーが表示される
Process Automation	PRB1689339	Process Automation Designer のトランザクションがプロセスのスコープを使用していない

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
Designer (ファミリーチャネル)		
Process Automation Designer (ファミリーチャネル)	PRB1686055	キャンセルされたプロセスでは、Playbook/アクティビティコンテキストでアクティビティがキャンセル済みとして表示されない
プロセスマイニング	PRB1683761	プロジェクトサマリーを表示するために大量のデータがロードされているため、[プロジェクトを処理] のロードに失敗する
プロセスマイニング	PRB1685992	アップグレード後にすべてのプロジェクトがロックされる
プロセスマイニング	PRB1691980	繰り返しヒストグラムの最後のビンを適用すると、誤った検証がトリガーされる
調達	PRB1700597	[アイテムを返品] ポップアップに欠陥のあるチェックボックスがある
調達	PRB1673041	下位レベルの権限を持つユーザーが SC タスク/RITM フォームを保存または更新できない
調達	PRB1686574	在庫ルールのしきい値に達したが、発注書は作成されない
調達	PRB1713678	SAMPVirtualAgentCatalogUtil スクリプトインクルードは、cmdb_ci_computerテーブルでラージテーブル処理をトリガーする
Project Management	PRB1704962	コスト計画 UI の [戻る] ボタンをクリックすると、UI16 に戻ります
Project Management	PRB1685357	[財務] タブを開いたときにエラーが発生しました
Project Management	PRB1667201	プロジェクトのステークホルダーを作成するときに、dmn_stakeholder_register.do フォームの [ポートフォリオ] フィールドが自動入力されない

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
Project Management	PRB1668343	既存のプロジェクトのポートフォリオまたはプログラムを変更すると、システムの更新に数分かかるかタイムアウトする
Project Management	PRB1675997	新しいプロジェクトワークスペースに新しいタスクを追加できない
Project Management	PRB1679473	クラシックプロジェクトワークスペースで新しい条件「OR」クエリを使用すると、検索中に一致しない結果が除外されない
Project Management	PRB1680910	新しいプロジェクトワークスペースで、プロジェクトタスクの横にある + と 矢印 ボタンが一貫して機能しない
Project Management	PRB1672190	プロジェクトテンプレートが適用されると、プロジェクトタスクの時間制約 [すぐに開始] の制約日付が空ではない
Project Management	PRB1675005	コスト計画がプロジェクト通貨で [合計実績コスト] の値を誤って計算する
Project Management	PRB1675243	rate_model_lineテーブルには、同じ番号のレートラインが複数あります
Project Management	PRB1676485	ポートフォリオターゲット浮動小数点/丸め問題
Project Management	PRB1684220	ユーザーがプロジェクトタスクのアサイン先グループを選択しようとする、「null をオブジェクトに変換できません (Cannot convert null to an object)」というメッセージがスローされる
Project Management	PRB1684620	WIP タスクの予定期間を更新すると、「プロジェクトタスクの期間は、プロパティで定義された最大期間を超えています。無効な更新です。
Project Management	PRB1684974	ワークスペースからプロジェクトが作成されると、複数通貨フィールドの [プロジェクト通貨での予定コスト] および [プロジェクト通貨での確認済み/割り当て済みコスト] フィールドがゼロに設定される

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
Project Management	PRB1685487	FTE で計算すると、予定時間の丸めの問題があります
Project Management	PRB1692931	[スケジュール外の日付を許可] フラグが true に設定されている場合、プロジェクトタスクは 1 日の期間に戻ります
Project Management	PRB1693329	プログラムタスクのステータスが [完了してクローズ] から [オープン]/[対応中] に移動すると、[実際の日付] フィールドと [ステータス] フィールドの値が変更されます
Project Management	PRB1703501	Microsoft Project から IT Business Management への「主要マイルストーン」マップが機能しない
Project Management	PRB1706936	Vancouver へのアップグレード後、自動調整を使用するとガントチャートのタイムラインの表示に問題がある
Project Portfolio Management	PRB1689836	先行タスクまたは後続タスクが直接削除されると、無効な関係を計画コンソールから作成できる
関連リスト	PRB1653682	ワークスペースの簡易リストの関連リスト条件で構文エラーがスローされる
関連リスト	PRB1710266	関連リストのフィルターに「OR」または「AND」を追加すると、画面全体がシフトする
Release Management	PRB1689647	[実績作業開始値を設定 (Set Actual Work Start Value)] ビジネスルールに「オブジェクトが定義されていません」というエラーがある
Remote Process Synchronization	PRB1650969	[リモートシステムから添付ファイルを要求] アクションがコンテンツタイプの要求ヘッダーを送信しない
Remote Process Synchronization	PRB1688982	ドメインユーザーによって入力された場合、CaptureDefinitionSet のレコードが 0 になり、レコードがキャプチャされないことがある

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
Remote Process Synchronization	PRB1686465	プロセス同期では、レコードに対する非インタラクティブな変更は無視されない
リモートテーブル	PRB1684901	Javascript 呼び出しはリモートテーブルでは機能しません
レポートデザイナー	PRB1646266	キーボードフォーカスが [説明] 編集フィールドの後の [URL アドレス] フィールドに移動する
レポートデザイナー	PRB1696150	[集計] フィールドが削除された後に単一スコアレポートを再ロードすると、レポートが正しくロードされない
レポート	PRB1648051	マルチレベルピボットレポートで誤ったフィールド値が保存される
レポート	PRB1683499	スクリプトインクルード DeCustomizeRVAUtil に、ユーザーがアドレス指定できないパッケージコールが含まれている
レポート	PRB1579304	同じテーブルを参照する 2 つの参照フィールドで「OR」演算子を使用してレポートで関連リスト条件を使用すると、フィールドをドット連結すると結果が返されず、ログに「一意でないテーブル/エイリアス」エラーが発生する
レポート	PRB1683552	Utah でピボットレポートの関数フィールドにデータが入力されない
レポート	PRB1686047	sc_cat_itemに関するリストレポートがベースインスタンスビジネスルール「管理者ホームページのアイテムを非表示」で機能しない
レポート	PRB1688575	マルチレベル ピボット レポートで [選択肢] タイプのドット連結の行と列が、選択肢ではなくラベルのアルファベット順に並べ替えられる
レポート	PRB1665383	ブレイクダウン要素を含むダッシュボードがロードされない

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
レポート	PRB1682044	リストのエクスポートを送信する際のメールの件名の言語に関する問題
レポート	PRB1687358	URL に「sysparm_filter_only=true」パラメータが含まれている場合、グループ化の値を変更するとレポートが表示されない
レポート	PRB1692687	マルチレベルピボットレポートの展開および折りたたみ矢印がチェックボックスとして表示される
レポート	PRB1694805	[休暇] カレンダーにデータが正確に表示されない
レポート	PRB1703703	[グループ] または [積み重ね基準] が変更されたときに、棒/円/時系列レポートクエリがリードレプリカに移動しない
レポート	PRB1705310	ユーザーは、レポートの最後までスクロールして水平スクロール バーを見つける必要があります
レポート	PRB1706800	条件ビルダーバージョン 2 に [テーブル名] フィールドの「is empty」演算子がないため、選択肢フィールドとしての表示に一貫性がない
リソース管理	PRB1689856	glide.sys.time_format - hh:mm:ss により、「将来の年」の最終週のリソースの可用性が 12 月に 8 時間短くなる
リソース管理	PRB1693272	リソース割り当て日次レコード 割り当て後に運用リソース計画が更新された場合、「名前」が「未定義」に設定される
リソース管理	PRB1701162	割り当てワークベンチの [ユーザーを置換] アクションにより、リソース計画のリソースグループが空になる
リソース管理	PRB1708156	リソース割り当てワークベンチのリソースファインダーからロールを選択すると、リソースグループのリストに「一致項目は見つかりませんでした」と表示される

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
制限付き発信者アクセス (RCA)	PRB1684008	制限付き発信者アクセス (RCA) が、「関連リスト (関係)」からのスクリプト呼び出しをソースとして認識しない
ロールバックおよび復旧	PRB1543140	ログインしているユーザーのドメインがドメインピッカーの選択と一致しない場合、ATF テストでレコードがロールバックされない
ジョブスケジュール	PRB1662397	[データ管理の更新] ジョブで null フィールドがクリアまたは設定されない
SCIM プロバイダー	PRB1699455	ACL が一部のユーザーレコードをブロックする場合、「クロスドメイン ID 管理システム (SCIM) ユーザーリスト」API が totalResult を「0」として返す
スクリプトアクション	PRB1686355	オプションのチェーンを含むスクリプトを保存できません
検索の管理	PRB1496054	VoiceOver ユーザーが親要素のステータスを表示できない
検索の管理	PRB1644986	グローバル検索によって指定された結果セクションの一部の文がハードコードされている
検索ソース	PRB1658829	[テキストインデックスの作成 (Create Text Index)] ビジネスルールによって望ましくない更新が作成されている
セカンダリデータベース管理	PRB1642197	Tablechunkcopier が中断またはキャンセルされた場合にトリガーと TMP テーブルを残す
シークレット管理	PRB1618071	Password2 データ移行ジョブが、ワークフローに関連付けられている変数入力 (Password2 タイプ) の暗号化または復号化を試行する
Seismic フレームワーク	PRB1634186	リストビューに大量のデータをロードするとエラーが発生する
Seismic フレームワーク	PRB1702323	失敗したペイロードを再実行しても、ペイロードが既に圧縮されているかどうかは確認されません

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
Seismic フレームワーク	PRB1719128	sn-http-request shouldStringify ではファイルタイプは考慮されません
サーバーサイドスクリプト	PRB1684040	スクリプトエディターがユーザーのフォーカスにあるすべてのテーブルと列の補完を読み込もうとすると、UI がハングする
サーバーサイドスクリプト	PRB1692959	Number.prototype.toLocaleString は最初の引数をベースとして扱うため失敗する
サーバーサイドスクリプト	PRB1715580	GlideRecord API が整数 addOrCondition() 値を 10 進数として不適切に渡す
Service Catalog	PRB1663971	「第一選択肢を選択しない」変数がオンに設定されている場合、ワークスペースビューで他のフィールドとやり取りするときに変数が入力される
Service Catalog	PRB1682907	注文ガイドのオンロードで自動入力機能が機能しない
Service Catalog	PRB1692587	外部ロールを持つユーザーが Service Catalog の [変数の自動入力 (Auto populated of the variable)] 機能を使用できない
Service Catalog	PRB1682822	リストコレクター変数の書式設定に問題がある
Service Catalog	PRB1685838	要求アイテムのワークフローステージが翻訳されない
Service Catalog	PRB1675661	「system」によって更新が行われた場合、ベースインスタンスロジックに従って未定義が返される:RequestNotificationUtilSNC
Service Catalog	PRB1692024	コンテキスト検索ウィジェットで、ポータルレコードプロデューサーフォームにフィルター構成が適用されない
Service Catalog	PRB1702615	ポータルで、ステージレンダラータイプが「ワークフロー駆動型」のワークフローに「ステージ」の期待されるラベルが表示されない

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
Service Catalog	PRB1708103	挿入と維持機能で、ベースインスタンスのビジネスルール「同じ名前の変数のチェック」が無視される
Service Catalog	PRB1672187	基準診断ツールと Service Portal で canView チェックの動作が異なるため、ユーザー基準キャッシュが汚染される
Service Catalog	PRB1673180	注文ガイドから参照フィールドが入力されている場合、ルックアップ選択ボックス参照修飾子が機能しない
Service Catalog	PRB1677977	ダークテーマが有効になっている場合、一部のカタログアイテムの横にある記号が表示されない
Service Catalog	PRB1681272	item_option_new_setテーブルの [名前] フィールドの表示値を変更しても、スラッシュバケットに反映されない
Service Catalog	PRB1685310	サービスカタログの翻訳されたテキスト参照フィールドで、参照ポップアップリストにレコードが表示されない
Service Catalog	PRB1686787	「getSelected」を使用すると、GlideChoiceListGenerator / WorkflowIcons が期待どおりに機能しない
Service Catalog	PRB1687562	アイテムをドラフトとして保存すると例外がスローされる
Service Catalog	PRB1689608	カタログビルダーで、メール検証を使用した質問のテキスト検証を挿入すると壊れる
Service Catalog	PRB1694982	特定の日付形式により UI ポリシーの問題が生じる
Service Catalog	PRB1696102	Employee Center では、レコードプロデューサーを送信すると、「このカテゴリを表示する権限がありません」というメッセージが表示されるページにリダイレクトされます

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
Service Catalog	PRB1698760	検索履歴が基になるレコードに関連付けられていません
Service Catalog	PRB1700057	マスク済みタイプの変数を持つ複数行の変数セットで管理者以外のユーザーを使用している場合、[追加/更新] エントリが暗号化されない
Service Catalog	PRB1702204	注文ガイドで、要求者またはsnc_internal ロールのみを持つユーザーは、要求を送信する前にマスク済みフィールドの [表示/非表示] オプションを表示できない
Service Catalog	PRB1707481	レコードプロデューサーが注文ガイドを介して送信され、ユーザーが [買い物かごに追加] ボタンを使用して一度に 3 ~ 4 件の要求を実行した場合、未定義のレコードが作成されます
Service Catalog	PRB1709552	[プラットフォーム] ビューでカテゴリの写真/画像のサイズが変更されない
Service Catalog	PRB1721032	変数セットのバージョンがキャプチャされます
Service Catalog	PRB1716003	添付ファイル変数属性がカタログウィザードで評価されない
Service Catalog	PRB1712462	「カタログビルダーで編集」 UI アクションをオフにする機能が必要です
Service Catalog Builder	PRB1679746	システムプロパティ glide.sc.builder.preview_portal_idが Utah で機能しなくなった
Service Catalog Builder	PRB1701062	変数セットで、変数の [順序] フィールドの [ソート] オプションが適用されない
Service Catalog Builder	PRB1678939	CB からのトピックを含むカタログアイテムに対して生成された更新セットは、ターゲットインスタンスに 2 つのカタログアイテムを生成する

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
Service Catalog Builder	PRB1716672	カタログビルダーのサービス遂行手順で予期しない動作が発生する
Service Catalog Builder	PRB1716203	テンプレートを使用してカタログビルダーから作成されたカタログアイテムを編集すると、「更新者」がシステムとして表示され、フローが中断される
Service Catalog ポータルウィジェット	PRB1609965	CSM ポータルのケースタスクリストビューで、フォームビューに表示されている場合でも [親ケース] フィールドが空になる
Service Catalog ポータルウィジェット	PRB1689212	カタログアイテムでの aria-live='assertive' の誤った使用
Service Catalog ポータルウィジェット	PRB1698618	[自分の要求] ページで、フィルターの ARIA ラベルが正しくない
Service Catalog ポータルウィジェット	PRB1699802	catalog_channel_analyticsテーブルのベースインスタンスの「アーカイブ化と破棄」ルールがユーザーに対して読み取り専用である
Service Catalog 変数	PRB1690213	カタログアイテムの複数のリストコレクター変数にパフォーマンスの問題がある
Service Level Management	PRB1665958	ノード専用ロギングが要求されると、一部の SLA デバッグログが syslog テーブルに表示されます
Service Level Management	PRB1690062	ユーザーがケースを作成するときに契約サービスレベルアグリーメントが適用されない
サービスマッピング	PRB1685333	チェックポイントリーパーがメモリ内のチェックポイントを更新しないため、エラーログメッセージが表示される
サービスマッピング	PRB1689002	マップデータ呼び出しの前に ServiceTreeData がトリガーされると、マップのロード時間が遅延する

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
サービスマッピング	PRB1700067	Service Mapping で、システムログエラー「java.lang.ArithmeticException」が発生する
サービスマッピング	PRB1710174	履歴マップで、サイドパネルのアラートカードの [前回のイベント時刻] が UTC タイムゾーンで正しく表示されない
サービスマッピング	PRB1720679	レビューするアプリケーションサービスを承認または送信するときに null ポインター例外が発生する
CMDB グループを使用した Service Mapping	PRB1673576	タグベースの Service Mapping がアプリケーションサービスからフィールド値を削除する
サービスモデル基盤	PRB1674356	「ケースビューアー」ロールと「自己貢献者」ロールを組み合わせることで、ユーザーはすべてのケースへの書き込みアクセス権を付与されます
Service Portal	PRB1700754	Vancouver にアップグレードした後、ポータル検索の [カタログ] セクションに検索結果が表示されない
Service Portal	PRB1675479	標準チケットヘッダーで、グローバルアプリケーションテーブルとスコープ対象のアプリケーションテーブルが同時に使用されると、情報フィールドがキャッシュされる
Service Portal	PRB1681748	検索バーの結果が分類トピックページに表示されない
Service Portal	PRB1668690	モバイルブラウザで値を削除すると、リストコレクター変数のツールヒントが固まる
Service Portal	PRB1688387	標準チケット会話ウィジェットで、コメントフィールドのツールヒントが実際に入力されているテキストと重なる
Service Portal	PRB1701214	HTMLコンテンツをサニタイズするための代替方法があるはずです

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
Service Portal	PRB1634130	NVDA スクリーンリーダーがポータルの読み取り専用チェックボックスとメールフィールドを読み上げない
Service Portal	PRB1642090	[自分のタスク]、[自分の要求]、[自分のお気に入り]、[ユーザープロファイル]、および [ツアー] コントロールに対して「メニューアイテム」が定義されているため、ロールが正しくない
Service Portal	PRB1686445	Employee Center バナーメッセージに誤ったマークアップがあり、スクリーンリーダーがユーザーに誤った情報を送信する
Service Portal	PRB1686541	新しいカタログは、システムプロパティ (com.glideapp.home .deprecate_homepages:true) を持つインスタンスのホームページとして作成され、ユーザーに報告される
Service Portal	PRB1693137	正規表現はプラットフォームでは機能するが、Service Portal では機能しない
Service Portal	PRB1704296	Vancouver で、Now Agent 参照フィールドが機能しない
Service Portal	PRB1575599	認証されていないサービスポータルユーザーに対して添付ファイルのリンクが開き、「要求されたテーブルではフォームビューがサポートされていません」と表示される
Service Portal	PRB1631668	米国地域ユーザーの場合、分析がデフォルトで有効になっている場合でも、ユーザーの user_preference値は false である
Service Portal	PRB1634151	インスタンスが切断されると、エラーメッセージがユーザーが選択した言語で表示されない
Service Portal	PRB1659476	ポータル RITM の「チケット会話」ウィジェットのオフラインコメントがオンラインになった後にスパムされ、追加の添付ファイルが投稿される
Service Portal	PRB1668078	iOS で先行入力検索ウィジェットがカーソルタイプの動きに従わない

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
Service Portal	PRB1671258	ポータル先行入力の [最近表示した AI Search 結果] ポップオーバーの [カタログアイテム] に翻訳のタグが付けられていない
Service Portal	PRB1672706	ラベル変数のヘルプテキストの長い URL が、その下にチェックボックス変数がある場合にコンテナの外側に表示される
Service Portal	PRB1680137	[承認] ウィジェットのグリフアイコンで、グリフとテキストの間のスペースが、サービスポータルの他のベース インスタンス ウィジェットよりも広がっている
Service Portal	PRB1681495	クイックリンクからアイテムを削除すると、重複するアイテム名が確認される
Service Portal	PRB1684222	ツールヒントとタイトルヒントによって、サービスポータルの情報が倍増している
Service Portal	PRB1685730	CSM および CSP 顧客登録アラートが入力時にスクリーンリーダーによって読み上げられない
Service Portal	PRB1687526	Service Portal で、添付ファイルが削除されていない場合でも、「添付ファイルを削除しました」というコメントが追加される
Service Portal	PRB1688313	ラジオボタングループがデフォルトで選択されていない状態で [必須] に設定されている場合、スクリーンリーダーによって不要な余分な単語「必須、必須フィールド」が読み上げられる
Service Portal	PRB1688537	表示するカテゴリが他にない場合でも、[Service Catalog カテゴリ] ウィジェットに [その他のカテゴリを表示] ボタンが表示される
Service Portal	PRB1690107	g_form.addErrorMessage() がサービスポータルのリンクに「%20」を追加している
Service Portal	PRB1692325	ブランドエディターのロゴパディングが機能しない

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
Service Portal	PRB1692714	アイデアポータルで、UI アクションをクリックすると [サイトのリロード] ポップアップが表示される タスク の作成
Service Portal	PRB1694098	内部 href リンクのあるナレッジベース記事を開くときに、ウィジェットによってループが発生することがある
Service Portal	PRB1697460	[sp-editable] フィールド内の [日付] フィールドが正しく保存されない
Service Portal	PRB1697893	「import_template_preview」 UI ページの基本インスタンスでコンパイルエラーがある
Service Portal	PRB1698123	Service Portal で、変数タイプ [要求:] のツールヒントの表示スタイルが、他のツールヒントまたはプラットフォームの表示スタイルと一致しない
Service Portal	PRB1698352	サービスポータルで、NVDA が無効な添付ファイルを選択した後でも不要な成功メッセージを通知する
Service Portal	PRB1699201	[お知らせ] パネルで、ロールが関連付けられていない要素に ARIA ラベルが使用される
Service Portal	PRB1700933	Service Portal で、ID 属性値が ARIA で使用されているが、ラベルが一意でない
Service Portal	PRB1704204	ユーザーがポータルのモバイルブラウザーで参照フィールドまたは参照変数をクリックできない
Service Portal	PRB1708431	変数タイプが「リストコレクター」のサービスカタログアイテムは、aria-hidden=true で作成され、スクリーンリーダーのフォームコントロールナビゲーションからフォーム要素が非表示になります
Service Portal	PRB1717316	添付ファイルのポップアップでモーダルのテキストが非表示になる

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
Service Portal	PRB1715883	[アクセシビリティを有効にする] ボタンが Windows ハイコントラストモードで表示されない
Service Portal	PRB1719087	カタログアイテムの注釈は、特定の長さになると展開されない
Service Portal	PRB1717783	Vancouver で、必須変数が含まれている場合、カタログ UI ポリシーアクションでコンテナラベルが非表示にならない
Service Portal	PRB1611478	Service Portal で、スコープ対象のアプリでフラッシュを使用した成功メッセージを非表示にする必要がある
Service Portal Announcements	PRB1690377	お知らせに折りたたまれた機能がある場合、ユーザーがお知らせを展開しない限り、スクリーンリーダーは折りたたまれたセクションを読み上げません
Service Portal コアウィジェット	PRB1480852	テーブル API ACL により、ESS ユーザー (ロールなし) がチェックアウト時に別のユーザーを選択できないようにブロックされている
Service Portfolio Management	PRB1673235	機能停止が 8 時間以上変換されない
Service Portfolio Management	PRB1676997	カタログアイテムおよびレコードプロデューサーで登録者関連リストのUtah_Availableが機能しない
Service Portfolio Management	PRB1672501	影響を受けるサービスと影響を受ける CI を含めるように変更されたため、SLAResultCalculator の実行に予想以上に時間がかかる
Service Portfolio Management	PRB1681057	ビジネスルール「ポートフォリオ分類の適用 - サービス」が上書きされる
Service Portfolio Management	PRB1688927	テーブルのスキーマの構成ミスが sc_cat_item_serviceで観察される

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
Service Portfolio Management	PRB1713565	バンクーバーのアップグレードは16 +時間実行されています
Service Portfolio Management	PRB1717785	システム作成アイテムにスペルミスがあり、sys_documentationテーブルの「委任」ラベルのヒント内の「Manages」という単語のスペルが間違っている
セッションアクティビティのタイムアウト	PRB1676222	SSO ユーザーの場合、システムプロパティ設定がモーダルを無効にするように設定されているにもかかわらず、セッション有効期限モーダルが表示される
セッション管理	PRB1650883	セッションが破棄されてもゲストセッションは無効になりません
セッション管理	PRB1704076	セッションに関連する統計の取得中に XML 統計で「別のスレッドが所有する GlideSession の使用を試行 (Attempt to use GlideSession owned by another thread)」エラーがスローされることがある
セッション管理	PRB1656096	セッションの延長 UX モデルでは、絶対セッションタイムアウトを処理する必要があります
Sidebar (ファミリーリリース)	PRB1719256	キューが有効になっていなくても、Sidebar 通知イベントプロセスジョブを無効にする必要があります
Sidebar (ファミリーリリース)	PRB1719893	Vancouver にアップグレードすると、ワークスペースの [ディスカッションサイドバー (Discuss Sidebar)] チャットで、チャットテキスト入力ウィンドウのサイズが小さくなる
ソフトウェア資産分析	PRB1714466	ソフトウェア資産分析の [現在までの節減実績] ウィジェットに「0」が表示される
ソフトウェア資産コア会社	PRB1661205	公開者テーブルでコア会社を再マッピングしても、古いデータが削除されない
ソフトウェア資産データのインポート	PRB1698571	MLS でインポートされた契約が [承認待ち] サブステートでスタックする

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
ソフトウェア資産 データのインポート	PRB1666767	言語を変更すると、列ラベルが翻訳され、「 「テンプレートのインポートがカスタマイズされたため、1 つ以上のフィールドが無効になっています」というエラーで MLS インポートが失敗する
Software Asset Management	PRB1665316	以前の修正では、ユーザーをアップグレードするためのシステムフィールドが samp_sw_usage に作成されません
Software Asset Management	PRB1707143	調整が TypeError で失敗する: 「未定義からプロパティ null を読み取ることができません (Cannot read property null from undefined)」
Software Asset Management	PRB1663147	他のモデルが適切に正規化されていても、利用できないコンテンツや不一致のコンテンツに対して [SAM - 機械学習を使用した検出モデルの正規化 (SAM - Normalize discovery models using machine learning)] ジョブが失敗する
Software Asset Management	PRB1695600	Utah にアップグレードした後、アサインされた月次サブスクリプションウィジェットがデータの表示を停止する
Software Asset Management	PRB1606658	CPU コア数が不足している場合に RN 0 で生成された購入権
Software Asset Management	PRB1629115	ソフトウェア資産接続ジョブが失敗する
Software Asset Management	PRB1630930	発注書の受領を送信すると、未定義のプロパティ (「name」を読み取る) を読み取ることができず、license_metric が空になる
Software Asset Management	PRB1643083	SAM ワークスペースの [ライセンス使用] ページの [削除候補] が遅い
Software Asset Management	PRB1645452	ソフトウェア資産ワークスペースで、「完了してクローズ」ステータスでない再利用レコードを使用して、「年初来の合計実績コスト削減」と「節減実績の累積」が計算される

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
Software Asset Management	PRB1671061	samp_recon_task_queue 1 つの公開者で 31 を超える公開者または 31 を超える製品を処理できないため、調整がスタックする
Software Asset Management	PRB1677313	更新カレンダーの表示通貨に問題がある
Software Asset Management	PRB1680186	SamsProductCalculator スクリプトインクルードの checkProductResultForELA() メソッドで、ライセンスなしのサブスクリプションと CAL をチェックする必要がある
Software Asset Management	PRB1684206	ニュースビジネスルールの機能停止後 に最新バージョンの記事を更新するための正しいロジックが含まれていません
Software Asset Management	PRB1685634	「true」と「1」の誤った文字列比較により、Software Asset Management (SAM) ライセンスの問題が発生する
Software Asset Management	PRB1711044	除外された CI のインストールを調整すると、[ソフトウェアインストール] テーブルで多くの更新が発生する
Software Asset Management	PRB1695877	Software Asset Management (SAM) 更新カレンダーの日付形式が sys プロパティに従っていない
IBM 用 Software Asset Management パブリッシャーパック	PRB1689887	サブキャップとフルキャップの使用率が 0 の ILMT ピーク使用率テーブルが、誤ってライセンスなしとしてマークされる
IBM 用 Software Asset Management パブリッシャーパック	PRB1686975	IBM の調整ジョブが完了するまでに予想外に長い時間がかかる
IBM 用 Software Asset Management パブリッシャーパック	PRB1693238	識別および調整エンジン (IRE) が有効になっていない場合、IBM License Metric Tool (ILMT) コンピューター ID V1 変換マップに問題がある

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
Microsoft 用 Software Asset Management Publisher パック	PRB1546052	SCCM を介して検出された SQL Server のインストールは、子コンポーネントに正規化されます
Microsoft 用 Software Asset Management Publisher パック	PRB1677556	SamPerCoreFor MicrosoftLicenseCalculator SD の無効な割り当てに対して RUB が作成されない
Microsoft 用 Software Asset Management Publisher パック	PRB1718039	場合によっては、M365 の最適化ケースで再利用候補が作成されない
Oracle 用 Software Asset Management パブリッシャーパック	PRB1688398	Discovery による重複ソフトウェアインストールの作成
Software Asset Management ワークスペース	PRB1670537	クラシック UI アクションの動的ルートマッピングが壊れている
ソフトウェア資産の調整	PRB1691268	Utah では、sn_sam_saasを持つユーザーと sn_sam_saas_intしていないユーザーは、調整に失敗します
ソフトウェア資産の調整	PRB1678931	「リソース値」へのリンクが samp ロールユーザーに表示されない (sam_user、sam_admin)
ソフトウェア資産の調整	PRB1685719	サブスクリプションのスイートの割り当てが優先されない
ソフトウェア資産値ビルダー	PRB1696428	[SAM - 値ビルダー使用状況の更新 (Update value builder usage)] ジョブスケジュールが失敗する
ソフトウェア検出	PRB1696961	sam_adminロールを持つユーザーは、cmdb_sam_sw_name_mappingテーブルにはアクセスできるが、アクセスできる
ソフトウェアエンタイトルメント	PRB1691949	Utah にアップグレードすると、公開者の品番 (PPN) がクリアされる

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
ソフトウェアエンタイトルメント	PRB1697382	エンタイトルメントのインポートプロセスが失敗し、特定の SAP 製品に対して誤ったエラーメッセージが表示される
ソフトウェアライセンスコンプライアンスチェッカー	PRB1691507	Software Asset Management (SAM) Enterprise Stock Keeping Units (SKU)SKU は、SAM リソースではなく、Cloud Insights リソースにのみ 90 日間の平均を適用する必要があります
ソフトウェア モデル	PRB1691110	[検出モデルからソフトウェアモデルへ] ジョブが予想しない量のメモリを消費する
ソースコントロールエンジン	PRB1697505	ソースコントロールで、大文字_NULLで終わる更新名を持つテーブルに変更をスタッシュすると、テーブルが削除されることがある
ソースコントロールエンジン	PRB1686456	Studio から公開すると、余分なコミットが追加されます
ソースコントロールエンジン	PRB1719936	無効な XML 例外の原因となるレコードをソースコントロールにコミットすると、一部のファイルが Git リポジトリから削除されることがある
Dev Studio のソースコントロールメニュー	PRB1670579	変更をコミットするときに、sys_appレコードへの変更を [コミット済みと比較] 操作で使えない
ステータスフロー	PRB1719719	[ステータス] フローで選択リストから非アクティブな選択肢を除外する必要がある
サーベイデザイナー	PRB1676186	サーベイカテゴリとサーベイの質問の画像は、公開サーベイでは表示されません
Survey Management	PRB1674929	モバイルサーベイのアクションボタンが翻訳されていない
Survey Management	PRB1686824	[アセスメントを閉じる] ボタンをクリックしてもモーダルが閉じない
Survey Management	PRB1691423	サーベイがトリガーされ、サーベイ期間から期日が計算されると、1 日早く表示されることがあります

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
Survey Management	PRB1694486	[自分のサーベイ] で、ウィジェットのタイトルが翻訳されていない
Survey Management	PRB1700918	[assessment_take2] ページの ServiceNow 実施アセスメントでフォントに問題がある
システムアーカイブ	PRB1659842	エントリがアーカイブルールに記載されていない場合でも、関連レコードがアーカイブされる
システムアーカイブ	PRB1675436	UI アクションの [新規] ボタンが、アーカイブされたテーブルに無効なエントリを作成する
システムアーカイブ	PRB1696957	アーカイブされる構成アイテム (CI) が 1000 を超えると、デフォルト設定で「接続での実行に失敗しました」というエラーがスローされる
システムアーカイブ	PRB1656458	documentID を再ペアレント化すると、更新ステートメントが作成され、ノードが停止しました
システムアーカイブ	PRB1673704	以前のアーカイブルールが削除されたため、sys_archive_log 「アーカイブ」列が null であるため、再作成されたアーカイブルール再アーカイバーが機能しない
システムアーカイブ	PRB1685503	アーカイブされたレコードの復元に失敗した場合でも、「sys_archive_log」の [復元済み] の値がまだ入力される
システム Export Sets	PRB1714764	結果をエクスポートしようとする、CWS のリストに「エクスポートに失敗しました」というエラーメッセージが表示される
Table Administration とデータ管理	PRB1660382	テーブル列を再生成すると、テーブルに挿入トリガーが残る
Table Administration とデータ管理	PRB1686144	sn_customerservice_task.account フィールドに無効なベースインスタンスのデフォルト値があります

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
Table Administration とデータ管理	PRB1655722	Tokyo へのアップグレード後に初めて [今すぐ実行] を使用した場合、LDAP インポートスケジュールの「更新日」が本日に更新される
Table Administration とデータ管理	PRB1677246	sys_triggerテーブルは、sys_auditテーブルの下で厳しく監査されます
Table Administration とデータ管理	PRB1678160	空のレポートsys_idとウィジェットsys_idを持つreport_statsレコードを削除すると、空のウィジェットsys_idを持つすべてのreport_stats_executionsレコードが削除されます
Table Administration とデータ管理	PRB1691219	glide_listフィールドを正規化するには、追加のサポートインデックスが必要です
Table Administration とデータ管理	PRB1664726	Postgres でユーザーのクローンのアップグレードが遅くなる
Table Administration とデータ管理	PRB1673961	TPP テーブルの関数フィールドが原因で不要なテーブルが変更される
テーブルクリーナー	PRB1687480	[反復削除 (iterative delete)] に時間制限を追加する必要がある
テーブルクリーナー	PRB1685661	「推定削除数」を効率的に計算する必要がある
テーブルと列のデータディクショナリ	PRB1660108	関係 [すべてのメタデータ] が無効なフィールド sys_app.sys_scope を参照しています
テクノロジーポートフォリオ管理	PRB1695174	技術ポートフォリオ管理の [技術ライフサイクル] ページで、ハードウェアモデルライフサイクルのツールヒントテキストに「ソフトウェア製品ライフサイクル」と表示される
テリトリー計画	PRB1712357	Field Service Management がインストールされていない場合、sm_task で例外が発生する

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
Test Management 2.0	PRB1686827	テスト計画レコードの [親] フィールドの更新時にエラーが発生する: 「キー「PRIMARY」に対する一意のキー違反がデータベースで検出されました」
Test Management 2.0	PRB1666409	テスト実行アサインを別のテスト実行スイートの下に更新すると、完了率が更新されない
Test Management 2.0	PRB1691967	テストスイートで [複製を作成] をクリックすると、[待機] ダイアログボックスがロードされ続ける
時間構成	PRB1667042	Walk-up 場所の構成にメキシコのタイムゾーンが正しく表示されない
タイムシートポリシー	PRB1678047	スクリーンリーダーはカードコンテンツを読み上げません
トランザクションログ	PRB1678729	localhost ログのトランザクション ID が binlogs トランザクション ID と一致しません
トランスフォーマー API	PRB1631420	「@」で始まる JSON キーのサポートが必要です
UI アクション	PRB1674407	データベースビューのグローバル UI アクションが失敗し、「ユーザーに現在のレコードを作成する権限がないため、UI アクションを実行できません」が表示される
UI アクション	PRB1683917	ユーザーが [自分のオンコール設定] で [新規] 通知デバイスを追加できず、[アクションが許可されていません (Action not Authorized)] というエラーが表示される
UI アクション	PRB1691935	UI アクションに action_name がいないため、拡張テーブルの [ビジュアルタスクボードに追加] フォームコンテキスト UI アクションを上書きできません
UI アクション	PRB1696247	Project Portfolio Management (PPM) で、ユーザーが言語をポルトガル語に変更しても [プロジェクトをコピー] オプションが表示されない

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
UI アクション	PRB1703194	ベースインスタンスの問題フォームで、[完了] および [解決] UI アクションに「少なくとも」の入力ミスがある
UI ビルダー	PRB1600620	Vol_ 関連リストの宣言アクションが複数回トリガーされる
UI ビルダー	PRB1703613	UI Builder のページスクリプトで、ユーザーがスクリプト名を入力するとカーソルが逆方向に移動する
UI ビルダー	PRB1706160	UI Builder で、ページコレクションを編集するときに [保存] ボタンがアクティブにならず、変更が失われる
UI ビルダー	PRB1706377	UI Builder の [リスト] ビューで iFrame を使用すると、[ダウンロード/エクスポート] が機能しない
UI ビルダー	PRB1708139	UI Builder の [エクスペリエンス] リストで、取得される行数が一貫していない
UI ビルダー	PRB1716090	データブローカーは繰り返し実行要求を行い、他のすべての要求をブロックします
UI ビルダー	PRB1719347	Service Operations Workspace のコンテキストサイドバーが、Vancouver リリースの UI Builder で読み取り専用になる
UI ビルダー	PRB1690284	重複したコンポーネントを持つスクリプトを更新すると、そのスクリプトがすべての重複コンポーネントに適用される
UI ビルダー	PRB1698858	データソースを設定した後、データバインディングが機能しない
UI フィールド管理	PRB1685124	アクティビティストリーム@Mentionメールがワークスペースで機能していません
UI フィールド管理	PRB1638856	日付フィールドが異なるワークスペースに一貫性なく格納される

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
UI フィールド管理	PRB1690942	すべてのワークスペースの HTML フィールドのテキストの色ボタンが Firefox ブラウザーで期待どおりに機能しない
UI フィールド管理	PRB1601722	新規 「処理テーブルのアップロード中にエラーが発生しました:<table_name>」によって setAbortAction BR がトリガーされると、ベースインスタンス Agent Workspace に表示されるエラーメッセージ
UI フィールド管理	PRB1602931	フォーム注釈がワークスペースで翻訳されない
UI フィールド管理	PRB1661619	ワークスペースで、結果がロードされたときに参照フィールドリストがビューポイント内にレンダリングされない
UI フィールド管理	PRB1684030	[ユーザーロール] フィールドが追加され、インスタンスに多数のロールが定義されている場合、UI16 フォームのロードに時間がかかる
UI フィールド管理	PRB1692568	複数回リセットした後、[タイマーが機能しました] フィールド値が最初の秒数 (1 ~ 10) で 2 倍にカウントされ、合計タイマー値が歪む
UI フィールド管理	PRB1616895	添付ファイルの名前を変更する場合、30 文字を超える名前が表示されない
UI フィールド管理	PRB1641441	バックエンドから追加されたスペースは、フォームの HTML フィールドから削除されます
UI フィールド管理	PRB1675489	HTML フィールドにデータを貼り付ける場合、[書式を削除] オプションでは太字と斜体の書式は削除されません
UI フィールド管理	PRB1687372	最大長が >255 のフィールドのワークスペースに showFieldMsg() が表示されない
UI フィールド管理	PRB1691109	Agent Workspace の onChange クライアントスクリプトによって更新されると、[電話番号 E164] フィールドで電話番号が複数回切り替えられる

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
UI フィールド管理	PRB1695361	国フィールド (選択リスト) には、一部の cmn_location レコードの選択肢ラベルとその他のレコードの値ラベルが表示されます
UI フィールド管理	PRB1699921	リストフィールドの選択肢にツールヒントテキストが表示されない
UI フィールド管理	PRB1705654	[添付ファイル] フィールドで、添付ファイルを削除した後も「削除された添付ファイル」の sys_id が XML に存在する
UI フィールド管理	PRB1713932	CSM ワークスペースで、Tokyo から Vancouver にアップグレードした後、「True/False」変数のヘルプテキストが欠落する
UI フィールド管理	PRB1606345	UIB ページの Glide フォームデータリソースがターゲットテーブルケースを 6 回以上呼び出します
UI フィールド管理	PRB1622783	アクセント付き文字で始まるフィールドは、表示/非表示フィルターの [フィールドを選択] のリストの最後にソートされます
UI フィールド管理	PRB1662424	期日のツールチップに誤った期間が表示される
UI フィールド管理	PRB1673930	[作業メモ (ジャーナル)] 入力フィールドがクリアされると、フォーム #SET_VALUE イベントは送出されません
UI フィールド管理	PRB1677903	スコープ対象のクライアントスクリプトが、フォーム上に存在せず、別のスコープにあるフィールドに対して操作を実行すると、クロススコープエラーが発生する
UI フィールド管理	PRB1683678	テーブルにアップロードされた小さな.mp3 ファイルは再生できません
UI フィールド管理	PRB1684609	ミニカレンダー時間ピッカーが、値の変更時にイベントペイロードで誤った日時を送信する

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
UI フィールド管理	PRB1689417	読み取り専用フィールドの最大長が「40」から「256」に変更された場合、構成スタイルが適用されない
UI フィールド管理	PRB1689555	ハードウェアモデルの [コスト] フィールドでは、コストの 1000 倍が自動的に乗算されます
UI フィールド管理	PRB1692947	Utah では、動的に更新されるリストの選択肢が他の場所で更新された場合、ワークスペースフォームに空のフィールドが表示される
UI フィールド管理	PRB1697161	glide.phone_number_e164.display_national が「form」に設定されている場合、ユーザー参照プレビューポップアップに e164 電話番号が国内形式で表示されない
UI フィールド管理	PRB1701432	Next Experience で、[Wiki] フィールドの下の [ジャーナル入力] フィールドの高さが正しくないため、フォームで正しく表示されない
UI フィールド管理	PRB1705003	レコードを保存して開いた後、フィールドのドット連結リストから選択した値が正しく表示されない
UI フォーム管理	PRB1704777	インシデント内で更新ステータスが発生するたびに、フォーカスが Openframe CTI にリダイレクトされる
UI フォーム管理	PRB1667482	フォームビューで追加フィールドが定義されている場合、Service Operation ワークスペースからのインシデントの作成がハングする
UI フォーム管理	PRB1674623	ベースインスタンス添付ファイル API ACL を active=true に変更した後、HTML フィールドのボタンが機能しない
UI フォーム管理	PRB1684196	アクティビティストリームのジャーナルエントリの次の行または改行が印刷用ビューに表示されない

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
UI フォーム管理	PRB1707023	ブールフィールドと注釈が同じ行にある場合、フォームのレイアウトがずれる
UI フォーム管理	PRB1668252	ワークスペースフォームのフォーム注釈に [もっと表示 (Show more)] / [表示数を少なく (Show less)] リンクが表示される
UI フォーム管理	PRB1675073	Next Experience UI で、カタログアイテムのフォーム注釈が Utah インスタンスのダークテーマで読みにくい
UI フォーム管理	PRB1678904	Playbook のフォームが更新されると、[FX 通貨] フィールドが空の場合、「JSONObject ['originalValue'] not found」エラーがスローされる
UI フォーム管理	PRB1688247	多数の添付ファイルが存在する場合、添付ファイルモダルを画面外にスクロールできません
UI フォーム管理	PRB1689239	印刷用バージョンのアクティビティでは、一部のフィールドが空として表示される
UI フォーム管理	PRB1703974	大量のテキストを含む特記事項により、モダルコンテナを超えてオーバーフローが発生する
UI フォーム管理	PRB1708574	sys_flow_data変数が Playbook の必須フィールドとして表示されない
UI フォーム管理	PRB1642880	キーボードを使用すると、JAWS ユーザーが [フォームフィールドのカスタマイズ] で有効になっているすべてのフォームフィールドにアクセスできない
UI フォーム管理	PRB1667098	ワークフローで設定すると、[通貨] フィールドが更新されるまで更新が表示されない
UI フォーム管理	PRB1671612	2 番目の [印刷対応版] ボタンをクリックすると、新しい変更が作成されます
UI フォーム管理	PRB1679392	注釈のリンクの色が UI16 の色のコントラスト基準を満たしていません

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
UI フォーム管理	PRB1681021	Agent Workspace でフォームを保存した後、[詳細] セクションの幅のサイズを変更できない
UI フォーム管理	PRB1681716	フォームセクションのユーザーセッションオブジェクトチェックは、空のオブジェクトをチェックする必要がある
UI フォーム管理	PRB1684532	検索ルックアップが機能せず、フィールドが入力されない
UI フォーム管理	PRB1687138	挿入と維持 (sys_id = 83835712bf3021000ba9dc2ecf073977) では添付ファイルをレコードに保存できない
UI フォーム管理	PRB1689659	Tokyo から Utah にアップグレードした後、フィールドがフォームの右側にある場合、参照フィールドのプレビューポップアップウィンドウの幅が固定されず、小さくなる
UI フォーム管理	PRB1699219	Agent Workspace でレコードを開くとコンソールエラーメッセージが表示される
UI フォーム管理	PRB1712978	ユーザーが英語以外のモードで「<」または「>」を含むタイトルを設定すると、エラーが原因でフォームが開かない
UI フォーム管理	PRB1673256	[フォームのカスタマイズ] モーダルで行った変更がリフレッシュ後も保持されない
UI フォーム管理	PRB1704641	g_modal.showFrame に [閉じる] ボタンを含めることはできません
UI フォーム管理	PRB1688934	TinyURL を使用すると、ユーザーがフォームビューを変更できない場合があります
UI フォーム管理	PRB1687938	構成可能ワークスペースで、モーダルが UI または宣言アクションから開かれている場合、フォーカスが HTML 入力から切り替わる
UI フォーム管理	PRB1640092	[セクション] タブの無効な値がフィールドにジャンプしないため、レコードを保存/更新できません

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
UI フォーム管理	PRB1726572	バンクーバーとユタでは、印刷されたドキュメントでアクティビティ情報を利用できません
UI フォーム管理	PRB1723661	QueryStringACLChecker では、静的な GlideRecord メンバー変数を使用しないでください。これはメモリの問題につながる可能性があります
UI フォーム管理	PRB1688411	フォームセクションの下に追加された変数エディターが、UI Builder の [レコード] ページの下部に表示される
UI フォーム管理	PRB1711433	g_form.clearValue("location"); は、空の文字列の表示値を検索するために同期 Ajax 呼び出しを行う
UI ポリシー	PRB1679913	トラック/Webux でコア UI の直接インシデントリストとフォーム (繰り返しビュー) がデグレードされる
UI ポリシー	PRB1694300	レコードが別のスコープにあり編集できない場合、UI ポリシーの [スクリプトを実行] チェックボックスが誤って false として表示される
UI ポリシー	PRB1709653	初期ロード時に [ビジネスルール] フォームにフィールドが正しく表示されない
統合フィルター	PRB1696892	フィルターコンポーネントが正しいデフォルト値を受け取らない
統合フィルター	PRB1710457	ダッシュボードのフィルターコンポーネントで検索するときに、カーソルがジャンプして入力されたテキストを削除します
Universal Request	PRB1683617	Universal Request サービスセットが存在しない場合、UI アクションの [転送] (UI ページによって処理route_primary_task) モーダルに無限のロードが表示されます
アップグレードセンター	PRB1673683	Utah では、レコードのハイパーリンク Here をクリックしても、ハイパーリンクへの「リファラー」が表示されない

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
アップグレードセンター	PRB1679306	合体戦略を持つレコードがアップグレード計画に追加されていない
アップグレードセンター	PRB1685471	アップグレード計画がユーザーのカスタマイズを自動的に元に戻す
アップグレードセンター	PRB1709957	アップグレードが正常に完了した後で、同じバージョンへのディストリビューションアップグレードが再試行されます
アップグレードセンター	PRB1713697	スコープ対象のアプリスクリプトインクルードの [競合の解決] オプションを使用して結合の保存を試行すると、「エラー:行 (X) 列 (Y) の問題 = let は ECMAScript 6 機能です (true) で JavaScript 解析エラーが発生しました」というエラーが発生する
プランのアップグレード	PRB1684065	ユーザーはアップグレード計画アイテムからアプリケーションを非アクティブ化できない
プランのアップグレード	PRB1687485	1つのファイルに問題がある場合、GlobalAppMoverは残りのファイルの移動プロセスを停止しないでください
プランのアップグレード	PRB1676022	アップグレード計画にエラーがある:「ストアにアプリケーションが見つかりません」
利用状況分析	PRB1685980	インスタンスがサンディエゴからユタにアップグレードするときにユーザーが NullPointerException (NPE) を受け取る
UX フレームワーク	PRB1681205	Utah にアップグレードすると、CSM ワークスペースで要求を送信した後に [詳細を表示] をクリックすると、ユーザーが誤ってリダイレクトされる
UX フレームワーク	PRB1699981	ワークスペースの UI アクションから setRedirectURL が機能しない
UX フレームワーク	PRB1686885	SSO ユーザーに対して [セッションを延長] および [セッションタイムアウト] ポップアップが表示される

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
UX フレームワーク	PRB1688273	投稿されたコメント/作業メモはそれぞれのフィールドに保持され、モーダルを再度開いた場合でも表示されます
UX フレームワーク	PRB1688293	CSM ワークスペースの [インタラクション] ページで、選択したタブと表示されているタブコンテンツの間に不一致がある
UX フレームワーク	PRB1712121	標準レコードページに条件付きインライントブと条件付き拡張ポイントタブの組み合わせがある場合、インラインおよび拡張ポイントのタブを持たないレコードの関連リストは初回はロードされません
UX フレームワーク	PRB1718386	CSM ワークスペースで [サイドバーを表示] が無効になっている場合、サイドパネルのテンプレートタブの位置がずれる
UX フレームワーク	PRB1724460	Service Operations Workspace レコードタブコンポーネントで誤ったタブコンテンツが断続的に表示される
UX フレームワーク	PRB1652455	構成可能なワークスペースでは、モーダルが既に閉じられている場合でも、モーダルが原因でフォームでダーティフォームメッセージが検出される
UX フレームワーク	PRB1724469	画面 Macroponent がデータ「nowAppProps」なしで作成される
UX フレームワーク	PRB1550123	ページ宣言アクションのイベントが複数回発行するエンティティビューアクションマップ (EVAM) データセット
UX フレームワーク	PRB1711203	Tokyo から Utah にインスタンスをアップグレードすると「スキップされたエラー」が表示される
UX フレームワーク	PRB1711801	Vancouver へのアップグレード後にロールのないユーザーがログインすると、ホームページが表示されず、時計が点滅する
UX フレームワーク	PRB1696825	スクリプト化された条件評価が非アクティブなタブに対して送信されます

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
UX フレームワーク	PRB1700547	計算値によってグローバル変数として「回答」が上書きされるとき、参照フィールドのモダリティはワークスペースで 1 回だけ開くことができます
UX フレームワーク	PRB1702064	フォームコントローラーイベント [レコードデータのフェッチに成功しました] および [レコードデータのフェッチが完了しました] でフォームフィールドデータへのアクセス権が付与されない
UX フレームワーク	PRB1703995	[関連レコード] ツリーリストからアイテムを選択すると、タブが最初/デフォルトのタブに戻る
UX - 測定基準	PRB1699683	Internet Explorer を使用している場合、ナビゲーションフレームとログインリダイレクトが UI16 で機能しない
仮想エージェント	PRB1711830	Source Sans Pro が Vanvouver 以降を実行しているインスタンスでロードされない
仮想エージェント	PRB1686461	機能ノードを使用したトピックのプレビューが 12 時間後に動作を停止する
仮想エージェント	PRB1707011	仮想エージェントトピックの開始後にスクリプトまたはドット連結キューの条件が true になった場合、ライブエージェントの可用性チェックが失敗する
仮想エージェント	PRB1675739	日本語インスタンスでユーザー入力コンポーネント「日時」が空白を表示する
仮想エージェント	PRB1667964	[テキスト付きの大きな画像] タイプのボットの「カード出力」応答が期待どおりに機能しない
仮想エージェント	PRB1679435	Web クライアントの仮想エージェントフィールド検証が英語以外の言語で機能しない
仮想エージェント	PRB1682612	生成 AI 修正スクリプトはすべての属性を必須として作成し、必須の JSON オブジェクトは 1 つの拡張からは機能しない

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
仮想エージェント	PRB1693178	仮想エージェント通知が英語以外の言語に設定されていて、通知から呼び出されるライブエージェントアクションがある場合、言語は英語に変更されます
仮想エージェント	PRB1694070	スクリーンリーダーでチャットを起動すると、仮想エージェントに詳細で機能的に不正確な指示が表示される
仮想エージェント	PRB1696751	ブールコントロール応答の場合、インタラクションの転写は常に英語です (VA 対応の場合は DTAC または DT ではありません)
仮想エージェント	PRB1699036	「ターゲット待機時間」メッセージが翻訳されていない
仮想エージェント	PRB1713410	OptimisticLockException は、PredictAsyncResponseJob の古い会話が原因で発生します
仮想エージェント	PRB1676007	仮想エージェントダッシュボードの概要レポートで [ユーザーフィードバック] というドーナツをクリックしてもデータが表示されない
仮想エージェント	PRB1677955	インタラクティブでアクション不可能な通知により、会話型分析ダッシュボードのデータが不正確になる
仮想エージェント	PRB1681650	カスタムアダプタ/VA API 送信エージェントメッセージにはエージェント情報が必要です
仮想エージェント	PRB1683976	要約作成機能の OneExtend 定義構成では NowLLM を使用できません
仮想エージェント	PRB1685762	通知に仮想エージェントで誤ったタイトルが表示される
仮想エージェント	PRB1689584	画面解像度が 80% 以下に設定されている場合、ポータルの仮想エージェントポップアップウィンドウに水平スクロールバーが表示される

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
仮想エージェント	PRB1689841	リストに表示されるトピックを上向き矢印キーまたは下向き矢印キーで移動できない
仮想エージェント	PRB1691080	Web クライアントでは、要求者は MultiPartOutput コントロールに複数の応答を送信できます
仮想エージェント	PRB1694967	Utah で、仮想エージェントのブランディング値の先頭の空白が不適切な CSS になる
仮想エージェント	PRB1696821	仮想エージェント API の Dynamic Translation で、終結メッセージがユーザーに送信されない
仮想エージェント	PRB1700974	Utah で、仮想エージェントの [チャットを最小化] アイコンが「X」から「コピー」のように変化する
仮想エージェント	PRB1704622	トピックがトピックピッカーから直接選択され、発言として入力されていない場合、global_dt_enabled_va_conversationが設定されない
仮想エージェント	PRB1706164	Vancouver で、仮想エージェントの Dynamic Translation にブランディングの問題がある
仮想エージェント	PRB1713193	仮想エージェントの動的翻訳がオンになっている場合、Microsoft Teams の会話のトランスクリプトが生成されない
仮想エージェント	PRB1686463	セキュリティで保護されたテキストが有効になっている場合、テキスト出力コントロールは回転し続けます
仮想エージェント	PRB1718858	仮想エージェントテストケースを保存しようとしたときに「内部サーバーエラー - 500」が発生する
仮想エージェント	PRB1720318	テキストリンク付きのリッチテキストメッセージを含むテキスト応答ノードを持つ仮想エージェントトピックでは、ATF テストステップが実行されると、不一致のトークンが生成され、テストステップが失敗する

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
仮想エージェント	PRB1683006	Amazon Connect IVR サーベイ応答が、コールで識別されたユーザーに関連付けられていません
仮想エージェント	PRB1651588	ファイルのアップロード中にライブエージェントチャットが終了すると、会話に障害が発生する
仮想エージェントデザイナー	PRB1677132	クローン中の場合、ベースインスタンストピック「オープン IT チケット 2.0 (テンプレート)」が機能しない
仮想エージェントデザイナー	PRB1686690	公開されたクローントピックは、Tokyo から Utah にアップグレードした後にドラフトステータスに移行する
仮想エージェントデザイナー	PRB1687962	[トピックの翻訳ステータス] 列に文字列「アイコン完了」がない
仮想エージェントデザイナー	PRB1708521	仮想エージェントの発言が期待どおりに機能していない
Virtual Agent Web Client	PRB1635286	snComponentLoader が 404 コンソールエラーをスローする
Virtual Agent Web Client	PRB1703141	ユーザーが Enter キーを押したままリッチコントロール ボタンを選択すると、Web クライアントは複数のキーが押されたものとして登録します
Virtual Agent Web Client	PRB1688645	仮想エージェントコントロールのカルーセル出力で、長いヘッダーと説明テキストが「...」で切り取られるツールチップホバーメッセージなし
Visual Task Boards	PRB1633991	VTB は、レーン フィルタが設定され、レーン フィールドが変更されると使用できなくなります
Visual Task Boards	PRB1632389	言語変更時に Agile ボードスイムレーンの順序が変更される

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
Visual Task Boards	PRB1646449	Next Experience で PVTSK のビューを変更すると「ダイアログの終了中」エラーが発生する
Visual Task Boards	PRB1664188	VTB カードのアクティビティストリームに HTML 形式のコンテンツが表示されない
Visual Task Boards	PRB1679511	ビジュアル タスク ボードで、アーカイブ カード アイコンと日付が重なる
Visual Task Boards	PRB1684632	テンプレートによって生成された新しい VTB カードはライブに表示されません
Visual Task Boards	PRB1695822	Visual Task Board (VTB) の [期日] フィールドで時間を手動で変更すると、glide.sys.date_format が dd-MM-yyyy の場合、日と月の値が切り替わる
Visual Task Boards	PRB1696776	Visual Task Boards (VTB) カードが「<」と「>」の間にある場合、テキストが削除される
Visual Task Boards	PRB1697334	スイムレーンがオンになっている場合、ビジュアルタスクボード (VTB) に問題がある
ウォークアップエクスペリエンス	PRB1669858	ServiceNow 本番環境で予約を再スケジュールしても新しい iCalender ファイルが生成されない
ウォークアップエクスペリエンス	PRB1680416	ユーザーが Now Support アプリから要求を送信すると、「wu_context」テーブルでウォークアップ理由が正しく更新されない
Web コンテンツアクセシビリティガイドライン (WCAG) への準拠	PRB1705742	スクリーンリーダーがワークスペースのリストヘッダーで [ソート] オプションを読み上げない
作業指示管理	PRB1673882	ユーザーの時間形式を hh:mm (12 時間) にすると、イベントの作成時にスケジュールされた時間がデフォルトで午前 12 時に設定される

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
作業指示管理	PRB1686567	作業指示タスクの予定移動期間のデフォルトは 1 時間です
作業指示管理	PRB1711082	委任ユーザーが委任ユーザーの承認を確認しようとする、タイムシートポータルが「無効なパラメーター」メッセージをスローする
作業指示管理	PRB1682899	動的スケジューリングにより、同じ優先度の新しいタスクに対して既存のタスクの割り当てが自動的に解除されます
作業指示管理	PRB1687948	[自分にアサイン] UI アクションが空のページにリダイレクトされる
作業指示管理	PRB1697533	不適格なテリトリーは、作業指示タスクの [テリトリー] フィールドで選択できます
作業指示管理	PRB1703367	ユーザーがスタンドアロンの作業指示タスクテンプレートを作成すると、work_typeを設定できない
作業指示管理	PRB1719047	ユーザーが Vancouver にアップグレードした後、HR ケースを停止できない
XTM 翻訳管理システムスポーク	PRB1683564	読み取り専用の保護ポリシーにより、ユーザーが XTM 構成レコードに言語マッピングを追加できる
Zing テキストインデックス作成および検索エンジン	PRB1649019	グローバル検索結果のユーザーカードに、グローバルドメインではなく、以前にアクセスしたドメインのリストビューが表示される
Zing テキストインデックス作成および検索エンジン	PRB1686107	複数行の変数セットのテキストがグローバル検索で見つからない
Zing テキストインデックス作成および検索エンジン	PRB1686484	ノードの再起動後、ts_index_nameレコードが再起動前にステータス = インデックス作成されている場合、テキストインデックスイベントは生成されません
Zing テキストインデックス作成および検索エンジン	PRB1688961	テキストインデックス作成がオンになっているテーブルを削除すると、孤立したts_c_テーブルが残る

問題カテゴリ	問題	Short description (簡単な説明)
Zing テキストインデックス作成および検索エンジン	PRB1628953	Agent Workspace のグローバル検索で、列ラベルの翻訳で特殊文字と大文字が無視される

ブラウザサポート

ブラウザサポートは、ユーザーインターフェイス (UI) のバージョンごとに異なります。一部の機能には追加のブラウザ要件があり、適切なドキュメントに記載されています。

注:

Washington リリース以降、Internet Explorer と [Edge](#) での [Internet Explorer モード](#) はサポートされなくなりました。

各 UI バージョンのブラウザサポート

ブラウザ	Next Experience	ワークスペース	コア UI
Chrome	ブラウザの最新の公開リリースと以前の 2 つのリリース	ブラウザの最新の公開リリースと以前の 2 つのリリース	ブラウザの最新の公開リリースと以前の 2 つのリリース
Firefox と Firefox ESR	Firefox と Firefox ESR の最新の公開リリースと以前の 2 つのリリース	Firefox と Firefox ESR の最新の公開リリースと以前の 2 つのリリース	Firefox と Firefox ESR の最新の公開リリースと以前の 2 つのリリース
Internet Explorer	サポート対象外	サポート対象外	サポート対象外
Microsoft Edge Chromium	ブラウザの最新の公開リリースと以前の 2 つのリリース	ブラウザの最新の公開リリースと以前の 2 つのリリース	ブラウザの最新の公開リリースと以前の 2 つのリリース
Safari	Safari 12.0 以降	Safari 12.0 以降	Safari 12.0 以降
タブレットモバイル	サポート対象外	サポート対象外	サポート対象
携帯電話*	サポート対象外	サポート対象外	サポート対象外

*携帯電話のブラウザは、デスクトップ版の UI をサポートしていません。代わりに、モバイルブラウザでは [モバイル UI](#) が使用されます。

Firefox

Firefox の iOS バージョンでは、ServiceNow Community またはその他の サービスポータル ページをサポートしていません。

アクセシビリティと適合性

ファミリーリリースで Washington DC 完了したアクセシビリティの更新と改善の概要を表示します。製品のアクセシビリティ適合レポート (ACR) を作成するために使用された自主的な製品アクセシビリティテンプレート (VPAT) ServiceNow とそのアクセス先について説明します。

リリースの特長

リリースハイライトは、一般提供により Washington DC こちらから入手できます。

製品のアクセシビリティ

Voluntary Product Accessibility Template (VPAT) は、製品またはサービスのアクセシビリティを評価するために使用される、世界的に認められているレポート形式です。ServiceNow は VPAT の国際バージョンを使用して、アクセシビリティ適合レポート (ACR) を作成します。ACR は現在サポートされている ServiceNow リリースで利用できます。

利用可能なアクセシビリティ適合レポートの完全なリストについては、「[Accessibility conformance reports \(アクセシビリティ適合レポート\)](#)」を参照してください。

関連情報

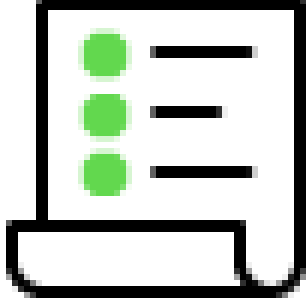
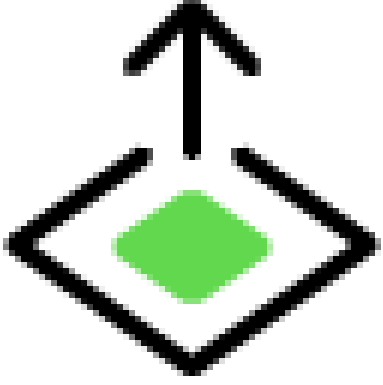
[Section508.gov](https://www.section508.gov)

アップグレードの準備

各アップグレードの前に、一般的なアップグレードの情報を再確認し、実施するアップグレードに該当するアップグレード前後の重要なタスクと、ServiceNow 製品とツールを使用してエクスペリエンスを向上する方法について理解しておく必要があります。

安全で適切なアップグレードが行えるよう、アップグレードに関する最も重要な情報をすべて 1 か所にまとめてあります。

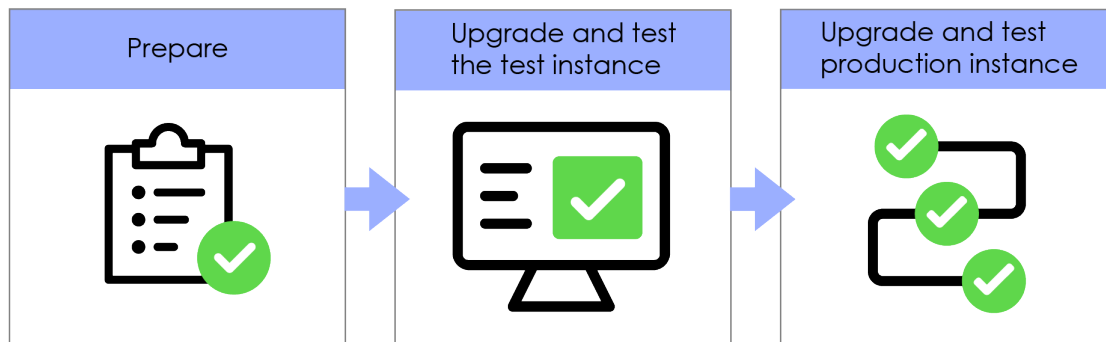
新しい ServiceNow リリースへのアップグレード

ServiceNow アップグレード  期間、ロールバックオプション、テストなどのアップグレードに関する詳しい情報を提供します。	アップグレード 前後のタスク  アプリケーションと機能のアップグレード前後に完了する必要があるタスクを特定します。	計画立案チェックリストのアップグレード  エンドツーエンドのチェックリストを使用して、アップグレードのアクティビティを計画および追跡します。
アップグレード ツールとリソース  アップグレードエクスペリエンスを向上させる製品、ツール、およびリソースについて説明します ServiceNow 。	アップグレードと ServiceNow Store  アップグレードをアプリケーションに適用する ServiceNow Store 方法について説明します。	

ServiceNow アップグレード

アップグレードプロセスでは、インスタンスを新しい ServiceNow リリースバージョンに移行します。アップグレードとパッチ適用の違い、リリース定義、ロールバックとバックアップのオプション、および非本番インスタンスと本番インスタンスのアップグレードをテストする方法を理解してください。

アップグレードプロセスを開始する前に [Washington DC リリースノート](#) を読み、 [アプリケーションおよび機能のアップグレードと移行のタスク](#) を確認します。



システムのアップグレードは重要なプロジェクトになることがあります。各 ServiceNow 機能リリースには主要な追加機能が含まれており、新機能のインスタンスに対する影響を常に考慮する必要があります。アップグレードすると、ベースシステムの一部、または既に有効になっているすべての機能に拡張が実装されます (機能がインスタンスでカスタマイズされている場合を除く)。利用可能なすべてのプラグインのリストと、それらがベースシステムでデフォルトで有効になっているかどうかについては、以下を参照してください。 [のリスト Washington DC プラグイン](#)。

利用可能なソフトウェア、ツール、およびリソースに関して入念に準備し知識を備えておくことが、アップグレードの成功に役立ちます。ServiceNow が提供する資料に加えて、ServiceNow インスタンスの現在の動作状況と主要なビジネス機能のパフォーマンスレベルを理解することが重要です。アップグレードの準備、実装、テストには時間がかかることを IT 部門およびビジネスユーザーに ServiceNow 理解して貰いましょう。

アップグレードプロセス中に問題が発生した場合は、 [連絡先 カスタマーサービス & サポート](#)。カスタマーサービス & サポート は24時間年中無休で利用でき、質問や問題をサポートします。

アップグレードに関する追加のサポートとして、ServiceNow ではさまざまな [本番準備サービス](#) も提供しています。これらのサービスでは、特にインスタンスのアップグレード可能性、管理性、拡張性、パフォーマンスに関する課題に対処します。ServiceNow 認定プロフェッショナルコンサルタントがレビューを実施し、お客様の構成を ServiceNow ベストプラクティスに合致させるための推奨事項を提供します。詳細は ServiceNow 営業担当者にお問い合わせください。

Washington DC のアップグレードと更新の期間

アップグレードプロセスでは、更新とアップグレードの両方の時間が大幅に短縮されます。(更新は、同一リリースファミリ内で、あるパッチまたはホットフィックスから別のパッチまたはホットフィックスにインスタンスが移動するときに発生します。アップグレードは、あるリリースファミリから別のリリースファミリにインスタンスが移動するときに発生します。通常どおり、アップグレードをテストしますが、完了までの時間が大幅に短縮されたからといって、更新やアップグレードが成功しなかったと推測しないでください。

サポートされているアップグレード

最新のリリースファミリに直接アップグレードできます。アップグレードに複数のソフトウェアバージョンが含まれている場合は、現在のバージョンとターゲットバージョンの間のそれぞれのバージョンのリリースノートを必ず確認してください。リリースの用語と可用性フェーズの詳細については、Now Support ナレッジベースの記事「[ServiceNow Release Cycle \(ServiceNow リリースサイクル\)](#)[KB0547244]」を参照してください。

アップグレードと更新の違い

ServiceNow ではリリースをファミリに整理しています。ファミリとは、Washington DCなどの主要都市にちなんで名付けられた一連のリリースです。ファミリには、パッチとホットフィックスも含まれています。たとえば、次のリリースはどちらも Orlando ファミリの一部です。

- Orlando パッチ 4
- Orlando パッチ 3 ホットフィックス 2

アップグレードとは、現在のリリースとは異なるファミリのリリースに移行することです。たとえば、London パッチ 7 から Orlando パッチ 3 への移行は、London と Orlando が異なるファミリであるためアップグレードとなります。

更新とは、あるパッチまたはホットフィックスから同じリリースファミリ内の別のパッチまたはホットフィックスに移行することです。たとえば、Orlando パッチ 1 から Orlando パッチ 3 への移行は、両方のバージョンが Orlando そのファミリの一部であるため更新となります。

どちらの場合も、ターゲットリリースは Orlando パッチ 3 です。アップグレードするか更新するかは、現在のリリースファミリとターゲットのリリースファミリの違いによって決まります。

機能、パッチ、ホットフィックス

各リリースファミリには、機能、パッチ、ホットフィックスが含まれています。

機能は、お客様が実装して組織に価値を付加できる完全なソリューションを提供します。通常、新機能は機能リリースの一部としてのみ入手可能です。機能はパッチやホットフィックスでサポートされます。

タイプ	スコープ
機能	• 新機能の導入 • 既存の機能に対して使用できるすべての修正が含まれています。 • 本番重視であり、ライフサイクル全体を通じて品質と安定性を最優先しています。
パッチ	• 一連の問題を修正することで既存の機能をサポートします。 • 通常新機能は含みません。
ホットフィックス	• 機能リリースに対する特定の問題を修正することで既存の機能をサポートします。 • 特定のリリースに対する以前の修正の一部を含む場合と含まない場合があります。 • 新機能は含みません。

リリースの用語と可用性フェーズの詳細については、Now Support ナレッジベースの記事「[ServiceNow Release Cycle \(ServiceNow リリースサイクル\)\[KB0547244\]](#)」を参照してください。

ロールバックとバックアップ

アップグレードを計画するときは、ServiceNow にはユニバーサルロールバックオプションがありませんので注意してください。更新にはロールバックを使用できます (Washington DC パッチ間、Washington DC パッチからホットフィックスなど)。デフォルトでは、ロールバック期間は 10 日間です。この期間は、`glide.rollback.expiration_days` プロパティを変更することでカスタマイズできます。ロールバックを要求するには、[連絡先 カスタマーサービス & サポート](#)。

ダウンタイムやデータ喪失を招くため、バックアップから本番インスタンスを復元することは可能な限り避けてください。バックアップからの本番インスタンスの復元は、他の方法で問題を解決できない場合の最終手段です。ServiceNow は、バックアップの完了タイミングにかかわらず、インスタンスを任意の時点に復元できます。カスタマーサービス & サポート は、アップグレード後の重大な課題に対して 24 時間 365 日サポートを提供します。

i 注:

ServiceNow はオンデマンドバックアップを実行しません。インスタンスは、ServiceNow で定義されたスケジュールに従って、業務の繁忙時間帯以外の時間に毎日自動的にバックアップされます。既存のバックアップスケジュールのタイミングは調整されません。

アップグレード全体のテスト

テストは不可欠な部分で、各インスタンスのアップグレード後に実行します。インスタンスをアップグレードした後、テストと検証を行います。

このインスタンスの命名規則は、ServiceNow インスタンスが 3 つあることを前提としています。インスタンスが 3 つある場合は、次の順序でインスタンスをアップグレードします。

1. 開発
2. テスト
3. 本番

インスタンス数が 3 つではない場合、または [Team Development](#) を使用している場合、これらのインスタンスラベルは異なったものになります。一般に、本番インスタンスから最も離れたインスタンスを本番インスタンスにアップグレードします。

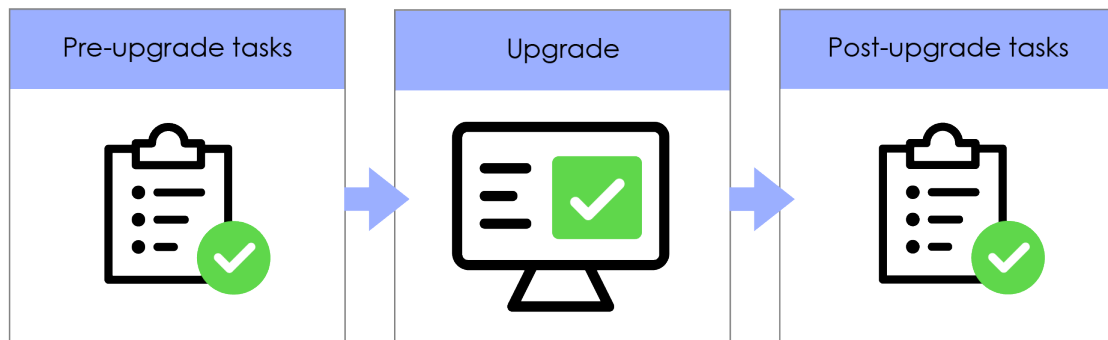
インスタンス	必要なテストのタイプ
開発	スモークテストを実施します。
テスト	- ServiceNow Automated Test Framework が、非本番インスタンスのテストを支援します。 - 自動テストフレームワーク (ATF) クイックスタートテストと製品テストスイートを使用すると、アップグレード前後のテストをすぐに開始できます。利用可能なテストとアクティブ化情報のリストについては、「クイックスタートテスト」を参照してください。 - 追加のテスト範囲として、非本番インスタンスでユーザー受け入れテスト (UAT) を実行することもできます。
本番	UAT を実施します。 i 注: Automated Test Framework は非本番インスタンスでの使用を目的としています。本番インスタンスでは、UAT のみを実施します。

アップグレード後に課題が発生した場合は、課題の状況、課題の再現手順、およびカスタマイズの内容を文書化します。担当者 [カスタマーサービス & サポート](#) 各問題のインシデントをオープンし、それに応じてこの情報を提供します。カスタマーサービス & サポート は24時間年中無休で利用でき、質問や問題をサポートします。

様々な製品に関するアップグレード前後のタスク

アップグレードの準備として、さまざまなアプリケーションや機能のアップグレードおよび移行のタスクを確認します。該当する場合は、アップグレード完了前後でそれらのタスクを完了する計画を立てます。

スムーズなアップグレードのためのインスタンスの準備



Washington DC にアップグレードする前に、これらのアップグレード前後のタスクを確認し、必要に応じて完了してください。

アップグレードおよび移行のタスク



重要:

自己ホスト型のお客様のアップグレード手順の変更について詳しくは、[KB0563844](#) を参照してください。

製品	リリースノート	ファミリー
AI Search	Quebec または Rome から San Diego にアップグレードすると、AI Search がインデックス付け済みのすべての日本語コンテンツに自動的にインデックスを再作成します。この 1 回限りの再インデックス付けプロセスは、このリリースで日本語の検索エクスペリエンスの改善を有効にするために必要です。 Quebec または Rome で Q&A Genius 結果を有効にした場合は、San Diego にアップグレードした後に ナレッジコンテンツのインデックスを再作成する必要があります。この 1 回限りのインデックス再作成プロセスは、このリリースで Q&A の改善を有効にするために必要です。	San Diego
アプリケーション使用状	San Diego リリースにアップグレードした後は、[アプリケーション使用状況の概要] ホームページは編集できません。	San Diego

(続く)

製品	リリースノート	ファミリー
況の概要ダッシュボード		
アセスメントとサーベイ	<i>Assessments and Surveys</i> を <i>San Diego</i> にアップグレードした後、廃止されたサーベiyユーザー招待メール通知を非アクティブ化します。その後、新しいメール通知である [サーベイへの招待] をアクティブ化します。	San Diego
Automated Test Framework	<i>Now Platform</i>® で提供されているクイックスタートテストをコピーしカスタマイズして、構成変更後もインスタンスが動作することを検証します。たとえば、アップグレードを適用するか、アプリケーションを開発する場合です。 カスタマイズを行っていないベースシステム上で、アプリケーションまたは機能プラグインが提供するデフォルトのデモデータを使用してテストを実行した場合にのみ、テストで合格の結果を生成できます。インスタンス固有のデータにクイックスタートテストを適用するには、クイックスタートテストをコピーしてカスタムデータを追加します。詳しくは、「Available quick start tests by application or feature (アプリケーションおよび機能別に利用可能なクイックスタートテスト)」を参照してください。 ATF は、Next Experience の特定の要素をサポートしていません。詳細については、「Automated Test Framework」を参照してください。	San Diego
Business Continuity Management	- Business Impact Analysis (BIA) : [影響分析]、[構成アイテム]、[要素定義] の各フィールドが依存関係 [sn_bia_dependency] テーブルに追加されました修正スクリプト [依存関係参照の入力 (Populate dependency references)] により、既存のデータを移行します。 - Business Continuity Planning (BCP) : [説明] フィールドが計画ドキュメント [sn_bcp_document] テーブルに追加されました。修正スクリプト [計画ドキュメントの説明を更新 (Update description on plan documents)] により、既存のデータを移行します。説明は、対応するドキュメントセクションの説明から入力されます。	San Diego
Cloud Insights	手順については、「 Upgrade to version 2.2 (Cloud Insights バージョン 2.2 へのアップグレード) 」を参照してください。	San Diego
Configuration Compliance	<i>Configuration Compliance</i> アプリケーションのモデル変更により、アップグレードには以前よりかなり長い時間がかかる場合があります。詳しくは、KB0856498 を参照してください。	San Diego

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ												
	• 以前にアプリケーションを <i>ServiceNow Store</i> からダウンロードしていて新バージョンが利用可能な場合、 <i>Now Platform</i> インスタンスで更新できます。 • <i>Configuration Compliance</i> アプリケーションのリリース済みバージョンと、<i>San Diego</i> と互換性のあるサードパーティアプリケーションや <i>ServiceNow</i> アプリケーションについて詳しくは、HI ナレッジベース記事「Vulnerability Response Compatibility Matrix and Release Schema Changes (Vulnerability Response 互換性マトリックスおよびリリーススキーマの変更点) [KB0856498]」を参照してください。 Configuration Compliance バージョン 12.0 ～ 14.3 の San Diego へのアップグレード情報 <table><tr><th>バージョン</th><th>アップグレードの説明</th></tr><tr><td>14.3</td><td><i>ServiceNow</i> ストア で <i>San Diego</i> の認定済みです。</td></tr><tr><td>13.1</td><td><i>ServiceNow</i> ストア で <i>San Diego</i> の認定済みです。</td></tr><tr><td>12.2</td><td><i>ServiceNow</i> ストア で <i>San Diego</i> の認定済みです。 <i>Tenable</i> 脆弱性統合 の <i>Tenable.io</i> 製品は、<i>Configuration Compliance</i> アプリケーションで処理するためのポリシー、コントロール (テスト結果)、設定テストをインポートします。 詳しくは、以下の「<i>San Diego</i> リリースの新機能」セクションを参照してください。</td></tr><tr><td>12.1</td><td><i>ServiceNow</i> ストア で <i>San Diego</i> の認定済みです。</td></tr><tr><td>12.0</td><td><i>ServiceNow</i> ストア で <i>San Diego</i> の認定済みです。 グループルールのレコードおよびフォームの条件ビルダーでの大文字と小文字の区別 デフォルトでは ([大文字と小文字を区別] チェックボックスが無効な場合)、条件ビルダーに入力する検索テキストは大文字と小文字が区別されません。テスト結果グループのルールフォームとレコードに入力するルール一致テキストの大文字と小文字の区別を有効または無効にすることができます。</td></tr></table> <td></td>	バージョン	アップグレードの説明	14.3	<i>ServiceNow</i> ストア で <i>San Diego</i> の認定済みです。	13.1	<i>ServiceNow</i> ストア で <i>San Diego</i> の認定済みです。	12.2	<i>ServiceNow</i> ストア で <i>San Diego</i> の認定済みです。 <i>Tenable</i> 脆弱性統合 の <i>Tenable.io</i> 製品は、 <i>Configuration Compliance</i> アプリケーションで処理するためのポリシー、コントロール (テスト結果)、設定テストをインポートします。 詳しくは、以下の「 <i>San Diego</i> リリースの新機能」セクションを参照してください。	12.1	<i>ServiceNow</i> ストア で <i>San Diego</i> の認定済みです。	12.0	<i>ServiceNow</i> ストア で <i>San Diego</i> の認定済みです。 グループルールのレコードおよびフォームの条件ビルダーでの大文字と小文字の区別 デフォルトでは ([大文字と小文字を区別] チェックボックスが無効な場合)、条件ビルダーに入力する検索テキストは大文字と小文字が区別されません。テスト結果グループのルールフォームとレコードに入力するルール一致テキストの大文字と小文字の区別を有効または無効にすることができます。	
バージョン	アップグレードの説明													
14.3	<i>ServiceNow</i> ストア で <i>San Diego</i> の認定済みです。													
13.1	<i>ServiceNow</i> ストア で <i>San Diego</i> の認定済みです。													
12.2	<i>ServiceNow</i> ストア で <i>San Diego</i> の認定済みです。 <i>Tenable</i> 脆弱性統合 の <i>Tenable.io</i> 製品は、 <i>Configuration Compliance</i> アプリケーションで処理するためのポリシー、コントロール (テスト結果)、設定テストをインポートします。 詳しくは、以下の「 <i>San Diego</i> リリースの新機能」セクションを参照してください。													
12.1	<i>ServiceNow</i> ストア で <i>San Diego</i> の認定済みです。													
12.0	<i>ServiceNow</i> ストア で <i>San Diego</i> の認定済みです。 グループルールのレコードおよびフォームの条件ビルダーでの大文字と小文字の区別 デフォルトでは ([大文字と小文字を区別] チェックボックスが無効な場合)、条件ビルダーに入力する検索テキストは大文字と小文字が区別されません。テスト結果グループのルールフォームとレコードに入力するルール一致テキストの大文字と小文字の区別を有効または無効にすることができます。													

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ				
	<table><tr><th>バージョン</th><th>アップグレードの説明</th></tr><tr><td></td><td> アサインルール、修正ターゲットルール、CI ルックアップルール、算出レコードおよびフォームの場合、条件ビルダーに入力する検索テキストは大文字と小文字が区別されません。これらのレコードの検索では、大文字と小文字の区別はサポートされなくなりました。 v 12.0 より前のバージョンでは、大文字と小文字の区別オプションを無効にするとパフォーマンスの問題が発生する可能性があることを示す警告メッセージが表示されました。v 12.0 以降では、大文字と小文字を区別しない検索が完全にサポートされています。 </td></tr></table>	バージョン	アップグレードの説明		アサインルール、修正ターゲットルール、CI ルックアップルール、算出レコードおよびフォームの場合、条件ビルダーに入力する検索テキストは大文字と小文字が区別されません。これらのレコードの検索では、大文字と小文字の区別はサポートされなくなりました。 v 12.0 より前のバージョンでは、大文字と小文字の区別オプションを無効にするとパフォーマンスの問題が発生する可能性があることを示す警告メッセージが表示されました。v 12.0 以降では、大文字と小文字を区別しない検索が完全にサポートされています。	
バージョン	アップグレードの説明					
	アサインルール、修正ターゲットルール、CI ルックアップルール、算出レコードおよびフォームの場合、条件ビルダーに入力する検索テキストは大文字と小文字が区別されません。これらのレコードの検索では、大文字と小文字の区別はサポートされなくなりました。 v 12.0 より前のバージョンでは、大文字と小文字の区別オプションを無効にするとパフォーマンスの問題が発生する可能性があることを示す警告メッセージが表示されました。v 12.0 以降では、大文字と小文字を区別しない検索が完全にサポートされています。					
Core Now Platform	アップグレード後、ServiceNow の担当者にインスタンスの設定を要求して、ServiceNow が言語プラグインを提供している 22 言語以外の言語をサポートすることができます。2 文字の言語コードは BCP 47 標準をサポートしています。 JavaScript エンジンのデフォルトの式評価モードがコンパイル済みモードから解釈済みモードに変更されました。詳細については、KB0960944 を参照してください。 sys_archive_log に 1,000 万件を超えるレコードがある場合は、sys_archive_log に (archive、restored) および (archive、sys_created_on、restored、from_table) インデックスを追加します。 注: 列の順序は (archive、restored) および (archive、sys_created_on、restored、from_table) と正確に一致している必要があります。San Diego のアップグレード前に、適切な列が sys_archive_log テーブルに既に存在する場合は、UI を使用してこれを実行できます。 1. テーブルページに移動します。 2. 下にスクロールして [データベースインデックス] を選択し、[新規] をクリックします。 3. ポップアップモーダルで適切な列を選択し、[インデックスの作成] をクリックします。列の順序が正しいことを確認します。 sys_archive_log のレコード数が 1,000 万未満の場合、アップグレードには問題がありません。	San Diego				

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ
DevOps	注: バージョン 1.31 にアップグレードするには、 <i>ServiceNow Store</i> から <i>DevOps Change Velocity</i> アプリを検索してインストールします。 <i>San Diego</i> での <i>DevOps</i> アプリケーションのすべての新規インストールでは、com.snc.change_management.change_model.type_compatibility プロパティを <i>True</i> に設定する必要があります。 • <i>DevOps</i> バージョン 1.32 以降、ベースシステムのアーカイブルールは、指定された期間よりも古い <i>DevOps</i> テーブルを自動アーカイブするように設定されています。アーカイブルールが関連付けられているテーブルに対してアーカイブテーブルが作成されます。アーカイブテーブルからデータを復元することもできます。詳細については、「Data archiving DevOps table data (DevOps テーブルデータのデータアーカイブ)」を参照してください。 • バージョン 1.26 以降では、ジョブスケジュールが自動的にアクティブ化され、テーブルローテーションを通じて新しい処理済み受信イベント [sn_devops_processed_inbound_event_list.do] テーブルにデータをアーカイブできるようになります。受信イベント [sn_devops_inbound_list.do] テーブルからデータを消去するために、テーブルクリーナーも開始されます。 • リリースバージョン 1.27 以降では、セキュリティモデルの変更により、作成するカスタムアクセス制御リスト (ACL) の読み取りおよび書き込み (作成/更新) 操作に sn_devops.integration ユーザーロールを含める必要があります。	San Diego
暗号化とキー管理	<i>San Diego</i> へのアップグレード時に、暗号化コンテキストは Column Level Encryption フィールド暗号化モジュールおよび対応するモジュールアクセスポリシーに自動的に変換されます。この機能拡張について説明するチュートリアルをダッシュボードから利用できます。	San Diego
Governance, Risk, and Compliance	<i>Governance, Risk, and Compliance</i> バージョン 14.0 以降では、 <i>GRC</i> ロールを持つユーザーのみが <i>GRC</i> レコードにアクセスできます。snc_internal ロールを持つユーザーがアクセスできたレコードは、 <i>GRC</i> ロールを持つユーザーのみがアクセス可能となりました。詳細については、 Now Support ナレッジベースの「 <i>Security tightening for GRC apps (GRC アプリのセキュリティ強化)</i> [KB1096145]」を参照してください。	San Diego
Health Log Analytics	<i>San Diego</i> にアップグレードする場合は、 <i>Now Support</i> から <i>Health Log Analytics</i> アプリケーションのコアコンポーネン	San Diego

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ
	トのアップグレードを要求するか、ServiceNow の営業担当者にお問い合わせください。	
MID Server	最新のMID Server システム要件については、「MID Server system requirements (MID Server システム要件)」を参照してください。次の Java Runtime Environment (JRE) バージョンがサポートされています。 • JRE11：最小バージョンは 11.0.12 です。 • JRE8：最小バージョンは 1.8.0_275 です。 独自の JRE をインストールしている場合、アップグレードプロセスは次のアクションを実行して、MID Server がサポートされている JRE を使用するようにします。 • アップグレード時に MID Server がサポートされていないバージョンの JRE を使用している場合、アップグレードプロセスはその JRE を MID Server インストーラーにバンドルされている OpenJDK に置き換えます。 • サポートされている JRE が MID Server ホストで実行されている場合、アップグレードされた MID Server はそのバージョンを使用します。 自動アップグレードを行なうには、すべての MID Server ホストマシンが install.service-now.com のダウンロードサイトにアクセスする必要があります。詳細については、「How the System Manages MID Server Upgrades (システムが MID Server アップグレードを管理する方法)」をご確認ください。 1つの実行可能ファイルパスにつき、Windows MID Server サービスは1つのみ許可されます。アップグレードした Windows MID Servers に同じインストールフォルダーを指しているサービスが複数ある場合は起動できません。詳しくは『MID Server fails to start (MID Server が起動しない)」を参照してください。 MID Server のアップグレードについて詳しくは次のトピックを参照してください。 • MID Server のアップグレード前のチェック：実際にアップグレードを行なう前に、システムでの MID Server のアップグレード機能を AutoUpgrade モニターでテストする方法を説明しています。 • 手動での MID Server のアップグレード：MID Server を手動でアップグレードする方法について説明しています。	San Diego
モバイル	ServiceNow クラシックモバイルプラットフォームから ServiceNow モバイルプラットフォームに移行して、迅速な開発、オフライン機能、ネイティブモバイルデバイス機能との統合などの機能を活用します。ServiceNow モバイルプラットフォームへの移行の詳細については、「Migrate from	San Diego

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ
	the ServiceNow Classic mobile app to the ServiceNow Mobile Platform (ServiceNow クラシックモバイルアプリから ServiceNow モバイルプラットフォームへの移行) [2] 」を参照してください。	
Next Experience UI	Next Experience への移行に関する考慮事項 [2] Next Experience をアクティブ化する方法は、インスタンスのカスタマイズレベルによって異なる場合があります。インスタンスのカスタマイズ担当者またはその他の認定パートナーからのガイダンスやサポートがあると、Next Experience への移行が円滑に進みます。	San Diego
Order Management for Telecommunications, Media, and Technology	Order Management for Telecommunications, Media, and Technology アプリケーションをサポートするテーブルアーキテクチャが再構築されました。San Diego リリースにアップグレードした後、Order Management for Telecommunications, Media, and Technology を使用する前に、既存の注文データを新しく再構築されたテーブルに移動するスクリプトを最初に行う必要があります。詳細については、Now Support ナレッジベース記事「Order Management for Telecommunications, Media, and Technology (2.0.0) version: Post upgrade reparenting script for the San Diego release (Order Management for Telecommunications, Media, and Technology (2.0.0) バージョン: San Diego リリース用アップグレード後の親再指定スクリプト [KB1000941] [2]」を参照してください。	San Diego
Performance Analytics	データコレクションジョブの条件付きスクリプトは、権限が制限されたサンドボックスで実行されるようになりました。この変更により、既存の条件付きスクリプトでスクリプト実行エラーが発生する場合があります。スクリプト化されたデータコレクションジョブがある場合は、非本番ビルドでアップグレードをテストすることを検討してください。必要に応じてスクリプトを書き換えます。詳細については、「Script sandbox property (スクリプトサンドボックスプロパティ) [2]」を参照してください。	San Diego
Privacy Management	San Diego リリースで Privacy Management を使用できるようにするには、Advanced Risk プラグインをアクティブ化する必要があります。	San Diego
Reporting	スケジュール済みレポートジョブの条件付きスクリプトは、権限が制限されたサンドボックスで実行されるようになりました。この変更により、既存の条件付きスクリプトでスクリプト実行エラーが発生する場合があります。スクリプト化されたスケジュール済みレポートジョブがある場合は、非本番ビルドでアップグレードをテストすることを検討してください。必要に応じてスクリプトを書き換えます。詳細については、「Script sandbox	San Diego

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ				
	property (スクリプトサンドボックスプロパティ)  を参照してください。					
Security Incident Response	<i>Security Incident Response</i> を以前のリリースから直接アップグレードする場合は、次の場所に移動します システム定義 > 修復スクリプトをクリックし、「統合をマルチドメインに更新」修正スクリプトを実行します。このスクリプトを実行して、特定の統合で複数の構成を定義できるようにします。 たとえば、複数の <i>Splunk</i> インスタンスがある場合は、複数の <i>Splunk</i> インスタンスのサイティング検索全体で実行する接続とクエリを作成できます。修正スクリプトを実行した後、次に移動します。 システム定義 > 修復スクリプト 修正スクリプトを無効化できますスクリプトは複数回実行しないでください。	San Diego				
Service Catalog	<i>San Diego</i> にアップグレードし、サービス遂行手順を実行するために必要な情報を保存するようにデータストアを設定する場合は、拡張するサービス遂行手順 [sc_service_fulfillment_step] テーブルで canCreate、canUpdate、canRead のアプリケーションアクセスが有効になっていることを確認してください。 <i>San Diego</i> にアップグレードし、要求に対して新しいメール通知テンプレートを使用する場合は、それらをアクティブ化する必要があります。詳細については、「Email notifications for requests (要求に関するメール通知)  」を参照してください。 <i>San Diego</i> にアップグレードしていて、ビジネスステークホルダーとして要求アイテムにコメントを追加する場合は、[スクリプト - バックグラウンド] モジュールの [要求管理 に対する BS コメント書き込みのアクティブ化] スクリプトアクションで利用可能なスクリプトを実行します。スクリプトの実行方法の詳細については、「スクリプトアクション  」および「 [スクリプト - バックグラウンド] モジュール  」のトピックを参照してください。	San Diego				
Service Operations Workspace for ITSM	次のアプリケーションに互換性のあるアップグレードバージョンが存在することを確認します。 <i>Service Operations Workspace ITSM Applications</i> アプリケーション (sn_sow_itsm_cont) <i>Service Operations Workspace ITOM Applications</i> アプリケーション (sn_sow_itom_cont) 互換性のある SOW バージョン <table><tr><th>SOW-ITSM (sn_sow_itsm_cont)</th><th>SOW-ITOM (sn_sow_itom_cont)</th></tr><tr><td>1.1.x</td><td>21.0.y</td></tr></table>	SOW-ITSM (sn_sow_itsm_cont)	SOW-ITOM (sn_sow_itom_cont)	1.1.x	21.0.y	San Diego
SOW-ITSM (sn_sow_itsm_cont)	SOW-ITOM (sn_sow_itom_cont)					
1.1.x	21.0.y					

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ																		
	<table><tr><th>SOW-ITSM (sn_sow_itsm_cont)</th><th>SOW-ITOM (sn_sow_itom_cont)</th></tr><tr><td>1.2.x</td><td>21.1.y</td></tr><tr><td>1.3.x</td><td>21.2.y、21.5.y、および 21.6.y</td></tr></table> ここで、x は <i>Service Operations Workspace ITSM Applications</i> アプリケーション (sn_sow_itsm_cont) のサブバージョンで、y は <i>Service Operations Workspace ITOM Applications</i> アプリケーション (sn_sow_itom_cont) のサブバージョンです。	SOW-ITSM (sn_sow_itsm_cont)	SOW-ITOM (sn_sow_itom_cont)	1.2.x	21.1.y	1.3.x	21.2.y、21.5.y、および 21.6.y													
SOW-ITSM (sn_sow_itsm_cont)	SOW-ITOM (sn_sow_itom_cont)																			
1.2.x	21.1.y																			
1.3.x	21.2.y、21.5.y、および 21.6.y																			
ServiceNow パフォーマ ンスダッシュ ボード	San Diego にアップグレードすると、パフォーマンスホームページを編集できなくなります。	San Diego																		
ServiceNow 音声アシスト 機能	アップグレード後、ラベル名の変更がテーブルに表示されます。 <table><tr><th>元のインターフェイスラベル</th><th>置き換え後ラベル</th></tr><tr><td>クラウドコールセンター</td><td>ServiceNow 音声アシスト 機能</td></tr><tr><td>ITSM 向けクラウドコールセ ンター</td><td>ITSM 向け ServiceNow 音 声アシスト機能</td></tr><tr><td>CSM 対応クラウドコールセ ンター</td><td>CSM 向け ServiceNow 音 声アシスト機能</td></tr><tr><td>クラウドコールセンター向け Amazon Connect</td><td>ServiceNow 音声アシスト 機能と Amazon Connect</td></tr><tr><td>クラウドコールセンター - コ ア</td><td>ServiceNow 音声アシスト機 能 - コア</td></tr><tr><td colspan="2">アプリケーション</td></tr><tr><td>クラウドコールセンターコア (sn_cti_core)</td><td>ServiceNow 音声アシスト 機能 (sn_cti_core)</td></tr><tr><td>クラウドコールセンターの Amazon Connect データ連 携 (sn_cti_amzn_cct)</td><td>ServiceNow 音声アシスト 機能と Amazon Connect (sn_cti_amzn_cct)</td></tr></table>	元のインターフェイスラベル	置き換え後ラベル	クラウドコールセンター	ServiceNow 音声アシスト 機能	ITSM 向けクラウドコールセ ンター	ITSM 向け ServiceNow 音 声アシスト機能	CSM 対応クラウドコールセ ンター	CSM 向け ServiceNow 音 声アシスト機能	クラウドコールセンター向け Amazon Connect	ServiceNow 音声アシスト 機能と Amazon Connect	クラウドコールセンター - コ ア	ServiceNow 音声アシスト機 能 - コア	アプリケーション		クラウドコールセンターコア (sn_cti_core)	ServiceNow 音声アシスト 機能 (sn_cti_core)	クラウドコールセンターの Amazon Connect データ連 携 (sn_cti_amzn_cct)	ServiceNow 音声アシスト 機能と Amazon Connect (sn_cti_amzn_cct)	San Diego
元のインターフェイスラベル	置き換え後ラベル																			
クラウドコールセンター	ServiceNow 音声アシスト 機能																			
ITSM 向けクラウドコールセ ンター	ITSM 向け ServiceNow 音 声アシスト機能																			
CSM 対応クラウドコールセ ンター	CSM 向け ServiceNow 音 声アシスト機能																			
クラウドコールセンター向け Amazon Connect	ServiceNow 音声アシスト 機能と Amazon Connect																			
クラウドコールセンター - コ ア	ServiceNow 音声アシスト機 能 - コア																			
アプリケーション																				
クラウドコールセンターコア (sn_cti_core)	ServiceNow 音声アシスト 機能 (sn_cti_core)																			
クラウドコールセンターの Amazon Connect データ連 携 (sn_cti_amzn_cct)	ServiceNow 音声アシスト 機能と Amazon Connect (sn_cti_amzn_cct)																			

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ				
	<table><tr><th>元のインターフェイスラベル</th><th>置き換え後ラベル</th></tr><tr><td>Cloud Call Center UX Components (sn_cti_ux)</td><td>ServiceNow 音声アシスト機能 UX コンポーネント (sn_cti_ux)</td></tr></table>	元のインターフェイスラベル	置き換え後ラベル	Cloud Call Center UX Components (sn_cti_ux)	ServiceNow 音声アシスト機能 UX コンポーネント (sn_cti_ux)	
元のインターフェイスラベル	置き換え後ラベル					
Cloud Call Center UX Components (sn_cti_ux)	ServiceNow 音声アシスト機能 UX コンポーネント (sn_cti_ux)					
Software Asset Management	Software Asset Management Foundation プラグイン (com.snc.sams) のアップグレードについて詳しくは、「Revert Software Asset Management Customizations (Software Asset Management のカスタマイズを元に戻す)」を参照してください。 追加のアップグレード情報については、「Software Asset Management アップグレード情報」を参照してください。	San Diego				
Store 使用率の概要ダッシュボード	San Diego にアップグレードした後は、ServiceNow Store 使用率の概要ホームページを編集できなくなります。	San Diego				
システム管理者ダッシュボード	San Diego リリースにアップグレードした後は、システム管理者ホームページを編集できなくなります。	San Diego				
システム診断ホームページ	San Diego にアップグレードした後は、システム診断ホームページを編集できなくなります。	San Diego				
仮想エージェント	- アップグレード後、仮想エージェントは通知カードのアクセス制御リストをサポートしません。通知カードのコンテンツへのアクセスを管理し、メッセージの見出しとコンテンツのパラメーターを置換できるようにするには、<code>com.glide.cs.notification_record_access_check</code> システムプロパティを使用してこれらの機能を有効にします。 [チャットのセットアップ] フォーム、[ブランディング] フォーム、[チャットメニュー] フォームなど、<i>Conversational Interfaces</i> の構成フォームと設定の多くは、[チャット設定]に移動しました。これらには、<i>Conversational Interfaces</i> モジュールの [Conversational Interfaces ホーム] ページからアクセスできます。詳細については、これらのリリースノートの「#unique_16_Connect_42_section_ijj_s3c_5rb」を参照してください。 - 仮想エージェントデザイナーでアクションコンポーネントにセキュア入力を使用した場合は、すべてのセキュアフィールドで password2 データ タイプを使用する必要があります。文字列データタイプのフィールドは、セキュアとしてマークできなくなりました。	San Diego				

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ
	パッケージングの問題によってエラーが発生することがわかっていますが、仮想エージェントトピックの推奨事項 2.1.1 が <i>San Diego</i> 早期アクセスリリースに同梱されています。詳しくは、KB1005131 を参照してください。	
Vulnerability Response integrations	<i>Vulnerability Response</i> でサポートされているサードパーティアプリケーションの更新については、「Vulnerability Response integrations アップグレード情報」を参照してください。<i>Vulnerability Response</i> がサポートするこれらのアプリケーションの更新は、<i>ServiceNow® Store</i>で入手できます。 <i>Vulnerability Response</i> アプリケーションのリリース済みバージョンと、<i>San Diego</i> と互換性のあるサードパーティアプリケーションや <i>ServiceNow</i> アプリケーションについて詳しくは、HI ナレッジベース記事「Vulnerability Response Compatibility Matrix and Release Schema Changes (Vulnerability Response 互換性マトリックスおよびリリーススキーマの変更点) [KB0856498]」を参照してください。 <i>Vulnerability Response</i> の新機能の詳細については、「Vulnerability Response リリースノート」を参照してください。	San Diego
Vulnerability Response	<i>Vulnerability Response</i> アプリケーションのデータモデル変更により、アップグレードには以前よりかなり長い時間がかかる場合があります。詳しくは、KB0856498 を参照してください。 - 新しいバージョンの <i>Vulnerability Response</i> アプリケーションにアップグレードすると、新しいバージョンがインスタンスで利用可能になり、インストールの準備が整います。<i>Vulnerability Response</i> の更新は <i>ServiceNow® Store</i> で入手できます。 <i>Vulnerability Response</i> アプリケーションのリリース済みバージョン、<i>San Diego</i> との互換性、スキーマ変更について詳しくは、HI ナレッジベース記事「Vulnerability Response Compatibility Matrix and Release Schema Changes (Vulnerability Response 互換性マトリックスおよびリリーススキーマの変更点) [KB0856498]」を参照してください。 <i>Vulnerability Response</i> アプリケーションを古いバージョンからバージョン 15.x にアップグレードすると、ベースシステムのデフォルトの修正タスクルールが非アクティブ化されます。詳細については、「Vulnerability Response Workspaces and updates to remediation task and remediation task rules (Vulnerability Response のワークスペースおよび、修正タスクと修正タスクルールの更新)」を参照してください。	San Diego

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ
Walk-up Experience	以前のリリースを使用している場合は、<i>San Diego</i>へのアップグレードを開始する前に、現在のインスタンスを構成する必要があります。<i>Microsoft Teams</i> チャットを使用してリモート Walk-up 予約を強化する場合は、「Microsoft Teams データ連携」を参照してください。統合により、Skills Management プラグイン (com.snc.skills_management) と Skills Determination プラグイン (com.snc.skill_determination) がアクティブ化されます。	San Diego
Workforce Optimization for ITSM	<i>Workforce Optimization for ITSM</i> バージョン 1.1.1 にアップグレードする場合は、次のテーブルのテキストインデックス作成を有効にする必要があります。 • スケジュール [sn_shift_planning_schedule_plan] • シフト計画 [sn_shift_planning_shift_plan] • シフト [cmn_rota] アップグレード後にテキストインデックス作成を実行しない場合は、キーワードではなく名前ですケジュール計画とシフト計画を検索できます。	San Diego
AI Search	以前のリリースから <i>Tokyo</i> にアップグレードすると、<i>AI Search</i> は、カタログアイテム [sc_cat_item] テーブルおよびナレッジ [kb_knowledge] テーブルのインデックス付きソースからコンテンツとメタデータに自動的にインデックスを再作成します。この 1 回限りのインデックス再作成プロセスは、このリリースで検索エクスペリエンスを改善するために必要です。 以前のリリースから <i>Tokyo</i> にアップグレードした後に検索アプリケーション構成を表示または編集すると、1 つ以上のインデックス付きソースを再インデックス付けするように指示する警告メッセージが表示される場合があります。このインデックス再作成プロセス (リストされているインデックス付きソースごとに 1 回限りのプロセス) は、検索ベースのオートコンプリート候補を正しく入力するために必要です。 以前のリリースから <i>Tokyo</i> にアップグレードすると、検索結果のデフォルトの関連性スコアが変更される場合があります。以前のリリースでトレーニングされた関連性モデルは、引き続き同じ結果の順序を生成します。複数のリリース前にトレーニングされたモデルは、デフォルトの関連性モデルに戻る可能性があります。 <i>AI Search report_view</i> アクセス制御リスト (ACL) は、ダッシュボードなどでレポートを表示できるユーザーを管理するもので、<i>Tokyo</i> リリースではデフォルトで有効になっています。詳細については、「Report_view access control (Report_view のアクセス制御)」を参照してください。	Tokyo

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ
Admin Center	<i>Admin Center</i> アプリケーションの最新バージョンは、 <i>ServiceNow Store</i> で入手できます。	Tokyo
Application Portfolio Management	<i>Application Portfolio Management report_view</i> アクセス制御リスト (ACL) は、ダッシュボードなどでレポートを表示できるユーザーを管理するもので、 <i>Tokyo</i> リリースではデフォルトで有効になっています。詳細については、「 Report_view access control (Report_view のアクセス制御) 」を参照してください。	Tokyo
アセスメントとサーベイ	以前のリリースから <i>Tokyo</i> にアップグレードすると、 <i>Service Portal</i> と <i>Now Mobile</i> アプリで <i>Assessments and Surveys</i> がデフォルトでアクティブ化されます。	Tokyo
Automated Test Framework	<i>Now Platform</i>®で提供されているクイックスタートテストをコピーしカスタマイズして、構成変更後もインスタンスが動作することを検証します。たとえば、アップグレードを適用するか、アプリケーションを開発する場合です。 カスタマイズを行っていないベースシステム上で、アプリケーションまたは機能プラグインが提供するデフォルトのデモデータを使用してテストを実行した場合にのみ、テストで合格の結果を生成できます。インスタンス固有のデータにクイックスタートテストを適用するには、クイックスタートテストをコピーしてカスタムデータを追加します。詳しくは、「Available quick start tests by application or feature (アプリケーションおよび機能別に利用可能なクイックスタートテスト)」を参照してください。	Tokyo
Cloud Provisioning and Governance	<i>Cloud Provisioning and Governance report_view</i> アクセス制御リスト (ACL) は、ダッシュボードなどでレポートを表示できるユーザーを管理するもので、 <i>Tokyo</i> リリースではデフォルトで有効になっています。詳細については、「 Report_view access control (Report_view のアクセス制御) 」を参照してください。	Tokyo
Configuration Compliance	<i>Configuration Compliance</i> アプリケーションのモデル変更により、アップグレードには以前よりかなり長い時間がかかる場合があります。詳しくは、KB0856498 を参照してください。 - 以前にアプリケーションを <i>ServiceNow Store</i> からダウンロードしていて新バージョンが利用可能な場合、<i>Now Platform</i> インスタンスで更新できます。 <i>Configuration Compliance</i> アプリケーションのリリース済みバージョンと、<i>Tokyo</i> と互換性のあるサードパーティ	Tokyo

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ				
	アプリケーションや <i>ServiceNow</i> アプリケーションについて詳しくは、HI ナレッジベース記事「Vulnerability Response Compatibility Matrix and Release Schema Changes (Vulnerability Response 互換性マトリックスおよびリリーススキーマの変更点) [KB0856498]」を参照してください。 • <i>Vulnerability Response</i> と <i>Configuration Compliance</i> でサポートされているサードパーティアプリケーションの更新については、「Vulnerability Response integrations リリースノート」を参照してください。 Configuration Compliance の Tokyo へのアップグレード情報 <table><tr><th>バージョン</th><th>アップグレードの説明</th></tr><tr><td>14.3</td><td> <i>ServiceNow Store</i>で <i>Tokyo</i> の認定済みです。 詳細については、以下の「<i>Tokyo</i> リリースの新機能」セクションを参照してください。 </td></tr></table>	バージョン	アップグレードの説明	14.3	<i>ServiceNow Store</i>で <i>Tokyo</i> の認定済みです。 詳細については、以下の「<i>Tokyo</i> リリースの新機能」セクションを参照してください。	
バージョン	アップグレードの説明					
14.3	<i>ServiceNow Store</i>で <i>Tokyo</i> の認定済みです。 詳細については、以下の「<i>Tokyo</i> リリースの新機能」セクションを参照してください。					
Conversational Interfaces のホーム	<i>Conversational Interfaces</i> のホームは <i>Tokyo</i> リリースに含まれていますので、既存のお客様はインストールする必要はありません。ただし、<i>ServiceNow Store</i> からアプリとしても入手できます。その場合は、後続の更新はそこからインストールする必要があります。	Tokyo				
Core Now Platform	ログ保護をオプトインするには、プラットフォームで特定のシステムログテーブルの更新および削除操作を制限できるようにする Protected Tables プラグイン (com.glide.protected_tables) をインストールします。管理者は、[ログ保護管理] パネルで各テーブルのログテーブル保護ルールをカスタマイズできます。 <i>Core Now Platform</i> report_view アクセス制御リスト (ACL) は、ダッシュボードなどでレポートを表示できるユーザーを管理するもので、<i>Tokyo</i> リリースではデフォルトで有効になっています。詳細については、「Report_view access control (Report_view のアクセス制御)」を参照してください。	東京				
Customer Service Management (CSM)	<i>Customer Service Management</i> report_view アクセス制御リスト (ACL) は、ダッシュボードなどでレポートを表示できるユーザーを管理するもので、<i>Tokyo</i> リリースではデフォルトで有効になっています。詳細については、「Report_view access control (Report_view のアクセス制御)」を参照してください。	Tokyo				
Employee Journey Management	<i>HR Service Delivery</i> report_view アクセス制御リスト (ACL) は、ダッシュボードなどでレポートを表示できるユーザーを管理するもので、<i>Tokyo</i> リリースではデフォルトで有	Tokyo				

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ
	効になっています。詳細については、「 Report_view access control (Report_view のアクセス制御) 」を参照してください。	
暗号化キー管理	暗号化コンテキストは、<i>San Diego</i> リリース以降へのアップグレード時に、<i>Column Level Encryption</i> フィールド暗号化モジュールおよび対応するモジュールアクセスポリシーに自動的に変換されます。この機能拡張について説明するチュートリアルをダッシュボードから利用できます。 暗号化キー管理 <i>report_view</i> アクセス制御リスト (ACL) は、ダッシュボードなどでレポートを表示できるユーザーを管理するもので、<i>Tokyo</i> リリースではデフォルトで有効になっています。詳細については、「Report_view access control (Report_view のアクセス制御)」を参照してください。	Tokyo
Flow Designer	<i>Flow Designer</i> <i>report_view</i> アクセス制御リスト (ACL) は、ダッシュボードなどでレポートを表示できるユーザーを管理するもので、<i>Tokyo</i> リリースではデフォルトで有効になっています。詳細については、「Report_view access control (Report_view のアクセス制御)」を参照してください。 <i>San Diego</i> およびそれ以前のリリースからアップグレードしたインスタンスが、フローとアクションに対する制限付き呼び出し元アクセス権限要求を生成できるようにすることができます。フローとアクションのアクセス権限を有効にする方法の詳細については、「Upgrade restricted caller access privileges for flows and actions (フローとアクションに対する制限付き呼び出し元アクセス権限のアップグレード)」を参照してください。 警告: フローとアクションを追跡するように制限付きの申請者アクセス権をアップグレードすると、以前はスクリプトインクルードやビジネスルールからのクロススコープアクセスを追跡していたインスタンスで、サービスが中断される可能性があります。アップグレード後は、制限付きリソースへのアクセスを試みるすべてのフローとアクションの実行がブロックされ、代わりにそのフローやアクション独自の制限付きの申請者アクセス権に対する承認要求が生成されます。クロススコープのフローおよびアクションを実行するには、アクセス権限要求を誰かが承認する必要があります。スクリプトの呼び出しを使用してフローとアクションの間接的な追跡を既に許可しているお客様は、このタスクをスキップして、引き続きスクリプトからフローとアクションを呼び出すことができます。既存のアクセス権限を新しいフローおよびフローアクションのソースタイプに置き換えたいお客様は、新しいアクセス権限要求を生成および承認するための機能停止のスケジュールを設定することができます。	Tokyo

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ
Governance, Risk, and Compliance	<i>Governance, Risk, and Compliance</i> バージョン 14.0 以降、ビジネスユーザー (sn_grc.business_user) ロールは GRC リーダー (sn_grc.reader) ロールから削除され、GRC ユーザー (sn_grc.user) ロールに追加されます。詳細については、 KB1123608 を参照してください。	Tokyo
HR Service Delivery Case and Knowledge Management	<i>HR Service Delivery</i> report_view アクセス制御リスト (ACL) は、ダッシュボードなどでレポートを表示できるユーザーを管理するもので、 <i>Tokyo</i> リリースではデフォルトで有効になっています。詳細については、「 Report_view access control (Report_view のアクセス制御) 」を参照してください。	Tokyo
Health Log Analytics	<i>Health Log Analytic</i> のバージョンが 2022 年 2 月より前の場合は、 <i>Now Support</i> または <i>ServiceNow</i> 営業担当者に連絡して、 <i>Health Log Analytics</i> アプリケーションコアコンポーネントのアップグレードを要求してください。	Tokyo
ITOM Visibility	<i>ITOM Visibility</i> report_view アクセス制御リスト (ACL) は、ダッシュボードなどでレポートを表示できるユーザーを管理するもので、<i>Tokyo</i> リリースではデフォルトで有効になっています。詳細については、「Report_view access control (Report_view のアクセス制御)」を参照してください。 <i>Tokyo</i> にアップグレードすると、検出されたすべてのインフラストラクチャ CI のインストールステータスが自動的に「インストール済み」(「1」) に設定されます。組織でインストールステータスを使用している場合は、本番インスタンスをアップグレードする前に、テストインスタンスで <i>Tokyo</i> をテストしてください。 CSDM ライフサイクルステータスを使用して、CI のライフサイクルステージとステージステータスを追跡します。詳細については、[Placeholder link text to key bundle-rn.bundle-platcap.csdm-life-cycle-standard-values (キー bundle-rn.bundle-platcap.csdm-life-cycle-standard-values へのプレースホルダーリンクテキスト)] を参照してください。 <i>Tokyo</i> へのアップグレード後にインストールステータスに関連する問題を解決するには、KB1213467 を参照してください。	Tokyo
ID と認証	<i>ID と認証</i> report_view アクセス制御リスト (ACL) は、ダッシュボードなどでレポートを表示できるユーザーを管理するもので、 <i>Tokyo</i> リリースではデフォルトで有効になっています。詳細については、「 Report_view access control (Report_view のアクセス制御) 」を参照してください。	Tokyo

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ
インポートとエクスポート	インポートとエクスポート report_view アクセス制御リスト (ACL) は、ダッシュボードなどでレポートを表示できるユーザーを管理するもので、Tokyo リリースではデフォルトで有効になっています。詳細については、「 Report_view access control (Report_view のアクセス制御) 」を参照してください。	Tokyo
Incident Management	Incident Management report_view アクセス制御リスト (ACL) は、ダッシュボードなどでレポートを表示できるユーザーを管理するもので、Tokyo リリースではデフォルトで有効になっています。詳細については、「 Report_view access control (Report_view のアクセス制御) 」を参照してください。	Tokyo
Instance Data Replication	Instance Data Replication report_view アクセス制御リスト (ACL) は、ダッシュボードなどでレポートを表示できるユーザーを管理するもので、Tokyo リリースではデフォルトで有効になっています。詳細については、「 Report_view access control (Report_view のアクセス制御) 」を参照してください。	Tokyo
Instance Scan	Instance Scan report_view アクセス制御リスト (ACL) は、ダッシュボードなどでレポートを表示できるユーザーを管理するもので、Tokyo リリースではデフォルトで有効になっています。詳細については、「 Report_view access control (Report_view のアクセス制御) 」を参照してください。	Tokyo
Integration Hub	Integration Hub report_view アクセス制御リスト (ACL) は、ダッシュボードなどでレポートを表示できるユーザーを管理するもので、Tokyo リリースではデフォルトで有効になっています。詳細については、「 Report_view access control (Report_view のアクセス制御) 」を参照してください。	Tokyo
Intelligent Service Delivery	HR Service Delivery report_view アクセス制御リスト (ACL) は、ダッシュボードなどでレポートを表示できるユーザーを管理するもので、Tokyo リリースではデフォルトで有効になっています。詳細については、「 Report_view access control (Report_view のアクセス制御) 」を参照してください。	Tokyo
Knowledge Management	Knowledge Management report_view アクセス制御リスト (ACL) は、ダッシュボードなどでレポートを表示できるユーザーを管理するもので、Tokyo リリースではデフォルトで有効になっています。詳細については、「Report_view access	Tokyo

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ
	control (Report_view のアクセス制御) を参照してください。 • Tokyo リリース以降、アップグレードされたバージョンの Angular JS 1.5.11 がベースシステムで利用可能になりました。	
Legal Service Delivery	<i>Legal Service Delivery</i> を Tokyo にアップグレードする前に、<i>glide.rollback.blacklist.TableParentChange.change</i> システムプロパティの値を false に設定する必要があります。このプロパティがシステムプロパティ [sys_properties] テーブルに存在しない場合は、プロパティを追加 し、その値を false に設定します。 アップグレード後、Legal Request Management、Legal Digital Forensics、Legal Simple Contracts の各アプリケーションでインストールされた一部のテーブルは、アプリケーションファイル [sys_metadata] テーブルを拡張して、実務エリア、問診票フォーム、契約構成、フォレンジック構成を更新セットにシームレスに移行できるようにします。 システムプロパティ値を更新せずに Tokyo バージョンにアップグレードすると、テーブルはアプリケーションファイルテーブルを拡張しません。テーブルの変更を手動で更新するには、Now Support ナレッジベース記事「<i>Manual upgrade steps for reparenting table changes in Tokyo (Tokyo でテーブル変更の親を再指定する手動アップグレード手順)</i> [KB1163388]」を参照してください。	Tokyo
MID Server	最新の MID Server システム要件については、「MID Server system requirements (MID Server システム要件)」を参照してください。次の Java Runtime Environment (JRE) バージョンがサポートされています。 • JRE11 : バージョン 11.0.15 以降 • JRE8 : バージョン 1.8.0_275 以降 独自の JRE をインストールしている場合、アップグレードプロセスは次のアクションを実行して、MID Server がサポートされている JRE を使用するようになります。 • アップグレード時に MID Server がサポートされていないバージョンの JRE を使用している場合、アップグレードプロセスはその JRE を MID Server インストーラーにバンドルされている OpenJDK に置き換えます。 • サポートされている JRE が MID Server ホストで実行されている場合、アップグレードされた MID Server はそのバージョンを使用します。 自動アップグレードを行なうには、すべての MID Server ホストマシンが install.service-now.com のダウンロードサイトにアクセスする必要があります。詳細については、「How the	Tokyo

(続く)

製品	リリースノート	ファミリー
	System Manages MID Server Upgrades (システムが MID Server アップグレードを管理する方法)」をご確認ください。 1つの実行可能ファイルパスにつき、Windows MID Server サービスは1つのみ許可されます。アップグレードした Windows MID Servers に同じインストールフォルダーを指しているサービスが複数ある場合は起動できません。詳しくは『MID Server fails to start (MID Server が起動しない)』を参照してください。 MID Server のアップグレードについて詳しくは次のトピックを参照してください。 • MID Server のアップグレード前のチェック : 実際にアップグレードを行なう前に、システムでの MID Server のアップグレード機能を AutoUpgrade モニターでテストする方法を説明しています。 • 手動での MID Server のアップグレード : MID Server を手動でアップグレードする方法について説明しています。	
モバイル	ServiceNow クラシックモバイルアプリから ServiceNow モバイルプラットフォームに移行すると、迅速な開発、オフライン機能、ネイティブモバイルデバイス機能との統合などの機能が活用できます。ServiceNow モバイルプラットフォームへの移行の詳細については、「Migrate from the ServiceNow Classic mobile app to the ServiceNow Mobile Platform (ServiceNow クラシックモバイルアプリから ServiceNow モバイルプラットフォームへの移行)」を参照してください。 ServiceNow Mobile Platform report_view アクセス制御リスト (ACL) は、ダッシュボードなどでレポートを表示できるユーザーを管理するもので、Tokyo リリースではデフォルトで有効になっています。詳細については、「Report_view access control (Report_view のアクセス制御)」を参照してください。	Tokyo
Operational Technology Incident Management v2	以前のリリースで <i>Operational Technology Incident Management</i> を使用している場合、以前に OT インシデントユーザー (ot_incident_user) ロールが割り当てられていたユーザーに <i>Operational Technology Incident Management</i> v2 ロールを新たに割り当てる必要があります。詳細については、「Assign new Operational Technology Incident Management roles (新しい Operational Technology Incident Management ロールの割り当て)」を参照してください。	Tokyo
Password Reset	Password Reset report_view アクセス制御リスト (ACL) は、ダッシュボードなどでレポートを表示できるユーザーを管理するもので、Tokyo リリースではデフォルトで有効になっています。詳細については、「Report_view access control (Report_view のアクセス制御)」を参照してください。	Tokyo

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ										
Project Portfolio Management	<i>Project Portfolio Management</i> report_view アクセス制御リスト (ACL) は、ダッシュボードなどでレポートを表示できるユーザーを管理するもので、Tokyo リリースではデフォルトで有効になっています。詳細については、「Report_view access control (Report_view のアクセス制御)」を参照してください。 <i>Scenario Planning for PPM</i> をバージョン 2.3.0 以降にアップグレードする場合は、統合を機能させるには、従来の <i>Investment Funding</i> アプリケーションを <i>ServiceNow Store</i> にアップグレードする必要があります。従来の <i>Investment Funding</i> から <i>ServiceNow Store</i> アプリケーションへのアップグレード手順の詳細については、「Upgrade Instructions (アップグレード手順)」を参照してください。	Tokyo										
Service Bridge (テクノロジー)	<i>Service Bridge</i> アプリケーションの Tokyo バージョンにアップグレードするには、Now Support ナレッジベースの記事「<i>Service Bridge- Upgrade steps for San Diego store release to Tokyo store release (Service Bridge - San Diego ストアリリースから Tokyo ストアリリースへのアップグレード手順)</i> [KB1120583]」を参照してください。	Tokyo										
Service Bridge (電気通信)		Tokyo										
Service Operations Workspace for ITSM	次のアプリケーションに互換性のあるアップグレードバージョンが存在することを確認します。 • <i>Service Operations Workspace ITSM Applications</i> アプリケーション (sn_sow_itsm_cont) • <i>Service Operations Workspace ITOM Applications</i> アプリケーション (sn_sow_itom_cont) 互換性のある SOW バージョン <table><tr><th>SOW-ITSM (sn_sow_itsm_cont)</th><th>SOW-ITOM (sn_sow_itom_cont)</th></tr><tr><td>1.1.x</td><td>21.0.y</td></tr><tr><td>1.2.x</td><td>21.1.y</td></tr><tr><td>1.3.x</td><td>21.2.y、21.5.y、および 21.6.y</td></tr><tr><td>2.0.x</td><td>22.0.y</td></tr></table>	SOW-ITSM (sn_sow_itsm_cont)	SOW-ITOM (sn_sow_itom_cont)	1.1.x	21.0.y	1.2.x	21.1.y	1.3.x	21.2.y、21.5.y、および 21.6.y	2.0.x	22.0.y	Tokyo
SOW-ITSM (sn_sow_itsm_cont)	SOW-ITOM (sn_sow_itom_cont)											
1.1.x	21.0.y											
1.2.x	21.1.y											
1.3.x	21.2.y、21.5.y、および 21.6.y											
2.0.x	22.0.y											

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ				
	<table><tr><th>SOW-ITSM (sn_sow_itsm_cont)</th><th>SOW-ITOM (sn_sow_itom_cont)</th></tr><tr><td>2.1.x</td><td>22.1.y および 22.y.y</td></tr></table> ここで、x は <i>Service Operations Workspace ITSM Applications</i> アプリケーション (sn_sow_itsm_cont) のサブバージョンで、y は <i>Service Operations Workspace ITOM Applications</i> アプリケーション (sn_sow_itom_cont) のサブバージョンです。	SOW-ITSM (sn_sow_itsm_cont)	SOW-ITOM (sn_sow_itom_cont)	2.1.x	22.1.y および 22.y.y	
SOW-ITSM (sn_sow_itsm_cont)	SOW-ITOM (sn_sow_itom_cont)					
2.1.x	22.1.y および 22.y.y					
Service Portal	アップグレードで有効になる Report_view ACL <i>Service Portal</i> report_view アクセス制御リスト (ACL) は、ダッシュボードなどでレポートを表示できるユーザーを管理するもので、<i>Tokyo</i> リリースではデフォルトで有効になっています。詳細については、「Report_view access control (Report_view のアクセス制御)」を参照してください。 Report_view ACL は、以前は新しい (zBoot) インスタンスで有効でした。 注: <i>Service Portal</i> report_viewアクセス制御リスト (ACL) のリストについては、次に移動します すべて > システムセキュリティ > アクセス制御 (ACL) 条件ビルダーを使用して、[Operation] [is] [report_view] AND [パッケージ] [contains] [service portal] AND [パッケージ] [is not] [Service Portal - Standard Ticket] のフィルターを追加します。 デフォルトで有効になる User Experience Analytics のトラッキング <i>Service Portal Analytics</i> プラグイン (com.glide.service-portal.analytics) はデフォルトでアクティブ化されており、ポータルの <i>User Experience Analytics</i> のトラッキングはデフォルトでオンになっています。 以前に一部のポータルのみで <i>User Experience Analytics</i> のトラッキングを有効にしていたアップグレードのお客様の場合、ポータルのトラッキング設定はアップグレード後も変更されません。 TinyMCE 5 のアップグレード	Tokyo				

(続く)

製品	リリースノート	ファミリー
	TinyMCE HTML エディターがバージョン 5.10.2 にアップグレードされました。Service Portal で Angular プロバイダーを使用して TinyMCE 実装をカスタマイズしている場合は、カスタマイズされたバージョンのアップグレードについて、「 Changes in TinyMCE 5 (TinyMCE 5 での変更点) 」を参照してください。	
Software Asset Management	Software Asset Management Foundation プラグイン (com.snc.sams) のアップグレードについて詳しくは、「 Revert Software Asset Management Customizations (Software Asset Management のカスタマイズを元に戻す) 」を参照してください。	Tokyo
Subscription Management	Subscription Management report_view アクセス制御リスト (ACL) は、ダッシュボードなどでレポートを表示できるユーザーを管理するもので、Tokyo リリースではデフォルトで有効になっています。詳細については、「 Report_view access control (Report_view のアクセス制御) 」を参照してください。	Tokyo
Upgrade Center	Upgrade Center report_view アクセス制御リスト (ACL) は、ダッシュボードなどでレポートを表示できるユーザーを管理するもので、Tokyo リリースではデフォルトで有効になっています。詳細については、「 Report_view access control (Report_view のアクセス制御) 」を参照してください。	Tokyo
Vendor Management Workspace	Vendor Management Workspace report_view アクセス制御リスト (ACL) は、ダッシュボードなどでレポートを表示できるユーザーを管理するもので、Tokyo リリースではデフォルトで有効になっています。詳細については、「 Report_view access control (Report_view のアクセス制御) 」を参照してください。	Tokyo
仮想エージェント	- 新しいポータブル仮想エージェント Web クライアントは、Seismic コンポーネントで、サードパーティの Web サイトへ簡単に仮想エージェントを追加できます。サードパーティの Web ページに仮想エージェントを埋め込む従来の方法は引き続き機能します。 - 以前のリリースでは、仮想エージェントデザイナーのトピックブロックとカスタムコントロールはグローバルスコープで公開されていました。このリリースでは、トピックブロックとカスタムコントロールが呼び出し元トピックのスコープに含まれるようになりました。	Tokyo
Visual Task Boards	Visual Task Boards report_view アクセス制御リスト (ACL) は、ダッシュボードなどでレポートを表示できるユーザーを管理するもので、Tokyo リリースではデフォルトで有	Tokyo

(続く)

製品	リリースノート	ファミリー
	効になっています。詳細については、「 Report_view access control (Report_view のアクセス制御) 」を参照してください。	
Vulnerability Response integrations	• <i>Vulnerability Response</i> アプリケーションのリリース済みバージョンと、<i>Tokyo</i> と互換性のあるサードパーティアプリケーションや <i>ServiceNow</i> アプリケーションについては、HI ナレッジベース記事「Vulnerability Response Compatibility Matrix and Release Schema Changes (Vulnerability Response 互換性マトリックスおよびリリーススキーマの変更点) [KB0856498]」を参照してください。 • <i>Vulnerability Response</i> の新機能の詳細については、「Vulnerability Response リリースノート」を参照してください。	Tokyo
Vulnerability Response	<i>Vulnerability Response</i> アプリケーションのデータモデル変更により、アップグレードには以前よりかなり長い時間がかかる場合があります。詳しくは、KB0856498 を参照してください。 新しいバージョンへのアップグレード中は、アップグレード元のデータとバージョンに基づいてアップグレード時間が長くなる場合があります。これは、アップグレード中に追加されたスキーマの変更が原因です。詳しくは、KB0856498 を参照してください。 <i>Vulnerability Response</i> アプリケーションを古いバージョンからバージョン 15.x にアップグレードすると、ベースシステムのデフォルトの修正タスクルールが非アクティブ化されます。詳細については、「Vulnerability Response Workspaces and updates to remediation task and remediation task rules (Vulnerability Response のワークスペースおよび、修正タスクと修正タスクルールの更新)」を参照してください。 <i>Vulnerability Response</i> report_view アクセス制御リスト (ACL) は、ダッシュボードなどでレポートを表示できるユーザーを管理するもので、<i>Tokyo</i> リリースではデフォルトで有効になっています。詳細については、「Report_view access control (Report_view のアクセス制御)」を参照してください。 • 新しいバージョンの <i>Vulnerability Response</i> アプリケーションにアップグレードすると、新しいバージョンがインスタンスで利用可能になり、インストールの準備が整います。<i>Vulnerability Response</i> の更新は <i>ServiceNow® Store</i> で入手できます。 • <i>Vulnerability Response</i> アプリケーションのリリース済みバージョン、<i>Tokyo</i> との互換性、スキーマ変更について詳しくは、HI ナレッジベース記事「Vulnerability Response	Tokyo

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ
	Compatibility Matrix and Release Schema Changes (Vulnerability Response 互換性マトリックスおよびリリーススキーマの変更点) [KB0856498] を参照してください。 Rome で <i>Vulnerability Response</i> をバージョン 18.0 にアップグレードすると、脆弱性マネージャーのワークスペースはサポートされなくなります。	
Workforce Optimization for ITSM	予測方法の改善: <i>Demand Forecast</i> では、改善した予測方法を使用してデータを予測します。インジケータスコアを予測するための単純な手法を線形回帰手法にアップグレードしました。以前の単純な手法では、最新のシーズンの最初と最後のスコアのみを使用しましたが、アップグレードした手法では、評価期間中に利用可能なすべてのスコアを使用します。さらに、従来の線形メソッドとドリフトメソッドを単一の線形メソッドに置き換え、95% 予測間隔の計算を改善しました。アップグレードすると、<i>Demand Forecast</i> で使用する予測アルゴリズムが次のように更新されます。 「単純な季節トレンド分析」アルゴリズムの名前が「季節 (Seasonal)」に変更されます。 「単純な季節トレンド分析ドリフト」アルゴリズムの名前が「季節トレンド (Seasonal Trend)」に変更されます。 - ドリフトアルゴリズムが削除されます。 スケジュール計画とシフト計画のテキストインデックス作成の有効化: <i>Workforce Optimization for ITSM</i> バージョン 1.1.1 にアップグレードする場合は、次のテーブルのテキストインデックス作成を有効にする 必要があります。 - スケジュール [sn_shift_planning_schedule_plan] - シフト計画 [sn_shift_planning_shift_plan] - シフト [cmn_rota] アップグレード後にテキストインデックス作成を実行しないと、スケジュール計画とシフト計画をキーワードで検索できません。スケジュール計画とシフト計画の名前でのみ検索できます。 Workforce Optimization for ITSM レポートビュー ACL : report_view アクセス制御リスト (ACL) は、ダッシュボードなどでレポートを表示できるユーザーを管理するもので、<i>Tokyo</i> リリースではデフォルトで有効になっています。詳細については、「Report_view access control (Report_view のアクセス制御)」を参照してください。 Coaching with Learning: <i>Workforce Optimization for ITSM Tokyo</i> リリース にアップグレードすると、自動的に次の更新が行われます。	Tokyo

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ
	「学習カタログ」の名前が「学習ライブラリ」に変更されます。学習カタログ内のすべてのコースが学習ライブラリに移動されます。 - マネージャーは、コースアイテムまたはラーニングパスを作成するときに、そのコースまたはパスをコースカタログに関連付ける必要があります。各カタログに適用されるセキュリティ上の制約に応じて、ユーザーはカタログ内のコースまたはパスにアクセスできます。 i 注: 既存のコースはすべてデフォルトのコースカタログに移行されます。 ServiceNow ストアから ITSM Shift Planning Host v 5.3.0 アプリケーションにアップグレードした後： - エージェントがシフトにサインアップできるようにするには、<code>sn_shift_planning.enable_agent_signup</code> プロパティを true に設定する必要があります。 - スケジュールのフィルターに対する次のラベル変更が自動的に行われます。 「ステータス」は、「スケジュール計画ステータス」に名前が変わります。 「日付」は、「スケジュール計画日付」に名前が変わります。	
AI Search	以前のリリースから <i>Utah</i> にアップグレード後に、タスク [task] テーブルとその子テーブルからレコードにインデックス付けすると、<i>AI Search</i> が新しい自動言語検出機能を適用します。<i>Utah</i> にアップグレードする前にインデックス付けをしたタスクレコードに自動言語検出を適用するには、それらのレコードを手動で再インデックス付けする必要があります。 同様に、以前のリリースから <i>Utah</i> にアップグレードした後で、中国語テキストまたは日本語テキストの領域を持つレコードまたはドキュメントにインデックス付けをすると、<i>AI Search</i> は中国語と日本語の新しいテキスト領域検出機能を自動的に適用します。<i>Utah</i> にアップグレードする前に、インデックス付けしたレコードやドキュメントにテキスト領域検出を適用するには、それらのレコードやドキュメントを手動で再インデックス付けする必要があります。 <i>Utah</i> の新しいインスタンスでは <i>Next Experience</i> 向け <i>AI Search</i> アプリケーションは自動的に有効になります。以前のリリースから <i>Utah</i> にアップグレードした場合、<i>Next Experience</i> 向け <i>AI Search</i> は手動で設定および有効化できます。アプリケーションに関する詳細については、「AI Search for Next Experience (Next Experience 向け AI Search)」を参照してください。	Utah

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ
エージェント チャットおよび Sidebar	<i>Conversational Interfaces</i> コンソールは <i>Utah</i> リリースに含まれているため、既存のお客様はこれをインストールする必要はありません。ServiceNow Store からアプリとしてインストールした場合は、後続の更新はそこからインストールする必要があります。	Utah
アセスメント とサーベイ	<i>Utah</i> リリースでは、アセスメントカードとサーベイカードのボタンをすべて削除しました。Automated Test Framework (ATF) テストを正常に実行するには、「[サーベイを実施] ボタンをクリックする」ステップを、このステップを含むすべてのテストで「サーベイカードをクリックする」ステップに置き換える必要があります。	Utah
Cloud Provisioning and Governance	<i>Cloud Provisioning and Governance</i> を <i>Utah</i> リリースにアップグレードした後、クラウドイベント [sn_cmp_cloud_event] テーブルの指定された列からデータベースインデックスを作成します。データベースインデックスは、インスタンスの Amazon Web Services (AWS) イベント処理パフォーマンスを向上するのに役立ちます。 <i>Utah</i> リリースで <i>Cloud Provisioning and Governance</i> の使用を開始している場合、アプリケーションのインストール時にデータベースインデックスが自動的に作成されます。詳細については、「 Improve AWS cloud event processing performance (AWS クラウドイベント処理パフォーマンスの改善) 」を参照してください。	Utah
Configuration Compliance	• <i>Configuration Compliance</i> アプリケーションのデータモデル変更により、アップグレードには以前よりかなり長い時間がかかる場合があります。詳しくは、KB0856498 を参照してください。 • 以前にアプリケーションを ServiceNow Store からダウンロードしていて新バージョンが利用可能な場合、Now Platform インスタンスで更新できます。 • <i>Configuration Compliance</i> アプリケーションのリリース済みバージョンと、<i>Utah</i> と互換性のあるサードパーティアプリケーションや ServiceNow アプリケーションについて詳しくは、HI ナレッジベース記事「Vulnerability Response Compatibility Matrix and Release Schema Changes (Vulnerability Response 互換性マトリックスおよびリリーススキーマの変更点) [KB0856498]」を参照してください。 • <i>Vulnerability Response</i> と <i>Configuration Compliance</i> でサポートされているサードパーティアプリケーションの更新については、「Vulnerability Response integrations リリースノート」を参照してください。	ユタ

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ
	Configuration Compliance の Utah へのアップグレード情報 バージョン アップグレードの説明 14.7 ServiceNow ストア で Utah の認定済みです。 詳細については、以下の「Utah リリースの新機能」セクションを参照してください。	
Customer Service Management (CSM)	ケースタスクの拡張により、ケースタスクレコードに複数のフィールドが追加されます。Utah リリースにアップグレードすると、顧客はスクリプトを実行してアクティブなケースタスクのこれらのフィールドに入力できます。詳細については、「 Cases and case tasks (ケースとケースタスク) 」を参照してください。	Utah
暗号化キー管理	暗号化コンテキストは、San Diego リリース以降へのアップグレード時に、Column Level Encryption フィールド暗号化モジュールと対応するモジュールアクセスポリシーに自動的に変換されます。この機能拡張について説明するチュートリアルをダッシュボードから利用できます。 暗号化キー管理 report_view アクセス制御リスト (ACL) は、ダッシュボードなどでレポートを表示できるユーザーを管理するもので、Utah リリースではデフォルトで有効になっています。詳細については、「 Report_view access control (Report_view のアクセス制御) 」を参照してください。	Utah
Hardware Asset Management 7.0.0	既存のカスタマイズの構成を変更して、標準レコードページテンプレートと互換性を持たせる必要があります。標準レコードページテンプレートおよび構成変更の詳細については、Now Support ナレッジベースの記事「 Work Instruction How to Migrate existing Record Pages to Standard Record Pages (操作手順 既存のレコードページの標準レコードページへの移行) [KB1224040]」を参照してください。	Utah
Health Log Analytics	Health Log Analytic のバージョンが 2022 年 2 月より前の場合は、Now Support または ServiceNow 営業担当者に連絡して、Health Log Analytics アプリケーションコアコンポーネントのアップグレードを要求してください。	Utah
ID と認証	ID と認証 report_view アクセス制御リスト (ACL) は、ダッシュボードなどでレポートを表示できるユーザーを管理するもので、Utah リリースではデフォルトで有効になっています。詳細については、「 Report_view access control (Report_view のアクセス制御) 」を参照してください。	Utah

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ
Industrial Process Manager	Manufacturing Process Manager に同梱されている ISA Service Graph Connector を使用し、 <i>Industrial Process Manager</i> にアップグレードする場合は、新しい ISA 設備階層モデルエンティティに一意の名前フィールドがあることを確認してください。	Utah
Instance Data Replication	レプリケーションセットを V2 にアップグレードして <i>Hermes Messaging Service</i> を使用すると <i>Instance Data Replication (IDR)</i> のパフォーマンスと処理効率を向上できます。詳細については、「 Upgrading legacy replication set to V2 in Instance Data Replication (Instance Data Replication の V2 への従来のレプリケーションセットのアップグレード) 」を参照してください。	Utah
MID Server	最新の MID Server システム要件については、「MID Server system requirements (MID Server システム要件)」を参照してください。サポートされている Java Runtime Environment (JRE) の最低バージョンは 11.0.9 で推奨バージョンは 11.0.16 です。 独自の JRE をインストールしている場合、アップグレードプロセスは次のアクションを実行して、<i>MID Server</i> がサポートされている JRE を使用するようにします。 - アップグレードの際に <i>MID Server</i> がサポートされていないバージョンの JRE を使用している場合、アップグレードプロセスで JRE の最低バージョンと推奨バージョンを示す警告メッセージが表示されます。 - サポートされている JRE が <i>MID Server</i> ホストで実行されている場合、アップグレードされた <i>MID Server</i> はそのバージョンを使用します。 自動アップグレードを行なうには、すべての <i>MID Server</i> ホストマシンが install.service-now.com のダウンロードサイトにアクセスする必要があります。詳細については、「How the System Manages MID Server Upgrades (システムが MID Server アップグレードを管理する方法)」をご確認ください。 1つの実行可能ファイルパスにつき、<i>Windows MID Server</i> サービスは1つのみ許可されます。アップグレードした <i>Windows MID Servers</i> に同じインストールフォルダーを指しているサービスが複数ある場合は起動できません。詳しくは『MID Server fails to start (MID Server が起動しない)』を参照してください。 <i>MID Server</i> のアップグレードについて詳しくは次のトピックを参照してください。	Utah

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ
	• MID Server のアップグレード前のチェック : 実際にアップグレードを行なう前に、システムでの MID Server のアップグレード機能を AutoUpgrade モニターでテストする方法を説明しています。 • 手動での MID Server のアップグレード : MID Server を手動でアップグレードする方法について説明しています。	
Manager Hub	リリースに Washington DC アップグレードする場合は、の To Do 設定フォーム 従業員センター で To Do マッピングに対して作成された追加条件を Manager Hub、のマネージャー To Do マッピングモジュールで再度作成する必要があります。	ユタ
Operational Technology Incident Management v2	以前のリリースで <i>Operational Technology Incident Management</i> を使用している場合、以前に OT インシデントユーザー (ot_incident_user) ロールが割り当てられていたユーザーに <i>Operational Technology Incident Management</i> v2 ロールを新たに割り当てる必要があります。詳細については、「 Assign new Operational Technology Incident Management roles (新しい Operational Technology Incident Management ロールの割り当て) 」を参照してください。	Utah
プラットフォームセキュリティ	データプライバシー機能を使うには Vault エンタイトルメントを取得します。この機能の詳細については、「 ServiceNow Vault 」を参照してください。	Utah
Portfolio Planning	• v6.0.1 以降、Alignment Planner Workspace は SPM 標準ライセンスの <i>Portfolio Planning</i> に名前が変更されます。ServiceNow インスタンスでのアプリケーション名が <i>Portfolio Planning</i> と表示され、ワークスペースモジュール名は <i>Portfolio Planning Workspace</i> と表示されます。 • 古いバージョンから <i>Portfolio Planning</i> v6.1.1 以降にアップグレードする場合は、roadmap_editor ロールが使用されなくなるため、roadmap_editor ロールから milestone_editor ロールを削除する修正スクリプトが実行されます。この場合、ServiceNow インスタンスに roadmap_editor ロールを持つ多数のユーザーがいると、アップグレードが完了するまでに時間がかかることがあります。詳細については、「KB1443618」を参照してください。	ユタ
Public Sector Digital Services	アップグレード後、CSM 構成可能ワークスペースの特定の公共部門メニューとメニューアイテムが元の CSM ラベル名に戻ります。公共部門用のこれらのアイテムに再レベル付けするには、顧客およびサービス組織の UX リストカテゴリを更新します。詳細については、「 Relabel items for public sector use after upgrade (アップグレード後に公共部門用のアイテムのラベルを変更する) 」を参照してください。	Utah

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ						
Robotic Process Automation (RPA) Hub	現在インストール済みの Microsoft Software Installers (MSI) (<i>RPA Desktop Design Studio</i>、<i>Attended Robot</i>、<i>Unattended Robot</i>) は、RPA アプリケーションをダウンロードして必ずアップグレードしてください。詳細については、「Download the RPA applications from RPA Hub (RPA ハブからの RPA アプリケーションのダウンロード)」を参照してください。 アプリケーションファイルテーブル内のレコード数に応じて、<i>RPA Hub</i> アプリケーションの <i>Tokyo</i> から <i>Utah</i> へのアップグレードに遅延が生じる可能性があります。 <i>RPA Hub</i> を <i>Utah</i> にアップグレードする前に、<i>glide.rollback.blacklist.TableParentChange.change</i> システムプロパティの値を false に設定する必要があります。このプロパティがシステムプロパティ [sys_properties] テーブルに存在しない場合は、プロパティを追加 し、その値を false に設定します。 <i>Utah</i> にアップグレード後、ボットプロセス定義が新しい構造のボットプロセス構成に変わります。ただし、ボットプロセス構成がボットプロセスを完全に置き換えるわけではありません。ほとんどのフィールドがボットプロセスからボットプロセス構成に移動されます。 システムプロパティ値を更新せずに <i>Utah</i> バージョンにアップグレードすると、テーブルは [アプリケーションファイル] テーブルを拡張しません。テーブルの変更を手動で更新するには、<i>Now Support</i> ナレッジベースの記事「Restructuring RPA Hub tables to sys_metadata in Utah (Utah の sys_metadata への RPA Hub テーブルの再構築)」を参照してください。	Utah						
Service Operations Workspace for ITSM	次のアプリケーションに互換性のあるアップグレードバージョンが存在することを確認します。 • <i>Service Operations Workspace ITSM Applications</i> アプリケーション (sn_sow_itsm_cont) • <i>Service Operations Workspace ITOM Applications</i> アプリケーション (sn_sow_itom_cont) 互換性のある SOW バージョン <table><tr><th>SOW-ITSM (sn_sow_itsm_cont)</th><th>SOW-ITOM (sn_sow_itom_cont)</th></tr><tr><td>1.1.x</td><td>21.0.y</td></tr><tr><td>1.2.x</td><td>21.1.y</td></tr></table>	SOW-ITSM (sn_sow_itsm_cont)	SOW-ITOM (sn_sow_itom_cont)	1.1.x	21.0.y	1.2.x	21.1.y	ユタ
SOW-ITSM (sn_sow_itsm_cont)	SOW-ITOM (sn_sow_itom_cont)							
1.1.x	21.0.y							
1.2.x	21.1.y							

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ								
	<table><thead><tr><th>SOW-ITSM (sn_sow_itsm_cont)</th><th>SOW-ITOM (sn_sow_itom_cont)</th></tr></thead><tbody><tr><td>1.3.x</td><td>21.2.y、 21.5.y、 および 21.6.y</td></tr><tr><td>2.0.x</td><td>22.0.y</td></tr><tr><td>2.1.x</td><td>22.1.y および 22.y.y</td></tr></tbody></table> ここで、 x は <i>Service Operations Workspace ITSM Applications</i> アプリケーション (sn_sow_itsm_cont) のサブバージョンで、 y は <i>Service Operations Workspace ITOM Applications</i> アプリケーション (sn_sow_itom_cont) のサブバージョンです。	SOW-ITSM (sn_sow_itsm_cont)	SOW-ITOM (sn_sow_itom_cont)	1.3.x	21.2.y、 21.5.y、 および 21.6.y	2.0.x	22.0.y	2.1.x	22.1.y および 22.y.y	
SOW-ITSM (sn_sow_itsm_cont)	SOW-ITOM (sn_sow_itom_cont)									
1.3.x	21.2.y、 21.5.y、 および 21.6.y									
2.0.x	22.0.y									
2.1.x	22.1.y および 22.y.y									
Service Portal	アップグレード後に、テーブル入力パラメーターを受け入れる公開ウィジェットのデータにゲストユーザーがアクセスできるテーブルを指定する必要があります。デフォルトでは、テーブル入力パラメーターを受け入れるパブリックウィジェットは、ゲストユーザーのどのテーブルからもデータにアクセスして返すことができません。アップグレード前にまたは<code>glide.service_portal.widget.allow_list</code>システムプロパティを追 加<code>glide.service_portal.widget.table_allow_list</code>した場合、これらのプロパティの値は、<i>Utah</i> パッチ 10 リリース以降にアップグレードした後にウィジェットの公開テーブル許可リストに移行されます。詳細については、「ウィジェット セキュリティの構成」をご参照ください。	ユタ								
Service Portfolio Management	可用性の結果の表示 は <i>Tokyo</i> リリースで導入されましたが後続のリリースにも適用されます。アップグレードすると、データ負荷が高いと判断されたお客様の場合、システムが長時間実行型のバックグラウンドジョブを開始し、長い時間継続する場合があります。詳しくは「KB1123644」を参照してください。	Utah								
Software Asset Management	<i>Software Asset Management Foundation</i> プラグイン (com.snc.sams) のアップグレードについて詳しくは、「Revert Software Asset Management Customizations (Software Asset Management のカスタマイズを元に戻す)」を参照してください。 <i>Utah</i> にアップグレードすると、ソフトウェアアシュアランスの対象で汎用バージョンのソフトウェアモデルに関連付けられている既存の無期限ライセンスエンタイトルメントが変更されます。<i>Software Asset Management</i> は、これらのエンタイトルメントをバージョン固有のソフトウェアモデルに自動的に変換します。これらの変更は、Microsoft のライセンス条項に準拠し、<i>Microsoft</i> 製品のすべてのバージョンにソフトウェアア	ユタ								

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ
	シュアランス特典を適用する潜在的なリスクを軽減するために行われます。詳細については、「ソフトウェア ライセンスのメンテナンス」を参照してください。	
Strategic Planning	- v2.0.1 以降、<i>Alignment Planner Workspace</i> は <i>SPM Pro</i> ライセンスの <i>Strategic Planning</i> に名前が変更されます。<i>ServiceNow</i> インスタンスでのアプリケーション名が <i>Strategic Planning</i> と表示され、ワークスペースモジュール名は <i>Strategic Planning Workspace</i> と表示されます。 <i>Strategic Planning</i> アプリケーションをインストールすると、[目標] フォーム 上の [会社]、[事業部門]、[部門]、[ポートフォリオ] の各既存フィールドが、[アサインされたエンティティタイプ] と [アサインされたエンティティ] の 2 つのフィールドに統合され、既存のフィールドの値に基づいて自動的に入力されます。 [事業部門]、[部門]、[会社]、または [ポートフォリオ] 以外のレンズエンティティ付き m2m 関係を作成した場合は、アサインされたエンティティの目標関係移行する スケジュールジョブを実行して、目標関係 [sn_gf_goal_m2m_relationship] テーブルのデータに基づき、[目標] フォームの [アサインされたエンティティタイプ] および [アサインされたエンティティ] フィールドに入力します。 - 古いバージョンから <i>Strategic Planning</i> v2.1.0 以降にアップグレードする場合は、roadmap_editorロールが使用されなくなるため、milestone_editorロールをroadmap_editorロールから削除するための修正スクリプトが実行されます。この場合、<i>ServiceNow</i> インスタンスにroadmap_editorロールを持つ多数のユーザーがいると、アップグレードが完了するまでに時間がかかることがあります。詳細については、「KB1443618」を参照してください。	ユタ
サプライヤーライフサイクルオペレーション	<i>Utah</i> リリースで、既存のすべてのテーブルの名前が変更されました。名前の変更の一環として、既存のテーブルの新しい名前に含まれる「supplier」という単語がすべて「slm」に変更されました。たとえば、サプライヤーケース [sn_supplier_case] はサプライヤーケース (sn_slm_case) に、サプライヤータスク [sn_supplier_task] はサプライヤータスク (sn_slm_task) に変更されました。<i>Tokyo</i> リリースから <i>Utah</i> リリースにアップグレードする場合は、修正スクリプトを実行して既存のテーブルを <i>Supplier Common Architecture</i>に移行してください。詳細については、「修正スクリプトによる既存テーブルの Supplier Common Architecture への移行 (Run fix script to migrate existing tables to Supplier Common Architecture)」を参照してください。	Utah
Upgrade Center	<i>Upgrade Center</i> report_view アクセス制御リスト (ACL)は、ダッシュボードなどでレポートを表示できるユーザーを管理する	Utah

(続く)

製品	リリースノート	ファミリー
	もので、Utah リリースではデフォルトで有効になっています。詳細については、「 Report_view access control (Report_view のアクセス制御) 」を参照してください。	
Vulnerability Response integrations	• <i>Vulnerability Response</i> アプリケーションのリリース済みバージョンと、Utah と互換性のあるサードパーティアプリケーションや ServiceNow アプリケーションについては、HI ナレッジベース記事「Vulnerability Response Compatibility Matrix and Release Schema Changes (Vulnerability Response 互換性マトリックスおよびリリーススキーマの変更点) [KB0856498]」を参照してください。 • <i>Vulnerability Response</i> の新機能の詳細については、「Vulnerability Response リリースノート」を参照してください。	Utah
Vulnerability Response	<i>Vulnerability Response</i> アプリケーションのデータモデル変更により、アップグレードには以前よりかなり長い時間がかかる場合があります。詳しくは、KB0856498 を参照してください。 新しいバージョンへのアップグレード中は、アップグレード元のデータとバージョンに基づいてアップグレード時間が長くなる場合があります。この問題は、アップグレード中に追加されたスキーマの変更が原因です。詳しくは、KB0856498 を参照してください。 Rome で <i>Vulnerability Response</i> をバージョン 18.0 にアップグレードすると、脆弱性マネージャーのワークスペースはサポートされなくなります。	Utah
AI Search	• 以前のリリースから <i>Vancouver</i> にアップグレードすると、AI Search は非タスクテーブルのインデックスを自動的に再作成して、添付ファイルの検索結果をその親レコードとともに表示できるようにしますが、タスク [task] テーブルとその子テーブルのインデックスは自動的に再作成しません。タスクレコードの添付ファイルの検索結果を親レコードとともに表示する前に、タスク [task] テーブルのインデックスを手動で再作成する必要があります。テーブルのインデックスの再作成の詳細については、「単一のインデックス付きソースに対して完全なテーブルインデックス作成またはインデックス再作成を実行する」を参照してください。 i 注: タスクテーブルのインデックスの再作成には時間がかかる場合があります。 • 以前のリリースから <i>Vancouver</i> にアップグレードした後、必要に応じて、ブロックおよび昇格アクションを含む結果改善ルールを含む検索プロファイルを再公開できます。これら	Vancouver

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ
	の検索プロファイルを再公開すると、結果改善ルールが翻訳された検索結果を正しくブロックまたは昇格できない可能性がある問題が解決されます。検索プロファイルを再公開する手順については、「Publish a search profile (検索プロファイルを公開する)」を参照してください。AI Search で翻訳されたコンテンツを処理する方法の詳細については、「Internationalization support for AI Search (AI 検索の国際化サポート)」を参照してください。	
アセスメントとサーベイ	Utah より前のバージョンから Vancouver にアップグレードする場合は、Automated Test Framework (ATF) テストを更新します。Utah リリースでは、アセスメントカードとサーベイカードのボタンをすべて削除しました。ATF テストを正常に実行するには、このステップを含むすべてのテストについて、「サーベイの実施ボタンをクリックする」ステップを「サーベイカードをクリックする」のステップに置き換える必要があります。	Vancouver
Automated Test Framework	Now Platform®で提供されているクイックスタートテストをコピーしカスタマイズして、構成変更後もインスタンスが動作することを検証します。たとえば、アップグレードを適用するか、アプリケーションを開発する場合です。 カスタマイズを行っていないベースシステム上で、アプリケーションまたは機能プラグインが提供するデフォルトのデモデータを使用してテストを実行した場合にのみ、テストで合格の結果を生成できます。インスタンス固有のデータにクイックスタートテストを適用するには、クイックスタートテストをコピーしてカスタムデータを追加します。詳しくは、「Available quick start tests by application or feature (アプリケーションおよび機能別に利用可能なクイックスタートテスト)」を参照してください。	Vancouver
クラウドコスト管理	クラウドコスト管理を Vancouver にアップグレードする手順については、「クラウドインサイトのアップグレード」を参照してください。	Vancouver
Configuration Management Database (CMDB)	アップグレード中に、調整定義マッピング [cmdb_reconciliation_definition_mapping] テーブルを再ペアレンディングする修正スクリプトが実行されます。この修正スクリプトが完了するまでの時間は、アップグレードされたインスタンスの調整ルールの数によって異なり、通常はアップグレードに数分かかります。 調整定義マッピング [cmdb_reconciliation_definition_mapping] テーブルを再ペアレンディングすることは、インスタンス間で調整ルールをエクスポートするときにそのテーブルのデータが更新セットによってキャプチャされるようにするために必要です。アップグレード	Vancouver

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ
	後、調整ルールへの変更は更新セットによって完全にキャプチャされ、宛先インスタンスに適切に移植されます。	
Document Intelligence	<i>Document Intelligence</i> 3.0 以降には、スコープ対象のアプリケーションから <i>Now Platform</i> プラグインへの移行をサポートする更新されたスキーマが含まれています。アップグレードの詳細については、「バージョン 2.4 以前から <i>Document Intelligence</i> 3.0 以降にアップグレードする」を参照してください。	Vancouver
Goal Framework	v4.2.0 以降、[タイプ] フィールドが [マイルストーン] に設定されている既存のターゲットは、定性的ターゲットと見なされます。 <i>Goal Framework</i> をアップグレードすると、このような既存のターゲットの場合、測定単位は [はい]/[いいえ] に設定され、[基準] の値は [いいえ] に設定され、[ターゲット] の値は自動的に [はい] に設定されます。また、進捗値が 100 の場合、[実績] の値は [はい] に設定され、それ以外の場合は [いいえ] に設定されます。	Vancouver
ITOM Visibility	<i>Microsoft Azure</i> アラート構成 アップグレード後、セキュアな方法でアラート通知が <i>Now Platform</i> に転送されるように、 <i>Microsoft Azure</i> アラートサービスを設定します。詳細については、「セキュアな Webhook を使用して <i>Microsoft Azure</i> アラートを <i>Now Platform</i> に転送する」を参照してください。	Vancouver
ID と認証	ID と認証 report_view アクセス制御リスト (ACL) は、ダッシュボードなどでレポートを表示できるユーザーを管理するもので、 <i>Vancouver</i> リリースではデフォルトで有効になっています。詳細については、「Report_view access control (Report_view のアクセス制御)」を参照してください。	Vancouver
Industrial Process Manager	Manufacturing Process Manager に同梱されている ISA Service Graph Connector を使用し、 <i>Industrial Process Manager</i> にアップグレードする場合は、新しい ISA 設備階層モデルエンティティに一意の名前フィールドがあることを確認してください。	Vancouver
Instance Data Replication	レプリケーションセットを V2 にアップグレードして <i>Hermes Messaging Service</i> を使用すると <i>Instance Data Replication (IDR)</i> のパフォーマンスと処理効率を向上します。詳細については、「Upgrading legacy replication set to V2 in Instance Data Replication (Instance Data Replication の V2 への従来のレプリケーションセットのアップグレード)」を参照してください。	Vancouver

(続く)

製品	リリースノート	ファミリー
	インスタンスのレプリケーションペイロードエラー [idr_replication_payload_error] テーブルに 1,000 万件を超えるレコードがある場合は、KB1364728 に従ってテーブルローテーションを設定します。テーブルローテーションを使用してレプリケーションペイロードエラー [idr_replication_payload_error] テーブルからレコードを削除すると、このテーブルには IDR によってログに記録されたレプリケーションエラーのみが含まれ、レプリケートされたデータは含まれないため、安全です。	
MID Server	最新の MID Server システム要件については、「MID Server system requirements (MID Server システム要件)」を参照してください。サポートされている JRE の最小バージョンは 11.0.9 で、推奨バージョンは 11.0.16.1 です。 独自の JRE をインストールしている場合、アップグレードプロセスは次のアクションを実行して、MID Server がサポートされている JRE を使用するようにします。 - アップグレードの際に MID Server がサポートされていないバージョンの JRE を使用している場合、アップグレードプロセスで JRE の最低バージョンと推奨バージョンを示す警告メッセージが表示されます。 - サポートされている JRE が MID Server ホストで実行されている場合、アップグレードされた MID Server はそのバージョンを使用します。 自動アップグレードを行なうには、すべての MID Server ホストマシンが install.service-now.com のダウンロードサイトにアクセスする必要があります。詳細については、「How the System Manages MID Server Upgrades (システムが MID Server アップグレードを管理する方法)」をご確認ください。 1つの実行可能ファイルパスにつき、Windows MID Server サービスは1つのみ許可されます。アップグレードした Windows MID Servers に同じインストールフォルダーを指しているサービスが複数ある場合は起動できません。詳しくは『MID Server fails to start (MID Server が起動しない)』を参照してください。 MID Server のアップグレードについて詳しくは次のトピックを参照してください。 MID Server のアップグレード前のチェック：実際にアップグレードを行なう前に、システムでの MID Server のアップグレード機能を AutoUpgrade モニターでテストする方法を説明しています。 手動での MID Server のアップグレード：MID Server を手動でアップグレードする方法について説明しています。	Vancouver

(続く)

製品	リリースノート	ファミリー
Order Management	2023 年 11 月のリリース以降、Order Management アプリケーションは、電気通信、メディア、およびテクノロジー向け <i>Order Management</i> アプリケーションで提供される注文履行機能を含む、製品およびサービスの注文の完全なライフサイクルをサポートします。Telecommunications Service Management サブスクリプションをお持ちの場合は、<i>ServiceNow Store</i> から Order Management for Telecom, Media and Tech アプリケーションをインストールします。このアプリケーションは、<i>Order Management</i> アプリケーション、電気通信デモデータ、および TM Forum API REST 仕様の次の <i>ServiceNow</i> オープン API 実装をインストールします。 • Product Catalog オープン API • Service Catalog オープン API • 製品注文オープン API • サービス注文オープン API • 製品在庫オープン API • テクニカルサービス認定オープン API Order Management for Customer Service Management アプリケーションに精通している場合は、<i>Order Management</i> アプリケーションをインストールした後、オプションでそのインターフェイスを使用できます。詳細については、「Order Management for Customer Service Management KB1554296 のユーザー インターフェイスを有効にする」を参照してください。インターフェイスの変更については、「Order Management for Customer Service Management アプリケーション KB1560237 の変更」を参照してください。 アップグレード中、注文タスク [sn_ind_tmt_orm_order_task] テーブルは、<i>Customer Service Management</i> アプリケーションで使用される予定タスク [planned_tasks] テーブルから拡張されます。注文タスクテーブルも変更されました。注文タスクテーブルの変更に関する詳細については、「OMT Reparenting data model changes (OMT 再親化データモデルの変更) KB1496935」を参照してください。 <i>Vancouver</i> リリースにアップグレードし、バージョン 5.2.0 以外のバージョンの Order Management for Telecommunications, Media, and Technology for Telecommunications, Media, and Technology アプリケーションを使用している場合、製品在庫と製品モデル特性を設定するための修正は利用できません。これらの変更を取得するには、現在の <i>Vancouver</i> パッチにアップグレードします。	Vancouver
Platform Analytics ワークスペース	Platform Analytics Workspace (3.0) の <i>Vancouver</i> バージョンには、以前は <i>ServiceNow® Store</i> でのみ利用可能だったバージョン 2.1.x の更新が含まれています。	Vancouver

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ
ポートフォリオ計画立案	- 古いバージョンから <i>Portfolio Planning</i> v6.1.1 以降にアップグレードする場合は、roadmap_editorロールが使用されなくなるため、roadmap_editorロールからmilestone_editorロールを削除する修正スクリプトが実行されます。この場合、ServiceNow インスタンスに roadmap_editorロールを持つ多数のユーザーがいると、アップグレードが完了するまでに時間がかかることがあります。詳細については、「KB1443618」を参照してください。 - 古いバージョンから <i>Portfolio Planning</i> 7.0.0 または 7.1.0 にアップグレードする場合、ポートフォリオ計画の作成または編集中にエンティティの選択ステップでエンティティリストがロードされないことがあります。この場合、[エンティティを選択] ページのリストコンポーネントにスクリプトを追加する必要があります。詳細については、「KB1566418」を参照してください。	Vancouver
Process Automation Designer	Vancouver にアップグレードした後、ServiceNow Store でアプリケーションを更新します。	Vancouver
Public Sector Digital Services	<i>Public Sector Digital Services</i> v8.0 にアップグレードする前に、[提供されるサービス] テーブルのデータ、[受けたサービス] テーブルのデータ、および [提供されるサービス] テーブルから [サービス定義] テーブルへの変換によって影響を受けるその他すべてのデータ (Performance Analytics ダッシュボードデータ、構成員またはビジネスレポートデータなど) のカスタムサービス定義を作成する必要があります。以前のリリースで作成されたカスタムサービス提供データと受けたサービスデータは、新しいリリースに自動的に移行されず、アップグレード後は、データが従来のエンティティからサービス定義テーブルに移行されるまで、アプリケーション内でアクセスできなくなります。詳細については、「提供されるサービスと受けたサービスの移行ガイダンス」および「Public Sector Digital Services での Playbook のサービス定義の構成」を参照してください。 アップグレード後、CSM 構成可能ワークスペースの特定の公共部門メニューとメニューアイテムが元の CSM ラベル名に戻ります。公共部門用のこれらのアイテムに再レベル付けするには、顧客およびサービス組織の UX リストカテゴリを更新します。詳細については、「Relabel items for public sector use after upgrade (アップグレード後に公共部門用のアイテムのラベルを変更する)」を参照してください。	Vancouver
Robotic Process Automation (RPA) Hub	現在インストール済みの Microsoft Software Installers (MSI) (<i>RPA Desktop Design Studio</i> 、 <i>Attended Robot</i> 、 <i>Unattended Robot</i> 、および <i>Unattended Robot Login Agent</i>) は、RPA アプリケーションをダウンロードして必ずアップグレードしてください。詳細については、「 Download	Vancouver

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ
	the RPA applications from RPA Hub (RPA ハブからの RPA アプリケーションのダウンロード)」を参照してください。 次のアップグレード手順は、<i>San Diego</i> または <i>Tokyo</i> から <i>Vancouver</i> にアップグレードする場合にのみ適用されます。 アプリケーションファイルテーブル内のレコード数に応じて、<i>RPA Hub</i> アプリケーションについて、<i>Tokyo</i> からのアップグレード中、または <i>Vancouver</i> へのアップグレードの前に、遅延が生じる可能性があります。 <i>RPA Hub</i> を <i>Vancouver</i> にアップグレードする前に、<code>glide.rollback.blacklist.TableParentChange.change</code> システムプロパティの値を false に設定する必要があります。このプロパティがシステムプロパティ [sys_properties] テーブルに存在しない場合は、プロパティを追加 し、その値を false に設定します。 <i>Vancouver</i> にアップグレードすると、ボットプロセス定義は新しい構造、つまりボットプロセス構成に変更されます。ただし、ボットプロセス構成がボットプロセスを完全に置き換えるわけではありません。ほとんどのフィールドがボットプロセスからボットプロセス構成に移動されます。 システムプロパティ値を更新せずに <i>Utah</i> バージョンにアップグレードすると、テーブルは [アプリケーションファイル] テーブルを拡張しません。テーブルの変更を手動で更新するには、<i>Now Support</i> ナレッジベースの記事「Restructuring RPA Hub tables to sys_metadata in Utah (Utah の sys_metadata への RPA Hub テーブルの再構築)」を参照してください。	
Security Incident Response		Vancouver
Service Bridge	新しい Service Bridge アプリケーションのアップグレードと使用の詳細については、「Service Bridge からの移行 (レガシ)」を参照してください。	Vancouver
Service Operations Workspace for ITSM	次のアプリケーションに互換性のあるアップグレードバージョンが存在することを確認します。 <i>Service Operations Workspace ITSM Applications</i> アプリケーション (sn_sow_itsm_cont) <i>Service Operations Workspace ITOM Applications</i> アプリケーション (sn_sow_itom_cont)	Vancouver

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ																			
	互換性のある SOW バージョン <table><thead><tr><th>SOW-ITSM (sn_sow_itsm_cont)</th><th>SOW-ITOM (sn_sow_itom_cont)</th></tr></thead><tbody><tr><td>1.1.x</td><td>21.0.y</td></tr><tr><td>1.2.x</td><td>21.1.y</td></tr><tr><td>1.3.x</td><td>21.2.y、21.5.y、および 21.6.y</td></tr><tr><td>2.0.x</td><td>22.0.y</td></tr><tr><td>2.1.x</td><td>22.1.y および 22.y.y</td></tr><tr><td>4.0.x</td><td>24.y.y</td></tr></tbody></table> ここで、x は <i>Service Operations Workspace ITSM Applications</i> アプリケーション (sn_sow_itsm_cont) のサブバージョンで、y は <i>Service Operations Workspace ITOM Applications</i> アプリケーション (sn_sow_itom_cont) のサブバージョンです。 アップグレードされたインスタンスに次のいずれかのカスタマイズが含まれている場合は、標準レコードページの変更を移行する必要があります。詳細については、「Service Operations Workspace の標準レコードページを構成する」を参照してください🔗。 • クライアントタイプの任意のカスタム宣言アクション • 任意のカスタムモダール • カスタム水平タブまたはコンテキストサイドパネルタブの画面または画面条件 3.0 のアップグレード後は、推奨フレームワーク 機能は使用できなくなり、代わりに、<i>Recommended Actions for ITSM</i> 機能の標準バージョンのみが使用できます。 <tr><td>Service Portfolio Management</td><td> 可用性の結果の表示🔗 は <i>Tokyo</i> リリースで導入されましたが後続のリリースにも適用されます。アップグレードすると、データ負荷が高いと判断されたお客様の場合、システムが長時間実行型のバックグラウンドジョブを開始し、長い時間継続する場合があります。詳細については、「KB1123644🔗」を参照してください。 </td><td>Vancouver</td></tr> <tr><td>Skills Management</td><td> [スキルを管理] ページの URL をカスタマイズした場合は、新しいページを指すように URL を手動で更新する必要があります。新しい「スキルの管理」ページへの相対パ </td><td>Vancouver</td></tr>	SOW-ITSM (sn_sow_itsm_cont)	SOW-ITOM (sn_sow_itom_cont)	1.1.x	21.0.y	1.2.x	21.1.y	1.3.x	21.2.y、21.5.y、および 21.6.y	2.0.x	22.0.y	2.1.x	22.1.y および 22.y.y	4.0.x	24.y.y	Service Portfolio Management	可用性の結果の表示🔗 は <i>Tokyo</i> リリースで導入されましたが後続のリリースにも適用されます。アップグレードすると、データ負荷が高いと判断されたお客様の場合、システムが長時間実行型のバックグラウンドジョブを開始し、長い時間継続する場合があります。詳細については、「KB1123644🔗」を参照してください。	Vancouver	Skills Management	[スキルを管理] ページの URL をカスタマイズした場合は、新しいページを指すように URL を手動で更新する必要があります。新しい「スキルの管理」ページへの相対パ	Vancouver
SOW-ITSM (sn_sow_itsm_cont)	SOW-ITOM (sn_sow_itom_cont)																				
1.1.x	21.0.y																				
1.2.x	21.1.y																				
1.3.x	21.2.y、21.5.y、および 21.6.y																				
2.0.x	22.0.y																				
2.1.x	22.1.y および 22.y.y																				
4.0.x	24.y.y																				
Service Portfolio Management	可用性の結果の表示🔗 は <i>Tokyo</i> リリースで導入されましたが後続のリリースにも適用されます。アップグレードすると、データ負荷が高いと判断されたお客様の場合、システムが長時間実行型のバックグラウンドジョブを開始し、長い時間継続する場合があります。詳細については、「KB1123644🔗」を参照してください。	Vancouver																			
Skills Management	[スキルを管理] ページの URL をカスタマイズした場合は、新しいページを指すように URL を手動で更新する必要があります。新しい「スキルの管理」ページへの相対パ	Vancouver																			

(続く)

製品	リリースノート	ファミリー
	スは次のとおりです : <a href="https://<instance name>.service-now.com/now/nav/ui/manage-skills/params/parent-skill/2eb1c2029f100200a3bc1471367fcfe4/parent-department/221f79b7c6112284005d646b76ab978c/recursive-departments/true/recursive-skills/true/group-by/department">https://<instance name>.service-now.com/now/nav/ui/manage-skills/params/parent-skill/2eb1c2029f100200a3bc1471367fcfe4/parent-department/221f79b7c6112284005d646b76ab978c/recursive-departments/true/recursive-skills/true/group-by/department。既存のパスをこのパスに置き換えることができます。 i 注: parent-skill と parent-department の sys_id が、既存の URL にあるものと同じ ID であることを確認してください。	
Software Asset Management	<i>Software Asset Management Foundation</i> プラグイン (com.snc.sams) のアップグレードについて詳しくは、「Revert Software Asset Management Customizations (Software Asset Management のカスタマイズを元に戻す)」を参照してください。 <i>Vancouver</i> にアップグレードすると、検出マップ (DMAP) 定義の [バージョン] フィールドと [エディション] フィールドで新しい is_empty 値がサポートされます。既存の <i>Microsoft SQL Server</i> コンポーネント DMAP 定義の [エディション] フィールドが以前に is_anything に設定されていた場合、コンテンツの更新後に新しい is_empty 値で自動的に更新されます。	Vancouver
戦略的計画	• v2.1.0 以降、<i>Strategic Planning</i> の目標モジュールにアクセスするには、読み取りアクセスと編集アクセスにそれぞれ <code>sn_apw_advanced.spw_goal_user_read</code> ロールと <code>sn_apw_advanced.spw_goal_user</code> ロールが必要です。<i>Strategic Planning</i> をアップグレードした後、これらのロールを既存の目標ユーザーにアサインして、<i>Strategic Planning</i> で目標を管理します。 • v2.1.0 以降、[タイプ] フィールドが [マイルストーン] に設定されている既存のターゲットは、定性的ターゲットと見なされます。<i>Strategic Planning</i> をアップグレードすると、このような既存のターゲットの場合、測定単位は はい/いいえ に設定され、基準値は いいえ に設定され、ターゲット値は自動的に はい に設定されます。また、進捗値が 100 の場合、[実績] の値は [はい] に設定され、それ以外の場合は [いいえ] に設定されます。 • 古いバージョンから <i>Strategic Planning</i> v2.1.0 以降にアップグレードする場合は、<code>roadmap_editor</code> ロールが使用されなくなるため、<code>milestone_editor</code> ロールを <code>roadmap_editor</code> ロールから削除するための修正スクリプトが実行されます。この場合、<i>ServiceNow</i> インスタンスに <code>roadmap_editor</code> ロールを持つ多数のユーザーがいると、アップグレードが完了するまでに時間がかかることがあります。詳細については、「KB1443618」を参照してください。	Vancouver

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ
	古いバージョンから <i>Strategic Planning</i> v3.0.0 または v3.4.0 にアップグレードする場合、ポートフォリオ計画の作成中または編集集中にエンティティ選択ステップでエンティティリストがロードされないことがあります。この場合、[エンティティを選択] ページのリストコンポーネントにスクリプトを追加する必要があります。詳細については、「KB1566418」を参照してください。	
Telecommunications Integration Hub Starter Package Service Operations Management	Telecommunications Integration Hub Starter Package は、外部トリガーとともに、 <i>Vancouver</i> パッチ 1 の Starter Package のコンポーネントとして含まれています。Telecommunications API 通知機能を取得するには、ファミリーリリースの <i>Vancouver Patch 1</i> を使用する必要があります。	Vancouver
サードパーティリスク管理		Vancouver
Vulnerability Response integrations	- Vulnerability Response アプリケーションのリリース済バージョンと、<i>Vancouver</i> と互換性のあるサードパーティおよび ServiceNow アプリケーションの詳細については、ナレッジベースの記事「Vulnerability Response 互換性マトリクスおよびリリーススキーマの変更 [KB0856498]」を参照してください。 - Vulnerability Response の新機能の詳細については、「Vulnerability Response リリースノート」を参照してください。	Vancouver
Vulnerability Response	Vulnerability Response アプリケーションのデータモデル変更により、アップグレードには以前よりかなり長い時間がかかる場合があります。詳しくは、KB0856498 を参照してください。 新しいバージョンへのアップグレード中は、アップグレード元のデータとバージョンに基づいてアップグレード時間が長くなる場合があります。この問題は、アップグレード中に追加された追加のスキーマ変更が原因です。詳しくは、KB0856498 を参照してください。 Vulnerability Response アプリケーションのバージョン 20.0 および Vulnerability Emergency Response アプリケーションのバージョン 2.03 以降、脆弱性アナリストワークスペースの名前は <i>Vulnerability Assessment Workspace</i> に変更されています。脆弱性アナリストワークスペースへの参照はすべて脆弱性アセスメントワークスペースになりました。	Vancouver
AI Search	ワシントン DC にアップグレードすると、新しい [AI Search Genius 結果の構成] フォームフィールドを使用するように、AI	Washington DC

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ
	Search によって既存の Genius 結果 構成が自動的に更新されます。この更新手順では、次の変更が行われます。 - 既存の Genius 結果 回答タイプ フィールド値を削除します。 - 必要に応じて、Genius 結果 のロジックフィールド値を新しい AI Search 要求プロセッサフィールドおよび AI Search 応答プロセッサフィールドに移行します。 インスタンスをワシントン DC にアップグレードした後、AI Search は、検索クエリに複数の用語 (<code>glide.ais.query.search_operator</code>) システムプロパティが含まれている場合に使用するブール検索演算子に以前に設定した値を保持します。複数用語検索で新しい拡張クエリモードの利点を得るには、このシステムプロパティの値を <code>AND then OR 2+ key terms</code> に設定します。AI Search システムプロパティの詳細については、「AI Search システムプロパティ」を参照してください。 ワシントン DC 以降、ユーザー [sys_user] テーブルのデフォルトでは、インデックス付きレコードはsys_updated_on日付でソートされるのではなく、sys_created_on日付でソートされます。この変更では、AI Search のユーザーテーブルのインデックス付きソースのインデックス再作成が必要で、時間がかかる場合があります。以前のファミリリリースから Washington DC にアップグレードする場合、AI Search はユーザーテーブルのインデックス付きソースを自動的にインデックス再作成しません。ユーザーレコードの最新の構成を検索できるようにする必要がある場合は、ユーザーテーブルのインデックス付きソースの インデックスを手動で再作成 できますが、これには時間がかかる場合があります。そうしないと、AI Search は、すべてのレコードのインデックスが再作成されるまで、個々のユーザーテーブルレコードが更新されたときにインデックスを再作成します。	
Automated Test Framework	Now Platform®で提供されているクイックスタートテストをコピーしカスタマイズして、構成変更後もインスタンスが動作することを検証します。たとえば、アップグレードを適用するか、アプリケーションを開発する場合です。 カスタマイズを行っていないベースシステム上で、アプリケーションまたは機能プラグインが提供するデフォルトのデモデータを使用してテストを実行した場合にのみ、テストで合格の結果を生成できます。インスタンス固有のデータにクイックスタートテストを適用するには、クイックスタートテストをコピーしてカスタムデータを追加します。詳しくは、「Available quick start tests by application or feature (アプリケーションおよび機能別に利用可能なクイックスタートテスト)」を参照してください。	Washington DC
Business Continuity Management	ワシントンDCリリースにアップグレードする場合は、既存のビジネスインパクト分析、事業継続性計画、およびイベントについて、次の重要な情報に注意する必要があります。	Washington DC

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ
	- ビジネスインパクト分析の場合、アップグレード後に手動で追加された依存関係に対して、依存関係アセスメントの [ソース] 列の名前が [プライマリソース] に変更され、BCM ソースの名前が [手動] に変更されます。[依存関係を更新] アクションボタンを選択すると、CMDB 依存関係が追加されます。 - 事業継続性計画の場合、[ソース] 列の名前が [アップグレード後の プライマリソース] に変更されます。[依存関係を更新] アクションボタンを選択すると、CMDB と BIA の依存関係が追加されます。以前のリリースとの互換性を維持するために、BCM 管理者はソースを構成し、BIA アップストリーム依存関係と BIA ダウンストリーム依存関係のみをソースとして更新構成に保持できます。 - イベントと演習では、[依存関係を更新] アクションボタンを選択すると、アップグレード後に CMDB、BIA、および Business Continuity Planning (BCP) の依存関係が追加されます。以前のリリースとの互換性を維持するために、BCM 管理者はソースを構成し、BIA アップストリーム依存関係と BIA ダウンストリーム依存関係のみをソースとして更新構成に保持できます。	
Configuration Management Database (CMDB)	- この列 <code>product_instance_id</code> は、新しい製品インスタンス識別子 (PID) をサポートするためにベース構成アイテム [<code>cmdb_ci</code>] テーブルに追加されました。これにより、既存の関連資産、CI、およびインストールベースアイテム (IBI) のルックアップとリンクが可能になります。アップグレード中の変更の影響とその影響を最小限に抑える方法の詳細については、ワシントン リリースのスキーマ変更によるアップグレードの影響 [KB1534035] ナレッジ ベースの記事CMDB_CIを参照してください。 - ワシントン DC リリースにアップグレードした後に初めて CMDB 360 を有効にする場合、非 CMDB クラス (構成アイテム [<code>cmdb_ci</code>] クラスから派生していないクラス) からの CI の CMDB 360 データのキャプチャを有効にするには、システムプロパティを <code>true</code> に設定 <code>glide.identification_engine.multisource_non_cmdb_ci_enabled</code> する必要があります。 - コア UI で従来の Data Certification アプリケーションを使用していた場合、CMDB Workspace でのデータ認定の新しい実装では、関連する定義を使用できません。ワシントン DC リリースおよび CMDB Workspace バージョン 6.0 にアップグレードした後、従来の Data Certification アプリケーションで作成された定義を、CMDB Workspace でドラフトのデータマネージャー認定ポリシーに変換できます。詳細については、「」を参照してください。	Washington DC
Core Now Platform	以前は、トランザクションがキャンセルされた場合に特定の監査可能な操作が記録されませんでした。監査レコードが見つからないこの動作は、レコードの変更と監査の作成前にプラットフォームがレコードの変更の間に一部の操作を実行し、キャンセルさ	Washington DC

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ
	れるためです。しかし、現在では、レコードが変更された直後に監査が作成されるため、監査が記録される前にキャンセルされたトランザクションによって操作が中止される可能性が低くなります。この更新を容易にするために、監査はトランザクションと同じスレッドに記録されるようになりました。以前の監査はバックグラウンドスレッドで作成されていました。 この変更により、 <code>glide.db.audit.lazy</code> プロパティのデフォルト値が <code>true</code> から <code>false</code> に再定義されます。理想的には、このプロパティはプロパティテーブルで定義されていません。つまり、大半のインスタンスで <i>Washington DC</i> リリースで新しいデフォルト値と動作の使用が開始されるということです。一部のインスタンスでは、このプロパティが値を <code>true</code> に設定した状態で挿入されている可能性があります。これは、これらのインスタンスがこの変更を使用して動作を監査できないことを意味します。この更新を利用するには、このプロパティを削除してください。	
暗号化キー管理	インスタンスを <i>Washington DC</i> にアップグレードしても、<i>MID Server</i> をアップグレードしない場合、シークレット管理認証は失敗します。<i>MID Server</i> をワシントン DC にアップグレードすることで、認証エラーを回避します。アップグレードできない場合は、認証の失敗を避けるために、<i>MID Server</i> がワシントン DC にアップグレードされるまでは認証をオフにする必要があります。 <i>MID Server</i> のアップグレードの詳細については、「MID Server のアップグレード」を参照してください。	Washington DC
Enterprise Asset Management	ワシントン DC にアップグレードすると、エンタープライズ資産 <code>[sn_ent_asset]</code> テーブルで <code>[model_component]</code> フィールドを使用できなくなります。代わりに、資産 <code>[alm_asset]</code> テーブルで新しい <code>model_component_id</code> フィールドを使用できます。[ENT - 新しいモデルに移行] コンポーネントスクリプトは、既存の <code>model_component</code> フィールドデータを <code>model_component_id</code> フィールドに移動します。 資産の総所有コスト (TCO) について、次のアップグレードシナリオに注意してください。 - アップグレードはすべての <i>Enterprise Asset Management</i> フロータスクで機能する - ワークフロータスクごとにタスク料金表が必要です。 - TCO のアップグレードにより、各タスクに対応する経費ラインの <code>[資産]</code> および <code>[経費カテゴリ]</code> フィールドに 入力されます。 - 経費カテゴリは、経費ラインと経費ラインのソースに基づいて入力されます。 - 既存のすべてのモデルの <code>[TCO ベンチマークコスト]</code> と <code>[TCO ベンチマークしきい値]</code> フィールドに手動で入力するか、一括インポート機能を使用して入力する必要があります。	Washington DC

(続く)

製品	リリースノート	ファミリー
	• TCO のアップグレードは、資産フォームの次のフィールドに入力します。 ◦ 資産の耐用年数終了:作成日に月単位の有効年限を加えたもの。 ◦ 資産の最初の使用日:作成日。 ◦ 資産 TCO:資産に関連するすべての経費ラインの集計合計。単純な資産の場合、資産 TCO はその下の経費ラインの合計です。複合資産の場合、資産 TCO は、親資産とその子資産の経費ラインの合計です。	
Financial Services Operations Core	ワシントン DC へのアップグレード中に、<i>Financial Services Operations Core</i> プラグインは次のテーブルを再ペアレンティングします。 i 注: アップグレードされたインスタンスに多数のレコードがある場合は、アップグレードが完了するまでに時間がかかることがあります。 • サービス定義 [sn_bom_service_definition] テーブルは、要求定義 [sn_ind_request_definition] ではなくサービス定義 [sn_case_type_selection] テーブルから拡張されています。 • 財務タスク [sn_bom_task] テーブルは、グローバルタスク [task] テーブルの代わりにカスタマーサービスタスク [sn_customerservice_task] テーブルから拡張されています。 • 保険加入者 [sn_bom_policy_participant] テーブルは、販売済み製品の関連当事者 [sn_install_base_sold_product_related_party] テーブルから拡張されています。 再ペアレント化により、既存のアプリケーションの機能を維持したまま、ServiceNow® Customer Service Management (CSM) のメリットと利点を活用できます。	Washington DC
Hardware Asset Management 10.0.0	ワシントン DC にアップグレードした後は、資産の総所有コスト (TCO) について、次のアップグレードシナリオに留意してください。 • アップグレードは、すべての <i>Hardware Asset Management</i> フロータスクに対して機能します。 • ワークフロータスクごとにタスク料金表が必要です。 • TCO のアップグレードは、各タスクに対応する経費ラインの資産と経費のカテゴリフィールドに入力します。 • 経費カテゴリは、経費ラインと経費ラインのソースに基づいて入力されます。	Washington DC

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ
	• 既存のすべてのモデルの [TCO ベンチマークコスト] と [TCO ベンチマークしきい値] フィールドに手動で入力するか、一括インポート機能を使用して入力する必要があります。 • TCO のアップグレードでは、資産の次のフィールドに値が入力されます。 ◦ 資産の耐用年数終了:作成日と月単位の有効年限。 ◦ 資産の最初の使用日:作成日と同じ。 ◦ 資産 TCO:資産に関連するすべての経費ラインの集計。単純な資産の場合、資産 TCO はその下の経費ラインの合計です。複合資産の場合、資産 TCO は、親資産とその子資産の経費ラインの合計です。	
Healthcare and Life Sciences Service Management Core	ワシントン DC へのアップグレード中に、ヘルスケア販売済み製品 [sn_hcls_sold_product] 親テーブルが、次のテーブルのインストールベースアイテム [sn_install_base_item] に変更されます。 • メンバープラン [sn_hcls_member_plan] • 薬剤 [sn_hcls_medium] • 予防接種 [sn_hcls_immunization] • 登録済みプログラム [sn_hcls_enrolled_program] • 登録済みプログラムサービス [sn_hcls_enrolled_program] また、次のテーブルは親テーブルが削除されており、スタンドアロンテーブルになっています。 • 医療機関[sn_hcls_organization] • 医療機関[sn_hcls_location] • 開業医所在地[sn_hcls_practitioner_facility] この親の再指定により、顧客はより広範なユースケースに組織テーブルと場所テーブルを使用できるようになります。 既存のデータは、既存の機能が影響を受けないように、次の方法で移行されます。 1. sn_hcls_immunizationの場所フィールドの参照が cmn_locationを使用するように更新されました。 2. すべてのデータが、医療販売済み製品テーブルからインストールベースアイテムテーブルに移動されます。 3. 影響を受けるインストールベースアイテムの行は、医療販売済み製品のsource_task値に基づいて入力されます。 4. sn_hcls_enrolled_programと sn_hcls_enrolled_program_serviceのステータスが hcls_stateからコピーされます。	Washington DC

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ
	5. すべてのデータは、医療機関、医療機関の場所、および開業医の場所のスタンドアロンテーブルに移動します。 a. このスクリプトは、医療機関テーブルの既存のレコードの事業所テーブルにレコードを作成して、1 対 1 の参照を形成します。 b. サービス組織を参照するレコードは、適切な事業所への参照で更新されます。 c. 施術者の場所にレコードを持つ施術者は、適切な事業所とともに [サービス組織メンバー] テーブルにレコードが作成されます。 d. 医療の場所データを含むレコードには、その医療の場所の親サービス組織が含まれます。 注: アップグレードされたインスタンスに多数のレコードがある場合は、アップグレードが完了するまでに時間がかかることがあります。	
Instance Data Replication	レプリケーションセットを V2 にアップグレードして <i>Hermes Messaging Service</i> を使用すると <i>Instance Data Replication (IDR)</i> のパフォーマンスと処理効率を向上します。詳細については、「Upgrading legacy replication set to V2 in Instance Data Replication (Instance Data Replication の V2 への従来のレプリケーションセットのアップグレード)」を参照してください。 アップグレード後に、レプリケーションペイロードエラー [idr_replication_payload_error] テーブルのログローテーションが自動的に有効になります。デフォルトでは、ログローテーションスケジュールは 7 つのシャードで構成され、シャードごとに 5 日間あります。アップグレード前に作成されたこのテーブルのログエントリはすべて自動的に切り捨てられます。	Washington DC
MID Server	最新の <i>MID Server</i> システム要件については、「MID Server system requirements (MID Server システム要件)」を参照してください。サポートされている JRE の最小バージョンは 11.0.9 で、推奨バージョンは 11.0.16.1 です。 独自の JRE をインストールしている場合、アップグレードプロセスは次のアクションを実行して、<i>MID Server</i> がサポートされている JRE を使用するようになります。 - アップグレードの際に <i>MID Server</i> がサポートされていないバージョンの JRE を使用している場合、アップグレードプロセスで JRE の最低バージョンと推奨バージョンを示す警告メッセージが表示されます。 - サポートされている JRE が <i>MID Server</i> ホストで実行されている場合、アップグレードされた <i>MID Server</i> はそのバージョンを使用します。	Washington DC

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ
	自動アップグレードを行なうには、すべての MID Server ホストマシンが install.servicenow.com のダウンロードサイトにアクセスする必要があります。詳細については、「How the System Manages MID Server Upgrades」(システムが MID Server アップグレードを管理する方法)」をご確認ください。 1つの実行可能ファイルパスにつき、Windows MID Server サービスは1つのみ許可されます。アップグレードされた Windows MID Server に同じインストールフォルダーを指しているサービスが複数ある場合は起動できません。詳しくは『MID Server fails to start (MID Server が起動しない)』を参照してください。 MID Server のアップグレードについて詳しくは次のトピックを参照してください。 • MID Serverのアップグレード前のチェック :実際にアップグレードを行う前に、システムでの MID Server のアップグレード機能をAutoUpgradeモニターでテストする方法を説明しています。 • 手動での MID Server のアップグレード : MID Server を手動でアップグレードする方法について説明しています。	
Order Management	この ワシントン DC リリースで導入された新機能は、 <i>Order Management</i> の以前のリリースではサポートされていません。	Washington DC
Performance Analytics	従来の PA スコア [pa_scores] テーブルは廃止されます。PA スコアテーブルにキャプチャされたインジケータスコアがまだある場合、そのようなスコアの数に 4,300 万未満の場合、これらのスコアはアップグレード時に pa_scores_i1 テーブルと pa_scores_i2 テーブルに自動的に移行されます。アップグレードに追加される予定時間は約 2 時間です。詳細については、 パフォーマンス分析スコア の KB1294371 または移行を参照してください。	Washington DC
プラットフォーム分析エクスペリエンス	プラットフォーム分析 エクスペリエンス機能は、以前は <i>Platform Analytics Workspace</i> にありました。この機能はコア <i>Now Platform</i> の一部となり、 <i>Next Experience</i> 統一ナビゲーションからアクセスできるようになりました。コア UI で作成されたダッシュボード、レポート、および <i>Performance Analytics</i> ウィジェットをこの機能に移行できます。	Washington DC
Playbook	ワシントン DC にアップグレードした後、ServiceNow Store の <i>Playbook</i> および <i>Workflow Studio</i> アプリケーションを更新します。	Washington DC
ポートフォリオ計画立案	v8.0.0 以降、 <i>Strategic Portfolio Management (SPM) Pro</i> ライセンス機能には <i>Strategic Planning Workspace</i> でのみアクセスできます。SPM Pro ライセンスを所有して	Washington DC

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ
	も、 <i>Portfolio Planning Workspace</i> で <i>SPM Pro</i> ライセンスの機能 (目標、製品フィードバック、ハイブリッドポートフォリオ計画、追加レンズなど) を使用している場合、そのような機能にアクセスするには <i>Strategic Planning</i> をインストールする必要があります。Strategic Planning Workspace でのみアクセスできる機能の詳細については、「 Portfolio Planning と Strategic Planning 」の比較」を参照してください。	
Predictive Intelligence	ワシントン DC にアップグレードする場合、新しい回帰ソリューションを作成することはできません。既存のソリューションがある場合、それらは引き続きサポートされ、トレーニングと変更はできますが、新しいソリューションを作成することはできません。 類似性ソリューションとクラスタリングソリューションへの変更は、ワシントン DC にあるすべてのインスタンスに適用されます。	Washington DC
Proactive Service Experience Workflows	トラブルチケット通知を受信したくないお客様は、インシデントテーブルとケーステーブルに関連するビジネスルールを無効にすることができます。トラブルチケット通知のビジネスルールを無効にする方法の詳細については、「 トラブルチケット通知の非アクティブ化 」を参照してください。	Washington DC
Public Sector Digital Services	アップグレード後、CSM 構成可能ワークスペースの特定の公共部門メニューとメニューアイテムが元の CSM ラベル名に戻ります。公共部門用のこれらのアイテムに再レベル付けするには、顧客およびサービス組織の UX リストカテゴリを更新します。再レベル付けの詳細については、すべて > 構成員サービス > アドミニストレーション > ガイド付き設定をクリックし、 Public Sector Digital Services の構成可能ワークスペース > ワークスペースラベルを手動でカスタマイズします。.	ワシントン DC
Robotic Process Automation (RPA) Hub	RPA アプリケーションをダウンロードして、次の Microsoft ソフトウェアインストーラー (MSI) のいずれかをアップグレードしてください。 • <i>RPA Desktop Design Studio</i> • <i>Attended Robot</i> • <i>Unattended Robot</i> • <i>Unattended Robot</i> ログインエージェント 詳細については、「 Download the RPA applications from RPA Hub (RPA ハブからの RPA アプリケーションのダウンロード) 」を参照してください。	Washington DC

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ										
	次のアップグレード手順は、<i>San Diego</i> または <i>Tokyo</i> から <i>Washington DC</i> にアップグレードする場合にのみ適用されます。 アプリケーションファイルテーブルのレコード数に基づいて、<i>RPA Hub</i> アプリケーションを <i>Tokyo</i> 以前から <i>ワシントン DC</i> にアップグレードする際に遅延が発生する可能性があります。 <i>RPA Hub</i> を <i>Washington DC</i> にアップグレードする前に、システムプロパティの値を <code>glide.rollback.blacklist.TableParentChange.change</code> false に設定する必要があります。このプロパティがシステムプロパティ [sys_properties] テーブルに存在しない場合は、プロパティを追加し、その値を <code>false</code> に設定します。プロパティの追加方法の詳細については、「システム プロパティを追加する」を参照してください。 <i>ワシントン DC</i> にアップグレードすると、ボットプロセス定義が新しい構造 (ボットプロセス構成) に変更されます。 ボットプロセス構成がボットプロセスを完全に置き換えるわけではありませんが、ほとんどのフィールドはボットプロセスからボットプロセス構成に移動されます。システムプロパティ値を更新せずに <i>Utah</i> バージョンにアップグレードすると、テーブルは [アプリケーションファイル] テーブルを拡張しません。テーブルの変更を手動で更新するには、<i>Now Support</i> ナレッジベースの記事「Restructuring RPA Hub tables to sys_metadata in Utah (Utah で RPA Hub テーブルの再構築)」を参照してください。											
Service Operations Workspace for IT Service Management	次のアプリケーションに互換性のあるアップグレードバージョンが存在することを確認します。 <i>Service Operations Workspace ITSM Applications</i> アプリケーション (sn_sow_itsm_cont) <i>Service Operations Workspace ITOM Applications</i> アプリケーション (sn_sow_itom_cont) 互換性のある SOW バージョン <table><tr><th>SOW-ITSM (sn_sow_itsm_cont)</th><th>SOW-ITOM (sn_sow_itom_cont)</th></tr><tr><td>1.1.x</td><td>21.0.y</td></tr><tr><td>1.2.x</td><td>21.1.y</td></tr><tr><td>1.3.x</td><td>21.2.y、21.5.y、および 21.6.y</td></tr><tr><td>2.0.x</td><td>22.0.y</td></tr></table>	SOW-ITSM (sn_sow_itsm_cont)	SOW-ITOM (sn_sow_itom_cont)	1.1.x	21.0.y	1.2.x	21.1.y	1.3.x	21.2.y、21.5.y、および 21.6.y	2.0.x	22.0.y	Washington DC
SOW-ITSM (sn_sow_itsm_cont)	SOW-ITOM (sn_sow_itom_cont)											
1.1.x	21.0.y											
1.2.x	21.1.y											
1.3.x	21.2.y、21.5.y、および 21.6.y											
2.0.x	22.0.y											

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ								
	<table><thead><tr><th>SOW-ITSM (sn_sow_itsm_cont)</th><th>SOW-ITOM (sn_sow_itom_cont)</th></tr></thead><tbody><tr><td>2.1.x</td><td>22.1.y および 22.y.y</td></tr><tr><td>3.1.x</td><td>23.y.y</td></tr><tr><td>4.0.x</td><td>24.y.y</td></tr></tbody></table> この表で、x は Service Operations Workspace <i>ITSM</i> Applications アプリケーション (sn_sow_itsm_cont) のサブバージョン、y は Service Operations Workspace <i>ITOM</i> Applications アプリケーション (sn_sow_itom_cont) のサブバージョンです。 3.0 のアップグレード後、推奨フレームワーク 機能は使用できなくなります。代わりに、 <i>Recommended Actions for ITSM</i> 機能の標準バージョンのみを使用できます。	SOW-ITSM (sn_sow_itsm_cont)	SOW-ITOM (sn_sow_itom_cont)	2.1.x	22.1.y および 22.y.y	3.1.x	23.y.y	4.0.x	24.y.y	
SOW-ITSM (sn_sow_itsm_cont)	SOW-ITOM (sn_sow_itom_cont)									
2.1.x	22.1.y および 22.y.y									
3.1.x	23.y.y									
4.0.x	24.y.y									
Service Portal	アップグレード後に、テーブル入力パラメーターを受け入れる公開ウィジェットのデータにゲストユーザーがアクセスできるテーブルを指定する必要があります。デフォルトでは、ワシントン DC リリースでは、テーブル入力パラメーターを受け入れる公開ウィジェットは、ゲストユーザーのどのテーブルからもデータにアクセスして返すことができません。アップグレード前に または<code>glide.service_portal.widget.allow_list</code> システムプロパティを追 加<code>glide.service_portal.widget.table_allow_list</code>した場合、これらのプロパティの値は、アップグレード後にウィジェットの公開テーブル許可リストに移行されます。詳細については、「ウィジェット セキュリティの構成」をご参照ください。 ユーザーが以前に、プラットフォームの他の部分とは異なるポータルの User Experience Analytics のユーザー同意設定を選択した場合、プラットフォーム用に選択された設定は、ワシントン DC リリースのポータルにも使用されます。たとえば、ユーザーがポータルの追跡をオプトアウトし、 <i>Vancouver</i> リリースではプラットフォームの残りの部分の追跡をオプトインした場合、ポータルのユーザーエクスペリエンス分析はワシントン DC リリースで追跡されます。ユーザーは、ポータルのユーザープロフィールページからいつでも選択内容を更新できます。	Washington DC								
Software Asset Management	ワシントン DC にアップグレードした後、 <i>ServiceNow</i> インスタンスとの <i>Adobe</i> および <i>Microsoft 365</i> の統合に関連するすべてのカスタマイズをやり直す必要があります。これらの統合の機能は <i>Software Asset Management – SaaS License Management</i> ストアアプリケーションに移動されるためです。	Washington DC								

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ
	- 影響を受けるファイルをカスタマイズした場合、アップグレードプロセスはファイルをスキップし、競合を示します。競合を手動で解決し、古い既存のファイルが削除されていることを確認する必要があります。 - 影響を受けるファイルをカスタマイズしていない場合、ファイルはアップグレードの一部として削除され、新しいsys_idを含むファイルが作成されます。	
戦略的計画	v4.0.2 以降、 <i>Strategic Portfolio Management (SPM) Pro</i> ライセンス機能には、 <i>Strategic Planning Workspace</i> でのみアクセスできます。 <i>SPM Pro</i> ライセンスを所有していても、 <i>Portfolio Planning Workspace</i> で <i>SPM Pro</i> ライセンスの機能 (目標、製品フィードバック、ハイブリッドポートフォリオ計画、追加レンズなど) を使用している場合、そのような機能にアクセスするには <i>Strategic Planning</i> をインストールする必要があります。 <i>Strategic Planning Workspace</i> でのみアクセスできる機能の詳細については、「 Portfolio Planning と Strategic Planning 」の比較」を参照してください。	Washington DC
サプライヤーライフサイクルオペレーション	<i>Vancouver</i> リリースから <i>Washington DC</i> リリースにアップグレードすると、[All] ナビゲーションタブには <i>Source-to-Pay</i> ワークスペースのみが表示されます。<i>Source-to-Pay</i> ワークスペースを引き続き使用することを選択した場合は、何もする必要はありません。 ただし、[ワークスペース] タブには、調達から支払いまでのワークスペースとサプライヤーマネージャーワークスペースの両方が表示されます。デフォルトの調達から支払ワークスペースの代わりにサプライヤーマネージャーワークスペースを使用する場合は、ワシントンDCリリースにアップグレードした後、<code>fixscript_migrate_workspace_to_smw.xml</code>修正スクリプトを実行してください。<code>fixscript_migrate_workspace_to_smw.xml</code>ファイルは <i>ServiceNow Store</i> からダウンロードできます。修正スクリプトの実行方法の詳細については、「修正スクリプトの実行」を参照してください。 調達から支払ワークスペースの使用に戻す場合は、<code>fixscript_migrate_workspace_to_s2p.xml</code>修正スクリプトを実行します。<code>fixscript_migrate_workspace_to_smw.xml</code>ファイルは <i>ServiceNow Store</i> からダウンロードできます。修正スクリプトの実行方法の詳細については、「修正スクリプトの実行」を参照してください。	Washington DC
UI ビルダー	ワシントン DC にアップグレードした後、 <i>ServiceNow Store</i> から <i>UI Builder</i> アプリケーションを更新します。	Washington DC

(続く)

製品	リリースノート	ファミリ
Vulnerability Response integrations	- Vulnerability Response アプリケーションのリリース済バージョンと、ワシントン DC リリースと互換性のあるサードパーティおよび ServiceNow アプリケーションの詳細については、Now Support ナレッジベースの記事「Vulnerability Response 互換性マトリクスおよびリリーススキーマの変更 (Vulnerability Response Compatibility Matrix and Release Schema Changes [KB0856498]」を参照してください。 - Vulnerability Response の新機能の詳細については、「Vulnerability Response リリースノート」を参照してください。	Washington DC

計画立案チェックリストのアップグレード

ServiceNow インスタンスのアップグレードに関連するアクティビティを計画および追跡します。すべてのタスクを完了してアップグレードを成功させるために、アップグレード計画チェックリストで指示された手順に従ってアップグレードの追跡と計画を行なってください。

インスタンスの数やカスタマイズの状態などによっては、一部のオプション手順が適切でない場合があります。**[N/A]** 列で不要なものをマークします。

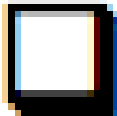
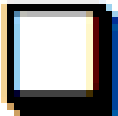
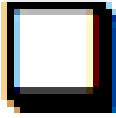
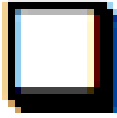
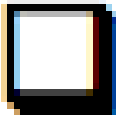
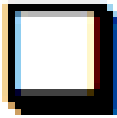
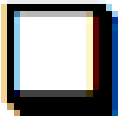
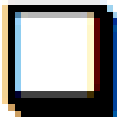
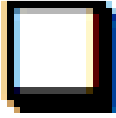
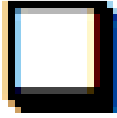
💡 ヒント:

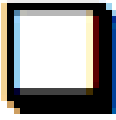
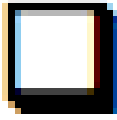
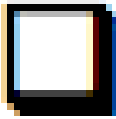
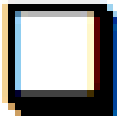
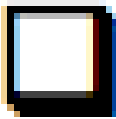
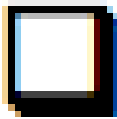
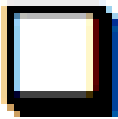
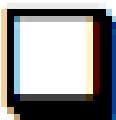
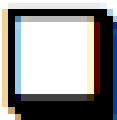
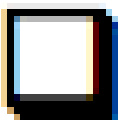
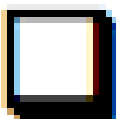
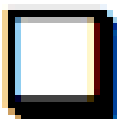
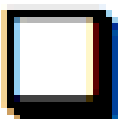
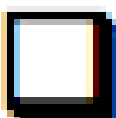
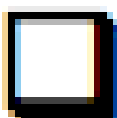
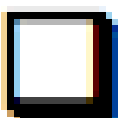
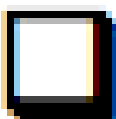
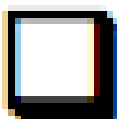
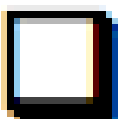
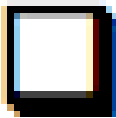
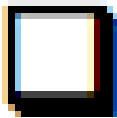
このチェックリストの PDF バージョンをダウンロードするには、[ここをクリック](#)してください。

自己ホスト型のお客様向けの手順を完了するプロセスは異なる場合があります (インスタンスのクローンやアップグレードの要求など)。これらの違いは計画時に考慮する必要があります。

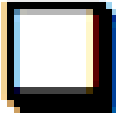
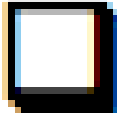
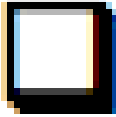
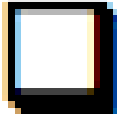
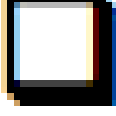
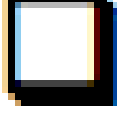
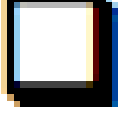
顧客名:	
本番インスタンス名:	https://[instancename].service-now.com
その他のインスタンス名	https://[instancename].service-now.com https://[instancename].service-now.com

	説明	あり	いいえ	適用外
フェーズ 1 - リリースノートを読みアップグレードを計画する				
1	対象の ServiceNow 機能リリースとパッチについては、製品とリリースのドキュメントに加えて「Washington DC リリースノート」を参照してください。 Washington DC 固有のアップグレードの考慮事項については、「様々な製品に関するアップグレード前後のタスク」を参照してください。			
フェーズ 2 - 次の計画タスクを完了します。				

	説明	あり	いいえ	適用外
2	アップグレードのスコープ内にある ServiceNow インスタンスを確認します。			
3	インスタンスのホスティングモデルを確認します。 たとえば、ServiceNow クラウド、オンプレミス、オフプレミスなどです。			
4	Washington DC リリースノート およびその他のリリース資料に基づいて、アップグレード後に検証する必要がある新機能または重要な変更を決定します。			
sn_callback.callback_max_retry_attempts	新しい製品リリースで導入された機能を有効または無効にする計画を確認します。			
6	ブラウザサポート を確認して、ブラウザーの必須条件を確認します。たとえば、サポート対象のバージョンとタイプ、新しい UI バージョン向けの追加要件などです。サポート対象のブラウザーを自社の標準と比較し、ギャップを特定します。			
7	クローン作成、アップグレード、テストのプロジェクト計画を作成します。			
8	アップグレード前後で ServiceNow インスタンスの機能を検証するために必要なテスター、パワーユーザー、主要ステークホルダーのコアチームを特定します。			
9	環境のクローン作成またはアップグレードのタイミングに影響を与える変更フリーズ期間の有無を確認します。たとえば、四半期末などです。			
10	次の状況のうち、ServiceNow の非本番インスタンスに当てはまるものを確認します。 1. 本番アップグレードが完了するまで開発とテストを停止できる。 2. アップグレード、修正、およびテストアクティビティを別のインスタンスで並行して実行する間、継続的な開発 (およびテスト) のアクティビティは非本番インスタンスで続行する必要がある。			

	説明	あり	いいえ	適用外
	3. 本番インスタンスへの最終アップグレードが完了したら、本番インスタンスの非本番のインスタンスへの最終的なクローン作成は、本番アップグレードが完了するまで待機する。			
11	統合テストに必要な他のシステムの可用性 (主要なリソースと環境) を確認します。			
12	ServiceNow インスタンスを統合テストに使用することで制限があるかどうかを確認します。たとえば、インターフェイスシステムを特定の ServiceNow テストインスタンスのみにアクセスするように設定することなどです。			
13	テストの範囲とアプローチを確認します。			
14	すべてのコアインスタンス機能と統合のテストケースを含む、包括的なテスト計画を作成します。			
15	テスト中に特定された不具合を追跡する方法を確認します。			
16	以下を含む実装計画の詳細を作成します。 • 非本番インスタンスと本番インスタンスをアップグレードする順序とタイミング • クローンを作成するインスタンス • 統合テストに使用するインスタンス			
17	環境のクローン作成またはアップグレードのタイミングに影響を与える変更フリーズ期間の有無を確認します。たとえば、四半期末などです。 責任者：ServiceNow またはお客様			
18	既存の内部トレーニング資料、顧客インスタンスのナレッジベース記事、その他のサポートドキュメントを、アップグレードされたバージョンに合わせて更新する必要があるかどうかを判断します。たとえば、機能やユーザーインターフェイスの変更点などです。			

	説明	あり	いいえ	適用外
19	オプション： ServiceNow 構成レビュー をスケジュールします。このレビューでは、お客様の構成を ServiceNow のベストプラクティスに合わせて調整するための推奨事項を提示します。 i 注: サービス課金およびプロフェッショナルサービスの契約が必要な場合があります。			
20	本番インスタンスでシステムクローンを作成し、開発インスタンスを [ターゲットインスタンス] として選択します。影響を受けるユーザーと内部のステークホルダーに、(本番インスタンスの) クローン作成および非本番インスタンスのアップグレードの予定日時を通知します。 i 注: 本番インスタンスをできるだけ忠実に反映するシステムでテストすることが重要です。非本番インスタンスと本番インスタンスのサイズが同じ場合は、本番監査ログと添付データを含め、除外オプションの選択を解除していることを確認します。			
フェーズ 3 - アップグレード構成を確認し、開発インスタンスのアップグレードをスケジュールする - Now Support				
21	[可能なアップグレードの配布を確認 (<i>Check distribution for possible upgrade</i>)] ジョブスケジュールの構成を確認して、実行頻度とタイミングを表示します。			
22	[可能なアップグレードの配布を確認 (Check distribution for possible upgrade)] sys_trigger がアップグレードに向けて適切に設定されていることを確認します。			
23	[可能なアップグレードについてデータベースを確認 (Check database for possible upgrade)] sys_trigger がアップグレードに向けて適切に設定されていることを確認します。			
24	でアップグレードをスケジュールします。			

	説明	あり	いいえ	適用外
25	該当する場合は、バージョンエンタイトルメントを要求します。			
フェーズ 4 - 開発インスタンスのアップグレードを実行し検証を行う				
26	アップグレードモニターを使用して、インスタンスのアップグレードを監視し、開発インスタンスのアップグレードが完了したことを確認します。			
27	開発インスタンスのアップグレードが完了したら、アップグレードモニターでスキップされたレコードリストを処理  します。			
28	更新セットを特定します。			
29	アップグレードの前後に、開発インスタンスでスモークテストを実施します。包括的なテスト計画を使用して機能テストを実行します。			
フェーズ 5 - 該当する場合、テストインスタンスなど他の非本番インスタンスをアップグレードして検証する				
30	本番インスタンスでシステムクローンを作成し、開発インスタンスを [ターゲットインスタンス] として選択します。			
31	Now Support で非本番アップグレードをスケジュールし、アップグレード構成を確認します。			
32	非本番インスタンスへのアップグレードが完了したことを確認します。			
33	開発インスタンスにインストールされていたオプションのプラグインをすべてインストールします。			
34	必要なカスタムアプリケーションとアップグレード後の修正スクリプトをすべてインストールします。			

	説明	あり	いいえ	適用外
35	更新セットをインストールします。			
36	機能テストを実行し、インスタンスのパフォーマンスを監視します。			
フェーズ 6 - 本番インスタンスのアップグレードを準備する				
37	更新セットですべての非本番インスタンスの不具合が修正され検証済みであることに対する、IT およびビジネスのステークホルダーのサインオフを確認します。 責任者：お客様			
38	本番アップグレード後に ServiceNow インスタンスの機能検証に必要な主要ステークホルダーのコアチームを特定します。 責任者：お客様			
39	アップグレード後の Day 1 サポートの範囲を確認します。 責任者：お客様			
40	すべてのアップグレード手順、ロールと責任、コミュニケーション計画、主要な連絡先、Day 1 サポートの範囲などを含む本番アップグレード実装計画を作成します。 責任者：お客様			
41	主要なステークホルダーおよびコアチームと一緒に、実装計画のウォークスルーとサインオフをスケジュールします。 責任者：お客様			
42	組織の変更プロセスでの必要に応じて、変更レコードの承認を提出して取得します。 責任者：お客様			
43	本番アップグレードの停止や新機能などの詳細を主要なステークホルダーとエンドユーザーに送信します。 責任者：お客様			

	説明	あり	いいえ	適用外
44	アップグレードする前に、インスタンスのパフォーマンスをプロファイルします。			
45	ServiceNow パフォーマンスホームページを使用して、アップグレード前にインスタンスのパフォーマンスを文書化します。			
46	クローンで機能テストを実行し、インスタンスのパフォーマンスを監視します。			
Phase 7 - 本番環境をアップグレードする				
47	でアップグレードをスケジュールします。			
48	該当する場合は、バージョンエンタイトルメントを要求します。			
49	インスタンスのアップグレードを監視し , 本番インスタンスのアップグレードが完了したことを確認します。			
50	更新セットおよび、アップグレード後の修正スクリプトがあれば適用します。			
51	ユーザー受け入れテスト (UAT) を実施して、インスタンスの検証およびテストを行います。本番アップグレード後にシステムが適切に作動し、主要な機能が利用可能であることをすべての主要なステークホルダーに確認します。			

アップグレードツールとリソース

アップグレードエクスペリエンスを向上する ServiceNow 製品とツールについて説明します。

製品

これらの ServiceNow 製品を使用して、アップグレードテストの一部を自動化し、アップグレードを一元的に管理します。

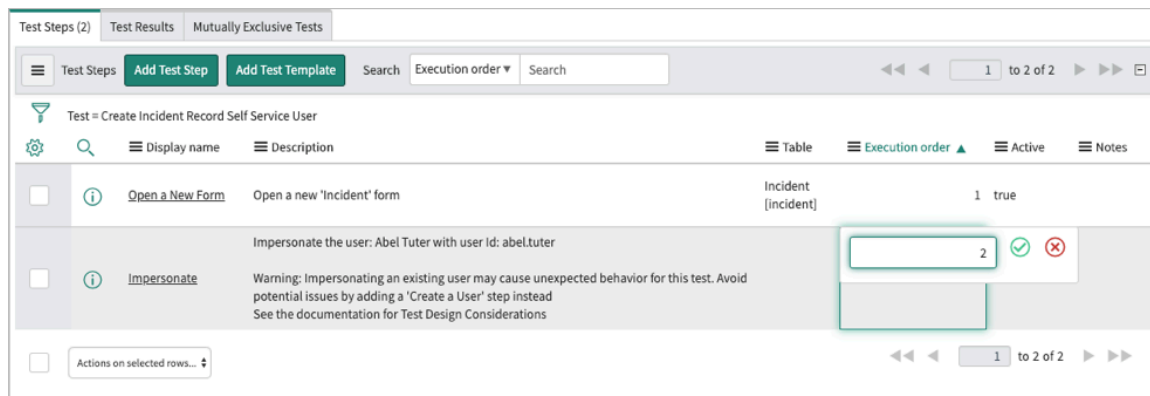
自動テストフレームワーク (ATF)

自動テストフレームワーク (ATF) (ATF) では、変更を行った後にインスタンスが動作することを確認するための自動テストを作成して実行することができます。たとえば、アップグレード後、アプリケーション開発中、または更新セットを使用してインスタンス

ス構成を展開する場合です。失敗したテストの結果を確認して、失敗の原因となった変更と、レビューする必要がある変更を特定します。

注:

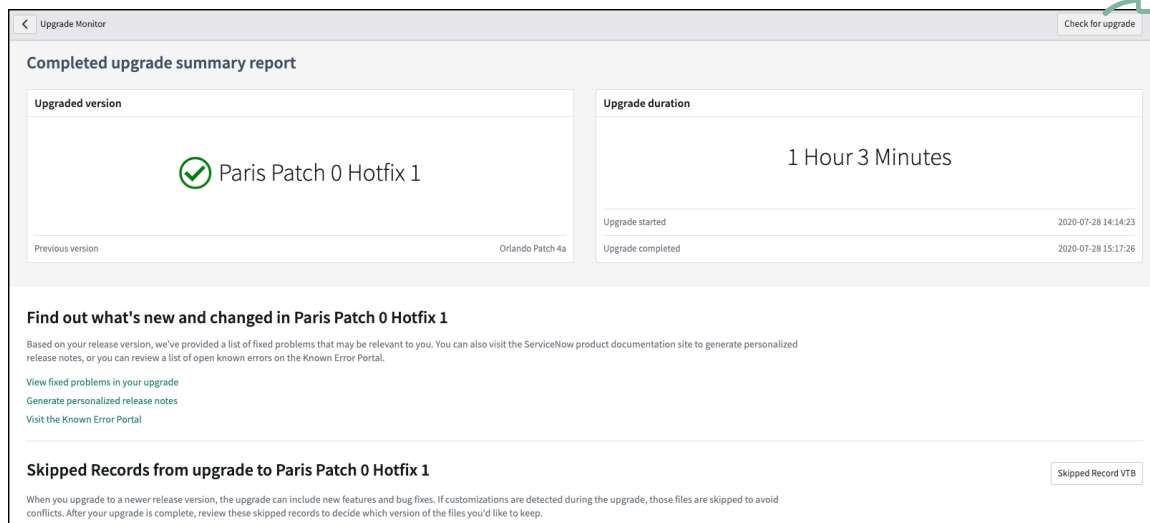
デフォルトでは、自動テストを実行するためのシステムプロパティは無効になっており、本番システムで誤って実行されないようになっています。データの破損や機能停止を避けるため、テストは、開発、テスト、およびその他の非本番インスタンスでのみ実行してください。



アップグレードセンター

ServiceNow アップグレードセンター を使用して、アップグレードの計画と管理を行います。アップグレードプレビューモジュールを使用して、使用可能なさまざまなリリースバージョンを調べ、実際にインスタンスを更新しなくても更新のエクスペリエンスに関するインサイトを得ることができます。また、進行中の更新のステータスを監視し、新しい更新モニターモジュールを使用して最新の更新の概要を表示することもできます。アップグレードセンター には、更新後のスキップを管理するための Visual Task Board (VTB) の更新もあります。別の更新履歴モジュールを使用すると、過去のすべての更新を表示できます。

自動翻訳



アップグレードツール

アップグレード関連の製品に加えて、ServiceNow のアップグレードツールも使用できます。

Now Support アップグレード支援

ServiceNow のアップグレードを自動化して最新の状態を維持します。自動化サービスを使用して、アップグレードのスケジューリングタスクの負荷を軽減します。

既知のエラーポータル

選択したパッチリリースバージョンに関する既知の問題リストを確認します。

サンプルアップグレードプロジェクト計画

計画立案チェックリストのアップグレード はアップグレード手順の概要を示します。Excel、PDF、または Microsoft Project でアップグレードの進捗状況を追跡する場合は、これらのサンプルプロジェクト計画をダウンロードして開始できます。

- **PDF**
- **Excel**
- **MPP**

ベストプラクティス

アップグレードの価値とベストプラクティスについては、ServiceNow Customer Success Center Web サイトを参照してください。

アップグレード価値計算機

ServiceNow のアップグレードで最新の状態を維持することの潜在的なビジネス価値を判断します。

Playbook：迅速なアップグレードによるプラットフォームの健全性の維持

アップグレードプロセスとツールを使用してアップグレードを行い、必要に応じてベースラインシステムを変更する方法について説明します。

プラットフォームのカスタマイズによる価値とリスクの均衡

アップグレードの価値を最大化し、影響を最小限に抑えるために、インスタンスをカスタマイズするタイミングと方法について説明します。

プラットフォームのカスタマイズによる価値とリスクの均衡

Resources

ServiceNow Customer Success Center

Playbook、チェックリスト、クイックアンサーなどの処方的なコンテンツとツールを参照して、ServiceNow の実装から得られる価値を拡大できます。

エキスパートサービス

ServiceNow エキスパートとつながって、ベストプラクティスとツールを活用し最新の ServiceNow イノベーションにアップグレードする支援を受けられます。

アップグレードと ServiceNow Store

ServiceNow Store には、ServiceNow が開発およびリリースをした公式アプリケーションが揃っています。ユーザーは、インスタンスで Washington DC アプリをダウンロードしたり、アプリへのアクセスや設定を行ったりできます。Store アプリケーションのバージョンは、インスタンスを新しいリリースバージョンにアップグレードするときにアップグレードできます。

ServiceNow Store アプリの新しいバージョンは、パッチおよびファミリーリリースで定義できます。これには、インストール済みバージョンの最小バージョンやホットフィックスを定義する機能が含まれます。インスタンスにインストールしているアプリのバージョンが定義済みの最小バージョンよりも低い場合、そのアプリは必要な最小バージョンにアップグレードされます。同様に、インスタンスにインストールしているアプリのバージョンが定義済みのホットフィックスバージョンよりも低い場合、そのアプリはホットフィックスバージョンにアップグレードされます。

たとえば、リリースで 1.7.0、2.4.1、3.0.1 を定義するアプリケーションを考えてみましょう。この例ではバージョン 1.7.0 が最小バージョンです。バージョン 2.4.1 および 3.0.1 はホットフィックスバージョンになります。

インスタンスをリリースバージョンにアップグレードすると、次の動作が発生します。

最小バージョンへのアップグレード

アップグレード前にインストールしていたバージョン	アップグレード後の予想バージョン
1.0.0	1.7.0 - 最小バージョンへのアップグレード
1.3.2	1.7.0 - 最小バージョンへのアップグレード
1.7.0	1.7.0 - インスタンスが既に最小バージョンであるため、バージョンは同じままです。
1.7.2	1.7.2 - インスタンスが既に最小バージョンより先のものであったため、バージョンは同じままです。

ホットフィックスバージョンのアップグレード

アップグレード前にインストールしていたバージョン	アップグレード後の予想バージョン
1.8.0	1.8.0 - インスタンスが既に定義済みのホットフィックスバージョンより先のものであったため、バージョンは同じままです。
2.0.0	2.4.1 - 定義済みのホットフィックスバージョンへのアップグレード
2.6.0	2.6.0 - インスタンスが既に定義済みのホットフィックスバージョンより先のものであったため、バージョンは同じままです。
3.0.0	3.0.1 - 定義済みのホットフィックスバージョンへのアップグレード
3.0.5	3.0.5 - インスタンスが既に定義済みのホットフィックスバージョンより先のものであったため、バージョンは同じままです。
4.0.0	4.0.0 - 4.0.0 以降にはホットフィックスバージョンが定義されていないため、バージョンは同じままです。

Washington DC リリースへのアップグレード

インスタンスのアップグレードとパッチ適用には、計画、テスト、および検証が必要です。安全で効果的なアップグレードを行うために、本番インスタンスをアップグレードする前に、リリースノートを読み、アップグレード計画を作成し、非本番インスタンスでアップグレードをテストしてください。

i 重要:

これらのトピックには、アップグレードに関する詳細な説明が含まれています。アップグレード手順の詳細なリファレンスについては、「[計画立案チェックリストのアップグレード](#)」を参照してください。



フェーズ 1 - リリースノートを読みアップグレードを計画する

アップグレードプロセスを開始する前に、ターゲットバージョンのリリースノートを読み、必要なアップグレードおよび移行タスクを理解することが重要です。この情報は、安全で効果的なアップグレードを計画するのに役立ちます。



フェーズ 2 - 開発インスタンスのアップグレードの準備をする

本番アップグレードの所要時間を詳しく理解するために、非本番インスタンスで本番インスタンス (大きなテーブルと添付ファイルを含む) の完全クローンを要求します。現在のリリースバージョンとターゲットのリリースバージョンを確認してください。後で Now Support でアップグレードをスケジュールするときにその情報を使用します。



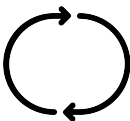
フェーズ 3 - アップグレード構成を確認し、開発インスタンスのアップグレードをスケジュールする - Now Support

[可能なアップグレードの配布を確認 (Check distribution for possible upgrade)] ジョブスケジュールの構成を確認して、実行頻度とタイミングを表示します。[可能なアップグレードの配布を確認 (Check distribution for possible upgrade)] ジョブスケジュールと連携したアップグレードのタイミングに関する情報を確認します。次に、Now Support でアップグレードをスケジュールします。



フェーズ 4 - 開発インスタンスのアップグレードを実行し検証を行う

アップグレードモニターでアップグレードの進捗状況を追跡します。最初の非本番インスタンスのアップグレード (開発インスタンス) の場合は、アップグレードでスキップされて処理されなかったレコードのリストをアップグレードモニターを使用して処理します。次に、更新セットを特定し、機能テストを実行します。



フェーズ 5 - 該当する場合、テストインスタンスなど他の非本番インスタンスをアップグレードして検証する

開発インスタンスを構成して調整した後、テストインスタンスなどの他の非本番インスタンスのアップグレードを要求します。アップグレードが完了したらすぐに、オプションのプラグインのアクティブ化、アプリケーションのインストールとアップグレード、更新セットの適用など、開発インスタンスに行われたアップグレード後の変更を適用します。



フェーズ 6 - 本番インスタンスのアップグレードを準備する

本番環境を適切に表すようにテスト環境を構成して調整したら、本番インスタンスをアップグレードする準備をします。

フェーズ 7 - 本番環境をアップグレードする



開発インスタンス、非本番インスタンス、およびテストインスタンスをアップグレードした後、最後に本番インスタンスをアップグレードします。次に、アップグレードが完了したことを検証し、更新セットと修正スクリプトを適用し、アップグレード後のユーザー受け入れテスト (UAT) を実行します。

フェーズ 1 - リリースノートを読みアップグレードを計画する

アップグレードプロセスを開始する前に、ターゲットバージョンのリリースノートを読み、必要なアップグレードおよび移行タスクを理解することが重要です。この情報は、安全で効果的なアップグレードを計画するのに役立ちます。

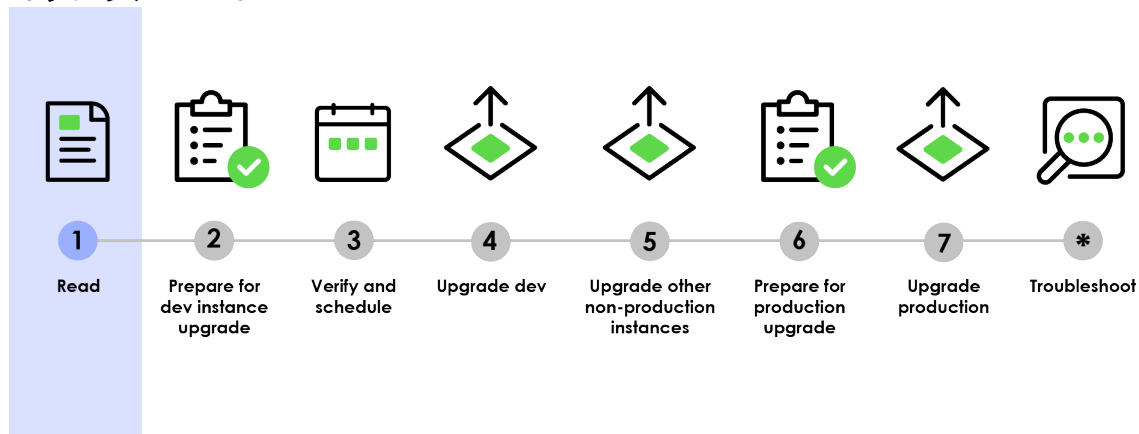
始める前に

i 重要:

アップグレードに複数のソフトウェアバージョンが含まれている場合は、現在のバージョンとターゲットバージョンの間のそれぞれのバージョンのリリースノートを必ず確認してください。

必要なロール：admin

このタスクについて



手順

1. ターゲットバージョンのリリースノートを読みます。
アップグレードの前後に完了する必要があるアップグレードおよび移行タスクを確認します。
 - ServiceNow はすべてのリリースのリリースノートを提供します。これらのリリースノートには、特定のバージョンで利用可能な新しい機能、注目すべき変更、修正に関する役立つ情報が記載されています。[Washington DC リリースノート](#)を確認することで、アップグレードに必要な機能が含まれているか、インスタンスに影響を与える問題を解決する修正が含まれているかを判断できます。また、リリースノートから、以前カスタマイズしたアイテムがアップグレードされているかどうかを確認できます。
 - Washington DC 固有のアップグレードの考慮事項については、「[様々な製品に関するアップグレード前後のタスク](#)」を参照してください。
 - Washington DC ファミリーへのアップグレードを検討している場合は、問題 (PRB) 修正がアップグレード計画の重要な要素になる可能性があります。のリストを生成できます。アップグレードするリリースバージョンを決定するために、さまざまな Washington DC アップグレードシナリオで修正された問題のリストを比較してください。

2. 計画立案チェックリストのアップグレードのフェーズ 2 の準備および計画タスクを完了します。

チェックリストには、アップグレード準備のさまざまな側面をガイドする計画タスクのリストが含まれています。スコーピング、ステークホルダーの収集、無効化および有効化する機能の特定、アップグレード全体で使用するテスト計画の作成などのタスクについてガイドが示されています。次の手順に従って、組織のすべての側面でアップグレードの準備ができていることを確認します。

3. アップグレードの準備を万端にするために、インスタンスのカスタマイズレベルを評価します。

カスタマイズのベストプラクティスガイドラインの詳細については、[Customer Success Center の Web サイト](#) を参照してください。

複雑度スコア	カスタマイズの例
低	- フォームのレイアウト/デザインの変更 - フォームへのフィールドや UI ポリシーの追加 - 簡易カスタム統合の構築 - スコープ内既存テーブル (インシデントなど) の新しいフィールドのみでの拡張
低～中	- スコープ内既存テーブル (インシデントなど) のスクリプトでの拡張 - 既存テーブル (インシデントなど) の HR など他アプリケーションの基礎としての拡張
中	新しいスコープ対象のアプリケーションを構築
中～高	新しいグローバルアプリケーションの構築
高	- ベースラインビジネスルールの変更 (SLA プロセスの変更など) - 複雑なカスタム統合の構築

4. すべてのコアインスタンス機能と統合 (カスタマイズを含む) のテストケースを含む、包括的なテスト計画を作成します。

システムの機能を効率的にテストおよび評価するために、テストチームが使用する一連の詳細なテストスクリプトを作成します。各インスタンスのアップグレード全体で、このテスト計画を使用します。

インスタンス	必要なテストのタイプ
開発	スモークテストを実施します。
テスト	- ServiceNow Automated Test Framework が、非本番インスタンスのテストを支援します。 - 自動テストフレームワーク (ATF) クイックスタートテストと製品テストスイートを使用すると、アップグレード前後のテストをすぐに開始できます。利用可能なテストとアクティブ化情報のリストについては、「クイックスタートテスト」を参照してください。 - 追加のテスト範囲として、非本番インスタンスでユーザー受け入れテスト (UAT) を実行することもできます。

インスタンス	必要なテストのタイプ
本番	UAT を実施します。 i 注: Automated Test Framework は非本番インスタンスでの使用を目的としています。本番インスタンスでは、UAT のみを実施します。

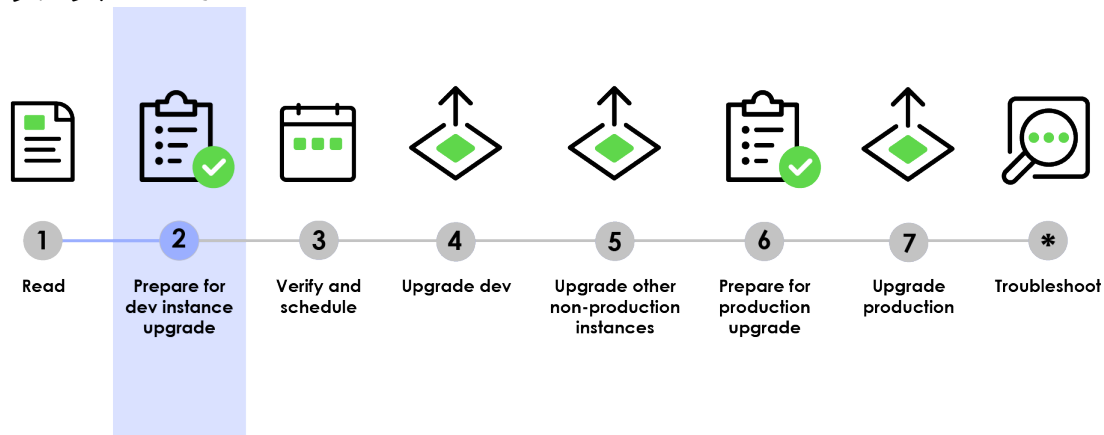
フェーズ 2 - 開発インスタンスのアップグレードの準備をする

本番アップグレードの所要時間を詳しく理解するために、非本番インスタンスで本番インスタンス (大きなテーブルと添付ファイルを含む) の完全クローンを要求します。現在のリリースバージョンとターゲットのリリースバージョンを確認してください。後で Now Support でアップグレードをスケジュールするときその情報を使用します。

始める前に

必要なロール：admin

このタスクについて



手順

1. 本番インスタンスでシステムクローンを作成し、開発インスタンスを [ターゲットインスタンス] として選択します。

クローンは本番環境の正確なコピーを提供するものです。クローンでアップグレードを実行すると、非本番環境で本番構成のアップグレードをシミュレートできます。詳細については、「[システムクローン](#)」を参照してください。

i 重要:

効果的にアップグレードをテストするには、本番インスタンスをできるだけ忠実に反映するシステムでテストするために、このクローンを使用します。非本番インスタンスと本番インスタンスのサイズが同じ場合は、本番クローンに本番監査ログと添付データを含めます。すべての本番データがクローンに含まれるようにするには、[クローンを要求] フォームのすべての [除外] チェックボックスをオフにしてください。非本番インスタンスで、本番インスタンスで発生する一般的なユーザーの動作を複製して、アップグレード期間の見積もりを強化します。

2. アップグレード中のパフォーマンスの期待値を設定します。

アップグレード中、ノードがディストリビューションアップグレードを開始するため、パフォーマンスに影響を与える可能性があります。アップグレード中にすべてのノードが再起動されます。

が、ServiceNow インスタンスはマルチノードシステムで動作するため、マルチノードインスタンスは使用できます。このマルチノードシステムは、アップグレード中にマルチノードインスタンスで少なくとも 1 つのアクティブなノードペアが存在するように、ノードのディストリビューションアップグレードを調整します。

アップグレード中のパフォーマンスを正確に予想できるように、非本番インスタンスと本番インスタンスのノードの違いに注意してください。1 つのノードを持つインスタンスでは、アップグレード中に短時間の停止時間が発生しますが、マルチノードインスタンスには UI 停止時間はありません。ノードとそのステータスの詳細については、[\[アップグレードの進捗状況\] 画面](#) を参照してください。

フェーズ 3 - アップグレード構成を確認し、開発インスタンスのアップグレードをスケジュールする - Now Support

[可能なアップグレードの配布を確認 (Check distribution for possible upgrade)] ジョブスケジュールの構成を確認して、実行頻度とタイミングを表示します。[可能なアップグレードの配布を確認 (Check distribution for possible upgrade)] ジョブスケジュールと連携したアップグレードのタイミングに関する情報を確認します。次に、Now Support でアップグレードをスケジュールします。

始める前に

必要なロール：admin

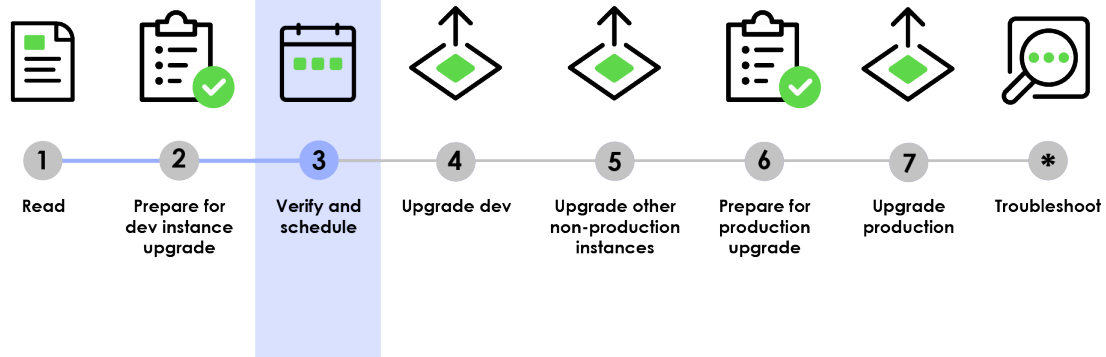
[可能なアップグレードの配布を確認 (Check distribution for possible upgrade)] および [可能なアップグレードについてデータベースを確認 (Check database for possible upgrade)] sys_trigger の設定を確認する必要があります。これらは、インスタンスを正しいターゲットバージョンにアップグレードするために不可欠です。

注:

Paris リリース以降、[アップグレード] ジョブは [可能なアップグレードの配布を確認 (Check distribution for possible upgrade)] に名前が変更されました。また、[アップグレードスクリプトを確認 (Check Upgrade Script)] ジョブの名前は [可能なアップグレードについてデータベースを確認 (Check database for possible upgrade)] に変更されました。

sys_trigger	関数
可能なアップグレードの配布を確認 (Check distribution for possible upgrade)	- Now Support をクエリして、<i>Check distribution for possible upgrade</i> ジョブスケジュールの構成によって決定される、指定された時間間隔でアップグレードが行われるかどうかを尋ねます。 - インスタンスで別のバージョンを実行する必要があるかどうかを尋ねます。実行する必要がある場合、そのバージョンのディストリビューションがダウンロードされ、インスタンスがターゲットバージョンにアップグレードされます。
可能なアップグレードについてデータベースを確認 (Check database for possible upgrade)	- ディストリビューションがアップグレードされた後に実行されます。 - データベースのアップグレードを実行します。

このタスクについて

**i 重要:**

アップグレードは Now Support ではなくインスタンスからオーケストレーションされます。

Now Support は実行する必要があるバージョンのレコードを保持し、インスタンスは定期的に Now Support をクエリして割り当てられたバージョンを確認します。アップグレードの時刻を指定すると、インスタンスはその時刻にアップグレードを開始します。例：

アクション	結果
Washington DC パッチ 8 へのアップグレードを 6 月 10 日 3:00 p.m. に実行するようにスケジュールします。	Now Support が 6 月 10 日 3:00 p.m. に Washington DC パッチ 8 を実行する必要があることを反映するようにレコードを変更します。
Now Support が、6 月 10 日のスケジュール時刻の後にインスタンスからの ping を受け取るよう待機します。	インスタンスは引き続き現在のリリースバージョンで動作し、定期的に Now Support に対して ping を実行します。
6 月 10 日のスケジュール時刻の後、Now Support がインスタンスから ping を受信します。	Now Support はインスタンスに対し、Washington DC パッチ 8 を使用する必要があることを通知します。
インスタンスは、別のバージョンを実行する必要があるという Now Support 通知を受信します。	インスタンスでアップグレードが開始されます。

Now Support でインスタンスのアップグレードをスケジュールおよび管理する方法

Now Support サービスカタログを参照して、アップグレードのスケジュール設定などのセルフサービスタスクを要求できます。

Now Support のサービスカタログを使ったプラグインやセルフサービスタスクの要求

手順

1. [可能なアップグレードの配布を確認 (*Check distribution for possible upgrade*)] ジョブスケジュールの構成を確認して、実行頻度とタイミングを表示します。
 - a. 移動先 システムスケジューラ > ジョブスケジュール > ジョブスケジュール。
 - b. リストで、*Check distribution for possible upgrade* ジョブスケジュールを見つけます。
 - c. [次のアクション] 列を表示して、次にジョブを実行するタイミングを判断します。

2. [可能なアップグレードの配布を確認 (**Check distribution for possible upgrade**)] sys_trigger がアップグレードに向けて適切に設定されていることを確認します。
 - a. 移動先 システムスケジューラ > ジョブスケジュール > ジョブスケジュール.
 - b. *Check distribution for possible upgrade* スケジュール済みジョブを見つけてクリックします。
 - c. [トリガータイプ] が [間隔] に設定されていることを確認します。
 - d. [Sys ID] が [なし] に設定されていることを確認します。
3. [可能なアップグレードについてデータベースを確認 (**Check database for possible upgrade**)] sys_trigger がアップグレードに向けて適切に設定されていることを確認します。
 - a. 移動先 システムスケジューラ > ジョブスケジュール > ジョブスケジュール.
 - b. *Check database for possible upgrade* スケジュール済みジョブを見つけてクリックします。
 - c. [トリガータイプ] が [システム起動時に実行] に設定されていることを確認します。
4. でアップグレードをスケジュールします。
 - a. Now Support にログインします。
 - b. 左側のナビゲーションメニューで [インスタンス] をクリックします。
 - c. [インスタンスを管理] を選択します。
 - d. パートナーのみ：ユーザーメニューから、[会社の切り替え (**Switch Company**)] 機能を使用して会社を選択します。
 - e. アップグレードを実行またはパッチを適用するインスタンスを選択します。
 - f. [アクション] メニューで、[インスタンスをアップグレード (**Upgrade Instance**)] をクリックします。

[インスタンスのアップグレード] Service Catalog アイテムが開きます。アップグレードまたはパッチの適用ができるインスタンス名と、利用可能なバージョンが事前に設定されています。

Upgrade an Instance ☆

This catalog item enables you to schedule a patch/upgrade to a new ServiceNow release version. Upgrading and patching your instance requires planning, testing, and validation. Please plan to test your upgrade/patch on non-production instances before applying to your production instance.

Before initiating an upgrade process, review the upgrade and migration tasks for your applications and features. To help ensure that you complete all the tasks for a successful upgrade/patch, follow the step by step instructions in the upgrade planning checklist to track and plan the upgrade.

Upgrade assistance

The following resources are available to help you plan your upgrade/patch:

- Upgrade Product Documentation
- Release Notes
- Known Error Information
- Upgrade and migration tasks for your applications and features
- Upgrade Planning Checklist

* Instance

instance-name	Non-Production	Change Instance
Jakarta Patch 7		

* Available Versions

Kingston Patch 4
Kingston Patch 3
Kingston Patch 2
Kingston Patch 1
Kingston
Jakarta Patch 8

す。

- g. アップグレードまたはパッチ適用の日時を指定するには、[開始日時] フィールドの横にあるカレンダーアイコンをクリックします。
- h. 時計アイコンをクリックして、アップグレードまたはパッチ適用の時間を選択します。

i 注:

アップグレードまたはパッチの時間設定は重要です。Check distribution for possible upgrade ジョブスケジュールが実行される 10 ~ 15 分前にアップグレードまたはパッチを開始するように設定します。この設定により、Check distribution for possible upgrade ジョブスケジュールが実行される前に、インスタンスがどのリリースバージョンであるべきかという Now Support のレコードを、アップグレードまたはパッチ要求が更新するのに十分な時間が確保されます。

- i. [送信] をクリックします。

確認メッセージが表示されます。エンタイトルメントが必要な場合は、変更要求が作成されます。

5. 該当する場合は、バージョンエンタイトルメントを要求します。

- a. [アクション] 列で、[スケジュール] をクリックします。

バージョンにエンタイトルメントが必要な場合は、次の画面が表示されます。

* Available Versions

Kingston Patch 3
Kingston Patch 2
Kingston Patch 1
Jakarta Patch 8

i Entitlement: This version requires entitlement approval. A request will be submitted for review & approval before the upgrade can begin.

* Start Date and Time

2018-04-19 17:26:28	

*Due to the additional review that is required, you must select a date at least 3 days from today

- b.** カレンダーアイコンをクリックし、3 日以上先の日時を指定します。

ServiceNow のエンタイトルメント管理者が 3 日以内にエンタイトルメント要求に応答します。

i 注:

アップグレードまたはパッチの時間設定は重要です。Check distribution for possible upgrade ジョブスケジュールが実行される 10 ~ 15 分前にアップグレードまたはパッチを開始するように設定します。この設定により、Check distribution for possible upgrade ジョブスケジュールが実行される前に、インスタンスがどのリリースバージョンであるべきかという Now Support のレコードを、アップグレードまたはパッチ要求が更新するのに十分な時間が確保されます。

- c.** [スケジュール] をクリックします。

確認メッセージが表示されます。エンタイトルメントが必要な場合は、エンタイトルメント要求番号が含まれています。エンタイトルメント要求番号をクリックして、要求を表示します。

- d.** エンタイトルメントについて質問がある場合は、エンタイトルメント要求について、送信後にコメントしてください。

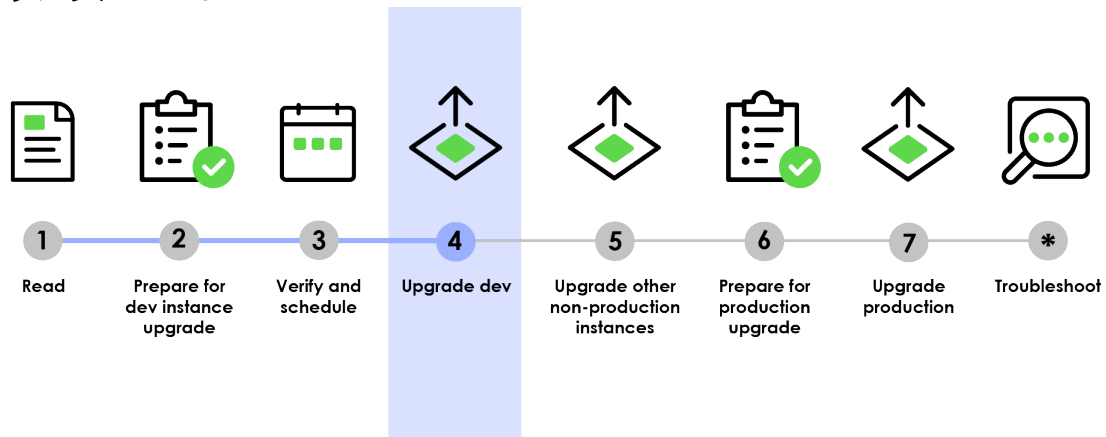
フェーズ 4 - 開発インスタンスのアップグレードを実行し検証を行う

アップグレードモニターでアップグレードの進捗状況を追跡します。最初の非本番インスタンスのアップグレード (開発インスタンス) の場合は、アップグレードでスキップされて処理されなかったレコードのリストをアップグレードモニターを使用して処理します。次に、更新セットを特定し、機能テストを実行します。

始める前に

必要なロール：admin

このタスクについて



アップグレードモニター は、個々のインスタンスのアップグレードを支援します。アップグレードの進行状況を監視し、アップグレードとカスタマイズの間の競合を解決することができます。

手順

1. アップグレードモニターを使用して、インスタンスのアップグレードを監視し、開発インスタンスのアップグレードが完了したことを確認します。
2. 開発インスタンスのアップグレードが完了したら、アップグレードモニターで**スキップされたレコードリスト**を**処理**します。

スキップされたレコードリストを処理するときに、レコードのマージや復元を行ったり、**個々のレコードの競合を解決**したり、さらにカスタマイズしたりできます。これらの変更は、最新バージョンに反映され、現在の更新セットに反映されます。

3. 更新セットを特定します。

後続の非本番インスタンスには、これらの更新セットが必要です。アップグレード後に対処が必要な問題がある場合は、適切な変更を行うと、現在の更新セットに反映されます。次のような更新セットを収集します。

- スキップされた更新リストを確認中に作成された
- 最新リリースで動作するようにカスタマイズを変更中に作成された
- 次のアップグレードの直後に本番稼働する必要がある

アップグレードの前にこれらの更新セットを収集すると、他のインスタンスに対するエクスポート、インポート、およびコミットのプロセスが迅速化されます。適切な更新セットが特定されたら、それらの更新セットを移動して適用するための標準的なプロセスに従います。詳細については、「**System Update Sets**」を参照してください。

4. アップグレードの前後に、開発インスタンスでスモークテストを実施します。包括的なテスト計画を使用して機能テストを実行します。

アップグレード後、欠陥や、アップグレード前テスト結果からの逸脱がないかを追跡します。欠陥追跡は、根本原因の特定と修正の作成に役立ちます。修正が特定されたら、その修正を単一の更新セットにキャプチャします。結果として得られる更新セットには、本番インスタンスに適用する必要がある累積的な修正が保持されます。

非本番インスタンスでのテストと検証を自動化するには、**Automated Test Framework** を使用します。自動テストフレームワーク (ATF) クイックスタートテストと製品テストスイートを使用すると、アップグレード前後のテストをすぐに開始できます。利用可能なテストとアクティブ化情報のリストについては、「**クイックスタートテスト**」を参照してください。

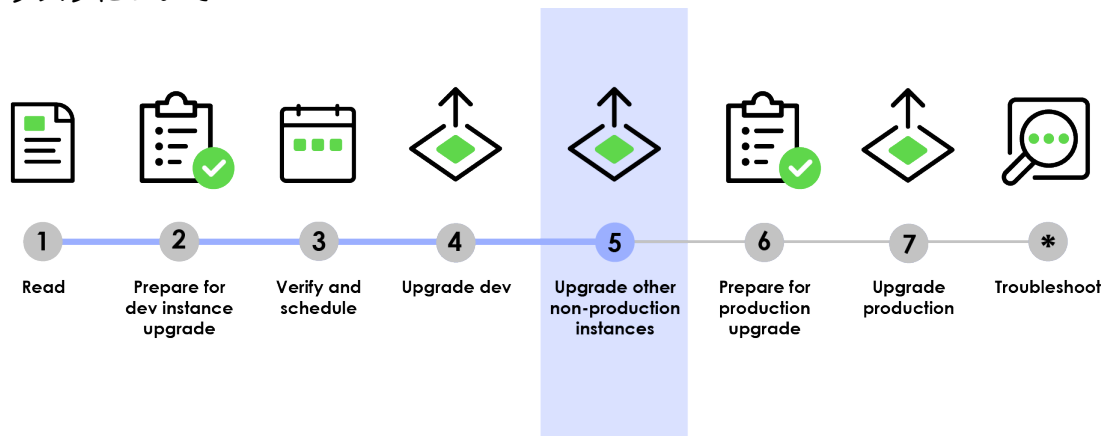
フェーズ 5 - 該当する場合、テストインスタンスなど他の非本番インスタンスをアップグレードして検証する

開発インスタンスを構成して調整した後、テストインスタンスなどの他の非本番インスタンスのアップグレードを要求します。アップグレードが完了したらすぐに、オプションのプラグインのアクティビ化、アプリケーションのインストールとアップグレード、更新セットの適用など、開発インスタンスに行われたアップグレード後の変更を適用します。

始める前に

必要なロール：admin

このタスクについて



このインスタンスの命名規則は、ServiceNow インスタンスが 3 つあることを前提としています。インスタンスが 3 つある場合は、次の順序でインスタンスをアップグレードします。

1. 開発
2. テスト
3. 本番

インスタンス数が 3 つではない場合、または **Team Development** を使用している場合、これらのインスタンスラベルは異なったものになります。一般に、本番インスタンスから最も離れたインスタンスを本番インスタンスにアップグレードします。

開発用の更新セットをテストインスタンスに適用した後、テストインスタンス (および該当する場合は他の非本番インスタンス) で次のタスクを実行します。

手順

1. 本番インスタンスからシステムクローンを作成します。
2. Now Support で非本番アップグレードをスケジュールし、アップグレード構成を確認します。
3. 非本番インスタンスへのアップグレードが完了したことを確認します。
4. 開発インスタンスにインストールされていたオプションのプラグインをすべてインストールします。
5. 必要なカスタムアプリケーションとアップグレード後の修正スクリプトをすべてインストールします。
6. 更新セットをインストールします。
これらの更新セットを使用して、最初の変更を後続の非本番インスタンスに移動します。
7. 機能テストを実行し、インスタンスのパフォーマンスを監視します。

本番インスタンスで発生する一般的なユーザーアクティビティを再現します。[Automated Test Framework](#) は、非本番インスタンスのテストに非常に役立ちます。自動テストフレームワーク (ATF) クイックスタートテストと製品テストスイートを使用すると、アップグレード前後のテストをすぐに開始できます。利用可能なテストとアクティブ化情報のリストについては、「[クイックスタートテスト](#)」を参照してください。追加のテスト範囲として、ユーザー受け入れテスト (UAT) を実行することもできます。

フェーズ 6 - 本番インスタンスのアップグレードを準備する

本番環境を適切に表すようにテスト環境を構成して調整したら、本番インスタンスをアップグレードする準備をします。

始める前に

必要なロール：admin

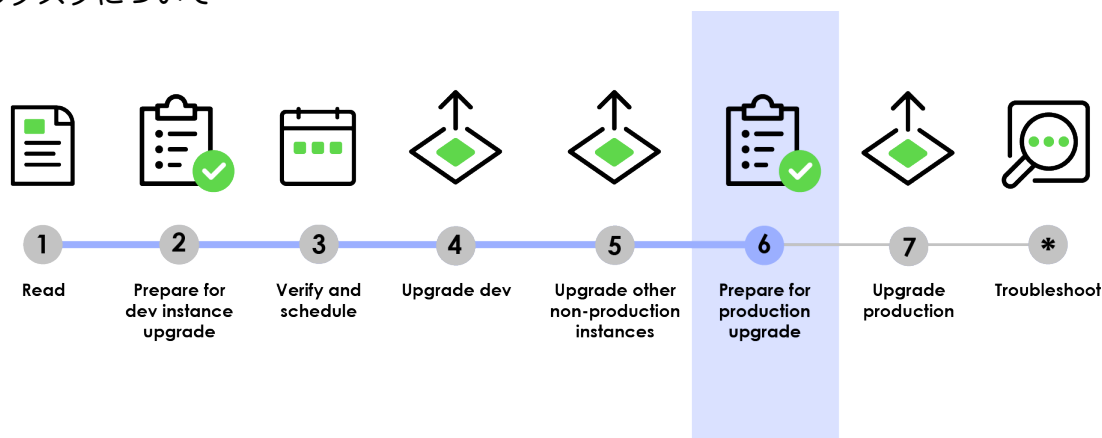
社内のすべてのステークホルダーが最終的な本番アップグレードの準備ができるようにするには、「[計画立案チェックリストのアップグレード](#)」のフェーズ 6 で管理計画タスクを完了します。本番インスタンスをアップグレードする場合は、以下を実行します。

- すべての非本番インスタンスの欠陥が修正および検証され、更新セットに含まれていることを IT および管理者から確認します。
- 組織で確立された変更管理プロセスを使用して、アップグレードを追跡します。
- アップグレードによる変更、新機能、およびプロセスの更新について、ユーザーコミュニティと効果的にやり取りします。
- ServiceNow システムのすべてのユーザーに適したアップグレード時刻を交渉します。

たとえば、ユーザーへの影響を最小限に抑えるために、数時間後にアップグレードをスケジュールします。[Upgrade ジョブスケジュール](#) 間隔の 15 ～ 20 分前にアップグレードをスケジュールすることを忘れないでください。

- 変更時間帯にすべてのテストケースを実行し、すべての統合、主要なビジネス機能、およびシステムパフォーマンスが許容範囲内であることを確認します。変更時間帯に違反することなくエラーに対応するための時間バッファを追加します。

このタスクについて



手順

1. アップグレードする前に、インスタンスのパフォーマンスをプロファイルします。

アップグレード前のインスタンス検証では、現在の運用環境の信頼できるベンチマークが得られ、アップグレード後に発生する可能性のある問題について警告されます。たとえば、アップグレード

によって特定の機能が壊れているように見えることがあります。分析により、アップグレード前でも本番インスタンスで機能が正常に動作していないことが示される場合があります。

アップグレードを実行する前に、現在の運用環境を分析してください。具体的には、以下を確認します。

- 主要な機能
- 統合
- インスタンスのパフォーマンス

2. ServiceNow パフォーマンスホームページを使用して、アップグレード前にインスタンスのパフォーマンスを文書化します。

後で、アップグレード後の検証とテストでこの情報を比較します。ベンチマークはインスタンスごとに異なります。

ServiceNow パフォーマンスホームページにアクセスするには、以下の手順を実行します。

- a. インスタンスにログインします。
- b. インスタンスのホームページの左上にあるリストから、**[ServiceNow パフォーマンス]**を選択します。



3. クローンで機能テストを実行し、インスタンスのパフォーマンスを監視します。
 本番インスタンスで発生する一般的なユーザー動作を複製します。パワーユーザーと主要なステークホルダーからなる一貫したコアチームをアサインして、アップグレード前後に ServiceNow インスタンスの重要な機能を検証します。

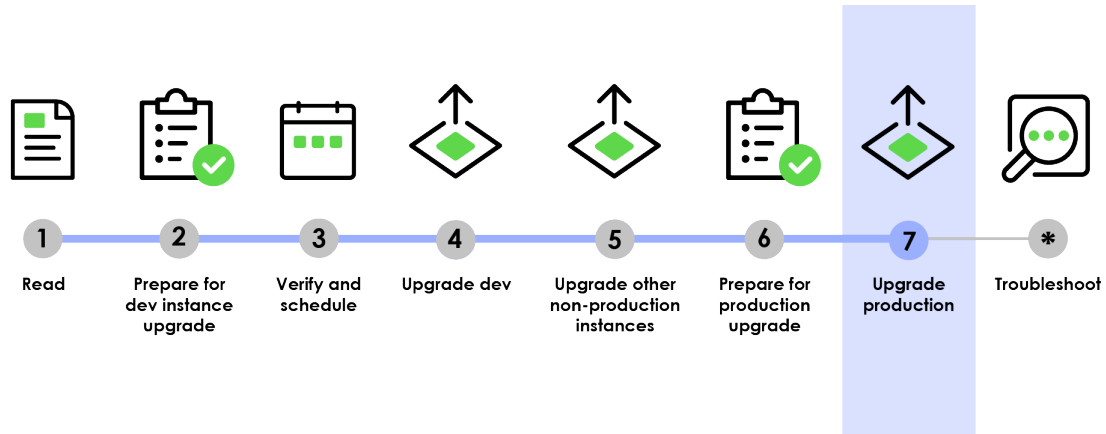
フェーズ7-本番環境をアップグレードする

開発インスタンス、非本番インスタンス、およびテストインスタンスをアップグレードした後、最後に本番インスタンスをアップグレードします。次に、アップグレードが完了したことを検証し、更新セットと修正スクリプトを適用し、アップグレード後のユーザー受け入れテスト (UAT) を実行します。

始める前に

必要なロール：admin

このタスクについて



手順

1. でアップグレードをスケジュールします。

- a. Now Support にログインします。
- b. 左側のナビゲーションメニューで [インスタンス] をクリックします。
- c. [インスタンスを管理] を選択します。
- d. パートナーのみ：ユーザーメニューから、[会社の切り替え (**Switch Company**)] 機能を使用して会社を選択します。
- e. アップグレードを実行またはパッチを適用するインスタンスを選択します。
- f. [アクション] メニューで、[インスタンスをアップグレード (**Upgrade Instance**)] をクリックします。

[インスタンスのアップグレード] Service Catalog アイテムが開きます。アップグレードまたはパッチの適用ができるインスタンス名と、利用可能なバージョンが事前に設定されています。

Upgrade an Instance ☆

This catalog item enables you to schedule a patch/upgrade to a new ServiceNow release version. Upgrading and patching your instance requires planning, testing, and validation. Please plan to test your upgrade/patch on non-production instances before applying to your production instance.

Before initiating an upgrade process, review the upgrade and migration tasks for your applications and features. To help ensure that you complete all the tasks for a successful upgrade/patch, follow the step by step instructions in the upgrade planning checklist to track and plan the upgrade.

Upgrade assistance

The following resources are available to help you plan your upgrade/patch:

- Upgrade Product Documentation
- Release Notes
- Known Error Information
- Upgrade and migration tasks for your applications and features
- Upgrade Planning Checklist

* Instance

instance-name Non-Production

Jakarta Patch 7

Change Instance

* Available Versions

Kingston Patch 4
Kingston Patch 3
Kingston Patch 2
Kingston Patch 1
Kingston
Jakarta Patch 8

す。

- g. アップグレードまたはパッチ適用の日時を指定するには、[開始日時] フィールドの横にあるカレンダーアイコンをクリックします。
- h. 時計アイコンをクリックして、アップグレードまたはパッチ適用の時間を選択します。

i 注:

アップグレードまたはパッチの時間設定は重要です。Check distribution for possible upgrade ジョブスケジュールが実行される 10 ~ 15 分前にアップグレードまたはパッチを開始するように設定します。この設定により、Check distribution for possible upgrade ジョブスケジュールが実行される前に、インスタンスがどのリリースバージョンであるべきかという Now Support のレコードを、アップグレードまたはパッチ要求が更新するのに十分な時間が確保されます。

- i. [送信] をクリックします。

確認メッセージが表示されます。エンタイトルメントが必要な場合は、変更要求が作成されます。

2. 該当する場合は、バージョンエンタイトルメントを要求します。

- a. [アクション] 列で、[スケジュール] をクリックします。

バージョンにエンタイトルメントが必要な場合は、次の画面が表示されます。

* Available Versions

Kingston Patch 3
Kingston Patch 2
Kingston Patch 1
Jakarta Patch 8

Entitlement: This version requires entitlement approval. A request will be submitted for review & approval before the upgrade can begin.

* Start Date and Time

2018-04-19 17:26:28	

*Due to the additional review that is required, you must select a date at least 3 days from today

- b. カレンダーアイコンをクリックし、3 日以上先の日時を指定します。

ServiceNow のエンタイトルメント管理者が 3 日以内にエンタイトルメント要求に応答します。

i 注:

アップグレードまたはパッチの時間設定は重要です。Check distribution for possible upgrade ジョブスケジュールが実行される 10 ~ 15 分前にアップグレードまたはパッチを開始するように設定します。この設定により、Check distribution for possible upgrade ジョブスケジュールが実行される前に、インスタンスがどのリリースバージョンであるべきかという Now Support のレコードを、アップグレードまたはパッチ要求が更新するのに十分な時間が確保されます。

- c. [スケジュール] をクリックします。

確認メッセージが表示されます。エンタイトルメントが必要な場合は、エンタイトルメント要求番号が含まれています。エンタイトルメント要求番号をクリックして、要求を表示します。

- d. エンタイトルメントについて質問がある場合は、エンタイトルメント要求について、送信後にコメントしてください。

3. インスタンスのアップグレードを監視し、本番インスタンスのアップグレードが完了したことを確認します。

アップグレードが完了したことを確認するには、次のように複数の方法があります。

- に移動します。システム診断 > アップグレードモニター。
- 移動先 システム診断 > アップグレードログ 「アップグレードが完了したことを HI に通知しています」というメッセージを見つけます。
- 移動先 システム定義 > システムアップグレード。すべてのシステムアップグレードに関する情報がリストされます。
- 移動先 システム診断 > アップグレード履歴 をクリックし、最新のアップグレードを検索します。

4. 更新セットおよび、アップグレード後の修正スクリプトがあれば適用します。

5. ユーザー受け入れテスト (UAT) を実施して、インスタンスの検証およびテストを行います。

パフォーマンスと運用情報はシステムログで確認できます。これは、ServiceNow インスタンスの内部動作を評価するための優れた情報源です。この情報を使用すると、できるだけ多くのエラーを解決できます。ログデータにアクセスするには、次に移動します システムログ > システムログ > エラー。

i 注:

エラーログのすべてのエラーがアップグレードの結果であるとは限りません。エラーメッセージはアップグレード前のインスタンスに存在していることが多く、これらのメッセージの多くはユーザーやパフォーマンスには影響しません。